

白滝遺跡群Ⅲ

第1分冊（本文編）

白滝村 奥白滝1遺跡
上白滝5遺跡

一般国道450号白滝丸瀬布道路工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書

平成13年度

財団法人 北海道埋蔵文化財センター

口絵 1 遺跡群(1)

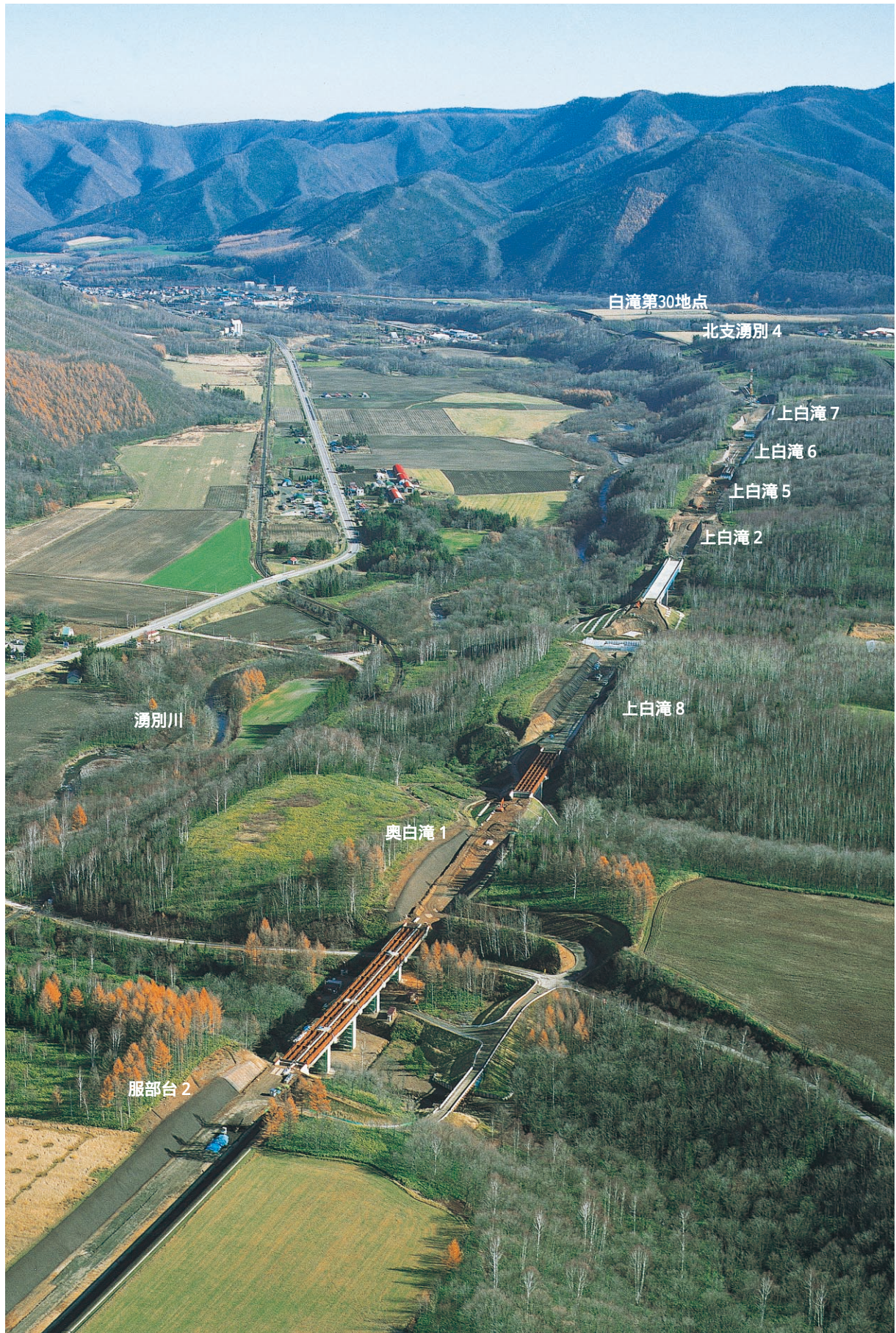


1 遺跡群と北大雪連峰(北東から・平成7年撮影)



2 奥白滝 1 遺跡と湧別川(西から・平成10年撮影)

口絵 2 遺跡群 (2)



遺跡群と湧別川 (西から・平成11年撮影)

口絵3 奥白滝1遺跡(1)



1 平成9年度調査状況(南から)



2 平成9年度調査状況(東・上白滝8から)

口絵4 奥白滝1遺跡(2)



1 平成9年度25%調査(西から)



2 平成9年度包含層調査(西から)



Sb-25調査状況(北東から)

口絵 6 奥白滝 1 遺跡 (4)

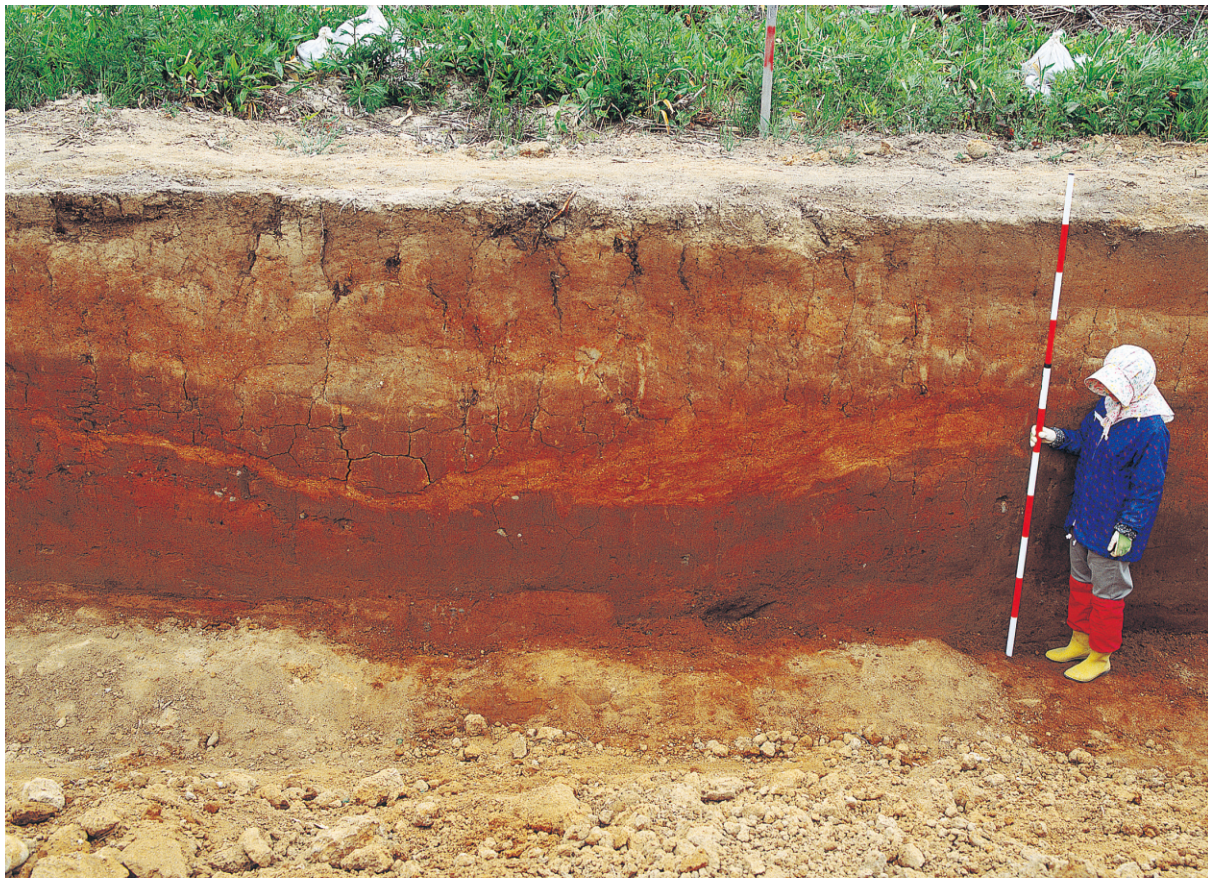


1 Sb-8 細石刃核ほか (北東から)



2 Sb-25 尖頭器ほか (北西から)

口絵7 奥白滝1遺跡(5)



1 土層断面 (J14区北壁(南から))



2 土層断面 (J15・16区北壁(南から))

口絵 8 奥白滝 1 遺跡 (6)



1 平成10年度25%調査(北から)



2 平成10年度包含層調査(北から)



1 平成10年度包含層調査(南から)



2 Sb-44石刃核ほか(西から)

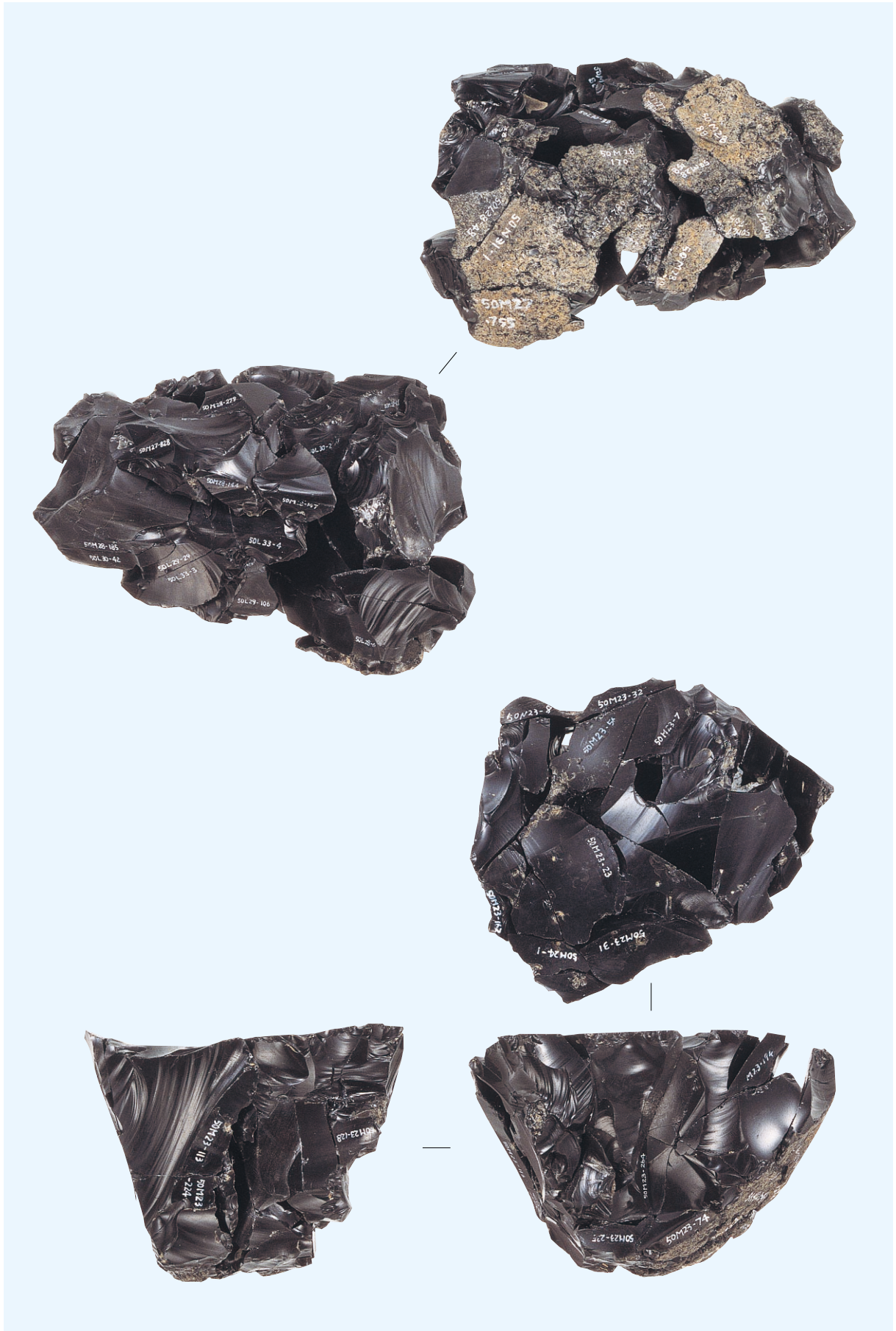
口絵10 奥白滝1遺跡(8)



1 Sb-1 ~ 3 二次加工ある剥片ほか(2/3)



2 Sb-4 ~ 6 二次加工ある剥片ほか(2/3)



口絵12 奥白滝1遺跡(10)



Sb-7~10細石刃核ほか(2/3)



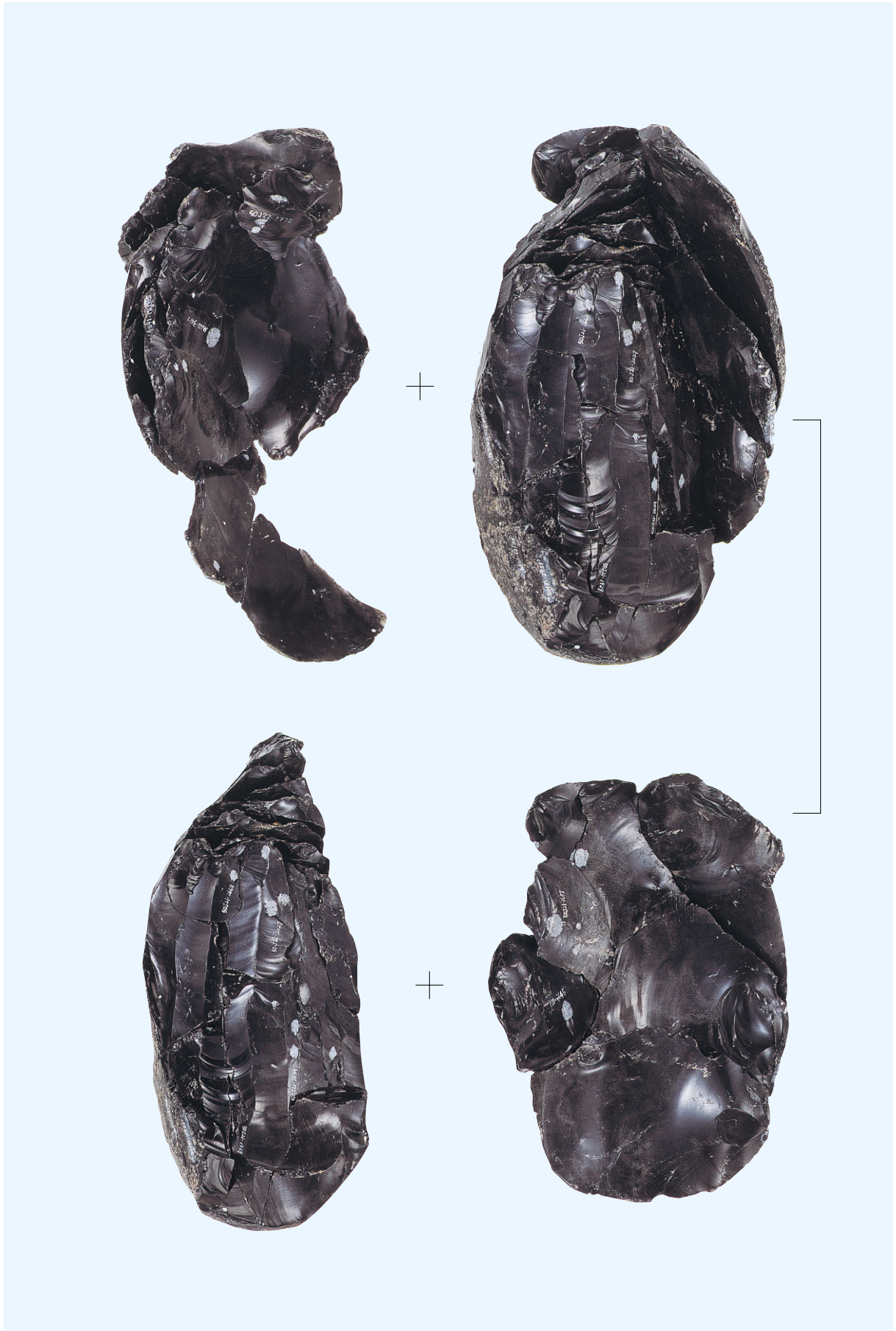
口絵14 奥白滝1遺跡(12)





口絵16 奥白滝1遺跡(14)





口絵18 奥白滝1遺跡(16)



Sb-22~25接合資料(2)(内側1/2、外側1/4)



Sb-22~25接合資料(3)(全体1/2、表・裏側1/4)

口絵20 奥白滝1遺跡(18)



Sb-31 ~ 36有舌尖頭器ほか(2 / 3)



口絵22 奥白滝 1 遺跡 (20)



Sb-38 ~ 44尖頭器 (2 / 3)



1 平成10年度調査状況(北西から)



2 Sb-5剥片(東から)

口絵24 上白滝5遺跡(2)



1 Sb-6 彫器ほか(南東から)



2 F-1、Sb-8 尖頭器ほか(南西から)



口絵26 上白滝5遺跡(4)



Sb-5 接合資料(1)(2/5)



口絵28 上白滝5遺跡(6)



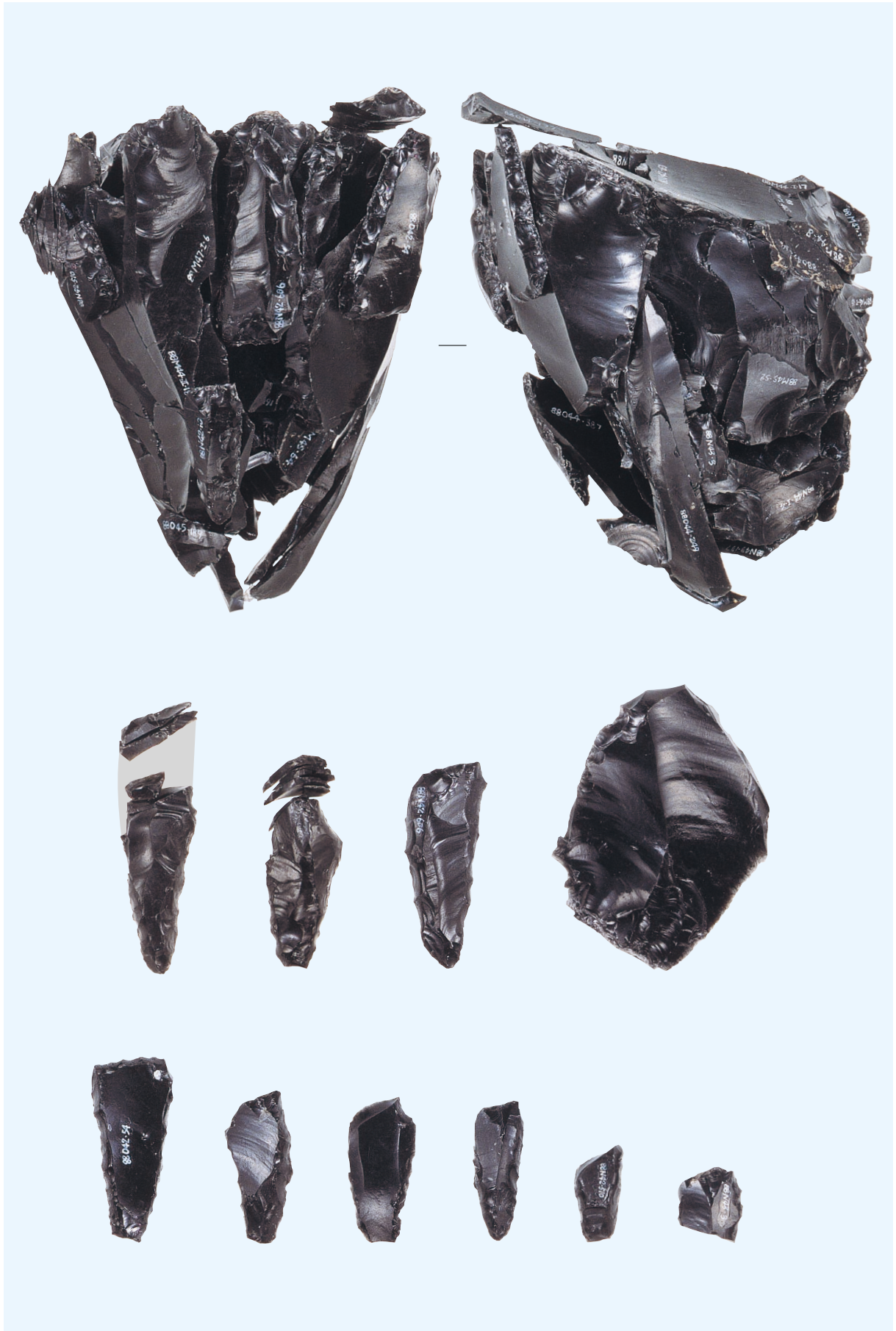
Sb-6 ~ 11尖頭器ほか(2 / 3)



口絵30 上白滝5遺跡(8)

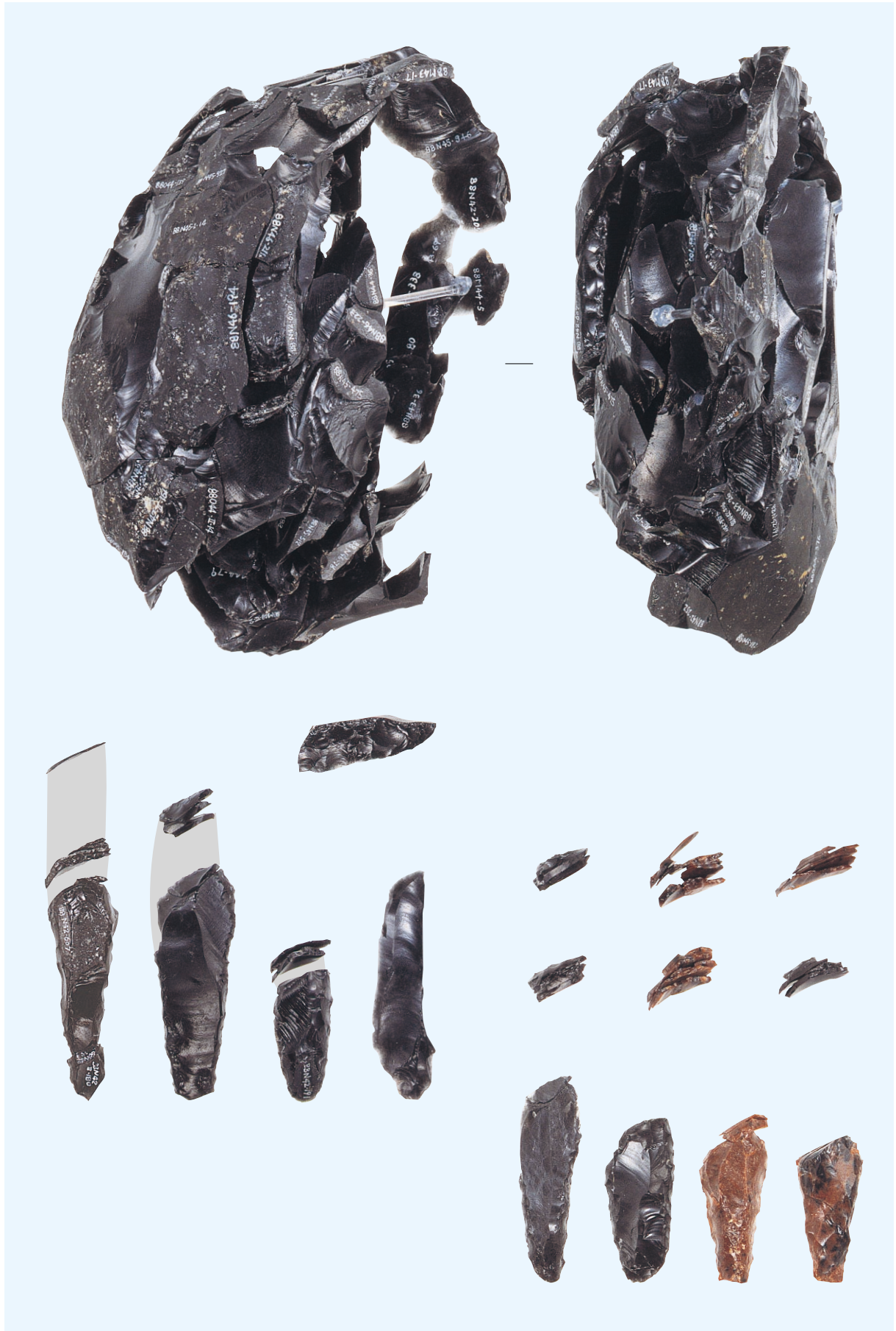


Sb-6~11接合資料(2)(1/3)



Sb-6~11接合資料(3)(3/4)

口絵32 上白滝5遺跡(10)



例 言

- 1 この報告書は、一般国道450号白滝村白滝道路改良工事に伴い、平成9・10年度に財団法人 北海道埋蔵文化財センターが実施した白滝村奥白滝（おくしらたき）1・上白滝（かみしらたき）5遺跡の埋蔵文化財発掘調査に関するものである。また、平成7～13年度に行った白滝遺跡群の奥白滝11・服部台2・奥白滝1・上白滝8・上白滝2・上白滝5・上白滝6・上白滝7・北支湧別4・白滝第30地点・白滝8・白滝18・白滝3・下白滝遺跡の調査概要も報告する。
- 2 平成7年度より行われている白滝遺跡群の調査の概要については、いくつかの機会に紹介しているが、奥白滝1・上白滝5遺跡に関しては、本書が優先する。
- 3 本書は第1分冊（本文編）第2分冊（石器実測・分布図編）第3分冊（写真図版編）の3冊で構成されている。第1分冊は、本文、自然科学的分析等、掲載遺物一覧表など、第2分冊は、各遺跡における石器群単位での石器実測図・石器ブロック分布図・接合資料実測図など、第3分冊は、遺跡単位での航空写真・調査状況・石器・接合資料などの順で構成されている。
- 4 第1分冊と第2分冊の挿図は通し番号である。
- 5 第2分冊で実測図を掲載した石器・接合資料は、基本的にすべて第3分冊の写真図版に掲載し、さらに接合資料に含まれる石器については、接合資料とともに縮小し再度掲載した。また、第3分冊の写真図版にのみ掲載した接合資料もある。
- 6 第2分冊の実測図番号と第3分冊の写真番号は同一である。実測図番号は、各遺跡の石器群単位で1から付けたが、その順番は、単体石器、接合資料、写真のみ掲載単体石器、写真のみ掲載接合資料の順である。
- 7 本書の作成は、第1調査部第3調査課で行ったが、編集は奥白滝1遺跡については直江康雄が、上白滝5遺跡については鈴木宏行が行い、全体を長沼 孝が調整した。整理作業・報告書作成作業は遺跡単位で進め、以下の担当において進めた。

奥白滝1遺跡：直江康雄

上白滝5遺跡：鈴木宏行

また、図版・挿図の作成担当、各章または節・項の執筆は以下のとおりである。

第1分冊（本文編）

口絵（カラー）：長沼 孝・鈴木宏行・直江康雄

章2・3、章1（5）・2・3、章1：直江康雄、

章4（5） 章1、章1・2・3、章2：鈴木宏行、

章1（7）：長沼 孝・直江康雄、章1～3・4（1）～（4）・（6）、

章4、章1（1）～（4）・（6）、章3：長沼 孝

第2分冊（石器実測・分布図編）

奥白滝1遺跡石器：直江康雄・長沼 孝

奥白滝1遺跡分布図・接合資料：直江康雄

上白滝5遺跡石器・分布図・接合資料：鈴木宏行

第3分冊（写真図版編）

奥白滝1遺跡調査状況・石器・接合資料：直江康雄・長沼 孝

上白滝5遺跡調査状況・石器・接合資料：鈴木宏行

- 8 作業の一部および年代測定・分析などは下記の機関または個人に依頼した。

現地測量・航空写真撮影およびデータ入力、遺物実測の一部など：(株)シン技術コンサル

遺物写真撮影：(有)写真事務所クリーク(佐藤雅彦)

接合資料ほか実測用写真撮影：小川忠博

放射性炭素年代測定：(株)地球科学研究所(章1)

堆積層の粒度・珪藻、堆積層中の花粉・植物珪酸体分析：パリノ・サーヴェイ株式会社(章2)

炭化木材の樹種同定：三野紀雄(章3)

黒曜石産地推定・水和層測定：(有)遺物分析研究所(藁科哲男)(章4)

碧玉製石器の産地推定：(有)遺物分析研究所(藁科哲男)(章5)

9 石器の石質は、担当者の判断によるが、一部については第1調査部第1調査課花岡正光が行った。また、肉眼的観察で、黒曜石は1～5に、碧玉は1～3に、安山岩は1・2に分けた。詳細は、記号等の説明を参照願いたい。

10 現地の写真撮影は、随時調査員が行い、航空写真・遺物は、前述の会社が行った。

11 出土遺物は、白滝村教育委員会が、写真・データなどの記録類は財団法人 北海道埋蔵文化財センターが保管している。

12 調査にあたっては、下記の機関および人びとの指導ならびに協力をえた。(順不同、敬称略)

文化庁、青森県立郷土館、岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、仙台市富沢遺跡保存館、東北福祉大学、(財)東京都埋蔵文化財センター、東京都立大学、明治大学考古学博物館、神奈川県立埋蔵文化財センター、(財)かながわ考古学財団、長野県埋蔵文化財センター、長門町教育委員会、野尻湖ナウマンゾウ博物館、朝日村教育委員会、津南町教育委員会、沼津市教育委員会、京都文化博物館、岡山理科大学、鹿児島県埋蔵文化財センター、熊本県教育委員会、福岡市埋蔵文化財センター、多久市教育委員会、北海道教育委員会、白滝村教育委員会、丸瀬布町教育委員会、遠軽町教育委員会、北見市北網圏文化センター、常呂町教育委員会、羅臼町教育委員会、釧路市埋蔵文化財調査センター、帯広百年記念館、名寄市北国博物館、下川町教育委員会、千歳市教育委員会、今金町教育委員会、市立函館博物館、知内町教育委員会、

岡村道雄、土肥 孝、平川一臣、中村有吾、林 謙作、木村英明、鶴丸俊明、吉崎昌一、長崎潤一、梶原 洋、柳田俊雄、佐川正敏、工藤雅樹、岡本東三、安斎正人、佐藤宏之、山田 哲、小野 昭、山田昌久、大沼克彦、阿部朝衛、安藤政雄、島田和高、野口 淳、山科 哲、加藤晋平、小林達雄、谷口康浩、亀田直美、西本豊弘、織笠 昭、藁科哲男、稲田孝司、小林博昭、富岡直人、小畑弘己、三宅徹也、大田原潤、丸山浩治、中川重紀、北村忠昭、須田良平、太田昭夫、斎野裕彦、会田容弘、渋谷孝雄、松沢亜生、小菅将夫、栗島義明、館野 孝、原川雄二、川島雅人、五十嵐彰、栗原伸好、大塚健一、吉田政行、砂田佳弘、輿水達司、大竹憲昭、大竹幸恵、堤 隆、須藤隆司、谷 和隆、中村由克、沢田 敦、小熊博史、山本 克、佐藤雅一、田中耕作、鈴木 暁、高橋保雄、鈴木忠司、高野 学、佐藤良二、西田昌弘、麻柄一志、田中寿夫、岩永雅彦、木崎康弘、宮田栄二、牛ノ濱修、肘岡隆夫、永野達郎、鎌田洋昭、山田悟郎、三野紀雄、松村愉文、太田敏量、北沢 実、山原敏朗、大矢義明、今井真二、氏家敏文、鈴木邦輝、涌坂周一、西 幸隆、石川 朗、高橋 理、出穂雅実、高倉 純、大島直行、寺崎康史、長谷部一弘、高橋豊彦

記号等の説明

- 1 調査区域図・遺跡全体の遺物分布図などの縮尺は、任意であるのですべてスケールを付けたが、発掘区の一辺は4 mであるので、目安としてもらいたい。
- 2 各石器ブロックの基本的な全遺物分布図の縮尺は、以下のようにしたが、器種別分布図、接合図、などは統一せず、スペースに応じた縮尺とした。いずれの場合も縮尺とスケールを示した。
奥白滝 1 1 : 150 上白滝 5 1 : 100 (Sb - 10・11は 1 : 150)
- 3 母岩別・接合資料の接合分布図の縮尺は、以下のようにしたが、いずれの場合も縮尺とスケールを示した。
奥白滝 1 1 : 200 上白滝 5 1 : 200 (一部 1 : 400)
- 4 遺物の縮尺は、実測図・写真とも、石器類は 1 : 2 としたが、一部大型の石器については 1 : 3 とした。接合資料および接合破片は、実測図・写真とも、奥白滝 1 遺跡のSb - 1 ~ 10については 1 : 2、その他は 1 : 3 とした。
- 5 一部の接合資料実測図においては、視覚的に図を理解し易くするために接合剥片の腹面側、接合資料中の内側部分などをトーンで示した部分がある。
- 6 尖頭器関連の接合資料の実測図においては、全体の状況を示すと同時に腹面側（内側）の状況の実測図を示したものもある。
- 7 接合資料の中で、剥片石器や石核の素材である剥片もしくは原石を分割したのものについては「個体 A」「個体 B」・・・、さらにそれらから剥離された剥片を素材にするものは「個体 a」「個体 b」・・・、分割されたもの場合は「個体 A - 1」「個体 A - 2」・・・と呼称した。
- 8 接合資料は、剥離工程を理解し易くするために模式図を作成し、実測図と共に掲載した。模式図は同一段階の剥離群毎にトーンを変え、剥離の流れを番号で示した。ただし、切り合い関係がなく、前後関係が明らかでないものにおいても便宜上番号を付けたので、詳細は個々の説明を参照願いたい。
- 9 剥離模式図の縮尺は任意である。模式図中の矢印（——▶）は接合剥片の剥離方向を示すが、接合剥片の打点側が欠損している場合は切れた矢印（—▶）、重なって見えない部分は破線の矢印（-----▶）で示した。また、素材剥離時の打撃点部分に ▶ を付けたものもある。
- 10 接合資料と共に掲載した接合破片（定形的な石器も含む）は基本的に剥離順番に並べてある。
- 11 尖頭器などの模式図においては、接合剥片に残存する打点の位置から、想定される輪郭を示したものもある。
- 12 調査区域図および遺物分布図など方位記号は平面直角座標の北を、レベルは標高（単位はm）を示す。
- 13 遺構や石器ブロックについては以下の略号を使用した場合がある。
Sb : 石器ブロック Cb : 炭化木片ブロック F : 赤色土（焼土）
- 14 遺物分布図では以下の記号を用いた。
● : 剥片 ● : 石刃 ● : 縦長剥片 + : 削片 ✦ : 細石刃
✕ : 細石刃核 ◆ : 舟底形石器 ▲ : 尖頭器 ◆ : 両面調整石器 ▲ : 彫器
■ : 搔器 ◆ : 錐形石器 ▼ : 削器 ▼ : 二次加工ある剥片
⊠ : 石核 ⊠ : 石刃核 △ : 石鏃・石刃鏃
□ : 礫石器等（斧形石器・敲石・砥石・台石・原石・礫）

- 15 石器ブロックの全遺物分布図については剥片を網点で示した。また、接合図、母岩別・接合資料分布図においても、全体の遺物を網点で示したものもある。
- 16 挿図中の番号は、石器群ごとに単体石器、接合資料、写真のみ掲載接合資料の順で1から付けた。また、接合破片として接合資料のところに示した場合は、単体石器で付した番号を付けている。
- 17 遺物分布図の記号横の数字は、遺物番号を示している。また、分布図中の縮小した遺物実測図横の数字は挿図中の番号で、さらに出土発掘区・遺物番号を同時に表示したものもある。
- 18 石器ブロック接合分布図の接合線は、剥離順番を示すものではなく、遺物番号の若い順番に機械的に結んだものである。
- 19 接合資料の接合分布図では、折れ面接合をすべて実線で示した。また、個体や段階などを示す場合に破線で示したものもある。
- 20 石質は掲載遺物の一覧表に示したが、黒曜石については、以下の5種類に分けて示した。
黒曜石1：黒色　黒曜石2：梨肌（黒色）　黒曜石3：黒色に茶色が混じる（黒＞茶）
黒曜石4：茶色に黒色が混じる（茶＞黒）
黒曜石5：黒色に紫がかった茶色が混じる（黒＞紫・茶）
ただし、黒曜石2の梨肌で、黒曜石5の特徴があるものについては、黒曜石2の5という形で表現する。この分類は、破片の状態での観察なので、同一母岩でも2種類の特徴がみられる場合もある。
接合資料の一覧表では、スペースの関係で、上記の黒曜石1～5についてそれぞれを1～5の数字のみで示した。
碧玉については、色調から濃緑色の1、赤色の2、褐～褐黄色の3とした。
安山岩については、主に剥片石器に利用される緻密で玄武岩質のものを安山岩1、主に台石や敲石などに利用される輝石安山岩などのものを安山岩2とした。
珪質頁岩は泥岩質の頁岩と区別するために使用したもので、硬質頁岩や凝灰岩質のものなどを含んでいる。原産地を考慮した細分は今後の課題である。
- 21 黒曜石以外の石質については、実測図番号の下に以下の略号で示した。
珪質頁岩：Si - Sh　めのう：Ag　碧玉：Ja　珪岩：Qu　安山岩：An
緑色泥岩：Gr - Mu　凝灰岩：Tu　片岩：Sch　粘板岩：Sl　砂岩：Sa

写真図版の説明

- 1 写真図版は、遺跡別に奥白滝1遺跡、上白滝5遺跡の順で掲載した。
- 2 掲載順は、空中写真、調査状況、炭化木片ブロック等、石器ブロック別遺物出土状況、出土遺物である。
- 3 挿図に掲載した遺物は、すべて写真を掲載している。また、写真のみ掲載した接合資料、接合破片もある。
- 4 出土遺物は、石器群毎に単体石器、接合資料の順で掲載し、番号は挿図中の番号と一致している。接合資料は基本的に挿図の掲載順としたが、割り付けの関係で、前後することや、写真のみの掲載資料が組み合わされている場合がある。挿図とは番号で照合していただきたい。
- 5 尖頭器関連の接合資料の中には、主に調整剥片などが接合したものがあり、全体の接合状況と大きく二つに分けた正面側と裏面側をそれぞれ別に示したものがある。その場合、正面側をa、裏面側をbとした。
- 6 写真の縮尺は、単体石器は1：2であるが、一部大型のものについては1：3とした。接合資料および接合破片は、奥白滝1遺跡のSb - 1～10については1：2、その他は1：3とした。
- 7 接合資料の写真は、実測図作成用として90°展開の台に固定し、破片の輪郭や剥離面が明確になるようなライティングでストロボ撮影したものを1：2にプリントした。したがって、各面の誤差はないが、単体石器や接合破片とは若干異なった写真となっている。また、撮影時の固定具などがみられることがあるので、注意願いたい。
- 8 単体石器は通常の俯瞰撮影なので、正面と裏面では若干の誤差を生じていることがある。また、接合資料の写真とも若干異なっていることがある。

目 次

第 1 分冊 (本文編)

口絵 (カラー図版)

例言・記号等の説明・写真図版の説明

目次・第 1 分冊挿図目次・第 1 分冊表目次・第 2 分冊挿図目次抜粋・第 3 分冊目次抜粋

調査の概要	1
1 調査要項	1
2 調査体制	2
3 調査に至る経過	3
4 調査概要	4
(1) 発掘区の設定	4
(2) 調査の方法	6
(3) 整理の方法	7
(4) 報告書の作成	8
(5) 遺構・遺物の分類	9
(6) 調査結果の概要	15
遺跡の位置と周辺の環境	37
1 遺跡の位置と周辺の遺跡	37
2 遺跡周辺の地形と地質	37
3 基本土層	42
4 黒曜石の原石山・赤石山	44
奥白滝 1 遺跡の調査	47
1 調査の概要	47
(1) 調査要項	47
(2) 調査体制	47
(3) 調査日誌抄	48
(4) 発掘区の設定	51
(5) 土層	52
(6) 調査の方法	56
(7) 整理の方法	61
(8) 調査結果の概要	63
2 遺構と遺物	64
(1) 炭化木片ブロック	66
(2) 遺物分布と石器ブロック・石器群	72
(3) 石器ブロック 1 ~ 3 (Sb - 1 ~ 3) の石器	103
出土石器	103
分布・接合状況	105
母岩別資料	105
(4) 石器ブロック 4 ~ 6 (Sb - 4 ~ 6) の石器	107
出土石器	107

	分布・接合状況	109
	母岩別資料	110
(5)	Sb - 1～6石器ブロック外の石器	114
	出土石器	114
	分布	115
(6)	石器ブロック7～10 (Sb - 7～10) の石器	115
	出土石器	115
	分布・接合状況	118
	母岩別資料	119
(7)	石器ブロック11・12 (Sb - 11・12) の石器	133
	出土石器	133
	分布・接合状況	134
	母岩別資料	134
(8)	石器ブロック13 (Sb - 13) の石器	136
	出土石器	136
	分布・接合状況	137
(9)	石器ブロック14 (Sb - 14) の石器	137
	出土石器	137
	分布・接合状況	137
(10)	石器ブロック15～21 (Sb - 15～21) の石器	138
	出土石器	138
	分布・接合状況	141
	母岩別資料	142
(11)	石器ブロック22～25 (Sb - 22～25) の石器	148
	出土石器	148
	分布・接合状況	149
	母岩別資料	150
(12)	石器ブロック26～30 (Sb - 26～30) の石器	155
	出土石器	155
	分布・接合状況	156
	母岩別資料	157
(13)	石器ブロック31～36 (Sb - 31～36) の石器	163
	出土石器	163
	分布・接合状況	165
	母岩別資料	166
(14)	石器ブロック37 (Sb - 37) の石器	168
	出土石器	168
	分布・接合状況	168
	母岩別資料	168
(15)	石器ブロック38～44 (Sb - 38～44) の石器	169

出土石器	169
分布・接合状況	174
母岩別資料	176
(16) 石器ブロック外の石器	183
出土石器	183
上白滝5遺跡の調査	185
1 調査の概要	185
(1) 調査要項	185
(2) 調査体制	185
(3) 調査日誌抄	186
(4) 発掘区の設定	188
(5) 土層	190
(6) 調査の方法	190
(7) 整理の方法	195
(8) 調査結果の概要	197
2 遺構と遺物	199
(1) 赤色土	199
(2) 炭化木片ブロック	202
(3) 遺物分布と石器ブロック・石器群	202
(4) 石器ブロック1 (Sb - 1) の石器	213
出土石器	213
分布・接合状況	213
(5) 石器ブロック2 (Sb - 2) の石器	213
出土石器	213
分布・接合状況	214
母岩別資料	214
(6) 石器ブロック3 (Sb - 3) の石器	214
出土石器	214
分布・接合状況	214
母岩別資料	215
(7) 石器ブロック4 (Sb - 4) の石器	215
出土石器	215
分布・接合状況	215
(8) 石器ブロック5 (Sb - 5) の石器	215
出土石器	215
分布・接合状況	217
母岩別資料	217
(9) 石器ブロック6～11 (Sb - 6～11) の石器	229
出土石器	229
分布・接合状況	235

母岩別資料	237
(10) 石器ブロック12 (Sb - 12) の石器	259
出土石器	259
分布	259
(11) 石器ブロック外の石器	259
出土石器	259
分布	259
自然科学的分析等	261
1 放射性炭素年代測定	261
2 奥白滝1・上白滝5 遺跡における堆積層・古植生の検討	265
3 白滝遺跡群の旧石器文化層から検出された炭化材	289
4 奥白滝1・上白滝5・北支湧別4 遺跡出土の黒曜石製石器の 原材産地分析および非破壊分析による水和層の測定	295
5 奥白滝1 遺跡出土の碧玉製石器、剥片の産地分析	317
まとめ	329
1 奥白滝1 遺跡について	329
(1) 石器ブロック1～3 (Sb - 1～3)	329
(2) 石器ブロック4～6 (Sb - 4～6)	330
(3) 石器ブロック7～10 (Sb - 7～10)	332
(4) 石器ブロック11～12 (Sb - 11～12)	334
(5) 石器ブロック13 (Sb - 13)	336
(6) 石器ブロック14 (Sb - 14)	336
(7) 石器ブロック15～21 (Sb - 15～21)	338
(8) 石器ブロック22～25 (Sb - 22～25)	340
(9) 石器ブロック26～30 (Sb - 26～30)	342
(10) 石器ブロック31～36 (Sb - 31～36)	342
(11) 石器ブロック37 (Sb - 37)	344
(12) 石器ブロック38～44 (Sb - 38～44)	346
2 上白滝5 遺跡について	348
(1) 石器ブロック2 (Sb - 2)	348
(2) 石器ブロック3 (Sb - 3)	348
(3) 石器ブロック5 (Sb - 5)	349
(4) 石器ブロック6～11 (Sb - 6～11)	359
(5) 石器ブロック12 (Sb - 12)	375
3 自然科学的分析と石器群についての若干のコメント	375
(1) 古環境復元について	375
(2) 黒曜石製石器の産地分析と水和層分析について	378
(3) 碧玉製石器の産地分析について	386
(4) 奥白滝1・上白滝5 遺跡の石器群・石器ブロックについて	386

引用文献	390
掲載遺物一覧	393

第1分冊(本文編)挿図目次

調査の概要	
図 - 1 ルート変更図	5
図 - 2 器種分類(1)	10
図 - 3 器種分類(2)	11
図 - 4 器種分類(3)	12
図 - 5 器種分類(4)・計測の基準	13
図 - 6 白滝遺跡群調査区域図	19
図 - 7 奥白滝11・服部台2遺跡調査区域・遺物分布図	20
図 - 8 奥白滝1遺跡調査区域・遺物分布図	21
図 - 9 上白滝8遺跡調査区域・遺物分布図	23
図 - 10 上白滝2・上白滝5遺跡調査区域・遺物分布図	25
図 - 11 上白滝6遺跡調査区域・遺物分布図	26
図 - 12 上白滝7・北支湧別4遺跡調査区域・遺物分布図	27
図 - 13 白滝第30地点・白滝8遺跡調査区域・遺物分布図	29
図 - 14 白滝18遺跡調査区域・遺物分布図	30
図 - 15 白滝3・下白滝遺跡調査区域・遺物分布図	31
図 - 16 白滝遺跡群出土石器(1)	34
図 - 17 白滝遺跡群出土石器(2)	35
遺跡の位置と周辺の環境	
図 - 1 白滝村の位置と村内の遺跡	38
図 - 2 奥白滝1・上白滝5遺跡の位置と周辺の遺跡	39
図 - 3 段丘面分布図	41
図 - 4 基本土層図	43
図 - 5 調査遺跡・黒曜石露頭位置図	45
奥白滝1遺跡の調査	
図 - 1 調査範囲・周辺の地形図	52
図 - 2 発掘区設定図	53
図 - 3 土層概略図(1)	54
図 - 4 土層概略図(2)	55
図 - 5 土層断面図(1)	57
図 - 6 土層断面図(2)	58
図 - 7 土層断面図(3)	59
図 - 8 土層断面図(4)	60
図 - 9 調査範囲・調査区域地形図	62
図 - 10 炭化木片ブロックの平面・断面図(1)	68
図 - 11 炭化木片ブロックの平面・断面図(2)	69
図 - 12 炭化木片ブロックの平面・断面図(3)	71
図 - 13 炭化木片ブロックの平面・断面図(4)	73
図 - 14 遺物分布図	77
図 - 15 遺物点数・密度分布図 (点/m ² ・10点単位)	80
図 - 16 遺物分布・接合図	81
図 - 17 石器ブロック設定図(1)	82
図 - 18 石器ブロック設定図(2)	83
図 - 19 器種・石材別分布図(1)	85
図 - 20 器種・石材別分布図(2)	86
図 - 21 器種・石材別分布図(3)	89
図 - 22 器種・石材別分布図(4)	90
図 - 23 器種・石材別分布図(5)	91
図 - 24 器種・石材別分布図(6)	92
図 - 25 器種・石材別分布図(7)	93
図 - 26 器種・石材別分布図(8)	94
図 - 27 器種・石材別分布図(9)	95
図 - 28 器種・石材別分布図(10)	96
図 - 29 器種・石材別分布図(11)	97
図 - 30 器種・石材別分布図(12)	98
図 - 31 器種・石材別分布図(13)	99
図 - 32 器種・石材別分布図(14)	100
図 - 33 器種・石材別分布図(15)	101
図 - 34 器種・石材別分布図(16)	102
上白滝5遺跡の調査	
図 - 1 調査範囲・発掘区設定図	189
図 - 2 土層概略図	191
図 - 3 土層断面図(1)	192
図 - 4 土層断面図(2)	193
図 - 5 土層断面図(3)	194
図 - 6 調査範囲・調査区域地形図	196
図 - 7 赤色土の平面・断面図(1)	200
図 - 8 赤色土の平面・断面図(2)、炭化木片ブロックの平面・断面図	201
図 - 9 遺物分布・接合分布・石器ブロック設定図	204
図 - 10 遺物点数・密度分布図 (点/m ² ・10点単位)	205
図 - 11 器種・石材別分布図(1)	208
図 - 12 器種・石材別分布図(2)	209
図 - 13 器種・石材別分布図(3)	210
図 - 14 器種・石材別分布図(4)	211

図 - 15	器種・石材別分布図 ⁽⁵⁾	212	図 - 2	奥白滝 1 遺跡石器群別石器組成・接合資料 ⁽²⁾	333
自然科学的分析等					
図 - 1	奥白滝 1 遺跡サンプル採取地点と各地点の柱状図	266	図 - 3	奥白滝 1 遺跡石器群別石器組成・接合資料 ⁽³⁾	335
図 - 2	奥白滝 1 遺跡 N 5 区北壁の粒径加積曲線	268	図 - 4	奥白滝 1 遺跡石器群別石器組成・接合資料 ⁽⁴⁾	337
図 - 3	奥白滝 1 遺跡 J 14 区北壁西側の粒径加積曲線 ⁽¹⁾	271	図 - 5	奥白滝 1 遺跡石器群別石器組成・接合資料 ⁽⁵⁾	339
図 - 4	奥白滝 1 遺跡 J 14 区北壁西側の粒径加積曲線 ⁽²⁾	272	図 - 6	奥白滝 1 遺跡石器群別石器組成・接合資料 ⁽⁶⁾	341
図 - 5	奥白滝 1 遺跡 N 5 区北壁の花粉化石組成	274	図 - 7	奥白滝 1 遺跡石器群別石器組成・接合資料 ⁽⁷⁾	343
図 - 6	奥白滝 1 遺跡 N 5 区北壁の植物珪酸体組成	275	図 - 8	奥白滝 1 遺跡石器群別石器組成・接合資料 ⁽⁸⁾	345
図 - 7	上白滝 5 遺跡サンプル採取地点と各地点の柱状図	278	図 - 9	奥白滝 1 遺跡石器群別石器組成・接合資料 ⁽⁹⁾	347
図 - 8	上白滝 5 遺跡の粒径加積曲線	280	図 - 10	Sb - 5 尖頭器製作接合資料の搬入・搬出形態と搬出サイズ	350
図 - 9	上白滝 5 遺跡各試料における珪藻化石群集	282	図 - 11	Sb - 5 尖頭器サイズと剥片素材尖頭器接合資料	351
図 - 10	奥白滝 1 遺跡の珪藻化石・植物珪酸体	286	図 - 12	Sb - 5 搬入尖頭器・素材サイズ	352
図 - 11	奥白滝 1 遺跡の花粉化石	287	図 - 13	Sb - 5 搬出尖頭器サイズ	352
図 - 12	上白滝 5 遺跡の珪藻化石・植物珪酸体	288	図 - 14	Sb - 5 尖頭器長さ・幅	352
図 - 13	奥白滝 1 遺跡の樹種同定を行った炭化木片ブロック	290	図 - 15	Sb - 5 尖頭器幅・厚さ	352
図 - 14	炭化材の木材組織 ⁽¹⁾	292	図 - 16	Sb - 5 石刃剥離母岩別資料 ⁽¹⁾	354
図 - 15	炭化材の木材組織 ⁽²⁾	293	図 - 17	Sb - 5 石刃剥離母岩別資料 ⁽²⁾	355
図 - 16	炭化材の木材組織 ⁽³⁾	294	図 - 18	Sb - 5 石刃剥離母岩別資料 ⁽³⁾	356
図 - 17	黒曜石原産地	301	図 - 19	Sb - 6 ~ 11 尖頭器製作接合資料の搬入・搬出形態と尖頭器	358
図 - 18	産地分析・水和層測定試料 ⁽¹⁾	310	図 - 20	Sb - 6 ~ 11 尖頭器幅	359
図 - 19	産地分析・水和層測定試料 ⁽²⁾	311	図 - 21	Sb - 6 ~ 11 尖頭器厚さ	359
図 - 20	産地分析・水和層測定試料 ⁽³⁾	312	図 - 22	Sb - 6 ~ 11 尖頭器長さ・幅	359
図 - 21	産地分析・水和層測定試料 ⁽⁴⁾	313	図 - 23	Sb - 6 ~ 11 尖頭器幅・厚さ	359
図 - 22	産地分析・水和層測定試料 ⁽⁵⁾	314	図 - 24	Sb - 6 ~ 11 尖頭器形態変化と搬入・搬出形態	359
図 - 23	産地分析・水和層測定試料 ⁽⁶⁾	315	図 - 25	Sb - 6 ~ 11 剥片剥離母岩別資料 ⁽¹⁾	361
図 - 24	産地分析・水和層測定試料 ⁽⁷⁾	316	図 - 26	Sb - 6 ~ 11 剥片剥離母岩別資料 ⁽²⁾	362
図 - 25	花仙山産碧玉・原石の蛍光X線スペクトル	320	図 - 27	Sb - 6 ~ 11 剥片剥離母岩別資料 ⁽³⁾	363
図 - 26	碧玉および碧玉様緑色石の原産地	320	図 - 28	Sb - 6 ~ 11 剥片剥離母岩別資料 ⁽⁴⁾	364
図 - 27	奥白滝 1 遺跡出土遺物の蛍光X線スペクトル	322	図 - 29	Sb - 6 ~ 11 彫器 類	366
図 - 28	奥白滝 1 遺跡出土遺物、碧玉原石の蛍光X線スペクトル	323	図 - 30	Sb - 6 ~ 11 彫器製作・彫刀面再生模式図	366
図 - 29	碧玉原石のESRスペクトル(花仙山・玉谷・猿八・土岐)	324	図 - 31	Sb - 6 ~ 11 彫器 類	367
図 - 30	碧玉原石の信号()のESRスペクトル	325	図 - 32	Sb - 6 ~ 11 彫刀面傾斜角	369
図 - 31	奥白滝 1 遺跡出土碧玉製剥片の信号()のESRスペクトル	326	図 - 33	Sb - 6 ~ 11 彫刀面打面と素材腹面のなす角	369
図 - 32	産地分析碧玉製石器	327	図 - 34	Sb - 6 ~ 11 形態軸・彫刀面交叉角	369
まとめ					
図 - 1	奥白滝 1 遺跡石器群別石器組成・接合資料 ⁽¹⁾	331	図 - 35	Sb - 6 ~ 11 彫器形態変化と搬入・搬出形態	369

図 - 36	Sb - 6 ~ 11舟底形石器	370	図 - 44	Sb - 6 ~ 11遺跡構造	373
図 - 37	Sb - 6 ~ 11舟底形石器長さ	371	図 - 45	奥白滝1遺跡遺物分布図、礫の配列、斜面方向、重量別遺物割合	377
図 - 38	Sb - 6 ~ 11舟底形石器高さ	371	図 - 46	奥白滝1遺跡Sb - 7 ~ 10重量別遺物分布図	379
図 - 39	Sb - 6 ~ 11舟底形石器幅	371	図 - 47	奥白滝1遺跡Sb - 12重量別遺物分布図	380
図 - 40	Sb - 6 ~ 11舟底形石器高さ・幅	371	図 - 48	奥白滝1遺跡Sb - 25重量別遺物分布図	381
図 - 41	Sb - 6 ~ 11舟底形石器長さ・高さ	371	図 - 49	奥白滝1遺跡Sb - 36重量別遺物分布図	382
図 - 42	Sb - 6 ~ 11舟底形石器形態変化と搬入・搬出形態	371	図 - 50	奥白滝1遺跡Sb - 43重量別遺物分布図	383
図 - 43	Sb - 5、6 ~ 11石材消費形態	373			

第1分冊(本文編)表目次

調査の概要		表 - 11	樹種同定の根拠とした木材組織の特徴	289	
表 - 1	白滝遺跡群遺跡・調査年別面積一覧	17	表 - 12	白滝遺跡群出土の炭化材の樹種同定	291
表 - 2	白滝遺跡群遺跡別出土点数等一覧	17	表 - 13	各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(1)	297
遺跡の位置と周辺の環境		表 - 14	各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(2)	298	
表 - 1	白滝村の遺跡一覧	39	表 - 15	各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(3)	299
奥白滝1遺跡の調査		表 - 16	奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果(1)	301	
表 - 1	奥白滝1遺跡出土遺物点数・重量一覧	65	表 - 17	奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果(2)	302
表 - 2	奥白滝1遺跡出土遺物石質別一覧	65	表 - 18	奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果(3)	303
表 - 3	奥白滝1遺跡炭化木片ブロック一覧	67	表 - 19	奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土黒曜石製石器、剥片の原産地推定結果(1)	304
表 - 4	奥白滝1遺跡出土点取り遺物ブロック・石質別一覧(1)	74	表 - 20	奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土黒曜石製石器、剥片の原産地推定結果(2)	305
表 - 5	奥白滝1遺跡出土点取り遺物ブロック・石質別一覧(2)	75	表 - 21	奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土黒曜石製石器、剥片の水和層厚測定結果(1)	306
表 - 6	奥白滝1遺跡出土点取り遺物ブロック・石質別一覧(3)	76	表 - 22	奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土黒曜石製石器、剥片の水和層厚測定結果(2)	307
表 - 7	奥白滝1遺跡出土原礫面残存・被熱石器一覧	79	表 - 23	各碧玉の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値	319
上白滝5遺跡の調査		表 - 24	各原産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群の元素比の平均値と標準偏差値	319	
表 - 1	上白滝5遺跡出土遺物点数・重量一覧	198	表 - 25	奥白滝1遺跡出土碧玉製石器・剥片の分析結果	321
表 - 2	上白滝5遺跡出土遺物石質別一覧	198	表 - 26	奥白滝1遺跡出土碧玉製石器・剥片の産地推定結果	321
表 - 3	上白滝5遺跡炭化木片ブロック一覧	202	表 1	奥白滝1遺跡掲載石器一覧	393
表 - 4	上白滝5遺跡出土点取り遺物ブロック・石質別一覧	203	表 2	奥白滝1遺跡掲載接合資料一覧	418
表 - 5	上白滝5遺跡出土原礫面残存・被熱石器一覧	213			
自然科学的分析等					
表 - 1	放射性炭素年代測定一覧	264			
表 - 2	奥白滝1遺跡の粒径組成	267			
表 - 3	奥白滝1遺跡の粒径組成解析結果	267			
表 - 4	奥白滝1遺跡の珪藻分析結果	273			
表 - 5	奥白滝1遺跡N5区北壁の花粉分析結果	274			
表 - 6	奥白滝1遺跡の植物珪酸体分析結果	275			
表 - 7	上白滝5遺跡の粒径組成	279			
表 - 8	上白滝5遺跡の粒径組成解析結果	279			
表 - 9	上白滝5遺跡の珪藻分析結果	281			
表 - 10	上白滝5遺跡の植物珪酸体分析結果	283			

第2分冊 (石器実測・分布図編) 挿図目次抜粋

奥白滝1遺跡の調査

図 - 35~37	Sb - 1~3の石器	1
図 - 38~43	Sb - 1~3の分布・接合図	4
図 - 44~49	Sb - 1~3の接合資料	10
図 - 50~58	Sb - 4~6の石器	16
図 - 59~66	Sb - 4~6の分布・接合図	25
図 - 67~94	Sb - 4~6の接合資料	33
図 - 95	Sb - 1~6石器ブロック外の石器、 分布図	61
図 - 96~114	Sb - 7~10の石器	62
図 - 115~123	Sb - 7~10の分布・接合図	81
図 - 124~185	Sb - 7~10の接合資料	90
図 - 186~191	Sb - 11・12の石器	152
図 - 192~196	Sb - 11・12の分布・接合図	158
図 - 197~203	Sb - 11・12の接合資料	163
図 - 204・205	Sb - 13、Sb - 14の石器	170
図 - 206~208	Sb - 13、Sb - 14の分布・接合図	172
図 - 209~223	Sb - 15~21の石器	175
図 - 224~232	Sb - 15~21の分布・接合図	190
図 - 233~257	Sb - 15~21の接合資料	199
図 - 258~263	Sb - 22~25の石器	224
図 - 264~266	Sb - 22~25の分布・接合図	230
図 - 267~288	Sb - 22~25の接合資料	233
図 - 289~294	Sb - 26~30の石器	255
図 - 295~300	Sb - 26~30の分布・接合図	261
図 - 301~321	Sb - 26~30の接合資料	267

図 - 322~328	Sb - 31~36の石器	288
図 - 329~337	Sb - 31~36の分布・接合図	295
図 - 338~345	Sb - 31~36の接合資料	304
図 - 346	Sb - 37の石器	312
図 - 347	Sb - 37の分布・接合図	313
図 - 348	Sb - 37の接合資料	314
図 - 349~379	Sb - 38~44の石器	315
図 - 380~400	Sb - 38~44の分布・接合図	346
図 - 401~424	Sb - 38~44の接合資料	367
図 - 425~427	石器ブロック外の石器	391
図 - 428~430	石器ブロック外の分布図	394

上白滝5遺跡の調査

図 - 16	Sb - 2の石器、Sb - 1・2の分布・ 接合図	397
図 - 17	Sb - 2の接合資料	398
図 - 18	Sb - 3・4の分布・接合図	399
図 - 19	Sb - 3の接合資料	400
図 - 20~30	Sb - 5の石器	401
図 - 31~34	Sb - 5の分布・接合図	412
図 - 35~77	Sb - 5の接合資料	416
図 - 78~96	Sb - 6~11の石器	459
図 - 97~110	Sb - 6~11の分布・接合図	478
図 - 111~151	Sb - 6~11の接合資料	492
図 - 152	Sb - 12の石器、分布・接合図	533
図 - 153	石器ブロック外の石器、分布図	534

第3分冊 (写真図版) 目次抜粋

奥白滝1遺跡の調査

図版1・2	空中写真
図版3~7	調査状況・平成9年
図版8~11	調査状況・平成10年
図版12	土層断面
図版13~15	炭化木片ブロック
図版16	Sb - 1~3の調査・遺物
図版17	Sb - 3の調査・遺物
図版18	Sb - 6の調査・遺物
図版19	Sb - 7の調査・遺物
図版20~22	Sb - 8の調査・遺物
図版23	Sb - 9・10の調査・遺物
図版24	Sb - 11・12の調査・遺物
図版25	Sb - 12・13の調査・遺物
図版26	Sb - 14・15の調査・遺物
図版27・28	Sb - 21の調査・遺物

図版29	Sb - 21・24の調査・遺物
図版30~32	Sb - 25の調査・遺物
図版33	Sb - 26~28の調査・遺物
図版34	Sb - 28・29・34の調査・遺物
図版35	Sb - 36・37の調査・遺物
図版36・37	Sb - 38の調査・遺物
図版38	Sb - 39の調査・遺物
図版39~43	Sb - 40の調査・遺物
図版44	Sb - 41の調査・遺物
図版45・46	Sb - 43の調査・遺物
図版47・49	Sb - 44の調査・遺物
図版50	Sb - 44・石器ブロック外の調査・遺物
図版51~56	Sb - 1~3の石器
図版57~82	Sb - 4~6の石器
図版83~133	Sb - 7~10の石器

図版134～142	Sb - 11・12の石器	図版297・298	Sb - 5の調査・遺物
図版143	Sb - 13、Sb - 14の石器	図版299	Sb - 6の調査・遺物
図版144～170	Sb - 15～21の石器	図版300	Sb - 6・7の調査・遺物
図版171～199	Sb - 22～25の石器	図版301	Sb - 7・8の調査・遺物
図版200～223	Sb - 26～30の石器	図版302	Sb - 8の調査・遺物
図版224～238	Sb - 31～36の石器	図版303	Sb - 9の調査・遺物
図版239	Sb - 37の石器	図版304	Sb - 9・10の調査・遺物
図版240～284	Sb - 38～44の石器	図版305	Sb - 11の調査・遺物
図版285・286	石器ブロック外の石器	図版306	Sb - 11・12の調査・遺物
上白滝5遺跡の調査		図版307	Sb - 2、Sb - 3の石器
図版287	空中写真	図版308～343	Sb - 5の石器
図版288～291	調査状況	図版344～381	Sb - 6～11の石器
図版292	土層断面	図版382	Sb - 6～11の石器、Sb - 12の石器、 石器ブロック外の石器
図版293～295	赤色土		
図版296	Sb - 2～4の調査・遺物		

調査の概要

1 調査要項

事業名 一般国道450号白滝丸瀬布道路工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（平成13年度）

委託者 国土交通省北海道開発局網走開発建設部

受託者 財団法人北海道埋蔵文化財センター

遺跡名・所在地・調査面積・調査期間

調査年度	遺跡名	道教委登録番号	所在地	調査面積	調査期間(現地調査)
平成7年度	上白滝8	I - 20 - 91	紋別郡白滝村字上白滝179-1,181	6,600	平成7年4月17日～平成8年3月25日 (平成7年5月8日～10月25日)
平成8年度	上白滝8	I - 20 - 91	紋別郡白滝村字上白滝179-1,181-2,181-3	10,212	平成8年4月11日～平成9年3月31日 (平成8年5月8日～10月30日)
	上白滝2	I - 20 - 48	紋別郡白滝村字上白滝177-2,177-3	2,995	
小計				13,207	
平成9年度	奥白滝1	I - 20 - 50	紋別郡白滝村字上白滝183-5	5,340	平成9年4月11日～平成10年3月31日 (平成9年5月6日～10月25日)
	上白滝8	I - 20 - 91	紋別郡白滝村字上白滝181-4,182-3	320	
	上白滝2	I - 20 - 48	紋別郡白滝村字上白滝176-2,177-3	3,930	
	上白滝5	I - 20 - 88	紋別郡白滝村字上白滝123-3	3,728	
	上白滝7	I - 20 - 90	紋別郡白滝村字上白滝219-3	7,443	
小計				20,761	
平成10年度	服部台2	I - 20 - 13	紋別郡白滝村字奥白滝18-3	3,812	平成10年4月10日～平成11年3月31日 (平成10年5月6日～10月24日)
	奥白滝1	I - 20 - 50	紋別郡白滝村字上白滝183-5	2,067	
	上白滝5	I - 20 - 88	紋別郡白滝村字上白滝123-3	4,132	
	上白滝6	I - 20 - 89	紋別郡白滝村字上白滝123-3,122-3	6,953	
	上白滝7	I - 20 - 90	紋別郡白滝村字上白滝219-3	5,150	
	上白滝8	I - 20 - 91	紋別郡白滝村字上白滝181-4,182-3	56	
	北支湧別4	I - 20 - 67	紋別郡白滝村字北支湧別97-1	5,472	
小計				27,642	
平成11年度	奥白滝11	I - 20 - 65	紋別郡白滝村字奥白滝52-5	505	平成11年4月1日～平成12年3月31日 (平成11年5月6日～7月4日)
	服部台2	I - 20 - 13	紋別郡白滝村字奥白滝18-3	2,002	
小計				2,507	
平成12年度	服部台2	I - 20 - 13	紋別郡白滝村字奥白滝18-3	877	平成12年4月3日～平成13年3月30日 (平成12年5月8日～10月27日)
	奥白滝1	I - 20 - 50	紋別郡白滝村字上白滝183-2	345	
	上白滝8	I - 20 - 91	紋別郡白滝村字上白滝182-2	661	
	白滝第30地点	I - 20 - 6	紋別郡白滝村字白滝382-4	636	
	白滝8	I - 20 - 58	紋別郡白滝村字白滝146-1,146-2	834	
	白滝18	I - 20 - 92	紋別郡白滝村字白滝145,139-1	2,600	
小計				5,953	
平成13年度	上白滝6	I - 20 - 89	紋別郡白滝村字上白滝123	670	平成13年4月2日～平成14年3月29日 (平成13年7月16日～9月14日)
	白滝3	I - 20 - 36	紋別郡白滝村字白滝106ほか	2,900	
	下白滝	I - 20 - 23	紋別郡白滝村字下白滝99-1	90	
小計				3,660	
合計				80,330	

2 調査体制

財団法人北海道埋蔵文化財センター 理事長 伊藤一夫（平成10年5月31日まで）
大澤 満（平成10年6月8日から）

専務理事 佐藤哲人（平成11年5月31日まで） 常務理事 柴田忠昭（平成11年3月31日まで）
宮崎 勝（平成11年6月1日から） 木村尚俊（平成13年7月17日まで）

業務部長 山内 清（平成9年3月31日まで） 第1調査部長 畑 宏明（平成11年8月15日まで）
北條雅洋（平成10年3月31日まで） 木村尚俊（平成13年7月17日まで）
総務部長 中田 仁（平成13年3月31日まで） （兼務）
柳瀬茂樹（平成13年4月1日から） 大沼忠春（平成13年7月18日から）
（兼務）

平成7年度 第1調査部第3調査課 課長 長沼 孝（発掘担当者）
同 文化財保護主事 宗像公司（発掘担当者）

平成8年度 第1調査部第3調査課 課長 長沼 孝（発掘担当者）
同 文化財保護主事 藤井 浩（発掘担当者）
同 文化財保護主事 宗像公司（発掘担当者）
同 文化財保護主事 坂本尚史
同 文化財保護主事 鈴木宏行
同 文化財保護主事 直江康雄

平成9年度 第1調査部第3調査課 課長 長沼 孝（発掘担当者）
同 主任 越田雅司（発掘担当者）
同 文化財保護主事 宗像公司（発掘担当者）
同 文化財保護主事 坂本尚史
同 文化財保護主事 鈴木宏行
同 文化財保護主事 直江康雄

平成10年度 第1調査部第3調査課 課長 長沼 孝（発掘担当者）
同 主任 越田雅司（発掘担当者）
同 文化財保護主事 宗像公司（発掘担当者）
同 文化財保護主事 坂本尚史
同 文化財保護主事 鈴木宏行
同 文化財保護主事 直江康雄

平成11年度 第1調査部第3調査課 課長 長沼 孝（発掘担当者）
同 主任 越田雅司（発掘担当者）
同 主任 鈴木宏行
同 文化財保護主事 坂本尚史
同 文化財保護主事 佐藤 剛
同 文化財保護主事 直江康雄（発掘担当者）

	同	文化財保護主事	福井淳一
平成12年度	第1調査部第3調査課	課長	長沼 孝（発掘担当者）
	同	主任	越田雅司（発掘担当者）
	同	主任	鈴木宏行（発掘担当者）
	同	文化財保護主事	直江康雄（発掘担当者）
平成13年度	第1調査部第3調査課	課長	長沼 孝（発掘担当者）
	同	主任	鈴木宏行（発掘担当者）
	同	文化財保護主事	直江康雄

3 調査に至る経過

昭和62年に建設大臣によって指定された全国の高規格幹線道路網14,000kmのうち、北海道の整備道路は、1,828kmである。このうち日本道路公団が国土開発幹線道路として北海道縦貫・横断自動車道としての整備予定が1,378km、北海道開発局が一般国道の自動車専用道路として整備予定の5路線（日高、深川・留萌、旭川・紋別、帯広・広尾、函館・江差）が450kmとなっている。

旭川・紋別自動車道は、始点が旭川市で、比布町、愛別町、上川町、白滝村、丸瀬布町、遠軽町、上湧別町、湧別町を經由して終点のオホーツク海に面した紋別市に至る延長130kmの路線である。この路線のうち上川町上越から北見峠を抜ける上北トンネルを通り白滝村へ至る上越白滝道路については、白滝村における遺跡の密集地帯を通ることから、平成4年7月に埋蔵文化財保護のための事前協議書が北海道開発局網走開発建設部より北海道教育委員会に提出された。

同年8月の北海道教育委員会による所在確認調査を経て、平成5年7～11月には範囲確認調査が服部台、服部台2、白滝第4・30地点遺跡および国指定史跡「白滝遺跡」の隣接地などにおいて行われ、20haにおよぶ広範囲の遺跡が確認された。その後、遺跡の保存についての協議が関係者においてなされると同時に、北海道考古学会、日本考古学協会などからも保存要望書が提出され、その動向が学会でも注目されることとなった。

そのような状況で、大規模かつ重要な遺跡が密集する八号沢川と湧別川の合流点付近について路線の変更がなされ（図 - 1）、奥白滝11・奥白滝12・服部台・服部台2・奥白滝1・上白滝8遺跡の6か所の主要部分について現状保存がはかられた。しかし、変更が困難な区域については事前の発掘調査が必要となり、平成7年から（財）北海道埋蔵文化財センターと白滝村教育委員会による発掘調査が開始された。平成11年度には、大規模な遺跡の密集する奥白滝、上白滝地区の本線部分については調査が終了し、現場調査の峠を越したといっても過言でない。

平成12年度は、白滝IC手前の本線部分にあたる白滝8・白滝18遺跡と防雪柵設置のための服部台2・奥白滝1・上白滝8・白滝第30地点遺跡の調査を行った。白滝8遺跡は当初工事立会区域であったが、表土を除去したところ遺物が確認されたので、発掘調査を行った。また、白滝18遺跡は平成11年度に調査予定であったが、用地買収の関係で調査が平成12年度に変更された。服部台2・奥白滝1・上白滝8・白滝第30地点の4遺跡の防雪柵設置に伴う調査は、道路用地の北側境界に接した3m幅のトレンチ調査であった。服部台2遺跡では、天狗平跨道橋の設置部分の追加調査もあり、一部平成10・11年の調査区と接している。奥白滝1遺跡では、平成9年の調査区とは8mの間隔がある。上白滝8遺跡では、当初用地幅までの調査を行っていた関係で、西側100mの調査で終了する予定であったが、平成8年調査の本線部分との間隔がわずかであったことと、防雪柵設置位置の関係から、用

4 調査概要

地内をすべて調査することとした。白滝第30地点遺跡では、白滝村教育委員会調査の白滝第4地点遺跡の調査区域に隣接し、白滝第30地点遺跡の調査区域とは、8～10mの間隔がある。

平成12年度で、白滝ICまでの調査は概ね終了したが、平成13年度において、上白滝6遺跡の工食用道路と白滝3遺跡のインターチェンジに附帯する道路部分の調査を2か月間行った。また、白滝ICから隣の丸瀬布ICまでのちょうど中間点に位置する下白滝遺跡の小規模調査を実施した。今後は下白滝遺跡の継続を含め、白滝丸瀬布道路の調査が予想されるが、奥白滝・上白滝地区のような大規模で、多量の遺物が出土する遺跡は現時のところ確認されていない。また、下白滝遺跡では石鏃の製作が行われていることなどから判断して、湧別川を下っていくと縄文時代の遺跡が多くなることも予想される。

平成7～13年度の7年間で(財)北海道埋蔵文化財センターが調査したのは、奥白滝11・服部台2・奥白滝1・上白滝8・上白滝2・上白滝5・上白滝6・上白滝7・北支湧別4・白滝第30地点・白滝8・白滝18・白滝3・下白滝遺跡など14遺跡、面積は80,330㎡、白滝村教育委員会が平成7～10年度の4年間で調査したのは、白滝第4・30地点の2遺跡、面積は20,123㎡である。現時点における白滝村での発掘調査面積は、100,453㎡である。

また、現状保存された奥白滝11・奥白滝12・服部台・服部台2・奥白滝1・上白滝8遺跡の6か所については、旧路線および新路線との間の部分を加えた204,352.33㎡について、関係者の努力により平成10年に国指定史跡に追加され、すでに指定済の「白滝遺跡」(白滝第13地点遺跡)と合わせて「白滝遺跡群」(面積226,250.33㎡)として名称変更された。さらに白滝村による指定地の公有化作業も終了し、将来的な史跡の整備・活用の検討が行われている。

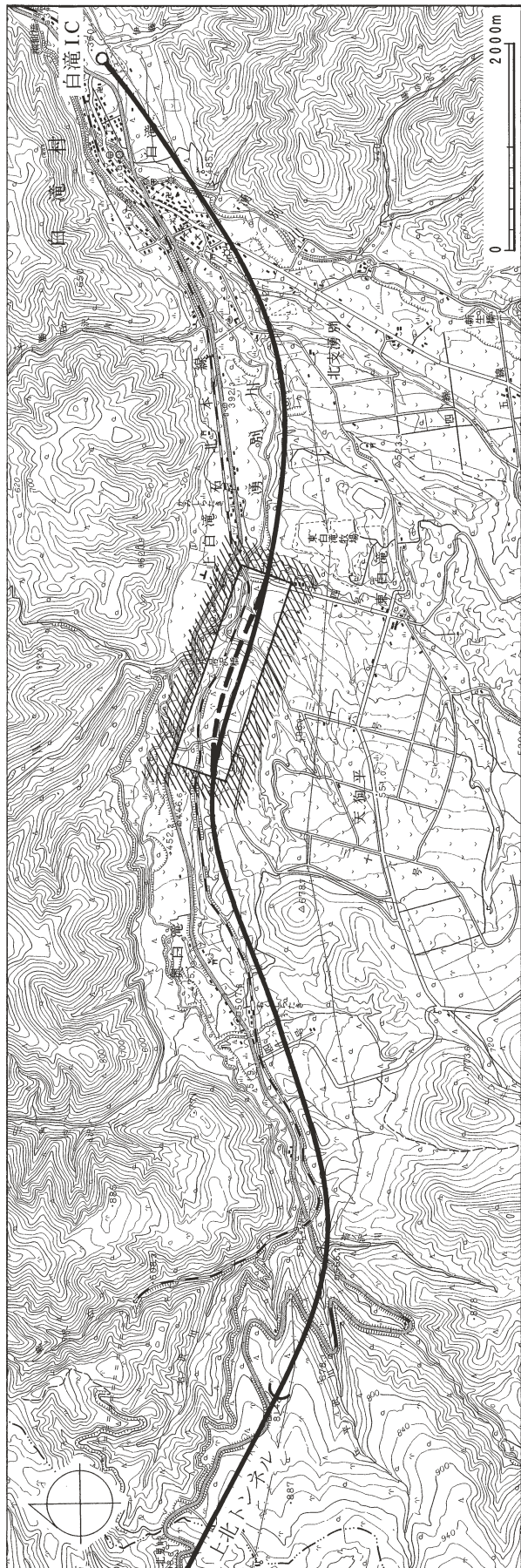
4 調査概要

(1) 発掘区の設定

発掘区は基本的にアルファベットの大文字と数字の組合せで表示し、規格は4×4mとした。各遺跡の設定は、道路工事の測点SPを基準に行った。ただし、工事路線の変更があった関係で、変更部分にあたる奥白滝11・服部台2・奥白滝1・上白滝8・上白滝2遺跡までは、新路線の測点を基準点とし、路線変更のなかった上白滝6・上白滝7・北支湧別4・白滝第30地点・白滝8・白滝18遺跡は当初計画の測点を使用した。また、上白滝5遺跡は、変更のなかった部分であるが、上白滝2遺跡と連続して発掘区を設定した関係で、変更後の測点を使用した。いずれの発掘区も公共座標の測量成果を示しておくので、それぞれの位置関係の把握において問題はないと考えられる。しかし、変更部分の測点を基準にした奥白滝11・服部台2・奥白滝1・上白滝8・上白滝2・上白滝5遺跡の6か所については、『白滝遺跡群』で示した範囲確認調査の試掘穴を示した図と測点が若干ずれている点に注意願いたい。

発掘区の設定は、まず各遺跡において、区切りの良い測点2点を基準点として選び、その2点を通る直線を南北方向の基線とした。東西方向は、基準点を通り南北の基線に直交する直線を基線とした。

設定したラインの呼称は、南北方向をアルファベットの大文字、東西方向を数字とした。南北のアルファベットは、調査区をカバーすることを考え、北から南にアルファベット順に決めたが、基線のSPラインをMにした場合が多い。東西の数字は、測点の進行方向(西から東)に順次設定した。しかし、奥白滝1遺跡については、平成9年度に本線部分、平成10年度に工事道路部分の調査を行うこ



(国土地理院発行5万分の1地形図「白滝」を使用)

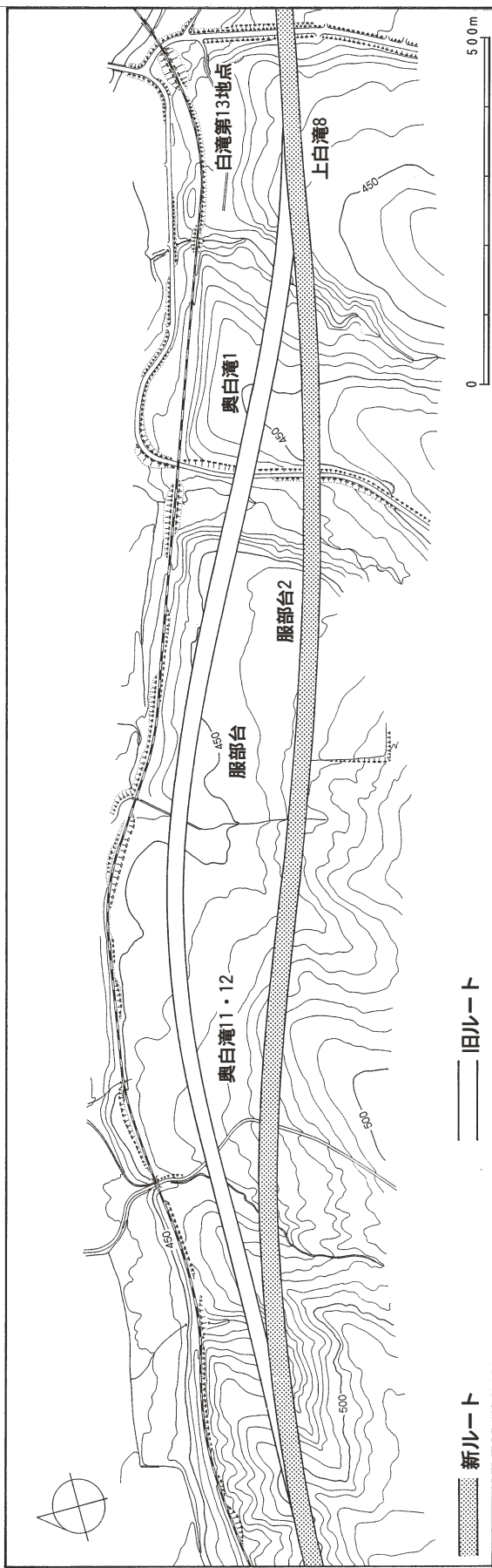


図 - 1 ルート変更図

新ルート
旧ルート

ととなり、本線部分の発掘区の設定で、工事道路部分をカバーできない状況が生じた。したがって、平成10年度の調査区では平成9年度の発掘区の方角を変えないで、南北方向のアルファベットを小文字にし、さらに東西方向の数字を若干ずらして変更した。また、平成12年度の防雪柵設置に伴う調査においては、本線部分の調査の際に設定した発掘区を復元した。

白滝第30地点遺跡は、白滝村教育委員会による調査が行われていたが、当センターにおいては初めての調査であったので、新たに発掘区を設定した。しかし、白滝村教育委員会の設定した発掘区と方向は同じにした。

発掘区の呼称は、4m四方区画の北西隅の交点で表示した。例えばMラインと10ラインの交点の南東側がM10区ということになる。

各遺跡の基準点と発掘区設定の状況は、各報告で詳しく説明する。 (長沼 孝)

(2) 調査の方法

調査区域の現況は、わずかの畑地がみられるものの大部分は白樺などを中心とした山林で、笹が一面に生い茂った状態であった。試掘調査時に立木の伐採は終了していたので、今回は、重機による伐根と笹根の除去から調査を開始した。ただし、かつて畑地として利用していた服部台2・奥白滝1・上白滝8・上白滝2遺跡などでは、笹の根に混じって黒曜石片が一面にみられるところもあり、重機による笹根の除去を最小限にした場所もある。

発掘調査は、4×4mの発掘区単位で進め、層(表土および耕作土)の遺物は一括して取り上げ、遺物包含層である層の遺物は、基本的に出土位置を計測して発掘区単位で遺物番号を付けて取り上げた。しかし、指先より小さい剥片類については、発掘区単位で一括して取り上げた。さらに、碎片類が多い部分では、フレイク集中として範囲を記録して土ごと取り上げ、水洗処理した。地点の計測は、トータル・ステーションを使用し、さらに遺構・遺物データシステム(シン技術コンサル)にデータを蓄積すると同時に毎日遺物一覧表とドットマップ(分布図)を作成し、データのチェックと遺物の分布状況を把握しながら調査を進めた。現時点でのデータ数は497,586件、遺跡単位で管理し、最大は上白滝8遺跡の216,607件、最小は白滝第30地点遺跡の314件である。

いずれの遺跡も工事用地内以外に表土や排土の仮置き場の確保が困難であった。したがって、調査区域の全面的な同時展開は不可能で、いくつかに分割して調査を進めた。また、効率良い調査を進めるためには、排土の運搬距離や傾斜を十分考慮する必要があった。調査区域の分割状況は遺跡によって異なるが、大きく南北に二分し、さらに東西にいくつかに分けた場合が多い。

調査は、まず分割した範囲の4分の1の発掘区を行い(25%調査)、次に遺物分布の濃密な部分から順次進め、分割区域を順次終わらせた。また、急斜面や攪乱の著しい部分については、発掘区単位で、重機による掘り上げと人手による遺物採取を行った。さらに、25%調査によって遺物が全く出土しなかった部分については、最終的に重機を使用した駄目押し調査を行った。

焼土や炭化木片ブロックについては、現場で平面や断面の記録を作成した後に土壌ごとビニール袋に採取し、自然乾燥後に水洗し、フローテーション法(浮遊物を0.425mm、2mmメッシュ、沈殿物を1mmメッシュの土壌分析用のふるいで採取)により炭化木片などを採取した。さらに、得られた炭化木片の中から、大きく状態の良いものを抽出し、年代測定や樹種同定の試料とした。

さらに遺跡の地形環境や化石周氷河作用、テフラなどが明瞭な状況で観察できる土層については、剥ぎ取りを行い保存した。 (長沼 孝)

(3) 整理の方法

遺物は雨天日などを利用し、基本的に現場で水洗作業を行った。その後、札幌の整理作業所に運び、注記などの整理作業を開始した。

遺物は、位置を記録した遺物（以下「点取り遺物」）と一括取り上げ遺物（以下「一括遺物」）の二つに分けることができ、それぞれ次の流れで作業を進めた。

点取り遺物

一次整理として、すべてについて注記作業を行い、次に器種分類、重量計測、石質、残存状況、打点・自然面・被熱の有無などの属性観察をし、遺跡・遺物データシステムに入力した。

注記は、遺跡名の代わりに道教委の登載番号、発掘区、遺物番号の順で行った。例えば、上白滝8遺跡のP30区の遺物番号100は、「91P30・100」となる。重量は小数点一桁までの計測である。

石材の大部分を占める黒曜石に関しては絶対的なものではないが、肉眼的な特徴から黒色の「黒曜石1」、梨肌の「黒曜石2」、黒色に茶色の混じった（黒>茶）「黒曜石3」、茶色に黒色の混じった（茶>黒）「黒曜石4」、黒色に紫がかかった茶色の混じった（黒>紫・茶）「黒曜石5」の5種類に分類した。ただし、梨肌で、黒色に茶色の混じった（黒>茶）ものなどは「黒曜石2の3」という表現を使うこともある。また、一つの原石においても部分的に異なる状況があるので、「黒曜石1・3」ということもある。

残存状況は欠損または完形、打点・自然面・被熱などは「有」または「無」の簡単な観察だけである。被熱は肉眼観察により、表面が光沢を失い、くもりガラスのような状態のものやウロコ状のひび割れがみられるものなどを「有」とした。

二次整理はおもに実測・接合作業である。接合作業は、定形的な石器類においては、まず折れ面接合を、次に同一母岩の石器類や剥片を探すようにした。剥片類は、先に分類した5種類の黒曜石毎に同一の石器ブロックないし発掘区のものを集めて作業を進めた。接合作業の実際は、折れ面接合の場合は瞬間接着剤を使用するが、剥離面接合の場合は、両面テープで仮止しながら作業を進め、必要に応じて瞬間接着剤を使用した。また、重量のあるものや欠落部分の多いものなどについては、ホットボンドなどを使用して補強しながら作業を進めた。ある程度作業が進行した段階で、剥離工程を記録したカードを作成し、接合番号を付けた。接合番号は遺跡毎に付けたが、折れ面接合は50001から、剥離面接合は1からとした。したがって、剥離面接合資料に折れ面接合が含まれている場合は、1個体の接合資料で接合番号が複数ある。さらにこれらの作業で得られた接合資料のうち特徴的で同一母岩視できる資料を集め、母岩別資料として、遺跡毎に1から番号を付けた。資料の呼称は、「母岩別資料」を略して「母岩」、「接合資料」を略して「接合」とし、母岩別資料の場合は「母岩5・接合100」、接合のみの場合は、「接合55」、折れ面接合の場合は「接合50015」のように表示した。これらの接合、母岩などの二次的な属性データを先のシステムに追加入力し、現場での出土位置、一次整理の属性観察などのデータと共に遺跡単位で管理している。

石器の実測作業は、基本的に通常の方法で行っているが、大型の石器や接合資料などについては、超望遠レンズ（800～1200mm）を使用した90°展開の写真（プロカメラマン小川忠博氏に依頼）を使用して行っている。作業は、フジグラフプロジェクションペーパーに焼き付けた実大プリントを、ライトボックス上で、セクショントレーシングペーパーで判断できる部分をなぞり、後は実物を見ながら補足する形で進めている。石核や複雑な接合資料などは面合わせの手間が省けるので、効率よく作業を進めることができる。また、大きな剥離面などでは、リングも十分読み取ることができる。さらにこの時撮影した写真を2分の1で通常の印画紙にプリントし、写真図版に接合資料として掲載し

た。

一括遺物

基本的に現場において、定形的な石器類の抜き出し、点数のカウントなどを行い、その後の作業は札幌の整理作業所で進めた。抜き出した石器類は、一次整理として台帳を作成し、点取り遺物と同様に注記、属性観察を行い、二次整理の実測・接合作業を行う。剥片類は一括して重量を計測した後、必要に応じて点取り遺物の接合作業の対象遺物に加え、接合したもののみ、注記・属性観察などを行っている。その注記は、点取り遺物と区別するため、発掘区と台帳の整理番号の間に層位を記入した。例えば、上白滝8遺跡のP30区、層出土、台帳番号10の石器は、「91P30・ 10」となる。

(長沼 孝)

(4) 報告書の作成

平成7年度から始まった調査は、ある程度の出土遺物量を予想して整理計画を作成していたが、具体的な計画は、遺物の状況が明らかになってから検討することとしていた。また、現地作業を優先した調査体制としていたため、夏期の整理作業においても調査員が常駐する体制が取れなかった。したがって当初の整理作業は注記、属性観察、接合作業、集計などの基礎的な作業を中心に行った。

平成10年度に本線部分の主要な調査がほぼ終了し、遺物量や接合状況が明らかになってきたので、平成11年度から報告書の作成を開始し、「白滝遺跡群」(平成11年度)、「白滝遺跡群」(平成12年度)を刊行し、本報告「白滝遺跡群」が3冊目となる。

調査状況や出土遺物の概要については、調査年度単位で(財)北海道埋蔵文化財センター調査年報8~14((財)北海道埋蔵文化財センター1996、1997、1998、1999、2000、2001、2002)で紹介している。また、委託者より調査内容が比較的容易に理解できる資料作成の要請を受け、写真を中心とした調査概要として平成9年度に「白滝遺跡群を掘る(上白滝8遺跡の調査)」、平成10年度に「白滝遺跡群を掘る(上白滝2遺跡の調査)」、「白滝遺跡群を掘る(奥白滝1遺跡の調査)」を作成したが、報告書の刊行を開始した平成11年度以降、また他の遺跡については作成していない。

報告書は遺跡単位での作成を基本とし、年度単位で終了したものを1冊にまとめて刊行することとしている。ただし、平成12年に行った防雪柵関連で調査した4か所の遺跡(服部台2・奥白滝1・上白滝8・白滝第30地点)のうち奥白滝1遺跡については、進行していた報告書作成作業に組み込むことができず、別途報告することとした。また、平成13年度に工事用道路建設に伴い実施した上白滝6遺跡の追加調査分についても、本線部分の報告が平成12年度に刊行された関係で、別途となっている。しかし、報告済の資料においても追加調査分と関連するものについては、全体計画に支障のない範囲で接合作業などを行う予定である。

出土遺物量は膨大であるが、報告は基本的にどのようなものが、どのような状態で、どのくらい出たのかが理解できるよう作成している。したがって、遺物の集計にあたっては、器種、石質別の点数、重量を明確に示すことにしている。遺物は層位的に分離できる状況ではないが、平面的にある程度のまとまりとして確認でき、それを「石器ブロック」と呼び、それを最低単位として、石器の組成、接合関係などから、単独または複数を「石器群」という形で捉えた。したがって、報告書では、石器群単位で定形的な石器を、次にその石器群を構成する石器ブロックの分布図、接合状況図を、最後にその石器群の接合資料を提示する形とした。定形的な石器類は、破片を含めてその石器群の器種組成が理解できるように配慮した。分布図は、まず全点の分布を示し、次に図を示した定形的な石器の出土位置が理解できる図を作成した。接合状況図は石器群単位での折れ面接合や全接合を示した。接合資

料は、全体実測図を示し、その剥離過程が分かるように剥離模式図を作成し、また、可能なものについては、段階単位での実測図を作成したのものもある。さらに接合破片のうち先の定形的な石器で提示しているものを接合資料の縮尺に合わせて再度示している。また、状況によっては剥片類でも実測図を作成して掲載したのものもある。母岩別資料または接合資料においてもその接合破片、または母岩の分布状況を図で示した。

接合資料の中には、全体を写真のみで示し、剥離模式図や分布図のみ示したのものもある。

実測図を示した石器、接合資料は基本的に写真図版に掲載すると同時に掲載遺物一覧として示すこととした。

各種分析については、遺跡単位で結果を報告することとしているが、状況によっては同時に分析した他の遺跡のものも報告する場合もある。

「調査結果の概要」は、報告書作成時の最新の集計データ、遺跡の内容を記載しているので、報告書によって数値・内容が異なる部分があるので、注意願いたい。 (長沼 孝)

(5) 遺構・遺物の分類

遺構の分類

確認された遺構は焼土と炭化木片ブロックである。土壌が赤褐色に変化し、火を焚いた痕跡と考えられるものを焼土とし、Fで表記した。明確な焼土を伴わずに炭化木片がまとまって検出されたものを炭化木片ブロックとし、Cbで表記した。いずれも明確な掘り込みは伴わない。

遺物の分類

確認された遺物はすべて石器類である。これまでの研究史の中で確立し、広く一般的に認識されてきた器種分類を踏襲して以下のように分類した。また、二次加工技術や剥片剥離技術を基にした細分類は、必要に応じて行うこととする。

剥片(FK)

石核・石刃核・細石刃核・石器(ツール)から剥離されたもので縦長剥片・石刃・細石刃・削片以外の石器。

石刃(BL)

長さが幅の2倍以上で両側縁がほぼ平行し、それに平行する稜がある石器。

縦長剥片(LF)

長さが幅の2倍以上で石刃に該当しない石器。

削片(SP)

彫器削片：彫器の彫刀面作出・再生時に剥離されたと考えられる剥片。

細石刃核削片：削片系細石刃核の打面作出時に剥離されたと考えられる剥片。

舟底形石器削片：小型舟底形石器の端部から剥離されたと考えられる細石刃状の剥片。これ自体が目的なものかどうか不明であり、削片として分類した。

細石刃(MB)

細石刃核より剥離されたと考えられ、長さが幅の2倍以上で両側縁がほぼ平行し、それに平行する稜があり、幅が1cm以下の石器。

細石刃核(MC)

細石刃を剥離したと考えられる石器。

舟底形石器(BT)

4 調查概要

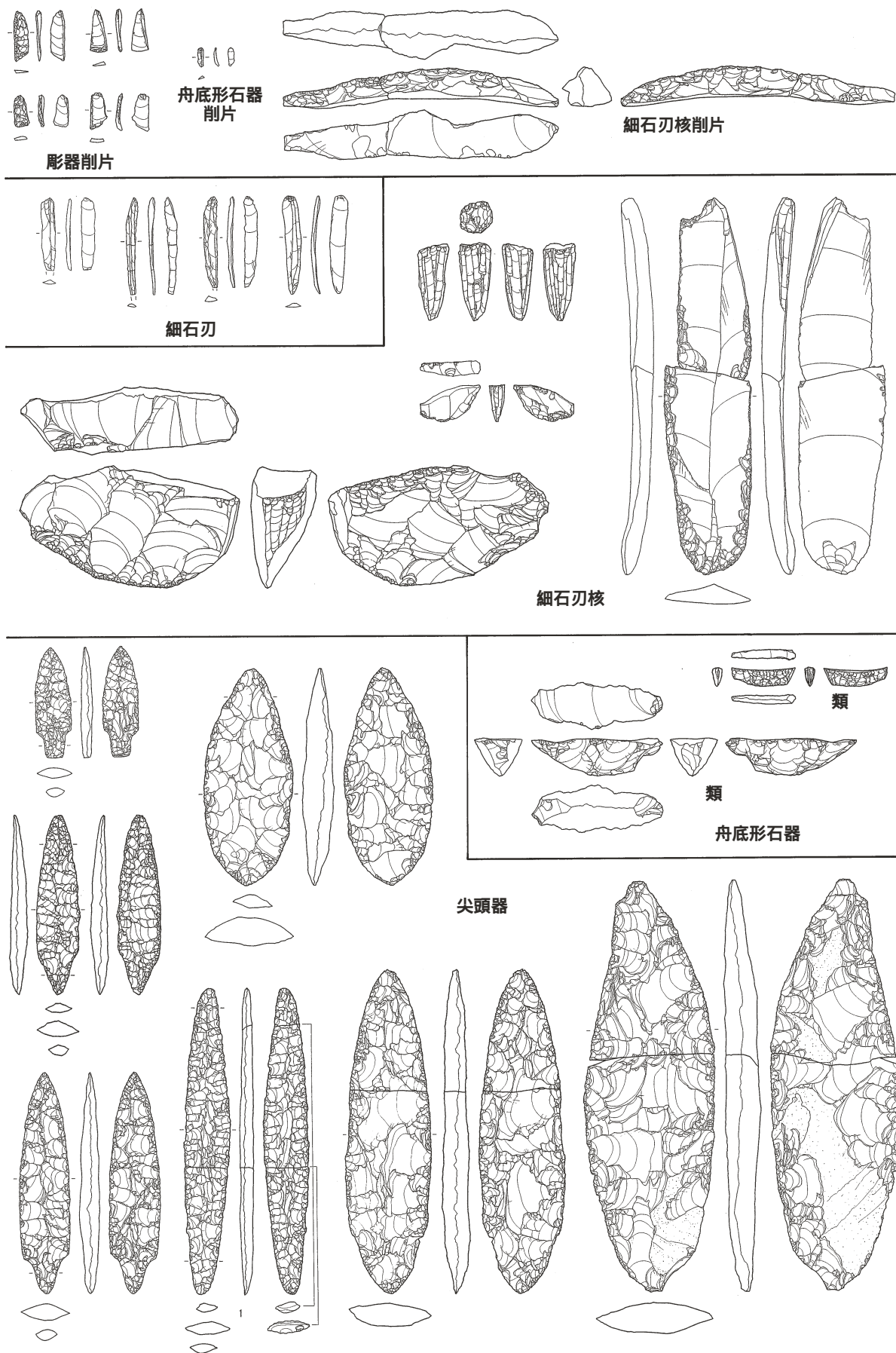


圖 - 2 器種分類(1)

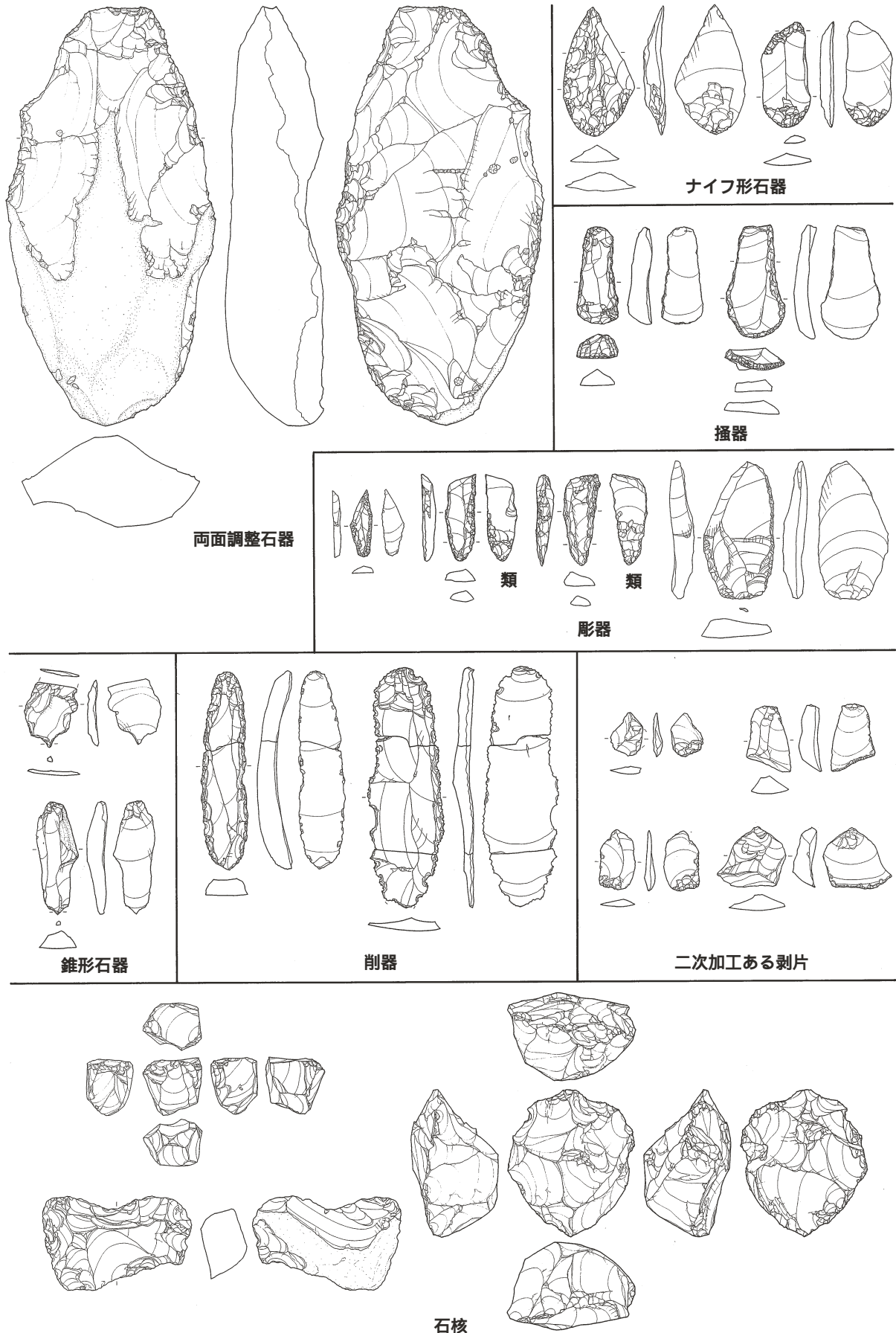
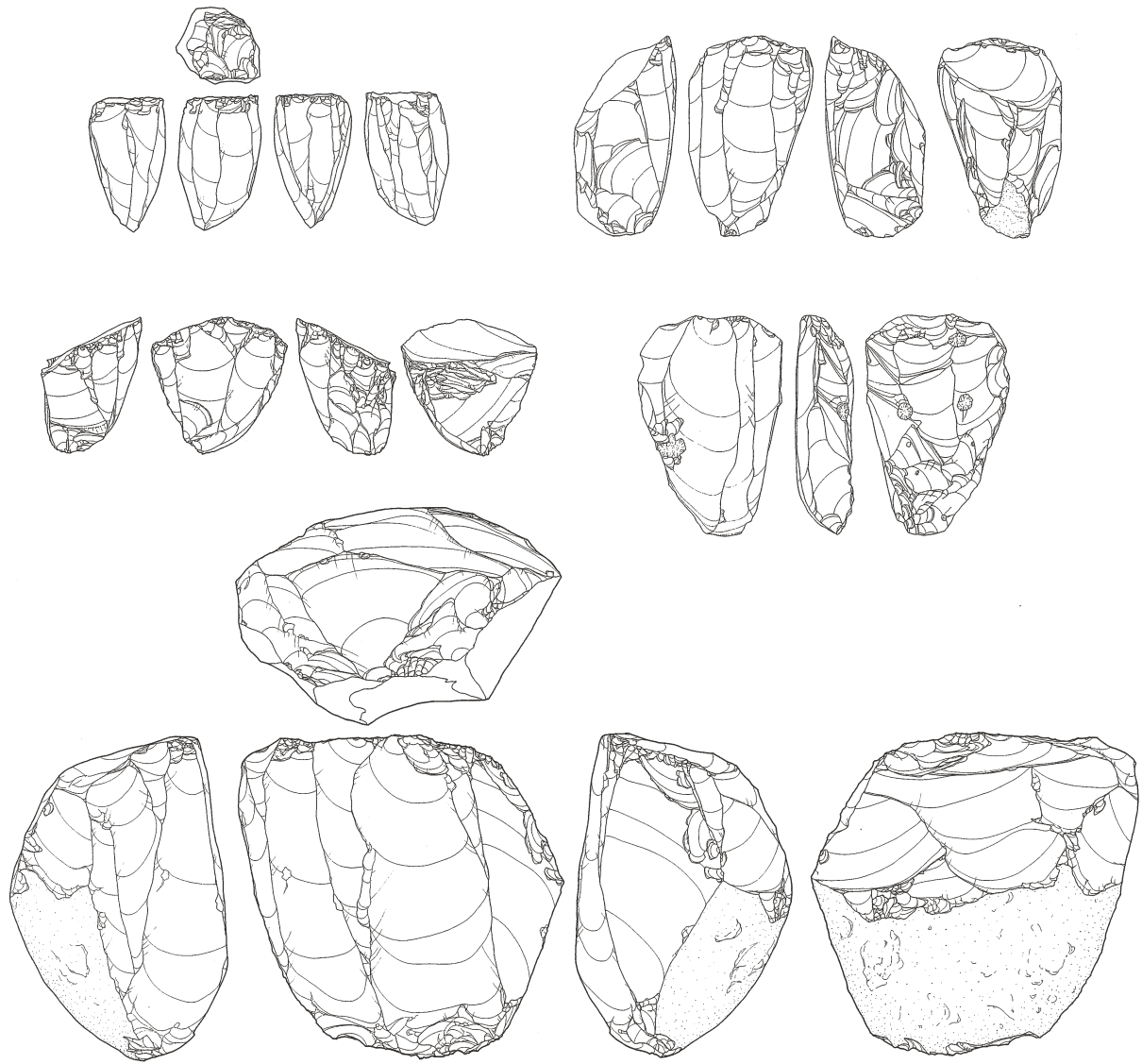
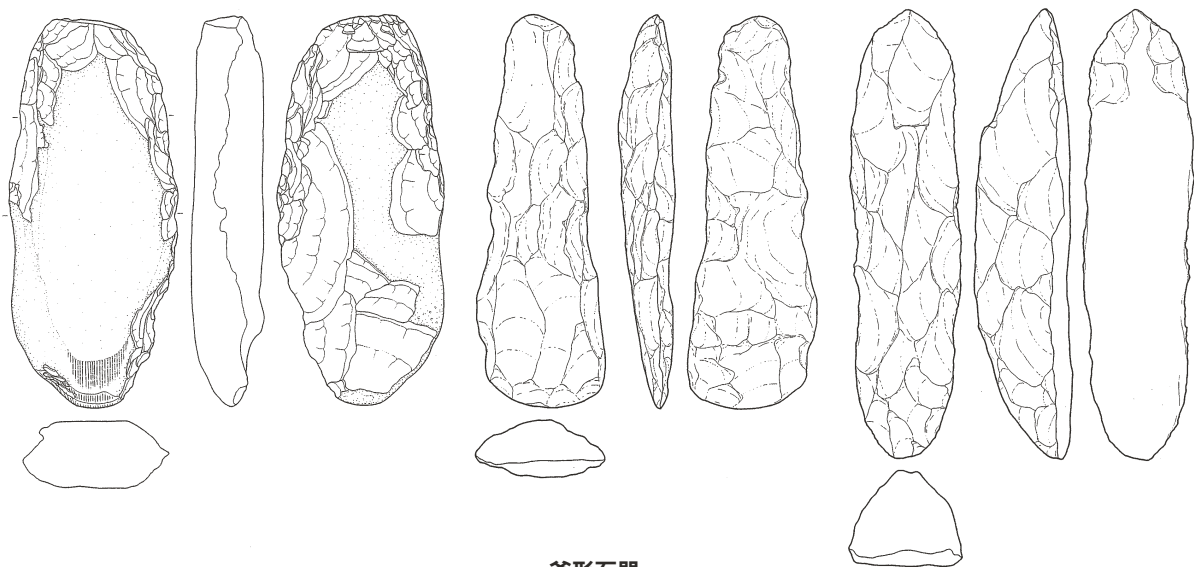


図 - 3 器種分類(2)



石刃核



斧形石器

圖 - 4 器種分類 (3)

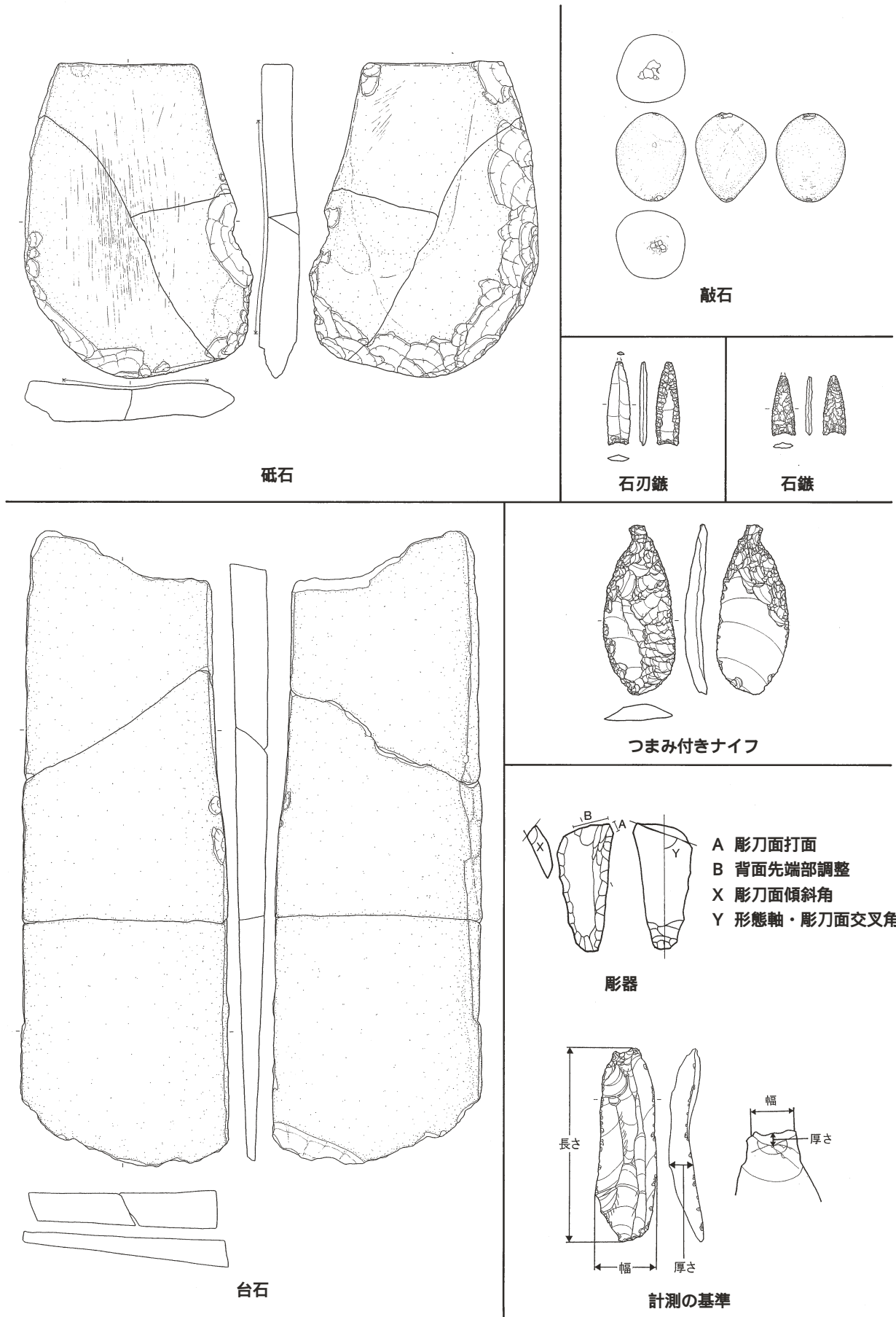


図 - 5 器種分類(4)・計測の基準

4 調査概要

素材の平坦面から周辺に二次加工を施して舟形に整形した石器。

上白滝5遺跡のSb - 6 ~ 11の石器群では以下のように細分した。

類：加工が精緻で幅が4 ~ 8 mm、高さが8 ~ 12mm程度の小型のもの。主に上下から側面加工が行われ、端部に細石刃状の縞状剥離痕を持つものが多い。

類：加工が粗く 類より大きいもの。主に上から側面加工が行われ、端部に縞状剥離痕が見られない。

尖頭器 (PT)

素材の両面を加工し、尖頭部を作り出した石器。

両面調整石器 (BF)

素材の両面を加工したもので尖頭器、斧形石器以外の石器。

ナイフ形石器 (KN)

素材の鋭い縁辺の一部を残し、他の縁辺に加工を施した石器。広郷型ナイフ形石器を含む分類のため、二次加工は刃潰し状の加工に限らず平坦剥離も含む。

彫器 (BU)

素材の端部に一条から数条の樋状剥離を施した石器。

上白滝5遺跡のSb - 6 ~ 11の石器群では以下のように細分した。

類：彫刀面が背面に傾くもの。

類：彫刀面が腹面に傾くもの。

搔器 (ES)

素材の端部に連続的な二次加工を施した石器。

錐形石器 (DR)

素材の端部に錐状の尖頭部を作り出した石器。

削器 (SS)

素材の側縁に連続的な二次加工を施した石器。

二次加工ある剥片 (RF)

素材に二次加工を施したもので、定形的石器に分類されない石器。「白滝 群」では搔器・錐形石器以外の定形的ではなく縁辺に微細な剥離痕がみられる石器を含めて分類した。

石核 (CO)

剥片を剥離したと考えられるもので、石刃核、細石刃核以外の石器。

石刃核 (BC)

石刃を剥離したと考えられる石器。

斧形石器 (AX)

両面もしくは片面加工により、斧状の刃部を作り出した石器。

敲石 (HS)

礫に潰打痕の観察される石器。

磨石 (GS)

小型礫に磨痕が観察される石器。

砥石 (WS)

礫の片面もしくは両面に磨痕の観察される石器。

台石、石皿 (AS)

偏平礫に打撃痕や磨痕の観察される石器。

原石 (RM)

石器の石材として利用される石で、人為的と考えられる剥離を受けていないもの。

礫 (PB)

石器の石材として利用されない石で、剥離、敲打痕、潰打痕、磨痕などが観察されないもの。

石刃鎌 (BA)

石刃を素材として主に腹面縁辺の加工により尖頭部を作り出した石器。

石鎌 (AH)

素材を細かい加工により薄身にして端部に尖頭部を作り出した概ね 5 cm以下の石器。

つまみ付きナイフ (TS)

素材端部にノッチ状の加工でつまみ部を作り出した石器。

(鈴木宏行)

(6) 調査結果の概要

平成 7～13年の 7年間で調査した遺跡は、湧別川の上流側から奥白滝11・服部台 2・奥白滝 1・上白滝 8・上白滝 2・上白滝 5・上白滝 6・上白滝 7・北支湧別 4・白滝第30地点・白滝 8・白滝18・白滝 3・下白滝の14か所(図 - 6)で、その面積は、80,330㎡である。年度・遺跡別の調査面積は、表 1を参照願いたい。

確認された遺構は、火を焚いた痕跡の可能性のある炭化木片の集中(炭化木片ブロック・Cb)と赤色土(焼土)(F)である。炭化木片ブロックは7遺跡66か所(服部台 2・8か所、奥白滝 1・18か所、上白滝 8・28か所、上白滝 2・6か所、上白滝 1・1か所、上白滝 7・4か所、白滝第30地点・1か所)(昨年度の報告では65か所としているが、本年度報告の奥白滝 1遺跡において分離したものがあり、1か所の追加となった)赤色土(焼土)は上白滝 5遺跡の 2か所だけである。炭化木片ブロックは、遺物の集中部、もしくはその周辺に分布し、いずれも層の下部で検出されている。大きさは径10cm前後の円形から長さ 1m前後の長円形と様々で、いくつかの小ブロックで確認される場合もある。炭化木片の集中度および大きさも様々で、含む層はおよそ 5 cm前後の厚さのものが多い。しかし、上白滝 8遺跡のCb - 13は例外的で、2.4×1.0mの大きさで、窪みに 3層に分かれて堆積する大規模なものであった。炭化木片については、放射性炭素年代測定(AMS法)を行ったところ、上白滝 7・白滝第30地点遺跡の試料については、4,500～1,900年前という縄文・続縄文時代に相当する年代値が得られた。しかし、他の 5遺跡の試料では、最も新しいもので9,940±40yBP(Beta - 150438)、最も古いもので、27,690±320yBP(Beta - 112902)という数値が得られ、さらに、13,000～14,000yBP、15,000～16,000yBP、18,000～19,000yBP、26,000～27,000yBPに数値の集中がみられる。これらの数値は、現在考えられている石器群の年代と大きくかけ離れたものではない。しかし、被熱石器の分布との重複など石器ブロックとの同時性を明確に対比ができる状況にない。また、人が関わらない自然現象に由来する炭化木片の可能性もあるが、樹種同定の結果などからも当時の植生を反映しているものであることは間違いない。一応、石器群の年代を検討する上で、参考となるものと考えられるので、現在、各遺跡における石器ブロックと炭化木片ブロックの対比を、石器の接合や母岩分類などの作業の進めながら、検討している。

出土している遺物は、すべて石器類で、土器は 1点もない。石器類の時期は、遺物包含層の層の下位に約 3万年に降下したと考えられる大雪御鉢平軽石(Ds - Oh)があることから、3万年より新

しい後期旧石器時代と考えられるが、年代的には本州の縄文時代草創期に相当する時期のものもある。また、石鏃や石刃鏃および石刃鏃石器群と考えられるものもあるので、縄文時代早期およびそれ以降の時期になる可能性のある石器群もある。平成11年度に報告した上白滝7遺跡のSb-1の二次加工ある剥片類は、縄文時代後・晩期の可能性のある石器素材と考えられる。また、昨年報告した北支湧別4遺跡のSb-1も石器の形態や加工、さらにパティナの状況から縄文時代の小型の尖頭器を製作している石器群と考えられる。

現時点における各遺跡での出土遺物数は表 2 に示したとおりで、総数は、3,650,139点、そのうち出土位置を記録したものは、497,586点、残りの3,152,553点は表土など発掘区単位で一括して取り上げたものである。石器の出土量および分布密度は遺跡によって異なるが、平均すると1㎡あたり45点となり、平均以上の遺跡は、服部台2が113点、奥白滝1が107点、上白滝8が75点、上白滝2が62点などで、次は白滝18の18点、白滝3の14点、上白滝5・下白滝の11点と極端に少なくなり、その他の遺跡では10点以下となってしまう。

出土石器の大部分は製作時にできる剥片・碎片類で、定形的な石器類は総数365万点のおよそ0.7%、26,300点ほどである。出土位置を記録した497,586点では、定形的な石器の比率は高くなり、およそ3.8%、18,900点程となる。現時点で、この数字は石器の個体数を表すものではなく、例えば、1個体の尖頭器が破損して、5点接合していれば、5点の尖頭器というカウントになる。したがって、個体数の把握という点では問題があるが、出土傾向の把握という観点で、18,900点の内訳をみてみたい。

最も多いのは、石刃・縦長剥片の38.4%で、二次加工ある剥片類の11.6%、尖頭器の11.3%、石刃核・石核9.9%と続き、それ以下は削器(5.9%)、舟底形石器(4.5%)、搔器(4.3%)、彫器(3.0%)、両面調整石器(2.9%)、ナイフ形石器(2.3%)、細石刃(2.3%)、錐形石器(0.5%)、細石刃核(0.4%)、斧形石器・礫石器(0.2%)などである。

出土遺物の中で最も古く、現在のところ道内では最も古期と考えられている千歳市祝梅三角山地点、上士幌町嶋木、清水町共栄3、函館市桔梗2遺跡などの石器群に対比できる資料が奥白滝1・上白滝8遺跡などで出土している(図 16-1~9)。それらは剥片素材でその腹面側でうろこ状の剥片を剥離する石核、剥片ないし分割礫を素材にして求心状に寸詰まりの剥片を剥離する石核、交互剥離によって打面と作業面を入れ替える石核、打面転移を頻繁に行いサイコロ状の形態になる石核などがあり、剥片剥離技術には共通性がみられる。しかし、定形的な石器類は少なく、軽微な二次加工か微細剥離がみられる小型剥片石器が多く、他には搔器や錐形石器が若干みられる程度である。小型剥片石器は、「ナイフ形石器(切出し形ナイフに類する)」(吉崎・横山 1974)、「切出形、台形、半月形などのナイフ」「小型ペン型ナイフ」(辻 1973)、「台形様石器」(山原 1992・1993)、「ナイフ様石器」(石川・長沼 1987)、「祖形ナイフ形石器」(千葉 1985)などといわれているものに該当する。それらは、名称だけでなく特徴や素材の形状もバラエティがある。また、「台形様石器」(佐藤 1988)と定義・分類されているものに含まれるものも少なく、加工が極めて微弱であるのが特徴である。その状況から「不定形剥片石器」とも呼ばれているが、これも石刃・縦長剥片以外の剥片を包括してしまうので一考を要する。上白滝8遺跡では15か所程度の石器ブロックが確認でき、現在接合作業などを通してその内容を検討しているところである。したがって、現時点では特徴的な石核や小型剥片石器などを含む石器群を「白滝群」と仮称し、他の石器群と分離して整理・報告書作成作業を行っている。本来であれば、他の石器群においても「白滝群」「白滝群」・・・と遺跡群全体を包括する分類を行う必要があるかもしれない。しかし、石器ブロックや石器群の内容は様々で、単純に包括できず、報告書段階では接合関係を重視した石器群の把握とし、内容の違いを明確化するように努めて

表 ー1 白滝遺跡群遺跡・調査年別面積一覧

*ゴシックは報告済

遺跡名	年数	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	遺跡別面積	報告書
奥白滝11	1					505			505	
服部台2	3				3,812	2,002	877		6,691	
奥白滝1	3			5,340	2,067		345		7,752	白滝
上白滝8	5	6,600	10,212	320	56		661		17,849	
上白滝2	2		2,995	3,930					6,925	白滝
上白滝5	2			3,728	4,132				7,860	白滝
上白滝6	1				6,953			670	7,623	白滝
上白滝7	2			7,443	5,150				12,593	白滝
北支湧別4	1				5,472				5,472	白滝
白滝第30地点	1						636		636	
白滝8	1						834		834	
白滝18	1						2,600		2,600	
白滝3	1							2,900	2,900	
下白滝	1							90	90	
年次別面積	7	6,600	13,207	20,761	27,642	2,507	5,953	3,660	80,330	
報告書						白滝	白滝	白滝		

表 ー2 白滝遺跡群遺跡別出土点数等一覧

	調査年	面積 m ²	遺物総数 点	点 / m ²	地点計測 点	一括 点	主な石器
奥白滝11	1999	505	2,376	5	1,117	1,259	尖頭器・両面調整石器・削器・石刃核・石核
服部台2	1998～2000	6,691	798,030	113	67,771	730,259	細石刃・細石刃核・舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・彫器・搔器・削器・ナイフ形石器・石刃・石刃核・石核
奥白滝1	1997・1998・2000	7,752	830,232	107	99,194	731,038	細石刃・細石刃核・舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・彫器・搔器・錐形石器・削器・「台形様石器」・斧形石器・石刃・石刃核・石核
上白滝8	1995～1998・2000	17,849	1,349,748	75	216,607	1,133,141	細石刃・細石刃核・舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・彫器・搔器・錐形石器・削器・「台形様石器」・ナイフ形石器・斧形石器・石刃・石刃核・石核
上白滝2	1996・1997	6,925	432,429	62	50,085	382,344	細石刃・細石刃核・舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・彫器・搔器・錐形石器・削器・石刃・石刃核・石核
上白滝5	1997・1998	7,860	86,034	11	22,441	63,593	舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・彫器・搔器・削器・斧形石器・石刃・石刃核・石核・石刃鏃
上白滝6	1998・2001	7,623	6,662	1	2,672	3,990	尖頭器・両面調整石器・彫器・搔器・錐形石器・削器・石刃・石刃核・石核・石刃鏃
上白滝7	1997・1998	12,593	21,709	2	4,448	17,261	尖頭器・彫器・搔器・削器・ナイフ形石器・石刃・石刃核・石核
北支湧別4	1998	5,472	24,140	4	6,776	17,364	尖頭器・両面調整石器・彫器・搔器・削器・石刃・石刃核・石核
白滝第30地点	2000	636	4,627	7	314	4,313	細石刃・彫器・搔器・削器・石刃・石核
白滝8	2000	834	4,036	5	1,728	2,308	細石刃・舟底形石器・両面調整石器・彫器・石刃・石刃核・石核
白滝18	2000	2,600	47,825	18	23,423	24,402	尖頭器・両面調整石器・舟底形石器・彫器・搔器・錐形石器・削器・石刃・石核
白滝3	2001	2,900	41,281	14	1,010	40,271	尖頭器・舟底形石器・彫器・搔器・削器・石刃・石刃核・石核
下白滝	2001	90	1,010	11		1010	石鏃
計	1995～2001	80,330	3,650,139	45	497,586	3,152,553	*1993試掘ほかを含む

いる。各石器群の特徴はある程度把握できる状況になってはいるが、単純にまとめてしまうと、かえって混乱を招く恐れがある。したがって、現時点では、「白滝 群」以外の石器群の名称は一般的な呼称に留めている。当面は「白滝 群」という形で包括し、来年度以降、最も遺物出土量の多い上白滝 8 遺跡の報告書作成過程で名称や内容を検討していきたいと考えている。

ナイフ形石器は、台形石器のほか「広郷型」と呼ばれているものを含む石器群がある（図 - 16 - 10～19）。台形石器は刃潰し状のブランディングが明確なものが、服部台 2・上白滝 8 遺跡で 4 点ほど出土しているが、共伴石器は明確でない。「広郷型」ナイフ形石器と呼ばれているものは、調整剥離は平坦剥離を特徴とし、形態は基部が丸い尖頭形が典型的なものである。しかし、上白滝 7・上白滝 8 遺跡ではそれらの他に素材石刃の形状を生かし、先端部を尖頭状にするだけで基部加工をほとんどしないものなどもみられる。既に報告した上白滝 7 遺跡では接合資料から素材の石刃や剥片を獲得する石刃技法の状況が明らかになっている。

尖頭器は破損品が大部分なので、点数的に大きな比率を占める。有舌、木葉形、柳葉形と形態も多様で、大きさも様々である。最大のものは、上白滝 8 遺跡出土の長さ 36.5cm、重さ 1.2kg のものである。また、形態や特徴、パティナの状況から明らかに縄文時代と考えられるものもある。

石刃核・石核は、大型の石刃核から「白滝 群」に伴う剥片素材の小型のものまで各種ある。石刃核で最大のものは、長さ 24cm、重さ 3.8kg である。さらに、石刃を剥離していないブランクでは、10kg におよぶものもある。

舟底形石器は、大きさが 20cm を越える大型から 2 cm 程度の小型品まで各種あり、調整も粗いものから細かいものまで様々である。2 cm 程度の小型品は調整が細かく、一端または両端に槌状剥離がみられるものが多い。また、茶色の黒曜石 4 の原石を多用する傾向があるのも大きな特徴である。

両面調整石器の大部分は、尖頭器の初期の段階とみられるもので、石刃核、細石刃核のブランクと考えられるものが若干ある。

細石刃核は、「札滑型」（図 - 16 - 20～22）、「紅葉山型」（図 - 17 - 28～31）、「峠下型」（図 - 17 - 34～40）、「射的山型」（図 - 17 - 24）などと呼ばれているものが、比較的まとまって出土している。また、単独ながら「白滝型」、「ホロカ型」、「忍路子型」と呼ばれているものがみられる。

斧形石器は、緑色泥岩・頁岩・安山岩製の刃部磨製のものが若干みられる。

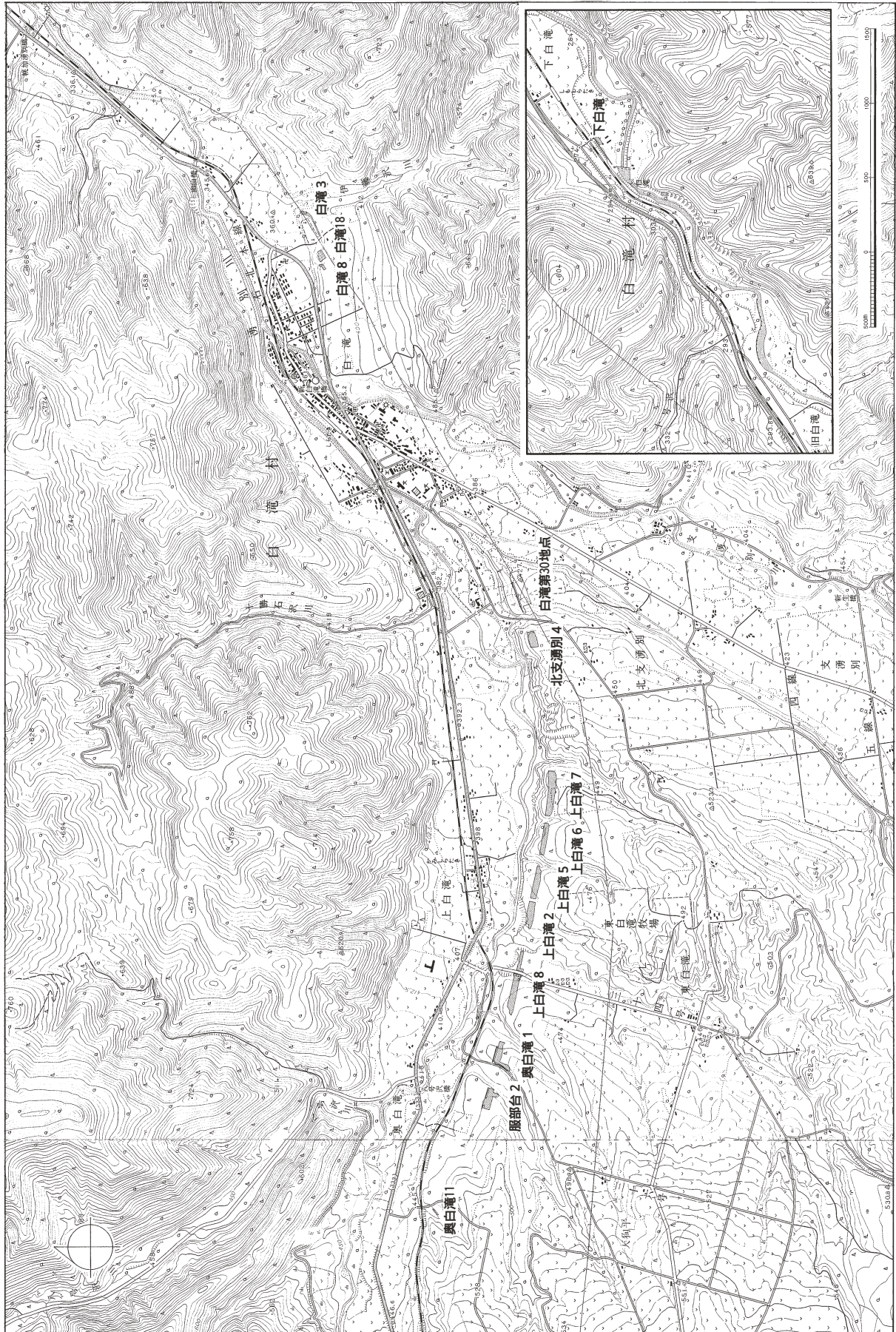
礫石器は、少ないが、台石と考えられるものがやや多く、敲石、砥石が数点ずつみられるだけである。

他には、石鏃、石刃鏃、つまみ付きナイフなど縄文時代と考えられる石器も少量ながらみられる。石刃鏃を含む石器群は上白滝 6 遺跡で 2 か所、上白滝 5 遺跡でも 1 か所の石器ブロックが確認されている。

石材の大部分は黒曜石であるが、安山岩、頁岩、珪岩、めのう、碧玉、凝灰岩などもみられる。黒曜石以外の石材の石器は素材ないし石器の形で遺跡に搬入されている。また、それらと同様な状況で白滝以外の産地の黒曜石も搬入されている。出土石器の総重量は、およそ 8,000kg、最大のものは上白滝 8 遺跡で出土した 10.4kg の石刃核のブランクである。この総重量は、黒曜石以外の石材も含まれるが、大部分は黒曜石製であるので、人頭大の 6 kg 程度の原石だと 1,333 個、握り拳大の小型の 600 g 程度の原石だと 13,333 個という量の原石ということになる。最も遺物量の多い上白滝 8 遺跡は、半数に近い 3,500kg の重量である。

各遺跡出土石器群の特徴

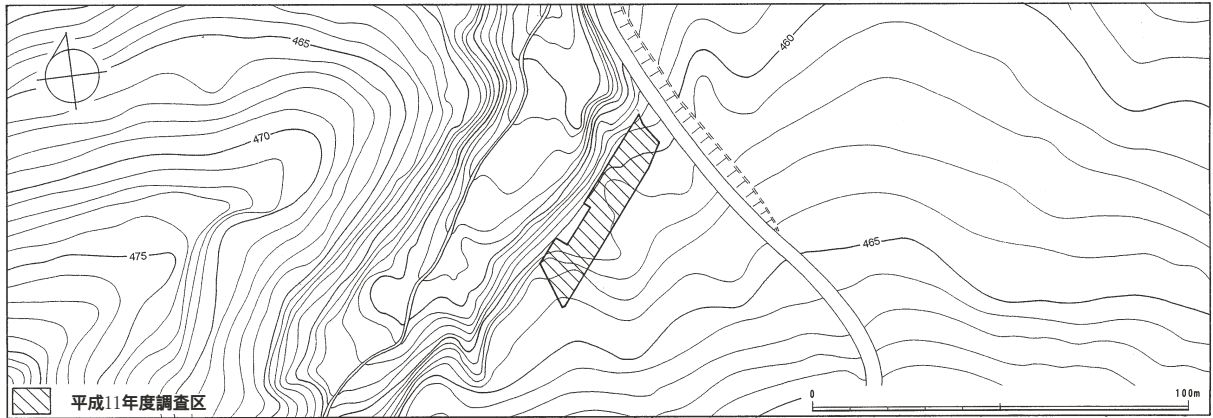
石器類は、層位的に分離できないが、平面的にある程度のまとまりで確認できた。周氷河作用や風



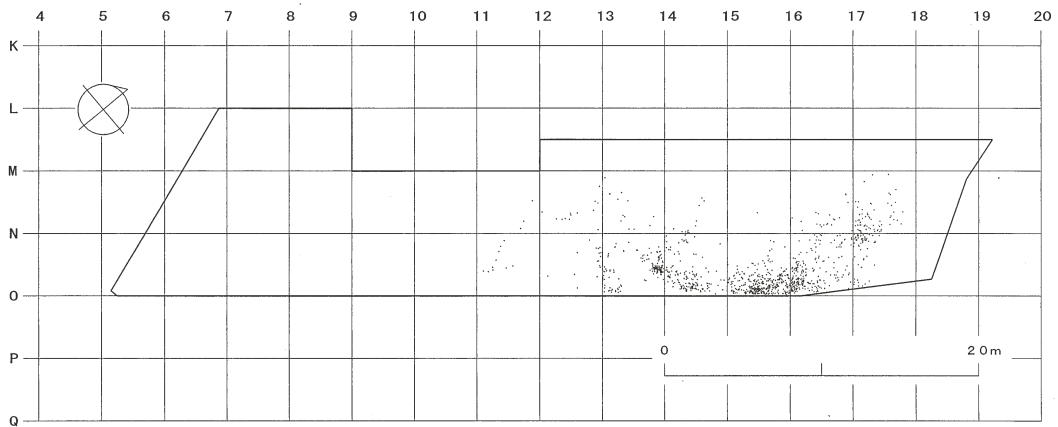
(国土地理院発行2万5千分の1地形図「北見峠」「白滝」「丸瀬布南部」を縮小)

図 - 6 白滝遺跡群調査区域図

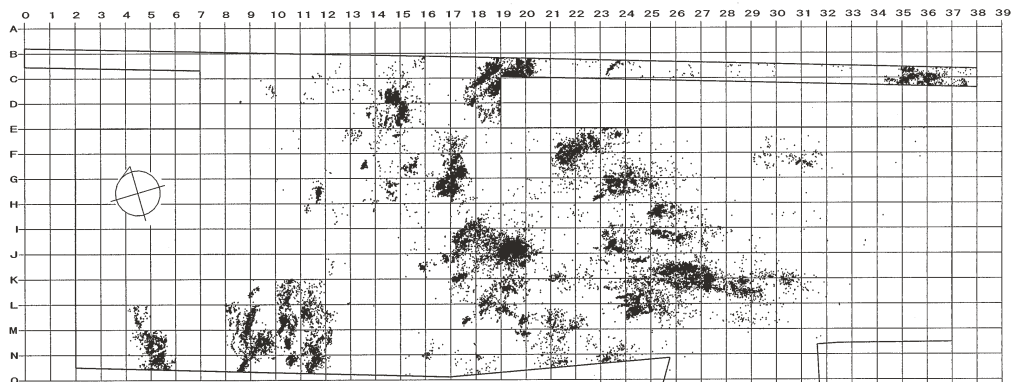
4 調査概要



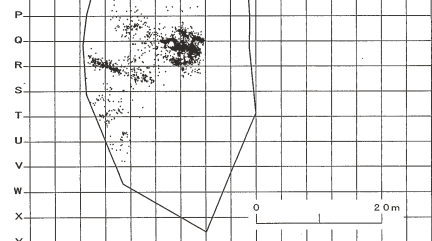
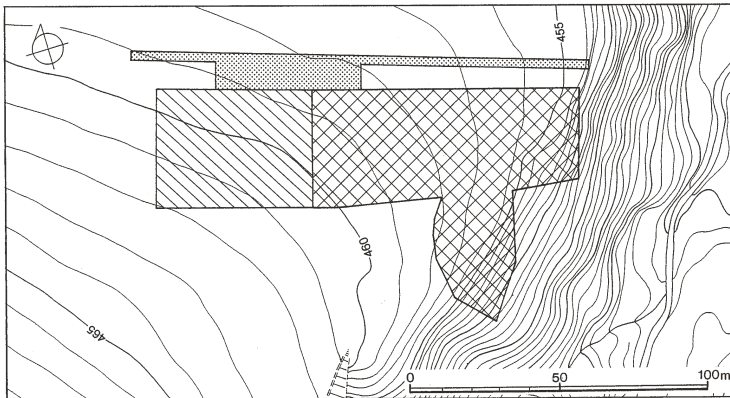
奥白滝11遺跡調査区域図



奥白滝11遺跡遺物分布図



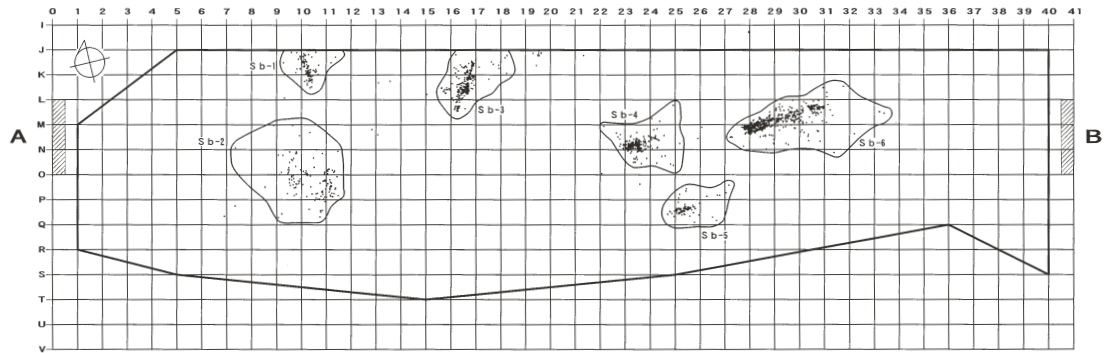
服部台2遺跡調査区域図



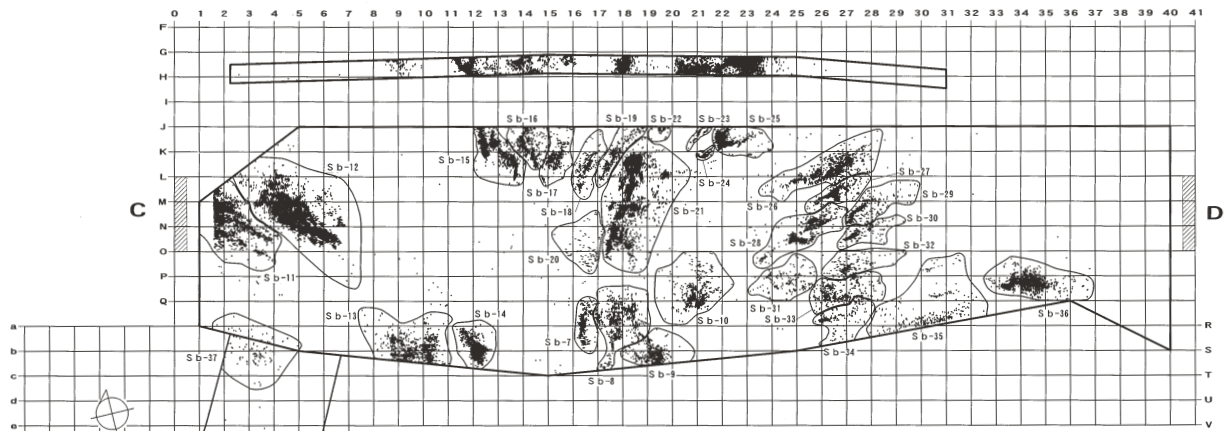
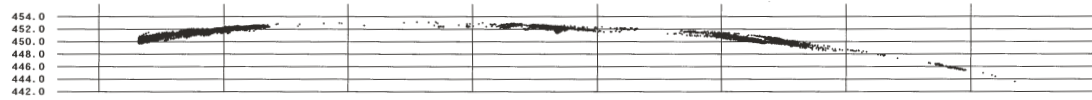
服部台2遺跡遺物分布図

- 平成9年度調査区
- 平成10年度調査区
- 平成12年度調査区

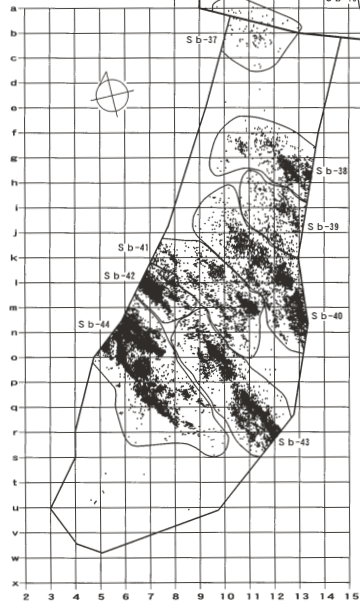
図 - 7 奥白滝11・服部台2遺跡調査区域・遺物分布図



奥白滝1遺跡Sb-1～6遺物分布図



奥白滝1遺跡Sb-7～44遺物分布図



奥白滝1遺跡調査区域図

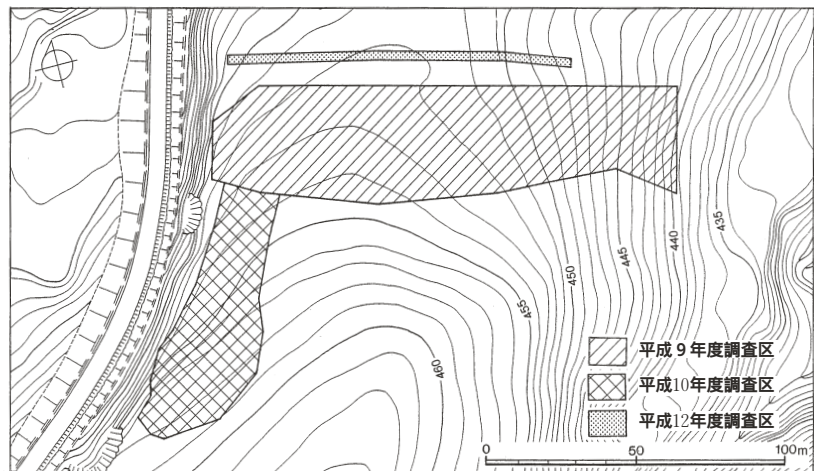


図 - 8 奥白滝1遺跡調査区域・遺物分布図

倒木・木根などの自然の営力によって若干の移動がみられるが、石器の稜の摩耗がない点や同一母岩とみられる石器類が比較的まとまって出土している点などから、石器類は大幅に移動していないことが想定される。したがって、石器類の平面的なまとまり（石器ブロック）は、石器が製作、使用、遺棄または廃棄された状況がある程度反映しているものと考えられ、単独ないし複数のものを石器群という形で捉えることができる。

湧別川の上流部から14か所の遺跡について石器群の概要と特徴を簡単に紹介する。

奥白滝11遺跡（平成11年）（図 - 7）

遺跡の主体部は、現状保存された旧路線部分で、調査区域は西側端にあたる。斜面の末端部に相当する部分から2,381点の遺物が出土したが、定形的な石器としては、尖頭器、削器、石核などがわずかにみられた。

服部台2遺跡（平成10・11・12年）（図 - 7）

平成10年の調査区では、「ホロカ型」細石刃核、舟底形石器、石刃核、彫器、搔器がブロックを形成して出土している。その中には大型の石刃核7点が0.8×0.3mの範囲から多数の剥片を伴って確認されたブロックや木葉形尖頭器製作のブロックなどがある。

平成11年の調査区では、尖頭器を主体とするブロックのほか、石刃核・両面調整石器のブロック、「紅葉山型」細石刃核・石刃・石刃核・搔器などのブロックが確認されている。「紅葉山型」細石刃核を伴うブロックの石刃と沢を挟んだ東側に位置する奥白滝1遺跡の同様の石器群の石刃が接合したものが2個体確認されている（章図参照）。接合距離は直線で、およそ340mである。また、耕作土中であるが「白滝型」細石刃核が6点出土している。

平成12年度の調査では、有舌を含む尖頭器を中心としたブロックのほか、台形石器が2点出土しているのが注目される。

奥白滝1遺跡（平成9・10・12年）（図 - 8）

平成9年の調査区は馬の背状の地形をした本線部分、平成10年の調査区は北側に緩やかに傾斜する斜面で、石器の斜面方向への移動が顕著にみられる。石器類は、平面分布や石器の特徴から44か所の石器ブロック（Sb - 1～44）に分けることができ、さらに接合状況などから12の石器群とした。

Sb - 1～6は「白滝群」で、剥片素材でその腹面側でうろこ状の剥片を剥離する石核（図 - 16 - 8）、剥片ないし分割礫を素材にして求心状に寸詰まりの剥片を剥離する石核（図 - 16 - 9）、交互剥離によって打面と作業面を入れ替える石核、打面転移を頻繁に行いサイコロ状の形態になる石核などがみられる。定形的な石器類は少なく、うろこ状や末端部が三角形に広がる剥片または縦長気味の剥片などに軽微な二次加工か微細剥離がみられるもの（図 - 16 - 4～6）が多く、若干の錐形石器（図 - 16 - 7）、搔器が伴っている。接合状況からSb - 1～3、Sb - 4～6の二つに分けられる。Sb - 1～3では、二次加工ある剥片のほかに粗い刃部加工の搔器が、Sb - 4～6では、小型剥片の腹面の打痕部に平坦剥離を施した石器や錐形石器がみられる。

Sb - 7～10は円錐形の「紅葉山型」細石刃核（図 - 17 - 28～31）を含む石器群で、細石刃、石刃、石刃核、搔器（図 - 17 - 32・33）、錐形石器などが伴っている。接合資料から、石刃剥離と打面再生が繰り返され、最終段階で細石刃剥離が行なわれたことがわかる。また、細石刃核は厚手の剥片を素材としたものもある。先に述べたように服部台2遺跡との遺跡間接合したものが2個体確認された。

残りの九つの石器群はすべて尖頭器を含むものであるが、ブロックの状況や石器の組成などが異なっている。Sb - 11・12では粗い加工の尖頭器の未成品、若干の搔器・削器、石刃、石刃核など、

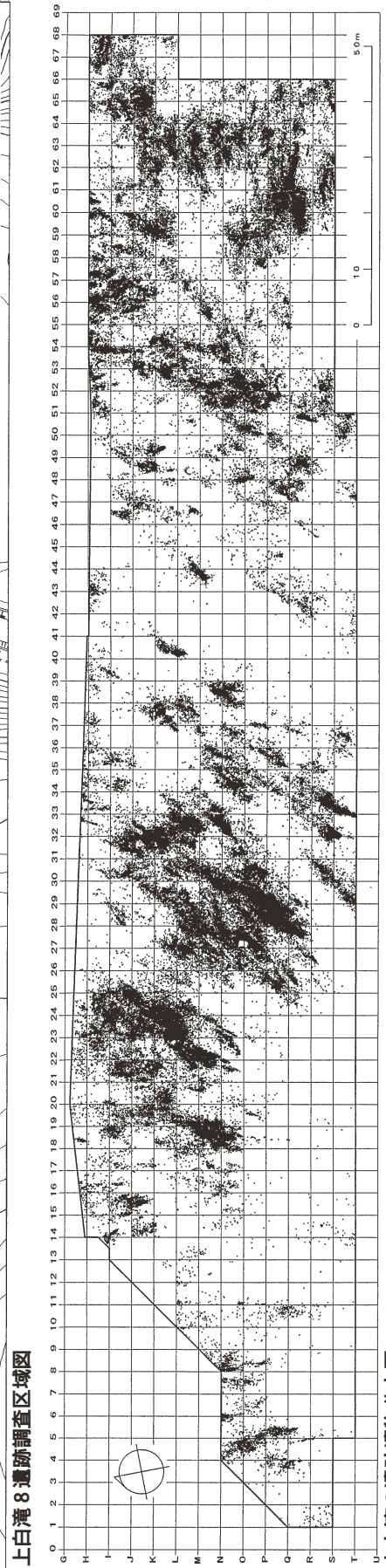
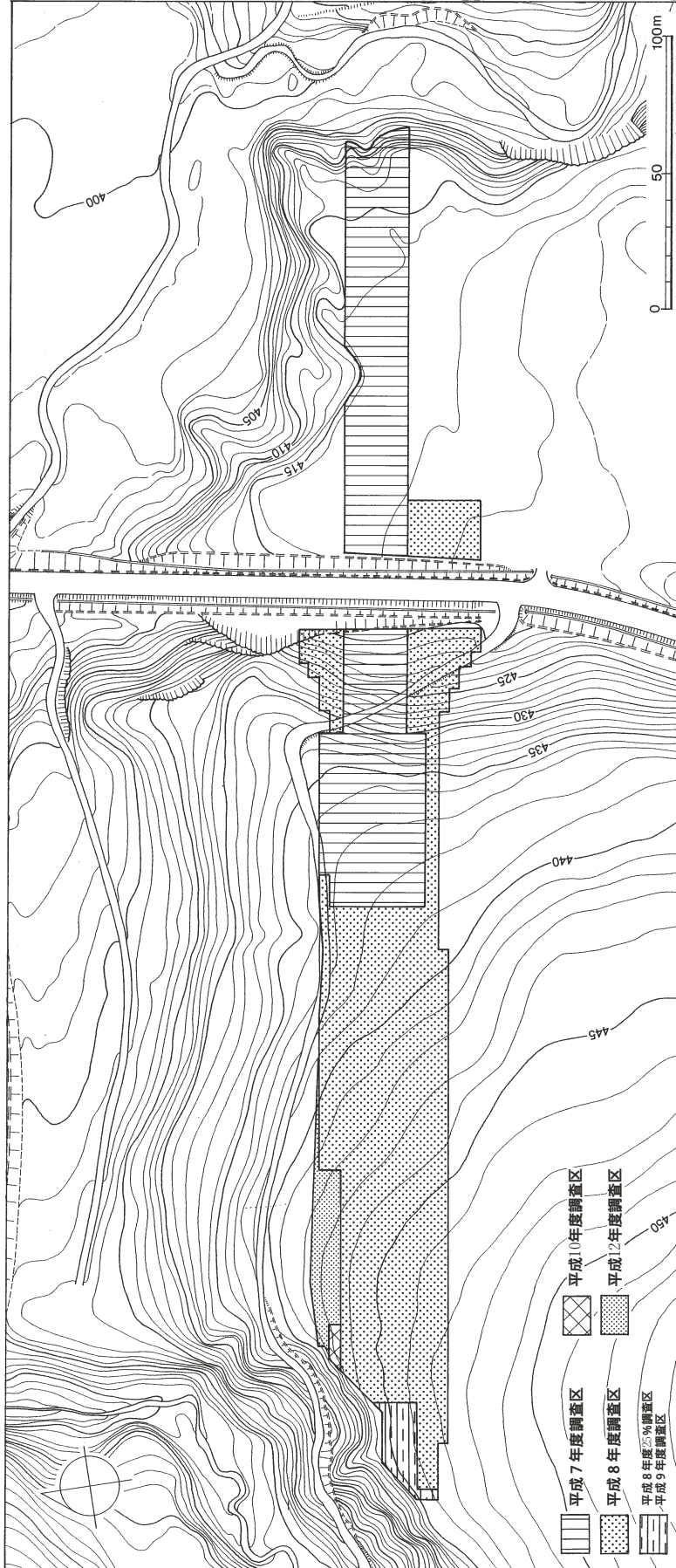


図 - 9 上白滝8遺跡調査区域・遺物分布図

4 調査概要

Sb - 15~21では加工の状況が様々な大小の柳葉形・木葉形尖頭器、搔器、錐形石器、舟底形石器のほか緑色泥岩製の斧形石器など、Sb - 22~25ではやや粗い加工の木葉形尖頭器、両面調整石器、彫器、搔器、石刃核など、Sb - 26~30では有舌尖頭器、柳葉形・木葉形尖頭器など、Sb - 31~36では有舌尖頭器、木葉形尖頭器のほか碧玉製の石刃・縦長剥片、台石などが出土している。Sb - 38~44は平成10年の調査区で、縄文時代と考える石器が混在しているが、多数の尖頭器がみられる。尖頭器はその大部分が製作途中の破損品で、幅の狭いものから大型で幅の広いものまで各種ある。その中でも幅が狭くて厚みがあるグループは白滝の他の遺跡ではみられないもので、所属時期も不明である。尖頭器以外では搔器、削器、石刃核が多く、縄文時代と考えられるものとしては、削器の一部、錐形石器、石鏃、つまみ付きナイフ、砥石などがある。Sb - 13、Sb - 14、Sb - 37は他のブロックと接合関係がないことから単独の石器群としたが、Sb - 13では粗い加工の尖頭器と搔器、削器などが、Sb - 14では尖頭器と台石などが、Sb - 37では粗い加工の尖頭器と石核などが出土しているだけである。

平成12年度の調査区は、平成9年の本線部分調査区の8m程北側で、有舌を含む尖頭器に彫器、削器、石刃核などが伴うブロックと「白滝 群」の二次加工ある剥片とサイコロ状の石核を含むブロックなどが確認された。前者の尖頭器のブロックでは、碧玉製の石器や剥片類が多数出土しているのが注目される。

上白滝8遺跡(平成7~10・12年)(図 - 9)

白滝第13地点の南側に接した一段高い段丘に立地し、平成7・8年に主要部分の調査を、平成9・10・12年に北西部分の若干の追加調査を行い、最終的に134万点の遺物が出土した。

「白滝 群」と仮称した今回の調査で最も古いと考えている石器群が15か所ほどのブロックで確認された。この石器群は、定形的な石器が少なく、わずかの二次加工ないし微細剥離のみられる小型剥片石器類(図 - 16 - 1)が大部分を占める。石核は、打面を頻繁に転位したサイコロ状を呈するもの(図 - 16 - 3)や厚手の剥片を素材としていわゆる寸詰まりの剥片を剥離するものなどが特徴的で、接合資料もかなりの数におよぶ。また、大型で加工の粗い搔器(図 - 16 - 3)を主体とするブロックもあり、時期的にいくつかに分けられる可能性がある。

「広郷型」ナイフ形石器が、石刃、石刃核などを伴ってみつまっている。また、単独出土の台形石器や斜面の一括採取の切出し形のナイフ形石器などもみられる。

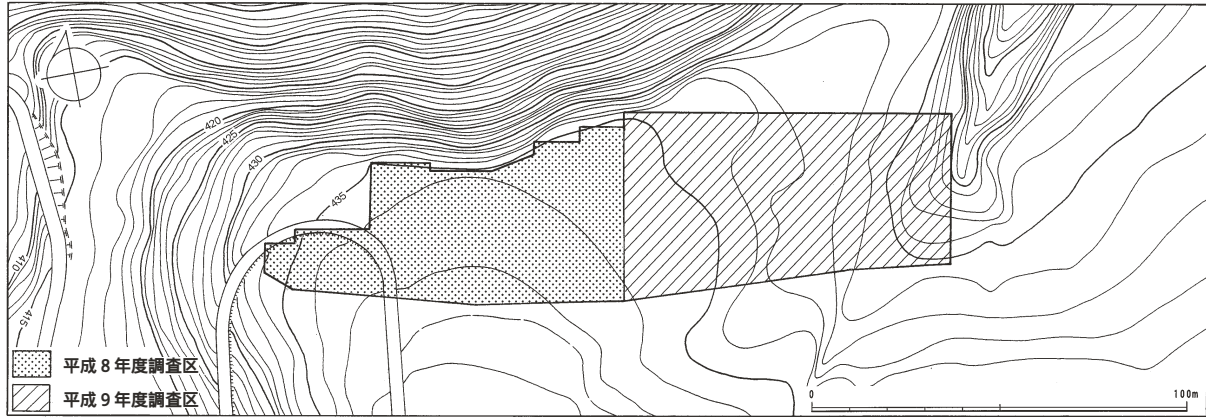
細石刃石器群は、「峠下型」細石刃核(図 - 17 - 34~40)とそれに伴う削片、細石刃のブロックがみられ、他に「ホロカ型」細石刃核が数点ある。

尖頭器の製作に関わるブロックが最も多い。形態は木葉形が多いが、有舌もみられ、大きさも大小様々、加工も粗いものから完成直前の精緻なものまで各種ある。素材は、小型のものは剥片であるが、大部分は板状の原石を利用している。両面調整石器は、大部分が尖頭器の初期の段階とみられ、いわゆる湧別技法のブランクと考えられない。出土した細石刃核の大半が「峠下型」であるということもこの考えを裏付ける。

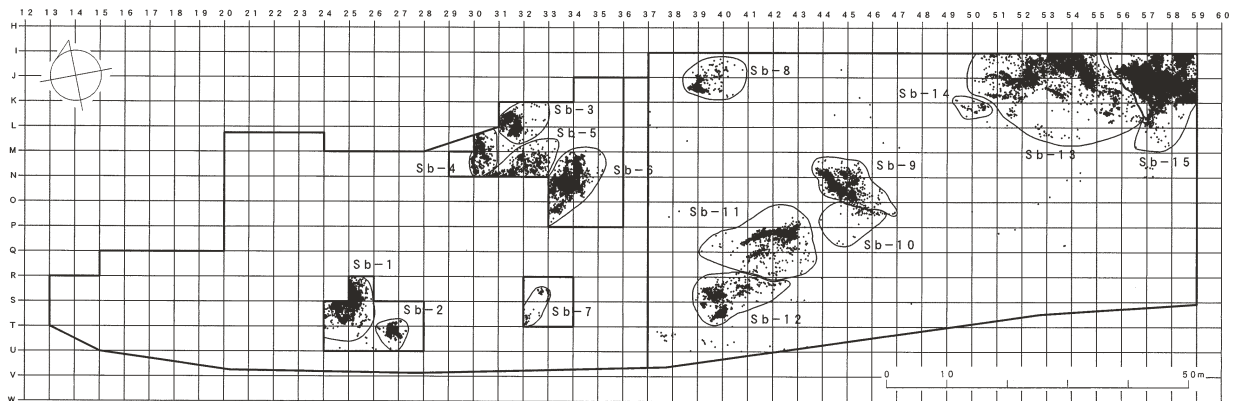
舟底形石器は、尖頭器、石刃核、彫器などとその製作剥片と共に出土し、大きさも調整も様々である。石刃核に舟底形石器、彫器、石刃などが接合した資料のほか舟底形石器の甲板面同士が接合したものなどもあり、その製作方法もいくつかのパターンが考えられる。また、尖頭器を縦割りにして小型の舟底形石器を製作していることがわかる接合資料もある。

上白滝2遺跡(平成8・9年)(図 - 10)

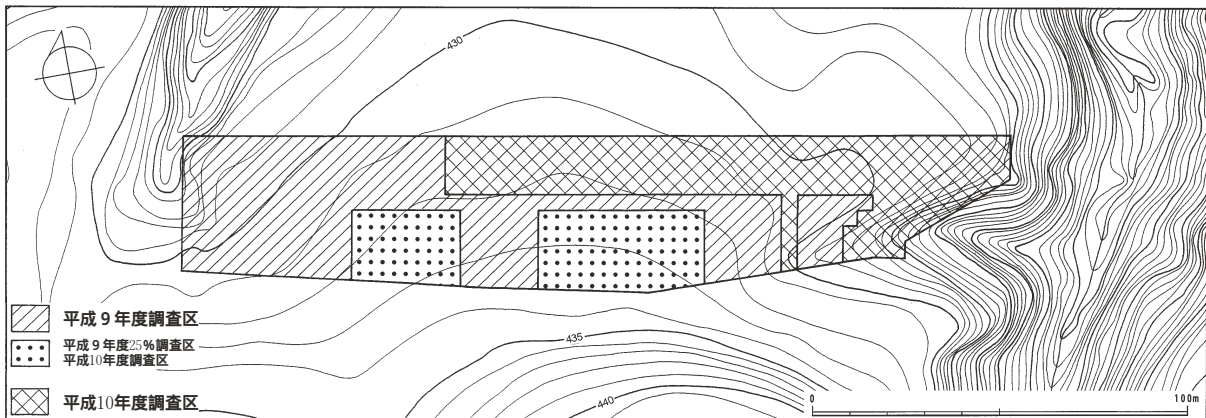
平成8年の調査区は、攪乱が著しく発掘区単位の遺物採取をした部分が多いが、平成9年の調査区



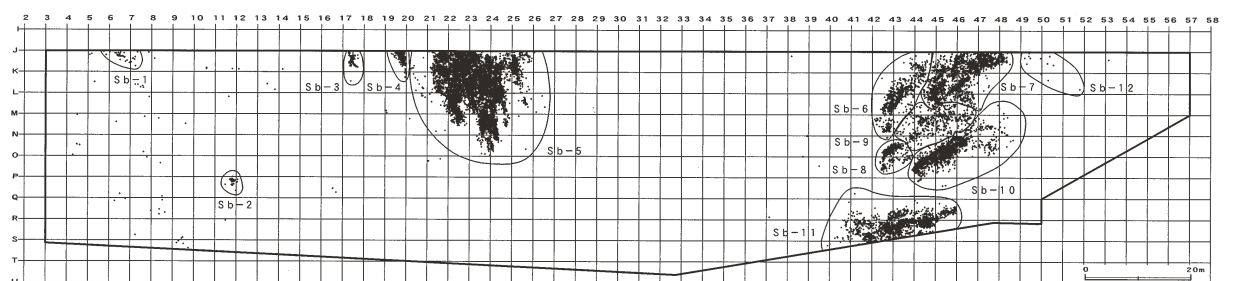
上白滝2 遺跡調査区域図



上白滝2 遺跡遺物分布図



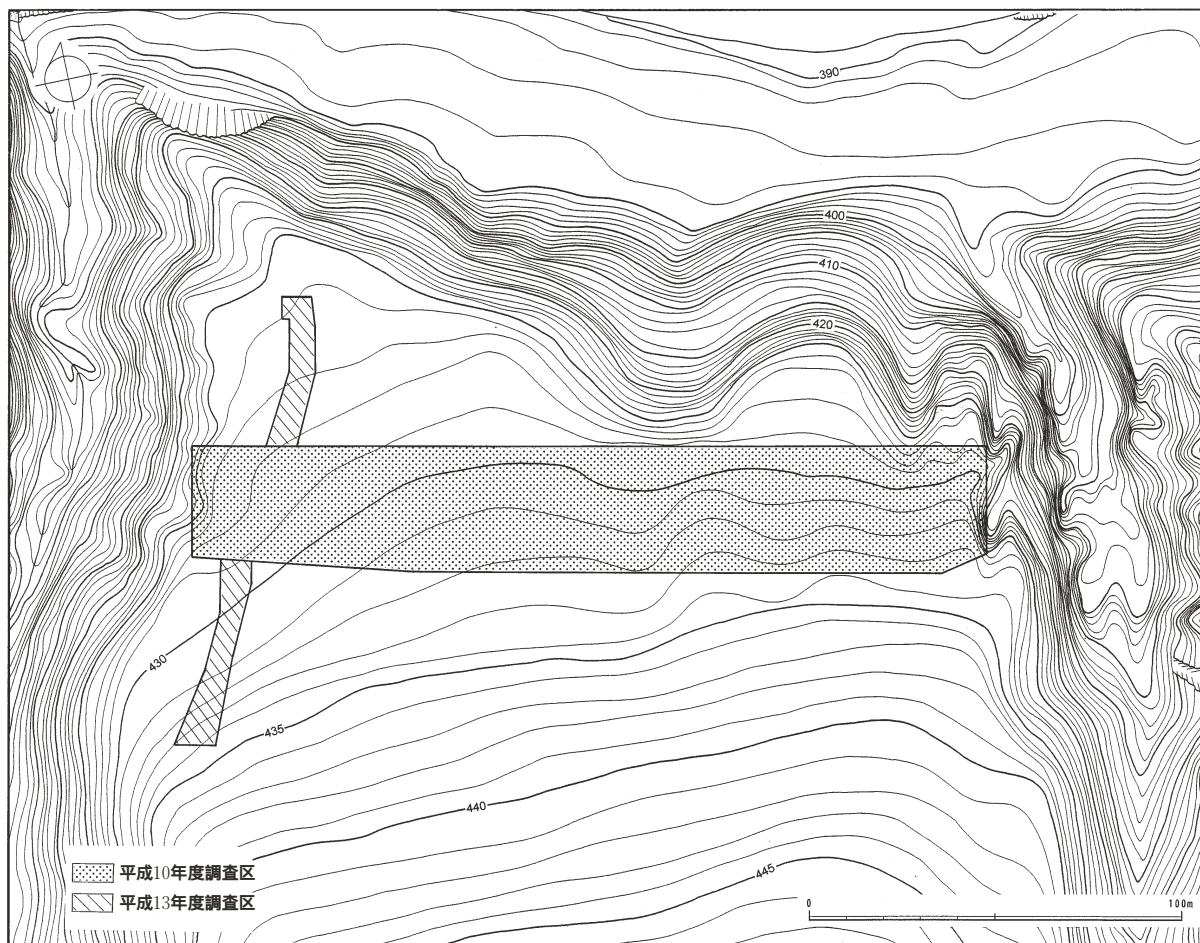
上白滝5 遺跡調査区域図



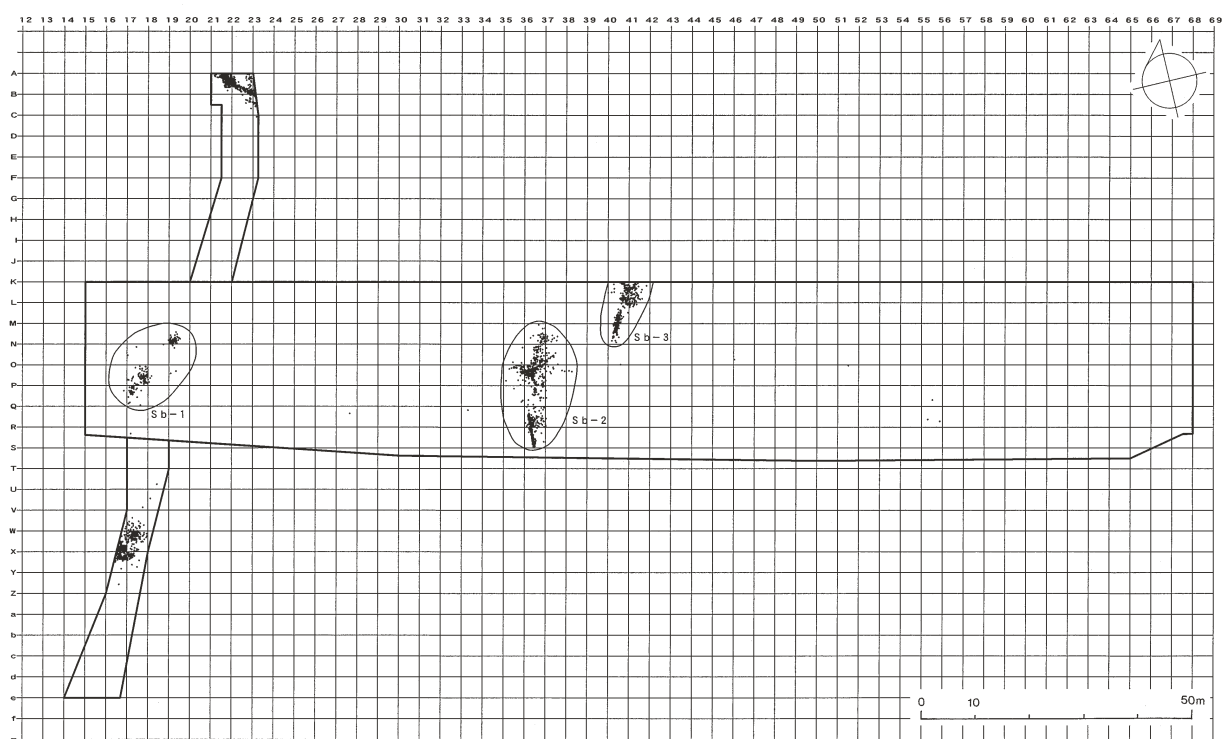
上白滝5 遺跡遺物分布図

図 - 10 上白滝2・上白滝5 遺跡調査区域・遺物分布図

4 調査概要

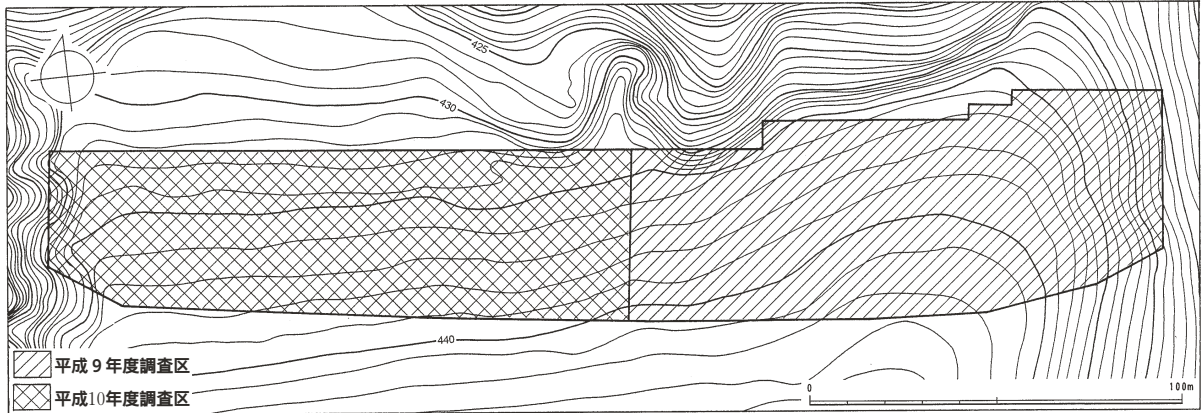


上白滝6遺跡調査区域図

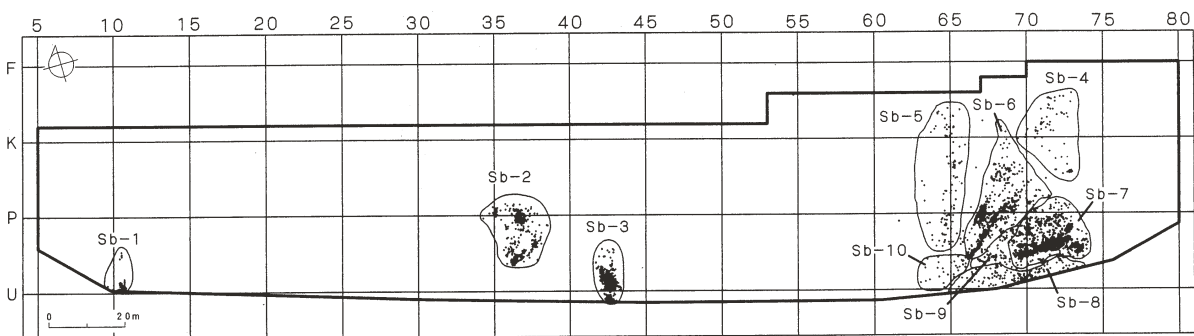


上白滝6遺跡遺物分布図

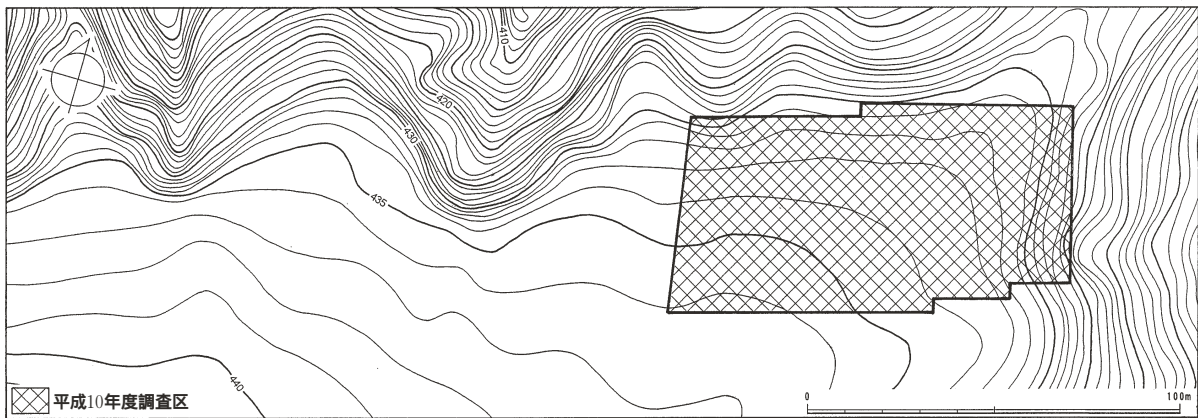
図 - 11 上白滝6遺跡調査区域・遺物分布図



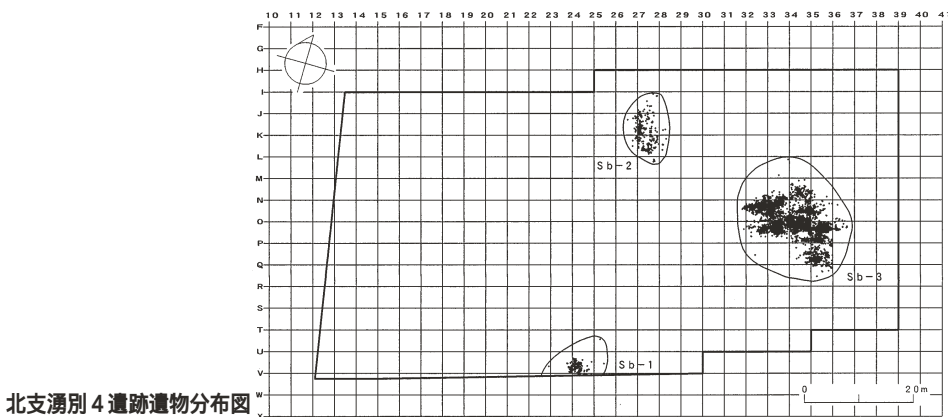
上白滝7遺跡調査区域図



上白滝7遺跡遺物分布図



北支湧別4遺跡調査区域図



北支湧別4遺跡遺物分布図

図 - 12 上白滝7・北支湧別4遺跡調査区域・遺物分布図

4 調査概要

では良好な状態で石器類が出土した。石器類は、平面分布や接合状況などから15の石器ブロック(Sb - 1 ~ 15)に分けることができ、さらに、それらは内容が不十分な石器ブロック7・8を除き、大きくは三つ、細かくは七つの石器群に分けることができる。

有舌を含む尖頭器を主体とする石器群は、Sb - 1・2とSb - 15である。Sb - 1・2は、角張った幅広の舌部の作出された有舌尖頭器と加工のやや粗い木葉形の尖頭器を主体とした石器群で、Sb - 1では、彫器、搔器などが、Sb - 2では、多量の製作剥片が伴っている。Sb - 2に重複するCb - 2の炭化木片のAMS法年代測定では、 $16,520 \pm 50\text{yBP}$ 、 $17,740 \pm 110\text{yBP}$ 、 $17,660 \pm 180\text{yBP}$ という数値が得られている。

Sb - 15は、遺跡全体の点取りの半数以上を占め、尖頭器は431点におよび、179点の彫器、125点の搔器を伴っている(図 - 17 - 41 ~ 52)。尖頭器のうち有舌尖頭器は100点を超え、両面に斜並行剥離が施された完成品ないし完成品に近いものもあるが、そのほとんどは破損・欠損品である。完形品で最大幅をみると2 ~ 3cmのものが多く、長さは全体の形状がわかるものでは最小5cm、最大13cmであるが、8 ~ 10cmのものが多い。

細石刃石器群と考えられるのは、Sb - 3 ~ 6・10、Sb - 9、Sb - 14である。Sb - 3 ~ 6・10は、細石刃と粗い両面加工の「札滑型」細石刃核(図 - 16 - 20 ~ 22)やそのブランクとともに多数の石核がみられ、さらにそれらを含む接合資料が得られた。Sb - 9は、大型石刃を素材とした「射的山型」細石刃核(図 - 17 - 24)と共に細石刃、彫器(図 - 17 - 25)、搔器(図 - 17 - 26)、削器(図 - 17 - 27)、石刃などが出土し、さらに、石核の調整剥片、石刃、打面再生剥片が接合し、最終的な石刃核が持ち出されたものが4個体確認された。そのうち最大の接合資料は高さが35cmもある。Sb - 14は頁岩製の細石刃、削片、細石刃核調整剥片などの接合資料のみの特殊なもので、持ち込まれた細石刃核で細石刃剥離が行われ、さらに残核が持ち出されたと考えられる。

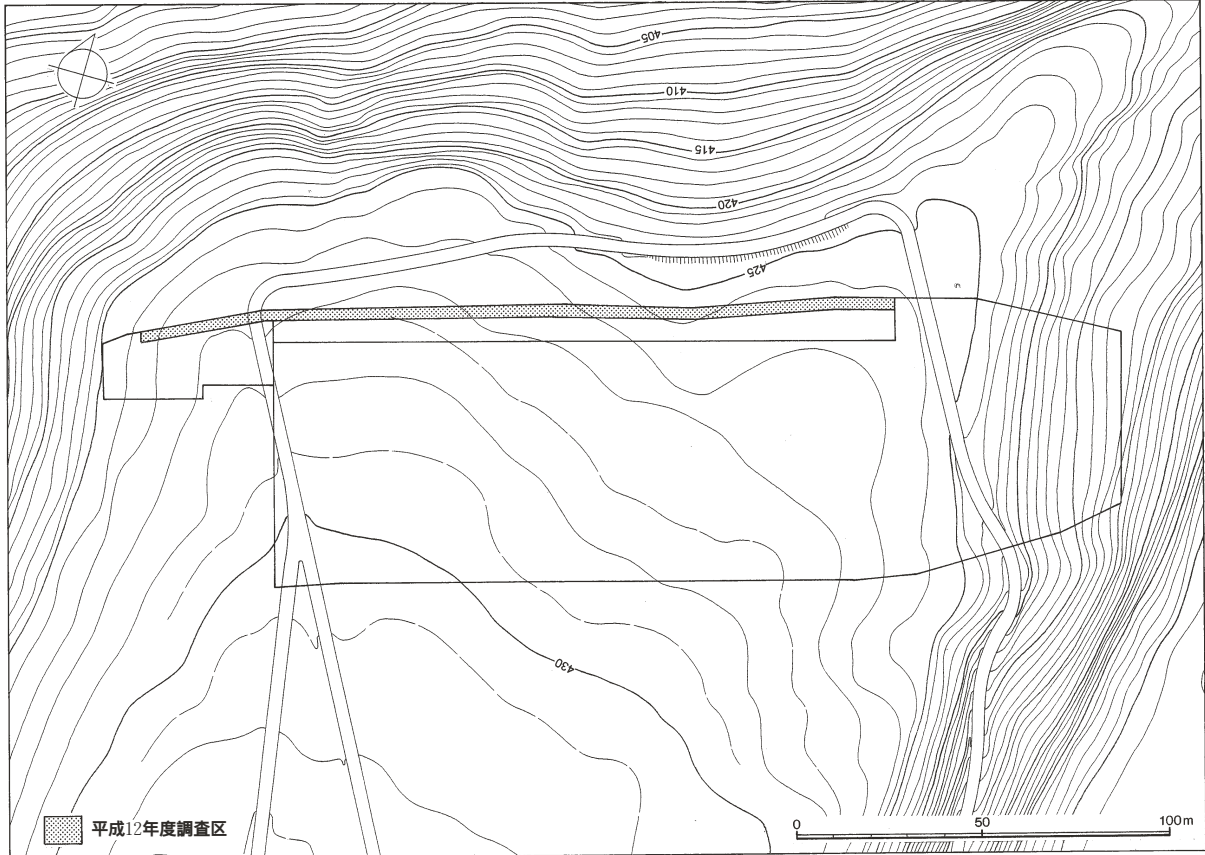
舟底形石器を主体とし、尖頭器、彫器、搔器、削器、錐形石器、石刃、石刃核、石核などが伴っているのは、Sb - 11・12とSb - 13である。いずれも尖頭器は大型品が主体で、その製作に関わる接合資料も得られている。舟底形石器は、製作途中の破損品が大部分で、その接合資料が多数ある。また、Sb - 13では、加工が精緻な小型の舟底形石器(図 - 17 - 57 ~ 59)もみられる。

上白滝5遺跡(平成9・10年)(図 - 10)

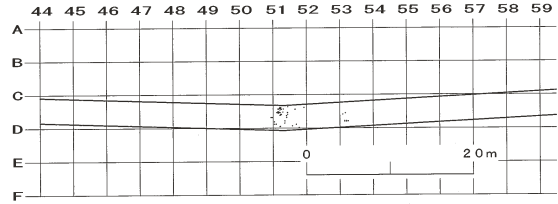
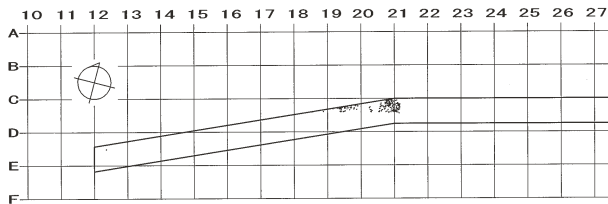
遺跡は上白滝2遺跡の小沢を挟んだ東側で、上白滝6遺跡とは深い沢を挟んだ西側に位置する。調査区の東西に大きな遺物集中区がみられるが、12か所の石器ブロック(Sb - 1 ~ 12)に分けられ、さらに七つの石器群とした。Sb - 1、Sb - 4では尖頭器の製作剥片、Sb - 2では尖頭器とその製作剥片が出土しているので、いずれも尖頭器の製作が行われているが、規模が小さく、内容は不明である。また、Sb - 2はパティナの状態や水和層測定の結果から縄文時代と考えられる。Sb - 3は大型石刃を含む石器群で、石刃・縦長剥片の接合資料が1個体確認できた。Sb - 5は西側の大きな集中区で、木葉形尖頭器、大型石刃、石刃核、石核などが出土し、接合資料などから尖頭器は石核素材と剥片素材のものがある。Sb - 6 ~ 11は調査区東側に位置する石器ブロックで、加工が細かく細身に薄手の尖頭器と小型舟底形石器を特徴とし、さらに彫器、搔器に安山岩製の斧形石器が伴っている。Sb - 12は12点しか遺物がないが、2点の石刃鏃、4点の削器を含む石器群で、産地推定の結果、それらの石器は白滝以外の黒曜石と判定されている。深い沢を挟んで東側に位置する上白滝6遺跡でも石刃鏃石器群が確認されており、現時点では接合関係などは確認できないが、関係が強い可能性がある。

上白滝6遺跡(平成10・13年)(図 - 11)

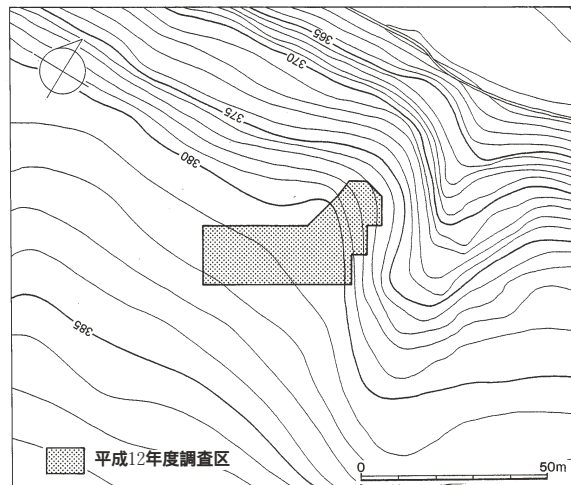
平成10年度の調査で出土した遺物は、すべて石器類で、時期的には縄文時代と旧石器時代のものが



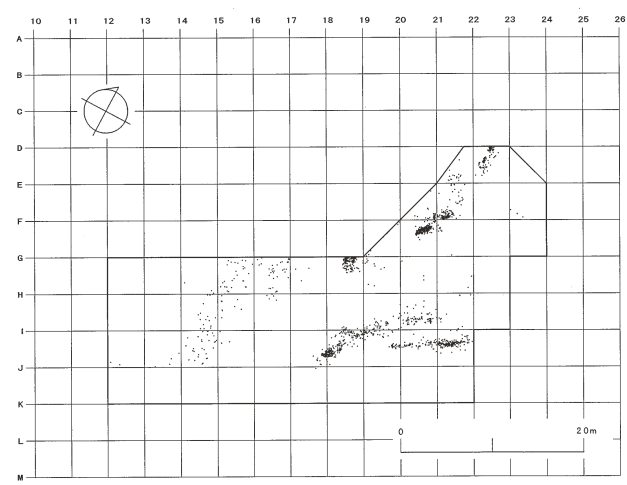
白滝第30地点遺跡調査区域図



白滝第30地点遺跡遺物分布図



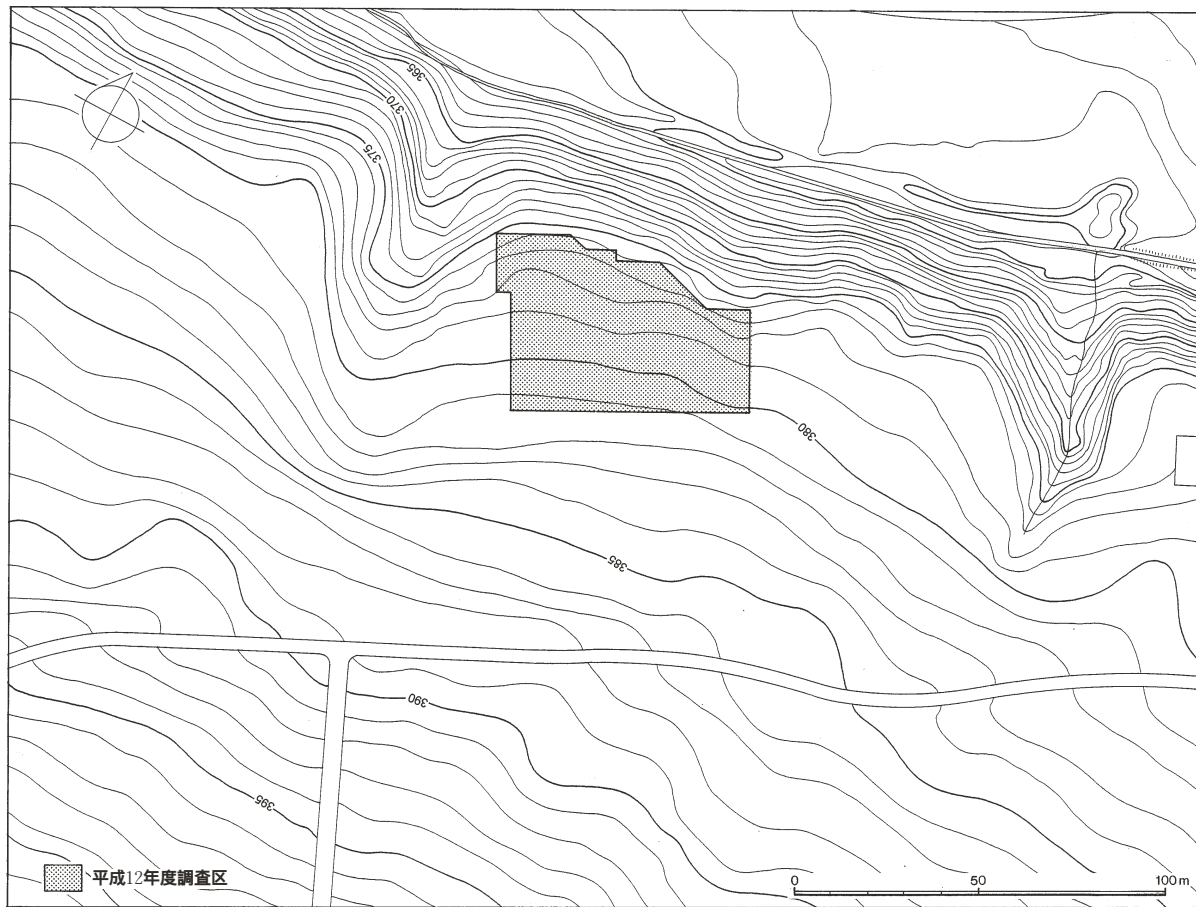
白滝8遺跡調査区域図



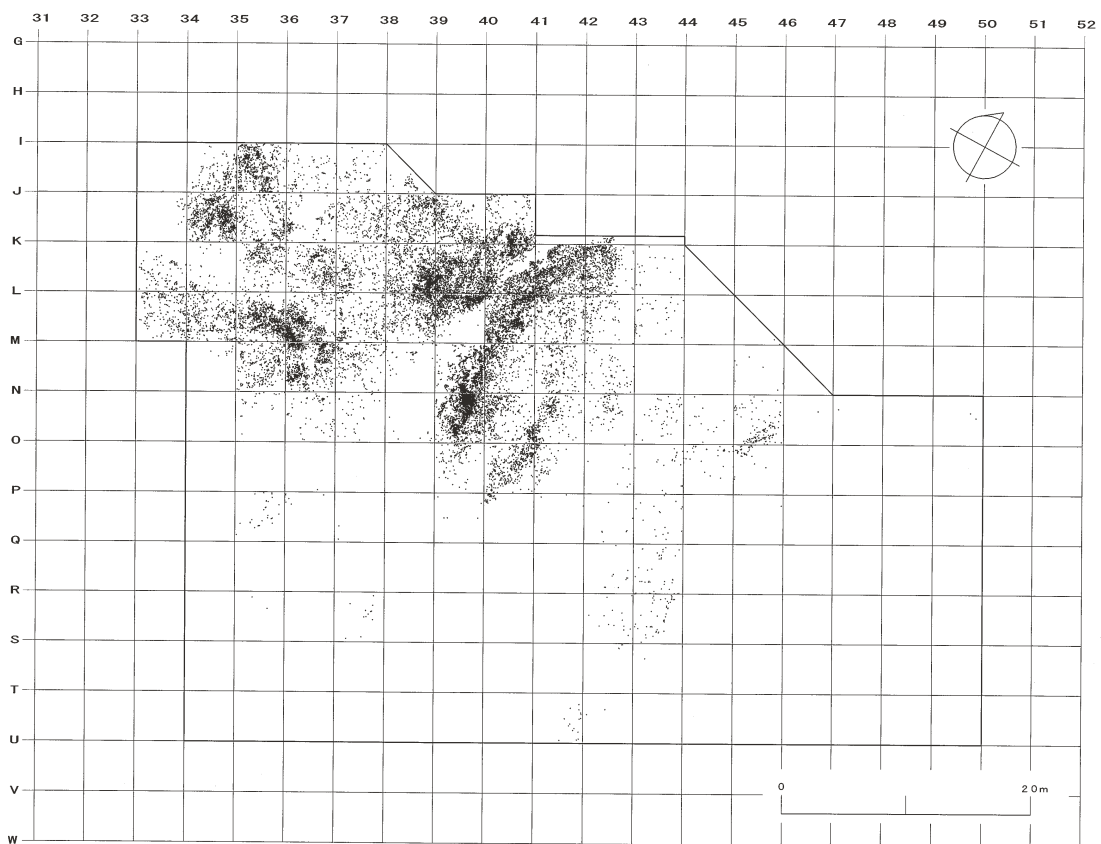
白滝8遺跡遺物分布図

図 - 13 白滝第30地点・白滝8遺跡調査区域・遺物分布図

4 調査概要

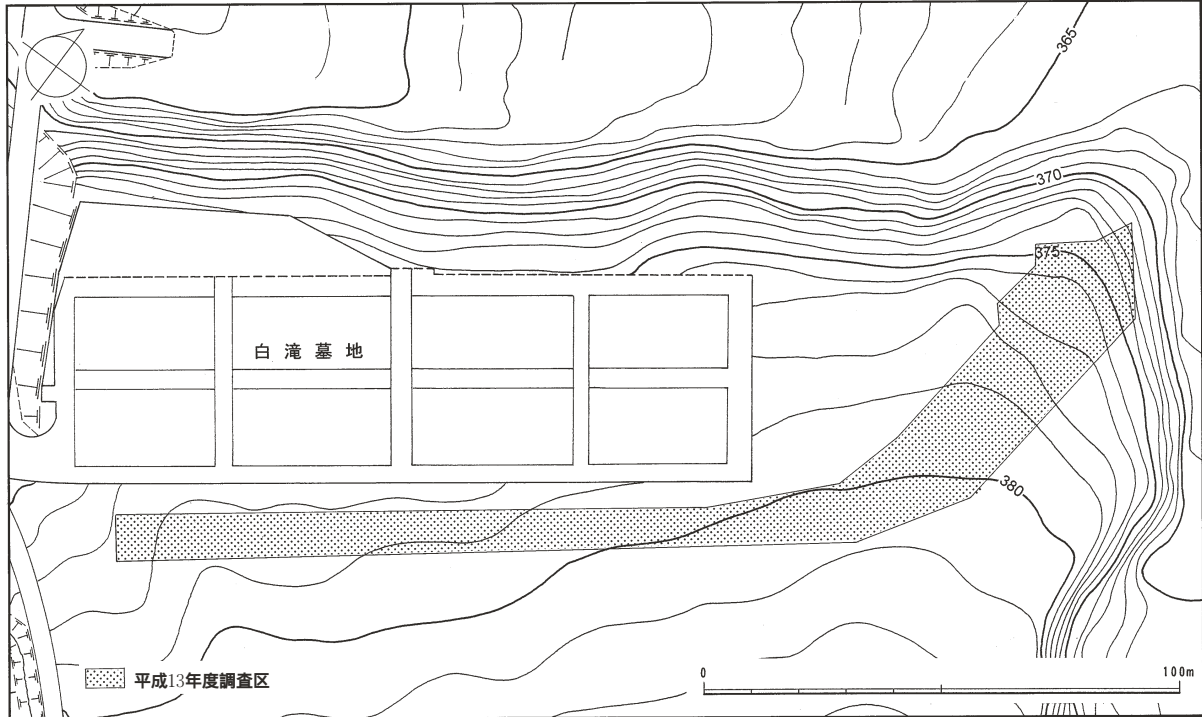


上白滝18遺跡調査区域図

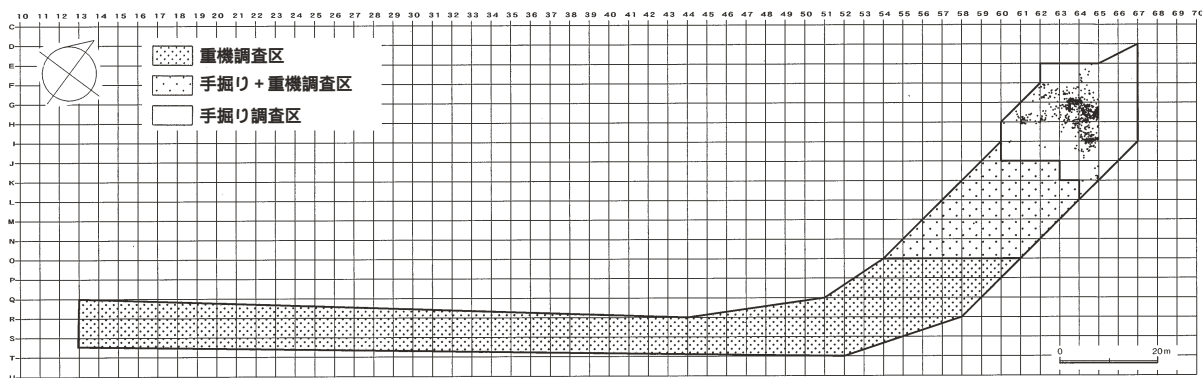


上白滝18遺跡遺物分布図

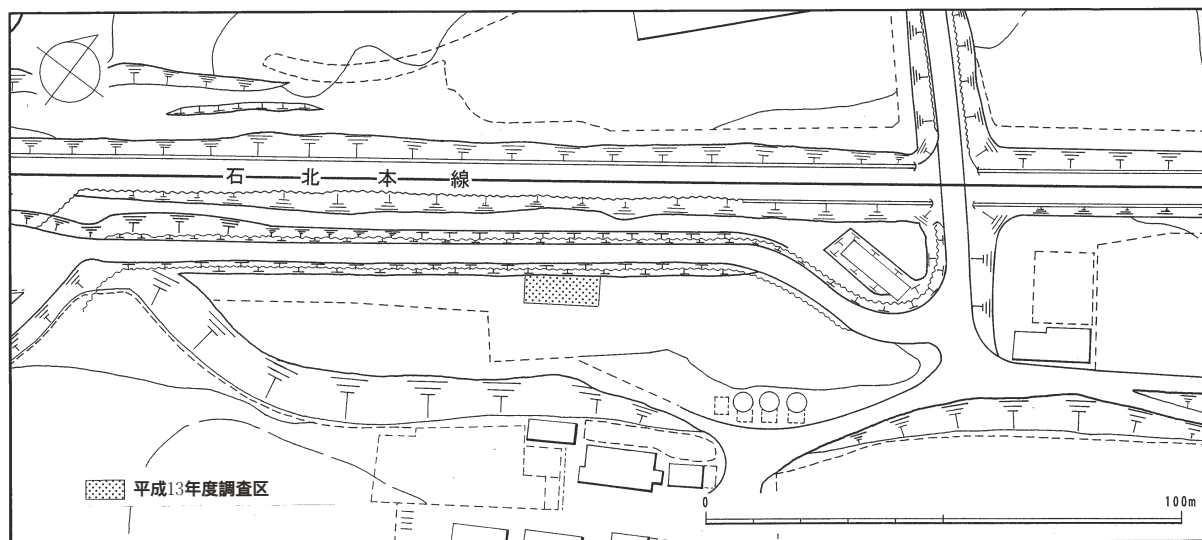
図 - 14 白滝18遺跡調査区域・遺物分布図



上白滝3遺跡調査区域図



上白滝3遺跡遺物分布図



下白滝遺跡調査区域図

図 - 15 白滝3・下白滝遺跡調査区域・遺物分布図

4 調査概要

ある。器種としては、有舌尖頭器を含む尖頭器、両面調整石器、彫器、搔器、削器、錐形石器、石刃、縦長剥片、削片、石核、石鏃、剥片などがある。これらのうち縄文時代と考えられるものとしては、石刃鏃を含む石鏃、搔器、剥片などがある。

石器類は、平面的に3か所のまとまりで確認でき、石器ブロック1～3(Sb-1～3)とした。また、これらの石器ブロックを構成する石器類は、特徴や組成、接合状況などから二つの石器群に分けることができる。

Sb-1は、石刃鏃を特徴とする石器群で、黒曜石製で斧状の大型搔器が伴っている。また、石刃鏃以外の搔器や剥片の大部分が梨肌の黒曜石2であるという特徴がある。時期的には、土器の出土はないが、縄文時代早期と考えられる。1点出土している石刃鏃の水和層測定による年代換算では、 $7,622 \pm 490$ yBPという数値が得られた。

Sb-2・3は、有舌尖頭器を含む尖頭器を特徴とする石器群で、両面調整石器、彫器、搔器、削器、錐形石器、石核などが伴っている。有舌尖頭器は、黒曜石製のものは角張った舌部が作出されているが、安山岩製のものは、身部と舌部の境が不明瞭である。尖頭器より彫器、搔器、錐形石器の割合が多く、濃緑色の碧玉製の彫器や錐形石器が特徴的である。両石器ブロックとも円礫や扁平礫から剥離された剥片やその核部分を素材にした尖頭器製作と彫器、搔器、錐形石器の使用などが行われた場と考えられ、ブロック間の接合資料が1個体ある。

時期的には後期旧石器時代末期と考えられるが、年代の決め手となる資料は得られていない。なお、尖頭器、削器、母岩別資料に含まれる剥片の水和層測定による年代換算では、 $18,832 \pm 2,573$ yBP、 $13,854 \pm 1,000$ yBP、 $21,489 \pm 1,346$ yBPという数値が得られたが、単純に石器群の年代として採用できない。

平成13年度の調査区は、平成10年度の本線部分の調査区西側、上白滝5遺跡に隣接する沢に近い部分で、本線部分を挟んで北側と南側の調査区がある。北側地区では北隅で傾斜に沿った細長い石器ブロックが1か所確認でき、尖頭器、搔器などが若干出土したが、大部分は尖頭器製作の剥片である。南側地区では調査区中央やや北側で石刃鏃を含む石器ブロックが1か所確認できた。石器類は、石刃鏃のほか石鏃、尖頭器、両面調整石器、搔器、削器、つまみ付きナイフ、石刃、石核などで、現時点では白滝遺跡群の中では最も充実した石刃鏃石器群である。石刃鏃、石鏃、石刃などの石器類は透明感の強い良質の黒曜石で、同様な剥片が全くないことからそれらは単体で遺跡に搬入されている。一方、両面調整石器、石核や剥片類は梨肌の黒曜石2で、原石を搬入して石器製作が行われている。平成10年度調査区の石刃鏃石器群であるSb-1でも梨肌の搔器や剥片が多いことから、関連性が強いと考えられる。

上白滝7遺跡(平成9・10年)(図 - 12)

石器類は、平面的に10か所のまとまりで確認でき、石器ブロック1～10(Sb-1～10)とした。また、これらの石器ブロックを構成する石器類は、特徴や組成、接合状況などから三つの石器群に分けることができる。

Sb-1は、二次加工ある剥片、剥片のみの特殊な石器組成である。二次加工ある剥片は剥片の形状や加工の状況から、石器素材と考えられる。一見したところ他のブロック出土の石器類に比べ光沢があり、水和層が発達していないことが分かり、水和層測定による年代換算では、 $2,193 \pm 156$ yBP、 $2,719 \pm 222$ yBP、 $4,047 \pm 138$ yBPという数値が得られている。類例や水和層測定によるデータなどから、縄文時代後・晩期頃ではないかと考えられる。

Sb-2・3は、尖頭器を特徴とする石器群で、彫器、搔器、石核などが伴っている。尖頭器は8cm

前後の木葉形のものが製作され、破損・欠損品が多くみられる。時期的には後期旧石器時代末期と考えられるが、年代の決め手となる資料は得られていない。

Sb - 4 ~ 10は、ナイフ形石器(図 - 16 - 10~18)を特徴とする石器群で、搔器(図 - 16 - 19)、石刃、石刃核などを伴い、多数の接合資料がある。ナイフ形石器は、「広郷型」ナイフ形石器と呼ばれているものを含み、母岩分類の結果、61個体の母岩別資料(97接合資料)が抽出でき、原石の選択、石核からの素材獲得、ナイフ形石器の加工などの状況が把握できた。年代の決め手となる資料は得られていないが、打面調整のみられない比較的単純な石刃技法と「白滝 群」に類似する寸詰まりの剥片剥離の共存ということから、細石刃出現以前の後期旧石器時代前半で、「白滝 群」より新しい時期と考えられる。

北支湧別4遺跡(平成10年)(図 - 12)

出土した遺物は、すべて石器類で、時期的には旧石器時代のものが大半を占めるが、縄文時代とみられるものもある。器種としては、尖頭器、両面調整石器、彫器、搔器、削器、二次加工ある剥片、石刃、縦長剥片、石刃核、石核、剥片などがある。

石器類は、平面的に3か所のまとまりで確認でき、石器ブロック1~3(Sb - 1~3)とした。また、これらの石器ブロックを構成する石器類は、特徴や組成、接合状況などから二つの石器群に分けることができる。

Sb - 1は、尖頭器とその製作剥片のみの出土で、尖頭器製作が行われた場と考えられる。いずれの石器も剥離面の光沢が強く、水和層が発達していないことから縄文時代の石器群と考えられる。

本年度に実施した3点の尖頭器の水和層測定による年代換算では、 $7,600 \pm 259yBP$ 、 $4,860 \pm 281yBP$ 、 $4,656 \pm 125yBP$ という数値が得られ、肉眼観察と同様な測定結果が得られた。

Sb - 2・3は、尖頭器を特徴とする石器群で、両面調整石器、彫器、搔器、削器、石刃、縦長剥片、石刃核、石核などが伴っている。3点の有舌尖頭器は舌部が明瞭に作出され、ほぼ完形の黒曜石製の2点は産地推定ではいずれも置戸・所山産と判定されている。また、中間から先端部が欠損している1点は珪質頁岩製で、3点の有舌尖頭器は、いずれも石器の形で遺跡に持ち込まれていると考えられる。尖頭器は柳葉形ないし木葉形のもので、破損品やその製作剥片が多く、両石器ブロックとも尖頭器製作が行われた場であったことがわかる。また、主にSb - 3において搔器、削器が出土しているので、その製作・使用も行われていた。ブロック間の接合資料が1個体ある。

時期的には後期旧石器時代末期と考えられるが、年代の決め手となる資料は得られていない。

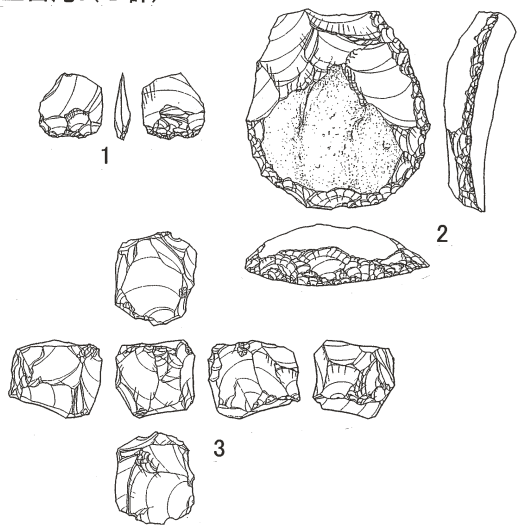
白滝第30地点遺跡(平成12年度)(図 - 13)

平成7~9年度に白滝村教育委員会が調査した白滝第4・30地点遺跡に隣接している。遺物総数は4,627点であるが、耕作による攪乱が著しく、点取り遺物は314点である。定形的な石器は、細石刃、搔器、削器、舟底形石器などで、細石刃に搔器、削器の伴う小ブロックと尖頭器の製作剥片のみの小ブロックが確認されただけである。

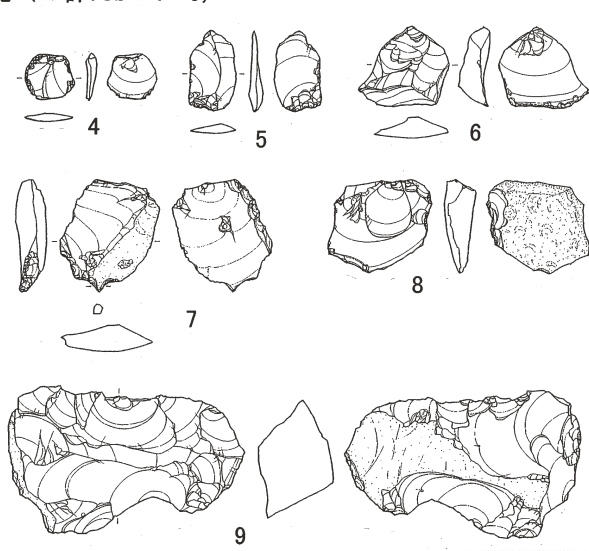
白滝8遺跡(平成12年度)(図 - 13)

湧別川と支湧別川の合流地点に近い白滝村市街南方、上白滝地区の遺跡の立地する上白滝面より一段低い東白滝面の標高380m前後の河岸段丘上にある。遺跡は小規模で、段丘縁辺の小沢に面した突出部に遺物が分布している。定形的な石器は、細石刃、彫器、搔器、削器、舟底形石器、石刃核、石核などである。斜面部で舟底形石器に近接して発見された凝灰岩製の石刃核は、長さ37cm、重さ3kgの大型品で、形態的には丸ノミ形の石斧に類似するが、石斧の刃部に相当する部分には研磨痕などはみられない。他の地域の遺跡から持ち込まれたもので、その用途、性格が注目される。

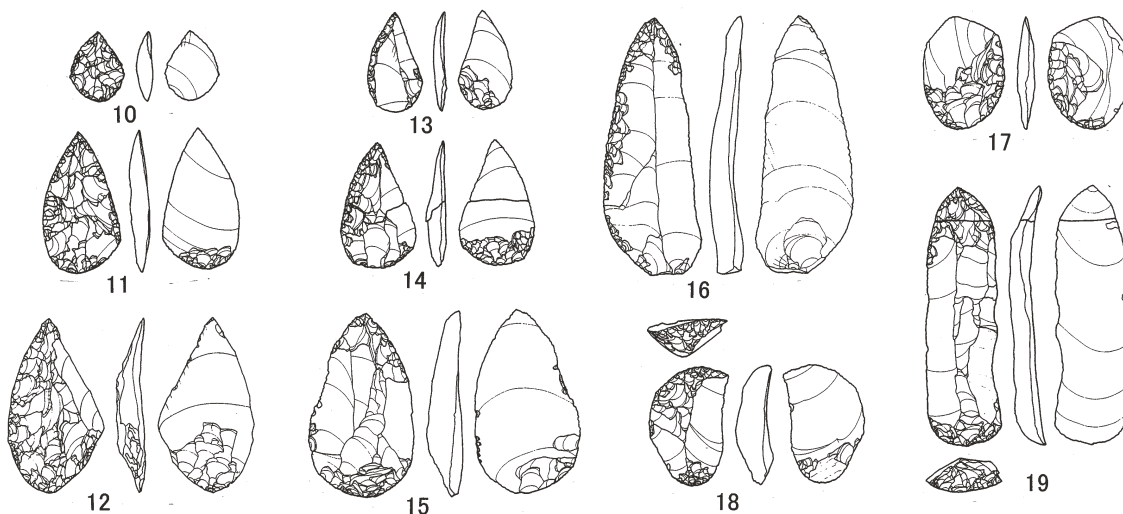
上白滝8(I群)



奥白滝1(I群:Sb-4~6)



上白滝7(Sb-4~10)



上白滝2(Sb-3~6・10)

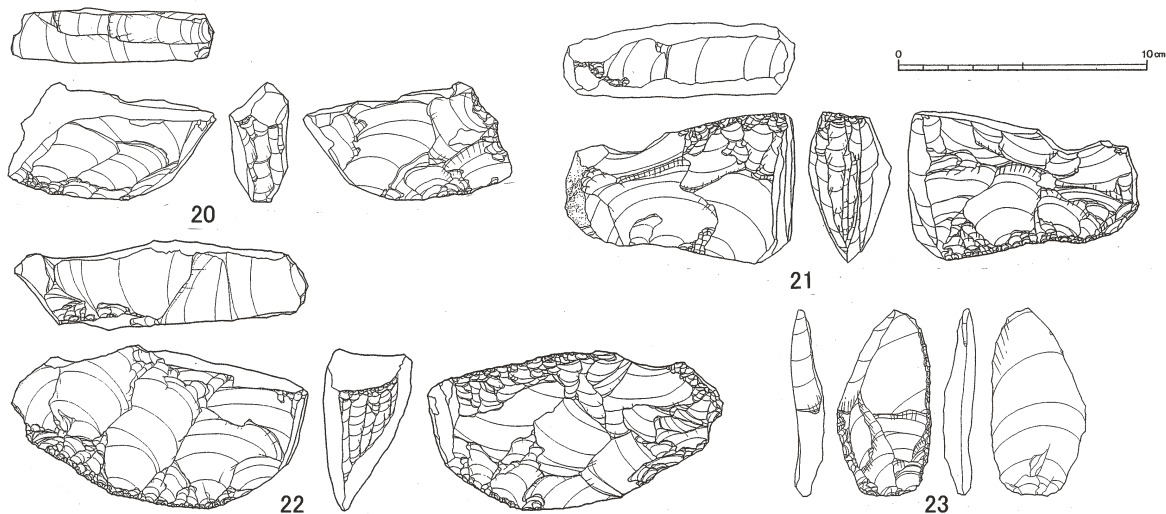
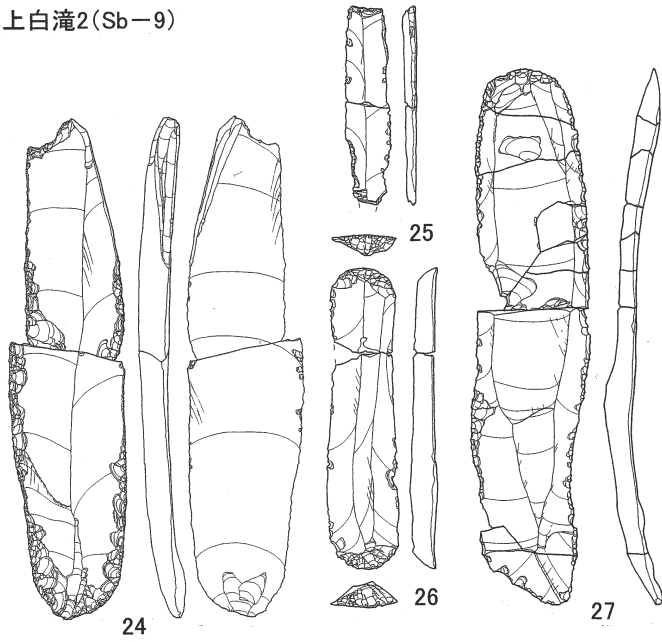
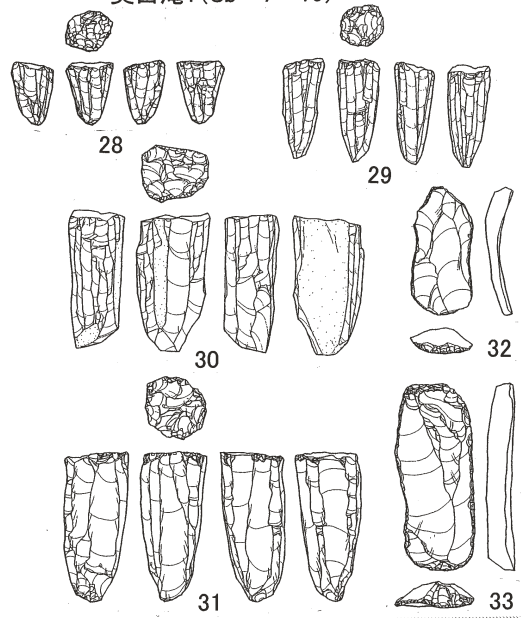


図 - 16 白滝遺跡群出土石器(1)

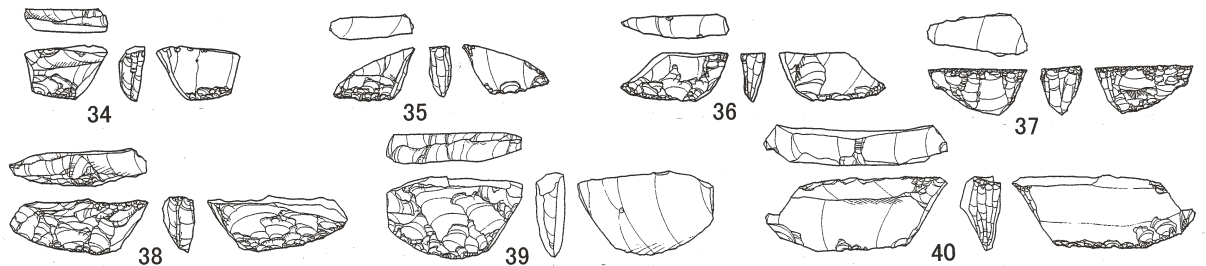
上白滝2(Sb-9)



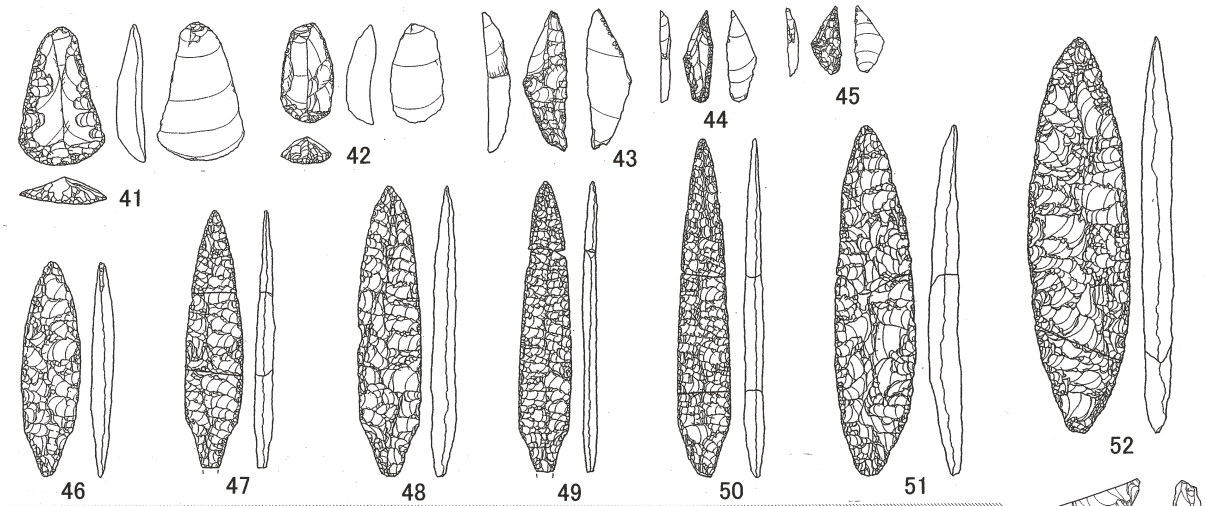
奥白滝1(Sb-7~10)



上白滝8



上白滝2(Sb-15)



上白滝2(Sb-13)

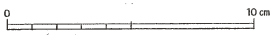
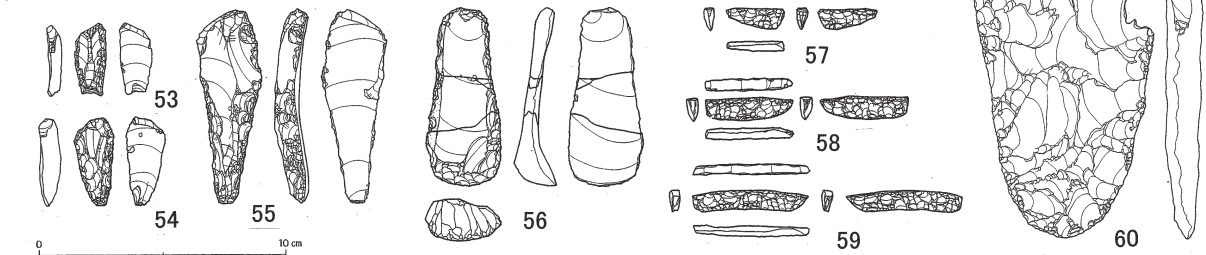


図 - 17 白滝遺跡群出土石器(2)

白滝18遺跡 (平成12年)(図 - 14)

白滝8遺跡同様、湧別川と支湧別川の合流地点に近い東白滝面の段丘縁辺の緩斜面に立地し、白滝8遺跡の小沢を挟んだ東側に位置している。遺物は、北東方向の小さな沢を挟んで分布し、定形的な石器としては、尖頭器、搔器、削器、舟底形石器、石核、石刃核などがあるが、尖頭器が35%を占める。その尖頭器は大部分が幅の広い有舌のもので、大きさ・形態ともにバラエティーに富んでいる。もっとも大型のものは、長さ31.1cm、幅9.7cmである。素材は剥片が多いが、板状の原石もみられ、その大部分が破損・欠損品である。類似した有舌尖頭器は、白滝では上白滝8遺跡、他の地域では、北見市広郷28遺跡、置戸町置戸安住遺跡、今金町神丘2遺跡などで出土している。

白滝3遺跡 (平成13年)(図 - 15)

遺跡は白滝18遺跡の東方400m、同じ東白滝面の段丘縁辺に立地し、東側には伊藤の沢川が流れている。調査区は大きく白滝墓地南の西側地区と段丘縁辺の東側地区に分けられる。西側地区は耕作による攪乱のため、遺物包含層が全くなく、発掘区単位での重機による掘り上げ後、人力による遺物採取を行った。採取された遺物はすべて石器類で、有舌尖頭器、尖頭器、彫器、搔器、石刃核、石核などがある。東側地区では段丘の先端部に遺物の分布が認められ、尖頭器、小型のものを含む舟底形石器、彫器、搔器、錐形石器、石刃核、石核が出土した。

下白滝遺跡 (平成13年)(図 - 15)

遺跡は、白滝市街の北東約9.5km、丸瀬布町市街とのほぼ中間点、村名の由来である「白滝」の下流、標高270mの湧別川左岸の河岸段丘上に立地している。湧別川との比高は約7mである。遺跡は全体的に耕作による攪乱が著しく、段丘の端部分に攪乱を免れた部分がわずかにある。今年度の調査区は、畑部分の90㎡、すべて攪乱を受けている部分で、重機による掘り上げ後、人力による遺物採取を行った。遺物総数は1,010点、すべて石器で、石鏃、尖頭器、搔器、石核などが若干あるが、大部分は小型の剥片類である。石鏃などの製作を行っている縄文時代の遺跡の可能性が強い。平成14年度に残りを調査する予定である。

(長沼 孝)

遺跡の位置と周辺の環境

1 遺跡の位置と周辺の遺跡

遺跡の所在する白滝村は、北海道網走支庁管内中西部に位置し、北緯43°44'20"から43°57'30"、東経143°0'40"から143°18'20"の間にある。北は丸瀬布町・滝上町、東は丸瀬布町、西・南は上川支庁管内上川町に接している。

村の中央には湧別川と支湧別川に挟まれた台地状の三角地帯があり、周囲は山地に囲まれている。北側には湧別川の左岸に急峻な山地が迫り、その中に黒曜石の産出地として知られる赤石山がある。また、南西から南東にかけて大雪山系の天狗岳・武利岳・支湧別岳などの1,600～1,800mの山々が連なっている。村内を東西に流れる湧別川は天狗岳に源流を發し、北側からは赤石山周辺から流れ込む八号沢川、十勝石沢川、幌加湧別川を吸収し、南側からは本来本流である支湧別川（アイヌ語で「シ・ユーベツ」、「大きい・湧別川」の意味）と白滝村市街地で合流し、丸瀬布町、遠軽町、上湧別町、湧別町を経てオホーツク海に流れ込んでいる。

道内の黒曜石産地との位置関係は、赤石山を起点とすると南東方向40kmに置戸町所山・置戸山、南方向50kmに上土幌町十勝三股が位置している。

村内には92か所の遺跡が確認されている（図 - 1・2、表 - 1）。土器が出土している石井遺跡以外は、断片的に縄文時代の石器が見られるものの大部分が旧石器時代の遺跡である。それらのほとんどは湧別川沿いの河岸段丘上に所在し、「白滝遺跡群」と総称されている。これらは、大きく八号沢と湧別川の合流点付近、十勝石沢川と湧別川の合流点付近、幌加湧別川と湧別川の合流点付近の三つの集中地区に分けることができる。いずれも赤石山を源流とする沢と湧別川の合流点付近から下流に広がる形で集中し、原石採取や、露頭へのルートとして沢を利用していたことが想定される。その内、特に、八号沢川と湧別川の合流点付近には白滝第13地点遺跡をはじめ、服部台・服部台2・白滝第32・33地点遺跡など、学史的に有名かつ大規模な遺跡が集中している。一方、段丘以外では、赤石山の山麓で赤石山・幌加沢遠間地点・幌加林道遺跡の3遺跡が確認されているのみであるが、深い森林のために発見されていない遺跡があることが予想される。

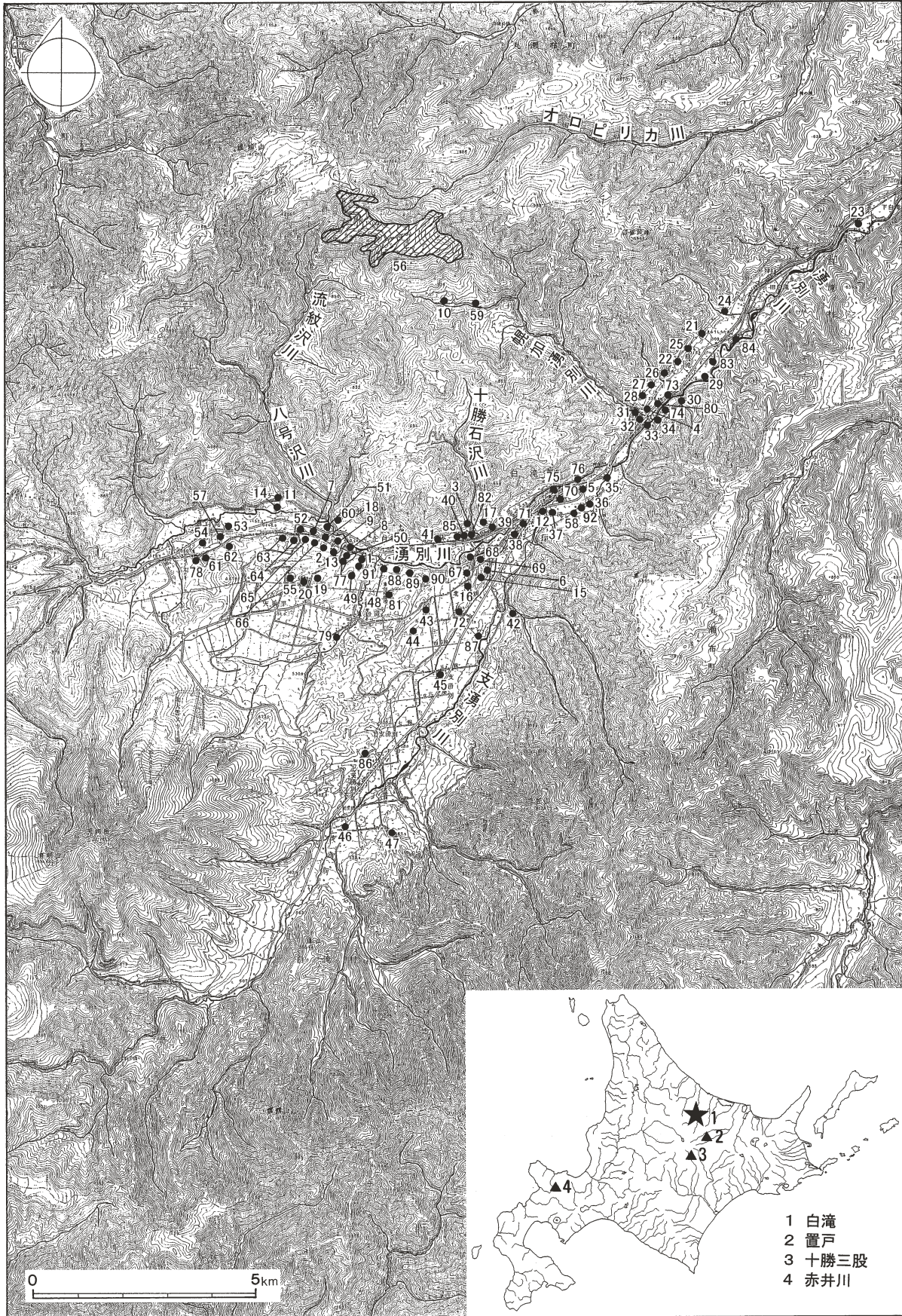
黒曜石は赤石山山頂および露頭、八号沢川、十勝石沢川、幌加湧別川、湧別川などで採取でき、遺跡ではその立地環境を反映して大量の黒曜石が利用されている。湧別川中流域の遠軽町内にある同時代のタチカルシュナイ遺跡でも同様に黒曜石の利用がみられる。

奥白滝1遺跡は、八号沢川と湧別川の合流点から約0.8km下流の右岸段丘上、服部台2遺跡の沢を挟んだ東側、上白滝8遺跡の沢を挟んだ西側に隣接し、大規模な遺跡が集中する地域の中央部に位置する。標高は約440～460m、湧別川との比高は30～50mである。

上白滝5遺跡は、八号沢川と湧別川の合流点から約1.8km下流の右岸段丘上、上白滝2遺跡の小さな沢を挟んだ東側に隣接し、大規模な遺跡が集中する地域の東端に位置する。標高は約430～435m、湧別川との比高は30～35mである。（鈴木宏行）

2 遺跡周辺の地形と地質

遺跡群のある白滝村は、北海道の屋根といわれる大雪山系北東山麓の小盆地に位置し、盆地内には西から東に流れてオホーツク海に注ぐ湧別川と、南東から北西に流れて白滝市街で湧別川と合流する



(国土地理院発行5万分の1地形図「白滝」「上湧別」「丸瀬布南部」「大和」を使用)

図 - 1 白滝村の位置と村内の遺跡



(国土地理院発行5万分の1地形図「白滝」を使用)

図 - 2 奥白滝1・上白滝5遺跡の位置と周辺の遺跡

表 - 1 白滝村の遺跡一覧

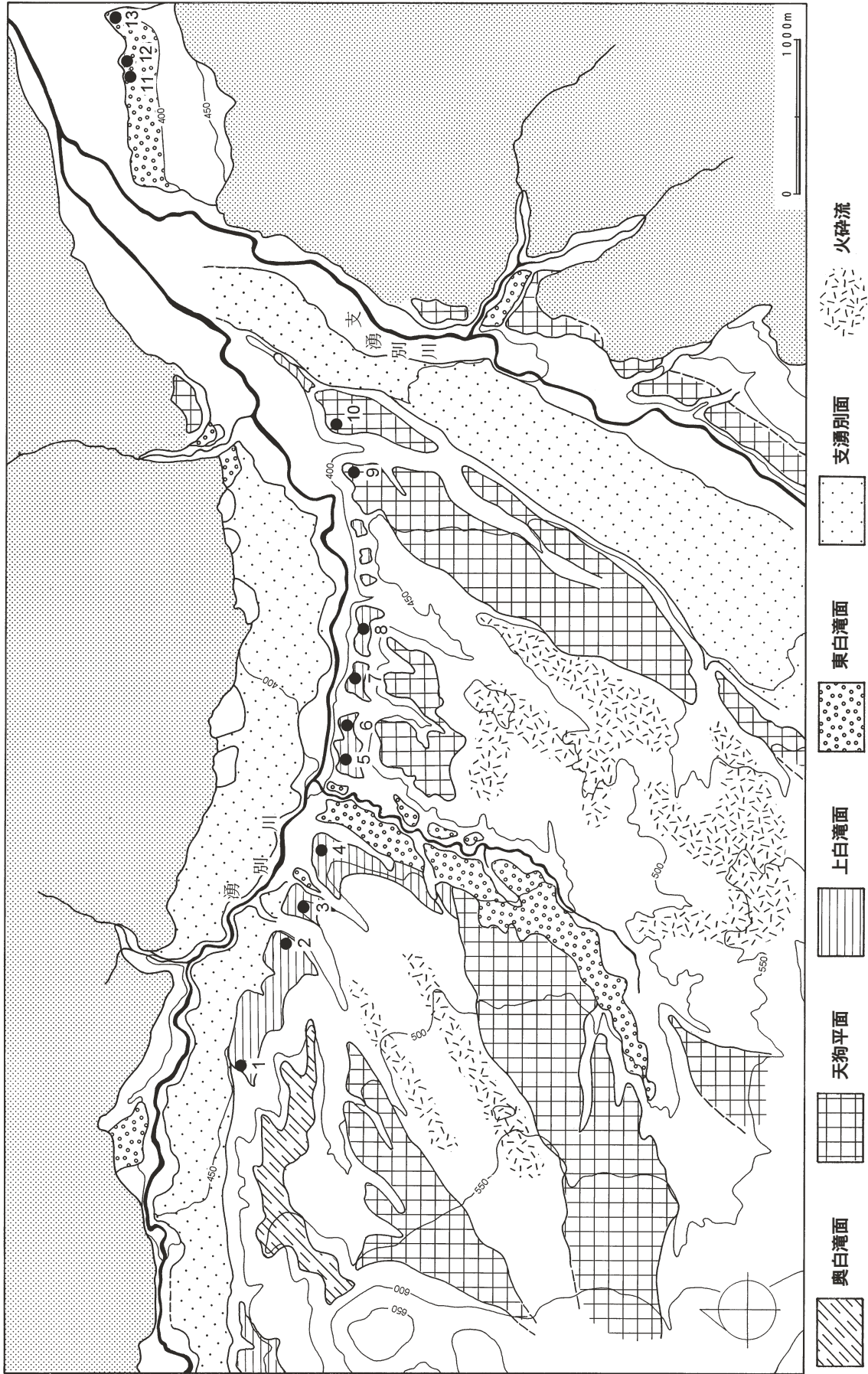
登録番号	遺跡名	調査年度	報告関連	登録番号	遺跡名	調査年度	報告関連
1	白滝第13地点	1955	吉崎 1961	40	白滝7		
		1956	北大調査団 1960	41	上白滝1		
		1958	吉崎 1961	42	北支湧別1		
		1986	松谷 1987b	43	東白滝1		
2	服部台	1961	杉原・戸沢 1975	44	北支湧別2		
3	白滝第25地点	1956	北大調査団 1960	45	支湧別1		
4	旧白滝2			46	上支湧別1		
5	石井			47	上支湧別2		
6	白滝第30地点	1957	吉崎 1959	48	上白滝2	1996-97	鈴木ほか 2000
		1985	松谷 1987b	49	東白滝2		
		1994	松村 1995	50	奥白滝1	1997-98-2000	北海道埋蔵文化財センター 1998-99-2001
		2000	北海道埋蔵文化財センター 2001	51	奥白滝2		
7	白滝第33地点	1957	吉崎 1961, 白滝団体研究会 1963	52	奥白滝3		
		1986	松谷 1987b	53	奥白滝4		
8	白滝第31地点	1959	吉崎 1961, 白滝団体研究会 1963	54	奥白滝5		
9	白滝第32地点	1959	白滝団体研究会 1963	55	天狗平1		
10	幌加川遺跡 遠間地点	1972	米村 1975-77	56	赤石山		
		1987-90-92-93-99	札幌大学木村英明セミナー 1988-89	57	奥白滝6		
11	近藤台	1981	千葉・畑 1982	58	白滝8	2000	北海道埋蔵文化財センター 2001
12	加藤農園			59	幌加林道		
				60	上白滝3		
13	服部台2	1981	千葉・畑 1982	61	奥白滝7		
		1998-99-2000	北海道埋蔵文化財センター 1999-2000-01	62	奥白滝8		
14	近藤台2			63	奥白滝9		
15	白滝第4地点	1955	吉崎 1961	64	奥白滝10		
		1986	松谷 1987a-b	65	奥白滝11	1999	北海道埋蔵文化財センター 2000
		1994	松村 1995	66	奥白滝12		
		1995-96		67	北支湧別4	1998	鈴木ほか 2000
16	白滝第10地点			68	白滝9		
17	白滝第27地点	1955	吉崎 1961	69	白滝10		
18	白滝第29地点			70	白滝11		
19	白滝第37地点	1960	白滝団体研究会 1963	71	白滝12		
20	白滝第38地点	1960	白滝団体研究会 1963	72	北支湧別3	1985	松谷 1987b
21	旧白滝4			73	旧白滝11		
22	平岡b			74	白滝13		
23	下白滝	2001		75	白滝14		
24	旧白滝1			76	白滝15		
25	平岡a			77	上白滝4		
26	旧白滝3			78	奥白滝13		
27	水口カ沢	1961	白滝団体研究会 1963	79	東白滝3		
28	旧白滝5			80	旧白滝14	1985	松谷 1987b
29	旧白滝6			81	東白滝4		
30	旧白滝7			82	白滝16		
31	旧白滝8			83	旧白滝12		
32	旧白滝9	1985	松谷 1987b	84	旧白滝13		
33	旧白滝10	1985	松谷 1987b	85	白滝17		
34	白滝1			86	上支湧別3	1986	松谷 1987b
35	白滝2			87	北支湧別5		
36	白滝3	2001		88	上白滝5	1997-98	北海道埋蔵文化財センター 1998-99
37	白滝4			89	上白滝6	1998-2001	鈴木ほか 2000
38	白滝5			90	上白滝7	1997-98	坂本ほか 1999
39	白滝6			91	上白滝8	1995-98-2000	北海道埋蔵文化財センター 1996-97-98-99-2001
				92	白滝18	2000	北海道埋蔵文化財センター 2001

支湧別川がある。村内の遺跡は湧別川と支湧別川に挟まれた通称「三角地帯」と呼ばれる一帯に多くあり、特に湧別川右岸の河岸段丘上に集中している。三角地帯の南東側は、標高700～1,700mの日高累層群による山系である。北側は日高累層群とこれを覆う幌加湧別層・幌加湧別凝灰岩による標高600～1,200mの山地で、深い谷地形が発達している。南西側は大雪山系の北東延長部にあたり標高1,500～1,800mの山々が連なっている。三角地帯は、南西側にある天狗岳（標高1,553m）から北東方向に広がる緩斜面と数段の段丘地形から成り立っている。

北側の山地は北西部と北東部で地形、地質の様相が異なる。北西部は、チトカニウシ山（標高1,445m）を中心として、日高累層群の粘版岩で構成され、急峻な山々が広がる。北東部も同様に日高累層群の基盤で構成されているが、稜線部に広く溶結凝灰岩が分布しているため山腹斜面が急峻で、山稜部は全体的に平坦な地形となっている。溶結凝灰岩は、分布西限にあたる雄柏山から東へ向かうにしたがい、山稜部の高さが徐々に低くなり丸瀬布町まで分布する。遺跡群と関係の深い赤石山（標高1,147m）もこの山塊に位置する。赤石山は、黒曜石が産出する山で、国内でも最大級の埋蔵量を誇っている。山腹には大規模な黒曜石の露頭がいくつもみられ、その下の沢では良質の黒曜石が採集できる。

段丘面は、湧別川と支湧別川に挟まれた三角地帯の台地上に少なくとも5段が発達している。形成時期の古い段丘から奥白滝面、天狗平面、上白滝面、東白滝面、支湧別面に区分され、段丘形成史が概観されている（中村・平川 1998）。これらの段丘面の基盤となっているのは白滝層と呼ばれる火砕流堆積物で、地点によって凝灰質砂層、溶結凝灰岩層、砂質粘土層、湖成堆積層などと様相が異なる。白滝層は盆地内の広い範囲で見られ、現在の斜面傾斜方向と同方向に三角地帯内に流れ込んだと思われる。これに伴い古白滝湖が形成されたため、白滝層の大部分は二次堆積による湖成堆積層として確認されている。

段丘面の中で最も高位の奥白滝面は、湧別川上流部の伊藤ノ山（標高678m）の北西に残っているのみである。天狗平面は、斜面堆積によってできた大規模な扇状地地形で、天狗岳から北東方向、白滝層の間を埋めるように分布している。特に伊藤ノ山東側、天狗沢川上流部、支湧別川左岸で良好に発達し、この段丘面上には北支湧別4（当センター調査）・白滝第4地点・第30地点遺跡（村教委・当センター調査）などが立地している。次の上白滝面（標高470～400m）は、湧別川により形成された河岸段丘で、湧別川の右岸に八号沢川合流地点付近から黒曜の沢合流地点付近まで分布する。遺跡が数多く立地しているのはこの段丘面上で、白滝第13地点遺跡、服部台遺跡など学史的にも有名な遺跡が数多く分布している。当センターが調査した遺跡の多くもこの段丘面上に立地し、湧別川の上流から奥白滝11・服部台2・奥白滝1・上白滝8・上白滝2・上白滝5・上白滝6・上白滝7遺跡と続き、それぞれ大小の谷地形によって区切られている。谷地形の中で最も大きなものは、上白滝地区で湧別川と合流する天狗沢川で、三角地帯を大きく東西に二分し、その東側と西側では地形的な差異がみられる。天狗沢川より西側は扇状地状の緩斜面地形で、東側は解析の進んだ傾斜のやや強い台地状の地形である。また中村、平川によれば、段丘礫層のほぼ直上に堆積する奥白滝軽石がトエトコ火山灰（TT）に比定され、このテフラの噴出年代が15～20万年前頃と推定されることから上白滝面の離水時期もそれ以前と考えられている（中村ほか 1999）。次に形成される東白滝面（標高500～370m）は、前出の天狗沢川の両岸と、湧別川と支湧別川との合流地点より下流の右岸に広く発達している。この面は、最終氷期前半には離水していたと推定され、合流地点下流の右岸には白滝18・白滝8・白滝3遺跡（当センター調査）が立地している。次の支湧別面（標高450m～）は、最終氷期極相期に離水した最も新しい段丘面で、湧別川左岸と支湧別川左岸に広く分布する。また湧別川左岸は、山地



1: 奥白滝1遺跡 2: 服部台2遺跡 3: 奥白滝1遺跡 4: 上白滝8遺跡 5: 上白滝2遺跡 6: 上白滝5遺跡 7: 上白滝6遺跡 8: 上白滝7遺跡 9: 北支湧別4遺跡 10: 白滝第30地点遺跡 11: 白滝8遺跡 12: 白滝18遺跡 13: 白滝3遺跡
 (中村・平川1998を元に作成)

図 - 3 段丘面分布図

が間近に迫っているため段丘面が階段状に形成されず、八号沢川と十勝石沢の間の山麓では所々、支湧別面を覆うように崖錐堆積がみられる。

次に白滝盆地内にみられるテフラについて説明する。中村、平川によると、11枚のテフラ層が確認され、広域対比が試みられている（中村ほか 1999、平川ほか 2000）。そのうち地形発達史を考える上で重要なテフラは、新しいものから樽前 a 軽石（Ta - a）、大雪御鉢平軽石（Ds - Oh）、屈斜路庶路火山灰（Kc - Sr）、支笏 1 軽石（Spfa - 1）、トエトコ火山灰（TT）などである。樽前 a 軽石（Ta - a）は、細粒の軽石片からなるテフラで服部台 2 遺跡の表土中で確認された。大雪御鉢平軽石（Ds - Oh）は、淘汰が悪く、多量の石質岩片を含有しているのが特徴で、盆地内の広い範囲で確認されている。直上の炭化木片の年代測定値から、約 3 万年前に降下したものと考えられる。発掘された遺物はすべて同層かそれより上層から出土しているため、遺跡の形成年代を考える上でも重要なテフラである。屈斜路庶路火山灰（Kc - Sr）は、黄褐色の細粒ガラス質火山灰で、奥白滝 1・服部台 2 遺跡の大雪御鉢平軽石（Ds - Oh）と赤褐色古土壌の間にみられることから、最終間氷期から最終氷期の間に降下したと考えられる。支笏 1 軽石（Spfa - 1）は、約 4 万 2 千年前に降下したテフラである。黄褐色の細粒ガラス質火山灰で、湧別川と合流する手前の十勝石沢左岸で確認された。屈斜路庶路火山灰（Kc - Sr）とは肉眼的に類似するが、支笏 1 軽石（Spfa - 1）は屈折率が高い斜方輝石を含むという特徴がある。トエトコ火山灰（TT）は、普通角閃石を多量に含むのが特徴で、上白滝面上に立地する服部台 2・奥白滝 1 遺跡では段丘礫層の直上から確認された。15~20 万年前に降下したテフラと推定され、白滝盆地の段丘形成史を考える上で重要なテフラである。

今回報告する奥白滝 1・上白滝 5 遺跡は、前述のとおり湧別川右岸の上白滝面上に立地している。奥白滝 1 遺跡は、馬の背状の地形で、湧別川と八号沢川の合流点から約 700m 下流に位置している。調査区域は段丘の縁から 150~250m ほど奥に入った地点で、台地の幅は、上白滝面にある遺跡群の中で最も狭い 120m 程である。調査区は東西と南北に長い L 字状で、平成 9 年度が台地を横切る東西方向、平成 10 年度が北方向に傾斜する台地西側の斜面沿いである。遺跡の西側は急崖で、富樫川が流れ、沢をはさんで服部台 2 遺跡が、東側はなだらかな斜面で、沢をはさんで上白滝 8 遺跡がある。

上白滝 5 遺跡は、湧別川と八号沢川の合流点から約 1,800m 下流に位置している。さらに約 2,000m 下流には湧別川と十勝石沢川の合流点があり、遺跡は両合流点のほぼ中間である。調査区域は段丘の縁から約 50m 奥に入った地点で、台地の幅が 210m 程の緩やかな斜面である。調査は台地を横切る東西方向に長い区域で行った。遺跡の西側には小さな沢地形がみられ、沢をはさんで上白滝 2 遺跡（平成 12 年度報告）がある。東側は深い谷地形で、一部が西側に切り込み、それが調査区内の小さな沢地形に続いている。東側は沢をはさんで上白滝 6 遺跡（平成 12 年度報告）がある。（直江康雄）

3 基本土層

調査した遺跡は、すべて湧別川の右岸段丘上に立地し、地表面より 1 m 前後の表層（ ~ 層）については同様な土層の堆積状況がみられた。したがって、各遺跡においては層厚などに若干の相違がみられるが、基本的に以下のような層名に統一して記述した。なお、層以下は各段丘面によって異なり、さらに同一段丘面の遺跡においても多少の違いがみられる。

第 層：表土・耕作土層 厚さは 10cm 前後、クマ笹や木根を含んだ黒色の腐食土層及び、現代の耕作によって攪乱された表層である。

第 a 層：褐色粘質土層 厚さは 30~50cm、しまり、粘性とも弱い、下部にいくにしたがい強

まる。黄褐色の軽石、石質岩片、マンガン粒を少量含む。調査したすべての遺跡で観察され、遺物の大部分がこの層から出土することから本来の遺物包含層と考えられる。なお、a層に含有される少量の石質岩片や軽石は、c層に含まれているものと類似している。

第 b層：灰白色～青灰色粘質土層 厚さは5 cm前後、しまりが少しあり、粘性が強い。含有物は a層と同様軽石、石質岩片、マンガン粒を少量含む。遺跡群すべてで観察されるわけではなく、所々で観察される。含有物が同様で、灰白色をしていることから、a層が還元化された層と考えられる。またこの土は、層の中程まで入ったクラックの中にもみられ、平面形は径1 m前後の編み目模様を呈し、周縁に酸化鉄が沈着している。

第 c層：赤褐色～灰褐色砂質土層 厚さは10cm前後、しまりがあり、粘性は弱い。この層も遺跡群すべてで観察されるわけではなく、特に b層と上下関係をもって確認される地点は少ない。石質岩片、軽石を多量に含んでいる。この岩片と軽石は、大雪山系に位置する御鉢平カルデラ起源のテフラ(Ds - Oh)であることが確かめられている(中村・平川 1998, 1999)。テフラ層直上で検出された炭化木片の放射性炭素年代は、約3万年前であった。

第 層：赤褐色～褐色砂質土層 厚さは50～100cm、しまりが強く、粘性は少しある。マンガン粒を多量に含んでいる。その他に石質岩片、軽石も少量含まれる。層以下からは遺物は全く出土しない。層は、周氷河現象を受けて、上面がうねっている地点が多い。平面形でみると皿状の窪みになっており、そこに b層や c層が厚く堆積しているという状況が多くみられた。

層以下については各段丘面により異なる。調査した遺跡のほとんどが立地する上白滝面では、基本的にしまりの強いローム質の土層がつづき、砂層と粘土層の互層となり、段丘礫層に達する。これら基本的な層序の中に各遺跡、各地点において様々な土層がみられる。上白滝8・上白滝7遺跡などでは、斜面堆積物であるマトリックスの多い礫層が層の下に約1 mみられる。服部台2遺跡、奥白滝1遺跡の北側地点では、古土壌と呼ばれる赤褐色の層が確認され、その直下に推定降下年代が15～20万年前のトエトコ火山灰がみられ、段丘礫層へと続く。トエトコ火山灰は、普通角閃石を豊富に含み、指で土層を掻き採ると、針状の黒色鉱物がべっとりと残るのが特徴である。上白滝2遺跡では、段丘礫層直上の粘土と砂の互層が他の遺跡より厚く1 mほど堆積している。また、層以下には周氷河作用により、土層が波状に変形している地点も多くみられた。上白滝面より上位の天狗平面上に立地する北支湧別4遺跡では、層直下にトエトコ火山灰がみられ、その下層の厚く堆積した灰白色粘土層の中にSit 6テフラがあり、段丘礫層へと続いている。上白滝面より下位の東白滝面上に

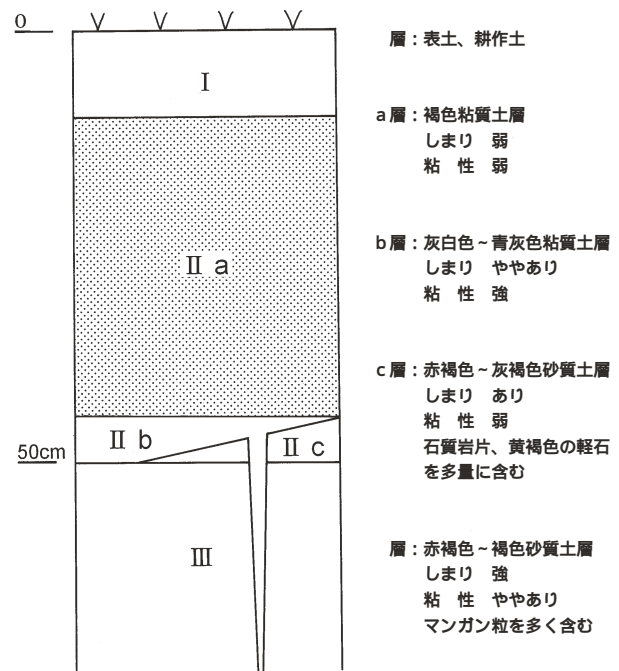


図 - 4 基本土層図

立地する白滝8・白滝18・白滝3遺跡では、段丘礫層が層の直下にある。特に湧別川に面した段丘の縁部分は、a層下部およびb層中に粘土層や砂礫層が互層となっている地点が確認され、粘土・砂礫層中からも多くの遺物が出土している。

湧別川と支湧別川に挟まれた三角地帯内の段丘面の基盤となっているのは、白滝層と呼ばれる火砕流堆積物で、地域内の広い範囲で見られるが、地点によって凝灰質砂層、溶結凝灰岩層、砂質粘土層、湖成堆積層などと様相が異なる。(直江康雄)

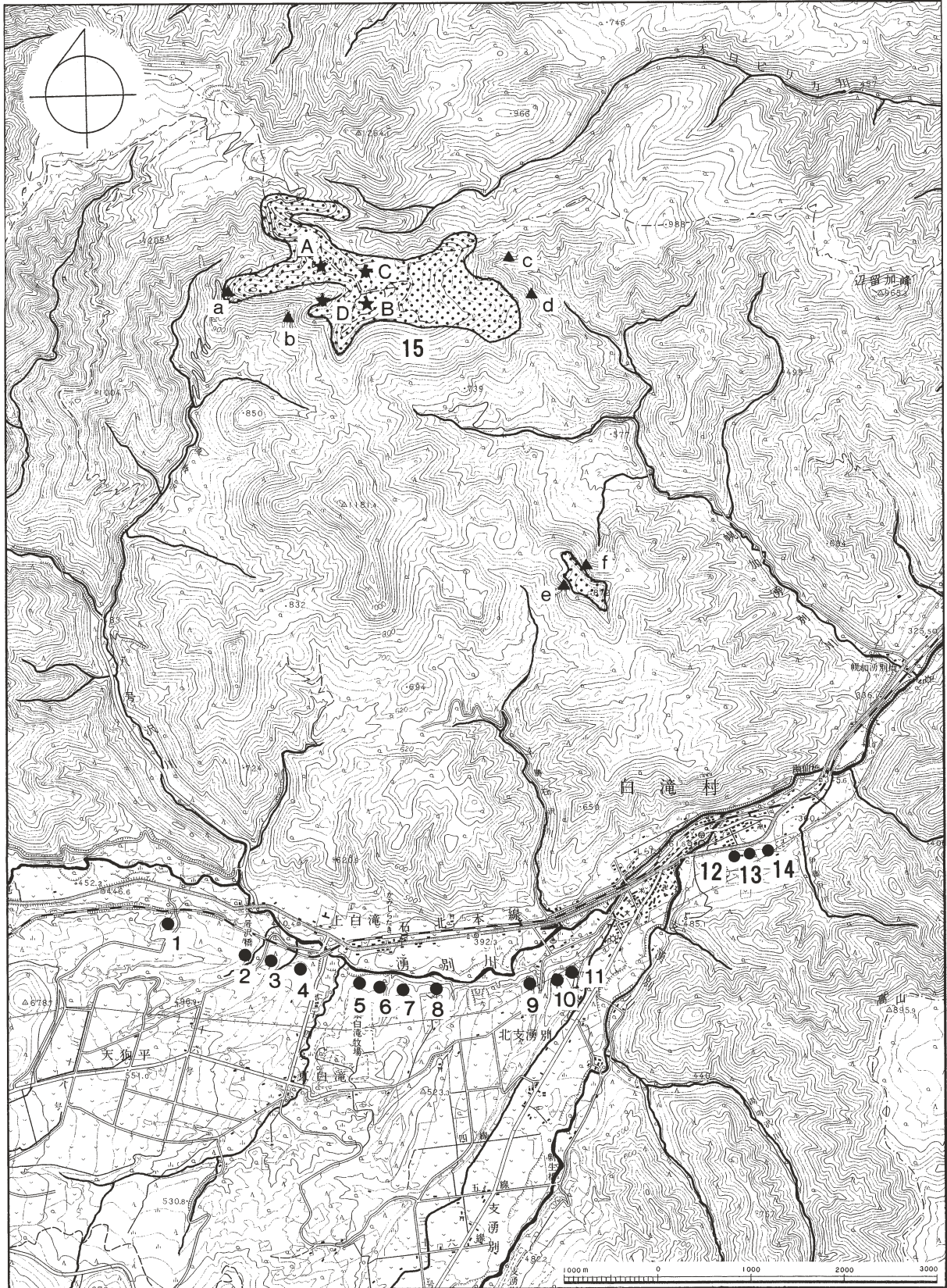
4 黒曜石の原石山・赤石山

黒曜石は黒曜岩とも呼ばれ、『新版地学辞典』(地学団体研究会 1996)によれば、「ガラス光沢を有する流紋岩～デイサイト質のガラス質火山岩。黒曜石とも。色は通常暗黒または灰黒。貝殻状断口を示す。比重は2.339～2.527。水分に乏しい($H_2O(\pm) < 1\%$)ことと比重が大きいことでピッチストーンと区別される。ときに少量の班晶を含む。石基には晶子を含む。しばしば点紋・縞状・球顆構造を呈し、また気泡を含むことがある。通常、溶岩または火山放出物として産し、日本では北海道十勝・長野県和田峠などのものが有名。Obsidianは火山ガラスに対する古代からの名称。石器時代に石器の材料として珍重」とある。黒曜石は、考古学的には極めて重要な石材であるが、岩石学的には火山岩の一種で、成因、構造なども比較的単純な関係から研究文献は多くない。むしろ考古学と関連した産地推定や年代測定の研究の方が多い状況である。

わが国のガラス質火山岩の初期の分析(遠藤 1929、神津 1930)で取り上げられたのは十勝産の黒曜石で、白滝産のものが分析対象となるのは昭和13年の津中の紹介(津中 1938)以後で、昭和25年の河野による『本邦玻璃質岩石の研究』(河野 1950)で、岩石学的な分析と全国の他の黒曜石との対比が行われている。

白滝産の黒曜石は、河野の分析によれば、斑晶鉱物として斜長石、磁鉄鉱を含み、比重は2.352、屈折率は1.4856、化学成分では SiO_2 が74.41%である。

赤石山は、白滝村市街の北々西6.5km、標高は1,147m(古い地図では1,154m)現在は国道333号より八号沢川に沿った八号沢林道を3.5km程入り、さらに流紋沢川に沿った赤石林道を上り、山頂部へ行くことができる。途中の林道では標高950m付近から黒曜石が散布し、標高1,000mを越えると一面に黒曜石がみられる部分が数か所みられる。また、標高1,000m付近の林道右手には有名な通称八号沢の露頭(図 - 5のa)がある。この露頭は、黒曜石が流紋岩質凝灰岩にパッチ状にみられ、灰白色球顆や縞状構造が多いが、玻璃光沢があり、良質である。また、叩くと金属音がするので、硬質とみられる。山頂部の平坦面では、ピークの標高1,147m周辺に黒色を主体とする黒曜石の散布地帯(図 - 5のA)があり、さらにピークを下り削平された林道の終点付近では、紅色、茶色、紫がかった茶色など俗に花十勝といわれる黒曜石が一面にみられる(図 - 5のB)。ここは、昭和31・32年ごろから観賞・装飾品加工用の原石採掘が行われたところである。また、黒色とこの採掘跡の中間部には茶色の黒曜石が集中する部分もある(図 - 5のC)。さらに赤・茶色の混じった黒曜石は、採掘跡手前の流紋岩球顆の指定地(図 - 5のD)のある急な沢(仮称球顆の沢)でも多量にみられる。山頂部や球顆の沢では、原石に混じって粗い両面調整石器や石核や剥片などがみられ、一部は紹介されている(宗像 1999)が、時期の決め手はない。球顆の沢は、小規模な露頭がいくつかあるが、標高900m付近の柱状節理の発達した露頭(図 - 5のb)は大規模なもので、その下から下流で採取できる角柱状の原石は、球顆がみられるものの良質で、石器の素材としては極めて良好である。お



1：奥白滝11 2：服部台2 3：奥白滝1 4：上白滝8 5：上白滝2 6：上白滝5 7：上白滝6 8：上白滝7
 9：北支湧別4 10：白滝第4地点 11：白滝第30地点 12：白滝8 13：白滝18 14：白滝3 15：赤石山 A：黒
 B：赤（採掘跡） C：茶 D：流紋岩球顆 a：八号沢の露頭 b：球顆の沢・柱状露頭 c：幌加沢の露頭 d：あじさ
 いの滝 e：十勝石沢の露頭 f：白土の沢露頭

図 - 5 調査遺跡・黒曜石露頭位置図

そらく、旧石器時代においてもこの沢は原石採取の主要な地点であったと考えられ、標高700m付近のわずかな平坦部などでは、剥片類が散布する地点が多数ある。また、赤石林道入口から1km程入った78林班林道のCuttingでは、梨肌の黒曜石原石を採取することができる。後に説明する黒曜の沢より上流の湧別川で採取される梨肌原石は、この78林班林道周辺に由来する可能性があり、藁科氏の産地分析での原産地「八号沢」は、78林班林道採取原石の分析値である。

白滝村市街へ入る手前の十勝石沢は別名、黒曜の沢、澱粉沢と呼ばれ、沢入り口の礫層中や砂防ダム付近では大小の多量な黒曜石原石が採取できるが、そのほとんどが細かい気泡が多く玻璃光沢の鈍い俗称「梨肌」のものである。沢を溯った上流部左岸の露頭(図 - 5のe)は、後述する幌加沢白土の沢(図 - 5のf)の反対側になり、山頂部に数mの厚さで、凝灰岩、流紋岩の上部に堆積している。また、この露頭の下位の溶結凝灰岩中には、玻璃光沢の強い黒曜石もある(白滝団体研究会1953)とされ、沢の所々では玻璃光沢の黒曜石もわずかであるが採取できるので、その供給源となる露頭や土層が存在すると考えられるが、詳細は不明である。

白滝村市街の北東2kmにある幌加湧別川の流れる幌加沢は、北西方向に延び、入り口から直線距離で6km程で、赤石山の山頂にいたる。上流部や支流の蜂の巣沢川でも、黒色や茶色の混じった良質の黒曜石原石が採取できる。蜂の巣沢の最上流部付近では、名前の由来となった俗称「蜂の巣石」と呼ばれる蜂の巣のような窪みが多数みられる黒曜石がみられるほか、標高800mの通称幌加沢の露頭(図 - 5のd)や林道終点に近い通称あじさいの滝(図 - 5のc)などいくつもの露頭がある。最近確認できた地域では、幌加沢遠間地点遺跡脇の「左ノ沢」があり、石器製作に適した手ごろの大きさの良質の原石が採取できる。この「左ノ沢」は前述の幌加沢の露頭やあじさいの滝につながる赤石山山頂から南東に延びる尾根筋にあり、この一帯が幌加沢の主要な黒曜石原石の分布地帯である可能性がある。また、沢入り口より幌加湧別川を3km程溯った左手にある白土の沢の露頭(図 - 5のf)は、十勝石沢の露頭(図 - 5のe)の反対側で、一体では「梨肌」の黒曜石が採取できる。山頂部や球顆の沢同様に幌加沢においても露頭やその周辺で、人為的な石器類が採取できる地点が多数あるが、幌加沢遠間地点遺跡などのように特徴的な遺物が多数みられる場所以外は、年代の決定が難しい。

おそらく赤石山へつながる八号沢、十勝石沢、幌加沢の3本の大きな沢および湧別川本流は、旧石器時代以来黒曜石原石の主要な採取地で、先に説明したように採取できる原石にも違いがあったと考えられる。その状況は、アイヌ語地名としても確認できる。山田秀三によれば、黒曜石はアイヌ語で「アンチ(anchi)」あるいは「アンジ(anji)」で、明治31年5万分の1地形図では、八号沢川のところに「シュマフレユーペツ」、十勝石沢のところに「アンシュオユーペツ」という地名がみられるという。そして「シュマフレユーペツ」はシュマ・フレ・ユーペツ Shuma-hure-yupet「石が・赤い・湧別川(の支流)」、「アンシュオユーペツ」はアンジ・オ・ユーペツ Anji-o-yupet「黒曜石・が多い・湧別川」と考えられる、という(山田 1977)。現在でも赤や茶色の黒曜石は八号沢・流紋沢川が主体であり、十勝石沢は梨肌の原石であるが、その量は膨大である。また、山田によれば、石ころなどがごろごろある状態をいうのには「オ」を使うのがアイヌ語の通例だという。現在でも十勝石沢の砂防ダムでみられる一面に黒曜石の大小の原石が敷き詰めたとある状況と符合する。

赤石山を中心とした八号沢・流紋沢、十勝石沢、幌加・蜂の巣沢の一帯は、深い森林地帯(国有林)で、多くの黒曜石の露頭や良質の原石が採取できる地点が多数あるが、その実態は不明である。また、それらの地点と関連して遺物が散布する地点も多数あるが、その内容や時代などの把握も困難な状況である。地形・地質などの把握を含めた総合的な分布調査が必要であり、村教委でも資料収集に努めているところで、今後は次第に明らかになっていくものと考えられる。(長沼 孝)

奥白滝 1 遺跡の調査

1 調査の概要

(1) 調査要項

事業名	一般国道450号白滝丸瀬布道路工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（平成13年度）
委託者	国土交通省北海道開発局網走開発建設部
受託者	財団法人北海道埋蔵文化財センター
遺跡名	奥白滝 1 遺跡（ - 20 - 50 ）
所在地	紋別郡白滝村字上白滝183 - 2、183 - 5
調査面積	7,407㎡（平成9年度：5,340㎡、平成10年度：2,067㎡） *平成12年度調査の345㎡については別途報告予定。
調査期間	平成9年4月11日～平成10年3月31日（現地調査平成9年5月6日～10月25日） 平成10年4月10日～平成11年3月31日（現地調査平成10年5月6日～10月24日） 平成11年4月1日～平成12年3月30日（整理作業のみ） 平成12年4月3日～平成13年3月30日（整理作業のみ） 平成13年4月2日～平成14年3月29日（整理作業のみ）

(2) 調査体制

財団法人北海道埋蔵文化財センター	理事長	伊藤一夫（平成10年5月31日まで） 大澤 満（平成10年6月8日から）	
専務理事	佐藤哲人（平成11年5月31日まで） 宮崎 勝（平成11年6月1日から）	常務理事	柴田忠昭（平成11年3月31日まで） 木村尚俊（平成13年7月17日まで）
業務部長	北條雅洋（平成10年3月31日まで）	第1調査部長	畑 宏明（平成11年8月15日まで）
総務部長	中田 仁（平成13年3月31日まで） 柳瀬茂樹（平成13年4月1日から）		木村尚俊（平成13年7月17日まで） （兼務） 大沼忠春（平成13年7月18日から） （兼務）

平成9年度	第1調査部第3調査課	課長	長沼 孝（発掘担当者）
	同	主任	越田雅司（発掘担当者）
	同	文化財保護主事	宗像公司（発掘担当者）
	同	文化財保護主事	坂本尚史
	同	文化財保護主事	鈴木宏行
平成10年度	同	文化財保護主事	直江康雄
	第1調査部第3調査課	課長	長沼 孝（発掘担当者）
	同	主任	越田雅司（発掘担当者）
	同	文化財保護主事	宗像公司（発掘担当者）

1 調査の概要

	同	文化財保護主事	坂本尚史
	同	文化財保護主事	鈴木宏行
	同	文化財保護主事	直江康雄
平成11年度	第1調査部第3調査課	課長	長沼 孝
	同	主任	越田雅司
	同	主任	鈴木宏行
	同	文化財保護主事	坂本尚史
	同	文化財保護主事	佐藤 剛
	同	文化財保護主事	直江康雄
	同	文化財保護主事	福井淳一
平成12年度	第1調査部第3調査課	課長	長沼 孝
	同	主任	越田雅司
	同	主任	鈴木宏行
	同	文化財保護主事	直江康雄
平成13年度	第1調査部第3調査課	課長	長沼 孝
	同	主任	鈴木宏行
	同	文化財保護主事	直江康雄

(3) 調査日誌抄

平成9年度

5月6日(火)	調査員白滝入り。	出土。
7日(水)	現場開始準備・環境整備ほか。	6日(金) 25%調査、N13区頁岩搔器・石鏃、P21区円錐形細石刃核出土。
8日(木)	現場開所式、みぞれのため現場作業はできず。 (上白滝2・上白滝8遺跡の調査ほか)	9日(月) 25%調査、Cb-1調査。
20日(火)	カナダモントリオール大学フィリップ・スミス、マギール大学井川史子氏来訪。	10日(火) 雨天のため現場作業できず。終日器材整備、遺物・土壌水洗。
22日(木)	現場進入スロープ、駐車スペースなど完成。	12日(木) 25%調査終了、17~19ライン付近に遺物の希薄区域あり。19~24ラインで円錐形の「紅葉山型」細石刃核を含む石器ブロックを確認。遺物の多い部分の発掘区を中心に、排土通路を確保しながら包含層調査を開始。N17・P33・S9区尖頭器出土。
23日(金)	表土除去開始。	13日(金) 包含層調査、Q17区で「紅葉山型」細石刃核・搔器・細石刃など出土。
29日(木)	Nラインより南側、25ラインより西側表土除去終了。	17日(火) 包含層調査、Q17・S18区「紅葉山型」細石刃核出土。
30日(金)	25%調査開始。	19日(木) 包含層調査、J~N35~39区重機による表土除去・杭打ち終了。相模原市教育委員会木村衛氏ほか来訪。
31日(土)	25%調査、P3区頁岩製荒屋型彫器出土。	23日(月) 包含層調査、Q17・S18区「紅葉山型」細石刃核出土。帯広百年記念館北沢実、
6月4日(水)	25%調査、Nラインより南側、25ラインより東側も表土除去終了。白滝村行政視察(村長、教育長、村議、役場課長など30名)。	
5日(木)	25%調査、N27区(表土)尖頭器、R19区(表土)円錐形細石刃核・石刃核	

- 山原敏朗氏来訪。
- 25日(水) 包含層調査、Cb - 1・2・3終了、Cb - 4・5調査中。
- 30日(月) 包含層調査、R16区石核、S12区尖頭器出土。東北福祉大学芹沢長介、札幌国際大学吉崎昌一氏来訪。
- 7月5日(土) 包含層調査、Q26区有舌尖頭器、Q32区めのう製尖頭器出土。調査予定面積の約50%終了。
- 8日(火) 包含層調査、Q31区尖頭器・錐形石器・削器、P34区尖頭器・石鏃出土。
- 11日(金) 包含層調査、Q28区有舌尖頭器・尖頭器出土。
調査は順調であるが、晴天続きのため、土が乾燥して堅くなり、掘りづらい状況。
- 16日(水) 包含層調査、J23区石刃核、R23区頁岩搔器・尖頭器出土。遠軽町本吉春雄、紋別市郷土博物館佐藤和利、京都文化博物館鈴木忠司氏来訪。
- 18日(金) 包含層調査、L28・29・M23区石核出土、M17区フレイク集中調査。
- 22日(火) 包含層調査、K13区両面調整石器・削器・石核、M23区白滝 群石核出土。
- 26日(土) 包含層調査、J12・K22区石核出土。白滝村教育委員会主催遺跡見学会(奥白滝1遺跡) 25名の参加者、文化庁岡村道雄氏来訪。
- 28日(月) 包含層調査、K16・18区尖頭器出土、J21区フレイク集中調査、Cb - 10・11調査。降雨のため14時で現場作業終了。
- 30日(火) 遺物取り上げ、重機による排土移動。
(8月5日まで上白滝7・上白滝8遺跡のみ調査)
- 31日(木) 東京大学安斎正人・鈴木美保、国士舘大学大沼克彦、(財)東京都埋蔵文化財センター竹尾進、早稲田大学埋蔵文化財調査室亀田直美氏来訪。
- 8月1日(金) 魚津市民俗博物館麻柄一志氏来訪。
- 6日(水) 包含層調査再開、K21区彫器、M17区尖頭器出土。
- 8日(金) 包含層調査、K13・18・L25区尖頭器出土、Cb - 10・13調査終了、Cb - 12調査。北海道大学地球環境科学研究科平川一臣、中村有吾、石川守氏地形・地質調査(8月10日まで)。
- 10日(日)~17日(日) お盆休みのため現場閉鎖。
- 18日(月) 包含層調査、K18区尖頭器・舟底形石器・斧形石器、K26・M25区尖頭器出土。
- 21日(木) 包含層調査、J12・M25区両面調整石器、K16区白滝 群石核、K27区有舌尖頭器出土。降雨のため現場作業は15時で終了。調査予定面積の約90%終了。
- 26日(火) 包含層調査、K16区白滝 群石核、K18・L24区尖頭器出土。長野県埋蔵文化財センター大竹憲昭・谷和隆、佐久市教育委員会須藤隆司氏来訪。
- 28日(木) 包含層調査、K18区尖頭器・緑色泥岩剥片出土。
- 30日(土) 包含層調査、M28区石核出土。調査予定面積の約95%終了、調査も終盤となる。
- 9月2日(火) 包含層調査、K18区尖頭器・石核、M27区白滝 群石核出土。
- 9日(火) 包含層調査、J21区尖頭器出土。
- 11日(木) 包含層調査、J21区尖頭器・石核、M4区尖頭器出土。北海道開発局技術研究会20名来訪。
*調査一時中断(上白滝5・上白滝7遺跡の調査)
- 13日(土) 遠軽町こども探検隊20名遺跡体験発掘ほか。
- 23日(火)~27日(土) 岩宿文化資料館松沢亜生館長現地指導(石器製作技術に関する専門的事項および石器製作実験)。
- 24日(水) 包含層調査再開、N1区搔器出土。松沢館長石器製作実験。HBC映画社実験撮影。
- 25日(木) 包含層調査。松沢館長石器使用実験。NHK北見支局取材。
- 26日(金) 包含層調査、M1区尖頭器・石刃核出土。北海道大学地球環境科学研究科平川一臣、中村有吾、石川守氏地形・地質調査(8月28日まで)。
- 30日(火) 包含層調査手掘り終了。遠紋地区市町村商工観光職員研修会30名来訪。
- 10月1日(水) 1ラインの崖肩部は人手による調査が危険なため、重機によって掘り上げ後、人力で遺物採取することとした。
- 2日(木) 遺物採取終了。

1 調査の概要

- 3日(金) 排土処理、壁面の崩落防止などを重機で行う。
奥白滝1遺跡の調査終了。調査面積5,340㎡、点取り遺物データ54,083件。
(上白滝5・上白滝7遺跡の調査)
- 6日(土) 平山初冠雪、寒い。
- 9日(木) 雨のち雪、悪天候のため現地作業は14時30分で終了。
- 18日(土) 平成9年度予定の5遺跡の調査終了。
- 20日(月)~23日(木) 遺物水洗、発掘器材整備ほか。
- 24日(金) 調査員引き上げ。

平成10年度

- 5月6日(水) 調査員白滝入り。
- 7日(木)~9日(土) 現場開始準備、環境整備ほか。
- 8日(金)~12日(火) 北海道大学地球環境科学研究科平川一臣、中村有吾氏地形・地質調査。
- 11日(月) 現場開所式、雇用・作業内容の説明ほか。
(上白滝5・上白滝6遺跡の調査ほか)
- 18日(月) 進入スロープ・駐車スペース工事。
- 20日(水) 表土除去開始。
- 23日(土) 杭打ち開始。発掘区の方法は平成9年度と同じにしたが、南北方向のアルファベットは小文字とし、さらに東西方向の数字は平成9年度の0ラインを8ラインと設定した。
- 26日(火) 杭打ち終了。端点測量、重機による土層確認深掘りトレンチ掘開(平成9年度調査区北端ライン)。
- 28日(木) 25%調査開始、g10区(表土)尖頭器出土。
- 29日(金) 25%調査、包含層調査開始、i10区搔器・削器・石核、m12区両面調整石器出土、排土場所が北側の平成9年度調査区のみなので、排土運搬路確保のため包含層調査も開始する。
- 30日(土) 25%・包含層調査。予想以上に遺物が多く、包含層も厚い。
- 6月3日(水) 25%・包含層調査、g12・i10・k10・12・n10区尖頭器出土。出土石器類は尖頭器の製作剥片が多い。
- 4日(木) 雨天のため現場作業中止、終日器材整備、遺物水洗など。
- 5日(金) 現場不良のため調査できず、遺物取り上げ、土層断面実測など。
- 8日(月) 25%・包含層調査、n5区尖頭器・搔器・石刃核、p10区尖頭器・石刃核出土。
- 10日(水) 包含層調査、g12・k12・m8区尖頭器出土。深掘りトレンチ土壌サンプリング(パリノ・サーヴェイ辻本崇、矢作健二)
- 12日(金) 包含層調査、土層観察深掘りトレンチ壁面清掃。網走管内博物館連絡協議会30名来訪。
- 13日(土) 包含層調査、f10・n5・p8区尖頭器、16区石鏃出土。重機による排土移動。
- 15日(月) 包含層調査、g12・j10区尖頭器、f10区尖頭器・削器出土。北海道大学地球環境科学研究科平川一臣、中村有吾氏地形・地質調査(6月17日まで)。
- 18日(木) 包含層調査、f10・j10区頁岩削器、k9区尖頭器出土。乾燥のため包含層が堅く、掘りづらい。調査は全体に遅れ気味。
- 20日(土) 雨天のため現場作業中止、土層断面実測など。
- 23日(火) 包含層調査、h12・i9・q11区尖頭器出土。相変わらず尖頭器の出土が続く。
- 25日(木) 包含層調査、g13区砥石出土。遺物量も予想を大きく上回る状況。
- 29日(月) 包含層調査、d11・g11・q9区尖頭器、h13区砥石、m11区敲石出土。(財)東京都埋蔵文化財センター館野孝氏来訪。
- 7月1日(水) 包含層調査、h11・k7・11・q7・9区尖頭器。東北歴史資料館小井川一夫・須田良平氏来訪。
- 4日(土) 包含層調査、f11・j11・n6・o7区尖頭器、o5区石刃核出土。調査終

	了の目途がたってきた。		14・15区北壁土層断面剥ぎ取り（北洋美術工芸）。
5日（月）	包含層調査、尖頭器の出土が続く。 （財）埼玉県埋蔵文化財事業団栗島義明氏来訪。		（服部台 2・上白滝 5・上白滝 6・上白滝 7・北支湧別 4 遺跡の調査）
8日（水）	包含層調査、降雨のため10時30分で現場作業中止。連日の雨のため調査進まず。	10月15日（木）	平成10年度の現場作業終了。 調査面積は 5 遺跡で27,642㎡、出土遺物は点取り遺物で99,526点（服部台 2：41,433点、奥白滝 1：30,067点、上白滝 8：838点、上白滝 5：16,687点、上白滝 6：1,625点、上白滝 7：2,095点、北支湧別 4：6,781点）一括遺物は未集計。
9日（土）	包含層調査、17区搔器、m 5 区両面調整石器出土。		
13日（月）	包含層調査。旭川市民生委員研修会27名来訪、分析土壌サンプリング（パリーノ・サーヴェイ辻本崇、矢作健二）。		
15日（水）	包含層調査終了。 調査面積2,067㎡、点取り遺物データ 30,067件。	16日（金）～20日（火）	遺物水洗。発掘器材整理など引上げ準備ほか。
8月6日（木）・7日（金）	深掘りトレンチ J 12・	21日（水）	事務所設備・物品など撤去。
		22日（木）	調査員引上げ。

（ 4 ）発掘区の設定

発掘区はアルファベットの大文字と数字の組み合わせで表示し、規格は 4 × 4 mとした。平成 9 年度調査区の設定基準は、工事測点の SP60,440と SP60,480を基準点とし、その 2 点を通る直線を南北方向の基線とし、東西方向は、基準点を通り、南北方向の基線に直交する直線とした。

ラインの設定は、南北方向をアルファベットの大文字とし、基線を M に設定後、南側に N、O、P、Q、・・・、北側は逆に L、K、J、I・・・とした。東西方向は数字で、SP60,440を通る基線を 10とし、東側 11、12、13、14・・・と進行し、SP60,480では 20、西側は逆に 9、8、7、6・・・とした。調査区域は、アルファベットでは、J～T、数字では 1～40の範囲で、基準点の測量成果は下記のとおりである。

SP60,440 (M10) X = - 13848.207 Y = 70859.555
 SP60,480 (M25) X = - 13857.595 Y = 70898.438

（平面直角座標系 第 系）

平成10年度の調査区は、平成 9 年度の本線より南側の工用道路部分で、平成 9 年度設定の発掘区では南西方向がカバーできない状況が生じ、方向を変えずに新たな発掘区を設定した。南北方向は平成 9 年度と区別するためにアルファベットを小文字に変更し、平成 9 年度の R ラインを a ラインとした。東西方向は数字であるが、平成 9 年度の 2 ラインを 10ラインとした。その結果、調査区域は、アルファベットでは a～w、数字では 3～15の範囲である。なお、現地での設定にあたっては、平成 9 年度の M3 と M15を復元し、M3 を起点として c 10・c 13・k 10・k 13を、次に k 10を起点に p 3・p 10・t 3・t 10を基準杭として最初に打設した。M3 と M15の測量成果は下記のとおりである。

M 3 X = - 13841.636 Y = 70832.337
 M 15 X = - 13852.901 Y = 70878.996

（平面直角座標系 第 系）

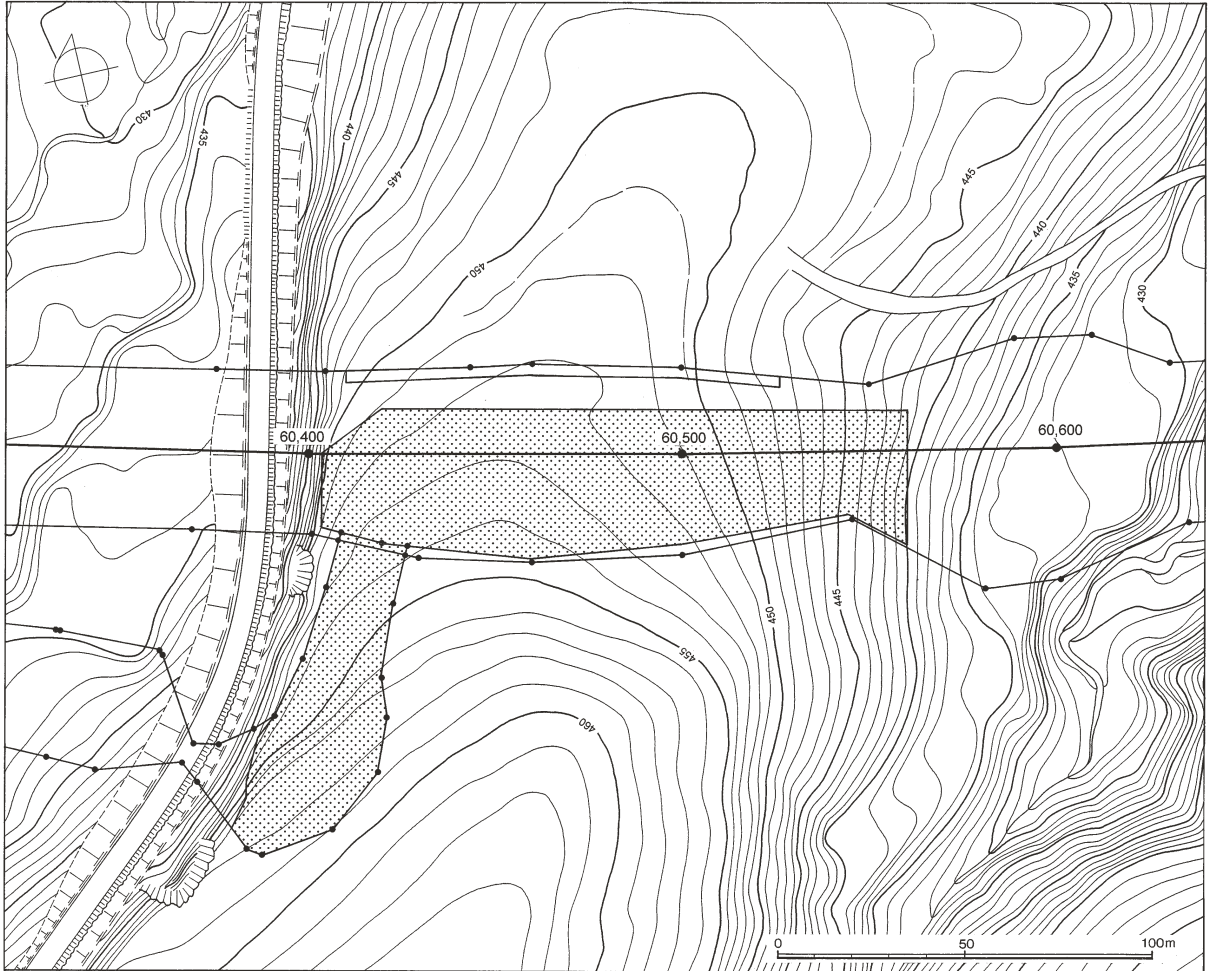


図 - 1 調査範囲・周辺の地形図

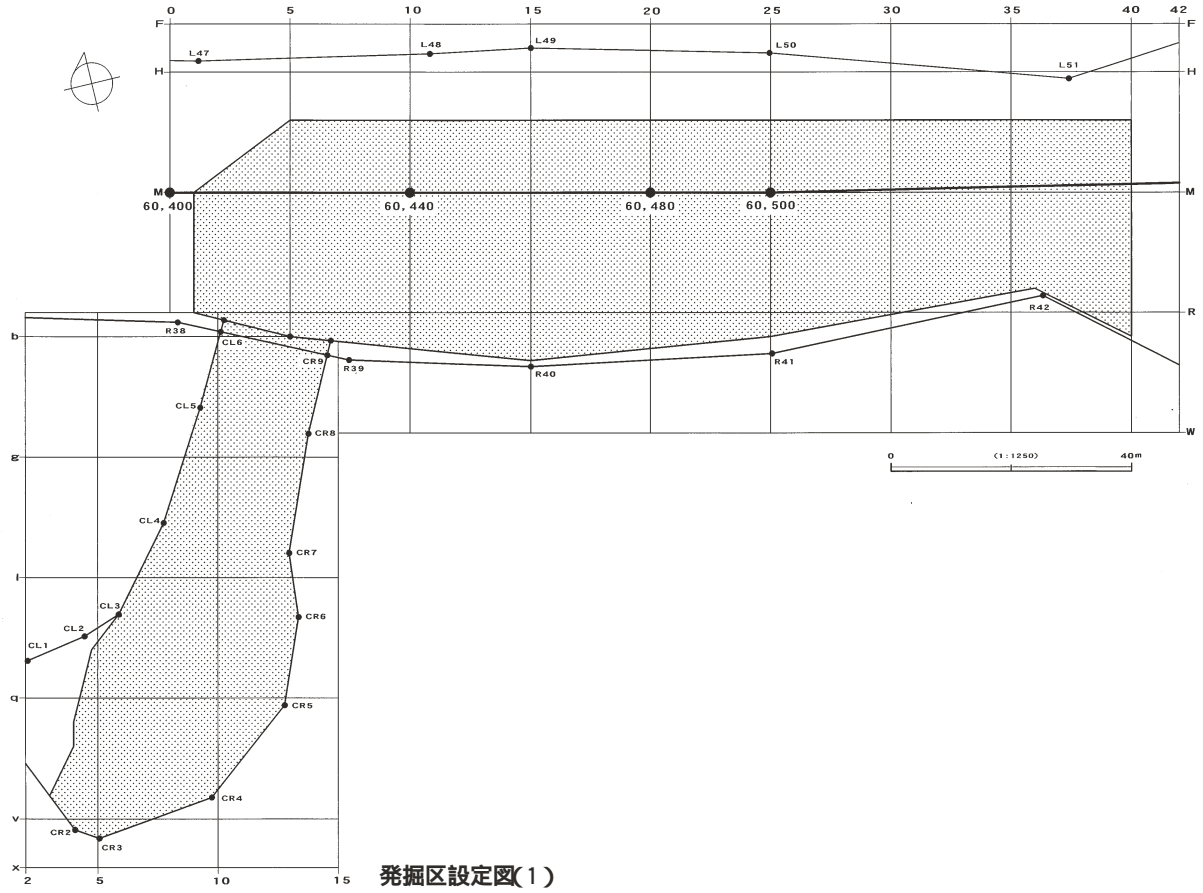
発掘区の呼称は、4m四方区画の北西隅のラインの交点で示した。例えば、Nラインと18ラインの交点の南東側がN18区ということになる。また、発掘区の方法は、公共座標の北方向に対して東側に13°34'24"傾いている。(長沼 孝)

(5) 土層

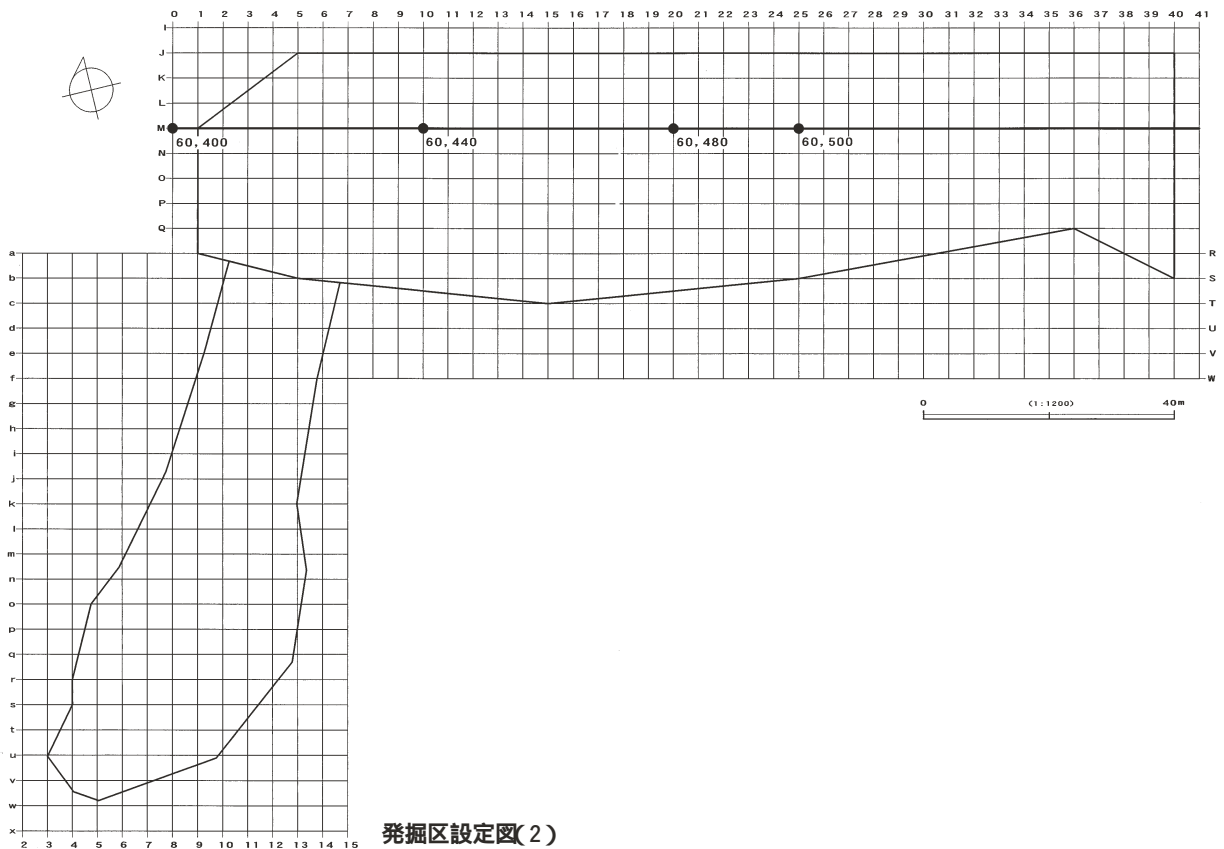
奥白滝1遺跡の土層堆積状況は、章で記載した基本土層とほぼ同様で、上から 層(表土)、a層(褐色粘質土)、c層(赤褐色～灰褐色砂質土)、層(赤褐色～褐色砂質土)の順に堆積しているが、b層(灰白色粘質土)は遺跡を通してあまり見られなかった。遺物包含層である a層は、遺跡内のほとんどの地点で連続的に確認されたが、他の遺跡と違い a層中には c層起源と考えられるスコリア・パミスが多く含有している。c層は、大雪御鉢平軽石(約3万年前降下)を多く含む層で、各地点で安定してみられ、特に層が落ち込んでいる地点では厚く堆積している。調査区内での層以下の堆積状況は、Jラインで重機による深掘り調査を行い段丘礫層までの層序を記録した。調査方法の関係から土層堆積状況を、15ライン、Jライン、Nライン(平成9年度調査区)、13ライン、pライン(平成10年度調査区)で土層を記録したため、説明はラインごとに行う。

13ライン

北へ向かってなだらかに傾斜する地形で、a層はほとんどの地点で連続的に確認される。層厚は



発掘区設定図(1)



発掘区設定図(2)

図 - 2 発掘区設定図

1 調査の概要

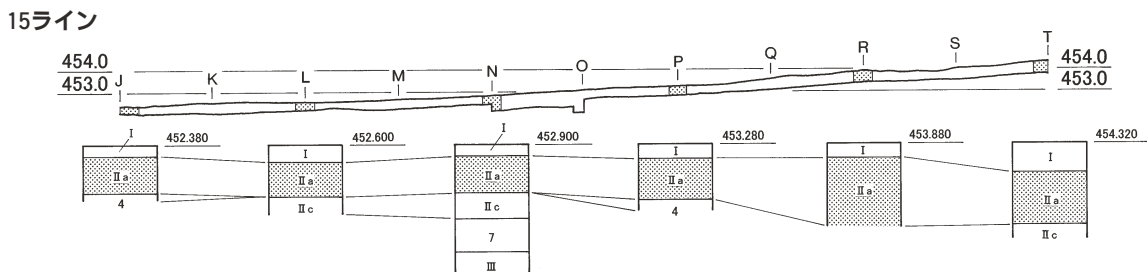
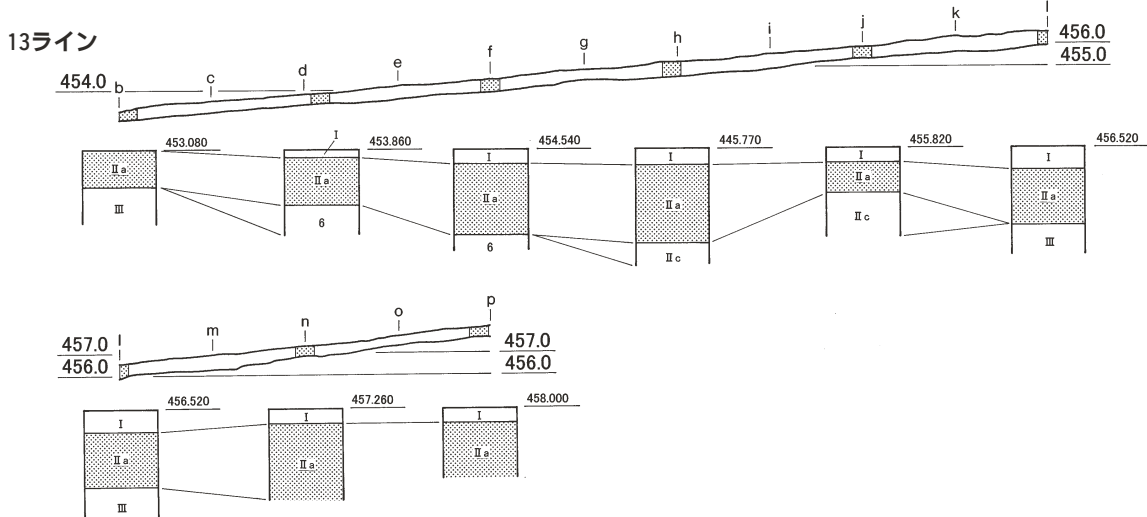
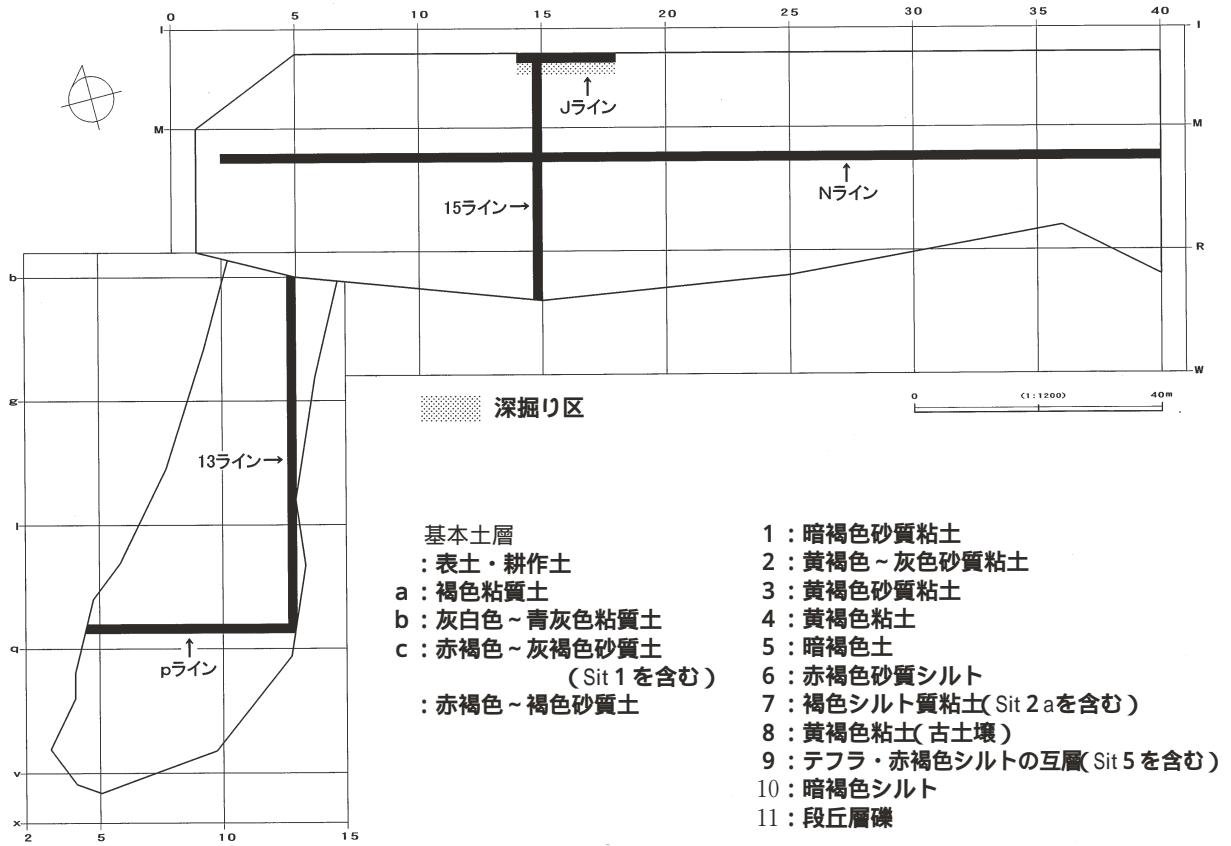
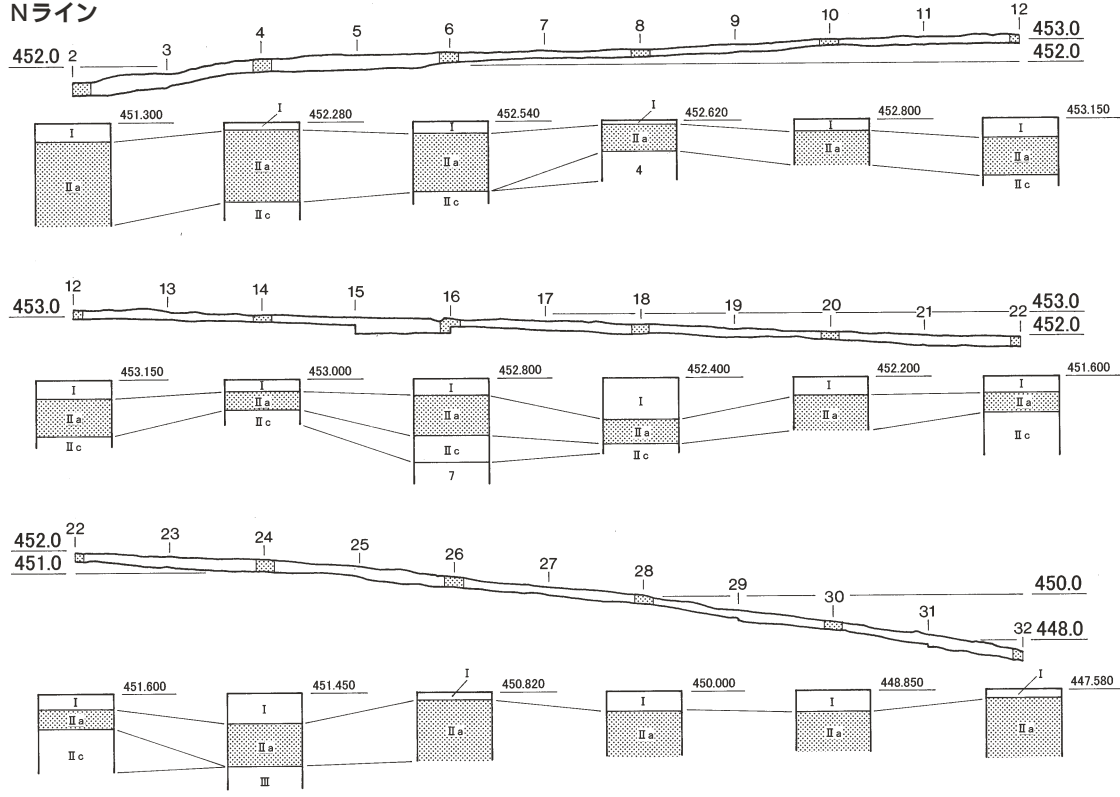
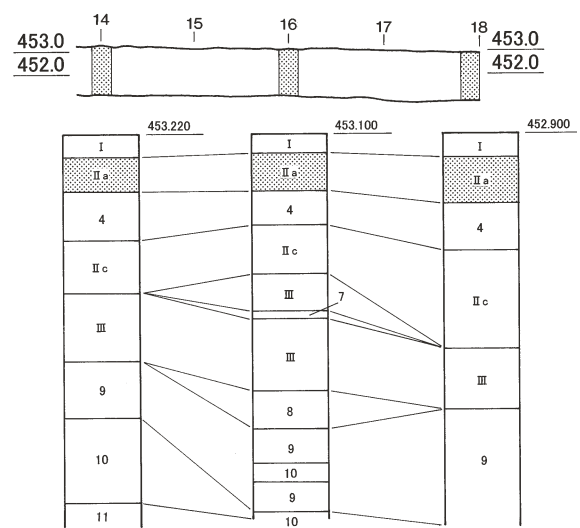


図 - 3 土層概略図 (1)

Nライン



Jライン(深掘り区)



pライン

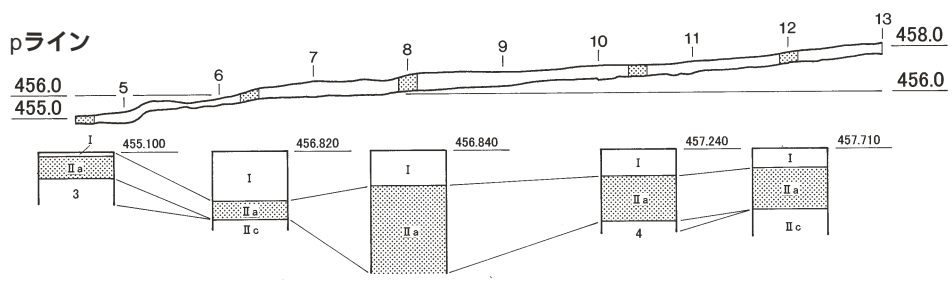


図 - 4 土層概略図(2)

1 調査の概要

20～50cmであった。a層の下には、g区より北側で6層（赤褐色砂質シルト）、南側でc層がみられ、b・c区で層が確認されている。

15ライン

北へ向かってなだらかに傾斜する地形で、a層はP・R区を除いてほとんどの地点で連続的に確認される。層厚は15～45cmであった。a層の下には4層（黄褐色粘土）とc層が各区で安定してみられ、層が続いている。層までの確認調査を行ったN区では、c層と層の間に7層（褐色シルト質粘土）がみられた。なお、7層はSit 2 a（平川ほか 2000）と同様の特徴がみられ、約3万2千年前に降下した屈斜路庶路火山灰（Kc - Sr）に対比されると考えられる。

Nライン

奥白滝1遺跡の立地する段丘面全体を東西方向に切った土層断面で、地形はゆるやかな山形となっている。12区が最も標高が高く、東西になだらかに傾斜していく。東側は、25区を過ぎると傾斜がきつくなっていき、調査範囲東端の39区では4mで標高が約1m下がっている。a層は全ての地点で連続的に確認され、層厚は5～65cmと幅をもって堆積している。a層の下にはc層と4層（黄褐色粘土）が比較的多くの地点で見られるが、東側の斜面部では確認されず、39区では5層（暗褐色土）がみられた。

pライン

西に向かってなだらかに傾斜する地形で、a層はほとんどの地点で連続的に確認されているが、木根による攪乱が多くみられた。a層の厚さは15～55cmで、下にはc層が多く地点で確認されているが、pライン西端の4区では3層（黄褐色砂質粘土）、東端の12区では6層（赤褐色砂質シルト）がみられた。

深掘り区（Jライン）

東に向かってなだらかに傾斜する地形で、a層はほとんどの地点で連続的に確認される。層厚は10～50cmであった。a層の下には4層（黄褐色粘土）が安定して堆積し、c層が続いている。

層以下は層が波状になっており、c層は層が窪んでいる地点で厚く堆積し、8層（黄褐色粘土）は9層（テフラ・シルトの互層）の窪んでいる地点にしか見られない。7層は層中にみられ、断続的にちぎれたように確認された。黄褐色の粘土層である8層は古土壌に対比され、最終間氷期に土壌化したものと考えられる。9層はトエトコ火山灰（TT）に比定されているSit 5（平川ほか 2000）を含む層で、赤褐色シルト層との互層となって確認され、厚い所では1m以上堆積している。10層（暗褐色シルト）になると大型の礫を含むようになり、11層（段丘礫層）に到達する。（直江康雄）

（6）調査の方法

平成9年度の調査区は、現況は山林であったが、大きな立木はなく、笹が一面に生い茂った状態であった。調査はまず重機によって調査区全域の笹をある程度取り除くことから始めた。また、排土を調査区域外に堆積することが困難であったので、調査区をNラインを境に南北に大きく二分して調査を進めることとした。したがって、第1段階としてNラインより南側の表土除去、25%調査、包含層調査、第2段階として重機による表土・排土の調査済区域への移動、第3段階としてNラインより北側の表土除去、25%調査、包含層調査という形で調査を進めた。25%調査の結果、東側の斜面部で遺物の全く出土しない区域が確認できたので、約500㎡（32発掘区）については重機によって調査した。また、西側の崖肩部24㎡については、人手による調査は危険と判断したので、重機による掘り上げ後、人力による遺物採取を行った。

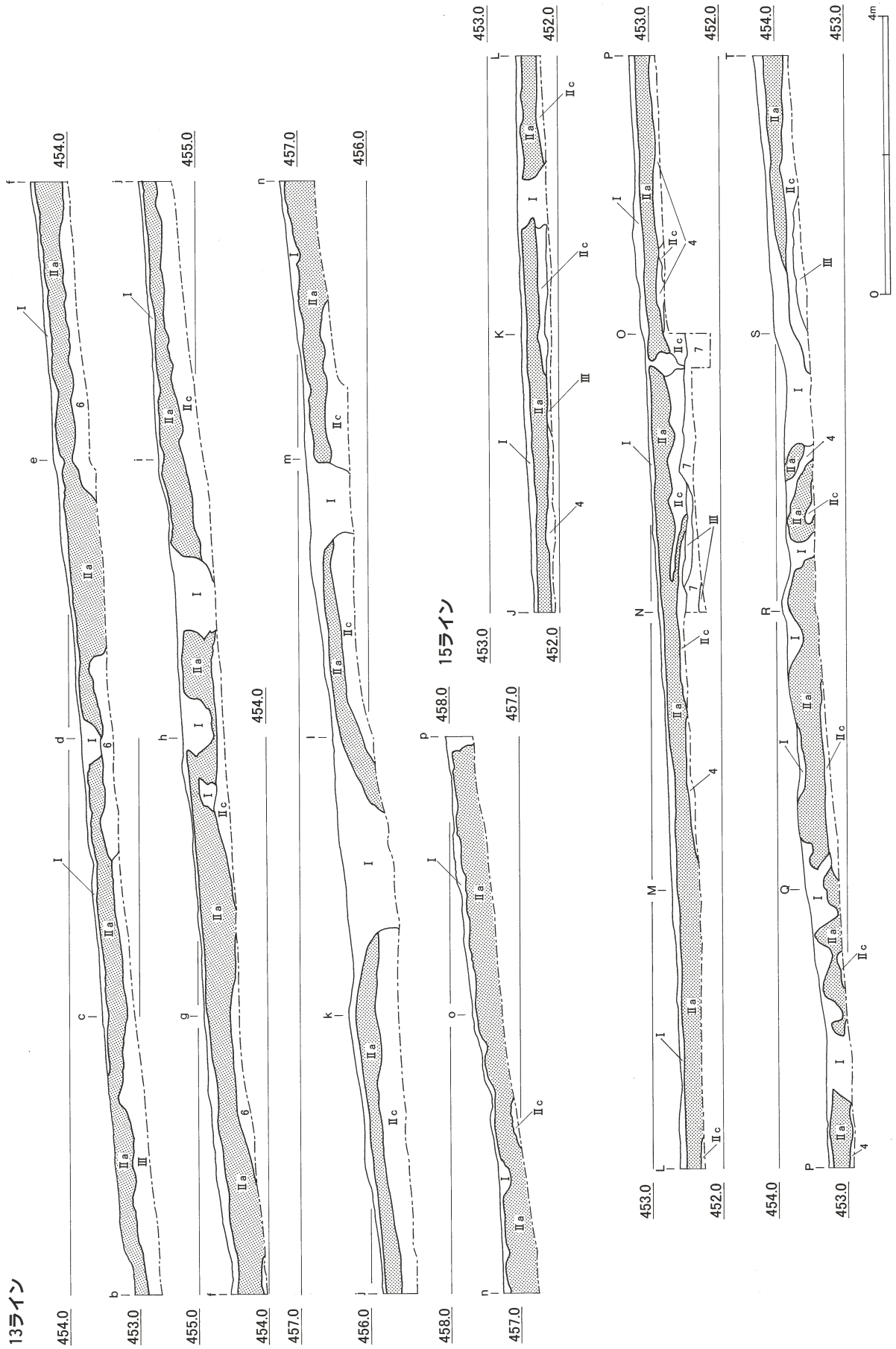


図 - 5 土層断面図 (1)

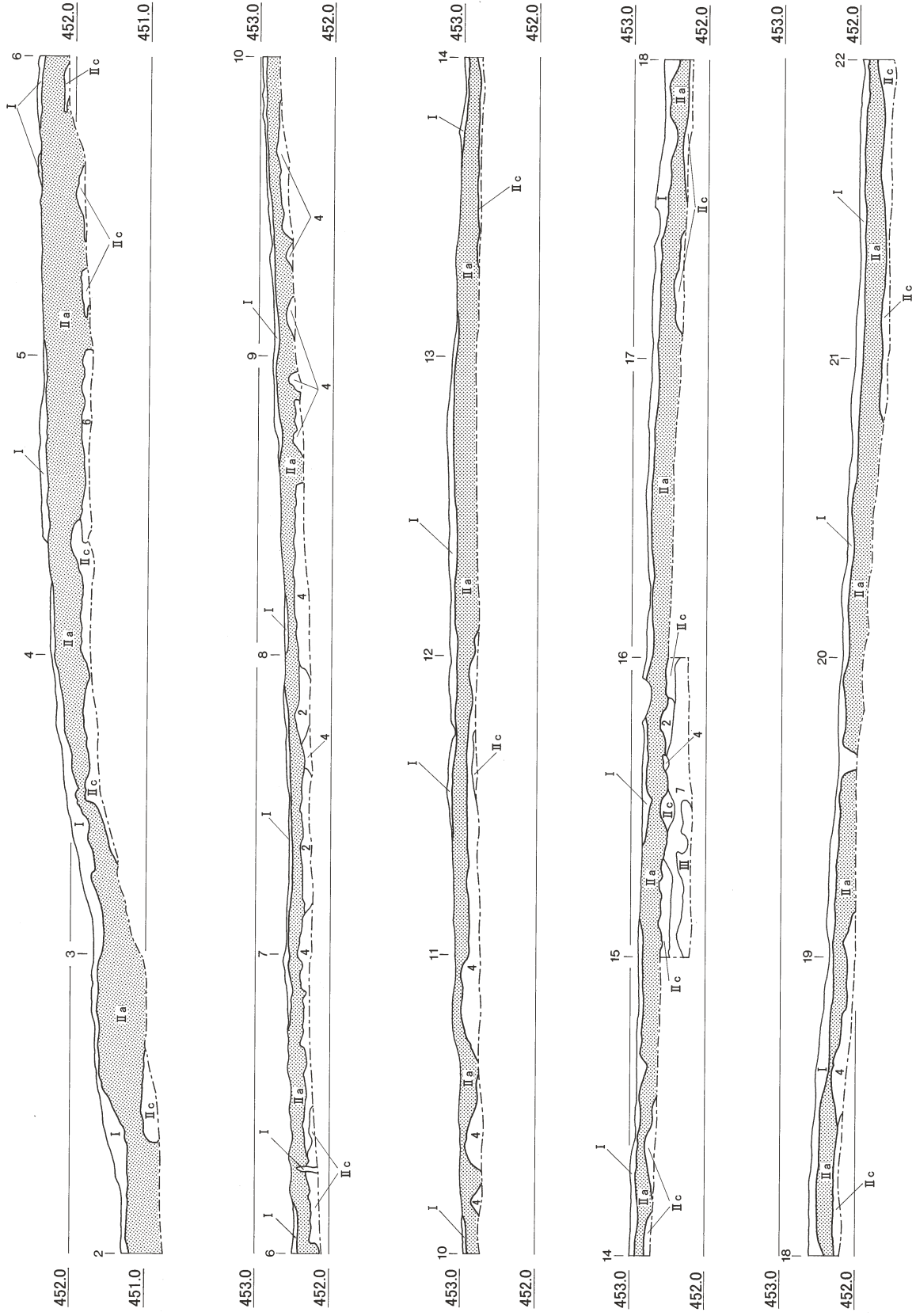


図 - 6 土層断面図 (2)

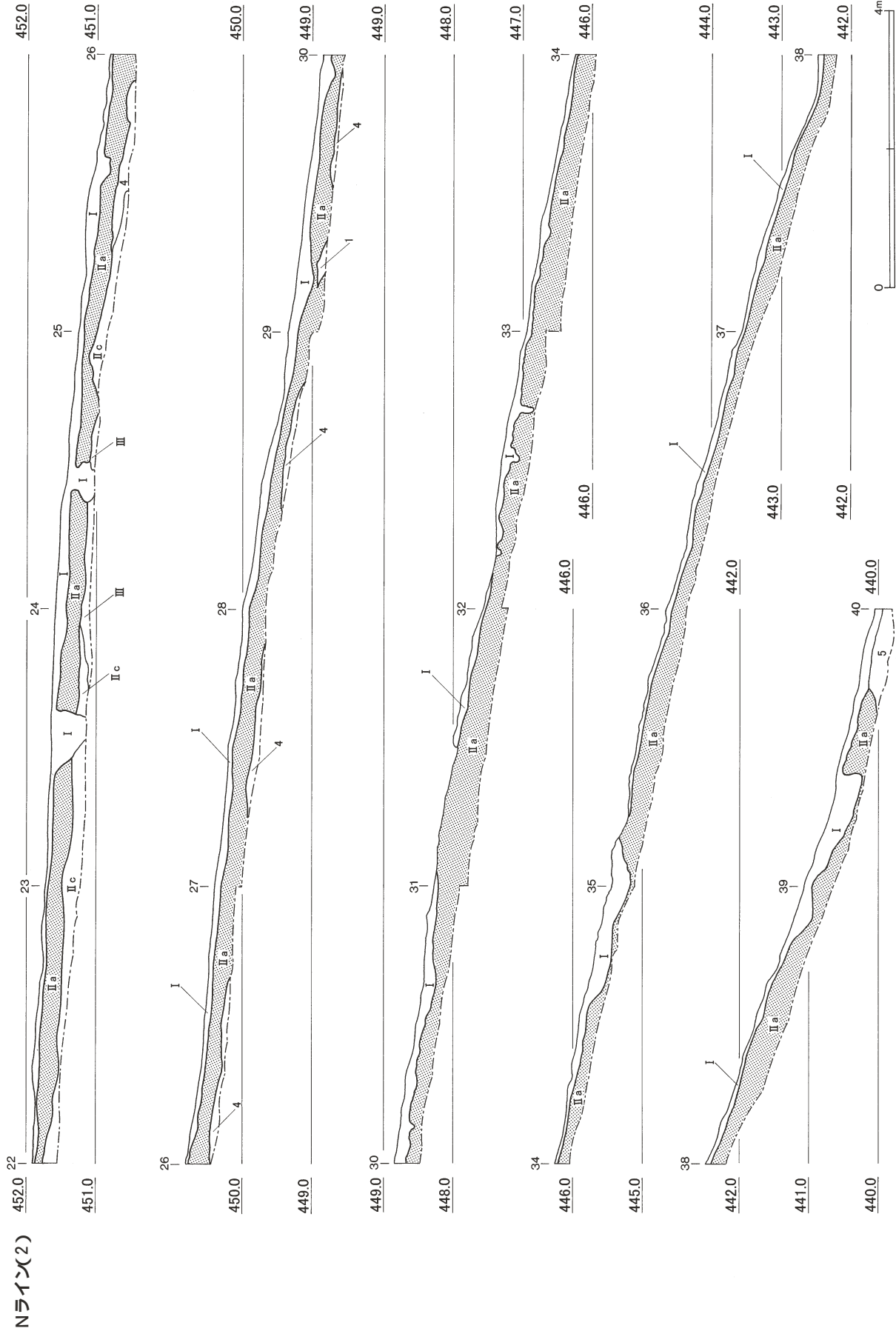
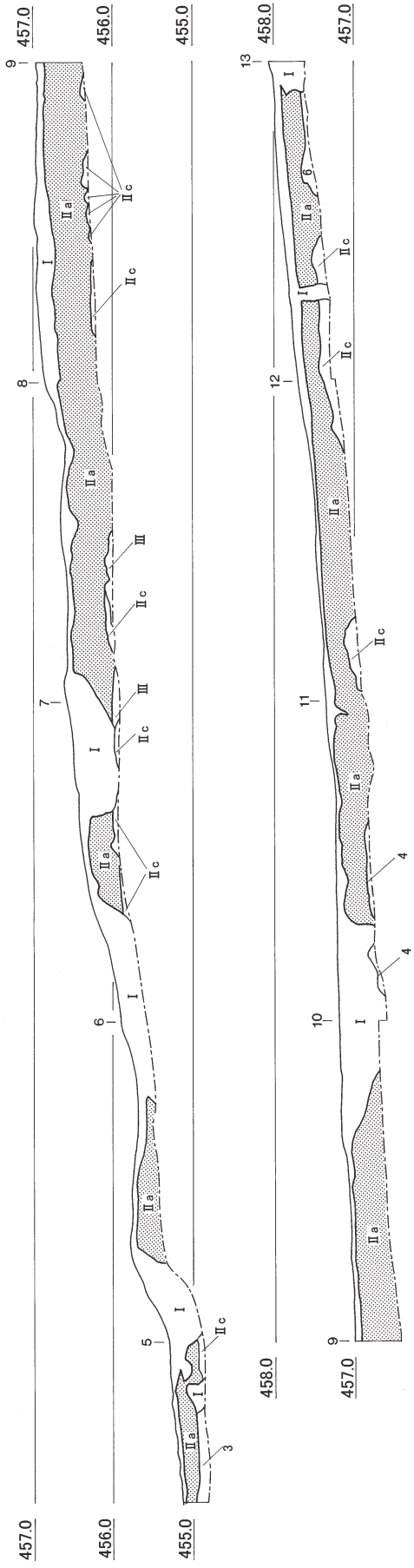


図 - 7 土層断面図 (3)



Jライン(深掘り区)

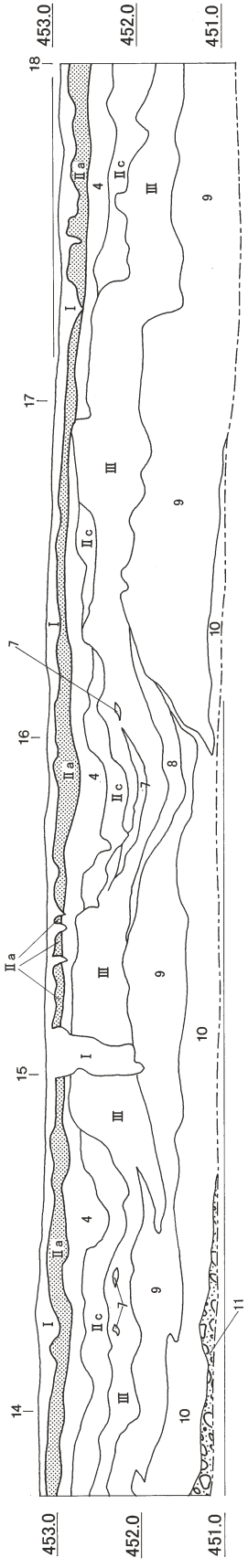


図 - 8 土層断面図 (4)

遺物は、調査区中央やや西側に希薄な部分があるが、ほぼ全面に出土した。J～Oライン、17～20インの区域では、笹の根に混じって遺物が確認されたので、重機による表土除去は最小限に行い、表土から人力で調査を実施した。また、調査当初から遺物分布状況には土壌の凍結・融解やそれに伴う礫や遺物の斜面移動などが影響していることが考えられた。それらの因果関係を明らかにするため、包含層調査が終了した状況で、地形面構成層からの抜け上がりないし再移動によって供給されたと考えられる礫の長軸方向の計測をいくつかの地点で行い、斜面の傾斜方向や遺物の分布状況と比較検討し、その結果は『白滝遺跡群』 章3（平川ほか 2000）に掲載した。

平成10年度の調査区は、富樫沢川に面した台地西側の緩斜面で、調査区の分割が困難であった。したがって、表土・排土の運搬距離が長い状況であったが、それらは平成9年度に調査済の本線部分に堆積することとした。表土除去は南側の高い部分から北側へ向かって順次進めていった。25%調査は全面的に展開したが、排土通路確保の関係で、包含層調査もほぼ同時に行う状況であった。

平成9年度の西側発掘区の調査結果から、平成10年度の調査区は遺物が希薄であると予想していた。しかし、25%調査を始めた直後に遺物が北側と南側の両端を除いた部分以外は濃密に分布することが明らかになった。また、斜面の傾斜が平成9年度の調査区よりややきつい関係から遺物包含層も厚い状況で、予想以上に調査期間を要した。

層以下の土層を確認するため、平成10年度において、平成9年度の調査区北端のJラインに沿って重機により深掘りトレンチを掘開した。その結果、遺物包含層 a 下で大雪御鉢平カルデラ形成に伴うテフラ（Ds - Oh）が確認でき、さらに周氷河作用を明確に示す土層状況も良好な状態で観察することができた（図版12）（平川ほか 2000）。そして、J12・14・15区の壁面の一部については土層の剥ぎ取りを行って保存した。さらにJ14区北壁の土壌サンプリングを行い、古環境を検討するために粒度・珪藻・花粉・植物珪酸体分析を行い、その結果は 章2に掲載した。

遺物の取り上げは、他の遺跡と同様に、層（表土および耕作土）については発掘区単位で一括して取り上げ、遺物包含層である層については、出土位置を可能な限り計測した。しかし、層の遺物でも指先より小さい剥片類については、発掘区単位で一括して取り上げた。さらに、碎片類が多い部分では、フレイク集中として範囲を記録して土ごと取り上げ、水洗処理した。出土位置の記録はトータル・ステーションを使用し、さらに遺構・遺物データシステム（シン技術コンサル）にデータを蓄積すると同時に毎日遺物一覧表とドットマップ（分布図）を作成し、データのチェックと遺物の分布状況を把握しながら調査を進めた。2年間での現場終了時の奥白滝1遺跡のデータ数は84,150件（平成9年：54,083件、平成10年：30,067件）である。（長沼 孝）

（7）整理の方法

遺物の水洗作業は、基本的に現地で行った。その後、札幌の整理作業所に運び、注記などの整理作業を開始した。

遺物の整理作業は、他の遺跡と同様に点取り遺物と一括遺物に分けて進めた。点取り遺物は注記後に、器種分類、重量計測、石質、残存状況、打点・自然面・被熱の有無など一次の属性観察を行い、次に接合・実測などの二次整理作業を進めた。遺物の注記は、道教委の登録番号、発掘区、遺物番号の順としたので、奥白滝1遺跡、N18区出土、遺物番号123の石器の場合は「50N18・123」となる。また、一括遺物は、定形的なものや点取り遺物と接合したものを抽出し、台帳を作成した。したがって、その注記は、点取り遺物と区別するため、発掘区と台帳の整理番号の間に層位を記入した。例え

1 調査の概要

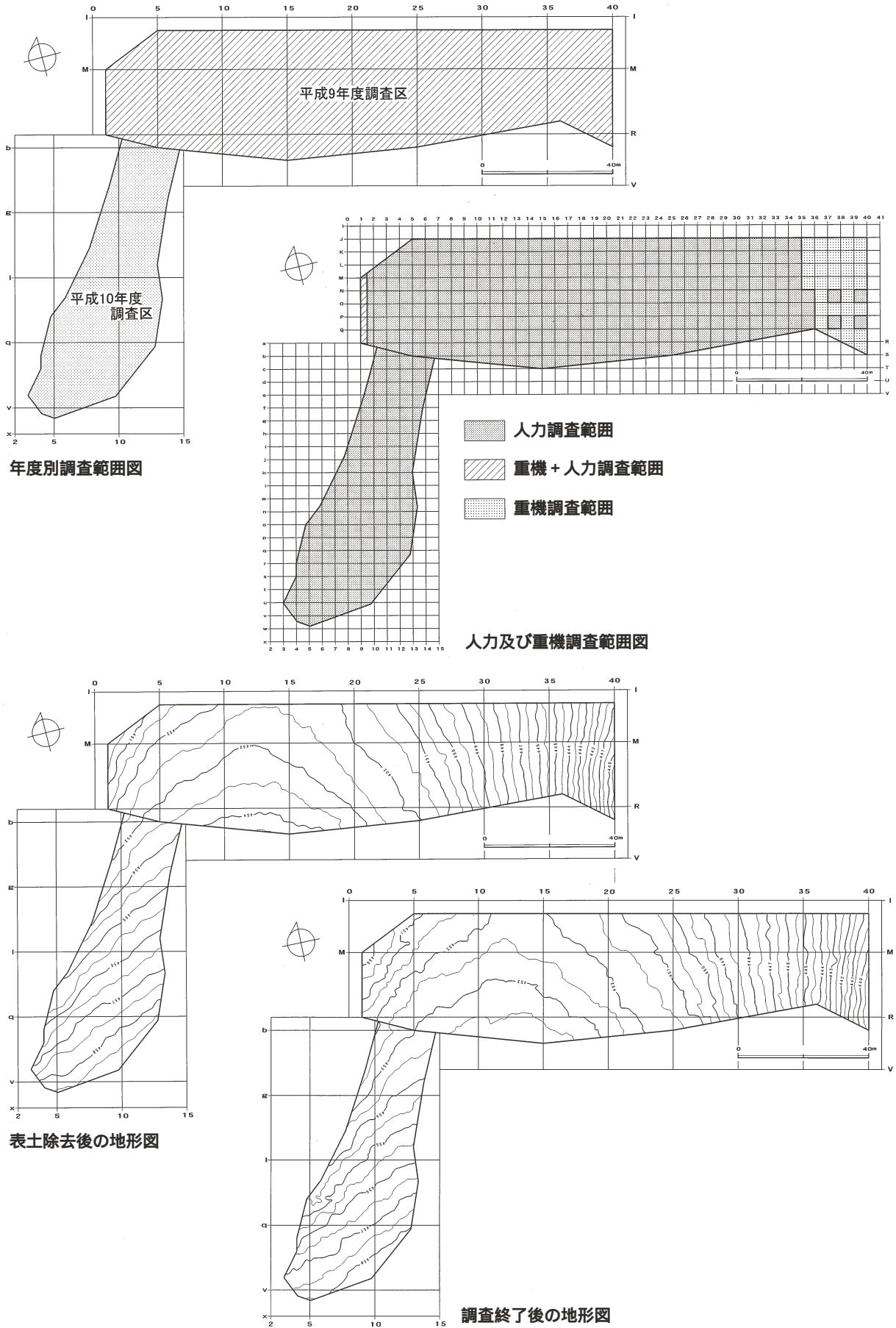


図 - 9 調査範囲・発掘区域地形図

ば、N18区、層出土、台帳番号5の石器は、「50N18・・5」となる。

現場で取り上げた点取り遺物は、84,150点であったが、水洗後に精査し、地山に含まれている自然礫や黒曜石の原石を除いた結果、点取り遺物は最終的に84,105点となった。

遺物の接合作業は、石質、発掘区、石器ブロック、石器群そして全体の順に進めた。奥白滝 1 遺跡では、現場や整理作業の初期の段階から「白滝 群」や「紅葉山型」細石刃核を含む石器群が明確に分離できる状況であったので、他の石器群とは独立した形で整理作業を進めた。したがって、接合番号は「白滝 群」、「紅葉山型」細石刃核を含む石器群、その他の尖頭器を含む石器群の三つに分けて、1000単位でずらして番号を付した。最終的に折れ面接合5,512例（「白滝 群」182例：50001～50227・欠番45、「紅葉山型」343例：50001～51353・欠番10、尖頭器4,987例：52001～57015・欠番28）、剥離面接合2,593例（「白滝 群」105例：1～113・欠番10、「紅葉山型」181例：1001～1184・欠番3、尖頭器2,307例：2001～4330・欠番23）となった。さらにそれらのうち母岩に分類できたもの403個体を母岩別資料とした（母岩別資料1～403）。母岩別資料の抽出は、接合資料を中心に行ったが、資料数が多いことから、ある程度限定した形で行った。まず、同一母岩視できる複数の接合資料があるものを、次に原石や素材の形状がある程度類推できるものを選んだ。また、「白滝 群」や「紅葉山型」細石刃核を含む石器群においては、非接合の石器も可能な限り母岩別資料に取り込んだ。その他の尖頭器を含む石器群においては、接合資料以外の黒曜石製の定形的な石器と非黒曜石製石器すべてを対象として抽出した母岩別資料との対応を検討した。また、特徴的な石質のものは石器同士においても抽出したものがあ

接合に関わる点数は23,859点（折れ面接合のみ4,020点、剥離面接合19,839点）で、点取り遺物の総数84,105点に対しては28.4%、点取り及び一括遺物の総数647,321点に対しては3.7%の接合率である。また、403個体の母岩別資料の点数は16,387点で、点取り遺物の総数84,105点に対しては19.5%、点取り及び一括遺物の総数647,321点に対しては2.5%の母岩抽出率である。

本報告では、石器群ごとに出土石器、分布・接合、接合資料の順で、実測図、分布図などを示した。

最終的に実測図などを掲載した石器類は1,045個体、1,520点、接合資料は226個体（うち模式図・写真を掲載したもの28個体、写真のみを掲載したもの70個体）、分布・接合図などを示した石器ブロックは44か所である。石器類の掲載割合は、点取り及び一括遺物の総数647,321点から剥片643,520点を引いた石器類3,801点に対して27.5%である。

（長沼 孝・直江康雄）

（ 8 ） 調査結果の概要

平成 9 年の調査区は馬の背状の地形をした本線部分、平成10年の調査区は北側に緩やかに傾斜する斜面で、石器の斜面方向への移動が顕著にみられる。石器類は、平面分布や石器の特徴から44か所の石器ブロック（Sb - 1～44）に分けることができ、さらに接合状況などから12の石器群とした。

Sb - 1～6は「白滝 群」で、剥片素材でその腹面からうろこ状の剥片を剥離する石核、剥片ないし分割礫を素材にして求心状に寸詰まりの剥片を剥離する石核、交互剥離によって打面と作業面を入れ替える石核、打面転移を頻繁に行いサイコロ状の形態になる石核などがみられる。定形的な石器類は少なく、うろこ状や末端部が広がる剥片または縦長気味の剥片などに軽微な二次加工か微細剥離がみられるものが多く、若干の錐形石器、搔器が伴っている。接合状況からSb - 1～3、Sb - 4～6の二つに分けられる。Sb - 1～3では、二次加工ある剥片のほかに粗い刃部加工の搔器が、Sb - 4～6では、小型剥片の腹面の打瘤部に平坦剥離を施した石器や錐形石器がみられる。

Sb - 7～10は円錐形の「紅葉山型」細石刃核を含む石器群で、細石刃、石刃、石刃核、搔器、錐

形石器などが伴っている。接合資料から、石刃剥離と打面再生が繰り返され、最終段階で細石刃剥離が行われたことがわかる。また、細石刃核は厚手の剥片を素材としたものもある。沢を挟んで西側に位置する服部台 2 遺跡と遺跡間接合したものが 2 個体確認された。

残りの九つの石器群はすべて尖頭器を含むものであるが、ブロックの状況や石器の組成などが異なっている。Sb - 11・12では粗い加工の尖頭器の未成品、若干の搔器、削器、石刃、石刃核など、Sb - 15～21では加工の状況が様々な大小の柳葉形・木葉形尖頭器、搔器、錐形石器、舟底形石器のほか緑色泥岩製の斧形石器など、Sb - 22～25ではやや粗い加工の木葉形尖頭器、両面調整石器、彫器、搔器、石刃核など、Sb - 26～30では有舌尖頭器、柳葉形・木葉形尖頭器など、Sb - 31～36では有舌尖頭器、木葉形尖頭器のほか碧玉製の石刃・縦長剥片、台石などが出土している。Sb - 38～44は平成10年の調査区で、縄文時代と考えられる石器が混在しているが、多数の尖頭器がみられる。尖頭器はその大部分が製作途中の破損品で、幅の狭いものから大型で幅の広いものまで各種ある。その中でも幅が狭くて厚みがあるグループは白滝の他の遺跡ではみられないもので、所属時期も不明である。尖頭器以外では搔器、削器、石刃核が多く、縄文時代と考えられるものとしては、削器の一部、錐形石器、石鏃、つまみ付きナイフ、砥石などがある。Sb - 13、Sb - 14、Sb - 37は他のブロックと接合関係がないことから単独の石器群としたが、Sb - 13では粗い加工の尖頭器と搔器・削器などが、Sb - 14では尖頭器と台石などが、Sb - 37では粗い加工の尖頭器と石核などが出土しているだけである。

石器群の年代については、決め手となるデータは得られていない。炭化木片ブロック出土の試料13点について放射性炭素年代測定（AMS法）を行ったところ、表V - 1のような数値が得られた。およそ15,000～16,000yBPに10点、18,000～19,000yBPに3点のデータがみられるが、石器群、石器ブロックとの対応関係については確定できない。また、14点の黒曜石製石器について水和層厚測定による年代換算を行い表V - 21のような結果が得られたが、バラツキが大きく、石器や石器群の年代としては直接採用できない。ちなみに明らかに縄文時代と考えられるSb - 42出土石鏃では $3,328 \pm 11$ yBP（H69）、表土出土つまみ付きナイフでは $10,431 \pm 1,411$ yBP（H70）、Sb - 7～10の「紅葉山型」細石刃核を含む石器群では $13,706 \pm 811$ yBP（W1）、 $18,315 \pm 1,335$ yBP（W2）、 $20,184 \pm 1,185$ yBP（W3）という数値が得られた。その他は最も新しい $17,090 \pm 259$ yBP（H67）と最も古い $21,999 \pm 1,434$ yBP（H71）の間の数値となっている。

平成12年度の調査区は、平成9年の本線部分調査区の8m程北側で、有舌を含む尖頭器に彫器・削器・石刃核などが伴うブロックと「白滝群」の二次加工ある剥片とサイコロ状の石核を含むブロックなどが確認された。前者の尖頭器のブロックでは、碧玉製の石器や剥片類が多数出土しているのが注目され、Sb - 31～36との関係も今後検討していかなければならない。平成12年度の調査分についての報告は来年度以降である。

（長沼 孝）

2 遺構と遺物

確認された遺構は全て炭化木片ブロックであった。現場の時点ではグリッド単位で調査を進めたため16か所ブロックを設定していたが、整理作業により、近接したブロックはまとめ、同一ブロックでも離れたものは分離した結果、Cb - 1～18までを再認定した。

確認された遺物は全て石器類であり、平面的なまとめりや接合関係から44の石器ブロックを認定し、母岩の共有関係、接合関係、石器組成を中心として12の石器群に区分した。遺物の記述は石器群ごとにSb - 1～3、4～6、1～6ブロック外、7～10、11・12、13、14、15～21、22～25、26～30、31

表 - 1 奥白滝 1 遺跡出土遺物点数・重量一覧 重量の単位は (g)

種類	尖頭器		両面調整石器		彫器		撞器		削器		錐形石器		舟底形石器		二次加工ある剥片		細石刃		細石刃核		石刃			
	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量		
群	点取り						14	160.3			8	174.9			61	597.2								
	一括						1	15.0																
	B調													2	18.2									
	小計						15	175.3			8	174.9			63	615.4								
群以外	点取り	414	18185.9	63	24470.0	15	310.0	83	18309	129	2763.3	9	142.0	2	260.4	111	3085.3	249	98.8	16	456.8	707	6511.1	
	一括	106	4339.5	12	6039.8	4	42.4	15	438.6	23	317.1	2	10.0	5	210.8	29	615.4	88	44.8	4	192.1	176	1979.1	
		9	176.0			1	6.6	1	6.3	1	16.4			7	104.7	212	38.4					45	77.0	
	B調									1	69.1												3	38.9
	排土その他			2	1364.4	1	77.5								1	14.1	1	0.3					2	88.3
小計	529	22721.4	77	31874.2	21	436.5	99	2275.8	154	3165.9	11	152.0	7	471.2	148	3819.5	550	182.3	20	648.9	933	8694.4		
合計	529	22721.4	77	31874.2	21	436.5	114	2451.1	154	3165.9	19	326.9	7	471.2	211	4434.9	550	182.3	20	648.9	933	8694.4		

種類	縦長剥片		石刃核		石核		削片		剥片		斧形石器		礫石器等		石鏃		つまみ付きナイフ		原石		合計			
	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量		
群	点取り				166	13020.9			1663	9482.6									2	84.5	1914	23520.4		
	一括				7	303.3			168	828.7											176	1147.0		
	B調				3	4.9			118	99.8												121	104.7	
	小計				3	99.7			6	50.3												11	168.2	
群以外	点取り	570	8960.3	43	16711.1	106	22324.4	13	122.2	79627	446021.4	3	2022.1	12	12304.4	4	5.0			15	4627.0	82191	571212.4	
	一括	132	1693.8	7	1816.4	33	4253.4	4	5.4	70287	153110.6					1	0.9	1	30.0			70929	175160.1	
		25	184.6					5	1.0	48837	72611.4												48913	73222.4
	B調			1	254.8																		5	362.8
	排土その他	2	30.0			8	4083.2			2814	13808.0												2831	19465.8
小計	729	10868.7	51	18782.3	147	30661.0	22	128.6	641565	685551.4	3	2022.1	12	12304.4	5	5.9	1	30.0	15	4627.0	615089	839423.5		
合計	729	10868.7	51	18782.3	326	44089.8	22	128.6	643520	696012.8	3	2022.1	12	12304.4	5	5.9	1	30.0	17	4711.5	617321	864363.8		

表 - 2 奥白滝 1 遺跡出土遺物石質別一覧 重量の単位は (g)

種類	石質	尖頭器		両面調整石器		彫器		撞器		削器		錐形石器		舟底形石器		二次加工ある剥片		細石刃		細石刃核		石刃		
		点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	
点取り	黒曜石(群)							14	160.3			8	174.9			61	597.2							
	黒曜石	411	18049.4	63	24470.0	11	238.9	76	1658.5	125	2729.7	6	98.5	2	260.4	107	3062.8	249	98.8	16	456.8	699	6455.8	
	安山岩	1	41.3																					
	凝灰岩															1	3.6							
	頁岩	1	45.6			3	64.2	7	172.4	4	33.6	1	36.0			2	17.2					1	12.1	
	めのう															2	7.5						1	2.5
	砂岩																							
	緑色泥岩																							
	碧玉	1	49.6			1	6.9																6	40.7
	粘板岩																							
小計	414	18185.9	63	24470.0	15	310.0	97	1991.2	129	2763.3	17	316.9	2	260.4	172	3682.5	249	98.8	16	456.8	707	6511.1		
一括	黒曜石(群)							1	15.0							2	18.2							
	黒曜石	115	4535.5	14	7404.2	6	126.5	16	444.9	25	402.6	1	8.6	5	210.8	34	692.6	301	83.5	4	192.1	222	2160.3	
	安山岩																							
	頁岩															3	41.6						1	0.9
	めのう											1	1.4											
	緑色泥岩																							
	碧玉																						3	22.1
	粘板岩																							
小計	115	4535.5	14	7404.2	6	126.5	17	459.9	25	402.6	2	10.0	5	210.8	39	752.4	301	83.5	4	192.1	226	2183.3		
合計	529	22721.4	77	31874.2	21	436.5	114	2451.1	154	3165.9	19	326.9	7	471.2	211	4434.9	550	182.3	20	648.9	933	8694.4		

種類	石質	縦長剥片		石刃核		石核		削片		剥片		斧形石器		礫石器等		石鏃		つまみ付きナイフ		原石		合計		
		点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	
点取り	黒曜石(群)					166	13020.9			1663	9482.6									2	84.5	1914	23520.4	
	黒曜石	556	8748.5	41	16501.7	106	22324.4	11	121.2	79515	445237.4					4	5.0			15	4627.0	82013	555144.8	
	安山岩									12	238.9			2	4705.0							15	4983.2	
	凝灰岩													5	5112.3							6	5115.9	
	頁岩	2	19.4	1	99.4			2	1.0	59	157.5			2	322.7							85	981.1	
	めのう	1	5.5							7	52.4												12	69.6
	砂岩																						3	2166.4
	緑色泥岩									8	73.5	2	1740.2										10	1813.7
	碧玉	11	186.9	1	110.0					23	255.7												43	649.8
	粘板岩									3	6.0	1	281.9										4	287.9
小計	570	8960.3	43	16711.1	272	35345.3	13	122.2	81290	455504.0	3	2022.1	12	12304.4	4	5.0			17	4711.5	84105	594732.8		
一括	黒曜石(群)					13	407.9			292	978.8											308	1419.9	
	黒曜石	157	1902.4	8	2071.2	41	8336.6	5	4.3	561797	239365.7					1	0.9	1	30.0			562733	267972.7	
	安山岩									4	81.5											4	81.5	
	頁岩	1	0.6					4	2.1	116	34.8											125	80.0	
	めのう									2	9.3											3	10.7	
	緑色泥岩									3	5.5											3	5.5	
	碧玉	1	5.4							12	32.3											16	59.8	
	粘板岩									4	0.9											4	0.9	
小計	159	1908.4	8	2071.2	54	8744.5	9	6.4	562220	240508.8					1	0.9	1	30.0			562216	208631.0		
合計	7																							

～36、37、38～44、7～44ブロック外の順に行う。

(1) 炭化木片ブロック

炭化木片ブロックは18か所検出された。全てのブロック内には焼土が伴わず、周辺の土と同じ土に散在するような状況で、集中部ではやや暗褐色を呈しているのが特徴である。全体的な傾向として平成9年度調査区の15ラインより東側の北東方向に緩やかに傾斜する地形に分布するものが多く、台地西側の平成10年度調査区からは確認されていない。石器ブロックとの位置関係をみると、ブロック内の石器が集中する地点と重なるように分布するもの(Cb-10・15)、遺物の集中域の周辺から確認されたもの(Cb-1・4・6・7・9・11・13・14・16・18)、石器ブロック外に分布するもの(Cb-2・3・5・8・12・17)に分けられ、ブロックの周辺から検出されたものが多い。

炭化木片ブロックの土壌は全て採取し、体積と重量を計測後、フローテーションを行った。奥白滝1遺跡では、フローテーション後、2mmメッシュのふるいがけに残ったものに対して選別・集計を行っている(表-3)。炭化木片のうち5mm以上の大きさがあるものは樹種同定を行い、石器ブロックに近接して分布する炭化木片ブロックの中で状態の良いものに関しては、AMS法による放射性炭素年代の測定を行った。樹種同定・年代測定結果の詳細は章1・3に掲載している。

Cb-1(図-10、表-3)

Q17区、Sb-8西部の遺物が散漫な地点のa層中から150×20cmの細長い「く」の字状に炭化木片が散在しているのを確認し(破線部)調査の進行と共に近接した3か所のブロックになり、(1)～(3)まで設定した。「く」の字状に散在して確認された炭化木片は土壌の移動に絡んで上方に広がったものと考えられる。

(1)は70×30cmの楕円形の範囲で厚さは2cmであった。採取された土壌は3,400gで1.7gの炭化木片を回収した。(2)は(1)の北側50cmにあり、45×25cmの楕円形の範囲で、厚さは4cmであった。採取された土壌は2,000gで0.9gの炭化木片を回収した。(3)は(1)の北東側15cmにあり、75×30cmの不定形な範囲で厚さは4cmであった。採取された土壌は3,300gで3.2gの炭化木片を回収した。

得られた炭化木片のうち3点について放射性炭素年代測定を行い、(1)のサンプルに15,570±130yBP(Beta-112873・SHIRA-1)、(2)のサンプルに15,580±190yBP(Beta-112874・SHIRA-2)、(3)のサンプルに15,260±150yBP(Beta-112875・SHIRA-3)の測定結果が得られた。

Cb-2(図-10、表-3)

O17区、Sb-21南側の石器ブロック外のa層中に65×30cmの楕円形の範囲、厚さ6cmで確認された。採取された土壌は4,200gで0.4gの炭化木片を回収した。

Cb-3(図-11、表-3)

N20区、Sb-10の北側、Sb-21東側の石器ブロック外のa層中に18×15cmの円形の範囲、厚さ3cmで確認された。採取された土壌は650gで2.8gの炭化木片を回収した。狭い範囲の中に高密度で炭化木片がみられ、集中部の土は暗褐色を呈していた。

Cb-4(図-11、表-3)

O5・6区、Sb-11の南縁辺部の層上面に2か所の集中部を確認し、(1)と(2)を設定した。地形は北西側に傾斜する斜面で、二つの集中部の長軸方向も同様の方向であった。

(1)は60×25cmの楕円形の範囲で、厚さは6cmであった。採取された土壌は4,000gで1.4gの炭

表 - 3 奥白滝 1 遺跡炭化木片ブロック一覧

		土壌		炭化物 重量(g)	石器		14C年代(yBP)		
		体積(cc)	重量(g)		点数	重量(g)			
Cb-1	(1)	3,500	3,400	1.7	4	0.1	15,570±130		
	(2)	2,000	2,000	0.9	3	0.1	15,580±190		
	(3)	3,100	3,300	3.2	28	1.9	15,260±150		
	計	8,600	8,700	5.8	35	2.1			
Cb-2		4,200	4,200	0.4	0	0.0			
Cb-3		500	650	2.8	0	0.0			
Cb-4	(1)	3,800	4,000	1.4	0	0.0	15,010±120		
	(2)	2,900	2,900	0.3	0	0.0			
	計	6,700	6,900	1.7	0	0.0			
Cb-5		7,000	6,800	13.0	0	0.0			
Cb-6	(1)	300	400	2.7	0	0.0	18,350±140		
	(2)	100	25	0.5	0	0.0			
	計	400	425	3.2	0	0.0			
Cb-7		50	30	0.3	0	0.0			
Cb-8		300	400	1.0	0	0.0			
Cb-9		10,500	11,300	10.1	1	0.1	18,880±140		
Cb-10	(1)	700	700	0.4	12	7.3			
	(2)	3,400	3,600	1.7	99	41.8			
	計	4,100	4,300	2.1	111	49.1			
Cb-11		4,800	5,300	1.7	0	0.0	15,250±200	15,100±130	
Cb-12	(1)	1,300	1,700	3.4	0	0.0			
	(2)	1,600	1,600	1.1	0	0.0			
	(3)	1,500	1,600	0.4	1	0.7			
	(4)	1,700	1,800	6.3	2	0.1			
	(5)	2,800	2,700	8.0	0	0.0			
	(6)	900	1,200	0.9	0	0.0			
	(7)	250	250	0.4	0	0.0			
	計	10,050	10,850	20.5	3	0.8			
Cb-13		1,000	1,000	0.1	0	0.0			
Cb-14		50	50	0.2	8	0.1			
Cb-15	(1)	1,300	1,500	2.0	3	0.1			
	(2)	1,100	1,200	3.0	2	1.9	16,130±160		
	(3)	10,200	10,950	5.4	51	5.0	15,880±130		
	計	12,600	13,650	10.4	56	7.0			
Cb-16		100	200	0.2	2	0.1			
Cb-17		200	300	0.5	0	0.0			
Cb-18		31,800	31,850	14.7	0	0.0	16,040±130	18,230±190	15,850±150

化木片を回収した。(2)は(1)の南東側にあり50×20cmの長楕円形の範囲で、厚さは2cmであった。採取された土壌は2,900gで0.3gの炭化木片を回収した。

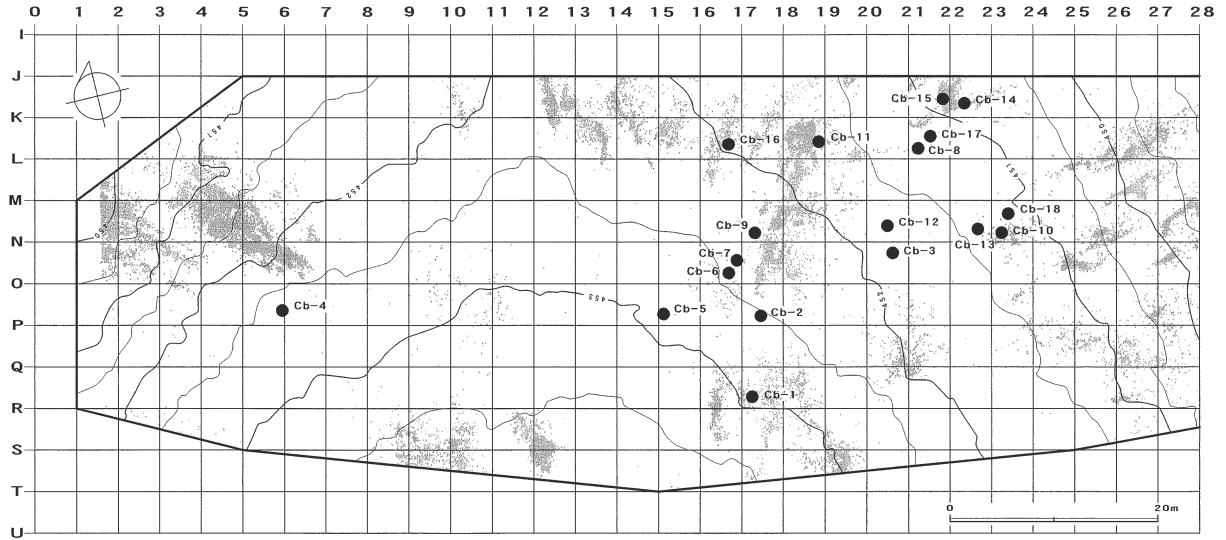
得られた炭化木片のうち(1)のサンプル1点について放射性炭素年代測定を行い、15,010±120yBP (Beta - 112876・SHIRA - 4)の測定結果が得られた。

Cb - 5 (図 - 11、表 - 3)

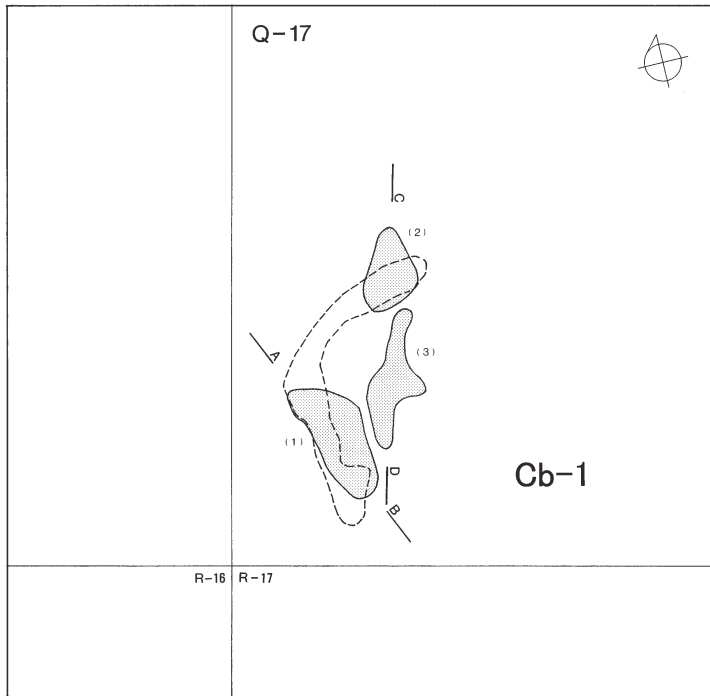
O15区、Sb - 20南西側の石器ブロック外の b層中に30×20cmの楕円形の範囲、厚さ4cmで確認された。集中部の炭化木片は非常に高密度で、周囲の約1.5×1.0mの範囲には炭化木片がまばらに散在していた(破線部)。採取された土壌は6,800gで13.0gの炭化木片を回収した。

Cb - 6 (図 - 12、表 - 3)

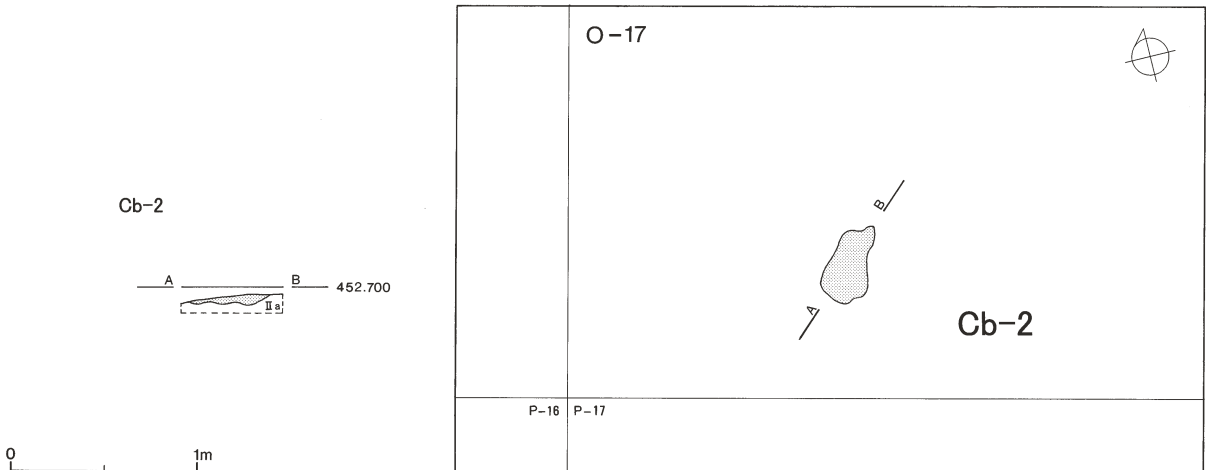
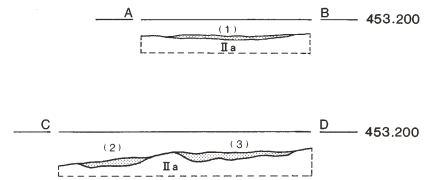
N16区、Sb - 20北部の遺物が散漫な地点の a層中に25×10cmの不定形な範囲、厚さ6cmで確認された。採取された土壌は425gで3.2gの炭化木片を回収した。得られた炭化木片のうち1点について放射性炭素年代測定を行い、(1)のサンプルに18,350±140yBP (Beta - 126156・SHIRA - 45)の測定結果が得られた。



炭化木片ブロック位置図



Cb-1(1)(2)(3)



Cb-2



図 - 10 炭化木片ブロックの平面・断面図(1)

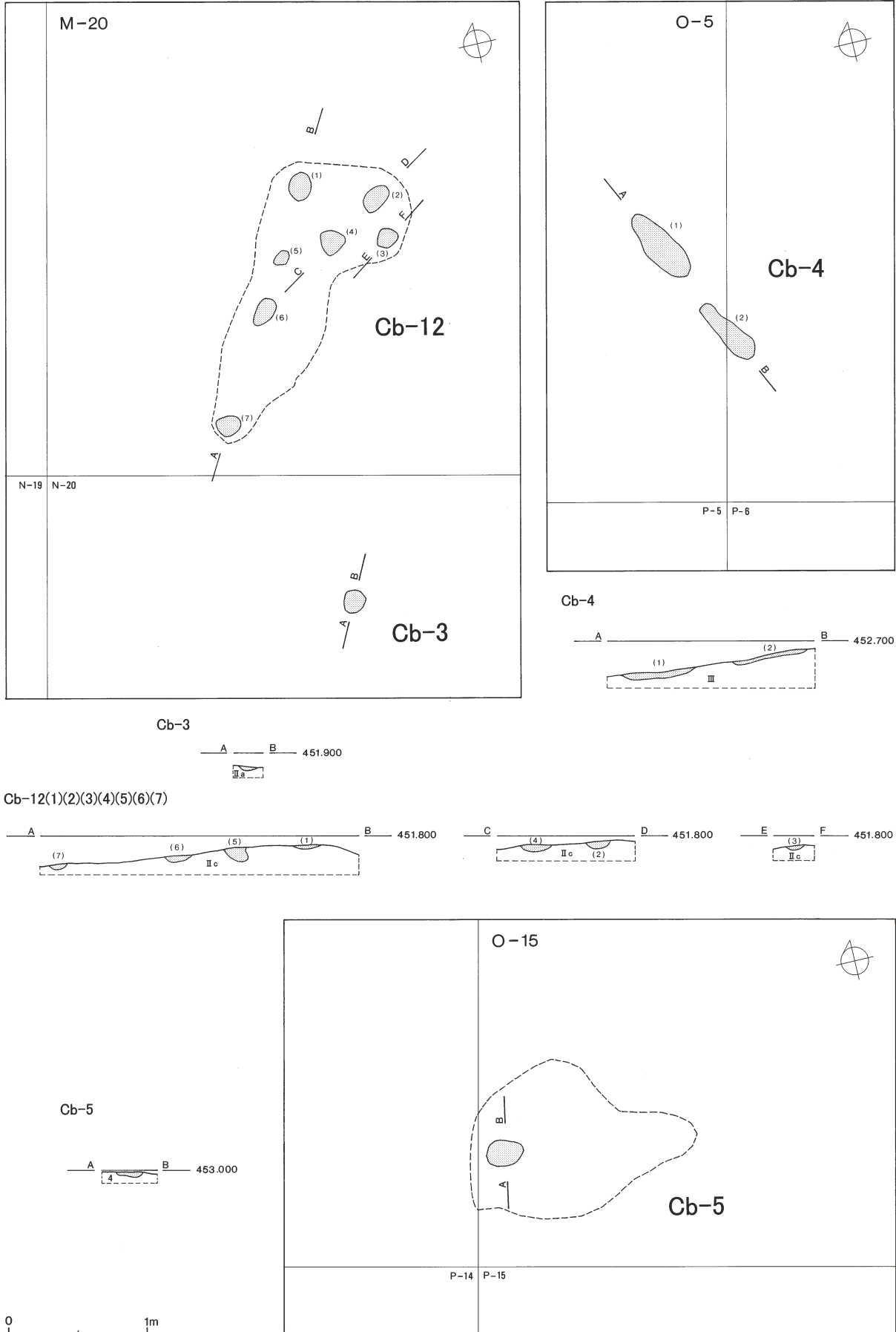


図 - 11 炭化木片ブロックの平面・断面図(2)

2 遺構と遺物

Cb - 7 (図 - 12、表 - 3)

N16区、Sb - 20北部の遺物が散漫な地点の a 層中に20×4cmの不定形な範囲、厚さ2cmで確認された。Cb - 6の北東側50cmに位置し、確認された標高も同様のためCb - 6と同一ブロックの可能性が高い。採取された土壌は30gで0.3gの炭化木片を回収した。

Cb - 8 (図 - 12、表 - 3)

K21区、Sb - 24の南側、Sb - 21東側の石器ブロック外の a 層中から20×13cmの楕円形の範囲、厚さ4cmで確認された。採取された土壌は400gで1.0gの炭化木片を回収した。

Cb - 9 (図 - 12、表 - 3)

M17区、Sb - 21の東縁辺部の a 層中に45×40cmの円形の範囲で確認された。厚さは大部分が5cm前後であったが、南側は厚く13cm前後であった。採取された土壌は11,300gで10.1gの炭化木片を回収した。得られた炭化木片のうち1点について放射性炭素年代測定を行い、18,880±140yBP (Beta - 126157・SHIRA - 46)の測定結果が得られた。

Cb - 10 (図 - 13、表 - 3)

M23区、Sb - 4の石器分布の中心と重なるように a 層中から2か所の集中部を確認し(1)(2)を設定した。

(1)は23×15cmの不定形な範囲で厚さは5cmであった。採取された土壌は700gで0.4gの炭化木片を回収した。(2)は(1)の北東側20cmに位置し、60×20cmの長楕円形の範囲で厚さは4cmであった。採取された土壌は3,600gで1.7gの炭化木片を回収した。

Cb - 11 (図 - 13、表 - 3)

K18区、Sb - 21の北東縁辺部に位置し、a 層中から140×12cmの棒状の範囲、厚さ4cmで確認された。採取された土壌は5,300gで1.7gの炭化木片を回収した。得られた炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、15,250±200yBP (Beta - 112882・SHIRA - 10)、15,100±130yBP (Beta - 112883・SHIRA - 11)の測定結果が得られた。

Cb - 12 (図 - 11、表 - 3)

M20区、Sb - 21東側の石器ブロック外の a 層中から200×100cmの不定形な範囲に炭化木片が散在し(破線部)、その中に7か所の集中部がみられ、(1)～(7)まで設定した。(1)～(6)は20cm前後の間隔で110×90cmの範囲にみられるが、(7)はやや南側に離れた位置に確認された。

(1)は20×15cmの楕円形の範囲で、厚さは3cmであった。採取された土壌は1,700gで3.4gの炭化木片を回収した。(2)は(1)の東側40cmに位置し、21×14cmの楕円形の範囲で、厚さは5cmであった。採取された土壌は1,600gで1.1gの炭化木片を回収した。(3)は(2)の南側15cmに位置し、15×14cmの円形の範囲で、厚さは5cmであった。採取された土壌は1,600gで0.4gの炭化木片を回収した。(4)は(3)の西側25cmに位置し、20×20cmの円形の範囲で、厚さは5cmであった。採取された土壌は1,800gで6.3gの炭化木片を回収した。(5)は(4)の西側25cmに位置し、12×10cmの楕円形の範囲で、厚さは11cmであった。採取された土壌は2,700gで8.0gの炭化木片を回収した。他に比べて厚さがある。(6)は(5)の南側25cmに位置し、20×13cmの楕円形の範囲で、厚さは5cmであった。採取された土壌は1,200gで0.9gの炭化木片を回収した。(7)は(6)の南側70cmに位置し、18×15cmの楕円形の範囲で、厚さは4cmであった。採取された土壌は250gで0.4gの炭化木片を回収した。

Cb - 13 (図 - 12、表 - 3)

M22区、Sb - 4の東縁辺部の a 層中に25×20cmの円形の範囲で、厚さは4cmで確認された。採

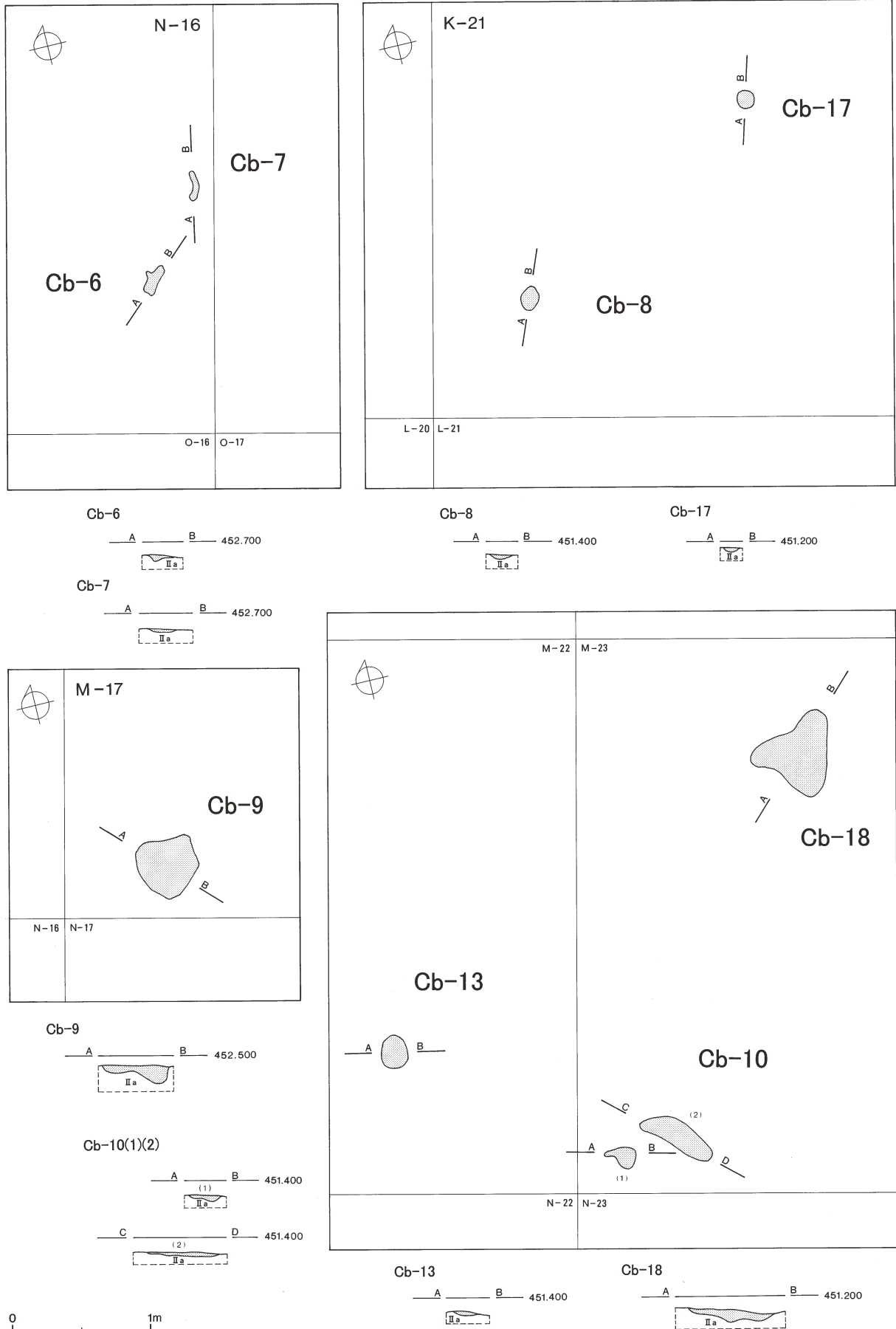


図 - 12 炭化木片ブロックの平面・断面図 (3)

2 遺構と遺物

取された土壌は1,000gで0.1gの炭化木片を回収した。

Cb - 14 (図 - 13、表 - 3)

J22区、Sb - 25の遺物集中域からやや東側の a 層中に10×5cmの楕円形の範囲、厚さ2cmで確認された。採取された土壌は50gで0.2gの炭化木片を回収した。

Cb - 15 (図 - 13、表 - 3)

J21・22区、Sb - 25の遺物集中域と重なるように a 層中から3か所の集中部を確認し、(1)～(3)まで設定した。(1)と(3)は断面図から同一ブロックが土壌の移動によってちぎれ、分断された可能性が高い。

(1)は65×25cmの楕円形の範囲で厚さは11cmであった。採取された土壌は1,500gで2.0gの炭化木片を回収した。(2)は(1)の南東側55cmに位置し、40×30cmの楕円形の範囲で厚さは6cmであった。採取された土壌は1,200gで3.0gの炭化木片を回収した。(3)は(1)の中心部から南東側にずれて位置している。40×30cmの楕円形の範囲で厚さは5cmであった。採取された土壌は10,950gで5.4gの炭化木片を回収した。

得られた炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、(2)のサンプルに16,130±160yBP (Beta - 112880・SHIRA - 8)、(3)のサンプルに15,880±130yBP (Beta - 112881・SHIRA - 9)の測定結果が得られた。

Cb - 16 (図 - 13、表 - 3)

K16区、Sb - 3・18の遺物集中域の南東側に位置し、a層中から18×8cmの不定形な範囲、厚さ2cmで確認された。採取された土壌は200gで0.2gの炭化木片を回収した。確認された標高はSb - 3の遺物が集中する高さとはほぼ同様であった。

Cb - 17 (図 - 12、表 - 3)

K21区、Sb - 24南側の石器ブロック外の a 層中から直径12cmの円形の範囲、厚さ3cmで確認された。採取された土壌は300gで0.5gの炭化木片を回収した。

Cb - 18 (図 - 12、表 - 3)

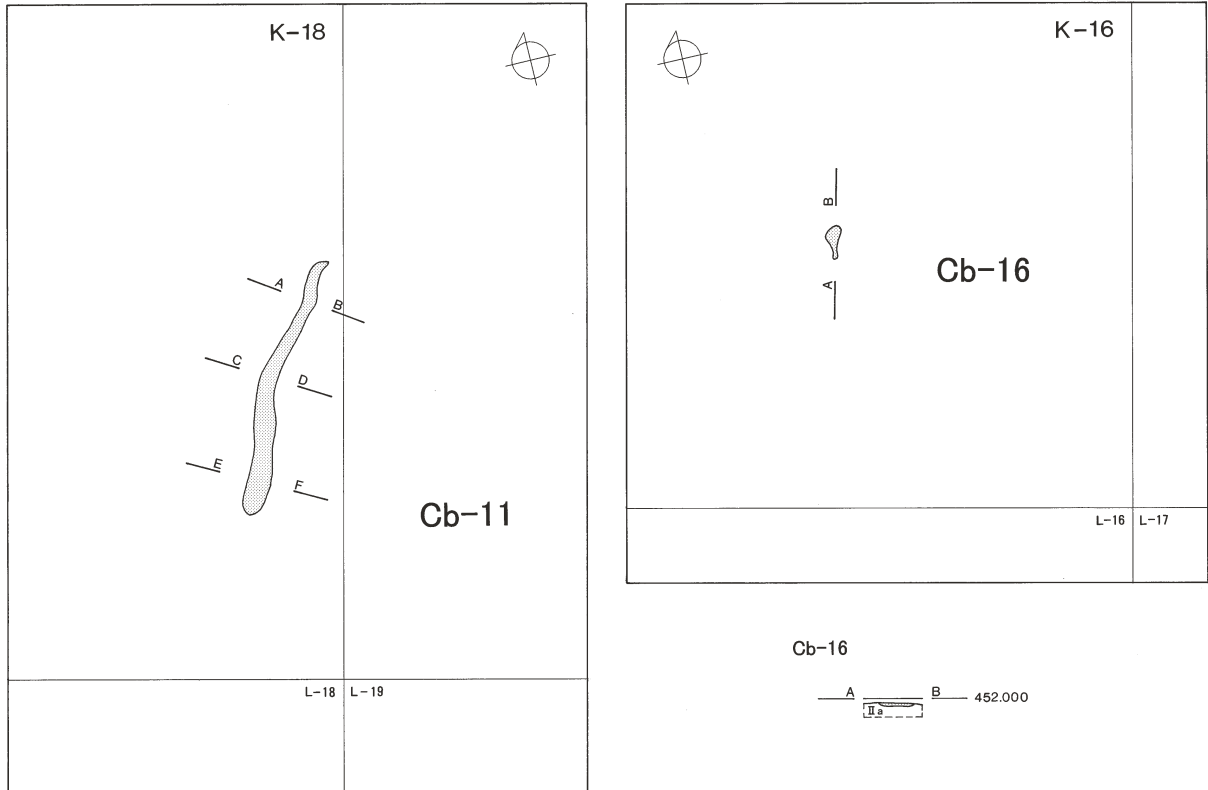
M23区、Sb - 4の北縁辺部の a 層中に65×55cmの不定形な範囲、厚さ10cmで確認された。採取された土壌は31,850gで14.7gの炭化木片を回収した。得られた炭化木片のうち3点について放射性炭素年代測定を行い、16,040±130yBP (Beta - 112877・SHIRA - 5)、18,230±190yBP (Beta - 112878・SHIRA - 6)、15,850±150yBP (Beta - 112879・SHIRA - 7)の測定結果が得られた。

(直江康雄)

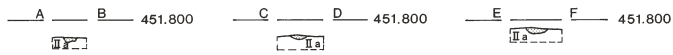
(2) 遺物分布と石器ブロック・石器群

出土位置を計測して取り上げた遺物(以下点取り遺物)は84,105点である。遺物は調査区のほぼ全域からある程度のまとまりで確認でき(図 - 14)、石器ブロックの認定にあたっては、主に遺物分布・密度分布・接合関係(図 - 14～16)を重視し、石材分布や石器分布(図 - 19～34)も考慮した。また、白滝遺跡群では、出土する遺物が多く、さらに周氷河性のソリフラクションなどの影響による遺物の移動も考慮して、基本的に石器ブロックを大きく括っている。

奥白滝1遺跡では現場時点から出土遺物が「白滝群」とした後期旧石器時代前半期の石器群、「紅葉山型」細石刃核を含む石器群、尖頭器を中心とした石器群の大きく三つに分けられることを認識していた。そのため接合作業、石器ブロックの設定は各石器群で行い、「白滝群」ではSb - 1～6の6ブロック、「紅葉山型」細石刃核を含む石器群ではSb - 7～10の4ブロック、尖頭器を中心と



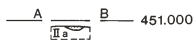
Cb-11



Cb-16



Cb-14



Cb-15(1)(2)(3)

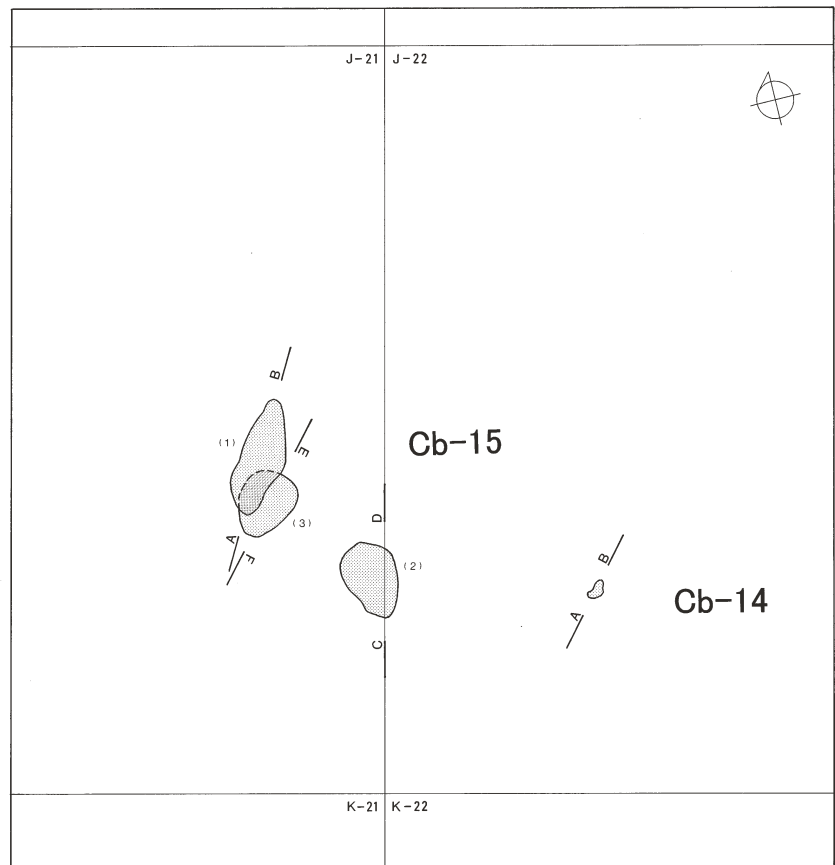
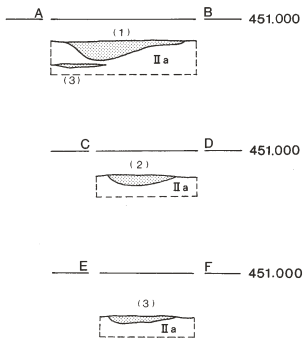


図 - 13 炭化木片ブロックの平面・断面図 (4)

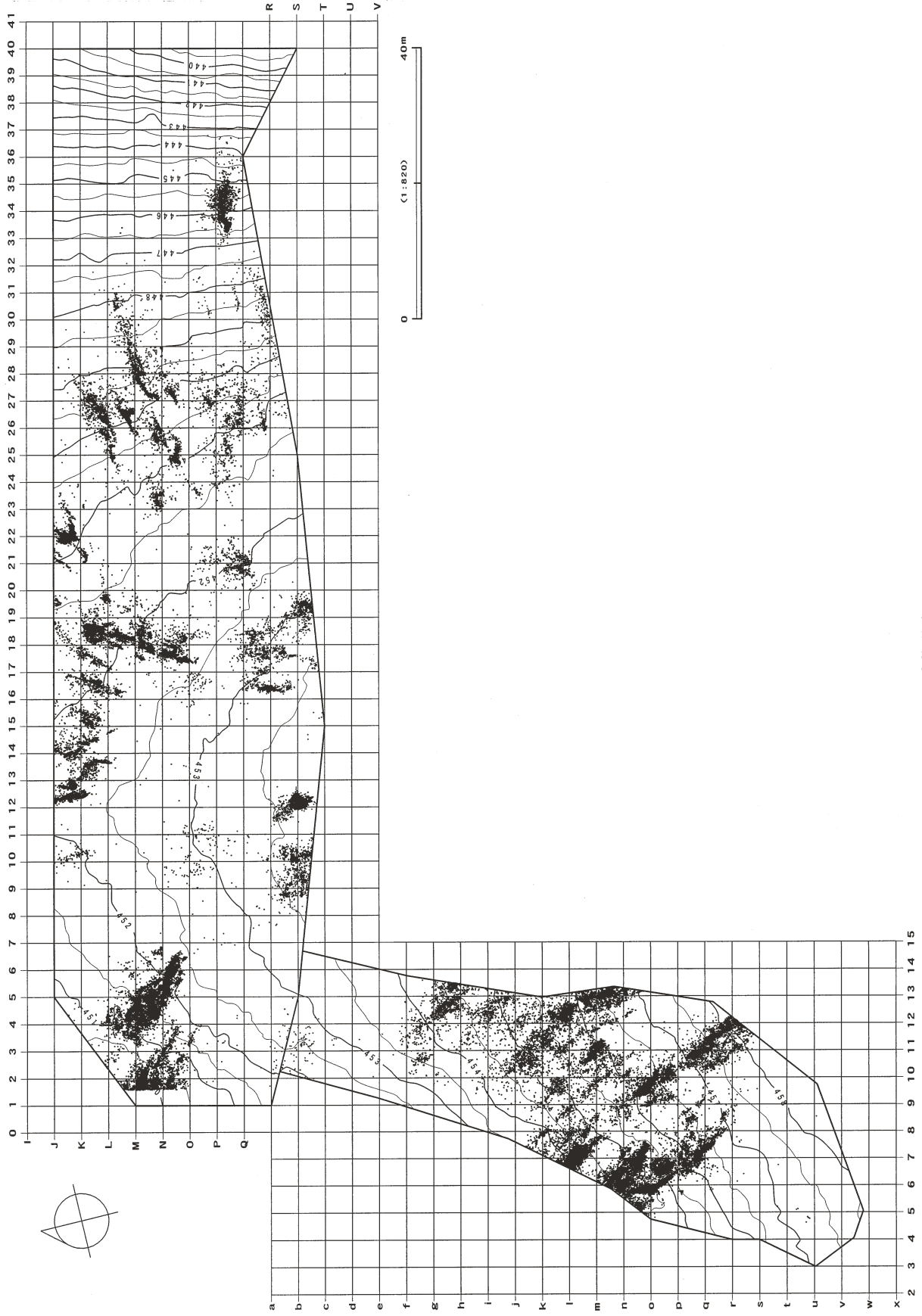


図 - 14 遺物分布図

した石器群ではSb - 11～44の34ブロックに分けた（図 - 18）。しかし、「白滝 群」と尖頭器石器群では一部のブロックが重複している。具体的にはSb - 3とSb - 18、Sb - 6とSb - 29の石器集中部が重なり、Sb - 5はSb - 31～33を跨ぐような状態である。これらは層位的に分離することはできなかったが、石核や剥片の形態的な特徴などにより分離することが可能であった。また、立面図（図 - 17）をみると、集中部のレベルに若干の上下関係がみられ、「白滝 群」が下位からより多く出土している傾向が確認できた。

さらに最初に認識していた三つの大きな石器群を石器ブロック間の接合関係・母岩共有関係・石器組成・石器製作技術などの特徴によって、より同一時期の所産である可能性が高い12の石器群に細分した。以下に石器ブロックと12の石器群の関係について述べる。

Sb - 1～3は、「白滝 群」で、剥片の縁辺に軽微な加工を施した二次加工ある剥片と搔器を主体とする石器群である。石核はサイコロ状のものや剥片の腹面側を求心状に剥離するものなどがみられる。やや離れた3か所のブロックからなり、母岩の共有関係が確認された。

Sb - 4～6は、「白滝 群」で、剥片の縁辺に軽微な加工を施した二次加工ある剥片と錐形石器を主体とする石器群である。石核はサイコロ状のものや剥片の腹面側を求心状に剥離するものなどがみられる。やや離れた3か所のブロックからなり、それぞれに接合関係が確認された。

Sb - 7～10は、「紅葉山型」細石刃核を含む石器群である。まとまった4か所のブロックからなり、ブロック間には密接な接合関係がみられる。また、二つの母岩で服部台2遺跡出土の石刃との接合が確認された。

Sb - 11・12は、尖頭器を主体とする石器群である。隣り合う2か所の大きなブロックからなり、接合関係も多数みられる。

Sb - 13は、尖頭器を主体とする石器群である。他のブロックとの母岩の共有関係・接合関係がみられないことから独立した石器群とした。

Sb - 14は、尖頭器を主体とする石器群である。他のブロックとの母岩の共有関係・接合関係がみられないことから独立した石器群とした。

Sb - 15～21は、尖頭器を主体とする石器群である。隣り合い東西約35mに広がる7か所のブロックからなり、接合関係も多数みられる。

Sb - 22～25は、尖頭器を主体とする石器群である。東西に広がる4か所のブロックからなる。それぞれ接合関係がみられるが、特にSb - 24と25で多い。

Sb - 26～30は、有舌を含む尖頭器を主体とする石器群である。南北に隣り合う5か所のブロックからなり、それぞれ接合関係も多数みられる。

Sb - 31～36は、有舌を含む尖頭器を主体とする石器群である。東西に広がる6か所のブロックからなる。それぞれ接合関係がみられるが、特にSb - 31～34の間で多い。また、この石器群はSb - 26～30と同様の石器で構成されるが、石器群同士の接合関係が折れ面接合1例のみであり、同時性の保証がないため別の石器群とした。

Sb - 37は、尖頭器を主体とする石器群である。他のブロックとの母岩の共有関係・接合関係がみられないことから独立した石器群とした。

Sb - 38～44は、尖頭器を主体とする石器群である。南北に隣り合う7か所のブロックからなり、それぞれに密接な接合関係がみられる。

次に石材別・器種別分布状況について説明する。石器ブロックが一部重なるため、「白滝 群」としたSb - 1～6とそれ以外のSb - 7～44に分けて行う。なお、出土点数について特に記述がない場

表 - 7 奥白滝 1 遺跡出土原礫面残存・被熱石器一覧

ブロック	遺物点数(点取り)(点)	原石面残存石器(点、%)		被熱石器(点、%)	
Sb-1	122	56	45.9	28	23.0
Sb-2	129	61	47.3	24	18.6
Sb-3	351	166	47.3	61	17.4
Sb-4	356	102	28.7	209	58.7
Sb-5	103	26	25.2	32	31.1
Sb-6	830	350	42.2	147	17.7
白滝 群ブロック外	23	11	47.8	0	0.0
Sb-7	545	178	32.7	2	0.4
Sb-8	1012	272	26.9	13	1.3
Sb-9	592	159	26.9	25	4.2
Sb-10	557	208	37.3	3	0.5
Sb-11	3933	887	22.6	53	1.3
Sb-12	10501	2111	20.1	66	0.6
Sb-13	1288	425	33.0	33	2.6
Sb-14	2328	224	9.6	0	0.0
Sb-15	2534	648	25.6	129	5.1
Sb-16	676	84	12.4	3	0.4
Sb-17	527	137	26.0	2	0.4
Sb-18	350	103	29.4	2	0.6
Sb-19	403	59	14.6	0	0.0
Sb-20	94	43	45.7	3	3.2
Sb-21	6710	783	11.7	231	3.4
Sb-22	70	11	15.7	0	0.0
Sb-23	90	23	25.6	0	0.0
Sb-24	139	66	47.5	0	0.0
Sb-25	8842	1742	19.7	16	0.2
Sb-26	1464	130	8.9	5	0.3
Sb-27	1905	430	22.6	2	0.1
Sb-28	1491	386	25.9	7	0.5
Sb-29	795	110	13.8	6	0.8
Sb-30	784	257	32.8	0	0.0
Sb-31	181	6	3.3	0	0.0
Sb-32	245	71	29.0	0	0.0
Sb-33	500	24	4.8	0	0.0
Sb-34	334	75	22.5	0	0.0
Sb-35	295	58	19.7	2	0.7
Sb-36	2800	310	11.1	2	0.1
Sb-37	119	25	21.0	0	0.0
Sb-38	1499	107	7.1	28	1.9
Sb-39	741	58	7.8	26	3.5
Sb-40	4732	520	11.0	602	12.7
Sb-41	2502	475	19.0	291	11.6
Sb-42	3676	652	17.7	6	0.2
Sb-43	5710	1590	27.8	36	0.6
Sb-44	11079	1921	17.3	823	7.4
ブロック外	148	37	25.0	4	2.7
合計	84105	16177	19.2	2922	3.5

合は、点取り遺物の点数で、一括遺物も含む場合は明記する。

Sb - 1 ~ 6 「白滝 群」の石器

黒曜石製の石器 (図 - 19、表 - 4 ~ 6)

Sb - 1 ~ 6 で出土した1,914点の遺物はすべて黒曜石製である。石質毎にみると黒曜石 1 (黒色) が最も多く、1,651点 (86.3%) 出土し、以下黒曜石 2 (梨肌) の117点 (6.1%)、黒曜石 4 (黒<茶) の86点 (4.5%)、黒曜石 3 (黒>茶) の58点 (3.0%)、黒曜石 5 (黒>紫・茶) の2点 (0.1%) の順となっている。しかし、重量で比べると黒曜石 4 が2,126.3g (9.0%)、黒曜石 2 が797.2g (3.4%) で順番が逆転する。石質毎に石器ブロックを観察すると、最も多い黒曜石 1 は全体的に分布し、特に Sb - 5 は黒曜石 1 のみで構成されている。黒曜石 2 はSb - 6 に集中し、Sb - 2・4・5 ではまったく出土していない。黒曜石 3 はSb - 1 で多く、黒曜石 4 はSb - 3・6 でまとまってみられる。黒曜石 5 はSb - 3 でしかみられない。

二次加工ある剥片 (図 - 20、表 - 4 ~ 6)

61点出土し、すべてのブロックにみられる。特にSb - 3 (17点)・6 (27点) で多く、その他は Sb - 1 (6点)・2 (5点)・4 (5点)・5 (1点) となっている。

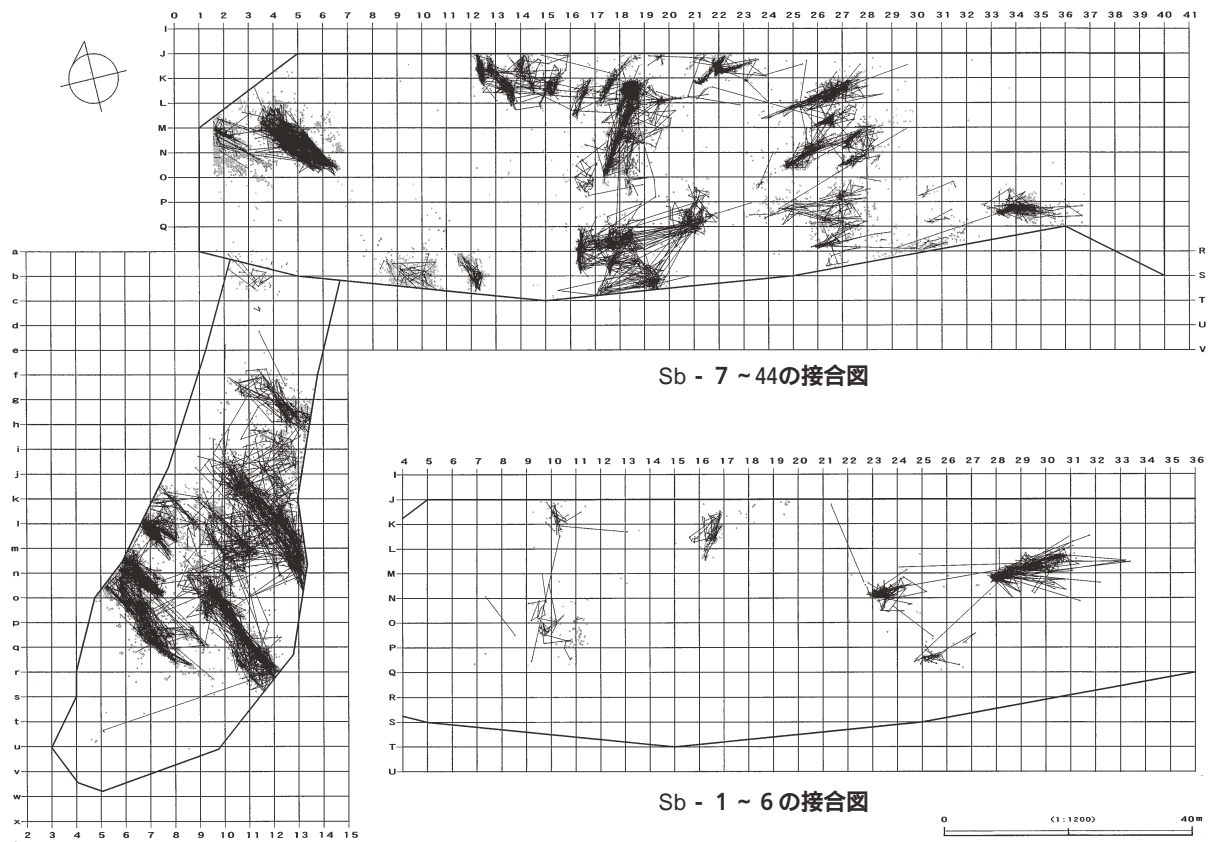
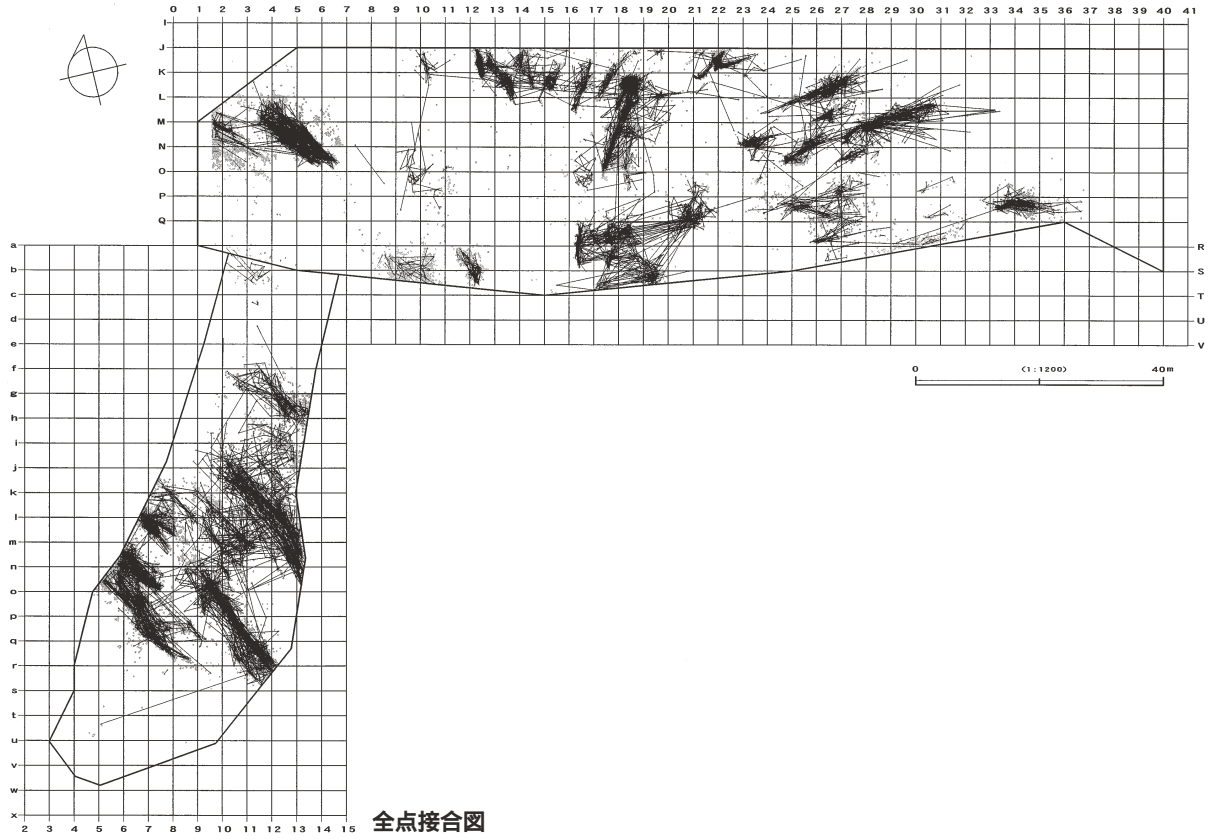
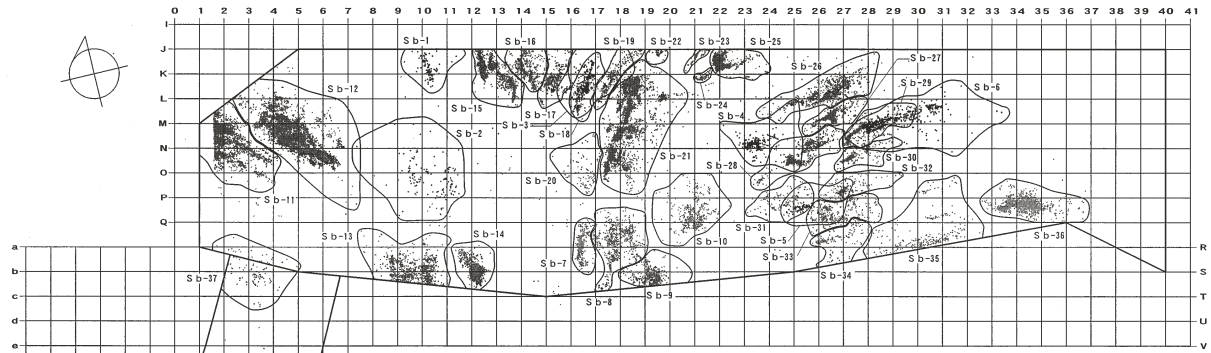
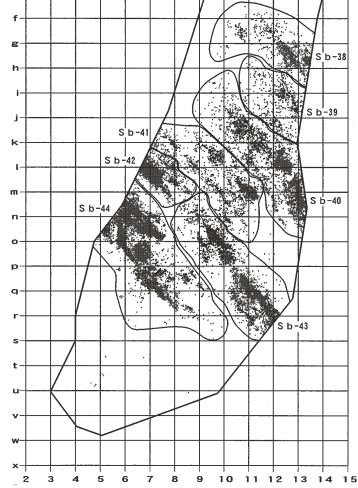


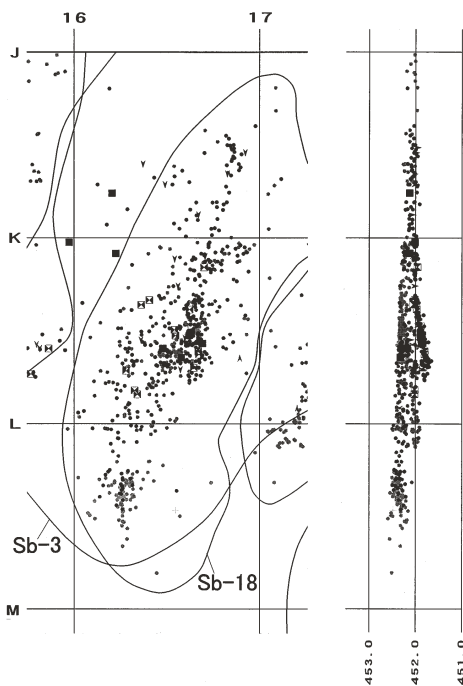
図 - 16 遺物分布・接合図



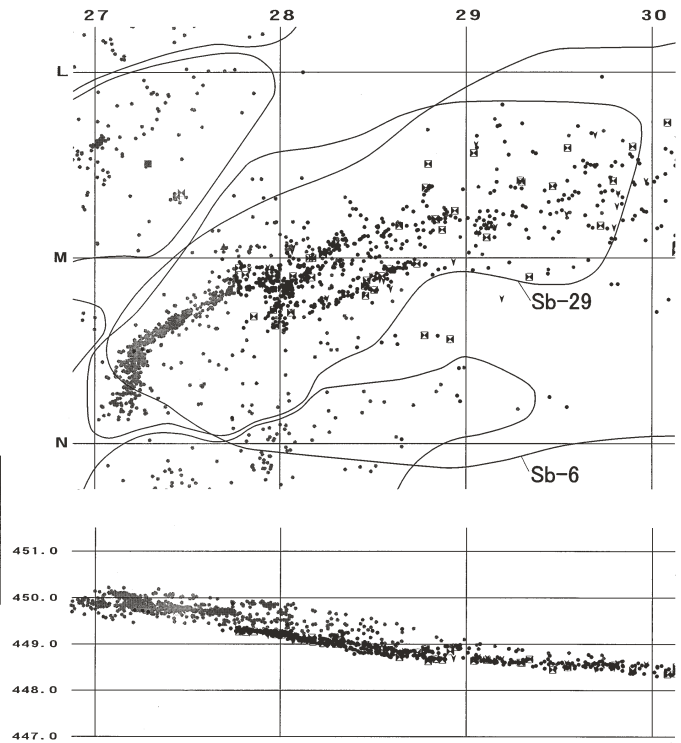
石器ブロック設定図



Sb - 3・18の遺物分布・立面図



Sb - 6・29の遺物分布・立面図



Sb - 5・31・33の遺物分布・立面図

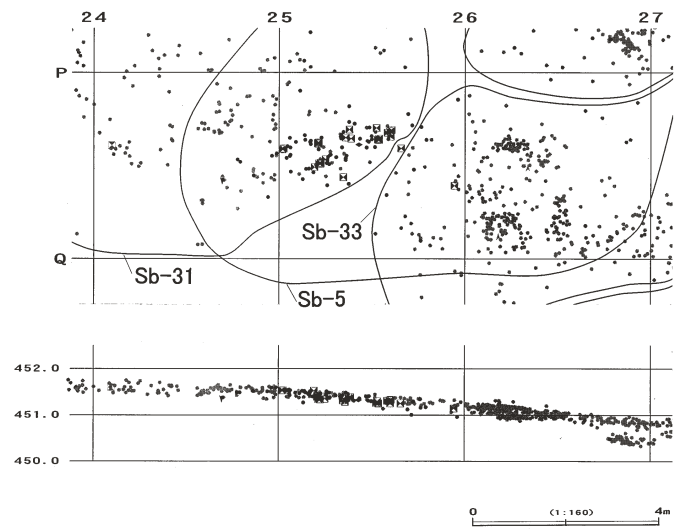


図 - 17 石器ブロック設定図 (1)

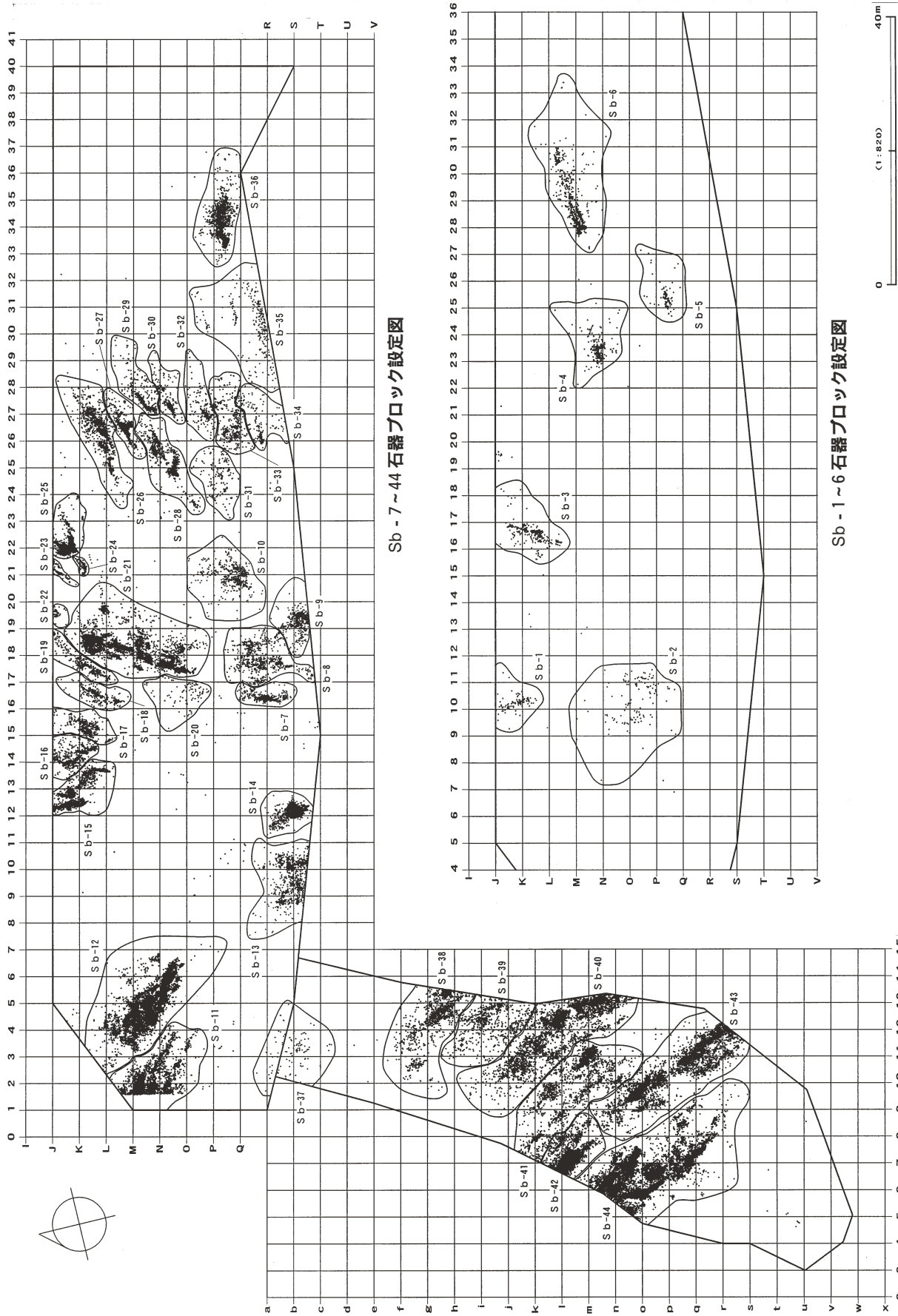


図 - 18 石器ブロック設定図 (2)

搔器 (図 - 20、表 - 4 ~ 6)

14点出土し、Sb - 2・3に7点ずつ分布し、石器群を特徴づけている。

錐形石器 (図 - 20、表 - 4 ~ 6)

8点出土し、Sb - 4 (2点)・5 (1点)・6 (4点)・ブロック外 (1点) でみられ、石器群を特徴づけている。

石核 (図 - 20、表 - 4 ~ 6)

166点出土し、すべてのブロックにみられる。特にSb - 4 (58点)・6 (56点) で多く、その他はSb - 1 (3点)・2 (5点)・3 (15点)・5 (26点)・ブロック外 (3点) となっている。被熱による破損品が多いことが点数を多い要因と思われる。

被熱石器 (図 - 20、表 - 7)

501点 (26.2%) が被熱している。全体的に高い割合だが、ブロック単位で割合をみると、特にSb - 4 (58.7%)・5 (31.1%) が高く、Sb - 1・2・3・6は20%前後である。分布は、Sb - 1では東側にまとまってみられ、他の石器ブロックは全体の遺物分布にほぼ対応している。また、各石器ブロックの被熱石器と炭化木片集中ブロック (Cb) との関係をみると、Cb - 16の北側に間延びしてSb - 3が分布し、Cb - 10の中心、Cb - 13の東側、Cb - 18の南側からSb - 4の被熱石器がまとまって出土している。Sb - 1・2・5・6の周辺には炭化木片集中ブロックはみられない。

原石面残存の石器 (表 - 7)

772点 (40.3%) に残存している。全体的に高い割合だが、ブロック単位で割合をみると、40%台 (Sb - 1・2・3・6) と25%前後 (Sb - 4・5) に分かれる。原石や原石面に覆われた大型の剥片の状態では遺跡に搬入されたものが多いことを示している。

Sb - 7 ~ 44の石器

東西と南北方向に長いL字形の調査範囲の関係から、挿図を平成9年度地区 (図 - 21 ~ 27) と平成10年度地区 (図 - 28 ~ 34) に分けて示した。

黒曜石製の石器 (図 - 21・22・28・29、表 - 4 ~ 6)

82,181点のうち82,003点 (99.8%) が黒曜石製である。石質每では黒曜石1 (黒色) が最も多く、54,978点 (66.9%) 出土し、以下黒曜石4 (黒<茶) の18,530点 (22.5%)、黒曜石3 (黒>茶) の5,064点 (6.2%)、黒曜石5 (黒>紫・茶) の2,494点 (3.0%)、黒曜石2 (梨肌) の937点 (1.1%) の順となっている。

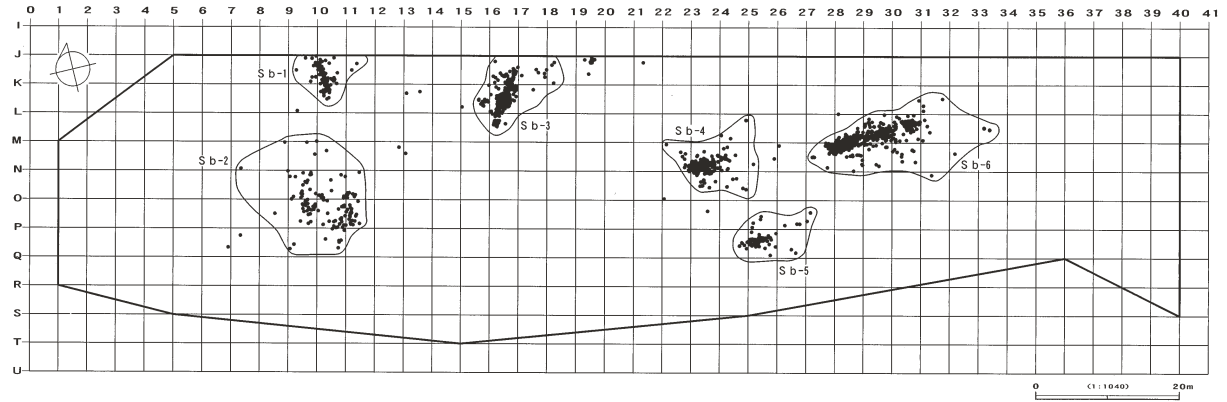
石質毎に石器ブロックを観察すると、黒曜石1は全体的に分布し、特にSb - 7 ~ 10・23・26・27・42では90%以上の高い割合で出土している。逆にSb - 14・20・31・33では20%以下しか出土していない。

黒曜石2はSb - 12・25・40 ~ 44に比較的多く、中でもSb - 25では6.2%の割合で見られる。全体の分布と対応するように出土し、偏った分布はみられない。Sb - 7 ~ 9・13・14・16 ~ 20・22 ~ 24・26 ~ 28・30 ~ 34・36 ~ 38の24か所のブロックにはまったく分布していない。

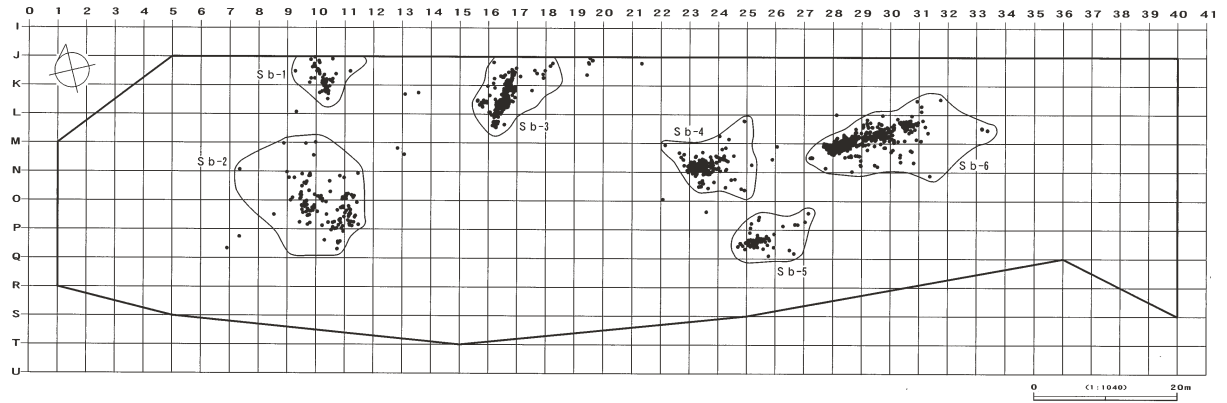
黒曜石3はSb - 14・18・38で20%近くみられる。全体の分布とほぼ対応して出土しているが、Sb - 12ではやや南側に偏っている。Sb - 7・8・10・20・23・24・30・31の8か所のブロックにはまったく分布していない。

黒曜石4はSb - 14・19・20・22・29・31・33・36で多くみられ、特にSb - 19・20・31・33では90%前後の高い割合である。全体の分布とほぼ対応して出土しているが、Sb - 15は北西側、Sb - 35は南側、Sb - 38は南東側、Sb - 39はやや北側に偏って分布している。Sb - 7・24ではまったく出土

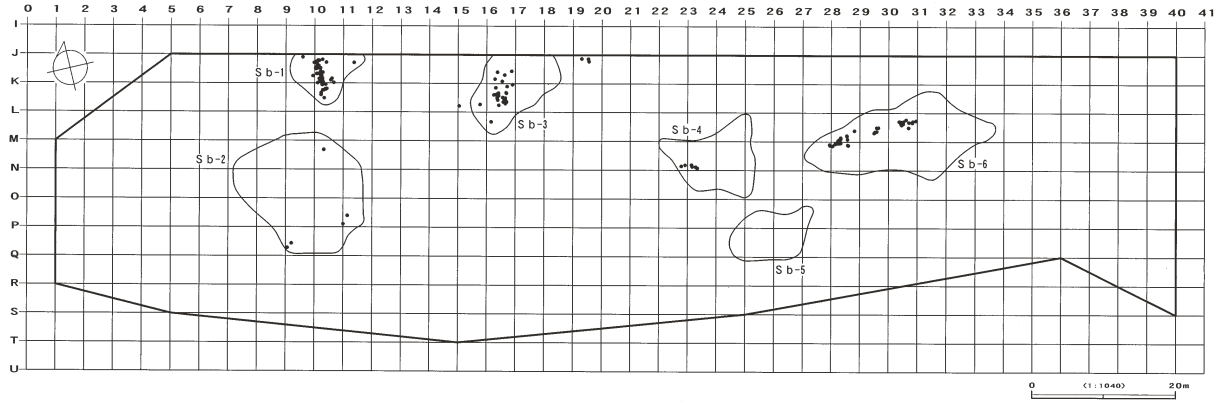
黒曜石1~5「白滝群」



黒曜石1「白滝群」



黒曜石3・4「白滝群」



黒曜石2()・5()「白滝群」

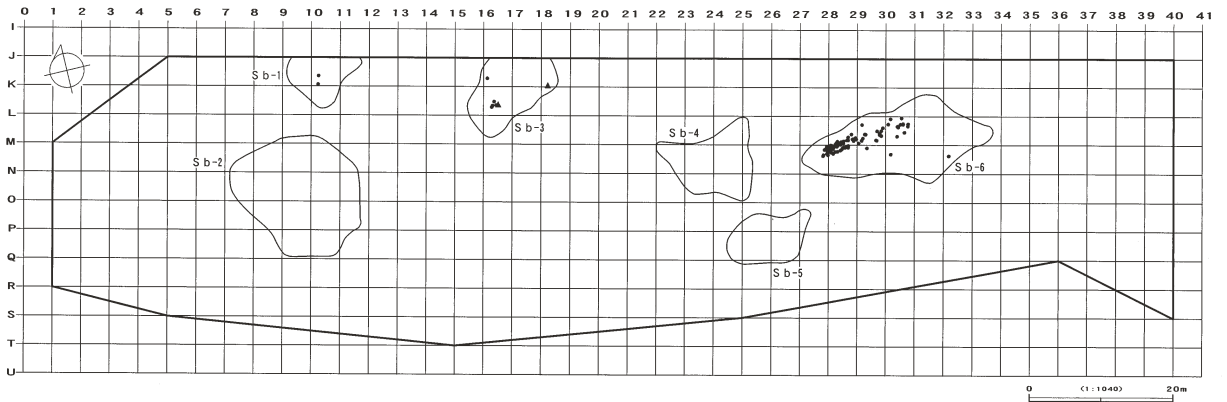
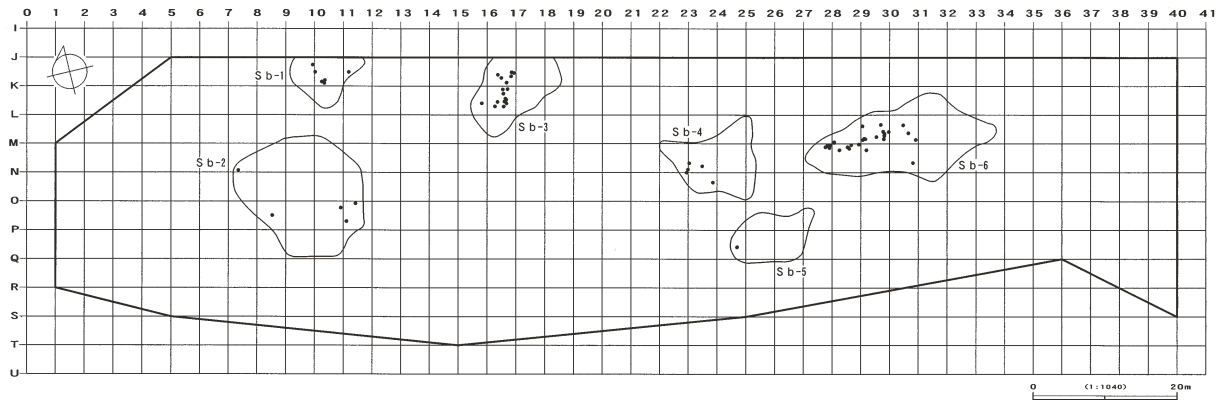
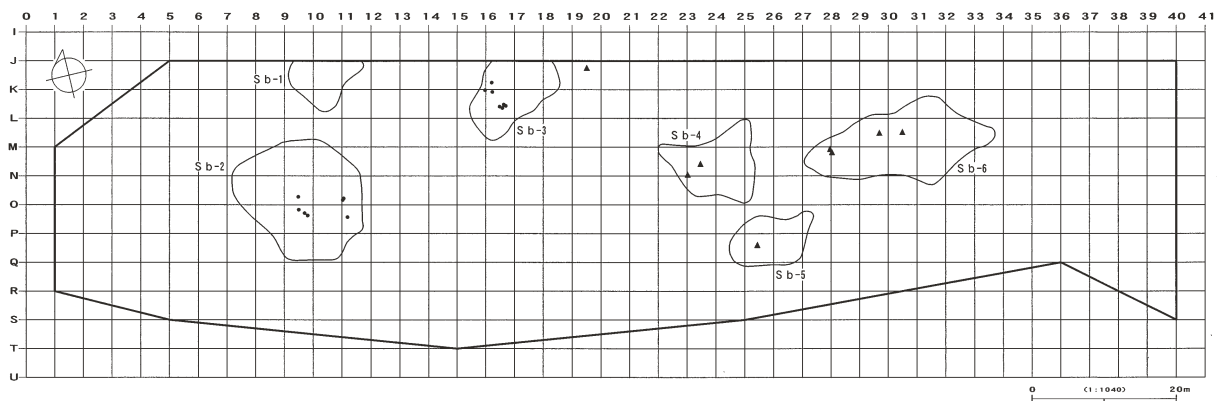


図 - 19 器種・石材別分布図(1)

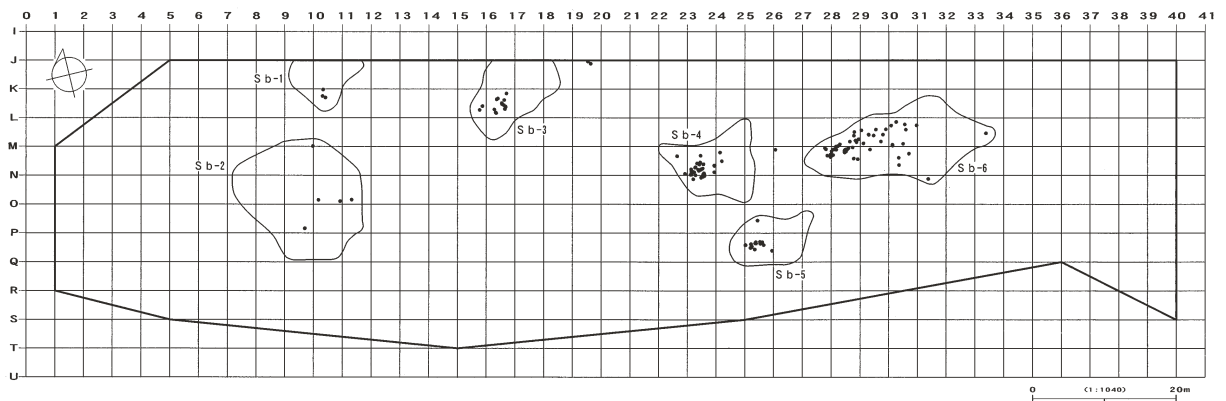
二次加工ある剥片「白滝 群」



搔器()・錐形石器()「白滝 群」



石核「白滝 群」



被熱石器「白滝 群」

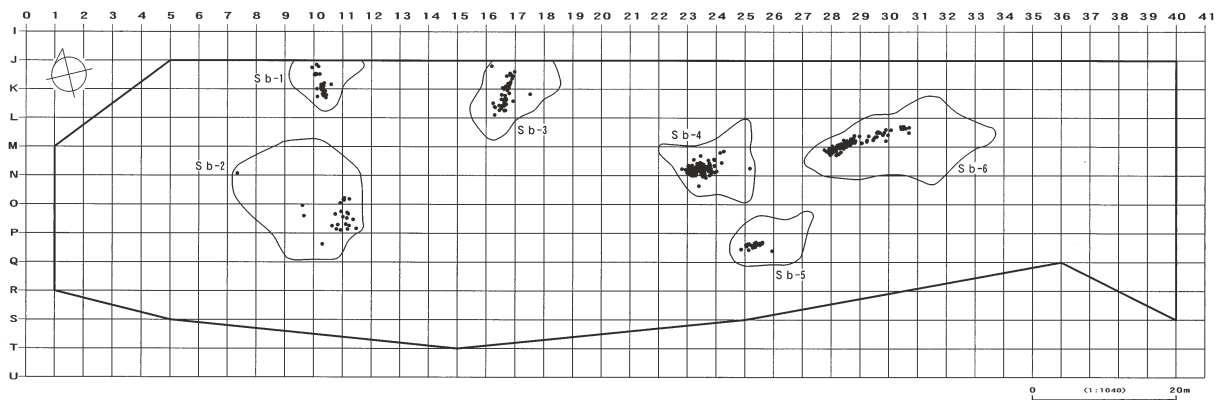


図 - 20 器種・石材別分布図(2)

していない。

黒曜石 5 は Sb - 15・16・21・30・39 で多くみられ、特に Sb - 30 (29.1%)、16 (18.8%) の割合が高い。全体の分布とほぼ対応して出土しているが、Sb - 21 は北側、Sb - 41 は南東側に偏って分布している。Sb - 7 ~ 10・20・22 ~ 24・31 ~ 33・35 の 12 か所のブロックではまったく出土していない。

黒曜石以外の石器 (図 - 22・23・29・30、表 - 4 ~ 6)

82,181 点のうち 178 点 (0.2%) が黒曜石以外の石材で、その内訳は頁岩 85 点、碧玉 43 点、安山岩 15 点、めのう 12 点、緑色泥岩 10 点、凝灰岩 6 点、粘板岩 4 点、砂岩 3 点である。頁岩が最も多く全体の 47.8% を占めている。石質毎に石器ブロックを観察すると、頁岩は Sb - 40 (9 点)・41 (13 点) に多く、特に Sb - 44 (44 点) で突出している。碧玉は Sb - 31 (11 点)・34 (10 点)・36 (14 点) から多く出土し、Sb - 31 ~ 36 の石器群に 90.1% という高い割合でみられる。緑色泥岩は Sb - 21・40・41、ブロック外から出土している。めのうは Sb - 17・35・36・44、安山岩は Sb - 14・22・25・40・44、凝灰岩は Sb - 36・40、粘板岩は Sb - 44、砂岩は Sb - 38 から出土している。

尖頭器・両面調整石器 (図 - 24・31、表 - 4 ~ 6)

尖頭器は 414 点出土し、多いブロックは Sb - 40 (95 点)・21 (76 点)・44 (66 点)・38 (42 点)・41 (25 点) の順で、それ以外は 16 点以下である。また、Sb - 26・28・33・34・35・36 では有舌尖頭器もみられ、石器群を特徴づけている。両面調整石器は 63 点出土し、各ブロックとも尖頭器と対応した出土量であるが、Sb - 25・28 は多く、8 点ずつ出土している。また、尖頭器・両面調整石器の両方ともみられない石器ブロックは Sb - 7 ~ 10・16・23・24・29・30・31 である。石器群としては Sb - 7 ~ 10 でまったく出土していない。

彫器 (図 - 24・31、表 - 4 ~ 6)

15 点出土し、Sb - 8 が 3 点、Sb - 9 が 2 点、その他の Sb - 10・11・13・21・22・25・29・40・44・ブロック外からは 1 点ずつ分布している。石器群でみると Sb - 7 ~ 10 が 6 点で最も多い。黒曜石以外の石材は 4 点みられ、Sb - 21・40・ブロック外が頁岩製、Sb - 29 が碧玉製である。

搔器 (図 - 24・31、表 - 4 ~ 6)

83 点出土し、特に Sb - 8 (17 点)・44 (16 点) で多くみられ、その他は 6 点以下である。黒曜石以外の石材は 7 点みられ、すべて頁岩製で、Sb - 13・ブロック外で 2 点、Sb - 38・40・41 で 1 点ずつ出土している。Sb - 14・16 ~ 20・26・29 ~ 35・37・39 には分布していない。

削器 (図 - 24・31、表 - 4 ~ 6)

129 点出土し、Sb - 21 (30 点)・40 (15 点)・41 (24 点)・44 (21 点) で多くみられ、その他は 10 点以下である。分布は Sb - 13 が南側、Sb - 21 が北側、Sb - 35 が東側、Sb - 38 が西側、Sb - 41 が南東側、Sb - 44 が北西側に偏って出土している。Sb - 7・8・10・14・16 ~ 19・22 ~ 25・27 ~ 34・36・39 には分布せず、石器群では Sb - 22 ~ 25 でまったくみられない。

錐形石器 (図 - 25・32、表 - 4 ~ 6)

9 点出土し、Sb - 10 (1 点)・11 (1 点)・15 (1 点)・21 (1 点)・35 (3 点)・40 (1 点)・41 (1 点) である。黒曜石以外の石材は 3 点みられ、Sb - 11 が頁岩製、Sb - 35 の 2 点がめのう製である。石器群では Sb - 13・14・22 ~ 25・26 ~ 30・37 でまったくみられない。

二次加工ある剥片 (図 - 25・32、表 - 4 ~ 6)

111 点出土し、Sb - 21 (18 点)・40 (19 点) で多くみられ、その他は 10 点以下である。分布は Sb - 21 が北側、Sb - 38 がやや南東側に偏って出土している。Sb - 7・9・10・14・22 ~ 24・27・29・31・33 ~ 35・37 には分布していない。

舟底形石器 (図 - 25・32、表 - 4～6)

2点出土し、Sb - 40・ブロック外に分布している。

削片 (図 - 25・32、表 - 4～6)

13点出土し、Sb - 8 (2点)・15 (1点)・18 (1点)・21 (3点)・22 (1点)・25 (1点)・43 (4点)である。Sb - 21は全て彫器の削片である。黒曜石以外の石材は2点みられ、Sb - 21の頁岩製のみである。

石刃・縦長剥片 (図 - 26・33、表 - 4～6)

石刃は706点出土し、多いブロックはSb - 8 (197点)・9 (143点)・10 (105点)・7 (43点)の順で、それ以外は25点以下である。Sb - 7～10の石器群で見ると全体の69.0%を占め、石刃剥離が集中的に行われたことを示している。縦長剥片は570点出土し、各ブロックとも石刃と対応した出土量であるが、Sb - 12 (36点)・21 (62点)・24 (30点)・32 (30点)では多くみられる。黒曜石以外の石材は石刃に8点、縦長剥片に14点みられ、頁岩・めのう・碧玉製がある。特に碧玉製のものが合わせて17点にのぼり、16点がSb - 31～36に分布している。また、石刃・縦長剥片の両方ともみられない石器ブロックはSb - 14・16～20・22・26・29・30・37・41である。石器群としてはSb - 14とSb - 37でまったく出土していない。

石刃核 (図 - 26・33、表 - 4～6)

43点出土し、特にSb - 8 (6点)・9 (5点)・44 (9点)で多く、その他はSb - 7 (1点)・10 (2点)・11 (1点)・12 (2点)・15 (1点)・22 (2点)・24 (4点)・25 (3点)・31 (1点)・36 (1点)・38 (2点)・42 (1点)・43 (1点)で見られる。石刃・縦長剥片と石刃核がまったく出土していない石器ブロックはSb - 14・16～20・26・29・30・37・41である。石器群としてはSb - 14とSb - 37でまったく出土していない。黒曜石以外の石材は2点みられ、Sb - 31が碧玉製、Sb - 44が頁岩製である。

細石刃 (図 - 26、表 - 4～6)

249点出土し、特にSb - 8 (49点)・9 (76点)・10 (110点)で多く、石器群を特徴づけている。その他はSb - 7 (11点)・11 (1点)・28 (2点)で見られる。すべて黒曜石製である。

細石刃核 (図 - 26、表 - 4～6)

16点出土し、Sb - 8 (8点)・9 (7点)・10 (1点)に分布し、石器群を特徴づけている。すべて黒曜石製である。

石核 (図 - 27・33、表 - 4～6)

106点出土し、特にSb - 15 (13点)・40 (32点)・43 (11点)・44 (20点)で多く、その他はSb - 7・11・12・14・19～22・25・27・28・37・38・39・41・42で1～4点程度出土している。Sb - 15の13点の石核は1個体が被熱により破損したものである。

台石 (図 - 27、表 - 4～6)

7点出土し、Sb - 14 (1点)・25 (1点)・36 (5点)に分布している。石材はSb - 14・25が安山岩製、Sb - 36が凝灰岩製である。

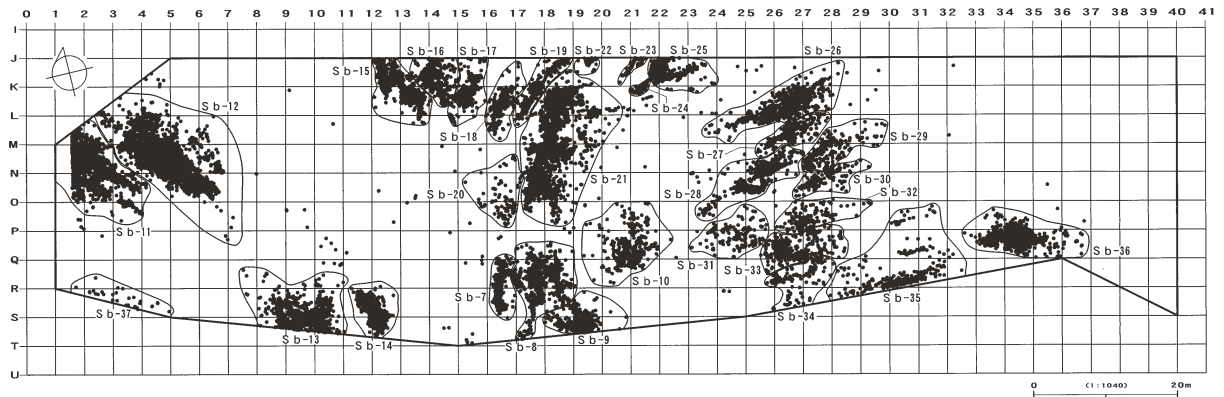
敲石 (図 - 34、表 - 4～6)

1点出土し、Sb - 40に分布している。石材は頁岩製である。

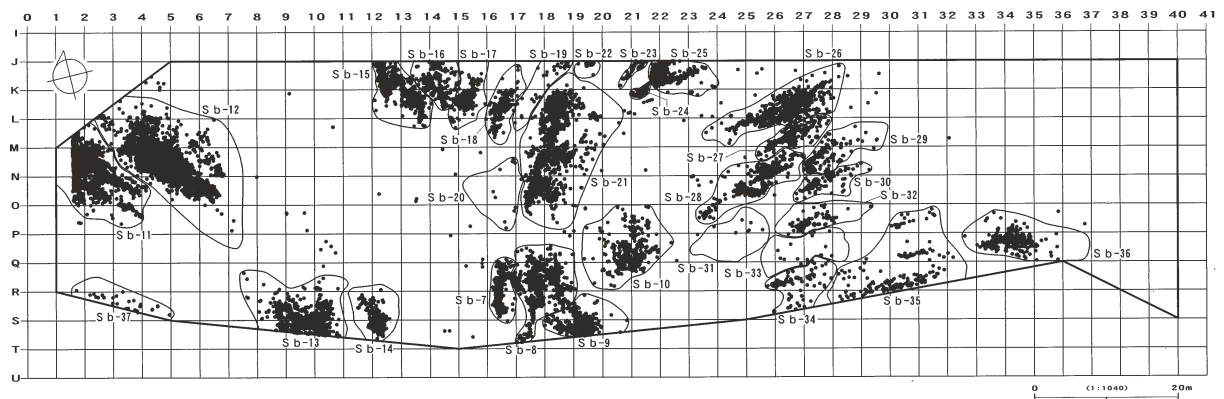
砥石 (図 - 34、表 - 4～6)

3点出土し、すべてSb - 38にまとまって分布している。1個体が破損したもので、石材は砂岩製である。

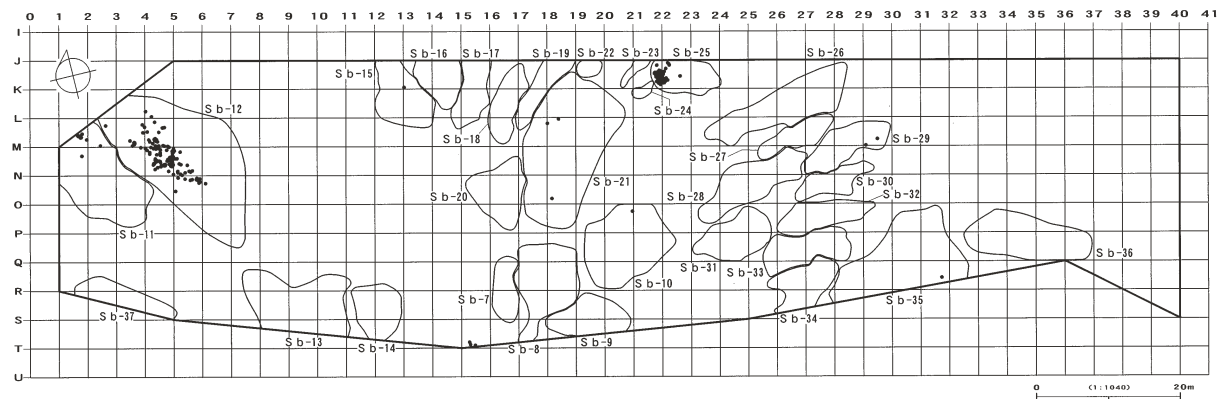
黒曜石 1 ~ 5



黒曜石 1



黒曜石 2



黒曜石 3

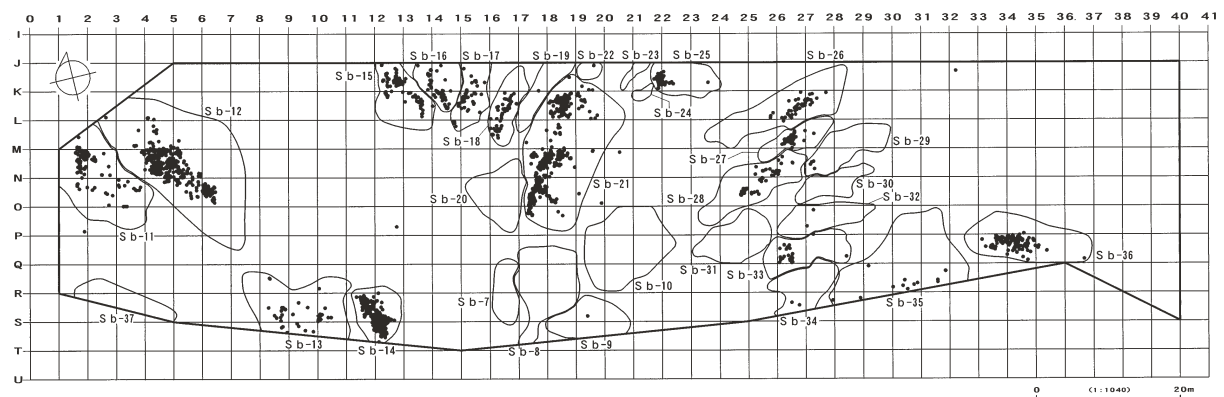
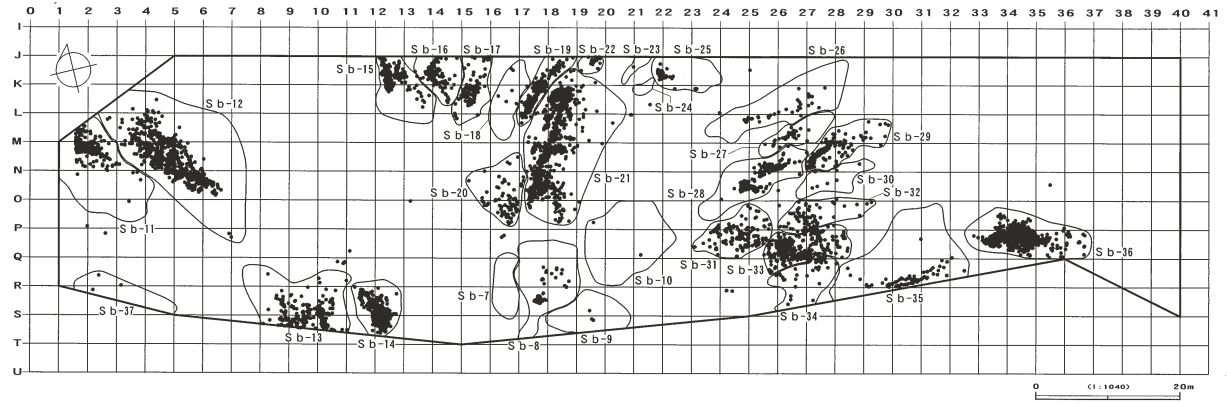
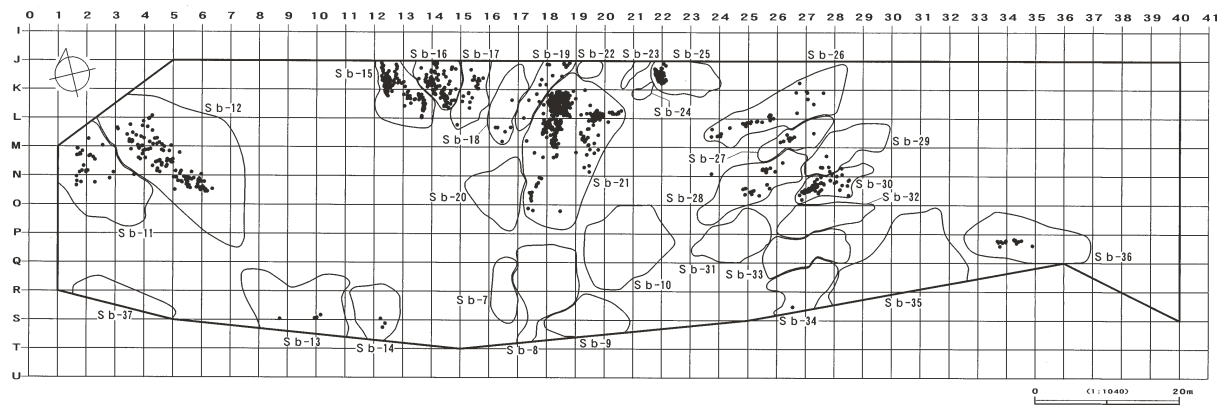


図 - 21 器種・石材別分布図 (3)

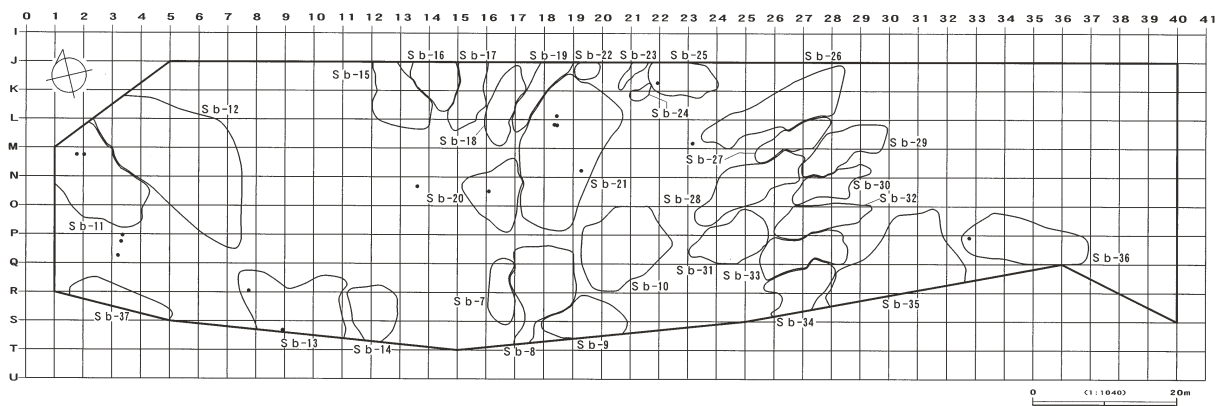
黒曜石 4



黒曜石 5



頁岩



安山岩

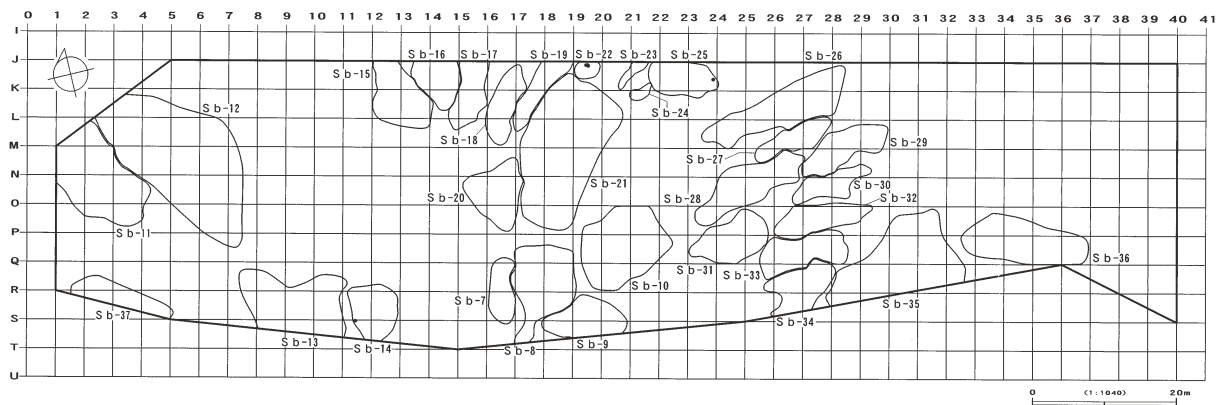
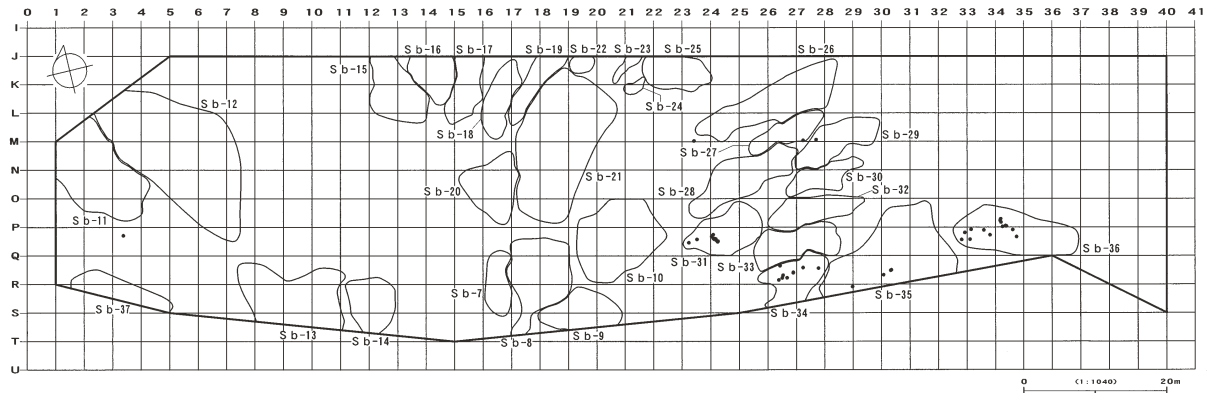
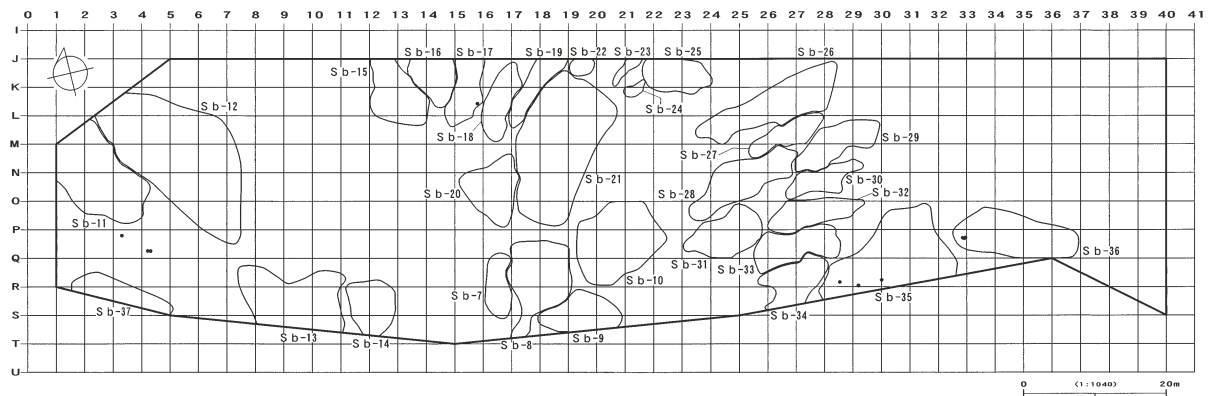


図 - 22 器種・石材別分布図(4)

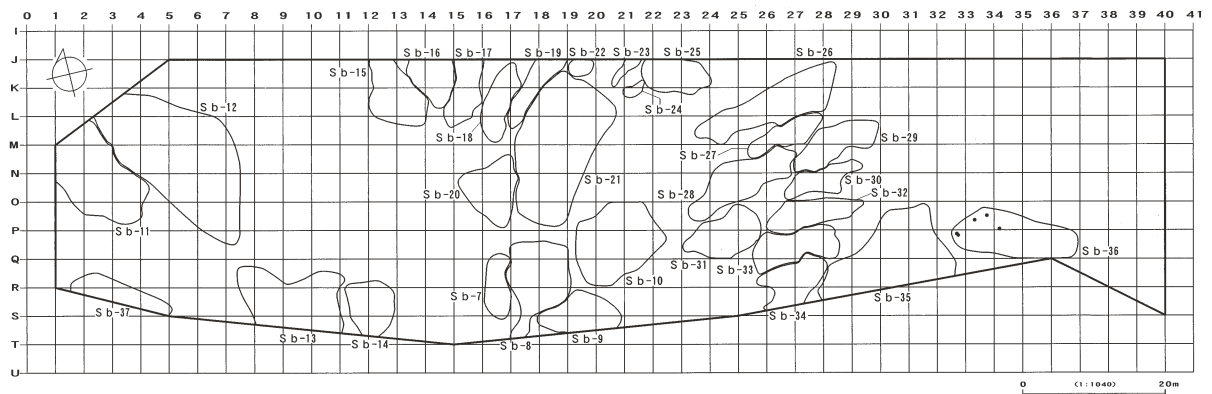
碧玉



めのう



凝灰岩



緑色泥岩

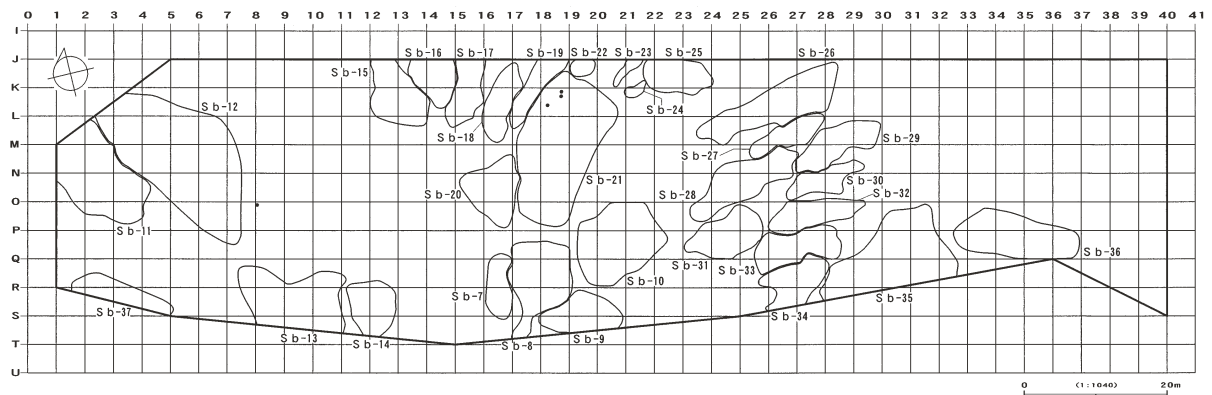
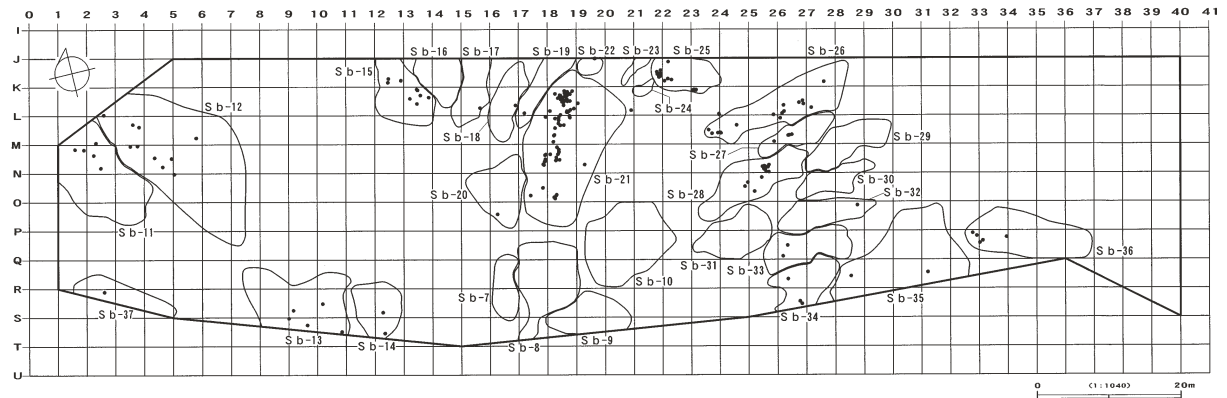
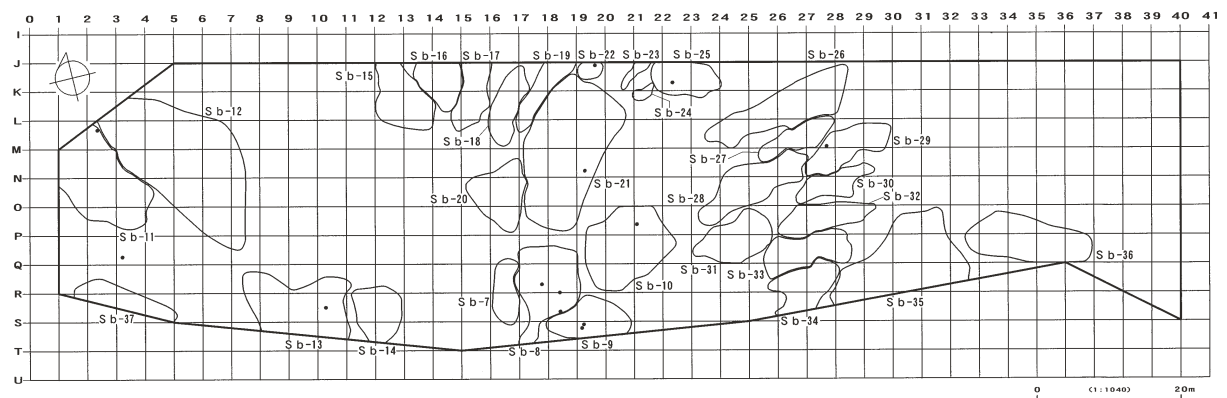


図 - 23 器種・石材別分布図(5)

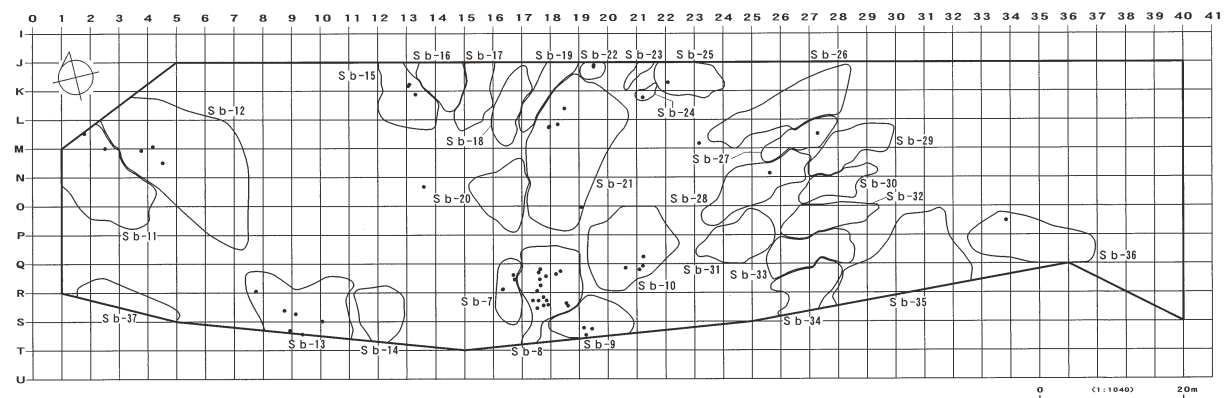
尖頭器・両面調整石器



彫器



撿器



削器

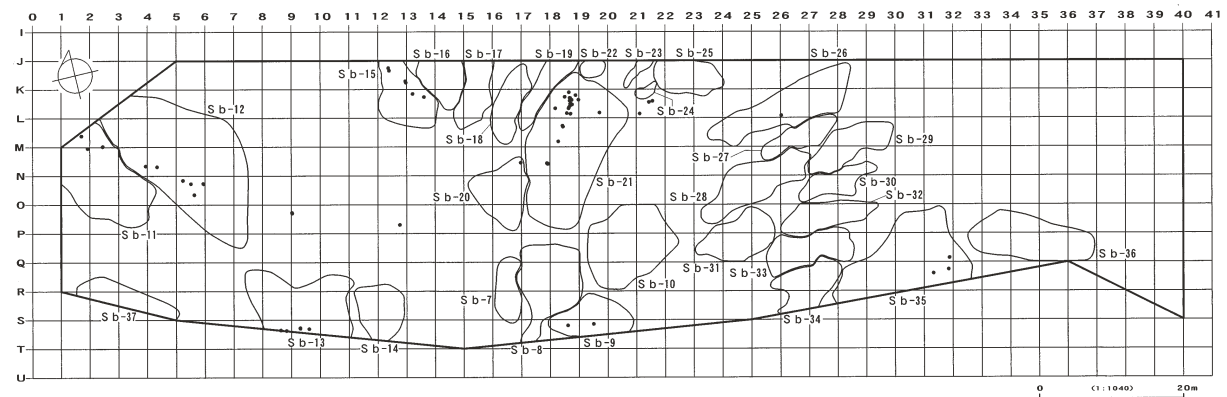
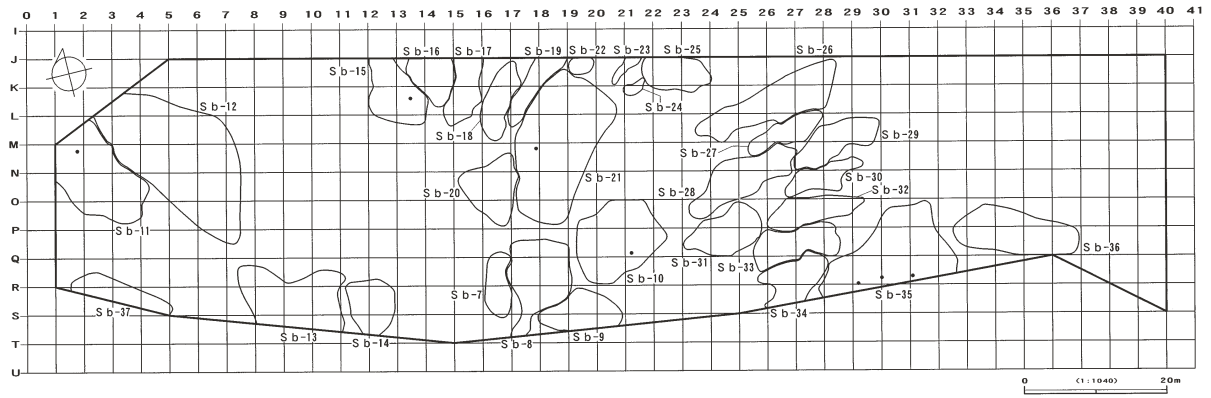
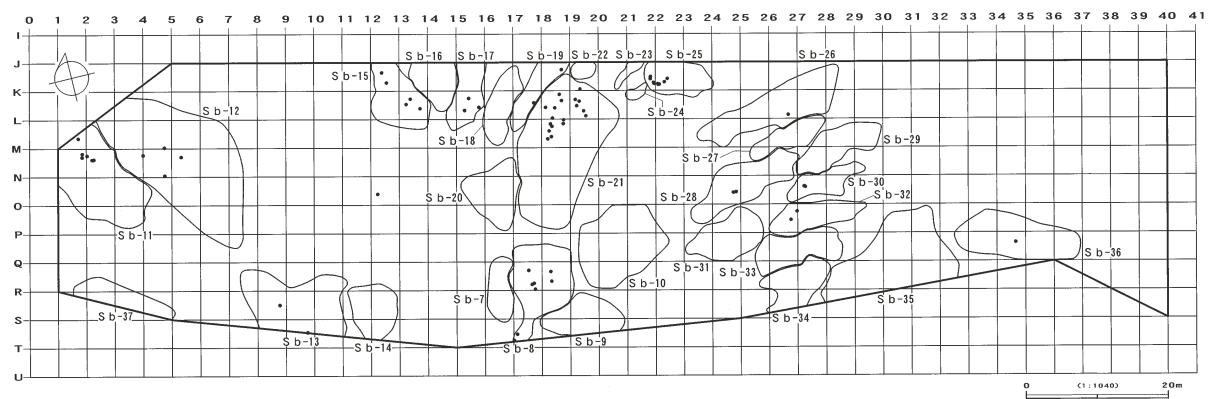


図 - 24 器種・石材別分布図(6)

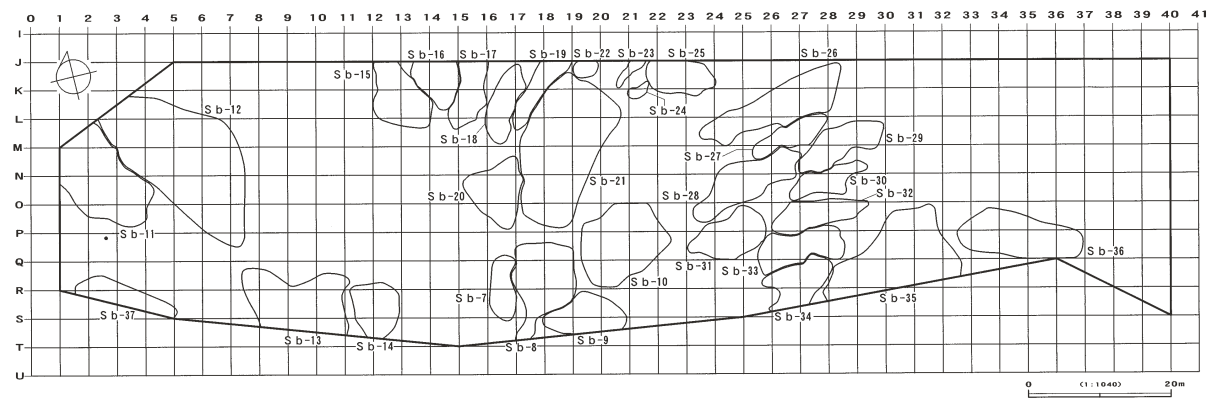
錐形石器



二次加工ある剥片



舟底形石器



削片

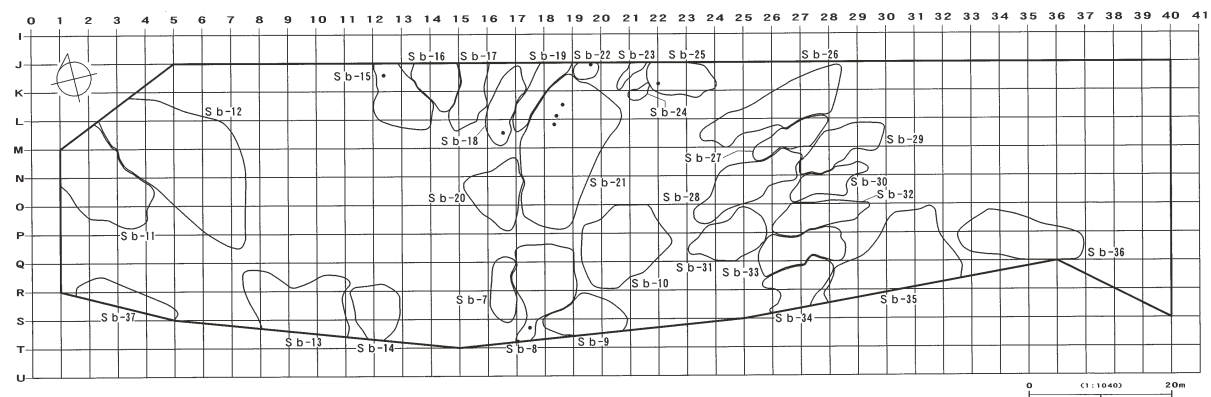
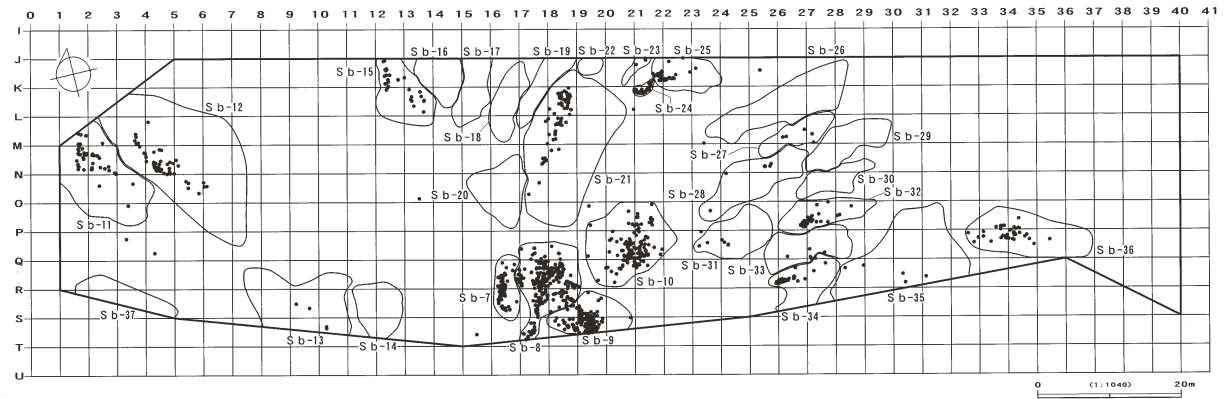
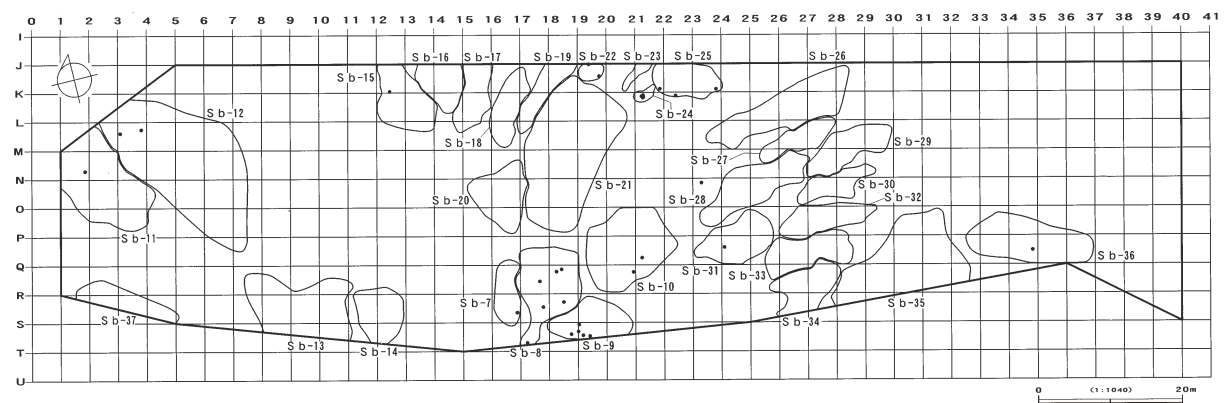


図 - 25 器種・石材別分布図(7)

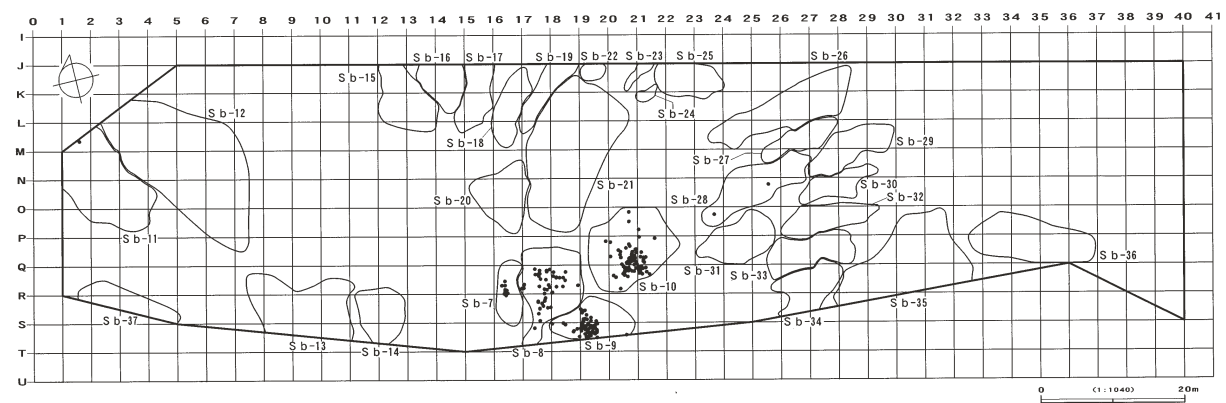
石刃・縦長剥片



石刃核



細石刃



細石刃核

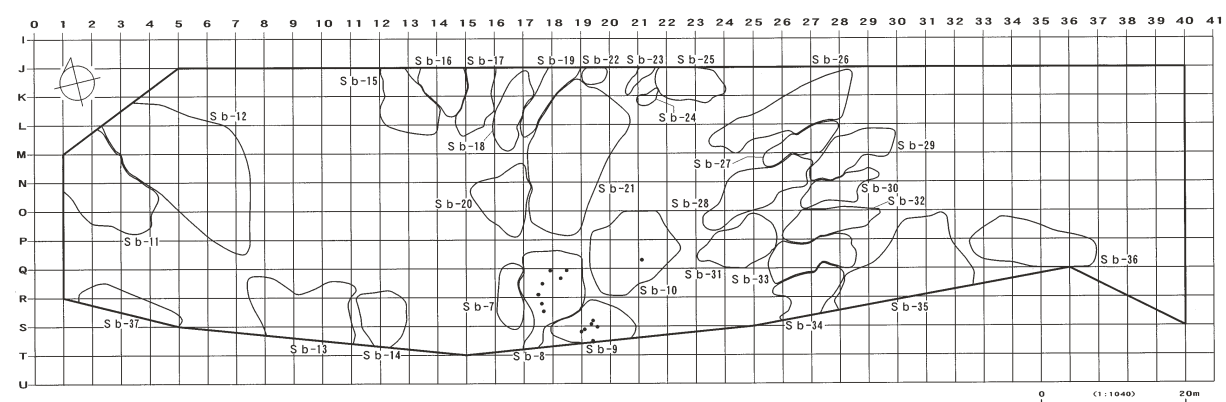
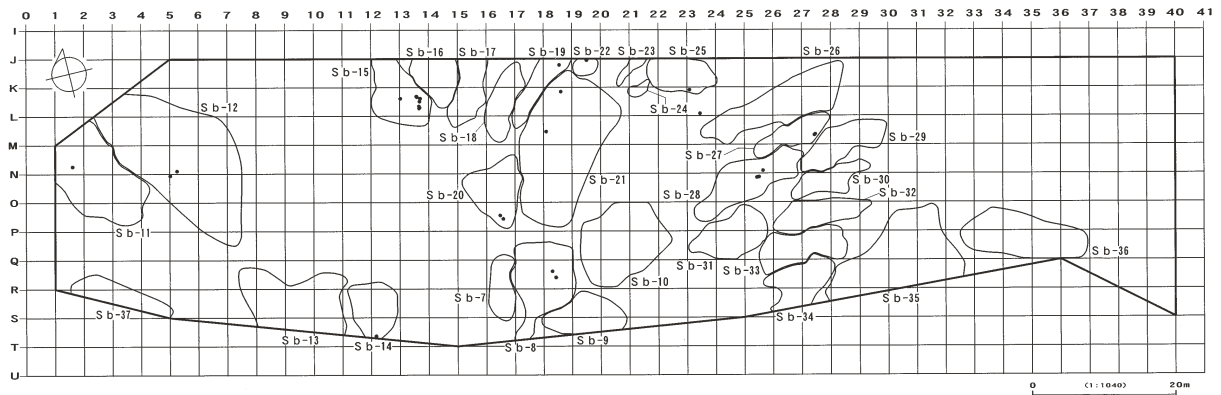
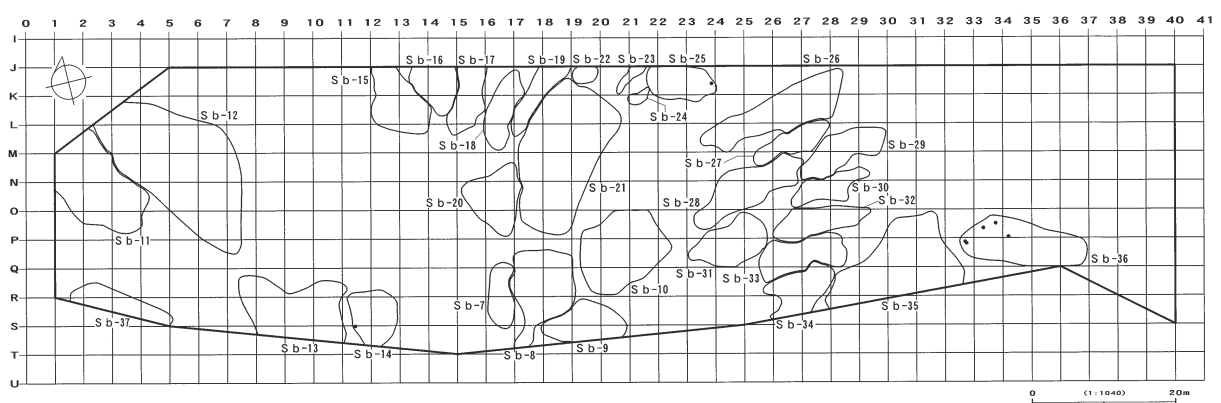


図 - 26 器種・石材別分布図(8)

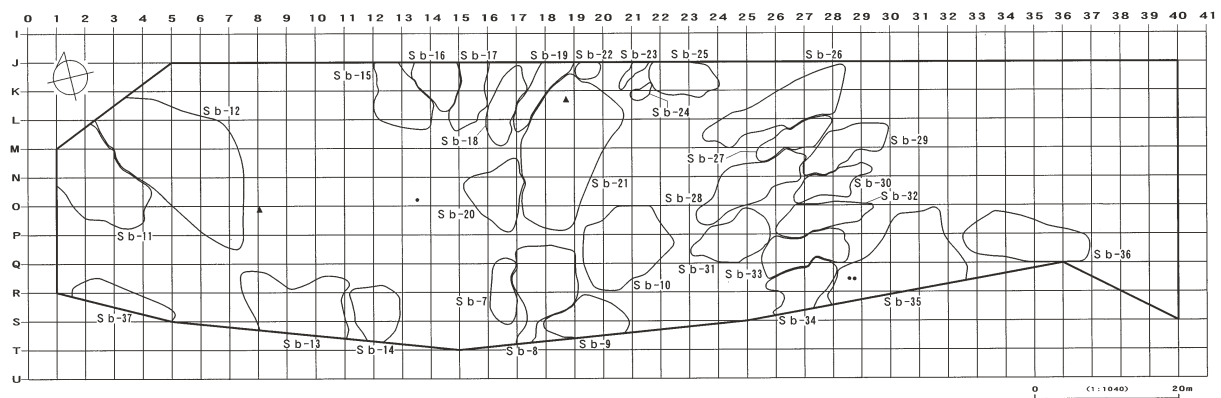
石核



台石



斧形石器 ()・石鏃 ()



被熱石器

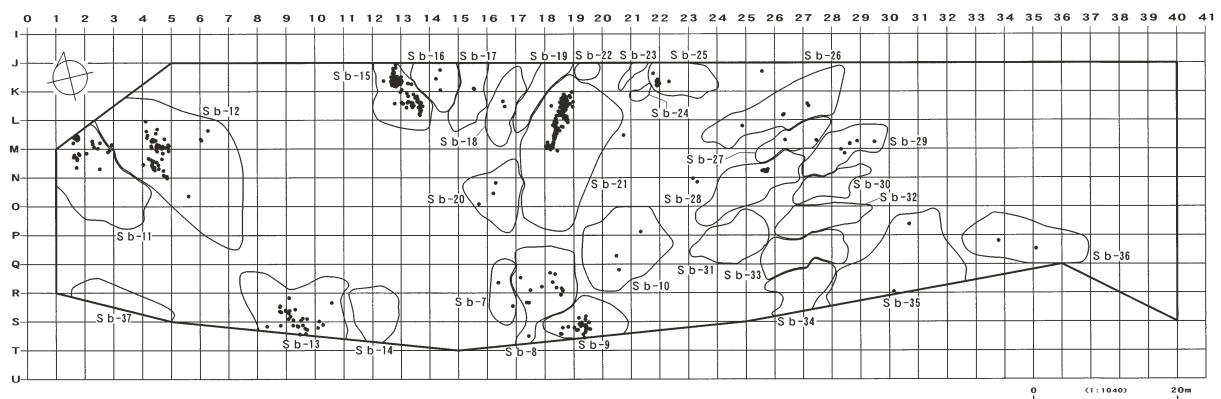
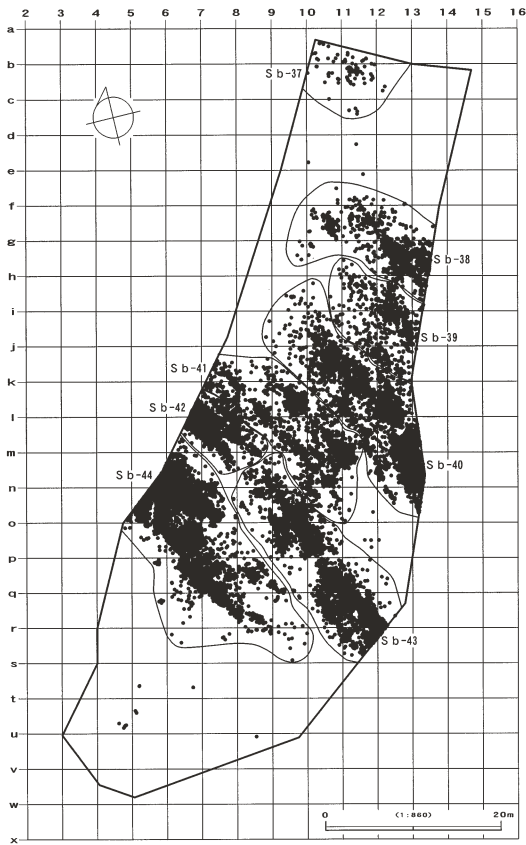
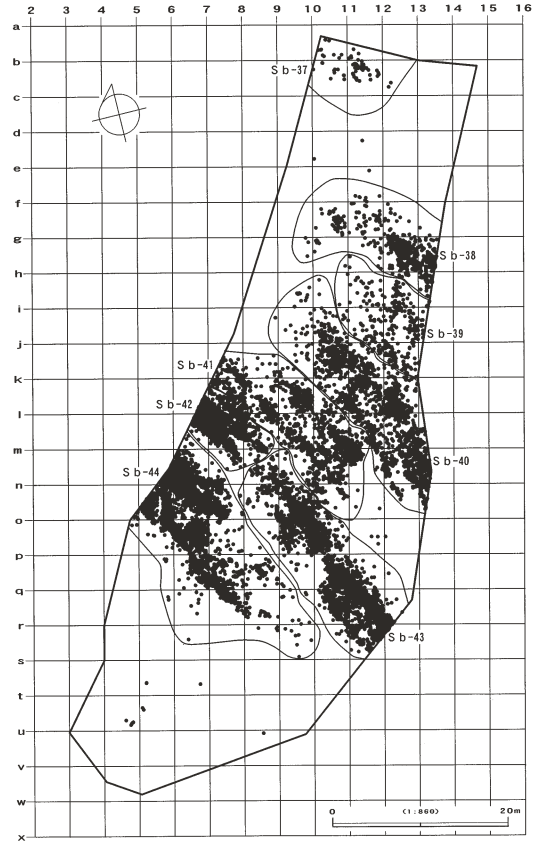


図 - 27 器種・石材別分布図 (9)

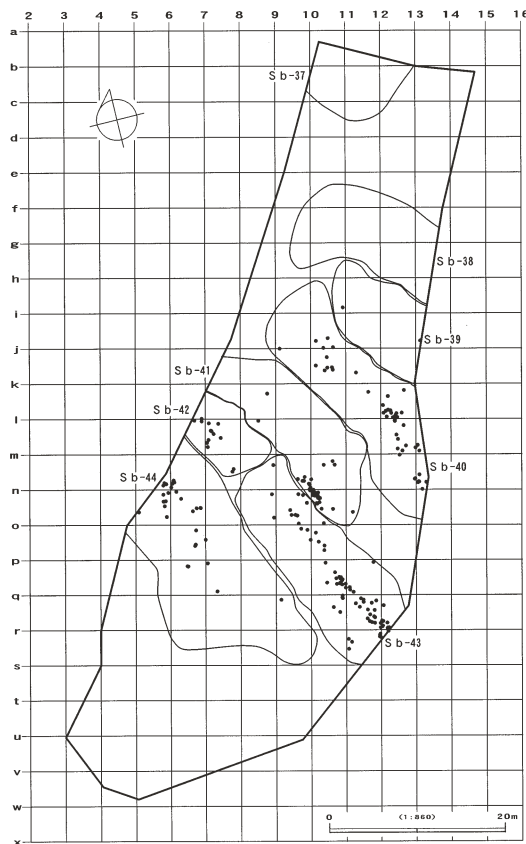
黒曜石 1 ~ 5



黒曜石 1



黒曜石 2



黒曜石 3

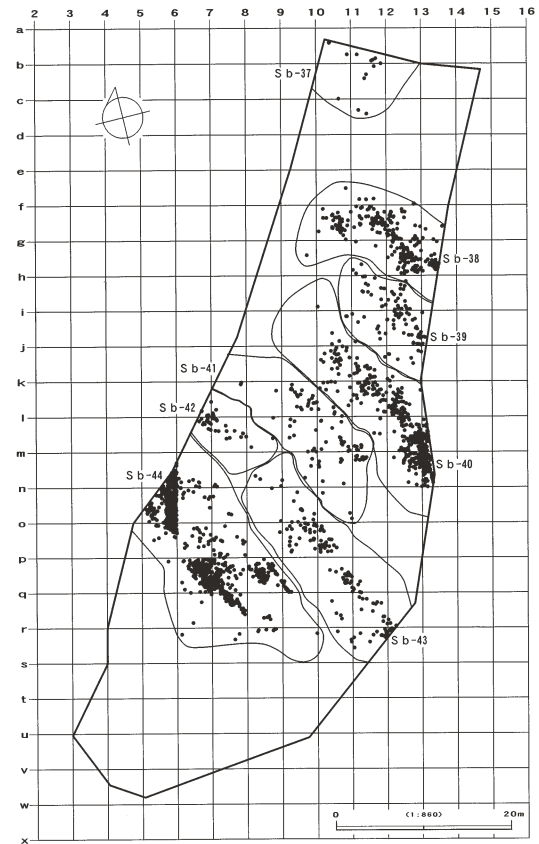
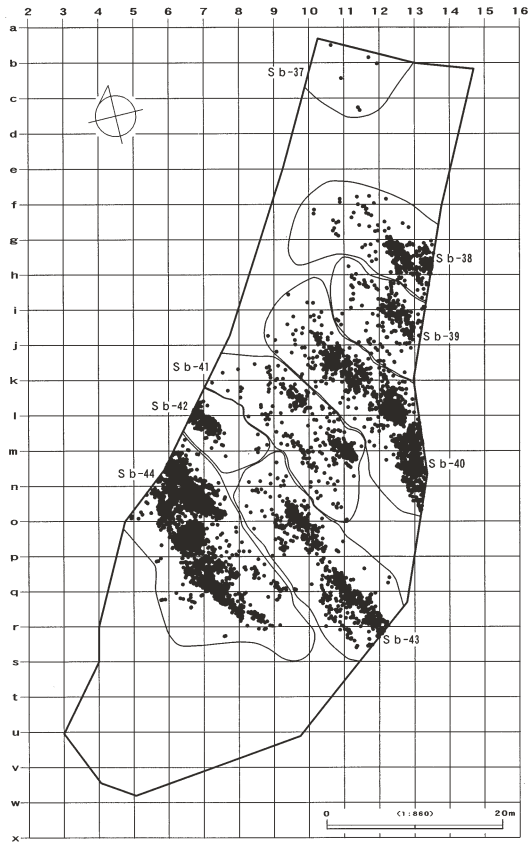
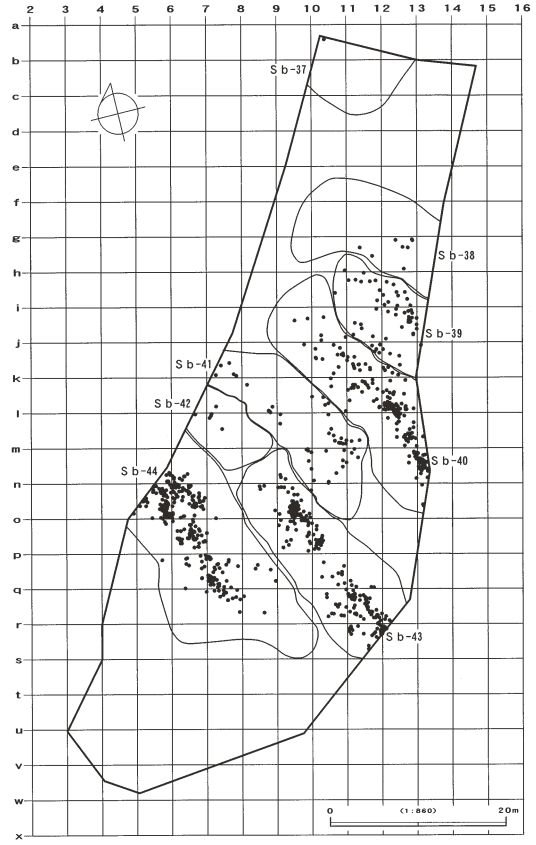


図 - 28 器種・石材別分布図 (10)

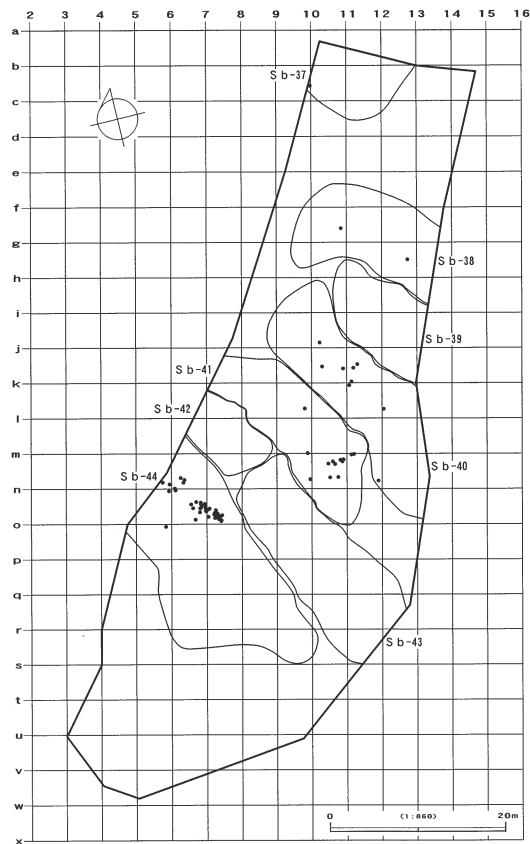
黒曜石 4



黒曜石 5



頁岩



安山岩

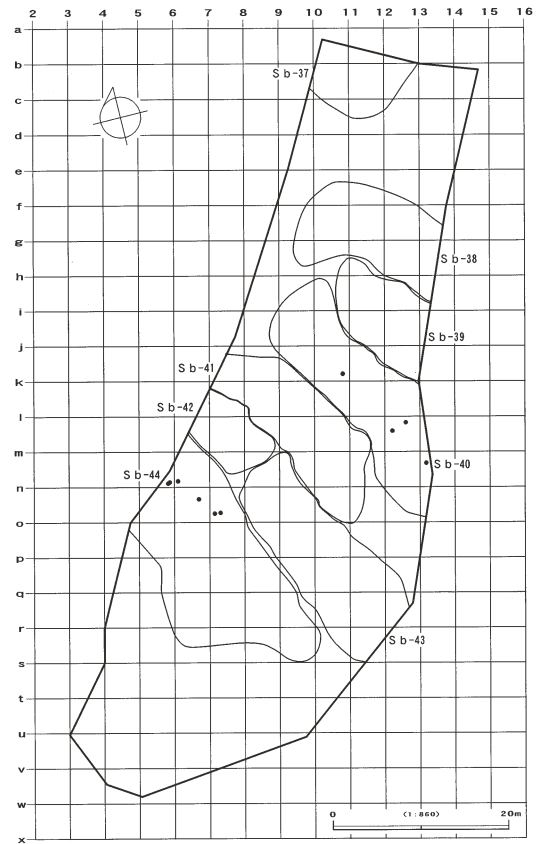
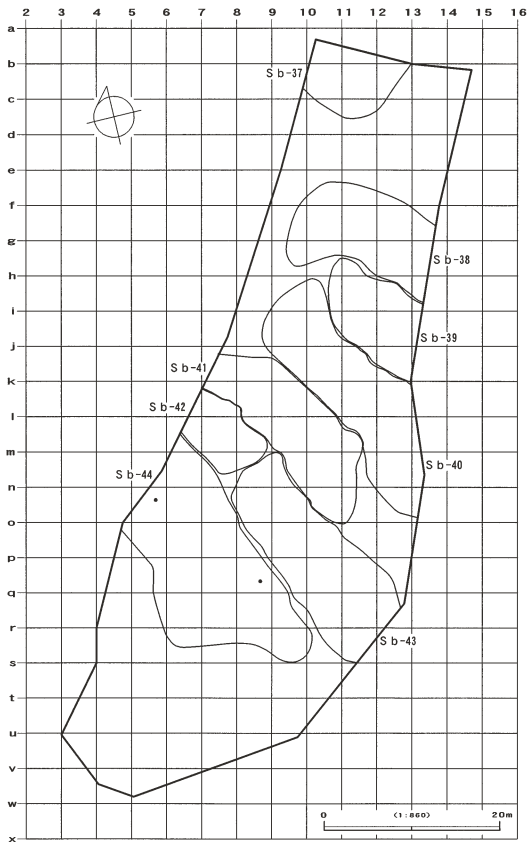
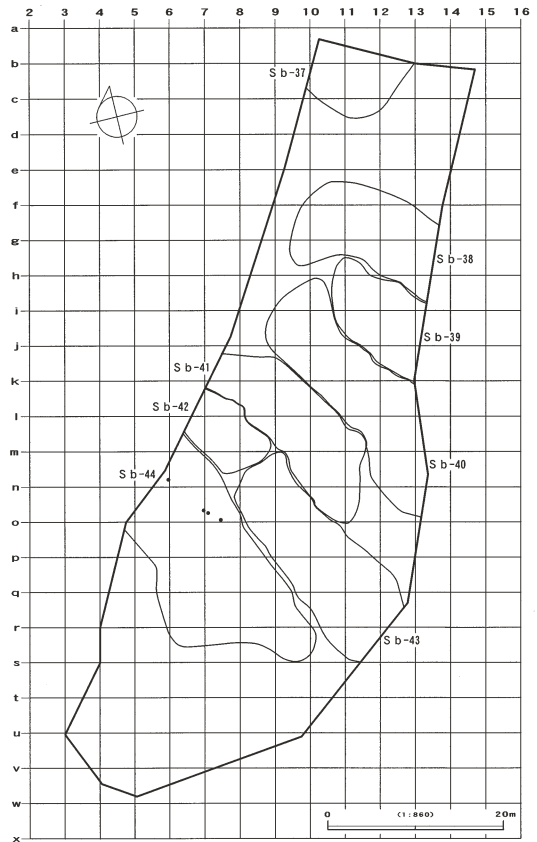


図 - 29 器種・石材別分布図 (11)

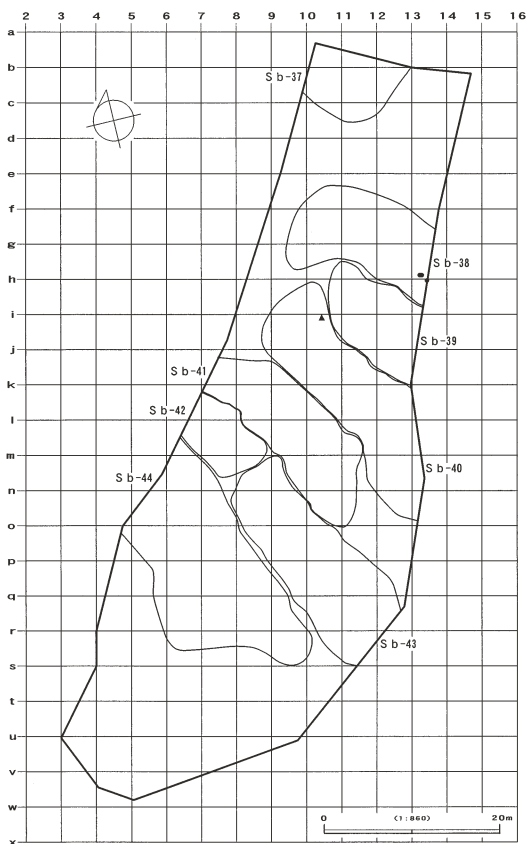
めのう



粘板岩



凝灰岩()・砂岩()



緑色泥岩

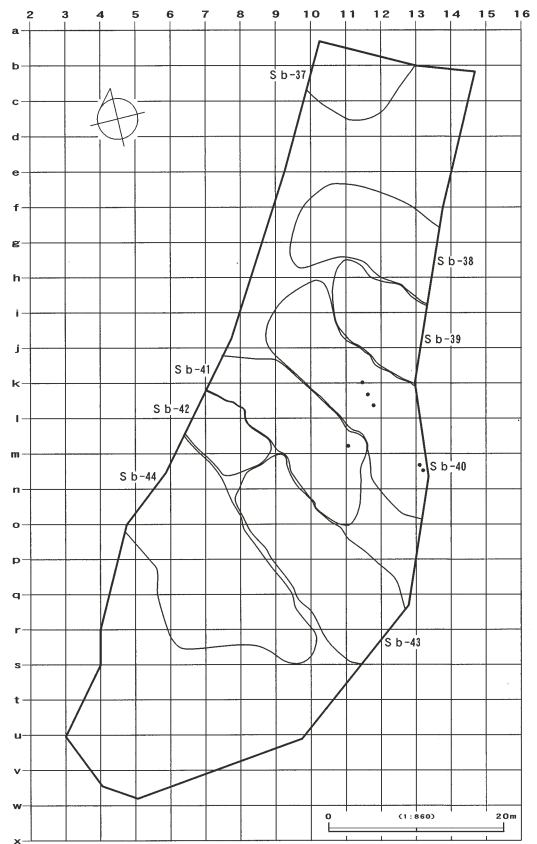
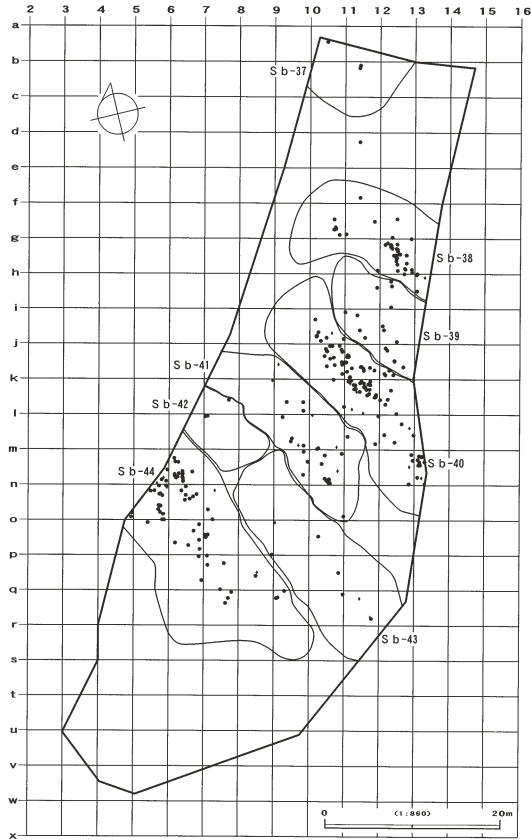
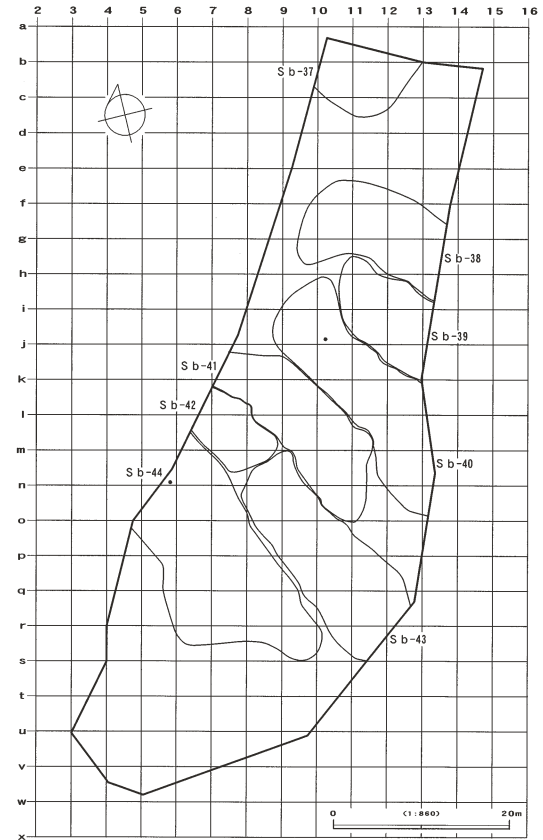


図 - 30 器種・石材別分布図 (12)

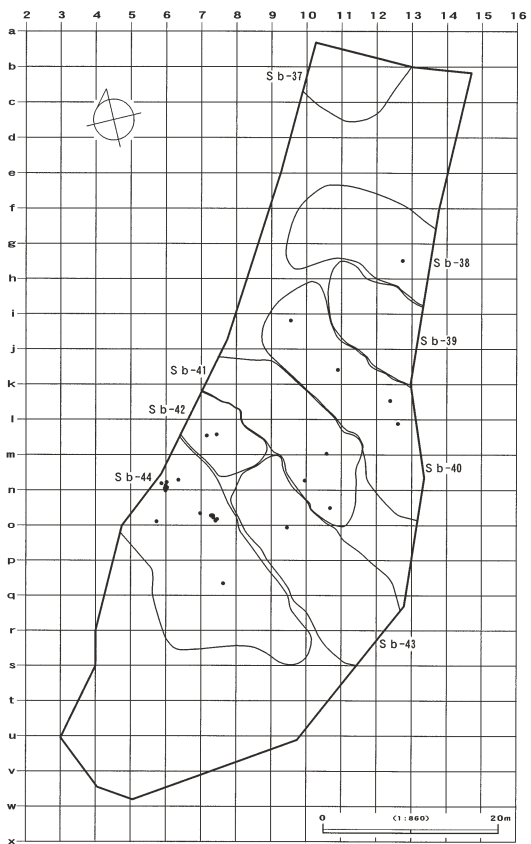
尖頭器・両面調整石器



彫器



搔器



削器

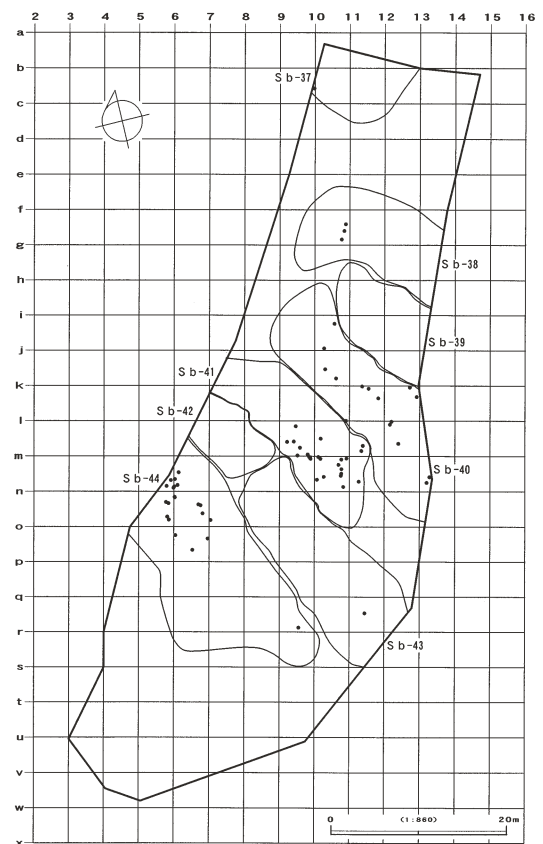
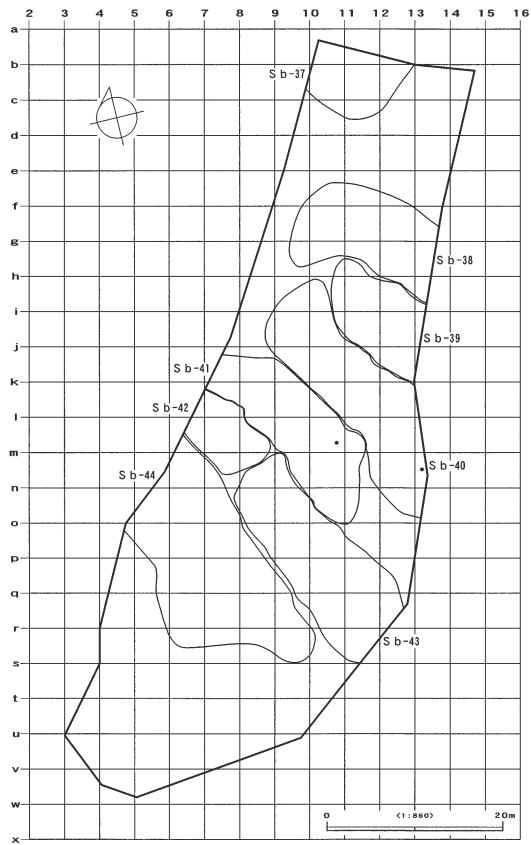
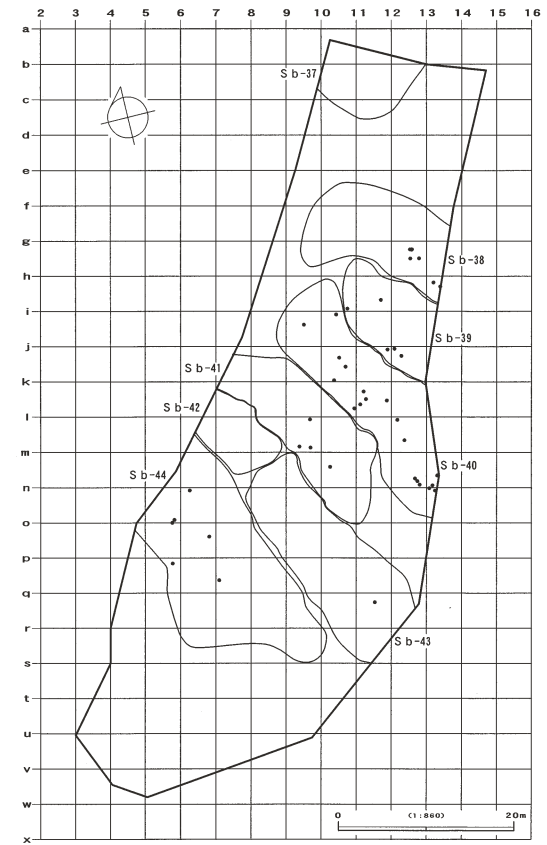


図 - 31 器種・石材別分布図(13)

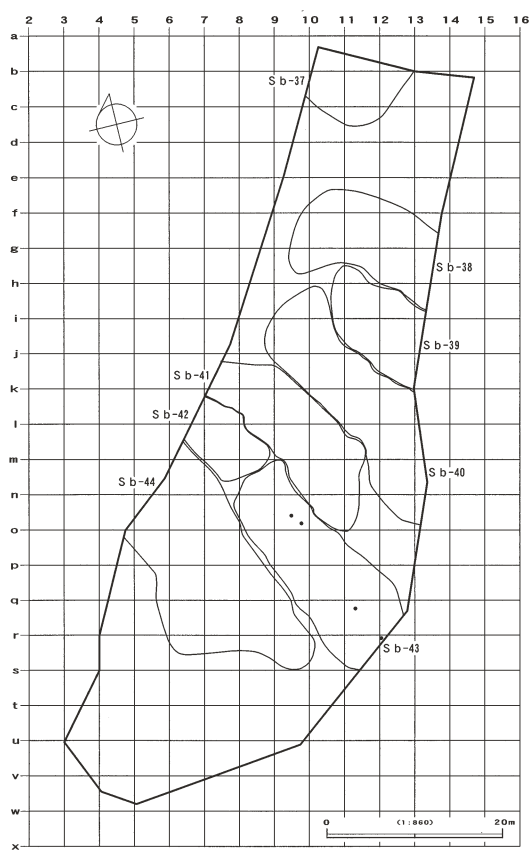
錐形石器



二次加工ある剥片



削片



舟底形石器

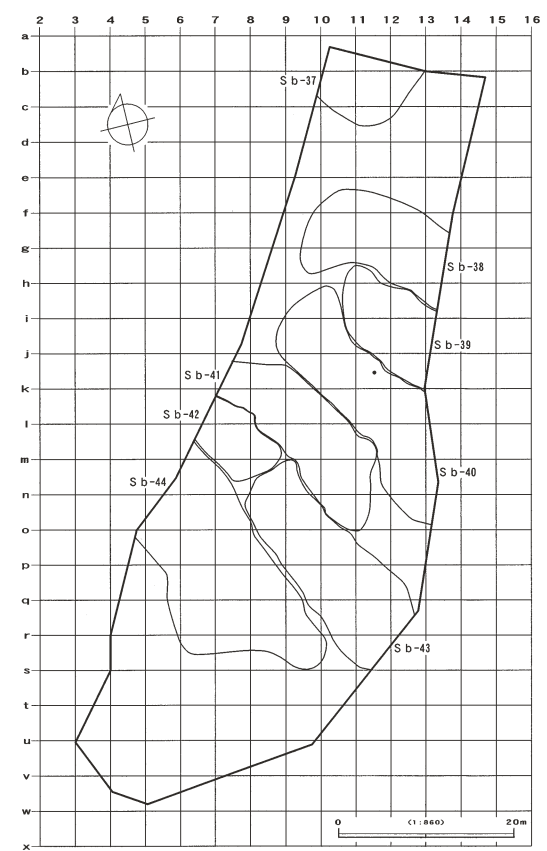
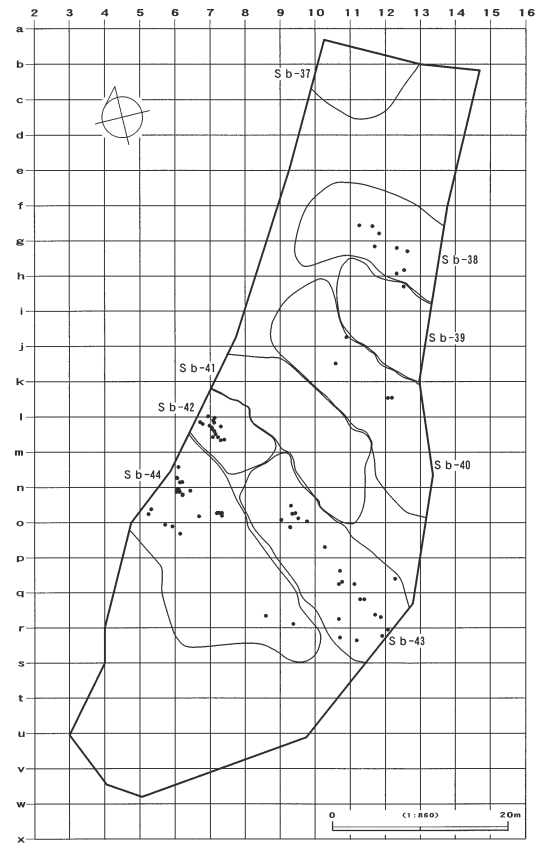
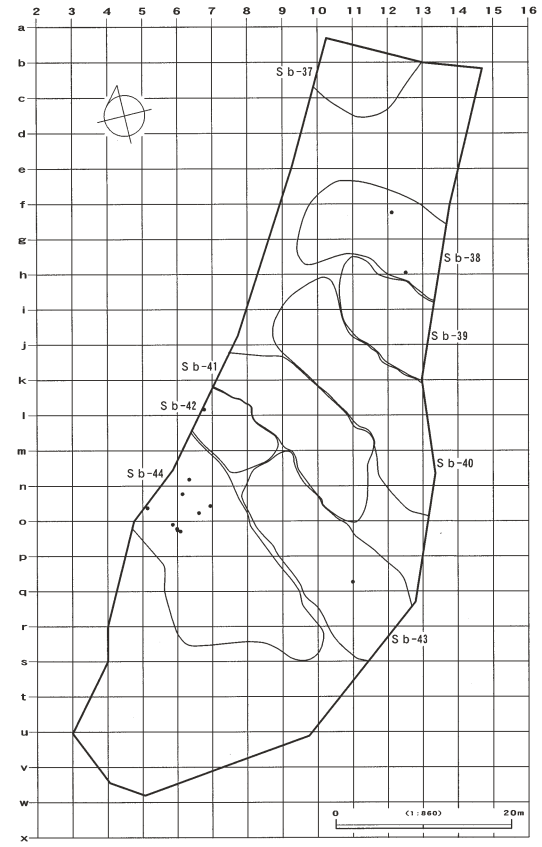


図 - 32 器種・石材別分布図 (14)

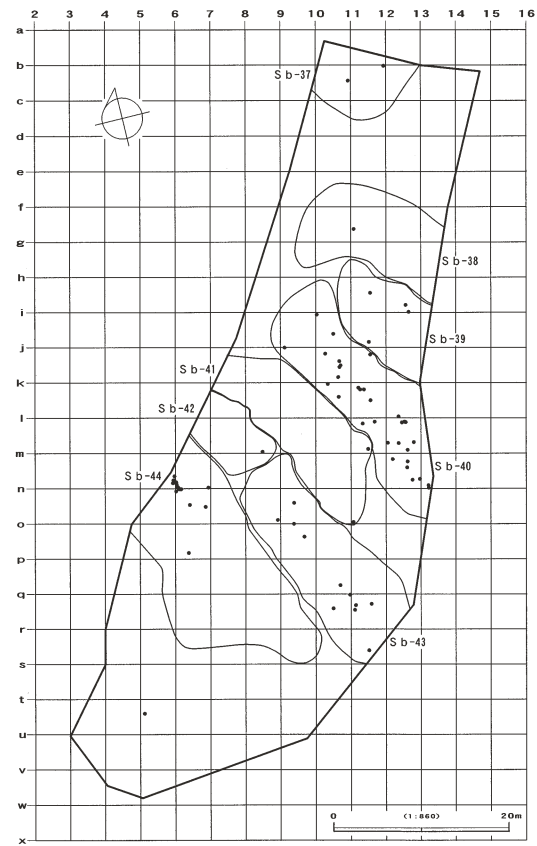
石刃・縦長剥片



石刃核



石核



斧形石器

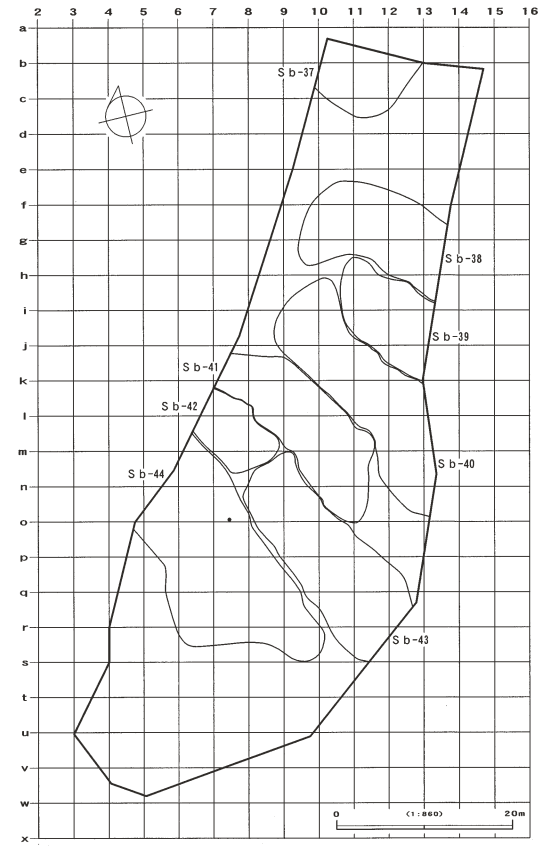
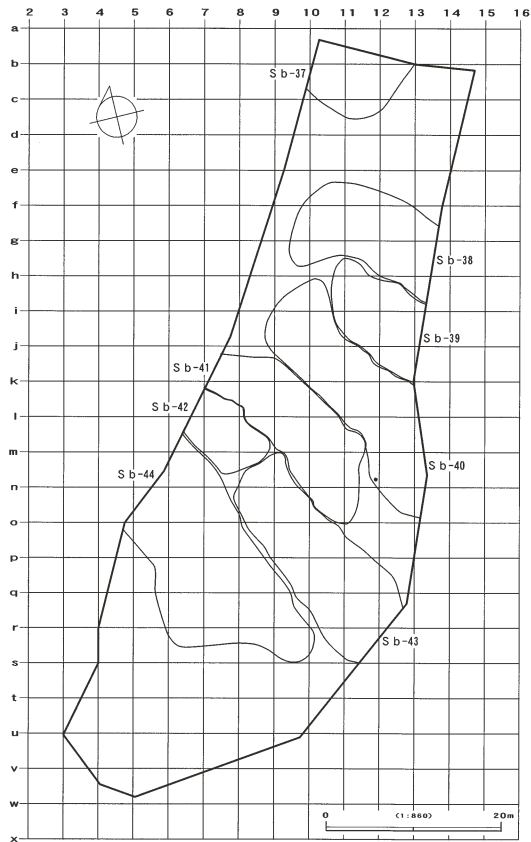
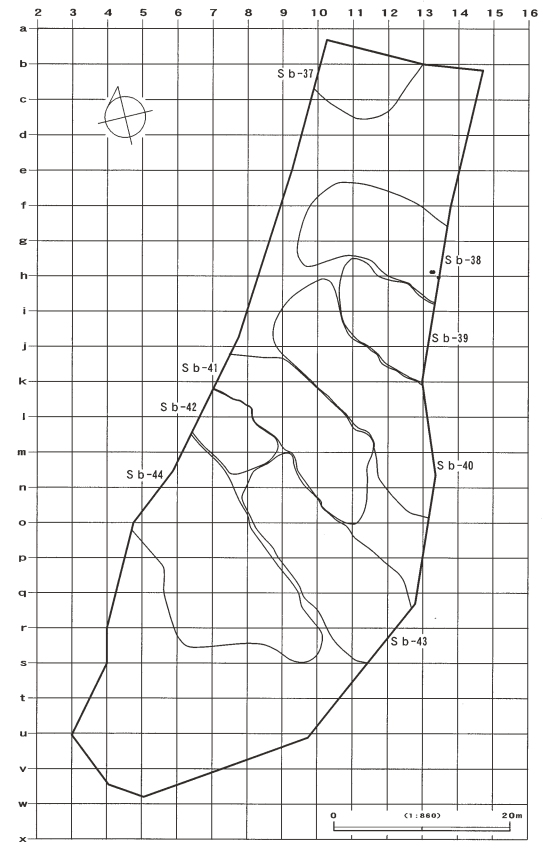


図 - 33 器種・石材別分布図 (15)

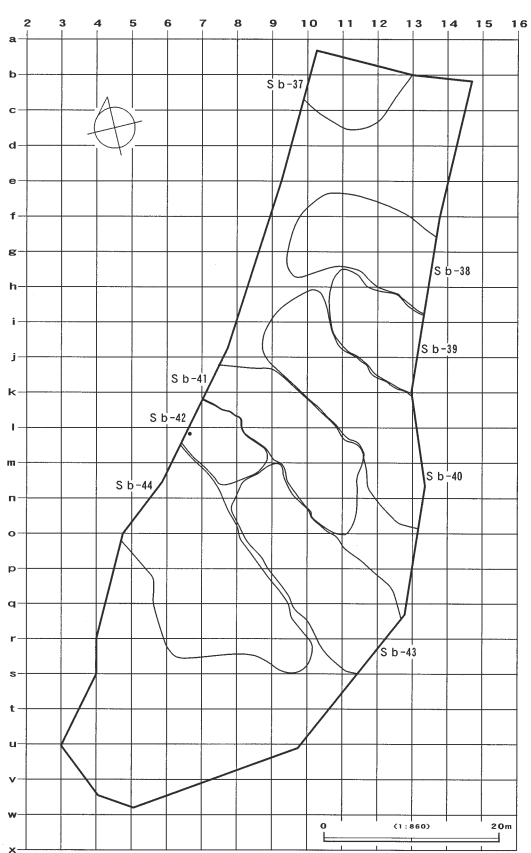
敲石



砥石



石鏃



被熱石器



図 - 34 器種・石材別分布図 (16)

斧形石器 (図 - 27・33、表 - 4～6)

3点出土し、Sb - 21・44、ブロック外に分布している。石材はSb - 21、ブロック外が緑色泥岩製で、Sb - 44が粘板岩製である。

石鏃 (図 - 27・34、表 - 4～6)

4点出土し、Sb - 35 (2点)・42 (1点)、ブロック外 (1点) に分布している。すべて黒曜石製である。

被熱石器 (図 - 27・34、表 - 7)

全体で2,421点 (3.0%) が被熱している。ブロック単位でみると、Sb - 15 (5.1%)・40 (12.7%)・41 (11.6%)・44 (7.4%) が高く、その他は、1～5%のSb - 8・9・11・13・20・21・38・39と1%未満のSb - 7・10・12・16～18・25～29・35・36・42・43、被熱石器がないSb - 14・19・22～24・30～34・37に分けられる。また、各石器ブロックの被熱石器と炭化木片集中ブロック (Cb) との関係を見ると、Cb - 1の周辺にSb - 8の被熱石器がまばらに分布し、Cb - 11の西側にSb - 21の被熱石器がまとまってみられる。Cb - 15の中心、Cb - 14のやや西側にSb - 25の被熱石器が分布し、Cb - 2～9・12・17の周辺にはまとまった被熱石器は分布していない。

原石面残存の石器 (表 - 7)

全体で15,405点 (18.7%) に残存している。ブロック単位でみると、Sb - 7 (32.7%)・10 (37.3%)・13 (33.0%)・20 (45.7%)・24 (47.5%)・30 (32.8%) で高く、その他は、20～30%のSb - 8・9・11・12・15・17・18・23・27・28・32・34・37・43と、10～20%のSb - 16・19・21・22・25・29・35・36・40～42・44、10%未満のSb - 14・26・31・33・38・39に分けられる。最も低いのはSb - 31の3.3%である。石器群毎でみると、全体的に20%前後の割合が多いが、Sb - 7～10 (30.2%)・13 (33.0%) が高く、逆にSb - 14 (9.6%)・15～21 (16.4%)・31～36 (12.5%) が低い。このことは遺跡内への素材の搬入形態を反映しているものと思われる。 (直江康雄)

(3) 石器ブロック1～3 (Sb - 1～3) の石器**出土石器**

二次加工ある剥片28点、搔器14点、石核23点、剥片536点、原石1点の計602点、重量8,566.3gの石器類が出土した。石材は全て黒曜石製で、特に黒曜石1が83.7%を占め、以下黒曜石3 (9.0%)、黒曜石4 (5.8%)、黒曜石2 (1.2%)、黒曜石5 (0.3%) となっている。

「白滝群」の二次加工ある剥片は、搔器・錐形石器以外の定形的ではない石器をすべて含めて分類している。また、加工も一般的な二次加工のほかに微細剥離が連続的にみられるものも含めている。そのため、素材形状や加工部位、剥離技術などで細分、または別器種に分離することが可能と思われる。

二次加工ある剥片 (図 - 35 - 1～12、図版51)

16点 (12個体) を図示している。1～4は、末端部までほぼ同じ厚さを保つ、台形または三角形の剥片を素材とするもので、腹面側に軽微な剥離が連続的にみられる。素材の右側縁は鋭く、左側縁と末端部は急斜度で平面形が「く」の字状となっている。加工は「く」の字状の縁辺に施されることが多く、右側縁には刃こぼれ状の微細な剥離が観察される。

5～7は、末端部が薄手の剥片に軽微な剥離がみられるものである。5は、急斜度の末端部を中心に剥離がみられ、右側縁は鋭い縁辺をそのまま残す。6の末端部は両面に加工が施され、7の加工は

腹面の左側縁から打面部まで続いている。

8・9は比較的大型の剥片を素材とするもので、特に8の末端側の加工は平坦剥離である。

10~12は、縦長剥片を素材とするものである。10・12は腹面側、11は背面側に加工がみられる。

搔器 (図 - 35 - 13~19、図版51)

10点(7個体)を図示している。13~18は縦長剥片を素材とするもので、13~16は刃部に最大厚部がある。13・14は両側縁とも鋭い縁辺を残し、13の腹面側には微細な剥離がみられる。15・16の背面の剥離面構成は横方向のものが主体を占め、打面転移直後に剥離された縦長剥片を素材としている。15の加工は軽微な加工が右側縁から末端部まで続いている。16の刃部は厚く、一部が突出した形となっている。17・18はやや寸詰まりの縦長剥片が素材で中央部に最大幅がある。17の加工は刃部にのみ施される。18は刃部右側が欠損しているが、急斜度の加工が左側縁まで続いている。折れ面には球顆が二つあり、破損の原因とみられる。

19は幅広剥片を素材とするものである。刃部は直線で、加工は両側縁に及んでいる。右側縁の加工は16の刃部と同様に一部が突出する形で、上部が折損した後に加工が施されている。

石核 (図 - 36 - 20~図 - 37 - 39、図版51・52)

21点(19個体と層出土1個体を加えた20個体)を図示している。20~27は作業面を主に素材の広い面に設定している石核で、20~25は作業面が主に素材の広い面に固定されるものである。素材はすべて剥片で、22以外は背面に原石面がみられ、剥片剥離の初期の段階で得られたものと思われる。剥離作業は素材腹面側で行われ、すべてバルブ部分が剥離されている。打面調整・頭部調整は施されていない。20の素材は小さく、一回の剥離で作業面を覆うような剥離がなされている。最終剥離は上面で、細かな剥離が施されている。21は素材の末端部に急斜度で湾曲した加工がみられるが、正面の剥離に切られている。搔器を転用した可能性がある。22は急斜度の縁辺からのみ剥離が行われている。23・24の最終剥離は急斜度で、素材形状を大きく変化させている。26・27は正面と裏面の広い面で作業面転移をしているものである。26は剥片素材で、何回かにわたって作業面転移が行われている。正面の下部と左縁辺は急斜度で、最終剥離は裏面下部にみられる。27は円礫素材で、石核の上半部の表裏面を集中的に剥離している。

28~30は素材の広い面を打面とし、主に素材の小口面で剥離を行うものである。28は剥片素材、29・30は礫素材である。28は背面が原石面に覆われ、打面側が厚い大型の剥片を素材とする。剥離作業は腹面を打面に、主に素材の打面側で行われる。途中、打面と作業面を転移し、素材のバルブ部分が剥離されている。29・30は平坦な原石面を打面とし、29は両面、30は正面側のみで剥離が行われる。

31~36は作業面を主に側縁や末端部など素材の細長い面におくものである。31~35は剥片素材、36は礫素材である。31は素材の厚い末端部に側縁からの剥離がみられる。32は正面上部にノッチ状の調整を施し、凸部を利用して右側縁で縦長剥片が剥離されている。33は素材の末端部にある細かな加工を打面とし、左側縁で縦長剥片が剥離されている。打面調整というよりも、素材の形態・加工の状態から、搔器の転用であると思われる。34は左側面と上面で交互剥離が行われた後、素材の側縁にあたる正面で縦長剥片が剥離されている。35は打面調整・頭部調整がみられ、正面の打面部を山形に突出させて作業を終了している。34・35は同様な角礫の原石面で、石質の状況から同一個体の可能性が高い。また、32と34は図版作成後、折れ面で接合することが分かった。36は縦長剥片を連続的に剥離するもので、途中打面部と下方からの剥離もみられ、最終形態はサイコロ状に近い。裏面には平滑な原石面がみられる。

37～39は頻繁な打面転移がみられるサイコロ状の石核である。剥離が進行しているため素材は不明だが、礫素材の可能性が高い。37は正面左下、39は右側面と左側面に平滑な原石面がみられる。37・38はほぼ全面に剥離が及ぶもので、打点の位置は異なるが、各面の剥離方向はある程度揃っている。37は左側面・正面・右側面が上面から、上面・裏面・下面が右側面からの二方向の剥離面で構成され、38は左側面・正面・裏面が上面から、右側面と下面が裏面から、上面が正面からの三方向の剥離面によって構成されている。このことから同様な打面と作業面の転移が繰り返し行われていたと考えられる。39の各面の剥離方向は揃っていないが、正面と上面、右側面と裏面に交互剥離がみられる。

石器ブロック 1 (Sb - 1) の分布 (図 - 38)

J 9～11、K 10区の7×10mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のI 9・10区にも分布が若干広がると考えられる。J 10、K 10区の境に遺物が集中している。二次加工ある剥片6点、石核3点、剥片113点の計122点、重量743.5gの石器類が出土した。

石器ブロック 2 (Sb - 2) の分布 (図 - 39・40)

L 9、M 7～10、N 8～11、O 8～11、P 9・10区の17×18mの広い範囲で確認された。石器は主にブロック南東部にまとまってみられる。二次加工ある剥片5点、搔器7点、石核5点、剥片112点の計129点、重量1,314.1gの石器類が出土した。

石器ブロック 3 (Sb - 3) の分布 (図 - 41)

J 16～18、K 15～17、L 16区の11×12.5mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のJ 16・17区にも分布が若干広がると考えられる。K 16区に最も遺物が集中している。搔器7点、二次加工ある剥片17点、剥片311点、原石1点の計351点、重量6,508.7gの石器類が出土した。

石器ブロック 1～3の接合状況 (図 - 42・43)

各石器ブロックともブロック内での接合関係が中心である。母岩別資料ではブロック間の共有関係がSb - 1・2・3の間でそれぞれ1例ずつみられる。接合資料ではSb - 1・2間に接合関係が1例確認された。

母岩別資料

「白滝 群」(Sb - 1～6)では多数の接合資料が得られ、それらを検討した結果、素材の形態、打面・作業面の設定場所や転移方法、得られる剥片の形態などにより ～ 類に大別し、さらに若干の細分を行うことができた。

類：扁平な石核の広い面で剥離作業を行うもの。

a類…主に片側の広い面で作業を行うもの。長幅比が1：1前後の薄手の剥片が剥離される。

b類…表裏両方の広い面で作業を行うもの。やや横長の剥片が剥離される。

類：主に素材の広い面を打面として剥離作業を行うもの。

a類…作業面が素材の小口面にあるもの。打面部が幅広で厚い剥片が剥離される。

b類…作業面が素材の細長い面にあるもの。縦長の剥片が剥離される。

類：打面と作業面を頻繁に転移するもの。やや横長の剥片・縦長剥片・片側縁が「く」の字状になる剥片・末端が幅広の剥片などが剥離される。

以下、「白滝 群」(Sb - 1～3・4～6)に限定して接合資料の記載に用いる。

接合資料21 (図 - 44、図版53 - 1)

素材 5点(5個体)が接合し、重量は85.0g、大きさは7.5×5×4.5cmで、素材は不明である。

剥離工程 段階1～3は全て上からの剥離だが、途中打面側での剥離作業（欠落）が行われていることから、**a**類の剥離とみられる。段階2の剥片は石核の素材となり（個体A）、**a**類の剥離が行われ、石核22が遺棄される。

分布 S_b-3のK16区の集中域からまとまって出土している。

母岩別資料337・接合資料28（図 - 44・45、図版53 - 2）

母岩別資料は接合資料28のみである。

素材 10点（9個体）が接合し、重量は1,572.4g、大きさは12.5×14.5×9cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。ほぼ原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 石核の上半部で **b**類の剥離が行われ、石核27が遺棄される。剥離された末端がヒンジの剥片（個体A）は石核の素材となり、**b**類の剥離がなされ、A - 段階2の剥片が二次加工ある剥片6となり、石核26が遺棄される。

分布 S_b-3のK16区の集中域からまばらに出土している。

母岩別資料338・接合資料30（図 - 46・47、図版54）

母岩別資料は接合資料30のみである。

素材 25点（21個体）が接合し、重量は340.4g、大きさは6.5×10.5×8.5cmで、角がやや摩滅した亜角礫を素材とする。ほぼ原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 最も平坦な面を打面として、**a**類の剥離が連続的に行われる。剥離は石核を周回せずに一方向に後退するように行われる。剥離された剥片の中で、縦長剥片となっているものが、二次加工ある剥片11、搔器17に加工されている。初期に剥離された厚手の剥片（個体A）は石核の素材となり、**a**類の剥離が行われ、石核20が遺棄される。

分布 S_b-3のK16区を中心に分布している。

母岩別資料335・接合資料16（図 - 47・48、図版55）

母岩別資料は接合16のみである。

素材 25点（24個体）が接合し、重量は227.9g、大きさは6.5×9.5×6.5cmで、角が摩滅した亜角礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 全体的に **b**類の剥離が行われている。原石の平坦面を打面とし、左側面で剥離が行われる（段階1）。石核の稜を利用して剥離されているため、縦長剥片となるものが多い。途中、打面側で幅広剥片が剥離されている（段階2）。段階1の後、180°打面を転移し、左側面の下方から大きな剥離が行われる（欠落）。この剥片は、空白部分から推定して幅広で腹面が大きく湾曲したものである。

以後、図 - 48 - 55のように左側面下部を上面に据えて説明する。前段階の下方からの剥離による内湾した面を打面とし、右側面を中心に剥離が行われる（段階3）。段階3で得られた縦長剥片は搔器14に加工されている。段階4は正面からの剥離による下設の打面で、その後は下方からの剥離（段階5・7）と上方の打面からの剥離（段階6）が交互に行われる。いずれも縦長の剥片が連続的に剥離され、段階5の縦長剥片が搔器13に加工されている。最終的に石核36が遺棄される。

分布 S_b-2の中央部から散漫に出土している。段階3の剥片が1点北側に離れて分布している。

母岩別資料336・接合資料17（図 - 49、図版56 - 1）

母岩別資料は接合17のみである。

素材 18点（17個体）が接合し、重量は192.9g、大きさは6.5×7×6cmで、角が摩滅した亜角礫を素材とし、下面を大きく剥離した状態に遺跡内に搬入されている。

剥離工程 段階1～4は **a**類の剥離技術で、それぞれは打面と作業面を入れ替える交互剥離である。

段階1は裏面・下面、段階2は右側面・裏面・上面、段階3は下面・正面（欠落）、段階4は上面・左側面・裏面での作業である。打面を転移した後は2～3回の剥離が行われることが多く、まず末端まで伸びる稜線を利用し、やや縦長の剥片、それ以降に片側縁が「く」の字状の剥片が剥離され、良好な稜線がなくなり末端がヒンジになるまで作業をしている。段階5は一回の剥離で打面・作業面を転移するもので、正面上からの剥離 下面での作業となっている。最終的に石核はサイコロ状となり、石核38が遺棄される。

分布 Sb - 2の中央部から散漫に出土している。

写真のみ掲載の接合資料

接合23（図版56 - 2）は大型の縦長剥片を素材として、b類の剥離が行われている。（直江康雄）

（4）石器ブロック4～6（Sb - 4～6）の石器

出土石器

二次加工ある剥片33点、錐形石器7点、石核140点、剥片1,108点、原石1点の計1,289点、重量14,536.9gの石器類が出土した。石材は全て黒曜石製で、特に黒曜石1が87.5%を占め、以下黒曜石2（8.5%）、黒曜石4（3.6%）、黒曜石3（0.3%）となっている。

二次加工ある剥片（図 - 50 - 1～22、図版57）

27点（23個体とB調査出土1個体を加えた24個体）を図示している。1～15は末端部が薄手の剥片を素材とするものである。1・2は、素材剥片のバルブを除去するような加工が施され、先端部が尖る特徴的な形状のものである。3～15は素材剥片の縁辺に剥離がみられるもので、3・9・11・12・14・15は主に背面の縁辺、4・6～8・10・13は主に腹面側に連続した軽微な剥離がみられる。5の背面には素材のバルブスカーがみられ、剥片素材の石核から剥離されたことを示している。7は素材打面部にも加工がみられる。15の打面は大きく残存し、剥離角は他の剥片に比べて小さい。9～12は灰色の黒曜石に透明感のある線が入るもので、母岩別資料8とした。産地分析の結果、ケショマップ産と判定された。

16・17は素材が折れた後に加工が施されたものである。16は剥片の先端部で、平面形状が三角形である。腹面の片縁辺に10mm前後の大きな加工が施されている。17は背面左側縁に急斜度の加工がみられる。

18は背面側に粗いノッチ状の加工がみられるものである。

19～23は縦長剥片を素材とするものである。23以外の背面の剥離面方向は腹面と同方向で、19～21・23が腹面側、22が背面側に連続した軽微な剥離がみられる。19は打面部が薄く末端部が厚い形状で両側縁とも鋭い。打面部付近と末端部に剥離がみられる。21は鋭い左側縁の全体にわたって剥離がみられる。23は5mm前後の比較的大きな剥離が末端部と両側縁にみられる。

24は台形で末端が厚い剥片を素材とし、急斜度な腹面側の末端部に微細な剥離がみられるものである。素材は末端部の形状や背面の剥離面方向から a類の剥離技術によって剥離されたものと考えられる。

錐形石器（図 - 51 - 25～31、図版57）

7点、（7個体）を図示している。25～28は、剥片の末端部に突出部が作出されるものである。25～27の突出部は背面側への加工、28は腹面側への加工によって作出されている。25は背面に素材の腹面が残る薄手の素材を用い、末端部の他に両側縁にも突出部を作り出すような加工がみられる。26は腹面右側縁に急斜度な鋸歯状の加工が施されている。27の打面部は欠損し、腹面側にバルブを除去

する大きな剥離がみられる。28の打面は厚く、原石面に覆われている。

29～31は剥片を横に用い、打面と側縁の角に突出部がみられるものである。突出部は29が錯向剥離、30・31が背面側への剥離によって作出されている。29・30の打面は厚く、素材形状・剥離角などが28に類似している。31は背面に残る大きな面は素材の腹面である。

石核 (図 - 51 - 32～図 - 58、図版58～61)

115点(46個体と層出土1個体を加えた47個体)を図示している。32～48は作業面が主に素材の広い面に固定される石核である。素材は32～40・42～45が剥片で、41・46～48は剥離が進行しているため不明であるが、剥片素材の可能性が高い。背面に原石面がみられるものが多く、32・34・36・37・40・43～47の素材背面はほぼ原石面に覆われ、比較的初期段階で得られた剥片を素材としている。35・45を除き、剥片素材のものは素材のバルブを取り込む剥離がされている。32・33・39は一回の剥離作業しかみられないもので、32・33は素材腹面側、39は素材背面側を作業面としている。32は裏面に細かい加工がみられる。33は素材の末端部から剥離が行われているもので、正面両側縁に細かい加工がみられる。二次加工ある剥片5と接合する。39の素材は分割剥片で、分割面を打面としている。石核40・50・59と同一剥片で、被熱によるウロコ状のひび割れと破損がみられる。34～38は、薄手の剥片の腹面側で単発的な剥離が2～3回行われているものである。34と二次加工ある剥片17は接合する。35は素材のバルブが平坦で球顆があるため、剥離作業は末端ヒンジ部の膨らみを利用して行われている。36は上からが平坦でウロコ状の剥片が剥離され、下からは裏面との交互剥離によって横長の剥片が剥離されている。37の上からの剥離は折れ面を打面としている。38は下端に細かな剥離がみられるもので、二次加工ある剥片16と接合する。40～48は剥離が進行し、作業面のほぼ全面に剥離が及んでいるものである。42～44は素材打面部に最大幅のある縦長剥片を素材とし、素材の両側縁を中心に剥離が行われ、最終形態がきわめて類似している。46は灰色の黒曜石に透明感のある線が入るもので母岩別資料8とした。産地分析の結果、ケショマップ産と判定された。47は他の石核に比べて厚く、被熱によりウロコ状のひび割れと破損が著しい。48の下端は尖頭形で右側縁に細かな剥離がみられる。

49～56は正面と裏面の広い面で作業面転移をしている石核である。素材は49・50・52～55が剥片、51・56はザラついた岩屑面がある角礫である。50は右側面に被熱割れ、52・54は被熱によるウロコ状のひび割れがみられ、破損が著しい。49は素材の打面側が欠損し、55と同一母岩で接合する。50の素材は分割剥片で石核39・40・59と同一剥片である。51と53は同一母岩で接合する。52の素材は分割剥片で、裏面上からの剥離は分割面を打面としている。正面左側縁は尖頭状で、縁辺には細かな剥離がみられ、中央下部は素材を分割した際についたと思われるパンチマークが無数にみられる。56は上面から右側面にかけて大きく交互剥離が行われているが、素材の状態はあまり変わっていない。

57～62は作業が石核の広い面で行われた後、小口面でも剥離がみられるものである。剥離が進行しているため、石核だけでは素材が判別できないものが多く、57～59・61・62が剥片で、60が礫素材である。57の上面は初期に行われた広い面の剥離である。上面と交互剥離を繰り返した結果、作業面が急斜度になり、最終的に小口面を半周するように剥離が行われ、角錐状になっている。58は正面と裏面で交互剥離が行われた後、右側面の小口面に剥離が及んでいる。59の素材は分割剥片で、石核39・40・50と同一剥片である。正面と裏面の交互剥離が主体であるが、左側面(分割面)にも剥離がみられる。60は交互剥離の後、正面から右側の小口面での作業が行われている。61は上面の交互剥離を切って左側面の小口面に剥離が及んでいる。62は背面が原石面に覆われる末端が厚い縦長剥片を素材としている。上面と正面に交互剥離、右側面の小口面に剥離がみられる。

63～68は打面を素材の広い面に固定し、作業面を主に素材の小口面におくものである。素材は63～65が剥片、66～68が石核素材である。剥片素材のものは素材腹面を剥離作業の打面に設定している。63は正裏面が主な作業面となっており、残核形態は粗い舟底状である。64は正面を中心に剥離が行われ、裏面に大きく原石面が残る。63・64の上面観は一端が尖頭形になっている。65は正面で二回の剥離、上面で細かな加工と一回の剥離がみられる。66は分割した石核を素材とし、一回の剥離がみられる。67は上面に大きな打面を作出後、正面と裏面で剥離が行われるもので、被熱により、ウロコ状のひび割れがみられ、破損が著しい。68は正面を中心に一方向に後退するように剥離が行われている。

69・70は作業面を側縁や末端などの細長い面におくものである。素材は69が剥片、70が分割した石核素材である。69は素材末端側に打面を形成し、側面で連続的な剥離が行われる。初期には縦長剥片が剥離されるが、徐々に剥離が末端まで抜けなくなり、最終的に作業面中央部が盛り上がっている。70は打面を固定し、一方向に後退するように縦長剥片が剥離される。最終的に裏面にノッチ状の加工が施されている。石核64・66・75と接合する。

71～78は頻繁な打面転移がみられるサイコロ状の石核である。素材は確定できないが、ほとんどが礫素材と思われる。71・73～78はいずれかの面に原石面が残っている。71～75は5cm前後、76～78は10cm前後の大型の石核である。71は正面と右側面以外の剥離方向は揃っていないが、正面と上面、左側面と下面に交互剥離がみられる。石核42と接合する。72は左右の側面と上面が正面からの剥離で、裏面と下面では交互剥離がみられる。73の上面は原石面で、左側面は内在する割れによって凹凸が激しい。右側面と裏面、下面と右側面での交互剥離がみられる。74は正面・左右の側面・裏面に上面からの剥離面がみられ、正面・右側面・裏面の剥離が下端まで抜けず平滑な原石面が残っている。上面の中央にはパンチマークが五つ程まばらにみられる。75は分割した石核が素材である。分割後の剥離は正面と左側面のみで行われている。石核64・66・70と接合する。76は正面と上面、裏面と下面での交互剥離がみられる。77は正面・左側面・裏面が上面からの剥離で、右側面と裏面では交互剥離がみられる。上面の縁辺にはパンチマークが五つ程みられ、下面には平滑な原石面が残る。78は左側面と裏面に大きく半月状の「つめ跡」の原石面を残し、正面・左側面と上面の交互剥離がみられる。上面にはパンチマークが無数にみられ、正面側の縁辺が潰れて鈍角になっている。

石器ブロック4 (Sb-4) の分布 (図 - 59・60)

L25、M22～25、N23・24区の11.5×13.5mの範囲から確認された。特にM23区に分布が集中している。二次加工ある剥片5点、錐形石器2点、石核58点、剥片290点、原石1点の計356点、重量2,661.1gの石器類が出土した。

石器ブロック5 (Sb-5) の分布 (図 - 59・60)

O25～27、P24～26区の7.5×11.5mの範囲で確認された。特にP25区に分布が集中している。二次加工ある剥片1点、錐形石器1点、石核26点、剥片75点の計103点、重量902.1gの石器類が出土した。定型的なツールが少ない。

石器ブロック6 (Sb-6) の分布 (図 - 61～64)

K30・31、L28～31・33、M27～30・32、N31区の26.5×12.5mの範囲で確認された。東方向の傾斜に調和して間延びした分布となっている。M27・28区の境に遺物が集中している。二次加工ある剥片27点、錐形石器4点、石核56点、剥片743点の計830点、重量10,973.7gの石器類が出土した。二次加工ある剥片と石核が高い割合でみられる。

石器ブロック4～6の接合状況 (図 - 65・66)

各石器ブロックともブロック内での接合関係が中心である。ブロック間では1例ずつの接合関係が確認された。

接合資料85 (図 - 67、図版62 - 1)

素材 25点(22個体)が接合し、重量は220.0g、大きさは8.5×6.5×5.5cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材としている。原石を分割した状態で遺跡内に持ち込まれている。正面の分割面には縦方向の傷が無数にみられる。

剥離工程 石核を二分割し(個体A・B)、それぞれで剥片剥離を行っている。個体Aは b類の剥離によって正面と裏面で作業が行われ(A - 段階1・2)、最終的に石核53が遺棄される。

個体Bは b類の剥離が行われ、正面側の資料のみが接合している(B - 段階1～3)、各段階の間には裏面側での剥離が行われている(欠落)、最終的に石核51が遺棄される。

分布 S b - 6のM28区を中心として東側に分布が広がっている。特に、個体Bの石核51はブロックの東縁辺部のL33区から単独で出土している。

接合資料48 (図 - 68、図版62 - 2)

素材 20点(8個体)が接合し、重量は124.6g、大きさは7.5×7×3.5cmで、剥片素材である。

剥離工程 b類の剥離によって作業が進行する。素材腹面側の剥離(段階1)から始まり、裏面での段階2は石核を全周する剥離である。その後は石核下部を中心とした剥離が正面(段階3・5)と裏面(段階4)の交互にみられ、最終的にチョッピング・ツール状の石核54が遺棄される。

分布 S b - 4のM23区を中心にまとまって分布している。

接合資料105 (図 - 68・69、図版63)

素材 21点(12個体)が接合し、重量は243.2g、大きさは10.5×10×3.5cmである。剥片素材で、原石面は角がやや摩滅している。

剥離工程 素材剥片を正面からの加撃によって上下に分割し(個体A・B)、それぞれで剥片剥離を行っている。個体Aは b類の剥離が行われている。分割面を打面とした剥離(A - 段階1)と、側縁での剥離(A - 段階2)がみられ、最終的に石核52が遺棄される。

個体Bは b類の剥離が行われている。正面(B - 段階1・4)と裏面(B - 段階3・5・6)の剥離が交互にみられる。B - 段階2は分割面を作業面とするもので、最終的な石核は欠落している。また、B - 段階5は石核の素材となり(個体a)、 a類の剥離が行われ、石核93が遺棄される。

分布 S b - 5のP25区を中心として分布している。やや離れたブロックの北東部からA - 段階1とB - 段階6の剥片が1点ずつみられる。

母岩別資料9・接合資料76 (図 - 70・71、図版64)

母岩別資料は接合76の他、二次加工ある剥片1点、剥片2点で構成され、総点数30点、総重量292.5gである。

素材 27点(23個体)が接合し、重量は231.4g、大きさは10.5×7×5cmで、ザラついた岩屑面にアバタ状の窪みがある角礫を素材とする。裏面を大きく剥離した状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 b類の剥離によって作業が進行する。段階1は石核上部での正面と裏面の交互剥離で、段階2の交互剥離は石核上部から左側面にかけて行われる。段階1の剥片2点は石核の素材となり、それぞれ a類の剥離が行われている(個体A・石核32)。個体Aは素材腹面の上下からの剥離で、二次加工ある剥片17はA - 段階1で剥離された剥片を素材とする。また、段階2の剥片は二次加工ある剥片6・14となっている。段階3～5は左側縁での交互剥離で、最終的な石核は欠落している。

分布 S b - 6 のM28区を中心として東側に分布が広がっている。

母岩別資料11・接合資料82 (図 - 72・73、図版65)

母岩別資料は接合82の他、接合56・92・111・50037、剥片20点で構成され、総点数101点、総重量506.7gである。

素材 58点(46個体)が接合し、重量は351.6g、大きさは8.5×12×6.5cmで、半月状の「つめ跡」がみられる円礫を素材とする。正面を大きく剥離した状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 段階1・2は正面での a類の剥離で、石核の素材となる剥片を剥離している(個体A・B)。個体A・Bとも b類の剥離が行われ、石核55・49が遺棄される。特に個体Aでは石核を全周する剥離がみられる。段階3からは b類の剥離で、石核の左側縁で集中的に行われ、石核の幅を大きく減じている。また、段階3は欠落している部分が多く、終了時の状態が図 - 73 - 124である。段階4は石核上方からやや縦長の剥片が剥離される。段階5の右側面は、剥離が進行したことによって急斜度となり、小口面化している。最終的に正面をほぼ全周する剥離が行われ(段階6)、石核60が遺棄される。

分布 S b - 6 のM28区を中心として東側に分布が広がっている。特に段階3の剥片119がブロックの東縁辺部のL33区、石核60がN31区から出土している。

接合資料46 (図 - 74、図版66 - 1)

素材 20点(13個体)が接合し、重量は114.1g、大きさは8×7.5×3.5cmである。剥片素材で、背面は半月状の「つめ跡」がみられる原石面が覆っている。

剥離工程 b類の剥離によって作業が進行する。段階1は正面での剥離で、石核をほぼ半周している。段階2の左側面は、剥離が進行したことによって急斜度となり、小口面化している。段階3は正面での剥離で、一部の作業面が小口面である素材打面部に及ぶ。錐形石器28は段階3の小口面で剥離された剥片を素材とする。最終的に石核58が遺棄される。

分布 S b - 4 のM23区からまとめて出土し、やや離れたN24区に段階1の剥片が2点分布している。

接合資料47 (図 - 74、図版66 - 2)

素材 17点(17個体)が接合し、重量は96.8g、大きさは7.5×6×3.5cmで、剥片素材である。

剥離工程 b類の剥離によって作業が進行する。段階1は正面での剥離で、素材のバルブを取り込む大きな平坦剥離が行われている。段階2は裏面をほぼ周回する集中的な剥離で、縁辺が急斜度になり、小口面化している。正面側へ作業面転移し、平坦剥離(段階3)を行った後、裏面で、石核を周回する剥離が行われ(段階4)、石核57が遺棄される。

分布 S b - 4 のM23区を中心に分布している。

接合資料88 (図 - 75、図版67)

素材 10点(6個体)が接合し、重量は238.0g、大きさは8.5×8.5×4.5cmである。剥片素材で、原石面の角は摩滅している。

剥離工程 b類の剥離によって作業が進行する。裏面での剥離(段階1)、正面を周回する剥離(段階2)の後、再び裏面での剥離を行っている(段階3)。裏面上部は集中的に剥離が行われたため、縁辺が急斜度になり、小口面化する。二次加工ある剥片15は段階3の剥片を素材としている。最終的に石核61が遺棄される。

分布 S b - 6 のM28区を中心として東側に分布が広がっている。段階1の剥片132のうち、左側の破片2点と二次加工ある剥片15がやや東側のL30区から出土している。

母岩別資料15・接合資料99 (図 - 76・77、図版68・69 - 1)

母岩別資料は接合99と剥片4点で構成され、総点数28点、総重量257.0gである。

素材 24点(18個体)が接合し、重量は249.3g、大きさは3.5×13.5×7.5cmである。剥片素材で、背面の原石面には半月状の「つめ跡」があり、上面の素材腹面には斜め方向の傷が無数にみられる。

剥離工程 a類の剥離によって作業が進行する。素材の腹面を打面として、左側面で連続して剥離が行われる(段階1)。段階2は打面側での平坦剥離である。錐形石器25は段階2の剥片を素材としている。その後、再び打面を固定し、石核の正面を中心に剥離が行われ(段階3)最終的に石核63が遺棄される。

分布 Sb-6からまばらに出土している。最大で9m離れた折れ面接合がみられる。

母岩別資料340・接合資料53 (図 - 78・79、図版70)

母岩別資料は接合53のみである。

素材 58点(18個体)が接合し、重量は987.9g、大きさは8.5×12×9cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 a類の剥離によって作業が進行する。段階1は正面を打面に固定して石核の上面と左右の側面を剥離している。上面で剥離された剥片は石核の素材となっている(個体A)。個体Aは素材の腹面でa類の剥離(A-段階1・2・3)が進行し、最終的に石核45が遺棄される。その後、打面を平坦な上面に固定し、正面と左側面で剥離作業が行われ(段階2)最終的に石核67が遺棄される。

分布 Sb-4のM23区を中心に分布している。

母岩別資料13・接合資料90 (図 - 79・80、図版71)

母岩別資料は接合90と剥片1点で構成され、総点数18点、総重量973.2gである。

素材 17点(13個体)が接合し、重量は971.7g、大きさは13×11×7cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 a類の剥離によって作業が進行する。段階1は裏面側の剥離で、上下一回ずつの単発的な剥離である。次に裏面を打面に固定して石核の正面で連続的な剥離が行われ(段階2)縦長の剥片が石核の素材となっている(個体A)最終的に石核68が遺棄される。

個体Aは素材を二分割し、末端側を二次加工ある剥片16となっている。打面側では素材腹面でa類の剥離が行われ(A-段階1・2)石核38が遺棄される。

分布 Sb-6からまばらに出土している。

母岩別資料17・接合資料94 (図 - 81、図版72 - 1)

母岩別資料は接合94と剥片1点で構成され、総点数4点、総重量761.3gである。

素材 3点(3個体)が接合し、重量は758.8g、大きさは9×11.5×7.5cmで、角が摩滅した亜角礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 石核正面での上下一回ずつの単発的な剥離が行われ、石核157が遺棄される。上からの剥片は錐形石器26に加工されている。

分布 Sb-6からまばらに出土している。石核と錐形石器の調整剥片がM27区から出土し、錐形石器がやや東側に離れたL29区に分布している。

母岩別資料339・接合資料52 (図 - 82~84、図版73)

母岩別資料は接合52のみである。

素材 53点(41個体)が接合し、重量は400.3g、大きさは7×8.5×9.5cmである。素材は不明で、原石面には半月状の「つめ跡」がみられる。上面を大きく剥離し、その面を打面として周囲を剥離し

た状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 段階 1 は b 類の剥離で、平坦な上面を打面とし、石核をほぼ周回して縦長剥片を剥離している。途中、石核下部の突出部を除去する下方からの剥離（段階 2）がみられる。段階 1 の縦長剥片は石核の素材（個体 A）となり、素材の腹面側で a 類の剥離が行われ、石核 42 が遺棄される。また、両側縁がほぼ平行する薄手の縦長剥片は、二次加工ある剥片 20 となっている。段階 1・2 終了時の石核の状態が図 - 83 - 160 である。段階 3 は前段階の打面の縁を稜に利用し、石核を周回する横方向の剥離である。この剥離によって石核形状は角錐形から角柱形に変化している。段階 4・5 は交互剥離で、それぞれ左右の側縁で行われている。段階 4 終了時の状態が図 - 83 - 166 である。段階 6 は c 類の剥離で、右側面 正面と作業面が転移し（段階 6）最終的に、右側面で上からの剥離が行われ（段階 7）石核 71 が遺棄される。なお、二次加工ある剥片 24 は段階 5 の剥片を素材としている。

分布 S b - 4 の M23 区から集中して出土し、やや東側にも分布が広がっている。

接合資料 80（図 - 84、図版 72 - 2）

素材 6 点（4 個体）が接合し、重量は 102.2g、大きさは 5.5 × 6.5 × 4 cm である。素材は不明だが、原石面には半月状の「つめ跡」がみられる。

剥離工程 ほとんどの剥片が欠落しているため詳細は不明だが、c 類の剥離の進行に伴い石核側面が小口面化し、最終的に c 類の剥離が行われたとみられ、石核 73 が遺棄されている。

分布 S b - 6 の M28 区を中心に分布している。

母岩別資料 341・接合資料 84（図 - 85 ~ 89、図版 74・75）

母岩別資料は接合 84 のみである。

素材 53 点（44 個体）が接合し、重量は 575.4g、大きさは 16 × 7 × 5.5 cm で、角が摩滅した棒状の亜角礫を素材とする。原石の状態に搬入されている。

剥離工程 左右の側面の下部で、横方向の剥離をそれぞれ一回ずつ行った（段階 1）後、上方から裏面側で大きな剥片が剥離（段階 2）される。段階 2 は石核の素材となり（個体 A）、残った石核も三分割され、それぞれ石核の素材（個体 B・C・D）となっている。

個体 A は裏面で左右から単発的な剥離（A - 段階 1・2）が行われた後、素材腹面を打面に固定して a 類の剥離（A - 段階 3）が連続して進行する。最終的に石核 64 が遺棄される。

個体 B は個体 D との分割面を打面に設定し、b 類の剥離が行われる（B - 段階 1・3）。二次加工ある剥片 21 は B - 段階 3 の剥片を素材としている。途中、下方からの剥離（B - 段階 2）がみられ、最終的に石核 70 が遺棄される。

個体 C は段階 2 の剥離で得られた面を打面として、大きく一回の剥離が行われ（欠落）石核 66 が遺棄される。

個体 D は素材がサイコロ状で、c 類の剥離が行われる。個体 B との分割面を作業面として、右側面と上面からの剥離を行い（D - 段階 1）作業面を左側面に転移して、裏面と下面からの剥離を行っている（D - 段階 2）。最終的に石核 75 が遺棄される。

分布 S b - 6 の M28 区を中心として東側に分布が広がっている。特に個体 C の石核 66 がやや東側に離れた M30 区から出土している。

母岩別資料 16・接合資料 98（図 - 90 ~ 94、図版 76・77）

母岩別資料は接合 98 と剥片 38 点で構成され、総点数 120 点、総重量 894.6g である。

素材 82 点（45 個体）が接合し、重量は 836.1g、大きさは 12.5 × 15.5 × 11.5 cm で、角が摩滅した亜角礫を素材とする。正面を大きく剥離された状態に搬入されている。

剥離工程 類の剥離によって作業が進行する。段階1～6は正面と上面での交互剥離で、対応する正面側の剥片はすべて欠落している。段階1の剥片は石核の素材となり(個体A～C) 個体Bはさらに分割され(個体B-1～4)それぞれ剥片剥離が行われている。その後、打面と作業面を転移して、主に右側面と上面での交互剥離が行われていく(段階7～9) 段階8の剥片は石核の素材となり(個体D) 段階9の剥片は二次加工ある剥片7となっている。段階10・11は正面から右側面への剥離(段階10・11)で、間に上面から右側面への剥離が行われる。最終的に段階11の剥離が激しいヒンジを起こしたため、石核78が遺棄される。

個体Aは a類の剥離が行われる。素材腹面を中心とした剥離がみられ、最終的に石核37が遺棄される。

個体B-1は個体B-2との分割面を打面に設定し、正面(素材腹面)で一回の剥離が行われている。最終的に石核39が遺棄される。個体B-2は正面(素材腹面)での剥離と、左側面と上面での交互剥離が行われ、最終的に石核59が遺棄される。個体B-3は正面(段階1)と裏面(段階2)での b類の剥離が行われ、最終的に石核50が遺棄される。個体B-4は b類の剥離が行われる。裏面の急斜度な剥離(段階1)の後、正面の上下からの剥離(段階2・3)がみられ、最終的に石核40が遺棄される。

個体Cは厚手の縦長剥片が素材で、 a類の剥離が進行し、最終的に石核43が遺棄される。

個体Dは a類の剥離が行われる。石核下部では、急斜度な剥離がみられ(段階1) 上部では素材のバルブを取り込む剥離が行われている(段階2) 最終的に石核36が遺棄される。

分布 Sb-6のM28区を中心として東側に分布が広がっている。また、10m前後離れた折れ面接合が多数みられる。

写真のみ掲載の接合資料

接合75(図版69-2)は縦長剥片を素材とし、 a類の剥離が行われる。剥片の一部は石核33・二次加工ある剥片5の素材となり、最終的に石核44が遺棄される。母岩8・接合78(図版78-1)は a類の剥離が行われ、剥片の一部は二次加工ある剥片9・11・12となっている。最終的に石核46が遺棄される。産地分析の結果、ケショマップ産と判定された。接合49(図版78-2)は剥片素材で、 b類の剥離が行われる。剥片の一部は二次加工ある剥片13となり、最終的に石核が遺棄される。母岩14・接合91(図版79)はザラついた岩屑面がある角礫が素材で、 b類の剥離が行われる。最終的に石核56が遺棄される。接合79(図版80-1)は剥片素材である。石核上部での b類の剥離の後、右側面の小口面での剥離が行われている。最終的に石核62が遺棄される。接合54(図版80-2)は 類の剥離が行われ、剥片の一部は二次加工ある剥片19となっている。最終的にサイコロ状の石核72が遺棄される。接合107(図版80-3)は剥片素材で、 b類の剥離の進行によって両側面が小口面化した後、頻繁な打面転移がみられる。最終的な石核は欠落しているが、サイコロ状と思われる。母岩343・接合93(図版81)は 類の剥離が行われ、最終的に大型の石核76が遺棄される。母岩342・接合89(図版82)は 類の剥離が行われる。剥片の一部は a類の剥離がみられる石核35の素材となり、最終的に大型の石核77が遺棄される。(直江康雄)

(5) Sb-1～6 石器ブロック外の石器

出土石器

搔器(図 -95-1、図版61)

1点(1個体)を図示している。剥片を素材とし、左側縁から末端部に加工が施される。末端部の

加工は粗くノッチ状になっている。右側面は急斜度の剥離面で上からの剥離が数回みられる。

錐形石器 (図 - 95 - 2、図版61)

1点(1個体)を図示している。剥片の打面側にノッチ状の剥離を施し、突出部を作出している。上部には急斜度で直線的な加工、右側面には上からの剥離が数回みられる。

石核 (図 - 95 - 3、図版61)

1点(1個体)を図示している。正面と裏面で剥離が進行し、舟底状となっている。正面の打面部には無数のパンチマークがみられる。

Sb - 1 ~ 6 石器ブロック外の分布

図 - 95 - 1はQ9区の表土から出土しているが、本来はSb - 2の石器であった可能性が高い。

図 - 95 - 2・3はJ19区から出土しており、周辺には若干の「白滝 群」の遺物が分布している。

(直江康雄)

(6) 石器ブロック7 ~ 10 (Sb - 7 ~ 10) の石器

出土石器

細石刃246点、石刃488点、縦長剥片199点、彫器6点、削片2点、搔器28点、削器2点、錐形石器1点、二次加工ある剥片8点、細石刃核16点、石刃核14点、石核2点、剥片1692点、原石2点の計2,706点、重量13,177.3gの石器類が出土した。石材は黒曜石のみで、黒曜石1が97.5%を占め、黒曜石2が0.04%、黒曜石3が0.04%、黒曜石4が2.4%となっている。

細石刃 (図 - 96 - 1 ~ 図 - 97 - 148、図版83・84)

152点(101個体と 層出土28個体と 層出土19個体を加えた148個体)を図示している。1は腹面の両側縁に明瞭な二次加工がみられるものである。加工は平坦剥離で、上部は深く2 ~ 3mm程で、下部に行くにしたがい浅くなっている。上下は欠損し、二次加工を切っている。

2 ~ 7・9 ~ 14はほぼ完形、15 ~ 81は頭部、82 ~ 129は中間部、8・130 ~ 148は末端部である。掲載遺物の幅は6 ~ 9mmのものが多く、平均は7.8mmで標準偏差は1.38mmであった。厚さは平均値が2.0mm、標準偏差は0.7mmである。ほとんどが調整面が僅かに残る点・線状打面で、40・76はやや大きな打面である。腹面はパルプが発達し、中間部が平坦で末端部が腹面側に湾曲するものが多い。末端部は6・9・13・137・147がヒンジで、131・133はウートラパッセを起こしている。136・147は被熱により光沢を失っている。縁辺の微細な剥離はすべて片側縁にみられ10・13・14・33・36・38・58・68・75・89・90・94・96・106・111・122・132・144で観察される。10・36・144は背面左側縁に、38・58・68・94・106・111・122・132は背面右側縁に、13・33・75・90は腹面左側縁に、14・89・96は腹面右側縁に微細な剥離がみられ、背面右側縁に見られるものが多い。背面の剥離面構成は、ほとんどが腹面と同方向であるが、5・7・12・34・46・75・78・88・97・104・106・136は逆方向も含まれる。

石刃・縦長剥片 (図 - 97 - 149 ~ 図 - 107 - 354、図版84 ~ 90)

石刃は272点(157個体と 層出土28個体と 層出土3個体を加えた188個体)、縦長剥片は39点(13個体と 層出土5個体を加えた18個体)を図示している。149 ~ 242・317 ~ 332・347 ~ 349がほぼ完形品、243 ~ 276・350が頭部、277 ~ 284・351 ~ 353が中間部、285 ~ 316・333 ~ 346・354が末端部である。掲載遺物の長さは、55 ~ 80mmのものが多く、平均は74.1mmで標準偏差は22.04mmであった。幅は13 ~ 22mmのものが多く、平均は21.1mm、標準偏差は7.27mmであった。基本的に調整打面で、

168・237・243・267・275は平坦打面、206は原石面が打面である。調整打面のものは、山形・帽子形のものが多く、細身の石刃は細石刃と比べるとやや厚い打面となっている。頭部調整は一般的にみられる。背面の剥離面構成は、ほとんどが腹面と同方向であるが、下からの剥離を含むものもある。

317～346は末端がウートラパッセを起こしているもの、347～354は背面に稜調整がみられるものである。347・348・350は左右両側の調整で、それ以外は片側のみの調整が施されている。側面調整とみられる片側の稜調整が一般的である。

彫器 (図 - 107 - 355～362、図版91)

10点(4個体と 層出土3個体と 層出土1個体を加えた8個体)を図示している。彫器はすべて器体長軸にほぼ直交するような打面を調整面や折れ面によって形成し、側刃型の彫刀面を作出するものである。素材は355～358・361・362が石刃・縦長剥片、359が彫器の削片、360が打面再生剥片である。彫刀面の打面は355・356・358・359が彫刀面側からの軽微な調整によるもの、357・360・361は腹面からの入念な調整によるもの、362が折れ面で、いずれも基部調整は施されていない。355の彫刀面は背面側にあり、背面右側縁に細かな剥離がみられる。356は腹面側の上下に彫刀面がある。355・356は同一の剥片で折れ面接合をする。357は腹面側に彫刀面が作出されるが、激しいヒンジを起こしている。358は腹面側に彫刀面が作出されている。359は彫器360から作出された削片素材で、側面に彫刀面が作出される。360は両側面に彫刀面がみられる。361は調整打面が狭く外湾し、彫刀面が腹面側の左右にみられる。技術形態上彫器としたが、搔器の可能性もある。362は両側面に短い彫刀面が作出されている。

削片 (図 - 107 - 363・364、図版91)

3点(1個体と 層出土1個体を加えた2個体)を図示している。363は背面上部に旧彫刀面が2面みられる。364は背面に旧彫刀面が2面みられ、それぞれ腹面、側面にねじれた彫刀面が作出されている。363・364とも彫器360の削片である。

搔器 (図 - 108 - 365～図 - 109 - 390、図版91・92)

32点(19個体と 層出土7個体を加えた26個体)を図示している。365～371は石刃を素材とした刃部が薄手のものである。いずれも素材打面はそのままの状態で残し、側縁には軽微な二次加工が連続的にみられる。366・367の刃部は器体長軸よりずれて作出されている。

372～375は石刃を素材とした刃部が厚手のものである。側縁の二次加工は前述のグループとの違いがみられない。打面は基本的にそのままの状態だが、374は打面側にも刃部が作出されている。371の刃部は折れ面が残り、左側に加工が偏っている。

376・390は剥片を素材とした刃部が薄手のものである。形態的には365～371と同様だが、打面再生剥片を素材としている。

377～379は石刃を素材とし、素材打面側に刃部を設定するものである。基部は素材の尖頭形をそのまま残し、縁辺に軽微な二次加工が施されている。刃部は薄手で、特に378は中央部の加工が薄く、波形である。素材の末端部に刃部を作出するものに比べ、縦断面が湾曲している。すべてSb-10から出土し、同一の接合資料に含まれる。

380・381は石刃を素材とし、刃部の幅が狭いものである。380は平坦打面で、右側縁に軽微な二次加工が施され、左側縁下部には側面調整の痕がみられる。381の刃部は右側に偏っている。

382～384は石刃素材の搔器の破損品である。382・383は基部、384は刃部である。382～384は残存形態から365～371のグループと同様の搔器であろう。

385は厚手の剥片を素材とする円形のものである。原石面を打面とし、深い加工が左右両側にある。

386～389は素材の突出部に狭い範囲で刃部が作出されるものである。素材は386・388が石刃・縦長剥片で、387・389が打面再生剥片素材である。389は右側が欠損した後に刃部が作出されている。

錐形石器（図 - 110 - 391・392、図版92）

2点（1個体と層出土1個体を加えた2個体）を図示している。2点とも素材は石刃で、末端部に腹面側からの加工によって突出部を形成している。391は平坦打面で、392の縦断面は湾曲している。

二次加工ある剥片（図 - 110 - 393～399、図版92）

11点（7個体）を図示している。393～398は石刃・縦長剥片を素材とするものである。393・394・396～398は腹面片側縁の一部に深い平坦剥離が施されるもので、394・397・398は反対側縁のやや下の位置に微細な剥離がみられる。395は搔器の側縁調整に類似した加工が背面両側縁にみられる。搔器の基部側の可能性もある。

399は打面再生剥片を素材とするものである。素材打面付近にノッチ状の加工が背面側から施されている。

細石刃核（図 - 111 - 400～図 - 112 - 419、図版93・94）

20点（16個体と層出土4個体を加えた20個体）を図示している。400～405は細石刃剥離がほぼ全周し、円錐形となっているものである。作業面と打面との切り合い関係から、打面再生・調整を施しながら部分的に細石刃剥離が行われていたことが分かる。400の裏面にある作業面は、ヒンジがあるため使用されず、正面と両側面で細石刃剥離を継続した結果、打面が正面側に傾き、上面観がやや扁平になっている。最終的な作業面高は23mmである。401は正面の最終段階の作業がウートラパッセを起こしたため、形態がやや楔形になっている。打面は、左縁辺が再生されたままで、右側縁が激しいヒンジを起こしているため、波状にうねっている。最終的な作業面高は29mmである。402は正面・左側面・裏面で残存する打面からの細石刃剥離がみられる。左側面から正面に向かっての剥離と裏面に向かっての二方向の剥離で、裏面では4か所でヒンジが起きている。左側面下部には石刃剥離と思われる剥離面が残っている。最終的な作業面高は正面で34mm、裏面で35mmである。403は打面が小さく作業面が長い砲弾型の均整の取れた形態である。残存する打面からの剥離は正面にあり、すべてヒンジを起こしている。最終的な作業面高は40mmである。404は正面と左側面で残存する打面からの細石刃剥離がみられる。右側面下部に石刃剥離と思われるウートラパッセを起こした剥離面があり、その偏った下端を中央に戻すために下方からの調整がみられる。最終的な作業面高は36mmである。405は正面と左側面に残存する打面からの細石刃剥離がみられる。打面が大きいと、他の細石刃核よりも全体的に剥離角が小さくなっている。最終的な作業面高は37mmである。

406～419は細石刃剥離が石核の側面などの一部でしか行われぬものである。素材は406～408・418が棒状の角礫、411は角礫で、その他は剥片である。細石刃剥離の部位は406・411・419が円錐形・楔形の石核の一部で行われるもの、407～409・416・418が扁平な石核の両側面で行われるもの、410・412～415・417が扁平な石核の片側面で行われるものである。打面調整は406・408・416が全周にわたってみられ、その他は細石刃作業面側からの軽微な調整である。406の打面調整はほとんどが激しいヒンジを起こしているため、打面は凸形になっている。裏面にはザラついた岩屑面がみられる。407の最終剥離は打面再生で、両側面にヒンジがある。408の最終剥離は打面調整で、すべての細石刃剥離を切っている。407・408は石質・原石面状態・位置が非常に類似している。棒状の角礫を切断してそれぞれ石核にした可能性がある。409は両側面ともに残存する打面からの細石刃剥離である。裏面にはバルバスカ - の一部がみられ、石核下端は折れ面で、細石刃剥離に切られている。最終的な作

業面高は両側面とも26mmである。410は素材の末端側を細石刃剥離の打面に設定し、最終的な作業面高は41mmである。411は下端からの調整によって石核形状が円錐形となっている。412は素材腹面からの調整が左側縁と下端にみられる。413は素材の打面を細石刃剥離の打面に設定し、右側縁には交互剥離がみられる。416は右側面と裏面に調整が施されている。417は素材背面が原石面に覆われている。裏面の打面下6mmの所にパンチマークがみられ、打面再生を試みた痕跡と思われる。418は下端からも細石刃剥離がみられる。419は分割剥片が素材で下端を調整後、分割面で作業が行われている。

石刃核・石核 (図 - 112 - 420 ~ 図 - 114 - 437、図版94・95)

石刃核は14点(13個体と 層出土1個体を加えた14個体)を図示している。石核は4点(2個体と 層出土2個体を加えた4個体)を図示している。420~429は剥離がほぼ全周し、下部がすばまった円錐形・楔形をしたものである。素材は424・428が剥片、421が分割した円礫、425・426・427が円礫、423が盤状の角礫で、それ以外は不明である。打面調整が一般的にみられ、頭部調整は420・421・426に残っている。420は打面が小さく作業面が長い均整の取れた形態で、下端にウーラパッセの修正が目的とみられる剥離が施されている。421は器体中央部が最も厚い形態であり、420と同一母岩である。422は正面左側の石刃剥離がウーラパッセになり作業を終了している。細石刃剥離が右側面にみられる。434は下端からも剥離がみられ、その面を打面として、裏面に剥離が行われている。426は正面の剥離が著しいウーラパッセを起こしているため、作業面高を大きく減じている。打面はヒンジが激しく平坦ではない。427は下端からも剥離がみられる。428は正面の球顆によって石刃剥離を失敗し、作業面が大きく損ねている。

430~437は形態が円錐形・楔形にはならないものを図示した。素材は430~432・435・436が剥片で、433・434は棒状の角礫、437は棒状の円礫である。430~432は素材の側縁を中心に作業面を設定しているのに対して、435・436は素材の腹面側に作業面を設定している。434・435・437は両設打面である。435の上設の打面は原石面で、それ以外は打面調整がみられる。430~432は素材の末端側を打面部に設定するもので、430・431の素材の打面は原石面で、430は軽微な側縁調整がみられる。433は正面右側の剥離がヒンジとなり、作業を終了している。434は剥離がほぼ全周し、右側面と裏面に側面調整が施されている。437の裏面には横方向の剥離がみられる。

石器ブロック7 (Sb - 7) の分布 (図 - 115)

P16、Q16、R16、S16区の9×4mの範囲で確認された。主にQ16・R16区の境に分布が集中している。細石刃11点、石刃43点、縦長剥片35点、搔器4点、石刃核1点、剥片450点、原石1点の計545点、重量2,792.9gの石器類が出土した。石材は黒曜石1のみ利用されている。

石器ブロック8 (Sb - 8) の分布 (図 - 116~118)

P17・18、Q16~19、R17・18、S17区の13.5×9mの範囲で確認されたが、調査区範囲外であるS17区の南側に分布が若干広がると考えられる。主にQ17・18、R17区に分布が集中している。細石刃49点、石刃197点、縦長剥片79点、彫器3点、搔器17点、二次加工ある剥片8点、細石刃核8点、石刃核6点、石核2点、削片2点、剥片641点の計1,012点、重量5,891.1gの石器類が出土した。搔器・細石刃核が多くみられる。二次加工ある剥片はSb - 7~10の中でこのブロックのみの出土である。

石器ブロック9 (Sb - 9) の分布 (図 - 119・120)

R18~20、S18~20区の6×12mの範囲で確認されたが、調査区範囲外であるS19区の南側に分布

が若干広がると考えられる。主にS19区に分布が集中している。細石刃76点、石刃143点、縦長剥片28点、彫器2点、搔器3点、削器2点、細石刃核7点、石刃核5点、剥片325点、原石1点の計592点、重量2,690.5gの石器類が出土した。細石刃核が多くみられる。

石器ブロック10 (Sb-10) の分布 (図 - 121・122)

O19~21、P19~22、Q19~21区の12×12.5mの範囲に確認された。P20・21・Q20・21区の境に分布が集中している。細石刃110点、石刃105点、縦長剥片57点、彫器1点、搔器4点、錐形石器1点、剥片276点の計557点、重量1,802.8gの石器類が出土した。細石刃が非常に多い。

石器ブロック7~10の接合状況 (図 - 123)

Sb-7~10では各集中部を中心に接合関係がみられ、それぞれの集中部間やブロック間で密接な接合関係がある。折れ面接合もブロック間で多数みられた。また、2母岩で沢をはさんだ西側に位置する服部台2遺跡の出土資料との接合関係が確認された。(母岩19・接合1003、母岩25・接合1013)。

母岩別資料28・接合資料1026 (図 - 124・125、図版96)

母岩別資料は接合1026の他、接合1023~1025、細石刃16点、石刃1点、剥片1点で構成され、総点数49点、総重量70.5gである。

素材 25点(22個体)が接合し、重量は58.4g、大きさは7.5×4×3.5cmで、素材は不明である。左側面の平坦な面(トーン部分)から、正面に横方向の調整(トーン部分)が施され、石刃・縦長剥片の剥離が行われた状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 石刃・縦長剥片から細石刃までの剥離がみられる資料である。右側面を中心に石刃・縦長剥片が剥離(段階1)され、作業面高を5mm程減じる打面再生(欠落)の後、裏面を除き石核をほぼ全周するように石刃・縦長剥片が剥離(段階2)される。段階3は細石刃剥離であるが、段階2と3の間は多くの資料が欠落している。石刃・細石刃とも打面調整を施しながら石核の一部を集中的に剥離した後、他の作業面への転移を繰り返し、最終的に細石刃剥離が石核を全周している。打面と作業面の剥離角が鈍角になり、唯一角度の良い作業面にもヒンジが起きたため、細石刃核404が遺棄される。

分布 ほとんどがSb-10から散漫に出土しているが、段階2の石刃259がSb-8の東縁辺部、段階1の石刃338と段階2の石刃165がSb-9の遺物集中域に分布している。

母岩別資料40・接合資料1061 (図 - 125・126、図版97-1)

母岩別資料は接合1061の他、接合1057~1060・1062・1063・51008・51009、細石刃3点、石刃2点、剥片8点で構成され、総点数59点、総重量207.8gである。

素材 20点(14個体)が接合し、重量は77.4g、大きさは7.5×4×4cmで、素材は不明だが、原石面はザラついた岩屑面である。

剥離工程 石刃・縦長剥片から細石刃までの剥離がみられる資料である。打面を形成し、石核の左側面下部に裏面からの側面調整(段階1)を施した後、石刃・縦長剥片・細石刃を剥離していく(段階2~5)。段階2は稜を形成せずに平坦な原石面をそのまま作業面として剥離を開始する。段階3の作業面高は段階2から7mm程減じ、剥片の末端部は「し」の字状である。段階4は右側面から裏面にかけての剥離で、段階3から4mm程作業面高が減じている。段階5は細石刃の剥離で、正面を中心に剥離が行われるが、ほとんどの資料が欠落している。段階4以降の打面は再生されず、最終的に打面の中心部が凸形になるまで頻繁な打面調整を繰り返し、細石刃の剥離が続行できなくなったため、細石刃核406が遺棄される。

分布 段階1の剥片がSb-7、段階2・3がSb-9、段階4と段階2の剥片1点がSb-10から出土している。

母岩別資料43・接合資料1086 (図 - 127、図版97 - 2)

母岩別資料は接合1086と剥片2点で構成され、総点数21点、総重量123.4gである。

素材 19点(16個体)が接合し、重量は119.4g、大きさは9×5×4cmで、ザラついた岩屑面がある角礫を素材とする。粗割りされた状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 裏面の原石面を打面として、左側面に側面調整を行う(段階1)。打面を作出し、正面、左側面、裏面で石刃・縦長剥片を剥離していく(段階2)。この時、裏面の剥離によって顕著なヒンジが起こり、打面を大幅に再生(段階3)する要因となっている。作業面高が1.5cmほど減じた後、下方からの剥離(段階4)によって左側面の突出部を除去し、再び石刃・縦長剥片を剥離していく(段階5)。正面と右側面を中心に作業が行われ、特に正面側では末端部が「し」の字状の石刃が多く剥離されている。これらの剥離によって石核形状が粗い円錐形となり、作業面高を2cmほど減じる打面再生(段階6)下方からの石核調整の後、右側面の稜を利用して細石刃剥離が行われ、細石刃核411が遺棄される。

分布 ほとんどがSb-10から散漫に出土しているが、Sb-8の北部に段階5の石刃332、南部に段階5の石刃177の下半部、南東部に段階3の剥片が分布している。

接合資料1089 (図 - 128、図版98 - 1)

素材 12点(11個体)が接合し、重量は86.0g、大きさは7×3.5×4cmで、素材は不明だが、粗い円錐形の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 打面調整を施しながら、石刃・縦長剥片の剥離(段階1)を行っている。作業面高は約7cmで、欠落している部分を合わせると石核をほぼ全周するように作業が行われている。段階1の石刃は二次加工ある剥片393の素材となっている。その後、左側面の一端で細石刃を2～3枚連続的に剥離(段階2)するが、この時の作業面高は約4.8cmである。段階3は左側面の石刃剥離である。作業面高が短いため、目的的な石刃剥離ではなく、石核形状を整える調整であった可能性も考えられる。最終的な石刃剥離がウートラパッセを起こし、円錐形の石核形状が崩れたため、石刃核422が遺棄される。

分布 Sb-8と9に分かれて分布する。段階1は両ブロックにみられ、段階2はSb-9、段階3と石刃核はSb-8から出土している。

母岩別資料347・接合資料1093 (図 - 129、図版98 - 2)

母岩別資料は接合1093のみである。

素材 13点(10個体)が接合し、重量は83.2g、大きさは8.5×4×3.5cmで、平滑な原石面がある三角柱状の角礫を素材としている。ほぼ原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 平坦面を裏面として、正面を中心に石刃・縦長剥片を剥離していく。準備段階の石核調整として、左側面の下部に側面調整が施され(欠落)、正面方向から打面が作出されている。打面は裏面側に向かって傾斜しているため、石刃・縦長剥離作業は正面を中心に行われることとなる。石刃・縦長剥片の剥離(段階1～3)は打面調整を施しながら行われている。各段階の間には作業面高が4mm程減じる打面再生が行われ、最終的に細石刃が数回剥離されている(欠落)。段階4は下端からの石刃剥離で、打面は裏面からの剥離によって作出されている。最終的に石核の厚さがなくなったため、細石刃核418が遺棄される。

分布 3か所のブロックに分かれて分布している。段階1はSb-8・10に、段階2はSb-8・9、

段階 3・4、細石刃核418はSb-9から出土している。

母岩別資料31・接合資料1032 (図 - 130・131、図版99)

母岩別資料は接合1032の他、接合51006・51007で構成され、総点数31点、総重量135.3gである。

素材 27点(22個体)が接合し、重量は132.0g、大きさは12×4.5×6.5cmで、平滑な原石面がある撥形の角礫を素材とする。原石の状態では遺跡に搬入されている。

剥離工程 原石の幅の狭い一端に多方向からの剥離で打面を形成(段階1)し、原石面を除去するように縦長剥片(段階2)を連続的に剥離する。段階2の大型の縦長剥片は細石刃核の素材(個体A)となっている。打面を再生し、石核の下部を調整(段階3)した後、再び石刃・縦長剥片を剥離(段階4)する。最終的な石核は欠落しているが、先のややすぼまる円筒形であったと思われる。

個体Aは段階2で得られた、背面が原石面に覆われた縦長剥片を素材とし、長さ96.4mm、幅41.2mm、厚さ24.7mmである。素材の末端側の原石面を打面に設定し、両側縁の下部に裏面から軽微な調整を施した後、右側面で集中的に石刃・縦長剥片を剥離(A-段階1)する。側面を再調整(A-段階2)した後、再び右側面を中心に石刃・縦長剥片を剥離(A-段階3)を行い、この段階の石刃は搔器380に加工されている。A-段階4は細石刃の剥離で、右側面で集中的に行われている。残核の作業面高と前段階での作業面高では約3.5cmの差があり、欠落する空間部分が5mm程と狭い。最終的に右側面の剥離角が鈍角になったため、細石刃核410が遺棄される。

分布 Sb-8全体から散漫に出土している。個体Aの段階1の石刃250と縦長剥片206はやや離れた南側のS17区に分布している。

母岩別資料22・接合資料1007 (図 - 132・133、図版100)

母岩別資料は接合1007の他、接合1008、石刃2点、縦長剥片1点、剥片23点で構成され、総点数95点、総重量362.9gである。

素材 67点(52個体)が接合し、重量は274.1g、大きさは10×7.5×5.5cmである。剥片素材で、背面には半月状の「つめ跡」がある原石面がみられる。

剥離工程 素材の打面側に石核の打面を設定している。基本的に打面の作出・再生(段階1・4・8)、打面調整(段階3・5)を施しながら石刃・縦長剥片の剥離(段階2・6)が行われ、最終的に細石刃が剥離(段階9)されている。石核の裏面側は湾曲しているため剥離作業は及んでいない。段階2は両側面を中心とした作業で、段階4では再生によって作業面高が1cmほど減じている。段階6は石核を半周する作業で、正面の剥離はヒンジを起こしているものが多く、途中下方からの調整(段階7)によって修正され、右側面で剥離された石刃が搔器383に加工されている。段階8では再生によって作業面高が1cmほど減じている。段階9の細石刃剥離は、石核の急角度の稜を利用し、正面と右側面で行われるが、いずれも2、3点の細石刃しか剥離されず、やや幅広の細石刃(石刃)も剥離されている。最終的に細石刃核415が遺棄される。

分布 Sb-8のR17区を中心に散漫に分布している。段階1の剥片がブロック外のP18区、段階6の石刃と段階9の細石刃が1点ずつSb-9から出土している。

接合資料1088 (図 - 134、図版101-1)

素材 11点(9個体)が接合し、重量は106.0g、大きさは8×5.5×3cmである。剥片素材で、背面は半月状の「つめ跡」がある原石面が覆っている。

剥離工程 主に石核右側面に資料が接合している。素材の打面側に石核の打面を作出し、右側面下部で側面調整を行った後、石刃・縦長剥片の剥離(段階1)を開始する。その後、裏面下部を平坦にする調整を施し(欠落)、石刃・縦長剥片の剥離(段階2)が行われるが、最後の剥離がヒンジを起こ

している。段階3は、正面からの調整で、前段階のヒンジを除去し、平面形をV字形に整形している。打面を再生後、両側面で作業が再開（段階4）し、右側面で状態の悪い細石刃が2、3点剥離されている（欠落）。最終的に周縁から打面調整が施されるが、石刃剥離は両側面のみで行われ、右側面でヒンジが起ったため、細石刃核416が遺棄されている。

分布 Sb - 8・9に分かれて分布し、Sb - 9では段階4の石刃と細石刃核が出土している。

母岩別資料26・接合資料1016・1015（図 - 135・136、図版101 - 2・102 - 1）

母岩別資料は接合1016・1015で構成され、総点数10点、総重量305.0gである。

素材 接合1016は4点（4個体）が接合し、重量は37.3g、大きさは6×4.5×2cmで、接合1015は6点（5個体）が接合し、重量は267.7g、大きさは11.5×4.5×5.5cmである。素材は不明だが、半月状の「つめ跡」がある原石面がみられる。

剥離工程 両接合資料から遺跡内では初期段階の剥片剥離のみ行われ、石核は遺跡外に搬出された可能性が高い。接合1016は素材の末端側を石核の打面に設定している。段階1は素材の腹面側からの打面作出剥離で、同方向からの打面調整の後、左側縁で原石面に覆われた縦長剥片が剥離（段階2）される。右側面からの打面再生（段階3）の後、石核下部を急斜度調整によってV字形に加工し、右側面で細石刃の剥離が開始する（欠落）。最終的に作業面でヒンジが起こったため、細石刃核412が遺棄される。

接合1015は厚手の縦長剥片を二回剥離し、最初の縦長剥片は搔器（図版102 - 1 - 540）に加工され、後の縦長剥片は石核の素材（個体A）となる。個体Aは素材の末端側を石核の打面に設定している。A - 段階1は腹面側からの打面作出剥離で、素材末端部を大きく除去することによって、打面の厚みが確保している。素材背面の両側縁に軽微な側面調整を施した後、両側縁で石刃・縦長剥片の剥離（A - 段階2）を開始するが、欠落した部分を含めてそれぞれ2～3回の剥離で終了する。最終的に打面調整が施されるが、石刃核432が遺棄されている。

分布 接合1016はSb - 8のQ18区にまとってみられる。接合1015はSb - 7で南北に離れて出土するが、A - 段階2の石刃152はSb - 8の西縁辺部に分布している。

母岩別資料29・接合資料1028（図 - 136、図版102 - 2）

母岩別資料は接合1028・1027、剥片1点で構成され、総点数8点、総重量131.4gである。

素材 2点（2個体）が接合し、重量は81.7g、大きさは10×4×2cmである。剥片素材で、背面は半月状の「つめ跡」がみられる原石面に覆われている。

剥離工程 素材の打面側に腹面から加撃によって打面を作出（段階1）し、打面調整を行いながら左側面で石刃・細石刃が剥離されている（欠落）。側面調整や下縁からの調整などはみられない。最後まで左側面しか作業が行われず、細石刃核417が遺棄される。

分布 2点ともSb - 9から出土している。

母岩別資料27・接合資料1019・1020・1018（図 - 137～140、図版103～105）

母岩別資料は接合1019・1020・1018の他、接合1017・1021・1022、細石刃1点、剥片5点で構成され、総点数67点、総重量836.2gである。

素材 接合1019は22点（18個体）が接合し、重量は204.5g、大きさは6.5×11×7.5cmで、接合1020は22点（19個体）が接合し、重量は464.8g、大きさは9.5×13×5.5cmで、接合1018は8点（8個体）が接合し、重量は86.9g、大きさは5.5×4.5×5cmで、半月状の「つめ跡」のある円礫を素材とする。原石の状態でも遺跡に搬入されている。

剥離工程 接合資料から遺跡内では初期段階の剥片剥離のみ行われ、石核は遺跡外に搬出された可能

性が高い。接合1019は正面上から大型の縦長剥片が剥離（段階1）され、次に下面で多方向からの剥離（段階2）によって原石面が除去されている。これは石核の打面作出とみられるが、石核部分が欠落しているため詳細は不明である。個体Aは、段階1の縦長剥片をV字形に分割して細石刃核の素材としている。石核を整形する側面調整や下縁からの調整はみられず、分割面側での石刃・縦長剥片の剥離（A - 段階1）の後、打面再生を行い、石核の下部を取り込むような石刃・縦長剥片を両側縁で剥離する（A - 段階2）。この結果、石核はほぼ円錐形になり打面再生の後、細石刃剥離に移行する。細石刃は一回の打面再生（A - 段階4）をはさんで、主に正面と両側面で剥離（A - 段階3・5）されている。最終的に細石刃核405が遺棄される。

接合1020は、原石面を打面として連続的に剥片を剥離する（段階1）。段階1で最初に得られた厚手の剥片が搔器385に加工されている。それ以降の剥片は内在する球顆のため破損が激しい。打面を転移して左下方向から大型の縦長剥片が剥離され（段階2）、石刃核の素材（個体A）となっている。個体Aは、素材の右側面を石核の打面、素材の腹面を主な石刃・縦長剥片の作業面に設定している。打面は連続的な素材腹面側からの剥離によって作出され（A - 段階1）、正面観が凹状となる。A - 段階2は両側面を中心とした石刃・縦長剥片の剥離である。次に打面を180°転位し、原石面をそのまま打面として下方から石刃・縦長剥片の剥離（A - 段階3）が行われる。最終的に作業面が薄くなり剥離が困難になったため、石刃核435が遺棄される。

接合1018は、剥片素材で素材の末端側を石核の打面に設定し、正面を中心に剥片剥離が行われている（段階1～4）。特に段階1・3は下端の原石面を取り込み、末端部が「し」の字状になる幅広の剥片で、作業面再生の意図があったのかもしれない。最終的に石刃核431が遺棄される。

分布 接合1019は基本的にSb - 9に分布しているが、個体Aの段階1・3・5の一部と細石刃核がSb - 8から出土している。接合1020はSb - 8のQ18区を中心とし、南北に散在している。特に段階1の剥片が広い範囲で見られる。接合1018はSb - 9からまとまって出土している。

母岩別資料30・接合資料1030・1031（図 - 141～143、図版106・107）

母岩別資料は接合1030・1031と接合1029で構成され、総点数36点、総重量592.2gである。

素材 22点（21個体）が接合し、重量は360.5g、大きさは13.5×11×7cmで、接合1031は10点（10個体）が接合し、重量は158.4g、大きさは6×9×4cmである。素材は不明だが、角が摩滅した原石面が見られる。石核部分が欠落しているため、原石形状の復元には到っていない。

剥離工程 両接合資料から遺跡内では初期段階の剥片剥離のみ行われ、石核は遺跡外に搬出された可能性が高い。接合1030は上方から行われた縦長剥片の剥離（段階1～3）である。段階1の背面はすべて原石面に覆われている。段階2は大型の剥片で、三分割され（個体A～C）、それぞれ剥片剥離が行われている。個体Aは分割した中で最も大型の素材で、素材の末端側を石核の打面に設定している。原石面を除去するように正面からの加撃によって打面を作出し（A - 段階1）、裏面を中心に石刃・縦長剥片を剥離する（欠落）。その後、右側面からの加撃で打面を再生し（A - 段階2）、右側面を中心に石刃・縦長剥片が剥離（A - 段階3）される。A - 段階4は正面からの打面再生である。最終的にA - 段階5の剥離によって、直径1cmほどの球顆が現れ、作業面の形状が大きく損なわれたため、石刃核428が遺棄される。個体Bは個体Aとの分割面を打面に、個体Cとの分割面を作業面に設定している。打面を左側面から作出し（B - 段階1）、細石刃剥離（欠落）が行われているが、作業は正面の両角でのみ行われ、良好な細石刃は得られていない。この他に打面調整、頭部調整、末端をV字形にする下縁調整が見られる。最終的に細石刃核419が遺棄される。個体Cは個体Bとの分割面を主な作業面に設定している。上下からの剥離（C - 段階1・2）によって作業面形状を整え、石

刃剥離（C - 段階3）を開始する。石核は欠落している。

接合1031は剥片素材の石核の接合資料である。素材の大きな打面部をそのまま石核の打面に設定している。右側縁で素材腹面を取り込む剥離をした後、正面で石核の厚さの大部分を損なう剥片が剥離され、それぞれが石核の素材（個体A・B）となっている。個体Aは素材の打面側を石核の打面に設定している。腹面側から打面が作出され、右側縁で剥離が行われる（A - 段階1）。その後、打面を再生し（A - 段階2）、作業面を素材の腹面側に移動して剥離を行っている（A - 段階3）。A - 段階3で激しいウートラパッセが起こり、石核の大半を損なったとみられ、石核436が遺棄される。個体Bは素材の打面側に石核の打面を設定している。右側面から打面を作出（B - 段階1）した後、打面調整を行いながら正面で石刃剥離（B - 段階2）が行われる。彫器361はB - 段階2の石刃を素材とする。途中、下方から石核の形状を円錐形にするための調整が施される。最終的に石核の裏面で縦長剥片が剥離され（B - 段階3）、石刃核424が遺棄される。

分布 接合1030は3か所のブロックからまばらに出土している。最も遺物がみられるのがSb - 8だが、南北に広がって散在している。特に段階3の縦長剥片はブロックの南端に分布する。Sb - 7ではC - 段階1の剥片が単独で出土し、Sb - 9にはA - 段階3の石刃1点とA - 段階5の細石刃、細石刃核がみられる。接合1031は個体AがSb - 8のQ18区にまとまってみられるのに対して、個体BはSb - 8から散漫に出土している。

母岩別資料39・接合資料1055（図 - 144・145、図版108）

母岩別資料は接合1055の他、接合1053・1054・1056で構成され、総点数47点、総重量212.0gである。

素材 37点（32個体）が接合し、重量は181.8g、大きさは12×7×4cmで、ザラついた岩屑面がある板状の角礫を素材とする。ほぼ原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 石核下部に裏面からの側面調整を施した後、原石の稜を利用し、原石面を打面として縦長剥片を剥離する（段階1）。その後は打面再生（段階2・4・6・9）と石刃・縦長剥片の剥離（段階3・5・7・10）が交互に行われている。段階1と3の間には石核の下部に裏面から側面調整が施され（欠落）、段階5と7の間や段階7の途中には下方からの剥離が行われている。一回の打面再生による作業面高の減少は5mm程となっている。段階8は細石刃の剥離で、段階7と打面の高さを変えずに右側面で剥離されている。この時点での作業面高は約6.2cmである。段階10からは再び石刃・縦長剥片の剥離となり、最終的な石核は欠落している。

分布 Sb - 10のP20区を中心に比較的まとまって分布している。

母岩別資料38・接合資料1051（図 - 146、図版109 - 1）

母岩別資料は接合1051の他、接合1050・1052で構成され、総点数33点、総重量98.2gである。

素材 23点（16個体）が接合し、重量は71.1g、大きさは13.5×4.5×4.5cmで、滑沢面のある柱状の角礫を素材としている。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 原石長軸の一端に打面を作出し（段階1）、正面を中心に原石面を除去する縦長剥片を剥離する（段階2）。下部で側面調整（段階3）が施された後、石刃剥離（段階4）が再開する。段階4・5の間には側面調整と下縁からの調整が施され（欠落）、石核の下部が楔形になり、段階5で剥離された末端が「し」の字状の石刃によって石核形状が粗い円錐形に変化している。段階6は細石刃剥離で、段階4からの作業面高の減少は1.5cm程である。最終的な作業面高は約8cmで、細石刃核は欠落している。

分布 Sb - 10のP20区を中心に分布するが、段階4の石刃199の下半部は単独でSb - 8のQ17区が

ら出土している。

母岩別資料37・接合資料1048 (図 - 147、図版109 - 2)

母岩別資料は接合1048の他、接合1049、剥片 1 点、細石刃核 1 点で構成され、総点数21点、総重量67.9gである。

素材 18点 (15個体) が接合し、重量は56.1g、大きさは10×6.5×4 cmで、素材は不明だが、原石面はザラついた岩屑面である。

剥離工程 下方からの剥離 (段階 1) の後、右側面で石刃・縦長剥片が剥離される (段階 2)。作業面高を約 1 cm減少させる打面再生と下方からの調整 (欠落) の後、両側面で石刃剥離が行われる (段階 3)。段階 4 は細石刃の剥離で、段階 3 から作業面高が1.2cm減少し、約 7 cmとなり、左側面で作業が行われる。その後、下縁から両側面に調整が施され、石核の下部が楔形になり、正面を中心に末端が「し」の字状の石刃が剥離される (段階 5)。この剥離によって正面の原石面が除去され、石核形状が粗い円錐形になったとみられる。したがって、段階 5 は石刃を目的的に剥離したのではなく石核整形的な意味が強いものと思われる。段階 6 は左側面での細石刃剥離で、作業面高は約 6 cmで、段階 5 とは打面の高さを大きく変えずに剥離されている。最終的な細石刃核は同一母岩である図 - 111 - 403であると考えられる。

分布 Sb - 9・10に分かれて分布する。段階 2・3 は Sb - 9 にみられ、段階 4・5 は Sb - 10 から出土している。

母岩別資料19・接合資料1003 (図 - 148～154、図版110～113)

母岩別資料は接合1003の他、接合1001・1002・51001～51003、細石刃 1 点、石刃 2 点、二次加工ある剥片 1 点、剥片42点で構成され、総点数138点、総重量1,141.1gである (服部台 2 遺跡出土分を含む)。

素材 78点 (56個体) が接合し、重量は1,008.1g、大きさは12.5×11.5×14cmで、角が摩滅した亜角礫を素材とする。打面と左側面に大きな剥離を行った状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 基本的に打面再生 打面調整 石刃・縦長剥片剥離が繰り返し行われる。打面再生剥片の打点位置は、ほぼ次の石刃・縦長剥片の作業面に対応している。その際、作業面の範囲は比較的狭く、次段階の打面再生剥片の打点位置もすぐ隣とは限らない。したがって、石刃・縦長剥片の剥離は、一度に石核を全周するように剥離するものではない。また打面再生を行うと、各段階とも作業面高が 1 cm前後減じている。剥離の全過程をとおして側面調整の痕跡はみられない。

段階 1 は、正面を中心とした石刃・縦長剥片の剥離である。正面を中心とした比較的多方向からの打面再生 (段階 2) の後、作業面の位置を段階 1 とほとんど変えずに石刃・縦長剥片を剥離する (段階 3)。また、二次加工ある剥片399は段階 2 の剥片を素材としている。その後、剥離作業は裏面に移動し、下方から原石面を打面として厚手の縦長剥片が剥離 (段階 4) され、石核の素材となる (個体 A)。次に再び上方からの剥離に戻り、打面を再生 (段階 5) し、正面から左側面にかけて石刃・縦長剥片を剥離 (段階 6) するが、この段階の石刃のほとんどは欠落している。段階 7 は右側面方向からの打面再生で、その打面に対応するように背面が原石面に覆われた縦長剥片が剥離される (段階 8)。段階 9 は、裏面を中心とした下方からの石刃・縦長剥片の剥離である。ここまでが奥白滝 1 遺跡で接合している剥離工程である。その後に接合している石刃・縦長剥片は、すべて西側の沢を挟んだ服部台 2 遺跡から出土しているため、奥白滝 1 遺跡で剥片剥離を行った後、石核を搬出し、服部台 2 遺跡で剥離作業を再開した可能性が高い。

服部台 2 遺跡では、右側面と裏面を中心に石刃・縦長剥片が剥離されている。打面再生剥片は欠落

しているが、作業面高の違いから一回の打面再生を挟んで段階10と11が剥離されたものと考えられる。両段階とも途中で下方からの剥離が含まれ、段階11の作業面高は約8cmになっている。最終的な石刃核は欠落し、両方の遺跡からも出土していない。

個体Aは、全体の段階4で得られた縦長剥片である。両側縁に軽微な調整が施され、素材の先端側を厚さ約3cmになる所で折り取り、右側面から打面を作出(A - 段階1)している。石刃・縦長剥片は右側面のみで剥離され(A - 段階2・4)途中、素材腹面からの打面再生がみられる(A - 段階3)。最終的に石刃剥離が連続してヒンジになったため、石核430が遺棄される。

分布 奥白滝1遺跡と服部台2遺跡から出土し、遺跡間接合している。服部台2遺跡は奥白滝1遺跡の西側、富樫川を挟んだ上白滝面上にあり、両出土地点は直線距離で約340mである。

奥白滝1遺跡では、3か所のブロックに分かれて分布する。最も遺物がみられるのがSb - 8で、R17区に集中し、その北側にも散漫に広がっている。Sb - 9には段階1の縦長剥片284と段階9の石刃240が出土し、Sb - 10には段階6の石刃232が単独で出土している。

服部台2遺跡では、段階10の石刃505と剥片506がK9区の集中域から出土し、段階10の縦長剥片510がL8区の西部の散漫な地点に分布している。

母岩別資料23・接合資料1008 (図 - 155~158、図版114・115)

母岩別資料は接合1008の他、接合1009・1010・51004・51005、剥片37点で構成され、総点数111点、総重量1,047.2gである。

素材 56点(38個体)が接合し、重量は980.0g、大きさは15×12.5×12cmである。角が摩滅し、下部がすばまる亜角礫を素材とする。原石の状態に搬入されている。

剥離工程 段階1は左側面での上からの剥離である。連続性がなく、末端がヒンジで2cm程度と短いことから、偶発的に剥離された可能性が高い。段階2は打面を作出する剥離である。特に、裏面方向から集中的に加撃され、最大で約5cm近く打面の高さが減じ、傾斜した上面が平坦となっている。段階2の剥片は、搔器387・389・390に加工され、515は彫器の素材となる(個体A)。次に打面調整を行いながら石刃・縦長剥片が剥離されていく(段階3・5・6・7)。それぞれの段階間には打面再生が施され(欠落)、作業面高が7mm程度減じていく。段階4は下方からの剥離で、段階3でできたヒンジを除去することが目的と思われる。段階3の後半から、幅が同じで規格性の高い石刃が連続的に得られ、搔器368(段階3)・384・371・367(段階5)・370(段階6)・366・373(段階7)二次加工ある剥片395(段階5)と高い割合で石器に加工されている。これらの石刃剥離は、正面を中心に左右両面で行われ、作業面が一方に後退している。最終的な石刃核は欠落しているが、実測図内側の空白部分から7×6×3.5cm程であったとみられる。

個体Aは、幅広剥片の末端部に裏面から調整を行い彫刀面の打面としている。軽微な側縁調整の後、両側縁で彫刀面が作出され、彫器360となる。さらには削片を素材として彫器359に加工されている。

分布 3か所のブロックに分かれて分布する。最も遺物がみられるのがSb - 7で、Q16区を中心として帯状に分布している。Sb - 8ではブロック全体から散漫にみられ、Sb - 9には中央の遺物集中域の中から出土している。搔器など石器に加工されたものがSb - 8・9に多く分布する傾向がみられる。

母岩別資料33・接合資料1034 (図 - 159・160、図版116・117 - 1)

母岩別資料は接合1034の他、接合1035~1038、石刃1点、剥片1点で構成され、総点数72点、総重量668.8gである。

素材 45点(29個体)が接合し、重量は594.1g、大きさは11×9×9cmで、角が摩滅した亜角礫を

素材とする。正面と打面部を大きく剥離した状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 正面と右側面で原石面を除去するように縦長剥片の剥離が行われる（段階 1）。段階 2 は側面調整で、前段階のヒンジを除去している。再び両側面で厚手の縦長剥片を剥離し（段階 3）、側面の湾曲が除去され平坦面となり、石核の平面形が V 字形になる。段階 3 で剥離された厚手の剥片は掻器 386 に加工されている。その後、正面を中心に打面再生（段階 4）し、打面調整・頭部調整を行いながら、石刃・縦長剥片が連続的に剥離（段階 5）される。最後の石刃がウートラパッセになり、作業面高が著しく減少したため、石刃核 425 が遺棄される。

分布 4 か所のブロックに分かれて分布する。段階 2・3・4 は S b - 7 に多く、段階 1・5 は S b - 9 に多く出土する傾向がみられる。S b - 10 には段階 1 の石刃 239 がみられ、S b - 8 には段階 3 の石刃 274、段階 4 の剥片 1 点、段階 5 の石刃 325 の上半部がまばらに出土している。ブロック間の折れ面接合が 4 例確認された。

母岩別資料 20・接合資料 1004（図 - 161、図版 117 - 2）

母岩別資料は接合 1004 と剥片 1 点で構成され、総点数 24 点、総重量 499.9g である。

素材 23 点（12 個体）が接合し、重量は 496.5g、大きさは 16 × 6 × 7.5cm で、角が摩滅した棒状の亜角礫を素材とする。原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 正面からの剥離によって上設の打面を作出（段階 1）し、原石の稜を利用して縦長剥片を剥離していく（段階 2）。これらの縦長剥片は、正面から右側面方向に打点位置を移動しながら剥離していき、最後は激しいヒンジを起こしている。その後、打面を 180° 転移して下設の打面を形成し（段階 3）、段階 2 のヒンジを除去するように縦長剥片の剥離を行う（段階 5）。接合する剥片の末端は、2 点ともウートラパッセになっている。また、段階 4 は左側面の凸部を除去するための剥離だが、ヒンジを起こしている。段階 4 と 5 の前後関係は不明だが、これらの失敗剥離によって石核形状が変形したため、石核 437 が遺棄される。

分布 S b - 8 から散漫に出土している。特に段階 2 が大きく広がってみられる。

母岩別資料 42・接合資料 1084（図 - 162～167、図版 118・119）

母岩別資料は接合 1084 の他、接合 1079・1081・1083・51015～51017、細石刃 5 点、石刃 4 点、縦長剥片 2 点、剥片 53 点、石刃核 1 点、で構成され、総点数 219 点、総重量 1,361.1g である。

素材 131 点（93 個体）が接合し、重量は 1,004.0g、大きさは 18 × 13 × 11.5cm で、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。ほぼ原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 まず、原石を二分割（分割面 = トーン部分）し、それぞれ剥片剥離が行われている。

個体 A はほとんどの資料が欠落しているが打面を作出し、側縁調整を施した後、両側面で上下方向から石刃・縦長剥片を剥離する。さらに、下方からの石刃は両側縁で細石刃が剥離され、細石刃核 414 が遺棄される。最終的な石核は同一母岩の石刃核 420 とみられる。

個体 B（図 - 164 - 520）は、分割面を裏面に設定し、打面を作出後（欠落）裏面側から左側面を集中的に調整する（B - 段階 1）。調整は途中で裏面側にも及び、一部交互剥離となっている。これらの調整によって石核の平面形状は、両側縁がほぼ平行で、末端部が緩やかに湾曲する U 字形となる。続いて石刃・縦長剥片の剥離と打面再生・調整が繰り返し行われていくが、欠落している資料と打面部が破損しているものが多いことから、段階設定は大まかに括っている。

まず、右側面で裏面と側面の稜を利用して石刃・縦長剥片が剥離されている（B - 段階 2）。途中、下方からの剥離（B - 段階 3）によって石核形状が整えられる。この段階での作業面高は約 15cm で、二次加工ある剥片 398 は B - 段階 2 で得られた石刃を素材としている。B - 段階 4 は B - 段階 5 の石

刃・縦長剥片と対応する打面再生・調整の剥離である。打面再生・調整は次の石刃作業面からの加撃が多い。B - 段階6はB - 段階5の剥離の途中に施される右側面下部の調整で、他にも石刃352の背面に側面調整の痕がみられ、B - 段階5を剥離しながら最低二回の側面調整が行われたことが分かる。搔器388、錐形石器392、二次加工ある剥片397はB - 段階5で得られた石刃を素材としている。同様にB - 段階7はB - 段階8の石刃剥離、B - 段階9はB - 段階10の石刃剥離に対応している打面再生・調整の剥片で、B - 段階8は右側面と正面が中心、B - 段階10は正面を中心に剥離され、途中、ヒンジを除去するために下方から剥離が行われる（B - 段階11）。その後も石刃剥離が進行し、最終的に石核の中央部に最大厚がある形状となったため、石刃核421が遺棄される。断面図を見ると石刃核は素材のほぼ中心に位置し、すべての面からほぼ均等に石刃・縦長剥片が剥離されている。

分布 個体AはすべてSb - 9から出土し、個体Bは4か所のブロックとブロック外にみられる。剥離段階の前半（B - 段階1・2・4・5）はSb - 7・8に分布し、後半（B - 段階7～11）はSb - 9を中心に一部がSb - 8に広がる傾向がある。B - 段階3は分布が広範囲でみられ、剥片が約30m北側のJ18区から単独で出土し、縦長剥片がO19区から出土している。ブロック間の折れ面接合が多くみられ6例確認された。

母岩別資料34・接合資料1039（図 - 168・169、図版120）

母岩別資料は接合1039の他、接合1040・1041、剥片3点で構成され、総点数35点、総重量400.5gである。

素材 24点（20個体）が接合し、重量は349.5g、大きさは10.5×8.5×8cmで、角が摩滅した亜角礫を素材とする。ほぼ原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 大きな幅広の剥離によって石核形状をおおまかに整形する。それぞれ、正面では上方から、左側面では裏面から（段階1）裏面では下方から剥離が行われている。さらに、右側面では、前段階で得られた平坦な裏面を打面として入念に側面調整が施される（段階2）。これらの剥離によって平面形がU字形で、縦断面がV字形、断面がカマボコ形で、大きさは7.5×6.5×9.5cm程の石核母型が準備される。石刃・縦長剥片は打面を作出後、まず両側面と裏面の稜を利用して開始される（段階3）。この時、左右の側面から剥離された縦長剥片が交差するようにウートラパッセを起こし、作業面高が約2cm減じている。打面再生（段階4）を行った後、石刃剥離が右側面で再開される（段階5）。この段階で得られた石刃3点は全て搔器365・377・378に加工される。この後、作業終了時までに打面再生（段階6・8）と石刃・縦長剥片（段階7・9）の剥離は交互に行われる。段階6は右側面から連続的に施され、それに対応するように段階7は右側面での剥離が中心である。末端が厚い「し」の字状の石刃が多く、搔器382・379は段階7で剥離された石刃を素材としている。段階9の前処理として、下方からの調整がみられるが、資料は欠落している。段階8は内在する割れによって分厚いヒンジを起こし、それより左側の剥離角が鈍角となったため、段階9も右側面を中心として剥離されている。段階5・7・9とも右側面を中心とした石刃・縦長剥片の剥離で、末端が厚い「し」の字状の剥片が多い。このため石核の下端が左側に偏ってしまい、石核形状の修正が困難となったため、石刃核426が遺棄される。

分布 剥離段階の前半（段階2～4）はSb - 7に分布し、後半（段階5～9）はSb - 10から出土している。Sb - 8には段階3の縦長剥片と段階9の石刃が1点ずつみられる。

母岩別資料348・接合資料1094（図 - 170・171、図版121）

母岩別資料は接合1094のみである。

素材 27点（18個体）が接合し、重量は327.3g、大きさは12×8.5×6cmで、角が摩滅した亜角礫を

素材とする。裏面と右側面を大きく剥離した状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 平坦な裏面から、左側で側面調整を行う（段階 1）。この時、下端の突出部も除去され、石核の平面形が V 字形となっている。打面を再生した後、打面調整を行いながら主に左側面と正面で石刃・縦長剥片の剥離を開始する（段階 2）。彫器 355・356・357 は段階 2 で剥離された石刃を素材としている。その後、正面中央部の突出部を除去する左側面からの調整が施され（段階 3）、石刃・縦長剥片の剥離を再開する（段階 4）。作業は、裏面を除いた全ての面で行われ、末端部がウートラパッセを起こしているものが多いため、石核形状は粗い円錐形に変化している。石核部分は欠落している。

分布 Sb - 8 の Q17 区を中心としてまばらに分布している。

母岩別資料 24・接合資料 1011（図 - 171～173、図版 122・123 - 1）

母岩別資料は接合 1011 の他、接合 1012、剥片 2 点で構成され、総点数 68 点、総重量 499.2g である。

素材 64 点（43 個体）が接合し、重量は 491.9g、大きさは 16.5 × 10 × 6.5cm で、ザラついた岩屑面があり、下部が楔形になっている角礫を素材とする。原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 段階 1 は裏面からの側面調整で、両側面の外湾した部分をそれぞれ除去している。上部に打面を作出した後、正面の原石面を除去しながら石刃・縦長剥片が剥離（段階 2）される。彫器 358 は段階 2 で剥離された縦長剥片を素材としている。途中、何回かの打面再生が行われるが、打面部の欠損が激しく、段階の設定が困難であったため、次の明確な段階までの石刃剥離をすべて段階 2 とした。段階 3・4 は下縁からの調整で、それぞれ段階 2・5 の途中に行われている。石核下縁の楔形状を保持し、上からの石刃剥離の際にできたヒンジを除去する目的とみられる。段階 5 の石刃・縦長剥片は、主に石核の正面・両側面で剥離され、最終的な作業面高は約 10cm である。石核部分は欠落している。

分布 Sb - 10 の O20・21 区の境を中心としてまばらに分布している。

母岩別資料 349・接合資料 1095（図 - 173・174、図版 124）

母岩別資料は接合 1095 のみである。

素材 48 点（30 個体）が接合し、重量は 482.9g、大きさは 14.5 × 8.5 × 4.5cm で、ザラついた岩屑面がある板状の角礫を素材とする。原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 正面からの厚手の剥離（段階 1）で打面を作出し、打面調整を行いながら左側面で石刃・縦長剥片の剥離を開始する（段階 3）。途中、石核下部を薄くする横からの調整（段階 2）を行い、石核形状を整えている。搔器 372 は段階 3 で剥離された石刃を素材としている。次に、反対の右側面で同様に石刃・縦長剥片を剥離（段階 4）していく。段階 3・4 は同じ高さの打面で、石刃末端部も「し」の字状になっているものが多い。これらの剥離によって側面の原石面が完全に除去され、平面形が、平行から V 字形に変化している。段階 5・6 はそれぞれ左右の側面での石刃・縦長剥片の剥離で、ここまでは打面調整のみで剥離が進行していく。段階 6 では特に末端部が「し」の字状になる石刃が多くみられる。その後、作業面高を 5mm 程減じる打面再生を行い、石核下端からの調整が施され（欠落）、石刃・縦長剥片の剥離が正面を中心に再開する（段階 7）。最後に剥離された石刃が、ウートラパッセとなり、石核の円錐形状が大きく崩れたため、石刃核 423 が遺棄される。

分布 Sb - 8 の Q17 区を中心としてまばらに分布している。

母岩別資料 345・接合資料 1091（図 - 175・176、図版 125）

母岩別資料は接合 1091 のみである。

素材 31 点（18 個体）が接合し、重量は 208.3g、大きさは 14 × 3.5 × 4.5cm で、ザラついた岩屑面がある四角柱状の角礫を素材とする。原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 原石の稜をそのまま利用した石刃・縦長剥片の剥離（段階1～3）で、それぞれ間に打面再生が施されている（欠落）。段階3の大半は、石核の上半部までしか剥離が及んでいないため、下方からの剥離（段階4）によって石核を調整している。再び石核上端で作業面高が約1cm減じる打面再生（欠落）の後、裏面の左右の稜を利用して石刃・縦長剥片が剥離される（段階6）。段階5は石核下部の側面調整で、切り合い関係から段階9以前との剥離順が不明である。しかし、位置的な関係から段階6を剥離するための調整であった可能性が高い。石核が角柱状であるため末端の抜けが悪く、以後の石刃剥離（段階6・8・11）はヒンジになることが多く、下端からヒンジを除去する調整（段階7・9）が施されながら剥離が進行する。段階10は打面再生剥片で、段階11の作業面側から剥離されている。最終的に、段階11の石刃が、石核中央で頻繁にヒンジを起こしているため、石刃核434が遺棄されている。

分布 主にSb-7から集中して出土するが、Sb-8では、段階6の縦長剥片が北部、段階7の石刃172中央部から出土し、段階8の石刃342がSb-7とブロック間で折れ面接合している。

母岩別資料346・接合資料1092（図 - 176、図版126 - 1）

母岩別資料は接合1092のみである。

素材 9点（7個体）が接合し、重量は142.8g、大きさは10.5×4×3cmで、ザラついた岩屑面がある棒状の角礫を素材とする。ほぼ原石の状態に搬入されている。

剥離工程 打面を作出した後、原石の角を利用して石刃・縦長剥片の剥離（段階1）を開始する。打面は裏面側に傾斜しているため、石刃の剥離作業は正面が中心となる。段階2・3は正面からの打面再生剥離で、それぞれ作業面高が約6mm減じ、間に石刃剥離が行われている（欠落）。次に正面で縦長剥片が剥離（段階4）されるが、節理面により、石核中ほどでウートラパッセを起こしている。同一打面のまま剥離が右方面に進行していくが最終的に顕著なヒンジを起こしたため、石刃核433が遺棄される。

分布 Sb-8・9・10からまばらに出土している。段階1の石刃244はSb-8・10間で折れ面接合し、段階2・4はSb-9、段階3と石刃核433はSb-8に分布している。

母岩別資料36・接合資料1045（図 - 177、図版126 - 2）

母岩別資料は接合1045の他、接合1046・1047で構成され、総点数25点、総重量127.6gである。

素材 19点（14個体）が接合し、重量は114.3g、大きさは11×4.5×4.5cmで、平滑な面がある三角柱状の角礫を素材とする。原石の状態に搬入されている。

剥離工程 原石の長軸の一端に打面を作出し（段階1）、下縁を調整（段階2）した後、自然の稜を利用して原石面を除去しながら縦長剥片を剥離する（段階3）。段階4からは打面調整と頭部調整を施しながら石刃・縦長剥片を剥離していく。途中、左側面で裏面から側面調整（段階5）がみられる。最終的な石核は欠落している。

分布 Sb-10からまばらに出土している。

母岩別資料35・接合資料1044（図 - 177、図版127 - 1）

母岩別資料は接合1044の他、接合1042・1043、剥片1点で構成され、総点数20点、総重量123.2gである。

素材 7点（6個体）が接合し、重量は23.7g、大きさは8.5×3×3.5cmで、素材は不明だが、原石面は平滑である。

剥離工程 全体の左側面で行われた作業の一部である。裏面から側面調整（段階1）の後、打面調整を施しながら石刃・縦長剥片を剥離していく（段階2・3）。段階2は下方からの剥離で、段階3の

石刃は錐形石器391に加工されている。

分布 S b - 10からまばらに出土している。

母岩別資料25・接合資料1013・1014 (図 - 178 ~ 180、図版128・129)

母岩別資料は接合1013・1014の他、石刃2点、剥片1点で構成され、総点数40点、総重量227.4gである(服部台2遺跡分を含む)。

素材 接合1013は28点(20個体)が接合し、重量は167.6g、大きさは14×4×7.5cmで、接合1014は7点(5個体)が接合し、重量は98.6g、大きさは17×4.5×3.5cmである。素材は不明だが、原石面は平滑である。平面形がU字形、断面形が凸レンズ状になる両面調整石器の状態に搬入されている。

剥離工程 接合1013は、両面調整石器の片側縁での作業とみられ、基本的に打面再生・調整を行いながら石刃・縦長剥片を剥離していく。石核の側縁の稜から打面を作出後、段階1～3では石刃・縦長剥片を1～3本剥離する毎に打面を再生し、作業面高が1cm強ずつ減少している。段階4は、欠落している部分が多く、接合資料も打面部が欠損しているため、大きく段階を括った。途中、作業面下部での側面調整(段階5)がみられる。段階6での作業面高は約9.5cmになり、石刃1個体が服部台2遺跡で出土している。段階7は反対側縁での石刃剥離で、背面に側縁調整の痕がみられる。次に再び作業面を転移し、打面再生を施しながら石刃・縦長剥片の剥離が続く(段階8・9)。段階8から末端部が「し」の字状になるものやウートラパッセを起こしているものが多い。また、段階8と9の間には下縁からの調整が施されている(欠落)。最終的な作業面高は、約6.5cmで、石核は欠落している。

接合1014は接合1013の反対側縁の作業とみられ、側面調整の後、石刃剥離が行われている。

分布 奥白滝1遺跡と服部台2遺跡から出土し、遺跡間接合している。服部台2遺跡は奥白滝1遺跡の西側、富樫川を挟んだ上白滝面上にあり、両出土地点は直線距離で約340mである。

ほとんどが奥白滝1遺跡のS b - 8のQ17区を中心に分布しているが、石刃312(段階4)はS b - 9から、石刃311(段階4)はブロック外で約20m北側のL18区から、石刃532(段階6)は服部台2遺跡のK9区からそれぞれ単独で出土している。接合状態と段階毎の分布状況から奥白滝1遺跡で石刃剥離をある程度進行し、石刃532を服部台2遺跡に搬出した可能性が高い。また、石刃核は服部台2遺跡でも欠落している。

接合1014も同様にS b - 8のQ17区からまとまって出土している。

母岩別資料41・接合資料1064・1066・1067 (図 - 181 ~ 184、図版130 ~ 132 - 1)

母岩別資料は接合1064・1066・1067の他、接合1065・1068 ~ 1078・1185・51011・51013、石刃1点、縦長剥片2点、剥片8点で構成され、総点数138点、総重量1,561.8gである。

素材 接合1064は29点(26個体)が接合し、重量は304.4g、大きさは9.5×9.5×4.5cmで、接合1066は18点(10個体)が接合し、重量は235.6g、大きさは11×10×4.5cmで、接合1067は11点(6個体)が接合し、重量は162.4g、大きさは9.5×8.5×3cmである。素材は不明だが、原石面は平滑である。

剥離工程 接合1064は剥片素材とみられ、正面が下縁を中心に調整が施され、裏面は全体を覆うように左右からの調整(段階1)が行われる。これらの調整により平面形がU字形、縦断面がD字形、横断面が凸レンズ状になっている。打面を作出後、右側縁を中心に石刃・縦長剥片が剥離(段階2)され始める。段階2の石刃は搔器381、厚手の縦長剥片は二次加工ある剥片396に加工されている。石核下部に裏面側から剥離を行い(段階3)それを打面に設定して下方から剥片を剥離する(段階4)。次に上設の打面に戻り、打面再生(段階5・7)と石刃・縦長剥片の剥離(段階6・8)が交互に行

われる。作業面の位置は段階6が裏面中心、段階8が裏面から右側面にかけてである。最終的に段階3で得られた面を打面として、下方からの剥離（段階9）が行われる。石核形状が円錐形に整形されないまま、作業面高が小さくなったため、石刃核427が遺棄される。

接合1066は剥片素材で、段階1は内在する亀裂が原因で剥がれたもので、石核下部を左側面から調整した時に一緒に生じたと考えられる。素材の左側面に石核の打面を作出後、原石面を除去しながら比較的厚手の石刃・縦長剥片を剥離（段階2）していく。搔器374・375・369は、段階2で得られた石刃・縦長剥片を素材としている。段階3も石刃・縦長剥片の剥離であるが、段階2と違い、薄手の石刃が剥離されている。最終的な石核部分は欠落している。

接合1067は、石核の打面を作出する剥離である。途中に石刃・縦長剥片の剥離を挟まず、ほぼ全周するように一気に剥離している。搔器376はこの中で得られた比較的縦長の剥片を素材としている。最終的な石核部分は欠落している。

分布 接合1064は3か所のブロックから出土し、ほとんどはSb-8からみられるが、段階1の剥片がSb-7、段階2の石刃1点がSb-9に分布している。また、二次加工ある剥片396はSb-8でもやや南部のS19区から出土している。

接合1066はSb-7・8に分かれてみられ、段階1・2はSb-7、段階3の多くはSb-8から出土している。

接合1067はほとんどがSb-7から出土しているが、搔器376のみSb-8に分布している。

いずれの接合資料も初期段階の剥片がSb-7に分布する傾向がみられる。

母岩別資料344・接合資料1090（図 - 185、図版133）

母岩別資料は接合1090のみである。

素材 18点（14個体）が接合し、重量は138.6g、大きさは13×8×3.5cmで、滑沢な面がある盤状の角礫を素材とする。ほぼ原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 打面を作出し、原石の鋭い右側縁に軽微な稜調整を施した後、最初の縦長剥片の剥離を行う（段階1）。次に下方からの調整が表裏面に入念に施され（段階2）、平面形をU字形、縦断面をV字形にしている。また、同時に打面再生も施され、段階1から1cmほど作業面高が減じている（実測図では、右に傾いて据えているため、2cm近くの開きがある）。段階3は両側面での石刃・縦長剥片の剥離で、左側面の最後の剥離がウートラパッセとなり、作業面高が2cm前後減じている。また、彫器362は段階3の縦長剥片537を素材とする。崩れた石核下端の形状を下方からの調整によって整形し直し（段階4）、打面を1cmほど減じる再生後、左側面で石刃・縦長剥片の剥離を再開している（段階5）。最後の石刃剥離は段階3と同様にウートラパッセとなってしまう、再度下方からの調整によって石核形状を整え（欠落）、正面で原石面を除去するように幅広の縦長剥片が剥離されている（段階6）。これらの石刃剥離では基本的に打面調整がみられ、一部、頭部調整も施されている。最終的な作業面高は6.8cmで、石核部分は欠落している。

分布 Sb-10の東部からまばらに出土している。

写真のみ掲載の接合資料

接合1087（図版123-2）は石刃剥離が行われ、最終的に石刃核429が遺棄される。母岩350接合1096（図版123-3）は原石の状態を遺跡に搬入され、正面を中心に石刃剥離が行われ、扁平な石核が遺棄される。母岩21接合1006（図版127-2）はザラついた岩屑面がある角柱状の角礫の状態を遺跡に搬入されている。打面再生を行いながら正面と両側面で石刃・縦長剥片の剥離が行われ、最終的に石刃核が遺棄される。母岩32接合1033（図版132-2）は剥片素材で、下縁調整がみられ、両側縁

を中心に石刃・縦長剥片の剥離が行われている。彫器が1点接合し、石刃核が遺棄される。

(直江康雄)

(7) 石器ブロック11・12 (Sb - 11・12) の石器

出土石器

尖頭器10点、両面調整石器5点、彫器1点、搔器5点、削器10点、錐形石器1点、二次加工ある剥片11点、細石刃1点、石刃36点、縦長剥片62点、石刃核3点、剥片14,286点の計14,434点、重量116,036.2gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が最も多く84.5%を占め、以下黒曜石4(9.4%)、黒曜石3(4.0%)、黒曜石5(1.1%)、黒曜石2(1.0%)、頁岩(0.01%)となっている。

尖頭器・両面調整石器(図 - 186 - 1 ~ 図 - 187 - 7、図版134)

尖頭器は4点(3個体と層出土1個体を加えた4個体)、両面調整石器は4点(3個体)を図示している。1・2・7が完形品、3~6が破損品である。素材は1・2が剥片、3・5~7は石核で、4は不明である。1は全体的に粗い加工で、基部は丸く急斜度な加工である。2は正面基部に細かな加工がみられるが、先端部は素材面が残る製作途中のものである。3の右側面は節理面で、ほぼ垂直である。破損後、上半部が被熱により光沢を失っている。4は細かな加工が表裏に錯向状に入り、折れ面には球顆がみられる。5は正面右側縁・裏面右側縁に細かな加工がみられ、裏面には滑沢な原石面が大きく残っている。正面左からの剥離による大型球顆の除去に失敗し、破損している。6は右側縁での交互剥離のみ行われている。原石面はザラついた岩屑面で、棒状の角礫素材である。7は正面右上からの剥離しかみられないが、尖頭器を製作する初期段階とみなし、両面調整石器とした。剥離面に著しいヒンジがみられる。

彫器(図 - 188 - 8、図版135)

1点(1個体)を図示している。8は大型石刃の末端部の腹面側に右刃の彫刀面を作出している。彫刀面の打面には作業面側からの軽微な調整がみられる。基部側は破損し、折れ面に二次加工が施されている。

搔器(図 - 188 - 9 ~ 12、図版135)

4点(4個体)を図示している。すべて石刃・縦長剥片素材である。9は刃部に最大幅があるもので、右側縁まで急斜度な加工が続いている。10~12は刃部の幅が狭く、尖頭形のものである。10は上下両端に刃部が作出されている。11・12とも刃部のみに加工が施されている。

削器(図 - 188 - 13 ~ 図 - 189 - 20、図版135)

10点(7個体と層出土1個体を加えた8個体)を図示している。13~17は石刃・縦長剥片を素材とするものである。13・15・16は両側縁、14・17は右側縁に急斜度の加工が施されている。14の加工は破損後である。15は裏面の打面部と右側縁に平坦剥離がみられ、右側縁の剥離によって末端部が破損している。16は素材の打面部が残り、破損後、被熱により光沢を失っている。

18~20は尖頭器の調整剥片を素材とするものである。18は両側縁に加工がみられ、打面側が平坦剥離で末端側が急斜度の剥離である。裏面の球顆が破損の原因とみられる。19は棒状の角礫が素材である。20は左側縁に急斜度の加工が施されている。

錐形石器(図 - 189 - 21、図版136)

1点(1個体)を図示している。21は頁岩製の石刃素材で、素材打面側に腹面からの加工によって突出部を作出している。

二次加工ある剥片(図 - 189 - 22 ~ 25、図版136)

2 遺構と遺物

4点(2個体と層出土2個体を加えた4個体)を図示している。素材はすべて石刃・縦長剥片で、22~24が頁岩製である。22・23は打面部で、24・25は中間部である。22・24は縁辺に不連続な二次加工、25は左側縁にノッチ状に二次加工が施されている。22・24は石材の色調・質感が類似しており、同一母岩の可能性はある。

石刃(図 - 190 - 26~37、図版136)

17点(10個体と層出土2個体を加えた12個体)を図示している。26がほぼ完形で、27が頭部、28~32が中間部、33~37が末端部である。背面の剥離面構成は、28~31・33・35~37が腹面と同方向で、27が逆方向、26・32・34は横方向を含むものである。末端は33・34・36がヒンジで、37はウートラパッセである。27の逆方向の剥離面は素材の腹面とみられ、石核の素材は剥片であった可能性が高い。

石刃核(図 - 190 - 38~図 - 191 - 41、図版137)

4点(3個体と土層出土1個体を加えた4個体)を図示している。38~40は裏面・側面に横方向の調整剥離がみられるものである。41は周囲に調整剥離が施されていない。打面調整はすべてにみられるが、頭部調整は38・39・41に残っている。38は背稜があり、母型は両面調整石器である。39・40は裏面が平坦で、石刃の最終剥離面はヒンジになっている。41は分割した円礫素材で右側面と裏面に分割面がみられる。

石核(図 - 191 - 42、図版137)

1点(1個体)を図示している。42は両面調整石器の小口面で縦長剥片が剥離されるもので、打面部が破損している。

石器ブロック11(Sb-11)の分布(図 - 192・193)

L1・2、M1~3、N1~4、O2・3区の15×9.5mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のL0・1・M0区に分布が広がると考えられる。北西方向の傾斜に調和して間延びした分布となっている。M1区北側、南側、N1区の三つの集中域がみられる。尖頭器2点、両面調整石器3点、彫器1点、搔器2点、削器3点、錐形石器1点、二次加工ある剥片7点、細石刃1点、石刃20点、縦長剥片26点、石刃核1点、石核1点、剥片3,855点の計3,923点、重量24,897.5gの石器類が出土した。細石刃は1点のみの出土で、他に関連した遺物がないことから偶発的に剥離された可能性が高い。

石器ブロック12(Sb-12)の分布(図 - 194・195)

K2~4、L2~6、M3~6、N4~6、O6・7、P6区の26.5×13mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のK2・3区に分布が若干広がると考えられる。Sb-11と同様に北西方向に細長い分布で、その中で2m前後の小さな集中域が重なり合っている。尖頭器8点、両面調整石器2点、搔器3点、削器7点、二次加工ある剥片4点、石刃16点、縦長剥片36点、石刃核2点、石核2点、剥片10,421点の計10,501点、重量91,138.7gの石器類が出土した。

石器ブロック11・12の接合状況(図 - 123)

Sb-11では各集中部を中心に接合関係がみられ、Sb-12ではブロック全体で濃密な接合関係が確認された。ブロック間でも多数の接合関係がある。折れ面接合もSb-12では広い範囲でみられ、ブロック間では2例確認された。

母岩別資料

尖頭器の接合資料(Sb-11~44)における段階の設定では、作業の進行による縁辺の形状変化を最も重視した。基本的に縁辺単位で段階を捉え、反対の面に作業面が転移し、打面が段になっている

所で段階を括った。そのため同一面の左右で剥離が行われた場合、それぞれ反対の面に作業面転移しない限り段階が変わらず、同一段階の断面が互い違いになっていることがある。

母岩別資料121・接合資料2939 (図 - 197・198、図版138)

母岩別資料は接合2939の他、接合2926～2933・2935～2938・2973・52499～52502で構成され、総点数144点、総重量3,410.2gである。

素材 56点(22個体)が接合し、重量は1,530.5g、大きさは43×22×5cmである。素材の形状は不明だが、原石面は平滑である。粗い両面調整石器の状態に搬入されている。

剥離工程 尖頭器の表側のみの接合資料で、左右からの剥離がみられる。段階3・4・5が中央の稜を越える剥離が多く、全体の厚みが大きく減じている。段階4の剥片は削器18に加工され、最終的に幅約18cmの尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb-12の集中域から広い範囲で出土している。

母岩別資料119・接合資料2911 (図 - 198・199、図版140)

母岩別資料は接合2911の他、接合2907～2910・52488～52490で構成され、総点数78点、総重量1,085.7gである。

素材 56点(35個体)が接合し、重量は875.3g、大きさは21×8×12cmで、角礫素材である。ほぼ原石の状態に搬入されている。

剥離工程 段階1～4の横方向からの剥離によって厚みのある両面調整石器を作製し、図 - 199 - 45の状態に到る。打面を再生(段階5・7・9・10)しながら石刃剥離(段階6・8)が行われる。初期の段階では器体長軸と平行する打面が作出され、短軸で石刃剥離が行われるが、工程が進むにつれ石刃剥離の角度が長軸側に変化している。最終的に石刃核38が遺棄される。

分布 Sb-12の集中域から広い範囲で出土している。

母岩別資料353・接合資料3001 (図 - 200・201、図版140)

母岩別資料は接合3001のみである。

素材 41点(29個体)が接合し、重量は936.1g、大きさは19×12×19cmで、素材の形状は不明だが、左側面と裏面を大きく剥離した状態に搬入されたと思われる。

剥離工程 素材の中で鋭角に交わる面を打面と石刃作業面に固定している。正面での稜調整(段階2)後、打面を再生(段階1・3・5・7・9)しながら石刃剥離(段階4・6・8)が進行し、段階8の石刃が削器13・14に加工されている。最終的な石刃核は欠落している。

分布 Sb-12の集中域から広い範囲で出土している。

母岩別資料351・接合資料2900 (図 - 201・202、図版141)

母岩別資料は接合2900のみである。

素材 11点(9個体)が接合し、重量は3,241.3g、大きさは16×17×20cmで、円礫を素材としている。ほぼ原石の状態に搬入された可能性が高い。

剥離工程 原石を分割し(個体A・B)それぞれで剥片剥離を行っている。個体Aは分割面を打面とし、素材の角を利用して数回の剥離が行われ、石核49(図版141)が遺棄される。

個体Bの打面部には分割面と同様の大きなリングが残っており、さらに分割されていた可能性がある。側面(分割面)を調整(段階2)した後、打面を作出し(段階3)、石刃剥離(段階4)を行っている。石刃作業面は正面側のみで、作業面は原石面から約7cm後退している。最終的に石刃核41が遺棄される。

分布 個体Aは全てSb-12の集中域から出土しているのに対して、個体Bの剥片はSb-11の集中

域、石刃核はSb - 12の遺物が散漫な地点から出土している。

模式図・遺物分布図・写真図版掲載の接合資料

母岩別資料111・接合資料2824 (図 - 203、図版139)

母岩別資料は接合2824の他、接合2825～2831・52440～52444で構成され、総点数87点、総重量1,786.6gである。

素材 54点 (34個体) が接合し、重量は1,469.9g、大きさは37×17×9 cmで、ザラついた岩屑面のある角礫を素材とする。粗い加工の両面調整石器の状態に搬入されている。

剥離工程 尖頭器の表側を主体とする接合資料で、左右からの剥離がみられる。段階1は唯一裏面の剥離である。素材にかなり厚みがあるため、段階2～5は急斜度の剥離となり、中央の稜線を越える剥離はあまりみられない。また、同一母岩の剥片から、裏面は平坦であったと考えられる。最終的に幅約14cmの尖頭器が製作されている。

分布 Sb - 12の集中域から広い範囲で出土している。

写真のみ掲載の接合資料

母岩112・接合2843 (図版142 - 1) はザラついた岩屑面のある角礫素材で、尖頭器の表側のみの接合資料である。接合2773 (図版142 - 2) は石刃と搔器12の接合資料である。母岩352・接合2982 (図版142 - 3) は円礫素材で、打面側 (欠落) との交互剥離を行っているが、原石中央に内在する割れがあり、ほとんどの剥片が器体中央で破損している。 (直江康雄)

(8) 石器ブロック13 (Sb - 13) の石器

出土石器

尖頭器4点、両面調整石器1点、彫器1点、搔器6点、削器5点、二次加工ある剥片3点、縦長剥片4点、剥片1,263点、原石1点の計1,288点、重量7,263.5gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が77.2%を占め、以下黒曜石4 (19.1%)、黒曜石3 (3.3%)、黒曜石5 (0.3%)、頁岩 (0.2%) となっている。頁岩製の石器はすべて搔器である。

尖頭器 (図 - 204 - 1～5、図版143)

5点 (4個体と層出土1個体を加えた5個体) を図示している。1～5はすべて破損品である。素材は2が剥片、3・5が角礫で、1・4が不明である。1の先端部は薄く加工され、裏面左側縁には細かな加工がみられる。2は表裏ともに細かい加工がみられ、完成形に近い状態で破損したと思われる。半月形で、所々に球顆がみられる。3は裏面が平坦で断面がカマボコ形である。4は裏面基部に平滑な原石面が残り、先端部は破損後、再加工されている。正面左に大きなヒンジがあり全体の加工は粗い。

彫器 (図 - 204 - 6、図版143)

1点 (1個体) を図示している。6は厚手の石刃の打面側に左刃の彫刀面を作出するものである。彫刀面の打面は、端部に腹面側から調整され、彫刀面は腹面側に現れる。側縁調整は左側のみで、背面には彫刀面からの剥離がみられる。

搔器 (図 - 204 - 7～13、図版143)

7点 (6個体と層出土1個体を加えた7個体) を図示している。素材はすべて石刃・縦長剥片で、7・8は頁岩製である。刃部はほとんど素材の末端側に作出され、10のみが打面側である。7～11は完形品で、刃部に最大幅がある。7～9は縁辺も急斜度に加工されるもので、特に9は加工が全周し、素材の打面にも及んでいる。7・8は石材の質感・模様が類似していることから同一母岩の可能性が

高い。10・11は縁辺の加工が軽微なものである。11は産地分析の結果、所山産と判定された。

12・13は破損品である。12は刃部が尖頭形で、最大幅が器体中央部にある。縁辺の加工は深い平坦剥離で、左側縁は基部破損後に加工されている。13の素材は薄手である。

削器 (図 - 205 - 14 ~ 17、図版143)

5点(3個体と層出土1個体を加えた4個体)を図示している。素材はすべて石刃・縦長剥片で、急斜度の加工が連続的に施されている。14は完形品、15は頭部、16は中間部、17は末端部である。17の端部は尖頭形で、裏面にも加工がみられる。

二次加工ある剥片 (図 - 205 - 18、図版143)

1点(1個体)を図示している。打面側の周縁加工は正面左側の破損後に行われている。

舟底形石器 (図 - 205 - 19、図版143)

1点(1個体)を図示している。ザラついた岩屑面のある角礫素材で、甲板面と裏面に原石面が大きく残る。加工は正面を中心に施されるため、キールが裏面側に偏っている。尖頭器未成品の可能性もある。

石器ブロック13 (Sb - 13) の分布・接合状況 (図 - 206・208)

Q7~10、R7~10、S8~11区の9×15mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のS8~10区の南側に分布が広がると考えられる。R8、S9、R10区にそれぞれ小集中域があるが、接合状況は各集中域間でまんべんなくみられる。
(直江康雄)

(9) 石器ブロック14 (Sb - 14) の石器

出土石器

尖頭器2点、石核1点、剥片2,324点、台石1点の計2,328点、重量9,296.9gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が最も多く60.7%で、以下黒曜石1(19.6%)、黒曜石3(19.5%)、黒曜石5(0.1%)、安山岩(0.04%)となっている。

尖頭器 (図 - 205 - 1・2、図版143)

2点(2個体)を図示している。1は裏面が平坦で断面がカマボコ形である。基部は薄く加工され、正面左側縁と裏面左側縁に細かな加工がみられる。2は基部側が破損した後、再加工されている。全体的に薄く、細かな剥離もみられるが、正面右上に球顆の除去に失敗した際のヒンジがある。

石核 (図 - 205 - 3、図版143)

1点(1個体)を図示している。剥片素材で、折れ面を打面とし、側縁で縦長剥片を剥離している。

台石 (図 - 205 - 4、図版143)

1点(1個体)を図示している。安山岩製の扁平な原石を素材としている。使用痕、顔料の付着などはみられない。

石器ブロック14 (Sb - 14) の分布・接合状況 (図 - 207・208)

Q12、R11・12、S11・12区の8×7mの範囲で確認されたが、調査区範囲外であるS11・12区の南側に若干広がると考えられる。R・S12区にまたがって分布が集中している。台石は集中部の西側から単独で出土している。接合状況は集中部を中心としてブロック内の広い範囲でみられる。

(直江康雄)

(10) 石器ブロック15~21 (Sb - 15~21) の石器

出土石器

尖頭器85点、両面調整石器7点、彫器1点、搔器8点、削器37点、錐形石器2点、二次加工ある剥片28点、石刃32点、縦長剥片83点、石刃核1点、石核18点、削片5点、剥片10,985点、斧形石器1点、礫1点の計11,294点、重量65,722.9gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が最も多く52.9%で、以下黒曜石4(29.7%)、黒曜石5(8.9%)、黒曜石3(8.4%)、黒曜石以外(0.08%)、黒曜石2(0.04%)となっている。黒曜石以外は頁岩(0.04%)、緑色泥岩(0.03%)、めのう(0.01%)である。尖頭器の65%は黒曜石3・4が利用されている。

尖頭器(図 - 209 - 1 ~ 図 - 216 - 43、図版144~149)

107点(40個体と層出土3個体を加えた43個体)を図示している。1~7は細身で柳葉形のもので、平坦剥離によって粗く整形した後、縁辺に細かな剥離を施している。破損後の再加工は4の先端、5の先端、6の基部、7の先端で見られる。1~4がほぼ完形品、5・6が基部、7が中間部である。完形品の長幅指数は1が4.7、2が3.6、3が3.9、4が3.9である。1は両端が尖り、先端がやや左に傾いた形態で、縦断面がわずかに湾曲している。細かな加工は全周に施されているが、先端部の細かな加工は急斜度の錯向剥離である。2は5mm前後の球顆が多くみられ、裏面の平坦剥離の多くがヒンジを起こしている。3は両端とも丸みがあり、器体長軸が中央部と上部でわずかに曲がり、被熱により光沢を失い、破損している。4は裏面末端に平滑な原石面がある。5は先端部側に最大幅があり、再加工は粗い剥離である。6は先端が左に傾き、裏面が平坦で断面がカマボコ形である。7は正面中央からの衝撃によって器体が放射状に破損している。細かな加工が全周している。

8~29は木葉形のもので、平坦剥離によって粗く整形した後、縁辺に細かな剥離を施している。破損後の再加工は8・12・14・19・20・22で見られる。8~12がほぼ完形品、13~18が先端部、19・20が中間部、21~29が基部である。完形品の長幅指数は8が2.9、9が2.2、10が3.1、11が3.1である。8は正面右からの剥離によって器体が破損している。両端とも裏面からの細かな加工で丸みがある。9は洋ナシ形で先端左側縁には除去しきれない凸部が残る。10の正面上部では中央の稜を越える剥離がほとんど無いため、厚みが残り、断面が三角形となっている。11はザラついた岩屑面が両面にあり、板状の角礫が素材である。薄く断面が凸レンズ状であるが、正面左側にヒンジによる段がある。12は全体の器軸と下部の器軸の違いから、主に再加工は正面右側縁を減じるように行われている。正面左側にヒンジによる大きな段がある。13は細身で正面に平行剥離がみられ、完成品が破損したと思われる。産地分析により所山産と判定された。14は裏面左からの剥離の際に割れが内部に入っており、破損の原因となっている。15は先端がやや左に傾いている。三つの折れ面は製作中の剥離によるものではなく、中央からの衝撃によって破損している。産地分析の結果、所山産と判定された。16は産地分析の結果、所山産と判定された。17の原石面には半月状の「つめ跡」がみられる。18の折れ面には直径1.5mmの大きな球顆がみられる。19は正面両側縁に細かい加工がみられる。20は末端部が再加工されているが、先端部が破損したため遺棄されている。22は全体的に薄みで、折れ面からの細かな加工によって基部を丸くしている。23は折れ面に球顆が抜け落ちた痕がみられる。24は正面全体と折れ面に擦痕があり、特に折れ面の裏面側の稜線が激しく磨耗している。25の原石面はザラついた岩屑面であり、裏面はヒンジによる段が激しい。産地分析の結果、K S 1 遺物群と判定された。26は断面が凸レンズ状に近く、細かい剥離も全周にわたってみられるが、ヒンジによる段が数か所みられる。27は被熱により光沢を失い、ウロコ状のひび割れがみられ破損している。尖頭器25と同一母岩である。

28は薄手で断面が凸レンズ状である。

30～43は全体的に加工が粗いものである。破損後の再加工は33・34・36～40・42・43でみられる。30～36・38がほぼ完形品で、39～41が先端部、37・42が中間部、43が基部である。完形品の長幅指数は30が3.4、31が4.1、32が2.1、33が2.5、35が2.4、36が2.7、38が4.1である。31・38は特に細長い形態である。30の正面は凹凸が激しいが、裏面基部は細かな加工によって丸みがある。31はザラついた岩屑面が両面にみられ、板状の角礫を素材としている。裏面は平坦で断面がカマボコ形である。正面は多数のヒンジによる段がみられる。破損が激しく、基部に近い1点がSb-17で、他は約12m離れたSb-18から出土している。32の裏面右側縁にはウートラパッセがみられる。33・34は先端側に最大幅があるものである。33は先端部右側縁にノッチ状の加工がみられる。34は破損後、被熱により光沢を失い、ウロコ状の割れが激しい。35は剥片素材で正面左側縁が急斜度の剥離で中央の稜が左に偏っている。36の原石面はザラついた岩屑面で、正面右からの剥離がウートラパッセになり末端部を減じている。37は両端が折れた後も加工を続けているが、正面右からの剥離によって破損し、遺棄されている。38は断面が三角形で、裏面は右からの加工しか行われていない。41は先端部と右側縁に原石面がみられ、正面右下の剥離が原因で破損している。39・40・42の裏面、43の正面にはウートラパッセがみられ大きく器体の幅を減じている。

両面調整石器 (図 - 217 - 44～図 - 218 - 48、図版150)

6点(5個体)を図示している。44・45は剥片素材で、46～48は石核素材である。原石面から44・46・48が半月状の「つめ跡」がある円礫で、45・47はザラついた岩屑面がある角礫が使用されている。44は主に裏面に加工がみられる程度で、素材の形状をほとんど変えていない。45の素材は大きくウートラパッセを起こした縦長剥片の末端部で、加工は正面左側と裏面上から行われている。47は折れ面に直径1.5cmの球顆がみられる。

彫器 (図 - 218 - 49、図版150)

1点(1個体)を図示している。49は頁岩製の石刃が素材である。素材の打面側を基部として、周縁に腹面から加工を施し、右肩の腹面側に彫刀面を作出している。最終的に彫刀面を打面として背面側に剥離がみられる。

彫器削片 (図 - 218 - 50～54、図版150)

6点(3個体と層出土1個体と層出土1個体を加えた5個体)を図示している。50～53は頁岩製で、すべて右刃の彫器から作出されたものである。左側面に彫刀面からの調整痕、背面には旧彫刀面がみられる。技術形態的な特徴、石材の色調・質感が同様な点から同一母岩である可能性が高い。54は横刃の彫器から最初に作出されたものである。

搔器 (図 - 218 - 55～図 - 219 - 60、図版150・151)

9点(6個体)を図示している。素材は55～58・60が石刃・縦長剥片で、59は横長の剥片である。素材の用い方は55・56・58・60が素材末端側、57が素材打面側、59が素材側縁を刃部に設定している。55・58は刃部に最大幅がある。55は刃部にのみ加工が施されている。58は右側縁が急斜度なため加工が行われず、左側縁は基部側が急斜度で連続的、刃部側がやや鋸歯状の加工がみられる。

56・57・59・60は刃部が狭く器体中央部に最大幅がある。56は素材の打面が二次加工によって除去されている。57は刃部の左右がノッチ状に加工され尖頭形となっている。59は左側縁が平坦剥離、右側縁が急斜度の剥離で、二次加工が背面のほぼ全体を覆う。裏面にも加工がみられ、基部は尖頭形である。60は側縁調整が粗く、素材の打面を除去している。

削器 (図 - 219 - 61～図 - 220 - 68、図版151・152)

45点（8個体）を図示している。61～64は石刃・縦長剥片を素材としている。61は主に背面左側縁に細かい加工がみられ、素材形状はほとんど変化していない。62は背面右側縁に急斜度の加工がみられる。63の加工は縁辺全体にわたる細かな剥離である。64の加工は主に深い平坦剥離で、中央にヒンジによる段がみられる。

65～67は尖頭器の調整剥片を素材としている。65は両側縁に細かな加工がみられる。66は所山産と判定された尖頭器15・16と同一母岩で、原石面はザラついた岩屑面である。67は破損後に上下とも被熱し、光沢を失いウロコ状の割れが著しい。上半部は再加工され、おもに折れ面側で急斜度の加工が行われている。

68は横長剥片を素材としている。左側縁は急斜度の加工、右側縁は深い平坦剥離が施されている。

錐形石器（図 - 221 - 69・70、図版152）

2点（2個体）を図示している。69は縦長剥片を素材としている。左側縁に急斜度の大きな加工がみられる。所山産と判定された尖頭器15・16と同一母岩で、原石面はザラついた岩屑面である。70は剥片を素材とし、縦断面が湾曲している。突出部は素材の形状を生かし、腹面側に平坦剥離によって作出されている。

二次加工ある剥片（図 - 221 - 71～73、図版152）

5点（3個体）を図示している。71は大型の縦長剥片を素材とし、裏面末端部の厚みを除去するような平坦剥離がみられる。原石面はザラついた岩屑面である。72は右側縁が鋸歯状の加工で、左側縁は折れ面から両面への加工によって激しいヒンジがみられる。73はめのう製で右側縁に鋸歯状の加工、末端部は裏面に細かな加工が施されている。

舟底形石器（図 - 221 - 74、図版152）

2点（層出土1個体）を図示している。74は縦長剥片を素材としている。甲板面からの調整のみ施され、両面とも剥離角が小さく断面が正三角形に近い。

削片（図 - 221 - 75・76、図版152）

2点（2個体）を図示している。75・76は断面が三角形の一次削片である。縦方向の線状打面で、両面調整石器の縁辺に打撃を加えたと思われる。75の縦断面は上端がやや裏面側に偏っている。76の縦断面はほぼ正三角形である。削片の他に細石刃剥離に関連した遺物が出土していないため、Sb-15～21が細石刃石器群であるとは積極的に考えられない。

縦長剥片（図 - 221 - 77、図版152）

1点（層出土1個体）を図示している。77は頁岩製で、背面右側の剥離面には横方向からの大きなリングがみられる。彫器削片50～53と石材の色調・質感が類似しているため彫器削片の可能性もある。

石刃核（図 - 222 - 78、図版152）

1点（1個体）を図示している。78は扁平で、裏面下部に横方向からの調整がみられる。単設打面で、打面調整、頭部調整が施されている。

石核（図 - 222 - 79～図 - 223 - 84、図版152・153）

16点（5個体と層出土1個体を加えた6個体）を図示している。剥片素材のものは81・82である。79はザラついた岩屑面のある棒状の石核で、正面下部の両側縁からの調整と上からの縦長剥片剥離がみられ、両者は切り合い関係から左側の縦長剥片を剥離した後、下部の調整を行い、右側で再び縦長剥片を剥離している。打面は調整打面である。80は両設打面で、裏面には横方向の剥離と平滑な原石面がみられる。被熱により光沢を失い、破損が著しい。81は折れ面を打面として、素材腹面側に一回

の剥離が行われている。82も素材腹面側に一回の剥離がみられ、81とは同一母岩で接合する。83は正面上からの大きな剥離と裏面横からの剥離がみられる。原石面は裏面に半月状の「つめ跡」、正面に平滑な面が残っている。84の正面の剥離はウーラパッセとなり、石核形状を大きく変形させている。右側面、裏面など何度かの打面転移がみられる。

斧形石器 (図 - 223 - 85、図版153)

1点(1個体)を図示している。85は片刃の局部磨製石斧である。緑色泥岩製の扁平な原石を素材とする。裏面をほぼ全周する平坦剥離と正面基部側の急斜度の剥離によって形状を整え、端部を研磨し刃部を形成している。86は接合状態で、裏面に調整剥片87が接合している。同一母岩はこの2点だけであり、遺跡内で再加工を行ったと考えられる。

剥片 (図 - 223 - 87・88、図版153)

2点(2個体)を図示している。87・88は緑色泥岩製で斧形石器の調整剥片である。87は斧形石器85の裏面に接合する。末端がヒンジになっている。88は正面と打面部に研磨痕がある。87とは別な母岩で、より緻密な石材である。

石器ブロック15 (Sb - 15) の分布 (図 - 224)

J12・13、K12~14、L13区の9×8mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のI12区に分布が広がると考えられる。J12区東側・西側・K13区の三つの集中域がみられる。尖頭器6点、両面調整石器4点、搔器3点、削器6点、錐形石器1点、二次加工ある剥片5点、石刃11点、縦長剥片21点、石刃核1点、石核13点、削片1点、剥片2,462点の計2,534点、重量18,701.8gの石器類が出土した。石核13点は1個体に復元された。

石器ブロック16 (Sb - 16) の分布 (図 - 225)

J13~15、K13・14区の7×7mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のI13・14区に分布が若干広がると考えられる。主にK14区に分布が集中する。剥片679点、重量2,210.8gが出土した。ツール類がまったく出土していない。

石器ブロック17 (Sb - 17) の分布 (図 - 225)

J15、K14・15、L14・15区の9.5×5.5mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のI15区に分布が若干広がると考えられる。主にK15区に分布が集中する。尖頭器1点、二次加工ある剥片3点、剥片523点の計527点、重量3,125.0gの石器類が出土した。尖頭器はSb - 21出土のものと折れ面接合している。

石器ブロック18 (Sb - 18) の分布 (図 - 226)

J16・17、K16・17、L15・16区の11.5×3.5mの範囲で確認された。K16・L16区の二つに集中域がみられる。尖頭器1点、削片1点、剥片348点の計350点、重量1,937.6gの石器類が出土した。尖頭器はSb - 21出土のものと折れ面接合している。

石器ブロック19 (Sb - 19) の分布 (図 - 226)

J17・18、K17、L16・17区の12.5×2.5mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のI18区に分布が広がると考えられる。K17区に分布が集中する。尖頭器1点、二次加工ある剥片2点、石核1点、剥片399点の計403点、重量1,830.8gの石器類が出土した。

石器ブロック20 (Sb - 20) の分布 (図 - 227)

M15・16、N15~17、O15・16区の10×8.5mの範囲で確認された。全体的に散漫な分布である。両面調整石器1点、削器1点、石核2点、剥片89点、礫1点の計94点、重量1,817.9gの石器類が出土した。

石器ブロック21 (Sb - 21) の分布 (図 - 228 ~ 231)

J18・19、K17~20、L17~20、M17~19、N17~19、O17~19区の21.5×14mの範囲で確認された。K18・19、L18、M17、N17区の五つの集中域がみられる。尖頭器76点、両面調整石器2点、彫器1点、搔器5点、削器30点、錐形石器1点、二次加工ある剥片18点、石刃21点、縦長剥片62点、石核2点、削片3点、剥片6,488点、斧形石器1点の計6,710点、重量36,099.0gの石器類が出土した。石器群の中で中心的なブロックで、ほとんどのツールがSb - 21から出土し、特にM18区より北側で多くみられる。

石器ブロック15~21 (Sb - 15~21) の接合状況 (図 - 232)

Sb - 15~21ではブロック内での接合が集中的にみられ、ブロック間でも接合関係が確認されている。特にSb - 15~18・21では多くのブロック間接合、折れ面接合がみられる。

接合資料3187 (図 - 233・234、図版154 - 1)

素材 32点(17個体)が接合し、重量は418.5g、大きさは29×9×3cmで、原石面はみられず、素材の形状は不明である。ほぼ尖頭器に加工された状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 段階1・2の後、器体が二つに破損し、どちらも再加工される。下半部の調整(段階3・4)はほとんど器体を変化させず、段階4によって器体が破損し、尖頭器18が遺棄される。上半部の調整(段階5)は折れ面(幅9cm)を減じるように行われ、両側縁で約5cm幅が減じているが下部が破損し、尖頭器20が遺棄されている。上部はさらに基部側を中心に再加工(段階6・7)が進み、折れ面幅が1.5cmまで減じたところで作業が終了し、尖頭器33が遺棄される。

分布 Sb - 21のK18区を中心に出土しているが、段階1の剥片はやや南側のL17、M18区からそれぞれ単独で出土している。

母岩別資料137・接合資料3135 (図 - 234・235、図版154 - 2)

母岩別資料は接合3135の他、接合3136~3140・52633~52637で構成され、総点数74点、総重量409.1gである。

素材 47点(33個体)が接合し、重量は310.6g、大きさは27×8×3.5cmで、ザラついた岩屑面があり、角礫素材の可能性が高い。ほぼ尖頭器に加工された状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 段階1~3の後、器体が二つに破損し、どちらも再加工される。下半部の調整(段階4)はほとんど器体を変化させず、尖頭器40が遺棄される。上半部の調整(段階5~10)は、折れ面(幅7cm)を減じるように集中的に行われ、丸みがある基部となり、段階10によって器体が破損し、尖頭器8が遺棄されている。

分布 Sb - 21全体から出土している。下半部の再加工に関係する石器類はK18区付近にみられる。

接合資料2510 (図 - 235、図版155 - 1)

素材 16点(11個体)が接合し、重量は262.1g、大きさは20×7×2.5cmで、原石面はみられず、素材の形状は不明である。ほぼ尖頭器に加工された状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 尖頭器の右側縁を調整する剥離で、すべて同じ段階である。先端側から基部に向かって連続的に剥離が進行している。最後の剥離は失敗し、縁辺がノッチ状になり、正面にヒンジによる大きな段ができてしまう。破損後、尖頭器26が遺棄される。

分布 調整剥片はSb - 21のK18区付近にみられるが、尖頭器はSb - 18とSb - 21のN17区で折れ面接合している。

接合資料3134 (図 - 236、図版155 - 2)

素材 31点(19個体)が接合し、重量は399.4g、大きさは21×10.5×3.5cmで、原石面はみられず、素材の形状は不明である。ほぼ尖頭器に加工された状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 下半部が折損した尖頭器を再加工している。裏面で両側縁全体にわたる調整(段階1・2)を施し、折れ面からも剥離(段階3・5)がみられるが、段階4でウートラパッセを起こし、器体の約半分を損なう。その後器体が破損し、尖頭器43が遺棄されている。上半部は再加工(段階6)が行われ、右側縁を中心に加工が進むが、破損により尖頭器39が遺棄される。

分布 Sb-21のO18区付近に集中して分布するが、尖頭器43のみL18区から出土している。

接合資料2509(図 - 237、図版155 - 3)

素材 39点(22個体)が接合し、重量は153.4g、大きさは12×8.5×2.5cmで、原石面はみられず、素材の形状は不明である。ほぼ尖頭器に加工された状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 下半部が折損した尖頭器を再加工している。すべて右側縁からの交互剥離(段階1~4)で、器体の厚さと基部側の幅を減じている。特に段階3ではウートラパッセによって折れ面の幅が2.5cm減じている。最終的に器体が破損し、尖頭器34が遺棄される。

分布 Sb-21のK18区で集中して分布しているが、尖頭器1点は単独でL18区から出土する。

接合資料2429(図 - 237、図版156 - 2)

素材 24点(18個体)が接合し、重量は191.8g、大きさは14×6×3.5cmで、背面にややザラついた岩屑面がある剥片を素材としている。

剥離工程 裏面右(段階1) 正面右(段階2) 正面左(段階3)と剥離が進行し、裏面右からの剥離(段階4)によって器体が破損し、尖頭器35が遺棄されている。

分布 Sb-15のK13区を中心に分布している。

母岩別資料359・接合資料2494(図 - 238・239、図版156 - 1)

母岩別資料は接合2494のみである。

素材 132点(75個体)が接合し、重量は1,117.5g、大きさは33×10.5×5.5cmでザラついた岩屑面がある棒状の角礫を素材としている。

剥離工程 段階1~4の後、器体が二つに破損し、どちらも再加工される。上半部の調整(段階5~8)はすべて左側縁からの交互剥離で、折れ面を減じる剥離が進行する。特に段階8は末端がウートラパッセを起こし、折れ面が完全に除去され、最大幅は9cmから5cmになっている。最終的に破損し、尖頭器36が遺棄される。下半部の調整(段階9~13)は右側縁を集中的に行われている。正面右側縁の急斜度の剥離(段階9・12)によって幅を9cmから4.5cmまで減じ、裏面の平坦剥離(段階10・11・13)によって厚さを4cmから2.5cmまで減じている。最終的に器体が破損し、尖頭器38が遺棄される。

分布 Sb-21のM18区より北側の広い範囲から出土している。

母岩別資料123・接合資料3049(図 - 239・240、図版157)

母岩別資料は接合3049の他、接合3050~3054・52583・52584で構成され、総点数83点、総重量1,089.0gである。

素材 60点(38個体)が接合し、重量は921.3g、大きさは27×10×6.5cmで、ザラついた岩屑面がある角礫を素材とする。粗い両面調整石器の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 正面右からの剥離(段階2)によって2.5cm程厚みを除去することに成功しているが、段階5の剥離によって、器体が二つに破損し、尖頭器41が遺棄される。段階2の剥片は、二次加工ある剥片(図版157 - 109)となっている。上半部は再加工され、折れ面を減じるように正面左側縁に急斜

度の加工（段階6）が集中的に施され、折れ面幅が8cmから3cmまで減じている。段階8の後、器体が破損し、尖頭器42が遺棄されている。さらに上半部が再加工（段階9～11）されるが、明確な尖頭部を作り出さずに作業が終了し、尖頭器19が遺棄される。

分布 Sb - 21の広い範囲から散漫に出土している。

母岩別資料83・接合資料2540（図 - 241・242、図版161）

母岩別資料は接合2540の他、接合2541～2548・52268～52278で構成され、総点数167点、総重量1,530.9gである。

素材 115点（60個体）が接合し、重量は1,285.5g、大きさは22×12×9.5cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。ほぼ原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 正面左右の剥離（段階1・2）と裏面右からの剥離（段階4）によって原石面の除去が行われる。特に段階4では原石の突出部を除去することに成功し、器体の厚さは6cm前後まで減じ、裏面が平坦化している。正面左からの剥離（段階3・5）は急斜度であり、この角度を小さくするために裏面を集中的に剥離（段階6・7・9）している。段階9剥離後の幅は約8.5cmである。正面では右からの剥離によって（段階8・10）幅が減じ、急斜度になっている。最終的に裏面の剥離（段階11・12）によって厚さを減じ、正面では左からの平坦剥離（段階13）がみられ中央の稜が右に寄ってしまう。この剥離によって器体が破損し、尖頭器30が遺棄されている。

分布 Sb - 21の中央部に広く分布しているが、特にL18区にまとまっている。

母岩別資料87・接合資料2576（図 - 243～245、図版158～160）

母岩別資料は接合2576の他、接合2577～2584・4268・52325～52340・52342～52345・52347～52351・52353で構成され、総点数409点、総重量7,948.6gである。

素材 305点（129個体）が接合し、重量は6,886.1g、大きさは34×27×17.5cmで、扁平で角が摩滅した亜角礫を素材とする。ほぼ原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 右側面からの剥離によって打面を形成（段階1）し、縦長剥片を剥離（段階2）する。段階1の縦長剥片は削器64、段階2の縦長剥片は搔器60に加工される。

その後、打面が再生され（段階3）、石刃・縦長剥片の剥離が再開する。打面再生剥片（段階3）は尖頭器の素材（個体A）となり、裏面を中心に加工が行われるが、最終的に破損し、尖頭器10が遺棄される。また、段階4の縦長剥片は削器63に加工される。さらに打面再生（段階5）石刃・縦長剥片剥離（段階6）側面調整（段階7）が進行し、図 - 244 - 99の状態に到る。

接合図99は模式図裏面の横軸を正面に据えたものである。これ以降の段階から尖頭器製作を意図した剥離が始まる。裏面は平坦であるが積極的に平坦剥離が行われる（段階9・10・12・13）。正面側は急斜度であるが、左右の剥離（段階8・11）が中央の稜を越えて剥離されたため厚みが均一に減じ、断面が凸レンズ状に近づいている。最終的に厚さが7.5cmから3.1cmまで減じているが器体が破損し、尖頭器32が遺棄されている。

分布 Sb - 21全体に分布しているが、特にK18、L18、M17区の各集中域にまとまっている。段階2の剥片が搔器60を含めてN18区付近に散漫に分布し、削器63が単独でK19区の集中域から出土している。

母岩別資料79・接合資料2526（図 - 246・247、図版162）

母岩別資料は接合2526・53434で構成され、総点数233点、総重量2,392.6gである。接合2526は表側と裏側の接合面が1か所しかないため、正確な接合状態の復元ができず、二つ（図 - 246 - 100・図 - 247 - 101）に分けて図示した。

素材 230点（70個体）が接合し、重量は2,381.3g、大きさは36.5×19.5cmで、厚さは6cm以上と思われる。扁平で角がやや摩滅した角礫を素材とする。裏面の原石面が除去された状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 正面は段階1・3・5の左右からの剥離によって原石面を除去している。特に段階3の剥離が中央の稜線を越え、器体の厚さを減じているが、まだ器体上部の縁辺は段になっている。段階5終了時の幅は約19cmである。裏面は段階6の右からの剥離によって大きく厚さを減じ、縁辺の段が修正されている。この時点では半月形であるが、段階7で基部左から集中的に加工が施され、木葉形へと変化している。この後の剥離はすべて平坦剥離（段階8～13）である。最終的な幅は推定で9cm前後と思われる。尖頭器は出土していないため、遺跡外へ搬出されたと考えられる。

分布 Sb-21のK18区を中心に出土している。

母岩別資料358・接合資料2458（図 - 248、図版163 - 1）

母岩別資料は接合2458のみである。

素材 21点（18個体）が接合し、重量は395.2g、大きさは13×8×6cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 正面の左右の剥離（段階1・2）の後、平坦な裏面の原石面を除去（段階3・4）している。正面は左右の縁辺とも急斜度な状態が続くが、段階8の剥離によってやや平坦化している。最終的に幅5.5cm、厚さ2.5cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出されたと考えられる。

分布 Sb-18から散漫に出土している。

母岩別資料360・接合資料2575（図 - 248・249、図版165 - 1）

母岩別資料は接合2575のみである。

素材 33点（22個体）が接合し、重量は829.7g、大きさは26×10×4.5cmで、ザラついた岩屑面がある断面三角形の角礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 尖頭器の製作を意図して、裏面で平坦な加工をしているが、器体が破損し両面調整石器47が遺棄される。下半部は再利用され、折れ面を打面として、側縁調整（段階2）、打面再生（段階4）を行いながら、石刃・縦長剥片を連続的に剥離していく（段階1・3）。途中、資料は欠落しているが、段階3でできたヒンジを除去するため入念に石核下半部を両側から調整している。ほとんどの石刃・縦長剥片が接合し、最終的に石核79が遺棄される。

分布 Sb-21のK18区を中心に分布している。

母岩別資料354・接合資料2090（図 - 249・250、図版165 - 2）

母岩別資料は接合2090のみである。

素材 50点（28個体）が接合し、重量は1,085.2g、大きさは21.5×9×11.5cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。ほぼ原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 段階1～7によって厚手の両面調整石器が製作される。その中で段階5の縦長剥片は搔器56に加工されている。その後、石刃核の打面を作出（段階8）し、石刃を連続的に剥離していく（段階9）。石刃核の作業面幅は約5cmで、段階9の石刃は搔器55に加工される。最終的な石刃核は欠落している。

分布 Sb-15全域に散漫に分布している。

母岩別資料82・接合資料2539（図 - 251～253、図版166・167 - 1）

母岩別資料は接合2539の他、接合52266・52267で構成され、総点数114点、総重量2,839.9gである。

素材 109点（62個体）が接合し、重量は2,821.2g、大きさは24×20.5×11cmで、ザラついた岩屑面

がある盤状の角礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 裏面右からの平坦剥離（段階1）によって原石面を除去した後、裏面下から縦長剥片を剥離（段階2）するが、著しいウートラパッセを起こし、作業面高を5cm前後損ねている。この剥片は打面側が二次加工ある剥片106（図版167-1）、末端部が両面調整石器45に加工されている。次に、前段階で得られた末端の広い面を打面とし、正面で原石面を除去する剥離を行う（段階3・4）。再び作業面を裏面に戻した後（段階5）左側面の稜を利用して縦長剥片を連続的に剥離する（段階6）が、ここでもウートラパッセを起こし、作業面高を4cm前後損ねている。また、段階6の縦長剥片は舟底形石器74に加工される。最後に段階6で得られた末端の広い面を打面とし、正面下から剥離を行い（欠落）作業を終了している。石核84が遺棄されている。

分布 Sb-21のK18区を中心に出土しているが、段階2の両面調整石器の調整剥片が単独でM18区に分布している。

母岩別資料145・接合資料3188（図 - 253・254、図版167-2）

母岩別資料は接合3188・52652で構成され、総点数69点、総重量1,536.5gである。

素材 67点（43個体）が接合し、重量は1,530.8g、大きさは13.5×18×11cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。ほぼ原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 下面及び側面に急斜度な剥離（段階2・6・8・10）を施し、打面を確保しながら、正面で縦長剥片（段階1・3・4・5・7・9）を剥離している。段階2の剥片は両面調整石器44に加工され、段階3・段階8の厚手の剥片は石核81・82の素材となっている。最終的な石核部分は欠落しており、遺跡外に搬出されたと考えられる。

分布 Sb-20の全域に散漫に分布している。段階3の剥片がSb-21から出土している。

模式図・遺物分布図・写真図版掲載の接合資料

母岩別資料124・接合資料3060（図 - 255、図版157）

母岩別資料は接合3060の他、接合3055～3059で構成され、総点数96点、総重量475.9gである。

素材 83点（52個体）が接合し、重量は424.3g、大きさは24.5×8.5×3cmで、剥片素材である。粗く加工された状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 段階1の後、器体が二つに破損し、どちらも再加工される。上半部の調整（段階3～7）は折れ面を減じるように基部側に集中し、段階4で折れ面幅を大きく減じ、段階5の折れ面からの加工で折れ面がなくなり、丸みを帯びた基部となっている。最終的に器体が破損し、尖頭器9が遺棄される。下半部でも折れ面側を中心に再加工が進み（段階8～11）、段階8・9・10の加工によって折れ面がなくなり、丸みがある縁辺となっている。段階11の後、器体が三つに破損し、中央部は再加工され（段階12・13）、撥形の両面調整石器、上部は縁辺に急斜度の剥離を施している。下半部の破損前の状態を図版157-111に示した。

分布 Sb-21の全域から出土している。段階1がN17区にまとまって分布する。

母岩別資料68・接合資料2433（図 - 256、図版163-2）

母岩別資料は接合2433の他、接合2435～2437・2439～2441で構成され、総点数91点、総重量662.8gである。

素材 73点（52個体）が接合し、重量は585.6g、大きさは15×12×9cmで、角が摩滅した断面三角形の垂角礫を素材とする。ほぼ原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 段階1・2の大型で他方向の剥離によって、原石面の除去・粗割りが行われる。段階2の剥片は、尖頭器の素材（個体A）となり剥離が行われ（A-段階1・2・3）、推定長さ12cm、幅

7.5cmの尖頭器が製作されている。

段階3からは通常の左右からの尖頭器調整剥離が始まっている。正面右からの剥離（段階3・4）が中央の稜線を越え、器体の幅を大きく減じている。裏面は原石が扁平なため、あまり加工が施されないが、左からの剥離（段階8）で断面が凸レンズ状に近づいている。製作された尖頭器は推定13×7×3cmで個体Aと類似した大きさである。2点とも遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb-17全体から出土しているが、段階1と段階2の剥片が1点ずつSb-15のK13区に分布している。

母岩別資料50・接合資料2087（図 - 256、図版168 - 1）

母岩別資料は接合2087の他、接合2078～2086・52052～52058で構成され、総点数71点、総重量1,251.1gである。

素材 8点（8個体）が接合し、重量は194.8g、大きさは11×6.5×5cmである。素材の形状は不明であるが、原石面の角は摩滅している。

剥離工程 石刃核の裏面（段階1）と側面（段階2）を調整し、正面で石刃を剥離している（段階3）。石刃核78が遺棄される。

分布 Sb-15のJ12区西側の集中区から散漫に出土している。

母岩別資料71・接合資料2469（図 - 257、図版164）

母岩別資料は接合2469の他、2463～2468・52204で構成され、総点数64点、総重量706.9gである。

素材 40点（31個体）が接合し、重量は524.1g、大きさは11×16×6cmで、角が摩滅した断面三角形の垂角礫を素材とする。ほぼ原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 原石を半割し（個体A・B）、それぞれ剥片剥離を行っている。個体Aは尖頭器を製作している（段階1～5）。正面左右からの剥離によって原石面を除去（段階1・2・4）しているが、段階4の先端部の剥離によって器体が破損し、折れ面を減じるように裏面の剥離がみられる（段階5）。段階5終了時の尖頭器は推定10×6.5×3cmである。

個体Bは主に正面側の剥片しか接合していないため詳細は不明であるが、基部に集中的な剥離を行い（段階6～11）大きく幅を減じている。

分布 Sb-18の全域に分布している。個体・段階による分布の違いはみられない。

母岩別資料356・接合資料2397（図 - 257、図版168 - 2）

母岩別資料は接合2397のみである。

素材 11点（5個体）が接合し、重量は2,008.3g、大きさは15×22×14.5cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。ほぼ原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 原石の長軸を剥離（点線部分）して打面を作出し、連続的に大型の剥片を剥離している（段階2）。途中、下からの剥離が何度かみられる。打面部を作出した横長剥片は石器の素材として利用され、剥片剥離（段階1）が行われているが、詳細は不明である。

分布 Sb-15のK13区の集中区から散漫に出土している。

写真のみ掲載の接合資料

母岩133・接合3109（図版163 - 3）は尖頭器11の接合資料で、裏面右からの剥片が3段階にわたって剥離されている。接合2512（図版169 - 1）は尖頭器12の接合資料で、破損後、再加工が行われている。接合2511（図版169 - 2）は尖頭器37の接合資料で、破損後に上半部も再加工されている。母岩355・接合2106（図版170 - 1）は両面調整石器46の接合資料で、ほぼ原石の状態まで接合している。母岩357・接合2430（図版170 - 2）は正面に上からの剥離、左側面に下からの剥離がみられ、石核80

が遺棄されている。母岩74・接合2513（図版170 - 3）は搔器59と調整剥片の接合資料で、右側縁と裏面に剥離がみられる。（直江康雄）

（11）石器ブロック22～25（Sb - 22～25）の石器

出土石器

尖頭器17点、両面調整石器8点、彫器2点、搔器4点、二次加工ある剥片10点、石刃44点、縦長剥片42点、石刃核9点、石核2点、削片2点、剥片9,000点、台石1点の計9,141点、重量77,147.6gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が最も多く88.9%を占め、以下黒曜石2（6.0%）、黒曜石4（2.6%）、黒曜石3（1.3%）、黒曜石5（1.1%）、黒曜石以外（0.05%）となっている。黒曜石以外は安山岩（0.04%）と頁岩（0.01%）である。尖頭器以外のツールがあまりみられない。

尖頭器（図 - 258 - 1～図 - 259 - 9、図版171・172）

14点（9個体）を図示している。1～3は完形品、4は先端部、5～8は基部、9は完形品だが加工が粗いものである。完形品の長幅指数は1が2.6、2が3.3、3が2.6、9が2.2である。1は表裏とも細かい加工が全周し、完成品と考えられる。左右が非対称で右側縁がやや膨らんでいる。粒状の球顆の流理構造がみられる黒曜石で、産地分析の結果、赤井川産と判定された。2は端正な形態で断面も凸レンズ状に加工されているが、基部側に多数の球顆がある。裏面基部の球顆の除去に失敗し、両側縁がノッチ状になり、ヒンジによる大きな段ができています。3は製作途中で、先端部右側が瘤状に残る。基部は比較的形態が整い細かな加工も一部でみられる。4は折れ面に直径2cmの球顆があり、破損の原因とみられる。先端部右側には初期の打面とみられる急斜度の剥離面が残っている。7は左右非対称で、厚さが薄く7mmである。正面左からのヒンジとなった剥離が折れ面に続いている。8は正面右下に除去しきれなかった段がある。9は先端部左側と基部左側に平滑な原石面があり、先端部右側には初期段階の急斜度な剥離面が残っている。

両面調整石器（図 - 259 - 10～図 - 260 - 12、図版172・173）

10点（3個体）を図示している。10は剥片素材、11・12は石核素材である。10は主に右側縁から基部にかけて交互剥離がみられる。先端部には裏面からの急斜度な加工が施されている。11・12とも一回の剥離によって器体が破損している。

彫器（図 - 261 - 13・14、図版172）

2点（2個体）を図示している。13・14とも石刃を素材とし、素材末端部に彫刀面を作出している。13は両側縁に急斜度の調整を施し、基部側を細く整形している。左刃の彫器で、彫刀面は腹面側にみられる。14の縁辺の加工は基部側を中心に施されるが、素材の形状はほとんど変えていない。右刃の彫器で、彫刀面は調整打面から側縁に作出されている。

搔器（図 - 261 - 15～18、図版172）

4点（4個体）を図示している。素材は15～17が石刃、18が尖頭器調整剥片である。15は刃部に最大幅があり、基部の両側縁に二次加工がみられる。16・17は両側縁がほぼ平行するものである。16の左側縁は急斜度で、右側縁の全体に二次加工がみられる。17の刃部は左に偏り、刃部以外の加工はほとんどみられない。18は端部の狭い範囲に刃部があるもので、縦断面が大きく湾曲している。

二次加工ある剥片（図 - 261 - 19、図版173）

4点（1個体）を図示している。19は尖頭器調整剥片を素材とし、バルブを除去するように腹面側を丸く加工している。

石刃（図 - 261 - 20、図版173）

1点(1個体)を図示している。20は中間部で、両側縁が平行し、背面の剥離面構成はすべて腹面と同方向である。

石刃核(図 - 262 - 21 ~ 図 - 263 - 29、図版173・174)

9点(9個体)を図示している。21は原石面打面、22~25は平坦打面、26~29は調整打面である。頭部調整は22・23・26・27・29でみられる。21は右側面に原石面が残り、比較的バルブが発達した石刃が剥離されている。22は最終的な剥離がウーラパッセを起こしているため、石核の高さが大幅に減少している。23の裏面には素材面が残り、剥片剥離が試みられているが剥離角が鈍角なため、打面の縁がすべて潰れている。24は両設打面で、下からの剥離は左側縁にみられ、正面に作業面転移する以前の石刃剥離面である。25は両設打面で、下設の打面は極端に剥離角が小さい。26は石刃剥離が全周しているが、裏面は作業面高が小さく、ヒンジがみられる。27の石刃剥離は正面が後退するように行われている。28は裏面に左右からの石核調整が施されている。29は作業面高が約18cmの大型のもので、主に正面で石刃が剥離されている。

台石(図 - 263 - 30、図版174)

1点(1個体)を図示している。30は安山岩を素材とし、左側縁に裏面からの調整が施されている。擦痕のほか、顔料などの付着はみられない。

石器ブロック22(Sb-22)の分布(図 - 264)

J19区の2.5×3.5mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のI19区に分布が広がると考えられる。調査区のラインから南に1mの範囲で遺物が集中している。尖頭器2点、彫器1点、搔器2点、石刃核2点、石核1点、削片1点、剥片61点の計70点、重量401.3gの石器類が出土した。ツール類が12.9%と、高い割合で出土している。

石器ブロック23(Sb-23)の分布(図 - 264)

J20・21区の5.5×2mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のI21区に分布が広がると考えられる。石刃3点、剥片87点の計90点、420.8gの石器類が出土した。Sb-22と対照的にツール類がまったくみられない。

石器ブロック24(Sb-24)の分布(図 - 264)

J21、K21区の2.5×3mの範囲で確認された。搔器1点、石刃17点、縦長剥片30点、石刃核4点、剥片87点の計139点、重量3,421.2gの石器類が出土した。石材は黒曜石1しかみられず、石刃剥離に関連する遺物が多い。

石器ブロック25(Sb-25)の分布(図 - 265・266)

J21~23、K22・23区の5×9.5mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のI21・22区に分布が若干広がると考えられる。J21・22区の境に集中域がみられる。尖頭器15点、両面調整石器8点、彫器1点、二次加工ある剥片10点、石刃24点、縦長剥片12点、石刃核3点、石核1点、削片1点、剥片8,765点、台石1点の計8,842点、重量72,904.3gの石器類が出土した。ほとんどのツール類がJ21・22区の境に集中している。遺物は深さ75cmにわたって出土し続け、この集中域の調査期間は1か月半程であった。大型の石刃核、一回の剥離で破損した両面調整石器、台石は東側の遺物が少ない地点に分布している。

石器ブロック22~25(Sb-22~25)の接合状況(図 - 266)

Sb-22~25では各ブロック内での接合を中心として、ブロック間にも接合関係が広がっている。Sb-22と25では1例のみブロック間接合がみられ、Sb-24と25では多くの接合関係がみられる。ま

た、Sb - 23・25では接合遺物が南側の石器ブロック外にまばらに分布している。

母岩別資料367・接合資料2312 (図 - 267・268、図版175)

母岩別資料は接合2312のみである。

素材 77点(49個体)が接合し、重量は1,681.4g、大きさは21×17.5×7.5cmである。剥片素材で、背面は半月状の「つめ跡」がみられる原石面が覆っている。

剥離工程 初期の段階(段階1～5)では、正面の原石面を除去する左右からの剥離が集中的に行われ、幅が12cm程度まで減じている。裏面では正面の加工の打面を作出する剥離(段階3)がみられる程度である。段階6の時に内在する割れが原因で、先端部左側縁が4cm程破損し、側縁にはほぼ垂直の大きな剥離面が残る。段階8・9は左側縁の加工で、前述した垂直の面を打面とし、両側への加工で鋭い縁辺を作り出しているが、先端部までは到らず、破損により尖頭器3が遺棄される。

分布 Sb - 25のJ21・22区の境から集中的に出土している。

母岩別資料61・接合資料2314 (図 - 269～271、図版176～181)

母岩別資料は接合2314の他、接合2315～2317・52148～52151で構成され、総点数208点、総重量3,352.6gである。

素材 193点(110個体)が接合し、重量は3,307.0g、大きさは28×16×10.5cmで、半月状の「つめ跡」のある円礫を素材とする。原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 接合2314では、前段階で剥離された剥片をはずして次の模式図を提示し、対応する接合状態は写真のみ掲載(図版177～181)している。

正面下部の左右からの剥離(段階1・2)の後、裏面を全面的に加工し(段階3～5)原石面を除去している。裏面の素材が平坦なため、剥離は反対側縁近くまで伸び、器体の厚みが大きく減じている。正面では段階6・7によって、原石面がほとんど除去され、中央の厚みが大きく減じ、断面が凸レンズ状に近づいている。この時点の器体の幅は12.5cm、厚さは5cm程である。また、段階6の剥片は二次加工ある剥片19となっている。段階8～10では突出した左側縁を交互剥離によって処理している。段階11～13は縁辺全体の加工で、正面左 裏面左 裏面右と作業が続く。この時点での器体の幅は12cm、厚さは3.2cm程で、厚さだけを大きく減じていることが分かる。段階15～18は基部に現れた直径1.5cmの球顆を除去する作業で、長さがやや減じるが処理に成功している。段階19～25は縁辺全体にわたる加工で、正面左 裏面右 正面右 裏面左 正面左 正面右と作業が続く。剥片の打面は点状のものが多く、断面が薄い凸レンズ状になっている。最終的に原石から長さはほとんど減じることなく、25×8×1.5cm前後の尖頭器が製作される。ほぼ完成品と思われ、尖頭器は遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb - 25のJ22区の集中域からまとまって出土しているが、ブロックの北東部の遺物が散漫な地点にも分布が広がっている。

母岩別資料56・接合資料2124 (図 - 272・273、図版182～184)

母岩別資料は接合2124の他、接合2116～2123・52073～52095で構成され、総点数204点、総重量1,715.7gである。

素材 135点(80個体)が接合し、重量は1,373.8g、大きさは28×15×8cmで、滑沢な原石面がある角礫を素材とする。粗い両面調整石器の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 接合2124では、前段階で剥離された剥片をはずして次の模式図を提示し、各段階の状態は写真のみ掲載(図版183・184)している。段階1・2は遺跡外で行われた作業と同段階で、突出した縁辺に加工がみられる。段階3は正面左の急斜度な剥離で、器体の幅のみが減じている。段階4・5

は裏面の剥離で、特に先端部を集中的に剥離し、厚さを減じている。段階 5 の右側縁中央で剥離された大型で横長の剥片は欠落している。段階 6 ~ 9 で連続的に縁辺全体を加工し、正面左 正面右 裏面左 裏面右と作業が続く。この時点での器体の幅は9.5cm、厚さは4 cm程である。さらに段階10・11で集中的に正面を剥離し、幅・厚さとも1 cm前後減じている。最終的に裏面に加工がみられ(段階12・13) 大きさが25×6×2.5cmの尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 S b - 25のJ 21・22区の境から集中的に出土している。

母岩別資料371・接合資料2364 (図 - 274・275、図版185)

母岩別資料は接合2364のみである。

素材 57点(36個体)が接合し、重量は3,461.7g、大きさは23.5×16×15cmで、半月状の「つめ跡」のある円礫を素材とする。原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 粗割り・原石面除去(段階1)の途中で器体が半分に破損している。上半部は器体長軸を実測図の横方向に変更し再加工(段階2以降)される。段階2は裏面の剥離で、反対側縁近くまで抜けた剥離が数回みられ、厚みを大きく減じ、平坦化している。段階4~8は正面の剥離で段階ごとに幅が狭くなり、断面が湾曲化している。裏面の剥片が欠落しているため、詳細は不明である。製作された尖頭器は欠落している。

分布 S b - 25のJ 22区の集中域からまとまって出土しているが、段階1の剥片がブロックの東部の散漫な地点に単独で分布している。

母岩別資料364・接合資料2308 (図 - 276、図版186 - 1)

母岩別資料は接合2308のみである。

素材 37点(34個体)が接合し、重量は446.3g、大きさは23×8.5×6 cmで、原石面がみられず、素材の形状は不明である。粗い両面調整石器の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 裏面先端部の剥離(段階1・2) 正面右からの急斜度な剥離(段階3)の後、正面の縁辺全体を連続的に加工している(段階4・5) 段階5の先端部の剥離は、激しいウーラパッセを起こし、器体の長さを2.5cmほど損ねている。段階6以降は基部を中心とした加工で、中央の稜を越える剥離があまりみられず、幅のみが減じている。最終的に幅6 cm前後の尖頭器が製作されるが、裏面に接合する剥片がほとんどないため、厚さは不明である。製作された尖頭器は欠落している。

分布 S b - 25のJ 21・22区の境から集中的に出土している。

母岩別資料62・接合資料2320 (図 - 277、図版187)

母岩別資料は接合2320の他、接合2318・2319・52152・52153で構成され、総点数105点、総重量984.2gである。

素材 96点(63個体)が接合し、重量は956.5g、大きさは、23×12×7.5cmで、半月状の「つめ跡」のある円礫を素材とする。断面四辺形の粗い両面調整石器の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 正面右からの剥離(段階1)で残っていた原石面を除去する。段階2・3によって裏面を全面的に加工し、厚さを大きく減じている。段階4・5・7で基部を集中的に交互剥離し、正面左右の剥離(段階6・8)を行う。段階8剥離時の幅は11cm、厚さは4.5cm程である。段階9~12は縁辺全体にわたる連続的な加工で、正面右 裏面左 裏面右 裏面左と作業が続いている。段階13~15は先端部の集中的な加工で、尖頭形を作り出している。最終的に正面左右の剥離(段階16・17)が施され、大きさが20×7.5×2.5cm前後の尖頭器となり、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 S b - 25のJ 21・22区の境から集中的に出土している。

母岩別資料369・接合資料2321 (図 - 278、図版188)

母岩別資料は接合2321のみである。

素材 68点(48個体)が接合し、重量は790.0g、大きさは19.5×12×6.5cmで、半月状の「つめ跡」のある円礫を素材とする。原石面が多く残る粗い両面調整石器の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 正面右からの剥離(段階1・3・4)と裏面左右の剥離(段階2・5)によって原石面が除去される。段階6～8で裏面を全面的に加工し、段階9～12で正面を集中的に加工している。最終的に裏面右からの加工(段階13)が施され、17×7×2.5cmの尖頭器となり、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb-25のJ21・22区の境から集中的に出土している。

母岩別資料372・接合資料2365(図 - 279、図版189)

母岩別資料は接合2365のみである。

素材 83点(54個体)が接合し、重量は688.9g、大きさは19×11.5×7cmで、扁平で角が摩滅した亜角礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 正面左右の剥離(段階1・5)によって原石面と厚みがほとんど除去される。裏面は平坦なため、右側面から集中的な加工(段階2・6)が行われる。段階7・8は正面の縁辺全体に及ぶ加工である。段階9・11・12は裏面基部、段階10が正面先端部の加工で、最終的に17×7×2.5cm程の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb-25のJ21・22区の境から集中的に出土している。

母岩別資料370・接合資料2363(図 - 280、図版190)

母岩別資料は接合2363のみである。

素材 58点(41個体)が接合し、重量は788.8g、大きさは17.5×12×7cmで、扁平で角が摩滅した亜角礫を素材とする。ほぼ原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 正面左右の剥離(段階1・4)によって原石面を除去するが、段階1が急斜度剥離であるのに対し、段階4は中央の稜を越える剥離で、大きく厚みを減じている。裏面は段階2・3によって原石面の除去が行われ、厚みも大きく減じている。段階5・6は先端部の交互剥離である。段階7・8は縁辺全体に及ぶ連続的な加工であるが、段階7の先端部と段階8の中央部の加工は、打面を大きく取り込みすぎ、全体のバランスを崩している。段階9は裏面先端部の加工で、正面左右の剥離(段階10・11)によって縁辺の輪郭を修正し、最終的に10×8×2cm程の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb-25のJ21・22区の境から集中的に出土している。

母岩別資料365・接合資料2309(図 - 281・282、図版196)

母岩別資料は接合2309のみである。

素材 18点(10個体)が接合し、重量は4,638.6g、大きさは17×17×18cmで、角が摩滅した亜角礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 打面再生・調整(段階4)と石刃剥離(段階1・3・5)を交互に行っている。原石の角をそのまま利用し、石刃剥離が開始される。段階2・6は下からの剥離で、段階6は段階5でできたヒンジの除去が目的とみられる。原石には粒状の球顆が多くみられ、石刃のほとんどが剥離時に破損している。段階7は裏面横からの剥離で、他との前後関係は不明である。石刃核29が遺棄される。

分布 Sb-25のJ22区の集中域からまとまって出土しているが、ブロックの北東部の散漫な地点にも分布が広がり、ブロック外のJ25区から単独で段階1の縦長剥片が出土している。

母岩別資料64・接合資料2339(図 - 282・283、図版197)

母岩別資料は接合2339の他、接合2340・52161で構成され、総点数62点、総重量1,921.0gである。

素材 58点(42個体)が接合し、重量は1,914.7g、大きさは20×11.5×11cmで、滑らかな原石面に覆われた円礫を素材とする。原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 両面とも左右からの剥離(段階1～7)によって厚手の両面調整石器が製作され、石刃核の母型としている。段階7終了時の状態が図 - 283 - 42である。両面調整石器の縁辺に沿うように打面を作出(段階8・9)していき、ある程度の剥離角が得られたところで石刃剥離を開始する。石刃剥離(段階10・12・14・16)は打面再生(段階11・13・15)と交互に行われ、作業面が左側に偏りながら進行する。段階12で打点付近に大きなヒンジが発生するが、石刃剥離によって作業面を再生している。最終的に段階16で末端が幅広の縦長剥片が剥離され、次の石刃剥離の稜がなくなったため、石刃核28が遺棄される。

分布 Sb - 25のJ21・22区の境から集中的に出土している。

母岩別資料373・接合資料2596(図 - 284、図版198 - 1)

母岩別資料は接合2596のみである。

素材 26点(24個体)が接合し、重量は544.0g、大きさは14×8×6.5cmで、ザラついた岩屑面がある角礫を素材とする。

剥離工程 段階7までは作業面が規則性なく頻りに転移しながら石刃を剥離している。段階8以降は正面と右側面が主な作業面となり、打面を再生しながら(段階9・11)、上下から石刃剥離が行われ(段階8・10・12・13)、石刃核24が遺棄される。打面調整は段階10の縦長剥片、頭部調整は段階13の石刃にのみ施されている。

分布 Sb - 24にまとまって分布するが、段階3・5の剥片がSb - 25のJ21・22区の集中域から単独で出土している。

母岩別資料376・接合資料2599(図 - 284・285、図版198 - 2)

母岩別資料は接合2599のみである。

素材 36点(28個体)が接合し、重量は1,155.7g、大きさは12.5×13×9cmで、滑らかな原石面がある円礫を素材とする。原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 裏面上からの剥離(段階1)の後、横方向に大きな剥片を剥離し(段階2)、以降の打面としている。周辺をほぼ全周する連続的な剥離(段階3)が行われ、厚手で大型の縦長剥片が剥離され、原石面がほぼ除去される。段階3の後半から作業面が右側面に固定され、石刃が剥離される。その後、上下で打面転移を繰り返し(段階4・5・6)、石刃が剥離され、石刃核25が遺棄される。打面調整は段階5・6、頭部調整は段階5に施されている。

分布 Sb - 24にまとまって分布するが、段階3・5の石刃がSb - 25のJ21・22区の集中域から単独で出土している。

母岩別資料375・接合資料2598(図 - 285、図版198 - 3)

母岩別資料は接合2598のみである。

素材 18点(17個体)が接合し、重量は785.7g、大きさは10×7.5×12cmで、滑らかな原石面に覆われた円礫を素材とする。原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 裏面から打面を作出し(段階1)、石刃・縦長剥片剥離(段階2)を行っている。石核を半周するように原石面の除去を行った後、正面が後退するようにジグザグ状の石刃剥離が進行し、石刃核27が遺棄される。前半の石刃・縦長剥片剥離では平坦打面で、作業終了直前から調整打面となる。頭部調整は石刃の一部と石刃核にみられる。

分布 S b - 24の全域から出土している。

母岩別資料362・接合資料2272 (図 - 286、図版199 - 1)

母岩別資料は接合2272のみである。

素材 13点(13個体)が接合し、重量は362.9g、大きさは10×7×10cmで、滑らかな原石面に覆われた円礫を素材とする。ほぼ原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 左側面に上から大きな剥離を行い(欠落)段階1の打面とする。段階1は上面での連続的な剥離で、原石面がある幅広の剥片が多く剥離される。その後、打面を転移し、正面上から石刃・縦長剥片の剥離(段階2)が行われ、石刃が搔器17に加工されている。その他は原石面がある厚手の縦長剥片である。さらに、打面を下端に転移し、剥片が剥離され(段階3)作業が終了する。石核は欠落している。打面調整はみられず、頭部調整が段階1の一部に施されている。

分布 S b - 24にまとまって分布するが、段階1の剥片と段階2の縦長剥片がS b - 25のJ 21・22区の集中域から単独で出土している。

母岩別資料374・接合資料2597 (図 - 286・287、図版199 - 2)

母岩別資料は接合2597のみである。

素材 16点(13個体)が接合し、重量は444.7g、大きさは8.5×10.5×7.5cmで、滑らかな原石面に覆われた垂角礫を素材とする。ほぼ原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 平坦な原石面を打面に固定し、石核を半周するように石刃・縦長剥片を剥離している。外側では原石面付きの厚手の縦長剥片が多いが、内側では石刃が連続的に剥離され、石刃核21が遺棄される。頭部調整が石刃の一部に施されている。

分布 S b - 24にまとまって分布するが、最初剥離された剥片がS b - 25のJ 21・22区の集中域から単独で出土している。

接合資料2105 (図 - 287)

素材 3点(3個体)が接合し、重量は61.7g、大きさは4×5×5cmで、素材の状態は不明である。

剥離工程 頭部調整を施しながら石刃が剥離され、最終的に石刃核26が遺棄される。

分布 S b - 22からの全域から散漫に分布している。

模式図・遺物分布図・写真図版掲載の接合資料

母岩別資料363・接合資料2274 (図 - 288、図版191 - 1)

母岩別資料は接合2274のみである。

素材 21点(15個体)が接合し、重量は559.0g、大きさは15.5×9.5×4.5cmで、素材の形状は不明だが、原石面は滑らかである。

剥離工程 正面右側の剥離(段階1)で、器体基部の幅を3cm近く損ね、側縁の角度がほぼ垂直となる。段階2・4は前述した垂直の面を打面とする両側への加工で、鋭い縁辺を作り出している。しかし、正面右からの剥離(段階4)は中央の稜を越えるものが少ないため、右側縁は急斜度な縁辺のままである。裏面先端部を加工(段階5・6)した後、器体が破損し、尖頭器9が遺棄される。

分布 S b - 25のJ 21・22区の境からまとまって出土している。

接合資料2276 (図 - 288、図版191 - 2)

素材 22点(11個体)が接合し、重量は823.9g、大きさは16×15×5cmで、素材の形状は不明だが、原石面には半月状の「つめ跡」がみられる。

剥離工程 正面上からの剥離(段階1・2)は原石面の除去を目的とした初期段階の剥離である。段階2はすべて原石面を打面としている。個体Aは段階2で剥離された大型の剥片で、表裏面を粗く調

整し、両面調整石器10を製作するが、破損により遺棄される。

分布 Sb - 25のJ22区の集中域からまとまって出土しているが、段階1の剥片はすべてブロック北東部の散漫な地点に分布し、段階2の剥片がSb - 23から単独で出土している。

接合資料2311(図 - 288、図版186 - 2)

素材 50点(32個体)が接合し、重量は1,136.8g、大きさは23.5×16.5×7cmである。素材の形状は不明だが、原石面には半月状の「つめ跡」がみられる。

剥離工程 尖頭器の表側を主体とした接合資料である。段階1は裏面右からの剥離で、裏面の剥離はこれ以外接合していない。正面左右からの加工(段階2～6)が進み、最終的に幅9cm前後の尖頭器となり、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb - 25のJ21・22区の境から集中的に出土している。

写真のみ掲載の接合資料

接合2247(図版192 - 1)は尖頭器4の接合資料で、主に正面側の剥片が接合している。母岩55接合2113・2114(図版192 - 2)はそれぞれ同一尖頭器の表側と裏側の接合資料で、最終的に幅8cm前後の尖頭器が製作されている。母岩60・接合2277(図版193 - 1)は尖頭器の表側の接合資料で、最終的に7cm前後の尖頭器が製作されている。母岩361・接合2115(図版193 - 2)は両面調整石器11の接合資料で、原石(円礫)の状態まで復元された。母岩366・接合2310(図版194)は両面調整石器12の接合資料で、原石(円礫)の状態まで復元された。母岩368・接合2313(図版195)は大型の原石(円礫)を遺跡に搬入し、剥片剥離を開始しているが、内在する割れが著しく、有効な剥片を得ることなく作業を終了している。(直江康雄)

(12) 石器ブロック26～30(Sb - 26～30)の石器

出土石器

尖頭器26点、両面調整石器12点、彫器1点、搔器2点、削器1点、二次加工ある剥片5点、細石刃2点、石刃3点、縦長剥片10点、石核5点、剥片6,372点の計6,439点、重量50,990.7gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が最も多く79.6%を占め、以下黒曜石4(13.0%)、黒曜石5(4.7%)、黒曜石3(2.7%)、黒曜石2(0.03%)、碧玉(0.03%)となっている。尖頭器以外のツール類はあまりみられず、碧玉製の石器は彫器と縦長剥片である。

尖頭器(図 - 289 - 1～図 - 291 - 15、図版200・201)

24点(14個体と層出土1個体を加えた15個体)を図示している。1・2は有舌尖頭器である。1は両面ともやや右下がりの斜平行剥離が施され、断面が凸レンズ状で完成品と思われる。最終的な細かい剥離は錯向状で、両面の左側縁にみられ、舌部の左縁辺は摩滅している。舌部は欠損し、折れ面には正面からのリングが広がっている。産地分析の結果、所山産と判定された。2は両面とも平行剥離がみられ、断面が凸レンズ状で完成品と思われる。最終的な細かい剥離は錯向状で、両面の左側縁にみられる。舌部の左縁辺は摩滅し、末端は丸く加工されている。先端部は、先端からの衝撃剥離の可能性があり、激しいヒンジとなっている。

3～15は舌部のない尖頭器及びその破片である。3～7はほぼ完形品、8は先端部、9は中間部、10～15は基部である。完形品の長幅指数は3が3.8、5が2.2、6が2.5、7が2.9である。破損後の再加工は4の下端、5の下端・下半部、6の下半部、8の下半部でみられる。3は滑らかな平坦剥離が全面を覆い、縁辺の細かい剥離は、右側縁は先端部が裏面、中央部から基部にかけてが正面、左側縁は先端部から中央部が正面、基部が裏面に施され、器体を全周している。断面が薄く、凸レンズ状で、

完成品に近いとみられるが、基部右側に打面を取り込みすぎたことによる凹みがある。4は細身だが、両面とも平坦剥離がやや粗い。正面左側縁と裏面先端部に細かな加工がみられ、尖頭器10と接合する。5の下半部の再加工はわずかである。6は縦断面が湾曲し、下半部の再加工はわずかである。7は正面に直径1.3cm程の球顆があり、破損の原因となっている。縦断面が湾曲し、正面は両側縁とも急斜度である。8は正面の細かな加工によって先端部を尖らせている。9は両面に丁寧な平坦剥離と細かな加工がみられ、器面が滑らかである。断面が凸レンズ状で完成品とみられる。10の基部にはザラついた岩屑面があり、尖頭器4と接合する。12は裏面両側縁に細かな加工がみられる。13の両側面は急斜度で、ザラついた岩屑面がある。14は折れ面に直径1.3cm程の球顆があり、破損の原因とみられる。15は裏面の加工が急斜度で浅いため、断面が五角形となっている。

両面調整石器 (図 - 291 - 16 ~ 図 - 293 - 19、図版201 ~ 203)

10点(4個体)を図示している。16~18が石核素材で、19が剥片素材である。16は裏面左右からの大きな剥離によって、基部側が平坦化し、先端部に厚みが残る。17は右側面がほぼ垂直な面である。破損後、正面下からの加工によって折れ面を除去しようと試みている。18は裏面を中心に加工が施され、先端側に器体を挟むようなウートラパッセがみられる。19は裏面右側縁に平坦剥離が施されている。

彫器 (図 - 294 - 20、図版202)

1点(1個体)を図示している。20は碧玉製の石刃を素材とし、素材の打面側に左刃の彫刀面を作出するものである。石材の碧玉は中央部から基部が赤色で、刃部が黄褐色の二色で構成されている。基部調整は背面左側縁に急斜度調整、裏面基部に平坦剥離がみられる。先端右側にノッチ状の調整を施して彫刀面の打面とし、最低1回の彫刀面再生が行われている。

搔器 (図 - 294 - 21・22、図版202)

2点(2個体)を図示している。21は石刃を素材とし、中央部に最大幅があり、刃部は右に偏った尖頭形に作り出されている。原石面はザラついた岩屑面である。22は尖頭器調整剥片が素材で、端部の広い範囲に薄手の刃部が加工されている。打面側でもバルブを平坦剥離によって除去し、背面側に狭く突出した刃部を作出している。2点とも側縁加工は施されていない。

削器 (図 - 294 - 23・24、図版202)

2点(1個体と層出土1個体を加えた2個体)を図示している。23は縦長剥片を素材とし、背面右側縁に入念な平坦剥離を施している。24は細長い石刃を素材とし、打面側両側縁に平坦剥離を施している。基部と折れ面手前の加工が深く、搔器の基部の可能性もある。

錐形石器 (図 - 294 - 25、図版202)

1点(層出土1個体)を図示している。25はめのう製の細身の石刃を素材としている。両側縁に加工は施されず、末端部に腹面からの加工で突出部を作出している。

石刃・縦長剥片 (図 - 294 - 26~28、図版203)

4点(3個体)を図示している。26は濃緑色の碧玉製で、ほぼ完形品である。打面は調整によって山形に突出している。27は中間部で、正面左側に横方向からの剥離がみられる。28はほぼ完形品で縦断面が湾曲し、背面末端部に稜調整の痕が残る。

石核 (図 - 294 - 29、図版203)

2点(1個体)を図示している。29は柱状の分割礫を素材としている。両設打面で、上端の調整打面から、ウートラパッセを起こしている縦長剥片の剥離痕が一枚みられる。

石器ブロック26 (Sb - 26) の分布 (図 - 295)

J 26 ~ 28、K 24 ~ 28、L 23 ~ 26区の5.5 × 22mの範囲から北東方向に細長い形で確認された。K 26区に最も遺物が集中している。尖頭器14点、両面調整石器2点、削器1点、二次加工ある剥片1点、剥片1,446点の計1,464点、重量6,438.6gの石器類が出土した。有舌尖頭器1が出土している。

石器ブロック27 (Sb - 27) の分布 (図 - 296)

K 27、L 25 ~ 27、M25・26区の4 × 11.5mの範囲から確認された。L 26区に最も遺物が集中している。尖頭器2点、両面調整石器2点、搔器1点、縦長剥片5点、石核2点、剥片1,893点の計1,905点、重量18,461.7gの石器類が出土した。濃緑色の碧玉製縦長剥片が出土している。

石器ブロック28 (Sb - 28) の分布 (図 - 297・298)

M24 ~ 26、N23 ~ 26、O23区の6 × 17.5mの範囲から北東方向に細長い形で確認された。N24・25区の境とM25区に集中域がみられる。尖頭器10点、両面調整石器8点、搔器1点、二次加工ある剥片2点、細石刃2点、石刃3点、縦長剥片5点、石核3点、剥片1,457点の計1,491点、重量13,792.8gの石器類が出土した。尖頭器が多く、有舌尖頭器もみられる。

石器ブロック29 (Sb - 29) の分布 (図 - 299)

L 27 ~ 29、M27 ~ 29区の5 × 13.5mの範囲から北東方向に細長い形で確認された。M27区に最も遺物が集中している。彫器1点、剥片794点の計795点、重量4,673.4gの石器類が出土した。ツール類が極端に少なく、赤色の碧玉製彫器1点のみである。

石器ブロック30 (Sb - 30) の分布 (図 - 299)

M27 ~ 29、N26 ~ 28区の4.5 × 12mの範囲から東西方向に細長い形で確認された。N27区に最も遺物が集中している。二次加工ある剥片2点、剥片782点の計784点、重量7,624.2gの石器類が出土した。ツール類が極端に少なく、二次加工ある剥片以外はみられない。

石器ブロック26 ~ 30 (Sb - 26 ~ 30) の接合状況 (図 - 266)

Sb - 26 ~ 30では各ブロック内での接合を中心として、ブロック間にもまんべんなく接合関係が広がっている。特にSb - 28と29で密接な接合関係がみられる。折れ面接合は、Sb - 26・28・30で斜面方向に細長いブロックの中で広範囲に広がってみられる。ブロック間で折れ面接合している例も数点確認された。

母岩別資料128・接合資料3094・3093・3095 (図 - 301、図版204)

母岩別資料は接合3094・3093・3095で構成され、総点数82点、総重量840.6gである。

素材 接合3094は10点(7個体)が接合し、重量は105.7g、大きさは18 × 5 × 2.5cmで、接合3093は39点(17個体)が接合し、重量は422.8g、大きさは22.5 × 11 × 2.5cmで、接合3095は33点(19個体)が接合し、重量は312.1g、大きさは27.5 × 9 × 4.5cmで、ザラついた岩屑面がある角礫素材で、ほぼ原石の状態に搬入されている。

剥離工程 接合3093・3095はそれぞれ同一尖頭器の表裏面の接合資料である。接合3093は平坦な原石面を左右から加工し、接合3095は原石面である左右の急斜度な側面から中央の稜を越える剥離を多数行い、大幅に厚みを減じている。さらに加工が進んだ状態が接合3094となる。正面左(段階1)裏面左(段階2)と加工が続き、器体が破損し、尖頭器10が遺棄される。上半部は折れ面側を中心に再加工され(段階3)、柳葉形の尖頭器が製作されるが最終的に破損し、尖頭器4が遺棄される。

分布 Sb - 28のM25区からまとめて出土している。

母岩別資料88・接合資料2605 (図 - 301・302、図版205 - 1)

母岩別資料は接合2605の他、接合2606・2607で構成され、総点数31点、総重量361.9gである。

素材 19点(13個体)が接合し、重量は282.9g、大きさは16×8×3.5cmで、素材の形状は不明であるが、半月状の「つめ跡」がある原石面がみられる。

剥離工程 尖頭器の正面側のみでの接合資料である。左からの剥離(段階2)が反対側縁まで抜け、厚みが大きく減じているが、器体正面が抉られ、縦断面が湾曲する。左からの剥離(段階4)の後、先端部が破損し、下半部にわずかに再加工が行われるが、再び破損し、尖頭器6が遺棄される。

分布 ほとんどがSb-26のL24・25区の境に分布しているが、尖頭器は西側の遺物の散漫なL23区にまとめられ、段階3の剥片の一部が東側のK27区の集中域から単独で出土している。さらに、段階1・2の剥片の一部がSb-28に分布している。

母岩別資料378・接合資料2688(図 - 302・303、図版206)

母岩別資料は接合2688のみである。

素材 47点(32個体)が接合し、重量は1,428.4g、大きさは24.5×10.5×8.5cmで、ザラついた岩屑面がある断面四辺形で棒状の角礫を素材とする。原石の状態に搬入されている。

剥離工程 正面左右からの剥離(段階1)の後、器体が破損している。上半部は左側面の剥離と折れ面からの再加工(段階2)を施し、両面調整石器17が遺棄される。下半部は段階3～7の剥離によって器体の粗割りをしている。特に折れ面からの剥離(段階3・7)によって厚さを大きく減じている。段階8以降は側縁の連続的な加工で、作業面を転移しながら器体の幅・厚さを減じ、木葉形の尖頭器を製作している。最終的に器体が破損し、尖頭器5が遺棄される。

分布 Sb-27のL26区の集中域からまとまって出土している。

母岩別資料380・接合資料2690(図 - 304・305、図版205-2)

母岩別資料は接合2690のみである。

素材 68点(52個体)が接合し、重量は1,148.4g、大きさは23.5×11×8cmで、平滑で板状の角礫を素材とする。原石の状態に搬入されている。

剥離工程 段階1～4の剥離によって原石面が除去される。特に裏面右からの段階1は反対側縁まで抜ける剥離で、器体の厚みを大幅に減じている。右側面に残る原石面は急斜度で、段階4によって除去される。段階6は右側縁の膨らみを減じるための剥離だが、最終剥離は打面が大きくなりすぎ、縁辺が内湾してしまう。これは段階7・8によって修正されるが、段階10剥離後、器体が破損し、尖頭器12が遺棄される。上半部は再加工され、段階11～13まで剥離が進む。折れ面を減じるような剥離ではなく、両側縁全体にわたる加工がみられる。最終的に幅5.5cm、厚さ2cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb-27のL26区の集中域からまとまって出土している。

母岩別資料383・接合資料3070(図 - 305、図版207)

母岩別資料は接合3070のみである。

素材 33点(19個体)が接合し、重量は1,406.5gで、大きさは24.5×10×6cmで、滑らかな原石面がある板状の角礫を素材とする。原石の状態に搬入されている。

剥離工程 段階1～4は厚手で幅広い先端部を集中的に加工している。段階5からは縁辺全体に及ぶ連続的な加工である。右側面は急斜度で、段階5を剥離してもあまり解消されていない。裏面は平坦で、全面に及ぶ剥離が多いが、段階7で裏面を抉るようなウートラパッセが起きたため、器体が破損し、両面調整石器18が遺棄される。

分布 Sb-28のM25区から集中的に出土している。

母岩別資料385・接合資料3186 (図 - 306・307、図版209)

母岩別資料は接合3186のみである。

素材 106点(64個体)が接合し、重量は1,393.5g、大きさは28×13.5×8cmで、扁平で角が摩滅した亜角礫を素材とする。ほぼ原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 剥離の初期には幅広の基部を中心に加工(段階1・2・4)し、幅を大きく減じている。途中、両面の左右からの段階3・5～7で原石面の除去を行う。段階6で正面、段階7で裏面の厚みを大きく除去し、この時点の器体の幅は11cm、厚さは3.5cm程である。原石面の除去後は、あまり加工がみられず段階10で幅がやや減じる程度である。最終的に幅10cm、厚さ3cm程の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb-30のN27区の集中域からまとまって出土しているが、3m程東側の散漫な地点にも分布している。さらに、段階1・7の剥片が1点ずつSb-29の散漫な地点から出土している。

母岩別資料129・接合資料3097 (図 - 308・309、図版210・211-1)

母岩別資料は接合3097の他、接合3098・3099・52616で構成され、総点数99点、総重量1,711.6gである。

素材 91点(53個体)が接合し、重量は1,683.3g、大きさは28×16.5×10cmで、ザラついた岩屑面がある角礫を素材とする。大きく粗割りされた状態で遺跡に搬入している。

剥離工程 段階2・3は部分的な突出部の除去で、段階1・4・5の加工によって裏面の厚みを4cm前後除去している。段階6は正面左からの加工で、中央の稜線を越える剥離が多く、正面の厚みを減じている。しかし、素材の形状からか、縁辺は内湾している。裏面左右からの全体にわたる加工(段階9・10)の後、段階12で基部を集中的に剥離することにより、左側縁の内湾する輪郭を修正している。最終的に25×10×3cm前後で、両側縁がやや急斜度な尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb-29の集中域全体からまとまって出土しているが、段階4・11・13の剥片が1点ずつブロック南東部の散漫な地点に分布している。

母岩別資料97・接合資料2709 (図 - 310・311、図版212)

母岩別資料は接合2709の他、接合52398・52399で構成され、総点数102点、総重量1,792.3gである。

素材 99点(58個体)が接合し、重量は1,778.5g、大きさは24.5×16×9.5cmである。素材の形状は不明だが、粗割りされ、原石面が除去された状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 裏面全体への左右の剥離(段階1・2)、正面全体への左右の剥離(段階3・4)を施し、厚みが大きく除去され、左側面の角度は垂直から急斜度に変化している。また、段階3で先端部左側の幅が大きく減じられている。段階8～11は縁辺全体に及ぶ連続的な加工で、段階8・10の加工は中央の稜を越える剥離が多く、厚さが減じ、断面が凸レンズ状に近づいている。尖頭器の長軸は、長方形である素材の対角線上に設定され、素材の長さを無駄にしない工夫がみられる。最終的に21×10×3.5cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb-27のL26区から集中的に出土している。

母岩別資料143・接合資料3176 (図 - 311・312、図版213)

母岩別資料は接合3176の他、接合3177・3178・3179・52648で構成され、総点数47点、総重量547.5gである。

素材 31点(25個体)が接合し、重量は463.0g、大きさは21.5×10.5×7cmで、ザラついた岩屑面に覆われた断面四辺形で棒状の角礫を素材とする。ほぼ原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 裏面左右の剥離(段階1・3・4)によって原石面が除去され、厚みを大きく減じている。段階2は正面基部の剥離で、幅が3.5cm前後減る大きな加工である。段階5・6は正面の縁辺全体にわたる剥離で、原石面を除去し、急斜度な両側縁をややなだらかにしている。最終的に柳葉形で20×7×2.5cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb-28のN24区からまとまって出土しているが、北東側のM25区の集中域に段階1・5・6の剥片の一部が分布している。

母岩別資料377・接合資料2672(図 - 313、図版214)

母岩別資料は接合2672のみである。

素材 64点(53個体)が接合し、重量は302.7g、大きさは15.5×9×5cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。裏面を粗く剥離した状態で遺跡に搬入している。

剥離工程 段階1・3は正面の原石面除去で、段階2・4によって急斜度な基部右側面が、ややなだらかになっている。段階5・6は正面の縁辺全体にわたる剥離で、段階7・8は先端部に集中的な加工を施し、幅を狭くしている。段階9・10・12は裏面の縁辺全体にわたる剥離で、段階9の剥離は中央の稜を越える加工が多く、断面を凸レンズ状に近づけている。裏面先端部を整え(段階11・13)、最終的に13×6×2cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb-26の集中域に広い範囲で分布し、遺物が散漫な東側の地点から段階6・9の剥片の一部が出土している。また、Sb-26の東側である石器ブロック外に段階10の剥片が1点分布している。

母岩別資料96・接合資料2691(図 - 314、図版215)

母岩別資料は接合2691の他、接合2692~2695・52393・52394・52408で構成され、総点数79点、総重量1,579.3gである。

素材 59点(36個体)が接合し、重量は1,327.1g、大きさは25×23.5×7cmで、扁平で角が摩滅した亜角礫を素材とする。原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 裏面は平坦剥離(段階1・4・5)で、原石面を除去している。正面は急斜度剥離(段階2・3・6)で、特に右側縁を頻繁に加工している。段階6剥離後も両側縁の角度はなだらかにならず、急斜度なままである。最終的に25×8×3.5cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb-27のL26区の集中域からまとまって出土している。

母岩別資料95・接合資料2686・2687(図 - 315・316、図版216)

母岩別資料は接合2686・2687で構成され、総点数71点、総重量1,159.0gである。

素材 接合2686は41点(20個体)が接合し、重量は723.1g、大きさは27×15×4.5cmで、接合2687は30点(18個体)が接合し、重量は435.9gで、大きさは27×15×3.5cmで、ザラついた岩屑面がある板状の角礫を素材とする。原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 二つの接合資料は、同一尖頭器の表側と裏側にあたる。接合2686は段階1・2によって原石面を除去し、厚さを減じている。段階3・4は縁辺全体にわたる加工で、段階4の剥離は中央の稜を越える加工が多く、厚さを減じ、断面をなだらかにしている。接合2687は、段階1が先端の突出部を除去し、段階2によって左側の急斜度な面がなだらかになっている。最終剥離は接合2686の段階5とみられ、幅10cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 接合2686・2687ともSb-27のL26区の集中域からまとまって出土している。

母岩別資料379・接合資料2689(図 - 316・317、図版223)

母岩別資料は接合2689のみである。

素材 24点（15個体）が接合し、重量は1,412.6g、大きさは23×9×9cmで、断面が台形の平滑な角礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 石核下端に打面を作出し（段階1）、打面再生を行いながら（段階3）石刃・縦長剥片の剥離を行っている。その後、打面を上端に転移し、打面再生（段階5・7）・調整を行いながら石刃・縦長剥片の剥離を行っている。上下とも石刃剥離に先行する稜・側面調整などはみられず、素材の角をそのまま作業面に利用している。また、石刃剥離が一方方向に後退するように行われ、最終的に段階8で大きなウートラパッセが起きたため、石核29が遺棄される。

分布 ほとんどがSb-27のL26区の集中域から出土しているが、石核が東部の散漫な地点に単独で分布している。また、段階1の剥片の一部が南側のSb-28、段階4の縦長剥片が20m近く離れたブロック外のK21区から出土している。

模式図・遺物分布図・写真図版掲載の接合資料

母岩別資料125・接合資料3072（図 - 318、図版221）

母岩別資料は接合3072・3073で構成され、総点数33点、総重量580.6gである。

素材 30点（18個体）が接合し、重量は470.3g、大きさは15×11×3.5cmで、平滑な板状の角礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 ほぼ垂直な両側面から剥離が行われ、側縁が急斜度に整形されている。特に、裏面の剥離（段階1・5・7）が急斜度で、器体中央に原石面を大きく残している。最終的に両側縁の角度は急斜度なままで器体が破損し、断面が五角形の尖頭器15が遺棄される。

分布 調整剥片はSb-29の集中域に広く分布するが、破損した尖頭器が5m程西側のSb-28の集中域から単独で出土している。

母岩別資料381・接合資料3068（図 - 318、図版208）

母岩別資料は接合3068のみである。

素材 26点（14個体）が接合し、重量は3,146.7g、大きさは28×15×10.5cmで、素材の状態は不明だが、原石面は平滑である。

剥離工程 正面上から大型の剥片を剥離（段階1）し、両面調整石器の素材としている（個体A）。段階2は縁辺をやや周回するように剥離し、尖頭器調整剥片の初期段階とみられる。個体Aは素材腹面にのみ平坦剥離が施され、破損により両面調整石器19が遺棄される。

分布 Sb-28のM25区の集中域からまとめて出土している。

母岩別資料315・接合資料3184（図 - 319、図版220・221）

母岩別資料は接合3184の他、接合4241・4242で構成され、総点数139点、総重量2,930.5gである。

素材 131点（76個体）が接合し、重量は2,877.1g、大きさは31×17.5×13cmで、ザラついた岩屑面がある角礫を素材とする。正面両側縁を大きく剥離した状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 分厚い先端部の厚みを除去するため、正面右からの剥離（段階2）が集中的にみられる。段階3・4によって右側縁の突出部がなだらかになり、垂直な側縁が急斜度に整形されている。この時点の器体の長さは30cm、幅は15.5cm前後とみられる。裏面は平坦で、正面の両側縁が急斜度なため断面がカマボコ形となっている。段階5・6は正面左からの縁辺全体にわたる加工で、段階5の上から加工によって、先端部の厚みが大きく除去されている。段階7・8によって基部を薄くし、段階9～15は縁辺全体にわたる加工で、特に正面右側を集中的に剥離（段階10・11・15）し、幅を細くしている。段階13・15の剥離は、中央の稜を越える加工が多く、断面が凸レンズ状に近づいている。最終的に27×9.5×4.5cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb - 30のN27区に集中し、東側の散漫な地点にも分布が広がっている。また、7.5m程北側のSb - 27から段階3の剥片が1点、3.5m程北側のSb - 29から段階4・11・12の剥片が1点ずつ出土している。Sb - 29出土剥片は3g前後だが、Sb - 27出土剥片は157.5gの原石面に覆われた横長の剥片である。

母岩別資料384・接合資料3185 (図 - 320、図版218・219 - 1)

母岩別資料は接合3185のみである。

素材 80点(56個体)が接合し、重量は2,293.1g、大きさは26×14.5×8cmで、平滑な面に覆われた扁平な角礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 裏面左右からの段階1・2によって裏面の原石面を除去し、正面右からの段階3・6によって垂直な側縁が急斜度となり、段階4・5で正面先端部を部分的に加工している。段階7～10・13は両面の縁辺全体にわたる加工で、各段階とも中央の稜を越える加工が多く、断面が凸レンズ状に近づいている。最終的に22.5×8.5×3cm程の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb - 30のN27区に集中し、東側の散漫な地点にも分布が広がっている。また、7.5m程北側のSb - 27から段階1の剥片が1点、6m程北西側のSb - 28から段階10の剥片が1点、3m程北東側のSb - 29の周縁部から段階7の剥片が1点出土している。Sb - 29出土剥片は5.0gの小破片だが、Sb - 27出土剥片は241.8gの原石面に覆われた厚手の剥片で、Sb - 28出土剥片は83.5gの尖頭器調整剥片である。

母岩別資料131・接合資料3102 (図 - 321、図版217)

母岩別資料は接合3102の他、接合3149・3151～3153・52618・52620・52643・52644で構成され、総点数156点、総重量1,078.6gである。

素材 119点(65個体)が接合し、重量は901.6g、大きさは24.5×14×7cmで、素材の形状は不明だが、原石面はザラついた岩屑面である。粗い両面調整石器の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 裏面左右からの剥離(段階1・2)、正面左右からの剥離(段階3・4)によって器体中央の厚みを大きく減じている。平面形状は段階1・4によって左右の突出部がなだらかになっている。段階5～9は両面の縁辺全体にわたる加工で、各段階とも中央の稜を越える加工が多く、断面が凸レンズ状に近づいている。最終的に22.4×10×3cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb - 29のM27区に集中しているが、6m程西側のSb - 28から段階9の剥片が4点、南側のSb - 30の周縁部から段階4・9の剥片が1点ずつ出土している。Sb - 28出土剥片は3点が折れ面接合し、35.1gになり、残り1点が0.8gの小破片で、Sb - 30出土剥片も1g前後の小破片である。

母岩別資料132・接合資料3107・3108 (図 - 321、図版219 - 2)

母岩別資料は接合3107・3108の他、接合3103～3106・52621で構成され、総点数131点、総重量753.5gである。

素材 接合3107は86点(42個体)が接合し、重量は415.9g、大きさは20×15×3.5cmで、接合3108は34点(22個体)が接合し、重量は306.4g、大きさは20×14×4cmである。素材の形状は不明だが、原石面が除去された両面調整石器の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 二つの接合資料は、それぞれ同一尖頭器の表側と裏側の接合資料である。接合3107は、段階1～3が素材の縁辺全体にわたる加工で、段階4からは基部左側縁と先端部右側縁に集中的に加工を施し、器体の長軸が斜めに变化している。接合3108でもこれに対応するように先端部左側縁で大きく幅を減じている。最終剥離は接合3107の段階8とみられ、幅8cm前後の尖頭器が製作され、遺跡

外に搬出された可能性が高い。

分布 接合3107・3108とも Sb - 29のM27区の集中域からまとまって出土している。

写真のみ掲載の接合資料

母岩98・接合2710・2711(図版211 - 2)はそれぞれ同一尖頭器の表側と裏側の接合資料で、最終的に幅7cm前後の尖頭器が製作されている。母岩144・接合3182(図版222)は尖頭器の表側の接合資料で、剥離工程が進むと器体の長軸が斜めに設定され、最終的に幅12cm前後の尖頭器が製作されている。母岩130・接合3101(図版222)は尖頭器の表側の接合資料で、両端が尖る細身で端正な尖頭器(幅7.5cm前後)が製作されている。接合3096(図版222)は尖頭器の表側の接合資料で、調整剥片が搔器22に加工されている。最終的に幅8cm前後の尖頭器が製作されている。母岩382・接合3069(図版223)は断面三角形で棒状の角礫から両面調整石器を製作しているが、三つに破損し、中間部を石核として再利用し、石核61が遺棄されている。(直江康雄)

(13) 石器ブロック31~36(Sb - 31~36)の石器

出土石器

尖頭器12点、両面調整石器1点、搔器1点、削器3点、錐形石器3点、二次加工ある剥片3点、石刃76点、縦長剥片108点、石刃核2点、剥片4,138点、台石5点、石鏃2点、原石1点の計4,355点、重量41,393.9gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が最も多く64.5%で、以下黒曜石1(29.5%)、黒曜石3(4.3%)、黒曜石以外(1.1%)、黒曜石5(0.5%)、黒曜石2(0.02%)となっている。黒曜石以外の内訳は碧玉が最も多く0.9%で、以下めのう(0.1%)、凝灰岩(0.1%)、頁岩(0.02%)となっており、特にSb - 36からまとまって出土している。

尖頭器(図 322 - 1 ~ 図 323 - 15、図版224・225)

17点(9個体と層出土5個体と層出土1個体を加えた15個体)を図示している。1~5は有舌尖頭器とその破片である。1~3は完形品、4は先端部、5は舌部である。完形品の長幅指数は1が3.1、2が2.5、3が4.3である。いずれも明瞭なかえしがあり、舌部の両側縁は摩滅している。1は両面ともやや右下がりの斜平行剥離が施されるが、裏面右側縁はヒンジによる段が残っている。断面が凸レンズ状で、最終的な細かい剥離が正面の両側縁にみられ、完成品と思われる。舌部の両側縁は平行し、末端部は折れ面で二次加工に切られている。産地分析の結果、所山産と判定された。2は身部の両側縁がかえし部から湾曲するもので、あまり連続性のない平坦剥離によって器面が調整されている。細かな加工は正面左側縁と先端部にみられる。舌部は逆三角形で、末端部は折れ面で二次加工に切られている。石質は透明感が強い黒曜石1に灰色の縞模様が入るもので、肉眼的には置戸産の黒曜石に類似しているが、産地分析の結果、赤石山産と判定された。3は両面とも平行剥離が施され、細かい剥離が裏面両側縁を中心にみられ、断面が凸レンズ状である。裏面には内在する割れが斜めにみられ、両側縁からの剥離が段になっている。舌部は逆三角形で、末端部は丸みがある。4は平行剥離が施され、先端部を中心に細かい剥離がみられる。5は舌部が逆三角形で、末端部は丸みがある。

6~15は舌部のない尖頭器及びその破片である。6~10は完形品、12は先端部、11・13は中間部、14・15は基部である。完形品の長幅指数は6が2.6、7が2.0、8が2.1、9が2.2、10が2.0である。破損後の再加工は9の上端、10の上端でみられる。6は基部が丸く加工されているが、両側縁がやや膨らみがあり、先端部で大きく湾曲している。表裏面の加工は粗い平坦剥離であることから、有舌尖頭器の舌部を作出する前段階の可能性がある。7の石材は碧玉3で、両端は尖らず原石面が残っている。8の石材は頁岩としたが、薄い赤色部分もみられ、碧玉3の可能性が強い。裏面下端は左右からの細

かい加工によって尖らせている。9は平坦剥離が粗く、基部には急斜度な剥離がみられる。10は両面とも稜と器面の摩滅が著しい。粒状球顆の流理構造がみられ、肉眼的には赤井川産と判定された石器ブロック22～25の尖頭器1(図 - 258 - 1)と石質が類似している。11は両面とも平坦剥離によって滑らかに加工され、縁辺に細かな加工があり、断面が凸レンズ状で、完成品に近いと思われる。12・13は同一尖頭器で6cmほど離れた位置関係で接合する。12は厚手だが裏面左側縁に細かな加工がみられ、13は正面中央の稜が左側に偏っている。14・15とも加工が粗く、折れ面に球顆がみられる製作途中の破損品である。

両面調整石器(図 - 323 - 16、図版225)

1点(1個体)を図示している。16は基部の破損品で、断面が厚く、大きな平坦剥離による加工が施される。正面右側縁にやや細かい剥離がみられる。

搔器(図 - 324 - 17、図版225)

1点(1個体)を図示している。17は縦長剥片の末端部に急斜度の刃部を作出している。両側縁は背面を覆う二次加工を施し、基部は尖頭形となる。裏面と背面の一部は擦痕と稜の摩滅がみられ、刃部と周縁の二次加工は他の部位に比べ水色が発達しておらず、二重パティナとなっている。

削器(図 - 324 - 18～21、図版225)

4点(3個体と層出土1個体を加えた4個体)を図示している。すべて石刃を素材としている。18がほぼ完形品、19・20が打面部、21が末端部である。18は15cmを越える長大なもので右側縁下部と左側縁上部にやや深い平坦剥離が施される。19～21は端部を尖頭形に加工するもので、21は細かな加工によって整形されている。

錐形石器(図 - 324 - 22～24、図版225)

3点(3個体)を図示している。素材は22が石刃、23・24が尖頭器調整剥片である。22・23は素材の打面側、24は素材の側縁に腹面からの加工によって突出部を作出している。22の右側縁はノッチ状に加工されている。23・24はめのう製である。

石刃・縦長剥片(図 - 324 - 25～図 - 326 - 46、図版225・226)

石刃は10点(8個体と層出土1個体を加えた9個体)、縦長剥片は13点(12個体)を図示している。28～44は黒曜石以外の石材で、特に碧玉製がまとまって出土している。濃緑色の碧玉1が29～32・34～38・40、黄褐色の碧玉3が28・33・39・41・43・44、めのう製が42である。25・28～40・45はほぼ完形品、26・41・42・46は頭部、27は中間部、43・44は末端部である。背面の剥離面方向は腹面と同方向のものが26・29・30・32・35・38・41・44・46、逆方向を含むものが31・37・43、横方向を含むものが28・33・34・36・39・40・42・45、横方向と逆方向を含むものが25・27となっている。原石面打面が36・40、平坦打面が25・29～31・33・34・38・39・41・45、複剥離打面が26・28・32・35・37・42、このうち細かな打面調整がみられるものは35のみである。頭部調整は26・28～32・35～39・41・45に施されている。縁辺の微細な剥離は32の右側縁、38・43の左側縁にみられる。39は黄褐色が主体だが、縦方向に層理面があり右側3分の1は濃緑色である。ウートラパッセを起こし、石核下端を1cm前後取り込んでいる。45の長さは28cmを越え、奥白滝1遺跡出土の石刃・縦長剥片の中で最も長い。ザラついた岩屑面のある角礫素材である。

剥片(図 - 326 - 47・48、図版227)

2点(2個体)を図示している。どちらも石材は濃緑色の碧玉1である。石刃剥離が失敗し、幅広になったものと思われる。

石刃核(図 - 326 - 49～図 - 327 - 50、図版227)

2点(2個体)を図示している。49の石材は黄褐色の碧玉3である。複剥離打面で、頭部調整が施されている。裏面は周囲からの調整によって扁平に整形されている。厚さが2cm前後しかなく、作業面を使い切って遺棄されたと思われる。50は複剥離打面で、両側面に裏面からの側面調整がみられる。裏面は扁平な原石面である。

石鏃(図 - 327 - 51・52、図版227)

3点(1個体と 層出土1個体を加えた2個体)を図示している。51は柳葉形のほぼ完形品で2点とも a層の最上部から出土した。薄手の剥片を素材とし、表裏に素材面が残る。正面右側縁と裏面左側縁に深い平坦剥離がみられ、最終的に細かな加工によってやや鋸歯状の縁辺となっている。52は表土一括遺物で、剥片を素材とし、裏面に素材面が残る。正面全体を覆う平坦剥離と、裏面先端部の加工がみられる。いずれも縄文時代の遺物とみられ、Sb - 31~36の石器群との関係は不明である。

台石(図 - 328 - 53~55、図版228)

5点(3個体)を図示している。すべて板状の凝灰岩製で、擦痕や顔料の付着は認められない。53は3点が接合し、長さ50cmを越える長大なものであるが、それぞれ分割して使用していた可能性もある。55の裏面上部の平坦剥離は破損により切られている。

石器ブロック31(Sb - 31)の分布(図 - 329)

O23~25、P23~25区の7.5×11mの範囲から確認された。全体的に散漫に分布し、集中域はみられない。石刃1点、縦長剥片5点、石刃核1点、剥片174点の計181点、重量1,279.7gの石器類が出土した。加工された石器がまったくみられず、石刃・縦長剥片・石刃核はすべて碧玉製である。

石器ブロック32(Sb - 32)の分布(図 - 330)

N28、O26~29、P26区の5×13.5mの範囲から東西方向に細長い形で確認された。O26・27区の境に遺物が集中している。尖頭器1点、二次加工ある剥片2点、石刃22点、縦長剥片30点、剥片190点の計245点、重量3,172.6gの石器類が出土した。

石器ブロック33(Sb - 33)の分布(図 - 331)

O27・28、P25~28、Q25~27区の5×12.5mの範囲から東西方向に伸びた形で確認された。P26区に最も遺物が集中している。尖頭器2点、石刃4点、縦長剥片1点、剥片493点の計500点、2,894.7gの石器類が出土した。

石器ブロック34(Sb - 34)の分布(図 - 332)

P27、Q25~28、R25~27区の8×10mの範囲から確認されたが、調査区範囲外のR26・27区の南側にも分布が若干広がると思われる。Q25・26区の境に遺物が集中している。尖頭器3点、石刃24点、縦長剥片51点、剥片256点の計334点、重量3,497.7gの石器類が出土した。

石器ブロック35(Sb - 35)の分布(図 - 333・334)

O30・31、P29~32、Q28~32、R27~29区の11×20mの範囲から確認されたが、調査区範囲外のR28~30、Q31・32区の南側にも分布が広がると思われる。O30、P30区の散漫なまとまりとQ29~31区にまたがる集中域の三つの分布域がみられる。尖頭器2点、削器3点、錐形石器3点、石刃3点、縦長剥片2点、剥片280点、石鏃2点の計295点、重量2,591.9gの石器類が出土した。

石器ブロック36(Sb - 36)の分布(図 - 335・336)

O33~35、P32~36区の6.5×17.5mの範囲から東西方向に細長い形で確認された。P33・34区に最も遺物が集中している。尖頭器4点、両面調整石器1点、搔器1点、二次加工ある剥片1点、石刃22点、縦長剥片19点、石刃核1点、剥片2,745点、台石5点、原石1点の計2,800点、重量27,957.3gの石

器類が出土した。

石器ブロック31～36 (Sb - 31～36) の接合状況 (図 - 337)

Sb - 31～36では各ブロック内での接合を中心として、ブロック間にも接合関係が広がっている。特にSb - 31～34の間で密接な接合関係がみられる。

母岩別資料150・接合資料3205 (図 - 338、図版229)

母岩別資料は接合3205の他、接合3206～3211・52664・52665で構成され、総点数38点、総重量1,335.7gである。

素材 20点(14個体)が接合し、重量は976.2g、大きさは35×13×8cmで、素材の形状は不明だが、原石面はザラついた岩屑面である。粗い両面調整石器の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 正面左からの段階1で原石面を除去し、急斜度な縁辺をなだらかにしている。裏面左右からの段階2・3は素材が平坦なため、反対側縁近くまで剥離が抜け、厚さを大きく減じている。正面左右からの段階4・5の後、器体が破損し、尖頭器12・13が遺棄される。

分布 Sb - 33の広い範囲に分布するが、段階1の剥片1点が北側のSb - 32から単独で出土している。

母岩別資料160・接合資料3244 (図 - 339～341、図版236・237 - 1)

母岩別資料は接合3244の他、接合3245・3246・52679～52681で構成され、総点数95点、総重量5,092.8gである。

素材 82点(40個体)が接合し、重量は4,979.0g、大きさは32.5×16×21.5cmで、平滑な面がある角礫を素材とする。右側面に大きな剥離を行った状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 原石の平坦面を裏面とし、正面から下半部の突出部を除去する稜調整を行っている(段階1・2)。右側面では裏面からの側面調整もみられる(欠落)。これらの調整によって断面が五角形となり、打面を作出後、石刃剥離を開始(段階3)する。この時点の作業面高は約30cmである。途中、片側のみの稜調整(段階4)によって作業面のヒンジを除去している。基本的に石刃剥離(段階5・6・7・9・11・13)は打面再生(段階8・10・12)・打面調整を行いながら進行し、特に段階7～9にかけての石刃が大幅に欠落している。最終的に段階13の剥離がヒンジとなったため、石刃核50が遺棄される。最終的な作業面高は23cmまで減じている。

分布 Sb - 36のP33・34区にまたがる集中域にまとまって分布するが、段階2の剥片3点と段階13の剥片1点が東側の散漫な地点から出土している。

模式図・遺物分布図・写真図版掲載の接合資料

母岩別資料165・接合資料3309 (図 - 342、図版234・235 - 1)

母岩別資料は接合3309の他、接合3304・3306～3308で構成され、総点数62点、総重量1,535.0gである。

素材 44点(34個体)が接合し、重量は1,218.3g、大きさは31.5×15×8.5cmで、素材の形状は不明だが原石面はザラついた岩屑面である。粗い両面調整石器の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 段階1・2は正面基部の加工、段階3は反対側縁まで抜ける裏面右からの剥離で、厚みを大きく減じている。段階4・5は部分的な加工で、段階6・7は正面の縁辺全体にわたる加工である。段階8の後、器体が破損し、下半部の尖頭器14が遺棄される。上半部は再加工され、正面両側縁から剥離(段階9・10)が施される。最終的に幅9cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 S b - 36の P 33・34区にまたがる集中域にまとまって分布している。

母岩別資料386・接合資料3330 (図 - 343、図版232・233)

母岩別資料は接合3330のみである。

素材 109点(66個体)が接合し、重量は3,112.5g、大きさは34×15.5×13.5cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。ほぼ原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 左右とも裏面からの側面調整(段階1)を行い、打面を作出後、石刃・縦長剥片を剥離している(段階2・3)。石刃はほとんどが欠落し、石刃核の最終的な大きさは25×14×8cm前後とみられる。石刃剥離を終了後、石核部分で尖頭器を製作する。まず、裏面に原石面を除去するための集中的な加工がみられる(段階5～8)。特に、左からの段階7は中央の稜を越える剥離が多く、厚みを大きく除去している。正面左右の剥離(段階9・10) 裏面左右の剥離(段階11・12) 正面左右の剥離(段階13・14)と加工が進み、最終的に20×9×3cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 S b - 36の P 33・34区にまたがる集中域にまとまって分布するが、段階7の剥片1点が東側の散漫な地点から出土している。

母岩別資料164・接合資料3303 (図 - 344、図版230・231 - 1)

母岩別資料は接合3303・3300で構成され、総点数159点、総重量1,514.7gである。

素材 157点(91個体)が接合し、重量は1,508.8g、大きさは24×14×9.5cmで、素材の形状は不明だが、原石面の角はやや摩滅している。粗い両面調整石器の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 基部右側を中心とした剥離(段階1・2・3)の後、正面の側縁全体にわたる加工(段階4・5)が施される。段階6・7は表裏面の部分的な剥離で、段階8以降は再び縁辺全体にわたる加工となり、裏面右(段階8)・左(段階9) 正面右(段階10)・左(段階11・12) 裏面左(段階13) 裏面右(段階14)・正面右(段階15)と剥離が続く。段階10の中央は打面を取り込みすぎ、縁辺の輪郭が内湾するが、段階13・15によって修正されている。最終的に20×9×4cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 S b - 36の P 33区から集中的に出土するが、段階2・6・9・10の剥片が1点ずつ5.5mほど東側に離れて分布している。

母岩別資料147・接合資料3191 (図 - 345、図版237 - 2)

母岩別資料は接合3191の他、接合3192～3195・52656で構成され、総点数89点、総重量1,832.0gである。

素材 78点(48個体)が接合し、重量は1,592.1g、大きさは31×11×16.5cmで、原石面が平滑な角礫を素材とする。ほぼ原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 原石の長軸を石刃作業面として、正面から厚手の縦長剥片を剥離して打面を作出(段階1)する。稜調整はみられず、原石の角をそのまま利用して石刃・縦長剥片の剥離を開始(段階2)している。打面再生(段階3) 石刃剥離(段階4) 正面から左側に稜調整(段階5)の後、下からの石刃剥離(段階6)がみられる。段階7～10は上下の石刃剥離で、最終的に正面から右側に稜調整(段階11)を行い作業を終了する。石刃剥離には打面調整はみられず、打面の縁を擦って潰す頭部調整が特徴的である。石刃核は欠落し、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 S b - 32の O 26・27区の境からまとまって出土している。

母岩別資料166・接合資料3331 (図 - 345、図版238)

母岩別資料は接合3331の他、接合3332～3334・52718で構成され、総点数119点、総重量1,841.2gで

ある。

素材 97点(46個体)が接合し、重量は1,697.3g、大きさは21.5×16.5×19cmで、平滑な原石面で断面三角形の角礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 原石の平坦な面を正面とし、打面を作出(段階1)後、稜調整を行わずに正面の直角をそのまま作業面に利用して石刃剥離を開始(段階2)している。基本的に石刃剥離(段階4・7・9・10)は打面再生(段階3・5・6・8・11)を行いながら進行し、最終的な作業面高は約12cmとなる。打面調整はみられず、打面の縁を擦って潰す頭部調整が特徴的である。石刃核はみられず、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb-34のQ25・26区の境に集中して出土するが、段階4・7・9・11の剥片が6.5mほど北東側に離れたSb-33の周縁に分布している。

写真のみ掲載の接合資料

母岩159・接合3241・3242(図版231-2)はそれぞれ同一尖頭器の表側と裏側の接合資料で、最終的に幅6cm前後の尖頭器が製作されている。石材は特徴的で、黒色に紅色が入る俗に花十勝といわれる黒曜石である。母岩163・接合3261(図版235-2)は尖頭器の表側の接合資料で、厚みを大きく減じることに成功している。最終的に幅9cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。(直江康雄)

(14) 石器ブロック37(Sb-37)の石器

出土石器

尖頭器4点、削器1点、石核2点、剥片112点の計119点、重量1,782.0gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が最も多く77.3%を占め、以下黒曜石3(13.4%)、黒曜石4(7.6%)、黒曜石5(0.8%)、頁岩(0.8%)となっている。

尖頭器(図-346-1・2、図版239-1)

3点(2個体)を図示している。1は先端側が破損し、再加工されている。2は基部で、下端部が広く、両側縁がほぼ平行するU字形である。裏面を平坦に加工し、最後に正面左側縁にノッチ状の急斜度な剥離を施している。

削器(図-346-3、図版239-1)

1点(1個体)を図示している。頁岩製の石刃を素材とし、両側縁に急角度の調整が施されている。

石核(図-346-4・5、図版239-1)

2点(2個体)を図示している。どちらも半月状の「つめ跡」がある円礫を素材としている。4は平坦打面で、頭部調整が顕著にみられるが、作業面はヒンジが多く、剥離が下端まで達しているものが少ない。5は複剥離打面で、左側面には交互剥離による側面調整がみられる。

石器ブロック37(Sb-37)の分布・接合状況(図-347・348)

調査区が平成9年度(大文字グリッド)と平成10年度(小文字グリッド)にまたがるQ9~11、R10~12、b1~4、c3区の12.5×9.5mの範囲で確認されたが、調査区範囲外であるR9区とb1区の西側にも分布が若干広がると考えられる。全体的に散漫に分布し、集中域はみられない。少数であるがブロック全体に接合関係がみられる。

模式図・遺物分布図・写真図版掲載の接合資料

母岩別資料387・接合資料3426 (図 - 348、図版239 - 2)

母岩別資料は接合3426のみである。

素材 6点(4個体)が接合し、重量は560.6g、大きさは11.5×9×6cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。

剥離工程 正面で段階1を剥離後、打面を再生し(段階2)、正面で段階3を剥離するが、末端がヒンジを起こしたため、作業を終了し、石核5を遺棄する。

分布 Sb - 37から散漫に出土する。

(直江康雄)

(15) 石器ブロック38~44 (Sb - 38~44) の石器

出土石器

尖頭器252点、両面調整石器27点、彫器2点、搔器27点、削器64点、錐形石器2点、舟底形石器1点、二次加工ある剥片42点、石刃25点、縦長剥片55点、石刃核13点、石核71点、削片4点、剥片29,337点、斧形石器1点、敲石1点、砥石3点、石鏃1点、原石11点の計29,939点、重量183,735.6gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が最も多く60.1%で、以下黒曜石4(27.3%)、黒曜石3(8.5%)、黒曜石5(3.0%)、黒曜石2(0.8%)、黒曜石以外(0.3%)となっている。黒曜石以外では頁岩が多く0.23%で、以下安山岩(0.03%)、緑色泥岩(0.02%)、粘板岩(0.01%)、砂岩(0.01%)で、凝灰岩とめのうは0.01%以下である。

奥白滝1遺跡の中で最も出土量の多い石器群である。石器ブロック間での接合関係が密接にみられるため、全体を石器群と認定したが、縄文時代の石器をはじめ様々な石器が混在している可能性が高く、出土石器をそのまま全て同時期の石器組成とは認定しがたい。

尖頭器 (図 - 349 - 1 ~ 図 - 362 - 75、図版240~249)

153点(68個体と層出土6個体と層出土1個体を加えた75個体)を図示している。1~33は柳葉形の細長い尖頭器及びその破片である。1を除き、全体的に扁平にならず、断面が厚いことが特徴である。形態から1~10・18~21は柳葉形、11~13は先端側に最大幅があるもの、14~17は器体の途中で軸が曲がっているもの、22~24・27・29~31は裏面が平坦で両側縁が急斜度なため、断面が三角形またはカマボコ形となるもの、25・26・28・32・33は粗い剥離の柳葉形のものに分けられる。剥片素材と分かるものは3・16・19・20・21・27であるが、その他にも縦断面の湾曲が強いものなどは剥片素材の可能性もある。破損後の再加工は7の上端、8の下半部、9の下半部、15、16の下半部、23の上端、27の上端、31の中央部、32の上端、33の上下端にみられ、いずれも急斜度な粗い加工である。完形品の長幅指数は1が3.0、2が2.6、3が3.2、4が5.3、5が3.7、10が3.6、11が2.7、12が3.7、13が3.0、14が2.6、15が2.6、17が3.8、22が4.1、23が3.7である。1の石材は安山岩1で、やや風化がみられるが両面に細かな平行剥離が施され、完成品と思われる。2は正面両側縁に細かい加工がみられるが、全体的に粗い平坦剥離で調整されている。3は両側縁とも急斜度で、裏面にはヒンジによる大きな段が残っている。4は両端が尖り、細かい加工が全縁辺にわたってみられるが、左側縁の加工が粗く、側面の稜線が波状になっている。5の裏面は集中的に平坦剥離が施され、正面は左側縁に急斜度の加工がみられる。6は両側からバランス良く加工されているが、断面が厚いままである。7の右側縁の再加工は粗い交互剥離で、正面右からの剥離によって再破損を起こしている。中央の破損は正面からの加撃によるもので放射状に割れが広がっている。8の破損前では正面左側縁の加工がほとんどみられない。9の破損前の加工は均一で器面が滑らかである。10は細かな平行剥離が施されるが、縦

断面が波形になっている。11は裏面に集中的な加工が施されている。12は全体的に粗い剥離だが、先端部は正面の細かな加工によって作り出されている。14は正面左側縁に細かな加工が施されるが、それを切って中央に大きな剥離がみられる。15は尖頭器57と折れ面接合する。16の加工は錯向剥離で、素材の打面とバルブが完全に除去されている。17の先端左側縁は急斜度だが細かい連続的な加工が施されている。20はやや厚手だが両側縁に細かい加工がみられる。22・23は両端が薄みで中央部に最大厚があり、先端部よりも両側縁に急斜度な加工が集中する。26の裏面はバルブが発達する剥離がみられる。28の折れ面には直径1 cm近い球顆があり、破損の原因となっている。29は正面右側縁に細かい加工がみられ、被熱によりウロコ状のひび割れと破損がみられる。30は両面とも粗い加工で、左側縁が内湾している。31は先端が正面左側縁の加工によって尖る。32・33は棒状の角礫を素材とするもので、32は左側縁の一部、33は右側縁のみ両面からの剥離によってやや鋭い縁辺に加工されている。

34～51は形態が柳葉形に近く、加工が全体的に粗いものとその破片で、製作途中と思われるものである。34～37・39がほぼ完形品、40・41が先端部、42～46が中間部、38・47～51が基部である。完形品の長幅指数は34が2.2、35が2.4、37が2.6、39が2.5である。破損後の再加工は34の上端、35の下端、37の下端、38の上端、39の上端、40の下端、41の下端、45の下端、49の上端と中央部、51の全体でみられる。34は裏面にヒンジによる大きな段が残っている。35は正面左側縁が急斜度である。36の石材は梨肌の黒曜石2で、両面とも両側からバランス良く加工されているが、断面が厚いままである。37は裏面が平坦で、基部は折れ面を除去するように急斜度の剥離が施されている。先端は尖らないが薄い。最終剥離は裏面の大きな剥離面で器体のバランスを崩している。38は下端に原石面が残っている。39は両側からの再加工によって先端を粗く尖らせている。41は折れ面からの剥離によって下端を薄くしている。42～45はザラついた岩屑面がある板状の角礫を素材としている。46の正面右側縁は急斜度である。48は平坦な剥離が連続的にみられ、裏面両側縁に細かい加工が施されている。49は破損前に基部が集中的に加工されている。51は再加工が粗く、大きな剥離を行った段階である。

52～73は木葉形で扁平な尖頭器とその破片及び未成品である。52～55が完形品、56～61が先端部、62が中間部、63～73が基部である。完形品の長幅指数は52が2.8、53が3.0、54が2.5、55が2.3である。破損後の再加工は53の上端、60の下端、63の上端と中央部でみられる。52は先端・基部とも丸みがあり、全体の加工もやや粗い。53は裏面下部にヒンジによる大きな段が残っているが、両面とも両側からバランス良く加工され、断面も薄い凸レンズ状で、完成品に近いと思われ、尖頭器59と折れ面接合する。54・55は左右非対称だが、全縁辺に細かな剥離が施され、断面も薄い凸レンズ状である。どちらも類似した技術で製作され、ほぼ同段階で正面右からの剥離の際に破損している。56は両側縁に細かな加工がみられるが、中央に大きな段残り、先端部には細かい加工は及んでいない。57は両面とも両側からバランス良く加工される端正な形態であるが、裏面先端部には厚みが残る。正面左からの剥離の際に器体が破損し、尖頭器15と折れ面接合する。58は縦断面がやや湾曲している。59は尖頭器53と折れ面接合する。62は幅広で両側縁がほぼ平行する形態で、正面右側縁に細かな加工がみられる。63は上端の折れ面から右側縁への剥離がみられる。64・65は両側からバランス良く平坦剥離が施され、断面が薄い凸レンズ状である。66は幅広で両側縁がやや湾曲する小判形である。裏面からの加撃によって放射状に割れが広がっている。69の基部は裏面の細かい加工によって尖頭形になっている。71の基部左側は粗い加工によって内湾している。72の裏面右側はヒンジによる段が激しい。73の正面には半月状の「つめ跡」がある原石面がみられる。

74・75は剥片素材の尖頭器である。74は正面が全体を覆うように加工され、裏面が縁辺のみの加工で大きく素材腹面が残る。下端で破損後の再加工がみられ、折れ面から連続的な剥離が行われている。

75の基部は正面の急斜度な加工によって尖頭形となっている。

両面調整石器 (図 - 362 - 76 ~ 図 - 364 - 82、図版248 ~ 250)

7点(5個体と層出土2個体を加えた7個体)を図示している。素材は76・78・79が石核、77・81・82が剥片、80は不明である。76は急斜度の加工によって尖頭形を作り出している。石核174と折れ面接合する。水和層厚測定による年代測定の結果は $21,999 \pm 1,434$ yBPで、赤石山産と判定された。77は右側縁を中心に加工が施されている。78の原石形状はややザラついた岩屑面に覆われた扁平な角礫で、両側縁が平行するように連続的な加工が施されている。79は両側縁が平行し、断面が分厚い。正面にヒンジによる大きな段が残っている。80の裏面は両側から大きな剥離を行い平坦化している。81は正面両側縁を急斜度に加工し、平面形が撥形となる。82は裏面左側縁に大きな平坦剥離が二回行われている。

彫器 (図 - 365 - 83・84、図版251)

2点(2個体)を図示している。83は頁岩製の石刃を素材とし、素材の両端に右刃の彫刀面を作出している。周縁には二次加工がみられ、上端の彫刀面の打面はノッチ状に整形されている。彫刀面は上端が横刃で腹面側、下端が斜刃で側面に作出され、どちらも彫刀面から背面側への調整がみられる。背面下部では、稜線が摩滅して光沢がある。84は石刃を素材とし、素材の末端側に左刃の彫刀面を作出するものである。右側縁に急斜度の二次加工がみられ、彫刀面は器軸とほぼ平行に背面側に作出される。被熱により基部が破損している。有舌尖頭器石器群や「忍路子型」細石刃核を含む石器群に特徴的に伴う彫器と類似する。

彫器削片 (図 - 365 - 85、図版251)

1点(層出土1個体)を図示している。頁岩製で右刃の彫器から腹面側に作出されたものである。背面には旧彫刀面がみられ、彫刀面からの調整が残っている。

搔器 (図 - 365 - 86 ~ 図 - 366 - 107、図版251)

23点(22個体)を図示している。素材は86~104・106・107が石刃・縦長剥片素材で、105が横長剥片である。石材は91・104・105が頁岩製である。86~97は刃部に最大幅があるもので、側縁の二次加工は86~93にみられ、中でも86・87・89・92・93は二次加工がほぼ全周し、94~97ではほとんどみられない。86は基部が粗い尖頭形である。87は上端に破損後の二次加工がみられる。88の素材は調整打面である。側縁調整は細かな加工であるため、素材の形状はほとんど変化していない。89は破損後下半部が被熱し、光沢を失いザラついた面に変化している。90は腹面の基部に平坦剥離がみられる。91は基部が尖頭形だが、素材打面がわずかに残る。92・93は縦断面の湾曲が大きい。96は刃部の加工が左側に偏っている。97の素材は調整打面である。

98~106は器体中央部に最大幅部があり、刃部の幅は狭い。98~101・106は側縁調整が軽微なものかほとんどみられないもので、102~105は急斜度な加工が施されるものである。98の刃部はノッチ状に加工され、尖頭形となっている。100・101は薄手で縦断面の湾曲が強い。102は右側縁が急斜度に加工され、断面が台形となっている。103は刃部が尖り、両側縁がほぼ平行に急斜度加工されている。縦断面の湾曲が強い。産地分析の結果、ケショマップ産と判定された。104の刃部腹面との稜線は磨耗が著しく、光沢がみられる。105の刃部は薄い加工で、両側縁は急斜度である。腹面にはバルブを除去するための平坦剥離がみられる。106の刃部は右側に偏っている。

107は両側縁が急斜度の加工によってややくびれ、刃部が細かな加工によって内湾している。裏面には平坦剥離が施されている。水和層厚測定による年代測定の結果は $9,867 \pm 605$ yBPで、赤石山産であった。旧石器時代の搔器としては類例がなく、つまみ付きナイフの未成品の可能性もある。

削器 (図 - 366 - 108 ~ 図 - 367 - 128、図版251 ~ 253)

25点(19個体と 層出土2個体を加えた21個体)を図示している。素材は108・109・111~119が石刃・縦長剥片である。石材は109・114・119が頁岩製である。二次加工は、急斜度の剥離によるものが108~110・114~117・121・127、平坦剥離により素材形状をあまり変化させないものが111~113・120・122~126、細かな剥離が連続するものが118・119・128である。109は末端左がノッチ状に加工され、彫器の未成品の可能性ある。110は腹面のリングから右側縁を大きく変形させている。水和層厚測定による年代測定の結果は $7,090 \pm 259$ yBPで、十勝三股産と判定された。111は左側縁上部にノッチ状の加工がみられる。113の水和層厚測定による年代測定の結果は $14,142 \pm 583$ yBPで、置戸・所山産と判定された。118は全体的に薄手である。120の水和層厚測定による年代測定の結果は $11,272 \pm 589$ yBPで、赤石山産と判定された。121・122は末端部を尖頭形に加工している。121は被熱により光沢を失っている。127は裏面右側に背面の加工を切って平坦剥離が施されている。

錐形石器 (図 - 368 - 129・130、図版253)

2点(2個体)を図示している。129は末端部、130は先端部である。どちらも素材腹面からの急斜度剥離によって、器体を棒状に整形している。被熱により光沢を失っている。旧石器時代の錐形石器としては類例がなく、縄文時代前期の網文式土器に伴う石錐に類似している。

舟底形石器 (図 - 368 - 131・132、図版253)

2点(1個体と 層出土1個体を加えた2個体)を図示している。131は破損品で、キールからの調整が主体である。最終的に、裏面に甲板面からの細かな調整がみられる。132は完形品で、調整はすべて甲板面から行われている。下面には半月状の「つめ跡」がある原石面が残っている。

二次加工ある剥片 (図 - 368 - 133~143、図版253)

14点(9個体と 層出土2個体を加えた11個体)を図示している。素材は133が縦長剥片、134~142が剥片、143が不明である。二次加工が施される部位は、腹面側が133~138・140・143、背面側が139・142、両面が141である。133の加工は大きさが不揃いである。134~138・140~142は素材打面が大きく、バルブが発達し、打面調整・頭部調整はみられない。また、背面の剥離面構成は他方向からのものが多い。これらの特徴は「白滝 群」の石器と類似している。しかし、平面分布や出土レベルが他の石器類と分離できず、「白滝 群」に含めていない。なお、135・142は水和層厚測定による年代測定の結果それぞれ、 $11,673 \pm 351$ yBPで所山産、 $18,869 \pm 1,288$ yBPで赤石山産と判定された。143は凝灰岩製で、正面の原石面に縦方向、裏面の剥離面に斜方向の擦痕がみられる。

石刃・縦長剥片 (図 - 369 - 144~150、図版253・254)

石刃は6点(5個体)、縦長剥片は2点(1個体と 層出土1個体を加えた2個体)を図示している。150のみ頁岩製である。144~146・149・150はほぼ完形品、147は頭部、148は末端部である。背面の剥離面方向は、腹面と同方向のものが144・145・147、逆方向を含むものが146・148、横方向を含むものが149・150である。144は点状打面、150は複剥離打面で、それ以外は平坦打面である。頭部調整は全ての資料にみられる。148・150は末端がウートラパッセを起こしている。

削片 (図 - 369 - 151~155、図版254)

5点(4個体と 層出土1個体を加えた5個体)を図示している。削片はすべて縦方向の線状打面で、両面調整石器の縁辺に打撃を加えたと思われる。151は断面四角形の一次削片で、正面には素材面が大きく残り、上面は正面からの調整によって平坦化され、二回ほど削片の剥離に失敗している。剥片素材で断面D字形の細石刃核母型が想定される。152~155は二次削片で、いずれも両面調整石器から作出され、上面に先行する削片剥離がみられる。152・153は断面が四角形で上面と同じ角度で剥

離されているが、154・155は断面三角形で、154は裏面に傾いた上面が水平に修正され、155は水平な上面が正面側に傾いて剥離されている。上面からの加工は154の正面にみられる。削片はすべてSb-43からまばらに出土するが、細石刃関連の遺物は削片しかみられないため、Sb-38~44の石器群を細石刃石器群とは認定しがたい。

石刃核 (図 - 370 - 157 ~ 図 - 374 - 172、図版254 ~ 256)

16点(13個体と層出土3個体を加えた16個体)を図示している。157~161は平坦打面のものである。石材は157のみ頁岩製である。頭部調整は159を除いて施される。157は剥片素材で、素材腹面を打面に設定し、最終剥離が著しいヒンジを起こしている。158は板状の角礫素材で、正面を中心に剥離が行われる。159の打面はV字形に湾曲し、右側面には下方向からの大きな剥離面がある。160は分割礫が素材で、両側面を裏面から調整し、平面形状を楕円形に整形している。161は裏面に下からの大きな剥離面があり、正面の最終剥離はウートラパッセとなり作業面高を減じている。

162~172は複剥離打面のものである。裏面形状は162~164・168が交互剥離によって背稜を作り出すもの、165~167が平坦に加工されているもの、169~172が無整形のものである。打面調整は164・165・167・168・170~172でみられ、頭部調整は162~172すべてに施されている。162は下端からも粗い交互剥離がみられる。163は正面右側を中心に剥離が進行したため、背稜が左に偏っている。164は下端が原石面のままである。165は下端まで抜ける石刃が多い。裏面の調整は両側からの剥離によるもので、左からの調整はすべて激しいヒンジを起こしている。166・167は裏面を大きな他方向の剥離によって平坦化している。166は正面の中央に原石面が残る。167は90°打面転移が行われ、右側面の横方向の剥離が以前の石刃作業面である。168は正面右側を中心に剥離が進行したため、背稜が左に偏っている。下端は原石面のままである。169~172は裏面に大きく原石面が残り、左右の側面にもみられる。これは石刃剥離が正面を中心に一方向に後退するように進行したことを示している。169は左右の側面に稜調整の痕が残っている。171の最終剥離はヒンジを起こしている。172は下端を交互剥離によって粗く尖らせている。

石核 (図 - 369 - 156・図 - 374 - 173 ~ 図 - 378 - 194、図版254・256 ~ 259)

33点(19個体と層出土4個体を加えた23個体)を図示している。156は両面調整石器を斜行するように打面を作出し、縦長剥片の剥離を行っている。打面と作業面はほぼ器体の中央で交差する。二回以上の打面再生が行われ、打面調整はなく、頭部調整がみられる。技術形態的に「忍路子型」細石刃核と類似するが、形態が大きく、細石刃が剥離されていない点、石核の最大幅が打面部にある点、頭部調整がみられる点などの相違点もある。まとまった資料ではないことから、現段階では「忍路子型」細石刃核との関係は不明である。削片152・155と接合する。

173~177は主に縦長剥片を剥離しているもの及びその意識がみられるものである。打面調整がみられるものは173、頭部調整がみられるものは174・177である。173は分割礫が素材で、両側面を裏面(分割面)から調整している。最終剥離は大きなウートラパッセを起こしている。174は両面調整石器の破損品が素材で、折れ面を打面としている。175の最終剥離はバルブが発達し、作業面が大きく抉れている。176は背稜を形成し、正面で作業を行っているが、打面の作出に失敗している。177は90°打面転移が行われ、裏面の横方向の剥離が以前の石刃作業面である。正面の剥離は大きなウートラパッセを起こしている。

178~190は主に寸詰まり・横長剥片が剥離されるものである。剥片素材は178・180・188である。作業面転移の頻度によって以下の三つに分けられる。作業面を広い面に固定するもの(180~183・190)。正面の他に平坦で広い裏面にも作業面を転移するもの(185・187)。さらに作業面を転移し、

小口面での急斜度な剥離がみられるもの(178・179・184・186・188・189)。これらは「白滝 群」の石核に類似するが、平面分布や出土レベルが他の石器類と分離できず、サイコロ状の石核も出土していないことから「白滝 群」には含めていない。178の素材形状は三角柱状で、左右の小口面にも加工が及んでいる。179の加工は粗く、裏面の下端にわずかに原石面が残る。180の右側面は折れ面で、作業面との剥離角はほぼ直角である。右側面からの剥離は失敗し潰れている。181は裏面の両側縁に打面を作出した後、正面での剥離を行っている。182は作業面と打面を固定しているため、正面はほぼ同方向の剥離面で構成される。183は下端の剥離は急斜度である。184は下端から左右の側面に交互剥離がみられ、正面と裏面でも作業が行われる。185の裏面下端からの剥離は厚く、作業面が大きく抉れている。186は左側面の折れ面、下面でも剥離が行われている。187は正面が上から、裏面が下からの剥離が中心である。188は小口面でやや縦長の剥片を剥離している。190は作業中に石核が破損し、上半部が再剥離され、下半部は左側縁で細かい剥離がみられる。

191～194は剥片の腹面などの平坦な面を主に打面とし、周囲を剥離するものである。剥片素材は191・192・194で、頭部調整が192～194にみられる。191は正面右の剥離が最終剥離で、激しいヒンジを起こしている。192の剥離は石核を全周している。193は打面が裏側に傾いているため、裏面では作業が行われず原石面が残っている。被熱により破損が著しい。194は大型剥片の正面と裏面を中心に作業しているため、舟底状になっている。正面右側には2 cm前後の球顆が三つみられ、石核が激しく破損している。

斧形石器(図 - 379 - 195、図版259)

1点(1個体)を図示している。粘板岩製で、左側面に平坦な原石面を残し、両面に粗い加工を施している。折れ面に横方向の擦痕がみられ、破損後は擦り石のように使用したと考えられる。

敲石(図 - 379 - 196、図版259)

1点(1個体)を図示している。濃緑色の頁岩製で、両端に打撃によって生じた小剥離がみられ、裏面の下部に横方向の擦痕が残っている。

砥石(図 - 379 - 197、図版259)

3点(1個体)を図示している。凝灰岩質の砂岩製で、両面の周縁に粗く剥離がみられ、やや窪んだ滑沢な面があり、そこに縦方向の擦痕が観察される。

石鏃・尖頭器(図 - 379 - 198・199、図版259)

3点(1個体と 層出土1個体を加えた2個体)を図示している。198は基部が内湾する無茎の石鏃で、形状は両側縁がやや湾曲する二等辺三角形である。両面に細かい押圧剥離が施され、水和層厚測定による年代測定の結果、 $3,328 \pm 11$ yBPで赤石山産と判定された。199は柳葉形の尖頭器である。両面を平坦剥離によって薄くした後、縁辺を細かな押圧剥離で鋸歯状にしている。旧石器時代の尖頭器にはみられない加工が施されているため、石鏃と一緒に掲載した。水和層厚測定による年代測定の結果、 $16,213 \pm 1,233$ yBPで赤石山産と判定された。

つまみ付きナイフ(図 - 379 - 200、図版259)

1点(層出土1個体)を図示している。縦長剥片を素材し、素材の末端側につまみ部を作出している。両面とも右側縁上部は深い平坦剥離が施されているが、つまみ部の裏面は急斜度な加工である。末端部は破損後、再加工されている。水和層厚測定による年代測定の結果、 $10,431 \pm 1,411$ yBPで赤石山産と判定された。

石器ブロック38(Sb - 38)の分布(図 - 380・381)

e10~12、f10~13、g9~13、h12・13区の11×16.5mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のg13、h13区の東側にも分布が広がると考えられる。g12を中心として遺物が分布するが、その他にf10区に小集中域、g13区の調査区範囲の境にも集中域がみられる。尖頭器42点、両面調整石器1点、搔器1点、削器3点、二次加工ある剥片7点、石刃2点、縦長剥片6点、石刃核2点、石核1点、剥片1,431点、砥石3点の計1,499点、重量10,872.9gの石器類が出土した。尖頭器の出土量が多い。

石器ブロック39 (Sb-39) の分布 (図 - 382・383)

g10・11、h10~13、i10~13、j11~13区の9×13mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のh13、i13、j13区の東側にも分布が広がると考えられる。h12、i12区の境に遺物が集中しているが、j12区にも小さな集中域がみられる。尖頭器16点、二次加工ある剥片5点、石刃1点、石核4点、剥片715点の計741点、重量3,472.1gの石器類が出土した。

石器ブロック40 (Sb-40) の分布 (図 - 384~388)

h9・10、i8~11、j9~12、k10~12、l11~13、m11~13、n12・13区の29.5×12.5mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のk13、l13、m13、n13区の東側にも分布が広がると考えられる。k12区に最も遺物が集中して分布し、j10区やl12、m12・13区の境にも集中域がみられる。尖頭器95点、両面調整石器10点、彫器1点、搔器4点、削器15点、錐形石器1点、二次加工ある剥片19点、石刃2点、縦長剥片2点、石核32点、剥片4,549点、砥石1点の4,732点、重量25,616.1gの石器類が出土した。尖頭器の出土量が群を抜いて多い。

石器ブロック41 (Sb-41) の分布 (図 - 389・390)

j7~9、k7~10、l8~11、m9~11、n9~11区の10×24mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のj7区の北西側にも分布が若干広がると考えられる。l10・11、m11区の境に最も遺物が集中し、k9区にも小さな集中域がみられる。尖頭器25点、両面調整石器6点、搔器3点、削器24点、錐形石器1点、二次加工ある剥片4点、石核2点、剥片2,437点の2,502点、重量8,850.7gの石器類が出土した。

石器ブロック42 (Sb-42) の分布 (図 - 391)

k6~8、l6~8、m7・8区の10×10mの範囲に確認されたが調査区範囲外のk6、l6区の北西側にも分布が広がると考えられる。k6、l6・7区の境に最も遺物が集中している。尖頭器3点、搔器2点、石刃4点、縦長剥片12点、石刃核1点、石核1点、剥片3,652点、石鏃1点の計3,676点、重量27,656.4gの石器類が出土した。

石器ブロック43 (Sb-43) の分布 (図 - 392~394)

m8・9、n7~10、o8~10、p9~12、q9~12、r10~12区の10.5×25mの範囲から確認されたが、調査区範囲外のq12、r11区の南東側にも分布が広がると考えられる。大きくn9、o9・10区を中心とした北西側とp10、q11、r12区を中心とした南東側の二つの集中域がみられ、特にn9、p10区に遺物が集中している。尖頭器5点、両面調整石器3点、搔器1点、削器1点、二次加工ある剥片1点、石刃6点、縦長剥片18点、石刃核1点、石核11点、削片4点、剥片5,659点の計5,710点、重量50,655.6gの石器類が出土した。

石器ブロック44 (Sb-44) の分布 (図 - 395~398)

l6、m5~7、n4~7、o4~8、p5~9、q5~9、r6~9区の14.5×29mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のm5、n5区の北西側にも分布が広がると考えられる。m6区、m5、n6区の境、n6・7区の境、n5、o5区、o6区、p7、q7区の六つの集中域がみられる。尖頭器66点、両面調整石器7点、彫器1点、搔器16点、削器21点、二次加工ある剥片6点、石刃10点、縦

長剥片17点、石刃核9点、石核20点、剥片10,894点、斧形石器1点、原石11点の計11,079点、重量56,611.8gの石器類が出土した。ツール類が多量にみられ、ほとんどがブロックの北西部に分布している。

石器ブロック38～44 (Sb - 38～44) の接合状況 (図 - 399・400)

Sb - 38～44ではブロック内での接合が集中的にみられ、ブロック間でも接合関係が密接に確認されている。折れ面接合は、基本的にブロック内の南北方向に広い範囲で確認され、ブロック間でも多くの接合関係がみられる。

母岩別資料293・接合資料4184 (図 - 401、図版260 - 1)

母岩別資料は接合4184の他、接合4185～4191・53404～53408で構成され、総点数52点、総重量888.4gである。

素材 19点(11個体)が接合し、重量は487.8g、大きさは16.5×7.5×6cmで、素材の形状は不明だが、原石面の角はやや摩滅している。

剥離工程 正面下からの大型の縦長剥片の剥離(段階1)によって厚みが大きく減じている。段階2は裏面上部の剥離で、反対側縁まで抜ける剥離によって上部の厚みと原石面が除去される。この段階で先端部がわずかに破損している。正面左右の剥離(段階3・4)の後、裏面左右の剥離(段階5・6)によって折れ面付近を中心に再加工されるが、尖頭形までは到っていない。段階3以降の剥離は、中央の稜を越える剥離が少ないため、両側縁が急斜度なままである。最終的に尖頭器36が遺棄されている。

分布 Sb - 43から帯状に出土している。最大で20m近く離れて接合する。

母岩別資料389・接合資料3477 (図 - 402、図版260 - 2)

母岩別資料は接合3477のみである。

素材 37点(31個体)が接合し、重量は373.0g、大きさは10.5×12×7cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。裏面を左右から剥離した状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 裏面左からの剥離(段階1)の後、正面の左右からの大きな剥離(段階2・3)で原石面を大部分除去している。段階4・5は裏面の左右からの剥離、段階6は正面左からの剥離である。ここまでの断面は、やや厚手の凸レンズ状だが、段階7・9によって正面の左右が集中的に剥離され、縁辺が急斜度になり、断面が三角形に変化している。段階8・10は裏面の剥離で、ほとんどが反対側縁まで抜ける剥離であるため、厚みが大幅に減じている。段階11は正面左からの剥離で、最終的に断面三角形の尖頭器24が遺棄される。

分布 ほとんどがSb - 39のブロック全体からまばらに出土する。Sb - 38・40にみられる剥片は、2点ともSb - 39に近い縁辺部からの出土で、Sb - 39の広がり的一部分と考えられる。段階1の剥片1点が約20m南西側のSb - 41のm9区に単独で分布している。

母岩別資料263・接合資料3931 (図 - 403・404、図版261)

母岩別資料は接合3931の他、接合3926～3930・53273で構成され、総点数78点、総重量1,231.4gである。

素材 63点(46個体)が接合し、重量は1,176.8g、大きさは24×14×10.5cmで、扁平で角が摩滅した亜角礫を素材とする。原石の状態状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 右側面は下方からの剥離(段階1)によって、ほぼ垂直となっている。先端部を正面と裏面で加工(段階2・3)した後、正面左右から縁辺全体を加工し(段階4・6)、正面側の厚みを大

幅に除去している。段階4は段階1で得られた面を打面とし、集中的な剥離によって鋭い側縁に変化させている。この時点の器体の幅は約11.5cm、厚さは5.5cm程である。段階8は、裏面の左側縁全体にわたる加工で、前後の段階で正面の先端部が加工されている（段階7・9）。段階10・11は正面右裏面右への縁辺全体に及ぶ剥離で、段階11によって裏面側の厚みが大幅に除去されている。最終的に裏面末端部からの加工が施され、最終的に21×9×3cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb-43から帯状に出土している。

母岩別資料265・接合資料3940（図 - 405・406、図版262）

母岩別資料は接合3940の他、接合3938・3939・53275で構成され、総点数108点、総重量2,222.4gである。

素材 102点（65個体）が接合し、重量は2,199.8g、大きさは17.5×18.5×11.5cmで、半月状の「つめ跡」がみられるやや扁平な円礫を素材とする。原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 正面右からの大きな剥離（段階1）によって、素材の厚さがほぼ半分で、鋭い側縁となっている。段階3・5は裏面全体にわたる連続的な剥離で、途中、先端部を集中的に加工している（段階2・4）。この時点の器体の幅は12cm、厚さ5cm程である。その後、途中で部分的な剥離（段階7・10・12）をはさんで、縁辺全体に及ぶ剥離が、正面左（段階6）裏面右（段階8）正面左（段階9）正面右（段階11）と続いていく。特に段階6の剥離は中央の稜を越える加工が多く、厚さを大きく減じている。最終的に15.5×9.5×3cm程の幅広で小判形の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb-43から帯状に出土している。

母岩別資料262・接合資料3925（図 - 406・407、図版263）

母岩別資料は接合3925の他、接合3920・3921・3924・53272で構成され、総点数63点、総重量1,111.3gである。

素材 54点（35個体）が接合し、重量は1,065.5g、大きさは15.5×11×11cmで、半月状の「つめ跡」がみられる円礫を素材とする。原石の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 段階1～9は原石の粗割りである。正面（段階1・5・7）と裏面（段階1・4・9）のほかに両側面（段階2・3・6・8）でも剥離が行われ、厚さが4.5cm前後まで減じている。特に裏面右からの段階4によって厚みが除去され、平坦化している。段階10からは両側縁での尖頭器調整剥離である。段階を追って平面形が半月形から木葉形に変化している。最終的に12.5×6.5×2.5cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 ほとんどがSb-43の北側の集中域からまとまって出土し、南側の集中域ではr12区に段階4の剥片、p11区に段階13の剥片が1点ずつ分布している。

母岩別資料235・接合資料3678（図 - 408、図版264-1）

母岩別資料は接合3678の他、接合3670～3677・53028～53036で構成され、総点数82点、総重量3,349.4gである。

素材 25点（13個体）が出土し、重量は2,065.6g、大きさは20×17×16cmで、半月状の「つめ跡」がみられる円礫を素材とする。右側面を大きく交互剥離した状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 裏面左からの加工（段階1）の後、正面左からの剥離が器体下部を大きく取り込んでしまい（段階2）長さを6cm前後損ねている。左側面で上下からの加工（段階3・4）によって原石面が除去され、正面右からの剥離が行われる（段階5）。段階5では中央の稜線を越える剥離が多く、

厚みを大きく減じ、正面右側縁の角度をなだらかにしている。両面調整石器部分は欠落している。

分布 Sb - 42の集中域から帯状に出土している。

母岩別資料194・接合資料3462 (図 - 409、図版265 - 1)

母岩別資料は接合3462の他、接合3463～3467・52839～52845・53488で構成され、総点数110点、総重量1,064.2gである。

素材 66点(25個体)が接合し、重量は463.0g、大きさは27×11.5×4cmで、素材の形状は不明だが、原石面はザラついた岩屑面である。粗い両面調整石器の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 尖頭器の表側の接合資料で、左右からの剥離(段階1～3)が行われている。特に段階2の剥離が中央の稜を越える剥離が多く、器体の厚みが減じている。最終的に幅11cm前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 Sb - 38のg12区を中心としてまばらに分布している。

母岩別資料392・接合資料3746 (図 - 410、図版273 - 1)

母岩別資料は接合3746のみである。

素材 2点(2個体)が接合し、重量は1,082.2g、大きさは17.5×11.5×6.5cmで、素材の形状は不明だが、原石面には半月状の「つめ跡」がみられる。

剥離工程 裏面左からの大きな剥離によって打面を作出し、右側面で石刃剥離が行われる。その後、打面と作業面を転移し、正面上からの石刃剥離が行われ、最終的に石刃核167が遺棄される。最初の打面作出剥片は尖頭器75に加工されている。

分布 Sb - 44の北部にある集中域からやや離れて出土している。

母岩別資料204・接合資料3499 (図 - 411、図版273 - 2)

母岩別資料は接合3499の他、接合3500・52900で構成され、総点数11点、総重量860.4gである。

素材 5点(3個体)が接合し、重量は591.3g、大きさは19.5×10.5×5.5cmで、素材の形状は不明だが、原石面はザラついた岩屑面である。

剥離工程 表裏面の加工によって両面調整石器が製作されるが、裏面左からの加工を行った際、球顆が原因で器体が破損する。上下とも再加工され、上半部は右側縁を集中的に加工し、最終的に両面調整石器76が遺棄される。下半部は折れ面を打面として正面で石刃・縦長剥片が剥離され、石核174が遺棄される。石刃のほとんどは欠落している。

分布 下半部で作業された剥片と石核はSb - 40の中で8mほど離れて出土し、上半部の両面調整石器はSb - 44のo6区に単独で分布している。

母岩別資料399・接合資料4040 (図 - 412、図版274 - 1)

母岩別資料は接合4040のみである。

素材 34点(29個体)が接合し、重量は542.8g、大きさは14×9.5×7.5cmで、平滑な原石面がある角礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 正面右からの側面調整(段階1)の後、打面を作出し(段階2)、打面再生をはさんで縦長剥片が剥離される(段階4・5)。裏面では、右側の突出した部分を横からの加工によって除去し、平坦にしている(段階3)。その後、石刃作業面が右側面に転移し、打面調整・頭部調整を施しながら、集中的に剥離される(段階6)。背部にあたる左側面では交互剥離によって背稜が形成されている(段階7・8)。最終的に石刃核165が遺棄される。

分布 Sb - 43の南北に分かれて分布している。段階1・4は南側の集中域にみられ、それ以外の段

階は北側の集中域から出土している。

母岩別資料402・接合資料4168 (図 - 413・414、図版274 - 2)

母岩別資料は接合4168のみである。

素材 22点(20個体)が接合し、重量は632.3g、大きさは12×9×9.5cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。裏面が大きく剥離された状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 原石を二つに半割し(個体A・B)、それぞれ剥片剥離を行っている。個体Aは分割面を裏面とし、打面を作出後、裏面からの側面調整を施し、石刃剥離を連続的に行っている。石刃はすべて欠落し、石刃核160が遺棄される。

個体Bは分割面を裏面としている。段階1は両側縁からの加工で、中央の稜を越える剥離が多く、石核下部の突出部が除去され、断面がカマゴコ形となる。打面を作出後、正面上からの剥離が行われるが(段階2)、幅広の剥片となっている。段階3は両側縁の再調整で、入念な急斜度の加工が施される。打面再生の後(段階4)、正面上から剥離が行われるが、ウートラパッセとなり、作業面高が2cm程減じ、石核173が遺棄される。

分布 Sb-43から帯状に広がって出土している。個体Bの方がやや南西側に分布する。

母岩別資料308・接合資料4266 (図 - 414、図版275 - 1)

母岩別資料は接合4266の他、接合4267、剥片2点で構成され、総点数27点、総重量307.7gである。

素材 22点(18個体)が接合し、重量は273.2g、大きさは8×8.5×7cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。

剥離工程 打面を作出後、頭部調整を施しながら、正面を中心に石刃・縦長剥片の剥離が行われる(段階1)。その後、打面が再生され(段階2)、石核193が遺棄される。

分布 Sb-40からまばらに出土している。

母岩別資料393・接合資料3807 (図 - 415、図版275 - 2)

母岩別資料は接合3807のみである。

素材 55点(27個体)が接合し、重量は760.5g、大きさは8.5×13×7.5cmで、平滑な面がある円礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 原石の長軸方向を水平に設定し、右側面からの剥離によって打面を作出している(段階1)。剥片剥離は主に右側面を中心として一方向に後退するように行われ(段階2)、作業面が7cmほど減じている。剥離された剥片は、頭部調整がみられるやや幅広の縦長剥片が多い。最終的に打面を90°転移し、裏面側での作業が行われ、石核175が遺棄される。

分布 ほとんどがSb-41のn10区に集中して出土している。一部Sb-43の東縁辺部に分布するが、同一の広がりとみられる、段階2の厚手の剥片1点が16m北側のSb-40のi10区、石核173が13m西側のSb-44のn6区からそれぞれ単独で出土している。

接合資料4327 (図 - 416・417、図版276 - 1)

素材 41点(31個体)が接合し、重量は527.4g、大きさは6.5×12.5×14.5cmである。剥片素材で、原石面には半月状の「つめ跡」がみられる。

剥離工程 主に素材腹面を打面に設定して剥離が進行する。段階1は左側面での剥離で、石核の素材(個体A)となる。個体Aは、素材の側縁で剥離が行われ、石核は欠落している。段階2は石核をほぼ全周する剥離で、厚手の剥片が石核の素材(個体B)となる。個体Bは、素材の背面と末端部で剥離が行われ、石核188が遺棄される。また、二次加工ある剥片137は段階2の剥片を素材としている。打面再生(段階3)の後、左側面を中心として剥離が行われ(段階4)、最終的に石核192が遺棄され

る。段階2・4とも横長の剥片が多く剥離されている。

分布 ほとんどがSb-40から帯状に出土している。個体Bの石核188は8.5m西側のSb-41の南端に単独で分布している。

母岩別資料307・接合資料4308 (図 - 418、図版276 - 2)

母岩別資料は接合4308の他、接合4309、剥片4点で構成され、総点数19点、総重量259.1gである。

素材 13点(11個体)が接合し、重量は240.7g、大きさは6.5×7.5×7.5cmで、平滑な面がある角礫を素材とする。正面を大きく剥離した状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 正面に作業面を固定したまま剥離を進行していく。まず、周縁から求心状に幅広の剥片が剥離され(段階1)、二次加工ある剥片138・141・142の素材となっている。段階2も同様の作業だが、打面が下端に固定されている。途中、石核を輪切りにするような作業面全体を取り込む剥離が行われている。最終的に作業面が小さくなったため、石核182が遺棄される。

分布 ほとんどがSb-40の南北の集中域に分かれて分布するが、石核182はSb-40の遺物が散漫な地点から出土している。

母岩別資料397・接合資料4020 (図 - 419・420、図版277 - 1)

母岩別資料は接合4020のみである。

素材 22点(16個体)が接合し、重量は2,102.1g、大きさは11×24.5×14cmである。剥片素材で、原石面の角はやや摩滅している。

剥離工程 素材腹面を打面に固定して、表裏面で剥離を行う(段階1)。次に、上面左側に裏面からの剥離が行われ、素材のバルブが除去されている。最終的に内在する球顆によって破損し、舟底状の石核194が遺棄される。

分布 ほとんどがSb-43の北側の集中域から出土するが、段階2の剥片1点が南側の集中域に分布している。

母岩別資料270・接合資料4018 (図 - 421、図版277 - 2)

母岩別資料は接合4018の他、接合4012～4017・53306で構成され、総点数39点、総重量808.0gである。

素材 9点(9個体)が接合し、重量は128.4g、大きさは10.5×3.5×7.5cmで、円礫素材である。

剥離工程 段階1は母型となる両面調整石器の剥離で、最終的な厚さは2.5cmほどである。母型の長軸に対し斜行する打面を作出し(段階2)、頭部調整を施しながら縦長剥片の剥離(段階3)を行っている。技術形態的にオショロッコ型細石刃核と類似するが、形態が大きく、細石刃が剥離されていない点、石核の最大幅が打面部にある点、頭部調整がみられる点などの相違点もある。まとまった資料ではないことから、現段階では「忍路子型」細石刃核との関係は不明である。最終的に石核156が遺棄される。

分布 Sb-43の南北に広がって分布している。段階1と削片152は北側の集中域、削片155は南側の集中域から出土する。

模式図・遺物分布図・写真図版掲載の接合資料

母岩別資料401・接合資料4157 (図 - 422、図版264 - 2)

母岩別資料は接合4157のみである。

素材 74点(47個体)が接合し、重量は574.6g、大きさは25.5×10.5×6.5cmで、素材の形状は不明だが、粗い両面調整石器の状態で遺跡に搬入されている。

剥離工程 段階1～3は縁辺全体にわたる加工で、特に裏面側の剥離である段階2は中央部を集中的

に剥離し、突出した左側縁を除去している。段階 4 ~ 6 は器体中央部の部分的な加工である。段階 7 は裏面左からの縁辺全体にわたる加工で、最終的に尖頭器60が遺棄される。

分布 ほとんどが S b - 44 東縁辺部の p 8・9 区に集中的にみられるが、ブロック中央部から段階 1・2・3・7 の剥片の一部と尖頭器60がまばらに出土している。

母岩別資料241・接合資料3717 (図 - 422、図版265 - 2)

母岩別資料は接合3717の他、接合3718 ~ 3729・53070 ~ 53074 で構成され、総点数136点、総重量 1,409.7g である。

素材 59点 (40個体) が接合し、重量は492.5g、大きさは29×12.5×5.5cm で、ザラついた岩屑面がある角礫を素材とする。粗い両面調整石器の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 尖頭器の表側の接合資料で、段階 1・3・5・6 が左から、段階 2・4・7 が右からの加工である。段階 3 の剥離で、基部の幅と器体の厚みが大きく減じ、段階 5・6 の剥離で器体中央の幅が大きく減じている。最終的に長さ25cm、幅 7 cm 前後の尖頭器が製作され、遺跡外に搬出された可能性が高い。

分布 S b - 44 の北部の集中域にまとまって分布している。

接合資料3494 (図 - 423、図版272 - 3)

素材 3点 (2個体) が接合し、重量は73.0g、大きさは12×6.5×2 cm で、素材は不明である。

剥離工程 尖頭器調整剥片の接合資料で、剥離された横長剥片を素材として尖頭器16が製作されている。

分布 S b - 40 の j 10 区から出土している。

母岩別資料314・接合資料3434 (図 - 423、図版278 - 1)

母岩別資料は接合3434・4240で構成され、総点数24点、総重量650.9g である。

素材 22点 (14個体) が接合し、重量は559.1g、大きさは14.5×7.5×8.5cm で、素材は不明である。

剥離工程 平坦な右側面から裏面側へ側面調整を行い (欠落)、裏面下から縦長剥片を剥離する (段階 1)。その後、作業面を正面に転移し、上方から連続的に石刃・縦長剥片の剥離が行われる (段階 2)。石刃・縦長剥片の剥離には頭部調整のみ施されている。最終的に石刃核159が遺棄される。

分布 S b - 38 からまばらに分布する。

母岩別資料244・接合資料3760・3761 (図 - 423、図版279)

母岩別資料は接合3760・3761の他、接合3755 ~ 3759・4254・53114 ~ 53116・53491 ~ 53493・53520、両面調整石器 2 点、縦長剥片 1 点、原石 4 点で構成され、総点数62点、総重量2,234.4g である。

素材 接合3760が11点 (7個体) が接合し、重量は395.6g、大きさは12.5×10×4.5cm で、接合3761は12点 (7個体) が接合し、重量は242.8g、大きさは23×6.5×2.5cm である。ザラついた岩屑面がある板状の角礫を素材とする。原石の状態に遺跡に搬入されている。

剥離工程 接合3760と3761は欠落部分を挟んだ折れ面接合の関係であったと思われる。接合3760は破損後の下半部で行われた剥離で、折れ面を打面とし、両側面で石刃・縦長剥片が剥離される (段階 2)。右側面の剥離は節理のため失敗し、左側面の剥離が最終的にウーラパッセとなり石刃核158が遺棄される。石刃・縦長剥片には頭部調整のみ施される。段階 1 は破損後の上半部で行われた剥離で、接合3761の加工の一部とみられる。

接合3761は主に基部両側面を加工しているが、破損により尖頭器45・246が遺棄される。

分布 接合3760は S b - 44 からまばらに出土し、接合3761は S b - 44 の m 6 区を中心としてまとまって分布している。

母岩別資料388・接合資料3433 (図 - 424、図版278 - 2)

母岩別資料は接合3433のみである。

素材 6点(3個体)が接合し、重量は408.6g、大きさは13×7×7cmで、素材の形状は不明だが、原石面はザラついた岩屑面である。

剥離工程 正面を中心に石刃・縦長剥片の剥離が行われている。平坦打面で頭部調整のみ施される。特に、先に剥がされた石刃には打面の縁を擦って潰す頭部調整がみられる。何度かのウートラパッセにより作業面高が4cm近く損なわれ、最終的に石刃核161が遺棄される。

分布 S b - 38を中心としてまばらに分布し、石刃1点がS b - 38に隣接したS b - 39の縁辺部から出土している。

母岩別資料294・接合資料4198 (図 - 424、図版280)

母岩別資料は接合4198の他、接合4192～4197・53409～53412で構成され、総点数59点、総重量4,016.0gである。

素材 20点(14個体)が接合し、重量は2,955.7g、大きさは19.5×24.5×11cmで、半月状の「つめ跡」がある円礫を素材とする。

剥離工程 裏面の左側で上からの剥離(段階1)が行われた後、上面で正面からの剥離が連続して行われる(段階2)。剥離の進行に伴い段階2の剥離角がほぼ直角になっている。段階3は正面、段階4は裏面の剥離で、どちらも求心状の剥離となっている。最終的に石核179が遺棄される。

分布 S b - 43の南側の集中域からまばらに出土している。

写真のみ掲載の接合資料

図版266～269 - 1・271 - 1～272 - 2は尖頭器の製作に関連する接合資料である。母岩206・接合3502・3503(図版266)はどちらも尖頭器の接合資料である。接合3502は破損後、上半部の尖頭器57がそのまま遺棄され、下半部は再加工されるが、二つに破損し、器体の途中で軸が曲がる尖頭器15が遺棄される。接合3503は四つに破損後、中央部が再加工されるが、二つに破損し、尖頭器34が遺棄される。下半部の尖頭器46はそのまま遺棄されている。また、最下部に接合している剥片は破損後の再加工剥片で、尖頭器部分は欠落している。母岩207・接合3510(図版266)は破損後、上半部は折れ面からの再加工が僅かにみられるが、二つに破損し、尖頭器41が遺棄される。下半部は折れ面の幅を減じるように再加工が行われるが再び破損し、尖頭器224が遺棄される。接合3439(図版267 - 1)は破損後、上半部の尖頭器59がそのまま遺棄され、下半部は折れ面を中心に再加工が行われるが、三つに破損し、尖頭器53が遺棄される。接合3478(図版267 - 2)は破損後、上半部では基部側を中心に急斜度の再加工が行われるが、二つに破損し、尖頭器35が遺棄される。下半部の尖頭器72はそのまま遺棄されている。接合3810(図版268 - 1)は破損後の再加工で、表裏面とも折れ面側で急斜度の剥離が行われるが、二つに破損し、尖頭器37が遺棄される。母岩390・接合3493(図版268 - 2)は棒状の原石を素材とし、三つに破損後再加工され、それぞれ厚手の尖頭器26・32・33が遺棄される。母岩274・接合4043(図版268 - 3)はザラついた岩屑面がある板状の角礫を素材としている。破損後、上半部は再加工されるが再び破損し、尖頭器42が遺棄され、下半部の尖頭器44はそのまま遺棄されている。母岩193・接合3461(図版269 - 1)は破損後の再加工品である。全体的に粗く、大きな加工で幅を減じ、最終的に尖頭器51が遺棄される。母岩233・接合3650・3651(図版271 - 1)はそれぞれ同一尖頭器の表側と裏側の接合資料で、最終的な尖頭器は幅8cm前後まで加工され、欠落している。母岩264・接合3936(図版271 - 2)は尖頭器の表側の接合資料で、急斜度な両側縁が剥離の進行に伴い鋭角化していき、厚みも大きく減じている。最終的な尖頭器は幅9cm前後まで加工され、欠落して

いる。母岩295・接合4204（図版272 - 1）は尖頭器の表側の接合資料で、最終的な尖頭器は欠落し、長さ16cm、幅12cm前後の幅広の小判形であったとみられる。母岩292・接合4183（図版272 - 2）は尖頭器の表側の接合資料で、調整剥片が削器128に加工されている。

図版269 - 2 ~ 270 - 1は両面調整石器の製作に関連する接合資料である。接合4169（図版269 - 2）は大型の横長剥片を素材とし、主に基部側を中心として加工が行われている。最終的に両面調整石器80が遺棄される。母岩273・接合4039（図版270 - 1）は最初に剥離された大型の横長剥片が両面調整石器81に加工され、石核部分は急斜度の正面側を中心に上下からの加工が進み、両面調整石器が製作されたと思われるが、資料は欠落している。

図版270 - 2・281 ~ 284は石核・石刃核に関連する接合資料である。母岩403・接合4234（図版270 - 2）は上下に破損後、下半部で石核の約3分の1を消費する大きな剥片が剥離され、石核235が遺棄される。母岩391・接合3659（図版281 - 1）は打面再生剥片と背稜の調整剥片が接合し、最終的に石刃核164が遺棄される。母岩395・接合3869（図版281 - 2）は裏面に横方向の大型剥片が接合している。背面がほぼ原石面に覆われた初期段階の剥片で、石刃核168までの欠落部分が5cm近くある。母岩396・接合3914（図版282 - 1）は裏面を平坦にする調整 打面作出 石刃剥離 打面再生 石刃剥離と作業が進行し、最終的に石刃核166が遺棄される。裏面側の調整で石刃核の大半を消費している。母岩400・接合4041（図版282 - 2）は裏面で背稜を形成する剥片が多量に接合している。打面の作出に失敗し、石核176が遺棄される。母岩394・接合3868（図版283 - 1）は裏面上部の横方向の調整剥片と打面再生剥片・初期段階の縦長剥片が接合し、最終的に石刃核170が遺棄される。石刃剥離には打面調整・頭部調整が施されている。母岩398・接合4022（図版283 - 2）は正面で縦長剥片が剥離された後、左側面から裏面に横方向の剥離が行われ、石核が大きく破損している。最終的に石核177が遺棄される。母岩205・接合3501（図版284 - 1）は原石の一端に打面を作出し、連続的に幅広の剥片を多く剥離している。最終的な剥離が作業面を大きく損ない、石核255が遺棄される。母岩269・接合4008（図版284 - 2）は正面を中心とした石刃・縦長剥片の剥離で、途中に打面再生、頭部調整が施されている（欠落）。搔器106は剥離された縦長剥片を素材としている。接合3901（図版284 - 3）は石刃・縦長剥片の剥離で、打面調整・頭部調整がみられる。搔器94は剥離された石刃を素材としている。

（直江康雄）

（16）石器ブロック外の石器

出土石器

尖頭器・両面調整石器（図 - 425 - 1 ~ 3、図版285）

尖頭器は1点（層出土1個体）、両面調整石器は2点（層出土2個体）を図示している。1は基部の破片で、平坦な調整が両面にみられ、厚さは1cmと薄手である。2は粗い加工によって全体を整形し、裏面の先端部左側に細かな剥離がみられる。下面に僅かに原石面が残る。3はほぼ全体が滑沢な原石面に覆われた角礫素材で、右側面と裏面基部で剥離を行っている。

彫器（図 - 426 - 4、図版285）

1点（1個体）を図示している。頁岩製で、素材の末端側にノッチ状の調整を施し、そこから左刃の彫刀面を作出するものである。最低一回、彫刀面の再生が行われている。背面両側縁に急斜度、腹面基部に平坦な調整がみられ、素材の打面は除去され、基部は薄手である。

搔器（図 - 426 - 5・6、図版285）

2点（2個体）を図示している。5・6は頁岩製の石刃を素材とし、素材の末端部に刃部を作出し

ている。最大幅は刃部にあり、側縁調整は軽微である。

削器 (図 - 426 - 7 ~ 9、図版285・286)

6点(3個体)を図示している。7は背面に横方向の剥離がある石刃を素材とし、末端部を急斜度の加工によって尖頭形にしている。8は大型の縦長剥片が素材で、右側縁に急斜度の加工を施し、両側縁をほぼ平行に整形している。9は尖頭器調整剥片が素材で、右側縁の一部に深い平坦剥離を施している。

二次加工ある剥片 (図 - 426 - 10、図版286)

1点(1個体)を図示している。石刃を素材とし、裏面左側縁に連続的な加工がみられる。

石刃 (図 - 426 - 11、図版286)

1点(1個体)を図示している。頁岩製である。平坦打面で、頭部調整が施され、背面の剥離面構成は腹面と同方向である。

舟底形石器 (図 - 426 - 12、図版286)

1点(1個体)を図示している。両面に原石面が残る両面調整石器を素材とし、長軸方向に削片を作出した後、裏面の一部に甲板面からの調整が施されている。甲板面の湾曲が著しく、削片の作出は失敗であったとみられる。

石刃核 (図 - 427 - 13、図版286)

1点(1個体)を図示している。打面調整・頭部調整が施され、正面を中心に石刃剥離が行われている。裏面には前段階の下方からの剥離がみられる。最終剥離はウートラパッセを起こしている。

石核 (図 - 427 - 14、図版286)

1点(1個体)を図示している。平坦な原石面を打面に固定し、打面調整を施しながら石核をほぼ全周する剥離を行っている。最終的に裏面で横方向の交互剥離がみられる。

斧形石器 (図 - 427 - 15、図版286)

1点(1個体)を図示している。緑色泥岩製で両刃の斧形石器である。原石の両側縁と下端を中心に剥離した後、周囲を敲打によって整形し、刃部を中心に研磨している。

石鏃 (図 - 427 - 16、図版286)

1点(1個体)を図示している。形態は細長い三角形で、基部がやや内湾する無茎の石鏃である。両面に細かい押圧剥離が施されている。

(直江康雄)

上白滝 5 遺跡の調査

1 調査の概要

(1) 調査要項

事業名	一般国道450号白滝村白滝丸瀬布道路工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（平成13年度）
委託者	国土交通省北海道開発局網走開発建設部
受託者	財団法人北海道埋蔵文化財センター
遺跡名	上白滝 5 遺跡（ I - 20 - 88 ）
所在地	紋別郡白滝村字上白滝123 - 3
調査面積	7,860㎡（平成 9 年度：3,728㎡、平成10年度：4,132㎡）
調査期間	平成 9 年 4 月11日～平成10年 3 月31日（現地調査平成 9 年 5 月 6 日～10月25日） 平成10年 4 月10日～平成11年 3 月31日（現地調査平成10年 5 月 6 日～10月24日） 平成11年 4 月 1 日～平成12年 3 月31日（整理作業のみ） 平成12年 4 月 3 日～平成13年 3 月30日（整理作業のみ） 平成13年 4 月 2 日～平成14年 3 月29日（整理作業のみ）

(2) 調査体制

財団法人北海道埋蔵文化財センター	理事長	伊藤一夫（平成10年 5 月31日まで） 大澤 満（平成10年 6 月 8 日から）	
専務理事	佐藤哲人（平成11年 5 月31日まで） 宮崎 勝（平成11年 6 月 1 日から）	常務理事	柴田忠昭（平成11年 5 月31日まで） 木村尚俊（平成11年 8 月16日から） （平成13年 7 月17日まで）
業務部長	北条雅洋（平成10年 3 月31日まで）	第 1 調査部長	畑 宏明（平成11年 8 月15日まで）
総務部長	中田 仁（平成12年 3 月31日まで） 柳瀬茂樹（平成12年 4 月 1 日から）		木村尚俊（平成11年 8 月16日から） （兼務）（平成13年 7 月17日まで） 大沼忠春（平成13年 7 月18日から） （兼務）

平成 9 年度	第 1 調査部	第 3 調査課	課長	長沼 孝（発掘担当者）
			同	主任 越田雅司（発掘担当者）
		文化財保護主事		宗像公司（発掘担当者）
		文化財保護主事		坂本尚史
		文化財保護主事		鈴木宏行
平成10年度			同	文化財保護主事 直江康雄
	第 1 調査部	第 3 調査課	課長	長沼 孝（発掘担当者）
			同	主任 越田雅司（発掘担当者）
		文化財保護主事		宗像公司（発掘担当者）

1 調査の概要

	同	文化財保護主事	坂本尚史
	同	文化財保護主事	鈴木宏行
	同	文化財保護主事	直江康雄
平成11年度	第1調査部第3調査課	課長	長沼 孝
	同	主任	越田雅司
	同	主任	鈴木宏行
	同	文化財保護主事	坂本尚史
	同	文化財保護主事	佐藤 剛
	同	文化財保護主事	直江康雄
	同	文化財保護主事	福井淳一
平成12年度	第1調査部第3調査課	課長	長沼 孝
	同	主任	越田雅司
	同	主任	鈴木宏行
	同	文化財保護主事	直江康雄
平成13年度	第1調査部第3調査課	課長	長沼 孝
	同	主任	鈴木宏行
	同	文化財保護主事	直江康雄

(3) 調査日誌抄

平成9年度

5月6日(火)	調査員白滝入り。		始、P11・N23区遺物出土。
7日(水)	現場開始準備・環境整備ほか。	13日(土)	包含層調査。遠軽町こども探検隊20名遺跡見学。
8日(木)	現場開所式、みぞれのため現場作業はできず。	19日(金)	雨天のため遺物水洗。
(奥白滝1遺跡・上白滝8遺跡・上白滝2遺跡・上白滝7遺跡の調査)		22日(月)	包含層調査。Nライン以南、33ライン以東25%調査開始。
9月2日(火)	上白滝2遺跡の調査済部分に侵入路・駐車場を造成。	24日(水)	包含層調査、25%調査、排土移動。岩宿文化資料館松沢亜生氏石器製作実演、HBC映画社実演ほか撮影。
3日(水)	上白滝2遺跡に接する部分、遺跡の南西隅10発掘区程度を重機により調査、遺物出土せず。遺跡侵入路確保。	25日(木)	包含層調査、25%調査、Nライン以北、20ライン以西表土除去(重機)、NHK北見支局石器製作取材。
4日(木)	表土除去開始。国立歴史民俗博物館西本豊弘、名古屋大学新美倫子氏来訪。	26日(金)	包含層調査、25%調査、N43区尖頭器・彫器・舟底形石器出土。北海道大学地球環境科学研究科平川一臣・中村有吾・石川守氏地形・地質調査(9月28日まで)。
5日(金)	表土除去・杭打ちN～Sライン、7～20ラインについて終了。	30日(火)	Nライン以北、10ライン以東25%調査開始。
6日(土)	25%調査開始。	10月2日(木)	25%調査、包含層調査、N43区舟底形石器・小型舟底形石器・尖頭器・搔器出土。
8日(月)	25%調査、P11区尖頭器出土。駐車場など火山灰入れ完了。	3日(金)	包含層調査、N43・O43・O45区彫器、
9日(火)	25%調査。Nライン以南、31ライン以西表土除去・杭打ち終了。		
10日(水)	25%調査終了、Q～Tライン、14～21ライン部分は遺物がほとんど出土しないため重機調査とする。包含層調査開		

- R43区石核出土。
- 4日(土) 包含層調査、R43区石刃核2点、舟底形石器2点出土。
- 6日(月) 包含層調査、R43区彫器・舟底形石器・搔器出土。
- 7日(火) 包含層調査、R43区舟底形石器・彫器出土。東京大学佐藤宏之・熊木俊朗氏来訪。
- 9日(木) 積雪により現場作業中止。
- 13日(月) 包含層調査、R43区舟底形石器・搔器・尖頭器・石刃核出土。
- 14日(火) 包含層調査、N44区搔器出土。
- 15日(水) 包含層調査、M44区尖頭器、O44区石刃核出土。
- 16日(木) 包含層調査、O44区尖頭器、Q44区尖頭器・舟底形石器、Q45区尖頭器出土。
- 17日(金) 包含層調査、Q45区大型尖頭器、R44区彫器出土。
- 18日(土) 包含層調査、Q45区小型舟底形石器出土。調査終了(3,728㎡)。
- 調査面積3,728㎡、点取り遺物データ5,790件。
- 20日(月) ~23日(木) 遺物水洗、発掘器材整備ほか。
- 24日(金) 調査員引き上げ。

平成10年度

- 5月6日(水) 調査員白滝入り。
- 7日(木) ~9日(土) 現場開始準備、環境整備ほか。
- 8日(金) ~12日(火) 北海道大学地球環境科学研究科 平川一臣・中村有吾氏地質・地形調査。
- 9日(土) 重機による表土除去。
- 11日(月) 現場開所式、雇用・作業内容など説明ほか。
- 12日(火) 25%調査開始、J50区石刃鏃・削器、L42区頁岩彫器、L46区舟底形石器出土。
- 14日(木) 25%調査、J50区石刃鏃、L24区石核・尖頭器、L42区石刃核、L44区石核出土。
- 15日(金) 25%調査、J44区彫器、L22区尖頭器、L42区彫器出土。
- 16日(土) 25%調査、N42区石核。
- 18日(月) 25%調査、包含層調査開始。J20区斧形石器剥片、L42区彫器・小型舟底形石器、N42区彫器、O42区斧形石器出土。
- 19日(火) 25%調査、包含層調査、J46区石刃核、O42区搔器・彫器・小型舟底形石器出土。
- 20日(水) 25%調査、包含層調査、L42区舟底形石器・彫器・搔器、O42区彫器出土。
- 21日(木) 25%調査、包含層調査、N42区小型舟底形石器・彫器出土。
- 22日(金) 25%調査、包含層調査、L22区尖頭器、O42区搔器出土。
- 23日(土) 25%調査、包含層調査、L42区舟底形石器出土。
- 6月2日(火) 包含層調査。N42区彫器出土。
- 3日(水) 包含層調査、J21区尖頭器、L24区尖頭器出土。
- 9日(火) 包含層調査、J23区石刃核・尖頭器、N42区彫器・石刃核出土。
- 10日(水) 包含層調査、J23区尖頭器、K42区尖頭器、L22区尖頭器、N42区彫器・舟底形石器出土。
- 17日(水) 包含層調査、N42区小型舟底形石器・彫器出土。
- 18日(木) 包含層調査、J21区搔器、J23区尖頭器、J45区石核、K24区石刃核、N42区彫器、R42区舟底形石器出土。
- 19日(金) 包含層調査、J45区石核、N42区小型舟底形石器、R42区搔器・舟底形石器出土。
- (服部台2、奥白滝1、上白滝6遺跡調査など)
- 9月8日(火) 調査再開、包含層調査。K22区石刃核・尖頭器、K44区尖頭器、N42区小型舟底形石器出土。愛媛県埋蔵文化財センター寺嶋信三氏来訪。
- 9日(水) 包含層調査、J45区彫器、J47区舟底形石器、N42区彫器出土。
- 10日(木) 包含層調査、K22・M24区尖頭器出土。
- 11日(金) N42区小型舟底形石器、頁岩彫器出

1 調査の概要

	土。	8日(木)	包含層調査、L43区小型舟底形石器、L45区石核、M23区石刃核、M42区削器、N42区彫器・尖頭器出土。
12日(土)	包含層調査、1,856㎡終了。	9日(金)	包含層調査、K50区削器、M23区石核、M42区小型舟底形石器・削器・搔器・石核出土。F-1から石核出土。
17日(木)	雨天中止。新潟県教育委員会澤田敦氏来訪。	12日(月)	包含層調査、M42区頁岩彫器、F-2確認。
19日(土)	発掘区水汲み、道路修復など。	13日(火)	包含層調査、M43区搔器、F-1・2調査中。
21日(月)	包含層調査、K45区石刃核・舟底形石器、K46区舟底形石器・彫器出土。	14日(水)	包含層調査、O42区石核・彫器3点、F-1・2調査終了。北海道大学地球環境科学研究科 平川一臣・中村有吾氏地質・地形調査(10月15日まで)。
24日(木)	包含層調査、K43区搔器、N42区舟底形石器、R42区舟底形石器出土。鹿児島黎明館牛ノ浜修氏、高岡市教育委員会山口辰一氏来訪。	15日(木)	包含層調査終了。N42区小型舟底形石器、O42区尖頭器出土。
25日(金)	包含層調査、K23区尖頭器、K43区小型舟底形石器・彫器・削器、K45区石核、M44区尖頭器・搔器・削器出土。N・O42区赤色土F-1確認。	16日(金)	F-1深堀り、現地調査すべて終了。調査面積4,132㎡、点取り遺物データ16,687件。
26日(土)	包含層調査、F-1調査中。	15日(木)	~20日(火) 遺物水洗、発掘器材整理ほか。
28日(月)	包含層調査、K45区尖頭器、L23区石刃核、M45区彫器、R42区搔器、F-1調査中。調査一時中断。	21日(水)	事務所設備、物品など撤去ほか。
10月7日(水)	包含層調査再開。L43区石核・彫器、M45区舟底形石器・彫器・搔器・石刃核、M23区尖頭器出土。F-1調査中。	22日(木)	調査員引き上げ。

(4) 発掘区の設定

発掘区はアルファベットの大文字と数字の組み合わせで表示し、規格は4×4mとした。上白滝5遺跡は路線変更が行われなかった部分であるが、上白滝2遺跡に連続して発掘区を設定した関係で、発掘区設定基準の工事測点距離は、上白滝2遺跡からの連続距離を使用した。設定の基準は、工事測点のSP61,580とSP61,600を基準点とし、その2点を通る直線を南北方向の基線とし、東西方向は、基準点を通り、南北方向の基線に直交する直線とした。

ラインの設定は、南北方向をアルファベットの大文字とし、基線をMに設定後、南側にN、O、P、Q、・・・、北側は逆にL、K、J、I・・・とした。東西方向は数字で、SP61,600を通る基線を15とし、東側に16、17、18、19・・・と進行し、SP61,700では40、西側は逆に14、13、12、11・・・とした。調査区域は、アルファベットでは、J~U、数字では3~57の範囲で、基準点の測量成果は下記のとおりである。

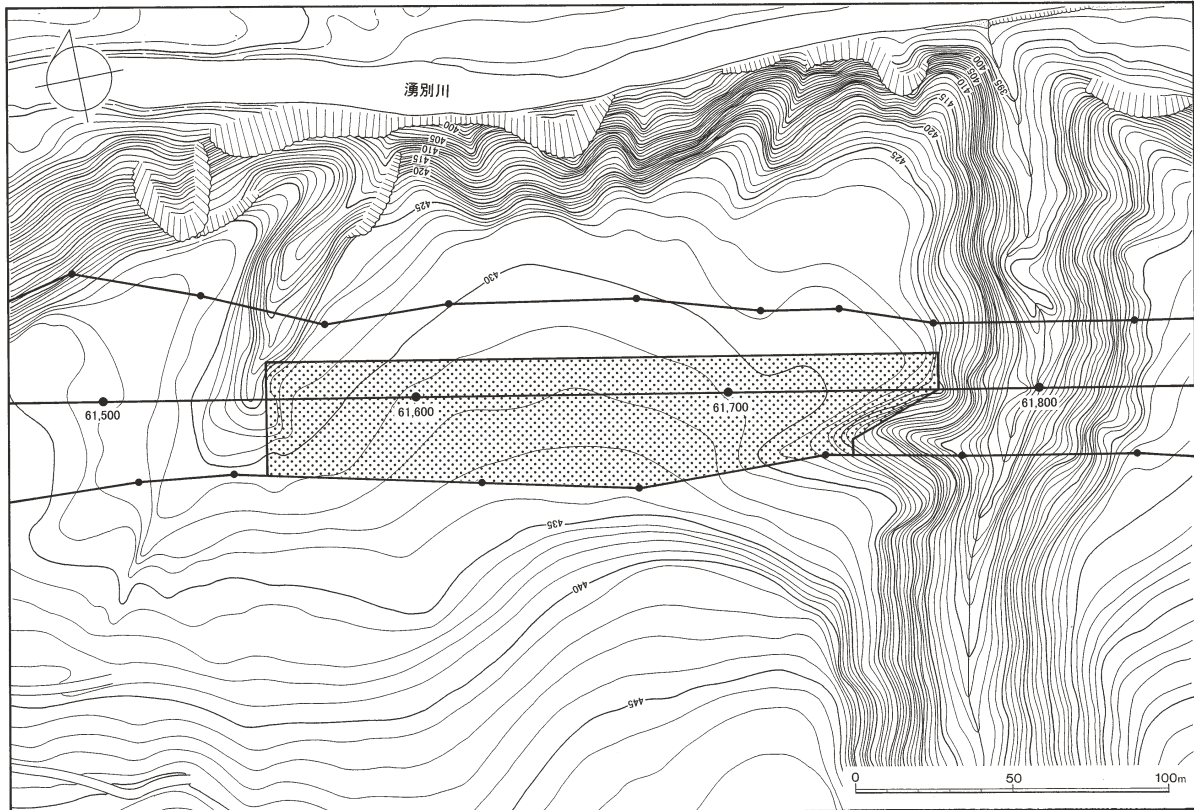
SP61,580 (M10) X = -14069.876 Y = 71977.711

SP61,600 (M15) X = -14073.664 Y = 71997.349

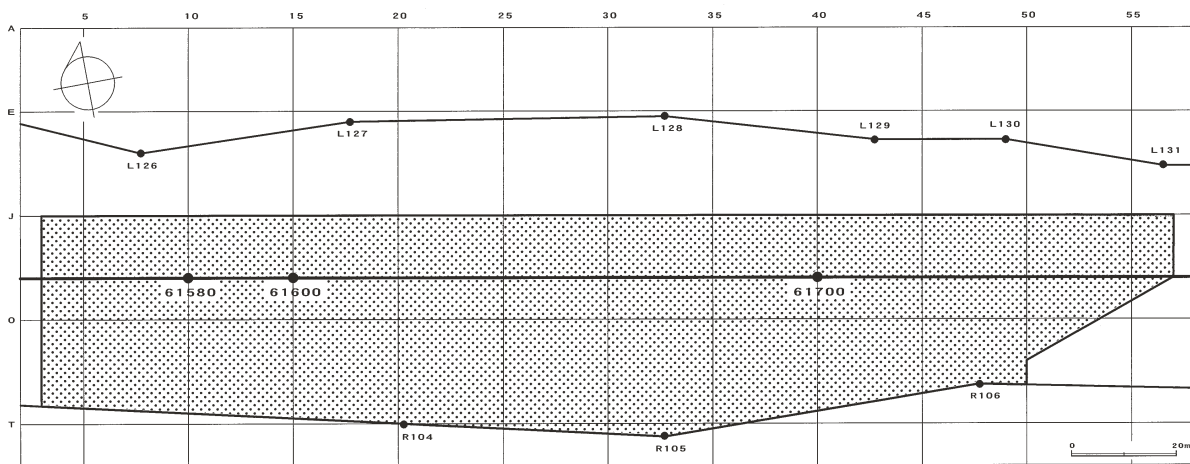
(平面直角座標系 第 系)

発掘区の呼称は、4m四方区画の北西隅のラインの交点で示した。例えば、Jラインと21ラインの交点の南東側がJ21区ということになる。また、発掘区の方法は、公共座標の北方向に対して東側に10°56'01"傾いている。

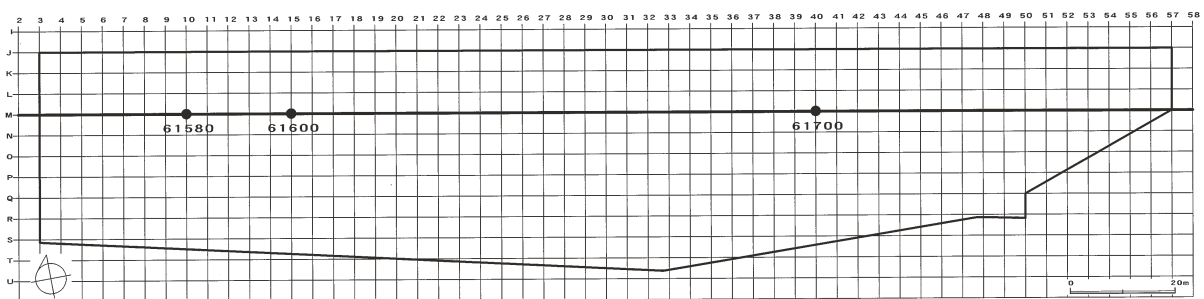
(鈴木宏行)



調査範囲・周辺の地形図



発掘区設定図(1)



発掘区設定図(2)

図 - 1 調査範囲・発掘区設定図

(5) 土層

上白滝5遺跡における土層は 章で記載した基本土層と同様で、層(表土、耕作土) a層(褐色粘質土) b層(灰白色~青灰白色粘質土) c層(Sit1を含む赤褐色~灰褐色砂質土)層(赤褐色~褐色砂質土)の順である。遺跡の地形は全体的には北に向かって緩やかに傾斜し、さらに東西の沢に向かって傾斜している。堆積状況は全体的に均質である。a・層は遺跡の全域で攪乱部を除いて良好に堆積し、b層はそれらに挟まるようにほぼ全域にみられる。小さな沢を挟んで西側に隣接する上白滝2遺跡でも同様な堆積状況が確認されており(鈴木ほか 2001) 非常にしまりの強い層によって a層の下部が還元され b層に変化したと考えられる。調査区の南東隅には沢があり、堆積状況が異なる。また、43ライン周辺には他では見られない灰白色砂質土が楕円形に落ち込んでみられ(図版293-4) 特に赤色土であるF-1・2との関連が強い。層以下はM10区付近では層から10cm程度で段丘礫層に到達するが、F-1周辺では層が厚くさらにその下位に赤褐色粘質土が厚く堆積している。以下各ライン毎に記述する。

10ライン(図 - 2・3、図版292-1)

北に向かってほぼ一定の傾斜でなだらかに下っている。a層はPライン以北では厚さ30cm程度の安定した堆積であるが、Pライン以南では徐々に薄くなりSライン付近では15cm程度で、それに伴い b層が安定して見られるようになる。Mラインでは層が20cmと薄く、その下位には20cm程度の灰褐色粘土を挟んで段丘礫層に到達する。

24ライン(図 - 2・3)

10ライン同様北に向かってなだらかに傾斜している。木根により攪乱を受けている場所が多いが、全体的には a・ b・層、特に b層が広く分布し、10ライン同様高位である南方向に行くに従い a層は薄くなる。

43ライン(図 - 2・4、図版292-3・4)

PQラインを頂点に北側は非常に緩やかに、南側はRラインの沢に向かって急激に傾斜している。Pライン以北では a・ b・層が安定して堆積している。特にL~Oラインにかけて灰白色砂質土が落ち込み状に分布している(図版293-4)。赤色土F-1・2はこの層の中に含まれ、珪藻・粒度分析でもこれらの層の起源は同一で上下の a・層とは異なる白滝層の再堆積物であるという結果が出ており(章2) 赤色土と灰白色砂質土は非常に強い関連がある。

Nライン(図 - 2・4・5、図版292-2)

Nラインは遺跡を東西に横切るセクションである。東西両端では傾斜があるが22~30ラインにかけてはほとんど平坦である。12ライン以西では a層が厚く堆積し、それより東側では均質で a・ b・層が安定した堆積状況を示している。43ライン付近では白滝層の再堆積物である灰白色砂質土の堆積が見られる。(鈴木宏行)

(6) 調査の方法

調査区域は山林だが、試掘調査時に立木は伐採され、熊笹が一面に生い茂った状態であった。そのため、まず重機で注意深く熊笹の根を除去することから調査を開始し、測量、杭打ち後に発掘区単位で行った。また、調査区内で排土の捨て場を確保するため区域を区切って調査を進めた。

平成9年度は調査予定範囲のうち20ラインの西側地区及びNライン以南地区の調査を行った。まずNライン以南で20ライン以西地区の25%調査を行い、遺物の出土したP11区周辺の包含層調査を行い、

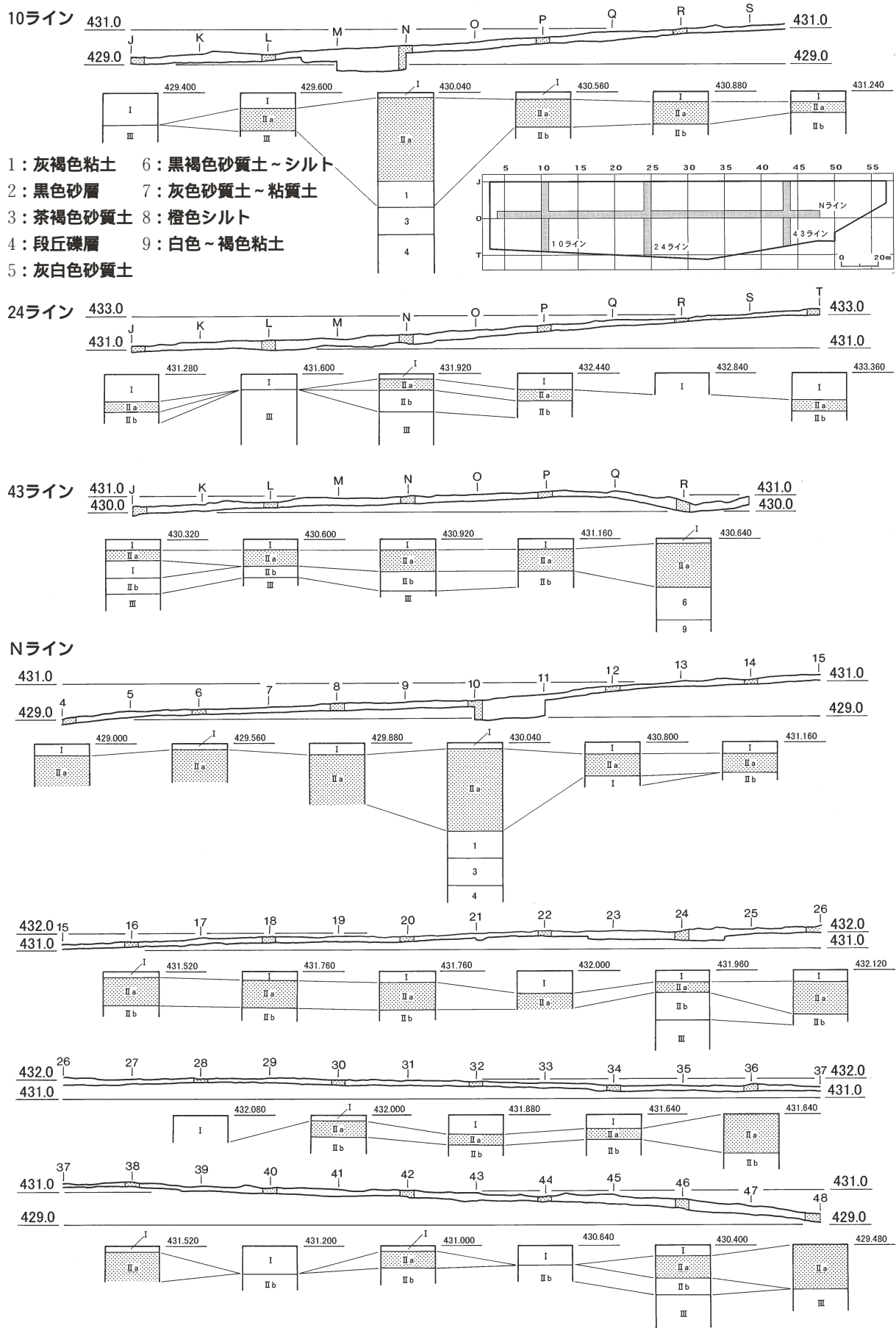
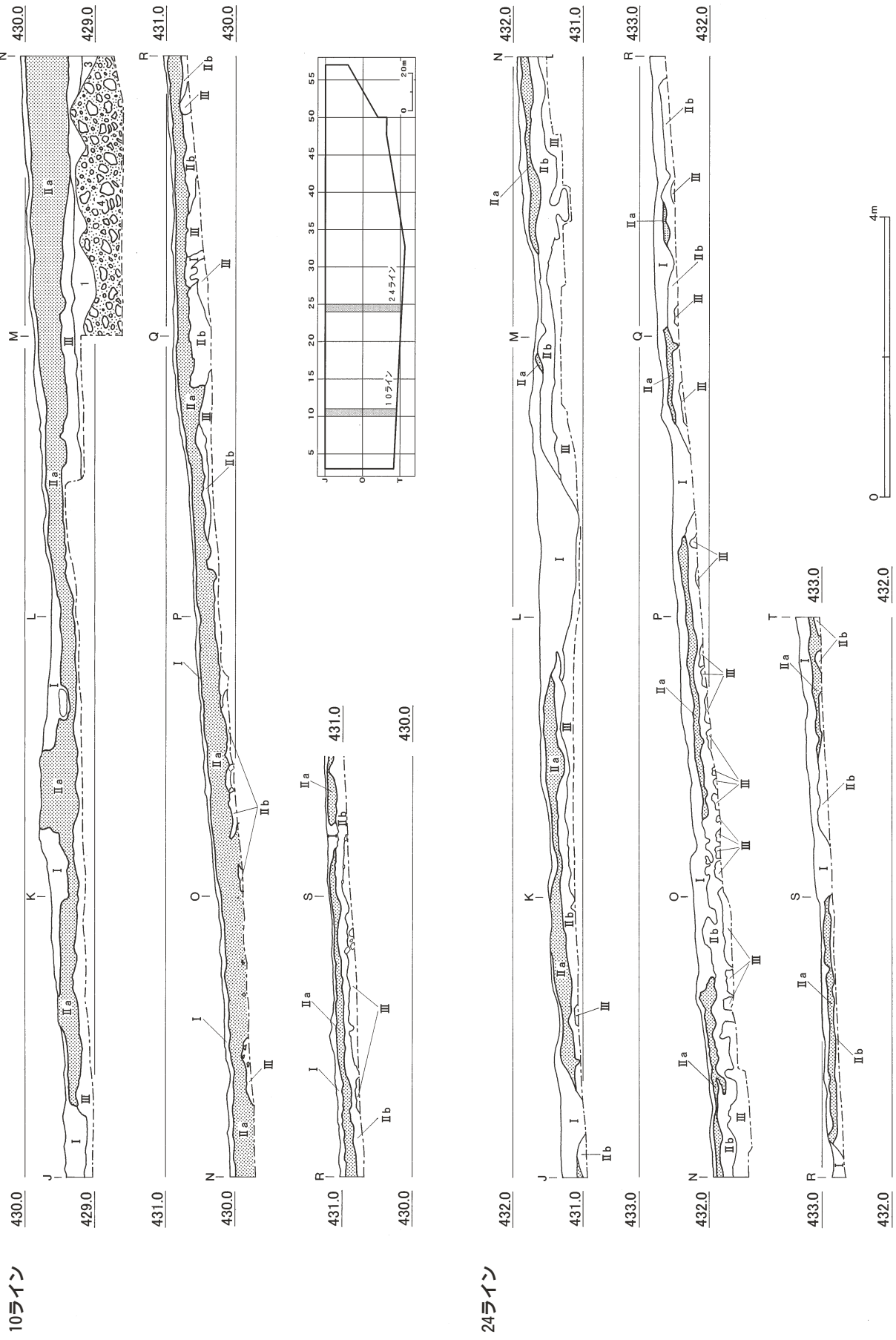


図 - 2 土層概略図



10ライン

24ライン

図 - 3 土層断面図 (1)

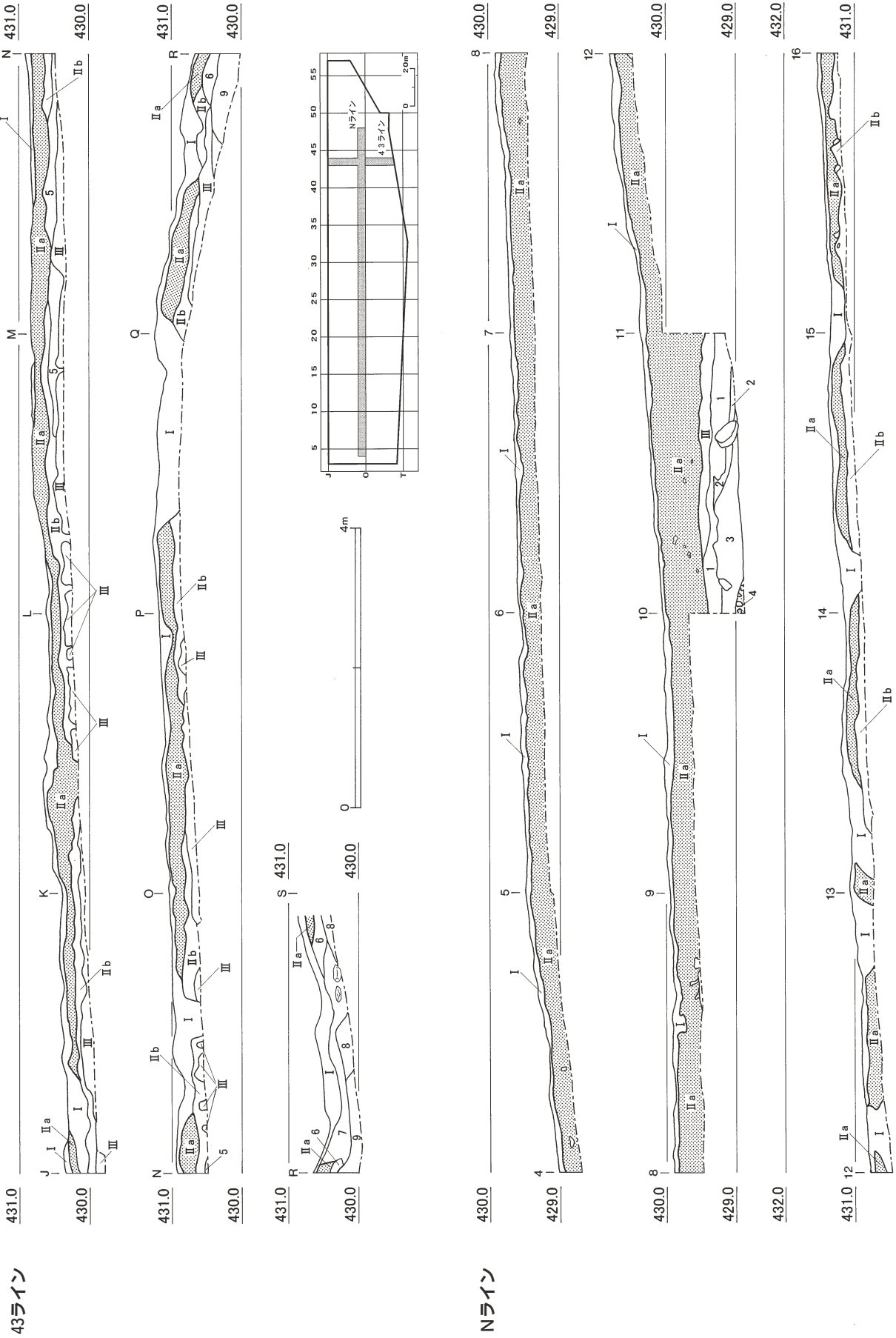


図 - 4 土層断面図 (2)

平行して20ライン以東地区の表土除去・杭打ち・25%調査を行った。Nライン以南の25%調査終了後、Nライン以北・20ライン以西地区の25%調査、包含層調査を進めた。O～S14～21区及びO～T26～36区については25%調査で遺物が出土しなかったため平成10年度に繰り越した。また、7ラインの南西部については重機調査を行った。結果として通常の調査を行ったのは3,568㎡、残りの10発掘区、160㎡は重機による調査である。

平成10年度は20ライン以東・Nライン以北地区及び平成9年度に繰り越した地区の調査を行った。まず、Nライン以北地区の25%調査を行い、平行して平成9年度調査区であるOPライン及びN～S42区の包含層調査を行った。前者については遺物の出土したグリッドの周辺地区であるJ～M20～26区、J～M40～54区で人力による調査を、その他の地区については重機調査を行った。後者についてはOPラインで遺物が出土しなかったためQライン以南で重機調査を行った。また、N～S42区については特にN42区において彫器・彫器削片・小型舟底形石器の出土が顕著に見られたため、微細な遺物を回収する目的で他の地区に比べてより注意深く調査を進めた。また、47ラインより南東側は急な崖面で、すでに一部が崩落した状況であったため調査は不可能であった。結果として通常の調査を行ったのは100発掘区、1,600㎡、残りの2,532㎡は重機による調査である。

平成10年度には赤色土(F-1・2)が検出されたが、それらは灰白色砂質土にパックされる状態であった。この灰白色砂質土の由来・当時の植生・赤色土の性格を検討するために土壌のサンプリングを行い(図版295-8)粒度・珪藻・花粉・植物珪酸体分析を行った。その結果については章2に掲載した。また、堆積状態を確認するために重機によるトレンチ調査(図版294-3)を行った。

遺物の取り上げは、他の遺跡と同様に、層については発掘区単位で一括して取り上げ、層については出土位置を可能な限り記録した。しかし、層の遺物でも指先より小さいものについては発掘区単位で一括して取り上げた。出土位置の記録はトータル・ステーションを使用し、さらに遺構・遺物データシステム(シン技術コンサル)にデータを蓄積すると同時に毎日遺物一覧表とドットマップ(分布図)を作成し、データのチェックと遺物の分布状況を把握しながら調査を進めた。2年間での現場終了時点の上白滝5遺跡のデータ数は22,477件である。(鈴木宏行)

(7) 整理の方法

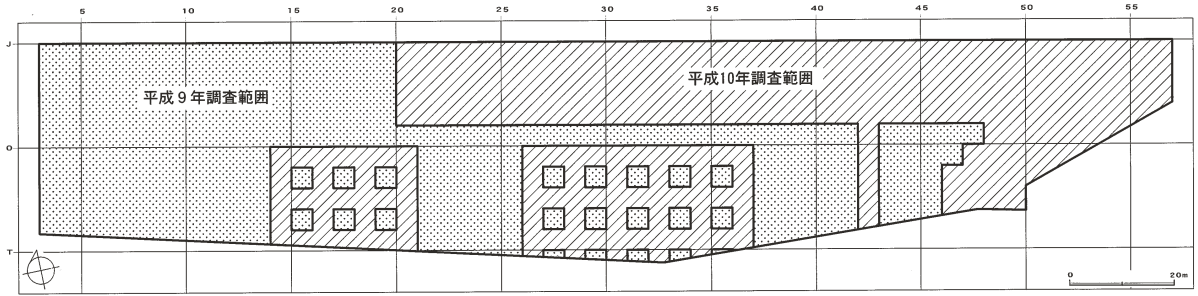
遺物の水洗作業は、基本的に現地で行った。その後、札幌の整理作業所に運び、注記などの整理作業を開始した。

遺物の整理作業は、他の遺跡と同様に点取り遺物と一括遺物に分けて進めた。点取り遺物は注記後に、器種分類、重量計測、石質、残存状況、打点・自然面・被熱の有無など一次の属性観察を行い、次に接合・実測などの二次整理作業を進めた。遺物の注記は、道教委の登録番号、発掘区、遺物番号の順としたので、上白滝5遺跡、J21区出土、遺物番号123の石器の場合は「88J21・123」となる。また、一括遺物は、定形的なものや点取り遺物と接合したものを抽出し、台帳を作成した。したがって、その注記は、点取り遺物と区別するため、発掘区と台帳の整理番号の間に層位を記入した。例えば、J21区、層出土、台帳番号5の石器は、「88J21・5」となる。

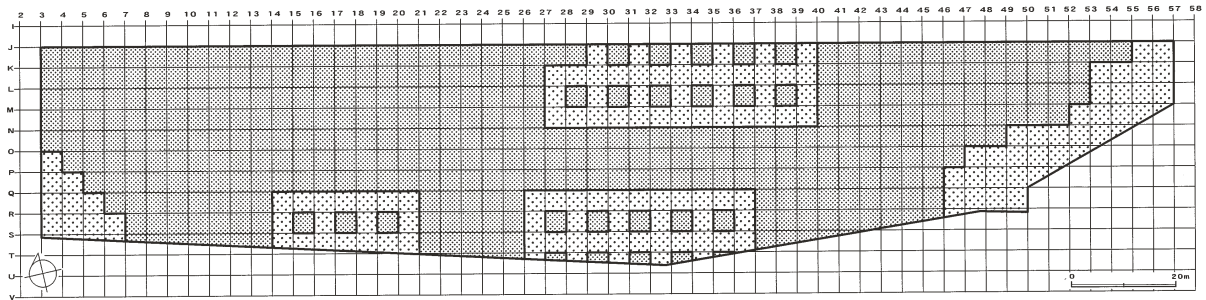
現場で取り上げた点取り遺物は、22,477点であったが、水洗後に精査し、地山に含まれている自然礫や黒曜石の原石を除いた結果、点取り遺物は最終的に22,441点となった。

遺物の接合作業は、石質、発掘区、石器ブロック、石器群そして全体の順で進めた。最終的に折れ面接合871例に50001～51883(うち欠番12例)、剥離面接合721例に接合1～751(うち欠番30例)の番号を付した。さらにそれらを母岩分類したが、その対象になっているのは接合資料・接合資料と同一

1 調査の概要

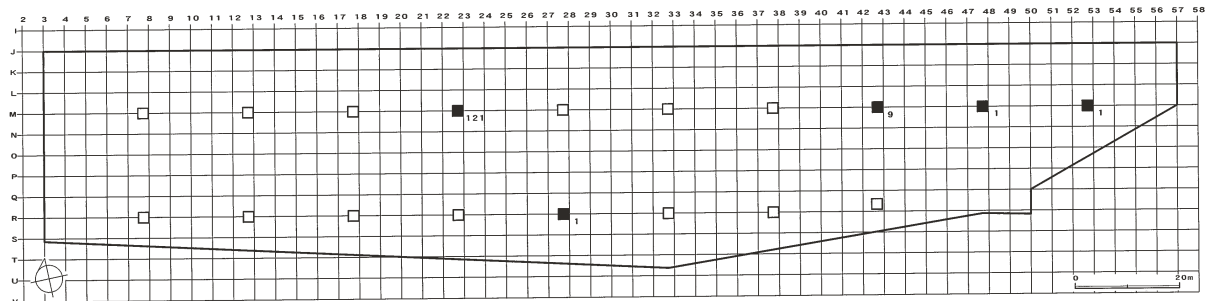


年度別調査範囲図

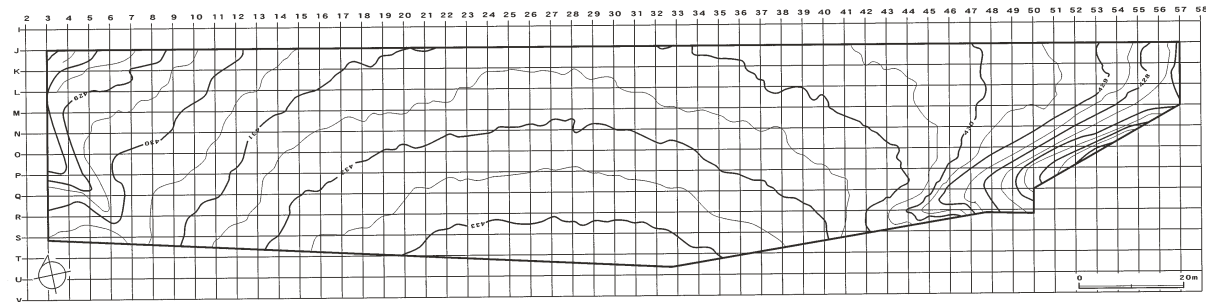


人力調査範囲
 重機調査範囲

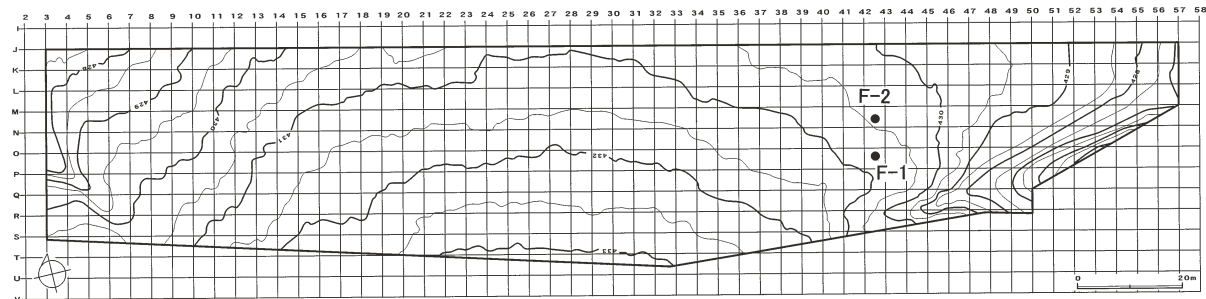
人力及び重機調査範囲図



試掘調査位置図(数字は出土点数)



表土除去後の地形図



調査終了後の地形及び赤色土分布位置図

図 - 6 調査範囲・調査区域地形図

と考えられる非接合剥片・単品石器である。つまり、接合資料を基に母岩分類を行ったため、母岩判別が困難であった接合資料、接合資料に対応する母岩のない剥片、単体で搬入された石器類が母岩別資料から漏れている。逆に母岩識別が可能にも関わらず母岩別資料に分類されなかった石器類は単体で搬入された可能性が高い。このような手順で母岩に分類できたもの214個体を母岩別資料とした（母岩別資料1～216、欠番2個体）。接合に関わる点数は4,699点（折れ面接合のみ678点、剥離面接合4,021点）で、点取り遺物の総数22,441点に対しては20.9%、点取り及び一括遺物の総数86,034点に対しては5.5%の接合率である。また、214個体の母岩別資料の点数は15,307点で、点取り遺物の総数22,441点に対しては68.2%、点取り及び一括遺物の総数86,034点に対しては17.8%の母岩抽出率である。

本報告では、石器群ごとに出土石器、分布・接合、接合資料の順で、実測図、分布図などを示した（第2分冊 図 - 16～153）。最終的に実測図を掲載した石器類は336個体、423点、接合資料は67個体（模式図・写真のみを掲載した接合資料は24個体）分布・接合図などを示した石器ブロックは12か所である。石器類の掲載割合は、点取り及び一括遺物の総数86,034点から剥片84,760点を引いた石器類1,274点に対して33.2%である。（鈴木宏行）

（8）調査結果の概要

上白滝 5 遺跡では、遺構は2か所の赤色土ブロック（F - 1・2）と1か所の炭化木片ブロック（Cb - 1）が確認され、F - 1はSb - 8に、F - 2・Cb - 1はSb - 6に伴って検出された。遺物は全て石器類で遺物の総数は86,034点、重量は166,009.4gである。そのうち点取り遺物は22,441点、一括ほか遺物は63,593点で、詳細は表 - 1に掲載している。

出土した遺物は、ほとんどが旧石器時代のものであるが、Sb - 2出土の剥片の水和層年代は8,000年前程度であり、表面にも光沢があることから縄文時代に帰属する可能性が高い。また、Sb - 12は石刃鎌が出土しており、縄文時代早期のものと考えられる。

前述したとおり本遺跡は土層が安定して堆積し、遺物も良好な状態で出土している。石器類は平面分布や接合状況から12の石器ブロック（Sb - 1～12）に分けることができ、さらに、それは大きくSb - 1、2、3、4、5、6～11、12の七つの石器群に分けることができる。

Sb - 1は、尖頭器調整剥片のみの出土で尖頭器製作が行われたと考えられる。Sb - 5と同一石器群の可能性はある。

Sb - 2は、ほぼ一個体の尖頭器の調整剥片で構成されるブロックである。表面状態と水和層年代から縄文時代の石器群と考えられる。

Sb - 3は、大型の石刃を含む石器群で上白滝 2 遺跡（鈴木ほか 2001）のSb - 3～6・10の石器群の石刃技法に類似する。

Sb - 4は、角礫素材の大型の尖頭器調整剥片が多く尖頭器製作が行われたと考えられる。Sb - 5と石材組成が類似するが明らかな石刃関連遺物は無く、その関係は不明である。

Sb - 5は、大型の石刃と尖頭器を含む石器群である。尖頭器は石核素材のものと剥片素材のものがあり、剥片素材のものは原石を分割したような大型の剥片素材・主に尖頭器の素材を剥離している小型の剥片素材・石刃剥離の際に剥離された剥片素材の三つに分けられる。石刃技法は打面調整を頻繁に行いながら石刃を剥離するものである。

Sb - 6～11は、薄手の尖頭器、小型の舟底形石器を含む石器群である。上白滝 2 遺跡のSb - 11・12、13の石器群と類似するが剥片剥離技術に差が見られる。また、接合状況からSb - 6・7、Sb -

1 調査の概要

表 - 1 上白滝5遺跡出土遺物点数・重量一覧 重量の単位は(g)

種類	尖頭器		彫器		彫器削片		搔器		削器		錐形石器		小型舟底		舟底形石鏃(全体)		舟底削片		二次加工ある剥片		細石刃		
	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	
点取り	70	3587.3	69	488.7	36	6.1	30	436.0	46	806.1	2	3.9	17	32.9	67	1356.1			34	1037.5			
一括	2	42.6	3	8.1	1	0.2	9	352.5	2	41.3					2	43.6			4	80.5			
	4	4.7	1	0.5	333	43.5	1	1.8					4	2.4	5	2.9	6	0.6	1	0.6			
排土その他																							
B調	1	426.8																				2	0.3
小計	7	474.1	4	8.6	334	43.7	10	354.3	2	41.3			4	2.4	7	46.5	6	0.6	5	81.1	2	0.3	
合計	77	4061.4	73	497.3	370	49.8	40	790.3	48	847.4	2	3.9	21	35.3	74	1402.6	6	0.6	39	1118.6	2	0.3	

種類	石刃		縦長剥片		石刃核		石核		剥片		原石		斧形石器		礫石器等		石刃鏃		合計	
	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
点取り	255	3953.1	190	2506.1	14	5629.9	24	8945.1	21591	109938.5	7	822.6	2	498.3	1	2.5	3	3.5	22441	140021.3
一括	19	413.6	13	232.1	2	55.9	5	1158.9	3121	7985.2									3183	10414.5
	5	3.7	2	0.8					5967	10604.5									60005	10663.6
排土その他					1	1692.1			180	621.7									181	2313.8
B調									221	2169.1									224	2596.2
小計	24	417.3	15	232.9	3	1748.0	5	1158.9	63169	21380.5									63593	25988.1
合計	279	4370.4	205	2739.0	17	7377.9	29	10104.0	84760	131319.0	7	822.6	2	498.3	1	2.5	3	3.5	86034	166009.4

表 - 2 上白滝5遺跡出土遺物石質別一覧 重量の単位は(g)

種類	石質	尖頭器		彫器		彫器削片		搔器		削器		錐形石器		小型舟底		舟底形石鏃(全体)		舟底削片		二次加工ある剥片		細石刃	
		点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
点取り	黒曜石	70	3587.3	57	444.7	35	6.0	29	413.3	44	788.2	1	3.2	17	32.9	67	1356.1			34	1037.5		
	安山岩																						
	頁岩			11	42.7	1	0.1	1	22.7	1	5.9												
	めのう			1	1.3					1	12.0												
	砂岩																						
	緑色泥岩											1	0.7										
	片岩																						
小計	70	3587.3	69	488.7	36	6.1	30	436.0	46	806.1	2	3.9	17	32.9	67	1356.1			34	1037.5			
一括	黒曜石	7	474.1	3	4.8	326	42.9	10	354.3	2	41.3			4	2.4	7	46.5	6	0.6	5	81.1	2	0.3
	安山岩																						
	頁岩					7	0.7																
	めのう			1	3.8	1	0.1																
	小計	7	474.1	4	8.6	334	43.7	10	354.3	2	41.3			4	2.4	7	46.5	6	0.6	5	81.1	2	0.3
合計	77	4061.4	73	497.3	370	49.8	40	790.3	48	847.4	2	3.9	21	35.3	74	1402.6	6	0.6	39	1118.6	2	0.3	

種類	石質	石刃		縦長剥片		石刃核		石核		剥片		原石		斧形石器		礫石器等		石刃鏃		合計	
		点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
点取り	黒曜石	253	3949.5	185	2477.6	14	5629.9	24	8945.1	21573	109878.4	7	822.6					3	3.5	22396	139342.9
	安山岩									2	5.8			2	498.3					4	504.1
	頁岩	2	3.6	5	28.5					15	37.9									36	141.4
	めのう																			2	13.3
	砂岩															1	2.5			1	2.5
	緑色泥岩																			1	0.7
	片岩									1	16.4									1	16.4
小計	255	3953.1	190	2506.1	14	5629.9	24	8945.1	21591	109938.5	7	822.6	2	498.3	1	2.5	3	3.5	22441	140021.3	
一括	黒曜石	24	417.3	15	232.9	3	1748.0	5	1158.9	63159	21378.9									63574	25981.9
	安山岩									1	0.1									1	0.1
	頁岩									9	1.5									16	2.2
	めのう																			2	3.9
	小計	24	417.3	15	232.9	3	1748.0	5	1158.9	63169	21380.5									63593	25988.1
合計	279	4370.4	205	2739.0	17	7377.9	29	10104.0	84760	131319.0	7	822.6	2	498.3	1	2.5	3	3.5	86034	166009.4	

8～10、Sb - 11に分けられるが今回はツールに差が見られないので同一の石器群とみなし報告している。本石器群にはSb - 6・7にはF - 2・Cb - 1がSb - 8～10にはF - 1が、また、それぞれの周辺には彫器・小型舟底形石器が伴い、構造的な類似が認められる。Sb - 6に重複するCb - 1の炭化木片のAMS法年代測定では、 $18,520 \pm 150\text{yBP}$ 、 $18,860 \pm 140\text{yBP}$ という数値が得られている。

Sb - 12は、石刃鏃を含む石器群で出土点数12点と非常に少ないながら石刃鏃2点、削器4点とツールの割合が高く、それらは全て白滝以外の黒曜石が利用されている。Sb - 9でも1点石刃鏃が出土しており、同一の石器群とみなした。(鈴木宏行)

2 遺構と遺物

確認された遺構は焼土の可能性のある赤色土2か所と炭化木片ブロック1か所である。

確認された遺物はすべて石器類であり、分布状況、石器組成、接合状況から大きくSb - 1、2、3、4、5、6～11、12の石器群に分類した。その内、Sb - 1、4に関してはSb - 5と関連する可能性があるが、遺物量が少なく他のブロックとの接合関係も見られないことからそれぞれ単独で報告することとする。遺物の記述は石器群毎にブロック1、2、3、4、5、6～11、12の順に行う。石材に関する記述は特徴的な黒曜石と黒曜石以外のものについて行う。

(1) 赤色土

赤色土は遺跡群を通じて初めて検出された。色は特徴的で非常に赤く、焼土の可能性が高いが、炭化木片はほとんど含まれず、また、被熱石器の分布(図 - 15)とも一致しないため焼土と結論づけていない。それらは南から続く緩斜面が北東に向かって張り出す平坦面の付け根に位置している。

F - 1(図 - 6・7、図版 - 293・294)

N042区、Sb - 8の集中部の南西部に隣接し、 $150 \times 50\text{cm}$ の帯状の範囲、15cmの厚さである。最初(1)(2)が確認されたが、さらに調査を進めるとその下位で南西部に潜るように(3)が、いずれも遺物出土の最下位レベルで確認された。断面図を見るとc層上面が南西部で波打ち、c層上面も同様である。N・43ラインセクションに見られるc層の上層である灰白色砂質土の上面は平坦であることから、c層上面の窪みに灰白色砂質土が埋まった後にF - 1が窪み状に形成されたと考えられる。遺物は北東側の縁辺に密集して分布し、また、後述するがそれらは彫器・彫器削片・小型舟底形石器・舟底形石器調整剥片を多く含み、特にそれらはその場に素材で持ち込まれ、加工・使用されるという場の特徴的な構造を有している。

F - 2(図 - 6・8、図版 - 295)

M42区、Sb - 6のうちM42区の集中部の西側に隣接し、(1)～(5)の5か所で検出された。それらはF - 1に比べ小規模なものが多く、最大の(1)で $30 \times 10\text{cm}$ 、最小の(2)では $6 \times 3\text{cm}$ 程度のブロック状のものであった。ただし、(2)は唯一炭化木片ブロックであるCb - 1と隣接している。堆積状況はF - 1同様でc層の落ち込んだ場所に灰白色砂質土が堆積し、その中にF - 2が含まれている。遺物の出土状況も同様で、遺物の集中部の最下層でF - 2は検出され、集中部の縁辺でF - 2に落ち込むように分布している。また、それらの遺物の内容も彫器・彫器削片・小型舟底形石器が多く、しかも、素材または製品で持ち込まれている。灰白色砂質土中に確認され、F - 1と同様な構造を有している。灰白色粘土の由来を調べるために分析を行ったが上下のa・層とは異なる白滝層の再堆積物であるという結果が出ている。(鈴木宏行)

2 遺構と遺物

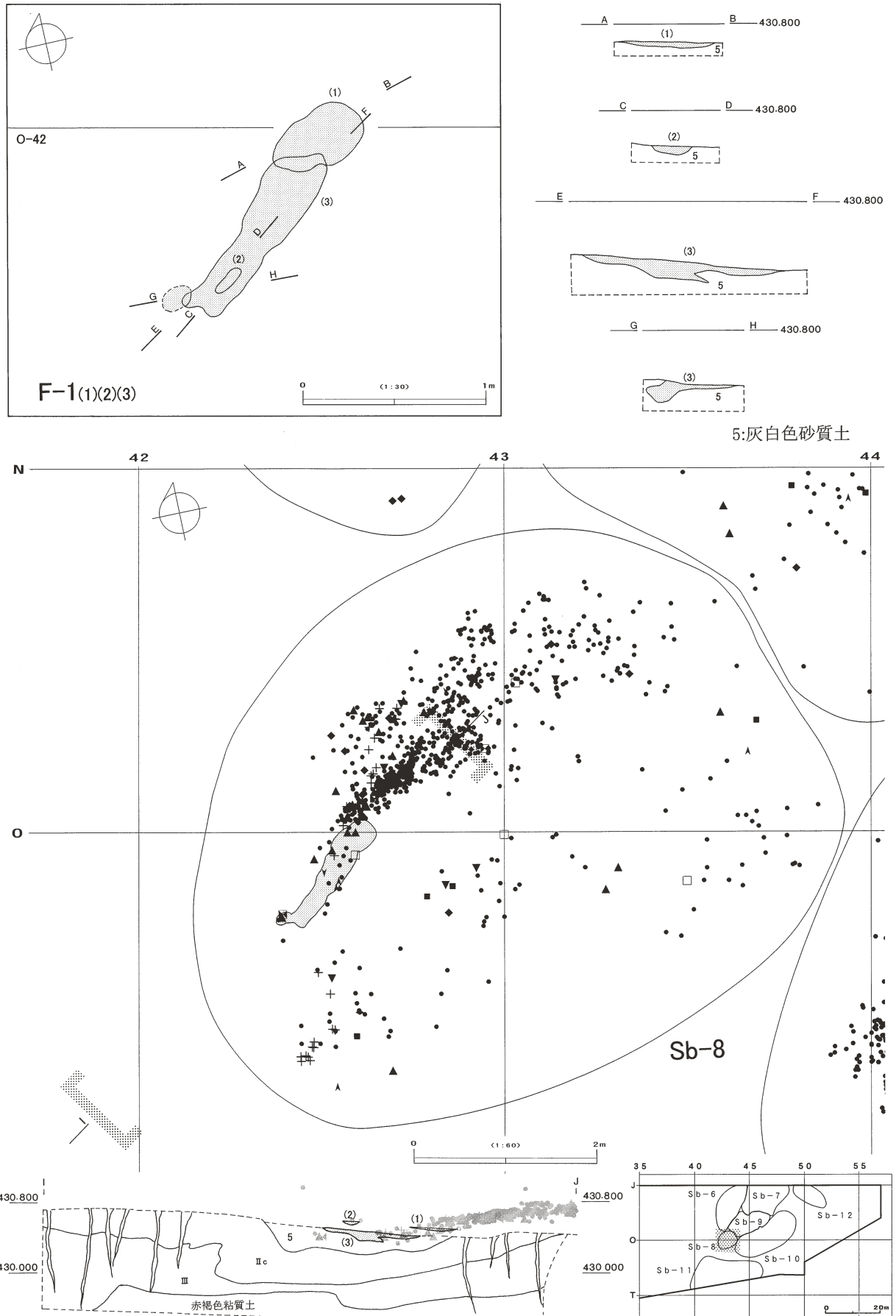


図 - 7 赤色土の平面・断面図(1)

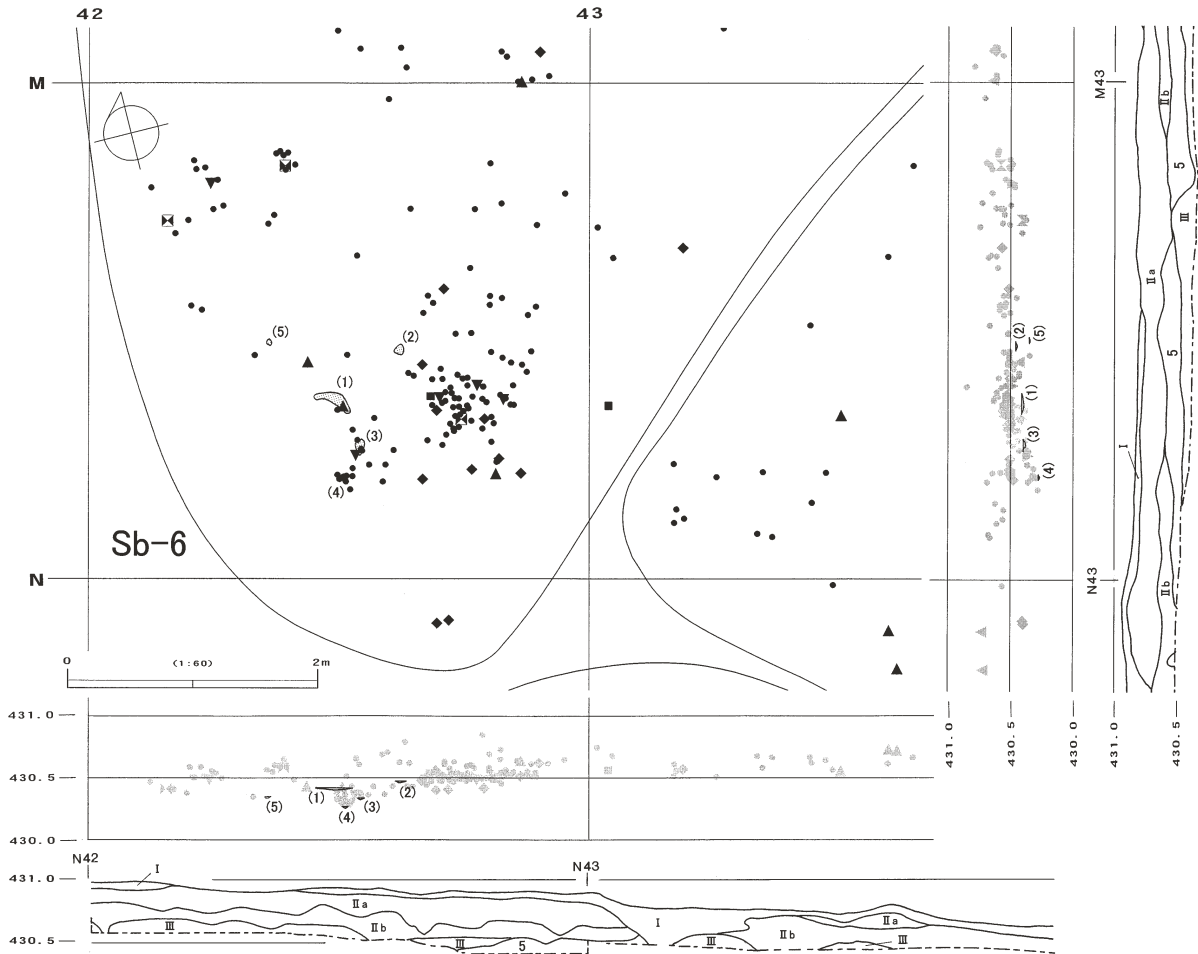
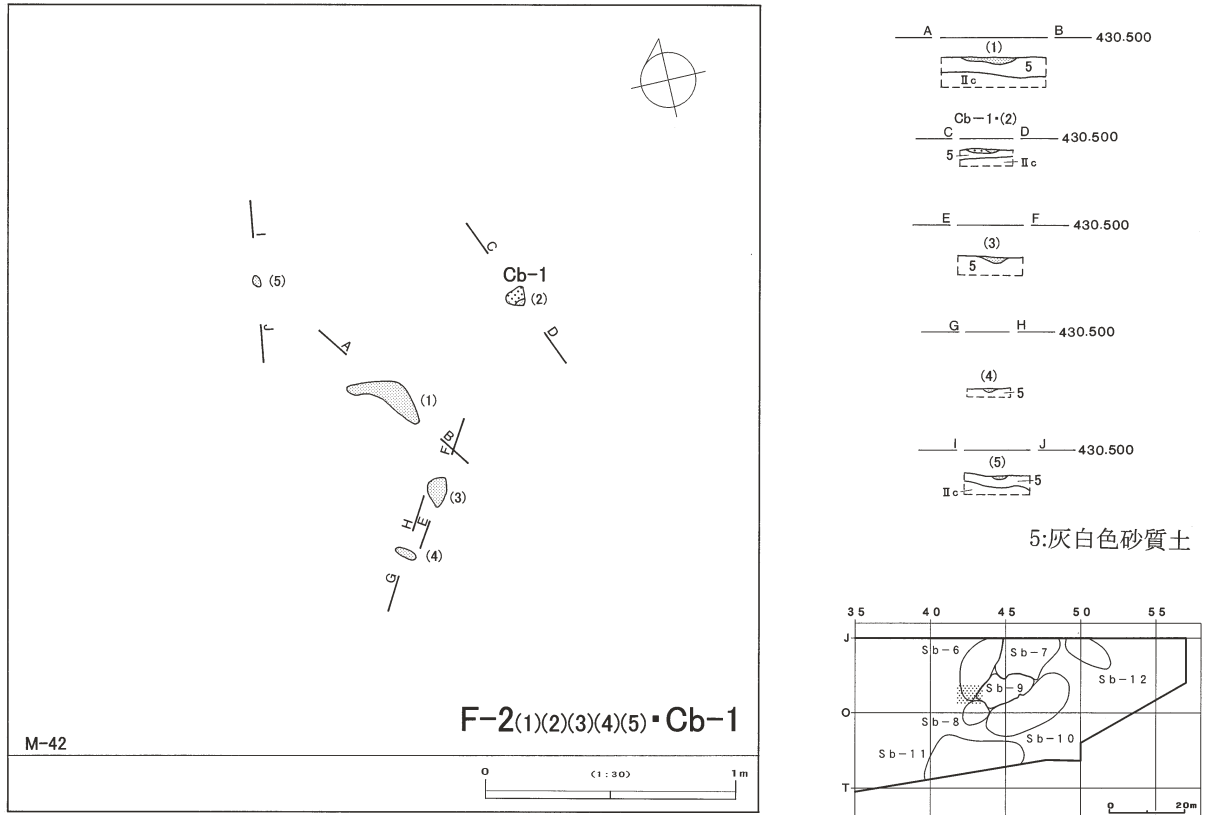


図 - 8 赤色土の平面・断面図(2)、炭化木片ブロックの平面・断面図

表 - 3 上白滝5遺跡炭化木片ブロック一覧

	土壌		炭化物重量 (g)	石器		14C年代(yBP)	
	体積(cc)	重量(g)		点数	重量(g)		
Cb - 1	50	70	0.3	3	0.1	18,520±150	18,860±140

(2) 炭化木片ブロック

炭化木片ブロックは1か所検出されている。炭化木片に関してはAMS法を用いた放射性炭素年代測定を行い、測定結果の詳細は 章1に掲載した。

Cb - 1 (図 - 8、図版 - 295、表 - 3)

M42区、Sb - 6の南東縁辺部の灰白色砂質土層中にF - 2(2)と隣接して20×10cmの楕円形の範囲、5cmの厚さで非常に少量の炭化木片を含む土層が確認された。得られた炭化木片のうち2点の試料について放射性炭素年代測定を行い、18,520±150yBP (Beta - 126158・SHIRA - 47)、18,860±140yBP (Beta - 126159・SHIRA - 48)の測定結果が得られた。(鈴木 宏行)

(3) 遺物分布と石器ブロック・石器群

上白滝5遺跡では、出土位置を計測して取り上げた遺物(以下点取り遺物)が22,441点出土している。遺物分布・密度分布・接合関係・石器分布(図 - 9・10)をもとに石器ブロックを設定した。なお、遺物密度分布図は1m単位で10点を単位とした。1mに設定したのは、周氷河性のソリフラクションなどの影響による遺物の移動を考慮したためで、10点を単位としたのは、白滝遺跡群が大量の黒曜石を背景とした石器製作遺跡であり、非常に多くの遺物が出土するためである。したがって、密度分布図は細かな分布状況を反映しているものではなく、分布状況から設定されたブロックも大きなものとして捉えられている。また、Sb - 12に関しては石刃鏃を含み一つの石器群として他と明らかに分離できるためブロックとして認定した。

以下に、石器群とブロックの関係について述べる。ここで述べる石器群は、同一の石器製作技術を持ち、かつ、同一時期の所産と考えられるまとまりを示す。なお、詳細については各ブロックの説明において行うこととする。

Sb - 1は尖頭器を主体とする石器群である。遺物点数は非常に少なく、尖頭器の調整剥片が含まれている。Sb - 5の石器群と同一である可能性があるが、距離があり、遺物が少なく実体が不明瞭であるので区別した。

Sb - 2は尖頭器を主体とする石器群である。石器の表面はあまり風化しておらず光沢がある。水和層年代測定も8,000年程度であり、縄文時代のブロックと考えられる。

Sb - 3は大型の石刃を主体とする石器群である。湧別技法による細石刃製作関連遺物は出土していないが原石形状から石刃剥離技術に至るまで上白滝2遺跡のSb - 3～6・10の石器群に類似する。

Sb - 4はツールの出土が見られないが尖頭器製作の接合資料があり、尖頭器を主体とする石器群であったと考えられる。隣接するSb - 5と同一石器群の可能性もあるが接合関係が無く、分布に隔たりがあるため区別した。

Sb - 5は尖頭器と大型の石刃を含む石器群である。石刃素材のツールがほとんど無く、これまで報告した石器群に対応するものはない。

Sb - 6～11は、舟底形石器・尖頭器を含む石器群である。Sb - 6～10は全体的には分布が途切れ

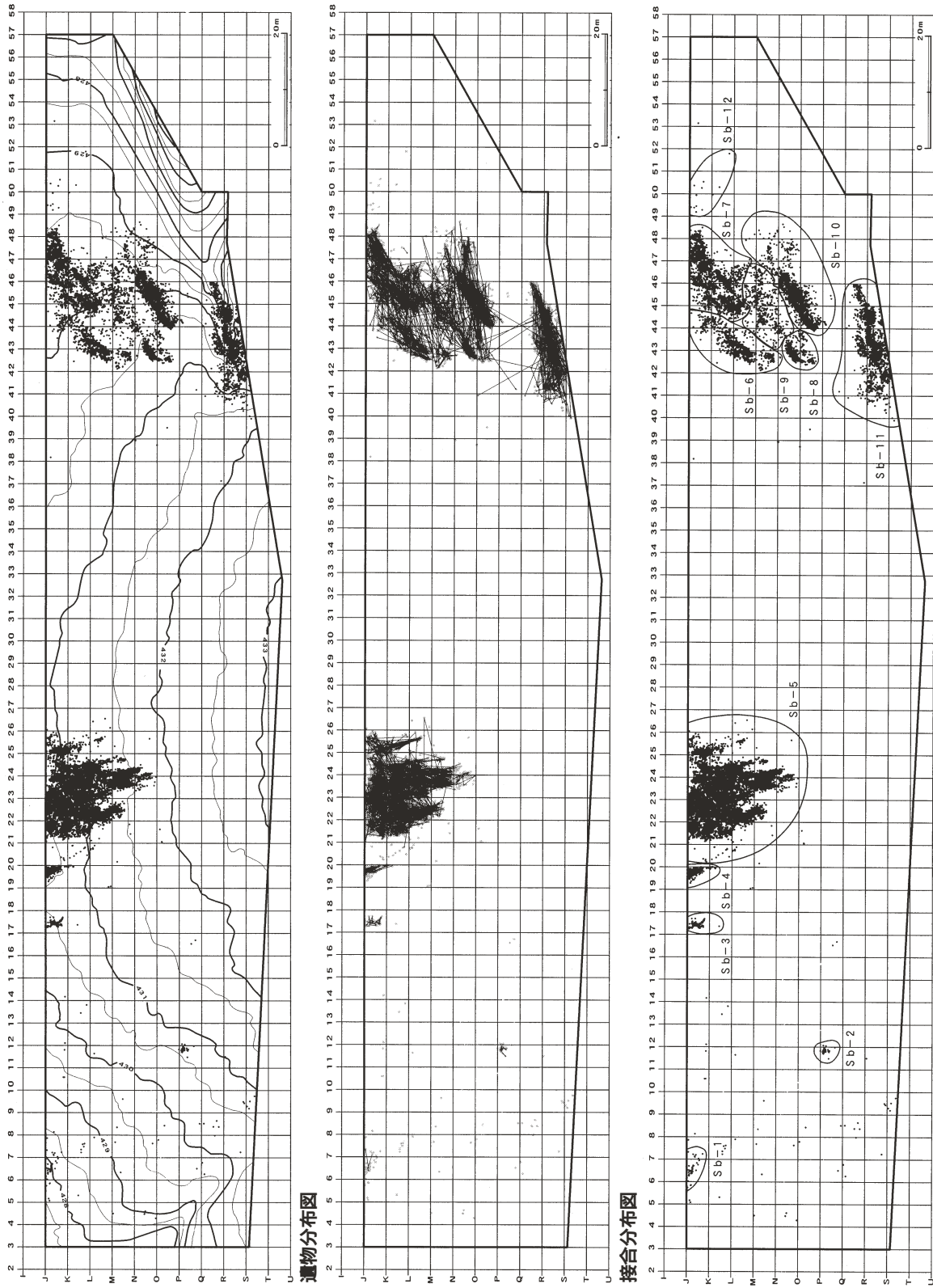
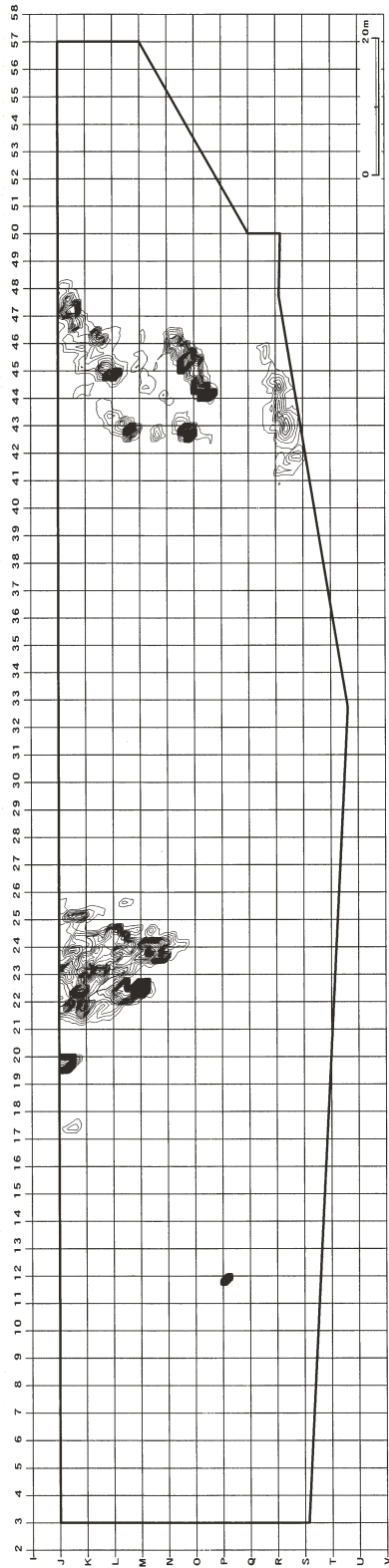
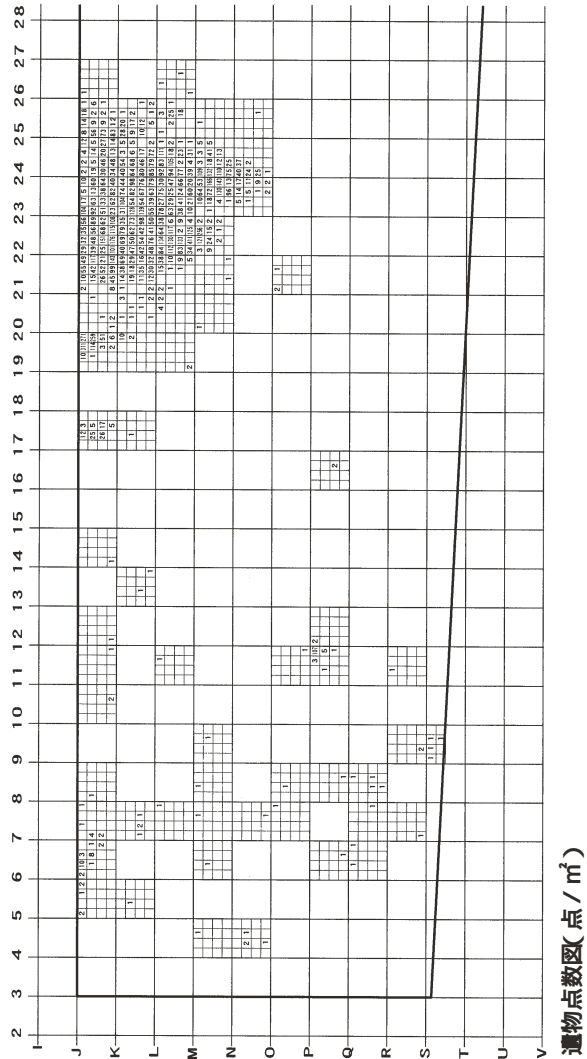


図 - 9 遺物分布・接合分布・石器ブロック設定図

石器ブロック設定図



遺物密度分布図(10点単位)



遺物点数図(点/m²)

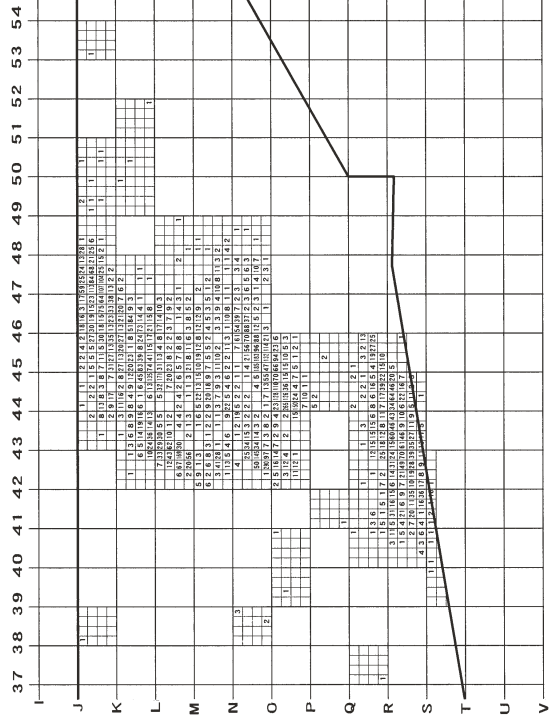


図 - 10 遺物点数・密度分布図(点/m²・10点単位)

ないが密度分布をもとに分けた。また、Sb - 11はこれらの南側の沢に落ち込むように分布し、Sb - 6 ~ 10とは隔たりがあるが、含まれるツールに差はなく、少量であるが接合関係も認められることから同一石器群と認定した。

Sb - 12は、石刃鏃を含む石器群である。遺物点数は非常に少ないが他と区別できるため石器群と認定した。Sb - 10にも1点石刃鏃が出土しているがSb - 12との関連が強いためSb - 12で報告している。

次に石材別・器種別分布状況を概観する。なお、出土点数については、特に記述がない場合は点取り遺物の点数で、一括遺物も含む場合は明記する。

黒曜石製の石器 (図 - 11・12、表 - 2・4)

22,441点のうち22,396点(99.7%)が黒曜石製である。黒曜石全体のなかでは黒曜石1(10,846点、48.3%)と黒曜石4(10,280点、45.8%)で94%を占め、以下黒曜石5(868点、3.9%)、黒曜石3(385点、1.7%)、黒曜石2(17点、0.1%)となっている。遺物のほとんどが黒曜石1・4でそれらはほぼ二分しているといえる。ただし、これは全体の数字であって石器群単位、ブロック単位で見ると状況は異なる。黒曜石全体を対象とすると全てのブロックから出土している。石質毎では、黒曜石1は全域に分布する。特にSb - 6 ~ 11では全体の分布に比べ密度が低いものの分布に偏りは見られない。黒曜石2はほとんど出土せず、Sb - 1・4に散見される程度である。黒曜石3はSb - 5 ~ 7・10・11に分布し、それらはブロック内で偏った分布を示す。黒曜石4はSb - 2・3では全く出土せず、Sb - 12でも1点のみである。それ以外のブロックでは全体に分布し、Sb - 6 ~ 11では主体的である。黒曜石5は主にSb - 4・5で出土し、それらの分布に偏りは見られない。Sb - 6 ~ 10では散漫に分布し、Sb - 11では非常に限定的である。

黒曜石以外の石器 (図 - 12、表 - 2・4)

22,441点のうち45点(0.2%)が黒曜石以外の石材を利用しており、その内訳は頁岩36点、安山岩4点、めのう2点、砂岩1点、緑色泥岩1点、片岩1点で、頁岩が8割を占める。分布を見ると安山岩はSb - 6(1点)・8(2点)・9(1点)で出土し、それらの2点は斧形石器である。頁岩はSb - 5(5点)・6(23点)・8(3点)・11(4点)で出土しており、特にSb - 6に多く分布している。また、頁岩は11点が彫器で、7点が石刃類である。

尖頭器 (図 - 12、表 - 4)

Sb - 2(2点)・5(41点)・6(2点)・7(2点)・8(4点)・9(4点)・10(6点)・11(9点)で出土している。突出した量が出土し、石器群を特徴づけているSb - 5ではほぼ全域に、他のブロックではやや偏りを持って分布している。

彫器 (図 - 12、表 - 4)

Sb - 6(15点)・8(27点)・9(9点)・11(13点)で多く、その他ではSb - 7(3点)・10(2点)で出土し、Sb - 1 ~ 5・12では出土していない。Sb - 8でまとまっているが、その他は散漫に分布している。

彫器削片 (図 - 13、表 - 4)

彫器削片は非常に小型の石器であるためサンプリングエラーが起こりやすい。現場段階で注意深く調査したSb - 8周辺では比較的多くの削片が回収されたと考えられるが、その他の区域ではサンプリングの点で相違があったと考えられる。Sb - 8では層一括遺物を含め約320点が、Sb - 6では約30点が出土している。Sb - 9では約10点、Sb - 10で1点、Sb - 11で3点出土している。これらは彫器の分布にほぼ一致している。

搔器 (図 - 13、表 - 4)

Sb - 6 (6点)・9 (7点)・10 (2点)・11 (8点) で比較的多く、その他ではSb - 5 (2点)・7 (1点)・8 (4点) で出土している。全体的に散漫に分布している。

削器 (図 - 13、表 - 4)

Sb - 5 (9点)・6 (12点)・8 (6点)・11 (9点) で比較的多く、その他ではSb - 2 (1点)・4 (1点)・9 (3点)・10 (1点)・12 (4点) で出土している。特にSb - 12では点数は4点であるが、ブロック内の点数比で3分の1を占める。全体的に散漫に分布している。

錐形石器 (図 - 13、表 - 4)

Sb - 8で2点出土しているのみである。

舟底形石器 (図 - 13・14、表 - 4)

Sb - 6 (16点)・7 (10点)・8 (12点)・9 (7点)・10 (1点)・11 (21点) で出土している。Sb - 6～11から出土し、石器群を特徴づける石器といえるが、Sb - 10では1点のみで石器群の中で偏りが見られる。また、小型舟底形石器に限定するとSb - 6・8・11のみで特にSb - 6・8ではほとんどを占める。全体の分布は彫器と類似している。

二次加工ある剥片 (図 - 14、表 - 4)

Sb - 5 (14点)・6 (2点)・7 (6点)・8 (2点)・9 (3点)・10 (1点)・11 (6点) で出土している。散漫な分布を示す。

石刃 (図 - 14、表 - 4)

Sb - 3 (12点)・5 (142点)・6 (11点)・7 (9点)・8 (12点)・9 (10点)・10 (21点)・11 (35点) で出土している。多数の石刃が出土して石器群を特徴づけているSb - 5では分布に偏りが見られず、Sb - 6～10では偏りが見られる。特にSb - 6ではM42区のみ出土している。

縦長剥片 (図 - 14、表 - 4)

Sb - 4 (7点)・5 (79点)・6 (23点)・7 (19点)・8 (3点)・9 (1点)・10 (29点)・11 (29点) で出土している。Sb - 5が最も多いが、石刃に比べ比率的にはSb - 6～11が多くなっている。石刃の分布と比較するとSb - 5では同様に全域から出土しているが、Sb - 6～11に関してはSb - 6では分布範囲が広がり、Sb - 8・9ではほとんど出土せず、Sb - 7では分布域がずれている。

石刃核 (図 - 14、表 - 4)

Sb - 5 (5点)・6 (1点)・7 (5点)・11 (3点) で出土している。Sb - 5では24ライン付近に多く、Sb - 7では石刃の量に比べ多く出土している。Sb - 8～10では石刃が比較的多く出土しているにもかかわらず石刃核は見られない。

石核 (図 - 15、表 - 4)

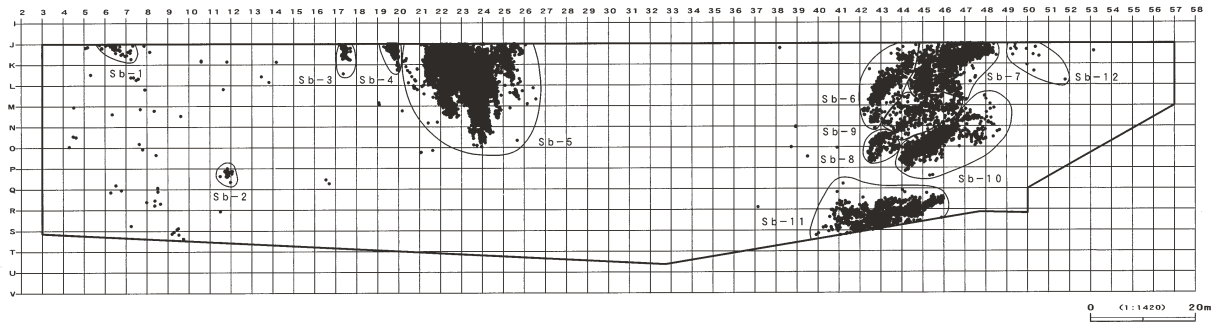
Sb - 5 (5点)・6 (5点)・7 (5点)・8 (3点)・9 (2点)・10 (1点)・11 (2点) で出土している。Sb - 5では石刃核同様24ライン付近に多く、Sb - 6～11ではSb - 6・8の全域、Sb - 7の西側に分布している。Sb - 9・10からはほとんど出土していないのが特徴で、石核自体が舟底形石器の素材となっていることが原因と考えられる。

斧形石器 (図 - 15、表 - 4)

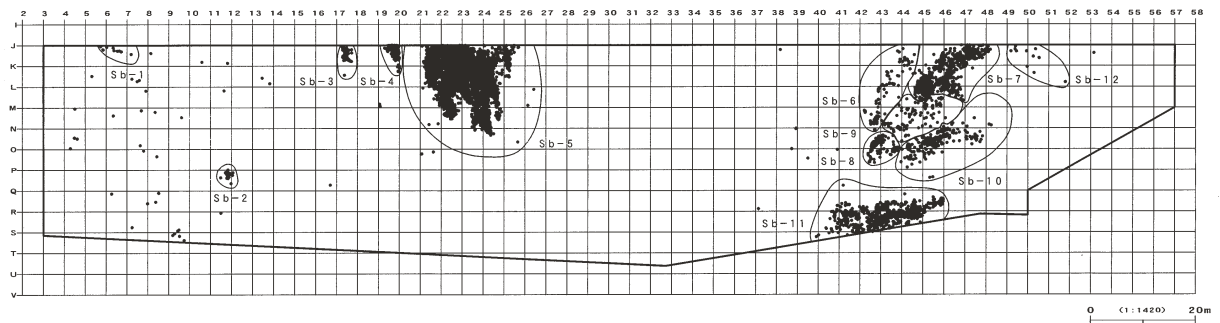
Sb - 8 (1点)・9 (1点) で出土している。両者共に安山岩製である。Sb - 5では片岩製の磨製斧形石器の破片 (図 - 30 - 41) が出土しているが縄文時代の遺物で混入と考えられる。Sb - 8では緑色泥岩製の斧形石器の破片を素材とした錐形石器 (図 - 85 - 192) が出土している。

石刃鏃 (図 - 15、表 - 4)

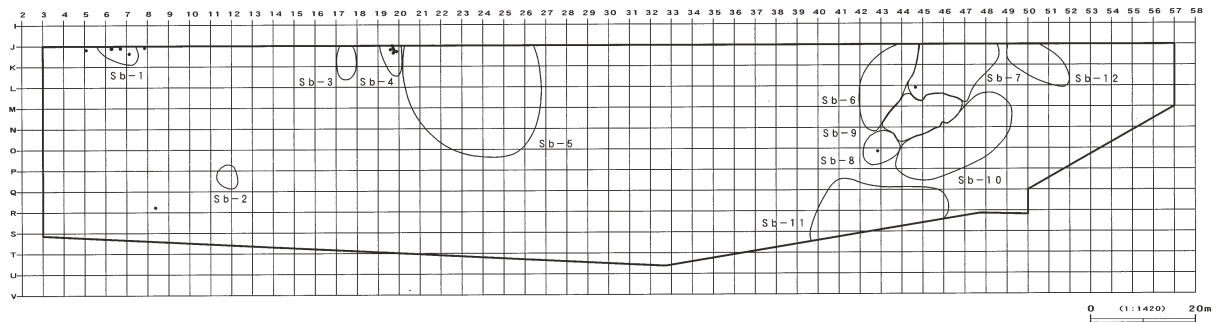
黒曜石の石器



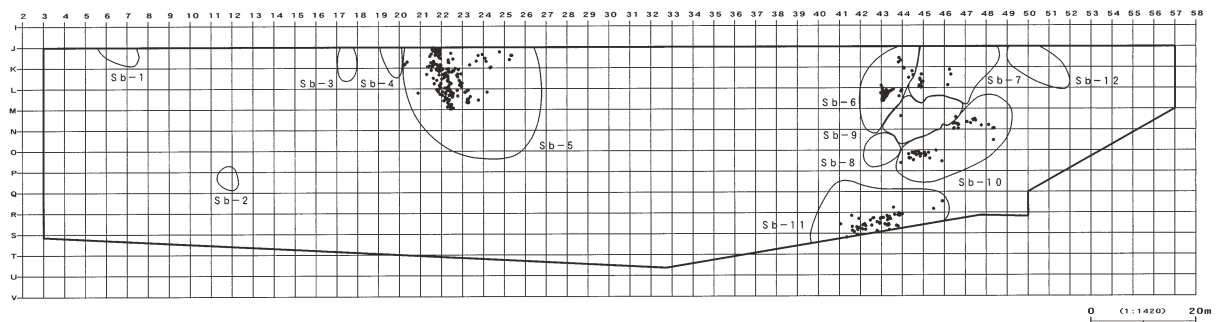
黒曜石 1 の石器



黒曜石 2 の石器



黒曜石 3 の石器



黒曜石 4 の石器

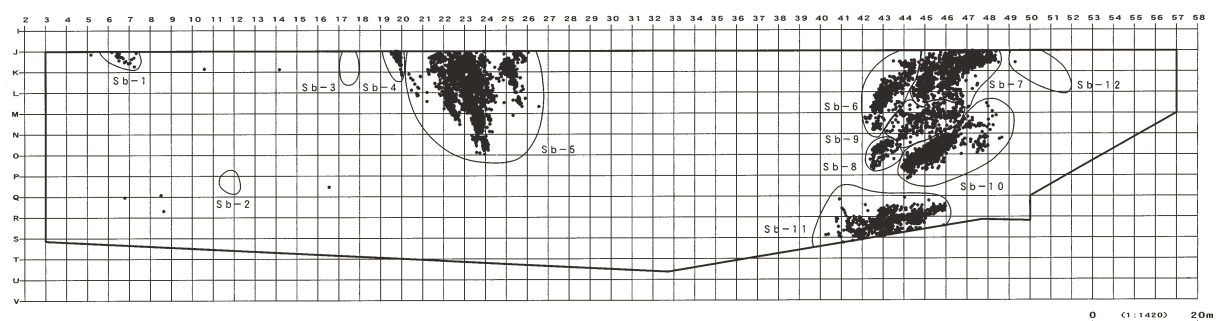
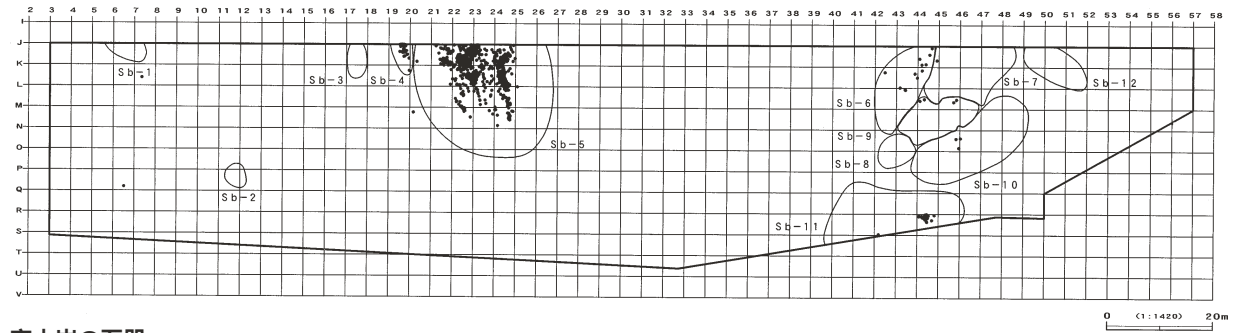
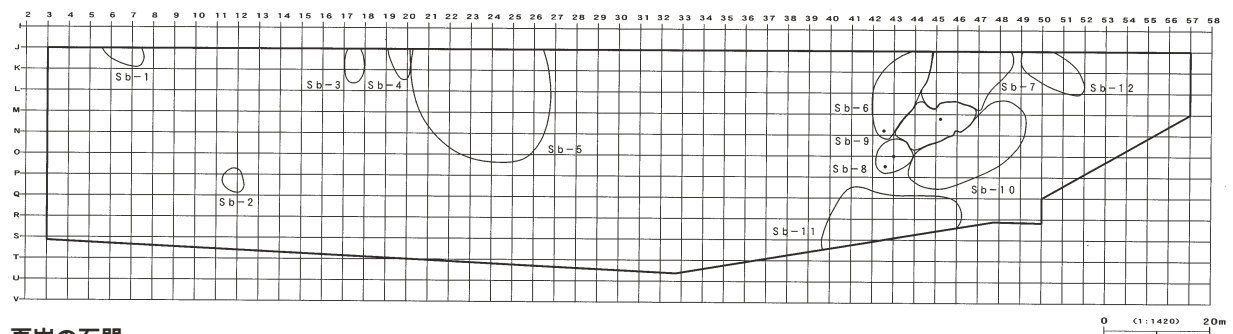


図 - 11 器種・石材別分布図(1)

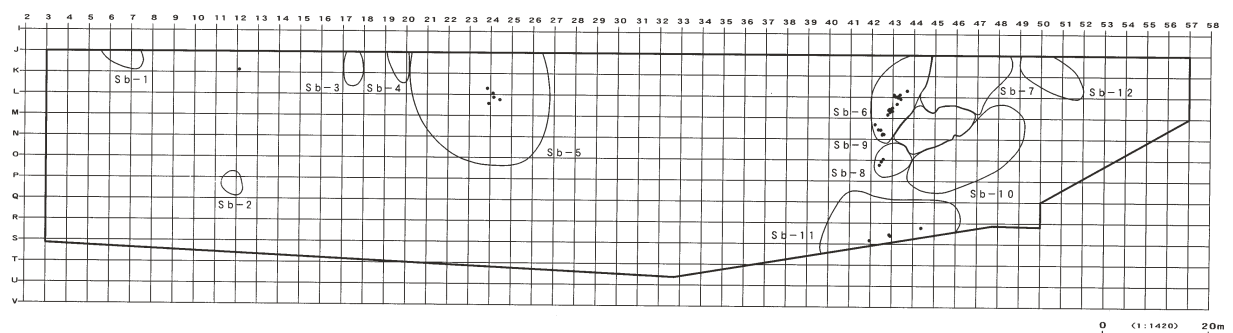
黒曜石の石器



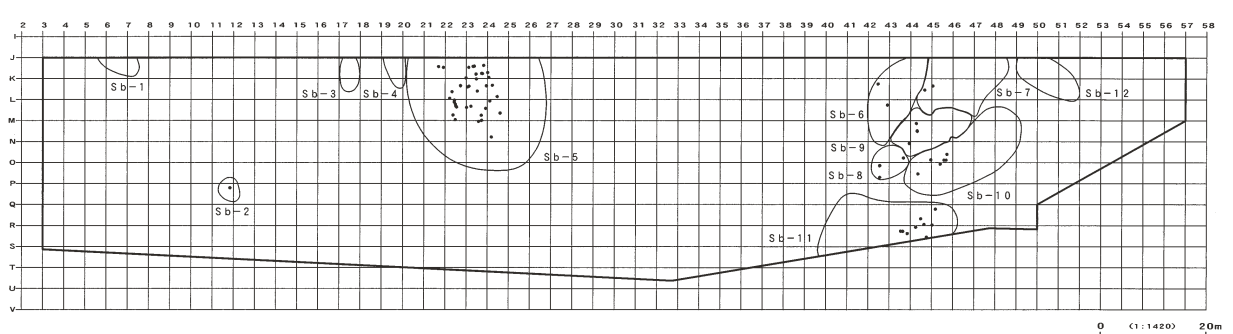
安山岩の石器



頁岩の石器



尖頭器



彫器

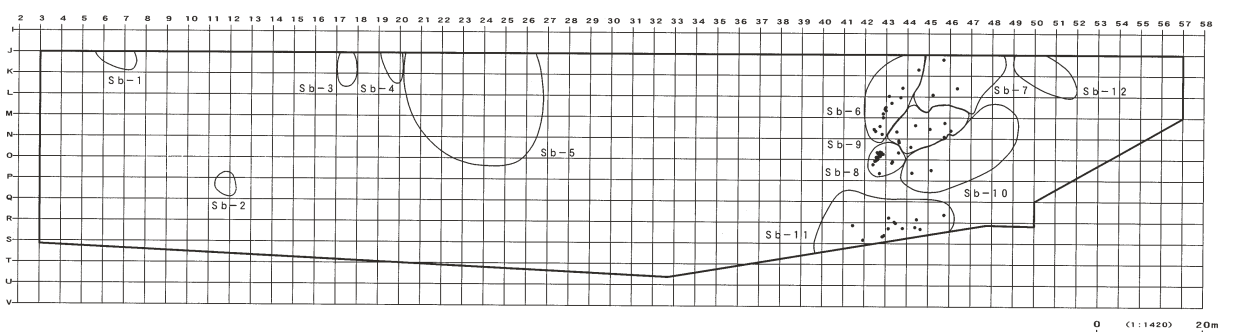
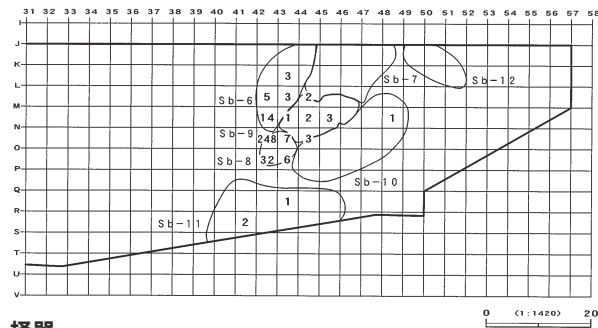
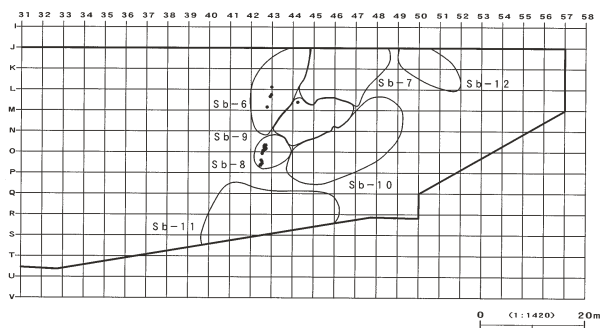


図 - 12 器種・石材別分布図(2)

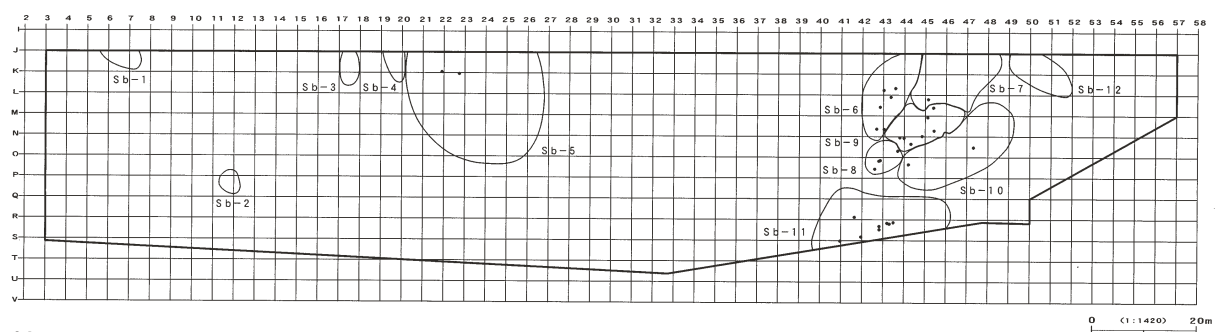
彫器削片(層一括)



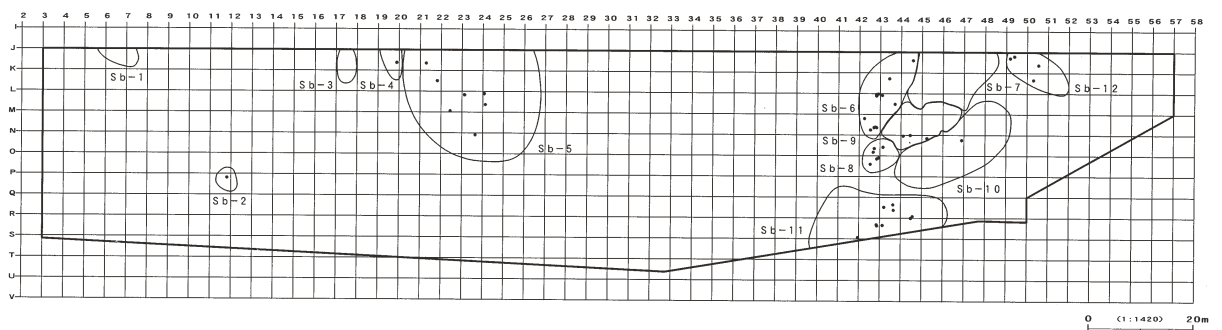
彫器削片(点取り)



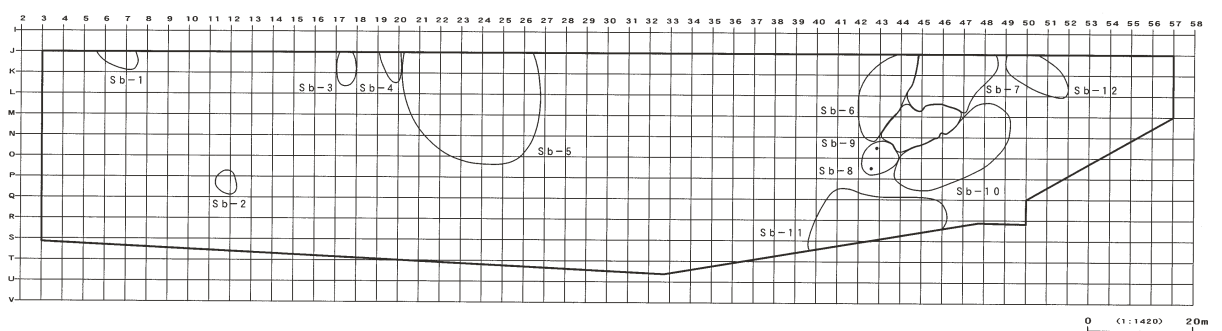
掻器



削器



錐形石器



舟底形石器(全体)

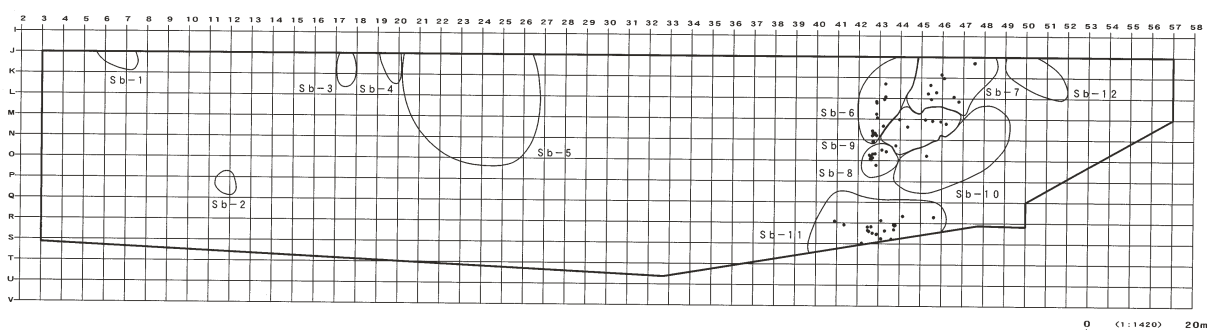
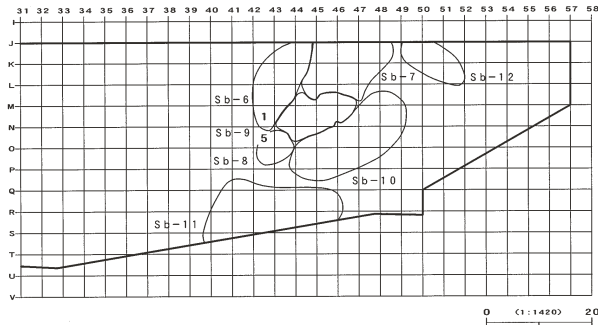
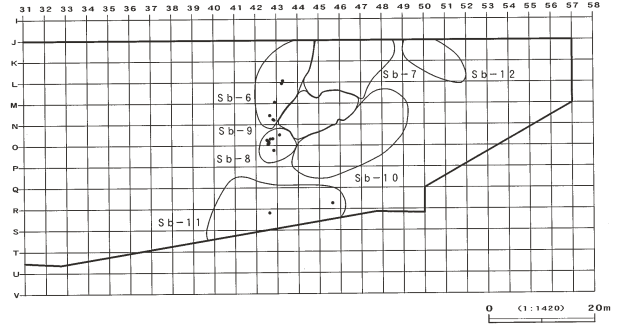


図 - 13 器種・石材別分布図(3)

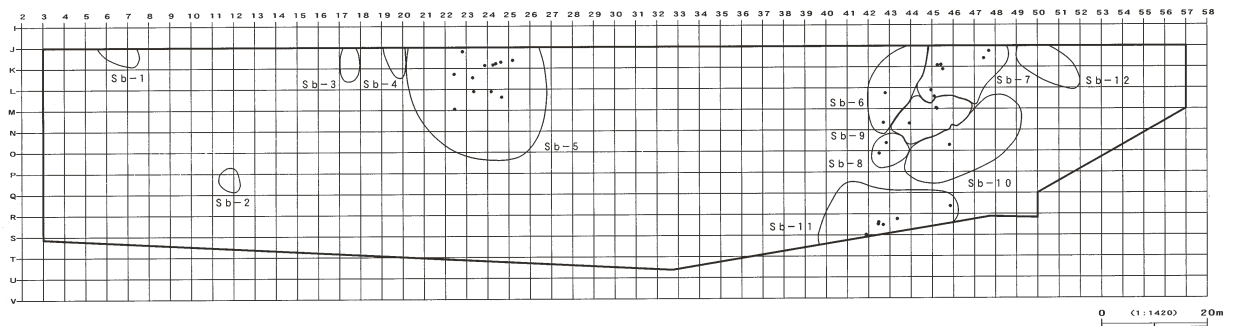
舟底形石器剥片(層一括)



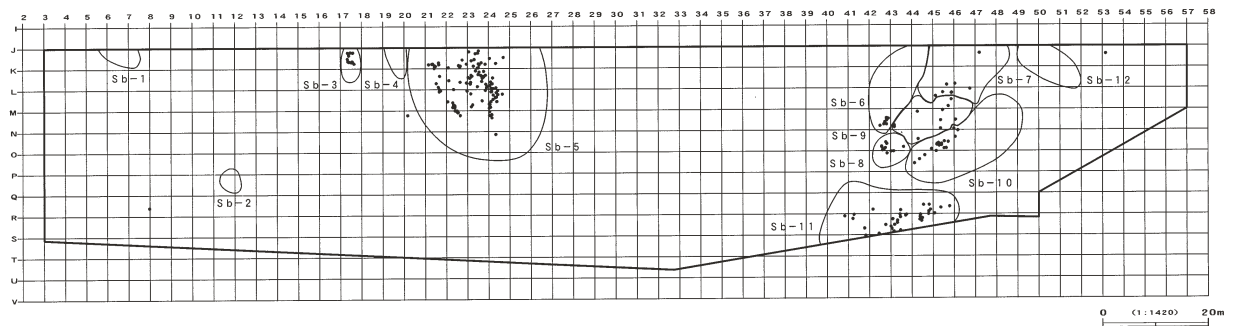
小型舟底形石器



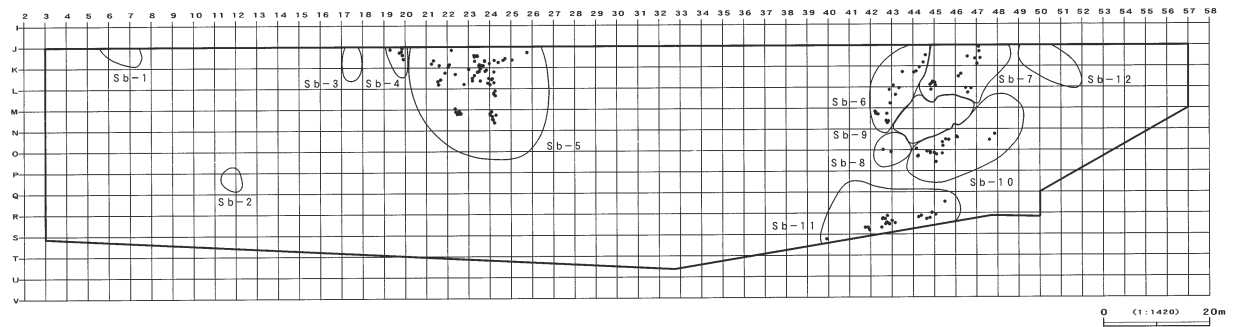
二次加工ある剥片



石刃



縦長剥片



石刃核

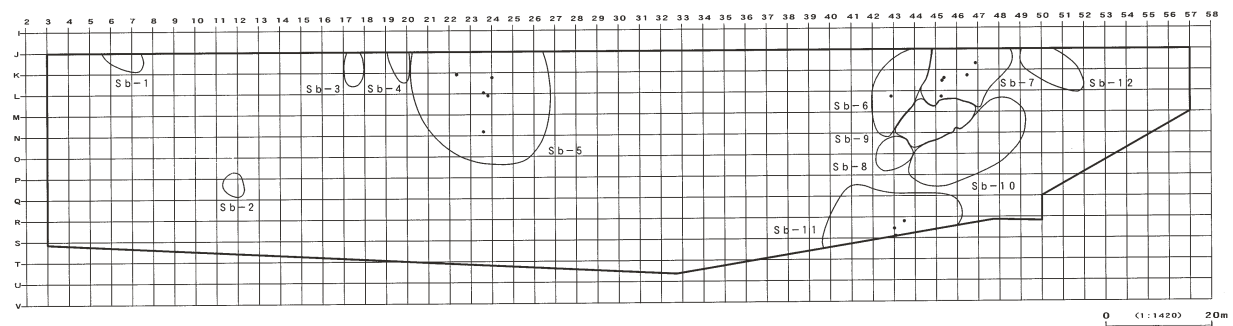
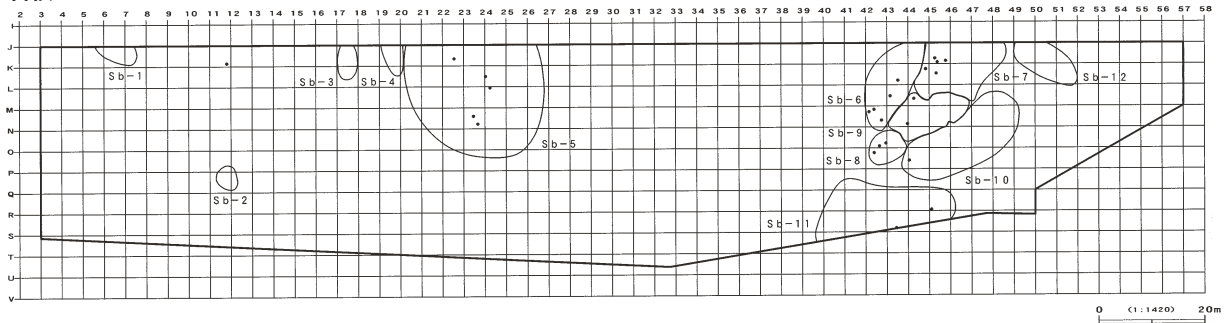
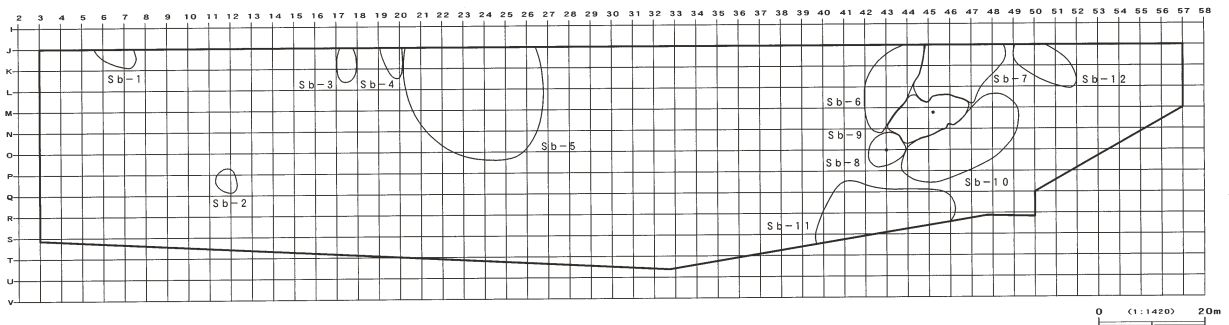


図 - 14 器種・石材別分布図(4)

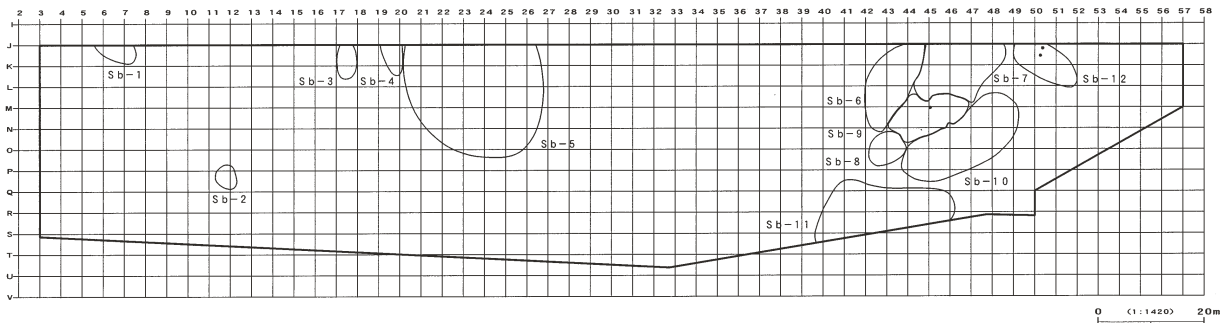
石核



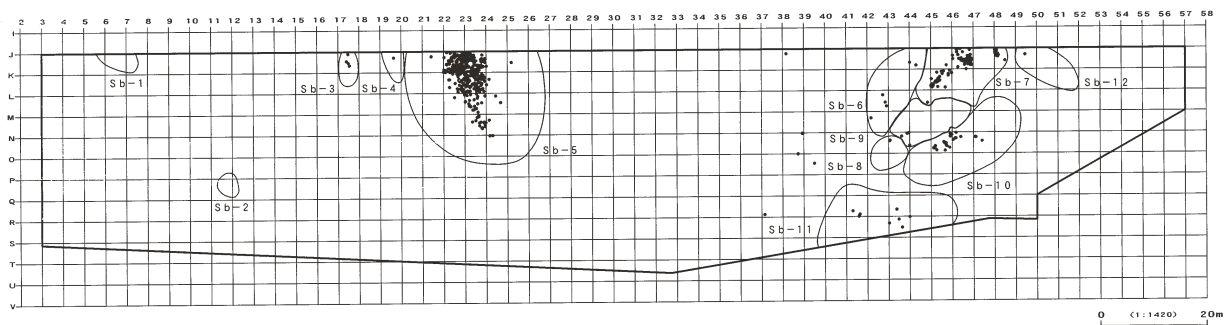
斧形石器



石刃鎌



被熱石器



原礫面残存の石器

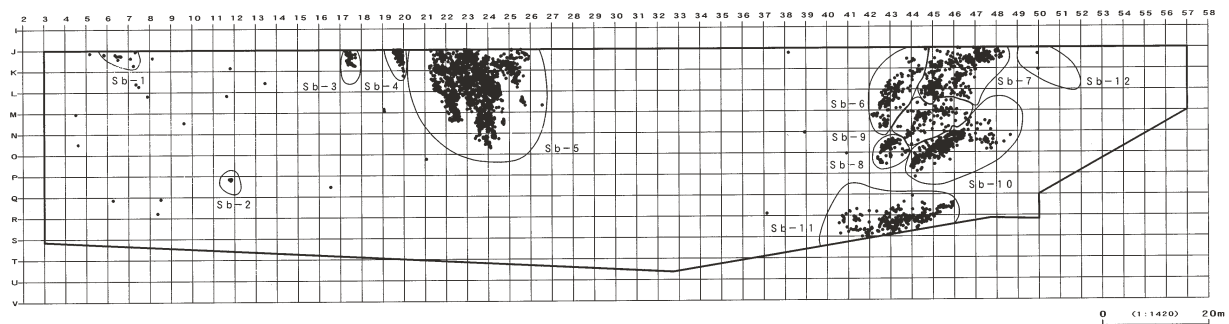


図 - 15 器種・石材別分布図(5)

表 - 5 上白滝5遺跡出土原礫面残存・被熱石器一覧

ブロック	遺物点数(点取り)(点)	原礫面残存石器(点,%)		被熱石器(点,%)	
Sb - 1	37	10	27.0	0	0.0
Sb - 2	120	14	11.7	0	0.0
Sb - 3	94	50	53.2	5	5.3
Sb - 4	1040	213	20.5	1	0.1
Sb - 5	11315	1999	17.7	421	3.7
Sb - 6	1045	196	18.8	6	0.6
Sb - 7	2815	460	16.3	99	3.5
Sb - 8	835	185	22.2	2	0.2
Sb - 9	510	137	26.9	4	0.8
Sb - 10	2824	513	18.2	27	1.0
Sb - 11	1729	294	17.0	9	0.5
Sb - 12	12	2	16.7	1	8.3
ブロック外	65	23	35.4	8	12.3
合計	22441	4096	18.3	583	2.6

Sb - 9 (1点)・12 (2点) で出土している。Sb - 9 では他の遺物は旧石器時代のものであり、水和層年代測定結果にも隔たりがあることから混入と考えられる。Sb - 12 では石刃素材の削器と併せて石器群を特徴づけている。

被熱石器 (図 - 15、表 - 5)

ブロック単位でその割合を見ると1%以下 (Sb - 1・2・4・6・8~11) と1~10% (Sb - 3・5・7・12) に分けられる。点数の多いSb - 5・7・10は分布の中心部に分布している。焼土の可能性のあるF - 1・2、Cb - 1の分布とは一致していない。

原礫面残存の石器 (図 - 15、表 - 5)

ブロック単位でその割合を見ると53%を占めるSb - 4を除くとおよそ10~30%含まれる。Sb - 3は上白滝2遺跡のSb - 3~6・10の石器群の比率に類似する。全体の分布との差は見られず、この分布からは石器製作の段階による分布の偏りを読みとることはできない。(鈴木宏行)

(4) 石器ブロック1 (Sb - 1) の石器

Sb - 1は、北西に向かって下る緩斜面上に位置する。

出土石器 (表 - 4)

剥片のみ37点、重量785.1gが出土した。石器は黒曜石のみで点数比で黒曜石4 (62.2%)・黒曜石1 (27.0%)・黒曜石2 (10.8%)、重量比で黒曜石4は96.5%である。剥片は全て尖頭器の調整剥片である。Sb - 5と同一石器群である可能性があるが、遺物が少なく実体が不明瞭なため関係は不明である。

石器ブロック1 (Sb - 1) の分布 (図 - 16)

J5~7区の7×4mの範囲に分布するが、北側は調査区外に分布が広がりそうである。分布密度は低い。

石器ブロック1 (Sb - 1) の接合状況 (図 - 16)

尖頭器調整剥片の2組の接合資料があるのみである。(鈴木宏行)

(5) 石器ブロック2 (Sb - 2) の石器

Sb - 2は、北西に向かって下る緩斜面上に位置する。

出土石器 (表 - 4)

2 遺構と遺物

尖頭器 2 点、削器 1 点、剥片 117 点の計 120 点、重量 400.5g の石器類が出土している。石材は全て黒曜石 1 である。120 点中 114 点が母岩 3 で、ほとんど一母岩で構成されるブロックである。

尖頭器 (図 - 16 - 1、図版 307 - 1)

2 点 (1 個体) を図示している。1 は石核素材で柳葉形を呈する。加工は比較的粗く、裏面の稜の頂部を打撃しているため側縁は交互剥離状にギザギザとしている。側縁を擦るような調整は見られない。断面形は菱形に近く、裏面左側縁からの剥離の傷が原因で折損している。

石器ブロック 2 (Sb - 2) の分布 (図 - 16)

O11、P11・12 区の 3 × 3m の範囲に分布する。小規模であるが非常に密度が高い。集中部は直径約 50cm の非常に狭い範囲で出土しているにもかかわらず上下差も約 50cm あり、遺物はピット状の落ち込みにまとめて埋められた可能性がある。

石器ブロック 2 (Sb - 2) の接合状況 (図 - 16)

出土遺物のほとんどが母岩 3 であるため接合の分布密度も高い。

母岩別資料 3・接合資料 1 (図 - 17、図版 307 - 2)

母岩別資料は接合 1 の他、接合 2・3・50001~50005、剥片 33 点で構成され、総点数 132 点、総重量 377.4g である。

素材 84 点 (55 個体) が接合し、重量は 337.3g、大きさは 15 × 9 × 5 cm である。断面形が二等辺三角形で平面形が楕円形の転礫素材で正面の縁辺部と裏面が加工された状態で搬入されている。

剥離工程 平坦な裏面を打面にして正面、主に左側縁全体に剥離が行われ (1・2)、その面を打面にして裏面左右両側縁で加工が行われる (3~5)。次に正面の加工 (6・7)、裏面の加工 (8・9) と続き、その後も正面の加工 (10) 後、裏面 (11~13) の加工が行われるが、最終的に正面右からの剥離で折損し、遺棄されている。加工は稜の頂部を打撃して行われ、縁辺を擦るような調整は見られない。水和層年代測定の結果は、8,035 ± 209yBP (H75)、8,056 ± 185yBP (H76)、7,736 ± 454yBP (H77) であり、石器表面の光沢もあり縄文時代のもと考えられる。

形態変化 : 15 × 9 × 5 cm から 14 × 3.3 × 1.6 cm に変化し、長さはほとんど変わらずに幅・厚さが減少している。

分布 分布密度が高く、上下差を持って分布しており、ピット状の落ち込みにまとめて埋められた可能性がある。Sb - 2 はほとんどが本母岩のみで構成され、母岩構成・出土状況が非常に特徴的である。(鈴木宏行)

(6) 石器ブロック 3 (Sb - 3) の石器

Sb - 3 は、段丘中央の平坦面から西側の緩斜面に移行する地点に位置する。

出土石器 (表 - 4)

石刃 12 点、剥片 82 点の計 94 点、重量 1,135.2g の石器類が出土した。石材は全て黒曜石 1 である。94 点中 92 点が母岩 4 で、ほとんど一母岩で構成されるブロックである。

石器ブロック 3 (Sb - 3) の分布 (図 - 18)

JK17 区の 6 × 2 m の範囲に分布する。分布形から調査区域外である北側に分布が伸びる可能性は低いと考えられる。比較的密度が低く、石刃類は分布域全体に分布している。

石器ブロック3 (Sb - 3) の接合状況 (図 - 18)

本ブロックはほとんどが母岩4で構成され、分布域全体で接合関係が認められる。

母岩別資料4・接合資料70 (図 - 19、図版307 - 3)

母岩別資料は接合70の他、接合71・50043～50046、剥片27点で構成され、総点数101点、総重量1,139.0gである。

素材 61点(18個体)が接合し、重量は943.0g、大きさは17×14×13cmである。半月状の「つめ跡」がある(以下、「爪状痕のある」と表現)原礫面を持つ転礫を素材とし、打面が作出された状態で搬入されている。

剥離工程 原石の頭部を削ぎ落とすような一回の剥離による打面作出後、作業面調整なしで石刃剥離が行われる。縁辺を削ぎ落とすような頭部調整が見られ、石刃の打面形状は凸レンズの断面形に似る。作業面形状が平坦なため石刃も幅広である。これら原石形状から石刃剥離に至るまでの全工程の特徴が上白滝2遺跡のSb - 3～6・10の石刃技法と類似し、同一の可能性が高い。打面調整が行われない点でSb - 5の石刃技法とは異なる。

分布 Sb - 3の3×2mから全て出土しており、密集した分布である。(鈴木宏行)

(7) 石器ブロック4 (Sb - 4) の石器

Sb - 4は、段丘中央の平坦面の西端に位置する。

出土石器 (表 - 4)

削器1点、縦長剥片7点、剥片1,032点の計1,040点、重量8,823.1gの石器類が出土した。石材は黒曜石1(65.4%)が最も多く、黒曜石4(28.7%)と併せて94%を占め、以下黒曜石5(5.1%)、黒曜石2(0.8%)である。平滑な原礫面を持つ角礫素材の大型の尖頭器調整剥片が多く含まれるが、転礫素材のものも含まれている。石材の比率はSb - 5と類似し、同一石器群の可能性はあるが、石刃関連資料の出土は見られず関係は不明である。

石器ブロック4 (Sb - 4) の分布 (図 - 18)

J19・20、K19区の5×3mの範囲に分布しているが、調査区域外である北側に分布が伸びると考えられる。分布密度は高く、縦長剥片は分布域全体に疎らに分布している。

石器ブロック4 (Sb - 4) の接合状況 (図 - 18)

分布域全域に接合関係が認められる。おそらく調査区外である北側にも伸びると予想される。

(鈴木宏行)

(8) 石器ブロック5 (Sb - 5) の石器

Sb - 5は、段丘中央の平坦面の中央やや西よりに位置する。

出土石器 (表 - 4)

尖頭器41点、搔器2点、削器9点、二次加工ある剥片14点、石刃142点、縦長剥片79点、石刃核5点、石核5点、剥片11,013点、原石5点の計11,315点、重量70,123.4gの石器類が出土している。彫器が組成されないのが特徴である。石材は黒曜石1が最も多く66.7%で、黒曜石4(24.7%)と併せて約9割を占め、以下黒曜石5(6.8%)、黒曜石3(1.7%)、頁岩5点(0.04%)、片岩1点(0.01%)となっている。黒曜石1は石刃類の90%以上を占め、ツールに関しても石材比より高い比率を占め

る。一方、黒曜石4は剥片類の多くを占める尖頭器調整剥片の割合が高いと考えられる。

尖頭器 (図 - 20 - 1 ~ 図 - 22 - 15、図版308・309)

32点(14個体とB調出土1個体を加えた15個体)を図示している。1~8は完形品、9~15は折損品である。完形品の大きさは長さ8~15、幅3~10、厚さ1~4cmで長さに比べ幅・厚さにばらつきがある。1は剥片素材で裏面に素材面が残る。正面は全体的に大きな剥離で構成され、裏面の左側縁先端部にやや細かい剥離が見られる。裏面左側縁からの加工の傷が原因で折損している。2は石刃素材で裏面に素材面、右側面に平滑な原礫面が残る。正面右側縁基部、左側縁先端部に加工が見られ、裏面には主に右側縁に平坦剥離が見られる。右側面の原礫面を除去する加工の際に折損している。3は本石器群出土の尖頭器の中で最も端正な形態である。横長剥片素材で裏面基部に残る素材腹面以外は加工されており、正面は凸状、裏面は平坦で、断面形は三角形に近い形態である。また、側縁はややねじれている。4は基部に爪状痕のある原礫面を持つ石核素材のものである。表裏両面とも比較的大きい剥離によって整形され、一部縁辺部に細かい加工が見られる。中央の球顆が原因で折損し、折損後上部破片の右側縁を表裏両面から再加工している。断面形は凸レンズ状である。5は横長剥片素材で素材腹面から判断すると素材のサイズは一回り大きい程度であったと推測される。加工は正面についてはほぼ全体に、裏面については部分的で右側縁はバルブを除去するように、左側縁は縁辺部のみに行われている。最終的に正面先端部からの剥離によって折損している。6の素材は不明、正面に爪状痕のある原礫面を大きく残し、表裏共に大きな剥離面で構成され、裏面左側縁からの最終剥離によって中央から大きく破損している。7は剥片素材で正面に爪状痕のある原礫面を残している。表裏両面共に大きな剥離によって加工され裏面左側縁からの最終剥離によって中央で折損している。8は15cm程度の平滑面と爪状痕のある原礫面を持つ角礫を素材とした尖頭器の未成品と思われるものである。裏面全体に1枚の大きな剥離面があり、尖頭器の素材を剥離した石核が素材となっている可能性がある。正面を中心に加工を行っているが、稜状に突出した角部を除去できずに遺棄されている。9は石核素材である。10の縁辺部は比較的細かい剥離によって加工され、特に左側縁には潰れが見られる。11・12は大型の尖頭器の折損品で、断面形は三角形に近い。12は原礫面を残し、先端部の折損後、両側縁で再加工が行われている。13は剥片素材で裏面に素材腹面を残している。正面は主に右側縁から平坦剥離を行い、裏面の中央部は平坦剥離で、縁辺部は急角度の加工により整形されている。正面右側縁からの最終剥離で上部が破損した後、被熱により分割されている。14は横長剥片素材で正面・裏面とも右側縁に大きな剥離が見られ、正面左側縁は縁辺部に加工が見られる。潜在的な傷から破損したものと考えられる。15は大型の尖頭器の折損品と考えられ、正面の縁辺部は細かい加工が見られる。球顆が原因で折損している。

搔器 (図 - 22 - 16、図版310)

1点(1個体)を図示している。石刃素材で素材の先端部が斜めにすばまるように加工を行っている。末端部は急角度であるが側縁の加工は平坦剥離である。

石刃 (図 - 23 - 17~図 - 25 - 31、図版310・311)

40点(15個体)を図示している。17~25・28は完形品もしくはそれに準じるもので、26・27は打面側、29~31は先端側の折損品である。完形品は15cm以下の17~21と15cm以上の22~25・28に分けられる。18~20・22~24・28・31には爪状痕のある転礫面が残る。20・25・29・31には稜調整痕があり、25には石刃剥離の最初の段階で、20・29・31には石刃剥離の途中で行われた稜調整が見られる。21~24には石核の側面調整痕が見られる。21の腹面は傷が多く埋没後の影響があったと考えられ、右側縁の微細な剥離痕も同様の影響を受けていると考えられる。全ての石刃に打面調整・頭部調整が確認で

き、打面と作業面の縁辺は潰れているものが多い。大型の石刃は先端部に反りがある。

石刃核 (図 - 26 - 32 ~ 図 - 28 - 36、図 - 29 - 39、図版312・313)

8点(5個体とボサ出土1個体を加えた6個体)を図示している。32~36・39すべてに打面調整・頭部調整が見られる。32~34・36・39は爪状痕のある転礫面を持ち、34・36には側面調整が見られる。原礫面の残る資料は全て転礫が利用されているが、32は球状の転礫を素材とし、34・36は扁平な転礫の側面を作業面に設定している。作業面長が15cm以上の34・36と15cm以下の32・33・35・39に分けられるが、後者は39を除いて石刃剥離の進行した結果、石刃核高が減少しているのが接合資料で確認されている。

石核 (図 - 29 - 37・38、図 - 30 - 40、図版313・314)

3点(3個体)を図示している。37は平滑な原礫面を持つ角の潰れた垂角礫を用い、1回の剥離で作出された打面から調整加工を行わずに正面で剥離を行っている。灰色がかった特徴のある石材であるが赤石山産の分析結果が得られている(章4)。38は爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材とし、正面を1度の剥離で大きく剥離した後、それを打面として左右両側面で厚手の剥片を剥離している。接合資料では正面で剥離された剥片は尖頭器に加工されている。40は爪状痕のある原礫面を持つ楕円形の転礫の側面を交互剥離した石核である。剥離の際に調整は行われない。

斧形石器剥片 (図 - 30 - 41、図版314)

1点(1個体)を図示している。41は片岩製斧形石器の刃部周辺の剥片である。腹面の打点は不明瞭であるが刃こぼれによって剥離されたものと考えられる。本体は出土していないが全面を擦った磨製斧形石器であり、縄文時代のもので混入したと考えられる。

石器ブロック5 (Sb - 5) の分布 (図 - 31 ~ 34)

J20~26、K20~25、L20~26、M21~25、N23~25区の26×20mの範囲に分布しているが、調査区範囲外である北側に分布が広がると考えられる。L22区南東部の空白部は試掘調査(B調査)の行われた地点(図 - 6)であり、本来は分布が連続していたと推定される。L・M22区に6×3mの比較的大きな密度の濃い集中域が認められるが、全体的には半径2m程度の小さな集中域が連続、もしくは、重なったような分布である。尖頭器は分布域全体に分布し、石核類も分布に偏りは見られない。斧形石器剥片は集中部から離れた場所から出土している。

石器ブロック5 (Sb - 5) の接合状況 (図 - 34)

折れ面接合・剥離面接合共に傾斜方向である南北方向で主に接合関係が見られるが、東西方向にも接合関係が認められる。J~L25区の小さな集中域はほぼ独立した接合状況である。

母岩別資料27・接合資料40 (図 - 35・36、図版315 - 1)

母岩別資料は接合40の他、接合41~43・50035、剥片78点で構成され、総点数278点、総重量1,232.1gである。

素材 187点(91個体)が接合し、重量は1,146.6g、大きさは27×14×8cmである。平滑面と角部に爪状痕のある原礫面を持つ長楕円形の垂角礫を素材として正面に原礫面を残し、粗割りされた両面調整体で搬入されている。

剥離工程 正面が凸状で裏面が平坦な断面がD字形に近い両面調整体の主に平坦な裏面を中心に加工が行われる(1~8)。段階9の正面右側縁から左側縁を取り込む打撃で大きく形態が変化しているが、その後は形態を整えるように器面の突出した部分を除去するような加工が行われる。

形態変化：27×14×8 cmの両面調整体で搬入され、26×8×2 cmの尖頭器で搬出されている。長さはほとんど変化していないが、幅・厚さは大きく減少している。

分布 Sb - 5の西半分J~M21~23区から出土しているが、主にL・M22区を中心に分布し、折れ面接合は北西方向に広がるように分布している。集中部の密度は非常に濃い。

母岩別資料23・接合資料29・30 (図 - 37、図版316)

母岩別資料は接合29・30の他、接合31~33・50032、剥片9点で構成され、総点数97点、総重量471.0gである。

素材 接合29は49点(30個体)が接合し、重量は219.9g、大きさは22×8×3 cmである。接合30は26点(18個体)が接合し、重量は189.9g、大きさは21×8×3 cmである。平滑面と角部に爪状痕のある原礫面を持つ亜角礫を素材として薄身に細長い断面形がほぼ対称な凸レンズ状の尖頭器の形状で搬入されている。

剥離工程 接合29・30は石核素材の尖頭器の表裏の関係にあると考えられる。表面は接合30に比べ、接合29がより細かい剥離によって加工されている。両者共に両側縁から均等に加工がなされ、尖頭器自体が左右表裏とも相似的に小型化している。搬入形態が非常に均整のとれた形状であり、そのため、遺跡内での加工も均整のとれた形状を維持しながら順調に進んだと考えられる。剥離に先立って縁辺部を擦って潰すような調整が最初から最後まで行われている。

形態変化：長さ(27)×幅9×(5) cmの尖頭器で搬入され、長さ(25)×幅7×(2.5) cmの細長い形状の尖頭器で搬出されている。長さはほとんど変わらずに幅が2 cm、厚さが2.5 cm減少している。

分布 Sb - 5の西側から出土している。接合29はJK21・22区とLM22区の二か所のまともに見えろが段階による違いではない。接合30も同様に分布が広がっているが段階の差は見られない。

母岩別資料103・接合資料297 (図 - 38・39、図版316)

母岩別資料は接合297の他、接合298・299・50190・50191、剥片59点で構成され、総点数157点、総重量1,123.7gである。

素材 90点(43個体)が接合し、重量は1,030.9g、大きさは22×13×7 cmである。平滑な原礫面を持つ角の円くなった楕円形の扁平な亜角礫素材である。原石の状態で搬入されている。

剥離工程 最初は打面・頭部調整無しで粗い剥離によって整った原石形状を維持するように、全体的に幅・厚さを減じるような加工が行われる(1~6)。粗割りによって断面形が凸レンズ状になると打面・頭部調整を伴う加工(7~12)に変化し、剥離される剥片も薄くなり、本体の器面も凹凸が減り、滑らかに変化している。

形態変化：22×13×7 cmの原石で搬入され、22×9×2 cmの幅広の尖頭器で搬出されている。長さに変化は見られず幅・特に厚さに変化が見られる。

分布 Sb - 5の中央部であるJK22・23区に集中し、調査区域外である北側に分布が広がる可能性がある。折れ面接合は分布同様、南北に広がって確認される。剥離工程による分布の差は見られない。

母岩別資料55・接合資料82 (図 - 39、図版315 - 2)

母岩別資料は接合82の他、剥片6点で構成され、総点数32点、総重量448.7gである。

素材 26点(18個体)が接合し、重量は406.9g、大きさは17×8×6 cmである。平滑な原礫面と角部がわずかに潰れた直方体に近い小型の角礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程 原石を無調整で横方向の剥離(1~5)によって整形した後、縦方向の剥離(6)によって厚さを減じている。薄身になった時点で再び横方向からの剥離(7)によって加工されるが、段階7の剥離では反対側面を取り込む剥離によって幅が減少している。その後も横方向からの剥離(8~

11) によって加工は続けられるが側縁を擦り潰す調整は見られない。

形態変化：(18) × 8 × 6 cmの原石で搬入され、16 × 5 × 2 cmの尖頭器で搬出されている。幅・特に厚さに変化が見られる。

分布 Sb - 5の中央部であるJK23区に散漫に分布している。

母岩別資料92・接合資料271 (図 - 40、図版317 - 1)

母岩別資料は接合271の他、剥片13点で構成され、総点数46点、総重量516.8gである。

素材 33点(27個体)が接合し、重量は500.5g、大きさは17 × 11 × 5 cmである。平滑な原礫面のみで覆われた小型の盤状の角礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程 表裏共に左側縁を中心に加工が行われるが(1~7)、平面形が左右対称に変化した段階で全面的な加工(8~11)に移行している。剥離に先立つ縁辺部の調整は見られず、剥片の打面は大きいものが多い。

形態変化：17 × 11 × 5 cmの原石で搬入され、15 × 7 × 2.5 cmの尖頭器で搬出されている。幅・厚さに変化が見られる。

分布 Sb - 5の東側のJK25区を中心に分布し、段階による差は見られない。

母岩別資料64・接合資料186 (図 - 41、図版317 - 2)

母岩別資料は接合186の他、接合187・50124・50125、剥片79点で構成され、総点数139点、総重量636.3gである。

素材 54点(41個体)が接合し、重量は493.5g、大きさは15 × 11 × 6 cmである。爪状痕のある原礫面を持つ礫素材で、両面とも粗割りされた状態で搬入されている。

剥離工程 厚みのある正面中央部を中心とした剥離(1・2)の後、全面的な加工(3~7)が行われるが、球顆が原因で折損している。折損後、上部破片の折れ面右側縁が再加工されるものの1 cm程度幅を減じた時点で遺棄されている。

形態変化：15 × 11 × 6 cmの両面調整体で搬入され、14 × 6.5 × 2 cmの尖頭器に加工された段階で折損し、8 × 6.5 × 2 cmの破片が再加工されるが、8 × 5 × 2 cmの尖頭器で最終的に遺棄されている。幅・厚さに変化が見られ、当然であるが折損後は長さに変化が見られる。

分布 Sb - 5の西側であるL23区に集中部が見られ、北側には散漫に分布が広がっている。段階による分布の差は見られず最終的に尖頭器は両者ともL22区から出土している。

母岩別資料77・接合資料209・208 (図 - 42・43、図版318 - 1・2)

母岩別資料は接合208・209の他、接合210~217・50140~50144、剥片159点で構成され、総点数337点、総重量1,390.7gである。

素材 接合209は63点(41個体)が接合し、重量は465.5g、大きさは19 × 11 × 6 cmである。接合208は51点(33個体)が接合し、重量は462.9g、大きさは22 × 12 × 5 cmである。両者は平滑な原礫面を持ち角が摩滅した同一の垂角礫から粗割りされた長さ20 cm程度の剥片を素材としている。接合209は一個体の尖頭器調整剥片接合資料で、接合208は二個体(個体A・B)の尖頭器調整剥片接合資料であるが、それらは素材剥片で搬入されている。素材剥片は原石の長軸と直交方向に左右両側縁から剥離されており、横長剥片の長軸に稜を持つ断面三角形の形状を呈する。なお、図 - 43 - 50は接合208の個体Bを外した状態の図で、個体Bを掲載していないため、その位置は模式図を参照して頂きたい。

剥離工程 接合209は素材であるほぼ断面三角形の横長剥片で搬入されている。裏面に素材腹面が残るが、長軸方向中央に稜のある素材背面(正面)を中心に加工が行われる(1~8)。一連の剥離により正面の稜部が平坦になり、断面形が上下対称になると表裏両面で加工が行われる(9~15)。最

初の段階から最後まで加工に伴う縁辺部を擦り潰す調整が見られる。

接合208は個体A・Bで構成され、それぞれ剥片素材の尖頭器調整剥片の接合資料であり、素材面で接合している。個体Aは接合209と同様な素材を利用して素材背面（正面）、そのうち特に突出した部分を除去する加工がなされ（1～5）、器面に凹凸が無くなった段階で全面的な剥離（6～8）に移行している。個体Bは個体Aに先行する剥片を素材にした尖頭器の調整剥片の接合資料で、素材腹面側の4点の剥片が接合している。接合208の個体A・Bとも接合209同様加工に伴う縁辺部の調整が見られる。

形態変化：接合209は20×11×6cmの剥片で搬入され、19×8×2cmの尖頭器で搬出されている。幅・特に厚さに変化が見られる。接合208の個体Aは22×12×5cmの剥片で搬入され、20×7×2cmの尖頭器で搬出されている。幅・厚さに変化が見られる。個体Bは接合資料が少なく不明である。

分布 接合208・209共にSb - 5の西側であるLM22区を中心に分布し、北西方向に折れ面接合が認められる。接合209は段階による分布の差は見られないが、接合208の個体Aの段階7・8と個体Bは散漫ではあるがJK23区を中心に分布し、他の段階とは分布がずれる。

母岩別資料59・接合資料83・84（図 - 44・45、図版318 - 3・319 - 1）

母岩別資料は接合83・84の他、接合85～88・50051、剥片81点で構成され、総点数156点、総重量1,078.7gである。

素材 接合83は38点（22個体）が接合し、重量は381.8g、大きさは21×10×5cmである。接合84は19点（12個体）が接合し、重量は385.9g、大きさは20×7×3.5cmである。接合84は平滑な原礫面を持つ角の摩滅した亜角礫から長軸と直交方向に剥離された大型の横長剥片素材で、接合83は、その剥離面を三面に持つ断面三角形の石核素材であると考えられ、図 - 29 - 38の石核の形状に類似する。接合83は素材である石核の形状で、接合84は大型の尖頭器で搬入されている。

剥離工程 接合83は正面が凸状で、中央の稜を中心に縦方向の剥離によって厚さを減少させている（1）。器面が滑らかになった後、両側面から平坦剥離による加工が行われている（2～4）。一連の剥離では側縁を擦り潰す調整が行われる。

接合84は大型の尖頭器で搬入されている。遺跡内での初期の調整加工の際に先端部（A）が折損し、折損部を中心に再加工が行われる（1・2）が、その途中で再度折損し、その折れ面を中心に再加工（3）が行われる。一連の剥離で側縁を擦り潰す調整がみられる。

形態変化：接合83は22×10×（5）cmの石核で搬入され、19×8×（2）cmの尖頭器で搬出されている。長さ・幅に変化が少ないが、厚みは大きく減少している。接合84は（20）×7×3.5cmの尖頭器で搬入され、二度の折損のため少なくとも17cm長さの減少した尖頭器で搬出されている。

分布 接合83はSb - 5の南東部であるJ～M23・24区に南北方向に帯状に分布し、LM24区に分布の中心がある。接合84は接合83とは若干分布がずれてJ～L23・24区に分布している。段階による差は見られない。

母岩別資料81・接合資料233（図 - 45・46、図版319 - 2）

母岩別資料は接合233の他、接合234・235・50151・50152、剥片71点で構成され、総点数188点、総重量1,996.0gである。

素材 95点（38個体）が接合し、重量は1,773.3g、大きさは18×13×11cmである。全体に爪状痕のある原礫面を持つ円形の転礫素材でほぼ原石の形状で搬入されている。

剥離工程 上面にある原石の端部を斜めに断ち切る剥離面を打面として長軸方向の剥離が行われた（1）後、その剥離面を打面に短軸方向に剥離が行われ（2・3）さらにその広い剥離面を打面にし

て左右両側面で剥片が剥離される（4～6）が、それらは加工されていない。38は石核であるが最終的に粗い三面の剥離面で構成される断面三角形の舟形の形態である。（3）で剥離された個体Aは、長軸に稜が残り、断面三角形の厚手の横長剥片である。個体Aは器軸が剥離軸に直交する素材長軸と一致するように、素材背面の凸部を除去する粗い剥離（1～4）後、平坦剥離（5・6）により尖頭器に加工されている。

形態変化：個体Aは15×11×4cmの剥片が遺跡内で剥離され、（14）×7×（1）cmの尖頭器で搬出されている。厚さが減少している。

分布 Sb - 5の中央部であるJ22～24、K22・23、L22・23・26、M23区に分布している。南北16×6mの範囲に折れ面接合を含め広範囲に分布している。個体Aと個体A以外では分布に違いが見られない。

母岩別資料62・接合資料69（図 - 47～53、図版320～323 - 1）

母岩別資料は接合69のみである。

素材 193点（128個体）が接合し、重量は3,785.3g、大きさは21×18×17cmである。爪状痕のある原礫面に覆われた直方体に近い転礫を素材として原石の形状で搬入している。

剥離工程 正面を打面にして上面において厚手で幅広の剥片（A・B）が剥離された後、その剥離面を打面にして正面で厚手の剥片（C）が剥離される。次に左側面を打面として下面で厚手の剥片（D）が剥離され、さらにその剥離面を打面として裏面で厚手の剥片（E）を含む連続した剥離が行われる。次に、左側面を打面として下面で調整を行った後、右側面を打面として上面で厚手の剥片（F）が剥離されている。これらのA～Fと石核であるGの7点を素材として尖頭器が製作されている。

個体A（図 - 48 - 55）は素材腹面側の調整剥片が接合している。縁辺部が急角度の剥離で加工された後、腹面の中央部に及ぶ剥離で凸レンズ状の断面形に整形されている。剥離の際に縁辺部の調整は見られない。

個体B（図 - 48 - 56）は横長剥片で、素材長軸の両側面から加工が行われる。素材背面側は個体Aと同様に縁辺部の加工から次第に奥まで侵入する加工に変化し、断面が台形から弧状に変化している。素材腹面側はそれとは異なり平坦な形状を反映して最初から中央まで進入する平坦剥離が、前剥離の稜を取り込むように連続的に行われる。折損の原因は不明であるが素材背面側（正面）の剥離は折損前に、素材腹面側（裏面）の加工は折損後に行われている。縁辺部調整は打面の残存している剥片・尖頭器本体に認められる。

個体C（図 - 49 - 57）は背面が原礫面で覆われている。素材断面はD字形で、その背面を中心に加工が行われている。最初は厚手の剥片が左右側面から剥離され（1～3）その後、平坦剥離に変化し（4～6）最終的に断面形は緩やかな弧状である。図 - 49 - 57の図にはないが素材背面側の剥離面を打面とする腹面側の調整剥片が全体の接合資料に接合している。一連の剥離において縁辺部を擦り潰す調整が見られる。

個体D（図 - 49 - 58）は背面の大部分に原礫面を持つ断面三角形の剥片である。最初の剥離ではやや厚手の剥片が剥離される（1～3）が、その段階で器面の凹凸がなくなり断面が弧状に変化し、段階4からは器体の中央より奥に侵入する加工が行われ、左右の加工を繰り返しながら（4～9）徐々に相似的に小型化している。最初から最後まで縁辺を擦り潰す調整が見られる。

個体E（図 - 49 - 59）は背面の大部分に原礫面を残し断面が三角形に近い厚手の剥片である。調整無しで縁辺部から5～10mm内側を加撃し、粗加工が行われる（1～5）が、断面形が好転せず、段階5まで続けられる。段階5の最終剥離には縁辺部を擦り潰す頭部調整が行われ、縁辺部を加撃した線状打面の剥片が剥離され、その腹面形状から最終的には断面形が弧状に変化したと考えられる。

個体F(図 - 50 - 60)は、ほぼ立方体に近い石核から底面を取り込むように剥離されたため打面・背面・両側面・下面がほぼ平坦で腹面がウートゥラパッセ状に内湾している。まず、素材腹面側に張り出した末端部を除去するように打面の大きい粗い剥離が下面から行われ、段階6まで打面を移動させながら表裏面で粗い剥離が継続される。最終段階である段階7で縁辺部を擦り潰す頭部調整の見られる打面の小さい剥片が剥離されている。

個体Gは(図 - 51 - 61)横断面が平行四辺形の石核素材である。断面形が表裏対称で凸レンズ状に近い調整無しの比較的大きな打面の剥片が剥離されるのは3段階までである。この段階で断面形も弧状になり、それ以降は縁辺部を擦り潰す頭部調整のある線状打面の剥片が剥離され(4~6)相似的に小型化している。

本母岩の剥片剥離の特徴は、円形の素材形状を利用して、背面に大きく原礫面を残す帽子状の剥片を打面転移させながら連続的に剥離する点にある。原礫面が除去された後は厚手の盤状の剥片が剥離され、最終的には石核も尖頭器の素材となっている。剥離された帽子状の剥片は尖頭器の素材として凸状の背面を中心として調整加工が行われる。最初は半月形の断面形を弧状にするために剥片の縁辺部の内側を打撃し粗加工が行われ、断面形が弧状に変化した時点で、縁辺部調整(頭部調整)が行われ、縁辺部に近い部分を打撃する加工技術に変化している。形態は初期の加工では大きく幅・厚さが減少するが、後半の段階では相似的に小型化している。尖頭器は全て縁辺部調整を伴う後半の加工段階まで行われた整った状態で搬出されているのが特徴である。

形態変化：12×10×3cmの剥片である個体Aは9×(8)×(1.5)cmの尖頭器に、13×(8)×3cmの剥片である個体Bは9×7×2.5cm(折損品)の尖頭器に、15×11×5cmの剥片である個体Cは11×7×1.5cmの尖頭器に、16×10×3.5cmの剥片である個体Dは15×6×1cmの尖頭器に、15×11×10cmの剥片である個体Eは11×6×(1)cmの尖頭器に、18×13×10cmの剥片である個体Fは12×8×2cmの尖頭器に、16×14×4.5cmの石核である個体Gは15×10×2cmの尖頭器に加工され、折損した個体B以外は全て搬出されている。

分布 全体の分布(図 - 51)を見るとSb - 5のJ~L21・22、M22区とJ23、K~M23・24区の二つの集中域に分けられる。は南北方向に接合する折れ面接合を含め散漫な分布を示しているが、は南北方向で折れ面接合が見られるもののM23・24区に明確な集中部がある。次に、個体単位で示したのが図 - 52・53である。個体Aはほとんどがの集中域に、個体B~Dは全ての集中域に分布するのに対し、個体Eは1点を除きの集中域に、個体Fは粗い加工の段階1~6はに、頭部調整の見られる段階7はに分布している。個体Gも個体Fと同様に粗い加工の段階1・2と3の途中までがに段階3の途中から頭部調整の見られる段階4~6がに分布している。また、個体A~G以外の剥片は折れ面接合している1点を除き全ての集中域に分布している。全体の分布同様、個体単位でもの集中域からは散漫な、の集中域からは集中した分布が見られる。密度の違いは形成過程や埋没後の影響の違いが想定される。分布状況を整理すると一次剥離による剥片と個体E、個体F・Gの粗加工段階の剥片がの集中域に分布し、個体A~D、個体F・Gの縁辺部を調整して剥離された段階の剥片がの集中域に分布している。

母岩別資料47・接合資料91(図 - 53、図版323 - 2)

母岩別資料は接合91のみである。

素材 36点(23個体)が接合し、重量は878.2g、大きさは19×17×6cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫の端部を削ぎ落とすように剥離された、背面が全て原礫面に覆われた剥片で搬入されている。尖頭器と素材剥片の長軸は一致せず、斜めに設定されている。

剥離工程 素材の打面部・先端部を中心に調整無しで縁辺から1cm程度内側を打撃する粗い加工が行われる(1~3)。その後、頭部調整を伴う平坦な加工により整形されている(4~6)。形態変化:19×17×6cmの剥片で搬入され、16×9×2cmの尖頭器で搬出されている。軸がずれているため長さが短くなり、幅・厚さ共に大きく減少している。

分布 Sb-5のJ22・23、K23、L23・24、M24区とりわけL24区を中心にまとまって分布する。

母岩別資料53・接合資料80(図 - 54・55、図版324)

母岩別資料は接合80の他、剥片2点で構成され、総点数27点、総重量4,552.3gである。

素材 25点(11個体)が接合し、重量は4,548.8g、大きさは25×15×12cmである。爪状痕のある原礫面を持つ楕円形の転礫を素材としている。

剥離工程 右側面から正面裏面の中央部で交互に粗い剥離が行われている(1~6)が、剥片は加工されていない。尖頭器の素材剥片を目的に剥片剥離が行われたが、適した大型の剥片が得られずに剥片剥離作業が終了したと考えられる。

分布 Sb-5のJK23、L23・24、M24区に帯状に散漫に分布し、同様に折れ面接合が帯状に認められる。石核はL24区から出土している。

母岩別資料46・接合資料90(図 - 55、図版323-3)

母岩別資料は接合90のみである。

素材 4点(3個体)が接合し、重量は481.0g、大きさは15×9×6cmである。平滑面と爪状痕のある原礫面を持つ小型の原石素材で裏面に大きな剥離痕のある状態で搬入されている。

剥離工程 正面のみが加工されているが、右側縁の縁辺部は全て調整されている。最終剥離である正面右からの加工がヒンジであったためか粗加工で本体は遺棄されている。

分布 Sb-5のK22・L22区から出土している。

母岩別資料29・接合資料62(図 - 56~61、図版325~329)

母岩別資料は接合62の他、接合63~68・50041・50042、石刃1点、剥片127点で構成され、総点数446点、総重量7,227.3gである。

素材 288点(161個体)が接合し、重量は6,330.7g、大きさは28×22×21cmである。爪状痕のある原礫面を持つ楕円形の大型転礫を素材として原石の形状で搬入されている。

剥離工程 大型の原石が長軸方向に個体A・Bに二分割される。分割面は非常に平坦である。素材の大きさは個体Aが28×20×11cm、個体Bが27×20×12cmでほとんど変わらない。

個体A(図 - 57-66)は分割面を右側面に設定し、右側面から裏面上部を削ぎ落とすように裏面調整が行われ(1)、側面調整(2)を挟んでさらに裏面の側面形が凹状になるまで調整(3)される(図版327)。その後、打面調整(5)を伴う石刃剥離(6)が行われるが初期の石刃はほとんど欠落している。石刃核は石刃剥離に伴って高さが減少し、最終的には半分程度になっている。残存する石刃は石刃核に接合するような終盤の15cm以下の石刃が多く、初期に剥離されたより長い石刃は搬出されたと考えられる。

個体Bは分割面を裏面に設定し、分割面から両側面に調整加工を施し(1)、断面三角形で細長い形状の母型が作成される。接合していないが、その際に剥離された厚手の剥片を素材として尖頭器が製作されている。次に調整を挟みながら以下の流れで上設打面から石刃が剥離される。上設打面作出(2) 石刃剥離(3) 左側面調整(4) 石刃剥離(5) 右側面調整(7) 石刃剥離(8) 右側面調整(9) 石刃剥離(10)、石刃剥離(3・5・8・10)の際には打面調整(6)が行われる。段階10の初期の石刃である24は長さ20cm、段階10最後の石刃である17は12cmで石刃核の高さ

の減少に伴い小型化している。これらの間の石刃はほとんどが欠落し、その間で剥離されたと推定される長さ15～20cmの石刃は搬出されたと考えられる。石刃核が一連の石刃剥離によって平坦で平面形U字状に変化した時点で180度の打面転移が行われ、下設打面作出(11) 左側縁で石刃剥離(12)

打面と作業面を入れ替えて右側縁で石刃剥離(13)が行われる。さらに、180度の打面転移が行われ、上面打面作出(14)後、石刃が剥離されている(15)。再度、180度の打面転移が行われ、途中で側面調整(17)を挟む石刃剥離(16)が行われる。

分布 個体AはSb - 5のJ～L21～23、M22区に分布し、特にLM22区に集中している。石刃剥離前の石核調整である段階1～3と石刃剥離段階4～6とでは主な分布に違いが見られないが、段階5の打面調整剥片の一部と段階6の石刃の一部がJ22・23区に分布する。個体Bは段階によって分布に違いが見られ、石核調整と上設打面からの石刃剥離の段階1～10はSb - 5の西側であるJ21・22、KL21～23、M22区に分布し個体Aとほぼ一致し、下設打面作出以降の段階11～17・石刃核はSb - 5の中央部であるJ22・23、KL23区に分布する。

母岩別資料28・接合資料74(図 - 62～64、図版330・331)

母岩別資料は接合74の他、接合75・76・50047・50048で構成され、総点数75点、総重量4,452.1gである。

素材 61点(25個体)が接合し、重量は4,190.4g、大きさは22×19×12cmである。爪状痕のある原礫面を持つ扁平な転礫素材である。打面部が横からの剥離によって剥離された状態で搬入されている。

剥離工程 扁平な原石の側面に作業面を設定し、正面から左右両側面に稜形成が(3～6) 打面から左側面に側面調整が行われる(7)。その後、打面調整を行いながら石刃が剥離され(8) 最後に剥離された石刃30の末端部はヒンジになり、剥離は終了している。遺跡に残存した石刃23・25・22は全て側面を取り込むもので、作業面中央で剥離された石刃は欠落し、搬出されたと考えられる。

分布 Sb - 5の西側であるJ～L21・22区に分布しているが、散漫で、折れ面接合も広範囲にわたる。また、段階による差も見られない。

母岩別資料56・接合資料77(図 - 65・66、図版332)

母岩別資料は接合77の他、接合78・79・50049・50050で構成され、総点数71点、総重量3,637.8gである。

素材 58点(32個体)が接合し、重量は3,273.4g、大きさは24×19×10cmである。爪状痕のある原礫面を持つ扁平な円形の転礫素材である。ほぼ原石の状態で搬入されている。

剥離工程 横方向からの剥離(1)後、正面から縦方向の剥離(2)によって打面が作出され、正面の作業面には左側面からの剥離(4)による稜調整が、左側面には下面からの側面調整(3)が行われている。石核調整後、打面調整(8)を伴う石刃剥離が行われる(5・7・9・11)が、末端部形状がヒンジの石刃剥離によって作業面形状が悪化した際には段の付いた部分を中心に左側面からの作業面調整が行われている(6・10)。石刃のほとんどが欠落しており、17～20cmの石刃が搬出されたと考えられる。

分布 Sb - 5の東側であるJ～M23・24区に南北に伸びる形で分布している。折れ面接合も同様に南北方向に確認され、段階・器種による差は見られない。

母岩別資料57・接合資料73(図 - 67、図版333)

母岩別資料は接合73のみである。

素材 51点(35個体)が接合し、重量は1,654.0g、大きさは21×18×11cmである。原礫面が爪状痕

のある角部、比較的爪状痕の少ない平坦部、古い剥離面で構成される横断面形がD字状の盤状の垂角礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程 古い剥離面である左側面から調整を伴わない連続した剥離によって側面形が弧状になるように作業面が調整される(1)。上面に縦方向(2)・左側面(3)からの剥離によって打面が作出され、打面調整を行いながら石刃が剥離される(5)。左側面を取り込む調整を伴わない石刃は厚手のものとなっている。また、頻繁な打面再生によって石刃核の高さは半分程度に減少したと推定される。作業面中央部の10~15cmの石刃は出土せず、搬出されたと考えられる。

分布 Sb - 5 のJ~L23・24、M24区に分布し、段階・器種による差は見られない。

母岩別資料60・接合資料72(図 - 68~70、図版334・335)

母岩別資料は接合72のみである。

素材 83点(42個体)が接合し、重量は2,443.7g、大きさは21×17×14cmである。爪状痕のある原礫面を持つ円形の転礫を素材としている。上面に大きい剥離面のある状態で搬入されている。

剥離工程 上面の平坦面を打面として左右側面で厚手の剥片が剥離され(1)、右側面から剥離された厚手の剥片(A)は尖頭器に加工されている。正面でも同様に厚手の剥片が剥離されており、この段階では平坦な左右側面、正面を持つ石核形状をしている。その後、打面調整(2)を伴う石刃剥離(3)が行われるが、正面の作業面が平坦なためこの段階の石刃は比較的薄手で幅広の石刃である。一連の剥離によって作業面の横断面形は弧状に変化し、それに伴って石刃形状は相対的に厚く幅の狭い形態に変化していると推定される。しかし、段階3以降に剥離された15cm位の石刃はほとんどが欠落し、遺跡に残っているのは最終段階(4・6)のやや短め(10~12cm)の石刃が多い。途中、稜調整が行われる(5)が、その後、数回石刃剥離が行われた後に剥離は終了している。

個体A(図 - 68 - 75)は段階1で剥離された15×(9)×(3)cmの厚手の剥片で、凸状の背面を中心に尖頭器に加工される(1~4)が、最終剥離が端部を取り込んでしまい1/3程度短くなり、11×6×2.6cmの尖頭器(図 - 68 - 13)で遺棄されている。尖頭器自体は被熱している。

分布 全体としてはSb - 5の北部であるJK22~24、LM23・24区に南北方向に帯状に分布している。段階による差が見られ、個体Aを含む段階1はJK23区を中心に、段階2(打面再生剥片)段階3の後半・段階4の石刃はLM24区を中心に、段階3の前半・段階5・6は主にK23・24区を中心に分布し、石刃核はM23区から出土している。

母岩別資料61・接合資料44(図 - 70・71、図版336)

母岩別資料は接合44の他、接合46で構成され、総点数29点、総重量1,273.3gである。

素材 26点(17個体)が接合し、重量は997.9g、大きさは14×12×12cmである。爪状痕のある原礫面を持つ円形の転礫素材で原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程 円礫の端部を削ぎ落とすような剥離で作出された打面から横断面が三角形になるように左右両側面に厚手の剥片剥離が行われ(1)、その頂点の稜を取り込むように石刃が剥離されている(3)。裏面下部には石核調整が見られる(2)。接合資料には石刃部分が欠落しており、搬出されたと考えられる。右側面調整時に剥離された10×14×4cmの厚手の剥片である個体A(図 - 71 - 78)は9×3.5×1.5cmの尖頭器に加工されるが、加工途中で折損し、遺棄されている。尖頭器はほとんどが調整を伴わない打面の大きい剥離で加工されている。

分布 Sb - 5のJ23、K~M23・24区から出土している。南北15mに非常に散漫に分布し、折れ面接合・個体Aの分布も同様の分布を示す。

母岩別資料34・接合資料118(図 - 72・73、図版337 - 1)

母岩別資料は接合118の他、接合119～127・50074～50078、石刃1点で構成され、総点数150点、総重量1,306.6gである。

素材 99点(48個体)が接合し、重量は1,043.2g、大きさは23×15×10cmである。平滑面と潰れた角部を持つ亜角礫を素材として横断面が菱形の両面調整体で搬入されている。

剥離工程 左側面を中心に正面・裏面から交互に横断面が凸レンズ状になるように調整されている(1～4)。正面は左右両面への加工により稜形成が行われ、特に稜部は細かい剥離によって側面形が弧状に仕上げられている。その後、正面を中心に打面調整を伴う石刃剥離が行われるが、作業面を左側面側にずらしながら行われ(5)、凸レンズ状の断面形は維持される。また、稜付石刃剥離後も稜調整が継続して行われ(6)、側面・断面形は維持され、相似的に小型化している。最終的に石刃核が17×10×(3)cmになった段階で加工は左側面全面に施され(7～10)、15×10×(1)cmの尖頭器で搬出されている。石刃は作業面正面の稜付石刃は残存しているが、正面左の15～20cmの石刃は欠落しており、搬出されたと考えられる。

分布 Sb - 5のJK22～24、LM23・24区に分布している。石刃剥離段階(5・6)はJK22～24、LM23・24区に北西方向に帯状に分布するのに対し、最初の石核調整段階(1～4)、最後の尖頭器調整段階(7～10)はJ～M24区に南北方向に帯状に分布し、それぞれは排他的である。

母岩別資料45・接合資料89(図 - 74、図版337 - 2)

母岩別資料は接合89の他、接合50052、剥片1点で構成され、総点数14点、総重量141.3gである。接合50052は、細長い石刃の先端に軽微な加工で刃部が作出された搔器である。

素材 10点(3個体)が接合し、重量は106.3g、大きさは12×7.5×2cmである。平滑面を持つ原石(おそらく亜角礫)を素材として石刃核で搬入されている。

剥離工程 頭部調整・打面調整を伴って石刃が剥離され、その内1点が搔器に加工されている。連続した石刃が接合し、非常に細長い石刃を含むことから、石刃核で搬入され石刃剥離・二次加工が行われたと考えられる。

分布 Sb - 5のJ21～23、K22・23、L23区にまばらに分布し、搔器はJ21区から出土している。

母岩別資料54・接合資料81(図 - 74、図版333)

母岩別資料は接合81の他、剥片1点で構成され、総点数21点、総重量537.6gである。

素材 20点(5個体)が接合し、重量は536.2g、大きさは12×9×6cmである。角が摩滅した四角い亜角礫素材で、原石で搬入されている。石質は灰色がかり2mm程度の球顆を含む特徴的な石質であるが、産地分析の結果、赤石山産であった。

剥離工程 正面からの打撃で打面作成後、正面で剥片が剥離されている。二回の剥片剥離後、石核は遺棄されている。

分布 Sb - 5のJK22・23、LM23区に散漫に分布し、石核と最終剥離の剥片はM23区から出土している。

模式図・写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料104・接合資料300(図 - 75、図版338・339)

母岩別資料は接合300の他、接合301～303、剥片91点で構成され、総点数327点、総重量1,465.2gである。

素材 229点(116個体)が接合し、重量は1,320.7g、大きさは28×20×7cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、分割して製作された個体A・Bの二つの尖頭器で搬入されている。

剥離工程 図版338・339 - 84は表裏共に分割された平坦面が残り、原石を輪切りにしたような分割が行われているが、個体A・Bの接合面を観察すると原石中に潜在的な傷があったようで、分割した段

階で同時に個体A・Bが分離されたと考えられる。これらは、素材段階では図 - 75の模式図のA・Bの形態であったが、両者共に尖頭器に粗加工された後に遺跡に搬入されている。

個体A（図版338 - 85）は、正面上下両端部と突出する左側縁・正面の稜部を除去するようにその稜を取り込むやや粗い加工が行われ、形状を整えた後、全面的な細かい加工が施されている。細かい加工の段階では縁辺部を擦り潰す調整が行われ、線状の打面形状を持つ剥片が剥離されている。

個体B（図版339 - 86）は、搬入時の平面形は比較的整った木葉形であるが、器面に凹凸があり、それを除去する加工が最初に行われる。しかし、それは全体の形態を変化させるものではなく、加工技術はその後の細かい調整と変わらない。その後は全面的な平坦な加工が行われている。縁辺部を擦り潰す調整が見られ、剥片の打面は線状である。

形態変化：個体Aは素材とほとんど変わらない大きさの25×11×6cmの粗加工された尖頭器で搬入され、22×8×2cmの尖頭器で搬出される。個体Bは28×15×7cmの素材から26×12×6cmの粗加工された尖頭器で搬入され、24×9×2cmの尖頭器で搬出されている。両者共に搬入時と搬出時の規格は類似している。

分布 個体A・B共にSb - 5の東側であるJ～M24区を中心に南北方向に帯状に分布し、密度が高い。折れ面接合も南北方向に分布している。個体・段階毎の差は見られない。

母岩別資料63・接合資料178（図 - 75、図版340 - 1）

母岩別資料は接合178の他、接合179～181・50122、剥片51点で構成され、総点数200点、総重量1,063.4gである。

素材 141点（97個体）が接合し、重量は989.9g、大きさは26×12×8cmである。原礫面を持たないため原石形状は不明。粗加工された尖頭器で搬入されている。

剥離工程 裏面の分割面と考えられる広い平坦面から正面左右側面に粗加工が行われた断面三角形の尖頭器で搬入されている。正面の稜部を除去し器面を滑らかにする整形が行われるが、この段階で尖頭器本体の先端部である15を球顆が原因で欠損し、その後、本体である尖頭器に再加工が行われている。一連の加工では縁辺部を擦り潰す打面調整が見られる。

形態変化：26×12×8cmの尖頭器で搬入され、25×10×3cmの段階で折損し、本体である19×10×3cmの尖頭器に再加工が行われ、17×7×1.5cmの尖頭器で搬出されている。折損の影響で長さが大きく変化している。

分布 Sb - 5のJ～L21・22、M22区に分布し、特にL22区の密度が高い。分布・折れ面接合共に南北方向に広がるが、段階による差は見られない。

母岩別資料86・接合資料249（図 - 76、図版341）

母岩別資料は接合249の他、接合250～259・50156～50160、剥片226点で構成され、総点数455点、総重量2,295.6gである。

素材 177点（114個体）が接合し、重量は1,589.6g、大きさは32×14×11cmである。平滑な原礫面を持つ長軸が湾曲した角礫を素材として、原石に近い形で搬入されている。

剥離工程 裏面の石核調整を行わずに、縁辺部を擦り潰す打面調整を繰り返しながら石刃が剥離されている。石刃剥離の途中で正面から右側面に側面調整が行われる。一連の石刃剥離で厚手の打面調整剥片（A）、厚手の石刃（B・C・F）、厚手の右側面調整剥片（D・E）、石刃核（G）が尖頭器に加工されている。厚手の打面調整剥片（A）は加工途中で縁辺の角度が鈍角になり遺棄される。厚手の石刃（B・C・F）素材の尖頭器は、個体B素材の折損した尖頭器、個体F素材の折損した図 - 76 - 2が出土している。厚手の右側面調整剥片（D・E）素材の尖頭器本体は出土していない。最終的には

石刃核(G)を素材として尖頭器が製作される。石刃核は打面調整を繰り返した結果、高さが半分ほどに減少している。初期の15~20cmの石刃はほとんど出土せず、最終段階の15cmほどの石刃が数点出土している。

形態変化：個体Aは15×11×2cmの剥片から8×5×2cmの尖頭器未成品が遺棄されている。個体Bは(15)×5×(2)cmの石刃から加工中に折損して(8)×5×(2)cmの尖頭器が搬出されている。個体Cは16×(7)×(2.5)cmの石刃から(14)×(5)×(1.5)cmの尖頭器が製作され、搬出されている。個体Dは12×7×(2)cmの剥片から(11)×(6)×(1.5)cmの尖頭器が製作され、搬出されている。個体Eは11×5×1.5cmの剥片から(11)×(5)×(1)cmの尖頭器が製作され、搬出されている。個体Fは12×5×(3)cmの石刃を素材として加工が行われ、途中で末端部が折損し、約2cm短くなるが、再加工されている。その後、中央で折損し10×4×1.5cmの尖頭器で遺棄されている。個体Gは14×7×4cmの石刃核を素材として加工が行われ、(13)×6×(1.5)cmの尖頭器で搬出されている。

分布 Sb - 5の南側、主にL~N23・24区を中心に南北に分布し、折れ面接合も同様に広範囲に認められる。尖頭器に加工された個体A~Gとそれ以外の分布に違いは見られない。

母岩別資料102・接合資料290 (図 - 77、図版342・343 - 1)

母岩別資料は接合290の他、接合291~293・50184・50185・50322、剥片38点で構成され、総点数143点、総重量1,571.8gである。

素材 87点(49個体)が接合し、重量は1,305.3g、大きさは21×16×14cmである。爪状痕のある原礫面を持つ円形の転礫を素材として右側面は正面から、左側面は上面から、裏面は左側面からの剥離によって横断面三角形に整形された母型の状態で搬入されている。

剥離工程 正面に左右からの稜形成(1)後、石刃が剥離される(3)。打面調整は頻繁に行われ(2)、縁辺部を擦り潰す頭部調整も行われている。石刃は横断面三角形の頂点である稜から剥離されているが、石刃剥離が進むにつれ作業面形状は平坦になり、それに伴って石刃核(4)も薄く幅広の形状に変化している。この段階で石刃剥離を終了し、続いて正面・裏面で左右両側面からの縁辺部調整を伴わない剥離によって尖頭器の加工に移行している。

稜付石刃、初期の石刃、最終段階の石刃は出土しているが中間段階の15cm程度の石刃は欠落し、搬出されたと考えられる。

形態変化：石刃剥離後の15×13×5cmの石刃核を素材として14×9×3cmの尖頭器が製作され、搬出されている。

分布 Sb - 5のJK21~23、L22~24区に分布する。段階によって差が見られ、稜形成・打面調整・石刃剥離の段階1~3はJK23区を中心に比較的まとまって分布するが、最後の尖頭器製作段階である段階4はJ21~23、K21・22、L22・23区に散漫に分布する。

母岩別資料87・接合資料260 (図 - 77、図版340 - 2)

母岩別資料は接合260のみである。

素材 38点(29個体)が接合し、重量は132.1g、大きさは13×5×3cmである。平滑な原礫面を持つ小型の細長い角礫素材で、原石で搬入されている。原石の肉眼的特徴は母岩86に酷似している。

剥離工程 表裏共に上下端部の加工後、全面的な加工が行われる。原石形状が表裏対称であるため、加工は両面均等に行われる。途中で尖頭器は折損し、9のみが出土している。折損した半分も長さが6cm程度で小さく、再加工時の調整剥片も接合していないことから搬出されたかどうかは不明である。
形態変化：(14)×5×3cmの原石から(11)×3×1cmの段階の尖頭器で折損している。

分布 Sb - 5 のK22、LM23、N23・24区に南北方向に帯状に分布する。

母岩別資料73・接合資料140 (図 - 77、図版343 - 2)

母岩別資料は接合140の他、接合676～678・50136、剥片21点で構成され、総点数80点、総重量182.3gである。接合140は尖頭器の片側にあたるが、反対側の調整剥片の接合資料も母岩別資料に含まれている。

素材 34点(24個体)が接合し、重量は114.6g、大きさは15×7×3.5cmである。平滑面で覆われた小型の細長い角礫素材で、原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程 正面に右側面から剥離された一枚の剥離面を持ち、その剥離面の稜の突出部を除去する加工が行われた後、表裏共に全面的な加工がなされる。

形態変化：16×6×4cmの原石に近い形状で搬入され、15×5×1cmの尖頭器で搬出されている。厚さが大きく変化している。

分布 Sb - 5 のJ21～23、K122・23区に散漫に分布している。

母岩別資料76・接合資料207 (図 - 77、図版343 - 3)

母岩別資料は接合207の他、剥片8点で構成され、総点数28点、総重量127.7gである。

素材 20点(16個体)が接合し、重量は115.3g、大きさは12×8×3.5cmである。原礫面が無く原石形状は不明である。風化した腹面を持つ剥片素材で、剥片で搬入されている。

剥離工程 剥片の先端部を調整後、縦長剥片が剥離されているが、先端部を取り込んでしまい、本体の形状が木葉形に変化している。その後、表裏両面で加工が行われる。

形態変化：12×8×3.5cmの剥片で搬入され、12×5×1cmの尖頭器で搬出されている。

分布 Sb - 5 のK～M23区に分布し、特にM23区にまとまっている。(鈴木宏行)

(9) 石器ブロック6～11(Sb - 6～11)の石器

Sb - 6～11は、段丘の北東部に位置し、北東に張り出す段丘上で最も広い平坦面の付け根に位置している。

出土石器(表 - 4)

尖頭器27点、彫器69点、彫器削片36点、搔器28点、削器、31点、錐形石器2点、舟底形石器67点(小型舟底形石器17点)、二次加工ある剥片20点、石刃98点、縦長剥片104点、石刃核9点、石核18点、剥片9243点、原石2点、礫1点、石刃鏃1点、斧形石器2点の計9,758点、重量58,032.3gの石器類が出土した。ただし、点取り遺物として取り上げられにくい微細な遺物である彫器削片、舟底形石器削片が一括遺物としてそれぞれ334点、6点出土している。石材は黒曜石4が73.3%で最も多く、次いで黒曜石1の23.9%、以下黒曜石3(2.0%)、黒曜石5(0.4%)、頁岩(0.3%)、安山岩(0.04%)、黒曜石2(0.02%)、めのう(0.02%)、砂岩(0.01%)、緑色泥岩(0.01%)である。頁岩は白色のものが多く、30点中11点を彫器が占め、剥片以外はほとんどが彫器である。器種毎の石材の割合を見ると黒曜石4の比率が高いのは、尖頭器(88.9%)・搔器(64.3%)・削器(58.0%)・小型舟底形石器(88.2%)・石核(72.2%)で、黒曜石1の比率が高いのは、彫器(50.7%)・石刃(61.2%)・縦長剥片(61.5%)・石刃核(77.8%)である。また、斧形石器は2点とも安山岩が利用されている。

尖頭器(図 - 78 - 1～図 - 80 - 22、図版344・345)

29点(21個体と層出土1個体を加えた22個体)を図示している。1は完形、2～8は先端部、9～13は中間部、14～20は基部である。21は未成品の可能性もある。加工の状態から器体全体に細かい剥離が見られるもの(類)、器体の中央に平坦剥離が残り、縁辺部に角度のある細かい剥離(平行

剥離を含む)が見られるもの(類)、器体全体に平坦剥離(平行剥離を含む)が見られるもの(類)、器体全体にやや粗い剥離が見られるもの(類)の4種類に分けられる。

類は5・14・15である。断面形は菱形で、全て細長く、5は全体でも最も細長い形状である。また、全て末端部で、平坦剥離面を持つ 類の末端部である可能性がある。類は1・3・6・8・9・11・18である。1・3は長幅比の大きい細長い尖頭器であり、2の正面観は左右非対称である。6・9は同一母岩と考えられる灰色がかかった特徴的な石質で9はケショマップ産の分析結果が得られている。8は中央に平坦剥離面が広く残存し、本体の幅も広い。11は他の尖頭器と比較して基部が作り出されているが、折損後の再加工によるものであり、本来の形態とは異なる。18は未成品と考えられる21を除くと大型の石刃もしくは剥片素材と考えられる唯一の尖頭器である。加工は素材背面を中心に行われ、中央部の平坦剥離と縁辺部の角度のある剥離によって断面形は台形状である。また、素材腹面側はバルブを除去するように打面部のみ行われている。類の断面形は幅広のものは潰れた六角形で幅の狭いものは菱形に近い。類共に縁辺部の細かい剥離は裏面縁辺の剥離の稜の頂部を加撃しているため側縁観は交互剥離状にギザギザとしている。また、それらの加工の間隔は3~5mmと規則的で押圧剥離によるものと考えられ、中央の平坦剥離段階と縁辺部の細かい加工の段階では剥離方法が変化していると思われる。類は4・7・10・12・16・17・19である。19を除く全てに中央に達する幅5mm程度の平行剥離が認められる。幅広の平坦剥離で覆われている19は、折損後、再加工が行われ、さらに折損し、本体の長さは3cm程度短くなっている。断面形は凸レンズ状である。類は13・20~22である。13は先端部の折損後、左側縁・折れ面から再加工が行われるが、中央で折損し、再び左右両側縁・折れ面から再加工が行われるが、最終的に折損している。21は大型の石刃素材で、尖頭器の未成品と考えられる。正面下部は平坦剥離によって、裏面は縁辺部が比較的急角度の剥離で加工されている。正面右側縁で階段状の剥離が連続し、正面の稜を除去できずに遺棄されたと考えられる。素材石刃は複剥離打面で頭部調整が見られる。22は非常に幅広で大型である。全体的に粗い平坦剥離で加工されている。基部側で折損後、折損部右側縁を再加工しているが正面右下部の瘤を除去できずに遺棄されている。

大きさに関しては折損品が多く、長さの比較はできない。幅は類が3cm前後で、類が4~5cm、類が5~7cmのものが多く、類型毎のばらつきが見られるが、厚さは類と類では差が無く0.5~1cm、類は1.5~2cmである。これらの技術的特徴と形態的特徴から類~類は素材形状にも影響されるが、基本的には製作段階の違いを示していると考えられる。つまり、粗い加工が行われた(類)後、器体を薄く整える平坦剥離が行われ(類)、最終的に縁辺部のみ平行剥離で形態が整えられている(類)。また、類~類は全て他に同一母岩資料を持たず、類の20・22のみ母岩別資料に含まれている。尖頭器製作の接合資料が多く存在するにも関わらず、それらの接合資料とは接合関係を持たないこれらの尖頭器はほとんどがツールの形で搬入され、遺跡内で製作された尖頭器は全て搬出されたと考えられる。全体的に両側縁が直線的で明確な最大幅部を持たず、基部・先端部の区別が困難であるのが特徴である。

彫器(図 - 80 - 23~図 - 82 - 89、図版346・347)

68点(66個体と層出土1個体を加えた67個体)を図示している。彫刀面は周縁加工のない78・88を除いて全て右肩の彫刀面打面から左肩に作出され、素材の先端側に作出されるものが約8割を占める。彫刀面打面形状はノッチ状のものと側縁と連続的な細部調整がある。彫器は彫刀面傾斜角(図 - 5)によって以下の大きく二つに分けられる。

類：彫刀面が背面に傾くもので彫刀面傾斜角(彫刀面と素材腹面のなす角度)が鋭角である。

類：彫刀面が腹面に傾くもので彫刀面傾斜角（彫刀面と素材腹面のなす角度）が鈍角である。

78・88は縦長剥片の側面に無調整打面から彫刀面が作出されており、類どちらにも該当しない。類の彫刀面は素材腹面と彫刀面打面の角に打点があるが、類の彫刀面は素材腹面と彫刀面打面の角ではなく、1～2mm程度背面側に打点がある。また、彫刀面打面と素材腹面のなす角度は前者が鋭角、後者が鈍角のものが多い。つまり、両者の彫刀面打面形状は異なり、また、打点位置・彫刀面傾斜角の違いから類の彫刀面再生は彫器縁辺の角に腹面側から背面側にななめに力を加えて行われ、類の彫刀面再生は彫器縁辺から背面の1～2mm内側に背面側から腹面側にななめに力を加えて行われている。

周縁加工は、78・88を除き全てに行われるが、彫刀面打面のみ39・79・89、彫刀面打面と彫刀面端部のみ40・41・74・81・83以外は全周縁に加工が行われ、その内26・34・38・44・46～50・52～54・58・60・66・71～73・75～77・80・82・87は背面の全周縁に、それ以外は背面の全周縁と腹面の基部を中心とした両面に加工が見られる。両面加工の彫器のうち、32・35・42・45・55・68には背面を覆うような加工が見られる。全体的に背面は急角度の、腹面は平坦な剥離で加工されている。41・75・76は折れ面に彫刀面が作出されている。背面先端部調整（図 - 5）は類には見られないが、類には、黒曜石製では46、折れ面に彫刀面が作出される75・76を除いて行われ、頁岩、めのう製では82・83・88・89以外に行われる。そのうち7割程度の調整は最終彫刀面剥離面に切れ、打点が無い。

25・27・36・40・42・54・55・59・68は素材面と彫刀面を含む二次加工面の表面状態が異なる。素材面は全体的に傷が多く、稜にもやや潰れが見られるが、二次加工面には傷が無い。それらの面には時間差があったと考えられ、実験的に解明しなければならないが、素材で運搬される過程等で表面に傷が残り、別の場所で加工が行われたと想定される。

素材打面の残るものはほとんど無いが、単剥離打面と複剥離打面のもが見られる。形態軸・彫刀面交叉角（図 - 5）は55～80度のものがほとんどで、60～75度のものが多い。

23～78は黒曜石製である。類は23～41で、石刃・縦長剥片素材が23～39、剥片素材が40・41である。類は42～77で、石刃・縦長剥片素材が42・43・45～73・75～77、剥片素材が44・74である。79～88は頁岩製、89はめのう製で全て類である。81以外の頁岩は白色である。81・84～88は石刃・縦長剥片素材で、79・80・82・83・89は剥片素材で黒曜石に比べ剥片素材が多い。79～83・89は主に彫刀面打面のみ加工の見られるものである。84～87は急角度の周縁加工が見られるものである。88は打面を作出しないで彫刀面打撃が行われている。79・81・82・85は彫刀面打面を器体の中央に及ぶ大きいノッチで作出するもので黒曜石ではほとんど見られない。

彫器削片（図 - 82 - 90～図 - 83 - 160、図版347）

82点（3個体と層出土68個体を加えた71個体）を図示している。全て左肩の彫刀面から剥離された彫器削片で90～157が黒曜石製、158がめのう製、159・160が頁岩製である。黒曜石製のうち、90～105・107～110は背面に残る彫刀面と素材腹面のなす角度（削片が剥離される直前の彫刀面傾斜角）が鋭角である特徴を持ち、類の彫器から剥離されたと考えられる削片で、90～97が完形、98～108が頭部、109・110が中間部である。90は背面全体に折れ面を持ち、彫刀面が折れ面に作出されたのが分かる一次削片である。98・109・110は背面全体に素材腹面からの二次加工面を持ち、最初の彫刀面打撃によって剥離されたと考えられる一次削片である。98は削片の腹面と素材腹面のなす角度が鈍角で109・110は鋭角である。剥離後の彫刀面形状は前者が類、後者が類に変化している。一次削片の削片剥離段階で類・類の彫刀面形態が決定していたと考えられる。また、一次削片ではないが、91・92・94・99・105の背面には彫刀面に切られる母型作成時の周縁加工が残る。95・96・100～

104・109・110には彫刀面を切る素材腹面からの加工が残る。これは、彫刀面再生後に素材腹面から彫刀面に調整が行われたものである。106・111～153は背面に残る彫刀面と素材腹面のなす角度（削片が剥離される直前の彫刀面傾斜角）が鈍角である特徴を持ち、類の彫器から剥離されたと考えられる削片で、111～125が完形、126～139が頭部、140～143が中間部、144～153が末端部である。完形のうち111～121は断面四角形の削片で122～125は素材背面を含まない断面三角形の削片である。素材背面が残るもののうち、背面先端部調整の無いものは121・140～142・144～151のみで、このうち背面先端部調整が彫刀面打面部付近に施されることを考慮して中間部・末端部を除くと121のみであり、彫器類における背面先端部調整の頻度の高さが分かる。154～157は断面三角形の削片であるが素材腹面を含まないため彫器類型が不明のものである。158はめのう製の一次削片と考えられるものであるが、素材腹面と二次加工面との角度が90度に近く、また、削片の腹面と素材腹面との角度も鋭角であり、一次削片剥離段階から傾斜角が鈍角であったと考えられる。159・160は頁岩製で両者とも彫器類から剥離された特徴を持つ。

搔器（図 - 83 - 161～図 - 85 - 191、図版348・349）

35点（27個体と層出土4個体を加えた31個体）を図示している。161～185は石刃素材である。161～178は側縁が急角度の加工によって整形されるもので、161～174が完形、175～178が折損品である。172は腹面に二次加工が見られ、174は背面に稜調整痕が残る。179～185は両側縁にほとんど加工の見られないもので、179～183が完形、184・185が折損品である。183は刃部が鈍角になるまで加工されている。186～191は剥片素材で、190・191以外は刃部・縁辺部とも細かい剥離で加工されている。187・188は刃部が撥形に広がるもので、189は両面調整石器の調整剥片素材である。190は白色の頁岩製で左側縁が粗い急角度の剥離によって加工されている。191は非常に大型の剥片の末端部のみ急角度の加工が見られる。大きさは剥片素材のものを除けば長さ3～8cm、幅2～3cmのものが多く、特に幅に差が見られない。石刃素材の搔器は、縁辺部近くに稜を持つ断面台形状で刃部加工が分散する166・168・177・181とそれ以外の、中央に稜を持ち、断面形三角形で刃部加工が収斂するものがある。また、側縁に加工のあるものは無いものに比べ幅広で、幅の広い素材に加工が行われたと考えられる。打面の残存するものには単剥離打面と複剥離打面があり、打面調整・頭部調整が見られる。一方剥片素材の搔器は、薄手の剥片を素材とするものが多く、刃部加工は縁辺部のみの細かい加工によって行われている。

錐形石器（図 - 85 - 192・193、図版349）

2点（2個体）を図示している。192は緑色泥岩製の局部磨製斧形石器の刃こぼれした剥片を素材とし、基部側には斧形石器の刃部が残る。錐形石器の刃部は急角度な加工によって作出されている。193は厚手の縦長剥片素材で先端部に急角度な加工でやや右に曲がった刃部が作出されている。

削器（図 - 85 - 194～201、図版349）

9点（6個体と層出土2個体を加えた8個体）を図示している。194は剥片素材、195～201は石刃素材である。194の右側縁は連続的な剥離で加工され、折損後、折れ面から正面に加工が行われている。195・196は彫器・搔器に見られるような急角度の直線的な加工がなされている。197は右側縁が舟底形石器製作時に見られる縁辺からやや内側を加撃する粗い剥離によって加工され、側縁は鋸歯状である。198～201は正面左右両側縁に連続した急角度の加工が見られ、それらの側縁形はやや凹凸がある。

二次加工ある剥片（図 - 85 - 202・203、図版349）

2点（1個体と層出土1個体を加えた2個体）を図示している。202・203は石刃核の底面を取り

込んだ石刃の末端部である。それぞれ左側縁と右側縁に加工痕があり、その加工痕から折損している。接合資料で説明するが、両者とも底面を取り込む石刃から彫器を製作する際に、末端部を除去する目的で側縁にノッチ状の剥離が加えられ、折り取られた剥片である。

舟底形石器 (図 - 86 - 204 ~ 図 - 90 - 249、図版349 ~ 351)

舟底形石器57点(45個体)、舟底形石器調整剥片1点(1個体)を図示している。大きさ、加工技術の違いから大きく以下の二つに分けられる。

類：加工が精緻で幅が4~8mm、高さが8~12mm程度の小型のもの。甲板面・下縁部から側面加工が行われ、端部に細石刃状の縞状剥離痕を持つものが多い。

類：加工が粗く 類より大きいもの。主に甲板面から側面調整が行われ、端部に縞状剥離痕が見られない。

204~220は 類で、204~218は完形、219・220は折損品である。素材形状は、両側面が二次加工で覆われ、不明なものが多いが、甲板面に素材のバルブが残存するものが多く、素材の長さを変えないような加工がなされている。また、石器長軸は、素材剥離軸と直交方向に設定される213を除き素材の剥離軸と一致する。細石刃状の縞状剥離は、218・219以外全てに行われ、素材打面側に作出される204・212、素材を横に利用している213を除いて素材先端側に作出される。210・211に関しては素材打面側にも細かい剥離が見られる。細石刃状の剥離は最後に行われ、打面再生・打面調整は行われない。205以外は側面に甲板面からの加工を切る下縁からの加工が見られ、最終的に下縁部からの加工で断面形が整えられている。205は底面に素材面を残し、剥片素材である。高さが7mmで素材剥片の厚さもそれほど変わらず薄手の剥片と考えられる。213は素材を横に利用しており、幅広の剥片素材である。214は裏面に素材の単剥離打面、底面に素材面と平滑な原礫面が残り、平滑な原礫面を持つ角礫素材の単剥離打面石核から剥離された剥片素材である。216は裏面に素材の平坦な原礫面打面を、底面に素材面を持ち、平坦な原礫面を持つ角礫素材の原礫面打面を持つ石核から剥離された剥片素材である。 類の長さは20~60mmでばらつきがあるが、幅は4~8mm、高さは8~12mmと非常に均質である。204・206・212・213は裏面に折れ面を持つが、これらは側面の二次加工に切られている。二次加工は非常に精緻な平行剥離で、甲板面縁辺部をあまり調整せずに、側面の稜の突出部に力を加えて加工している。

204・205・208・209・212・213・216は素材面である甲板面と二次加工面である側面の表面状態が異なり、前者に全体的に細かい傷がある一方、後者には同様の傷がなく、甲板面と二次加工面の形成には時間差があると思われる。

222~249は 類の舟底形石器で、222~244は完形、245~249は折損品である。甲板面が広い一枚の背面で構成され、素材が石核と考えられる237を除いて全て厚手の剥片ないし縦長剥片素材である。石器から素材の断面形を推定するとほとんどが断面三角形、もしくはそれに類するもので舟底形石器に加工しやすい素材が選択されていたと考えられる。原礫面については平滑な原礫面を持つもの(225・227・229・230・233~235・239・242・246)、平滑面と爪状痕のある原石面を持つもの(243・244・248)があり、平滑な原礫面を持つものが多い。素材打面については単剥離打面を持つもの(242・243)、複剥離打面を持つもの(222・223・226・230・238・241)、原礫面打面を持つもの(227)があり、素材は複剥離打面から剥離されたものが多い。

236・242は折損後、再加工されている。全て石器の長軸と素材の剥離軸は一致し、素材の打面や先端部がほとんどの石器の端部に残ることから素材の長さを最大限確保するように加工が行われていたと考えられる。28点中14点が折損しており、製作途中に折損し、遺棄されたと考えられる。また、

類で確認された甲板面と二次加工面の表面状態の差が見られるものが225の一点のみで、ほとんどが接合資料であることから 類は遺跡内で製作されたものと考えられる。石核素材の237、249以外は全て甲板面以外に素材面が残る。大きさは長さ5～11cm、幅1～5cm、高さ1～5cmで 類に比べはらつきが大きい。

舟底形石器削片 (図 - 90 - 250～252、図版351)

3点(層出土3個体)を図示している。250～252は舟底形石器 類の端部から剥離されたと考えられるものである。舟底形石器の縞状剥離面の形状を反映して先端部に反りが見られ、楔形の細石刃核から剥離された細石刃の形態に類似している。打面は点状でパルプが発達し、長さは1cm前後で小型舟底形石器の作業面長に一致する。

石刃・縦長剥片 (図 - 90 - 253～255、図版351)

石刃は1点(1個体)、縦長剥片は3点(1個体と 層出土1個体を加えた2個体)を図示している。253は打面調整・頭部調整が見られ、打面形状は横長で線状に近い。背面には原礫面と横方向の剥離が見られ打面転移があったと思われる。石核の底面を取り込んでおり、先端部に向かって幅広になる。254・255の背面は腹面と同一方向の剥離面で構成されている。打面は平坦で頭部調整が見られる。

石刃核 (図 - 91 - 256～図 - 92 - 264、図版351・352)

9点(9個体)を図示している。石刃核高は約5～7cmで小型である。原礫面は259～263に残るが、それらは全て平滑で転礫素材ではない。頭部調整は258に、打面調整は263に、259・260・264は頭部調整・打面調整ともに見られる。

256～258・262～264は剥片剥離がほぼ全周で行われるものである。258・262は単設の単剥離打面を持つ。264は単設の複剥離打面を持ち、周回しながら打面調整を伴う石刃剥離が行われている。256・263は両設打面を持つもので、263は正面では上設打面から、裏面は下設打面から石刃剥離が行われている。257は右側面・裏面に横方向の剥離痕が残り、打面転移が頻繁に行われている。

259～261は剥片剥離が上設打面から正面に限定して行われ、側面・裏面に原礫面を残す石刃核である。259・260は複剥離打面で、261は単剥離打面である。

石核 (図 - 92 - 265～図 - 96 - 283、図版352～354)

19点(15個体と 層出土4個体を加えた19個体)を図示している。石核高は約4～8cmで石刃核とほとんど変わらない。原礫面の残存する石核は平滑面を持つもの(266～268・271・272・274・275・281)、平滑面と潰れた角部を持つもの(273・276)がある。

265～268は5cm以下の石核で、全てに打面調整が見られる。265・266は側面に大きな剥離面を持ち、単設の複剥離打面から剥片剥離が行われている。267は右側面に横方向の剥離面があり、作業面転移が行われている。268は上設打面から表裏で剥片剥離が行われ、厚さが薄くなっている。269は裏面での石刃剥離終了後に表裏とも側縁から剥片が剥離されている。270は剥片素材で剥片の一端で剥離が行われている。271は上面・右側面に作業面があり、作業面転移が行われ、最終的に正面で剥片剥離後、右側面が加工されている。272・279は正面では上設打面からの剥離が、裏面では下設打面からの剥離が行われ、厚さが薄くなっている。273は左右側面・裏面・下面に横方向の剥離があり、頻繁な作業面転移が行われている。274は上設の単剥離打面からほぼ全周を回るような頭部調整を伴う剥片剥離が行われている。275は正面・裏面共に複数方向の剥離が見られ、打面転移が行われている。276は円礫素材で打面と作業面を入れ替えて剥片が剥離される。277は剥片素材で複剥離打面から正面で剥離が行われている。278・280～283は表裏とも剥離が全周縁を回り、最終形状が円盤状で、280以外は裏面の剥離の稜を打撃するため側縁の側面観は交互剥離状のギザギザした特徴を持つ。

斧形石器（図 - 96 - 284・285、図版354）

2点（2個体）を図示している。283・284ともに安山岩製で風化が激しく剥離の稜が見づらく、特に284の裏面はほとんど稜が見えない状態である。284は正面が左右とも急角度の加工によって、裏面がおそらく平坦剥離によって断面三角形に整形されている。正面の上下端部は縦方向の剥離によって整形され、下端部が円くなっている。285は284とは異なり撥形で刃部は表裏とも縦方向の剥離によって直線的に整形されている。基部は正面側が凸状で、断面形は凸レンズ状ではないが、やや角度のある剥離で裏面を加工しているため側縁の側面観は長軸と一致し直線的である。二点の形態は異なるが、大きさに関しては厚さに違いがあるものの長さ・幅はあまり差がない。

石器ブロック6（Sb - 6）の分布（図 - 97・98、表 - 4）

J43・44、K42～44、LM42・43、N42区の19×8mの範囲で確認された。主にL42・43区を中心とする集中域とM42区の集中域に分けられる。M42区では赤色土であるF - 2が検出され、多くのツール・石刃類が出土している。尖頭器2点、彫器15点、彫器削片4点、搔器6点、削器12点、舟底形石器16点（小型舟底形石器6点）二次加工ある剥片2点、石刃11点、縦長剥片23点、石刃核1点、石核5点、剥片948点の計1,045点、重量7,249.1gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が最も多く77.8%を占め、以下黒曜石1（10.7%）、黒曜石3（7.9%）、頁岩（2.2%）、黒曜石5（1.1%）、安山岩（0.1%）、めのう（0.1%）となっている。器種毎の石材比率は石器群全体とほぼ一致するが、舟底形石器に関しては小型舟底形石器（類）全てが黒曜石4である一方で、それ以外の舟底形石器（類）は10点中8点が黒曜石1で比率に差がみられる。頁岩の割合が他のブロックに比べ高く、また、23点のうち剥片を除いた9点は彫器6点、搔器1点、削器1点、縦長剥片1点で彫器が多い。一方剥片の量も14点と多い。彫器15点のうち6点が頁岩製である。縦長剥片が全体的に分布する一方で石刃はM42区からのみ出土している。二つの小集中域は大小の舟底形石器・彫器・搔器を含む点で一致し、器種毎の偏りは見られない。

石器ブロック7（Sb - 7）の分布（図 - 99・100、表 - 4）

J44～48、KI44～47区の19×13mの範囲で確認されたが、調査区範囲外である北側に若干分布が伸びると思われる。KI44・45区の集中域、K46区の集中域、J47区の三つの小集中域に分けられる。尖頭器2点、彫器5点、搔器1点、舟底形石器10点、二次加工ある剥片6点、石刃9点、縦長剥片19点、石刃核5点、石核3点、剥片2,754点の計2,815点、重量12,374.4gの石器類が出土した。小型舟底形石器（類）がなく、石刃核（5点）と石核（5点）の石核類、石刃類、特に縦長剥片が多いのが特徴である。また、舟底形石器以外のツールの出土も少ない。石材は黒曜石4が最も多く63.2%で、黒曜石1（36.3%）と併せて99%を占め、以下黒曜石3（0.4%）、黒曜石2（0.03%）、黒曜石5（0.03%）となっている。石核類やツールはK45区周辺に多いが、その他の区域にも散漫に分布している。

石器ブロック8（Sb - 8）の分布（図 - 101・102、表 - 4）

NO42・43区の7×5mの範囲で確認された。尖頭器4点、彫器27点、彫器削片31点、搔器4点、削器6点、錐形石器2点、小型舟底形石器（類）9点を含む舟底形石器12点、二次加工ある剥片2点、石刃12点、縦長剥片3点、石核3点、剥片730点、礫1点、斧形石器1点の計838点、重量3,191.9gの石器類が出土した。小型舟底形石器（類）と彫器・彫器削片（層一括遺物を含む）が卓越して出土し、本ブロックを特徴づけている。また、5点と少数であるが舟底形石器削片が出土している。本ブロックの南西部には赤色土（F - 1）が細長い形状で存在し、石器はそれに落ち込むよ

うに分布し、特に彫器・小型舟底形石器はその肩にまとまって出土している。彫器削片も同様であるがF - 1の南側にも分布が見られる。尖頭器・搔器・斧形石器などのその他のツールは周辺に散漫に分布している。石材は黒曜石4が最も多く79.0%で、黒曜石1(20.0%)と併せて99%を占め、以下頁岩(0.4%)、安山岩(0.2%)、砂岩(0.1%)、緑色泥岩(0.1%)となっている。全体の比率に比べ彫器は黒曜石1が多く(27点中16点、59.3%)、彫器削片は31点中14点(45.1%)を占める。舟底形石器は小型舟底形石器(類)が12点中9点で75%を占め、9点中7点(77.8%)が黒曜石4である。

石器ブロック9(Sb - 9)の分布(図 - 103・104、表 - 4)

LM43~46、N43~45区の16×8mの範囲で確認された。他ブロックと比較して明確な集中部がなく散漫で分布密度は低い。尖頭器4点、彫器9点、彫器削片1点、搔器7点、削器3点、小型舟底形石器(類)を含まない舟底形石器7点、二次加工ある剥片3点、石刃10点、縦長剥片1点、石核2点、剥片461点、石刃鏃1点、斧形石器1点の計510点、重量3,910.0gの石器類が出土した。このうち石刃鏃は本石器群には本来組成されず、Sb - 12に石刃鏃の石器群があることから混入と考えられる。尖頭器・彫器・搔器・舟底形石器が多く、石核類が少ない。石材は黒曜石4が最も多く80.4%で黒曜石1(18.2%)と併せて99%を占める。以下、黒曜石5(0.8%)、黒曜石3(0.4%)、安山岩(0.2%)である。尖頭器・削器・舟底形石器・石核は全て黒曜石4で、彫器は9点中5点が黒曜石1、4点が黒曜石4で、搔器は7点中5点が黒曜石4、2点が黒曜石1である。斧形石器は安山岩製である。彫器・搔器・舟底形石器に分布の偏りは見られず散漫な分布を示す。

石器ブロック10(Sb - 10)の分布(図 - 105、表 - 4)

L47・48、M45~48、N44~48、O43~45、P44・45区の21×8mの範囲で確認された。N44~46、O44・45区に密度の濃い集中域がある。尖頭器6点、彫器2点、搔器2点、削器1点、類の舟底形石器1点、二次加工ある剥片1点、石刃21点、縦長剥片29点、石核1点、剥片2,756点、原石1点の計2,821点、重量14,635.4gの石器類が出土した。石刃・縦長剥片、剥片が多い一方、尖頭器を除いたツール・石核類が非常に少ない。ツールは集中部に散漫に分布している。石材は黒曜石4が最も多く89.8%で黒曜石1(8.5%)と併せて98%を占める。以下黒曜石3(1.6%)、黒曜石5(0.1%)である。

石器ブロック11(Sb - 11)の分布(図 - 106~108、表 - 4)

P41、QR40~45、S39~42区の26×10mの範囲で確認されたが、調査区範囲外である南側に分布が伸びると思われる。本ブロックは地形的に沢地形で遺物も動いていると考えられる。尖頭器9点、彫器13点、搔器8点、削器9点、小型舟底形石器(類)2点を含む舟底形石器21点、二次加工ある剥片6点、石刃35点、縦長剥片29点、石刃核3点、石核2点、剥片1,594点の計1,729点、重量16,671.5gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が最も多く55.1%で、黒曜石1(40.3%)と併せて95%を占め、以下黒曜石3(3.1%)、黒曜石5(1.2%)、頁岩(0.2%)、めのう(0.1%)である。本石器群では黒曜石1の割合が高いブロックである。尖頭器と搔器は排他的な分布を示し、43ラインと44ラインの中央から東に尖頭器が、西に搔器が分布している。彫器は全域に、舟底形石器はR42・43区を中心に分布している。

石器ブロック6~11の接合状況(図 - 108~110)

本石器群は薄手の尖頭器・彫器・小型舟底形石器を指標として一つの石器群として認定している。全接合分布を見るとSb - 6~10とSb - 11とは接合関係がほとんど無い。母岩別資料のうち母岩105~220がSb - 6~11の石器群であるが、この内、点取り遺物を含む母岩は105~202で、それらは分布が

ら大きく3つに分類できる。一つはSb - 6・7に分布する母岩105・138・197・199・200である。もう一つはSb - 8～10に分布する母岩139・146・148・166・198・201・202である。最後にSb - 11に分布する母岩167・196である。母岩147のみこれら3つの地域にまたがり分布しているが(図 - 138)、その他はほぼ排他的な分布を示している。これら3地区の接合は基本的には傾斜方向である北東方向に接合関係が見られるものが多いが、Sb - 6・7の接合集中とSb - 8～10の接合集中ではブロックをまたがる東西方向の接合が見られる。

母岩別資料151・接合資料481・482(図 - 111・112、図版355 - 1・2)

母岩別資料は接合481・482の他、接合483～488・50236～50239、剥片141点で構成され、総点数321点、総重量1,020.4gである。

素材 接合481は68点(46個体)が接合し、重量は399.6g、大きさは30×12×4cmである。接合482は65点(40個体)が接合し、重量は294.8g、大きさは27×12×3cmである。接合481・482は同一個体の石核素材の尖頭器調整剥片で表裏の関係にあたる。平滑面を持つおそらく角礫素材である。原礫面をほとんど除去する粗い剥離で両面調整されているが、器面の凹凸が少ない正面観・側面観とも比較的整った形態の大型の尖頭器で搬入されている。

剥離工程 接合481は段階1～3では背面に残る剥離と同様の粗い剥離が行われている。段階4の際に側縁は直線的になり、剥離された剥片の打面も線状である。段階6の際も側縁は直線的で段階4の側縁から1cm幅を減じている。段階9では左側縁から剥離された剥片が右側縁を取り込んでしまい幅が1cm減少している。段階10以降では縁辺部を加撃する点状打面を持つ薄い剥片の剥離によって整形されている。

接合482の上端部には突出部があり、段階1～4ではそれを除去するような加工が行われる。加工は段階2以降、縁辺部を打撃して点状打面を持つ薄い剥片を剥離することによって行われるが、剥離される剥片の形状は器面状態の変化・器体の幅の減少に伴い、徐々に薄く小型化している。

形態変化：(35)×12×(6)cmの尖頭器で搬入され、(32)×7×(1.5)cmの尖頭器で搬出されている。厚さが非常に薄くなっている。

分布 接合481・482はSb - 8～10のI45、M45・47、N43～46、O42～45区に分布するが、主にSb - 10の全域に分布している。折れ面の分布も帯状に広がっており、また、段階による分布の差も見られない。

母岩別資料150・接合資料474・475(図 - 113・114、図版356 - 1・2)

母岩別資料は接合474・475の他、接合476～480・50235、剥片42点で構成され、総点数143点、総重量701.2gである。

素材 接合474は59点(38個体)が接合し、重量は508.7g、大きさは31×11×4cmである。接合475は21点(15個体)が接合し、重量は92.9g、大きさは22×10×2cmである。接合474と接合475は同一個体の石核素材の尖頭器調整剥片で表裏の関係にあたる。平滑な原礫面を持つ細長い盤状の角礫を素材として粗加工された大型の尖頭器で搬入されている。搬入された尖頭器の接合474側は左側縁からの粗い加工で、接合475側は周縁部のみの加工で整形されており、接合474側は右側縁に、接合475は中央に原礫面を大きく残す。接合474側は中央右に稜を持ち、接合475側は平坦であるため、断面は三角形に近い。端部は尖頭状に作り出されている。

剥離工程 尖頭器は断面の突出した接合474側を中心に加工されている。最初は上部と下部を中心に中央の稜を取り込むように剥離が行われる(1～5)。その後、加工は器面全体に及び(6～9)厚

さが減じられる。加工は最初から縁辺部を加撃して行われ、剥離される剥片は打面が線・点状で断面形・器面状態の変化に伴って薄く小型化している。接合475は尖頭器の端部付近から片側中央付近にかけて部分的に接合しているがほとんど自然面が残っており、軽く加工が行われた程度である。最終的には接合474側の断面も弧状になり、断面形は凸レンズ状に変化している。

形態変化：31×12×(4)cmの尖頭器で搬入され、28×9×(2)cmの尖頭器で搬出されている。

分布 Sb - 8・10のM46、N43~47、O43・44区に分布している。接合474はSb - 8ではNO43区で比較的まとまって出土し、Sb - 10ではN45・46区に分布の中心があり、N47区にも薄いまとまりが見られる。折れ面接合も広い範囲で見られ、段階による分布の差は見られない。接合475も接合474と同様な分布状況であるが、やはり段階による差は見られない。Sb - 8出土の石器も他の石器と大きさなどの差はない。

母岩別資料116・接合資料322・323 (図 - 114・115、図版357 - 1・2)

母岩別資料は接合322・323の他、接合324~326・50196~50199、剥片178点で構成され、総点数285点、総重量762.0gである。

素材 接合322は54点(32個体)が接合し、重量は311.3g、大きさは26×12×3cmである。接合323は39点(27個体)が接合し、重量は189.3g、大きさは22×9×4.5cmである。接合322と323は同一個体の石核素材の尖頭器調整剥片で表裏の関係にあたる。平滑な原礫面を持つおそらく角礫を素材として粗加工され、原礫面がほとんど残らない大型の尖頭器で搬入されている。接合322側の表面全体は比較的平坦であるが下部に凹凸が見られ、接合323側は中央に粗加工による稜が残り、断面形が凸状で、尖頭器の断面は三角形に近い形であった。

剥離工程 最初は平坦な接合322側の加工が行われる(接合322 - 1~4)。この段階の剥片の打面厚は5mm程度でやや厚手の剥片が剥離されている。その後、接合323側の剥離が行われるが、先に中央に稜が残る下部を中心に行われ(接合323 - 1~5)、断面形が弧状に変化した段階で全面に及んでいる(接合323 - 6~11)。さらに接合322側に細かい剥離が行われている(接合322 - 5~7)。

形態変化：(28)×12×(6)cmの大型の尖頭器で搬入され、27×8×(2)cmの断面がD字形に近い尖頭器で搬出されている。

分布 Sb - 6・7のJ44、K42~44、L42・43、M42区に分布するが1点以外はSb - 6から出土している。接合322・323共にL42・43区に分布の中心があり、そこから傾斜方向である北東に分布が伸びている。折れ面接合も同様な分布を示し、段階による分布の違いは見られない。

母岩別資料154・接合資料506・507 (図 - 116、図版357 - 3・358 - 1)

母岩別資料は接合506・507の他、接合508~510・50249、縦長剥片1点、剥片53点で構成され、総点数109点、総重量318.4gである。

素材 接合506は29点(24個体)が接合し、重量は138.3g、大きさは23×9×2.5cmである。接合507は17点(14個体)が接合し、重量は49.4g、大きさは12×8×1.5cmである。接合506・507は同一個体の石核素材の尖頭器調整剥片で表裏の関係にあたる。原礫面が残っていないため原石形状は不明。尖頭器で搬入されている。尖頭器は比較的粗い剥離で加工されているが、表面に凹凸が無く、断面形は接合506側が弧状で、接合507側は平坦である。

剥離工程 遺跡内では最初から縁辺部を加撃し、点状打面の薄い剥片が剥離されている。搬入された尖頭器は凹凸のない表面状態・幅が狭く薄い形態のため表裏とも全面的な加工がなされている。

形態変化：24×9×(3)cmの尖頭器で搬入され、22×7×(1.5)cmの尖頭器で搬出されている。

分布 Sb - 6・9・10のM42~45、N45~47、O44・45区に分布するが、4点以外は全てSb - 10から

出土している。分布は傾斜方向である東北東に広がり、折れ面接合も同様で、段階による差は見られない。

母岩別資料137・接合資料439 (図 - 117・118、図版358 - 2)

母岩別資料は接合439の他、接合440・50228・50229、剥片50点で構成され、総点数107点、総重量1,648.8gである。

素材 44点(34個体)が接合し、重量は1,362.8g、大きさは26×14×11cmである。平滑な原石面を持つ角礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程 最初は長軸方向の剥離による先端部を薄くする加工(1・4～7)と左側縁の突出部を除去する横方向の加工(2・3)が行われる。初期の段階では原礫面打面から調整無しで剥離が行われる。その後、縁辺部を加撃する打面の小さい剥片を剥離する横方向の加工に徐々に変化している(8～12)。

分布 Sb - 6のJK43・44、L43、M42区とSb - 7のJ46～48、K46区に分布が分かれる。Sb - 7からは大部分の剥片が出土しているが、7点出土しているSb - 6からは削器と他の剥片に比べ大型の剥片が出土している。それら(図 - 118トーン図参照)は初期の剥片が多いが、連続したものではなく段階12の剥片も見られることから選択して持ち込まれたものと考えられる。

母岩別資料167・接合資料573・574 (図 - 119、図版359)

母岩別資料は接合573・574の他、接合575～582・50255・50256、剥片10点で構成され、総点数85点、総重量1,363.2gである。

素材 接合573は26点(17個体)が接合し、重量は664.1g、大きさは22×11×6cmである。接合574は20点(13個体)が接合し、重量は206.5g、大きさは15×12×3.5cmである。接合573・574は同一個体の石核素材の尖頭器調整剥片で表裏の関係にあたる。爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、接合573側は左右縁辺部の数回の剥離と接合574側は左右からの平坦剥離によって加工された断面山形の半両面調整体で搬入されたと考えられる。

剥離工程 接合573は裏面から加工が行われた(1・2)後、正面にある剥離面と原礫面との稜線から剥離が行われる(3)。次に、その稜を除去するような下端部から長軸方向の剥離(4)の後、左右から加工が行われる(5～8)。段階1～3は調整無しで縁辺より内側を加撃し、打面の大きい厚手の剥片を剥離することによって形態を大きく変化させている。段階4以降は縁辺部を加撃し、打面の小さい薄手の剥片が剥離されている。接合574は縁辺より内側を加撃し、左右から調整が行われる。

形態変化：22×12×(6)cmの半両面調整体で搬入され、20×10×(2)cmの尖頭器で搬出されている。

分布 Sb - 11のQ41～45、R41～44区に散漫に分布し、折れ面接合も同様な分布を示す。

母岩別資料158・接合資料532 (図 - 120・121、図版359)

母岩別資料は接合532の他、接合533～541・50251、縦長剥片1点、剥片100点で構成され、総点数207点、総重量971.1gである。

素材 81点(62個体)が接合し、重量は747.6g、大きさは23×11×8cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材でほぼ原石の形状で搬入されている。

剥離工程 角礫の稜を利用して原礫面打面から軽微な頭部調整のみで石刃が剥離される(1)。一連の石刃剥離で打面と作業面の角度が90度に近くなり、横方向から打面再生(2・4)を行って石刃剥離が継続される(3)が、あまり形状は好転せず、作業面形状もヒンジにより凹凸ができる。この時

点で180度の打面転移が行われ、下設打面から石刃が剥離される(5)。石核は出土していない。

本接合資料では5点の舟底形石器が製作されている。個体A~Dは段階1で剥離された厚手の縦長剥片素材、個体Eは段階5で剥離された厚手の縦長剥片素材である。舟底形石器本体は個体Cを素材として製作途中で折損した247のみ出土し、その他の4点は搬出されている。

分布 Sb - 8・9・10のM43~45、N42~47、O44・45区に分布しているが、Sb - 8とSb - 10ではまとまった、Sb - 9ではやや散漫な分布である。剥離段階による分布の違いは認められないが、個体A~Eの舟底形石器製作関連遺物はほとんどがSb - 8・9から出土し、他の剥片はSb - 10から出土していることからSb - 10で剥片剥離が行われた後、厚手の形の良好な縦長剥片がSb - 8に持ち込まれて舟底形石器が製作されたと考えられる。

母岩別資料140・接合資料447 (図 - 122~124、図版361 - 1)

母岩別資料は接合447の他、接合448~452・724~728・50231、彫器削片23点、剥片17点で構成され、総点数234点、総重量484.1gである。

素材 166点(145個体)が接合し、重量は443.5g、大きさは16×10×7cmである。平滑な原礫面で覆われた楕円形の原石で搬入されている。

剥離工程 原石の側面の稜を利用して末端部を打撃し、断面三角形の厚手の縦長剥片が剥離される(1)。打面調整(2)後、(1)と同一の作業面で石刃剥離が行われる(3)。次に打面再生(4)が行われた結果、打面が右側面に傾いたため、作業面をずらし左側面から裏面にかけて石刃剥離が行われている(5)。裏面に回り込んだ段階で末端部形状がヒンジになる剥片が剥離され、作業面形状が悪化したため、180度の打面転移が行われ、下面を打面にして主に右側面で石刃剥離が行われる(6)。最後に石核調整(8・9)後、石核を素材として舟底形石器が製作される。石刃核の横断面は楕円形で、扁平な面で石刃が剥離され、側面で舟底形石器の素材となる厚手の縦長剥片が剥離されている。段階2で打面調整が見られるが基本的には打面調整は行われず、わずかに縁辺を擦るような頭部調整が見られるのみである。

本接合資料では接合できたもので彫器4点、舟底形石器5点が製作されている。同一母岩の接合資料には彫器削片同士の接合資料が接合724~728の5個体あり、接合できた4点以外に搬出された彫器が製作されていた可能性もある。本接合資料中で彫器が製作されたのは個体B・D・E・Hである。

個体B(図 - 122 - 299)は段階3で剥離された(13)×(4.5)×(0.8)cmの石刃素材で、側縁調整によって幅が1.4cmに減少し、右側縁では最大1.8cm減少している。石器の形態軸と素材の軸がずれており、素材の打面を折り取ったか素材剥離時に折れた先端部を利用して素材打面側に彫刀面が作出されたと考えられる。彫器削片は122 124 113 123の順番で剥離されているが122・124・113と123・47の間に隙間があり、1点程度の削片が欠落している。彫刀面傾斜角は全て鈍角で類の特徴が維持され、形態軸・彫刀面交叉角も変化がみられない。

個体D(図 - 123 - 300)は段階5で剥離された(10)×(4)×(1.0)cmの石刃素材である。側縁調整によって最大2cm幅が減少している。素材背面の先端部左に突出部があり、まず、その部分が折り取られる。それと前後は不明であるが急角度の側縁調整が行われ、また、腹面も右側縁から加工される。腹面加工の途中で基部の端部が折れ、折れた部分を中心に背面・腹面に調整が行われ、それによって側縁は直線的になっている。彫刀面は素材先端部に作出されるが、彫器削片144の背面には先行の彫刀面とそれに切られる石核の下面である素材面が残存し、先端部は調整されずに彫刀面が作出されている。また、除去された突出部の折れ面と彫器削片144にはほとんど隙間が無く彫刀面打面が簡単な加工で作出されたと考えられる。144から1cmの隙間において彫器削片は128 129

154 114の順で剥離され、さらに6mmにおいて127 152と彫器63が接合している。背面先端部調整は114・127剥離時に行われる。刃部形状はほとんど変化が見られず、削片の剥離された最初から最後まで彫刀面傾斜角は鈍角で 類の特徴を維持し、形態軸・彫刀面交叉角も変化が見られない。接合している削片は7点であるが、削片が剥離された部分が4cmあり、削片の厚さ平均1.9mmで割ると約21本の削片が剥離された計算である。彫器63は末端部がヒンジの削片が剥離された段階で遺棄されている。

個体E(図 - 123 - 301)は段階5で剥離された(11)×(3)×(0.9)cmの石刃素材である。素材の先端部両側縁にノッチ状の加工があり、そこから先端部の薄い部分が折り取られている。その後、両側縁が急角度の剥離で整形されている。彫刀面は素材打面側に作出される。削片98の背面は全面素材腹面からの剥離痕で覆われる一次削片である。周縁加工によって側縁を直線的に、先端部を斜めに切り取る7.6×2.4×(0.9)cmの母型が準備され、彫刀面剥離が行われている。母型形状から再生終了するまで一貫して彫刀面傾斜角が鋭角で 類の刃部形態である。削片が剥離された部分は2cmで約10本の削片が剥離され、9回の彫刀面再生が行われた計算である。

個体Hは段階6で剥離された6.8×1.5×0.6cmの石刃素材である。製作された彫器は39であるが、加工は石刃の先端部右肩に幅4mmのノッチ状に施されるのみで、それを打面として 類の彫刀面が作出されている。素材から1.3cm短くなっているがあまり再生されていないと思われる。

舟底形石器が製作されたのは個体A・C・F・G・Iである。このうち舟底形石器本体が出土したのは個体Gの 類の折損品(図 - 124 - 219)のみである。個体Aは段階1で剥離された断面三角形の厚手の縦長剥片素材である。個体Cは段階3で剥離された断面三角形の厚手の打面再生剥片素材である。個体Fは段階6で剥離された厚手の断面三角形の縦長剥片素材である。個体Gは段階6で剥離された厚手の石刃素材で、 類の舟底形石器の折損品(図 - 124 - 219)である219が接合している。本遺跡で 類の舟底形石器が唯一接合する資料で、素材剥片から 類の舟底形石器が製作されたのが接合資料で確認される資料である。個体Iは石核素材で、舟底形石器の素材として石核が利用されている。

分布 Sb - 8 ~ 10のM43 ~ 46、N42 ~ 46、O42・44・45区に分布している。Sb - 8では密度が高く、Sb - 9では散漫で、Sb - 10では散漫であるが点数は多い。個体A ~ Iの彫器・彫器の調整削片・彫器削片及び舟底形石器関連遺物は全てSb - 8・9から出土し、それ以外の一次剥離の際に出る遺物はほとんどがSb - 10から出土している。Sb - 10で剥片剥離が行われ、選ばれた素材がSb - 8に持ち込まれて彫器・舟底形石器に加工され、彫器は彫刀面再生が頻繁に行われる。Sb - 8から出土する彫器関連遺物・舟底形石器関連遺物以外の石器には比較的大きな剥片が含まれ、素材で持ち込まれ、加工されなかったものもあるようである。個体Bは側縁調整削片が接合しているが、それもSb - 8から出土しており、素材で持ち込まれ、二次加工と彫刀面再生が行われたのが分かる。また、個体D・Eも調整削片を含めてSb - 8から出土しており、素材で持ち込まれ、二次加工と彫刀面再生が行われたのが分かる。

母岩別資料139・接合資料441(図 - 125 ~ 127、図版360)

母岩別資料は接合441の他、接合442 ~ 446・714 ~ 723、彫器削片69点、彫器1点、剥片7点で構成され、総点数243点、総重量614.8gである。

素材 121点(100個体)が接合し、重量は509.6g、大きさは14×10×9cmである。平滑な原礫面と古い剥離面を持つ原石素材である。平坦な打面・背稜を持ち、正面形がV字形、断面扇形の母型で搬入されている。母型は主に背稜から両側面への剥離で整形されている。

剥離工程 打面調整(1)後、上設の平坦打面から石刃が剥離される(2)。石刃剥離が進んでヒンジによる作業面形状の悪化に伴い、作業面形状を修正するために背稜の下縁部から左右側面に剥離が行われる(3~5)。その後、左側面に作業面をずらして石刃剥離が行われ(6)、下縁からの石刃剥離を挟んで上設打面からの石刃剥離(7)が継続される。以後、下設打面からの石刃剥離(8) 上設打面からの石刃剥離(10) 下設打面からの剥離(11) 上設打面からの剥離(12)と打面を上下に転移させながら石刃剥離が行われるが、ヒンジの剥片剥離による作業面形状の悪化に伴い、良好な剥片が剥離されていない。正面上からの剥離によって石刃が剥離できなくなった時点で剥離は下縁部から背稜にかけて右側面(13)と左側面(14)で交互剥離状に行われ、残核形状は円盤状に近い。石刃剥離は比較的平坦な作業面で行われ、単剥離打面から簡単な頭部調整を伴う図 - 126 - 254のようなやや幅広のものが剥離されている。

本接合資料では彫器10点(個体A~J)が製作されている。同一母岩の彫器は単体で1点(図 - 80 - 24)、接合資料には接合442に含まれる彫器1点(図 - 8 - 67)がある。また、彫器削片同士の接合資料が接合714~723の10個体あり、同一母岩資料12点以外にも搬出された彫器が製作された可能性がある。

個体A(図 - 125 - 303)は段階2で剥離された(10)×(3)×(0.7)cmの石刃素材で側縁調整によって幅が1.3cmに減少している。背面側の側縁調整は急角度でほぼ全側縁に、腹面側の側面調整は平坦で基部のみ行われる。素材腹面の断面形を見ると先端部が湾曲している。腹面側の二次加工は特にその反りを修正するように行われ、彫器の側縁形状は直線的になっている。彫刀面打面は右肩にノッチ状に作出され、左肩に彫刀面が作出されている。51は 類の彫器で背面先端部調整が行われる。削片の接合資料が無く、その頻度は不明である。

個体B(図 - 125 - 304)は段階2で剥離された(9)×(4)×(0.6)cmの石刃素材で彫器に側面調整削片が接合している。側縁調整は左右両側縁とも急角度で行われるが、左側縁に接合している側縁調整削片を見ると最初から急角度の加工が行われている。また、調整は左側縁基部側の突出部を除去するように突端から徐々に打点を左右にずらしながら行われる。打面形状に変化はなく一定の技術で調整されている。素材の側面形は中央部で反りが見られ、ちょうどその変曲点から基部側に腹面加工が行われている。腹面加工は背面加工の後に行われ、側縁の側面観が直線的になるように仕上げられている。彫刀面打面は右肩に直線的に作出され、左肩に 類の彫刀面が作出されている。

個体C(図 - 125 - 305)は段階2で剥離された(7+)×(3)×(0.5)cmの石刃素材で削片は接合していない。背面の両側縁に急角度の加工が施されている。彫刀面打面は直線的な細部調整で作出され、横刃に近い 類の彫刀面が作出されている。彫刀面傾斜角は151度と腹面側に大きく傾き、そのため背面先端部調整も刃部全域に見られる。

個体D(図 - 125 - 306)は段階2で剥離された(6+)×(2.5)×(0.9)cmの石刃素材で彫器に彫器削片2点が接合している。背面両側縁に急角度の加工が施された後、素材のバルブを除去し、側縁の側面観が直線的になるように腹面基部が加工されている。132の剥離前に背面先端部調整が行われ、132の剥離後、素材背面を持たない断面三角形の削片130が剥離された段階で彫器は遺棄される。彫刀面再生に伴い、彫刀面傾斜角は鈍角で維持され、形態軸・彫刀面交叉角はほとんど変化が見られない。

個体E(図 - 126 - 307)は段階2で剥離された11×5×1.2cmの剥片素材である。素材は石刃核縁辺から5mm内側を加撃されたため、他の石刃とは異なり、厚手の幅広の剥片である。個体A~D・Fも同一段階であるが、唯一の剥片素材である。90は背面が素材の折れ面のみで構成される一次

削片で、折れた素材の折れ面に彫刀面が作出されている。二次加工は彫刀面打面と彫刀面の末端部に行われるのみである。削片は90・107が剥離されただけで、107が剥離された段階で素材の折れ面が除去されずに彫器は遺棄される。彫刀面形状は 類である。

個体F(図 - 126 - 308)は(12)×(2.5+)×(1.0)cmの石刃素材で6個体の削片(剥離順で115・141・135・112・116・126・153)と1個体の削片(153)・彫器(60)の接合で構成される。それらの間には2mm程度の間隔(削片1本分程度)がある。素材の右側縁は約2mm加工される程度で、左側縁は急角度の加工が行われている。彫刀面は素材先端部に作出されている。彫刀面再生は115を剥離する前に背面先端部調整が行われる。126の剥離前に背面先端部調整・彫刀面打面調整が行われた後、ノッチ状の彫刀面打面調整が行われ、153が剥離されている。最後に末端部形状がヒンジの削片が剥離され、彫器は遺棄される。彫刀面傾斜角は鈍角で 類の彫刀面が維持され、形態軸・彫刀面交叉角にも変化は見られない。

個体G(図 - 126 - 309)は段階2で剥離された(10)×(3)×(6.6)cmの石刃素材で、両側縁に急角度の加工が施されている。先端部はおそらく剥離時に折損し、その本体部が彫器として利用されている。素材先端側に彫刀面が作出され、彫刀面傾斜角は鈍角で 類の特徴を持つ。彫刀面には最終剥離である階段状の削片剥離痕が残るが、本体の背面に打点のある折れ面との前後関係は不明である。

個体H(図 - 126 - 311)は段階7で剥離された(10)×4×(0.7)cmの先端部が石核の下端部を取り込んで厚く内湾した石刃素材である。まず、先端部を除去するために湾曲する変曲点付近の左右側縁にノッチ状の加工が行われ、202が分離される。その後、左右両側縁は急角度の剥離によって調整され、素材打面側に 類の彫刀面が作出される。53の背面には打点の無い背面先端部調整痕が残る。

個体I(図 - 127 - 312)は段階8で剥離された(9)×(4)×(0.7)cmの先端部が石核の上端部を取り込んで厚く内湾した石刃素材である。5個体の削片と1個体の二次加工ある剥片と1点の彫器で構成される。個体Hと同様に湾曲した先端部は背面右側縁へのノッチ状の剥離により折り取られる。背面の両側縁には急角度の加工が、腹面基部には平坦な加工が行われる。腹面の加工により側縁の側面観は直線的になっている。94は背面に彫刀面・彫刀面に切られる二次加工(母型作成時の周縁加工と考えられる)・彫刀面を切る二次加工が見られ、折り取った剥片との距離も小さいことから一次削片に近いものと考えられる。彫刀面は一貫して 類の特徴を持ち、形態軸・彫刀面交叉角も変化が無く、器体幅もほとんど変化が無い。削片剥離によって2.2cm短くなっており、10回程度彫刀面再生が行われたと考えられる。

個体J(図 - 127 - 313)は段階10で剥離された(8)×(2)×(0.4)cmの石刃素材で、1個体の彫器で構成される。素材の打面側は素材剥離時に折損したと考えられ、先端部も断面に凹凸があり、彫器の母型はそれほど大きくなかったと思われる。二次加工は素材の右側縁と左側縁の一部に部分的に行われ、彫刀面打面部は素材先端部にノッチ状に作出される。彫刀面の形状は 類である。

分布 Sb - 7 ~ 10のKL45、M43 ~ 45、N42 ~ 46、O42 ~ 45区に分布する。Sb - 7からは彫器1点が出土し、Sb - 8は高密度な、Sb - 9・10は散漫な分布である。特に彫器に関する遺物(個体A~I)は剥離時に折損したと考えられる個体Gの一点と個体Jを除いてSb - 8周辺から出土している。また、彫器関連遺物以外でも比較的大きな石器がSb - 8から出土している。それらには剥離の連続性は見られず、選択して持ち込まれたと考えられる。その他の段階1~11の一次剥離に関する削片はSb - 10にまとまっており、Sb - 10で削片剥離が行われ、Sb - 8に石器の素材が持ち込まれ、Sb - 8で二

次加工、使用が行われたと考えられる。個体B・H・Iの母型作成時の二次加工剥片もSb - 8から出土していることから加工は最初の段階からSb - 8で行われたと考えられる。交互剥離状の段階12~14の剥片はSb - 8・9に分布するが、最終剥離に近い剥離はSb - 8で行われ、石核自体もSb - 8、しかも赤色土の中から出土している（図版302 - 6）。

母岩別資料119・接合資料338（図 - 128、図版361 - 2・362 - 1）

母岩別資料は接合338の他、接合337、剥片1点で構成され、総点数32点、総重量318.4gである。

素材 29点（20個体）が接合し、重量は310.9g、大きさは12×8×6cmである。平滑な原礫面を持つ小型の角礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程 原石の稜線を利用して最初の石刃が剥離される。打面調整（2）を伴って石刃剥離が行われる（1）が、石刃は初期と最終剥離に近い段階のものだけが出土し、中間段階の7cm程度の石刃が欠落している。同一母岩には彫器と彫器削片の接合資料である接合337（図 - 144）が含まれ、接合していないが中間段階の石刃が利用されている。

分布 Sb - 6・7に分布し、ほとんどがJ46~48、K46区から帯状に出土している。それ以外から出土しているのは石刃核と石刃でそれぞれL42区、M42区から出土している。この石刃が剥離された後の打面調整剥片がK45区から出土していることから、この石刃核と石刃はSb - 6に剥離後に持ち込まれたものと考えられる。

母岩別資料118・接合資料335（図 - 129、図版362 - 2）

母岩別資料は接合335の他、接合336、剥片4点で構成され、総点数50点、総重量308.2gである。

素材 44点（35個体）が接合し、重量は297.8g、大きさは10×9×8cmである。平滑な原礫面を持つ転礫ではない小型の円形原石を素材とし、原石で搬入されている。

剥離工程 複数回の剥離による打面作出後、打面調整（2）を行いながら縦長剥片が剥離されている（1）。打面作出時の盤状の剥片（個体A）は舟底形石器に加工されているが、本体は出土していない。また、石刃類は背面に原礫面を多く含む初期の段階で剥離された縦長剥片のみ出土し、比較的良好な形態であったと考えられる中間部から最終剥離までの6~7cmの石刃はほとんど欠落し、搬出されたと考えられる。

分布 Sb - 7のJ46~48、K46区から出土している。一つのまとまりとして分布しているように見えるが、K46区からは個体Aの舟底形石器調整剥片のほとんどと縦長剥片の一部、また、J46~48区からは打面調整剥片と初期の縦長剥片が出土している。

母岩別資料170・接合資料592（図 - 129・130、図版363 - 1）

母岩別資料は接合592の他、接合593・50259、石刃1点、剥片5点で構成され、総点数26点、総重量355.4gである。

素材 15点（10個体）が接合し、重量は276.3g、大きさは14×8×5cmである。平滑な原礫面と角部に摩滅痕のある厚さ5cmの盤状の角礫素材である。原石の側面に剥離面を持つ状態で搬入されている。

剥離工程 角礫の側面に長軸方向の剥離によって作出された単剥離打面から打面調整・頭部調整を伴う石刃剥離が行われる（1）。次に90度作業面をずらして石刃剥離が行われ（2）、さらに下設打面から打面調整（3）を伴う石刃剥離が行われる。

分布 Sb - 11の全域から出土し、折れ面接合も同様の分布を示す。

母岩別資料120・接合資料339（図 - 130・131、図版363 - 2）

母岩別資料は接合339の他、剥片8点で構成され、総点数81点、総重量777.4gである。

素材 73点(51個体)が接合し、重量は750.6g、大きさは14×14×10cmである。平滑な原礫面を持つ角錐状の角礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程 角錐の底面である正面を作業面として縁辺部が剥離された(1・2)後、打面調整(3)を伴う右側面の稜線を利用した縦長剥片剥離が行われる(4)。次に、下縁から正面下部への調整(5)後、その面を打面として裏面下部で石刃剥離が行われる。その後、上縁部を円形に270度近く移動しながら、打面調整(7・9)を伴って縦長剥片が剥離されている(6・8・10)。打面調整・剥片剥離が石核をほぼ周回しているため最終的な石核形状は円盤状である。段階4で原石の角部を利用して剥離された背面が原礫面で覆われた断面三角形の厚手の剥片(個体A)は舟底形石器229に加工されるが折損後、遺棄されている。

分布 Sb - 6・7・9のJ45・46、KI44~46、M42区に分布するが、ほとんどはSb - 7のKI44・45に分布している。段階による差は見られず、個体Aもその他の石器と同様な分布である。M42区から出土している1点は剥片である。

母岩別資料117・接合資料327(図 - 132~134、図版364 - 1)

母岩別資料は接合327の他、接合328~332・334・50323、彫器削片4点、剥片35点で構成され、総点数204点、総重量1,037.8gである。

素材 147点(122個体)が接合し、重量は943.5g、大きさは16×12×11cmである。平滑な原石面を持つ角礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程 最初に原礫面で覆われた厚手の剥片が正面の角を加撃して剥離された(1)後、打点を右側面にずらして厚手の剥片が剥離されている(2)。また、正面下部では打面調整(3)後、下面の稜を取り込む厚手の剥片が剥離されている(4)。さらに、稜調整(5)後、上設打面から正面(6)、左側面(7)で縦長剥片が剥離される。次に、左側面から上面への剥離によって縁辺が稜状に調整され(8)、左側面での打面調整(9)後に上面で断面三角形の稜付石刃が剥離される(10)。その後、下設打面に打面を転移させ、下縁から縦長剥片が剥離されている(11)。また、左側面では打面調整が(12)、右側面では縦長剥片剥離が行われ(13)、以後、正面裏面と作業面を頻繁に転移させながら剥離が行われる(14~16)。その後も同様に作業面を転移させながら行われ(17~20)、最終的には多方向の剥離面が残る石刃核257が遺棄されている。頭部調整はあまり行われませんが、頻繁に打面・作業面転移が行われる接合資料である。

本接合資料では彫器1点(個体G)、舟底形石器6点(個体A~E・H)、削器1点(個体F)が製作されている。また、同一母岩には接合50323の舟底形石器(図 - 86 - 222)があり、併せて7点の舟底形石器が製作されている。この内、舟底形石器本体が出土しているのは個体B・Hから加工された230・223、単体資料の図 - 86 - 222の3点である。個体Aは段階2で剥離された厚手の平坦な剥片素材で、素材の長軸と舟底形石器の長軸が一致するように加工されている。個体B(図 - 132 - 321)は段階4で剥離された断面直角三角形の剥片素材で、鋭角である左側面を中心に加工されている。左側面中央の加工により折損し、遺棄されている(図 - 132 - 230)。個体Cは段階6で剥離された幅広で盤状の剥片素材で両側縁の加工の途中で一度折損し、軸を変えて再加工されている。個体Dは段階7で剥離された縦長剥片を素材としているが、先端部の調整剥片のみ接合し、詳細は不明である。個体Eは段階10で剥離された断面三角形の石刃素材で、点数が少ないため詳細は不明である。個体Hは段階12で剥離された小型の断面直角三角形の縦長剥片を素材としている。左側面の加工は階段状になり、中央で折損し遺棄されている(図 - 133 - 223)。

舟底形石器の素材として盤状の剥片が多く利用され、個体Hのように厚さ1cm強の薄手の剥片も

利用されている。接合していない図 - 86 - 222は厚さ1.2cmの薄手の剥片素材であるが右側面には舟底形石器 類に見られるような平行剥離とやや細かい通常の剥離がある。通常剥離部分は約70度で平行剥離部分は約80度である。最終的な仕上げの段階で剥離方法を変え平行剥離が行われ、角度が大きくなったと考えられる。

彫器に加工された個体G(図 - 133 - 69)は段階13で剥離された石刃素材である。背面は両側縁が急角度に加工され、腹面は基部のみ側縁が直線的になるように平坦剥離で加工されている。その後ノッチ状の彫刀面打面から左肩に彫刀面打撃が行われ、彫刀面傾斜角が鈍角となる 類の彫刀面が作出されている。削片剥離は彫刀面がステップ状になった段階で終了している。彫器69には背面先端部調整が見られる。

削器に加工された個体Fは段階11で剥離された縦長剥片素材で、中央で折損後、基部側の破片の右側縁に粗い加工が行われている。

分布 Sb - 6・7のJ44~47、KI43~46、M42・43区に分布する。ほとんどはSb - 7のKI44・45区から出土し、M42区にもまとまりがある。剥離段階による分布の違いは見られず、また、個体A~E・Hの舟底形石器の調整剥片は全てSb - 7から出土し、他の一次剥離の剥片と変わらないが、個体Hの舟底形石器だけはSb - 6のM42・43区から出土している。個体Fの削器、個体Gの彫器はSb - 6のM42区から出土している。また、単体で出土している図 - 86 - 222もSb - 6のMN42区から出土している(図 - 98参照)。Sb - 6から出土したものを図 - 134の模式図のトーンで示したが、それらは前述のツール以外では剥片・縦長剥片の7点で剥離に連続性が見られない。

母岩別資料121・接合資料340(図 - 135・136、図版364 - 2・365 - 1)

母岩別資料は接合340の他、接合341~343、剥片3点で構成され、総点数69点、総重量724.8gである。

素材 59点(44個体)が接合し、重量は702.1g、大きさは15×11×10cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で打面部・作業面を粗割りした形状で搬入されている。

剥離工程 打点位置を左右にずらしながら打面調整(1)が行われ、石刃が剥離されている(2)。途中で稜調整(3)が行われる。基本的には正面に作業面を固定して石刃が剥離されているが、段階4では裏面にまで剥離が及び、下縁調整(5)が行われた後に正面で打面調整(7)を行いながら石刃が剥離される(6・8)。最終的に作業面は石刃核をほぼ周回している。石刃は中間段階で剥離された7~10cmのものが欠落し、搬出されたと考えられる。

分布 Sb - 6・7・9のJ45~47、KI44~46、M42区に分布しているが、4点を除いてSb - 7から出土している。Sb - 6出土石器を模式図にトーンで示している(図化後に接合したものを含めてトーンを入れている)。Sb - 6から出土しているのは全て6~6.5cmの縦長剥片・石刃で特に最終段階のものが多い。Sb - 6出土石器が連続した剥離で剥離されたものではないこと、最終剥離の剥片・石刃核がSb - 7から出土していることから、石器製作はSb - 7で行われ、石刃類が選択され、Sb - 6に持ち込まれたと考えられる。

母岩別資料113・接合資料318(図 - 136、図版365 - 2)

母岩別資料は接合318の他、接合319・320、削器1点、剥片3点で構成され、総点数32点、総重量656.9gである。

素材 18点(11個体)が接合し、重量は606.5g、大きさは15×11×6cmである。古い素材腹面を持ち、背面が平滑面と角に爪状痕を持つ原礫面に覆われた剥片素材である。

剥離工程 平面形が三角形の剥片の先端側を打面として左右二辺でV字形に石刃剥離(1・2)が行

われた後、上面に作業面を転移させ、剥片が剥離される。さらに、打面転移を繰り返し、三角形を維持するように剥片剥離が行われている（4・5）。頻繁な打面転移の結果、石核273には多方向の剥離面が残る。

分布 Sb - 6の分布に沿ってJ44、K43・44、L43区から出土している。段階による分布の偏りは見られない。

母岩別資料133・接合資料419（図 - 137、図版366 - 1）

母岩別資料は接合419の他、接合420、剥片6点で構成され、総点数37点、総重量796.7gである。

素材 29点（26個体）が接合し、重量は751.4g、大きさは12×9×7cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、平坦打面、背稜を持つ石刃核の状態で搬入されている。

剥離工程 背稜・打面から左側面の側面調整（1・2）の後、打面再生（3）、石刃剥離（4）が行われる。右側面で下縁からの剥片剥離（5）後、左側面で縦長剥片剥離（6） 右側面で剥片剥離（7） 右側面で下縁からの縦長剥片剥離（8） 右側面で裏面からの剥片剥離（9） 左側面で下縁からの剥片剥離（10）が行われ、打面転移が頻繁に繰り返された結果、石核283は円盤状を呈する。段階8で剥離された剥片は両側縁を急角度の剥離によって削器198に加工されている。

分布 Sb - 6・7のJ46・47、K43～46、L42・43・45・46、M42区に分布し、M42区周辺とK44区周辺の二か所にまとまりが見られるが全体的に散漫な分布である。Sb - 6出土石器をトーンで示しているが段階の差はなく、厚手で大きい剥片より細長い剥片が多い。また、削器と石核はM42区から出土している。

母岩別資料147・接合資料470（図 - 138、図版367 - 1）

母岩別資料は接合470の他、接合471・472、剥片1点で構成され、総点数32点、総重量451.4gである。

素材 24点（19個体）が接合し、重量は418.6g、大きさは13×9×5cmである。爪状痕のある原礫面を持つ小型の円形の転礫を素材として原石の状態です搬入されている。

剥離工程 原石の端部に斜めに打面が作出された（1）後、左右から剥片が剥離される（2・3）。裏面で剥片が剥離された（4）後、さらに正面で剥離が行われる（5）。頻繁な作業面転移の結果、石核は円盤状である。

分布 母岩別資料の内唯一Sb - 6～11にまたがる広い分布を示す。剥離段階による分布の差は見られない。石核はK45区の 層から出土している。

母岩別資料168・接合資料583（図 - 138・139、図版366 - 2）

母岩別資料は接合583の他、接合584～587、剥片14点で構成され、総点数106点、総重量1,004.9gである。

素材 79点（63個体）が接合し、重量は948.0g、大きさは17×11×9cmである。平滑面と角部に爪状痕のある亜角礫を素材として、原石で搬入されている。

剥離工程 原石の端部に正面からの剥離によって打面が作出され（1）、原石の角を中心に厚手の縦長剥片が剥離される（2）。その後、下面に正面からの剥離によって打面が作出され（3）、下設打面から石刃が剥離されている（4）。さらに、打面転移が行われ、上設打面から縦長剥片が剥離され、底面を取り込む大型の剥片が剥離されている。以後、稜調整を挟んで石刃が剥離される（5）。石刃剥離の際に頭部調整のみ行われる。

本接合資料では舟底形石器3点（個体A～C）が製作されている。その内、舟底形石器本体が出土しているのは個体A・Bから加工された244・240の2点である。個体Aは段階2で剥離された原礫面

で覆われた断面四角形に近い非常に厚手の縦長剥片素材である。左右両側面で甲板面から加工が行われるが左側面の加工は階段状になり、遺棄されている。個体Bは段階2で石核の角を取り込むように剥離された断面三角形の縦長剥片を素材としている。両側面とも粗い剥離で加工されるが左側面の加工の際に折損し、遺棄されている。個体Cは段階5で剥離された底面を大きく取り込む内湾した剥片素材で、両側面が加工されるが本体は出土していない。

分布 Sb - 11のほぼ全域から出土しているが、R40・41区に分布の中心がある。個体A～Cとそれ以外に分布の差はなく、段階による差も見られない。

母岩別資料160・接合資料543 (図 - 140・141、図版367 - 2)

母岩別資料は接合543の他、接合544～548・731、彫器削片1点、彫器2点、剥片37点で構成され、総点数102点、総重量897.6gである。

素材 49点(47個体)が接合し、重量は778.5g、大きさは14×13×10cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を半割したような角錐状の形態で搬入されている。

剥離工程 分割面を打面として、頭部調整なしで縁辺から約5mm内側を打撃し、舟底形石器の調整剥片状の比較的大きな打面の剥片が剥離されている(1)。角錐状の原石形状を反映して角部から剥離されたものは厚手の縦長剥片や石刃である。次に打面を90度転移させ、打面と作業面を入れ替えて縦長剥片が剥離されている(2・3)。再度上設の単剥離打面から打面の大きい剥片が左右側面で交互に剥離され(4～10)、舟底形石器の形状に整形されていき、最後は舟底形石器の下縁部から加工されている(11)。図 - 141の右上にトーンで示した部分が石核部分であるが、舟底形石器として搬出されたと考えられる。全体を通して頭部調整なしで打面の大きい剥片が剥離されるが、その中には頭部調整を伴う打面の小さい石刃(図 - 90 - 255)・縦長剥片が剥離されている。

本接合資料では彫器2点(個体A・C)、舟底形石器2点(個体B・石核部分)、搔器1点(個体D)が製作されている。彫器は、母岩別資料に単体の彫器2点が含まれ、全部で4点作られている。

彫器に加工された個体A(図 - 140 - 49)は段階1で剥離された縦長剥片を素材としている。背面両側縁に急角度の加工を行い、彫刀面は素材の先端部左肩に作出され、彫刀面形状は 類の特徴を持つ。個体C(図 - 140 - 56)は段階3で剥離された石刃を素材としている。背面両側縁は急角度に加工され、腹面基部は平坦剥離で側縁形が直線的になるよう加工されている。彫刀面は素材の先端部左肩に作出され、彫刀面形状は 類の特徴を持つ。単体の彫器は、一つは図示していないが、厚さ3mm程度の薄い剥片素材で、背面の両側縁は細かい剥離で加工され、左肩に 類の彫刀面が作出されている。もう一つは図 - 81 - 58の彫器で背面両側縁は急角度に加工され、素材先端側の左肩に彫刀面が作出されている。彫刀面形状は 類の特徴を持ち、背面先端部調整が見られる。

舟底形石器に加工された個体Bは(図 - 140 - 234)段階1で剥離された断面三角形の厚手の縦長剥片を素材として両側面で加工が行われるが、完形のまま遺棄されている。

搔器に加工された個体D(図 - 141 - 162)は段階8で剥離された打面の小さい中央に稜を持つ縦長剥片素材である。基部両側縁に加工が行われ、両側縁が直線的になっている。刃部は傾斜している。

分布 Sb - 6・8～10のK44、M44・45、N42～47、O42・44区に分布するが、主にSb - 10に分布している。Sb - 6からは原礫面のある剥片が出土している。Sb - 8からは彫器2点、搔器1点、打面の小さい石刃(図 - 90 - 255)1点、縦長剥片1点、調整剥片1点が出土している。これは本接合資料の石刃・縦長剥片3点中2点であり、打面の小さい石器3点のうち2点を含む。Sb - 9から出土しているのは搔器と舟底形石器と石刃の折損した末端部である。M46区の 層から打面の小さい縦

長剥片が1点出土しているが、それは他の縦長剥片と比べねじれて小型である。その他の遺物は全て打面の大きな調整剥片である。このことから判断すると石核の調整を行いながら時に石刃を目的的に剥離し、彫器・搔器などに加工し、厚手の剥片は舟底形石器に加工していたと考えられる。特に、Sb - 10では石器製作が行われ、その内、目的的に剥離した石刃類をSb - 8に持ち込み、二次加工、さらには使用による刃部再生を行っていたものと思われる。

母岩別資料157・接合資料528 (図 - 142・143、図版368 - 1)

母岩別資料は接合528の他、接合529～531、剥片57点で構成され、総点数126点、総重量1,034.7gである。

素材 61点(52個体)が接合し、重量は944.7g、大きさは14×13×12cmである。平滑面と角部に潰れの見られる角礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程 最初の打撃で原石が中央の節理面で個体A～Cに分割され、そのうち個体A・Bについては剥片剥離が行われる。盤状の個体Aは分割面側の側縁部が剥離(1)された後、その面を打面として原礫面側で剥離が行われている(3)。また、分割面端部の調整(2)後、逆方向から剥離が行われている(4)。その後、その面を打面として大きな打面を持つ厚手の剥片が石核の正面で剥離されている(5)。個体Aから二点の舟底形石器(個体a・b)が製作されている。個体aは段階4で剥離された厚手の剥片素材である。個体bは段階5で剥離された断面が台形状の厚手の剥片を素材としている。

個体Bは分割面を打面として連続的に厚手の剥片が剥離されている。石核は出土していない。個体cは厚手の剥片素材で両側面が加工され、舟底形石器が製作されている。

分布 個体AはSb - 8・10のN42・43・46、O44・45区に分布する。段階1・2は全てSb - 10から出土し、段階3～6は個体a・cを含む全てがSb - 8から出土しており、Sb - 10での数回の剥離の後にSb - 8に持ち込まれ、剥片剥離、舟底形石器製作が行われたと考えられる。対照的に個体BはSb - 9出土の1点を除きSb - 10から出土している。個体cはO44区にまとまっているがN45・46区にも分布する一方、その他の剥片はN45・46区を中心に分布している。分割した際に剥離された個体C、及び、個体A・Bのあり方からSb - 10で分割、剥片剥離が行われた後、個体Aのみ途中でSb - 8に持ち込まれたと考えられる。

母岩別資料141・接合資料453 (図 - 143、図版368 - 2)

母岩別資料は接合453の他、接合729、彫器削片4点、剥片1点で構成され、総点数14点、総重量36.3gである。

素材 6点(4個体)が接合し、重量は33.4g、大きさは10×3×2cmである。作業面の湾曲が比較的少なく、直線的な稜を持つ高さ10cm程度の石刃核で搬入されている。

剥離工程 単剥離打面から頭部調整を行いながら石刃が剥離され、数回の石刃剥離の後に石刃核は搬出されている。搔器173は石刃素材で右側縁先端部に加工が行われ、刃部が作出されているが、刃部再生によって刃部は鈍角に近い状態である。また、接合している底面を含む石刃の長さから推定すると1点の刃部再生剥片が接合しているものの、ほとんど刃部再生が行われていない。逆に彫器46は直線的な側面形・直線的な背面の稜から判断して搔器とそれほど素材の大きさに違いはないと考えられるが、長さは3分の1程度であり、刃部再生が頻繁に行われた結果と考えられる。彫器46は石刃素材で両側縁が急角度に加工され素材先端側に彫刀面が作出されている。彫刀面には2回の剥離痕が残るが、先に剥離された1本は類の特徴を持ち、後に剥離された1本は類の特徴を持つ。類の彫刀面から類の彫刀面に变化した際に遺棄されている。

分布 搔器はM46区の 層から出土している。彫器はSb - 8 から出土しており、石刃の先端部がN45区、中間部がO42区から出土している。

母岩別資料106・接合資料308 (図 - 143、図版368 - 3)

母岩別資料は接合308のみである。

素材 2点(2個体)が接合し、重量は182.9g、大きさは13×7×3cmである。爪状痕を持つ原礫面で覆われた大型の転礫を素材とした大きな剥離面で構成される石核で搬入されている。

剥離工程 横方向からの大きな剥離面と上からの剥離面、原礫面で構成される稜線を利用して単剥離打面から幅広の縦長剥片が剥離された後、幅の狭い長幅比の大きい石刃が剥離されている。幅広の石刃は腹面の一部に二次加工が施される。幅の狭い石刃は彫器に加工されている。両側縁には部分的で比較的平坦な加工が行われ、素材の末端部を切り取るような彫刻刀打面作出後、彫刀面が作出されるが、ほとんど彫刀面再生が行われずに遺棄されている。他に同一母岩は無く、大きな剥離で構成された石核で搬入され、数回の石刃剥離を行った後に搬出されている。

分布 二点共にM42区から出土している。

母岩別資料105・接合資料305 (図 - 143、図版369 - 1)

母岩別資料は接合305の他、接合306・307・50192で構成され、総点数19点、総重量44.7gである。

素材 10点(10個体)が接合し、重量は31.6g、大きさは9×3×2cmである。平滑面と角部が潰れた原礫面を持つ亜角礫から剥離された厚手の剥片を素材としている。

剥離工程 背面に原礫面を持つ厚手の剥片を素材として両側縁の加工により舟底形石器が製作されている。途中で折損しているが、再加工され、長さ5cmほどの舟底形石器が搬出されている。

分布 全てSb - 6 から出土しており、Sb - 6 で加工されたと考えられる。

母岩別資料198・接合資料730 (図 - 144、図版369 - 2)

母岩別資料は接合730の他、彫器削片3点で構成され、総点数5点、総重量5.7gである。

素材 2点(2個体)が接合し、重量は5.4g、大きさは5.3×1.6×0.6cmで、石刃素材である。

剥離工程 石刃の基部側に彫刀面が作出されている。背面基部側は急角度の加工によって細身になっているが、右側縁の先端部には彫刻刀打面に簡単な加工が見られるのみである。腹面は基部に平坦な加工が見られる。削片100の背面の彫刀面には細かい加工が見られる。彫刀面傾斜角は約40度で 類の特徴が維持され、形態軸・彫刀面交叉角も変化は見られない。

分布 彫器はSb - 9 のN43区から出土し、削片はN42区から出土している。

母岩別資料119・接合資料337 (図 - 144、図版369 - 3)

母岩別資料は接合337の他、接合338、剥片1点で構成され、総点数32点、総重量318.4gである。

素材 2点(2個体)が接合し、重量は6.3g、大きさは4.3×1.8×0.8cmである。石刃素材で、削片1点と彫器1点で構成される。

剥離工程 背面全周縁と腹面基部右側縁に加工が見られ、素材先端側の直線的な細部調整加工による彫刀面打面から彫刀面再生が行われる。打点のある背面先端部調整が見られ、その後、削片111が剥離されるが、削片剥離後に加工は行われず、彫器は遺棄されている。彫刀面の腹面には微細剥離痕が観察される。彫刀面傾斜角は135度から120度に変化するが、形態軸・彫刀面交叉角は変化がない。

分布 彫器はSb - 7 のK46区から出土し、削片はSb - 6 のL42区から出土し、Sb - 6 での使用・彫刀面再生後Sb - 7 に持ち込まれた可能性がある。

母岩別資料201・接合資料732 (図 - 144、図版369 - 4)

母岩別資料は接合732の他、彫器削片2点で構成され、総点数6点、総重量7.3gである。

素材 4点(4個体)が接合し、重量は7.0g、大きさは4.3×1.8×1.0cmである。3点の削片と1点の彫器で構成される。背面に腹面と逆方向の剥離面を持ち、両設打面の石刃核から剥離された比較的厚手の石刃素材である。

剥離工程 背面は左右両側縁を急角度の調整によって、腹面は基部に両側縁からの平坦剥離によって加工されている。素材先端側に彫刀面打面が作出され、背面先端部調整後、削片92が剥離される。再度背面先端部調整が行われた後、削片105が剥離され、その際、彫刀面が背面に回り込んでいる。さらに彫器本体の背面を取り込まない断面三角形の削片が2回剥離された後、削片149が剥離される。削片92・105は縁辺部の角(素材背面と腹面の角)が加撃されるが、削片149は彫器縁辺から背面の4mm内側を加撃したため、力が腹面側に抜け、刃部形状が鈍角になり、類から類に変化している。削片149剥離後に背面先端部調整が行われ、最終削片剥離の際、彫刀面打点部がステップ状に潰れた後に彫器は遺棄される。彫器の素材面は傷の多い表面で、二次加工面には傷が無いため、素材剥離と二次加工に時間差があると考えられる。彫刀面傾斜角は94度、92度、130度、117度に変化し、類から類の特徴に変化しているが、形態軸・彫刀面交叉角はほとんど変化がない。

分布 Sb - 8のN42区から全て出土している。

母岩別資料202・接合資料733(図 - 144、図版369 - 5)

母岩別資料は接合733の他、接合734で構成され、総点数5点、総重量4.9gである。

素材 3点(3個体)が接合し、重量は4.6g、大きさは3.7×1.8×0.9cmである。頭部調整の見られる縦長剥片を素材としている。

剥離工程 素材の背面両側面は急角度の剥離によって加工され、素材先端部右肩に急角度の加工によって作出された打面から左肩に削片が剥離されている。彫器本体には打点のない背面先端部調整が見られる。断面三角形の削片145・150が2本剥離され、彫器は遺棄されている。2本目の削片150は彫器縁辺から背面の3mm内側に打点がある。彫刀面傾斜角は打点位置の変化によって88 122 130度と鋭角(類)から鈍角(類)に変化している。また、素材腹面、背面の稜部が潰れている一方、二次加工面にはそれが見られないため素材剥離と二次加工に時間差があり、削片剥離を経て遺棄されたと考えられる。接合732と搬入形態・彫器の形態変化共に共通する。削片145と彫器本体の刃部の腹面側に微細な剥離痕が観察される。彫刀面傾斜角は変化が見られるが形態軸・彫刀面交叉角に変化は見られない。

分布 全てSb - 8のN42区に分布する。

母岩別資料140・接合資料724(図 - 144、図版369 - 6)

母岩別資料は接合724の他、接合447～452・725～728・50231、彫器削片23点、剥片17点で構成され、総点数234点、総重量484.1gである。

素材 3点(3個体)が接合し、重量は0.6g、大きさは1.1×1.6×0.6cmである。彫刀面が素材打面側の左肩に作出された彫器から剥離された削片の接合資料である。

剥離工程 95の背面には微細な彫刀面剥離が見られるが、それ以外は全て母型作成時の周辺加工であると考えられる。95の剥離後、背面先端部調整が行われ、91が剥離される。さらに素材腹面から彫刀面への加工後、彫刀面打面調整が行われ102が剥離される。直線的な刃部は平行に推移し、形態軸・彫刀面交叉角は変化が見られない。彫刀面傾斜角は加工後の角度で78 74 83度と鋭角(類)のまま推移している。

分布 全てSb - 8のN42区から出土している。

母岩別資料140・接合資料725(図 - 144、図版369 - 7)

素材 3点(3個体)が接合し、重量は0.5g、大きさは1.2×1.6×0.5cmである。彫刀面が素材打面側の左肩に作出された彫器から剥離された削片の接合資料である。

剥離工程 彫刀面を切る素材腹面から彫刀面への加工後、104が剥離される。その後、同様に素材腹面から彫刀面への加工を挟んで155・103が剥離されている。素材腹面から彫刀面への加工はネガティブバルブの下部周辺で突出する部分を除去するように行われるため刃部形状は直線的で平行に推移している。また、彫刀面打面調整は全てに行われ、彫刀面打撃の打点位置は形態軸に平行に推移している。彫刀面打撃は全て彫刀面打面と素材腹面の角に行われ、彫刀面傾斜角は加工後の角度で64 60 61度と鋭角(類)で推移している。形態軸・彫刀面交叉角には変化がない。

分布 全てSb - 8のN42区から出土している。

母岩別資料149・接合資料735(図 - 144、図版369 - 8)

母岩別資料は接合735の他、接合713・736～739・50234、削器1点、彫器削片4点、彫器1点で構成され、総点数46点、総重量139.0gである。

素材 10点(9個体)が接合し、重量は1.3g、大きさは1.8×2.1×0.7cmである。彫刀面が素材打面側の左肩に作出された彫器から剥離された削片の接合資料である。

剥離工程 削片は146 148 147 140 134 136 137 143 138の順で剥離される。146の背面には母型作成時の周縁加工が残り、比較的初期の段階の削片と考えられる。148・147は先端部のみで140は素材背面を含まない断面三角形の削片である。134の剥離前に背面先端部調整が行われるが、その後136・137の剥離では行われない。136の剥離前には打面調整が行われている。143の剥離前にも背面先端部調整が行われ、彫刀面幅を変化させている。同時に彫刀面打面調整も行われる。138の剥離の際にも軽微な加工が見られる。全て彫器縁辺から背面の2～3mm内側に打点がある。彫刀面傾斜角は計測できるもので105 107 118 127 121度と鈍角(類)で変化している。146の段階(初期の段階)から鈍角で比較的安定して刃部再生が行われている。形態軸・彫刀面交叉角は最初45度程度だが彫刀面再生に伴い80度位で安定して推移している。

分布 全てSb - 8のN42区から出土している。

母岩別資料149・接合資料736(図 - 144、図版369 - 9)

素材 9点(6個体)が接合し、重量は1.1g、大きさは1.4×2.3×0.6cmである。彫刀面が素材打面側の左肩に作出された彫器から剥離された削片の接合資料である。

剥離工程 削片は110 142 106 121 125 119の順で剥離される。110の背面には母型作成時の周縁加工が残り、素材腹面との角度は70度である。142の剥離後、106が調整加工なしで剥離される。打面調整後、121が剥離され、続いて断面三角形の125が剥離される。彫刀面を大きく斜めに切り取る背面先端部調整後、素材背面を持つ断面三角形の削片が剥離され、さらに、彫刀面打面調整が行われ、119が剥離されている。彫刀面傾斜角は70 101 98 105 108 126度と変化しているが、一次削片剥離以降鈍角(類)でほとんど変化がないと言える。形態軸・彫刀面交叉角はほとんど変化が無く、また、彫刻刀打撃打点位置は彫刀面打面調整に伴い形態軸にほぼ平行に推移している。

分布 全てSb - 8のN42区から出土している。

母岩別資料149・接合資料737(図 - 144、図版369 - 10)

素材 9点(5個体)が接合し、重量は1.3g、大きさは1.3×2.0×0.9cmである。彫刀面が素材打面側の左肩に作出された彫器から剥離された削片の接合資料である。

剥離工程 背面先端部調整後、素材背面を持つ断面三角形の131が剥離される。調整無しで120が剥離された後、背面先端部調整が行われ、133が剥離される。彫刀面打面調整後、118が剥離され、再度背

面先端部調整後、117が剥離されている。彫刀面傾斜角は130 110 111 115 111度と比較的安定して鈍角（類）で推移している。彫刀面打撃打点位置は彫刀面打面調整に伴い形態軸に平行して推移している。形態軸・彫刀面交叉角には変化がない。

分布 全てSb - 8のN42区から出土している。

母岩別資料139・接合資料716（図 - 144、図版369 - 11）

母岩別資料は接合716の他、接合441～446・714・715・717～723、彫器削片69点、彫器1点、剥片7点で構成され、総点数243点、総重量614.8gである。

素材 4点（4個体）が接合し、重量は0.6g、大きさは1.6×1.8×0.7cmである。彫刀面が素材打面側の左肩に作出された彫器から剥離された削片の接合資料である。

剥離工程 109には母型作成時の周辺加工が残る。109の剥離後、素材背面を含まない断面三角形の削片が剥離され、その後、151が剥離されている。背面先端部調整後、156が剥離され、続けて139が剥離されている。彫刀面傾斜角は最初の二次加工が65度、以後105 104 102度と鈍角（類）で安定して推移している。また、一次削片剥離時から彫刀面傾斜角が鈍角であったことが分かる。形態軸・彫刀面交叉角には変化がない。

分布 全てSb - 8のN42区から出土している。

母岩別資料209・接合資料748（図 - 144、図版369 - 12）

母岩別資料は接合748の他、舟底形石器削片1点で構成され、総点数4点、総重量0.4gである。

素材 3点（3個体）が接合し、重量は0.3g、大きさは1.1×0.4×0.4cmである。

剥離工程 端部に縞状剥離痕を持つ小型舟底形石器から剥離されている。3点とも舟底形石器の端部の形状を反映して先端部に反りが見られる。打面は点状でパルプが発達している。本接合資料は両側面・打面・下縁部を含み幅0.4cm、高さ1.1cmの舟底形石器から剥離されたと考えられる。これらのサイズは小型舟底形石器に一致する。

分布 全てSb - 8のN42区から出土している。

模式図・写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料152・接合資料489（図 - 145、図版370・371）

母岩別資料は接合489の他、接合490～492・50240・50241、尖頭器1点、剥片118点で構成され、総点数352点、総重量1,911.7gである。出土している尖頭器1点は長さ約3cm、幅約1cmの本体の縁辺部が欠けたものである。

素材 222点（134個体）が接合し、重量は1,696.0g、大きさは41×17×7cmである。平滑面で覆われた長大な盤状の角礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程 突出している左側面上部と正面・裏面下部を中心に側縁形が直線的かつ断面が弧状になるように比較的粗い剥離で加工された後、線状の調整打面を持つ薄い形状の剥片の剥離によって加工が進んでいる。

形態変化：41×17×7cmの原石で搬入され40×10×（4）cmの尖頭器で搬出されている。長さは変化が無く、幅・厚さの変化が大きい。

分布 Sb - 9・10のM43・45～47、N44～47、O44・45区に分布するが、主にSb - 10のN45・46、O44区を中心に東北東の方向に帯状に分布し、折れ面接合も同様の分布を示す。

母岩別資料163・接合資料553（図 - 145、図版374）

母岩別資料は接合553の他、接合554～556・50253、彫器削片1点、彫器1点、剥片101点で構成され、総点数263点、総重量1,615.5gである。

素材 147点(97個体)が接合し、重量は1,411.4g、大きさは25×18×7cmである。平滑な原礫面で覆われた盤状の角礫素材で表裏とも縁辺部が粗加工された状態で搬入されている。

剥離工程 最初は幅の広い中間部と正面・裏面の上・下部を中心に打面の大きい剥片の剥離による比較的粗い加工が行われる。それにより、側縁形が直線的かつ断面形が弧状に変化し、その後、線状の調整打面を持つ薄い形状の剥片が剥離され、加工が進んでいく。最終段階に正面右側縁から剥離された比較的厚い剥片もしくは縦長剥片を素材として彫器50が製作されている。50は両側縁を急角度の剥離によって直線的に整形され、素材先端側にノッチ状に作出された彫刀面打面から左肩に彫刀面が作出されている。彫刀面傾斜角は鈍角で類の特徴を示す。また、接合していないが図 - 81 - 48も同一母岩で同様な素材・二次加工技術で類の彫器が製作されている。

形態変化：25×18×7cmの両面調整体で搬入され、22×9×2.5cmの尖頭器で搬出されている。幅・厚さの変化が大きい。

分布 Sb - 6・8～10のK43、L45、MN44～47、O42～45区に分布する。Sb - 10のN45・46、O44区を中心に東北東の方向に帯状に分布し、折れ面接合も同様の分布を示す。Sb - 6出土石器は両側縁が平行な縦長剥片で、Sb - 8出土石器は最終段階の幅広の剥片である。彫器50はO44区から出土し、図 - 81 - 48の彫器はM46区から出土している。

母岩別資料136・接合資料434(図 - 146、図版372・373)

母岩別資料は接合434の他、接合435～438・50224～50227、二次加工ある剥片1点、剥片298点で構成され、総点数482点、総重量3,786.8gである。

素材 165点(93個体)が接合し、重量は3,045.2g、大きさは35×23×9cmである。平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた平面形が三角形で盤状の角礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程 最初は原石の角を除去するような角度のある剥離が行われるが、縁辺部が加撃されるため剥離される剥片の打面は小さい。そのため、初期の段階では著しい形態変化が見られず、剥離も急角度のものから平坦剥離へと徐々に変化している。その結果、幅広の段階から平坦剥離が見られ、非常に平べったい形状の尖頭器になっている。

形態変化：35×23×9cmの原石で搬入され、30×(12)×(2)cmの尖頭器で搬出されている。幅・厚さ、特に厚さの変化が大きい。

分布 Sb - 6・7のJ46～48、K43・45・46、L42・43、M42区に分布し、特にSb - 7のJ46～48、K46区を中心に分布している。Sb - 6から出土しているのは模式図(上が裏面内側、下が正面内側)のトーンで示した部分であるが、初期の段階で剥離された大型の剥片がほとんどで、後半の段階のものでは大型の剥片もしくは縦長に近い剥片である。それらの中には剥片剥離が行われるものや189の搔器がある。Sb - 6出土石器は剥離工程の中で連続するものではなく、大型剥片であることからSb - 7で剥離され、剥片が選択され、Sb - 6に持ち込まれたと考えられる。

母岩別資料153・接合資料494(図 - 146、図版376 - 1)

母岩別資料は接合494の他、接合493・495～505・50242～50248、剥片545点で構成され、総点数736点、総重量2,890.9gである。

素材 29点(19個体)が接合し、重量は337.1g、大きさは27×12×3cmである。同一母岩の接合資料・剥片から平滑な原礫面を持つおそらく角礫素材であると考えられる。母岩153は大きく接合494と接合493・495の二個体分の尖頭器調整剥片接合資料で構成され、両者共に器面の大部分が加工された状態で搬入されている。

剥離工程 粗割りされた状態で搬入され、線状の打点を持つ薄く平坦な剥片の剥離によって加工され

ている。

形態変化：(27+) × (12) × (3+)の尖頭器で搬入され、長さ・幅はほとんど変わらないが厚さは片面で2cm薄くなっている。

分布 Sb - 9・10のM46、N45、O44・45、P44に分布するが、Sb - 10の分布域全体に散漫に分布している。

母岩別資料153・接合資料493・495 (図 - 147、図版375)

素材 接合493は41点(25個体)が接合し、重量は423.5g、大きさは33×12×3cmである。接合495は43点(23個体)が接合し、重量は405.2g、大きさは27×12×4cmである。表裏両面とも大きい剥離痕が残り、粗加工された状態で搬入されている。

剥離工程 搬入時の直線的な両側縁を維持するように縁辺部を打撃する平坦剥離によって整形されている。遺跡内では最初から小さい打面の剥片が剥離されている。

形態変化：(33+) × (13) × (7)cmの尖頭器で搬入され、(33+) × 10 × (3)cmの尖頭器で搬出されている。厚さの変化が大きい。

分布 接合493のSb - 9の1点を除き全てSb - 10に分布する。Sb - 10の分布域全体に分布し、折れ面接合も同様の分布を示す。同一母岩である接合494と分布に違いは見られない。

母岩別資料156・接合資料521 (図 - 147、図版376 - 2)

母岩別資料は接合521の他、接合522~527・50250、石刃1点、剥片43点で構成され、総点数135点、総重量864.6gである。

素材 66点(44個体)が接合し、重量は618.3g、大きさは17×13×10cmである。平滑な原礫面と潰れた角部を持つ原石を素材として原石で搬入されている。

剥離工程 上面に打面作出後、右側面で剥片が剥離される。次に下縁から右側面下部を大きく取り去る大型の剥片(個体A)が剥離され、舟底形石器に加工されている。個体Aの剥離によって石核の正面形がV字状になり、以後、軽微な頭部調整を伴う石刃剥離が連続して行われる。作業面形状の悪化に伴い正面下部調整が行われ、石刃剥離が継続されるが、下縁部が大きく折損した段階で180度の打面転移が行われ、それに伴う石核調整が行われる。下設打面からは厚手の剥片が剥離され、個体B・C(中で接合しているため模式図にはトーンで示していない)は舟底形石器に加工されている。石核形状が薄くなった時点で90度の打面転移が行われ、縦長剥片が剥離されている。二回の打面転移が行われた結果、石核271には三方向からの剥離が残る。本接合資料では、舟底形石器が個体A~Cから3点製作されているが、個体Bから製作された231だけが折損して出土し、他の2点は搬出されたと考えられる。

分布 Sb - 8~10のM44、N42~46、O43~45区に分布し、大きくSb - 8とSb - 10に分かれる。Sb - 8・9からは個体A~C、最後に剥離された縦長剥片2点、石核が出土し、それ以外の一次剥離の石刃・剥片はSb - 10から出土している。

母岩別資料166・接合資料568 (図 - 148、図版377)

母岩別資料は接合568の他、接合569~572、剥片89点で構成され、総点数219点、総重量1,743.7gである。

素材 116点(96個体)が接合し、重量は1,552.4g、大きさは22×13×10cmである。平滑な原礫面を持ち、角部に爪状痕のある亜角礫を素材として原石の端部を斜めに断ち切る一枚の剥離面を持つ原石形状で搬入されている。

剥離工程 上面の剥離痕を打面として正面で縦長剥片が連続的に剥離されている。その内、最初の2

枚（個体A・B）は角部から剥離されているため断面が三角形に近い厚手の縦長剥片で、それらは舟底形石器に加工され、搬出されている。後半の縦長剥片は末端部形状がヒンジになってしまい、作業面に段が付いている。そのため下面に打面が作出され、下設打面から剥離が行われ、さらにその面を打面として下面で剥離が行われる。これらの剥片で厚手の2点（個体C・D）が舟底形石器に加工されている。これらも本体は出土せず搬出されたものと考えられる。その後、下設打面から縦長剥片が剥離され、さらに上下に打面を転移させながら縦長剥片が剥離されている。この段階で剥離された厚手の縦長剥片（個体E）は二次加工が施される。剥離された縦長剥片は両設打面から剥離されているため幅広く直線的な側面形である。打面調整・打面再生は見られず軽微な頭部調整が見られる程度である。縦長剥片は打面の大きいものが多く、頭部調整もほとんど見られないことから舟底形石器の素材となりうる厚手の縦長剥片が目的的に剥離されていたと考えられる。

分布 Sb - 6・8～10のM43～45、N42～46、O44区に分布する。大きくSb - 8とSb - 10に分布が分かかれ、Sb - 8からは舟底形石器調整剥片と二次加工ある剥片が、Sb - 10からは一次剥離に関する剥片が出土している。Sb - 10で一次剥離が行われ、そのうち良好な形態の剥片がSb - 8に持ち込まれて二次加工が行われたと考えられる。

母岩別資料155・接合資料511（図 - 148、図版379 - 1）

母岩別資料は接合511の他、接合512～520、彫器削片1点、剥片112点で構成され、総点数277点、総重量1,072.8gである。

素材 131点（123個体）が接合し、重量は818.8g、大きさは21×12×11cmである。平滑面と爪状痕のある原礫面を持つ垂角礫を素材としている。原石の端部を斜めに断ち切る一枚の剥離面を持つ原石で搬入されている。石質4で赤色の部分を含む特徴的な石質である。

剥離工程 搬入時に剥離されていた上面の剥離面を打面として正面で石刃が剥離されるが、末端部がヒンジになる石刃剥離により作業面形状が悪化したため打面が180度転移される。裏面から下面を断ち切るような剥離が行われ、その剥片（個体A）は舟底形石器に加工されている。その剥離面を打面として左側面で大型の剥片が剥離され、一枚の剥片（個体B）は二次加工され、一枚の剥片（個体C）は舟底形石器に加工されている。さらにその剥離面を打面として頭部調整のある石刃が剥離され、厚手の石刃（個体D・E）は舟底形石器に加工されている。180度の打面転移が二回行われた後、右側面で裏面から剥片（個体F）が剥離され、舟底形石器が製作されている。次に下面で右側面から剥離が行われ、最終的に石核の裏面を甲板面に設定して石核素材の舟底形石器が製作されている（個体G）。6個体（個体A・C～G）の舟底形石器が製作されているが、全て遺跡から出土せず、搬出されたと考えられる。

分布 Sb - 8～10のL44・45、M44～46、N42・43・45・46、O44・45区に分布している。舟底形石器に加工された個体A・C～Fの調整剥片はSb - 10から出土し、一次剥離の剥片・石刃、舟底形石器に加工された個体Gの調整剥片はSb - 8から出土している。他の母岩ではSb - 10で剥片剥離が行われ、そのうち厚手の剥片がSb - 8に持ち込まれ、舟底形石器に加工されるが、この母岩では舟底形石器のほとんどがSb - 10で加工されている。Sb - 8で剥片剥離が行われ、Sb - 10に持ち込まれ、加工されるという他母岩とは逆の動きが想定される特徴的な消費形態であるといえる。最終的な石核はSb - 8で舟底形石器に加工されている。

母岩別資料145・接合資料457（図 - 149、図版378 - 1）

母岩別資料は接合457の他、接合459・461～465、剥片28点で構成され、総点数148点、総重量1,108.9gである。

素材 92点(78個体)が接合し、重量は913.9g、大きさは22×14×10cmである。平滑な原礫面で覆われた半円形の盤状の角礫を素材として、原石で搬入されている。

剥離工程 下縁からの調整後、原礫面打面から左右側面で縦長剥片剥離が行われる。打面調整・頭部調整は見られず、縁辺から少し内側が打撃されており、厚手の縦長剥片が目的的に剥離されていたと考えられる。厚手の縦長剥片(個体A~F)を素材として6個体の舟底形石器が製作されているが、遺跡から出土したのは1点のみで他の5点は搬出されている。

分布 Sb - 9に分布の主体がある数少ない母岩である。段階・個体毎の分布に違いは見られない。

母岩別資料130・接合資料406(図 - 149、図版378 - 2)

母岩別資料は接合406の他、接合407・408・50221、剥片29点で構成され、総点数77点、総重量711.5gである。

素材 41点(28個体)が接合し、重量は658.2g、大きさは14×12×9cmである。爪状痕のある原礫面で覆われた円形の転礫を素材として、原石の形状で搬入されている。

剥離工程 原石の長軸方向に剥離された剥離面を打面として縦長剥片が剥離され、断面三角形の厚手の縦長剥片(個体A)は舟底形石器に加工されている。また、左右側面で打面と作業面を入れ替えながら剥離が進み石核の最終形態は円盤状であったと考えられる。

分布 ほとんどがSb - 7のKL44・45区から出土しているが、最終剥離に近い縦長剥片(個体B)のみSb - 6のM42区から出土している。Sb - 7で剥片剥離が行われ、Sb - 6に持ち込まれたものと考えられる。

母岩別資料197・接合資料345(図 - 149、図版379 - 2)

母岩別資料は接合345の他、接合50201・50202、剥片13点で構成され、総点数103点、総重量549.5gである。

素材 86点(76個体)が接合し、重量は465.9g、大きさは17×10×8cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で正面・左右両側面が大きい剥離で構成される横断面が三角形の形態で搬入されている。

剥離工程 裏面の稜を利用して正面からの剥離によって上面に打面が形成される。当初、正面で縦長剥片が剥離されるが、途中から下設打面を設定し上下から交互に縦長剥片が剥離される。上設打面から剥離された縦長剥片(個体A・C)と上面における打面作出時の厚手の剥片(個体B)は舟底形石器に加工されているが、全て調整剥片のみで本体は出土しておらず、搬出されたと考えられる。

分布 ほとんどがSb - 7から出土しているが、Sb - 6からも4点出土している。それらは剥離の連続するものではなく、大きさは相対的に大型のものが多い。

母岩別資料122・接合資料344(図 - 150、図版380)

母岩別資料は接合344の他、接合346~351・50200、剥片91点で構成され、総点数291点、総重量1,217.7gである。

素材 184点(150個体)が接合し、重量は958.7g、大きさは18×12×11cmである。平滑な原礫面を持つ曲面的な垂円礫を素材としてほぼ原石に近い形態で搬入されている。

剥離工程 最初に正面で上設打面から剥離が行われる。その際剥離された厚手の剥片(個体A)を素材として石刃が剥離されるが、石刃剥離の際に打面調整と180度の打面転移が見られる。256が残核である。次に下面から正面に剥離が行われ、剥離された厚手の剥片(個体B)は舟底形石器に加工されている。また、正面の作業面から上面への打面再生状の剥離によって厚手の剥片が剥離されるが、その剥片(個体C)を素材として、単設打面から石刃が剥離されている。打面調整が行われ、残核は265である。個体Cから最初に剥離された厚手の稜付石刃は舟底形石器238に加工されるが、加工は甲

板面からの細かい剥離と下縁部からのわずかな剥離が見られる程度である。次に、裏面で下縁から厚手の剥片（個体D）が剥離され、舟底形石器に加工されている。さらに、上面で正面作業面から剥片が連続的に剥離されているが、厚手の剥片（個体E）を素材としてその側縁部で180度の打面転移を行いながら石刃が剥離されている。その後は、裏面下部で連続的に剥片剥離が行われ、厚手の剥片（個体F）を素材として舟底形石器232が製作されている。打面の転移が頻繁であるため、石核形状は角錐状に変化し、さらに打面を転移させながら剥離は進行している。最終石核は出土していないが円盤状の石核であったと考えられる。作業面転移が頻繁に行われるのが特徴である。

分布 Sb - 6・7・9のJ44～46、K43～46、L42・44～46区に分布するが、主にKI44・45区にまとまって分布している。段階・個体による差は見られず、Sb - 6出土石器は、舟底形石器238以外は剥片である。

母岩別資料187・接合資料645（図 - 150、図版381 - 1）

母岩別資料は接合645の他、接合646～648、石刃2点、剥片10点で構成され、総点数33点、総重量1,165.1gである。接合646は舟底形石器（図 - 89 - 243）に調整剥片が接合した資料で、初期段階の厚手の剥片が利用されている。

素材 10点（10個体）が接合し、重量は367.4g、大きさは10×8×7cmである。爪状痕のある転礫を素材としている。

剥離工程 一回の剥離による打面作出後、頭部調整を行いながら石刃が剥離される（1）。裏面からの打面再生（2）後、継続して石刃剥離が行われている。

分布 Sb - 11の東側に分布している。

母岩別資料194・接合資料661（図 - 151、図版381 - 2）

母岩別資料は接合661の他、縦長剥片1点、石刃2点で構成され、総点数7点、総重量183.4gである。

素材 4点（4個体）が接合し、重量は139.4g、大きさは14×6×4cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で搬入形態は不明。

剥離工程 正面で上設打面から打面調整を伴って縦長剥片が剥離されているが、その後、裏面で下設打面から縦長剥片が剥離されている。下設打面からの剥離には打面調整は見られない。

分布 Sb - 11の東側に分布している。

母岩別資料148・接合資料473（図 - 151、図版381 - 3）

母岩別資料は接合473のみである。

素材 9点（8個体）が接合し、重量は116.3g、大きさは9×6×4cmである。原石形状は不明。

剥離工程 裏面には下設打面からの剥離痕、正面には頭部調整の見られる上設打面からの石刃剥離痕を持つ高さ8.5cmの石刃核の正面右側面に加工が行われ（1）、さらに下縁から裏面左右側面に剥離が行われる。最終的に石核形状は円盤状に近い形態になっている。

分布 Sb - 8出土の2点以外はSb - 9から出土している。Sb - 8出土の2点は剥片である。

母岩別資料129・接合資料397（図 - 151、図版382 - 1）

母岩別資料は接合397の他、接合398～405・50220、剥片16点で構成され、総点数68点、総重量403.9gである。

素材 15点（13個体）が接合し、重量は129.1g、大きさは9×6×6cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、搬入形態は不明。

剥離工程 正面裏面で打面と作業面を入れ替えながら縦長剥片剥離が行われた後、180度打面を転移

させ下設打面から同様に打面と作業面を入れ替えて縦長剥片剥離が行われる。頻繁な打面転移の結果、石核の縦断面は凸レンズ状になっている。同一母岩の接合398・399も同様に作業面転移が行われた結果、多方向の剥離痕を持つ石核形状(図 - 92 - 266・267)になっており、本母岩では原石を分割して得られた小型の剥片を素材として打面転移を行いながら小型の縦長剥片剥離が行われている。

分布 Sb - 6 出土の1点を除いてSb - 7から出土している。Sb - 6 出土石器は縦長剥片である。

(鈴木宏行)

(10) 石器ブロック12 (Sb - 12) の石器

出土石器(表 - 4)

Sb - 9で出土した石刃鏃を含めて削器4点、剥片6点、石刃鏃3点の計13点、重量43.1gの石器類が出土している。Sb - 9で出土した石刃鏃も本石器群に含まれると判断し、ここで報告する。他のブロックと比べトウールの率が高く、トウール類は石器として搬入され、石器製作は行われていない。石材は黒曜石1が13点中11点で最も多く、黒曜石3・4が1点ずつである。石刃鏃と削器に関しては全てに産地分析を行い、1(赤石山)を除くと2(KS1遺物群)、3(所山)、4(所山)、5(置戸)、6(HS2遺物群)で産地の特定されていないKS1遺物群を除くと置戸・所山産である。

石刃鏃(図 - 152 - 1~3、図版382 - 2)

3点(3個体)を図示している。1~3は全て単設の石刃核から剥離された側面形が非常に直線的な石刃を素材として素材先端側に基部を作出している。幅1.1~1.2cm、厚さ0.3cm前後で規格性が高い。1・2は中央に稜を持ち、断面三角形である。1は先端部が欠損しているが、ほぼ完形品である。腹面は全周縁に加工が見られ、両側縁とも基部側から先端部に連続的に平行剥離が行われ、基部は急角度の加工により内湾する。背面は腹面加工後、基部に急角度の加工が行われ、縁辺はやや潰れている。側縁の基部周辺はノッチ状の加工によって左右両端が突出するような形態になっている。2は先端部である。加工は主に腹面、特に先端部を中心に行われる。背面の加工は先端部の末端に限定される。背面から折損しているが原因は不明である。3は基部である。腹面は全周縁に加工が見られ、側縁は平行剥離が、基部は急角度の加工が行われる。背面は基部のみ加工が見られ、平坦に近い加工で縁辺はやや潰れている。背面に打点のある折れ面である。

削器(図 - 152 - 4~6、図版382 - 2)

4点(3個体)を図示している。3~5は中央に一本の稜を持つ石刃素材で、3・4は透明度の高い石材で背面は腹面と同一方向の剥離のみで構成され、5は不透明な石材で背面は腹面と逆方向の剥離を含む。4には打面が残り、頭部調整・打面調整が見られる。二次加工は3~5全て背面両側縁全域に見られるが腹面にも散発的に行われる。縁辺部はやや潰れた状態である。大きさについては、全て幅1.7~1.9cm、厚さ0.5~0.7cmで類似し、石刃鏃とは区別され、石刃鏃とは異なった大きさの素材が選択されていたと考えられる。

石器ブロック12 (Sb - 12) の分布(図 - 152)

J49・50、K49~51区の12×5mの範囲で確認された。他のブロックに比べ非常に密度が薄いのが特徴である。石刃鏃はJ50区から、削器はその周辺から出土している。

(鈴木宏行)

(11) 石器ブロック外の石器

石核 (図 - 153 - 1・2、図版382 - 3)

2点(1個体と層出土1個体を加えた2個体)を図示している。1は爪状痕を持つ転礫を素材として主に正面で剥片が剥離される。裏面には部分的に剥離が行われるのみである。2は爪状痕を持つ転礫を素材として主に正面で大型の剥片が剥離されている。裏面の縁辺には細かい加工が見られる。

分布 (図 - 153)

1はJ11区、2はO16区から出土し、それぞれ石器ブロックとは一定の距離を隔てている。また、周辺にも遺物は見られず、技術的にも類似するブロックはない。(鈴木宏行)

自然科学的分析等

1 放射性炭素年代測定

(株) 地球科学研究所

放射性炭素年代測定結果報告書

放射性炭素年代測定の依頼を受けました試料について、別表の結果を得ましたのでご報告申し上げます。

報告内容の説明

^{14}C age (yBP)	: ^{14}C 年代 "measured radiocarbon age" 試料の $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比から、単純に現在(1950年AD)から何年前(BP)かを計算した年代。 半減期はリビエの5568年を用いた。
補正 ^{14}C age (yBP)	: 補正 ^{14}C 年代 "conventional radiocarbon age" 試料の炭素安定同位体比($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$)を測定して試料の炭素の同位体分別を知り $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ の測定値に補正値を加えた上で、算出した年代。 試料の ^{13}C 値を-25(‰)に標準化することによって得られる年代値である。 暦年代を得る際にはこの年代値をもちいる。
^{13}C (permil)	: 試料の測定 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比を補正するための $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比。 この安定同位体比は、下式のように標準物質(PDB)の同位体比からの千分偏差(‰)で表現する。 $^{13}\text{C}(\text{‰}) = \frac{(^{13}\text{C}/^{12}\text{C})[\text{試料}] - (^{13}\text{C}/^{12}\text{C})[\text{標準}]}{(^{13}\text{C}/^{12}\text{C})[\text{標準}]} \times 1000$ ここで、 $(^{13}\text{C}/^{12}\text{C})[\text{標準}] = 0.0112372$ である。
暦年代	: 過去の宇宙線強度の変動による大気中 ^{14}C 濃度の変動に対する補正により、暦年代を算出する。 具体的には年代既知の樹木年輪の ^{14}C の測定、サンゴのU-Th年代と ^{14}C 年代の比較により、補正曲線を作成し、暦年代を算出する。最新のデータベース("INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration" Stuiver et al,1998,Radiocarbon 40(3))により約19000yBPまでの換算が可能となった。*
*但し、10000yBP以前のデータはまだ不完全であり今後も改善される可能性が高いので、補正前のデータの保管を推奨します。 "The calendar calibrations were calculated using the newest calibration data as published in Radiocarbon, Vol.40, No.3,1998 using the cubic spline fit mathematics as published by Talma and Vogel,Radiocarbon, Vol.35,No.2,pg 317-322,1993:A Simplified Approach to Calibrating C14 Dates. Results are reported both as cal BC and cal BP. Note that calibration for samples beyond about 10,000 years is still very subjective. The calibration data beyond about 13,000 years is a "best fit" compilation of modeled data and,although an improvement on the accuracy of the radiocarbon date,should be considered illustrative. It is very likely that calibration data beyond 10,000 years will change in the future. Because of this, it is very important to quote the original BP dates and these references in your publications so that future refinements can be applied to your results."	
測定方法などに関するデータ	
測定方法	AMS: 加速器質量分析 Radiometric : 液体シンチレーションカウンタによる 線計数法
処理・調製・その他	: 試料の前処理、調製などの情報
前処理	acid-alkali-acid: 酸 アルカリ 酸洗浄 acid washes : 酸洗浄 acid etch : 酸によるエッチング none : 未処理
調製、その他	Bulk-Low Carbon Material : 低濃度有機物処理 Bone Collagen Extraction : 骨、歯などのコラーゲン抽出 Cellulose Extraction : 木材のセルロース抽出 Extended Counting : Radiometric による測定の際、測定時間を延長する
分析機関	BETA ANALYTIC INC. 4985 SW 74 Court, Miami, FL, U.S.A 33155

1 放射性炭素年代確定

測定番号	試料名	試料種	14C age (y BP)	13C (permil)	補正14C age (y BP)	暦年代	
Beta-112873	SHIRA-1	charred material	15570 ± 130	-25.1	15570 ± 130	交点	Cal BC 16650
						2SIGMA	Cal BC 17250 to 16080
						95% probability	
						1SIGMA	Cal BC 17090 to 16230
						68% probability	
整理番号 7064	測定方法	AMS	処理・調製・その他		acid-alkali-acid graphite		
Beta-112874	SHIRA-2	charred material	15580 ± 190	-25.6	15570 ± 190	交点	Cal BC 16650
						2SIGMA	Cal BC 17390 to 15950
						95% probability	
						1SIGMA	Cal BC 17160 to 16160
						68% probability	
整理番号 7065	測定方法	AMS	処理・調製・その他		acid-alkali-acid graphite		
Beta-112875	SHIRA-3	charred material	15260 ± 150	-24.1	15270 ± 150	交点	Cal BC 16300
						2SIGMA	Cal BC 16940 to 15710
						95% probability	
						1SIGMA	Cal BC 16760 to 15870
						68% probability	
整理番号 7066	測定方法	AMS	処理・調製・その他		acid-alkali-acid graphite		
Beta-112876	SHIRA-4	charred material	15010 ± 120	-23.6	15030 ± 120	交点	Cal BC 16030
						2SIGMA	Cal BC 16590 to 15510
						95% probability	
						1SIGMA	Cal BC 16440 to 15640
						68% probability	
整理番号 7067	測定方法	AMS	処理・調製・その他		acid-alkali-acid graphite		
Beta-112877	SHIRA-5	charred material	16040 ± 130	-25.6	16030 ± 130	交点	Cal BC 17180
						2SIGMA	Cal BC 17780 to 16590
						95% probability	
						1SIGMA	Cal BC 17630 to 16740
						68% probability	
整理番号 7068	測定方法	AMS	処理・調製・その他		acid-alkali-acid graphite		
Beta-112878	SHIRA-6	charred material	18230 ± 190	-23.5	18250 ± 190	交点	Cal BC 19730
						2SIGMA	Cal BC 20520 to 18970
						95% probability	
						1SIGMA	Cal BC 20290 to 19190
						68% probability	
整理番号 7069	測定方法	AMS	処理・調製・その他		acid-alkali-acid graphite		

測定番号	試料名	試料種	14C age (y BP)	13C (permil)	補正14C age (y BP)	暦年代
Beta-112879	SHIRA-7	charred material	15850 ± 150	-25.0	15850 ± 150	交点 Cal BC 16970
						2SIGMA Cal BC 17620 to 16350
						95% probability
						1SIGMA Cal BC 17440 to 16520
						68% probability
整理番号 7070	測定方法	AMS	処理・調製・その他		acid-alkali-acid graphite	
Beta-112880	SHIRA-8	charred material	16130 ± 160	-26.5	16110 ± 160	交点 Cal BC 17270
						2SIGMA Cal BC 17950 to 16620
						95% probability
						1SIGMA Cal BC 17760 to 16800
						68% probability
整理番号 7071	測定方法	AMS	処理・調製・その他		acid-alkali-acid graphite	
Beta-112881	SHIRA-9	charred material	15880 ± 130	-27.0	15850 ± 130	交点 Cal BC 16970
						2SIGMA Cal BC 17570 to 16390
						95% probability
						1SIGMA Cal BC 17420 to 16540
						68% probability
整理番号 7072	測定方法	AMS	処理・調製・その他		acid-alkali-acid graphite	
Beta-112882	SHIRA-10	charred material	15250 ± 200	-23.6	15270 ± 200	交点 Cal BC 16300
						2SIGMA Cal BC 17060 to 15600
						95% probability
						1SIGMA Cal BC 16820 to 15820
						68% probability
整理番号 7073	測定方法	AMS	処理・調製・その他		acid-alkali-acid graphite	
Beta-112883	SHIRA-11	charred material	15100 ± 130	-24.3	15110 ± 130	交点 Cal BC 16120
						2SIGMA Cal BC 16700 to 15570
						95% probability
						1SIGMA Cal BC 16550 to 15720
						68% probability
整理番号 7074	測定方法	AMS	処理・調製・その他		acid-alkali-acid graphite	
Beta-126156	SHIRA-45	charred material	18350 ± 140	-24.2	18360 ± 140	交点 Cal BC 19860
						2SIGMA Cal BC 20530 to 19210
						95% probability
						1SIGMA Cal BC 20360 to 19370
						68% probability
整理番号 10330	測定方法	AMS	処理・調製・その他		acid-alkali-acid	

1 放射性炭素年代確定

測定番号	試料名	試料種	14C age (y BP)	13C (permil)	補正14C age (y BP)	暦年代	
Beta-126157	SHIRA-46	charred material	18880 ± 140	-24.3	18890 ± 140	交点	Cal BC 20470
						2SIGMA	Cal BC 21160 to 19810
						95% probability	
						1SIGMA	Cal BC 20990 to 19970
						68% probability	
整理番号 10331	測定方法	AMS	処理・調製・その他		acid-alkali-acid		
Beta-126158	SHIRA-47	charred material	18520 ± 150	-24.6	18530 ± 150	交点	Cal BC 20050
						2SIGMA	Cal BC 20750 to 19380
						95% probability	
						1SIGMA	Cal BC 20580 to 19550
						68% probability	
整理番号 10332	測定方法	AMS	処理・調製・その他		acid-alkali-acid		
Beta-126159	SHIRA-48	charred material	18860 ± 140	-24.4	18870 ± 140	交点	Cal BC 20440
						2SIGMA	Cal BC 21140 to 19790
						95% probability	
						1SIGMA	Cal BC 20970 to 19950
						68% probability	
整理番号 10333	測定方法	AMS	処理・調製・その他		acid-alkali-acid		

表 - 1 放射性炭素年代測定一覧

測定番号	試料名	遺跡名	出土地点	層位	14C年代 (y BP)	補正14C年代 (y BP)	暦年代	
							交点	1
Beta-112873	SHIRA-1	奥白滝1	Cb-1(1)	a	15570 ± 130	15570 ± 130	Cal BC 16650	Cal BC 17090 to 16230
Beta-112874	SHIRA-2	奥白滝1	Cb-1(2)	a	15580 ± 190	15570 ± 190	Cal BC 16650	Cal BC 17160 to 16160
Beta-112875	SHIRA-3	奥白滝1	Cb-1(3)	a	15260 ± 150	15270 ± 150	Cal BC 16300	Cal BC 16760 to 15870
Beta-112876	SHIRA-4	奥白滝1	Cb-4(1)		15010 ± 120	15030 ± 120	Cal BC 16030	Cal BC 16440 to 15640
Beta-112877	SHIRA-5	奥白滝1	Cb-18	a	16040 ± 130	16030 ± 130	Cal BC 17180	Cal BC 17630 to 16740
Beta-112878	SHIRA-6	奥白滝1	Cb-18	a	18230 ± 190	18250 ± 190	Cal BC 19730	Cal BC 20290 to 19190
Beta-112879	SHIRA-7	奥白滝1	Cb-18	a	15850 ± 150	15850 ± 150	Cal BC 16970	Cal BC 17440 to 16520
Beta-112880	SHIRA-8	奥白滝1	Cb-15(2)	a	16130 ± 160	16110 ± 160	Cal BC 17270	Cal BC 17760 to 16800
Beta-112881	SHIRA-9	奥白滝1	Cb-15(3)	a	15880 ± 130	15850 ± 130	Cal BC 16970	Cal BC 17420 to 16540
Beta-112882	SHIRA-10	奥白滝1	Cb-11	a	15250 ± 200	15270 ± 200	Cal BC 16300	Cal BC 16820 to 15820
Beta-112883	SHIRA-11	奥白滝1	Cb-11	a	15100 ± 130	15110 ± 130	Cal BC 16120	Cal BC 16550 to 15720
Beta-126156	SHIRA-45	奥白滝1	Cb-6(1)	a	18350 ± 140	18360 ± 140	Cal BC 19860	Cal BC 20360 to 19370
Beta-126157	SHIRA-46	奥白滝1	Cb-9(1)	a	18880 ± 140	18890 ± 140	Cal BC 20470	Cal BC 20990 to 19970
Beta-126158	SHIRA-47	上白滝5	Cb-1	5	18520 ± 150	18530 ± 150	Cal BC 20050	Cal BC 20580 to 19550
Beta-126159	SHIRA-48	上白滝5	Cb-1	5	18860 ± 140	18870 ± 140	Cal BC 20440	Cal BC 20970 to 19950

2 奥白滝 1・上白滝 5 遺跡における堆積層・古植生の検討

パリノ・サーヴェイ株式会社

(1) はじめに

白滝遺跡群が分布する湧別川沿いの段丘地形については、白滝団体研究会(1963)による研究の後、最近では中村・平川(1998)により地形発達史が述べられている。これらに従えば、奥白滝 1 遺跡が立地する段丘は、前者の記載では第 3 段丘に分類され、後者の記載では上白滝面という名称で分類されている。平川ほか(2000)によれば、段丘上のテフラの対比から、上白滝面の形成年代は、酸素同位体比ステージ 7 後半～ステージ 6 初期と考えられている。したがって、奥白滝 1 遺跡で設定された断ち割りトレンチの土層断面で確認された、段丘礫層の上に堆積する厚さ約 2 m ほどの土壌層は、その後の温暖期である最終間氷期や寒冷期である最終氷期などを含む、およそ 20 万年間の時間を経て形成されたものといえる。そのうち、遺物包含層は表層に近い数 10 cm 程度の層位にしか認められないが、過去 20 万年間における環境変遷は、遺跡が立地する背景としての資料価値がある。今回の分析調査では、奥白滝 1 遺跡で認められた土層断面について、その中に含まれている珪藻化石、花粉化石および植物珪酸体の産状を調べるとともに粒度分析も行い、過去の環境変遷および植生について考察する。

一方、上白滝 5 遺跡では、赤化した土が集中する遺構が検出された。また、この遺構の周辺には、段丘上の土層にはあまりみられない、灰白色を呈する砂質粘土が検出されている。ここでは、赤色土が焼土である可能性を検証するために、燃料材に由来する植物珪酸体の組織片の産状を明らかにし、さらに、灰白色粘土の堆積環境を調べるため、粒度分析、珪藻分析および植物珪酸体分析を行う。

(2) 奥白滝 1 遺跡

(ア) 試料

調査対象とした土層断面は、平成 9 年度調査区内の N 5 区北壁および J 14 区北壁である。以下に各地点について説明する。

N 5 区北壁

現地所見により、層から c 層まで分層されている。このうち層は現表土、a 層～c 層は礫の混在する褐色のシルト層であり、かつ旧石器時代の遺物包含層でもある。試料は、a 層上限より c 層上部まで、厚さ 10 cm で 11 点を連続的に採取した。試料は上位より試料番号 1 とし、試料番号 1～6 は a 層、試料番号 7～9 は明褐色シルト層、試料番号 10、11 は c 層である。これらのうち、奇数番号の試料 6 点について、粒度、珪藻、花粉および植物珪酸体の各分析を行った。N 5 区北壁の断面を、柱状図にして図 - 1 に示す。

J 14 区北壁

J 14 区北壁では、段丘礫層の上に厚さ 10～20 cm 程の暗褐色のローム層が堆積し、その上位に厚さ 30～40 cm の軽石質のテフラ層が堆積する。このテフラ層は、平川ほか(2000)による白滝 5 テフラ(Sit 5)であり、サロマ湖周辺地域に分布する登栄床火山灰(TT:奥村, 1991)に対比されている。また、その噴出年代は 15～20 万年前と考えられている。

Sit 5 より上位のローム層については、発掘調査所見により、上位より、a、黄褐色粘土、c、の各層に分層されている。このうち、層は攪乱表土層、a 層および黄褐色粘土層はいわゆるローム層であり、黄褐色粘土層に後述する c 層を構成する岩片やスコリアなどの散在が認められ

2 奥白滝1・上白滝5遺跡における堆積層・古植生の検討

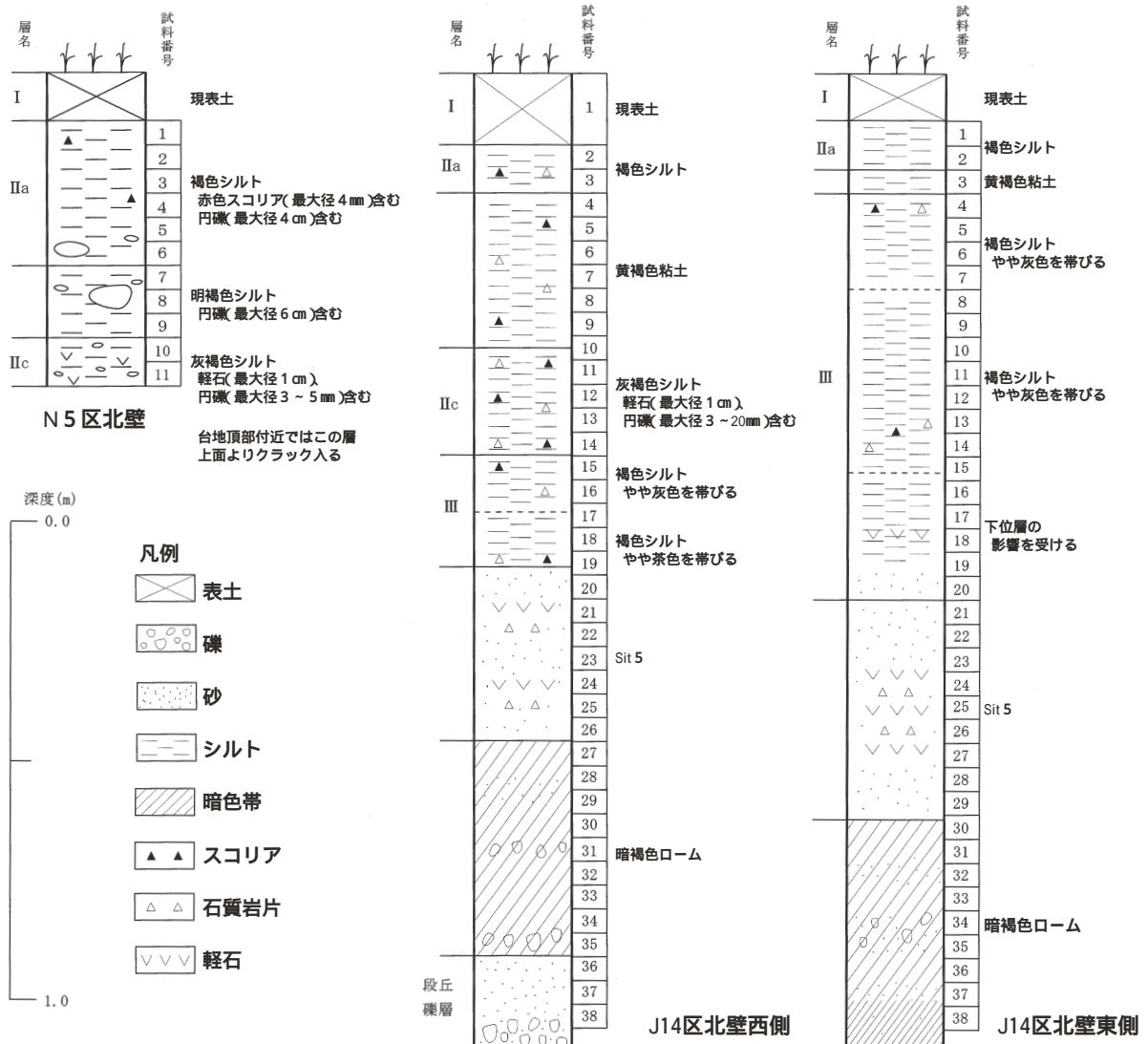
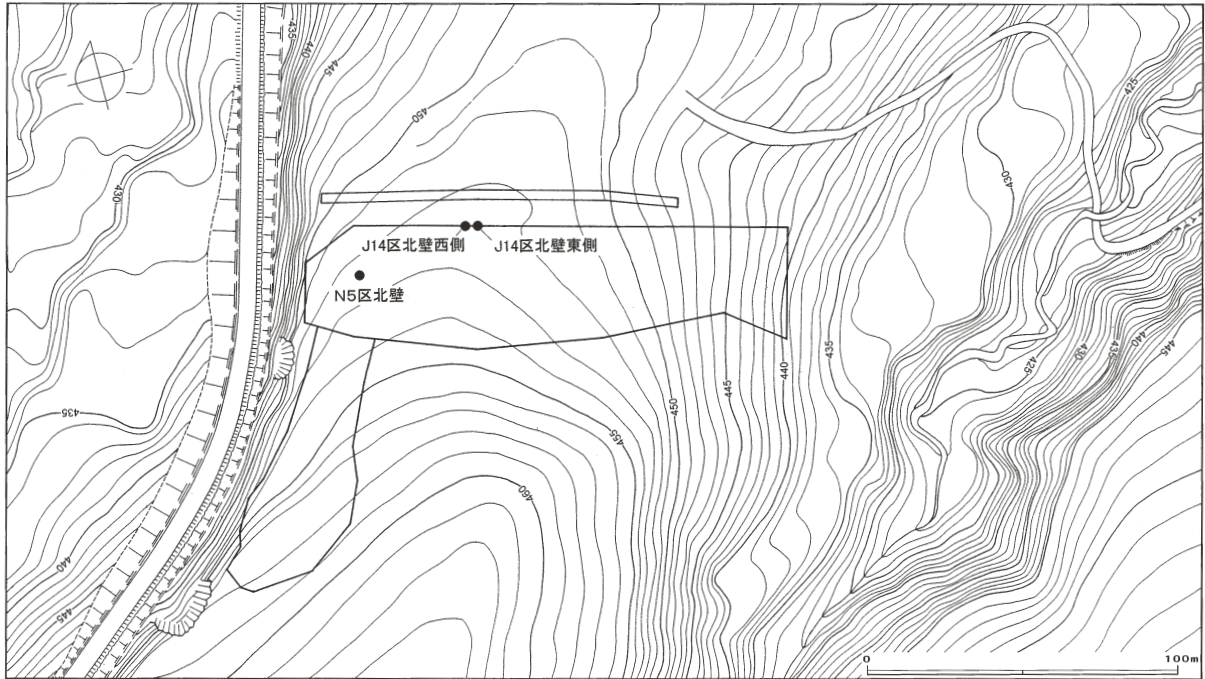


図 - 1 奥白滝1遺跡サンプル採取地点と各地点の柱状図

表 - 2 奥白滝1遺跡の粒経組成

地点名	層名	試料番号	粒径区分							
			礫 2.00mm<	砂					シルト 0.063~ 0.0039mm	粘土 0.0039mm>
				粗粒砂 2.00~ 1.00~mm	粗粒砂 1.00~ 0.50mm	中粒砂 0.50~ 0.25mm	細粒砂 0.25~ 0.125mm	極細粒砂 0.125~ 0.063mm		
N5区 北壁	a層	1	2.1	0.2	2.2	4.7	7.0	6.2	27.6	50.1
		3	0.5	1.1	3.4	4.9	7.4	6.2	28.0	48.4
		5	0.4	0.9	3.1	5.0	6.8	5.6	23.3	55.0
	明褐色 シルト	7	0.6	0.5	2.1	5.4	9.4	8.3	21.9	51.9
		9	64.6	0.4	0.9	2.1	3.5	2.8	7.9	17.8
	c層	11	65.4	2.1	2.1	2.6	3.4	2.2	6.3	15.9
J14区 北壁 西側	a層	3	0.7	0.2	1.3	2.7	5.8	8.6	45.3	35.4
	黄褐色 粘土	5	1.2	0.7	2.7	4.1	7.0	9.1	39.4	35.9
		7	0.5	0.9	2.7	3.4	6.8	7.5	38.3	39.9
		9	0.7	0.6	2.5	3.8	6.5	7.3	37.5	41.1
	c層	11	4.0	1.7	2.3	3.9	5.6	5.7	34.5	42.2
		13	5.5	1.4	3.6	5.6	7.2	7.6	29.9	39.2
	層	16	0.2	0.5	1.7	2.7	6.2	6.8	37.1	45.0
		18	1.2	0.3	1.7	4.2	4.9	3.8	19.1	65.0
	奥白滝 軽石	21	0.5	1.2	6.9	11.4	9.6	7.1	18.2	45.1
		23	0.2	0.7	5.6	15.0	11.9	6.9	17.0	42.7
		25	0.6	1.1	6.0	12.2	9.9	6.4	19.5	44.5
	暗褐色 ローム	27	0.1	0.3	1.2	2.6	4.1	5.0	33.8	53.0
		28	0.0	0.3	1.1	2.5	4.1	4.8	34.4	52.9
		30	1.3	0.6	1.1	2.0	4.0	4.9	30.6	55.5
		31	0.1	0.4	0.9	1.8	3.6	4.6	31.5	57.2
		33	0.0	0.4	0.7	1.5	3.5	5.1	30.9	57.8
		35	17.3	4.3	6.6	4.4	4.6	4.2	17.1	41.5
	段丘礫層	37	5.6	5.6	13.1	9.8	7.9	6.2	21.1	30.8

注) 単位は重量%で表示。

表 - 3 奥白滝1遺跡の粒経組成解析結果

地点名	層名	試料番号	中央値 (mm)	平均値 (mm)	最頻値 (mm)	歪度	分級度	尖度
N5区 北壁	a層	1	8.03(0.004)	7.40(0.006) Xシルト	7.64(0.005)	-0.15 負の歪み	3.67 非常に悪い	1.48 突出
		3	7.95(0.004)	7.28(0.006) Xシルト	7.64(0.005)	-0.16 負の歪み	3.71 非常に悪い	1.46 突出
		5	8.32(0.003)	7.55(0.005) Xシルト	7.64(0.005)	-0.19 負の歪み	3.71 非常に悪い	1.49 突出
	明褐色 シルト	7	8.13(0.004)	7.39(0.006) Xシルト	7.64(0.005)	-0.16 負の歪み	3.70 非常に悪い	1.14 突出
		9	-0.63(1.546)	2.28(0.205) X細粒砂	-0.66(1.585)	0.95 著しい正	4.10 極めて悪い	0.68 扁平
	c層	11	-0.63(1.546)	2.16(0.223) X細粒砂	-0.66(1.585)	0.95 著しい正	3.98 非常に悪い	1.16 突出
J14区 北壁 西側	a層	3	7.66(0.005)	7.59(0.005) Xシルト	7.64(0.005)	-0.04 ほぼ対称	2.65 非常に悪い	1.69 非常に突出
	黄褐色 粘土	5	7.63(0.005)	7.08(0.007) Xシルト	7.64(0.005)	-0.18 負の歪み	3.19 非常に悪い	1.53 非常に突出
		7	7.72(0.005)	7.43(0.006) Xシルト	7.64(0.005)	-0.11 負の歪み	3.11 非常に悪い	1.57 非常に突出
		9	7.75(0.005)	7.48(0.006) Xシルト	7.64(0.005)	-0.10 ほぼ対称	3.13 非常に悪い	1.56 非常に突出
	c層	11	7.76(0.005)	7.09(0.007) Xシルト	7.64(0.005)	-0.24 負の歪み	3.77 非常に悪い	1.72 非常に突出
		13	7.64(0.005)	6.77(0.009) Xシルト	7.64(0.005)	-0.28 負の歪み	3.96 非常に悪い	1.09 中間的
	層	16	7.85(0.004)	7.93(0.004) Xシルト	7.64(0.005)	0.03 ほぼ対称	2.90 非常に悪い	1.61 非常に突出
		18	8.83(0.002)	8.65(0.002) X粘土	7.97(0.004)	-0.12 負の歪み	3.11 非常に悪い	1.77 非常に突出
	奥白滝 軽石	21	7.76(0.005)	6.82(0.009) Xシルト	7.64(0.005)	-0.21 負の歪み	3.96 非常に悪い	0.77 偏平
		23	7.63(0.005)	6.73(0.009) Xシルト	7.64(0.005)	-0.19 負の歪み	3.86 非常に悪い	0.73 偏平
		25	7.75(0.005)	6.81(0.009) Xシルト	7.64(0.005)	-0.21 負の歪み	3.93 非常に悪い	0.76 偏平
	暗褐色 ローム	27	8.18(0.003)	8.42(0.003) X粘土	7.64(0.005)	0.10 正の歪み	2.82 非常に悪い	1.76 非常に突出
		28	8.18(0.003)	8.43(0.003) X粘土	7.64(0.005)	0.11 正の歪み	2.80 非常に悪い	1.77 非常に突出
		30	8.32(0.003)	8.48(0.003) X粘土	7.64(0.005)	0.05 ほぼ対称	2.88 非常に悪い	1.76 非常に突出
		31	8.43(0.003)	8.65(0.002) X粘土	7.64(0.005)	0.09 ほぼ対称	2.74 非常に悪い	1.75 非常に突出
		33	8.46(0.003)	8.67(0.002) X粘土	7.64(0.005)	0.09 ほぼ対称	2.71 非常に悪い	1.71 非常に突出
		35	7.57(0.005)	5.80(0.018) Xシルト	-0.66(1.585)	-0.35 著しい負	4.83 極めて悪い	0.68 偏平
	段丘礫層	37	6.33(0.012)	5.63(0.020) Xシルト	7.64(0.00)	-0.17 負の歪み	4.09 極めて悪い	0.73 偏平

注) 評価は Folk & Ward(1957)による。

2 奥白滝1・上白滝5遺跡における堆積層・古植生の検討

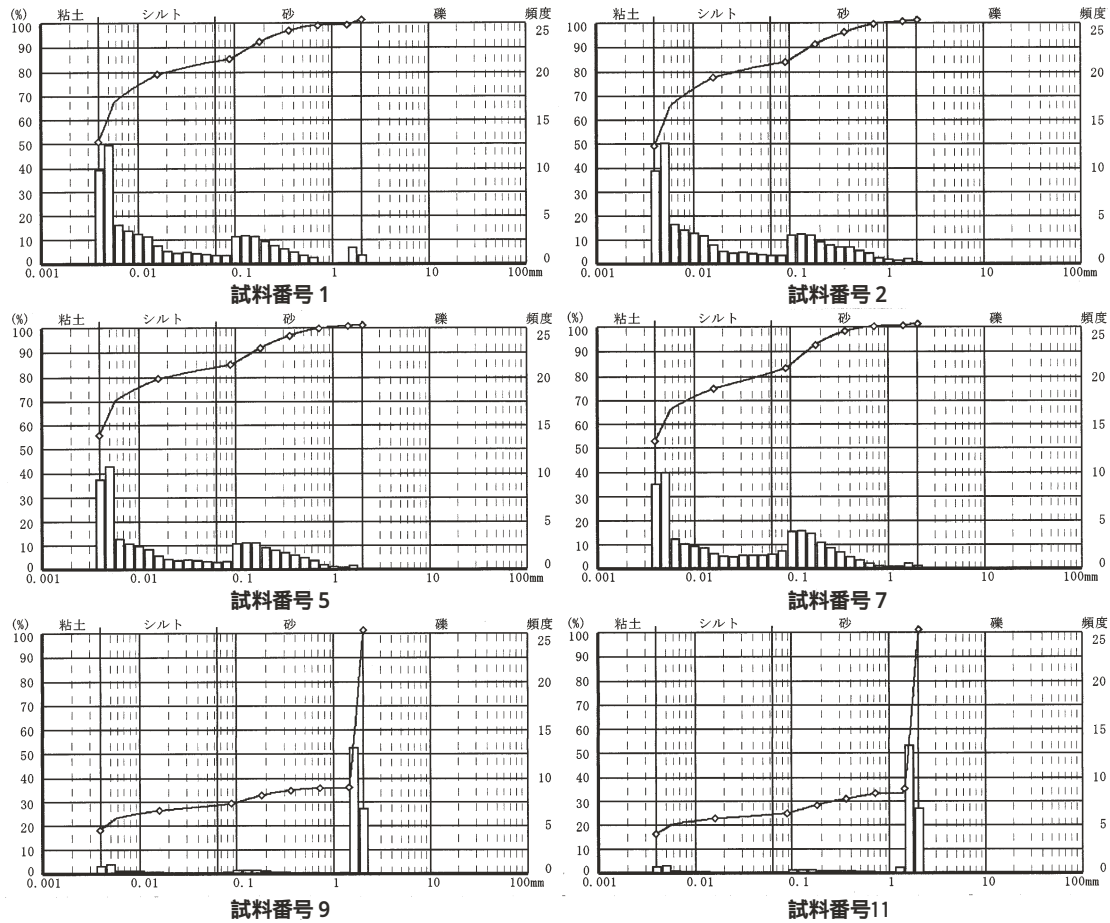


図 - 2 奥白滝1遺跡N5区北壁の粒径加積曲線

る。c層は径3～20mmの角礫状の岩片やスコリア、軽石などが濃集する層位である。この岩片やスコリアおよび軽石は、平川ほか(2000)による白滝1テフラ(Sit1)であり、これは、約3万年前に大雪山御鉢平カルデラから噴出した大雪御鉢平軽石(Ds-Oh)に対比されている。層は褐色のローム層であるが、上部にやや灰色を帯びた部分が認められる。中村・平川(1998)では、この部分はSi2というテフラ層であるとされた。その後、平川ほか(2000)により、Si2は白滝2aテフラ(Sit2a)とされ、約3.2万年前に噴出した屈斜路-庶路テフラ(Kc-Sr; Arai et al., 1986)に対比されている。

断面では、Sit5やc層の変形が激しく、場所によってはc層が2枚あるようにもみえる。このような変形は、最終氷期極相期のソリフラクションによって形成されたと考えられている(中村・平川, 1998)。分析試料は、c層の状態の良い部分(西側)と、変形によりc層が不明瞭な部分(東側)の2カ所で採取した。試料は、層より厚さ5cmで連続的に採取した。西側では、段丘礫層最上部の砂層までの38点(試料番号1～38)を採取し、東側では段丘礫層直上の暗褐色ローム層まで計38点(試料番号1～38)を採取した(図 - 1)。

珪藻分析については、J14区北壁西側を対象とし、各層1～2点を目安に試料を選択した。ただし、暗褐色ローム層についてはその成因が注目されることから、点数を多くした。植物珪酸体分析についても、J14区北壁西側で各層2～3点を目安に試料を選択した。さらに、J14区東側で厚く堆積する層を対象として、植物珪酸体分析を行った。粒度分析は、J14区北壁西側を対象とし、1～2点おきに試料を選択した。珪藻分析試料は12点、植物珪酸体試料は19点、粒度分析試料は18点である。

(イ) 分析方法

(a) 粒度分析

堆積物の粒径組成は、堆積物を形成した砕屑物の給源となる地質や、運搬過程および堆積環境などを反映している。粒径組成を数値化する粒度分析は、それらの解析に非常に有効である。ここで行う粒度分析は、砕屑性堆積物研究会（1983）の方法を参考に、礫・砂粒子画分はふるい分け法、シルト・粘土粒子画分はピペット法で行った。また、粒径区分はWentworth（1922）に従い、Folk & Ward（1957）による評価結果を行った。以下に、操作工程を示す。

試料を風乾して2 mm 篩でふるい分ける。2 mm 篩上粒子は水洗して重量を測定する。一方、2 mm 篩下粒子は40.00gをピーカーに秤量し、蒸留水と30%過酸化水素水を加え、熱板上で有機物分解を行う。分解終了後、蒸留水と分散剤（4%カルボン）を加え、攪拌しながら30分間音波処理を行う。沈底瓶にこの懸濁液を移し、往復振とう機で1時間振とうする。振とう終了後、水で全量を1000mlにする。この沈底瓶を1分間手で激しく振り、直ちに静置する。ピペット法に準じて、所定時間に所定深度から粘土・シルト画分（0.063mm >）、粘土画分（0.0039mm >）を10ml採取し、105℃で24時間乾燥させた後、重量を測定し加積通過率（質量%）を求める。ピペット法終了後、懸濁液を63 μm篩で水洗いする。63 μm篩残留物を105℃で5時間熱乾後、1.0、0.5、0.25、0.125mm篩で篩い分け、各篩毎に篩上残留物の質量を測定し、加積通過率（質量%）を求める。ピペット法および篩い分けで求められる加積通過率（質量%）から粒径加積曲線を描き、Wentworth（1922）の粒径区分毎の質量を算出する。

(b) 珪藻分析

試料を湿重で7 g前後秤量し、過酸化水素水、塩酸処理、自然沈降法の順に物理化学処理して、珪藻化石を濃集する。検鏡に適する濃度まで希釈した後、カバーガラス上に滴下し乾燥させる。乾燥後、プリユラックスで封入して、永久プレパラートを作製する。検鏡は、光学顕微鏡で油浸600倍あるいは1000倍で行い、メカニカルステージで任意の測線に沿って走査し、珪藻殻が半分以上残存するものを対象に、200個体以上同定・計数する。種の同定は、K.Krammer and Lange-Bertalot（1986・1988・1991a・1991b）、K.Krammer（1992）などを用いる。

同定結果は、海水～汽水生種、淡水～汽水生種、淡水生種の順に並べ、その中の各種類はアルファベット順に並べた一覧表で示す。なお、淡水生種についてはさらに細かく生態区分し、塩分・水素イオン濃度（pH）・流水に対する適応能についても示す。また、環境指標種については、その内容を示す。そして、産出個体数100個体以上の試料については、産出率4%以上の主要な種類について、主要珪藻化石群集図を作成する。また、産出した化石が現地性か異地性かを判断する目安として、完形殻の出現率を求め、考察の際に参考にした。堆積環境の解析にあたって、淡水生種については安藤（1990）、陸生珪藻については伊藤・堀内（1991）、汚濁耐性については、Asai, K. & Watanabe, T.（1995）の環境指標種を参考とする。

(c) 花粉分析

試料約10gについて、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛：比重2.2）による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス処理の順に物理・化学的処理を施し、花粉化石を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、光学顕微鏡下でプレパラート全面を操作し、出現する全ての種類について同定・計数する。

結果は、木本花粉は木本花粉総数、草本花粉・シダ類孢子は総花粉・孢子数から不明花粉を除いた

ものを基数とした百分率で出現率を算出し、図示する。図表中で複数の種類をハイフオンで結んだものは、種類間の区別が困難なものである。

(d) 植物珪酸体分析

湿重5g前後の試料について、過酸化水素水・塩酸処理、超音波処理(70W, 250KHz, 1分間)沈定法、重液分離法(ポリタングステン酸ナトリウム, 比重2.5)の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これを検鏡し易い濃度に希釈し、カバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリウラックスで封入して、プレパラートを作製する。400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部(葉身と葉鞘)の葉部短細胞に由来した植物珪酸体(以下、短細胞珪酸体と呼ぶ)および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体(以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ)について、近藤・佐瀬(1986)の分類に基づいて同定・計数する。

(ウ) 結果

(a) 粒度分析

N5区北壁

粒度分析結果を表 - 2 に、Folk & Ward (1957) による評価結果を表 - 3 に示す。試料番号1は粘土・シルト含量が高く、平均粒径0.006mmであることから、<シルト>に分類される。歪度は-0.15で<負の歪み>に評価され、細かい方へ偏している。尖度は<突出>であり、淘汰度を表す分級度は3.67であり、評価は<非常に悪い>となる。試料番号3は粘土・シルト含量が高く、平均粒径0.006mmであることから、<シルト>に分類される。歪度は-0.16で、<負の歪み>に評価される。尖度は<突出>であり、淘汰度を表す分級度は3.71であり、評価は<非常に悪い>となる。試料番号5は粘土・シルト含量が高く、平均粒径0.005mmであることから、<シルト>に分類される。歪度は-0.19で<負の歪み>に評価され、細かい方へ偏している。尖度は<突出>であり、淘汰度を表す分級度は3.71であり、評価は<非常に悪い>となる。試料番号7は粘土・シルト含量が高く、平均粒径0.006mmであることから<シルト>に分類される。歪度は-0.16で<負の歪み>に評価され、細かい方へ偏している。尖度は<突出>であり、淘汰度を表す分級度は3.70であり、評価は<非常に悪い>となる。試料番号9は礫含量が高く、平均粒径0.205mmであることから<細粒砂>に分類される。歪度は0.95で<著しい正>に評価され、粗い方へ偏している。尖度は<偏平>であり、淘汰度を表す分級度は4.1であり、評価は<極めて悪い>となる。試料番号11は礫含量が高く、平均粒径0.223mmであることから、<細粒砂>に分類される。歪度は0.95で<著しい正>に評価され、粗い方へ偏している。尖度は<突出>であり、淘汰度を表す分級度は3.98であり、評価は<非常に悪い>となる。

また、各試料の粒径加積曲線を図 - 2 に示す。各試料の粒径加積曲線は、曲線パターンから2グループに類別される。一つは試料番号1、3、5、7のシルトに分類される堆積物、もう一つは試料番号9、11の粗粒砂に分類される堆積物である。シルトに分類される堆積物は、泥(mud)が約80%を占め、平均粒径が細かいことから歪度は負に片寄り、また分級度が悪く、偏平であることが特徴的である。なかでも、試料番号5、7の堆積物は、上位の堆積層と比較してシルトの割合が低く、粘土含量が高いことが確認される。一方、粗粒砂に分類される堆積物は礫(gravel)が約65%を占め、平均粒径が粗いことから、歪度は著しく正に片寄り、分級度が極めて悪いことが特徴的である。

試料全体の特徴としては、砂画分の中で細粒砂の割合が高く、粒度分布加積曲線においてもブロードなピークが認められることが挙げられる。

b) J14区北壁西側

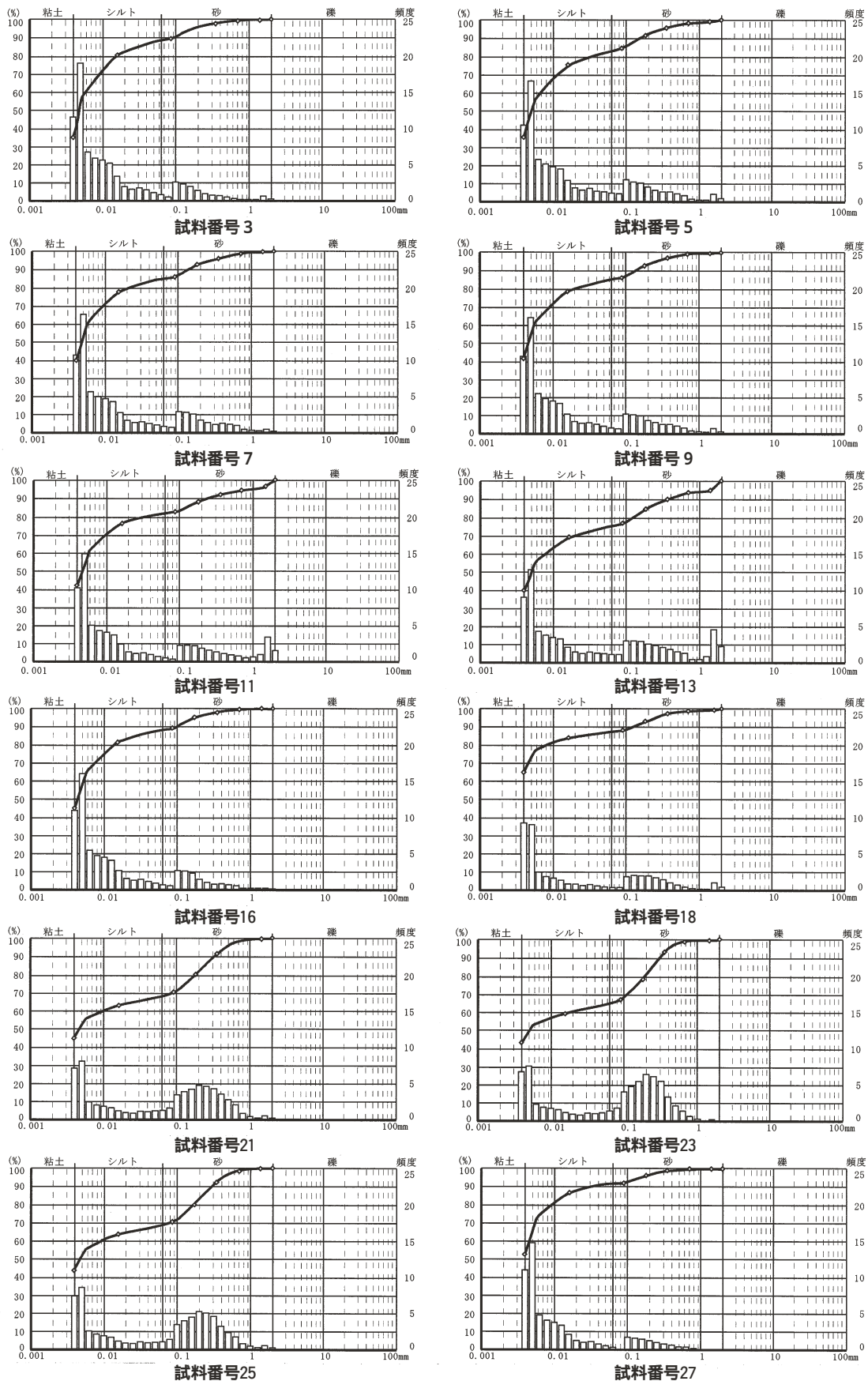


図 - 3 奥白滝 1 遺跡 J14 区北壁西側の粒径加積曲線 (1)

2 奥白滝1・上白滝5遺跡における堆積層・古植生の検討

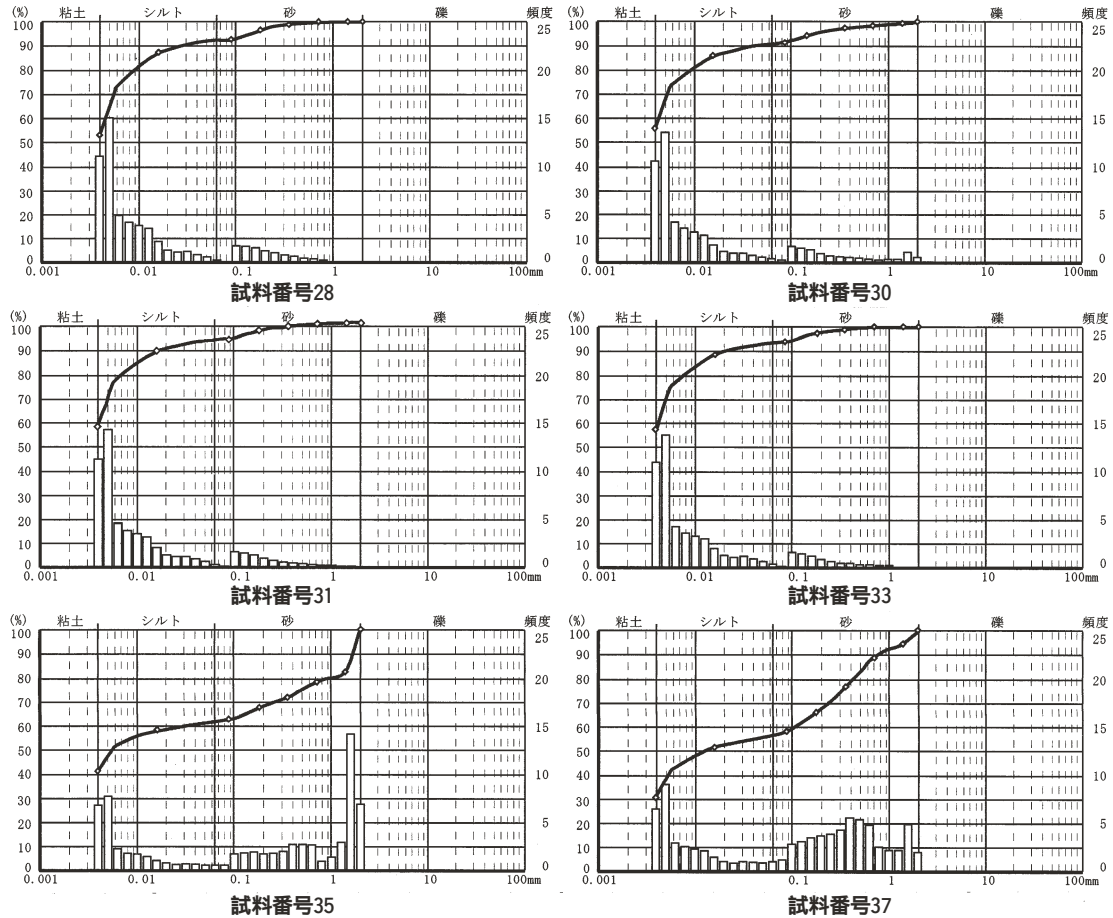


図 - 4 奥白滝1遺跡J14区北壁西側の粒径加積曲線(2)

分析結果を表 - 2 に、Folk & Ward (1957) による評価結果を表 - 3 に示し、各試料の粒径加積曲線を図 - 3・4 に示す。これらの結果から、J14北壁西側における層位は、次のように説明される。

試料番号3～9 (a層・黄褐色粘土層) は、粘土・シルト含量が高く、平均粒径7.08～7.59 であることから <シルト> に分類される。歪度は、 - 0.04 ～ - 0.18 で <ほぼ対称から負の歪み> に評価され、細かい方へ偏している。尖度は <非常に突出> であり、淘汰度を表す分級度は2.65～3.19 であり、評価は <非常に悪い> となる。

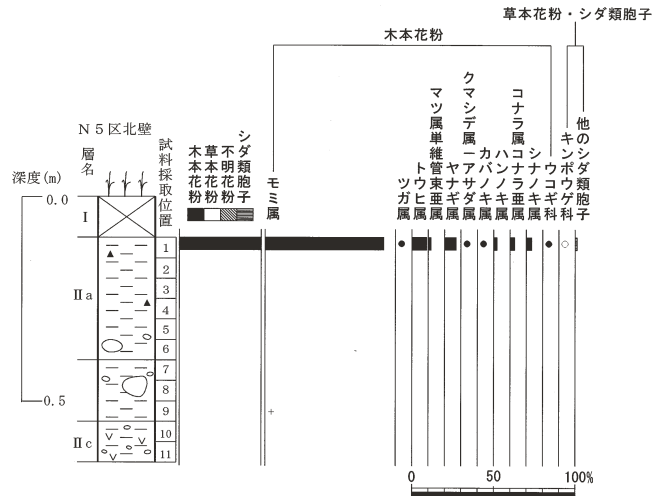
試料番号11～13 (c層) は、粘土・シルト含量が高く、平均粒径6.77～7.09 であることから、<シルト> に分類される。ただし、 a層と比較して、粗粒砂や礫の割合がやや高い。歪度は、 - 0.24 ～ - 0.28 で <負の歪み> に評価され、細かい方へ偏している。尖度は <非常に突出から中間的> であり、淘汰度を表す分級度は3.77～3.96 であり、評価は <非常に悪い> となる。

試料番号16 (層上部) は、粘土・シルト含量が高く、平均粒径7.93 であることから、<シルト> に分類される。 a層と組成が似ているが、やや粘土の割合が高い傾向が見られる。歪度は0.03 で、<ほぼ対称> に評価される。尖度は <非常に突出> であり、淘汰度を表す分級度は2.90 であり、評価は <非常に悪い> となる。

試料番号18 (層下部) は、粘土含量が高く、平均粒径8.65 であることから、<粘土> に分類される。歪度は、 - 0.12 で <負の歪み> に評価され、細かい方へ偏している。尖度は <非常に突出> であり、淘汰度を表す分級度は3.11 であり、評価は <非常に悪い> となる。

表 - 5 奥白滝1遺跡N5区北壁の花粉分析結果

種類	試料番号		明褐色シルト	c
	1	5	9	
木本花粉				
モミ属	222	-	1	-
ツガ属	1	-	-	-
トウヒ属	27	-	-	-
マツ属単維管束亜属	5	-	-	-
ヤナギ属	21	-	-	-
クマシデ属 - アサダ属	1	-	-	-
カバノキ属	3	-	-	-
ハンノキ属	6	-	-	-
コナラ属コナラ亜属	8	-	-	-
シナノキ属	10	-	-	-
ウコギ科	1	-	-	-
草本花粉				
キンボウゲ科	1	-	-	-
不明花粉	1	-	-	-
他のシダ類胞子	4	-	-	-
合計				
木本花粉	305	0	1	0
草本花粉	1	0	0	0
不明花粉	1	0	0	0
シダ類胞子	4	0	0	0
総計(不明を除く)	310	0	1	0



出現率は、木本花粉は木本花粉化石総数、草本花粉・シダ類胞子は総数より不明花粉を除く数を基数として百分率で算出した。なお、は1%未満、+は花粉100個体未満の試料について検出した種類を示す。

図 - 5 奥白滝1遺跡N5区北壁の花粉化石組成

水生種や汽水生種が一個体ずつ産出した。

J14区北壁西側

結果を表 - 4 に示す。 a 層、暗褐色ローム層および段丘礫層からは、珪藻化石が検出されない。

層からは陸生珪藻、 c 層および黄褐色粘土層からは真止水性種がわずかに検出されたに過ぎない。

(c) 花粉分析

N5区北壁

結果を表 - 5、図 - 5 に示す。花粉化石が検出されたのは、試料番号1のみであり、他の試料からはほとんど検出されない。試料番号1は、ほとんどが木本花粉よりなる。種類構成は、モミ属が高率で検出され、トウヒ属、マツ属単維管束亜属などの針葉樹、ヤナギ属、コナラ亜属、シナノキ属などの広葉樹がみられる。種類数が少なく、単調な組成である。

J14区北壁

分析せず。

(d) 植物珪酸体分析

N5区北壁

結果を表 - 6 と図 - 6 に示す。各試料からは植物珪酸体が見られるものの、試料番号5より下位の試料では検出個数が少なく、保存状態も悪い。

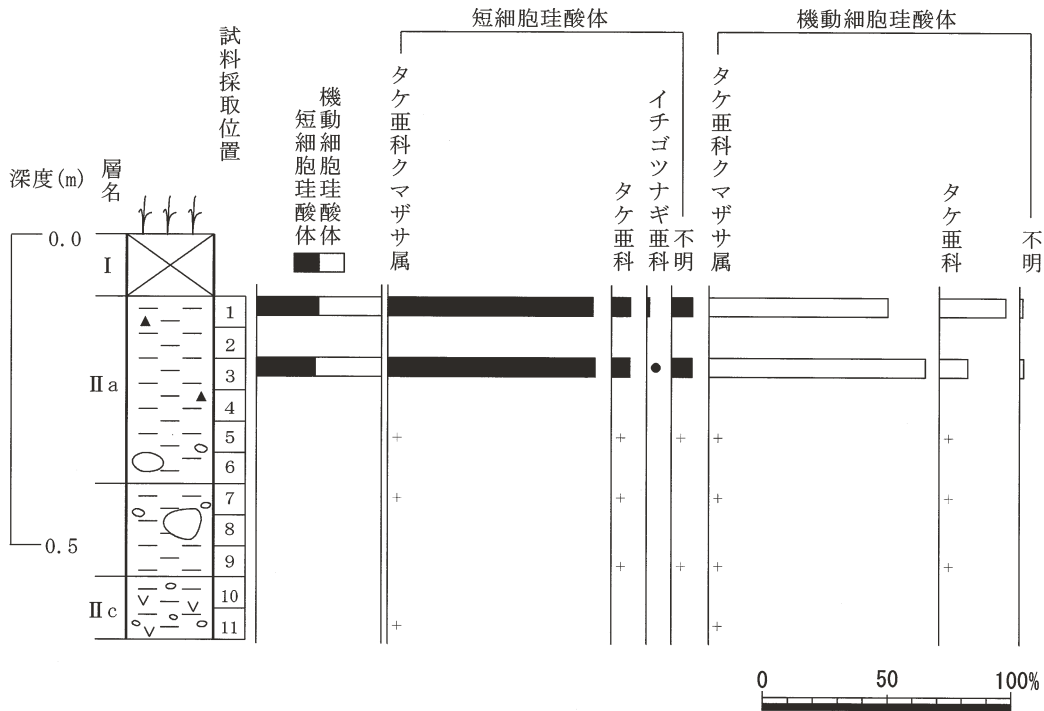
試料番号11~5 (c 層~ a 層下部)では、タケ亜科などがわずかに認められるに過ぎない。試料番号3、1 (a 層上部)では、クマザサ属が優占する組成が見られ、イチゴツナギ亜科なども認められる。

J14区北壁

結果を表 - 6 に示す。西側と東側の各試料では植物珪酸体の検出個数が少なく、保存状態も悪い。西側では、試料番号18・16 (層)や試料番号5 (黄褐色粘土層)・3 (a 層)でクマザサ属を含むタケ亜科の産出が目立ち、イチゴツナギ亜科などが認められる。他の試料では、タケ亜科などがわずかに認められるに過ぎない。

表 - 6 奥白滝1遺跡の植物珪酸体分析結果

種類	N5区北壁						J14北壁西側										J14北壁東側									
	a			明褐色シルト			a 黄褐色粘土			c			奥白滝軽石		暗褐色ローム					a 黄褐色粘土						
試料番号	1	3	5	7	9	11	3	5	7	9	11	13	16	18	23	28	30	33	35	2	3	6	11	16	19	
イネ科葉部短細胞珪酸体																										
タケ亜科クマザサ属	194	181	3	4	-	-	5	3	-	-	-	-	2	13	-	-	-	-	-	-	4	1	-	10	7	4
タケ亜科	18	16	7	1	4	2	3	-	2	1	-	-	4	27	2	1	1	1	-	7	2	6	31	18	9	
ヨシ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ウシクサ族ススキ属	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
イチゴツナギ亜科	3	2	-	-	-	-	2	1	-	1	2	1	3	3	-	-	-	-	-	4	-	-	2	-	1	
不明キビ型	6	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
不明ヒゲシハ型	2	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
不明ダンチク型	12	6	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
イネ科葉身機動細胞珪酸体																										
タケ亜科クマザサ属	171	212	4	6	1	1	46	12	1	-	1	-	11	14	-	2	-	1	-	8	3	2	28	4	4	
タケ亜科	64	28	7	1	1	-	2	-	2	-	-	-	1	11	-	2	1	1	-	15	10	7	11	10	9	
ヨシ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
不明	3	4	-	-	-	-	1	2	-	1	1	1	2	3	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	
合計																										
イネ科葉部短細胞珪酸体	235	217	11	5	5	2	13	4	2	2	2	1	10	46	2	1	1	1	0	15	3	6	43	28	14	
イネ科葉身機動細胞珪酸体	238	244	11	7	2	1	49	14	3	1	2	1	14	28	1	4	1	2	0	25	13	9	39	14	13	
総計	473	461	22	12	7	3	62	18	5	3	4	2	24	74	3	5	2	3	0	40	16	15	82	42	27	



出現率は、イネ科葉部短細胞珪酸体、イネ科葉身機動細胞珪酸体の総数を基数として百分率で算出した。なお、は1%未満の種類、+はイネ科葉部短細胞珪酸体で200個未満、イネ科葉部短細胞珪酸体で100個未満の試料で検出した種類を示す。

図 - 6 奥白滝1遺跡N5区北壁の植物珪酸体組成

東側では、層とその上下の土層で、クマザサ属などのタケ亜科の産出が目立ち、イチゴツナギ亜科が稀に認められる。

(工) 考察

(a) 段丘形成後の環境変遷について

前述のように、Sit 5はTTに対比されるが、TTについては、北海道東部における海成段丘のH2面が形成された高海水準期に降灰したとされている(奥村, 1991)。したがって、上白滝面を構成

している段丘礫層、および暗褐色ローム層の堆積時期は、現在よりも温暖な時期であり、Sit 5 と c 層に挟まれた 層は、大きく見て H 2 面形成後の寒冷期と最終間氷期の温暖期、そしてその後の寒冷期という変遷を経ており、また黄褐色粘土層以上は最終氷期の寒冷期といわゆる縄文海進を引き起こした温暖期を経ている。奥白滝 1 遺跡において、珪藻化石も植物珪酸体も産状が非常に悪かったことは、上記の約 20 万年間を通じて風成土壌の形成が継続したことを示唆する。また、層中の陸生珪藻の存在は、風成土壌を示唆しているともいえる。特に黄褐色粘土層中の白滝層に由来する珪藻化石（後述）の存在は、周辺の白滝層に由来する風塵の堆積があったことを示唆する。

粒度分析では、発掘調査所見による層序区分を数値的に比較的明瞭に特徴付けることができた。J 14 区北壁においては、最頻値からみれば、段丘礫層最上部も含めてほぼ全層位がシルトになり、その分級度は非常に悪く、それでいながら尖度も非常に突出、すなわち最頻値であるシルトの量が突出して多い。このことは、全層位ともに、細粒の風成塵からなる風成土壌層であることを示唆する。Sit 5 も、降下堆積後にかなり土壌化を受けていることを示す粒径組成である。また、分級度が非常に悪い要因としては、背後の斜面から供給された粗粒の砕屑物やテフラの降下堆積もあげられる。段丘礫層とその直上の層位を除けば、Sit 5 と Sit 1 の降下堆積した c 層で、特に分級度が悪いことがわかる。

また、同地点において粒径組成の平均値でみると、段丘礫層の上位で Sit 5 の下位にある暗褐色ローム層と Sit 5 直上の 層下部は、ともに粘土となっており、他の層位に比べてやや粒径が細かい。このうち暗褐色ローム層については、形成年代が古いために、他の層位よりも粘土化が進んでいると考えられる。しかし、層下部については、粘土化が他の時期よりも進行するような環境であった可能性がある。このことは、層下部で陸生珪藻およびクマザサ属の植物珪酸体が、比較的多く産出したことと関連があるのかも知れない。Sit 5 の噴出年代を考慮すれば、層下部はいわゆる最終間氷期の層位に相当する可能性がある。上述した層下部における微化石の産状や粒径組成の特徴は、最終間氷期の温暖な環境に関連する可能性もある。

一方、N 5 区北壁では、土層断面で礫の包含が認められたように a、明褐色シルト、c のいずれの層も淘汰が非常に悪いことが数値でも表されている。この礫について平川ほか（2000）は、地形面構成層からの抜け上がりまたは細移動により供給されたと考えており、その長軸方向と斜面の最大傾斜方向とが調和的であることから、重力に起因するマスマーブメントを示唆するとした。そして、この礫の移動は、最終氷期極相期に起こったと考えられることから、周氷河性のソリフラクションであると考えた。

(b) 古植生について

今回の花粉分析および植物珪酸体分析からは、植生変遷を推定できるような結果を得ることができなかった。したがって、ここでは既存の研究成果から遺跡周辺の植生について説明する。

Sit 5 降灰後の 層の下部の時期では、クマザサ属の珪酸体が比較的多くなる。これは、前述のように最終間氷期における温暖化を反映している可能性がある。

a 層の一部および黄褐色粘土層は、最終氷期最寒冷期に相当する可能性があるが、花粉化石および植物珪酸体ともに a 層より下位ではほとんど検出されていない。したがって、本地点における最終氷期最寒冷期の古植生は、現時点では不明である。安田（1990）の最終氷期最寒冷期の古植生図によれば、本遺跡周辺はツンドラ気候に相当する。一方、北海道の最終氷期最盛期の花粉化石群集は、マツ属単維管束亜属とカバノキ属の花粉化石が多産することが特徴である（塚田・中村，1987）。また、カヤツリグサ科をはじめとする草本花粉の割合も高率になり、森林限界以上に生育するコケスギ

ランの孢子も検出される。このような花粉化石等の結果をもとに、塚田・中村（1987）は、当時の古植生を疎林中にツンドラ植生がモザイク状に点在していたと推定している。

最寒冷期が終わり温暖化に向かう時期を、塚田・中村（1987）は晩氷期（約15,000～10,000年前）とし、L花粉帯を設定している。L花粉帯は、モミ属、トウヒ属などの針葉樹が主体で、カバノキ属などの広葉樹も含み、草本類が少ないのが特徴である。N5区北壁 a層の最上部（試料番号1）では、木本類、特に針葉樹主体の花粉化石群集を示し、コケスギランなど最終氷期最寒冷期に特徴的な化石が検出されないことから、晩氷期の植生が示唆される。当時の低地部の古植生は、モミ属、トウヒ属にカバノキ属を交えた亜高山帯性の森林が比較的安定して維持されたとされる（塚田・中村，1987）。しかし、花粉化石組成からいえば、本調査地点付近は、モミ属を主とし、トウヒ属、マツ属単維管束亜属などの針葉樹や、ヤナギ属、コナラ亜属、シナノキ属などの広葉樹が生育する針葉樹主体の森林であったと考えられる。本遺跡は山間部に位置していることから、このような違いは地形的要因に関係すると思われる。

なお、a層では、クマザサ属の植物珪酸体が多産する。クマザサ属には、クマザサやチシマザサ、チマキザサなどが含まれる。これらは、亜高山帯針葉樹林では多くみられ、疎林な場所の林床や、林の間の開けた空間などに群生する。今回検出されたクマザサ属もこのような植生に由来すると考えられる。

（3）上白滝5遺跡

（ア）試料

赤色土の集中が認められた遺構は、O42区で検出されたF-1である。この遺構内および周囲から、試料番号1～7までの試料を採取した。試料番号1は遺構周囲の灰白色粘土、試料番号2～5は赤色土F-1(1)～(3)、試料番号6・7は遺構周囲の灰白色粘土である。これらのうち、赤色土F-1とされたものは焼土の可能性があると考えられているものであり、灰白色粘土は上白滝5遺跡の調査区内で、場所によりb層と層との間層として認められている。ここでは、M42区東壁で採取された灰白色粘土の試料番号1と2、その対照試料として採取されたJ41区北壁のa層の試料番号1とb層の試料番号2、J42区北壁の層から採取された試料番号1の各試料を分析対象とする。これらの地点の柱状図を図-7に示す。

（イ）分析方法

粒度分析、珪藻分析、植物珪酸体分析ともに前掲の通りである。

（ウ）結果

（a）粒度分析

分析結果を表-7に示し、その解析結果を表-8に示す。また、粒径加積曲線を図-8に示す。遺構試料の試料番号1は、粘土～細粒砂画分の占める割合が高く、平均粒径7.24であることから、<シルト>に分類される。歪度は、-0.08で<ほぼ対称>に評価される。尖度は<突出>であり、淘汰度を表す分級度は2.81であり、評価は<非常に悪い>となる。同試料番号2は、同試料番号1と比較して粘土・シルト画分の占める割合が高く、平均粒径8.40であることから、<粘土>に分類される。歪度は、0.09で<ほぼ対称>に評価される。尖度は<非常に突出>で、淘汰度を表す分級度は2.78であり、評価は<非常に悪い>となる。

2 奥白滝1・上白滝5遺跡における堆積層・古植生の検討

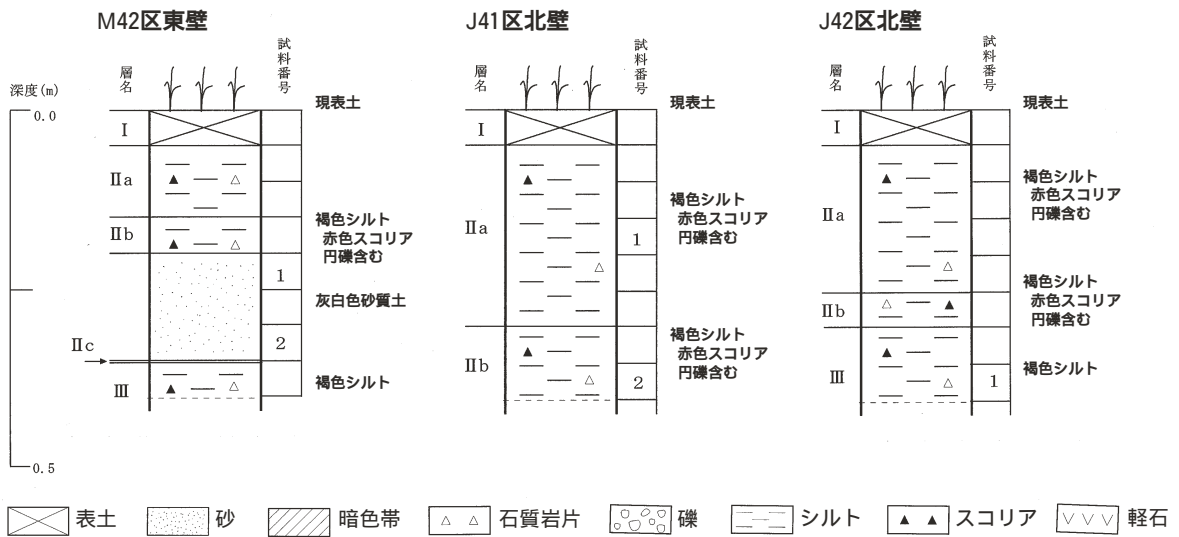
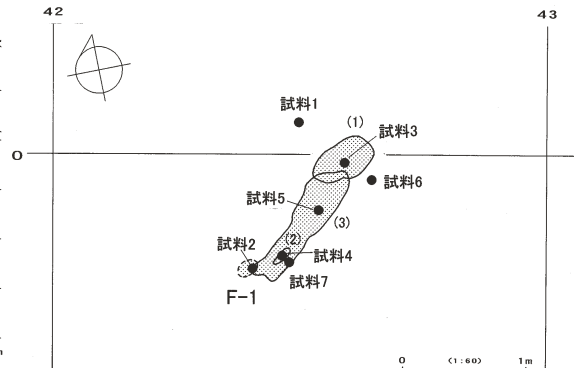
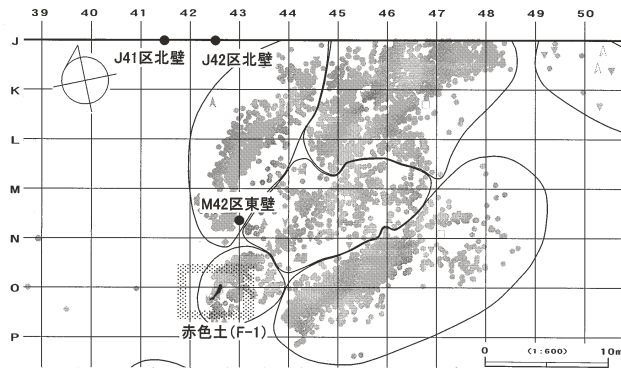
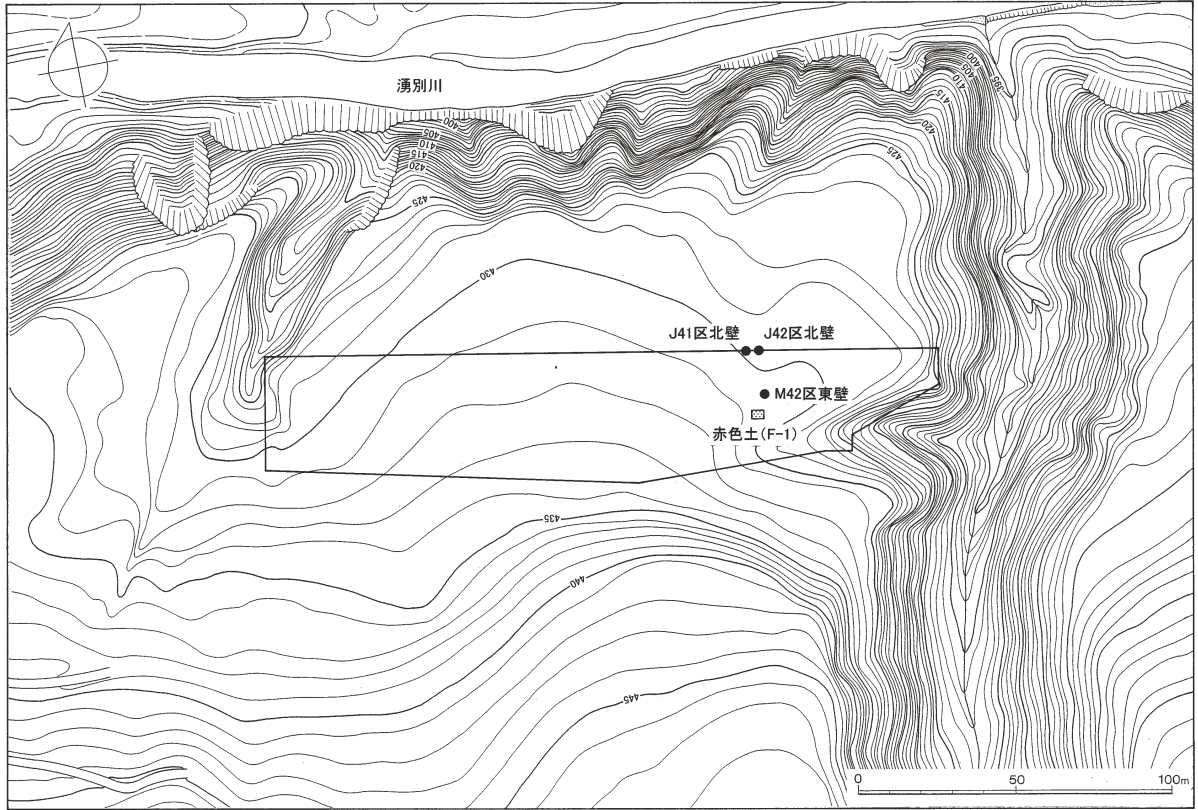


図 - 7 上白滝5遺跡サンプル採取地点と各地点の柱状図

表 - 7 上白滝5 遺跡の粒径組成

地点・試料名	試料番号	粒径区分 礫 2.00mm<	砂					シルト 0.063~ 0.0039mm	粘土 0.0039mm>
			極粗粒砂 2.00~ 1.00mm	粗粒砂 1.00~ 0.50mm	中粒砂 0.50~ 0.25mm	細粒砂 0.25~ 0.125mm	極細粒砂 0.125~ 0.063mm		
灰白色粘土	1	0.0	0.0	0.2	1.3	8.8	16.9	37.9	34.9
赤色土F1(3)	2	0.1	0.1	0.3	0.7	4.6	9.1	31.0	54.2
赤色土F1(1)	3	0.1	0.1	0.2	1.2	6.4	11.6	35.5	45.1
赤色土F1(2)	4	0.0	0.1	0.3	1.6	7.8	12.7	33.1	44.3
赤色土F1(3)	5	0.1	0.2	0.2	1.1	5.3	10.9	30.9	51.4
灰白色粘土	6	0.2	0.2	0.8	2.9	8.9	14.8	39.3	33.1
灰白色粘土	7	0.1	0.0	0.3	1.9	7.3	13.8	36.7	40.0
J41北壁 a層	1	3.4	1.7	2.6	4.8	8.0	7.9	34.5	37.1
J41北壁 b層	2	2.6	0.9	3.2	6.4	10.0	8.5	36.1	32.4
M42東壁 灰白色粘土	1	0.0	0.0	0.8	5.7	15.0	18.3	35.2	25.1
M42東壁 灰白色粘土	2	0.0	0.0	0.2	1.3	6.9	13.6	40.7	37.4
J42北壁 層	1	1.8	1.0	3.6	5.5	8.2	7.7	36.4	35.7

注) 単位は重量%で表示している。

表 - 8 上白滝5 遺跡の粒径組成解析結果

地点・試料名	試料番号	中央値 (mm)	平均値 (mm)	最頻値 (mm)	歪度	分級度	尖度
灰白色粘土	1	7.58(0.005)	7.24(0.007) (シルト)	7.64(0.005)	- 0.08 ほぼ対称	2.81 非常に悪い	1.20 突出
赤色土F1(3)	2	8.26(0.003)	8.40(0.003) (粘土)	7.64(0.005)	0.09 ほぼ対称	2.78 非常に悪い	1.59 非常に突出
赤色土F1(1)	3	7.85(0.004)	7.85(0.004) (シルト)	7.64(0.005)	0.04 ほぼ対称	2.86 非常に悪い	1.43 突出
赤色土F1(2)	4	7.82(0.004)	7.63(0.005) (シルト)	7.64(0.005)	- 0.02 ほぼ対称	3.01 非常に悪い	1.32 突出
赤色土F1(3)	5	8.11(0.004)	8.14(0.004) (粘土)	7.64(0.005)	0.06 ほぼ対称	2.92 非常に悪い	1.49 突出
灰白色粘土	6	7.55(0.005)	7.10(0.007) (シルト)	7.64(0.005)	- 0.13 負の歪み	2.86 非常に悪い	1.23 突出
灰白色粘土	7	7.71(0.005)	7.52(0.005) (シルト)	7.64(0.005)	- 0.03 ほぼ対称	2.89 非常に悪い	1.34 突出
J41北壁 a層	1	7.62(0.005)	6.87(0.009) (シルト)	7.64(0.005)	- 0.25 負の歪み	3.61 非常に悪い	1.27 突出
J41北壁 b層	2	7.50(0.006)	6.66(0.010) (シルト)	7.64(0.005)	- 0.27 負の歪み	3.39 非常に悪い	1.01 中間的
M42東壁 灰白色粘土	1	6.92(0.008)	6.38(0.012) (シルト)	7.64(0.005)	- 0.14 負の歪み	2.84 非常に悪い	0.89 偏平
M42東壁 灰白色粘土	2	7.67(0.005)	7.53(0.005) (シルト)	7.64(0.005)	- 0.02 ほぼ対称	2.71 非常に悪い	1.42 突出
J42北壁 層	1	7.60(0.005)	6.84(0.009) (シルト)	7.64(0.005)	- 0.23 負の歪み	3.44 非常に悪い	1.27 突出

注) 評価は Folk & Ward(1957)による。

遺構試料の試料番号 3 ~ 5 は非常によく似た組成であるが、試料番号 5 でやや粘土の占める割合が高く、平均粒径8.14 で<粘土>とされる。他は7.63~7.85 で<シルト>とされる。歪度は、- 0.02 ~ 0.06で<ほぼ対称>に評価される。尖度は<突出>であり、淘汰度を表す分級度は2.86~3.01であり、評価は<非常に悪い>となる。

遺構試料の試料番号 6 は、粘土~細粒砂画分の占める割合が高く、平均粒径7.10 であることから、<シルト>に分類される。歪度は、- 0.13で<負の歪み>に評価される。尖度は<突出>で、淘汰度を表す分級度は2.86であり、評価は<非常に悪い>となる。同試料番号 7 は、同試料番号 6 と比較して粘土画分の占める割合が高く、平均粒径7.52 であり、<シルト>に分類される。歪度は、- 0.03で<ほぼ対称>に評価される。尖度は<突出>で、淘汰度を表す分級度は2.89であり、評価は<非常に悪い>となる。

J41区北壁の試料は試料番号 1、2 とともに非常によく似た組成であり、細粒砂付近の砂の占める割合が高く、粘土・シルトの含量も比較的高い。また、僅かではあるが、礫の混入が見られる。平均粒径6.66~6.87 で、<シルト>に分類される。歪度は、- 0.25 ~ - 0.27で<負の歪み>に評価される。尖度は<突出から中間的>で、淘汰度を表す分級度は3.39~3.61であり、評価は<非常に悪い>となる。

M42区東壁の試料番号 1 は、粘土画分の占める割合が低く、細粒砂および極細粒砂の占める割合が高いことから、平均粒径6.38 で<シルト>に分類される。歪度は、- 0.14で<負の歪み>に評価さ

2 奥白滝 1・上白滝 5 遺跡における堆積層・古植生の検討

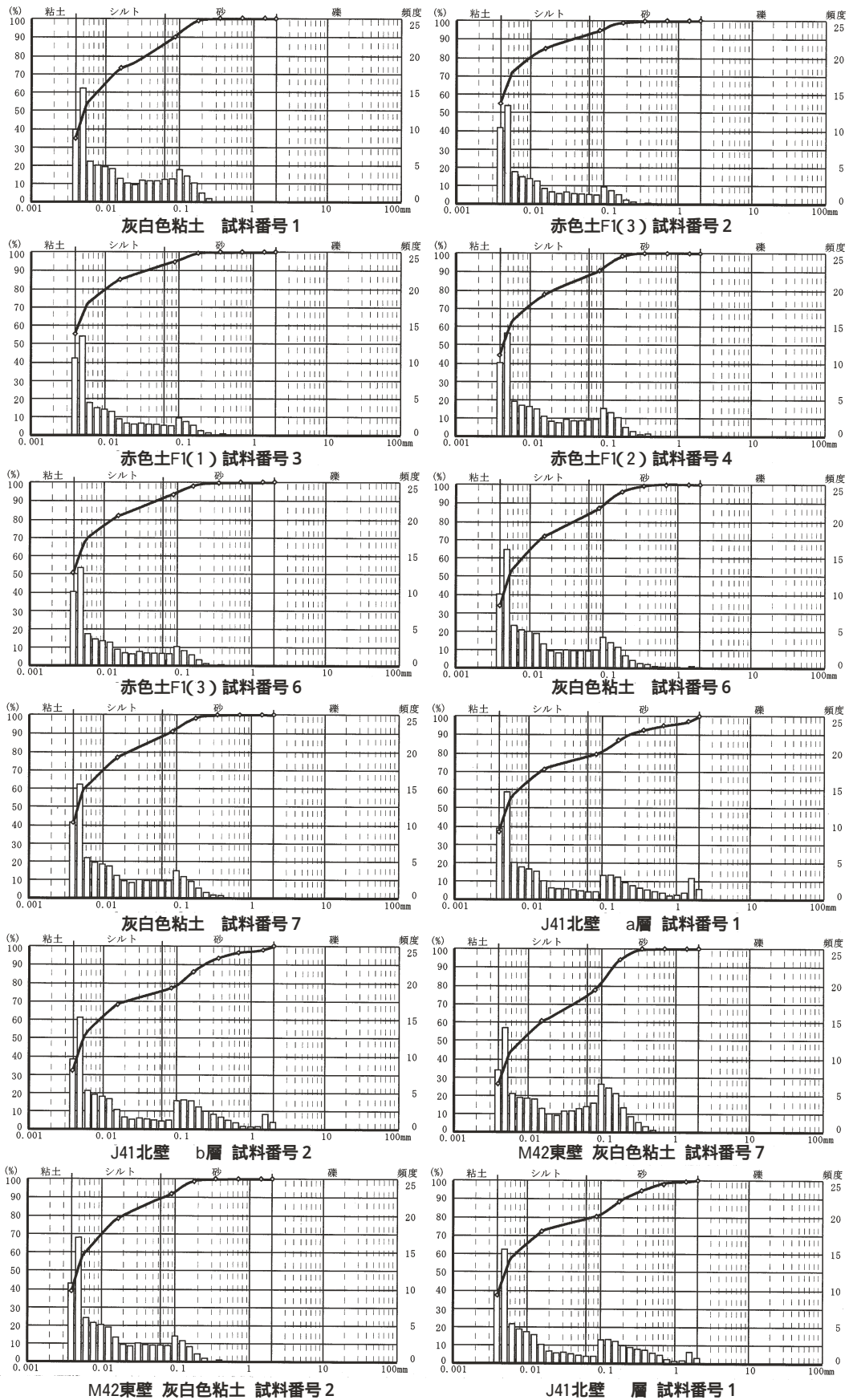


図 - 8 上白滝 5 遺跡の粒径加積曲線

表 - 9 上白滝5遺跡の珪藻分析結果

種 類	生態性			環境 指標種	灰白色粘土					赤色土		灰白色粘土		J41北壁 灰白色粘土		M42東壁 灰白色粘土		北北壁
	塩分	pH	流水		F(3)	F(1)	F(2)	F(3)	6	7	1	2	1	2	1	2		
Neodenticula kamschatcica (Zabelina)Akiba & Yanagisawa	Euh				1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Fragilaria brevistriata Grunow	Ogh-Meh	al-il	l-ph	U	-	-	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-
Achnanthes lanceolata (Breb.)Grunow	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Achnanthes minutissima Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Achnanthes rupestris Krasske	Ogh-ind	unk	unk		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Achnanthes suchlandtii Hustedt	Ogh-ind	ind	ind	T	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Amphora affinis Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-
Aulacoseira alpigena (Grun.)Krammer	Ogh-hob	ac-il	l-bi	N,U	-	-	1	1	-	2	2	-	-	-	-	2	-	-
Aulacoseira ambigua (Grun.)Simonsen	Ogh-ind	al-il	l-bi	N	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Aulacoseira italica (Ehr.)Simonsen	Ogh-ind	al-il	l-ph	U	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3	-	-
Caloneis silicula (Ehr.)Cleve	Ogh-ind	al-il	ind		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cyclotella ocellata Pantocsek	Ogh-ind	al-bi	l-bi		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cymbella cistula (Ehr.)Kirchner	Ogh-ind	al-il	l-ph	O,T	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cymbella cuspidata Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind		-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cymbella naviculiformis Auerswald	Ogh-ind	ind	ind	O	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
Cymbella silesiaca Bleisch	Ogh-ind	ind	ind	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
Diploneis ovalis (Hilse)Cleve	Ogh-ind	al-il	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-
Diploneis parva Cleve	Ogh-ind	ind	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
Diploneis spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
Epithemia sorex Kuetzing	Ogh-ind	al-bi	ind	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
Eunotia bilunaris (Ehr.)Mills	Ogh-hob	ac-il	l-ph		-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunotia cristagalli Cleve	Ogh-hob	ac-il	ind		-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunotia pectinalis var. minor (Kuetz.)Rabenhorst	Ogh-hob	ac-il	ind	O	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunotia praerupta Ehrenberg	Ogh-hob	ac-il	l-ph	RB,O,T	1	2	2	2	1	1	2	-	-	1	-	-	1	-
Fragilaria construens fo. venter (Ehr.)Hustedt	Ogh-ind	al-il	l-ph	S	-	3	47	5	200	144	153	-	-	-	-	174	-	-
Fragilaria parasitica (W.Smith)Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	U	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Fragilaria pinnata Ehrenberg	Ogh-ind	al-il	l-ph	S	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema acuminatum Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	O	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	1	-
Gomphonema angustatum (Kuetz.)Rabenhorst	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema clavatum Ehrenberg	Ogh-ind	al-il	ind		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema gracile Ehrenberg	Ogh-ind	al-il	l-ph	O,U	-	7	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-
Gomphonema parvulum Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	U	-	4	-	1	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema sarcophagus Gregory	Ogh-ind	al-il	ind		-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema truncatum Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	T	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Hantzschia amphioxys (Ehr.)Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA,U	4	5	1	7	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-
Melosira cf. longispina Hustedt	Ogh-ind	ind	l-bi		45	5	3	31	1	5	10	1	3	50	5	3	-	-
Melosira cf. longispina var. tenuis Hustedt	Ogh-ind	ind	l-bi		18	2	1	16	-	-	3	-	2	16	1	-	-	-
Navicula contenta Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA,T	-	60	18	2	-	3	6	-	-	1	2	-	-	-
Navicula contenta fo. biceps (Arnott)Hustedt	Ogh-ind	al-il	ind	RA,T	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
Navicula elginensis var. cuneata H.Kobayasi	Ogh-ind	al-il	ind		-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
Navicula gallica var. perpusilla (Grun.)Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	ind	RI	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula lapidosa Krasske	Ogh-ind	ind	ind	RI	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula mutica Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	RA,S	-	10	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
Navicula natchikae J.B.Petersen	Ogh-unk	unk	unk		-	-	40	-	1	27	5	-	-	-	-	6	-	-
Orthoseira roeseana (Rabh.)O'Meara	Ogh-ind	ind	ind	RA	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Pinnularia borealis Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	RA	32	65	7	36	1	3	15	-	-	4	-	3	-	-
Pinnularia divergentissima (Grun.)Cleve	Ogh-ind	ac-il	ind		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Pinnularia gibba Ehrenberg	Ogh-ind	ac-il	ind	O	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Pinnularia intermedia (Largerst.)Cleve	Ogh-ind	ind	ind	RA	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Pinnularia lata (Breb.)Rabenhorst	Ogh-hob	ac-il	ind	RB	2	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	2	-	-
Pinnularia microstauron (Ehr.)Cleve	Ogh-ind	ac-il	ind	S	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Pinnularia nodosa Ehrenberg	Ogh-hob	ac-il	l-ph	O	-	1	57	2	1	9	1	-	-	-	-	3	-	-
Pinnularia obscura Krasske	Ogh-ind	ind	ind	RA	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Pinnularia streptorapha Cleve	Ogh-hob	ac-il	l-ph		-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Pinnularia subcapitata Gregory	Ogh-ind	ac-il	ind	RB,S	-	8	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Pinnularia viridiformis Krammer	Ogh-ind	ind	ind		-	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Pinnularia viridis (Nitz.)Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	O	-	4	8	1	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-
Pinnularia spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	5	2	-	1	1	-	-	2	1	2	-	-	-
Sellaphora laevissima (Kuetz.)Mann	Ogh-ind	ind	ind		-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	-	-
Sellaphora pupula (Kuetz.)Mereschkowsky	Ogh-ind	ind	ind	S	-	8	-	-	2	-	2	-	-	-	-	1	-	-
Stauroneis obtusa Lagerstedt	Ogh-ind	ind	ind	RB	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stauroneis phoenicenteron (Nitz.)Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	O	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stephanodiscus alpinus Hustedt	Ogh-ind	al-il	l-bi		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Stephanodiscus spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
海水生種合計					1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海水 - 汽水生種合計					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汽水生種合計					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
淡水 - 汽水生種合計					0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0
淡水生種合計					108	208	202	110	228	205	209	3	9	103	208	8		
珪藻化石総数					109	208	202	110	229	205	212	3	9	103	208	8		

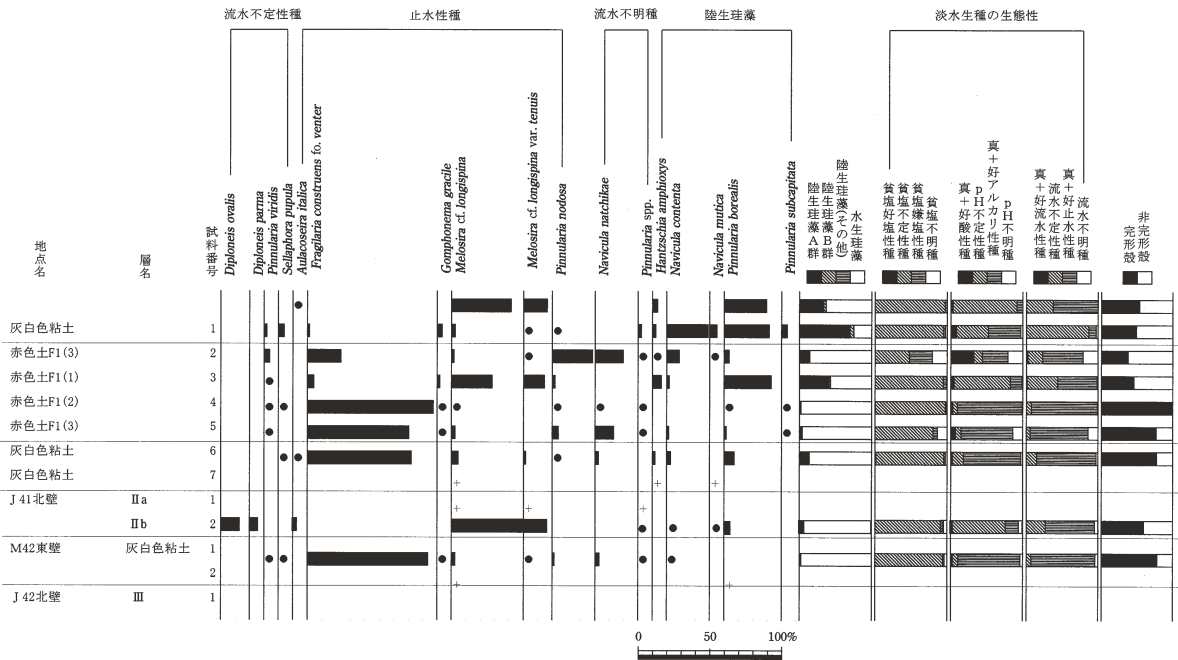
凡例

- H.R.:塩分濃度に対する適応性 pH:水素イオン濃度に対する適応性 C.R.:流水に対する適応性
 Euh :海水生種 al-bi:真7加性種 l-bi :真止水性種
 Ogh-Meh:淡水生種-汽水生種 al-il :好7加性種 l-ph :好止水性種
 Ogh-ind :貧塩不定性種 ind :pH不定性種 ind :流水不定性種
 Ogh-hob :貧塩嫌塩性種 ac-il:好酸性種 r-ph:好流水性種
 Ogh-unk :貧塩不明種 unk:pH不明種 unk:流水不明種

環境指標種

- K:中 - 下流性河川指標種 N:湖沼沼沢湿地指標種 O:沼沢湿地付着生種(以上は安藤 1990)
 S:好汚濁性種 U:広適応性種 T:好清水性種(以上はAsai,K. & Watanabe,T.1995)
 R:陸生珪藻(RA:A群, RB:B群, RI:未区分陸生珪藻、伊藤・堀内 1991)

2 奥白滝1・上白滝5遺跡における堆積層・古植生の検討



海水・汽水・淡水生種産出率・各種産出率・完形殻産出率は全体基数、淡水生種の生態性の比率は淡水生種の合計を基数として百分率で産出した。いずれも100個体以上検出された試料について示す。なお、は1%未満、+は100個体未満の試料で検出した種類を示す。

図 - 9 上白滝5遺跡各試料における珪藻化石群集

れる。尖度は<偏平>で、淘汰度を表す分級度は2.84であり、評価は<非常に悪い>となる。一方、M42東壁の試料番号2では、粘土・シルト含量が高く、平均粒径7.53 であり、<シルト>に分類される。歪度は、-0.02で<ほぼ対称>に評価される。尖度は<突出>で、淘汰度を表す分級度は2.71であり、評価は<非常に悪い>となる。

J42北壁の試料番号1は、粘土・シルト含量が高いが、細粒砂付近の砂の割合もまた高い傾向にある。平均粒径6.84 であることから、<シルト>に分類される。歪度は、-0.23で<負の歪み>に評価される。尖度は<突出>で、淘汰度を表す分級度は3.44であり、評価は<非常に悪い>となる。

(b) 珪藻分析

結果を表 - 9・図 - 9に示す。遺構試料の7点(試料番号1~7)とM42東壁の試料番号1・2からは、普通~豊富に珪藻化石が産出するが、J41北壁の試料番号1・2、J42北壁の試料番号1は数個体産出したばかりであり、少ない。

焼土遺構試料の試料番号1は、水生珪藻と陸生珪藻とが混在する。水生珪藻では、淡水浮遊性の *Melosira cf.longispina* が約40%と優占し、その変種の *Melosira cf.longispina var.tenuis* が約20%と多産する。前種は、その種名の示すとおり長い棘を持つ珪藻で、1943年フステット氏によって中禅寺湖で新種記載されたもの、後種も基本種と同様に湯の湖から記載されたものである(小島・小林,1976)。陸生珪藻では、耐乾性の高いA群(伊藤・堀内,1991)の *Pinnularia borealis* が約30%と多産する。

試料番号2は、陸生珪藻が全体の約70%を占め、優占する。A群の *Navicula contenta*、*Pinnularia borealis* が約30と優占し、同じくA群の *Navicula mutica* を伴う。

試料番号3は、水生珪藻が全体の約80%と優占する。偶来性浮遊性種の *Fragilaria construes fo.venter*、好止水性で付着性の *Pinnularia nodosa*、生態性が不明の *Navicula natchikae* が20~30%と優占する。試料番号4は、試料番号1と近似する。水生珪藻では *Melosira cf.longispina*、*M. cf.longispina var.tenuis*、陸生珪藻ではA群の *Pinnularia borealis* が20~30%と多産する。試料番号

表 - 10 上白滝 5 遺跡の植物珪酸体分析結果

地点・試料名 試料番号	灰白色粘土 1	赤色土				灰白色粘土		J41北壁		M42東壁 灰白色粘土		J42北壁
		F1(3) 2	F1(1) 3	F1(2) 4	F1(3) 5	6	7	b 1	b' 2	1	2	1
イネ科葉部短細胞珪酸体												
タケ亜科クマザサ属	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
タケ亜科	-	-	-	-	1	-	-	11	1	1	-	-
ヨシ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウシクサ族ススキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イチゴツナギ亜科	3	17	-	1	3	-	1	-	3	-	1	4
不明キビ型	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
不明ヒゲシバ型	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明ダンチク型	1	2	1	1	1	1	-	2	-	-	-	-
イネ科葉身機動細胞珪酸体												
タケ亜科クマザサ属	-	1	-	-	-	2	-	122	6	2	-	-
タケ亜科	1	2	-	-	-	2	-	5	4	1	-	3
ヨシ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
合 計												
イネ科葉部短細胞珪酸体	4	21	1	3	5	1	1	16	4	1	1	4
イネ科葉身機動細胞珪酸体	1	3	0	0	0	4	0	129	10	4	0	3
総 計	5	24	1	3	5	5	1	145	14	5	1	7

5 は、偶来性浮遊性種の *Fragilaria construes fo. venter* が約90%と優占する。試料番号 6・7 は、群集が近似し、*Fragilaria construes fo. venter* が約70%と優占する。

M42東壁の試料番号 2 は、偶来性浮遊性種の *Fragilaria construes fo. venter* が約80%と優占する。試料番号 1 は、淡水浮遊性種の *Melosira cf. longispina* が約50%と優占し、その変種の *Melosira cf. longispina var. tenuis*、流水不定性の *Diploneia ovalis* が15%前後と多産する。

(c) 植物珪酸体分析

結果を表 - 10に示す。赤色粘土試料からは、珪化組織片が全く認められない。いずれも、単体のタケ亜科やイチゴツナギ亜科が認められるだけである。

土壌試料のうち、J41区北壁の試料番号 2 (b 層) でタケ亜科とイチゴツナギ亜科、試料番号 1 (a 層) でクマザサ属を含むタケ亜科が見られ、特にクマザサ属機動細胞珪酸体の産出が目立つ。M42東壁では、試料番号 1・2 (灰白色粘土) でタケ亜科やイチゴツナギ亜科が、稀に認められるに過ぎない。J42北壁の試料番号 1 (層) でも、タケ亜科やイチゴツナギ亜科がわずかに認められるに過ぎない。

(エ) 考察

赤色土 F - 1 からは、珪化組織片が全く認められなかったことから、燃料材についての推定はできない。赤色土試料中に含まれていた単体のタケ亜科やイチゴツナギ亜科の植物珪酸体は、もともと土壌中に含まれていたものであり、燃料材とは関係のないものであると考えられる。

赤色土 F - 1 の由来および灰白色粘土の成因については、珪藻化石の産状がよい手がかりとなる。まず、今回の試料の珪藻化石群集組成の特徴は、次に示す 4 タイプに分けることができる。

タイプ 1 は、偶来性浮遊性種の *Fragilaria construes fo. venter* が優占するタイプで、赤色土 F - 1 (3) の試料番号 5、灰白色粘土の試料番号 6・7、および M42区東壁の灰白色粘土下部の試料番号 2 がこれに含まれる。

タイプ 2 は、淡水浮遊性の *Melosira cf. longispina* とその変種の *Melosira cf. longispina var. tenuis*、陸生珪藻 A 群の *Pinnularia borealis* が多産するタイプで、赤色土 F - 1 (2) の試料番号 4、灰白色粘土の試料番号 1、および M42区東壁の灰白色粘土上部の試料番号 1 がこれに含まれる。水生珪藻と陸

生珪藻とが共存することは通常あり得ないので、少なくともタイプ 2 では、二つの成因の異なる土壌の混合が考えられる。

タイプ 3 は、偶来性浮遊性種の *Fragilaria construes* fo. *venter*、好止水性で付着性の *Pinnularia nodosa*、生態性不明の *Navicula natchikae* が優占するタイプで、赤色土 F - 1 (1) の試料番号 3 がこれに含まれる。とくに、*Pinnularia nodosa* は、沼よりも浅く水深が 1 m 前後で、一面に水生植物が繁茂するような沼沢、さらに水深の浅い湿地に生育する沼沢湿地付着生種群（安藤，1990）の一種でもある。

タイプ 4 は、産出種のほとんどが陸生珪藻によって占められるタイプで、赤色土 F - 1 (3) の試料番号 2 がこれに当たる。

以上述べたタイプの中で、タイプ 1 とタイプ 2 においては、赤色土と灰白色粘土とが共存する。すなわち、赤色土 F - 1 (3) は灰白色粘土の下部に由来し、赤色土 F - 1 (2) は灰白色粘土の上部に由来する可能性が高い。残る 2 点の赤色土試料も、その珪藻化石の産状から、少なくとも a 層や 層などの土壌層に由来する可能性はない。現時点では、タイプ 3 やタイプ 4 のような珪藻化石の産状を示す自然堆積層は確認されていない。ただし、タイプ 3 やタイプ 4 には、M42 区東壁の灰白色粘土層に多く含まれる珪藻化石が比較的多く含まれていることや、M42 区東壁の灰白色粘土において、層位の違いで珪藻化石組成が大きく変わることなどを考慮すると、調査区内で確認された灰白色粘土層のなかには、タイプ 3 やタイプ 4 の組成を示すものがあるかも知れない。その場合、赤色土は全て灰白色粘土に由来するということになる。

次に、その灰白色粘土の成因について検討する。M42 区東壁で認められた灰白色粘土の珪藻化石群集は、下部の試料番号 2 では偶来性浮遊性種の *Fragilaria construes* fo. *venter* が優占するのに対して、上部の試料番号 1 では淡水浮遊性の *Melosira* cf. *longispina* が優占し、その変種の *Melosira* cf. *longispina* var. *tenuis*、流水不定性の *Diploneia ovalis* を高率に伴うことを特徴とする。このうち、*Fragilaria construes* fo. *venter* は、池沼～湖沼の沿岸部に分布しているのに対して、*Melosira* cf. *longispina* やその変種の *Melosira* cf. *longispina* var. *tenuis* は、湖沼中心部付近に分布する。上白滝 5 遺跡が立地する地形から考えて、層と a 層の形成時期の間に湖が形成された時期があったとは考えられない。したがって、灰白色粘土層は、湖成堆積物の再堆積層である可能性がある。白滝団体研究会（1963）の研究以来、白滝一帯の段丘の基盤には更新世前期の湖沼堆積物である白滝層が広く堆積していることが知られている。以前当社により分析を行った白滝層の珪藻化石群集は、M42 区東壁の灰白色粘土層上部の珪藻化石群集に近似していることも明らかである。したがって、この灰白色粘土層は、白滝層の再堆積層である可能性が高い。

一方、上述した赤色土とそれに対応する灰白色粘土との粒径組成を比較すると、いずれも赤色土試料の方が、粘土の含量がやや高い傾向はあるが、比較的よく類似している。少なくとも、奥白滝 1 遺跡や服部台 2 遺跡が位置する段丘上の土壌層などとは、大きく異なる粒径組成である。したがって、粒径組成からみても、赤色土は灰白色粘土層に由来するという関係は、成り立つと考えられる。また、上述のように、灰白色粘土層と段丘上の土壌層との粒径組成が大きく異なることは、灰白色粘土層の成因が、段丘上の土壌層とは異なることを意味する。これは、灰白色粘土層が白滝層の再堆積物であることを支持するものである。

引用文献

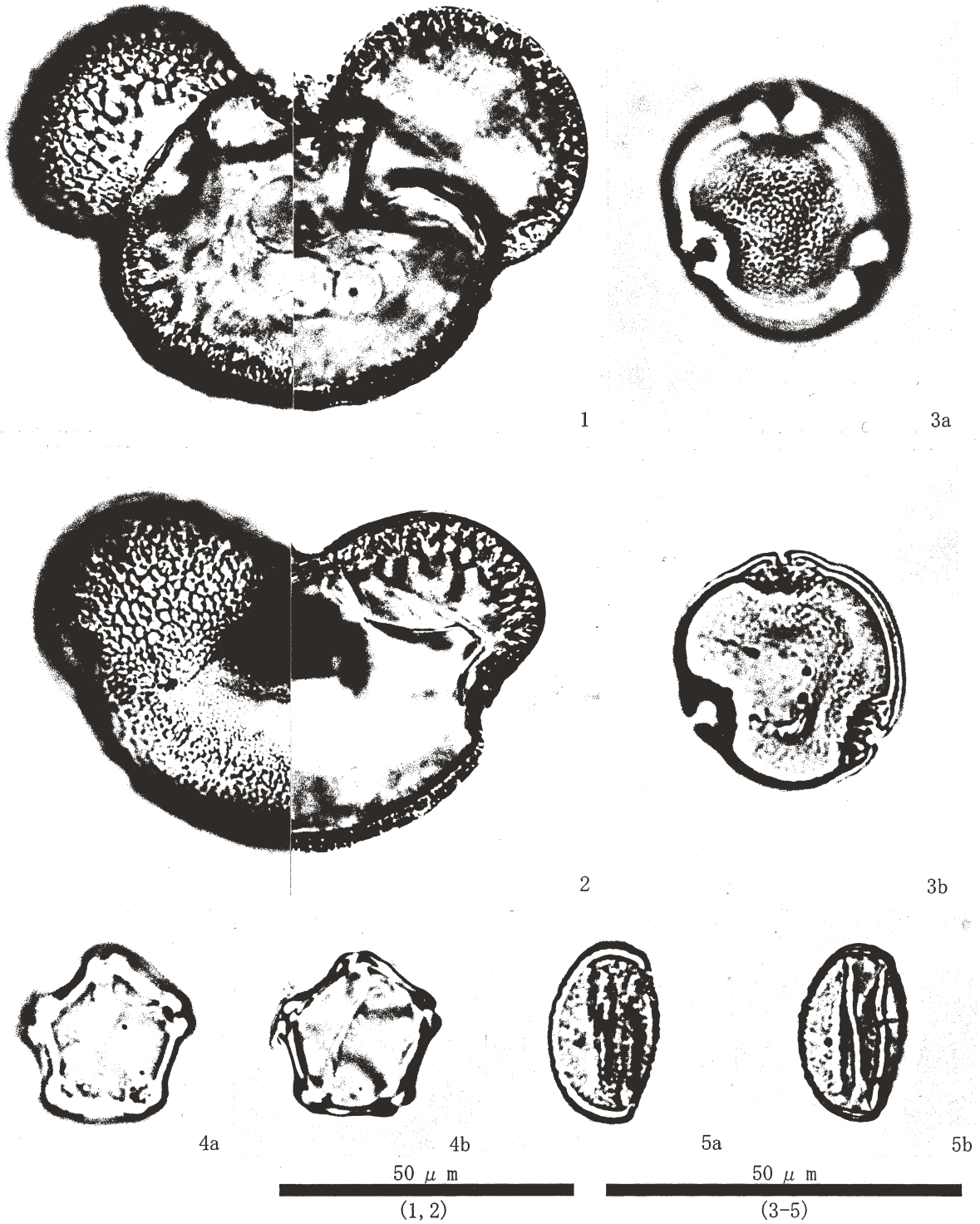
Arai, F.・Machida, H.・Okumura, K.・Miyachi, T.・Soda, T.・Yamagata, K. (1986) Catalog for late quaternary marker-

- tephras in Japan - Tephtras occurring in Northeast Honshu and Hokkaido - . Geographical reports of Tokyo Metropolitan University No.21,p.223-250.
- 安藤一男 (1990) 淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用. 東北地理, 42,p.73-88.
- Asai,K.&Watanabe,T.(1995)Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological Groups relating to Organic Water Pollution (2) Saprophylic and saproxenous taxa. Diatom,10,35-47.
- Fork,R.L. and Ward,W. (1957) Brazons river bar;a study in the significance of grain size parameters . J.Sed.Petrol.,27 , p3-26 .
- 平川一臣・中村有吾・石川 守 (2000) 北海道白滝遺跡と周辺地域のテフラ層序と地形環境 .(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第140集 白滝遺跡群 白滝村上白滝7遺跡 一般国道450号白滝村道路改良工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 , p.235-249 ,(財)北海道埋蔵文化財センター .
- 伊藤良永・堀内誠示 (1991) 陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用 Diatom , 6 , p.23-45.
- 小島貞勇・小林弘 (1976) 素顔の水処理微生物 (34) ケイソウ植物 .「水」臨時増刊号,素顔の水処理微生物 総集版 , 月刊「水」発行所 , p.68-69.
- 近藤錬三・佐瀬 隆 (1986) 植物珪酸体分析, その特性と応用. 第四紀研究, 25 , p.31-64 .
- 小杉正人 (1988) 珪藻の環境指標種群の設定と古環境復元への応用. 第四紀研究, 27 , p.1-20 .
- 小杉正人 (1989) 珪藻化石群集の形成過程と古生態解析. 日本ペントス研究会誌, 35 / 36 , p.17-28 .
- Krammer, K. and Lange-Bertalot, H. (1986) Bacillariophyceae,Teil 1,Naviculaceae. Band 2/1 von:Die Suesswasserflora von Mitteleuropa,876p., Gustav Fischer Verlag.
- Krammer, K. and Lange-Bertalot, H. (1988) Bacillariophyceae,Teil 2,Epithemiaceae,Bacillariaceae,Surirellaceae. Band 2/2 von:Die Suesswasserflora von Mitteleuropa,536p., Gustav Fischer Verlag.
- Krammer, K. and Lange-Bertalot, H. (1991a) Bacillariophyceae,Teil 3,Centrales,Fragilariaceae,Eunotiaceae. Band 2/3 von:Die Suesswasserflora von Mitteleuropa,230p., Gustav Fischer Verlag.
- Krammer, K. and Lange-Bertalot, H. (1991b) Bacillariophyceae,Teil 4,Achnantheaceae, Kritsche Ergaenzungen zu Navicula(Lineolatae)und Gomphonema. Band 2/4 von:Die Suesswasserflora von Mitteleuropa,248p., Gustav Fischer Verlag.
- Krammer, K.(1992) PINNULARIA, eine Monographie der europaischen Taxa. BIBLIOTHECA DIATOMOLOGICA BAND 26.p.1-353.BERLIN・STUTTGART.
- 中村有吾・平川一臣 (1998) 北海道・白滝遺跡周辺のテフラ層序と地形環境. 日本地理学会発表要旨集, No.54 , p.162-163 .
- 中村有吾・平川一臣 (1999) 白滝遺跡の年代を決定するテフラ - 大雪白滝テフラと奥白滝テフラ - . 日本地理学会発表要旨集, No.55 , p.88-89 .
- 奥村晃史 (1991) 北海道地方の第四紀テフラ研究. 第四紀研究, 30 , p.379-390 .
- 碎屑性堆積物研究会編 (1983)「地学双書24 堆積物の研究法」. 377p,地学団体研究会 .
- 白滝団体研究会 (1963) 白滝遺跡の研究. 71p., 地学団体研究会 .
- 塚田松雄・中村 純 (1987) 第四紀末の植生史.「日本植生誌 北海道」, 宮脇 昭編著, p.96-130, 至文堂 .
- Wentworth,C.K. (1922) A scale of grade and class terms for clasticsediments . J.Geol , 30 , p.377-392 .
- 安田喜憲 (1990) 気候と文明の盛衰. 358p., 朝倉書店 .



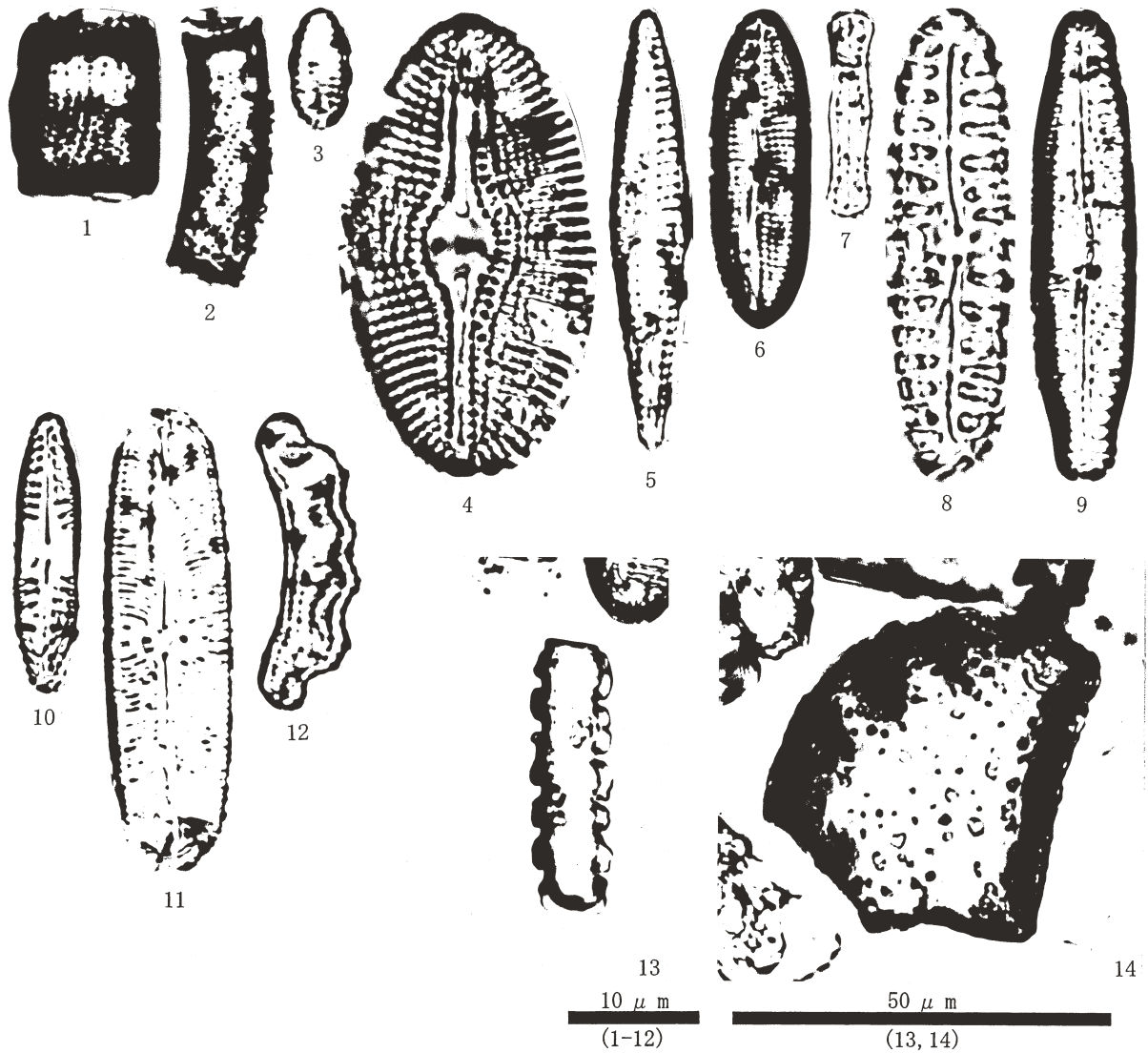
1. *Melosira* cf. *longispina* Hustedt (J14区北壁西側 IIc;11)
2. *Pinnularia borealis* Ehrenberg (J14区北壁西側 III;16)
3. *Diatoma hyemale* var. *mesodon* (Ehr.)Kirchner (N5区北壁 IIa;1)
4. *Caloneis aerophila* Bock (N5区北壁 IIa;1)
5. *Navicula mutica* Kuetzing (N5区北壁 IIa;1)
6. *Pinnularia borealis* var. *scalaris* (Ehr.)Rabenhorst (N5区北壁 IIa;1)
7. クマザサ属短細胞珪酸体(N5区北壁 IIa;1)
8. クマザサ属短細胞珪酸体(N5区北壁 IIa;3)
9. イチゴツナギ亜科短細胞珪酸(N5区北壁 IIa;1)
10. クマザサ属機動細胞珪酸体(N5区北壁 IIa;1)
11. クマザサ属機動細胞珪酸体(N5区北壁 IIa;3)

図 - 10 奥白滝1遺跡の珪藻化石・植物珪酸体



1. モミ属 (N5区北壁 II a;1)
2. トウヒ属 (N5区北壁 II a;1)
3. シナノキ属 (N5区北壁 II a;1)
4. ハンノキ属 (N5区北壁 II a;1)
5. コナラ亜属 (N5区北壁 II a;1)

図 - 11 奥白滝1遺跡の花粉化石



1. *Melosira* cf. *longispina* Hustedt (灰白色粘土(2);7)
2. *Melosira* cf. *longispina* ver. *tenuis* Hustedt (M42区東壁 灰白色粘土層;1)
3. *Fragilaria construens* fo. *venter* (Ehr.)Husted (赤色土F1(3);5)
4. *Diploneis ovalis* (Hilse)Cleve (M42区東壁 灰白色粘土層;1)
5. *Gomphonema gracile* Ehrenberg (赤色土(SA-2);2)
6. *Navicula natchikae* J.B.Petersen (赤色土F1(1);3)
7. *Navicula contenta* Grunow (赤色土(SA-2);2)
8. *Pinnularia borealis* Ehrenberg (赤色土(SA-2);2)
9. *Pinnularia nodosa* Ehrenberg (赤色土F1(1);3)
10. *Pinnularia obscura* Krasske (赤色土(SA-2);2)
11. *Sellaphora laevissima* (Kuetz.)Mann (M42区東壁 灰白色粘土層;2)
12. *Eunotia cristagalli* Cleve (赤色土(SA-2);2)
13. イチゴツナギ亜科短細胞珪酸体(赤色土(SA-2);2)
14. クマザサ属機動細胞珪酸体(J41区北壁 IIb;1)

図 - 12 上白滝 5 遺跡の珪藻化石・植物珪酸体

3 白滝遺跡群の旧石器文化層から検出された炭化材

三野 紀雄

(北海道浅井学園大学)

白滝村白滝遺跡群の旧石器文化層から検出された、燃料の残滓と思われる、炭化材について当時の植生的一端を知るために樹種同定を行った。

(1) 試料

試料は、白滝村白滝遺跡群の旧石器文化層、表に示したグリッドの炭化材集中から採取した炭化材である。暖をとるために用いた燃料の残滓と思われる。炭化材には粘土あるいは珪酸質と思われる鉱物が緻密に沈着していた。硬いために安全剃刀での試料調整が困難で、検鏡不能のもの、また粘土あるいは鉱物の沈着のために木材組織の観察が不能なものが多くみられた。

(2) 方法

走査電子顕微鏡(JEOL JSM-5400)を用い、次の手順で木材組織を観察し樹種同定を行った。まず、十分に乾燥した試料を3片に分割し、安全剃刀で表面を調整して試料台にドータイト D-550 で接着する。試料をオート・ファイン・コーター(JEOL JFC-1600)で金蒸着した後に、加速電圧15kv の下で観察する。記載文献^{1,3,6)}及び現生樹木の組織標本等と照合する。

(3) 結果及び若干の考察

樹種同定の結果を下表に示した。観察可能であった試料ではカラマツ属(*Larix* sp. グイマツ類)及びトウヒ属(*Picea* sp. エゾマツ類)の木材が比較的多くみられた。僅かではあるがモミ属(*Abies* sp. トドマツ類)もあった。また、広葉樹材と思われる試料も1点みられた。しかし、この広葉樹材には鉱物物質が沈着していて詳細な組織の観察はできなかった。なお、針葉樹であることは確認できるが、同様に鉱物物質が沈着しているために組織の観察が不可能な試料が多くみられた。

表 - 11 樹種同定の根拠とした木材組織の特徴

樹種	木材組織の特徴
トウヒ属 (<i>Picea</i> sp. エゾマツ類)	針葉樹材、早材から晩材への移行は緩やか。板目面では水平樹脂溝を確認できるが、木口面では垂直樹脂溝は壊れていて確認できないものが多い。分野壁孔は泥等に覆われ確認しづらいが、トウヒ型を呈す。
カラマツ属 (<i>Larix</i> sp. グイマツ類)	針葉樹材、早材から晩材への移行は急。晩材部の細胞壁は早材部に比較して厚い。板目面では水平樹脂溝を確認できるが、木口面では垂直樹脂溝は壊れていて確認できないことが多い。分野壁孔は本来トウヒ型であるが、確認しにくいものが多い。放射柔細胞は厚膜でじゅず状末端壁を示す。
モミ属 (<i>Abies</i> sp. トドマツ類)	針葉樹材、早材から晩材への移行は緩やか。晩材はやや厚壁で、年輪界に高密度の晩材層をつくる。水平・垂直樹脂溝を欠く。分野壁孔はスギ型。放射柔細胞は厚膜でじゅず状末端壁を示す。

北海道の後期旧石器文化の地層から検出された炭化材については、これまで数遺跡について樹種同定が行われている^{2,4,5,7,9}。それらの遺跡から検出された炭化材のほとんどすべてが針葉樹材である。この白滝遺跡群に近接する後期旧石器終末期の上川町日東遺跡においても1999年に炭化材の調査がされているが、やはり針葉樹材と同定されている。

本遺跡の調査では、約25,000年前から約 10,000年前のウルム氷期の最盛期から終末期に相当する生活文化層からの炭化材について樹種同定を行ったが、いずれの文化層においてもカラマツ属、トウヒ属、モミ属といった針葉樹がみられ、年代的に樹種の違いはみられない。これらの炭化材は、グイマツあるいはアカエゾマツなどの針葉樹が散生する森林ツンドラといった植生を示しているものと思われる。

この時代の遺跡からは木の道具がまだ発見されていないので、これら燃料材の残滓である炭化材が、今のところ北海道における人と木との関わりを示す最古の資料といえる。

文 献

- 1) 林 弥一 1967 本邦針葉樹材のカード式識別法 『林業試験場報告』 第98号
- 2) 北川芳男ほか 1974 祝梅三角山地点における地史的所見 『祝梅三角山地点』 千歳市教育委員会編
- 3) 佐伯 浩 1982 『走査電子顕微鏡図説 木材の構造』 日本林業技術協会
- 4) 三野紀雄 1985 炭化木材の樹種同定 北埋調報第23集 『今金町美利河1遺跡』 北海道埋蔵文化財センター編
- 5) 三野紀雄 1988 石川1遺跡より得た炭化木材について 北埋調報第45集 『函館市石川1遺跡』 北海道埋蔵文化財センター編
- 6) 島地 謙ほか 1992 『図説 木材組織』 地球社
- 7) 三野紀雄 1994 En-a層下位出土の炭化木材の樹種同定 『丸山遺跡における考古学的調査』 千歳市教育委員会編
- 8) 三野紀雄 1995 帯広市南町2遺跡出土炭化木材の樹種同定 『帯広・南町遺跡』 帯広市教育委員会編
- 9) 三野紀雄 1999 上川町日東遺跡出土の炭化木材 北埋調報第141集 『上川町日東遺跡』 北海道埋蔵文化財センター編

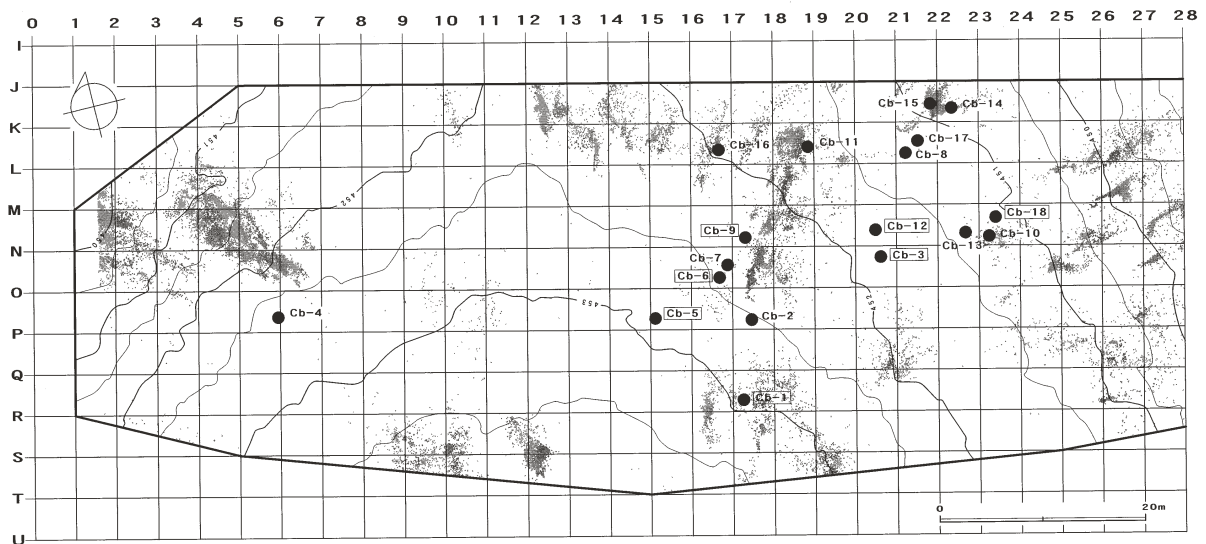
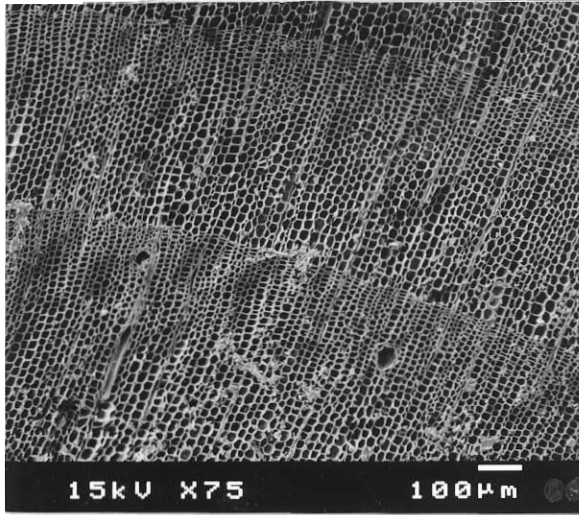


図 - 13 奥白滝1遺跡の樹種同定を行った炭化木片ブロック

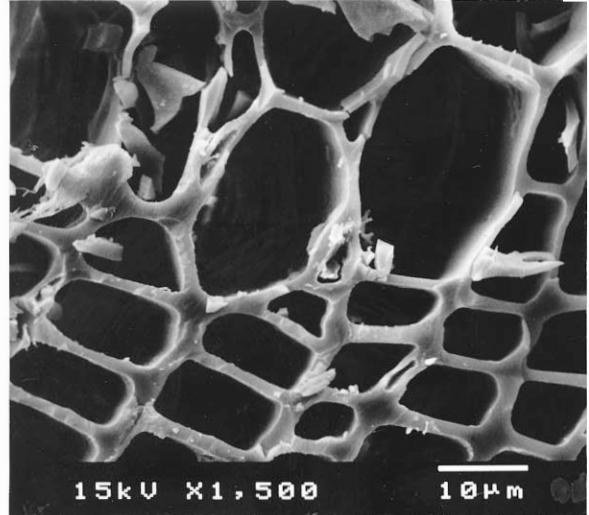
表 - 12 白滝遺跡群出土の炭化材の樹種同定

試料番号	遺跡名	発掘区	炭化木ブロック	樹種	14C年代
1	上白滝8	M60	Cb - 1	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.?	12440±60
2	上白滝8	M60	Cb - 1	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.	12440±60
3	上白滝8	M60	Cb - 1	トウヒ属 <i>Picea</i> sp.?	12440±60
4	上白滝8	Q48	Cb - 2(2)	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.?	18580±60
5	上白滝8	Q48	Cb - 2(2)	試料微少のため同定不能	18580±60
6	上白滝8	Q48	Cb - 2(2)	〃	18580±60
7	上白滝8	Q48	Cb - 2(2)	〃	18580±60
8	上白滝8	K33	Cb - 3(1)	〃	10280±50
9	上白滝8	K33	Cb - 3(1)	〃	10280±50
10	上白滝8	K33	Cb - 3(1)	トウヒ属 <i>Picea</i> sp.	10280±50
11	上白滝8	K34	Cb - 3(8)	トウヒ属 <i>Picea</i> sp.	
12	上白滝8	K34	Cb - 3(9)	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.	
13	上白滝8	K34	Cb - 3(9)	試料微少のため同定不能	
14	上白滝8	N49	Cb - 6	—	
15	上白滝8	N49	Cb - 6	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.?	
16	上白滝8	N49	Cb - 6	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.?	
17	上白滝8	N49	Cb - 6	試料微少のため同定不能	
18	上白滝8	N49	Cb - 6	針葉樹	
19	上白滝8	N49	Cb - 6	カラマツ属あるいはトウヒ属	
20	上白滝8	N49	Cb - 6	針葉樹	
21	上白滝8	I32	Cb - 9(3)	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.	
22	上白滝8	L52	Cb - 13(上層)	試料微少のため同定不能	26880±120
23	上白滝8	L52	Cb - 13(中層)	針葉樹	27610±130
24	上白滝8	L52	Cb - 13(下層)	針葉樹	26400±480
25	上白滝8	L52	Cb - 13(下層)	試料微少のため同定不能	26400±480
26	上白滝8	L52	Cb - 13(下層)	針葉樹	26400±480
27	上白滝8	L52	Cb - 13(下層)	針葉樹	26400±480
28	上白滝8	L52	Cb - 13(下層)	針葉樹	26400±480
29	上白滝8	L52	Cb - 13(下層)	針葉樹	26400±480
30	上白滝8	L52	Cb - 13(上下単一層)	試料微少のため同定不能	
31	上白滝8	P35	Cb - 17(1)	トウヒ属 <i>Picea</i> sp.	
32	上白滝8	P35	Cb - 17(2)	試料微少のため同定不能	
33	上白滝8	P35	Cb - 17(2)	針葉樹	
34	上白滝8	P35	Cb - 17(3)	針葉樹	18510±270
35	上白滝8	P35	Cb - 17(3)	モミ属 <i>Abies</i> sp.?	18510±270
36	上白滝8	P35	Cb - 17(3)	トウヒ属 <i>Picea</i> sp.	18510±270
37	上白滝8	P35	Cb - 17(3)	モミ属 <i>Abies</i> sp.?	18510±270
38	上白滝8	Q28	Cb - 19	試料微少のため同定不能	
39	上白滝8	L,M28	Cb - 21(2)	〃	15890±170
40	上白滝8	L,M28	Cb - 21(2)	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.?	15890±170
41	上白滝2	M34	Cb - 1	モミ属 <i>Abies</i> sp.	11860±110
42	上白滝2	M34	Cb - 1	トウヒ属 <i>Picea</i> sp.	11860±110
43	上白滝2	K37	Cb - 3	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.	
44	上白滝2	K37	Cb - 3	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.?	
45	上白滝2	K37	Cb - 3	針葉樹	
46	上白滝2	K37	Cb - 3	トウヒ属 <i>Picea</i> sp.	
47	上白滝2	J51	Cb - 4(3)	広葉樹?	
48	上白滝2	J51	Cb - 4(5)	針葉樹	
49	奥白滝1	Q17	Cb - 1(1)	針葉樹	15570±130
50	奥白滝1	N20	Cb - 3	試料微少のため同定不能	
51	奥白滝1	O15	Cb - 5	モミ属 <i>Abies</i> sp.?	
52	奥白滝1	O15	Cb - 5	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.	
53	奥白滝1	N16	Cb - 6(1)	トウヒ属 <i>Picea</i> sp.	18360±140
54	奥白滝1	N16	Cb - 6(1)	試料微少のため同定不能	18360±140
55	奥白滝1	N16	Cb - 6(1)	〃	18360±140
56	奥白滝1	M17	Cb - 9	〃	18890±140
57	奥白滝1	M23	Cb - 10(2)	針葉樹	
58	奥白滝1	M23	Cb - 10(2)	試料微少のため同定不能	
59	奥白滝1	M23	Cb - 18	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.	15850±150, 18250±190, 16030±130
60	奥白滝1	M20	Cb - 12(4)	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.	
61	奥白滝1	M20	Cb - 12(4)	トウヒ属 <i>Picea</i> sp.	
62	奥白滝1	M20	Cb - 12(5)	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.	

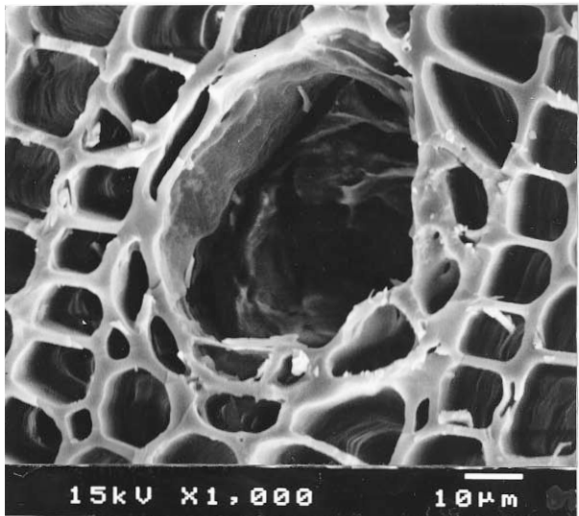
トウヒ属 (*Picea* sp. エゾマツ類) 試料番号11



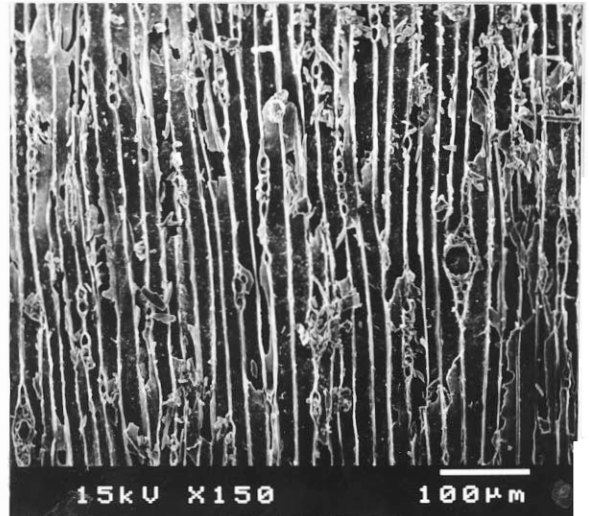
木口面



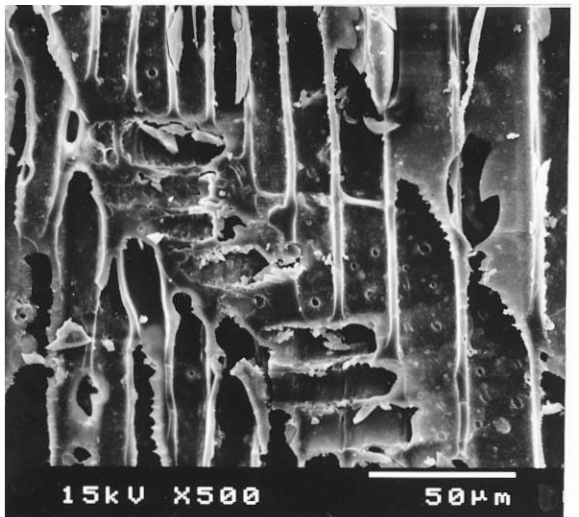
木口面・晩材部の仮導管壁



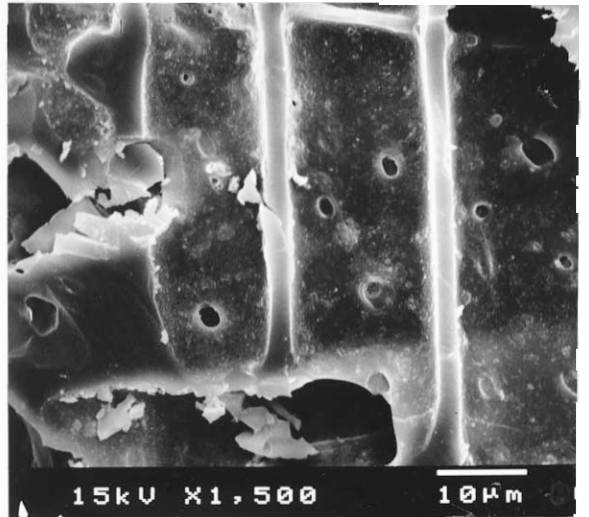
木口面・垂直樹脂溝



板目面



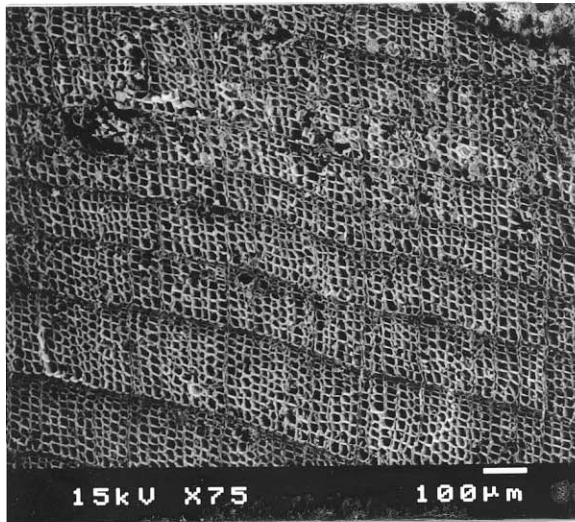
柁目面



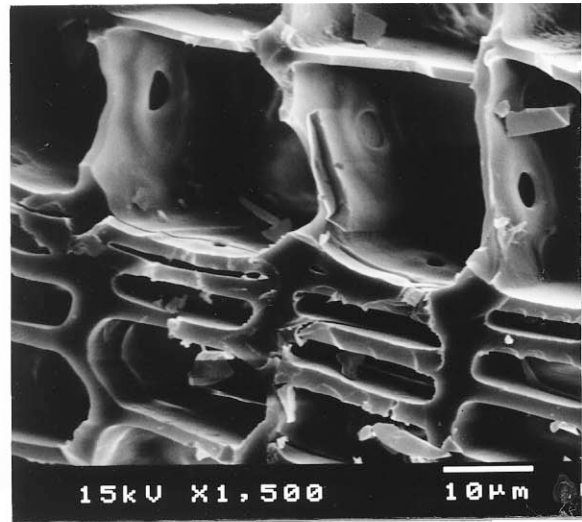
柁目面・分野壁孔

図 - 14 炭化材の木材組織 (1)

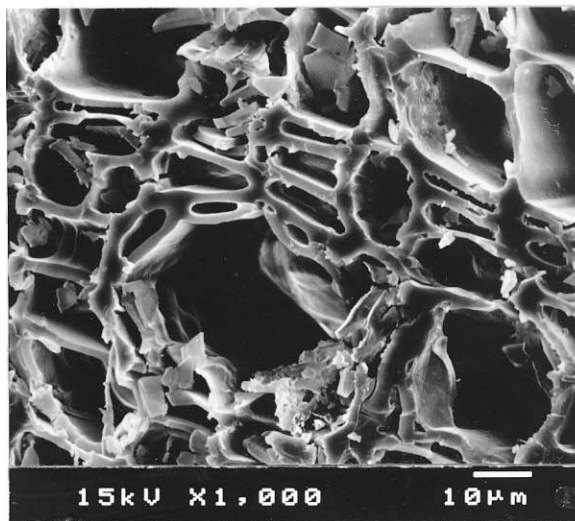
カラマツ属 (*Larix* sp. ゲイマツ類) 試料番号12



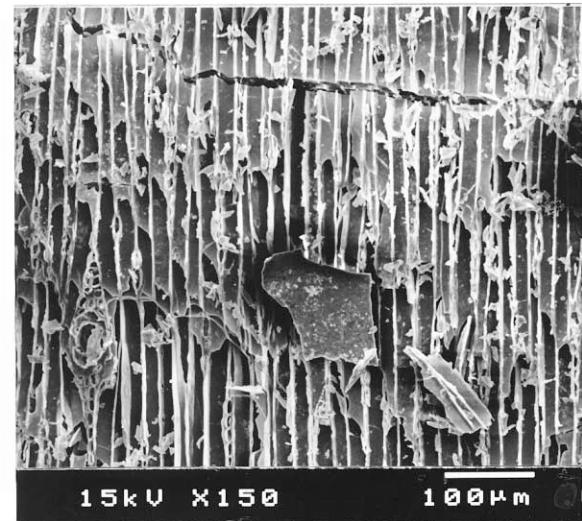
木口面



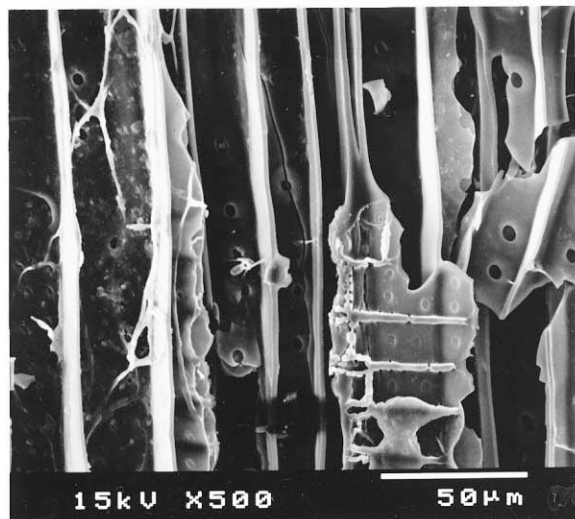
木口面・晩材部の仮導管壁



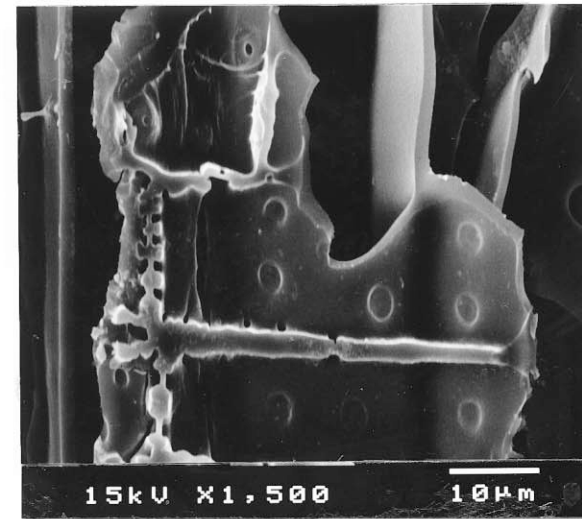
木口面・垂直樹脂溝



板目面



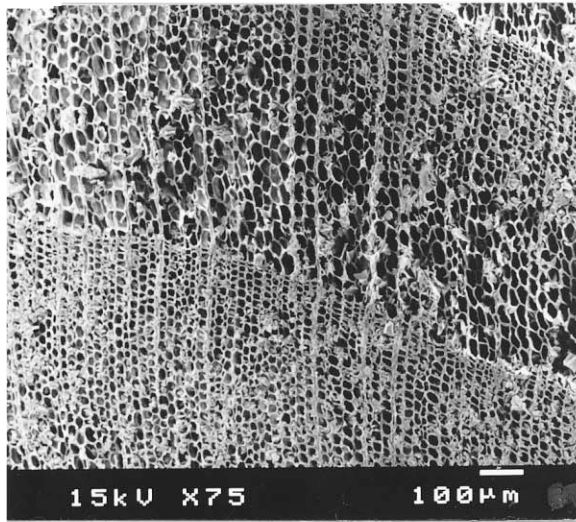
柁目面



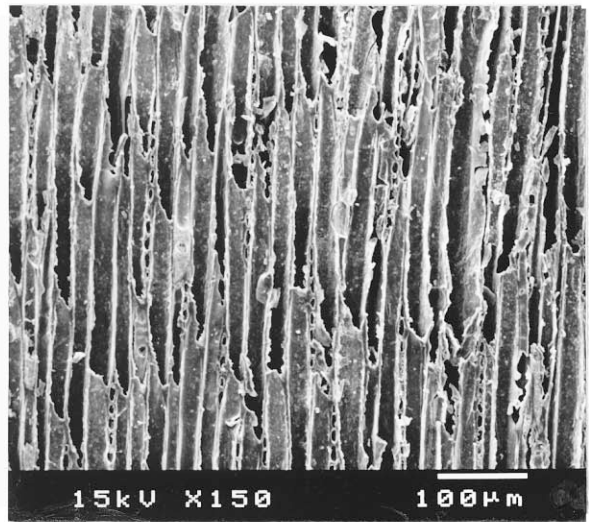
柁目面・分野壁孔

図 - 15 炭化材の木材組織 (2)

モミ属 (*Abies* sp. トドマツ類) 試料番号51

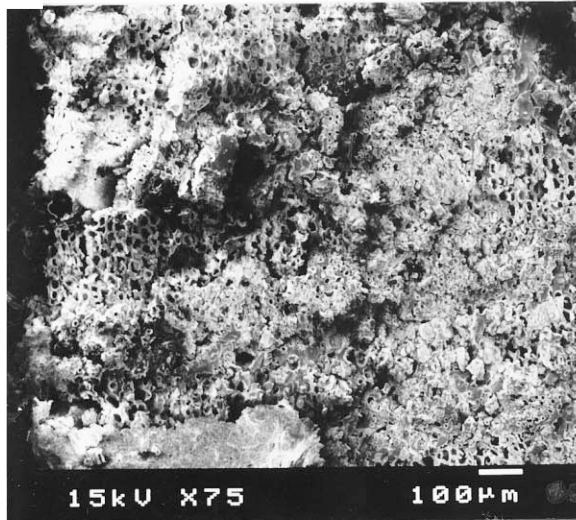


木口面

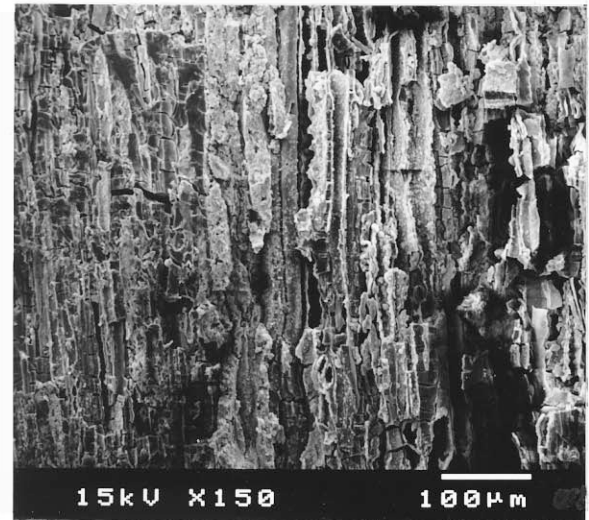


板目面

鉱物質が沈着した針葉樹材 (樹種不明) 試料番号28

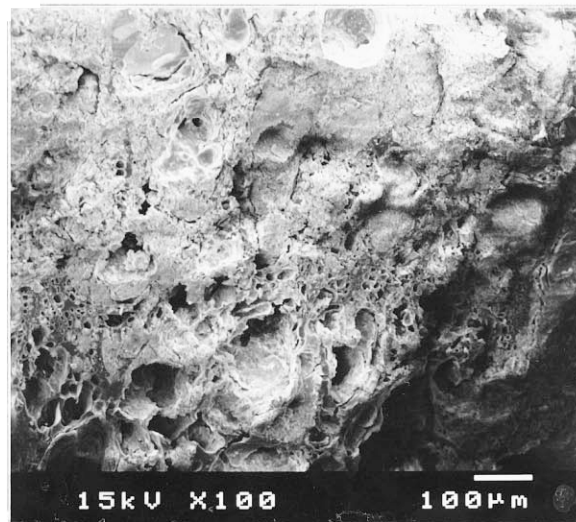


木口面・垂直樹脂溝



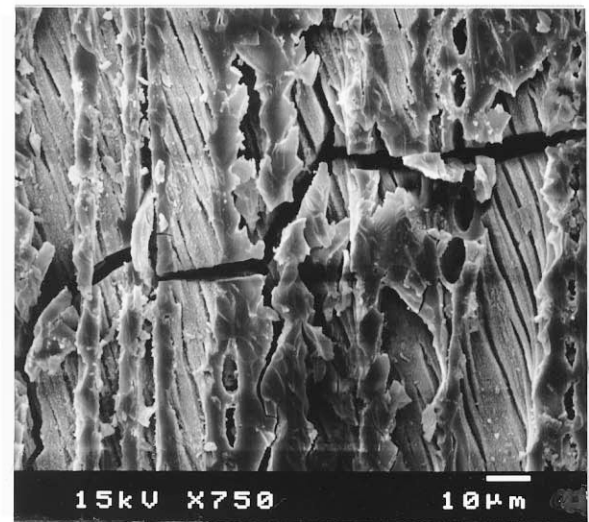
板目面

鉱物質が沈着した広葉樹材? 試料番号47



木口面

カラマツ属の白腐材 試料番号21



板目面

図 - 16 炭化材の木材組織 (3)

4 奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土の黒曜石製石器の 原材産地分析および非破壊分析による水和層の測定

藁科 哲男

(京都大学原子炉実験所)

(1) はじめに

石器石材の産地を自然科学的な手法を用いて、客観的に、かつ定量的に推定し、古代の交流、交易および文化圏、交易圏を探ると言う目的で、蛍光X線分析法により黒曜石およびサヌカイト製遺物の石材産地推定を行なっている^{1, 2, 3)}。石材移動を証明するには必要条件と十分条件を満たす必要がある。地質時代に自然の力で移動した岩石の出発露頭を元素分析で求めるとき、移動原石と露頭原石の組成が一致すれば必要条件を満たし、その露頭からの流れたルートを地形学などで証明できれば、十分条件を満たし、ただ一カ所の一致する露頭産地の調査のみで移動原石の産地が特定できる。遺物の産地分析では『石器とある産地の原石が一致したからと言って、その産地のものと言い切れないが、しかし一致しなかった場合その産地のものではないと言い切れる』が大原則である。考古学では、人工品の様式が一致するという結果が非常に重要な意味があり、見える様式としての形態、文様、見えない様式として土器、青銅器、ガラスなどの人手が加わった調合素材があり一致と言うことは古代人が意識して一致させた可能性があり、一致と言うことは、古代人の思考が一致すると考えてもよく、相互関係を調査する重要な結果である。石器の様式による分類ではなく、自然の法則で決定した石材の元素組成を指標にした分類では、例えば石材産地が遺跡から近い、移動キャンプ地のルート上に位置する、産地地方との交流を示す土器が出土しているなどを十分条件の代用にすると産地分析は中途半端な結果となり、遠距離伝播した石器原材であっても、遺跡近くの似た組成の原石産地の石材と思いこみ誤判定する可能性がある。人が移動させた石器の元素組成とA産地原石の組成が一致し、必要条件を満足しても、原材産地と出土遺跡の間に地質的関連性がないため、十分条件の移動ルートを自然の法則に従って地形学で証明できず、その石器原材がA産地の原石と決定することができない。従って、石器原材と産地原石が一致したことが、直ちに考古学の資料とならない、確かにA産地との交流で伝播した可能性は否定できなくなったが、B、C、Dの産地でないとの証拠がないために、A産地だと言い切れない。B産地と一致しなかった場合、結果は考古学の資料として非常に有用である。それは石器に関してはB産地と交流がなかったと言い切れる。ここで、十分条件として、可能な限り地球上の全ての原産地(A、B、C、D・・・)の原石群と比較して、A産地以外の産地とは一致しないことを十分条件として証明すれば、石器がA産地の原石と決定することができる。この十分条件を肉眼観察で求めることは分類基準が混乱し不可能であると思われる。また、自然科学的分析を用いても、全ての産地が区別できるかは、それぞれが使用している産地分析法によって、それぞれ異なり実際に行ってみなければ分からない。産地分析の結果の信頼性は何ヶ所の原材産地の原石と客観的に比較して得られたかにより、比較した産地が少なければ、信頼性の低い結果と言える。黒曜石、サヌカイトなどの主成分組成は、原産地ごとに大きな差はみられないが、不純物として含有される微量成分組成には異同があると考えられるため、微量成分を中心に元素分析を行ない、これを産地を特定する指標とした。分類の指標とする元素組成を遺物について求め、あらかじめ、各原産地ごとに数十個の原石を分析して求めておいた各原石群の元素組成の平均値、分散などと遺物のそれとを対比して、各平均値からの離れ具合(マハラノビスの距離)を求める。次に、古代人が採取した原石産出地点と現代人が分析のために採取した原石産出地点と異なる地点の可能性は十分に考えられる。

従って、分析した有限個の原石から産地全体の無限に近い個数の平均値と分散を推測して判定を行うホテリングの T 2 乗検定を行う。この検定を全ての産地について行うとある石器原材と同じ成分組成の原石が、A 産地では 10 個中に 1 個みられ、B 産地では 1 万個中に 1 個、C 産地では百万個中に 1 個、D 産地では・・・1 個と各産地毎に結果が得られるような、客観的な検定結果から A 産地の原石を使用した可能性が高いと同定する。即ち多変量解析の手法を用いて、各産地に帰属される確率を求めて産地を同定する。今回分析した遺物は白滝村奥白滝 1 遺跡出土の黒曜石製石器、剥片の 58 個、上白滝 5 遺跡出土の黒曜石製石器、剥片の 52 個および北支湧別 4 遺跡出土の黒曜石製石器の 3 個の合計 113 個の産地分析および奥白滝 1 遺跡出土黒曜石製石器 14 個、上白滝 5 遺跡出土の黒曜石製石器、剥片 40 個、北支湧別 4 遺跡出土の黒曜石製石器 3 個の合計 57 個について非破壊分析による水和層の厚さの結果が得られたので報告する。

(2) 黒曜石原石の分析

黒曜石原石の風化面を打ち欠き、新鮮面を出し、塊状の試料を作り、エネルギー - 分散型蛍光 X 分析装置によって元素分析を行なう。主に分析した元素は K、Ca、Ti、Mn、Fe、Rb、Sr、Y、Zr、Nb の各元素である。塊試料の形状差による分析値への影響を打ち消すために元素量の比を取り、それをもって産地を特定する指標とした。黒曜石は、Ca/K、Ti/K、Mn/Zr、Fe/Zr、Rb/Zr、Sr/Zr、Y/Zr、Nb/Zr の比量をそれぞれ用いる。黒曜石の原産地は北海道、東北、北陸、東関東、中信高原、伊豆箱根、伊豆七島の神津島、山陰、九州の各地に分布する。調査を終えた原産地を図 - 11 に示す。黒曜石原産地のほとんどすべてがつくされている。元素組成によってこれら原石を分類し表 - 13 ~ 15 に示す。この原石群に原産地は不明の遺物で作った遺物群を加えると 202 個の原石群になる。ここでは北海道地域および一部の東北地域の産地について記述すると、白滝地域の原産地は、北海道紋別郡白滝村に位置し、鹿砦北方 2 km の採石場の赤石山の露頭、鹿砦東方約 2 km の幌加沢地点、また白土沢、八号沢などより転礫として黒曜石が採取できる。赤石山の産地の黒曜石は色に関係無く赤石山群 (旧白滝第一群) にまとまる。また、あじさいの滝の露頭からは赤石山と肉眼観察では区別できない原石が採取でき、あじさい群を作った (旧白滝第二群) 。また、八号沢の黒曜石原石と白土沢の転礫は梨肌の黒曜石で組成はあじさい滝群に似るが石肌で区別できる。幌加沢よりの転礫の中で 70 % は幌加沢群になりあじさい滝群と元素組成から両群を区別できず、残りの 30 % は赤石山群に一致する。置戸産原石は、北海道常呂郡置戸町の清水の沢林道より採取された原石の元素組成は所山置戸群にまとまり、また同町の秋田林道で採取される原石は置戸山群にまとまる。留辺蘂町のケショマップ川一帯で採取される原石はケショマップ第一および第二群に分類される。この原産地は、常呂川に通じる流域にあり、この常呂川流域で黒曜石の円礫が採取されるが現在まだ調査していない。十勝三股産原石は、北海道河東郡上士幌町の十勝三股の十三ノ沢の谷筋および沢の中より原石が採取され、この原石の元素組成は十勝三股群にまとまる。この十勝三股産原石は十三の沢から音更川さらに十勝川に流れた可能性があり、十勝川から採取される黒曜石円礫の組成は、十勝三股産の原石の組成と相互に近似している。また、上士幌町のサンケオルベ川より採取される黒曜石円礫の組成も十勝三股産原石の組成と相互に近似している。これら組成の近似した原石の原産地は区別できず、遺物石材の産地分析でたとえ、この遺物の原石産地が十勝三股群に同定されたとしても、これら十勝三股、音更川、十勝川、サンケオルベ川の複数の地点を考えなければならない。しかし、この複数の産地をまとめて、十勝地域としても、古代の地域間の交流を考察する場合、問題はないと考えられる。また、清水町、新得町、鹿追町にかけて広がる美蔓台地から産出する黒曜石から 2 つの美蔓原石群が作られた。この原

表 - 13 各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値 (1)

原産地 原石群名	分析 個数	元 素 比												
		Ca / K	Ti / K	Mn / Zr	Fe / Zr	Rb / Zr	Sr / Zr	Y / Zr	Nb / Zr	Al / K	Si / K			
北海道	名寄第一	114	0.478 ± 0.011	0.121 ± 0.005	0.035 ± 0.007	2.011 ± 0.063	0.614 ± 0.032	0.574 ± 0.022	0.120 ± 0.017	0.024 ± 0.016	0.033 ± 0.002	0.451 ± 0.010		
	＃第二	35	0.309 ± 0.015	0.103 ± 0.005	0.021 ± 0.006	1.774 ± 0.055	0.696 ± 0.044	0.265 ± 0.011	0.301 ± 0.022	0.026 ± 0.020	0.028 ± 0.007	0.394 ± 0.010		
	白滝地区	赤石山	130	0.173 ± 0.014	0.061 ± 0.003	0.079 ± 0.013	2.714 ± 0.142	1.340 ± 0.059	0.283 ± 0.019	0.341 ± 0.030	0.073 ± 0.026	0.028 ± 0.002	0.374 ± 0.010	
		白土沢	27	0.138 ± 0.004	0.021 ± 0.002	0.102 ± 0.015	3.049 ± 0.181	1.855 ± 0.088	0.097 ± 0.016	0.492 ± 0.039	0.107 ± 0.019	0.027 ± 0.002	0.368 ± 0.006	
		八号沢	30	0.138 ± 0.010	0.022 ± 0.002	0.105 ± 0.017	3.123 ± 0.127	1.846 ± 0.065	0.105 ± 0.019	0.475 ± 0.045	0.076 ± 0.046	0.027 ± 0.008	0.359 ± 0.042	
		幌加沢	23	0.139 ± 0.009	0.023 ± 0.001	0.099 ± 0.015	2.975 ± 0.102	1.794 ± 0.077	0.104 ± 0.010	0.470 ± 0.037	0.103 ± 0.027	0.027 ± 0.002	0.369 ± 0.007	
		あじさい滝	29	0.142 ± 0.010	0.023 ± 0.001	0.101 ± 0.014	3.038 ± 0.125	1.787 ± 0.076	0.115 ± 0.015	0.457 ± 0.035	0.076 ± 0.044	0.027 ± 0.005	0.365 ± 0.011	
	近文台第一	30	0.819 ± 0.013	0.165 ± 0.006	0.081 ± 0.010	3.266 ± 0.117	0.604 ± 0.031	0.941 ± 0.030	0.165 ± 0.020	0.039 ± 0.016	0.039 ± 0.002	0.457 ± 0.008		
	＃第二	107	0.517 ± 0.011	0.099 ± 0.005	0.067 ± 0.090	2.773 ± 0.097	0.812 ± 0.037	0.818 ± 0.034	0.197 ± 0.024	0.041 ± 0.019	0.035 ± 0.002	0.442 ± 0.009		
	＃第三	17	0.514 ± 0.012	0.098 ± 0.005	0.066 ± 0.014	2.765 ± 0.125	0.814 ± 0.068	0.815 ± 0.042	0.199 ± 0.039	0.078 ± 0.008	0.034 ± 0.002	0.443 ± 0.011		
	秩父別第一	51	0.249 ± 0.017	0.122 ± 0.006	0.078 ± 0.011	1.614 ± 0.168	0.995 ± 0.037	0.458 ± 0.023	0.235 ± 0.024	0.023 ± 0.021	0.022 ± 0.004	0.343 ± 0.013		
	＃第二	25	0.506 ± 0.016	0.098 ± 0.005	0.070 ± 0.011	2.750 ± 0.099	0.805 ± 0.042	0.808 ± 0.032	0.197 ± 0.026	0.027 ± 0.016	0.027 ± 0.003	0.371 ± 0.010		
	滝川第一	31	0.253 ± 0.018	0.122 ± 0.006	0.077 ± 0.009	1.613 ± 0.090	1.017 ± 0.045	0.459 ± 0.025	0.233 ± 0.029	0.038 ± 0.018	0.025 ± 0.003	0.370 ± 0.023		
	＃第二	15	0.510 ± 0.015	0.098 ± 0.005	0.068 ± 0.009	2.740 ± 0.072	0.802 ± 0.019	0.812 ± 0.019	0.192 ± 0.026	0.032 ± 0.023	0.030 ± 0.004	0.393 ± 0.031		
	置戸・所山	65	0.326 ± 0.008	0.128 ± 0.005	0.045 ± 0.008	1.813 ± 0.062	0.824 ± 0.034	0.454 ± 0.020	0.179 ± 0.023	0.044 ± 0.020	0.030 ± 0.002	0.412 ± 0.010		
	置戸・置戸山	58	0.464 ± 0.016	0.138 ± 0.005	0.049 ± 0.008	1.726 ± 0.072	0.449 ± 0.024	0.407 ± 0.023	0.133 ± 0.019	0.026 ± 0.014	0.032 ± 0.003	0.456 ± 0.010		
	ケシヨマップ													
	＃第一	68	0.575 ± 0.056	0.110 ± 0.011	0.051 ± 0.011	2.555 ± 0.086	0.595 ± 0.058	0.636 ± 0.027	0.167 ± 0.027	0.037 ± 0.020	0.030 ± 0.003	0.397 ± 0.013		
	＃第二	65	0.676 ± 0.011	0.145 ± 0.005	0.056 ± 0.014	2.631 ± 0.126	0.606 ± 0.030	0.712 ± 0.032	0.170 ± 0.028	0.030 ± 0.013	0.030 ± 0.003	0.392 ± 0.010		
	十勝	十勝三股	60	0.256 ± 0.018	0.074 ± 0.005	0.068 ± 0.010	2.281 ± 0.087	1.097 ± 0.055	0.434 ± 0.023	0.334 ± 0.029	0.064 ± 0.025	0.029 ± 0.002	0.396 ± 0.013	
		美蔓第一	41	0.499 ± 0.020	0.124 ± 0.007	0.052 ± 0.010	2.635 ± 0.181	0.802 ± 0.061	0.707 ± 0.044	0.199 ± 0.029	0.039 ± 0.023	0.033 ± 0.002	0.442 ± 0.015	
		＃第二	28	0.593 ± 0.036	0.144 ± 0.012	0.056 ± 0.010	3.028 ± 0.251	0.762 ± 0.040	0.764 ± 0.051	0.197 ± 0.026	0.038 ± 0.022	0.034 ± 0.002	0.449 ± 0.009	
		赤井川第一	50	0.254 ± 0.029	0.070 ± 0.004	0.086 ± 0.010	2.213 ± 0.104	0.969 ± 0.060	0.428 ± 0.021	0.249 ± 0.024	0.058 ± 0.023	0.027 ± 0.002	0.371 ± 0.009	
		＃第二	30	0.258 ± 0.065	0.072 ± 0.002	0.080 ± 0.010	2.207 ± 0.083	0.970 ± 0.045	0.436 ± 0.026	0.245 ± 0.021	0.021 ± 0.029	0.025 ± 0.007	0.371 ± 0.007	
		豊泉第一	75	0.473 ± 0.019	0.148 ± 0.007	0.060 ± 0.015	1.764 ± 0.072	0.438 ± 0.027	0.607 ± 0.028	0.157 ± 0.020	0.025 ± 0.017	0.032 ± 0.002	0.469 ± 0.013	
		＃第二	40	0.377 ± 0.009	0.133 ± 0.006	0.055 ± 0.008	1.723 ± 0.066	0.516 ± 0.019	0.513 ± 0.018	0.177 ± 0.016	0.007 ± 0.015	0.030 ± 0.005	0.431 ± 0.010	
		奥尻島・幌内川	58	0.285 ± 0.026	0.087 ± 0.005	0.193 ± 0.032	1.834 ± 0.182	2.043 ± 0.224	1.475 ± 0.207	0.269 ± 0.068	0.085 ± 0.031	0.031 ± 0.004	0.347 ± 0.011	
		青森県	折腰内	35	0.190 ± 0.015	0.075 ± 0.003	0.040 ± 0.008	1.575 ± 0.066	1.241 ± 0.046	0.318 ± 0.014	0.141 ± 0.033	0.076 ± 0.021	0.024 ± 0.002	0.348 ± 0.010
			出来島	27	0.346 ± 0.022	0.132 ± 0.007	0.231 ± 0.019	2.268 ± 0.085	0.865 ± 0.044	1.106 ± 0.056	0.399 ± 0.038	0.179 ± 0.031	0.038 ± 0.003	0.499 ± 0.013
	深浦		六角沢	36	0.080 ± 0.008	0.097 ± 0.011	0.013 ± 0.002	0.697 ± 0.021	0.128 ± 0.008	0.002 ± 0.002	0.064 ± 0.007	0.035 ± 0.004	0.026 ± 0.002	0.379 ± 0.010
八森山			41	0.077 ± 0.005	0.098 ± 0.003	0.013 ± 0.002	0.701 ± 0.018	0.134 ± 0.005	0.002 ± 0.002	0.070 ± 0.005	0.034 ± 0.006	0.027 ± 0.005	0.384 ± 0.009	
青森市	戸門第一		28	0.250 ± 0.024	0.069 ± 0.003	0.068 ± 0.012	2.358 ± 0.257	1.168 ± 0.062	0.521 ± 0.063	0.277 ± 0.065	0.076 ± 0.025	0.026 ± 0.002	0.362 ± 0.015	
	＃第二		28	0.084 ± 0.006	0.104 ± 0.004	0.013 ± 0.002	0.691 ± 0.021	0.123 ± 0.006	0.002 ± 0.002	0.069 ± 0.010	0.033 ± 0.005	0.025 ± 0.002	0.369 ± 0.007	
	鶴ヶ坂		33	0.344 ± 0.017	0.132 ± 0.007	0.232 ± 0.023	2.261 ± 0.143	0.861 ± 0.052	1.081 ± 0.060	0.390 ± 0.039	0.186 ± 0.037	0.037 ± 0.002	0.496 ± 0.018	
	鷹森山		47	0.252 ± 0.017	0.068 ± 0.009	0.079 ± 0.033	2.548 ± 0.131	1.149 ± 0.069	0.568 ± 0.108	0.288 ± 0.037	0.049 ± 0.036	0.028 ± 0.005	0.383 ± 0.018	
	下湯川		36	9.673 ± 0.479	2.703 ± 0.149	3.267 ± 0.217	21.648 ± 1.500	0.090 ± 0.021	1.708 ± 0.102	0.155 ± 0.015	0.169 ± 0.031	0.053 ± 0.042	0.858 ± 0.088	
大釈迦	黒		67	0.253 ± 0.016	0.067 ± 0.008	0.077 ± 0.029	2.519 ± 0.148	1.147 ± 0.065	0.558 ± 0.087	0.286 ± 0.035	0.047 ± 0.040	0.028 ± 0.003	0.385 ± 0.018	
	石		41	8.905 ± 0.243	2.484 ± 0.055	0.161 ± 0.018	7.570 ± 0.336	0.068 ± 0.014	1.621 ± 0.063	0.244 ± 0.022	0.027 ± 0.014	0.124 ± 0.014	1.409 ± 0.044	
秋田県	金ヶ崎		43	0.294 ± 0.009	0.087 ± 0.004	0.220 ± 0.018	1.644 ± 0.081	1.493 ± 0.081	0.930 ± 0.043	0.287 ± 0.039	0.098 ± 0.040	0.029 ± 0.002	0.368 ± 0.008	
	脇本		45	0.295 ± 0.008	0.087 ± 0.004	0.219 ± 0.017	1.671 ± 0.077	1.503 ± 0.072	0.939 ± 0.054	0.286 ± 0.045	0.108 ± 0.034	0.028 ± 0.006	0.367 ± 0.009	
山形県	月山		44	0.285 ± 0.021	0.123 ± 0.007	0.182 ± 0.016	1.906 ± 0.096	0.966 ± 0.069	1.022 ± 0.071	0.276 ± 0.036	0.119 ± 0.033	0.033 ± 0.002	0.443 ± 0.014	
	寒河江		48	0.385 ± 0.008	0.116 ± 0.005	0.049 ± 0.017	1.806 ± 0.054	0.580 ± 0.025	0.441 ± 0.023	0.212 ± 0.020	0.056 ± 0.015	0.033 ± 0.003	0.460 ± 0.010	
岩手県	零石	25	0.636 ± 0.033	0.187 ± 0.012	0.052 ± 0.007	1.764 ± 0.061	0.305 ± 0.016	0.431 ± 0.021	0.209 ± 0.016	0.045 ± 0.014	0.041 ± 0.003	0.594 ± 0.014		
	折居	22	0.615 ± 0.055	0.180 ± 0.016	0.058 ± 0.007	1.751 ± 0.062	0.306 ± 0.033	0.421 ± 0.051	0.228 ± 0.079	0.045 ± 0.011	0.041 ± 0.005	0.594 ± 0.055		
	花泉	30	0.596 ± 0.046	0.177 ± 0.018	0.056 ± 0.008	1.742 ± 0.072	0.314 ± 0.019	0.420 ± 0.025	0.220 ± 0.016	0.044 ± 0.013	0.041 ± 0.003	0.586 ± 0.030		
宮城県	湯倉釜	21	2.174 ± 0.068	0.349 ± 0.017	0.057 ± 0.005	2.544 ± 0.149	0.116 ± 0.009	0.658 ± 0.024	0.138 ± 0.015	0.020 ± 0.013	0.073 ± 0.003	0.956 ± 0.040		
	塩釜	37	4.828 ± 0.395	1.630 ± 0.104	0.178 ± 0.017	11.362 ± 1.110	0.168 ± 0.018	1.298 ± 0.063	0.155 ± 0.016	0.037 ± 0.018	0.077 ± 0.002	0.720 ± 0.032		
栃木県	高原山	40	0.738 ± 0.067	0.200 ± 0.010	0.044 ± 0.007	2.016 ± 0.150	0.381 ± 0.025	0.502 ± 0.028	0.190 ± 0.017	0.023 ± 0.014	0.036 ± 0.002	0.516 ± 0.012		
東京都	神津島第一	56	0.381 ± 0.014	0.136 ± 0.005	0.102 ± 0.011	1.729 ± 0.079	0.471 ± 0.027	0.689 ± 0.037	0.247 ± 0.021	0.090 ± 0.026	0.036 ± 0.003	0.504 ± 0.012		
	＃第二	23	0.317 ± 0.016	0.120 ± 0.008	0.114 ± 0.014	1.833 ± 0.069	0.615 ± 0.039	0.656 ± 0.050	0.303 ± 0.034	0.107 ± 0.026	0.033 ± 0.002	0.471 ± 0.009		
	長根	40	0.318 ± 0.020	0.120 ± 0.005	0.118 ± 0.014	1.805 ± 0.096	0.614 ± 0.036	0.664 ± 0.045	0.291 ± 0.029	0.093 ± 0.039	0.034 ± 0.006	0.476 ± 0.012		
神奈川県	箱根・笹塚	30	6.765 ± 0.254	2.219 ± 0.057	0.228 ± 0.019	9.282 ± 0.192	0.048 ± 0.017	1.757 ± 0.061	0.252 ± 0.017	0.025 ± 0.019	0.140 ± 0.008	1.528 ± 0.046		
	＃・畑宿	41	2.056 ± 0.064	0.669 ± 0.019	0.076 ± 0.007	2.912 ± 0.104	0.062 ± 0.007	0.680 ± 0.029	0.202 ± 0.011	0.011 ± 0.010	0.080 ± 0.005	1.126 ± 0.031		
	鍛冶屋	31	1.663 ± 0.071	0.381 ± 0.019	0.056 ± 0.007	2.139 ± 0.097	0.073 ± 0.008	0.629 ± 0.025	0.154 ± 0.009	0.011 ± 0.009	0.067 ± 0.005	0.904 ± 0.020		
静岡県	上多賀	31	1.329 ± 0.078	0.294 ± 0.018	0.041 ± 0.006	1.697 ± 0.068	0.087 ± 0.009	0.551 ± 0.023	0.138 ± 0.011	0.010 ± 0.009	0.059 ± 0.004	0.856 ± 0.018		
	柏峠西	35	1.213 ± 0.164	0.314 ± 0.028	0.031 ± 0.004	1.699 ± 0.167	0.113 ± 0.007	0.391 ± 0.022	0.143 ± 0.007	0.009 ± 0.009	0.047 ± 0.004	0.663 ± 0.020		
	小豆峠	40	0.110 ± 0.008	0.052 ± 0.004	0.297 ± 0.038	3.211 ± 0.319	0.829 ± 0.089	0.154 ± 0.030	0.547 ± 0.054	0.087 ± 0.057	0.025 ± 0.014	0.429 ± 0.016		
富山県	魚津	12	0.278 ± 0.013	0.065 ± 0.004	0.064 ± 0.008	2.084 ± 0.095	0.906 ± 0.057	0.641 ± 0.046	0.194 ± 0.014	0.102 ± 0.021	0.027 ± 0.002	0.372 ± 0.009		
	高岡市	二上山第一	36	0.319 ± 0.017	0.113 ± 0.006	0.040 ± 0.008	1.720 ± 0.080	0.740 ± 0.052	0.665 ± 0.029	0.121 ± 0.026	0.047 ± 0.031	0.		

表 - 14 各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(2)

原産地		分析 個数	元 素 比										
原石群名			Ca / K	Ti / K	Mn / Zr	Fe / Zr	Rb / Zr	Sr / Zr	Y / Zr	Nb / Zr	Al / K	Si / K	
長野県	麦草峠	68	0.263 ± 0.020	0.138 ± 0.011	0.049 ± 0.008	1.403 ± 0.069	0.532 ± 0.048	0.764 ± 0.031	0.101 ± 0.018	0.056 ± 0.016	0.029 ± 0.002	0.401 ± 0.017	
	双子池	83	0.252 ± 0.027	0.129 ± 0.007	0.059 ± 0.010	1.630 ± 0.179	0.669 ± 0.052	0.802 ± 0.058	0.111 ± 0.024	0.037 ± 0.032	0.027 ± 0.007	0.401 ± 0.011	
	大窪沢	42	1.481 ± 0.117	0.466 ± 0.021	0.042 ± 0.006	2.005 ± 0.135	0.182 ± 0.011	0.841 ± 0.044	0.105 ± 0.010	0.009 ± 0.008	0.033 ± 0.005	0.459 ± 0.012	
	横川	34	3.047 ± 0.066	1.071 ± 0.026	0.115 ± 0.015	7.380 ± 0.366	0.158 ± 0.016	0.833 ± 0.040	0.186 ± 0.015	0.023 ± 0.012	0.045 ± 0.005	0.513 ± 0.021	
新潟県	佐渡第一	41	0.228 ± 0.013	0.078 ± 0.006	0.020 ± 0.005	1.492 ± 0.079	0.821 ± 0.047	0.288 ± 0.018	0.142 ± 0.018	0.049 ± 0.017	0.024 ± 0.004	0.338 ± 0.013	
	〃 第二	12	0.263 ± 0.032	0.097 ± 0.018	0.020 ± 0.006	1.501 ± 0.053	0.717 ± 0.106	0.326 ± 0.029	0.091 ± 0.022	0.046 ± 0.015	0.026 ± 0.002	0.338 ± 0.009	
	上石川	45	0.321 ± 0.007	0.070 ± 0.003	0.069 ± 0.011	2.051 ± 0.070	0.981 ± 0.042	0.773 ± 0.034	0.182 ± 0.023	0.038 ± 0.027	0.026 ± 0.007	0.359 ± 0.009	
	板山川	44	0.232 ± 0.011	0.068 ± 0.003	0.169 ± 0.017	2.178 ± 0.110	1.772 ± 0.098	0.772 ± 0.046	0.374 ± 0.047	0.154 ± 0.034	0.027 ± 0.002	0.359 ± 0.009	
	大白川	22	0.569 ± 0.012	0.142 ± 0.007	0.033 ± 0.005	1.608 ± 0.049	0.261 ± 0.012	0.332 ± 0.011	0.150 ± 0.015	0.033 ± 0.011	0.036 ± 0.003	0.491 ± 0.014	
	金津	46	0.331 ± 0.011	0.097 ± 0.037	0.030 ± 0.007	1.711 ± 0.066	0.618 ± 0.027	0.283 ± 0.012	0.181 ± 0.016	0.035 ± 0.018	0.027 ± 0.009	0.402 ± 0.012	
	羽根川	55	0.163 ± 0.019	0.053 ± 0.005	0.099 ± 0.011	1.354 ± 0.058	1.615 ± 0.063	0.084 ± 0.012	0.309 ± 0.036	0.100 ± 0.028	0.023 ± 0.007	0.340 ± 0.030	
石川県	比那	17	0.370 ± 0.014	0.087 ± 0.004	0.060 ± 0.009	2.699 ± 0.167	0.639 ± 0.028	0.534 ± 0.023	0.172 ± 0.028	0.052 ± 0.018	0.032 ± 0.002	0.396 ± 0.017	
福井県	安島	21	0.407 ± 0.007	0.123 ± 0.005	0.038 ± 0.008	1.628 ± 0.051	0.643 ± 0.041	0.675 ± 0.030	0.113 ± 0.020	0.061 ± 0.016	0.032 ± 0.002	0.450 ± 0.010	
	三里山	21	0.350 ± 0.018	0.123 ± 0.008	0.036 ± 0.006	1.561 ± 0.081	0.608 ± 0.031	0.798 ± 0.039	0.069 ± 0.020	0.062 ± 0.013	0.028 ± 0.002	0.381 ± 0.008	
兵庫県	香住第一群	30	0.216 ± 0.005	0.062 ± 0.002	0.045 ± 0.007	1.828 ± 0.056	0.883 ± 0.034	0.265 ± 0.012	0.097 ± 0.021	0.139 ± 0.018	0.024 ± 0.007	0.365 ± 0.008	
	〃 第二群	40	0.278 ± 0.012	0.100 ± 0.004	0.048 ± 0.009	1.764 ± 0.066	0.813 ± 0.045	0.397 ± 0.020	0.112 ± 0.026	0.138 ± 0.024	0.026 ± 0.012	0.446 ± 0.012	
鳥根県	加茂	20	0.166 ± 0.006	0.093 ± 0.008	0.014 ± 0.003	0.899 ± 0.031	0.278 ± 0.017	0.009 ± 0.003	0.061 ± 0.015	0.154 ± 0.018	0.020 ± 0.001	0.249 ± 0.016	
	津井	30	0.161 ± 0.008	0.132 ± 0.182	0.015 ± 0.003	0.940 ± 0.041	0.301 ± 0.014	0.015 ± 0.005	0.060 ± 0.013	0.144 ± 0.008	0.020 ± 0.002	0.244 ± 0.008	
	久見	31	0.145 ± 0.006	0.061 ± 0.003	0.021 ± 0.004	0.980 ± 0.023	0.386 ± 0.011	0.007 ± 0.003	0.109 ± 0.013	0.238 ± 0.011	0.023 ± 0.002	0.315 ± 0.006	
香川県	奥池第一群	51	1.202 ± 0.077	0.141 ± 0.010	0.032 ± 0.008	3.126 ± 0.170	0.686 ± 0.065	1.350 ± 0.082	0.026 ± 0.026	0.063 ± 0.019	0.041 ± 0.004	0.507 ± 0.011	
	〃 第二群	50	1.585 ± 0.126	0.194 ± 0.018	0.035 ± 0.007	2.860 ± 0.160	0.423 ± 0.058	1.044 ± 0.077	0.024 ± 0.019	0.042 ± 0.013	0.045 ± 0.004	0.507 ± 0.013	
	雄山	50	1.224 ± 0.081	0.144 ± 0.011	0.035 ± 0.012	3.138 ± 0.163	0.669 ± 0.078	1.335 ± 0.091	0.023 ± 0.027	0.061 ± 0.020	0.041 ± 0.003	0.500 ± 0.012	
	神谷・南山	51	1.186 ± 0.057	0.143 ± 0.008	0.038 ± 0.012	3.202 ± 0.163	0.707 ± 0.061	1.386 ± 0.088	0.029 ± 0.025	0.073 ± 0.021	0.041 ± 0.005	0.500 ± 0.014	
	大麻山南第一群	39	1.467 ± 0.120	0.203 ± 0.023	0.042 ± 0.009	3.125 ± 0.179	0.494 ± 0.080	1.010 ± 0.073	0.038 ± 0.023	0.047 ± 0.013	0.041 ± 0.003	0.487 ± 0.016	
	〃 第二群	34	1.018 ± 0.043	0.116 ± 0.012	0.043 ± 0.014	3.305 ± 0.159	0.895 ± 0.048	1.256 ± 0.050	0.029 ± 0.030	0.072 ± 0.018	0.038 ± 0.004	0.476 ± 0.012	
福岡県	八女昭和溜池	68	0.261 ± 0.010	0.211 ± 0.007	0.033 ± 0.003	0.798 ± 0.027	0.326 ± 0.013	0.283 ± 0.015	0.071 ± 0.009	0.034 ± 0.008	0.024 ± 0.006	0.279 ± 0.009	
佐賀県	中野第一群	39	0.267 ± 0.007	0.087 ± 0.003	0.027 ± 0.005	1.619 ± 0.083	0.628 ± 0.028	0.348 ± 0.015	0.103 ± 0.018	0.075 ± 0.018	0.023 ± 0.007	0.321 ± 0.011	
	〃 第二群	40	0.345 ± 0.007	0.104 ± 0.003	0.027 ± 0.005	1.535 ± 0.039	0.455 ± 0.017	0.397 ± 0.014	0.069 ± 0.016	0.059 ± 0.014	0.026 ± 0.008	0.328 ± 0.008	
	梅野	39	0.657 ± 0.014	0.202 ± 0.006	0.071 ± 0.013	4.239 ± 0.205	1.046 ± 0.065	1.269 ± 0.058	0.104 ± 0.032	0.380 ± 0.047	0.028 ± 0.005	0.345 ± 0.009	
	腰岳	44	0.211 ± 0.009	0.031 ± 0.005	0.075 ± 0.019	2.572 ± 0.212	1.600 ± 0.086	0.414 ± 0.042	0.311 ± 0.046	0.256 ± 0.043	0.025 ± 0.002	0.335 ± 0.008	
	椎葉川	59	0.414 ± 0.009	0.071 ± 0.003	0.101 ± 0.017	2.947 ± 0.142	1.253 ± 0.081	2.015 ± 0.099	0.147 ± 0.035	0.255 ± 0.040	0.030 ± 0.007	0.388 ± 0.009	
	松尾第一群	40	0.600 ± 0.067	0.153 ± 0.029	0.125 ± 0.018	4.692 ± 0.369	1.170 ± 0.114	2.023 ± 0.122	0.171 ± 0.032	0.252 ± 0.037	0.032 ± 0.003	0.376 ± 0.008	
	〃 第二群	40	0.953 ± 0.027	0.307 ± 0.010	0.126 ± 0.013	6.666 ± 0.342	0.856 ± 0.070	1.907 ± 0.119	0.147 ± 0.029	0.194 ± 0.028	0.033 ± 0.008	0.383 ± 0.010	
大分県	姫島地域	観音崎	41	0.216 ± 0.017	0.045 ± 0.003	0.428 ± 0.057	6.897 ± 0.806	1.829 ± 0.220	1.572 ± 0.180	0.325 ± 0.088	0.622 ± 0.099	0.033 ± 0.002	0.418 ± 0.011
		両瀬第一	33	0.221 ± 0.021	0.045 ± 0.003	0.450 ± 0.061	7.248 ± 0.668	1.917 ± 0.194	1.660 ± 0.173	0.355 ± 0.057	0.669 ± 0.105	0.035 ± 0.002	0.419 ± 0.009
		* 〃 第二	32	0.634 ± 0.047	0.140 ± 0.013	0.194 ± 0.026	4.399 ± 0.322	0.614 ± 0.077	3.162 ± 0.189	0.144 ± 0.031	0.240 ± 0.041	0.038 ± 0.002	0.451 ± 0.011
		* 〃 第三	10	1.013 ± 0.140	0.211 ± 0.026	0.126 ± 0.016	3.491 ± 0.231	0.305 ± 0.067	4.002 ± 0.174	0.109 ± 0.021	0.137 ± 0.028	0.040 ± 0.004	0.471 ± 0.017
		* オイ崎	29	1.074 ± 0.110	0.224 ± 0.024	0.122 ± 0.012	3.460 ± 0.301	0.286 ± 0.048	4.010 ± 0.197	0.101 ± 0.022	0.133 ± 0.025	0.040 ± 0.003	0.469 ± 0.014
		* 稲積	25	0.653 ± 0.066	0.141 ± 0.016	0.189 ± 0.030	4.398 ± 0.425	0.605 ± 0.096	3.234 ± 0.264	0.151 ± 0.033	0.245 ± 0.050	0.037 ± 0.002	0.448 ± 0.015
	塚瀬	30	0.313 ± 0.023	0.127 ± 0.009	0.065 ± 0.010	1.489 ± 0.124	0.600 ± 0.051	0.686 ± 0.082	0.175 ± 0.018	0.102 ± 0.020	0.028 ± 0.002	0.371 ± 0.009	
	荻台地	50	1.615 ± 0.042	0.670 ± 0.013	0.096 ± 0.008	5.509 ± 0.269	0.284 ± 0.031	1.526 ± 0.053	0.097 ± 0.016	0.032 ± 0.018	0.032 ± 0.005	0.310 ± 0.011	
	緒方下尾平	64	0.482 ± 0.036	0.286 ± 0.015	0.051 ± 0.008	1.361 ± 0.095	0.303 ± 0.019	0.712 ± 0.043	0.089 ± 0.018	0.055 ± 0.021	0.012 ± 0.010	0.288 ± 0.016	
	長崎県	志岐島	久喜ノ辻	37	0.172 ± 0.009	0.066 ± 0.002	0.030 ± 0.005	1.176 ± 0.043	0.385 ± 0.012	0.011 ± 0.004	0.135 ± 0.018	0.354 ± 0.014	0.023 ± 0.002
君ヶ浦			28	0.174 ± 0.007	0.065 ± 0.002	0.033 ± 0.006	1.174 ± 0.035	0.389 ± 0.012	0.013 ± 0.005	0.129 ± 0.014	0.356 ± 0.012	0.023 ± 0.003	0.275 ± 0.008
角川			28	0.146 ± 0.009	0.038 ± 0.002	0.059 ± 0.009	1.691 ± 0.100	1.726 ± 0.085	0.035 ± 0.008	0.344 ± 0.040	0.717 ± 0.047	0.023 ± 0.002	0.338 ± 0.010
貝畑			49	0.135 ± 0.010	0.037 ± 0.002	0.056 ± 0.009	1.746 ± 0.073	1.834 ± 0.064	0.022 ± 0.013	0.334 ± 0.046	0.714 ± 0.040	0.021 ± 0.009	0.339 ± 0.015
松浦第一		23	0.215 ± 0.018	0.032 ± 0.008	0.072 ± 0.016	2.554 ± 0.181	1.538 ± 0.176	0.429 ± 0.026	0.271 ± 0.064	0.254 ± 0.046	0.025 ± 0.002	0.340 ± 0.006	
〃 第二		17	0.183 ± 0.011	0.031 ± 0.005	0.071 ± 0.024	2.288 ± 0.319	1.523 ± 0.193	0.309 ± 0.083	0.244 ± 0.074	0.204 ± 0.049	0.024 ± 0.002	0.337 ± 0.010	
〃 第三		16	0.249 ± 0.023	0.062 ± 0.006	0.051 ± 0.016	1.936 ± 0.231	0.856 ± 0.112	0.405 ± 0.093	0.148 ± 0.052	0.139 ± 0.031	0.025 ± 0.002	0.333 ± 0.014	
〃 第四		22	0.284 ± 0.022	0.066 ± 0.008	0.045 ± 0.012	1.890 ± 0.157	0.774 ± 0.179	0.454 ± 0.036	0.120 ± 0.044	0.132 ± 0.036	0.026 ± 0.002	0.343 ± 0.010	
淀姫		44	0.334 ± 0.014	0.080 ± 0.004	0.044 ± 0.009	1.744 ± 0.069	0.533 ± 0.030	0.485 ± 0.039	0.094 ± 0.022	0.119 ± 0.017	0.027 ± 0.002	0.353 ± 0.011	
中町第一		25	0.243 ± 0.019	0.059 ± 0.007	0.057 ± 0.015	1.849 ± 0.104	0.811 ± 0.089	0.398 ± 0.028	0.135 ± 0.035	0.147 ± 0.023	0.026 ± 0.002	0.345 ± 0.009	
〃 第二		17	0.322 ± 0.034	0.081 ± 0.015	0.045 ± 0.011	1.788 ± 0.108	0.654 ± 0.085	0.485 ± 0.042	0.118 ± 0.025	0.099 ± 0.016	0.026 ± 0.002	0.338 ± 0.015	
古里第一		38	0.199 ± 0.011	0.030 ± 0.004	0.083 ± 0.018	2.649 ± 0.195	1.714 ± 0.195	0.421 ± 0.060	0.306 ± 0.055	0.265 ± 0.044	0.024 ± 0.002	0.333 ± 0.009	
〃 第二		19	0.413 ± 0.013	0.076 ± 0.005	0.094 ± 0.023	2.866 ± 0.173	1.204 ± 0.071	1.874 ± 0.106	0.144 ± 0.037	0.247 ± 0.033	0.028 ± 0.002	0.357 ± 0.008	
〃 第三		19	0.266 ± 0.035	0.065 ± 0.010	0.051 ± 0.009	1.847 ± 0.146	0.788 ± 0.108	0.419 ± 0.048	0.127 ± 0.040	0.137 ± 0.040	0.025 ± 0.002	0.335 ± 0.010	
松岳		43	0.194 ± 0.009	0.054 ± 0.005	0.040 ± 0.008	1.686 ± 0.114	0.833 ± 0.058	0.251 ± 0.025	0.192 ± 0.032	0.124 ± 0.039	0.018 ± 0.011	0.331 ± 0.017	
大崎		74	0.176 ± 0.012	0.053 ± 0.002	0.041 ± 0.012	1.710 ± 0.081	0.912 ± 0.036	0.181 ± 0.022	0.202 ± 0.029	0.133 ± 0.024	0.023 ± 0.002	0.319 ± 0.010	
熊本県		小国	30	0.317 ± 0.									

表 - 15 各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(3)

原産地		分析 個数	元 素 比									
原石群名	個数		Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
宮崎県	〃 第二群	33	0.261 ± 0.015	0.094 ± 0.006	0.066 ± 0.010	1.743 ± 0.095	1.242 ± 0.060	0.753 ± 0.039	0.205 ± 0.029	0.047 ± 0.036	0.022 ± 0.002	0.323 ± 0.019
	霧 島	36	35.158 ± 1.118	5.001 ± 0.175	0.041 ± 0.002	0.038 ± 0.002	0.009 ± 0.004	0.155 ± 0.005	0.035 ± 0.019	0.000 ± 0.000	0.035 ± 0.019	0.446 ± 0.022
鹿児島県	間根ヶ平											
	〃 第一群	45	0.186 ± 0.010	0.083 ± 0.005	0.047 ± 0.008	1.611 ± 0.079	0.948 ± 0.055	0.340 ± 0.032	0.281 ± 0.031	0.041 ± 0.032	0.022 ± 0.008	0.358 ± 0.014
	〃 第二群	45	0.247 ± 0.018	0.106 ± 0.006	0.047 ± 0.008	1.488 ± 0.074	0.768 ± 0.034	0.428 ± 0.049	0.235 ± 0.020	0.039 ± 0.027	0.024 ± 0.008	0.378 ± 0.013
	〃 第三群	42	0.584 ± 0.012	0.176 ± 0.005	0.037 ± 0.007	1.484 ± 0.097	0.449 ± 0.031	0.675 ± 0.049	0.143 ± 0.023	0.036 ± 0.022	0.023 ± 0.014	0.390 ± 0.019
	日 東	42	0.262 ± 0.018	0.143 ± 0.006	0.022 ± 0.004	1.178 ± 0.040	0.712 ± 0.028	0.408 ± 0.025	0.100 ± 0.018	0.029 ± 0.013	0.019 ± 0.001	0.275 ± 0.006
	五 上 木	37	0.266 ± 0.021	0.140 ± 0.006	0.019 ± 0.003	1.170 ± 0.064	0.705 ± 0.027	0.405 ± 0.021	0.108 ± 0.015	0.028 ± 0.013	0.019 ± 0.001	0.275 ± 0.006
	上 牛 鼻	41	1.629 ± 0.098	0.804 ± 0.037	0.053 ± 0.006	3.342 ± 0.215	0.188 ± 0.013	1.105 ± 0.056	0.087 ± 0.009	0.022 ± 0.009	0.036 ± 0.002	0.391 ± 0.011
	平 木 場	34	1.944 ± 0.054	0.912 ± 0.028	0.062 ± 0.005	3.975 ± 0.182	0.184 ± 0.011	1.266 ± 0.049	0.093 ± 0.010	0.021 ± 0.010	0.038 ± 0.003	0.408 ± 0.010
	竜 ケ 水	48	0.533 ± 0.029	0.167 ± 0.006	0.061 ± 0.013	1.494 ± 0.093	0.611 ± 0.039	0.688 ± 0.052	0.127 ± 0.023	0.069 ± 0.022	0.033 ± 0.003	0.494 ± 0.011
	長	30	0.553 ± 0.032	0.137 ± 0.006	0.065 ± 0.010	1.815 ± 0.062	0.644 ± 0.028	0.553 ± 0.029	0.146 ± 0.021	0.066 ± 0.020	0.037 ± 0.003	0.524 ± 0.012
	台 湾	台東山脈	37	0.510 ± 0.010	0.198 ± 0.007	0.038 ± 0.007	1.862 ± 0.079	0.530 ± 0.019	0.519 ± 0.017	0.123 ± 0.012	0.029 ± 0.017	0.029 ± 0.007
ロシア	カムチャッカ	72	0.473 ± 0.012	0.166 ± 0.007	0.046 ± 0.007	1.572 ± 0.059	0.199 ± 0.011	0.497 ± 0.016	0.126 ± 0.011	0.009 ± 0.014	0.039 ± 0.010	0.460 ± 0.030
北海道	H S 1 遺物群	67	0.241 ± 0.021	0.107 ± 0.005	0.018 ± 0.006	1.296 ± 0.077	0.430 ± 0.016	0.153 ± 0.009	0.140 ± 0.015	0.008 ± 0.013	0.018 ± 0.012	0.325 ± 0.042
	H S 2 遺物群	60	0.453 ± 0.011	0.135 ± 0.008	0.041 ± 0.008	1.765 ± 0.075	0.448 ± 0.021	0.419 ± 0.019	0.130 ± 0.015	0.015 ± 0.019	0.034 ± 0.010	0.500 ± 0.015
	F R 1 遺物群	51	0.643 ± 0.012	0.124 ± 0.008	0.052 ± 0.007	2.547 ± 0.143	0.180 ± 0.032	0.689 ± 0.032	0.156 ± 0.015	0.004 ± 0.009	0.029 ± 0.011	0.407 ± 0.047
	F R 2 遺物群	59	0.535 ± 0.061	0.106 ± 0.012	0.053 ± 0.009	2.545 ± 0.138	0.557 ± 0.051	0.685 ± 0.029	0.165 ± 0.021	0.016 ± 0.022	0.027 ± 0.009	0.373 ± 0.043
	F R 3 遺物群	37	0.380 ± 0.037	0.084 ± 0.007	0.052 ± 0.009	2.548 ± 0.145	0.586 ± 0.056	0.681 ± 0.033	0.164 ± 0.021	0.017 ± 0.023	0.023 ± 0.006	0.292 ± 0.037
	F R 4 遺物群	44	0.261 ± 0.043	0.074 ± 0.010	0.051 ± 0.008	2.500 ± 0.117	0.639 ± 0.057	0.679 ± 0.032	0.155 ± 0.021	0.009 ± 0.021	0.018 ± 0.008	0.258 ± 0.036
	F H 1 遺物群	32	0.898 ± 0.032	0.221 ± 0.007	0.054 ± 0.006	2.540 ± 0.101	0.426 ± 0.018	0.802 ± 0.023	0.109 ± 0.013	0.017 ± 0.017	0.037 ± 0.003	0.447 ± 0.011
	K T 1 遺物群	56	1.103 ± 0.050	0.146 ± 0.007	0.081 ± 0.008	2.942 ± 0.133	0.314 ± 0.053	0.775 ± 0.082	0.133 ± 0.016	0.019 ± 0.021	0.043 ± 0.007	0.516 ± 0.015
	K T 2 遺物群	38	0.959 ± 0.027	0.154 ± 0.005	0.085 ± 0.010	2.882 ± 0.092	0.542 ± 0.028	1.111 ± 0.040	0.107 ± 0.015	0.012 ± 0.016	0.042 ± 0.008	0.519 ± 0.010
	K S 1 遺物群	32	0.275 ± 0.007	0.107 ± 0.005	0.047 ± 0.010	1.751 ± 0.051	0.836 ± 0.038	0.468 ± 0.021	0.180 ± 0.019	0.023 ± 0.028	0.025 ± 0.007	0.345 ± 0.010
	K S 2 遺物群	62	0.244 ± 0.011	0.070 ± 0.004	0.056 ± 0.013	1.749 ± 0.168	1.080 ± 0.108	0.424 ± 0.036	0.327 ± 0.042	0.037 ± 0.031	0.023 ± 0.011	0.379 ± 0.011
	K S 3 遺物群	48	0.164 ± 0.008	0.041 ± 0.002	0.080 ± 0.013	2.565 ± 0.126	1.460 ± 0.057	0.162 ± 0.019	0.389 ± 0.042	0.069 ± 0.028	0.024 ± 0.002	0.337 ± 0.015
	K 1 9 遺物群	48	0.185 ± 0.007	0.049 ± 0.003	0.081 ± 0.013	2.162 ± 0.122	1.031 ± 0.041	0.435 ± 0.025	0.263 ± 0.028	0.050 ± 0.019	0.023 ± 0.002	0.260 ± 0.009
青森県	H Y 遺物群	31	0.238 ± 0.011	0.131 ± 0.006	0.048 ± 0.008	1.636 ± 0.066	0.418 ± 0.028	1.441 ± 0.015	0.482 ± 0.024	0.029 ± 0.028	0.020 ± 0.015	0.481 ± 0.068
	S N 1 遺物群	33	0.287 ± 0.006	0.087 ± 0.004	0.033 ± 0.005	1.597 ± 0.037	0.244 ± 0.011	0.258 ± 0.011	0.281 ± 0.012	0.009 ± 0.012	0.021 ± 0.006	0.329 ± 0.006
	S N 2 遺物群	29	0.209 ± 0.006	0.116 ± 0.006	0.076 ± 0.008	1.571 ± 0.082	0.716 ± 0.035	0.292 ± 0.017	0.264 ± 0.029	0.028 ± 0.030	0.023 ± 0.009	0.383 ± 0.015
秋田県	KN 遺物群	107	0.351 ± 0.011	0.121 ± 0.006	0.053 ± 0.007	1.581 ± 0.071	0.347 ± 0.020	0.219 ± 0.014	0.216 ± 0.015	0.054 ± 0.017	0.029 ± 0.011	0.475 ± 0.040
	T B 遺物群	60	0.252 ± 0.014	0.113 ± 0.007	0.124 ± 0.015	1.805 ± 0.088	0.875 ± 0.056	0.663 ± 0.038	0.272 ± 0.029	0.083 ± 0.037	0.026 ± 0.008	0.378 ± 0.021
岩手県	A I 1 遺物群	41	1.519 ± 0.026	0.277 ± 0.010	0.078 ± 0.006	2.849 ± 0.073	0.167 ± 0.010	0.526 ± 0.017	0.251 ± 0.013	0.009 ± 0.012	0.058 ± 0.017	0.929 ± 0.024
	A I 2 遺物群	61	3.141 ± 0.074	0.552 ± 0.021	0.080 ± 0.008	2.752 ± 0.062	0.094 ± 0.009	0.716 ± 0.019	0.242 ± 0.011	0.008 ± 0.014	0.043 ± 0.029	1.353 ± 0.049
	A I 3 遺物群	61	0.950 ± 0.013	0.215 ± 0.004	0.117 ± 0.009	4.306 ± 0.100	0.114 ± 0.008	0.909 ± 0.028	0.248 ± 0.012	0.014 ± 0.016	0.028 ± 0.006	0.360 ± 0.009
	A I 4 遺物群	122	1.850 ± 0.059	0.474 ± 0.025	0.067 ± 0.007	2.055 ± 0.077	0.083 ± 0.006	0.531 ± 0.030	0.177 ± 0.010	0.011 ± 0.013	0.064 ± 0.025	1.061 ± 0.105
	A I 5 遺物群	122	3.167 ± 0.092	0.696 ± 0.027	0.101 ± 0.009	3.787 ± 0.108	0.114 ± 0.010	0.892 ± 0.026	0.241 ± 0.012	0.006 ± 0.012	0.091 ± 0.020	1.234 ± 0.052
	F S 遺物群	45	0.272 ± 0.090	0.097 ± 0.029	0.053 ± 0.007	1.791 ± 0.083	0.327 ± 0.019	0.453 ± 0.024	0.207 ± 0.018	0.029 ± 0.027	0.017 ± 0.011	0.339 ± 0.011
	S D 遺物群	48	2.900 ± 0.050	0.741 ± 0.016	0.118 ± 0.010	3.922 ± 0.077	0.117 ± 0.012	0.906 ± 0.026	0.246 ± 0.013	0.008 ± 0.017	0.083 ± 0.013	1.195 ± 0.029
新潟県	A C 1 遺物群	63	0.479 ± 0.014	0.192 ± 0.006	0.054 ± 0.008	1.561 ± 0.075	0.400 ± 0.017	0.440 ± 0.019	0.169 ± 0.019	0.061 ± 0.015	0.033 ± 0.005	0.427 ± 0.016
	A C 2 遺物群	48	0.251 ± 0.007	0.081 ± 0.003	0.112 ± 0.013	2.081 ± 0.076	0.904 ± 0.035	0.406 ± 0.020	0.409 ± 0.024	0.108 ± 0.023	0.036 ± 0.003	0.419 ± 0.007
	A C 3 遺物群	36	0.657 ± 0.016	0.144 ± 0.005	0.083 ± 0.010	1.891 ± 0.051	0.202 ± 0.010	0.381 ± 0.017	0.286 ± 0.018	0.041 ± 0.012	0.049 ± 0.005	0.616 ± 0.013
	I N 1 遺物群	48	0.326 ± 0.012	0.078 ± 0.004	0.066 ± 0.010	2.056 ± 0.177	0.901 ± 0.048	0.751 ± 0.045	0.172 ± 0.030	0.068 ± 0.016	0.028 ± 0.030	0.338 ± 0.007
	I N 2 遺物群	48	0.745 ± 0.013	0.110 ± 0.004	0.140 ± 0.015	3.176 ± 0.212	0.728 ± 0.039	1.582 ± 0.080	0.104 ± 0.030	0.038 ± 0.013	0.036 ± 0.003	0.396 ± 0.010
長野県	N K 遺物群	57	0.566 ± 0.019	0.163 ± 0.007	0.086 ± 0.011	1.822 ± 0.084	0.467 ± 0.031	1.691 ± 0.064	0.102 ± 0.021	0.041 ± 0.028	0.038 ± 0.003	0.500 ± 0.014
山口県	Y M 遺物群	56	0.381 ± 0.016	0.138 ± 0.005	0.038 ± 0.012	1.611 ± 0.102	0.721 ± 0.039	0.497 ± 0.026	0.128 ± 0.022	0.047 ± 0.016	0.023 ± 0.003	0.331 ± 0.013
	N M 遺物群	40	0.330 ± 0.010	0.103 ± 0.003	0.042 ± 0.012	1.751 ± 0.083	1.048 ± 0.057	0.518 ± 0.034	0.196 ± 0.037	0.058 ± 0.018	0.022 ± 0.003	0.326 ± 0.011
	M K-1 遺物群	48	0.087 ± 0.008	0.059 ± 0.002	0.010 ± 0.003	0.677 ± 0.023	0.370 ± 0.097	0.006 ± 0.002	0.125 ± 0.012	0.292 ± 0.010	0.022 ± 0.002	0.337 ± 0.010
	M K-2 遺物群	48	0.258 ± 0.010	0.026 ± 0.002	0.055 ± 0.013	1.745 ± 0.121	1.149 ± 0.092	0.297 ± 0.029	0.202 ± 0.037	0.177 ± 0.022	0.021 ± 0.002	0.268 ± 0.007
宮崎県	H B 1 遺物群	48	0.197 ± 0.035	0.754 ± 0.055	0.098 ± 0.042	7.099 ± 0.844	0.434 ± 0.062	0.975 ± 0.130	0.368 ± 0.079	0.126 ± 0.079	0.093 ± 0.022	6.312 ± 0.525
	H B 2 遺物群	48	0.414 ± 0.100	1.557 ± 0.674	0.110 ± 0.044	9.900 ± 1.595	0.176 ± 0.088	1.209 ± 0.459	0.327 ± 0.052	0.178 ± 0.069	0.178 ± 0.044	9.938 ± 1.532
鹿児島県	K I 1 遺物群	45	0.383 ± 0.012	0.101 ± 0.005	0.061 ± 0.024	1.913 ± 0.158	0.985 ± 0.057	0.527 ± 0.038	0.197 ± 0.030	0.079 ± 0.028	0.028 ± 0.002	0.409 ± 0.009
	K I 2 遺物群	46	0.402 ± 0.015	0.146 ± 0.008	0.060 ± 0.017	1.529 ± 0.148	0.729 ± 0.052	0.565 ± 0.038	0.137 ± 0.024	0.083 ± 0.026	0.029 ± 0.003	0.443 ± 0.022
	U T 1 遺物群	46	0.297 ± 0.013	0.107 ± 0.005	0.053 ± 0.010	1.638 ± 0.104	1.012 ± 0.056	0.736 ± 0.039	0.168 ± 0.027	0.034 ± 0.028	0.024 ± 0.011	0.390 ± 0.014
	S G 遺物群	48	1.668 ± 0.034	0.778 ± 0.038	0.082 ± 0.010	4.106 ± 0.222	0.202 ± 0.014	0.699 ± 0.025	0.133 ± 0.013	0.015 ± 0.019	0.027 ± 0.021	0.553 ± 0.033
	O K 遺物群	32	1.371 ± 0.074	0.687 ± 0.025	0.061 ± 0.008	3.109 ± 0.161	0.202 ± 0.012	0.579 ± 0.027	0.122 ± 0.014	0.009 ± 0.014	0.027 ± 0.018	0.518 ± 0.021
	K K 1 遺物群	48	0.347 ± 0.010	0.080 ± 0.003	0.081 ± 0.012	3.085 ± 0.155	0.887 ± 0.036	1.487 ± 0.065	0.119 ± 0.036	0.184 ± 0.023	0.027 ± 0.002	0.265 ± 0.009
K K 2 遺物群	46	0.521 ± 0.012	0.122 ± 0.004	0.076 ± 0.013	3.125 ± 0.222	0.877 ± 0.048	1.500 ± 0.074	0.109 ± 0.034	0.187 ± 0.023	0.035 ± 0.004	0.359 ± 0.01	

石は産地近傍の遺跡で使用されている。名寄市の智南地域、智恵文川および忠烈布貯水池から上名寄にかけて黒曜石の円礫が採集される。これらを組成で分類すると88%は名寄第一群に、また12%は名寄第二群にそれぞれなる。旭川市の近文台、嵐山遺跡付近および雨文台北部などから採集される黒曜石の円礫は、20%が近文台第一群、69%が近文台第二群、11%が近文台第三群それぞれ分類された。また、滝川市江別乙で採集される親指大の黒曜石の礫は、組成で分類すると約79%が滝川群にまとめられ、21%が近文台第二、三群に組成が一致する。滝川群に一致する組成の原石は、北竜市恵袋別川培本社からも採取される。秩父別町の雨竜川に開析された平野を見下す丘陵中腹の緩斜面から小円礫の黒曜石原石が採取される。産出状況と礫状は滝川産黒曜石と同じで、秩父別第一群は滝川第一群に組成が一致し、第二群も滝川第二群に一致しさらに近文台第二群にも一致する。赤井川産原石は、北海道余市郡赤井川村の土木沢上流域およびこの付近の山腹より採取できる。ここの原石には、少球顆の列が何層にも重なり石器の原材として良質とはいえない原石で赤井川第一群を、また、球顆の非常に少ない握り拳半分大の良質な原石などで赤井川第二群を作った。これら第一、二群の元素組成は非常に似ていて、遺物を分析したときしばしば、赤井川両群に同定される。豊泉産原石は豊浦町から産出し、組成によって豊泉第一、二群の2群に区別され、豊泉第二群の原石は斑晶が少なく良質な黒曜石である。豊泉産原石の使用圏は道南地方に広がり、一部は青森県に伝播している。また、青森県教育庁の斉藤岳氏提供の奥尻島幌内川産黒曜石の原石群が確立されている。出来島群は青森県西津軽郡木造町七里長浜の海岸部より採取された円礫の原石で作られた群で、この出来島群と相互に似た組成の原石は、岩木山の西側を流れ鱒ヶ沢地区に流入する中村川の上流で1点採取され、また、青森市の鶴ヶ坂および西津軽郡森田村鶴ばみ地区より採取されている。青森県西津軽郡深浦町の海岸と同町の六角沢およびこの沢筋に位置する露頭より採取された原石で六角沢群をまた、八森山産出の原石で八森山群をそれぞれ作った。深浦の両群と相互に似た群は青森市戸門地区より産出する黒曜石で作られた戸門第二群である。戸門第一群、成田群、浪岡町泉民の森地区より産出の大釈迦群（旧浪岡群）は赤井川産原石の第一、二群と弁別は可能であるが原石の組成は比較的似ている。戸門、大釈迦産黒曜石の産出量は非常に少なく、希に石鏃が作れる大きさがみられる程度であるが、鷹森群は鷹森山麓の成田地区産出の黒曜石で中には5cm大のものもみられる。また、考古学者の話題になる下湯川産黒曜石についても原石群を作った。産地分析は、日本、近隣国を含めた産地の合計202個の原石群と比較し、必要条件と十分条件を求めて遺物の原石産地を同定する。

(3) 結果と考察

遺跡から出土した石器、石片は風化しているが、黒曜石製のものは風化に対して安定で、表面に薄い水和層が形成されているにすぎないため、表面の泥を水洗するだけで完全な非破壊分析が可能であると考えられる。産地分析で水和層の影響は、軽い元素の分析ほど大きいと考えられるが、影響はほとんど見られない。Ca/K、Ti/Kの両軽元素比量を除いて産地分析を行なった場合、また除かずに産地分析を行った場合同定される原産地に差はない。他の元素比量についても風化の影響を完全に否定することができないので、得られた確率の数値にはやゝ不確実さを伴うが、遺物の石材産地の判定を誤るようなことはない。

今回分析した奥白滝1遺跡・上白滝5遺跡・北支湧別4遺跡の黒曜石製石器の分析結果を表 - 16に示した。石器の分析結果から石材産地を同定するためには数理統計の手法を用いて原石群との比較をする。説明を簡単にするためRb/Zrの一変量だけを考えると、表 - 16の試料番号63844番の遺物ではRb/Zrの値は0.794で、置戸・所山群の[平均値] ± [標準偏差]は、 0.824 ± 0.034 である。遺

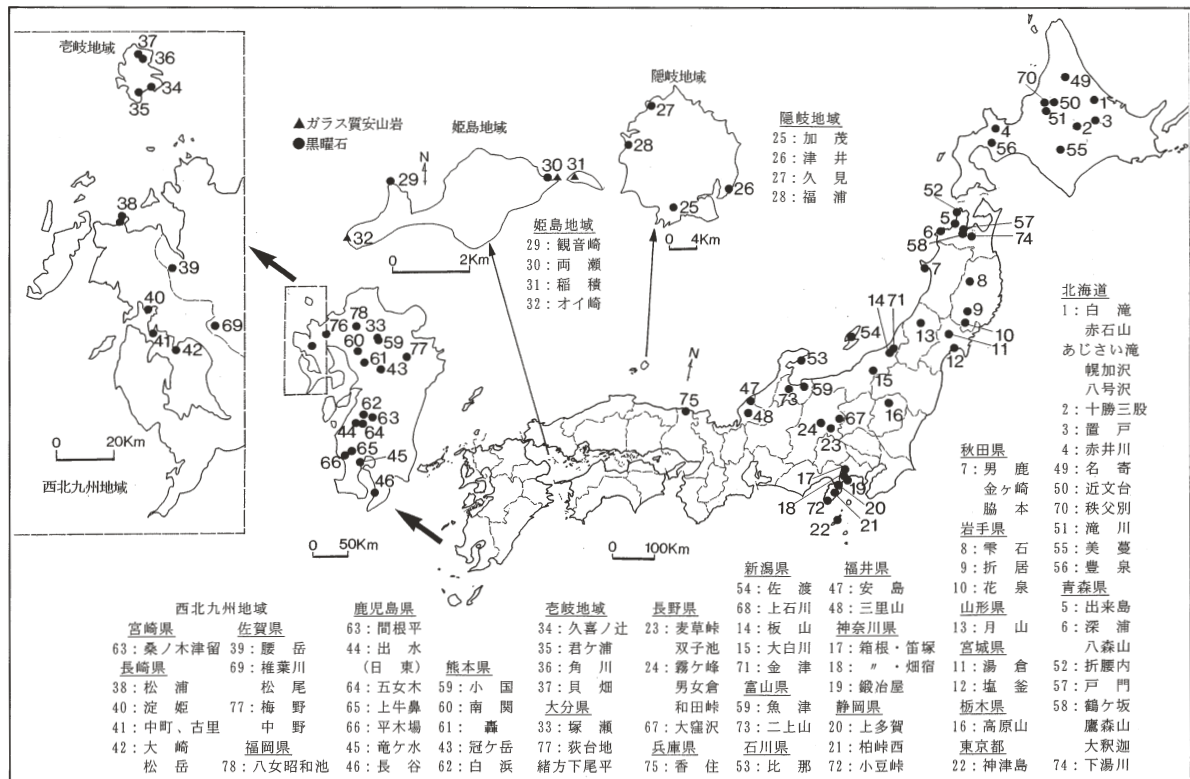


図 - 17 黒曜石原産地

表 - 16 奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果(1)

分析 番号	元 素 比									
	Ca/ K	Ti/ K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/ K	Si/ K
63844	0.327	0.129	0.035	1.699	0.794	0.435	0.152	0.034	0.032	0.411
63845	0.192	0.070	0.091	2.671	1.259	0.241	0.264	0.033	0.025	0.371
63846	0.167	0.064	0.076	2.397	1.259	0.254	0.295	0.090	0.027	0.363
63847	0.316	0.122	0.073	1.815	0.827	0.447	0.179	0.043	0.035	0.425
63848	0.169	0.057	0.068	2.699	1.290	0.315	0.421	0.072	0.028	0.387
63849	0.170	0.055	0.069	2.567	1.306	0.292	0.333	0.076	0.023	0.337
63862	0.448	0.141	0.040	1.723	0.448	0.407	0.127	0.033	0.035	0.488
63863	0.318	0.129	0.041	2.006	0.892	0.488	0.187	0.059	0.032	0.423
63864	0.319	0.123	0.036	1.852	0.792	0.429	0.189	0.022	0.027	0.406
63865	0.277	0.103	0.065	1.823	0.804	0.456	0.230	0.025	0.027	0.330
63866	0.308	0.134	0.048	1.830	0.818	0.464	0.234	0.053	0.030	0.405
63867	0.168	0.065	0.062	2.802	1.312	0.320	0.287	0.092	0.030	0.377
63942	0.142	0.027	0.109	2.879	1.633	0.093	0.433	0.104	0.030	0.370
63943	0.153	0.025	0.111	2.990	1.878	0.122	0.466	0.085	0.028	0.352
63944	0.156	0.064	0.094	2.818	1.349	0.279	0.322	0.047	0.033	0.388
63945	0.168	0.063	0.061	2.834	1.295	0.279	0.319	0.079	0.031	0.378
63971	0.152	0.054	0.079	2.735	1.408	0.312	0.391	0.045	0.028	0.360
63972	0.180	0.060	0.045	2.739	1.341	0.278	0.335	0.065	0.024	0.364
63973	0.176	0.064	0.080	2.819	1.242	0.265	0.326	0.062	0.031	0.373
63974	0.165	0.059	0.074	2.493	1.216	0.247	0.239	0.035	0.030	0.373
79827	0.335	0.135	0.028	1.791	0.811	0.453	0.202	0.026	0.031	0.399
79828	0.187	0.063	0.064	2.799	1.396	0.271	0.311	0.136	0.036	0.350
79829	0.311	0.129	0.049	1.998	0.841	0.435	0.193	0.052	0.033	0.407
79830	0.180	0.072	0.066	2.509	1.277	0.285	0.345	0.061	0.037	0.337
79831	0.172	0.065	0.061	2.785	1.350	0.279	0.315	0.069	0.031	0.353
79832	0.269	0.077	0.052	2.193	1.011	0.441	0.305	0.042	0.039	0.381

表 17 奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果(2)

分析 番号	元 素 比									
	Ca/ K	Ti/ K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/ K	Si/ K
79833	0.184	0.062	0.092	2.917	1.373	0.289	0.357	0.020	0.034	0.348
79834	0.175	0.065	0.048	2.755	1.291	0.271	0.341	0.095	0.030	0.352
79835	0.169	0.061	0.085	2.713	1.243	0.297	0.309	0.045	0.031	0.365
79836	0.191	0.062	0.079	2.496	1.266	0.280	0.361	0.072	0.029	0.332
79837	0.173	0.060	0.098	2.437	1.297	0.269	0.277	0.057	0.030	0.351
79838	0.185	0.059	0.083	2.749	1.353	0.284	0.315	0.156	0.035	0.351
79839	0.188	0.065	0.071	2.547	1.317	0.240	0.308	0.118	0.027	0.333
79840	0.194	0.062	0.076	2.912	1.371	0.257	0.363	0.054	0.028	0.351
79841	0.196	0.060	0.115	2.692	1.313	0.285	0.346	0.055	0.027	0.352
79842	0.190	0.051	0.073	2.913	1.383	0.302	0.341	0.072	0.031	0.362
79843	0.180	0.061	0.073	2.551	1.276	0.297	0.363	0.064	0.023	0.306
79844	0.179	0.067	0.063	2.600	1.272	0.313	0.378	0.058	0.028	0.349
79845	0.191	0.060	0.075	2.575	1.312	0.271	0.309	0.058	0.029	0.349
79846	0.173	0.060	0.071	2.580	1.309	0.276	0.326	0.052	0.029	0.345
79847	0.184	0.064	0.090	2.794	1.359	0.293	0.333	0.057	0.031	0.361
79848	0.177	0.068	0.075	2.345	1.370	0.308	0.314	0.079	0.030	0.369
79849	0.190	0.057	0.099	2.763	1.382	0.310	0.331	0.035	0.031	0.347
79850	0.188	0.061	0.120	3.038	1.381	0.315	0.345	0.103	0.033	0.359
79851	0.180	0.069	0.106	2.395	1.346	0.287	0.372	0.076	0.033	0.341
79852	0.169	0.059	0.066	2.528	1.326	0.292	0.363	0.043	0.029	0.366
79853	0.196	0.062	0.089	2.777	1.333	0.303	0.376	0.035	0.035	0.335
79854	0.197	0.065	0.103	2.975	1.429	0.281	0.365	0.087	0.032	0.367
79855	0.198	0.056	0.082	2.858	1.327	0.271	0.421	0.075	0.029	0.359
79856	0.171	0.062	0.069	2.279	1.109	0.269	0.326	0.086	0.026	0.342
79857	0.179	0.058	0.075	2.699	1.364	0.292	0.340	0.065	0.035	0.354
79858	0.185	0.059	0.060	2.681	1.243	0.301	0.374	0.028	0.030	0.348
79859	0.200	0.058	0.080	2.632	1.359	0.301	0.278	0.074	0.027	0.342
79860	0.191	0.064	0.068	2.160	1.208	0.257	0.272	0.023	0.026	0.338
79861	0.181	0.069	0.090	2.496	1.367	0.295	0.370	0.062	0.025	0.351
79862	0.178	0.067	0.050	2.515	1.282	0.253	0.321	0.056	0.026	0.344
79863	0.191	0.065	0.046	2.702	1.298	0.259	0.309	0.085	0.032	0.336
79864	0.193	0.066	0.094	2.562	1.277	0.276	0.368	0.042	0.030	0.333
79865	0.189	0.069	0.093	2.760	1.400	0.304	0.353	0.022	0.034	0.343
79866	0.339	0.124	0.034	1.736	0.798	0.427	0.154	0.037	0.031	0.378
79867	0.646	0.130	0.044	2.413	0.479	0.627	0.119	0.026	0.033	0.424
79868	0.151	0.026	0.095	2.891	1.807	0.154	0.532	0.090	0.032	0.345
79869	0.318	0.131	0.038	1.696	0.800	0.440	0.201	0.025	0.031	0.391
79870	0.330	0.120	0.060	1.894	0.873	0.447	0.198	0.017	0.033	0.400
79871	0.206	0.057	0.103	2.709	1.355	0.325	0.345	0.072	0.026	0.338
79872	0.194	0.059	0.065	2.535	1.289	0.273	0.318	0.027	0.028	0.351
79873	0.184	0.065	0.064	2.546	1.196	0.280	0.340	0.028	0.024	0.359
79874	0.161	0.057	0.091	2.701	1.263	0.311	0.352	0.063	0.027	0.332
79875	0.182	0.064	0.080	2.776	1.334	0.344	0.362	0.073	0.030	0.348
79876	0.183	0.060	0.104	3.011	1.367	0.325	0.373	0.101	0.032	0.336
79877	0.181	0.061	0.069	2.897	1.301	0.293	0.346	0.065	0.031	0.361
79878	0.182	0.064	0.058	2.711	1.391	0.287	0.373	0.094	0.026	0.331
79879	0.177	0.066	0.064	2.510	1.237	0.260	0.303	0.030	0.030	0.345
79880	0.664	0.144	0.056	2.758	0.616	0.730	0.184	0.027	0.035	0.406
79881	0.155	0.056	0.093	2.675	1.369	0.306	0.347	0.040	0.024	0.307
79882	0.174	0.060	0.047	2.488	1.167	0.261	0.334	0.047	0.031	0.364
79883	0.188	0.067	0.082	2.910	1.410	0.310	0.358	0.026	0.033	0.345
79884	0.174	0.062	0.056	2.741	1.287	0.265	0.328	0.036	0.027	0.344
79885	0.192	0.070	0.056	2.781	1.262	0.273	0.361	0.090	0.031	0.363
79886	0.188	0.056	0.063	2.681	1.290	0.305	0.368	0.027	0.029	0.333
79887	0.164	0.027	0.111	2.959	1.758	0.098	0.440	0.070	0.034	0.351
79888	0.202	0.063	0.089	2.756	1.379	0.319	0.358	0.039	0.033	0.376
79889	0.146	0.024	0.099	2.916	1.759	0.105	0.476	0.094	0.035	0.353
79890	0.134	0.047	0.063	2.751	1.306	0.281	0.373	0.052	0.022	0.268

表 -18 奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果(3)

分析 番号	元 素 比									
	Ca/ K	Ti/ K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/ K	Si/ K
79891	0.158	0.026	0.104	3.006	1.859	0.124	0.487	0.049	0.034	0.354
79892	0.185	0.065	0.088	2.794	1.328	0.264	0.347	0.094	0.033	0.357
79893	0.186	0.059	0.074	2.520	1.225	0.313	0.334	0.058	0.024	0.341
79894	0.180	0.060	0.083	2.992	1.354	0.284	0.377	0.088	0.035	0.370
79895	0.162	0.026	0.096	2.889	1.735	0.111	0.456	0.093	0.027	0.333
79896	0.143	0.025	0.088	3.078	1.829	0.115	0.557	0.058	0.027	0.344
79897	0.325	0.127	0.054	1.749	0.778	0.434	0.209	0.038	0.028	0.407
79898	0.179	0.061	0.059	2.930	1.327	0.305	0.322	0.039	0.035	0.359
79899	0.320	0.115	0.039	1.775	0.809	0.404	0.167	0.037	0.032	0.395
79900	0.146	0.030	0.128	2.973	1.741	0.110	0.502	0.118	0.027	0.338
79901	0.281	0.109	0.047	1.883	0.846	0.482	0.205	0.035	0.035	0.357
79902	0.308	0.126	0.048	1.889	0.828	0.455	0.163	0.072	0.029	0.404
79930	0.328	0.123	0.040	1.864	0.845	0.449	0.186	0.029	0.040	0.393
79904	0.181	0.061	0.053	2.660	1.218	0.314	0.348	0.072	0.028	0.366
79905	0.171	0.064	0.068	2.762	1.306	0.265	0.334	0.037	0.026	0.344
79906	0.269	0.068	0.093	2.244	0.993	0.417	0.279	0.028	0.029	0.375
79907	0.182	0.065	0.106	2.852	1.416	0.301	0.370	0.054	0.028	0.348
79908	0.112	0.048	0.060	2.322	1.226	0.254	0.317	0.084	0.025	0.283
79909	0.132	0.030	0.121	3.065	1.803	0.118	0.404	0.094	0.029	0.358
79910	0.634	0.113	0.035	2.479	0.550	0.641	0.177	0.020	0.034	0.418
79911	0.565	0.107	0.039	2.331	0.607	0.635	0.198	0.030	0.041	0.403
79912	0.176	0.059	0.043	2.231	1.135	0.263	0.310	0.087	0.029	0.337
79913	0.174	0.062	0.049	2.681	1.429	0.306	0.361	0.062	0.029	0.330
79914	0.167	0.061	0.064	2.262	1.257	0.266	0.334	0.026	0.028	0.339
79915	0.150	0.024	0.067	2.694	1.842	0.135	0.426	0.130	0.031	0.335
79916	0.191	0.065	0.063	2.466	1.253	0.262	0.315	0.069	0.033	0.346
79917	0.654	0.127	0.051	2.266	0.479	0.617	0.164	0.033	0.033	0.385
79918	0.195	0.062	0.061	2.531	1.320	0.305	0.343	0.045	0.029	0.359
79919	0.181	0.064	0.072	2.477	1.360	0.273	0.367	0.087	0.030	0.364
JG-1	0.780	0.208	0.072	3.739	0.969	1.260	0.310	0.047	0.031	0.317

JG-1 : 標準試料-Ando,A.,Kurasawa,H.,Ohmori,T.& Takeda,E. 1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. *Geochemical Journal*, Vol.8 175-192 (1974)

物と原石群の差を標準偏差値()を基準にして考えると遺物は原石群から0.9 離れている。ところで所山原産地から100個の原石を採ってきて分析すると、平均値から ± 0.9 のずれより大きいものが36個ある。すなわち、この遺物が、所山群の原石から作られていたと仮定しても、0.9 以上離れる確率は36%であると言える。だから、所山群の平均値から0.9 しか離れていないときには、この遺物が所山群の原石から作られたものでないとは、到底言い切れない。ところがこの遺物を赤石山群に比較すると、赤石山群の平均値からの隔たりは、約9 である。これを確率の言葉で表現すると、赤石山群の原石を採ってきて分析したとき、平均値から9 以上離れている確率は、十億分の一であると言える。このように、十億個に一個しかないような原石をたまたま採取して、この遺物が作られたとは考えられないから、この遺物は、赤石山群の原石から作られたものではないと断定できる。これらのことを簡単にまとめて言うと、「この遺物は置戸・所山群に36%の確率で帰属され、信頼限界の0.1%を満たしていることから所山産原石が使用されいると同定され、さらに赤石山群に千万分の一%の低い確率で帰属され、信頼限界の0.1%を満たさないことから赤石山原石でないと同定される。」遺物が一ヶ所の産地(置戸・所山産地)と一致したからと言って、例え所山群と赤石山群の原石は成

4 奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土の黒曜石製石器の原産地分析および非破壊分析による水和層の測定

表 - 19 奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土の黒曜石製石器、剥片の原産地推定結果(1)

分析番号	試料番号	遺跡名	ブロック	グリット	遺物番号	母岩番号	接合番号	挿図番号	原産地(確率)	判定	遺物器種名
63844	SHIRA X3	奥白滝1	26	K27	130	-	-	-289-1	所山(84%)	所山	有舌尖頭器
63845	SHIRA X4	奥白滝1	28	N25	189	-	-	-289-2	赤石山(3%)	赤石山	有舌尖頭器
63846	SHIRA X5	奥白滝1	36	P33	888	-	-	-322-4	赤石山(38%)	赤石山	尖頭器
63847	SHIRA X6	奥白滝1	34	Q26	70	-	-	-322-1	所山(5%)	所山	有舌尖頭器
63848	SHIRA X7	奥白滝1	35	Q28	1	-	-	-322-3	赤石山(12%)	赤石山	有舌尖頭器
63849	SHIRA X8	奥白滝1	34	R26	1	-	53558	-322-2	赤石山(63%)	赤石山	有舌尖頭器
63942	SHIRA W1	奥白滝1	9	S19	43	42	-	-112-420	あじさい滝(20%),幌加沢(5%),八号沢(3%)	あじさい滝	石刃核
63943	SHIRA W2	奥白滝1	8	Q17	17	-	-	-111-401	あじさい滝(78%),幌加沢(53%),八号沢(39%)	あじさい滝	細石刃核
63944	SHIRA W3	奥白滝1	10	Q21	66	34	1039	-109-379	赤石山(84%)	赤石山	搔器
63945	SHIRA W4	奥白滝1	35	Q28	10	-	53559	-327-51	赤石山(68%)	赤石山	石鏃
79827	SHIRA H62	奥白滝1	38	f10	33	202	-	-366-113	所山(35%)	所山	削器
79828	SHIRA H63	奥白滝1	40	k12	1	-	3495	-366-107	赤石山(13%)	赤石山	搔器
79829	SHIRA H64	奥白滝1	40	k11	386	-	4292	-368-135	所山(2%)	所山	二次加工ある剥片
79830	SHIRA H65	奥白滝1	40	j10	397	307	4308	-368-142	赤石山(17%)	赤石山	二次加工ある剥片
79831	SHIRA H66	奥白滝1	40	m13	47	-	-	-367-120	赤石山(69%)	赤石山	削器
79832	SHIRA H67	奥白滝1	40	k11	368	-	-	-366-110	十勝三股(7%),赤井川第一群(2%),戸門第一群(4%)	十勝	削器
79833	SHIRA H68	奥白滝1	-	l8	-1	-	53490	-379-199	赤石山(46%)	赤石山	尖頭器
79834	SHIRA H69	奥白滝1	42	l6	206	-	-	-379-198	赤石山(33%)	赤石山	石鏃
79835	SHIRA H70	奥白滝1	-	r10	-1	-	-	-379-200	赤石山(16%)	赤石山	つまみ付きナイフ
79836	SHIRA H71	奥白滝1	44	o6	501	204	3499	-362-76	赤石山(88%)	赤石山	両面調整石器
79874	SHIRA X101	奥白滝1	4	M24	8	-	46	-74-129	赤石山(6%)	赤石山	剥片
79875	SHIRA X102	奥白滝1	4	M22	4	-	47	-74-130	赤石山(8%)	赤石山	剥片
79876	SHIRA X103	奥白滝1	4	M23	88	-	48	-68-82	赤石山(4%)	赤石山	剥片
79877	SHIRA X104	奥白滝1	4	N23	36	-	52	-82-158	赤石山(57%)	赤石山	剥片
79878	SHIRA X105	奥白滝1	5	P25	83	-	105	-69-89	赤石山(38%)	赤石山	剥片
79879	SHIRA X106	奥白滝1	6	M29	4	-	80	-84-173	赤石山(38%)	赤石山	剥片
79880	SHIRA X107	奥白滝1	6	L31	4	8	78	-	ケショマップ第二群(96%),FR2遺物群(9%),FR1遺物群(3%)	ケショマップ	剥片
79881	SHIRA X108	奥白滝1	6	L28	113	-	88	-75-133	赤石山(32%)	赤石山	剥片
79882	SHIRA X109	奥白滝1	6	L28	127	15	99	-77-144	赤石山(15%)	赤石山	剥片
79883	SHIRA X110	奥白滝1	7	R16	213	26	1015	-135-448	赤石山(20%)	赤石山	縦長剥片
79884	SHIRA X111	奥白滝1	8	Q17	304	22	1007	-100-212	赤石山(53%)	赤石山	石刃
79885	SHIRA X112	奥白滝1	8	R17	280	25	1013	-98-180	赤石山(7%)	赤石山	石刃
79886	SHIRA X113	奥白滝1	8	R17	247	27	1020	-138-453	赤石山(16%)	赤石山	縦長剥片
79887	SHIRA X114	奥白滝1	8	Q19	1	28	1026	-102-259	あじさい滝(29%),幌加沢(17%),八号沢(4%)	あじさい滝	石刃
79888	SHIRA X115	奥白滝1	8	Q18	163	31	1032	-105-336	赤石山(31%)	赤石山	石刃
79889	SHIRA X116	奥白滝1	8	R17	93	-	1088	-134-446	幌加沢(100%),あじさい滝(98%),八号沢(69%),白土沢(42%)	あじさい滝	剥片
79890	SHIRA X117	奥白滝1	9	S19	102	27	1018	-139-455	赤石山(0.1%)	赤石山	剥片
79891	SHIRA X118	奥白滝1	9	S19	153	29	1028	-136-450	あじさい滝(80%),幌加沢(39%),八号沢(25%)	あじさい滝	剥片
79892	SHIRA X119	奥白滝1	9	S19	266	40	1061	-99-191	赤石山(72%)	赤石山	石刃
79893	SHIRA X120	奥白滝1	9	S20	1	-	1089	-128-441	赤石山(8%)	赤石山	石刃
79894	SHIRA X121	奥白滝1	11	M2	213	105	-	-190-30	赤石山(46%)	赤石山	石刃
79895	SHIRA X122	奥白滝1	11	L1	196	-	-	-188-10	あじさい滝(68%),幌加沢(38%),八号沢(9%)	あじさい滝	搔器
79896	SHIRA X123	奥白滝1	12	L3	89	-	53447	-190-37	あじさい滝(48%),八号沢(42%),幌加沢(16%)	あじさい滝	石刃
79897	SHIRA X124	奥白滝1	13	S9	123	-	-	-204-11	所山(45%)	所山	搔器
79898	SHIRA X125	奥白滝1	15	K13	106	-	2429	-237-94	赤石山(12%)	赤石山	剥片
79899	SHIRA X126	奥白滝1	19	K17	3	86	-	-212-16	所山(8%)	所山	尖頭器
79900	SHIRA X127	奥白滝1	21	M18	462	-	53461	-209-1	あじさい滝(1%)	あじさい滝	尖頭器
79901	SHIRA X128	奥白滝1	21	K18	1069	320	53464	-213-25	KS1遺物群(20%),所山(0.05%)	KS1遺物群	尖頭器
79902	SHIRA X129	奥白滝1	21	K18	1598	-	-	-211-13	所山(34%)	所山	尖頭器
79903	SHIRA X130	奥白滝1	21	L18	106	86	53466	-211-15	所山(72%)	所山	尖頭器
79904	SHIRA X131	奥白滝1	21	K18	2	-	53463	-211-14	赤石山(6%)	赤石山	尖頭器
79905	SHIRA X132	奥白滝1	25	J21	4429	-	2275	-258-2	赤石山(79%)	赤石山	尖頭器
79906	SHIRA X133	奥白滝1	25	J22	245	-	-	-258-1	赤井川第一群(73%),赤井川第二群(34%),十勝三股(0.5%)	赤井川	尖頭器
79907	SHIRA X134	奥白滝1	26	L25	39	88	2605	-301-31	赤石山(49%)	赤石山	剥片
79908	SHIRA X135	奥白滝1	28	M25	285	128	3094	-301-30	【赤石山(16%)】	赤石山	剥片
79909	SHIRA X136	奥白滝1	32	O27	41	-	53482	-324-25	八号沢(2%)【八号沢(69%),あじさい滝(63%),幌加沢(25%)】	あじさい滝	石刃
79910	SHIRA X137	奥白滝1	40	I12	650	328	3492	-365-103	ケショマップ第一群(30%),FR2遺物群(5%)	ケショマップ	搔器
79911	SHIRA X138	上白滝5	6	K43	138	-	-	-86-221	FR2遺物群(18%),ケショマップ第一群(9%),美蔓第一群(1%)	ケショマップ	舟底形石器
63862	SHIRA X21	上白滝5	12	J49	3	-	51831	-152-6	HS2遺物群(96%)	HS2遺物群	削器
63863	SHIRA X22	上白滝5	12	J50	2	-	-	-152-4	所山(4%)	所山	削器

表 - 20 奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土の黒曜石製石器、剥片の原産地推定結果(2)

分析番号	試料番号	遺跡名	ブロック	グリット	遺物番号	母岩番号	接合番号	挿図番号	原産地(確率)	判定	遺物器種名
63864	SHIRA X23	上白滝5	12	J50	3	-	-	-152-3	所山(42%)	所山	石刃鎌
63865	SHIRA W41	上白滝5	12	J50	1	-	-	-152-2	KS1遺物群(25%)	KS1遺物群	石刃鎌
63866	SHIRA W42	上白滝5	12	K50	1	-	-	-152-5	所山(20%)	所山	削器
63867	SHIRA X26	上白滝5	9	M45	45	-	-	-152-1	赤石山(6%)	赤石山	石刃鎌
63971	SHIRA W37	上白滝5	5	J23	270	-	44	-20-1	赤石山(18%)	赤石山	尖頭器
63972	SHIRA W38	上白滝5	5	L24	1	-	-	-20-3	赤石山(41%)	赤石山	尖頭器
63973	SHIRA W39	上白滝5	8	O42	3	-	-	-86-208	赤石山(44%)	赤石山	小型舟底形石器
63974	SHIRA W40	上白滝5	8	O42	54	139	441	-82-466	赤石山(2%)	赤石山	彫器
79837	SHIRA H72	上白滝5	1	J6	12	1	161	-	赤石山(12%)	赤石山	剥片
79838	SHIRA H73	上白滝5	1	J7	6	1	161	-	赤石山(16%)	赤石山	剥片
79839	SHIRA H74	上白滝5	1	J6	9	2	-	-	赤石山(8%)	赤石山	剥片
79840	SHIRA H75	上白滝5	2	P11	45	3	1	-17-2	赤石山(25%)	赤石山	剥片
79841	SHIRA H76	上白滝5	2	P11	52	3	1	-17-2	赤石山(10%)	赤石山	剥片
79842	SHIRA H77	上白滝5	2	P11	73	3	1	-17-2	赤石山(14%)	赤石山	剥片
79843	SHIRA H78	上白滝5	3	J17	11	4	70	-19-1	赤石山(89%)	赤石山	剥片
79844	SHIRA H79	上白滝5	3	J17	26	4	70	-19-1	赤石山(24%)	赤石山	剥片
79845	SHIRA H80	上白滝5	3	J17	37	4	70	-19-1	赤石山(82%)	赤石山	剥片
79846	SHIRA H81	上白滝5	4	J19	200	6	14	-	赤石山(97%)	赤石山	剥片
79847	SHIRA H82	上白滝5	4	J19	1025	8	18	-	赤石山(96%)	赤石山	剥片
79848	SHIRA H83	上白滝5	4	J19	576	20	174	-	赤石山(2%)	赤石山	剥片
79849	SHIRA H84	上白滝5	5	L22	680	29	62	-56-65	赤石山(21%)	赤石山	剥片
79850	SHIRA H85	上白滝5	6	M42	70	105	305	-143-332	赤石山(1%)	赤石山	剥片
79851	SHIRA H86	上白滝5	6	M42	80	106	308	-143-331	赤石山(3%)	赤石山	二次加工ある剥片
79852	SHIRA H87	上白滝5	6	L42	10	116	322	-114-290	赤石山(67%)	赤石山	剥片
79853	SHIRA H88	上白滝5	7	K46	184	117	327	-132-320	赤石山(45%)	赤石山	剥片
79854	SHIRA H89	上白滝5	7	J47	269	118	335	-129-316	赤石山(12%)	赤石山	剥片
79855	SHIRA H90	上白滝5	7	L46	9	120	339	-130-319	赤石山(6%)	赤石山	剥片
79856	SHIRA H91	上白滝5	8	N42	207	140	447	-122-298	赤石山(2%)	赤石山	剥片
79857	SHIRA H92	上白滝5	9	M43	29	143	455	-	赤石山(99%)	赤石山	剥片
79858	SHIRA H93	上白滝5	9	M43	5	144	456	-	赤石山(13%)	赤石山	剥片
79859	SHIRA H94	上白滝5	9	M45	58	147	470	-138-326	赤石山(14%)	赤石山	剥片
79860	SHIRA H95	上白滝5	10	O44	249	139	441	-125-302	赤石山(0.3%)	赤石山	剥片
79861	SHIRA H96	上白滝5	10	N45	1018	151	481	-111-286	赤石山(21%)	赤石山	剥片
79862	SHIRA H97	上白滝5	10	O45	86	154	506	-116-292	赤石山(20%)	赤石山	剥片
79863	SHIRA H98	上白滝5	11	Q44	22	167	574	-119-296	赤石山(18%)	赤石山	剥片
79864	SHIRA H99	上白滝5	11	Q44	43	168	583	-138-327	赤石山(48%)	赤石山	剥片
79865	SHIRA H100	上白滝5	11	R43	171	170	592	-129-318	赤石山(16%)	赤石山	縦長剥片
79866	SHIRA H101	上白滝5	6	M43	37	-	-	-84-182	所山(57%)	所山	搔器
79867	SHIRA H102	上白滝5	9	N44	14	-	-	-83-168	ケショマップ第一群(36%),FR2遺物群(3%),FR1遺物群(1%)	ケショマップ	搔器
79868	SHIRA H103	上白滝5	10	N47	1	-	-	-84-188	あじさい滝(16%),八号沢(3%),梶加沢(3%)	あじさい滝	搔器
79869	SHIRA H104	上白滝5	8	O42	10	-	-	-	所山(60%)	所山	縦長剥片
79870	SHIRA H105	上白滝5	9	M46	48	-	-	-	所山(15%)	所山	石刃
79912	SHIRA X139	上白滝5	5	M22	261	23	29	-37-43	赤石山(2%)	赤石山	剥片
79913	SHIRA X140	上白滝5	5	K23	128	24	34	-	赤石山(9%)	赤石山	剥片
79914	SHIRA X141	上白滝5	5	J24	127	25	38	-	赤石山(7%)	赤石山	剥片
79915	SHIRA X142	上白滝5	5	M24	232	48	50085	-	あじさい滝(8%)	あじさい滝	原石
79916	SHIRA X143	上白滝5	5	M23	681	54	81	-74-81	赤石山(62%)	赤石山	剥片
79917	SHIRA X144	上白滝5	11	R43	73	-	-	-78-9	FR2遺物群(17%),ケショマップ第一群(4%),FR1遺物群(2%)	ケショマップ	尖頭器
79918	SHIRA X145	上白滝5	10	N45	181	141	453	-143-330	赤石山(38%)	赤石山	石刃
79919	SHIRA X146	上白滝5	8	N43	15	150	474	-113-288	赤石山(0.1%)	赤石山	剥片
79871	SHIRA H106	北支湧別4	1	U24	77	-	-	() -14-1	赤石山(3%)	赤石山	尖頭器
79872	SHIRA H107	北支湧別4	1	U24	119	196	-	() -14-2	赤石山(39%)	赤石山	尖頭器
79873	SHIRA H108	北支湧別4	1	U24	152	195	-	() -14-4	赤石山(22%)	赤石山	尖頭器

注意：近年産地分析を行う所が多くなりましたが、判定根拠が曖昧にも拘わらず結果のみを報告される場合があります。本報告では日本における各遺跡の産地分析の判定基準を一定にして、産地分析を行っています。判定基準の異なる研究方法(土器様式の基準も研究方法で異なるように)にも関わらず、似た産地名のために同じ結果のように思われるが、全く関係(相互チェックなし)ありません。本研究結果に連続させるには本研究法で再分析が必要です。本報告の分析結果を考古学資料とする場合には常に同じ基準で判定されている結果で古代交流圏などを考察する必要があります。

【赤石山(16%)】:【 】で示された指定確立は風化層の影響を受けやすい軽元素(Ca/K,Ti/K)の軽元素比を抜いて判定を行った結果で、202個原石群の中で0.1%以上の確立で判定された原産地を記した。

4 奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土の黒曜石製石器の原産地分析および非破壊分析による水和層の測定

表 - 21 奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土の黒曜石製石器、剥片の水和層厚測定結果(1)

分析番号	試料番号	遺跡名	ブロック	グリット	遺物番号	母岩番号	接合番号	遺跡名	判定	水和層の厚さ3箇所測定(μm)			経過年代(B.P.)	水和速度(μm/1000年)	遺物器種名
63942	SHIRA W1	奥白滝1	9	S19	43	42	-	-112-420	あじさい滝	4.61	4.6	4.32	13,706 ± 811	1.48	石刃核
63943	SHIRA W2	奥白滝1	8	Q17	17	-	-	-111-401	あじさい滝	5.37	4.94	5.32	18,315 ± 1,335	1.48	細石刃核
63944	SHIRA W3	奥白滝1	10	Q21	66	34	1039	-109-379	赤石山	5.32	5.69	5.4	20,184 ± 1,185	1.48	搔器
63945	SHIRA W4	奥白滝1	35	Q28	10	-	53559	-327-51	赤石山	4.59	4.64	4.87	14,886 ± 781	1.48	石鏃
79827	SHIRA H62	奥白滝1	38	f10	33	202	-	-366-113	所山	4.25	4.41	4.47	14,142 ± 583	1.35	削器
79828	SHIRA H63	奥白滝1	40	k12	1	-	3495	-366-107	赤石山	3.67	3.88	3.94	9,867 ± 605	1.48	搔器
79829	SHIRA H64	奥白滝1	40	k11	386	-	4292	-368-135	所山	4.04	3.9	3.99	11,673 ± 351	1.35	二次加工ある剥片
79830	SHIRA H65	奥白滝1	40	j10	397	307	4308	-368-142	赤石山	5.37	5.46	5.04	18,869 ± 1,288	1.48	二次加工ある剥片
79831	SHIRA H66	奥白滝1	40	m13	47	-	-	-367-120	赤石山	4.02	4.01	4.24	11,272 ± 589	1.48	削器
79832	SHIRA H67	奥白滝1	40	k11	368	-	-	-366-110	十勝三股	3.4	3.44	3.3	7,090 ± 259	1.6	削器
79833	SHIRA H68	奥白滝1	-	l8	-1	-	53490	-379-199	赤石山	4.72	4.84	5.15	16,213 ± 1,233	1.48	尖頭器
79834	SHIRA H69	奥白滝1	42	l6	206	-	-	-379-198	赤石山	2.24	2.24	2.23	3,328 ± 11	1.48	石鏃
79835	SHIRA H70	奥白滝1	-	r10	-1	-	-	-379-200	赤石山	3.87	3.64	4.28	10,431 ± 1,411	1.48	つまみ付きナイフ
79836	SHIRA H71	奥白滝1	44	o6	501	204	3499	-362-76	赤石山	5.45	5.81	5.87	21,999 ± 1,434	1.48	両面調整石器
63971	SHIRA W37	上白滝5	5	J23	270	61	44	-20-1	赤石山	5.01	4.51	4.89	15,570 ± 1,367	1.48	尖頭器
63972	SHIRA W38	上白滝5	5	L24	1	-	-	-20-3	赤石山	4.69	4.97	5.18	16,511 ± 1,337	1.48	尖頭器
63973	SHIRA W39	上白滝5	8	O42	3	-	-	-86-208	赤石山	4.72	4.75	4.67	14,961 ± 210	1.48	小型舟底形石器
63974	SHIRA W40	上白滝5	8	O42	54	139	441	-82-66	赤石山	5.93	5.98	5.85	23,632 ± 428	1.48	彫器
63865	SHIRA W41	上白滝5	12	J50	1	-	-	-152-2	K S 1	2.95	3	2.54	5,266 ± 722	1.52 **	石刃鏃
63866	SHIRA W42	上白滝5	12	K50	1	-	-	-152-5	置戸	3.11	3.1	2.94	6,846 ± 349	1.35	削器
79837	SHIRA H72	上白滝5	1	J6	12	1	161	-	赤石山	5.51	5.74	5.18	20,244 ± 1,699	1.48	剥片
79838	SHIRA H73	上白滝5	1	J7	6	1	161	-	赤石山	6.44	5.78	5.64	23,976 ± 2,879	1.48	剥片
79839	SHIRA H74	上白滝5	1	J6	9	2	-	-	赤石山	5.85	6.05	5.92	23,786 ± 687	1.48	剥片
79840	SHIRA H75	上白滝5	2	P11	45	3	1	-17-2	赤石山	3.43	3.42	3.52	8,035 ± 209	1.48	剥片
79841	SHIRA H76	上白滝5	2	P11	52	3	1	-17-2	赤石山	3.48	3.5	3.41	8,056 ± 185	1.48	剥片
79842	SHIRA H77	上白滝5	2	P11	73	3	1	-17-2	赤石山	3.48	3.45	3.25	7,736 ± 454	1.48	剥片
79843	SHIRA H78	上白滝5	3	J17	11	4	70	-19-1	赤石山	3.69	3.81	4.51	10,857 ± 2,019	1.48	剥片
79844	SHIRA H79	上白滝5	3	J17	26	4	70	-19-1	赤石山	4.4	4.34	4.11	12,334 ± 715	1.48	剥片
79845	SHIRA H80	上白滝5	3	J17	37	4	70	-19-1	赤石山	4.19	4.48	4.1	12,214 ± 929	1.48	剥片
79846	SHIRA H81	上白滝5	4	J19	200	6	14	-	赤石山	4.83	4.74	4.77	15,394 ± 225	1.48	剥片
79847	SHIRA H82	上白滝5	4	J19	1025	8	18	-	赤石山	6.17	6.29	6.19	26,064 ± 434	1.48	剥片
79848	SHIRA H83	上白滝5	4	J19	576	20	174	-	赤石山	6.52	6.43	6.72	28,995 ± 1,081	1.48	剥片
79849	SHIRA H84	上白滝5	5	L22	680	29	62	-56-65	赤石山	3.74	4.13	3.96	10,463 ± 853	1.48	剥片
79850	SHIRA H85	上白滝5	6	M42	70	105	305	-143-332	赤石山	4.81	4.81	5.31	16,742 ± 1,605	1.48	剥片
79851	SHIRA H86	上白滝5	6	M42	80	106	308	-143-331	赤石山	4.22	4.11	4.29	11,922 ± 430	1.48	二次加工ある剥片
79852	SHIRA H87	上白滝5	6	L42	10	116	322	-114-290	赤石山	6.17	6.48	6.43	27,288 ± 1,133	1.48	剥片
79853	SHIRA H88	上白滝5	7	K46	184	117	327	-132-320	赤石山	4.65	4.67	4.64	14,587 ± 90	1.48	剥片
79854	SHIRA H89	上白滝5	7	J47	269	118	335	-129-316	赤石山	4.32	4.33	4.22	12,384 ± 277	1.48	剥片
79855	SHIRA H90	上白滝5	7	L46	9	120	339	-130-319	赤石山	4.97	5.06	4.8	16,459 ± 706	1.48	剥片

表 - 22 奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土の黒曜石製石器、剥片の水和層厚測定結果(2)

分析 番号	試料番号	遺跡名	ブ ロ ック	グリ ット	遺物番号	母岩番号	接合番号	遺跡名	判定	水和層の厚さ3ヶ所 測定(μm)			経過年代 (B.P.)	水和速度 (μm/1000年)	遺物器種名
79856	SHIRA H91	上白滝5	8	N42	207	140	447	-122-298	赤石山	5.15	5.08	5.17	17,749 ± 278	1.48	剥片
79857	SHIRA H92	上白滝5	9	M43	29	143	455	-	赤石山	4.33	4.41	4.43	12,961 ± 258	1.48	剥片
79858	SHIRA H93	上白滝5	9	M43	5	144	456	-	赤石山	5.18	4.97	5.38	18,072 ± 1,183	1.48	剥片
79859	SHIRA H94	上白滝5	9	M45	58	147	470	-138-326	赤石山	6.26	5.99	5.9	24,711 ± 1,257	1.48	剥片
79860	SHIRA H95	上白滝5	10	O44	249	139	441	-125-302	赤石山	5.33	5.23	5.48	19,273 ± 741	1.48	剥片
79861	SHIRA H96	上白滝5	10	N45	1018	151	481	-111-286	赤石山	6.17	6.22	5.92	25,141 ± 1,074	1.48	剥片
79862	SHIRA H97	上白滝5	10	O45	86	154	506	-116-292	赤石山	6.27	6.29	6.24	26,473 ± 179	1.48	剥片
79863	SHIRA H98	上白滝5	11	Q44	22	167	574	-119-296	赤石山	5.26	5.22	4.38	16,654 ± 2,651	1.48	剥片
79864	SHIRA H99	上白滝5	11	Q44	43	168	583	-138-327	赤石山	5.4	5.27	4.75	17,863 ± 1,937	1.48	剥片
79865	SHIRA H100	上白滝5	11	R43	171	170	592	-129-318	赤石山	5.55	5.68	5.69	21,461 ± 478	1.48	縦長剥片
79866	SHIRA H101	上白滝5	6	M43	37	-	-	-84-182	所山	3.49	3.61	3.64	9,452 ± 339	1.35	搔器
79867	SHIRA H102	上白滝5	9	N44	14	-	-	-83-168	ケシヨマップ	2.49	2.54	2.35			搔器
79868	SHIRA H103	上白滝5	10	N47	1	-	-	-84-188	あじさい滝	5.44	5.69	5.84	21,590 ± 1,272	1.48	搔器
79869	SHIRA H104	上白滝5	8	O42	10	-	-	-	所山	4.1	4.17	3.85	12,040 ± 825	1.35	縦長剥片
79870	SHIRA H105	上白滝5	9	M46	48	-	-	-	所山	4.59	4.67	5.34	17,577 ± 2,478	1.35	石刃
79871	SHIRA H106	北支湧別4	1	U24	77	-	-	() -14-1	赤石山	3.33	3.32	3.44	7,600 ± 259	1.48	尖頭器
79872	SHIRA H107	北支湧別4	1	U24	119	196	-	() -14-2	赤石山	2.65	2.63	2.8	4,860 ± 281	1.48	尖頭器
79873	SHIRA H108	北支湧別4	1	U24	152	195	-	() -14-4	赤石山	2.69	2.61	2.63	4,656 ± 125	1.48	尖頭器

* : 縄文時代の年平均気温を8.5度としての水和速度、旧石器時代では7.5度としての水和速度をそれぞれ使用。

分が異なっている、分析している試料は原石でなく遺物で、さらに分析誤差が大きくなる不定形（非破壊分析）であることから、他の産地に一致しないとは言えない、同種岩石の中での分類である以上、他の産地にも一致する可能性は推測される。即ちある産地（所山産地）に一致し必要条件を満足したと言っても一致した産地の原石とは限らないために、帰属確率による判断を表 - 13 ~ 15の202個すべての原石群について行ない十分条件を求め、低い確率で帰属された原石群の原石は使用していないとして消していくことにより、はじめて所山産地の石材のみが使用されていると判定される。実際はRb/Zrといった唯一つの変数だけでなく、前述した8つの変数で取り扱うので変数間の相関を考慮しなければならない。例えば、A原産地のA群でCa元素とRb元素との間に相関がありCaの量を計ればRbの量は分析しなくても分かるようなときは、A群の石材で作られた遺物であれば、A群と比較したとき、Ca量が一致すれば当然Rb量も一致するはずである。したがって、もしRb量だけが少しずれている場合には、この試料はA群に属していないと言わなければならない。このことを数量的に導き出せるようにしたのが相関を考慮した多変量統計の手法であるマハラノビスの距離を求めて行なうホテリングのT2乗検定である。これによって、それぞれの群に帰属する確率を求めて産地を同定する^{4, 5)}。産地の同定結果は1個の遺物に対して、黒曜石製では202個の推定確率結果が得られている。今回産地分析を行った遺物の産地推定結果については低い確率で帰属された原産地の推定確率は紙面の都合上記入を省略しているが、本研究ではこれら産地の可能性が非常に低いことを確認したという非常に重要な意味を含んでいる。すなわち置戸・所山産原石と判定された遺物に対して、カムチャッカ産原石とかロシア、北朝鮮の遺跡で使用されている原石および信州和田峠産の原石の可能性

を考へる必要がないという結果であり、ここでは高い確率で同定された産地のみの結果を表 - 19・20に記入した。原石群を作った原石試料は直径 3 cm 以上であるが、多数の試料を処理するために、小さな遺物試料の分析に多くの時間をかけられない事情があり、短時間で測定を打ち切る。このため、得られた遺物の測定値には、大きな誤差範囲が含まれ、ときには原石群の元素組成のバラツキの範囲を越て大きくなる。したがって、小さな遺物の産地推定を行なったときに、判定の信頼限界としている 0.1% に達しない確率を示す場合が比較的多くみられる。この場合には、原石産地（確率）の欄の確率値に替えて、マハラノビスの距離 D^2 乗の値を記した。この遺物については、記入された D^2 乗の値が原石群の中で最も小さな D^2 乗値で、この値が小さい程、遺物の元素組成はその原石群の組成と似ていると言えるため、推定確率は低いが、その原石産地と考えてほゞ間違いないと判断されたものである。白滝地域のあじさい滝、八号沢、白土沢、幌加沢の一部の原石は、相互に元素比組成が似ていて産地分析の結果で区別できない遺物がみられる場合があり、梨肌表面の遺物を八号沢、白土沢地区の原石、滑らかな表面の遺物をあじさい滝または幌加沢地区の原石と肉眼で判断し判定の欄に記す。今回分析した奥白滝 1 遺跡出土の黒曜石製石器、剥片の 58 個には赤石山産原石が 60% (35 個) で、あじさい滝産が 16% (9 個)、所山産が 14% (8 個)、ケショマップ産が 5% (3 個)、十勝産と赤井川産が各 2% (1 個) で、原石産地不明であるが、千歳市キウス遺跡と同じ組成の K S 1 遺物群と名付けた黒曜石原材が 2% (1 個) 使用していることが明らかになった。ここで、また奥白滝 1 遺跡出土の分析番号 79908 番の遺物は軽元素比 Ca/K、Ti/K を入れると帰属確率が低く同定され、202 個の何処の群にも信頼限界の 0.1% に達しない。一般的に、遺物に被熱などの履歴があり風化層が非常に厚くなっている場合が多い。厚い風化の場合には、K 元素が風化の影響の少ない遺物に比べて、より大きく観測される。これは推測であるが、風化層内の K 元素が黒曜石表面に移動し濃縮し、マトリクス効果の自己吸収による K 元素蛍光 X 線の減衰が減少するために、K 元素の ρ - ρ_0 が大きく観測される。従って K 元素が分母の Ca/K、Ti/K の比値が小さくなる、同じ産地同定された遺物の Si/K 元素比（表 - 16）をみると 79908 番は小さな値となっている。将来的には風化層の厚さから補正が可能の様に思える。現時点では軽元素比を抜いてマハラノビスの距離を求めて行なうホテリングの T^2 乗検定を表 - 13~15 の 202 群の全ての原石、遺物群について行った結果を推定確率の欄に【赤石山 (16%)】と区別して記した。上白滝 5 遺跡出土の黒曜石製石器、剥片の 52 個については、赤石山産原石が 77% (40 個) で、所山産が 12% (6 個)、あじさい滝産とケショマップ産がそれぞれ 4% (2 個)、また北見市北進遺跡の H S 2 遺物群とキウス遺跡の K S 1 遺物群が各 2% (1 個) が使用されている。北支湧別 4 遺跡出土の黒曜石製石器の 3 個は全て赤石山産原石が使用されていた。今回の分析で地元で大規模な白滝地区黒曜石産地を持ちながら、所山、ケショマップ、十勝、赤井川産地の原石が使用され、これら産地地域と交流を推測され、奥白滝 1 遺跡で赤井川産原石の使用が確認されたことは、道北地域から道南地域に白滝地域産原石が伝播する、逆の伝播が確認され、原石の伝播に伴って地域の生活、文化情報が伝達すると推測すると、道南、赤井川産地地域の生活、文化情報が道北地域に伝達ことが証明されたと考察しても、産地分析の結果と矛盾しない。さらに石器の分析個数を増やすことにより、より正確な可能性が推測される。

(4) 非破壊分析による黒曜石製遺物の水和層測定

今回分析した遺物は奥白滝 1 遺跡出土黒曜石製石器 14 個、上白滝 5 遺跡出土の黒曜石製石器、剥片 40 個、北支湧別 4 遺跡出土の黒曜石製石器 3 個の合計 57 個について非破壊分析による水和層の厚さの結果が得られたので報告する。分析は黒曜石の表面に顕微鏡を通して光を照射したときに、黒曜石の

表面で反射する光と、水和層で反射する光で生じる干渉波の波長から水和層の厚さを求める方法。光の反射を利用するため、遺物の表面にできた使用痕および埋土中にできた摩耗傷などが水和層測定障害になり測定できない場合が多々ある。また、水和層と新鮮面との境界面での反射光が非常に弱いため、境界面が明確に発達した部分を探して測定しなければならない。従って、傷のない場所を顕微鏡下で探して分析を行うため、試料によっては1個に三時間以上かかることもある。今回、分析一試料について一ヶ所10回以上測定し水和層厚の平均値を求め、これを3ヶ所以上を分析し、分析値の最大、中間、最小値を選んで表 21・22に記した。水和層の厚さを経過年代に換算するには、水和層を分析した黒曜石の経過年代を炭素-14法、フィッシュトラック法で求めた絶対年代から、水和速度を求めて行う。この水和速度は黒曜石の埋土中に受ける温度によって異なるため、黒曜石が環境から受けた温度を正確に求めなければ、正確な年代の換算はできない。従って、遺物が経過した年代の間に受けた温度を約7.5 の平均効果温度として水和速度⁶⁾を推定したとき、赤石山産・八号沢(あじさい滝)産原石は1.48 ($\mu^2/1000$ 年) また、所山産原石は1.35 ($\mu^2/1000$ 年)を用いて下記の式により水和層厚を経過年代に換算した。

$$\text{推定換算年代(千年)} = \frac{\text{測定水和層厚}(\mu\text{m}) \times \text{測定水和層厚}(\mu\text{m})}{\text{水和速度}(\mu^2/1000\text{年})}$$

今回非破壊分析で水和層が測定できた遺物の経過年代の結果を表 21・22に示した。水和層厚を経過年代に換算するときの重要な係数である水和速度を決める重要な要因は、黒曜石の化学組成と温度であるため、自然科学者の実験室で水和実験によって水和速度を決定できるが、国内産黒曜石に関して研究はそこまで進んでいないのが現状である。現在は水和速度の決定については考古学者の協力なしでは決定できない。実験室での水和層生成が困難である限り、水和速度の決定の舞台は遺跡になる。今回の年代が炭素-14年代に比べて古すぎる場合は、温泉地とか温度の高い地下水などで埋土中の遺物温度が異常に高かったことが推測され、水和層は非常に厚くなり推定換算年代は古くなる。これは遺物の埋土位置の地温測定で推測できるが、しかし、過去の地温の測定はできない。炭素-14年代などで年代の分かる層から出土する黒曜石の水和層から水和速度を決定するため、発掘が重要な鍵を握ることは言うまでもない。石器の組成(原産地)さえ分かれば、考古学者が炭素-14年代と水和層のデータを集積し整理するだけで、正確な水和層年代が得られるようになる。これら考古学的作業により求められた水和速度は、水和機構(理論)が証明されていないが、考古学試料として実用するには問題ないと推測できる。したがって、水和層年代は考古学者が企画するだけで実用的な年代が得られるため、将来、水和層年代が石器における土器編年のように身近な存在になると推測できる。

参考文献

- 1) 藁科哲男・東村武信(1975), 蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定(II)。考古学と自然科学, 8:61-69
- 2) 藁科哲男・東村武信・鎌木義昌(1977),(1978), 蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定(III)。(IV)。考古学と自然科学, 10,11:53-81:33-47
- 3) 藁科哲男・東村武信(1983), 石器原材の産地分析。考古学と自然科学, 16:59-89
- 4) 東村武信(1976), 産地推定における統計的手法。考古学と自然科学, 9:77-90
- 5) 東村武信(1990), 考古学と物理化学。学生社
- 6) 近堂祐弘(1986), 北海道における黒曜石年代測定法について。北海道考古学, 22:1~15

4 奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土の黒曜石製石器の原材産地分析および非破壊分析による水和層の測定

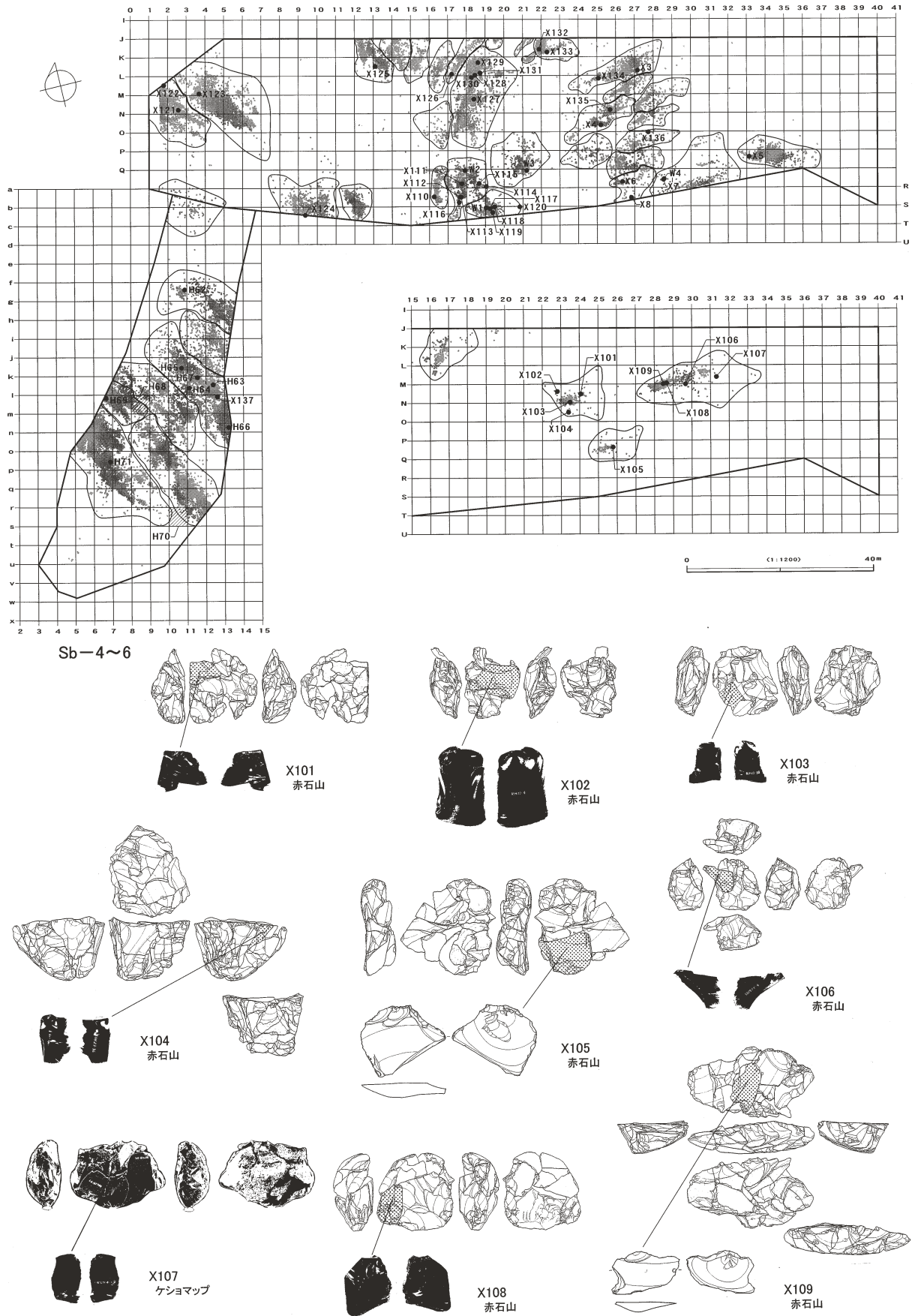


図 - 18 産地分析・水和層測定試料(1)

Sb-7~10

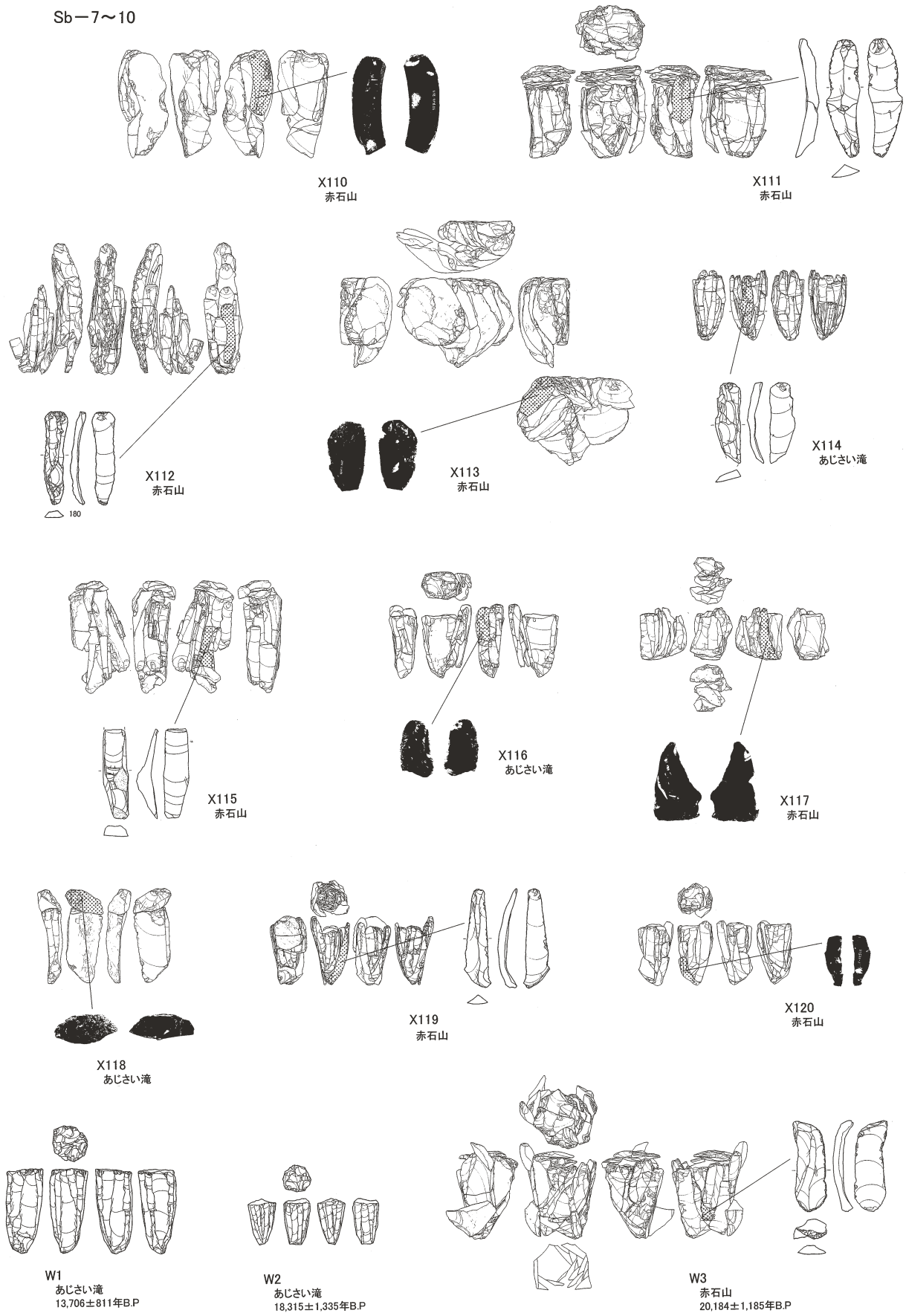


図 - 19 産地分析・水和層測定試料(2)

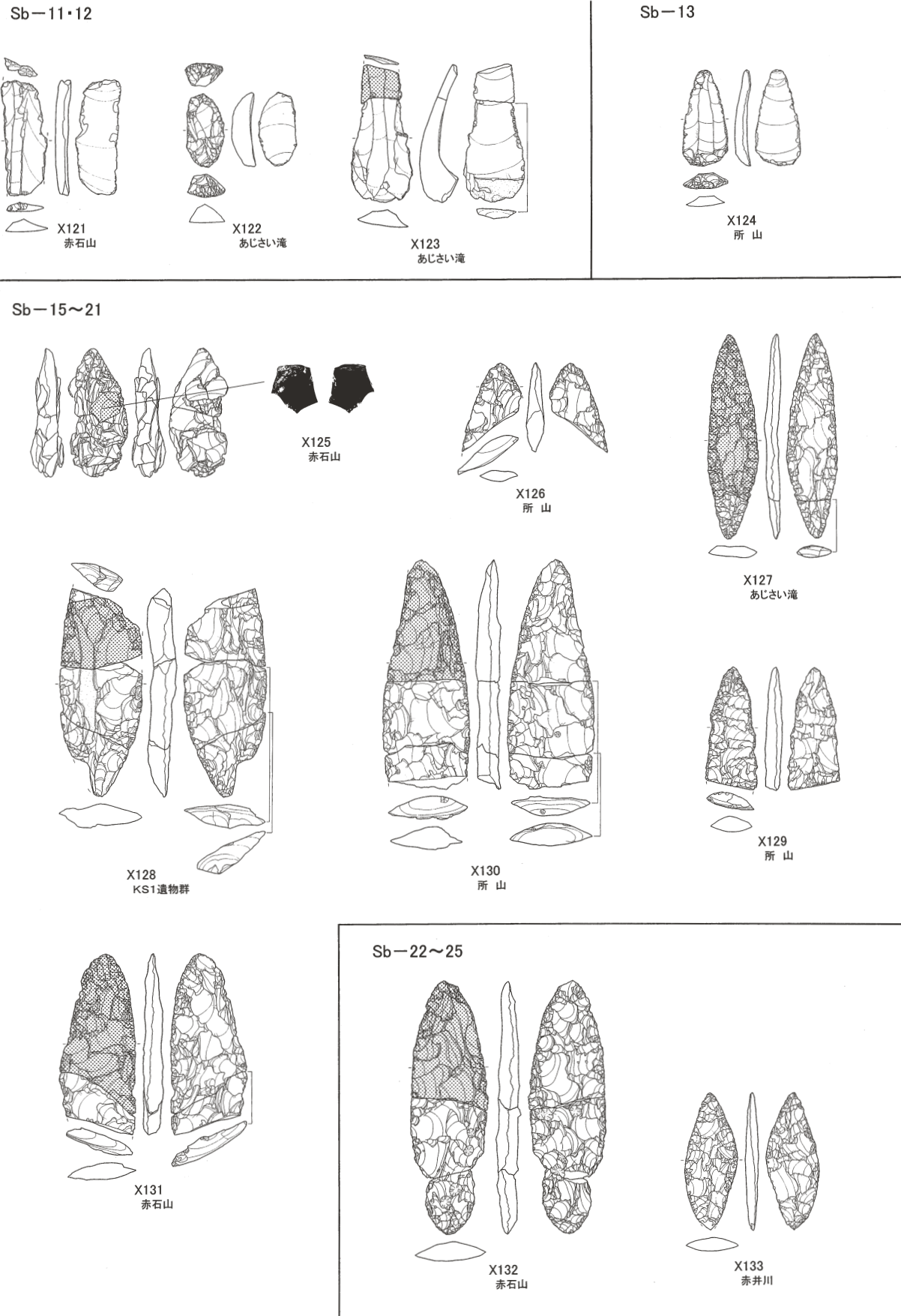
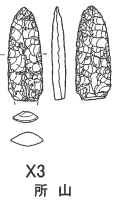
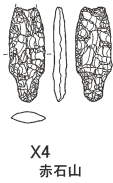


図 - 20 産地分析・水和層測定試料(3)

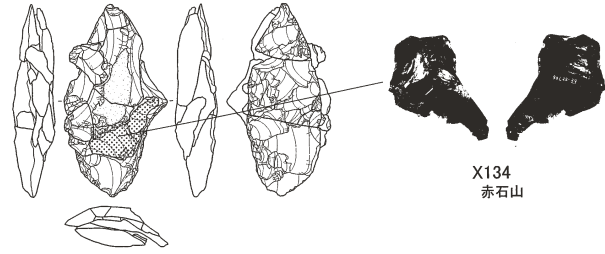
Sb-26~30



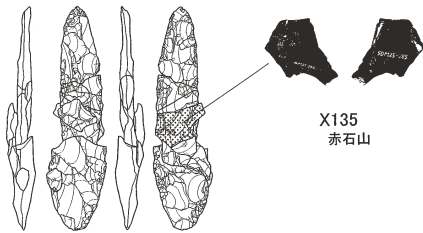
X3
所山



X4
赤石山

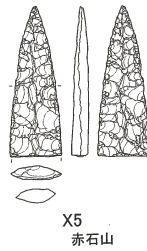


X134
赤石山

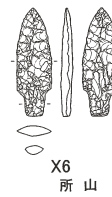


X135
赤石山

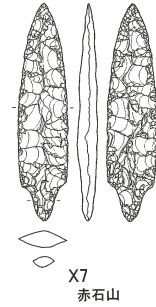
Sb-31~36



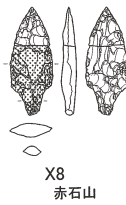
X5
赤石山



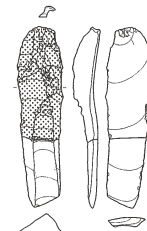
X6
所山



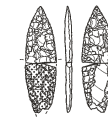
X7
赤石山



X8
赤石山

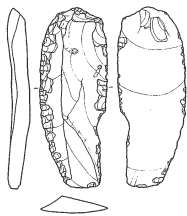


X136
あじさい滝

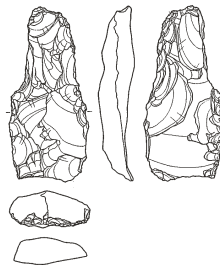


W4
赤石山
14,886±781年B.P

Sb-38~44



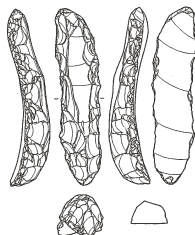
H62
所山
14,142±583年B.P



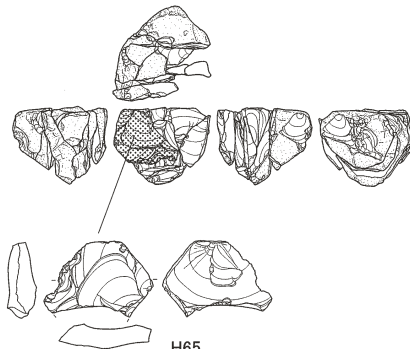
H63
赤石山
9,867±605年B.P



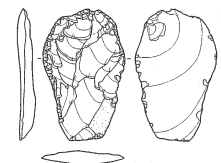
H64
所山
11,673±351年B.P



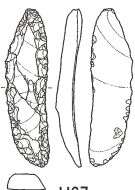
X137
ケショマップ



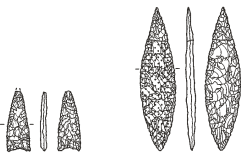
H65
赤石山
18,869±1,288年B.P



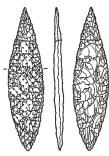
H66
赤石山
11,272±589年B.P



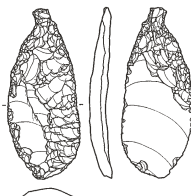
H67
十勝三股
7,090±259年B.P



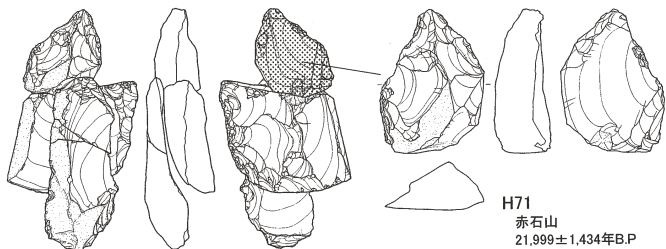
H69
赤石山
3,328±11年B.P



H68
赤石山
16,213±1,233年B.P



H70
赤石山
10,431±1,411年B.P



H71
赤石山
21,999±1,434年B.P

図 - 21 産地分析・水和層測定試料(4)

4 奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土の黒曜石製石器の原産地分析および非破壊分析による水和層の測定

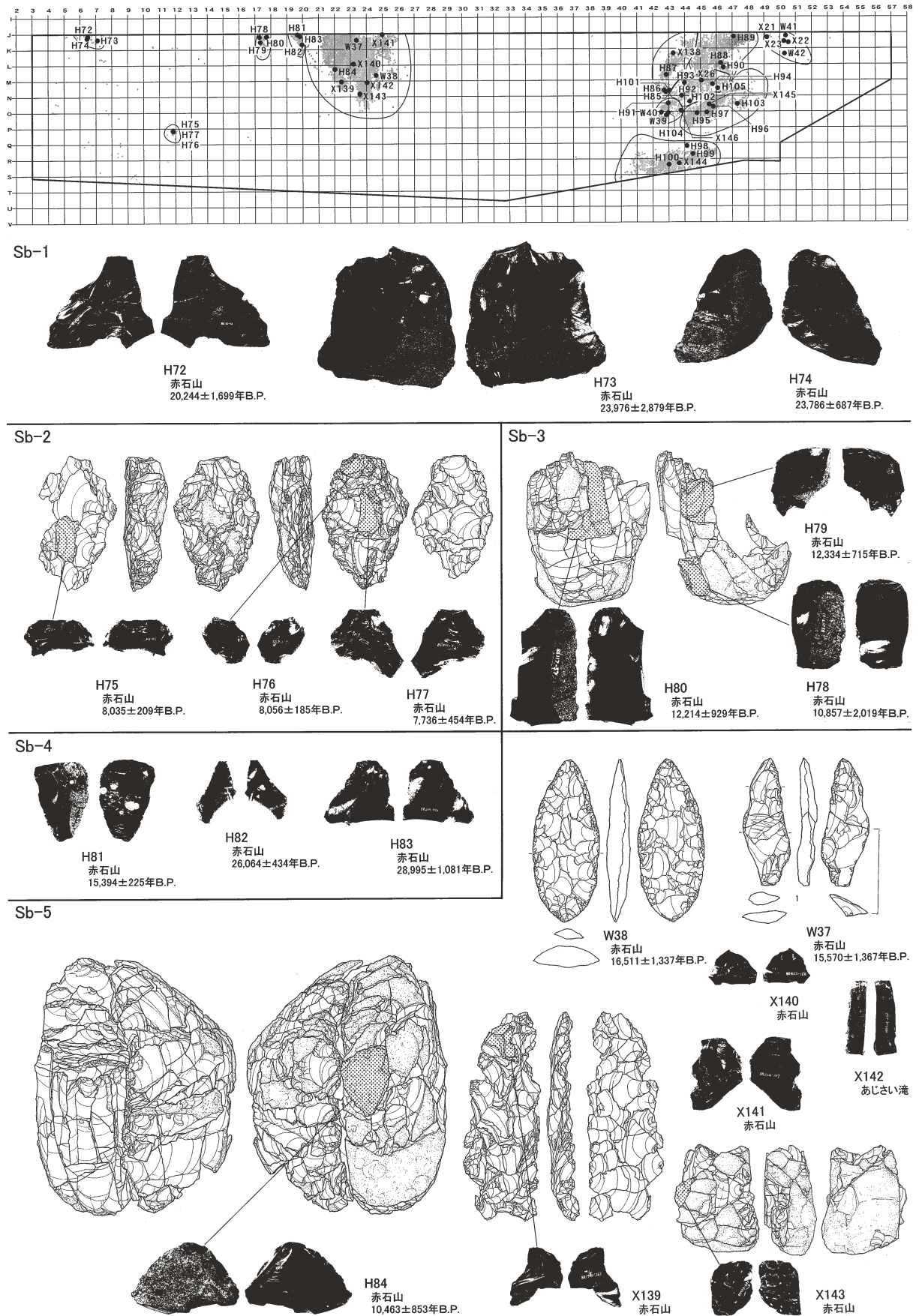
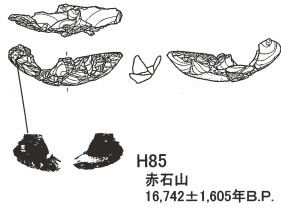
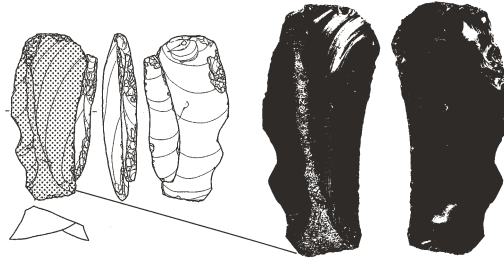


図 - 22 産地分析・水和層測定試料(5)

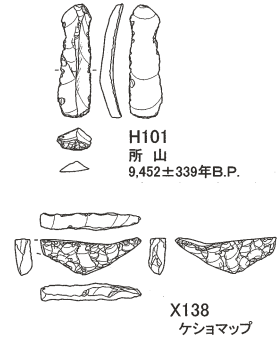
Sb-6



H85
赤石山
16,742±1,605年B.P.

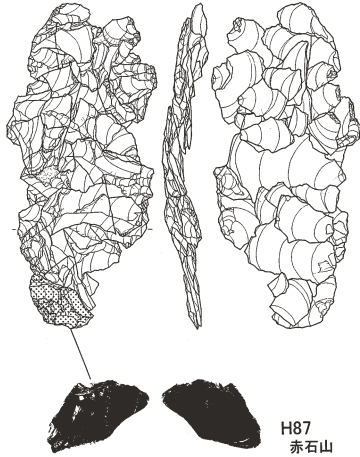


H86
赤石山
11,922±430年B.P.



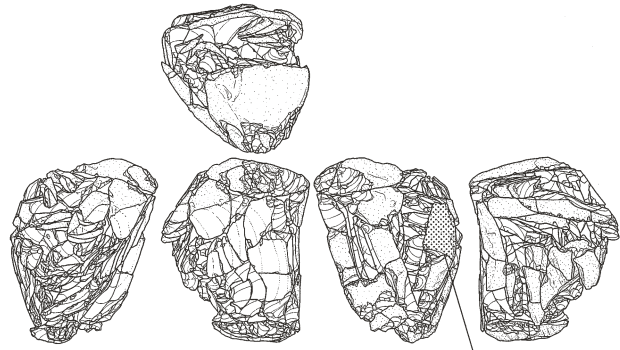
H101
所山
9,452±339年B.P.

X138
ケシヨマップ

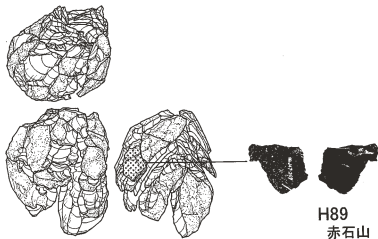


H87
赤石山
27,288±1,133年B.P.

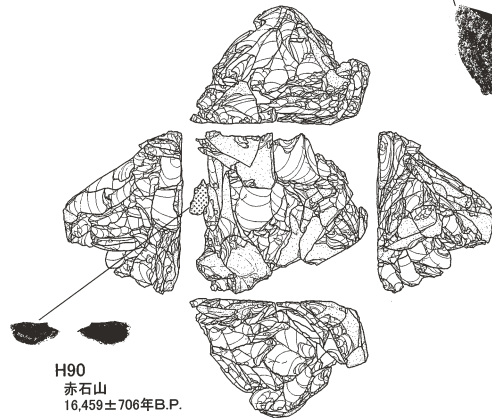
Sb-7



H88
赤石山
14,587±90年B.P.



H89
赤石山
12,384±277年B.P.



H90
赤石山
16,459±706年B.P.

Sb-8



H91
赤石山
17,749±278年B.P.



X146
赤石山



W39
赤石山
14,961±210年B.P.



W40
赤石山
23,632±428年B.P.

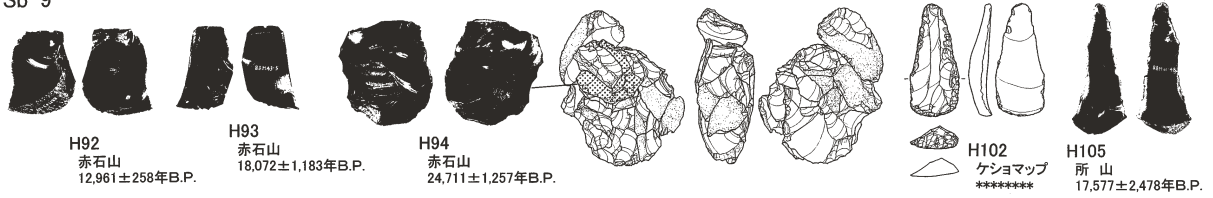


H104
所山
12,040±825年B.P.

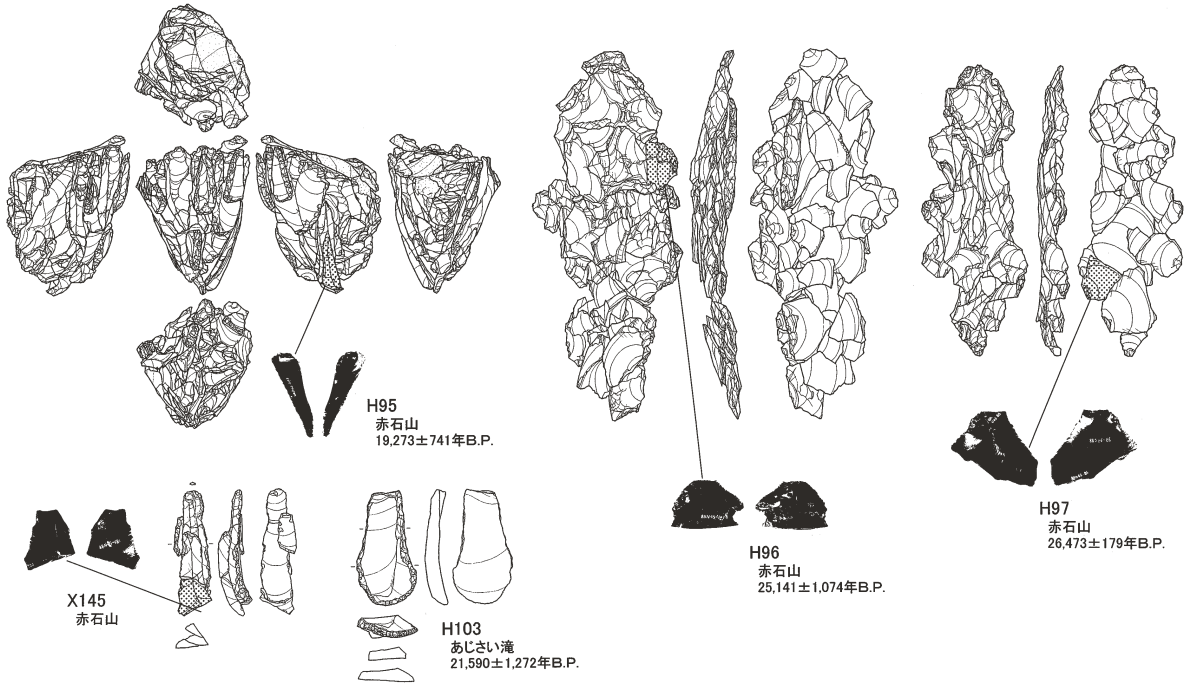
図 - 23 産地分析・水和層測定試料(6)

4 奥白滝1・上白滝5・北支湧別4遺跡出土の黒曜石製石器の原産地分析および非破壊分析による水和層の測定

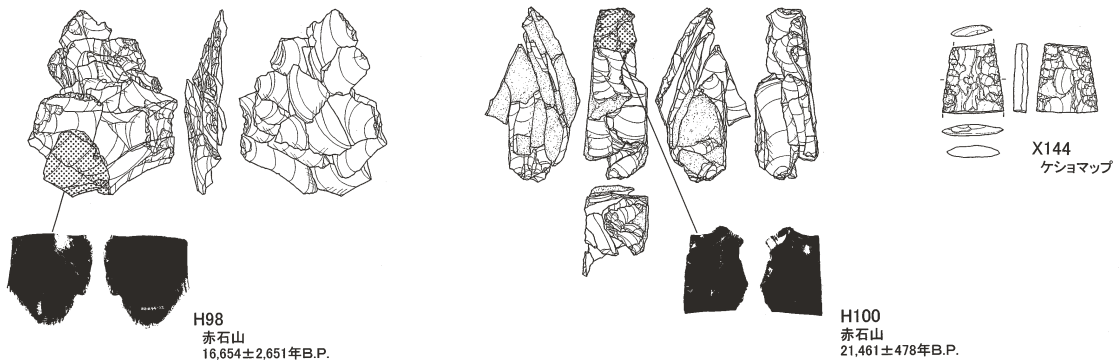
Sb-9



Sb-10



Sb-11



Sb-12

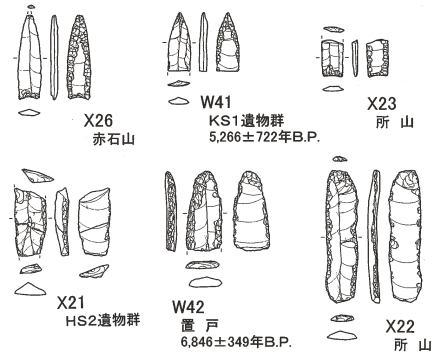


図 - 24 産地分析・水和層測定試料(7)

5 奥白滝 1 遺跡出土の碧玉製石器、剥片の産地分析

藁科 哲男

(京都大学原子炉実験所)

(1) はじめに

打製石器の原材料の共通の性質として、石質が緻密で、貝殻状剥離をする岩石が使用されている。石器原材の種類を、一般的には肉眼観察で推測し、それが真実のよう思われているのが実態である。岩石の種類は命名定義に従って岩石名を決定するが、非破壊で命名定義を求めるには限度があり、若干の傷を覚悟して硬度、光沢感、比重、結晶性、主成分組成を求めるなどくらいであり、非破壊で命名の主定義の結晶構造、屈折率などを正確には求められない。また原石名が決定されたのみでは考古学の資料としては不完全で、どこの産地原石が使用されているかの産地分析が行われて初めて、考古学に寄与できる資料となるのである。蛍光X線分析法により黒曜石およびサヌカイト製遺物の石材産地推定を行なっている^{1,2,3)}。石材移動を証明するには必要条件と十分条件を満たす必要がある。地質時代に自然の力で移動した岩石の出発露頭を元素分析で求めるとき、移動原石と露頭原石の組成が一致すれば必要条件を満たし、その露頭からの流れたル - トを地形学などで証明できれば、十分条件を満たし、ただ一カ所の一致する露頭産地の調査のみで移動原石の産地が特定できる。遺物の産地分析では『石器とある産地の原石が一致したからと言っても、他の産地にも一致する可能性があるために、一致した産地のものと言い切れないが、しかし一致しなかった場合その産地のものではないと言い切れる』が大原則である。碧玉は黒曜石、サヌカイトの様なマグマが急冷されて生成されたものではなく、熱水が関係し生成したとも言われ、長時間をかけて沈殿、置換など生成したといわれ、一鉱区であっても最初に出来た部分と最後に出来た部分の組成変動はかなり、大きいと推測され、産地を区別する元素組成の変動が各産地毎に大きいと思われるために、石器の元素組成とA産地原石の組成が一致し、必要条件を満足したとき、確かにA産地との交流で伝播した可能性は否定できなくなったが、B、C、Dの産地でないとの証拠がないために、A産地だと言い切れない。B産地と一致しなかった場合、結果は考古学の資料として非常に有用である。それは石器に関してはB産地と交流がなかったと言い切れる。ここで、十分条件として、可能なかぎり地球上の全ての原産地(A、B、C、D・・・)の原石群と比較して、A産地以外の産地とは一致しないことを十分条件として証明すれば、石器がA産地の原石と決定することができる。この十分条件を肉眼観察で求めることは分類基準が混乱し不可能であると思われる。また、自然科学的分析を用いても、全ての産地が区別できるかは、それぞれが使用している産地分析法によって、それぞれ異なり実際に行ってみなければ分からない。また、元素組成以外に碧玉に含有する常磁性イオンおよび自然界の放射線で生成した色中心など、鉱物に関する情報も産地分析に有用と思われ電子スピン共鳴分析(ESR)も併用した。ESR法は試料を全く破壊することなく、碧玉に含有されている常磁性種を分析し、その信号から碧玉産地間を区別する指標を見つけて、産地分析に利用した⁵⁾。

今回分析を行なった試料は、白滝村の奥白滝 1 遺跡から出土した碧玉製石器、石片の合計10個で、産地分析の結果が得られたので報告する。

(2) 碧玉原石の蛍光X線分析

玉材として古代から使用されている碧玉の蛍光X線スペクトルの例として島根県、花仙山産原石を図 - 25に示す。猿八産、玉谷産の原石から検出される蛍光X線ピ - クも異同はあるものの図 - 25

で示されるピークは観測される。土岐、興部の産地の碧玉は鉄の含有量が他の産地のものに比べて大きいのが特徴である。産地分析に用いる元素比組成は、Al/Si、K/Si、Ca/K、Ti/K、K/Fe、Rb/Fe、Fe/Zr、Rb/Zr、Sr/Zr、Y/Zrである。Mn/Fe、Ti/Fe、Nb/Zrの元素比は非常に小さく、小さい試料の場合測定誤差が大きくなるので定量的な判定の指標とはせず、判定のときに、Ba、La、Ceのピーク高さとともに、定性的に原材産地を判定する指標として用いている。

碧玉の原産地と原石の分析結果

分析した碧玉の原石の原産地を図 26に示す。佐渡猿八原産地は、新潟県佐渡郡畑野町猿八地区で、産出する原石は地元で青玉と呼ばれている緑色系の石で、良質なものは割れ面がガラス光沢を示し、質の良くないものは光沢の少ないグリーントフ的なものである。産出量は豊富であったらしく採石跡が何ヶ所も見られるが、今回分析した原石は猿八の各地点から表採したもの、および地元で提供された原石などであり、また提供されたものの中には露頭から得られたものがあり、それはグリーンタフ層の間に約7cm幅の良質の碧玉層が挟まれた原石であった。分析した原石の比重と個数は、比重が2.6~2.5の間のは31個、2.5~2.4の間は5個の合計36個で、この中には、茶色の碧玉も2個含まれている。原石の比重が2.6~2.3の範囲で違っても、碧玉の色が茶色、緑色、また、茶色系と緑色系の縞があるなど、多少色の違いがあっても分析した組成上には大きな差はみられなかった。出雲の花仙山は近世まで採掘が行われた原産地で、所在地は 島根県八束郡玉湯町玉造温泉地域である。産出する原石は、濃緑色から緑色の緻密で剥離面が光沢をもつ良質の碧玉から淡緑色から淡白色などいろいろで、他に硬度が低そうなグリーントフの様な原石も見られる。良質な原石の比重は2.5以上あり、質が悪くなるにしたがって比重は連続的に2.2まで低くなる。分析した原石は、比重が2.619~2.600の間のは10個、2.599~2.500は18個、2.499~2.400は7個、2.399~2.300は11個、2.299~2.200は11個、2.199~2.104は3個の合計60個である。比重から考えると碧玉からグリーントフまでの領域のものが分析されているのがわかる。花仙山産原石は色の違い、比重の違いによる分析組成の差はみられなかった。玉谷原産地は、兵庫県豊岡市辻、八代谷、日高町玉谷地域で産出する碧玉の色、石質などは肉眼では花仙山産の原石と全く区別がつかない。また、原石の中には緑色系に茶色系が混じるものもみられ、これは佐渡猿八産原石の同質のものによく似ている。比重も2.6以上あり、質は花仙山産、佐渡猿八産原石より緻密で優れた感じのものもみられる。このような良質の碧玉の採取は、産出量も少ないことから長時間をかけて注意深く行う必要がある。分析した玉谷産原石は、比重が2.644~2.600は23個、2.599~2.589は4個の合計27個で、玉谷産原石は色の違いによる分析組成の差はみられなかった。また、玉谷原石と一致する組成の原石は日高町八代谷、石井、アンラクなどで採取できる。二俣原産地は、石川県金沢市二俣町地域で、原石は二俣川の河原で採取できる。二俣川の源流は医王山であることから、露頭は医王山に存在する可能性がある。ここの河原で見られる碧玉原石は、大部分がグリーントフ中に層状、レンズ状に非常に緻密な部分として見られる。分析した4個の原石の中で、3個は同一塊から3分割したもので、1個は別の塊からのもので、前者の3個の比重は2.42で後者は2.34である。また元素組成は他の産地の組成と異なっており区別できる。しかし、この4個が二俣原産地から産出する碧玉原石の特徴を代表しているかどうか検証するために、さらに分析数を増やす必要がある。細入村の産地は、富山県婦負郡細入村割山定座岩地区にあり、そのグリーントフの岩脈に団塊として緻密な濃緑の碧玉質の部分が見られる。それは肉眼では、他の産地の碧玉と区別できず、また、出土する碧玉製の玉類とも非常に似た石質である。しかし、比重を分析した8個は2.25~2.12と非常に軽く、この比重の値で他の原産地と区別できる場合が多い。土岐原産地は、愛知県土岐市地域であり、ここでは赤色、黄色、緑色などが混じり合った原石が産出している。こ

表 - 23 各碧玉の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原石群名	分析回数	Al/Si	K/Si	Ca/K	Ti/K	K/Fe	Rb/Fe	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Mn/Fe	Ti/Fe	Nb/Zr	比重
		X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}
興部	31	0.011±0.003	0.580±0.320	0.123±0.137	0.061±0.049	0.022±0.006	0.070±0.021	174.08±124.9	16.990±13.44	0.688±0.435	1.801±1.434	0.004±0.003	0.001±0.001	0.455±0.855	2.626±0.032
空知A1	42	0.039±0.006	1.026±0.281	2.728±0.907	0.537±0.119	0.042±0.011	0.124±0.058	3.309±1.295	0.353±0.101	12.485±3.306	0.032±0.045	0.028±0.009	0.020±0.005	0.019±0.010	2.495±0.039
空知A2	46	0.021±0.008	0.866±0.447	0.797±0.393	0.225±0.050	0.032±0.006	0.039±0.007	25.866±11.50	1.023±0.499	7.433±4.531	0.378±0.198	0.009±0.003	0.006±0.002	0.118±0.167	2.632±0.012
空知B	47	0.064±0.004	3.600±0.328	0.088±0.068	0.101±0.009	0.242±0.037	0.460±0.055	2.137±0.274	0.974±0.110	0.190±0.082	0.137±0.022	0.015±0.002	0.022±0.004	0.134±0.024	2.607±0.001
霧八	36	0.046±0.007	3.691±0.548	0.049±0.068	0.058±0.013	0.370±0.205	0.384±0.153	1.860±1.070	0.590±0.185	0.139±0.127	0.165±0.138	0.003±0.001	0.018±0.010	0.032±0.014	2.543±0.049
土岐	5	0.006±0.004	0.361±0.131	0.072±0.063	0.068±0.063	0.023±0.005	0.096±0.025	43.067±23.28	4.056±2.545	0.271±0.308	0.158±0.180	0.001±0.001	0.001±0.001	0.072±0.160	2.607±0.009
玉石谷	27	0.025±0.009	0.625±0.297	0.110±0.052	0.476±0.104	0.045±0.014	0.151±0.170	6.190±1.059	0.940±0.205	0.192±0.170	0.158±0.075	0.006±0.003	0.016±0.003	0.054±0.021	2.619±0.014
花岡山1	27	0.019±0.004	0.909±0.437	0.171±0.108	0.222±0.098	0.059±0.019	0.225±0.028	10.633±3.616	2.345±0.693	0.476±0.192	0.088±0.052	0.001±0.001	0.009±0.002	0.042±0.034	2.570±0.044
花岡山2	33	0.023±0.003	1.178±0.324	0.157±0.180	0.229±0.139	0.055±0.015	0.219±0.028	12.673±2.988	2.723±0.519	0.472±0.164	0.172±0.071	0.001±0.001	0.009±0.004	0.035±0.025	2.308±0.079
細入	8	0.019±0.003	0.534±0.284	0.991±0.386	0.372±0.125	0.031±0.008	0.073±0.020	12.884±3.752	0.882±0.201	1.879±0.650	0.026±0.032	0.003±0.002	0.008±0.002	0.021±0.244	2.169±0.039
二俣	4	0.043±0.001	2.644±0.183	0.337±0.079	0.158±0.009	0.312±0.069	0.338±0.039	1.895±0.734	0.481±0.176	0.697±0.051	0.088±0.015	0.007±0.002	0.043±0.010	0.043±0.023	2.440±0.091
石戸	4	0.019±0.004	0.601±0.196	0.075±0.022	0.086±0.038	0.154±0.072	0.170±0.079	7.242±1.597	1.142±0.315	0.649±0.158	0.247±0.092	0.007±0.001	0.009±0.002	0.227±0.089	2.598±0.008
茂辺地川	4	0.031±0.002	1.847±0.246	0.077±0.024	0.222±0.052	0.092±0.021	0.190±0.052	5.366±1.549	0.980±0.044	0.300±0.032	0.171±0.027	0.003±0.008	0.016±0.001	0.132±0.069	2.536±0.033
茂辺地川	44	0.040±0.007	2.745±0.957	0.234±0.139	0.135±0.030	0.067±0.008	0.096±0.007	5.620±0.608	0.543±0.034	0.489±0.184	0.146±0.051	0.003±0.001	0.009±0.001	0.035±0.018	2.287±0.013

X_{av} : 平均値、
: 標準偏差値

表 - 24 各原石産地不明碧玉類、玉材の遺物群の元素比の平均値と標準偏差値

遺物群名	分析回数	Al/Si	K/Si	Ca/K	Ti/K	K/Fe	Rb/Fe	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Mn/Fe	Ti/Fe	Nb/Zr	比重
		X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}	X _{av}
女代南B	68	0.045±0.016	3.115±0.445	0.042±0.024	0.107±0.036	0.283±0.089	0.267±0.063	2.374±0.676	0.595±0.065	0.214±0.097	0.171±0.047	0.011±0.004	0.026±0.009	0.034±0.016	2.554±0.019
未定C	58	0.030±0.028	4.416±0.618	0.013±0.013	0.207±0.034	0.580±0.130	0.650±0.113	0.583±0.110	0.369±0.035	0.090±0.030	0.070±0.026	0.002±0.001	0.101±0.019	0.019±0.016	2.646±0.023
長塚(1)	47	0.036±0.004	3.325±0.347	0.033±0.005	0.439±0.050	0.294±0.037	0.361±0.040	2.756±0.473	0.980±0.110	0.472±0.083	0.379±0.143	0.005±0.001	0.094±0.013	0.022±0.016	2.533±0.016
長塚(2)	45	0.028±0.007	2.659±0.122	0.010±0.004	0.064±0.003	0.719±0.065	0.832±0.054	0.412±0.038	0.341±0.023	0.036±0.010	0.380±0.242	0.004±0.001	0.047±0.004	0.024±0.013	2.569±0.003
No.200-1	32	0.042±0.004	0.808±0.025	3.588±0.074	0.639±0.016	0.051±0.002	0.042±0.006	1.751±0.149	0.073±0.016	4.665±0.374	0.239±0.026	0.006±0.001	0.033±0.001	0.006±0.009	2.308
No.200-2	28	0.037±0.004	0.990±0.021	2.384±0.067	0.605±0.029	0.064±0.003	0.072±0.011	1.422±0.075	0.102±0.015	6.680±0.322	0.170±0.017	0.008±0.001	0.038±0.002	0.006±0.010	2.277
No.200-3	28	0.039±0.003	0.926±0.020	2.527±0.114	1.085±0.059	0.053±0.002	0.053±0.009	1.668±0.093	0.088±0.015	4.455±0.197	0.343±0.031	0.014±0.003	0.058±0.003	0.002±0.005	2.270
No.200-4	32	0.047±0.007	0.855±0.025	3.771±0.079	1.228±0.035	0.057±0.003	0.118±0.023	1.110±0.129	0.130±0.030	9.626±1.090	0.117±0.025	0.005±0.001	0.068±0.002	0.006±0.008	2.256
No.200-6	32	0.040±0.006	4.185±0.162	0.031±0.006	0.103±0.003	0.821±0.019	0.692±0.040	0.646±0.037	0.447±0.025	0.207±0.020	0.296±0.026	0.011±0.002	0.082±0.003	0.038±0.026	2.542
梅田1	40	0.021±0.003	1.204±0.094	0.066±0.017	0.143±0.008	0.065±0.005	0.220±0.029	12.333±0.882	2.710±0.421	0.273±0.374	0.741±0.134	0.001±0.000	0.009±0.001	0.014±0.019	2.579±0.013
梅田2	44	0.032±0.004	2.539±0.246	0.025±0.006	0.522±0.050	0.172±0.035	0.299±0.051	3.517±0.603	2.024±0.053	0.316±0.048	0.283±0.066	0.005±0.001	0.080±0.011	0.035±0.015	2.531±0.007
梅田3	40	0.027±0.003	1.911±0.062	0.020±0.007	0.518±0.010	0.261±0.012	0.430±0.017	3.262±0.209	1.401±0.057	0.338±0.028	0.386±0.048	0.005±0.001	0.121±0.005	0.033±0.027	2.511
梅田4	38	0.081±0.008	7.149±0.288	0.023±0.003	0.082±0.002	0.558±0.020	0.473±0.026	1.063±0.046	0.473±0.018	0.222±0.032	0.100±0.013	0.006±0.001	0.039±0.002	0.039±0.010	2.446
上ノ段1	42	0.014±0.002	0.413±0.046	0.054±0.026	0.395±0.040	0.053±0.005	0.223±0.020	3.772±0.448	0.833±0.068	0.077±0.037	0.296±0.053	0.006±0.001	0.019±0.001	0.014±0.018	2.636±0.001
梅田東1	51	0.030±0.007	1.974±0.317	0.026±0.011	0.529±0.061	0.192±0.011	0.219±0.019	2.366±0.474	0.512±0.089	0.072±0.024	0.101±0.042	0.008±0.001	0.095±0.014	0.027±0.018	2.541±0.016
新方1	67	0.062±0.005	1.868±0.115	1.640±0.137	0.733±0.069	0.078±0.012	0.111±0.205	1.610±0.264	0.175±0.018	8.298±0.619	0.078±0.019	0.050±0.020	0.046±0.006	0.027±0.009	2.290±0.018
新方2	39	0.056±0.005	4.152±0.162	0.226±0.181	0.313±0.010	0.212±0.019	0.297±0.018	3.847±0.314	1.137±0.057	0.649±0.095	0.139±0.053	0.010±0.003	0.061±0.004	0.032±0.017	2.546±0.011
新方3	30	0.044±0.008	0.912±0.178	2.416±0.174	0.786±0.267	0.080±0.011	0.086±0.018	1.685±0.413	0.144±0.050	7.449±1.605	0.182±0.056	0.068±0.027	0.057±0.013	0.007±0.007	2.257±0.024
新井1	51	0.046±0.004	3.875±0.879	0.316±0.069	0.234±0.004	0.146±0.018	0.255±0.021	1.874±0.168	0.476±0.020	1.994±0.080	0.077±0.022	0.084±0.001	0.035±0.001	0.021±0.011	2.482
霧井3	41	0.112±0.010	3.879±0.431	0.122±0.022	0.668±0.030	0.034±0.004	0.073±0.011	9.768±0.951	0.706±0.062	0.117±0.011	0.126±0.022	0.005±0.001	0.022±0.002	0.094±0.020	2.530±0.054
霧井2	40	0.118±0.001	0.466±0.010	0.376±0.009	0.108±0.004	0.020±0.001	0.087±0.004	48.841±6.946	4.250±0.538	0.756±0.136	0.056±0.074	0.001±0.000	0.002±0.000	0.115±0.058	2.190 吸水

X_{av} : 平均値、
: 標準偏差値

女代南B : 女代南遺跡(豊岡市)、未定C : 宇木汲田遺跡(津津市)、長塚(1)、(2) : 長塚古墳(可児市)、No.200-1~6 : 多摩二ウタウタ遺跡(東京都)、梅田1~4 : 梅田古墳(兵庫県和田山町)、梅田東1 : 梅田東古墳(兵庫県和田山町)、上ノ段1 : 上ノ段遺跡(兵庫県鳥町)、新方1~3 : 新方遺跡(神戸市)、新井1 : 新井三丁目遺跡(東京都中野区)、霧井1 : 霧井三丁目遺跡(京都市自然田)、東船1 : 東船遺跡(鳥根今津町)で使用されている原石産地不明の玉類で作った群

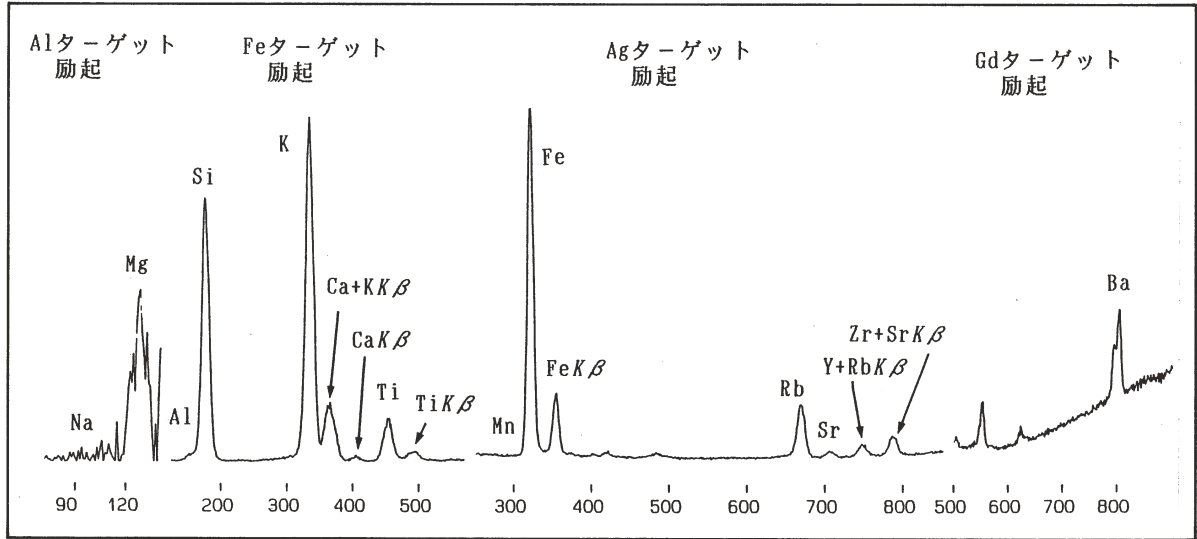


図 - 25 花仙山産碧玉・原石の蛍光X線スペクトル

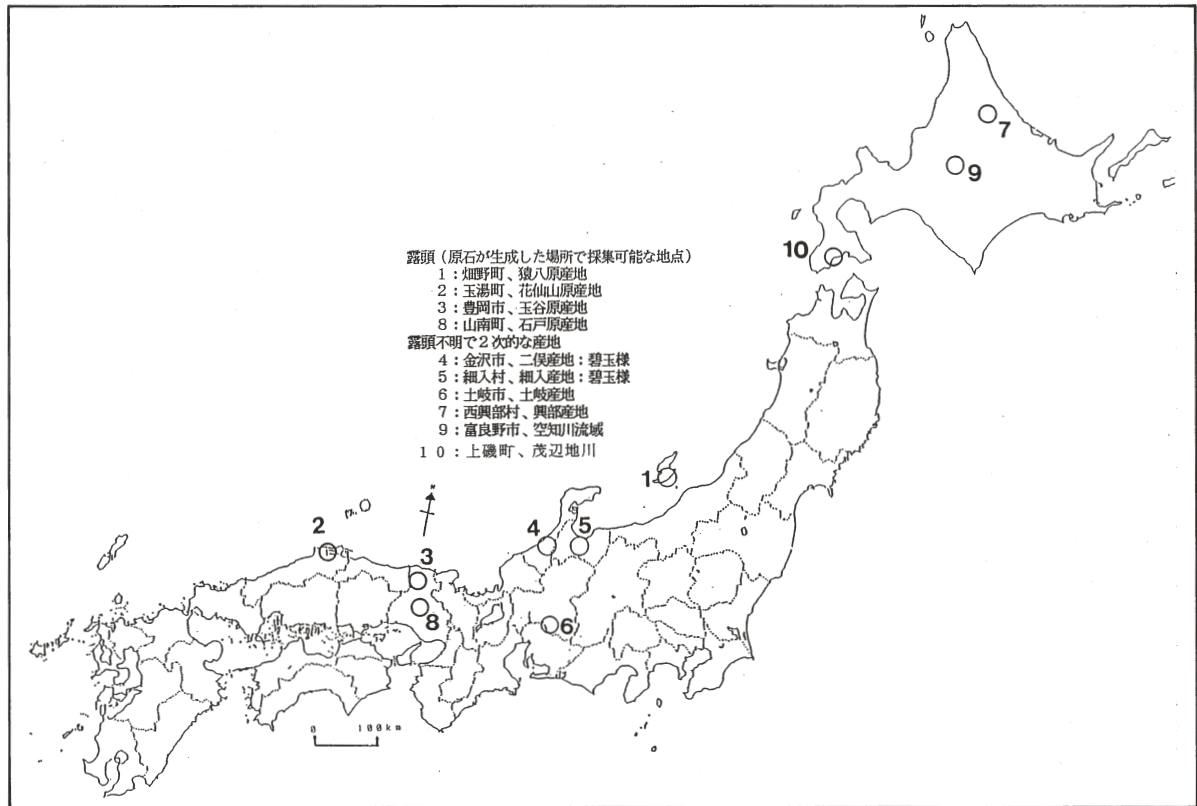


図 - 26 碧玉および碧玉様緑色石の原産地

のうち緻密な光沢のよい濃緑で比重が2.62~2.60の原石を碧玉として11個分析を行った。この原石は鉄の含有量が非常に大きく、カリウム含有量が小さいという特徴を持ち、この元素比の値で他の原産地と区別できる。興部産地は、北海道紋別郡西興部村にあり、その碧玉原石は鉄の含有量が非常に高く、他の原産地と区別する指標になっている。また、比重が2.6以下のものはなく遺物の産地を特定する指標として重要である。石戸の産地は、兵庫県氷上郡山南町地区にあり、その安山岩に脈岩として採取されるが産出量は非常に少ない。また元素組成から他の産地の碧玉と区別できる。北海道富良野市の空知川流域から採取される碧玉は濃い緑色で比重が2.6以上が4個、2.6~2.5が5個、

表 - 25 奥白滝 1 遺跡出土碧玉製石器・剥片の分析結果

遺物番号	分析番号	元 素 比													重 量 g ^r	比 重
		Al/Si	K/Si	Ca/K	Ti/K	K/Fe	Rb/Fe	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Mn/Fe	Ti/Fe	Nb/Zr		
J1	79920	0.010	1.004	0.076	0.020	0.017	0.070	255.052	17.766	1.497	0.513	0.004	0.001	0.545	2.61889	2.652
J2	79921	0.006	0.013	0.297	0.411	0.004	0.040	154.662	6.175	3.962	1.208	0.002	0.002	4.079	6.86859	2.589
J3	79922	0.014	0.744	0.076	0.042	0.018	0.062	365.149	22.786	1.711	1.539	0.002	0.001	0.371	22.08100	2.639
J4	79923	0.013	0.725	0.060	0.047	0.017	0.068	194.310	13.193	0.575	1.444	0.003	0.001	0.424	37.18330	2.597
J5	79924	0.008	0.022	0.978	0.587	0.002	0.013	69.637	0.927	0.783	2.157	0.003	0.002	0.963	37.18330	2.597
J6	79925	0.008	0.024	1.005	1.301	0.002	0.009	81.924	0.737	0.926	1.198	0.004	0.003	0.601	109.53250	2.552
J7	79926	0.008	0.023	0.867	0.814	0.002	0.012	41.589	0.500	0.469	0.916	0.004	0.003	0.567	5.33320	2.593
J8	79927	0.013	0.732	0.106	0.041	0.020	0.087	349.185	30.324	3.052	0.987	0.004	0.001	0.225	3.33408	2.621
J8	79928	0.009	0.031	0.377	0.477	0.004	0.008	249.774	2.114	1.450	6.736	0.003	0.002	0.810	4.64111	2.589
J9	79929	0.008	0.028	0.595	0.858	0.001	0.001	518.926	0.770	0.921	1.709	0.003	0.001	0.466	10.03620	2.608
J10	79930	0.009	0.821	0.082	0.051	0.017	0.069	194.521	13.452	1.473	0.989	0.003	0.001	0.122	8.80558	2.631
J11	79984	0.011	0.368	0.109	0.099	0.017	0.078	178.299	13.949	0.996	1.219	0.005	0.002	0.138	5.28496	2.592
J12	79985	0.012	0.614	0.061	0.023	0.019	0.091	651.856	59.056	2.354	4.566	0.003	0.000	0.000	0.39965	2.626
J13	79986	0.009	0.626	0.072	0.028	0.020	0.081	176.223	14.213	0.974	0.698	0.004	0.001	0.414	0.30144	2.634
JG-1 ^{a)}		0.067	3.392	0.774	0.237	0.111	0.263	3.795	0.998	1.345	0.281	0.024	0.024	0.079		

a): 標準試料、Ando,A., Kurasawa,H.,Ohmori,T. & Takeda,E.(1974). 1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal, Vol.8 175-192.

表 - 26 奥白滝 1 遺跡出土碧玉製石器・剥片の産地推定結果

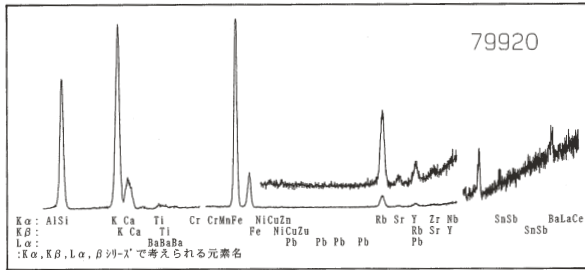
試料番号	分析番号	グリッド	遺物番号	挿図番号	碧玉製石器蛍光X線分析法による帰属確率						E S R 信号形	総合判定 原石産地	遺物群種名	備 考
					興部群	空知A群	空知B群	ケショマップ1	猿八群	土岐群				
J1	79920	L27	57	-294-26	3%	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	遺物過大	【興部】	縦長剥片	緑色
J2	79921	L27	100	-294-20	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	遺物過大		彫器	赤黄色
J3	79922	P23	2	-325-35	22%	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	1 × 10 ^{-8%}	遺物過大	【興部】	石刃	緑色
J4	79923	P24	5	-325-39	67%	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	遺物過大	【興部】	縦長剥片	緑色部
	79924				< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	遺物過大	黄色部		
J5	79925	P24	63	-326-49	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	遺物過大		石刃核	黄色
J6	79926	Q26	78	-325-43	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	遺物過大		石刃	黄色
J7	79927	Q27	21	-325-29	0.4%	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	遺物過大	【興部】	石刃	緑色
J8	79928	O34	66	-325-28	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	遺物過大		石刃	黄色
J9	79929	P32	5	-325-33	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	遺物過大		縦長剥片	茶黄色
J10	79930	P33	1143	-325-34	14%	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	1 × 10 ^{-6%}	遺物過大	【興部】	縦長剥片	緑色
J11	79984	R28	12	-	65%	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	0.0001%	遺物過大	【興部】	剥片	緑色
J12	79985	R26	-2	-	3%	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	興部形	興 部	剥片	緑色
J13	79986	Q30	-3	-	57%	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	< 10 ^{-10%}	0.0021%	遺物過大	【興部】	剥片	緑色

帰属確率は全ての産地について行い、表 - 26に記載していない、他の原石・遺物群には< 10^{-10%}であり、これら原石産地および遺物群に関係した遺跡と奥白滝 1 遺跡出土碧玉の原材は関係がない。

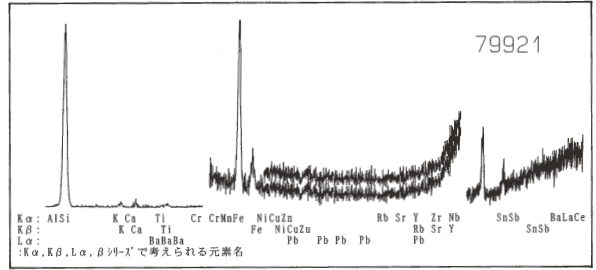
【興部】：試料が過大のため E S R 分析ができず、蛍光 X 線分析の結果のみで判定

2.5 ~ 2.4が5個である。その碧玉の露頭は不明で河原の礫から採取するため、短時間で良質の碧玉を多数収集することは困難である。また元素組成から他の産地の碧玉と区別できる。北海道上磯郡上磯町の茂辺地川の川原で採取される碧玉は不均一な色の物が多く、管玉に使用できる色の均一な部分を大きく取り出せる原石は少ない。留辺蘂町のケショマップ川と無加川の合流点付近で、北海道埋蔵文化財センターの谷島由貴氏が発見した碧玉で、原石は数センチの大きさと、ひびのため割ると1cm程度に粉碎してしまう。しかし、大きな碧玉も存在する可能性を推測して、この碧玉原石でケショマップ1群を作った。これら原石を原産地ごとに統計処理を行い、元素比の平均値と標準偏差値をもとめて母集団を作り表 - 23に示す。各母集団に原産地名を付けて、その産地の原石群、例えば花仙山群と呼ぶ。花仙山群は比重によって2個の群に分けて表に示したが比重は異なっても組成に大きな違

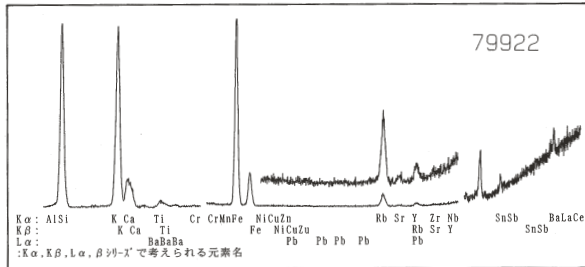
5 奥白滝1遺跡出土の碧玉製石器、剥片の産地分析



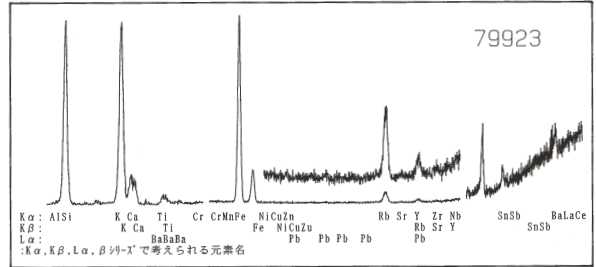
1 緑色碧玉製縦長剥片57 (79920)



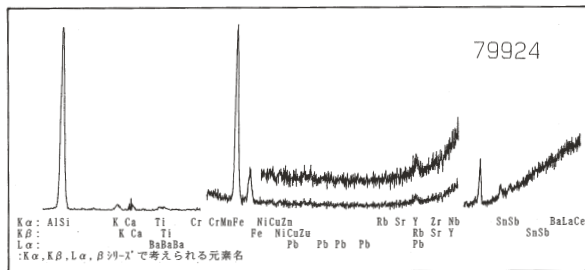
2 赤色部碧玉製彫器100 (79921)



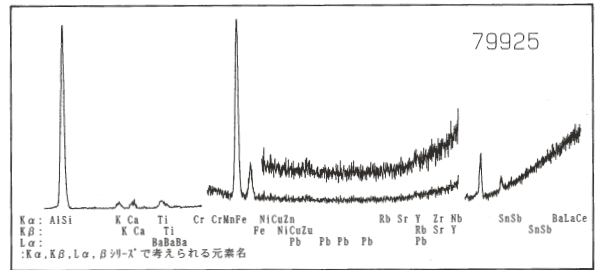
3 緑色碧玉製石刃2 (79922)



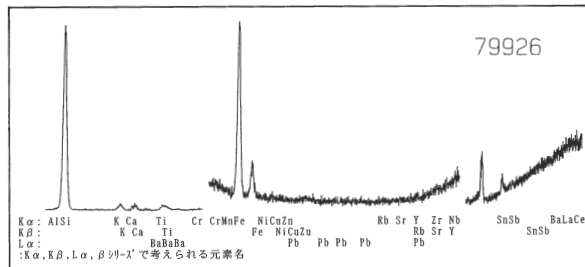
4 緑色部碧玉製縦長剥片5 (79923)



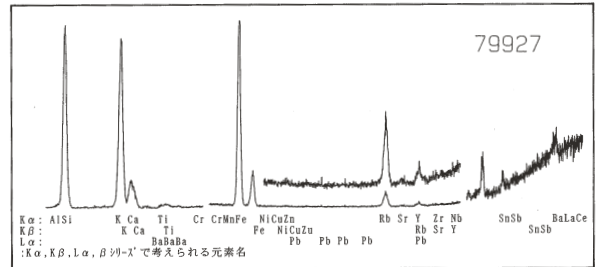
5 黄色部碧玉製縦長剥片5 (79924)



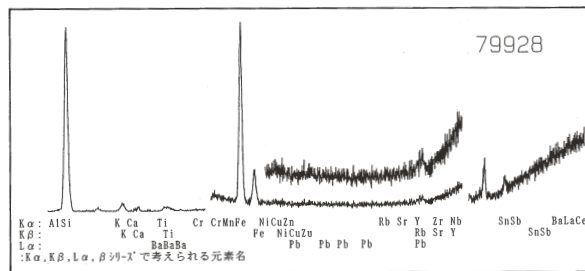
6 黄色碧玉製石刃核63 (79925)



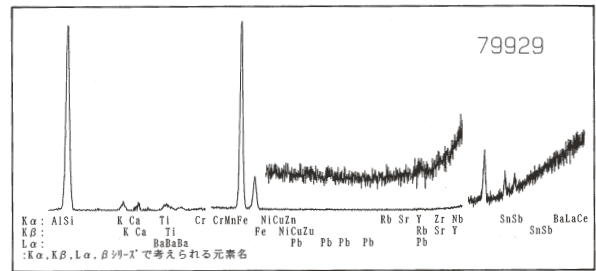
7 黄色碧玉製剥片78 (79926)



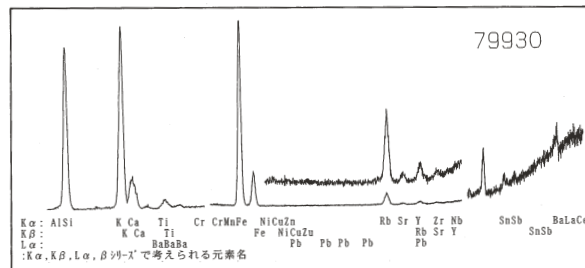
8 緑色碧玉製石刃21 (79927)



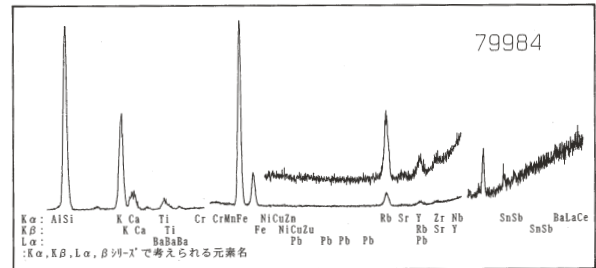
9 黄色碧玉製石刃66 (79928)



10 茶黄色碧玉製縦長剥片5 (79929)



11 緑色碧玉製縦長剥片1143 (79930)



12 緑色碧玉製剥片12 (79984)

図 - 27 奥白滝1遺跡出土遺物の蛍光X線スペクトル

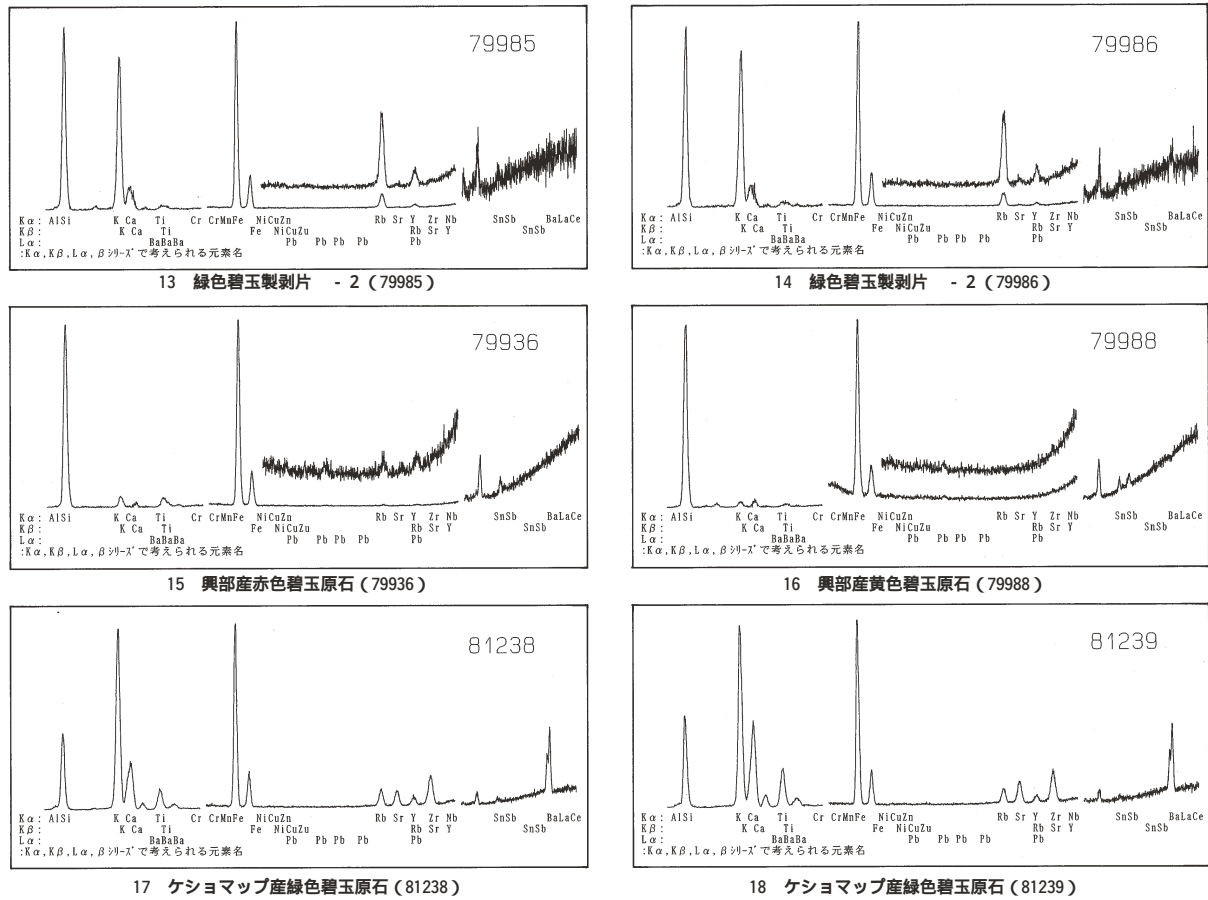


図 - 28 奥白滝1遺跡出土遺物、碧玉原石の蛍光X線スペクトル

いはみられない。したがって、統計処理は一緒にして行い、花仙山群として取り扱った。原石群とは異なるが、例えば、豊岡市女代南遺跡で主体的に使用されている原石産地不明の碧玉製の玉の原材料で、玉作り行程途中の遺物が多数出土している。当初、原石産地を探索するという目的で、これら玉、玉材遺物で作った女代南B（女代(B)）群であるが、同質の材料で作られた可能性がある玉類は最近の分析結果で日本全土に分布していることが明らかになってきた。宇木汲田遺跡の管玉に産地未発見の原石を使用した同質の材料で作られた管玉で作った未定C（未定(C)）群をそれぞれ原石群と同じように使用する。また、岐阜県可児市の長塚古墳出土の管玉で作った長塚(1)、(2)の遺物群、多摩ニュータウン遺跡、梅田古墳群、上ノ段遺跡、梅田東古墳群、新方遺跡などから出土した玉類および玉材剥片でそれぞれ遺物群を作り他の遺跡、墳墓から出土する玉類に組成が一致するか定量的に判定できるようにし、遺物群を表 - 24に示した。この他、鳥取県の福部村多鯨池、鳥取市防己尾岬などの自然露頭からの原石を4個分析した。比重は2.6以上あり元素比組成は、興部、玉谷、土岐石に似るが、他の原産地の原石とは組成で区別される。また、緑系の原石ではない。最近、兵庫県香住町の海岸から採取された親指大1個の碧玉様の玉材は貝殻状剥離がみられる緻密な石質で少し青っぽい緑の石材で玉の原材料になると思われる。この玉材の蛍光X線分析の結果では、興部産碧玉に似ているが、E SR信号および比重(2.35)が異なっているため、興部産碧玉と区別ができる。

(3) 奥白滝1遺跡出土の碧玉製石器、剥片と国内産碧玉原材との比較

遺跡から出土した玉類、玉材は表面の泥を超音波洗浄器で水洗するだけの完全な非破壊分析で行っ

ている。遺物の原材産地の同定をするために、(1) 蛍光X線法で求めた原石群と碧玉製遺物の分析結果を数理統計の手法を用いて比較をする定量的な判定法で行なう。(2) また、ESR分析法により各産地の原石の信号と遺物のそれを比較して、似た信号の原石の産地の原材であると推測する方法も応用した。

蛍光X線法による産地分析

これら玉類の蛍光X線分析のスペクトルを図-27・28に示し、比重および管玉の蛍光X線分析から原材料の元素組成比を求めて結果を表-25に示す。碧玉と分類した遺物は、緻密で、蛍光X線分析でRb、Sr、Y、Zrの各元素が容易に観測できるなどを条件に分類した。これら遺物の元素組成比の結果を碧玉原石群(表-23・24)の結果と比較してみる。分析個数が少なく統計処理ができる群が作れなかった産地については、原石の元素組成比を今回分析した遺物と比較したが一致するものは見られなかった。原石の数が多く分析

された原産地については、数理統計のマハラノビスの距離を求めて行うホテリングT²乗検定⁶⁾により同定を行ったところ、緑色碧玉製遺物の分析番号79920、79922、79923、79926、79930、79984、79985、79986番の8個は興部産原石群に信頼限界の0.1%以上で帰属され、必要条件を満たし、他の原石・遺物群(表-23・24)には信頼限界の0.1%に達しないことを確認したことにより、十分条件は満たされていて、これら8個は興部産と推測された。また、黄色と赤色部碧玉製遺物は緑色部と全く異なり、分析される元素はSi、Feが主体になりK、Ca、Rb、Sr、Yの各元素の含有量が極端に少なくなつて、鉄石英の蛍光X線分析の結果に酷似している。黄色、赤色系の碧玉製遺物の蛍光X線分析スペクトルは、興部産黄色、赤色碧玉原石の蛍光X線スペクトル、図-28-15・16に酷似し、定性的に同じ産地と言える。しかし、十分条件として他の産地の黄色、赤色系碧玉原石と蛍光X線分析の結果で区別できるか不明のため、蛍光X線スペクトルが一致したことのみで興部産と決定するのは危険である。また、奥白滝1遺跡から比較的近い位置にあるケショマップ黒曜石産地から碧玉原石も採取されることを、北海道埋蔵文化財センターの谷島由貴氏が発見したが、比重は2.3以下で石質は碧玉様で非常に緻密な緑色凝灰岩の可能性も推測できる原石は数センチの大きさで、産出量も少ない。この碧玉原石でケショマップ1群を作り、奥白滝1遺跡出土遺物と比較したが、信頼限界の0.1%以上で同定される遺物は見られず、ケショマップ産碧玉は使用されなかったとの結果が得られた。これら碧玉製遺物の群への帰属確率の結果を表-26に示した。より正確に産地を特定するためにESR分析を併用して産地分析を行った。

ESR法による産地分析

ESR分析は碧玉原石に含有されているイオンとか、碧玉が自然界からの放射線を受けてできた色中心などの常磁性種を分析し、その信号から碧玉産地間を区別する指標を見つけて、産地分析に利用

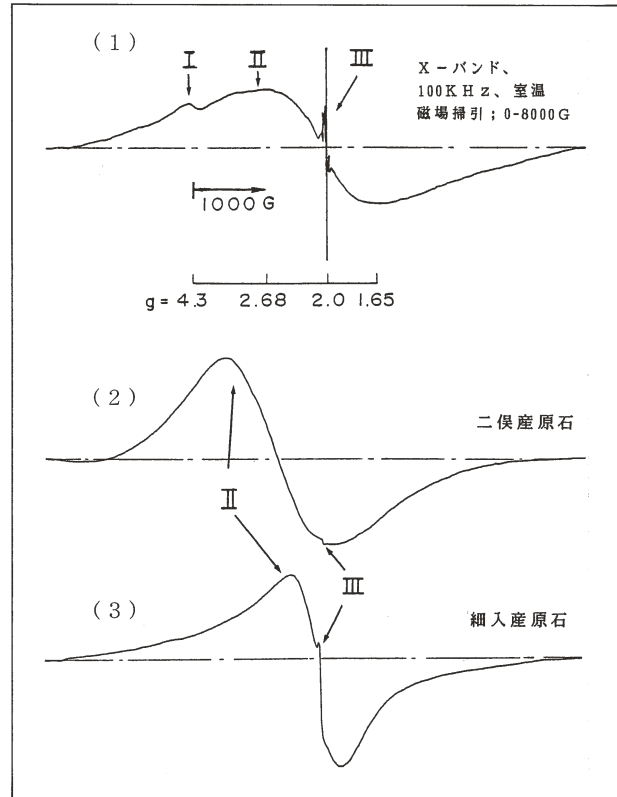


図-29 碧玉原石のESRスペクトル
(花仙山・玉谷・猿八・土岐)

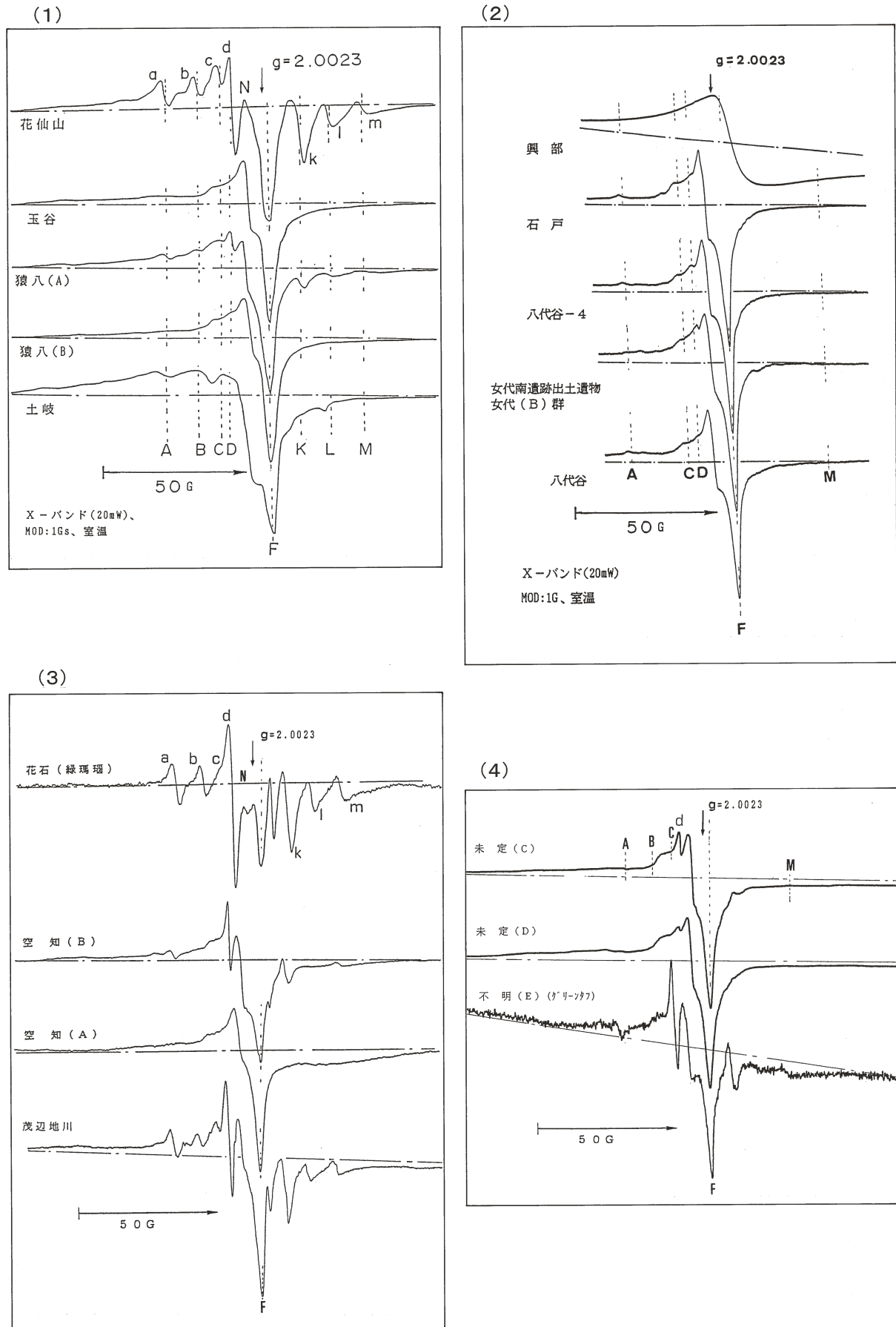


図 - 30 碧玉原石の信号()のESRスペクトル

した。ESRの測定は、完全な非破壊分析で、直径が11mm以下の管玉なら分析は可能で、小さい物は胡麻粒大で分析ができる場合がある。図 - 29 - (1)のESRのスペクトルは、幅広く磁場掃引したときに得られた信号スペクトルで、g値が4.3の小さな信号()は鉄イオンによる信号で、g値が2付近の幅の広い信号()と何本かの幅の狭いピーク群からなる信号()で構成されている。図

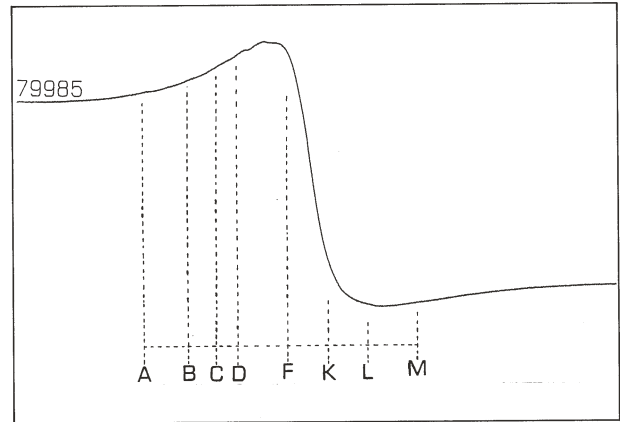


図 - 31 奥白滝1遺跡出土碧玉製剥片の信号()のESRスペクトル

- 29 - (1)では、信号()より信号()の信号の高さが高く、図 - 29 - (2) - (3)の二俣、細入原石ではこの高さが逆になっているため、原石産地の判定の指標に利用できる。例えば、碧玉遺物の中で信号()が信号()より小さい場合は、二俣、細入産でないといえる。各原産地の原石の信号()の信号の形は産地ごとに異同があり産地分析の指標となる。図 - 30 - (1)に花仙山、猿八、玉谷、土岐を図 - 30 - (2)に興部、石戸、八代谷 - 4、女代(B)遺物群、八代谷および図 - 30 - (3)に富良野市空知川の空知(A)(B)、北海道今金町花石および茂辺地川の各原石の代表的な信号()のスペクトルを示す。図 - 30 - (4)には宇木汲田遺跡の管玉で作った未定C形と未定D形およびグリ - ンタフ製管玉によく見られる不明E形を示した。ESR分析では玉材剥片と管玉のESR信号の形が、それぞれ似た信号を示す原石だったり、産地不明遺物群のESR信号形と一致した場合、その産地の可能性が大きいことを示唆している。今回分析した遺物は外形が11mmより大きく、分析できた碧玉製遺物は分析番号79985番の剥片のみで、ESR信号()の結果を図 - 31に示す。この信号に一致する産地は興部産緑色碧玉で、ESRスペクトルが一致した原石産地に特定するが、より正確な原石産地を推測するために蛍光X線分析の結果と組み合わせ総合判定として、両方法でともに同じ原産地に特定された場合のみ、その群の原石と同じものが使用されているとして総合判定原石産地の欄に結果(表 - 26)を記した。

(4) 結論

分析した碧玉製石器、剥片の産地分析結果で蛍光X線分析、ESR分析の両結果が興部産原石が使用されていると同定された遺物は、分析番号79985番のみで、遺物試料が過大でESR信号が分析されなかったが、蛍光X線分析の結果が興部産に同定された緑色碧玉製遺物は、分析番号79920、79922、79923、79926、79930、79984、79985、79986番の8個で、必要条件を満たし、また十分条件である他の、表 - 23・24の他の原石産地および遺物群に一致しないことが証明され、調査された原石、遺物群の中では興部産と言い切れるが、ESR分析でより正確さが求められなかったのが残念である。また、黄色と赤色部碧玉製遺物の蛍光X線分析結果は調査している原石・遺物群には一致せず、必要条件を満たした産地などは無かったが、十分条件として全ての原石・遺物群と一致しなかったと言う貴重な結果が得られた。したがって、奥白滝1遺跡は碧玉の石器原材に関して、興部産地以外の調査された産地、遺物群に関する遺跡と交流、交易などがなかったと推測しても産地分析の結果と矛盾しない。

参考文献

- 1) 茅原一也(1964)、長者ヶ原遺跡産のヒスイ(翡翠)について(概報)。長者ヶ原、新潟県糸魚川市教育委員会:63-73
- 2) 藁科哲男・東村武信(1987)、ヒスイの産地分析。富山市考古資料館紀要 6:1-18
- 3) 藁科哲男・東村武信(1990)、奈良県内遺跡出土のヒスイ製玉類の産地分析。橿原考古学研究所紀要『考古学論攷』, 14:95-109
- 4) 藁科哲男・東村武信(1983)、石器原材の産地分析。考古学と自然科学,16:59-89
- 5) Tetsuo Warashina(1992)、Allocation of Jasper Archeological Implements By Means of ESR and XRF. Journal of Archaeological Science 19:357-373
- 6) 東村武信(1976)、産地推定における統計的手法。考古学と自然科学,9:77-90

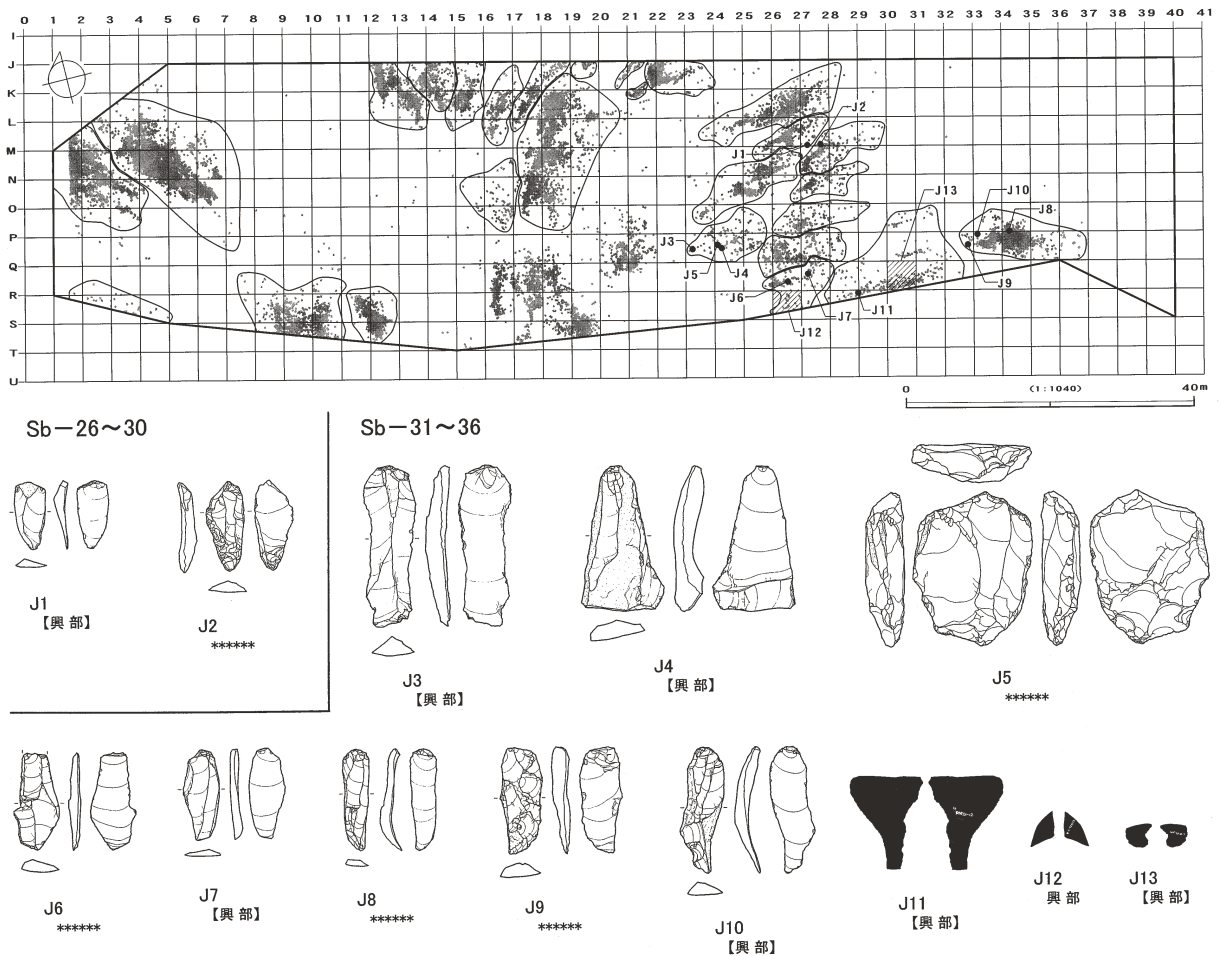


図 - 32 産地分析碧玉製石器

ま と め

1 奥白滝 1 遺跡について

奥白滝 1 遺跡では、647,321点、重量864,363.8gの遺物が出土し、このうち出土位置を記録した点取り遺物は84,105点、重量594,732.8gであった。これらは遺物分布をもとに44か所の石器ブロックに分け、さらに接合関係などから同時性が強いと思われる12の石器群を認定した。以下、それぞれの石器群について石器・石材組成、石器製作技術、分布、石器群の位置付け、年代について簡単に整理してみたい。

(1) 石器ブロック 1 ~ 3 (Sb - 1 ~ 3)

石器群 「白滝 群」(図 - 1)

石器・石材組成 点取り遺物602点、8,566.3gの石器類が出土した。定形的な石器は搔器・二次加工ある剥片・石核がみられる。石材は黒曜石のみで、特に黒曜石 1 が83.7%を占めている。

石器製作技術 剥片剥離技術と二次加工技術に分けて説明する。

剥片剥離技術 素材の形状は円礫・亜角礫が多く、剥片や原石の状態に遺跡に搬入されている。剥離技術は、 ~ 類に分類することができ、・ 類についてはそれぞれ a・b に細分できた。

類：扁平な石核の広い面で剥離作業を行うもの。

a類...主に片側の広い面で作業を行うもの。長幅比が 1 : 1 前後の薄手の剥片が剥離される。

b類...表裏両方の広い面で作業を行うもの。やや横長の剥片が剥離される。

類：主に素材の広い面を打面として剥離作業を行うもの。

a類...作業面が素材の小口面にあるもの。打面部が幅広で厚い剥片が剥離される。

b類...作業面が素材の細長い面にあるもの。縦長の剥片が剥離される。

類：打面と作業面を頻りに転移するもの。全体的に厚手で、やや横長の剥片・縦長剥片・片側縁が「く」の字状になる剥片・末端が幅広の剥片などが剥離される。

類は剥片素材、類は礫素材のものが大半で、類についてはどちらも素材となっている。各類とも基本的に打面調整・頭部調整はみられない。類の素材は a類や 類の初期段階で得られた剥片であることが接合資料から分かり、一部が搔器の転用である可能性が考えられる。

二次加工技術 二次加工ある剥片は、素材の形態を大きく変える加工が少ないため、選択された素材の形態や加工部位によっていくつかに分けることができる。このうち主体となっているのは末端まで厚手で、片側縁が急斜度で「く」の字状になっている剥片を素材とし、腹面側の「く」の字状の部位に加工がみられるものである。素材は 類の剥離技術から得られた剥片と思われる。その他に、末端部が薄手で長幅比 1 : 1 前後の剥片を素材とし、幅広の末端部に加工がみられるもの、大型で厚手の剥片を素材とするもの、縦長剥片を素材とするものがみられ、それぞれ、 a類、剥片剥離の初期段階、 類の剥離技術によって得られた剥片とみられる。

搔器は縦長剥片を素材とするものが主体で、加工部位は端部のみに施されるものが多い。素材は b類の剥離技術によって得られたものがみられる。

分布 各石器ブロックはやや離れ、Sb - 1の南側約17mにSb - 2、東側約25mにSb - 3が確認された。それぞれブロック内での接合関係が中心で、ブロック間では母岩別資料の共有が1母岩のみ確認された。Cb - 16はSb - 3の被熱石器の集中域に隣接している。被熱石器が18.8%みられ、全体的

にやや高い割合である。

石器群の位置付け ~ 類の剥離技術は函館市桔梗 2 遺跡（石川・長沼 1988）清水町共栄 3 遺跡の 層出土の石器（山原 1992）と類似している。また、腹面側の「く」の字状の縁辺に剥離がみられる二次加工ある剥片は千歳市祝梅三角山遺跡（吉崎・横山 1974）で同様の石器が出土している。これらの遺跡は後期旧石器時代前半期の中で最も古い位置付けがなされ（寺崎・山原 1999）、Sb - 1 ~ 3 もこのグループに含まれると考えられる。

年代 理化学的な年代測定を行っていないため、実年代に関するデータはない。（直江康雄）

（2）石器ブロック 4 ~ 6（Sb - 4 ~ 6）

石器群 「白滝 群」（図 - 1）

石器・石材組成 点取り遺物 1,289 点、14,536.9g の石器類が出土した。定形的な石器は錐形石器・二次加工ある剥片・石核がみられる。石材は黒曜石のみで、特に黒曜石 1 が 87.5% を占めている。また、黒曜石 2 が 8.5% みられ、他の石器群に比べ高い割合で利用されている。

石器製作技術 剥片剥離技術と二次加工技術に分けて説明する。

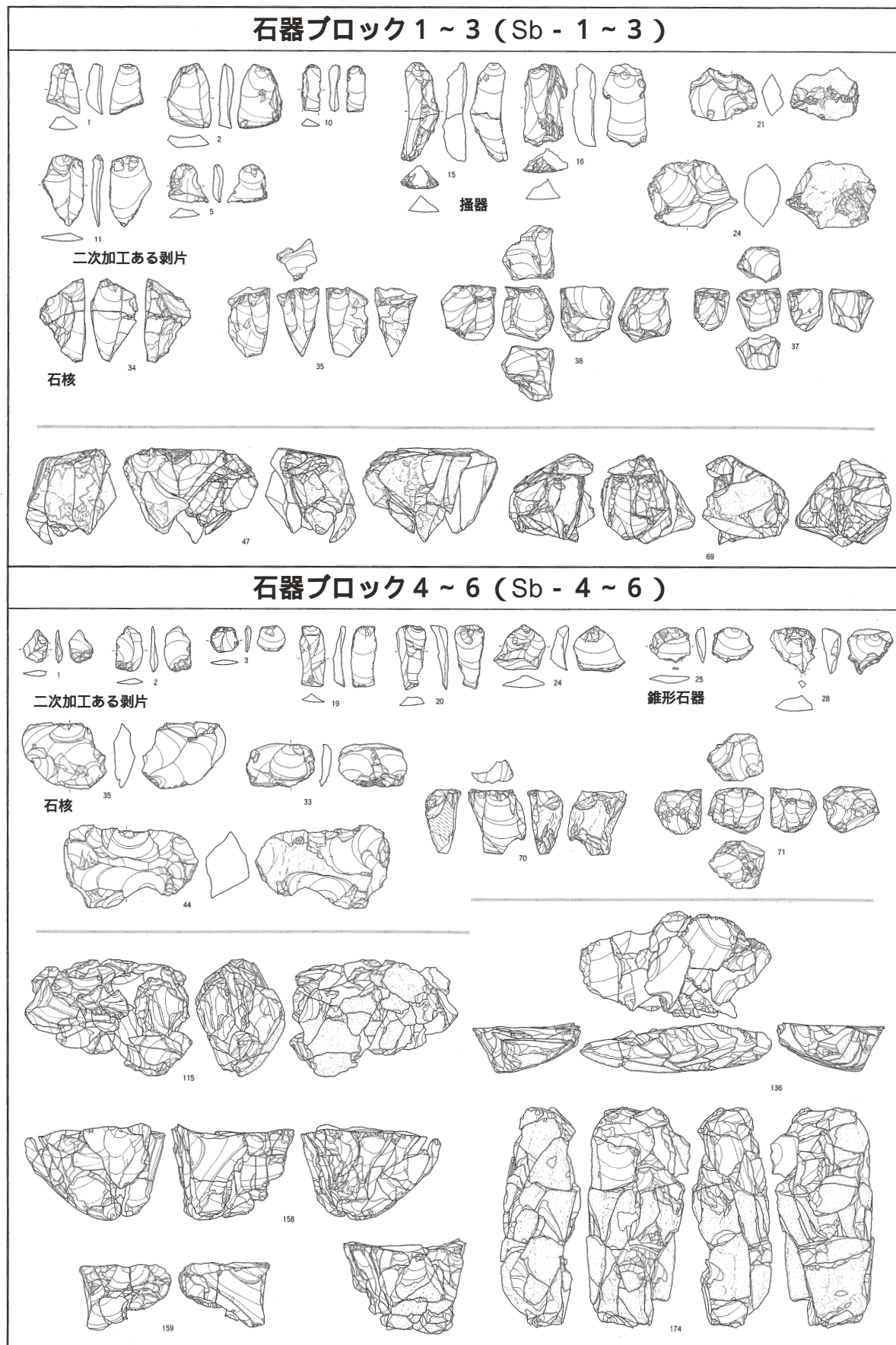
剥片剥離技術 素材の形状は円礫が多く、剥片・原石の状態に遺跡に搬入されている。剥片素材で搬入されているものを中心に産地分析を行った結果、1 個体のみケシヨマップ産でそれ以外は赤石山産であった（図 - 18）。Sb - 1 ~ 3 と同様の ~ 類の剥離技術がみられ、・類はそれぞれ a・b に細分することができた。類は剥片素材、類は礫素材のものが大半で、類についてはどちらも素材となっている。最も多いのが 類の剥離技術で、各 類とも基本的に打面調整・頭部調整は施されていない。接合資料から 類の素材は a・b・類の初期段階で得られた剥片であることが分かった。また、段階を追うごとに b 類と剥離技術を変える例（母岩 339・接合 52）、分割した石核にそれぞれ b・類の剥離技術を使用する例（母岩 341・接合 84）などがみられる。剥片剥離は遺跡内で完結することが多く、ほとんどの石核は遺跡に遺棄されている。

二次加工技術 二次加工ある剥片は末端が薄い剥片を素材とし、縁辺に軽微な加工が施されるものが主体となっている。中でも素材腹面のバルブを除去する加工が施され、先端部が尖頭形になるものが特徴的である。これらの素材は a 類の剥離技術から得られた剥片と思われる。また、縦長剥片を素材とし、腹面側の片側縁に軽微な加工がみられるものがあり、素材は b 類の剥離技術から得られている。その他に、破損した剥片に二次加工を施すもの、粗いノッチ状の加工がみられるもの、末端までほぼ同じ厚さの剥片を素材とするものがみられる。

錐形石器は剥片の末端部、打面と側縁の角に突出部が作出されるものがあり、片面加工と錯向剥離の二種がみられる。素材を供給した技術は b 類が多く、特に剥離が進行し、縁辺が急斜度で小口面化した状態から得られた打面部が厚い剥片が利用されている。

分布 各石器ブロックはやや離れ、Sb - 4 の南東側約 13m に Sb - 5、東側約 19m に Sb - 6 が確認された。それぞれブロック内での接合関係が中心で、ブロック間の接合は 4 例みられる。Cb - 10 は Sb - 4 の被熱石器の集中域、Cb - 13・18 はその周辺から確認されている。全体的に被熱石器が多く、30.1% みられ、特に Sb - 4 では 58.7% が被熱している。

石器群の位置付け ~ 類の剥片剥離技術は Sb - 1 ~ 3 と同様で、函館市桔梗 2 遺跡（石川・長沼 1988）清水町共栄 3 遺跡の 層出土の石器（山原 1992）と類似している。また、素材腹面のバルブを除去する二次加工ある剥片は共栄 3 遺跡、千歳市祝梅三角山遺跡（吉崎・横山 1974）で同様の石器が出土している。これらの遺跡は後期旧石器時代前半期の中で最も古い位置付けがなされ



(寺崎・山原 1999) Sb - 4 ~ 6もこのグループに含まれると考えられる。Sb - 1 ~ 3と比較すると剥片剥離技術は同様だが、石器組成に違いがみられる。現時点では両石器群が時期差によるものか行動パターンの違いによるものかは判断できない。

年代 Cb - 18は $15,850 \pm 150$ yBP、 $16,040 \pm 130$ yBP、 $18,230 \pm 190$ yBPの放射性炭素測定年代値が得られている。年代値がばらつき、2,500年近い開きがあるため直ちに採用することはできない。

(直江康雄)

(3) 石器ブロック7 ~ 10 (Sb - 7 ~ 10)

石器群 「紅葉山型」細石刃核を含む石器群(図 - 2・3)

石器・石材組成 点取り遺物2,706点、13,177.3gの石器類が出土した。定形的な石器は彫器・搔器・削器・錐形石器・二次加工ある剥片・細石刃・細石刃核・石刃・縦長剥片・削片・石刃核・石核がみられる。石刃・縦長剥片が多く25.4%で、細石刃は9.1%である。石材は黒曜石のみで、特に黒曜石1が多く94.4%を占めている。

石器製作技術 石刃・細石刃に関連する剥離のみで、他の剥片剥離技術はみられない。細石刃は石刃剥離から連続して行われている。石刃剥離技術・細石刃剥離技術に分けて説明する。

石刃剥離技術 角礫や亜角礫を原石の状態で遺跡に搬入しているものが多い。剥片素材で搬入されているものを中心に産地分析を行った結果、白滝産である赤石山産とあじさい滝産であった(図 - 19)。剥離工程は2種類に分かれる。一つは打面を作出後、原石の角をそのまま利用して石刃を剥離していくものである。初期段階では厚手の縦長剥片、剥離が進行していくと幅広の石刃が剥離され、それぞれ細石刃核、搔器の素材となることが多い。両設打面もあり、多くはヒンジを除去するための調整とみられる。もう一つは平坦な裏面から側面調整を行い、平面形をU字形、縦断面をV字形にして、両側面を中心に石刃剥離を行うもので、稜を交互剥離によって形成する場合もある。相対的に幅が狭く、末端が「し」の字状に内湾する石刃が多くみられる。剥離が進行すると作業面が全周に及び、石核形状が円錐形に近づいていく。どちらも基本的に打面再生 打面調整 石刃剥離を繰り返し、途中で石核下部に側面・下縁調整を施すものもみられる。

細石刃剥離技術 石刃剥離が進行し細石刃剥離に到るものは剥片素材が多く、礫素材の原石は小型で、どちらも平坦な裏面から側面調整を行うタイプが主体である。石刃剥離と同様に打面再生 打面調整 狭い範囲の集中的な細石刃剥離が繰り返し行われ、剥離が進行したものは細石刃剥離が全周した円錐形となる。打面調整は次に予定される作業面方向から施され、バルブが発達し末端がヒンジになるものが多い。細石刃の剥離は、この調整による打面の僅かな内湾を利用していたとみられ、石核の剥離角は90°に近い。細石刃は点・線状打面で、バルブが発達した薄手のものも多く、全体的に中間部が平坦で、末端部が腹面側に湾曲している。これらの特徴から細石刃は押圧剥離であった可能性があるが(大沼・久保田 1992、イニザン 1995) 詳細に計測したデータからの検証が必要であり、今後の課題としたい。

二次加工技術 細石刃の二次加工は使用による微細剥離も含めて、背面の片側縁にみられるものが多い。また、層出土ではあるが、腹面両側縁に薄手の平坦剥離が施されるものが1点みられる。石刃鎌の加工と異なり両側縁の角度はほとんど変化していない。彫器は石刃・縦長剥片を素材とする側刃型で、彫刀面の打面は調整面が多い。搔器の素材は石刃・縦長剥片・剥片がみられ、刃部が薄手のものと厚手のものがある。側縁の二次加工は軽微で、施されないものもある。すべて遺跡で素材を剥離し、加工が行われている。

石器ブロック7~10 (Sb - 7~10)

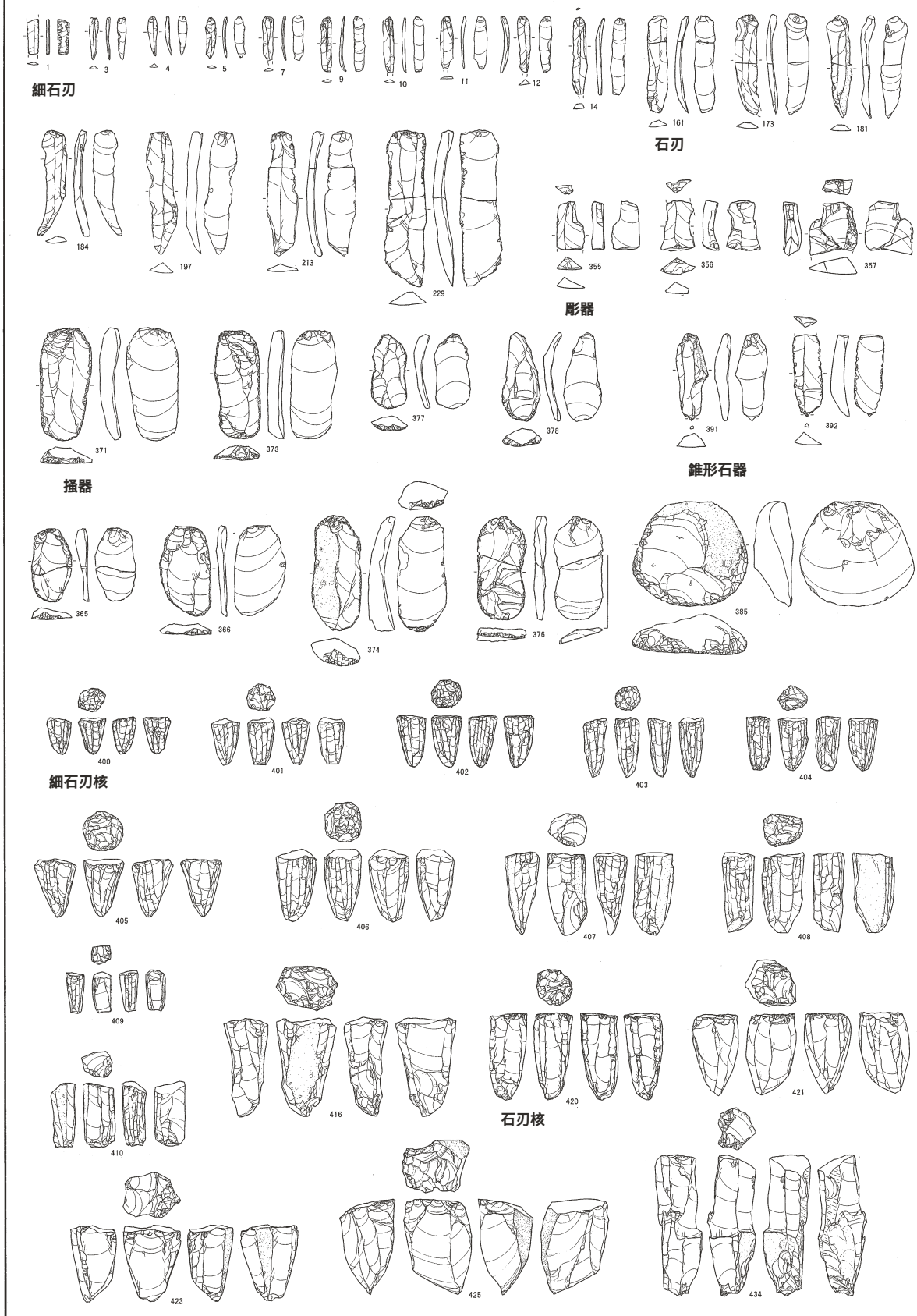


図 - 2 奥白滝1遺跡石器群別石器組成・接合資料(2)

分布 Sb - 7 ~ 9は隣り合い、Sb - 10がやや北東側に位置している。ブロック内・ブロック間での接合関係が密接にみられ、さらに二つの母岩が沢をはさんだ西側、直線距離で約340m離れた服部台2遺跡の「紅葉山型」細石刃核を含む石器群の出土石器と接合している(母岩19・接合1003、母岩25・接合1013)。それぞれの遺跡間接合の状況は異なり、母岩19・接合1003は服部台2資料のすべてが奥白滝1資料の内側に接合していることから、奥白滝1遺跡で石刃剥離が行われた後、服部台2遺跡に石刃核が搬出され、そこで石刃剥離が再開された可能性が高い。母岩25・接合1013は奥白滝1資料の中ほどの石刃1個体が服部台2資料であることから、奥白滝1遺跡で石刃剥離が行われ、その中から石刃を選択して服部台2遺跡に搬出された可能性が高い。なお、両母岩とも石刃核が出土していないため、さらに搬出されたと考えられる。

Cb - 1はSb - 8の集中域に隣接しているが、被熱石器は周辺にほとんど見られない。石器群の中ではSb - 9の石器が最も被熱している(4.2%)。

石器群の位置付け 道内で「紅葉山型」細石刃核が出土した遺跡は少なく、留辺蘂町紅葉山遺跡(藤本 1964)、置戸町置戸安住遺跡(戸沢 1967)で発掘調査によりまとまって確認されている。Sb - 7 ~ 10もこのグループに含まれると考えられ、従来の編年観によれば他の細石刃石器群との系統関係よりも縄文時代早期の石刃鎌文化との近縁関係が指摘され、旧石器時代の終末期に位置付けられていることが多い(林 1970、木村 1976、山原 2000)。今後は石器製作技術を含めた比較・検討が必要であろう。

年代 Cb - 1は $15,260 \pm 150$ yBP、 $15,570 \pm 130$ yBP、 $15,580 \pm 190$ yBPの放射性炭素測定年代値が得られている。また、石刃核に $13,706 \pm 811$ yBP、細石刃核に $18,315 \pm 1,335$ yBP、搔器に $20,184 \pm 1,185$ yBPの水和層測定年代値が得られている。放射性炭素年代はまとまっているが前述の年代観とは隔たりがあり、水和層年代のばらつきも大きく、採用には検討を要する。(直江康雄)

(4) 石器ブロック11・12 (Sb - 11・12)

石器群 大型の尖頭器を含む石器群(図 - 4)

石器・石材組成 点取り遺物14,434点、116,036.2gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器・両面調整石器・彫器・搔器・削器・錐形石器・二次加工ある剥片・細石刃・石刃・縦長剥片・石刃核・石核がみられる。石材は黒曜石1が83.7%を占める。頁岩が僅かにみられ、すべて石刃製の錐形石器・二次加工ある剥片となっている。黒曜石のうち、肉眼的に白滝産と異なる特徴があり、石器の状態が遺跡に搬入されているものについて産地分析を行った結果、白滝産である赤石山産とあじさい滝産であった(図 - 20)。

石器製作技術 尖頭器製作技術と石刃剥離技術に分けて説明する。

尖頭器製作技術 角礫を素材とし、粗い両面調整石器の状態が遺跡に搬入されている。大型の素材が多く、中には長さ40cmを越えるものもみられるが、尖頭器の表側のみの接合資料しか復元されず詳細は不明である。平坦な裏面から両側縁に急斜度な剥離を施し、断面がカマボコ形になるものや、削器が調整剥片と接合している例がある。多量の調整剥片の出土に対して、尖頭器が少量であることから、尖頭器の大部分は遺跡外に搬出されたとと思われる。

石刃剥離技術 素材の選択と石核調整が多様である。角礫を搬入して厚手の両面調整石器を製作し、側縁を作業面とする例、大きく粗割りされた状態で搬入し、打面を平坦で広い面に設定して稜調整を行う例、円礫を搬入して分割した素材を用いる例などがみられる。石刃剥離の際には打面再生・打面調整・頭部調整がみられ、削器の接合資料がある。

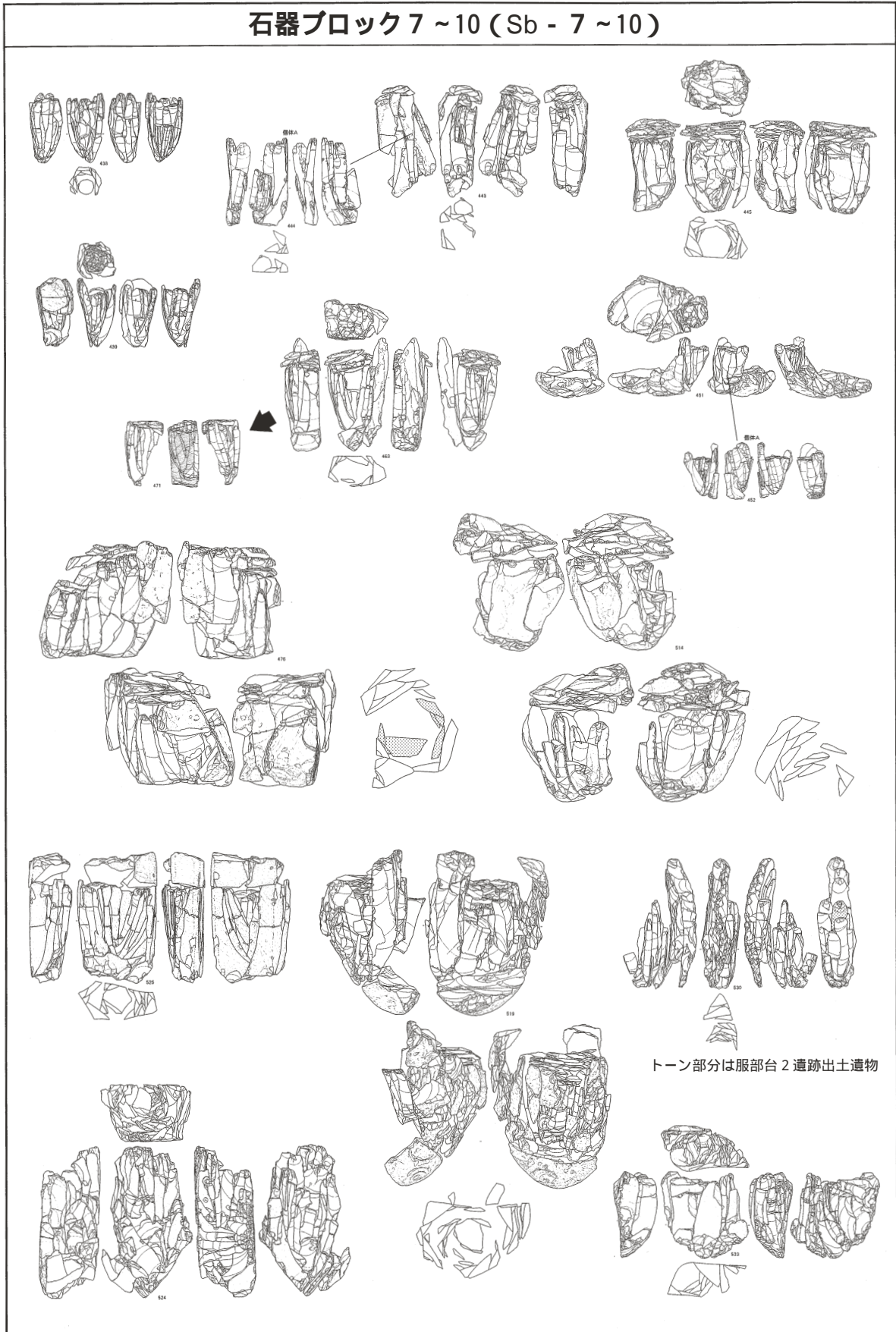


図 - 3 奥白滝 1 遺跡石器群別石器組成・接合資料 (3)

二次加工技術 全体的にツールは石刃素材のものが多い。彫器は大型石刃の末端部に軽微な調整を施し、彫刀面が腹面側に現れるものである。搔器は刃部の幅が狭いものが多く、上下両端に刃部がみられるものもある。錐形石器は頁岩製の石刃素材で、打面側に突出部が作出されている。

分布 両石器ブロックは隣り合って位置し、ブロック内を中心としてブロック間でも多数の接合関係が確認された。Cb - 4はSb - 12の集中域の南東側にあるが、Sb - 12の被熱石器は集中域の北東部にまとまっている。全体的に被熱石器は少なく0.8%である。

石器群の位置付け ツール類が少なく、石器組成の全体像は不明な点が多いが、接合資料から想定される大型の尖頭器を含む石器群は、旧石器時代の終末期に位置付けられることが多く(千葉 1985、寺崎 1996) Sb - 11・12もこのグループに入る可能性がある。また、接合資料中の両面調整石器を素材とする石刃技法は、美利河1遺跡(長沼編 1985)において大型尖頭器と同ブロック(Sb - 13)で出土したものと類似している。

年代 Cb - 4は $15,010 \pm 120$ yBPの放射性炭素測定年代値が得られている。測定資料が1例しかないため、採用には検討を要する。(直江康雄)

(5) 石器ブロック13 (Sb - 13)

石器群 尖頭器を含む石器群(図 - 4)

石器・石材組成 点取り遺物1,288点、7,263.5gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器・両面調整石器・彫器・搔器・削器・二次加工ある剥片・縦長剥片がみられる。石材は黒曜石1が77.2%を占める。頁岩が僅かにみられ、すべて搔器である。黒曜石のうち、肉眼的に白滝産と異なる特徴があり、石器の状態では遺跡に搬入されている搔器について産地分析を行った結果、所山産であった(図 - 20)。

石器製作技術 素材がわかる状態まで復元できた接合資料がなく、尖頭器・剥片剥離技術についての詳細は不明である。これは石器ブロックの南側半分が調査範囲外であるためと考えられる。

二次加工技術 彫器は厚手の石刃の打面側に左刃の彫刀面を作出するもので、左側縁に調整がみられる。搔器は石刃・縦長剥片を素材とし、刃部に最大幅があるものが主体で、頁岩製もみられる。

分布 数か所の小さな集中域がまとまった分布であり、ブロック内の接合関係はまばらである。

石器群の位置付け ブロックの全容は不明だが、石刃技法があり、尖頭器を中心とした石器組成であることから後期旧石器時代の後半に属すると考えられるが、細かな時期を決定付ける要素が乏しく詳細は不明である。

年代 理化学的な年代測定を行っていないため、実年代に関するデータはない。(直江康雄)

(6) 石器ブロック14 (Sb - 14)

石器群 尖頭器を含む石器群(図 - 4)

石器・石材組成 点取り遺物2,328点、9,296.9gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器・石核・台石がみられる。石材は黒曜石4が最も多く60.7%で、黒曜石3も加えると、茶色の入った黒曜石が全体の80.2%を占めている。また、黒曜石以外は安山岩のみで台石となっている。

石器製作技術 素材がわかる状態まで復元できた接合資料がないため、剥片剥離技術についての詳細は不明である。原石面の残存率が9.6%と低いことから、ブロック内では剥離の進んだ状態からの加工が中心であったとみられる。

分布 非常に密集した分布で、接合関係も集中域を中心としてまとまってみられる。

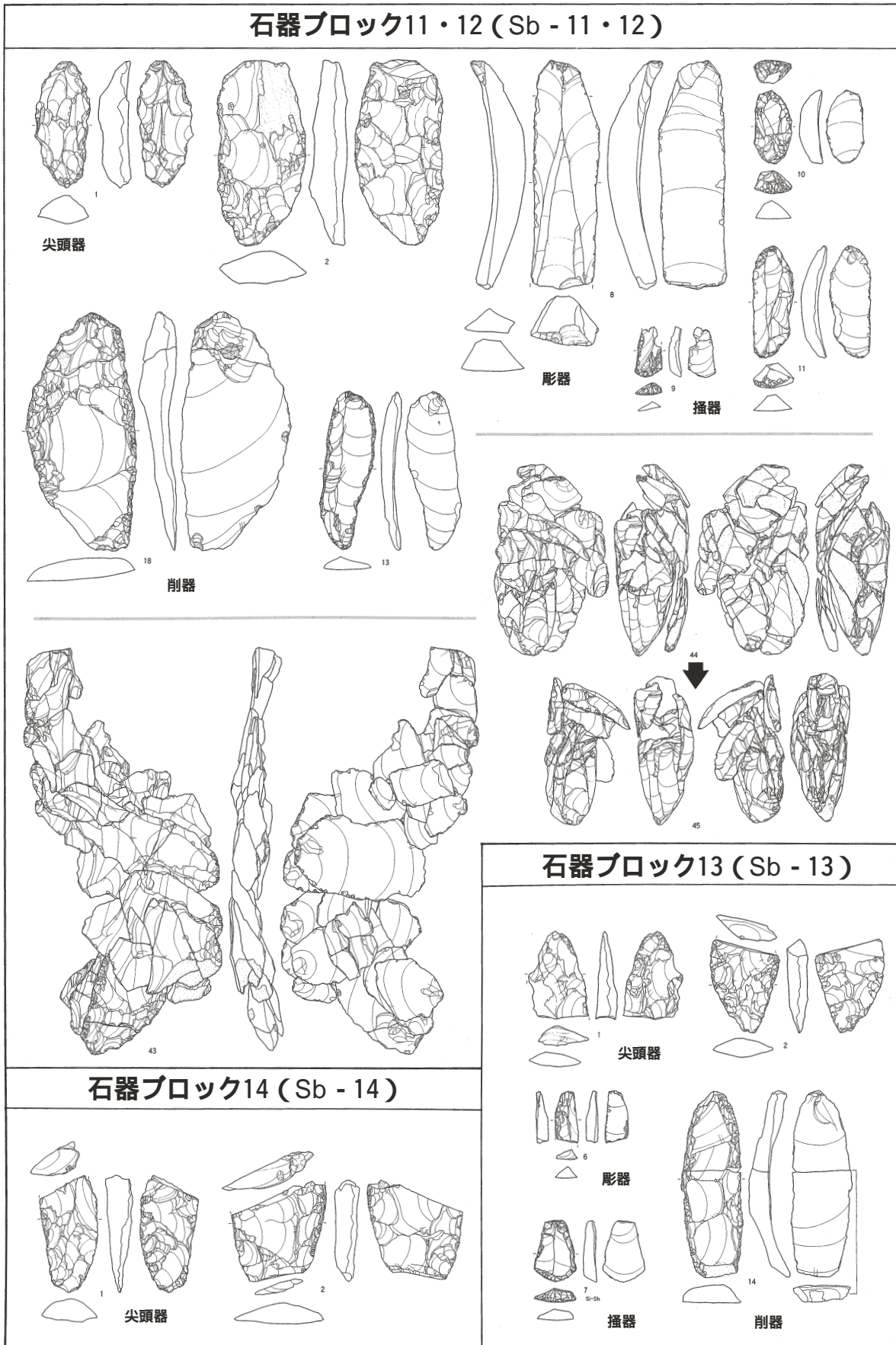


図 - 4 奥白滝1遺跡石器群別石器組成・接合資料(4)

石器群の位置付け ツール類が少なく、石器組成の全体像は不明な点が多い。尖頭器を中心とした石器組成であることから後期旧石器時代の後半に属すると考えられるが、細かな時期を決定付ける要素が乏しく詳細は不明である。

年代 理化学的な年代測定を行っていないため、実年代に関するデータはない。 (直江康雄)

(7) 石器ブロック15~21 (Sb - 15~21)

石器群 尖頭器を含む石器群 (図 - 5)

石器・石材組成 点取り遺物11,294点、65,722.9gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器・両面調整石器・彫器・搔器・削器・錐形石器・二次加工ある剥片・石刃・縦長剥片・石刃核・石核・削片・斧形石器がみられる。石材は黒曜石1が52.9%で、黒曜石4が30.0%である。黒曜石以外は頁岩・めのう・緑色泥岩がみられる。黒曜石のうち、肉眼的に白滝産と異なる特徴があり、石器の状態が遺跡に搬入されている尖頭器と剥片素材の尖頭器について産地分析を行った結果、前者に所山産・KS1遺物群・赤石山産・あじさい滝産がみられ、後者は赤石山産であった (図 - 20)。

石器製作技術 尖頭器製作技術と石刃剥離を含む剥片剥離技術に分けて説明する。

尖頭器製作技術 20~30cmの両面調整石器の状態が搬入されるものが主体で、その他に棒状の角礫、30cmを超える亜角礫を素材とするものがみられる。前二者は幅と厚さを減じる加工が行われ、途中で折損した場合、尖頭器として再加工されるものが多く、主に両側縁から折れ面を減じる集中的な加工が行われる。後者の初期段階では石刃・縦長剥片の剥離が行われ、打面再生剥片と石刃核部分が尖頭器の素材となっている。柳葉形になるものが多くみられ、最終的には図 - 209 - 1のように表裏面の両側縁が細かな加工によって仕上げられたと思われる。また、再加工品も含め、遺跡に遺棄される尖頭器・両面調整石器が多い。

剥片剥離技術 石刃剥離は前述の尖頭器剥離と同一個体で行われるものの他に、円礫を搬入して両面調整石器を製作し、側縁を作業面とするものと、裏面を扁平に整形して正面を作業面とするものがある。いずれも単設打面で、打面調整・頭部調整が施されるものもみられる。石刃は搔器・削器に加工されているものがあり、さらに前述の石刃核の母型となる両面調整石器の調整剥片は搔器の素材となっている。

剥片剥離では盤状の角礫を搬入して広い面と側縁の小口面で主に縦長剥片を剥離するものと、円礫を搬入して裏面からの急斜度剥離によって打面を確保しながら、正面で縦長剥片を剥離するものがある。前者は広い面で得られた幅広の素材を両面調整石器・二次加工ある剥片に、小口面で得られた厚手の素材を舟底形石器に加工している。後者は厚手の剥片が両面調整石器や腹面側で作業を行う石核の素材となっている。

二次加工技術 彫器は頁岩製の石刃素材で、周縁に腹面から加工を施し、素材の末端の腹面側に右刃の彫刀面を作出するものである。最終的に彫刀面を打面として背面側に軽微な剥離がみられる。また、同一母岩とみられる彫器削片が4個体出土していることから、遺跡内で刃部再生を行い、彫器は搬出されたとみられる。斧形石器は緑色泥岩製で、周縁を粗く加工した後、刃部を研磨するもので、遺跡内でわずかに再加工されている。

分布 Sb - 15~19・21は隣り合いながら東西約35mに広がって位置し、それぞれにブロック間の接合関係が多くみられる。Sb - 20はSb - 15~19の南側で、隣り合うSb - 21との接合関係のみ確認された。Cb - 6・7はSb - 20の集中域の北側、Cb - 9・11はSb - 21の集中域の東側にあり、炭化木片集中と被熱石器に対応関係はみられない。全体的に被熱石器は少なく3.3%である。

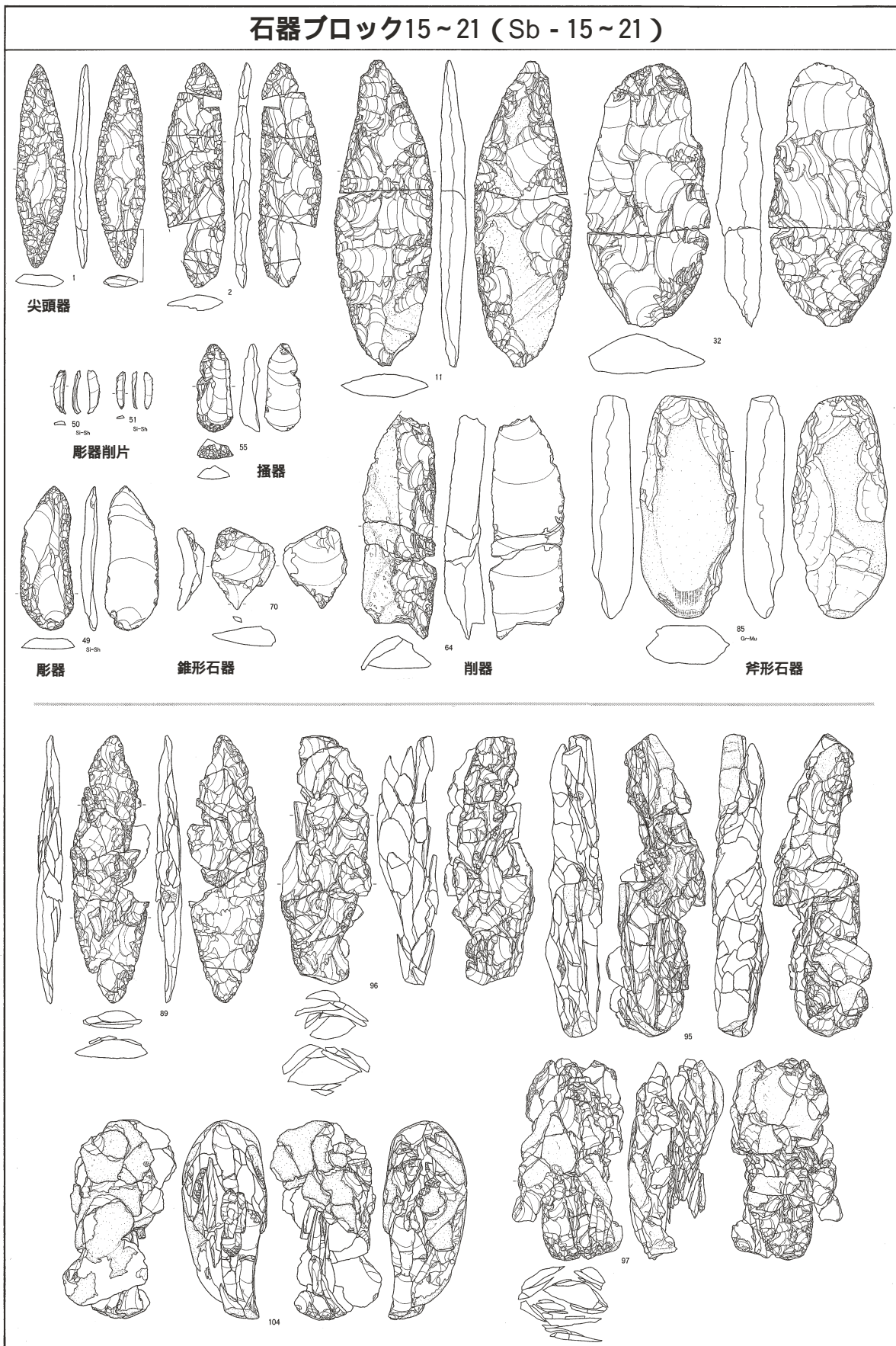


図 - 5 奥白滝1遺跡石器群別石器組成・接合資料(5)

石器群の位置付け 尖頭器以外のツール類が少なく、石器組成の全体像は不明な点が多い。石刃技法があり、尖頭器を中心とした石器組成であることから後期旧石器時代の後半に属すると考えられるが、細かな時期を決定付ける要素が乏しく詳細は不明である。

年代 C b - 6は $18,350 \pm 140$ yBP、C b - 9は $18,880 \pm 140$ yBP、C b - 11は $15,250 \pm 200$ yBP、 $15,100 \pm 130$ yBPの放射性炭素測定年代値が得られている。年代値がばらつき、3,000年近い開きがある。また、炭化木片集中と被熱石器の対応関係もみられないため、直ちに採用することはできない。(直江康雄)

(8) 石器ブロック22～25 (Sb - 22～25)

石器群 尖頭器を含む石器群(図 - 6)

石器・石材組成 点取り遺物9,141点、77,147.6gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器・両面調整石器・彫器・搔器・二次加工ある剥片・石刃・縦長剥片・石刃核・石核・削片・台石がみられる。石材は黒曜石1が88.9%を占め、黒曜石以外は頁岩・安山岩である。黒曜石のうち、肉眼的に白滝産と異なる特徴があり、石器の状態と遺跡に搬入されている尖頭器について産地分析を行った結果、赤井川産と赤石山産であった(図 - 20)。

石器製作技術 尖頭器製作技術と石刃剥離技術に分けて説明する。

尖頭器製作技術 20cm前後の大きさの円礫・垂角礫をほぼ原石の状態と遺跡に搬入しているものが多い。最も大きなものは28cmの円礫で、その他に剥片素材もみられる。縁辺全体にわたる加工と部分的な加工によって厚さと幅を減じ、柳葉形の尖頭器が製作され、ほとんどが遺跡外に搬出され、破損品はそのまま遺棄されている。赤井川産と判定された尖頭器は石器の状態と遺跡に搬入されたもので、形態的なバランスが悪く、途中何度かリダクションを経たものと思われる。

石刃剥離技術 石刃剥離は素材の選択と石核調整が多様である。20cm大の垂角礫を搬入し素材の角をそのまま作業面に利用するもの、円礫を搬入し両面調整石器を製作して石刃核の母型とするもの、角礫を素材とし頻りに打面・作業面転移を行うもの、拳大の円礫を搬入し打面をほぼ固定するものがみられる。前二者では打面調整・頭部調整がみられ、規格性が強い石刃が得られるのに対し、後二者では一部に頭部調整がみられ、打面が大きくバルブの発達した石刃が得られ、搔器が接合する例がある。どちらも石刃核の多くは遺棄されている。

二次加工技術 彫器は石刃を素材とし末端部に彫刀面を作出するもので、左刃・右刃がみられる。左刃の彫器は両側縁に急斜度の調整を施し基部側を細く整形している。彫刀面は調整打面から腹面側に作出されている。右刃の彫器の側縁調整は素材の形状をほとんど変えないもので、彫刀面は調整打面から側縁に作出されている。

分布 Sb - 23～25は隣り合い、Sb - 22はやや西側に離れて位置している。特にSb - 25では同一母岩毎に僅かに集中域を違えて、約 3×2 mの範囲から多量の遺物が集中して出土した。このような出土状況は他の石器ブロックではみられず、母岩毎に剥片を集め1か所にまとめて遺棄するような形成過程が考えられるが、今後様々な検証が必要であろう。接合関係はブロック内を中心とし、ブロック間ではSb - 25を中心として確認された。Cb - 14はSb - 25の集中域の東側、Cb - 15はSb - 25の集中域と重なり合っている。全体的に被熱石器は少なく1.8%で、Sb - 25のみにみられる。

石器群の位置付け 尖頭器以外のツール類が少なく、石器組成の全体像は不明な点が多い。石刃技法があり、尖頭器を中心とした石器組成であることから後期旧石器時代の後半に属すると考えられるが、細かな時期を決定付ける要素が乏しく詳細は不明である。

年代 C b - 15は $15,880 \pm 130$ yBP、 $16,130 \pm 160$ yBPの放射性炭素測定年代値が得られている。(直江康雄)

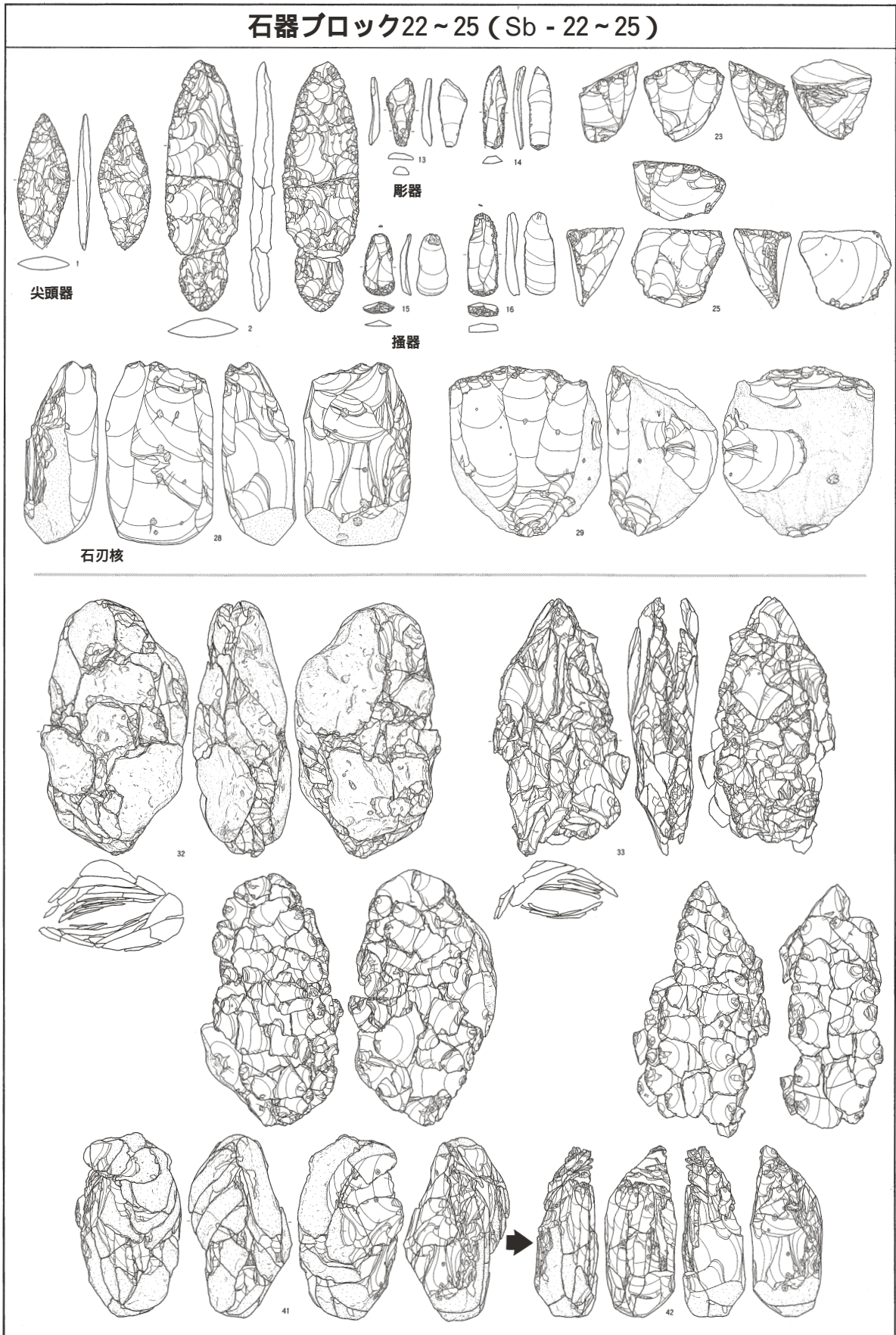


図 - 6 奥白滝1遺跡石器群別石器組成・接合資料(6)

(9) 石器ブロック26～30 (Sb - 26～30)

石器群 有舌尖頭器を含む石器群 (図 - 7)

石器・石材組成 点取り遺物6,439点、50,990.7gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器・両面調整石器・彫器・搔器・削器・二次加工ある剥片・細石刃・石刃・縦長剥片・石核がみられる。石材は黒曜石1が79.6%を占め、黒曜石以外は碧玉のみである。黒曜石のうち、肉眼的に白滝産と異なる特徴があり、石器の状態では遺跡に搬入されている有舌尖頭器と遺跡内で加工が行われている尖頭器について産地分析を行った結果、前者が所山産と赤石山産で、後者が赤石山産であった (図 - 21)。また、碧玉は産地分析の結果、すべて興部産である可能性が高い (図 - 32)。

石器製作技術 尖頭器製作技術と石刃剥離を含む剥片剥離技術に分けて説明する。

尖頭器剥離技術 25～30cmの大きさの角礫をほぼ原石の状態では遺跡に搬入しているものが多い。縁辺全体にわたる加工と部分的な加工によって厚さと幅を減しながら尖頭器が製作され、破損品を再加工している例もみられる。有舌尖頭器は石器の状態では遺跡に搬入され、明瞭なかえしがあり、舌部の縁辺が摩滅している。

剥片剥離技術 石刃剥離に関するまとまった接合資料がなく詳細は不明だが、石刃単体には打面・稜調整の痕跡がみられる。また、角柱状の角礫の状態では搬入され、原石の角をそのまま利用する両設打面の石核があり、主に縦長剥片が剥離されている。

二次加工技術 彫器は碧玉製で、素材の打面側に左刃の彫刀面を作出するものである。基部調整は背面左側縁に急斜度調整、裏面基部に平坦剥離がみられ、基部側を細く整形している。搔器の素材は石刃と尖頭器調整剥片で、どちらも器体中央部に最大幅がある。錐形石器はめのう製の石刃素材で、裏面からの加工によって突出部を作り出している。

分布 各石器ブロックは隣り合って位置し、ブロック内を中心としてブロック間でも多数の接合関係が確認された。被熱石器が少なく、全体の0.3%である。

石器群の位置付け 明瞭なかえしがあり、舌部の縁辺が摩滅した有舌尖頭器や黒曜石以外の石材による彫器・錐形石器がある石器群は、白滝遺跡群では上白滝2遺跡Sb - 1・2、上白滝6遺跡Sb - 2・3、北支湧別4遺跡Sb - 2・3と同様の特徴があり、有舌尖頭器石器群A (長沼 2000) と設定したグループに入ると思われる。これらは「忍路子型」細石刃核や「射的山 (広郷) 型」細石刃核の細石刃文化終末期からその消滅後に属すると考えられている (寺崎・山原 1999)。

年代 理化学的な年代測定を行っていないため、実年代に関するデータはない。 (直江康雄)

(10) 石器ブロック31～36 (Sb - 31～36)

石器群 有舌尖頭器を含む石器群 (図 - 8)

石器・石材組成 点取り遺物4,355点、41,393.9gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器・両面調整石器・搔器・削器・錐形石器・二次加工ある剥片・石刃・縦長剥片・石刃核・台石・石鏃がみられる。石材は黒曜石4が64.5%を占め、黒曜石1は29.5%であった。黒曜石以外の石材は碧玉・めのう・凝灰岩・頁岩がみられる。黒曜石のうち、肉眼的に白滝産と異なる特徴があり、石器の状態では遺跡に搬入されている有舌尖頭器・石刃・石鏃について産地分析を行った結果、有舌尖頭器1点が所山産でそれ以外は白滝産である赤石山産とあじさい滝産であった (図 - 21)。また、碧玉は産地分析の結果、すべて興部産である可能性が高い (図 - 32)。

石器製作技術 尖頭器製作技術と石刃剥離技術に分けて説明する。

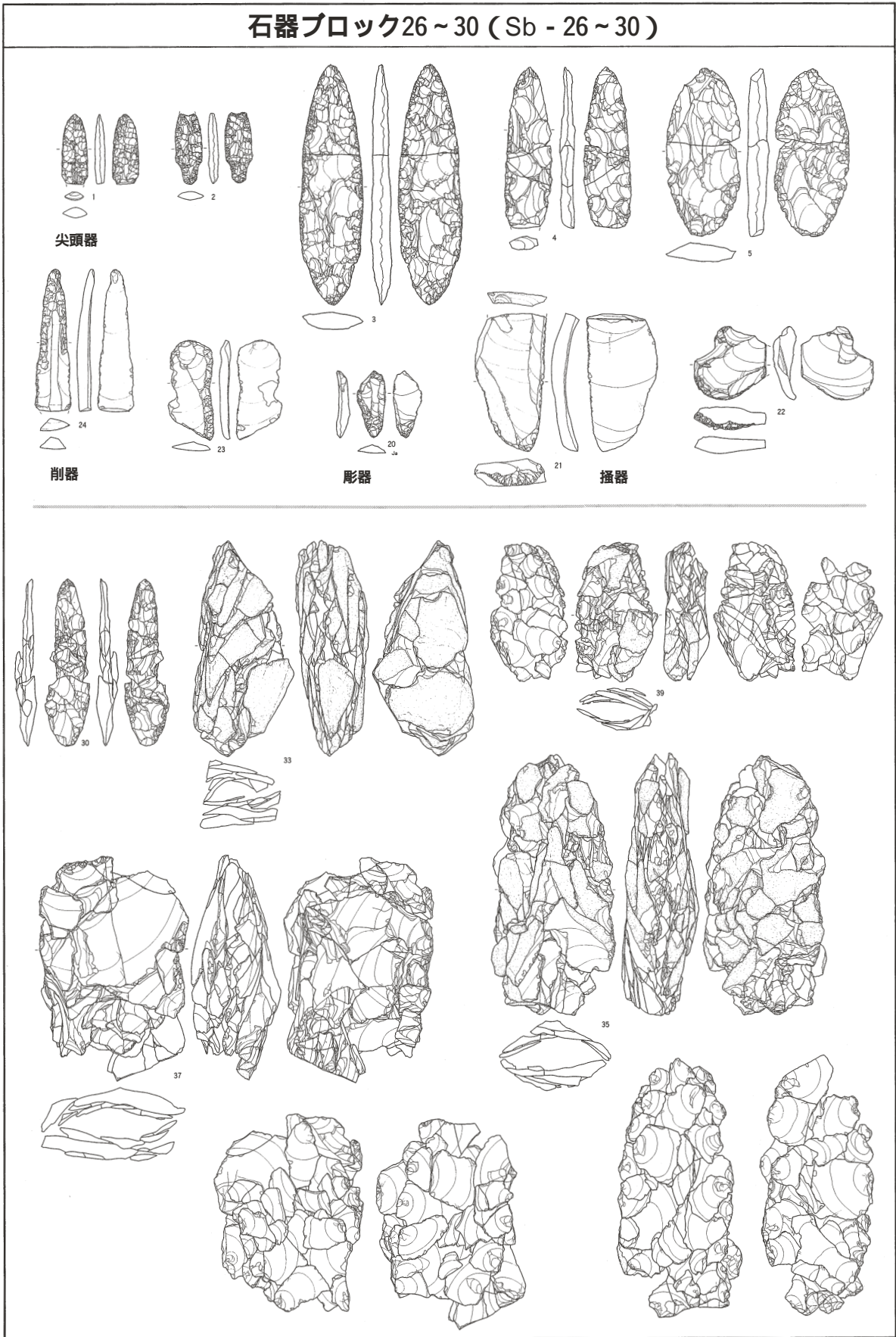


図 - 7 奥白滝1遺跡石器群別石器組成・接合資料(7)

尖頭器製作技術 30～35cmの大きさの角礫を粗い両面調整石器の状態に搬入しているものが多い。縁辺全体にわたる加工と部分的な加工によって厚さと幅を減じながら尖頭器が製作されている。35cm大の円礫を搬入し、初期段階で石刃・縦長剥片の剥離を行い、石核部分を尖頭器に加工するものもみられる。有舌尖頭器は石器の状態に搬入され、明瞭なかえしがあり、舌部の縁辺が摩滅している。

石刃剥離技術 素材の選択と石核調整が多様である。断面三角形の角礫を搬入して平坦面を裏面とし、稜調整・側面調整を行う例、断面三角形の角礫を搬入して平坦面を正面とし、左右の角をそのまま作業面に利用する例、柱状の角礫を搬入して上下に打面を設定する例などがみられる。石刃剥離では打面再生・打面調整・頭部調整が施されるものがあり、特に打面の縁を擦って潰す頭部調整が特徴的である。また、非接合石器で長さ約30cmの大型の縦長剥片や碧玉製の石刃がまとまってみられる。

二次加工技術 搔器は基部が尖頭形で、加工が正面全体に及ぶもので、刃部・縁辺の細かな加工とその他の部位で二重パティナが観察された。削器は尖頭部を作り出すものが多く、錐形石器はめこのう製の幅広剥片を素材とするものと、黒曜石製の石刃を素材として打面側に突出部を作出するものが見られる。

分布 各石器ブロックは隣り合いながら東西約55mに広がって位置し、ブロック内での接合を中心として、ブロック間にも接合関係が広がっている。特にSb - 31～34の間で密接な接合関係がみられる。全体的に被熱石器は少なく0.1%である。

石器群の位置付け 明瞭なかえしがあり、舌部の縁辺が摩滅した有舌尖頭器やめこのう製の錐形石器があるなど、Sb - 26～30と類似した点が多い。また、白滝遺跡群では上白滝2遺跡Sb - 1・2、上白滝6遺跡Sb - 2・3、北支湧別4遺跡Sb - 2・3と同様の特徴があり、有舌尖頭器石器群A（長沼 2000）と設定したグループに入ると考えられる。これらは「忍路子型」細石刃核や「射的山（広郷）型」細石刃核の細石刃文化終末期からその消滅後に属すると考えられている（寺崎・山原 1999）。

年代 炭化木片ブロックはなく、石鏃に14,886±781yBPの水和層年代測定値が得られている。測定資料が1例しかなく、石鏃の測定結果であるため、石器群の年代として採用には検討を要する。

（直江康雄）

（11）石器ブロック37（Sb - 37）

石器群 尖頭器を含む石器群（図 - 8）

石器・石材組成 点取り遺物119点、1,782.0gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器・削器・石核がみられる。石材は黒曜石1が77.3%を占め、黒曜石以外の石材は頁岩のみである。

石器製作技術 剥片剥離技術と二次加工技術に分けて説明する。

剥片剥離技術 拳大の円礫を搬入し、正面と上面で交互剥離を行うものが見られる。幅広の剥片が得られ、石核が遺棄されているがツールとの関係は不明である。

二次加工技術 削器は頁岩製の石刃素材で、両側縁に急斜度な加工が施されている。

分布 遺物はブロック内に散漫に広がり、接合関係も全体にまばらにみられる。被熱石器は出土していない。

石器群の位置付け ツール類が少なく、石器組成の全体像は不明な点が多い。尖頭器を中心とした石器組成であることから後期旧石器時代の後半に属すると考えられるが、細かな時期を決定付ける要素が乏しく詳細は不明である。



図 - 8 奥白滝1遺跡石器群別石器組成・接合資料(8)

年代 理化学的な年代測定を行っていないため、実年代に関するデータはない。 (直江康雄)

(12) 石器ブロック38～44 (Sb - 38～44)

石器群 尖頭器を含む石器群 (図 - 9)

石器・石材組成 点取り遺物29,939点、183,735.6gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器・両面調整石器・彫器・搔器・削器・錐形石器・舟底形石器・二次加工ある剥片・石刃・縦長剥片・石刃核・石核・斧形石器・砥石・敲石・石鏃がみられる。石材は黒曜石1が60.1%で、黒曜石4は27.3%であった。黒曜石以外の石材は安山岩・頁岩・めのう・粘板岩・緑色泥岩・砂岩・凝灰岩である。黒曜石のうち、石器の状態に遺跡に搬入されている搔器・削器・二次加工ある剥片・石鏃・つまみ付きナイフについて産地分析を行った結果、搔器にケショマップ産、削器に所山・十勝三股産、二次加工ある剥片に所山産がみられ、石鏃とつまみ付きナイフは赤石山産のみであった。接合資料中の両面調整石器・二次加工ある剥片について分析した結果は2点とも赤石山産であった (図 - 21)。

石器製作技術 尖頭器製作技術と石刃剥離を含めた剥片剥離技術に分けて説明する。

尖頭器製作技術 25cm前後の角礫・亜角礫を両面調整石器の状態に搬入し、縁辺全体にわたる加工と部分的な加工によって厚さと幅を減じながら木葉形で大型の尖頭器を製作するものと、15cm前後の円礫を原石の状態に搬入し、片面に急斜度な剥離を施して集中的に幅を減じ、断面が三角形で柳葉形の尖頭器を製作するものが主体である。前者は途中で折損した場合、尖頭器として再加工され、縁辺全体に急斜度の剥離が行われるものが多い。また、石刃核の初期段階の調整剥片を素材とする尖頭器もみられる。

剥片剥離技術 石刃剥離は素材の選択と石核調整が多様である。円礫を分割し、それぞれ分割面を裏面として側面調整を行うもの、角礫の状態に搬入され、側面調整・背稜の形成を行うもの、破損した両面調整石器を素材とするものなどがある。いずれも頭部調整が施され、一部に打面調整がみられる。

剥片剥離技術も多様で、剥片の腹面を主に打面として周回するように剥離を行うもの、角礫の小口面に作業面を固定して求心状に剥離を行うものなど、「白滝 群」の剥離と類似した技術がみられる。得られる剥片も打面が大きくバルブが発達するもので、寸詰まりの剥片や片側縁が「く」の字状の剥片など多様な形態が得られ、二次加工ある剥片や石核の素材となっているがサイコロ状の石核は出土していない。その他に剥片の両側縁を急斜度に剥離し、舟底状の石核が遺棄されるものがある。また、両面調整石器を製作し、器体に斜行する打面を作出して縦長剥片の剥離を行う「忍路子型」細石刃核の技術に類似するものがみられる。

二次加工技術 彫器は頁岩製の石刃を素材として上下両端に右刃の彫刀面を作出するものと、黒曜石製で素材の末端側に左刃の彫刀面を作出するものがみられる。後者は器体長軸に対する彫刀面の角度が小さく、彫刀面は背面側に現れる。右側縁は急斜度の二次加工が施され、断面が三角形となっている。搔器は大きく刃部に最大幅があるものと器体中央部に最大幅があり刃部幅が狭いものに分けられる。側縁調整はそれぞれ急斜度加工、軽微な加工、無調整がみられる。削器の素材は石刃と剥片があり、二次加工は深い平坦剥離、急斜度加工、軽微な加工がみられる。錐形石器は素材腹面からの急斜度剥離によって器体を棒状に整形するものである。二次加工ある剥片は打面が大きく、バルブが発達する剥片を素材とし、腹面の片側縁に加工が施されるものが主体で、「白滝 群」と類似したのもみられる。

分布 各石器ブロックは隣り合って位置し、ブロック内・ブロック間での接合関係が多くみられる。

石器ブロック38~44 (Sb - 38~44)

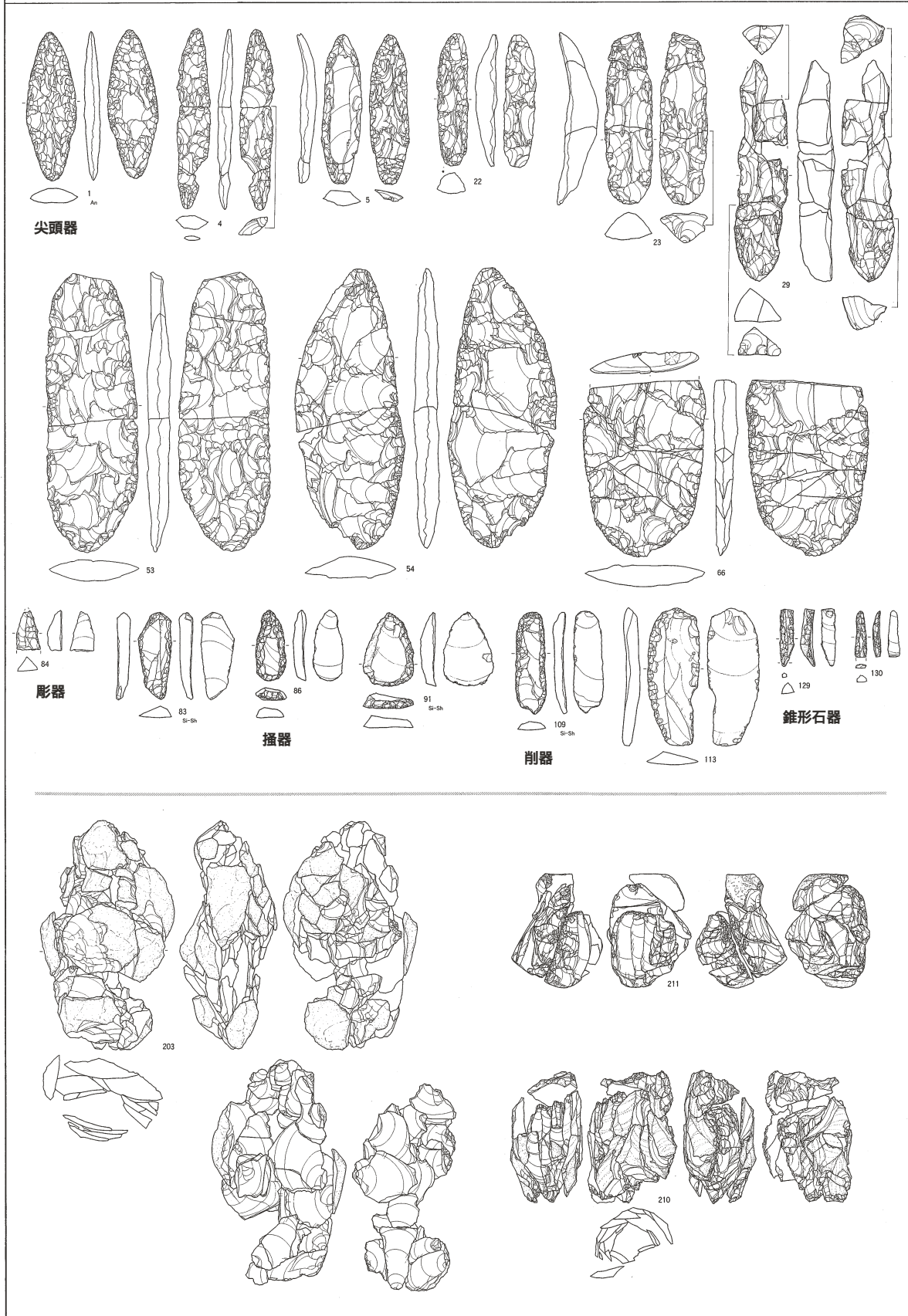


図 - 9 奥白滝1遺跡石器群別石器組成・接合資料(9)

2 上白滝5遺跡について

特にSb - 39~41・43の間で密接な接合関係があり、折れ面接合も広い範囲で確認されている。炭化木片集中は確認されていないが、被熱石器は全体で6.1%みられ、特にSb - 40・41で多く、それぞれ12.7%、11.6%である。

石器群の位置付け 全体的に見ると尖頭器や石刃核、石刃素材の搔器が石器組成の中心であるため、後期旧石器時代の後半に位置付けられるが、薄手で柳葉形の尖頭器、深い平坦剥離がある削器、棒状の錐形石器、石鏃、つまみ付きナイフ、砥石など縄文時代に属すると思われる石器も混在してみられる。特に錐形石器は縄文時代前期の網文式土器に伴う石錐に類似している。このような出土状況から、この石器群中の「白滝 群」に類似した石核・二次加工ある剥片は平面的・出土レベル的にも他の石器と分離できなかった状況を踏まえると縄文時代に属する可能性も考えられるが現時点で断定することはできない。

また、断面が三角形で柳葉形の尖頭器や「忍路子型」細石刃核の製作技術に類似した石核などは従来、道内での検出例がなく、今後、他の石器群との関連性を含めて検討していく必要がある。

年代 炭化木片ブロックはなく、両面調整石器に $21,999 \pm 1,434$ yBP、つまみ付きナイフの未成品の可能性ある搔器に $9,867 \pm 605$ yBP、削器に $7,090 \pm 259$ yBP、 $11,272 \pm 589$ yBP、 $14,142 \pm 583$ yBP、二次加工ある剥片に $11,673 \pm 351$ yBP、 $18,869 \pm 1,288$ yBP、石鏃に $3,328 \pm 11$ yBP、縄文時代の石槍と思われる尖頭器に $16,213 \pm 1,233$ yBP、つまみ付きナイフに $10,431 \pm 1,411$ yBPの水和層年代測定値が得られている。大まかに3,000年代、7,000~11,000年代、14,000~18,000年代、21,000年代に分けられ、同様の製作技術による器種間でも測定年代にばらつきがみられるため、個々の石器における年代値は直接採用できない。しかし、全体的に石器群が単純ではなく、他の時期に属する石器が混在していることが水和層の年代測定値からも表れている。 (直江康雄)

2 上白滝5遺跡について

上白滝5遺跡では、86,034点、166,009.4g(点取り遺物22,441点、140,021.3g)の石器が出土し、点取り遺物の分布をもとに12か所の石器ブロックを認定した。これらは、七つの石器群に分けられるが、ここでは、内容の不明なSb - 1・4を除いた五つの石器群についてまとめ、特にまとまった資料であるSb - 5、6~11の石器群に関しては項目毎にまとめ、石材の消費形態について考察を行う。

(1) 石器ブロック2 (Sb - 2)

本ブロックは、ほぼ一母岩(母岩3)で構成される。母岩3は転礫を素材として粗加工された状態で搬入され、縁辺部調整を伴わない加工により柳葉形の尖頭器に整形されている。加工は裏面の稜の頂部を打撃して行われるため、尖頭器の側縁は交互剥離状にギザギザしている。分布密度が高く、高低差を持って出土しており、ピット状の落ち込みに埋められた可能性がある。水和層年代測定の結果は、 $8,035 \pm 209$ yBP (H75)、 $8,056 \pm 185$ yBP (H76)、 $7,736 \pm 454$ yBP (H77)であり、石器表面の光沢もあることから縄文時代のものと考えられる。 (鈴木宏行)

(2) 石器ブロック3 (Sb - 3)

本ブロックは、ほぼ一母岩(母岩4)で構成される。石刃以外のツールは無い。母岩4は転礫を素材として一枚の大きな剥離で作出された打面から石刃が石核調整なしで剥離されている。縁辺を削ぎ落とすような頭部調整が行われ、石刃の打面形状は凸レンズの断面形に似る。原石形状から

石刃剥離に至るまでの全工程の特徴が「札滑型」細石刃核を含む石器群である上白滝2遺跡のSb - 3 ~ 6・10（鈴木ほか 2001）の石刃技法と類似している。水和層年代測定の結果は、10,857 ± 2,019yBP（H78）、12,334 ± 715yBP（H79）、12,214 ± 929yBP（H80）で、9,000 ~ 13,000yBPの範囲にほぼ収まり、特に11,000 ~ 13,000yBPにまとまっている。この年代は上白滝2遺跡のSb - 3 ~ 6・10（鈴木ほか 2001）の年代値に近似する。（鈴木宏行）

（3）石器ブロック5（Sb - 5）

石器・石材組成 定形的な石器は尖頭器・搔器・石刃・縦長剥片・石刃核・石核が出土しているが、ツールのほとんどは尖頭器と石刃である。石材は黒曜石1（66.7%）・黒曜石4（24.7%）が多く、石刃類はほとんど黒曜石1で、尖頭器は黒曜石1・4が利用されている。

石器製作技術 尖頭器製作技術と石刃剥離技術に分けられ、石刃剥離技術には尖頭器製作を含むものがある。

<尖頭器製作技術> 石核素材と剥片素材に分けられる（図 - 10）。石核素材のものは主に亜角礫・角礫を素材として両面調整体・原石・石刃核母型で搬入されている。両面調整体は粗い加工による大型の尖頭器で、加工はまず断面形が上下対称になるように突出部を中心に行われた後、器体全体に行われ、断面形が相似的に小型化する。原石は粗い加工が行われた後、両面調整体と同様の段階を経る。石刃核母型の母岩³⁴は両面体で搬入され、縁辺と側面での石刃剥離により、相似的に小型化した後、尖頭器の加工が行われる。また、母岩¹⁰²は横断面三角形の母型で搬入され、石刃剥離により扁平になった後、尖頭器の加工が行われる。

剥片素材のものは遺跡外で剥離され素材で搬入されたものと原石で搬入され、遺跡内で素材剥離が行われたものがある。原石で搬入された母岩⁶²（図 - 11）は転礫素材で、剥離された大型の剥片・石核から7点の尖頭器が製作されている。尖頭器素材の剥片を剥離することを目的とした母岩である。原石の端部を剥離し、その面を打面として角部で剥片を剥離することにより帽子状の剥片を剥離し、尖頭器の素材としている。一連の剥離により石核形状は直方体になり、さらに、それから剥離された剥片・石核も素材となっている。母岩⁸¹（図 - 11）は転礫素材で、原石の短軸方向に幅広の剥片を剥離し、さらに、その面を打面として両側面で剥離を行い、同様な幅広の剥片が剥離され、結果として石核は舟形になる。最も大きな剥片は尖頭器に加工されているが、このような横長剥片を剥離する一連の剥離技術は、大型剥片で搬入された母岩^{59・77}でも行われ、単品尖頭器にも横長剥片素材が多いことから多用された技術であったと考えられる。素材の横長剥片は中央に稜を持つものが多く、加工はまずその凸面を中心に行われる。突出部が除去され、断面形が弧状になった段階で全面的な加工に移行し、相似的に幅・厚さが減じられる。尖頭器の加工にあたって縁辺部を擦り潰すような調整が行われることがある。

図 - 10は接合資料の搬入形態と搬出形態を表した図である。外側の線は搬入時の形態を復元したものであり、トーンの外形は接合資料の最終段階で剥離された剥片の打面の内側をつないで引いたもので搬出形態を示している。接合資料に基づいているため搬出形態が不定形であるが、接合できなかったものを考慮に入れると実際はもっと均整のとれた形態であったと考えられる。これらを基に数値化し、遺跡から出土した尖頭器（単品）と比較したグラフが図 - 12 ~ 15である。なお、剥片Aは剥片・石核で搬入された素材、剥片Bは原石で搬入され、遺跡内で剥離された素材のことである。

石核素材の尖頭器は搬入形態で両面調整体・原石・石刃核母型に分けられる。両面調整体は母岩⁶⁴を除いて長さ26cm前後、幅12cm前後、厚さ5 ~ 8cmのほぼ類似した形態で搬入される。それらは、

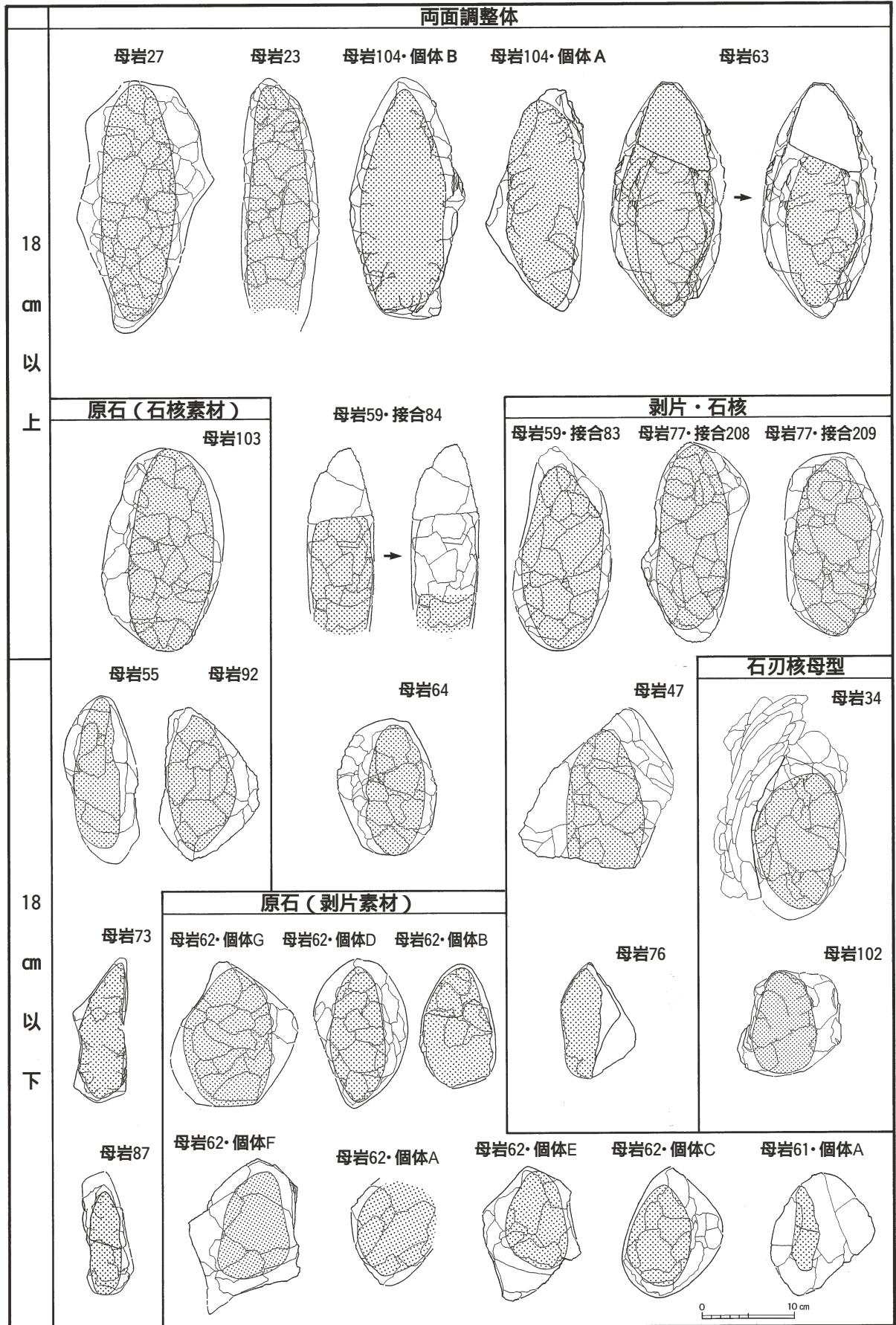


図 - 10 Sb - 5尖頭器製作接合資料の搬入・搬出形態と搬出サイズ

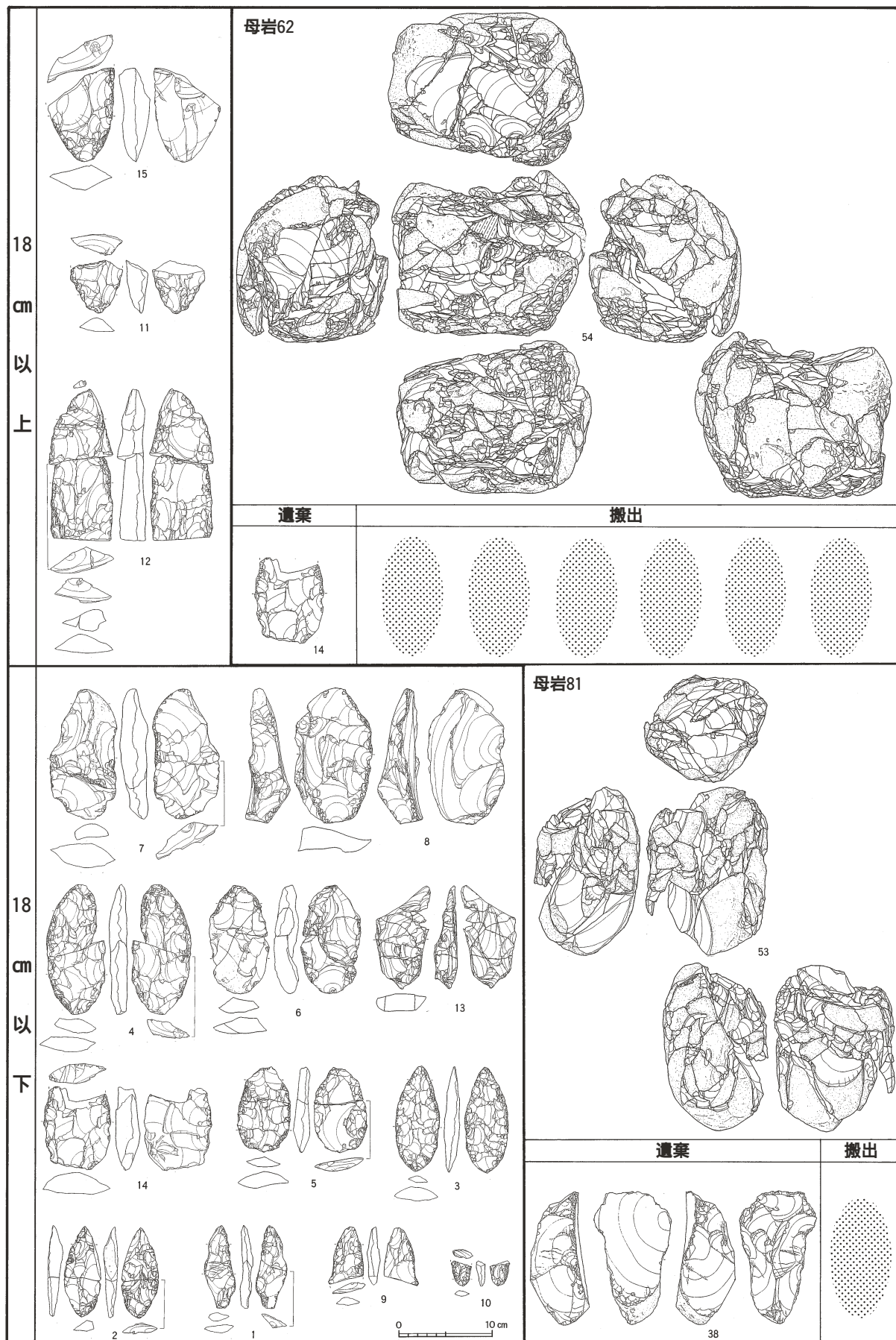
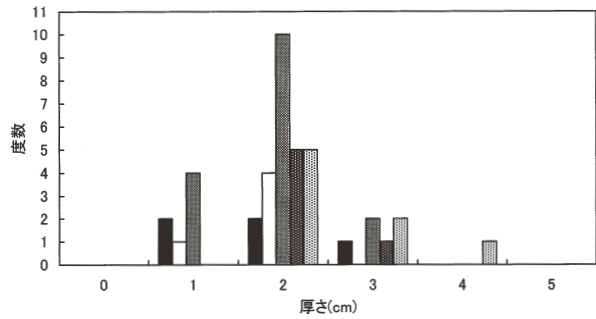
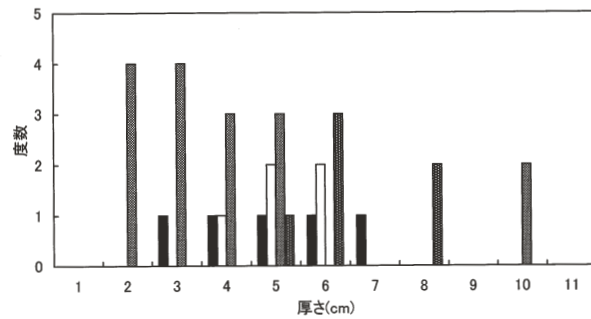
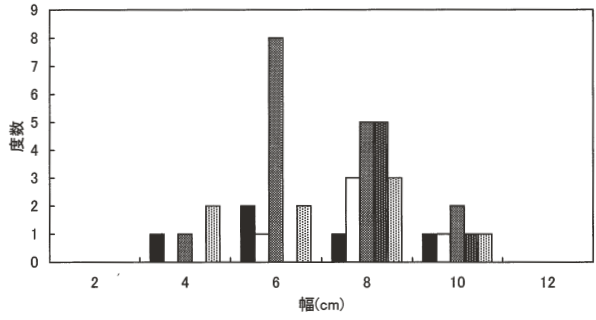
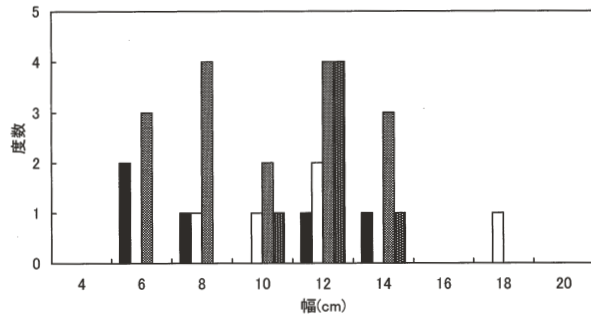
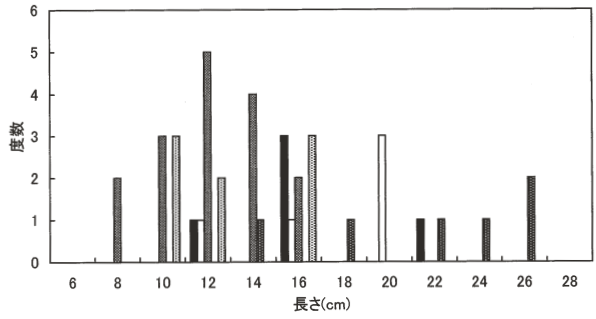
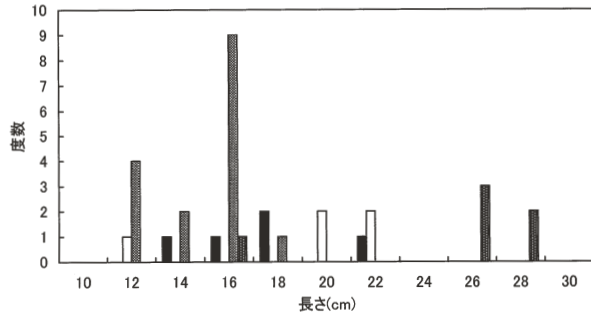


図 - 11 Sb - 5尖頭器サイズと剥片素材尖頭器接合資料

2 上白滝5遺跡について



■原石 □剥片A ▨剥片B ▩両面体

■原石 □剥片A ▨剥片B ▩両面体 ◻单品

図 - 12 Sb - 5搬入尖頭器・素材サイズ

図 - 13 Sb - 5搬出尖頭器サイズ

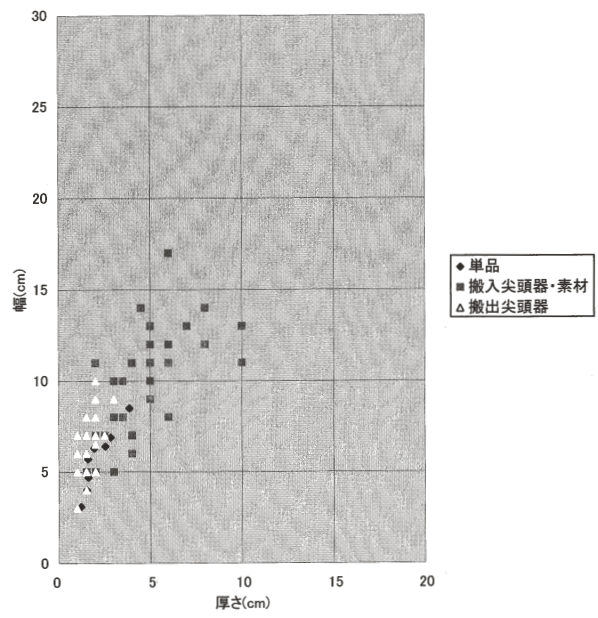
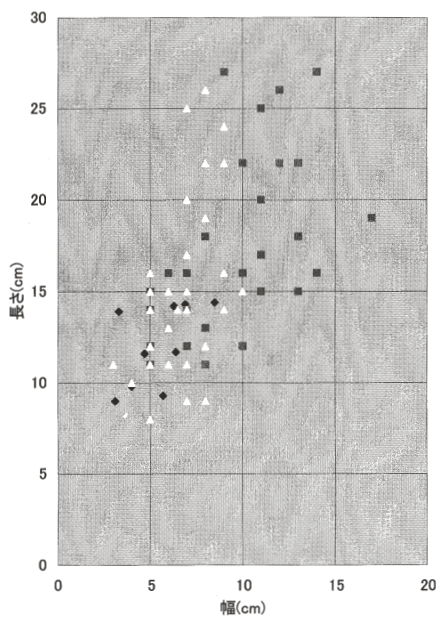


図 - 14 Sb - 5尖頭器長さ・幅

図 - 15 Sb - 5尖頭器幅・厚さ

折損のため長さが大きく減少したものを除くと長さ26cm程度、幅8cm前後、厚さ2cm前後の尖頭器で搬出される。原石で搬入されたものは長さ14~22cm、幅5~9cm、厚さ3~7cmと大きさにばらつきがあり、大小の原石が搬入されていると言える。それらは長さをほとんど変えずに幅・厚さを減少させるような加工が行われ、長さ11~22cm、幅3~9cm、厚さ1~2cmの尖頭器で搬出され、搬出形態にも大きさにばらつきがある。石刃核母型で搬入された母岩34・102は石刃剥離後、尖頭器の加工が行われ、長さ14cm前後、幅10cm程度、厚さ1~3cmの尖頭器で搬出される。

剥片素材の尖頭器は遺跡外で剥離され、素材で搬入されたものと原石で搬入され、遺跡内で剥離されたものに分けられる。前者(剥片A)は長さ20cm前後、幅10cm前後、厚さ6cm前後のものが多く、全体に古い面で構成され、原石同様に搬入された可能のある小型の母岩76を除くと比較的大きいものが多い。それらは、長さ20cm程度、幅8cm前後、厚さ2cm程度の尖頭器で搬出される。後者は転礫で搬入され、素材となる剥片(剥片B)は長さ11~18cm、幅5~14cm、厚さ2~10cmとばらつきが大きい、長さは15cm前後のものが多く、それらは、長さ9~15cm、幅4~10cm、厚さ1~3cmの尖頭器で搬出される。

全体的には搬出尖頭器の大きさは二つに分けられ、大型品は長さ18~26cm、幅8cm前後、厚さ2cm前後、小型品は長さ8~18cm、幅4~8cm、厚さ1~3cmである。大型品は両面調整体・大型の原石(角礫)・大型の剥片で搬入されたもので小形品は原石で搬入され遺跡で素材が剥離されたもの・小型の原石(角礫)で搬入されたもの・石刃を剥離した石刃核素材のもの・石刃剥離の初期の段階で剥離された厚手の剥片素材のものである。搬入形態(搬入サイズ)と搬出形態(搬出サイズ)に対応関係が見られる。

図 - 11は遺跡に残された尖頭器(単品)であるが、ほとんどが剥片素材で、加工途中で折損したものである。大きさは遺跡内で剥離された剥片素材のものと一致し、小型の尖頭器に分類される。

<石刃剥離技術> 図 - 16~18は掲載接合資料の接合図と遺跡に残された(遺棄された)剥片以外の石器と搬出されたと考えられる石器を石材消費を検討するために母岩単位で復元したものである。石刃・縦長剥片に関してはBLとして一括したが、正確な数量の把握が困難であるため数量を反映していない。しかし、それ以外の石器に関しては接合資料から数量を把握した。また、遺棄された遺物でも実測図の無いものはトーンで示した。Sb - 6~11の図 - 25~28も同様である。

素材には主に転礫が利用され、原石もしくはそれに近い状態で搬入されるものが多いが、母岩45・34・102(図 - 17・18)は石刃核母型で搬入されている。母岩29(図 - 16)は大型の転礫素材で個体A・Bに分割後、個体Aは分割面を側面に設定し、打面作成後、打面調整を行いながら石刃が剥離される。個体Bは分割面から両側面に側面調整後、打面調整を伴う石刃剥離が行われる。側面調整時の厚手の剥片は尖頭器の素材となっている。両者とも初期に剥離された15~20cmの石刃が搬出されている。母岩28・56・57(図 - 16・17)は扁平な転礫素材でその側縁に稜を形成し、打面調整を行いながら石刃が剥離される。石刃は作業面中央部から中間段階で剥離された15cm程度のもので欠落し、それらは搬出されている。打面調整を繰り返すため、石刃核高は減少し、剥離される石刃も短くなるが、そのうち、長く直線的なものが選択されたと考えられる。扁平ではない母岩60・61(図 - 17・18)は、石核幅を減少させる大きな剥離が両側面で行われた後、石刃が剥離される。初期の大型の側面調整剥片は尖頭器の素材となり、中間段階の石刃は搬出されている。母岩86(図 - 18)は角礫で搬入され、打面調整を繰り返しながら石刃が剥離され、厚手の打面調整剥片・側面調整剥片、石刃、石刃核など7点が尖頭器に加工されている。このうち石刃と尖頭器4点が搬出されている。

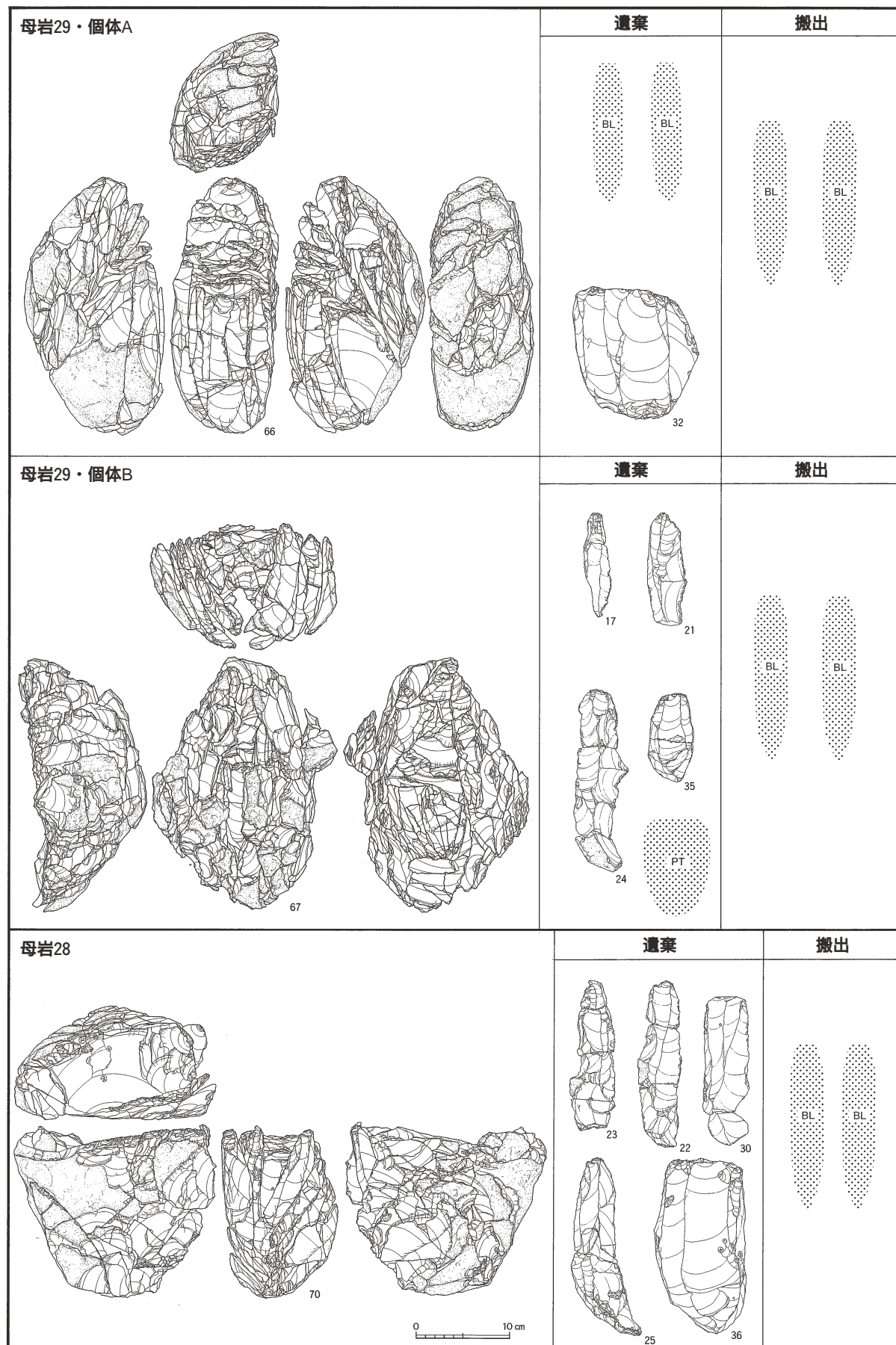


図 - 16 Sb - 5石刃剥離母岩別資料(1)

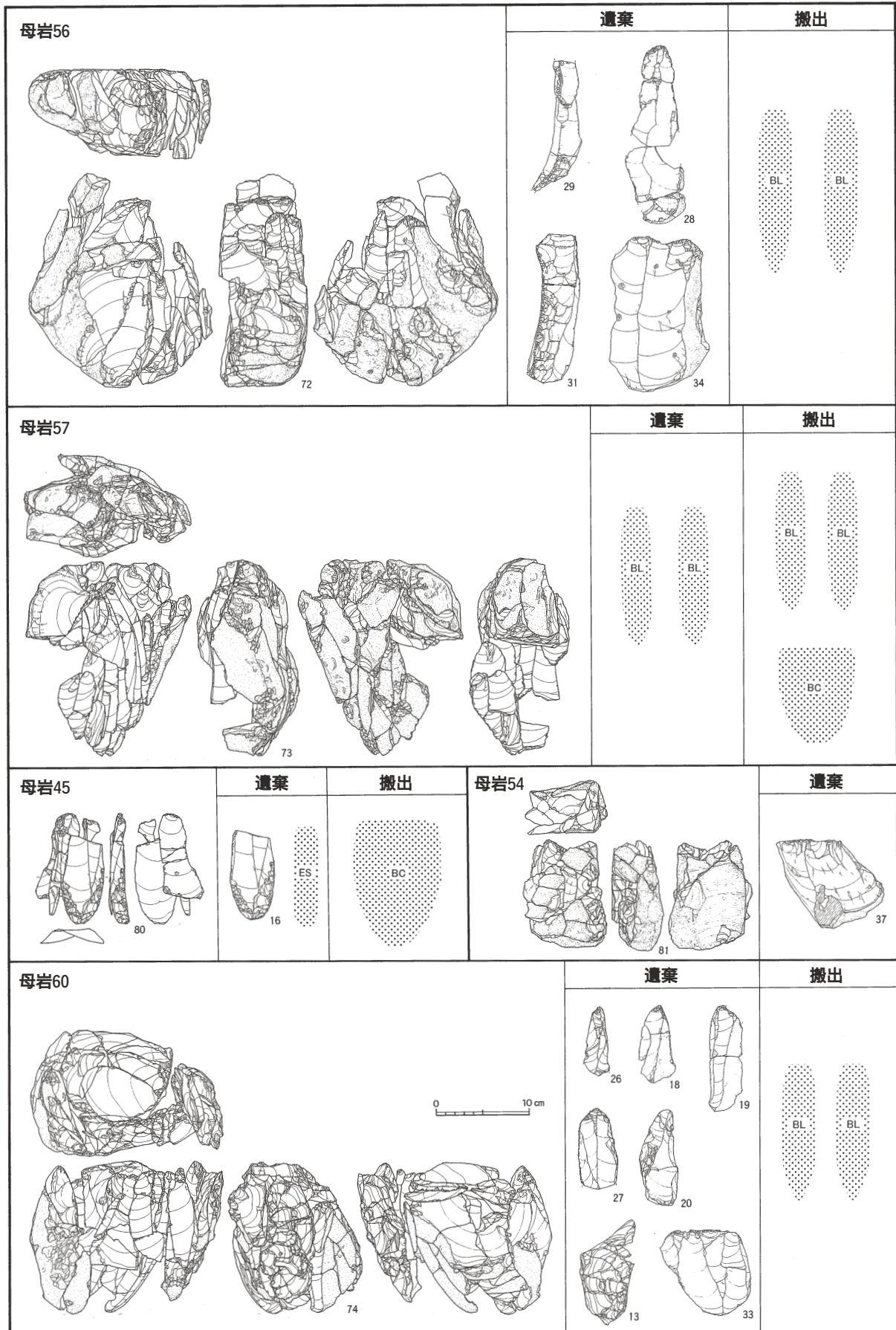


図 - 17 Sb - 5石刃剥離母岩別資料(2)

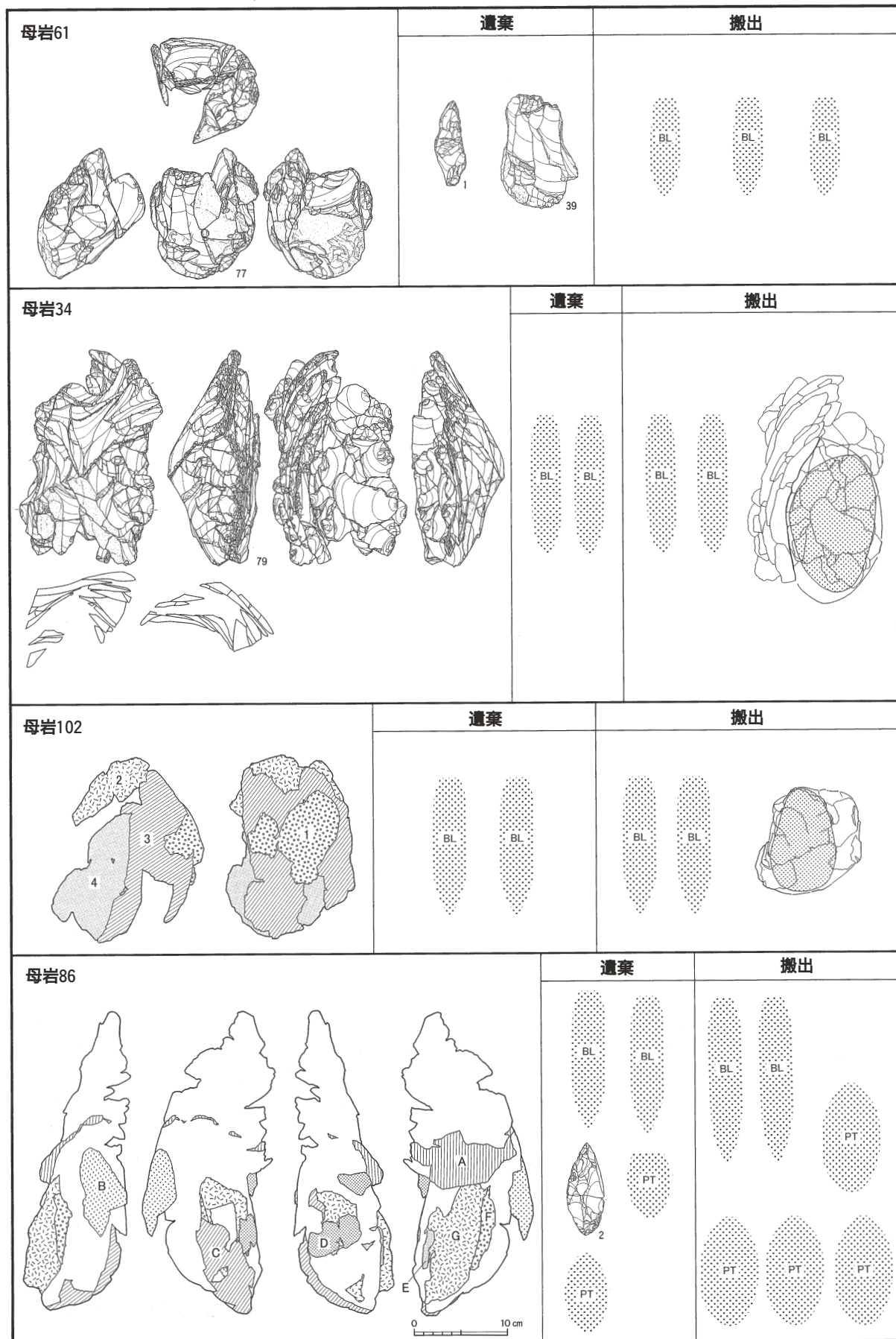


図 - 18 Sb - 5石刃剥離母岩別資料(3)

石刃核母型で搬入され、尖頭器で搬出される母岩34・102以外はほとんどが原石で搬入され、完全に消費され、石刃・尖頭器で搬出されている。尖頭器以外のツールは搔器2点、削器9点のみで非常に少ない。

遺跡から復元できる石材消費 以上のことから石材の消費行動を復元したものが図 43である。復元にあたり、原石採取地として角礫を赤石山の露頭、垂角礫を露頭周辺、転礫を遺跡近くの湧別川と想定し、上白滝5遺跡を石材消費戦略における原産地遺跡、その他の地域における遺跡を消費地遺跡と位置付けて論を進めたい。なお、本遺跡に搬入される両面調整体は、赤石山山頂部で大型尖頭器が採集された例もあり(宗像 1999) また、赤石山との距離(約7km)からすると中継地点を想定して粗加工が行われたと考えるよりも、採取地点で加工され、搬入されたと考えたい。

尖頭器は搬出形態が長さ18cm以上の大型品と18cm以下の小型品がある。露頭周辺で採取された大型の垂角礫は、採取地で粗い加工を行い両面調整体で遺跡に搬入されるものと大型の剥片を剥離し素材で搬入されるものがあり、いずれも大型品が製作される。露頭では小型の角礫も採取され、それらは原石で搬入され、小型品が製作される。湧別川で採取された転礫は原石で搬入され、主に尖頭器の素材を剥離するものと石刃を剥離するものがあり、後者の場合、初期の厚手の剥片が尖頭器素材として利用される。転礫から剥離された素材からは小型品が製作される。

石刃剥離用の母岩は主に湧別川で採取された転礫が原石で搬入される。それらは石刃剥離の結果、完全に消費され、石刃核として搬出されるものはほとんど無い。一部露頭で採取された原石が利用されるが客体的である。

尖頭器の多くは小形品で、多くの石刃と共に搬出されている。石器の器種が少なく単体で搬入されるものはほとんど無い。消費地遺跡との石器製作の連鎖が認められず、尖頭器・石刃の獲得を目的として短期間で製作・搬出が行われた状況を示す。

分布 26×20mの非常に広い範囲に分布している。LM22区に比較的大きな高密度の集中域が認められるが、全体的には半径2m程度の小集中域が連続したような分布である。接合資料単位の分布は集中部から傾斜方向である南北方向に広がるものが多く、東西では21・22、23、24、25ラインの4地区に分けられる。また、石器製作段階による明確な分布差は母岩29・62・102に見られる程度である。

年代 水和層年代測定の結果は、15,570±1,367yBP(W37)、16,511±1,337yBP(W38)、10,463±853yBP(H84)で、2点は15,000～17,000yBPで重なるが、1点は完全に外れている。水和層年代から旧石器時代に属すると思われるが、細かい位置付けは困難である。また、石器製作技術の特徴として剥片素材の尖頭器・打面調整のある石刃剥離などが挙げられるが尖頭器・石刃以外の石器類がほとんどなく、同様に編年的な位置付けは難しい。(鈴木宏行)

(4) 石器ブロック6～11(Sb-6～11)

石器・石材組成 定形的な石器は尖頭器・彫器・彫器削片・搔器・削器・錐形石器・舟底形石器・石刃・縦長剥片・石刃核・石核・斧形石器が出土している。彫器・小型舟底形石器(類)が多く、薄手の尖頭器・斧形石器と併せて本石器群を特徴づけている。石材は黒曜石4(73%)が最も多く、次いで黒曜石1(24%)である。頁岩は白色のものが多く、30点中11点が彫器である。黒曜石4の比率が高い器種は尖頭器・搔器・削器・小型舟底形石器(類)・石核で黒曜石1の比率が高い器種は石刃類・石刃核である。また、斧形石器は2点とも安山岩製である。

石器製作技術 尖頭器製作技術と石刃剥離を含む剥片剥離技術に分けられる。母岩別資料の分布(図

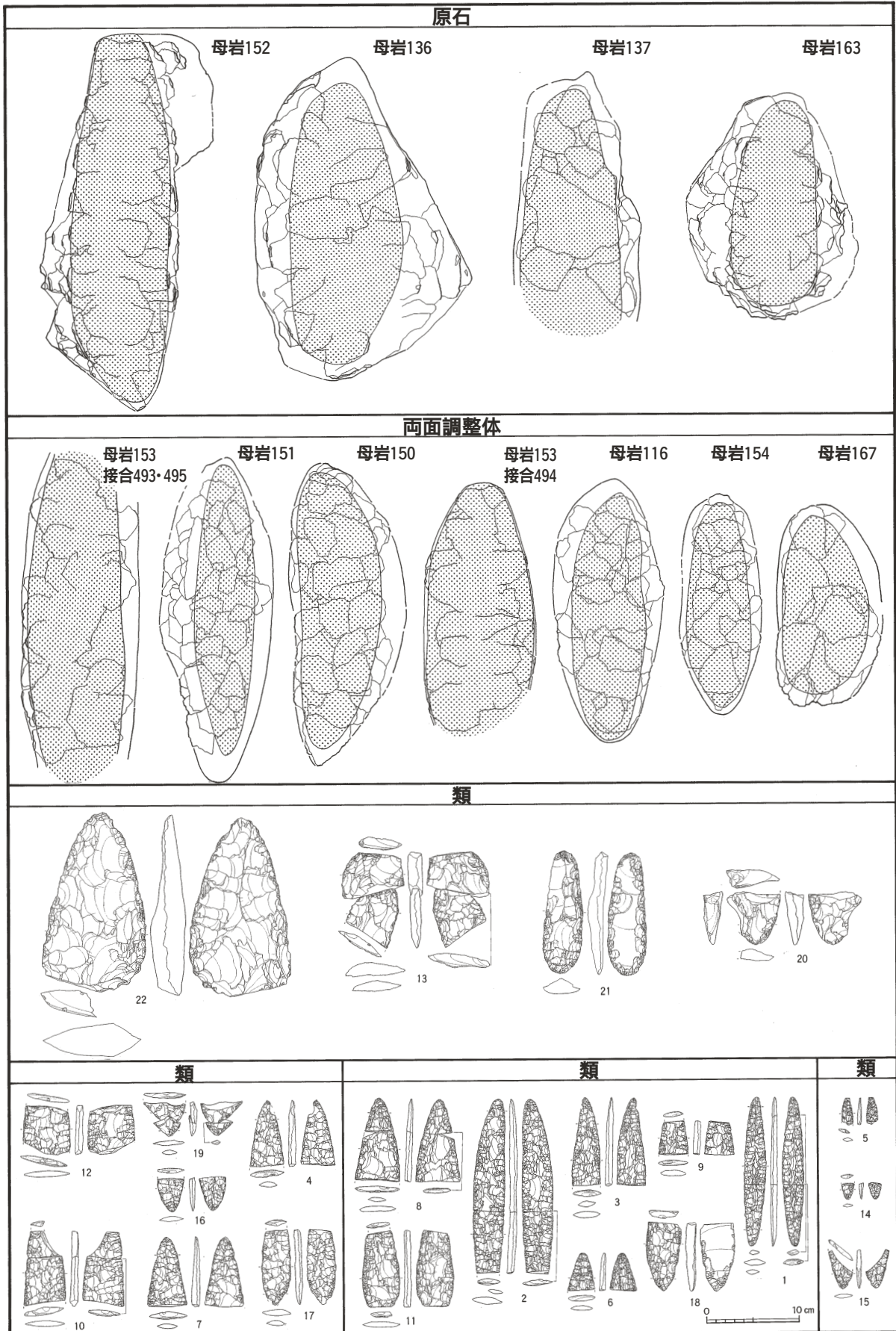


図 - 19 Sb - 6 ~ 11尖頭器製作接合資料の搬入・搬出形態と尖頭器

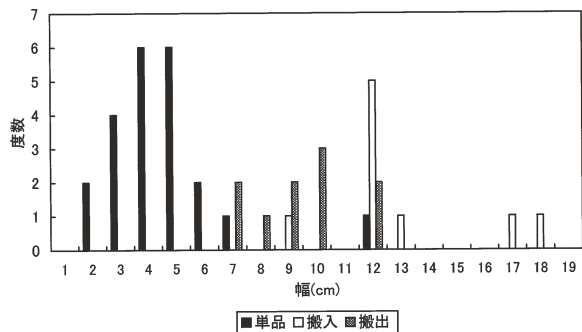


図 - 20 Sb - 6~11尖頭器幅

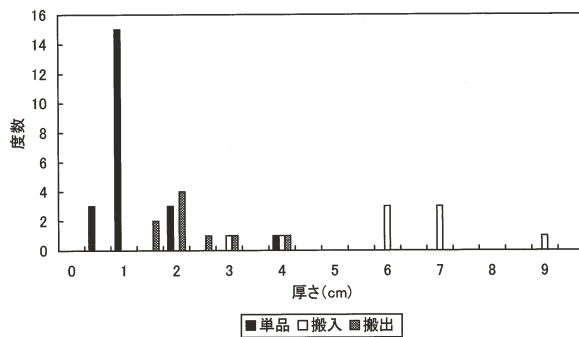


図 - 21 Sb - 6~11尖頭器厚さ

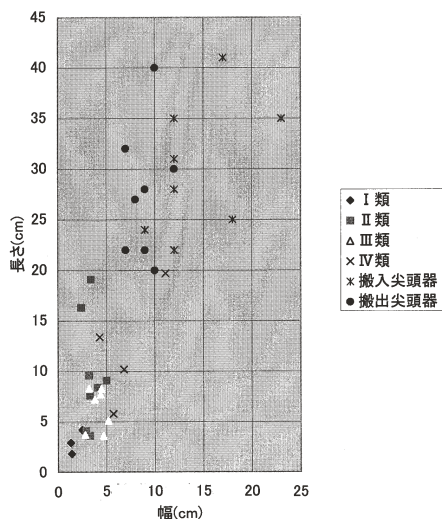


図 - 22 Sb - 6~11尖頭器長さ・幅

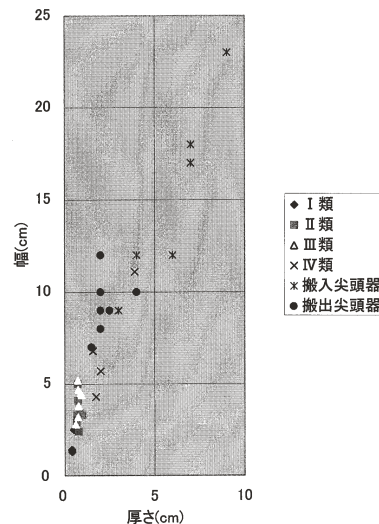


図 - 23 Sb - 6~11尖頭器幅・厚さ

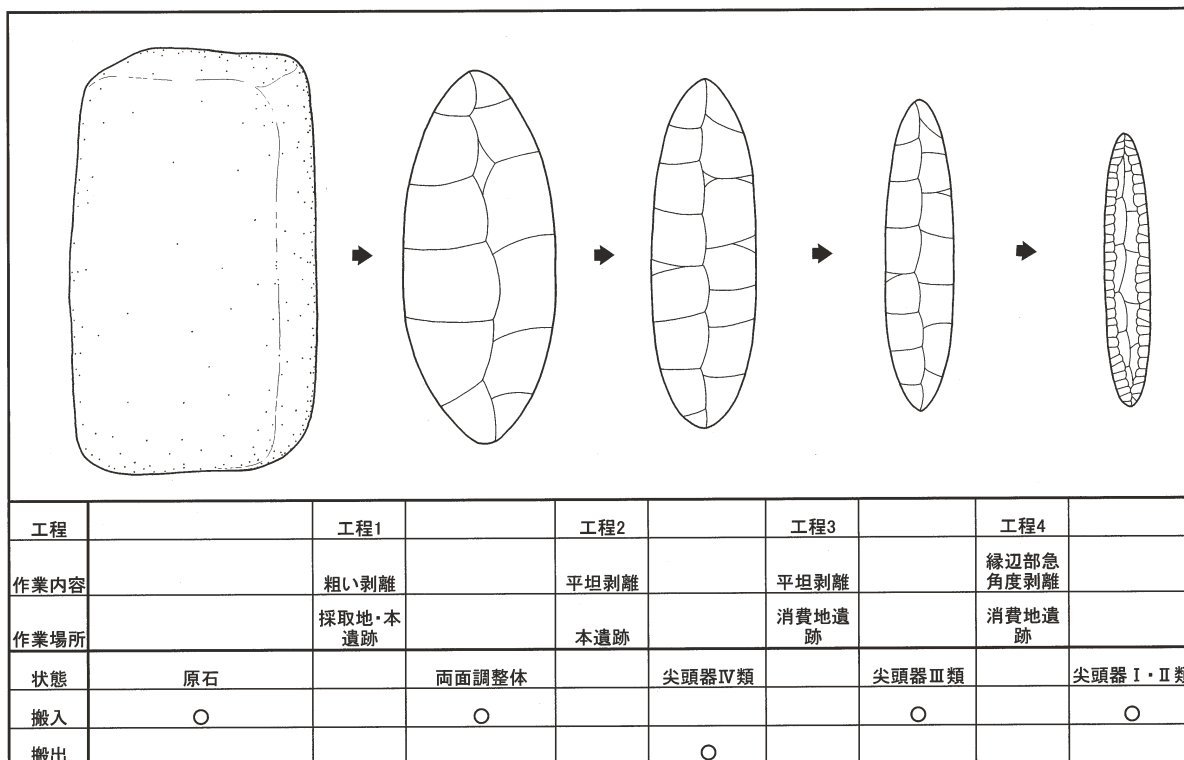


図 - 24 Sb - 6~11尖頭器形態変化と搬入・搬出形態

109・110) からSb - 6・7、Sb - 8~10、Sb - 11の3か所に分けられるが、尖頭器に関しては接合資料・単品資料に差が見られないため一括して説明する。その他の石刃剥離を含めた剥片剥離技術に関してはそれらに差違が見られることから分離して説明する。

<尖頭器製作技術> 接合資料は原石と両面調整体で搬入されている。原石で搬入されたものは盤状の角礫素材で、同様に両面調整体も転礫素材である母岩167を除いて全て角礫素材である。両面調整体は原石採取地で粗い加工が行われたと考えられ、遺跡では表面の凹凸のある部分をやや粗い剥離によって除去し、断面形が弧状に変化した後、器体全面に及ぶ平坦剥離で全体的に幅・厚さを減じている。原石は粗い加工が行われた後、両面調整体と同様の加工が行われる。原石から加工された母岩には調整剥片が彫器・搔器の素材に利用されるものがある。

単品の尖頭器(図 - 19)は、加工の状態から器体全体に細かい剥離が見られるもの(類)、器体の中央部に平坦剥離痕が残り、縁辺部に角度のある細かい剥離(平行剥離を含む)が見られるもの(類)、器体全体に平坦剥離(平行剥離を含む)が見られるもの(類)、やや粗い加工が見られるもの(類)に分けられ、それらは、やや粗い加工(類)後、器体を薄く整える平坦剥離が行われ(類)、最終的に縁辺部のみ平行剥離で形態が整えられる(・類)という一連の製作技術の各段階として位置づけられる。～類は全て同一母岩が無く搬入されている。また、類は接合資料の搬出尖頭器と幅・厚さが類似し、遺跡内で剥離され、折損したものと考えられる。～類の石質は茶色に黒が混じる石質4が多く、それらは、肉眼的には白滝産の黒曜石と思われる。

図 - 19は接合資料の搬入形態・搬出形態を表した図で、それらを基に数値化し、遺跡から出土した尖頭器(単品)と比較したものが図 - 20~23である。長さに関しては単品資料のほとんどが折れているため、グラフを載せていない。図 - 22・23は単品資料の各類型と接合資料の大きさを比較するために折損品も含めた。単品資料はほとんど折損しているが、両側縁がほぼ平行し、厚さは全体的に均一であるため折損品でも幅・厚さは完形品とあまり変わらないと考えられる。

原石で搬入されたものは盤状の角礫素材で、長さが25~41cm、幅が17~23cmでばらつきがあるが厚さは7~9cmと比較的揃っている。両面調整体で搬入されたものは長さが22~35cmでばらつきが見られるが、幅は9~12cm、厚さは3~6cmにまとまる。原石と両面調整体では長さは変わらないが幅・厚さに違いがある。搬出サイズと搬入サイズでは長さにほとんど変化が無く、搬入形態のばらつきが維持される。幅はばらつきが減り、7~12cm、厚さは1.5~4cm、特に2cm前後に収束する。つまり、遺跡では長さをほとんど変えずに幅と厚さを一定の大きさに減少させる加工が行われている。遺跡内で加工され、搬出された尖頭器と単品の～類では大きさに隔たりがあるが接合資料の最終段階の剥離と・類の平坦剥離面が類似すること・他に尖頭器製作技術がないことから一連の技術の工程差を示していると考えられる。図 - 24はこれらの一連の工程と加工された場所の対応を示した図である。このことから石材消費のあり方を復元すると赤石山の露頭で盤状の角礫を採取し、原石または粗加工した両面調整体で本遺跡に搬入し、工程1・2を行い、尖頭器類の段階で遺跡から搬出される。搬出された尖頭器は消費地遺跡でさらに工程3・4が行われ、尖頭器～類で再び白滝(原産地遺跡)に搬入されている。

<剥片剥離技術> Sb - 6・7に分布する母岩は、単設打面から打面調整を行いながら石刃を剥離する母岩121・118・119・106(図 - 25)と打面・作業面転移を繰り返しながら縦長剥片・厚手の剥片を剥離する母岩133・120・117・122・197・113・133・147・129(図 - 25・26)がある。

は長さ10cm程度の比較的小型の平滑な原礫面を持つ角礫・円礫が利用され、石刃剥離は作業面を固定して打面を左右にずらしながらほぼ一方向に進行し、結果的に残核の裏面には原礫面が残る。

Sb 6 ・ 7	母岩121	遺棄	搬出	母岩118	遺棄	搬出
	母岩119	遺棄	搬出	母岩130	遺棄	搬出
母岩120	遺棄	搬出	母岩106	遺棄	搬出	
母岩117	遺棄	搬出				
0 10 cm						

図 - 25 Sb - 6 ~ 11剥片剥離母岩別資料(1)

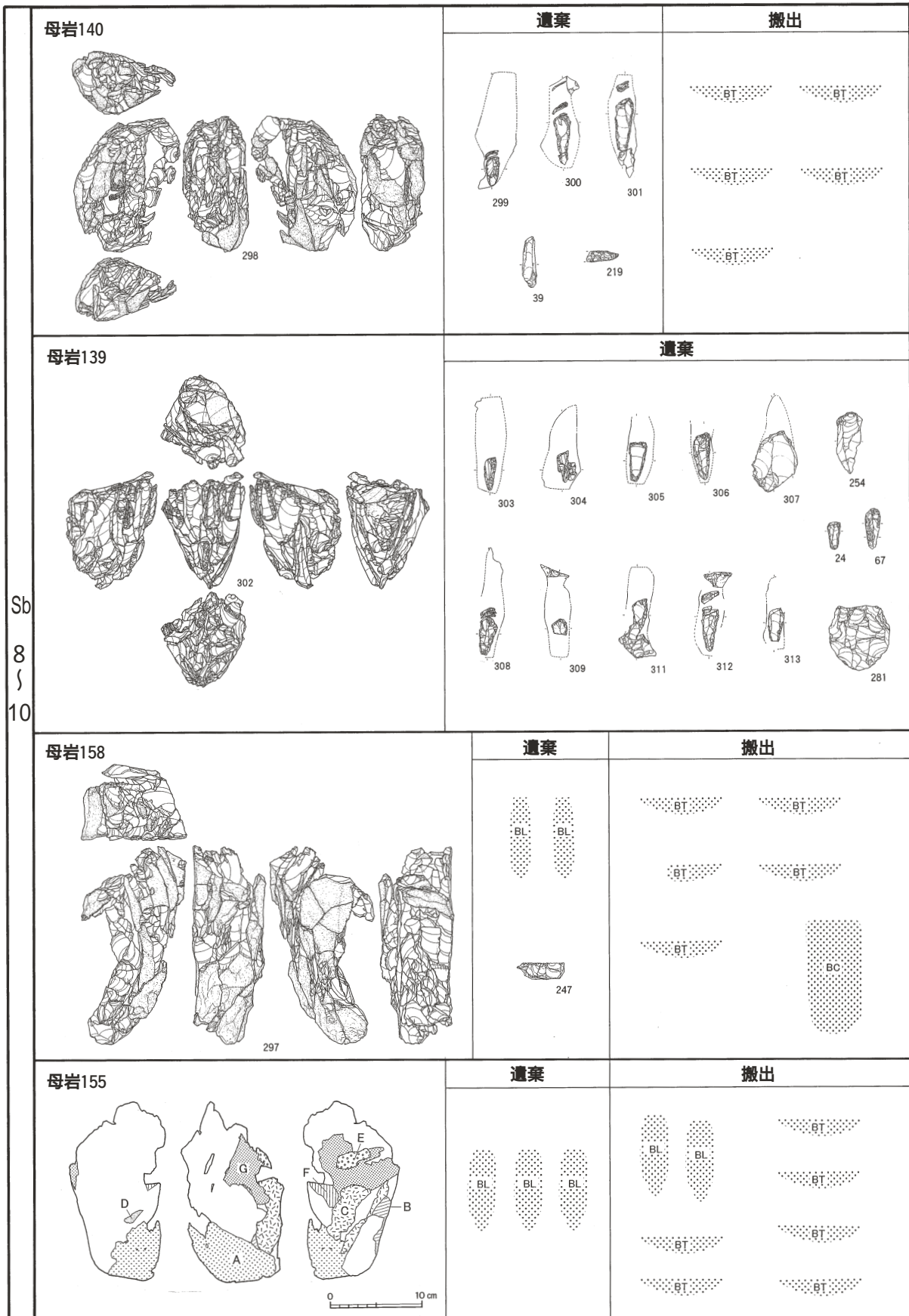


図 - 27 Sb - 6 ~ 11剥片剥離母岩別資料(3)

2 上白滝5遺跡について

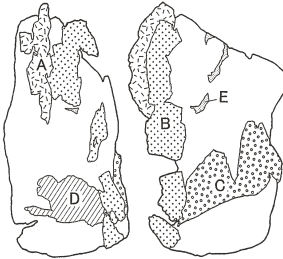

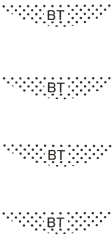
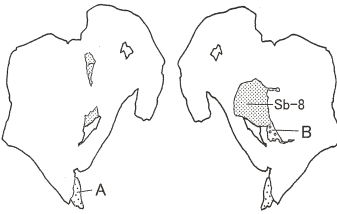


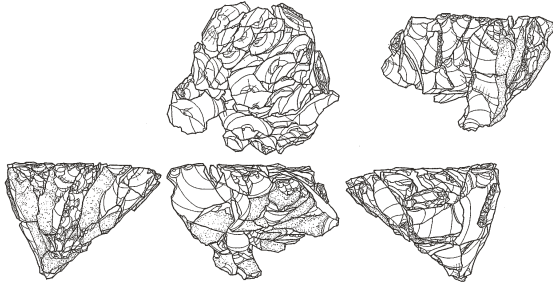
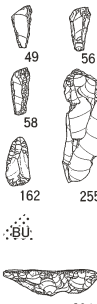

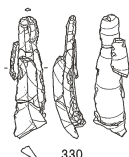


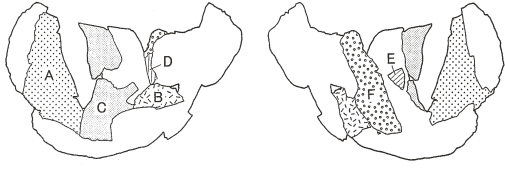
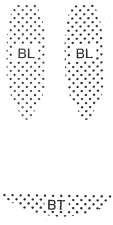
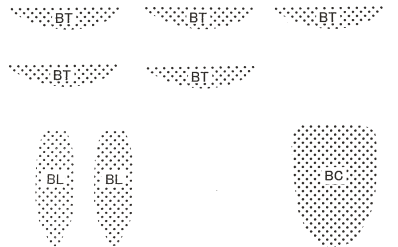
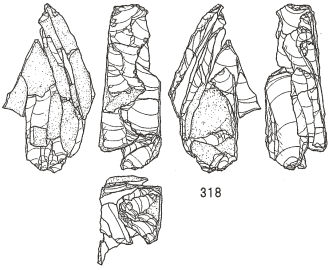

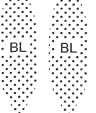
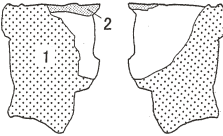
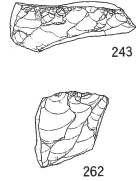
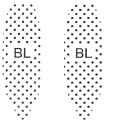
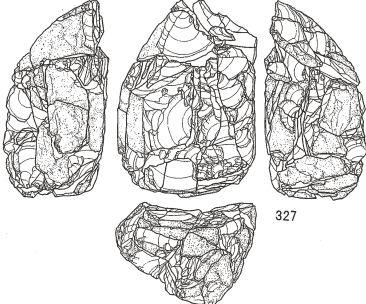
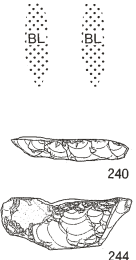



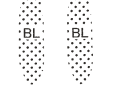
<p>母岩166</p> 	<p>遺棄</p>  <p>274</p>	<p>搬出</p> 	<p>母岩156</p> 	<p>遺棄</p> 	<p>搬出</p> 
<p>母岩160</p>  <p>328</p>	<p>遺棄</p> 	<p>搬出</p> 	<p>母岩141</p>  <p>330</p>	<p>遺棄</p>  <p>46</p>	<p>搬出</p> 
<p>母岩145</p> 	<p>遺棄</p> 	<p>搬出</p> 			
<p>母岩170</p>  <p>318</p>	<p>遺棄</p>  <p>263</p>	<p>搬出</p> 	<p>母岩187</p> 	<p>遺棄</p> 	<p>搬出</p> 
<p>母岩168</p>  <p>327</p>	<p>遺棄</p> 	<p>搬出</p> 	<p>母岩194</p> 	<p>遺棄</p>  <p>272</p>	<p>搬出</p> 

図 - 28 Sb - 6 ~ 11剥片剥離母岩別資料(4)

石核調整は稜調整が母岩121で見られる。剥離される石刃は7 cm程度と小型であるが、中間段階で剥離された石刃は搬出されている。母岩119では彫器が製作されている。母岩106(図 - 25)は打面調整を伴う石刃剥離が行われるが、大型の原石から初期の段階で剥離されたものと考えられる。

のうち母岩120・117は長さ15cm程度の角礫素材で、角部から剥離された厚手の剥片は舟底形石器に加工されている。母岩117では厚さ1 cm程度の比較的薄手の剥片も舟底形石器に加工され、また、縦長剥片は彫器に加工されている。母岩122は他の母岩に比べやや大型の原石が利用されている。剥離される剥片も大きく、厚手の剥片を素材として端部で打面調整を伴った石刃剥離が行われ、剥離された厚手の縦長剥片は舟底形石器に加工される。母岩197は打面再生時の厚手の剥片や正面で剥離された厚手の石刃が舟底形石器に加工され、正面では上下から打面調整を伴った石刃剥離が行われる。母岩130・113・133・147は転礫素材で、石刃核で搬入される母岩133以外は原石で搬入されている。小型の素材から打面転移を頻繁に繰り返しながら剥離が行われるため湾曲した縦長剥片・剥片が剥離され、それらを素材に削器・舟底形石器が製作されている。母岩129は同一母岩に3点の石核を含み、母岩122のように厚手の剥片を素材として小型の剥片が剥離されたものと考えられる。打面・作業面を頻繁に転移させるの残核は円盤状になるものが多い。

Sb - 8 ~ 10に分布する母岩140(図 - 27)は、長さ15cm程度の平滑な原礫面を持つ楕円形の原石の端部から縦長剥片が剥離される。打面再生後、側面で石刃が剥離されるが、作業面形状の悪化に伴い180度の打面転移が行われる。石核の横断面形は楕円形で、平坦な面では石刃が、側面では厚手の縦長剥片が剥離され、前者は彫器に、後者は厚手の打面再生剥片・石核と共に舟底形石器に加工されている。母岩139(図 - 27)は正面形がV字形となる石刃核母型で搬入されている。最初正面の作業面で石刃が剥離されるが作業面形状の悪化に伴って背稜から両側面に剥離が行われる。その後、平坦な左側面で上下打面から石刃が剥離されている。剥離された石刃10点が彫器に加工され、集中した彫器製作・再生が行われている。母岩158・155・166・156(図 - 27・28)は長さ20cm程度の角礫または亜角礫を素材として、最初に原礫面もしくは単剥離打面から石刃・縦長剥片が剥離される。作業面形状の悪化に伴い、下設打面が作出され、石刃剥離が行われる。厚手の石刃・縦長剥片・下設打面作出時の厚手の剥片は舟底形石器の素材となっている。母岩166は、頭部調整のない打面の大きい縦長剥片が多いことから舟底形石器の厚手の縦長剥片剥離が目的であったと考えられる。母岩160(図 - 28)は原石を半割したような角錐状の素材から舟底形石器の加工に類似した粗い剥離が行われる。剥離された厚手の剥片は舟底形石器に、縦長剥片は彫器・搔器に加工されている。中には打面の小さい石刃が含まれ、搔器の素材になっていることから、粗い剥離の途中で頭部調整を行って目的に石刃が剥離されたと考えられる。石核は舟底形石器として搬出されている。母岩145(図 - 28)は角礫の短軸方向で縦長剥片が剥離されている。打面が大きく舟底形石器の素材となる厚手の剥片が目的に剥離されており、6個体の舟底形石器が製作されている。母岩141(図 - 28)は石刃と搔器・彫器の接合資料である。彫器が刃部再生によって素材の半分以下に小型化しているのに比べ、搔器はほとんど変化していない。母岩157(図 - 26)は小型の角礫を分割した後、それぞれで厚手の剥片が剥離され、舟底形石器が製作されている。母岩148(図 - 26)は石刃剥離が終了した石刃核の表裏両面の左右両側縁から剥離が行われ、残核は円盤状に近い形態である。同様な剥離は母岩139の最終段階でも見られる。母岩198・201・202(図 - 26)は彫器と彫器削片の接合資料であるが、これらは彫器として搬入され、彫刀面再生後に遺棄されている。Sb - 8 ~ 10の母岩は石核類が舟底形石器の素材となるもの(母岩140・155・160)があり、結果として石核数が少ない。

Sb - 11に分布する母岩は石刃剥離を主体とした母岩170・194(図 - 28)と舟底形石器素材の剥

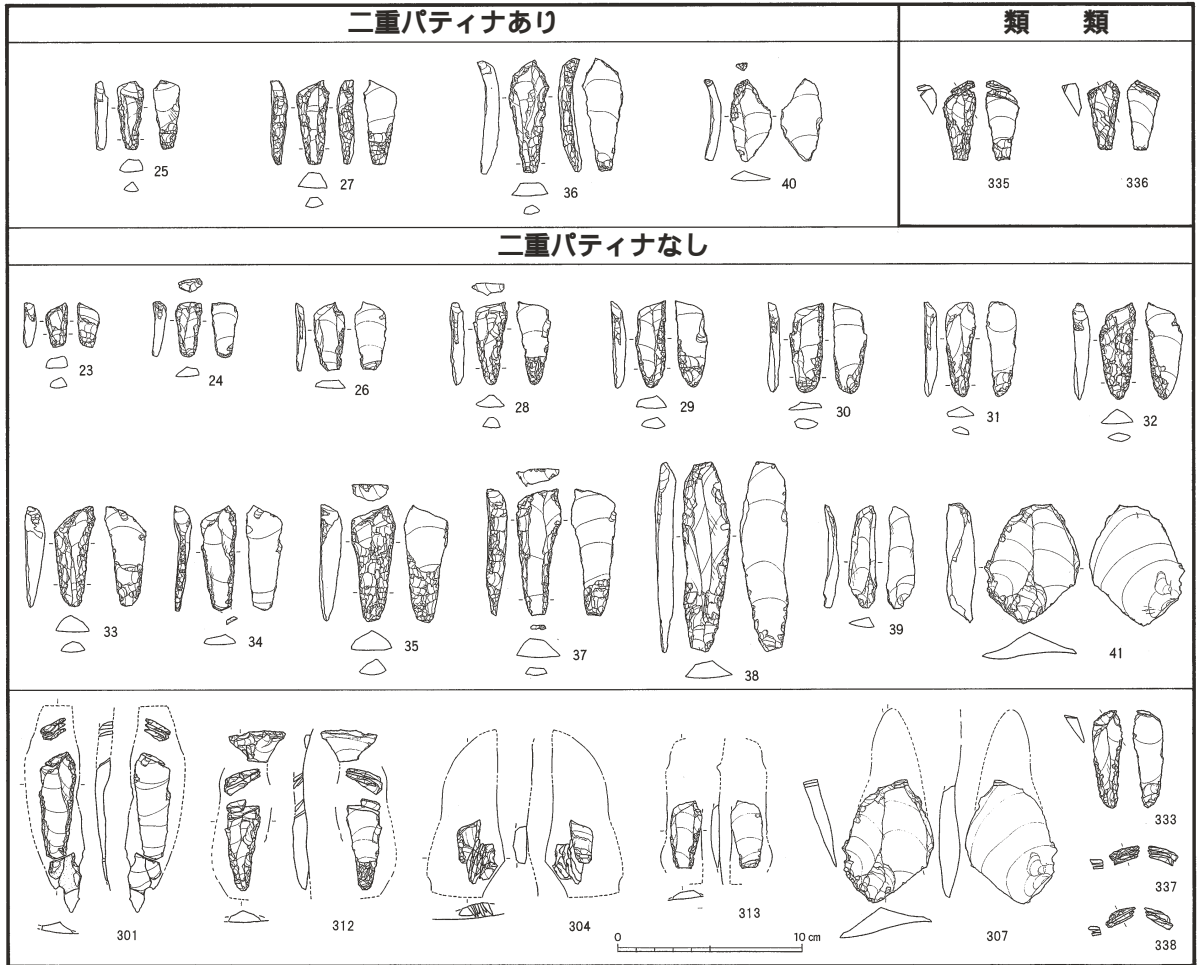


図 - 29 Sb - 6 ~ 11 彫器 類

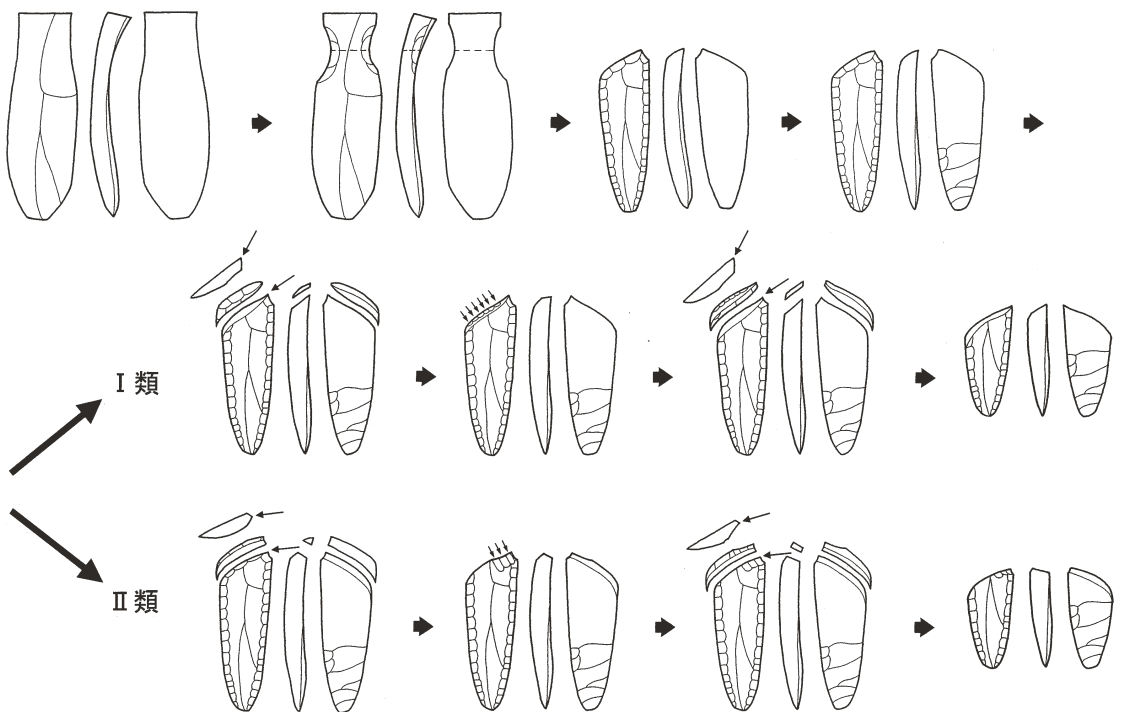


図 - 30 Sb - 6 ~ 11 彫器製作・彫刀面再生模式図

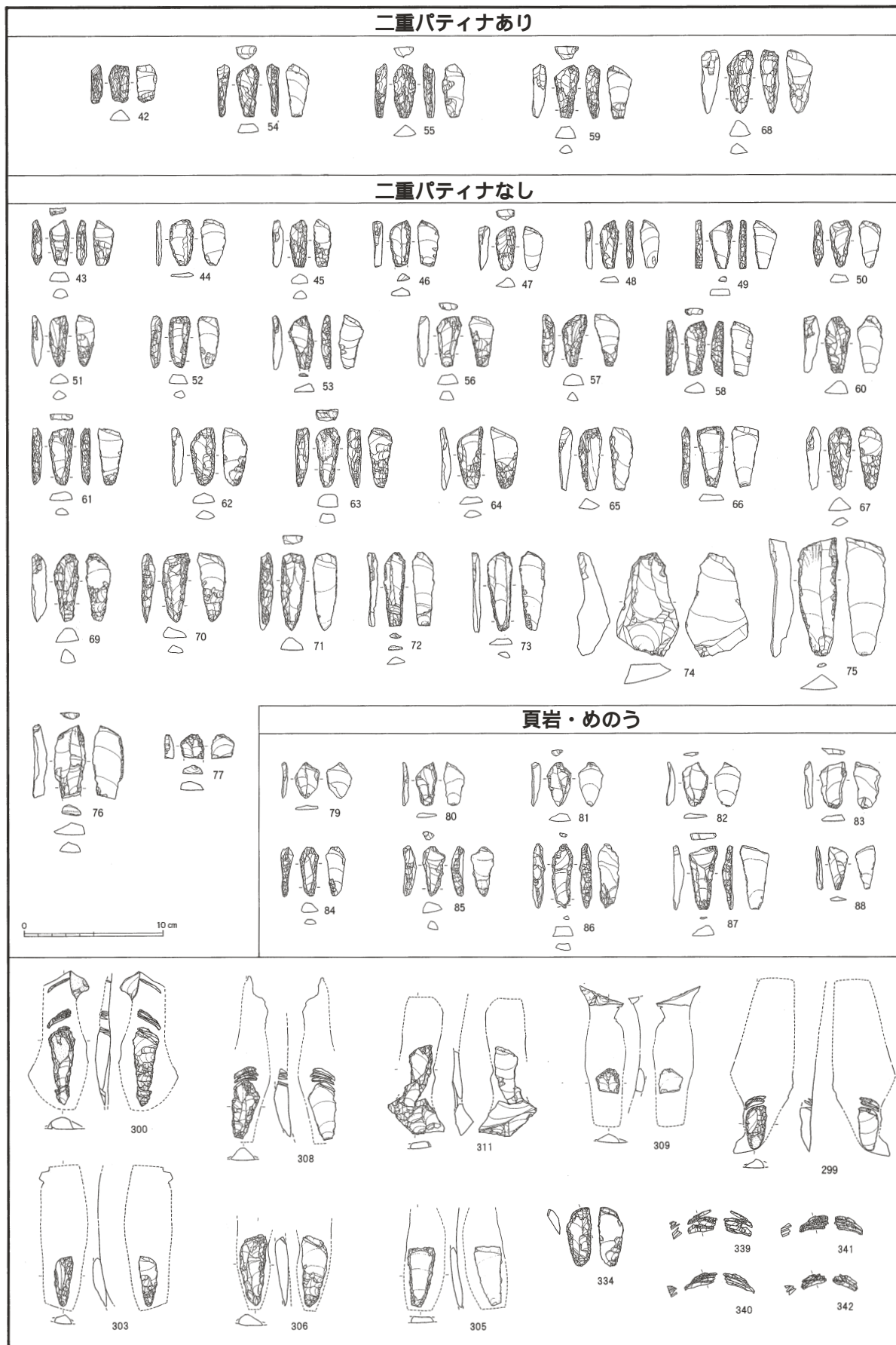


図 - 31 Sb - 6 ~ 11 彫器類

離を含む石刃剥離が行われた母岩187・168(図 - 28)に分けられる。前者は上設打面から打面調整を伴う石刃剥離が行われた後、錯交剥離状に裏面に作業面を転移して下設打面から石刃が剥離される。後者は大きな剥離面の単剥離打面から石刃・縦長剥片を剥離し、初期の厚手の剥片は舟底形石器に加工されている。母岩168では途中、下設打面から石刃が剥離されている。

以上3か所の石器製作技術を整理するとSb - 6・7の母岩では打面調整が頻繁に行われ、打面・作業面転移が頻繁に行われる母岩が多い。また、大型剥片を素材とした石刃剥離が行われる。Sb - 8・10の母岩はほとんど打面調整が行われず、上設打面からの石刃剥離により、作業面が悪化した際に下設打面作出・打面転移が行われ、両設打面から石刃剥離が行われる。石核が舟底形石器の素材となることが多く、それはSb - 6・7では見られない。Sb - 11では錯交剥離状の打面調整を伴う石刃剥離が行われ、舟底形石器の素材を含む石刃剥離では単剥離打面から石刃剥離が行われる。これら3つの分布に対応した技術差が何によるものかは説明する材料が無く不明である。隣接する上白滝2遺跡でもSb - 11・12、Sb - 13で舟底形石器・彫器を伴う石器群が出土しているが、それらの石刃剥離には打面調整が見られず、縁辺を削ぎ落とす頭部調整が行われ、本石器群のいずれとも異なる。また、その特徴は落合遺跡(北沢 1992、山原 1998) 南町1遺跡(北沢・山原 1995)に類似する。細かい点で相違があることから当該石器群の石器製作技術の複雑な様相が想定される。

二次加工技術 Sb - 6~11の定形的な石器は彫器・舟底形石器・搔器・削器・錐形石器・斧形石器が出土しており、そのうち彫器・舟底形石器に関しては個別に説明を行う。

<彫器> 母型作成段階と彫刀面作出・再生段階に分けられる(図 - 30)。まず、母型作成段階であるが、素材は石刃・縦長剥片が多く利用される。接合資料から復元される素材の大きさは長さ6~13cm、幅1.5~5cm、厚さ0.4~1.2cmである。素材の端部が腹面側に湾曲する場合や、薄い場合は側縁にノッチ状の加工を施し、その部分は折り取って除去される(図 - 29 - 301・312、図 - 31 - 300・311)。その後、背面全周縁が急角度の剥離によって加工されるが、この時に彫刀面となる部分は、彫刀面を作出した際に形態軸・彫刀面交叉角が目的とした角度になるように、また、基部はすばまるように調整される。素材端部が目的とする彫刀面に適した角度の時は加工されずに彫刀面が作出されることがある(図 - 31 - 300)。最後に平坦剥離による腹面調整が行われるが、それは、側縁の側面形が直線的に、厚みの中央に位置するように行われ、基部の腹面側に湾曲した部分を直線的に修正する役割を担っている(図 - 29 - 312・304、図 - 31 - 300・303・306)。他の器種にはこのような基部加工が行われず、唯一斧形石器に見られるだけである。また、両面調整により側縁を直線的に仕上げる点では尖頭器と共通し、着柄を意図したものと考えられる。

次に彫刀面作出・再生の工程である。彫器の彫刀面傾斜角(図 - 32)から鋭角である類(図 - 29)、鈍角である類(図 - 31)に分けられるが、それらの彫刀面作出・再生方法は異なる。

類の彫刀面打面は彫刀面打面と素材腹面のなす角度が鋭角になるように作出され(図 - 33)、彫刀面打面と素材腹面の角に腹面側から背面側に力^{かど}が加えられる。一方、類の彫刀面打面は彫刀面打面と素材腹面のなす角度が鈍角となるように縁辺部に細かい剥離が行われ(図 - 33)、縁辺から1~2mm背面側に背面側から腹面側に力^{かど}が加えられる。打面再生の際に類は彫刀面に腹面から加工が行われることがあり、類は背面先端部調整が行われることが多く、それらは最終彫刀面に切られることが多いことから彫刀面再生に先立つ調整と位置付けられる。接合資料から類の彫刀面形状は一次削片剥離の際に決定しており、最後までその形態が継続される。彫刀面形状が類から類に変化する接合資料(図 - 29 - 335・336)があるが、その段階で廃棄されている。形態軸・彫刀面交叉角は類では違いが見られず(図 - 34)、接合資料から類では初期の段階で斜刀から横

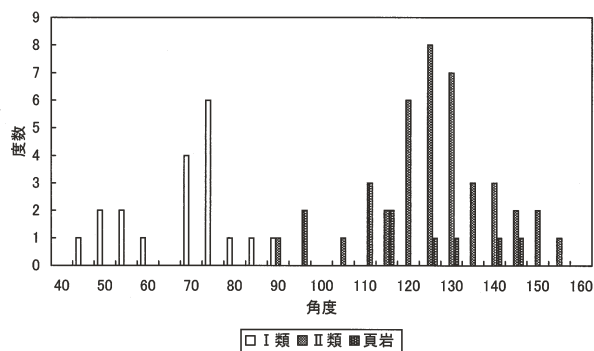


図 - 32 Sb - 6 ~ 11彫刀面傾斜角

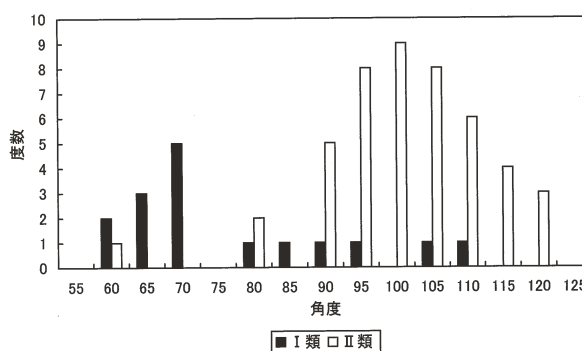


図 - 33 Sb - 6 ~ 11彫刀面打面と素材腹面のなす角

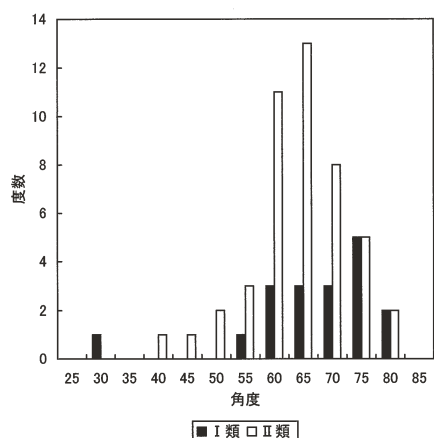


図 - 34 Sb - 6 ~ 11形態軸・彫刀面交叉角

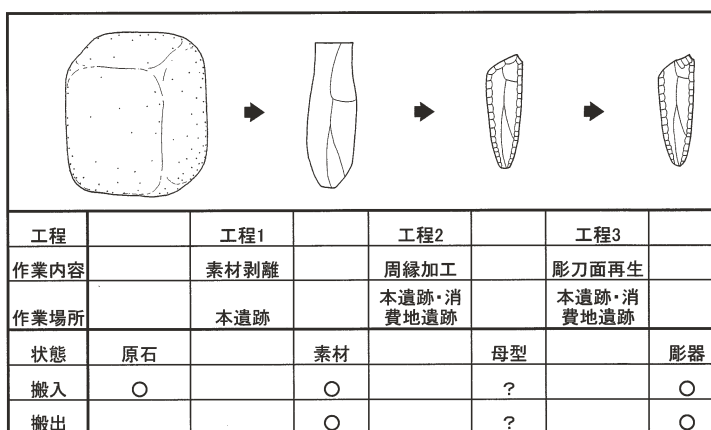


図 - 35 Sb - 6 ~ 11彫器形態変化と搬入・搬出形態

刃へ変化が見られる（図 - 31 - 339）ものの、図 - 29 - 301・312、図 - 31 - 300のようにほとんどは、彫刀面傾斜角と同様に一次削片剥離段階から変化が見られない。彫刀面打面は・類共に周縁加工と区別してノッチ状に作出されるものが多く、また、彫刀面再生の際に調整され、それに伴い彫刀面打点位置は形態軸と平行に推移するが、図 - 31 - 308のように大きくノッチによって形態変化させるものがある。

石質別で比較すると素材は黒曜石製の彫器には石刃・縦長剥片が、頁岩製の彫器には剥片が多い。黒曜石製の彫器は・類ともあるが、頁岩製の彫器は類のみで、彫刀面傾斜角も黒曜石製のものより小さく90~120度のもが多い（図 - 32）。また、頁岩の彫器は彫刀面打面が大きいノッチによって器体の中央に作出されるものがある。頁岩製の彫器は接合資料が無く、全て搬入されたと考えられる。

・類は異なる技術で作分けられているが、母岩139・140には両者が含まれており、母岩単位での作り分けは見られない。これらは一定量組成されることから機能的な違いが想定されるが、それに関しては今後の課題としたい。

彫器には多くの細かい傷がある光沢のない素材面と、細かい傷がなく光沢のある二次加工面の二重パティナが見られるものがある。実験による検証が必要であるが、細かい傷は素材の運搬時等に付いたもので、光沢のある二次加工面は本遺跡もしくは近隣の滞在地で加工されたものと考えられ、それらには時間差が想定される。また、それらは、母岩別資料を持たず、肉眼的には白滝産の黒曜石であるため、素材剥離後、搬出され、回帰的な行動の末に搬入されたと思われる。二重パティナのあるも

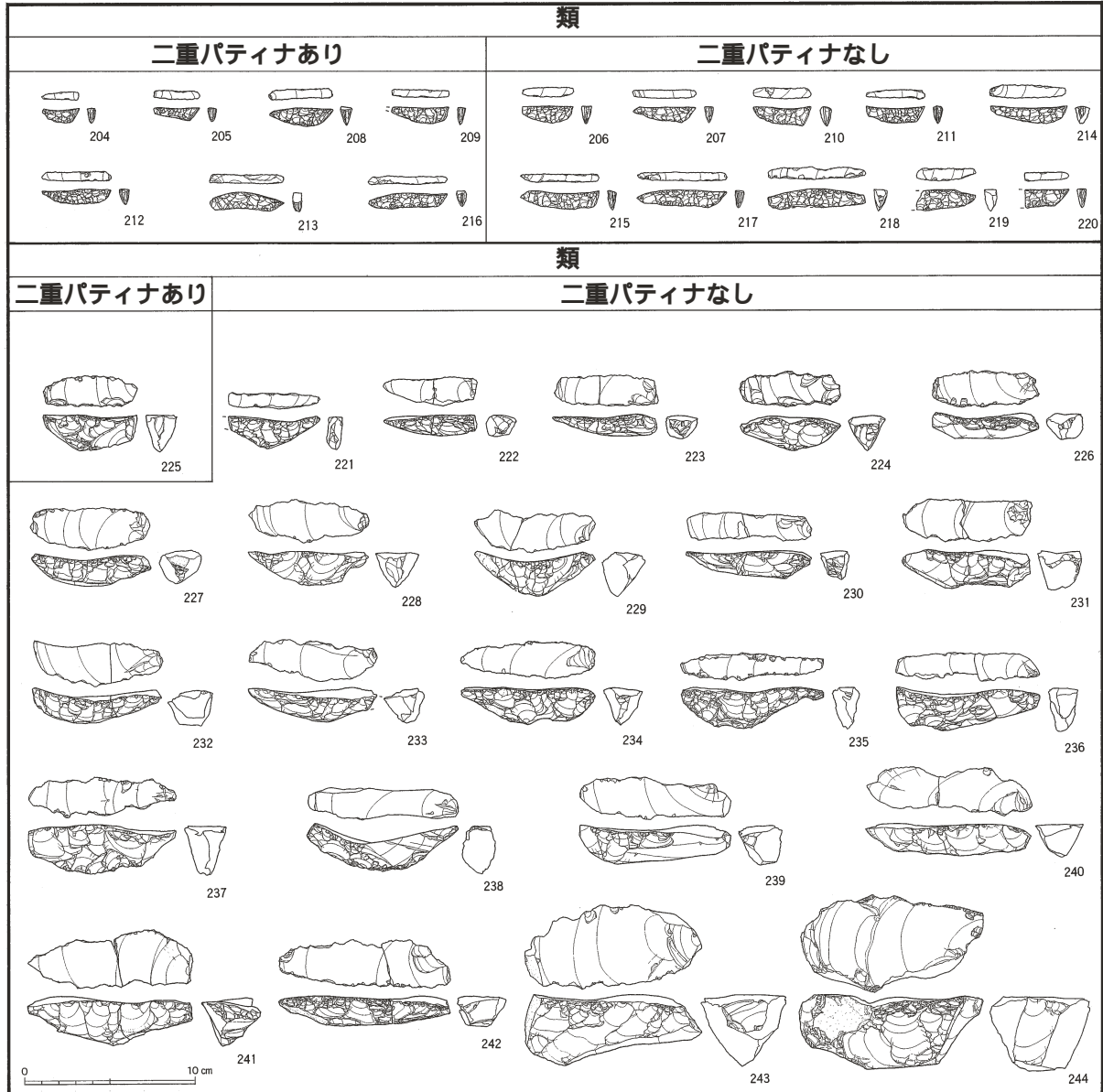


図 - 36 Sb - 6 ~ 11舟底形石器

のは ・ 類共に4、5点含まれていることから両類型とも一定量保持されていたと思われる。また、それ以外でも母岩別資料がなく、搬入されたと考えられる彫器がある。二重パティナの有無で素材剥離時の時間差が想定されるとすれば複数回の素材の補充があったと考えられる。彫器削片のみの母岩別資料があることから彫器で搬入後、搬出されたものもある（図 - 35）。

一方で彫器を大量に製作する母岩139・140があり、その彫器は彫刀面再生が20回程度行われ（図 - 31 - 300）、搬入された彫器・製作された彫器に関わらず相当量の彫器が消費されている。

<舟底形石器> 主に長さ6~11cm、幅3~8cm、厚さ1~4cmの剥片・縦長剥片・石刃が素材として利用される（図 - 37~39）。素材腹面を甲板面に設定し、長軸と石器の軸が一致するように甲板面から両側面へ粗い剥離が行われ、舟形に整形される（図 - 42 - 工程2）。その後、上下から細かい加工が行われ、幅4~8mm、高さ8~12mm程度に整形される（図 - 42 - 工程3）。最後に端部（主に素材の先端部側）で細石刃状の縞状剥離が行われる（図 - 42 - 工程4）。大きさ・

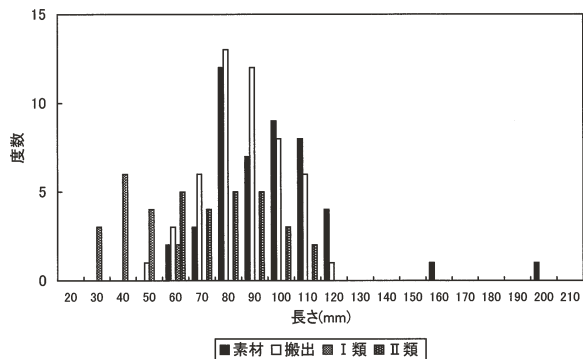


図 - 37 Sb - 6~11舟底形石器長さ

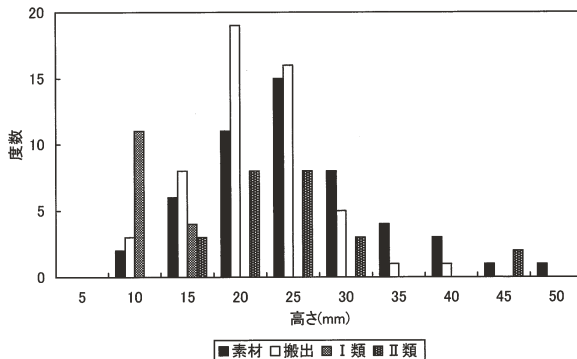


図 - 38 Sb - 6~11舟底形石器高さ

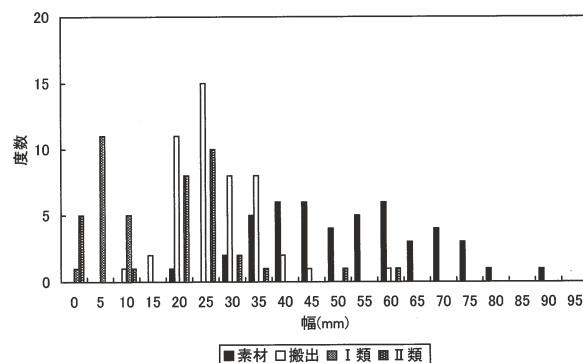


図 - 39 Sb - 6~11舟底形石器幅

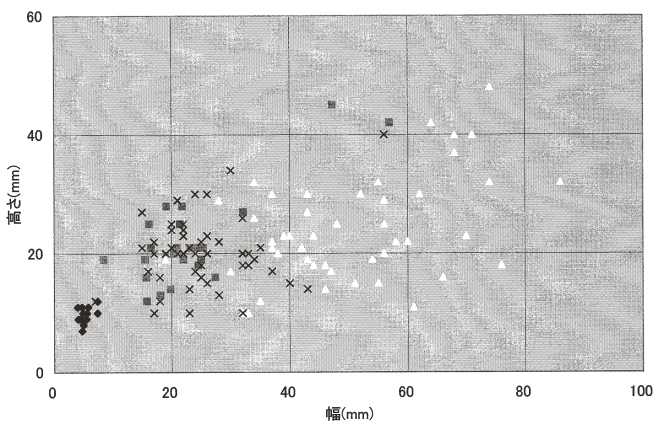


図 - 40 Sb - 6~11舟底形石器高さ・幅

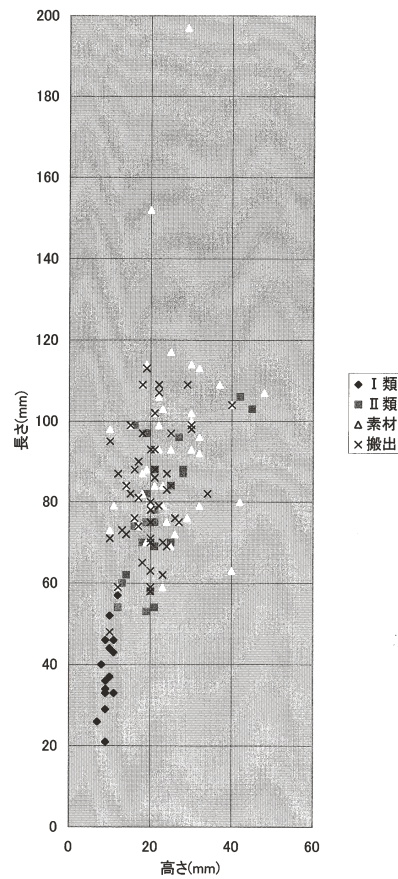


図 - 41 Sb - 6~11舟底形石器長さ・高さ

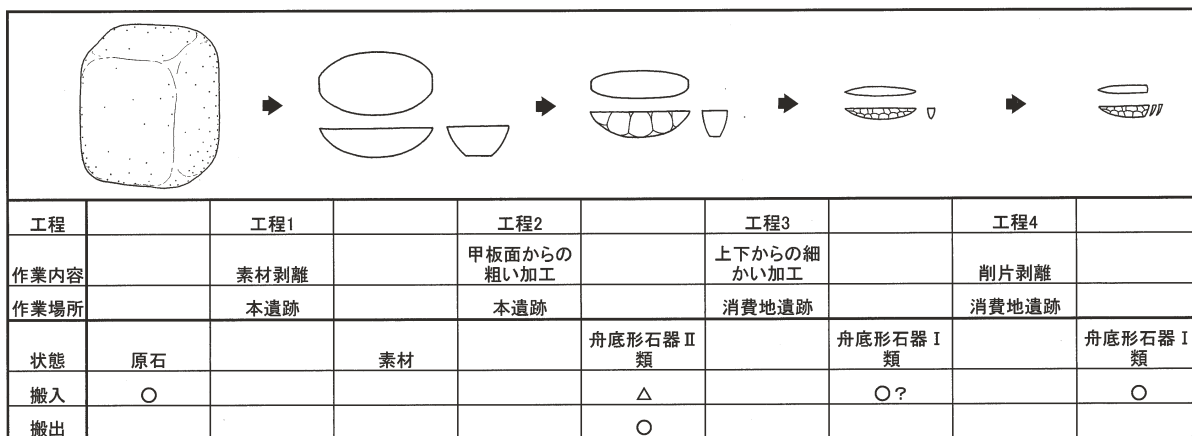


図 - 42 Sb - 6~11舟底形石器形態変化と搬入・搬出形態

加工の粗さで 類と 類は分離される(図 - 36)が、母岩140には素材剥片から 類まで加工されたもの(図 - 36 - 219)があり、それらは一連の加工技術での工程の違いとして位置付けられる。

図 - 37~41は掲載接合資料に含まれ、素材・搬出時の舟底形石器の大きさを推定できるものに関してグラフ化し、舟底形石器・ 類の大きさと比較したものである。高さは素材の厚さに対応する。素材・搬出品・ 類・ 類の大きさを比較すると高さは 類以外ほとんど差がない。これは、素材から 類まで高さがほとんど変化しないためである。長さは素材が平均9cmで最も長く、搬出品・ 類は8cm前後でやや短く、 類は4cm程度で明らかに小さい。これは、素材の長軸を最大限残す加工が行われるためであり、 類に関しては端部で細石刃状の剥離が行われた結果である。幅は当然であるが素材が最も大きく、 類と搬出品には差が見られない。大きさは長さ・幅・高さで搬出品と 類が類似し、搬出された舟底形石器は遺跡に残った 類と類似した形態であったと考えられる。 類の舟底形石器のほとんどに縞状剥離痕が残ることから 類は縞状剥離痕のある状態で搬入されたと考えられる。

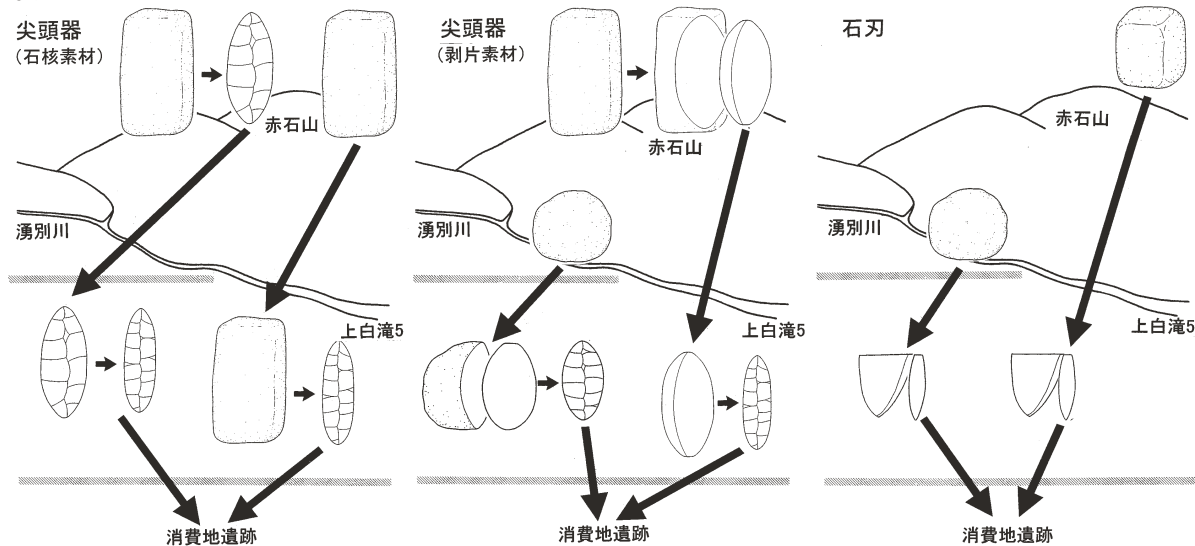
母岩別・接合資料の検討から 類のほとんどが遺跡で製作されている一方、 類はほとんどが搬入されている。また、舟底形石器にも彫器同様、細かい傷があり光沢の無い素材面である甲板面と細かい傷がなく光沢のある二次加工面である側面の二重パティナが観察されるものがある(図 - 36)。これらは 類の40%を占め、茶色に黒が混じる黒曜石4が多く、肉眼的に白滝産の黒曜石と考えられることから、原産地遺跡から素材もしくは 類で搬出され、運搬時等に表面に傷が付き、消費地遺跡でその表面を取り去るような加工が行われた後に 類の形態で本遺跡に搬入されたと考えられる(図 - 42)。 類にも1点(図 - 36 - 225)あり、母岩別資料を持たないことからこの形状で搬入されたと考えられる。白滝で製作され、移動の末に再び白滝に搬入される点で回帰性の強さ・白滝産の黒曜石に対する依存度の強さが認められる。原産地遺跡である本遺跡で完成品の一段階前の形(舟底形石器 類)まで製作後、搬出し、消費地遺跡で石器を完成させ、再び白滝に搬入する消費のあり方は尖頭器に類似する。

<搔器・錐形石器・削器・斧形石器> 搔器のほとんどが石刃素材で、側縁が急角度の加工で整形されるものとほとんど加工されないものがある。前者のほうが後者より幅広で、より幅広の素材に対して加工が行われたと考えられる。また、刃部に向かって撥形に広がるものがある。錐形石器は緑色泥岩製の局部磨製石斧が刃こぼれした剥片を素材としている。刃部は急角度の加工により作出される。削器は側縁が粗い剥離で鋸歯状に加工されるもの、急角度の剥離で直線的に加工されるもの、急角度の剥離で凹凸のある側縁に加工されるものがある。斧形石器は2点とも安山岩製である。また、斧形石器の刃部欠損の剥片を利用した錐形石器の存在から緑色泥岩製の局部磨製石斧が組成されていたと考えられる。2点は断面三角形で両端部が縦方向の剥離によって弧状に整形された片刃の「中本型」(杉浦 1987)と撥形で刃部が両面とも縦方向の剥離によって直線的に整形された片刃の「モサンプル型」(杉浦 1987)に対応する。

遺跡から復元できる石材消費 以上のことから石材の消費行動を復元したものが図 - 43である。Sb - 6~11は接合資料の分布から3つの区域に分けられ、それぞれ剥片剥離技術に違いがある。しかし、それらの関係は不明であるため、尖頭器・彫器・舟底形石器の共通性を重視し、全体を一つの石器群と認定し、まとめて考察する。

尖頭器は露頭で採取された角礫を利用した石核素材のものがほとんどで、原石もしくは原石採取地で粗加工された両面調整体で搬入される。それらは白滝(原産地)で尖頭器 類に加工され、搬出されるが、消費地遺跡でさらに加工され、回帰的な行動の末に白滝(原産地)に ~ 類の形状で搬入

Sb-5



Sb-6~11

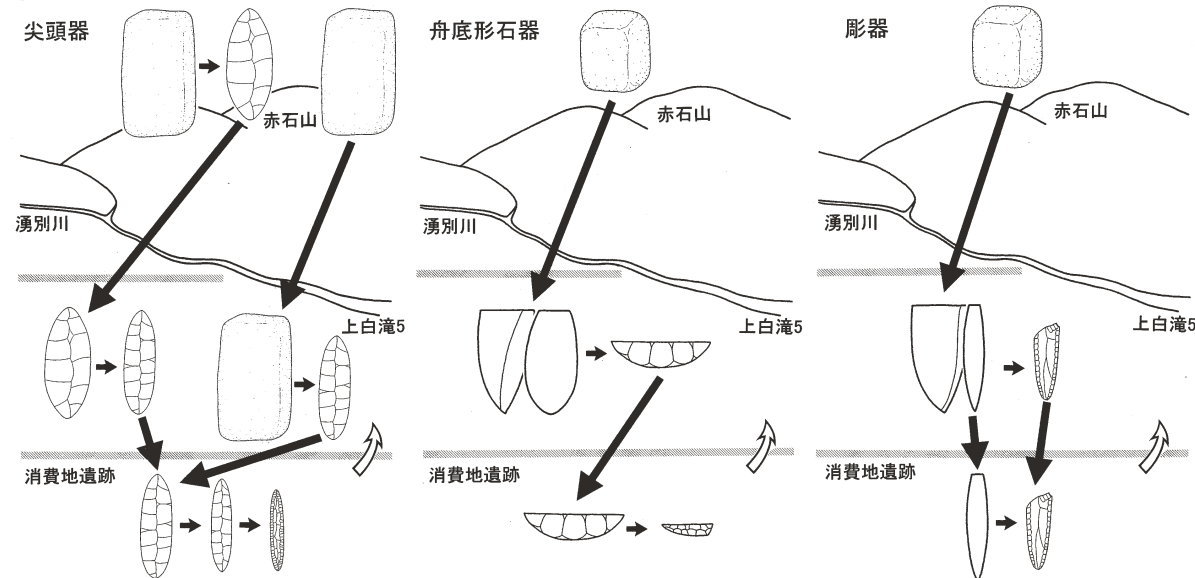


図 - 43 Sb - 5、6~11石材消費形態

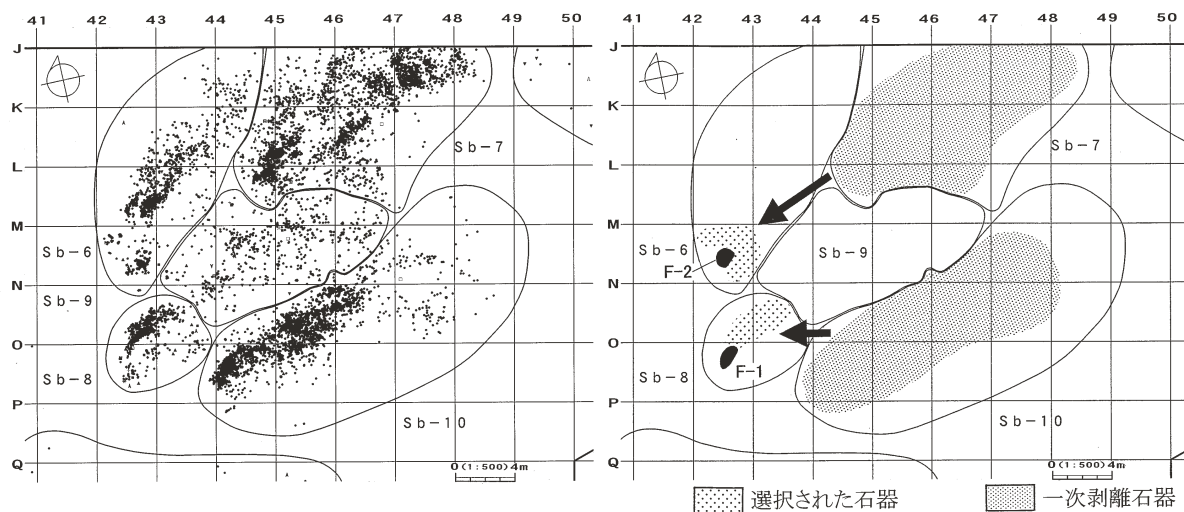


図 - 44 Sb - 6~11遺跡構造

される。

石刃剥離は、主に露頭で採取した角礫・円礫を原石のまま搬入して行われ、剥離された厚手の剥片・縦長剥片・石刃は舟底形石器に石刃・縦長剥片は彫器・搔器に加工されている。また、多くの石刃が搬出されている。彫器の中には彫器で搬入され、彫刀面再生後、遺棄されたものと再生後、搬出されたものがある。舟底形石器は白滝（原産地）で類に加工され搬出されるが、消費地で類に加工された後、再度白滝（原産地）に搬入されている。類の中には遺跡内で製作されたものがあるがそれは主体的ではなく、ほとんどが搬入と考えられる。

搬入された彫器・類の舟底形石器には二重パティナが見られるものがあり、それは、回帰的な行動の結果と考えている。二重パティナのある石器に肉眼的に赤石山と考えられるものが多く、白滝産の石を主体的に利用していたと考えられる。類似する石器群で白滝産の黒曜石に結び付きの強い遺跡に落合遺跡スポット1があり、消費地遺跡に位置付けられる。

搬入された彫器・類の舟底形石器の中には二重パティナが確認できるものとできないものがある。これは、素材剥離と二次加工の間の時間差の有無に相当し、石器が回帰的な行動の中で複数回補充された可能性を示唆するものである。このように尖頭器・彫器・舟底形石器から復元される回帰的な行動から石材獲得が狩猟採集戦略に埋め込まれていた（Binford 1979）と考えることが可能であろう。また、このような石材獲得・消費形態は石器製作の連鎖が認められないSb - 5とは対照的である。

産地分析の結果、白滝産以外の黒曜石である図 - 23 - H104・図 - 24 - H105など石刃・縦長剥片単位で搬入されるものもあり、原産地同士の両方向の動きが見られる。また、赤石山以外の産地では、ケショマップ産の搔器（図 - 24 - H102、Sb - 9）・舟底形石器（図 - 23 - X138、Sb - 6）・尖頭器（図 - 24 - X144、Sb - 11）、所山産の搔器（図 - 23 - H101、Sb - 9）・縦長剥片（図 - 23 - H104、Sb - 8）・石刃（図 - 24 - H105、Sb - 9）、あじさい滝産の搔器（図 - 24 - H103、Sb - 10）があり、白滝産であるあじさい滝以外は全て置戸周辺である。これらには石器の表面に傷が残るものが多く、保持している間に傷が付いたと考えられる。舟底形石器は類のうち小型の部類に入り、保持形態を示唆するものである。あじさいの滝の搔器にも傷が残り、同一母岩を持たない状況から移動の末に搬入されたと考えられる。石器の傷は素材面を多く残す彫器・舟底形石器に観察されるが、尖頭器・搔器にも残存するものがある。また、異なる石器群ではあるが置戸産の石刃鏃には傷が残らず、その有無は石器の移動時の保持方法にも影響を受けると考えられる。いずれにしても現象と解釈を結びつける実験が必要となり、傷が付やすい黒曜石の性質を利用して、石器に残る傷が母岩別資料と共に行動論的な解釈に重要な示唆を与えると予想される。その際には埋没後の傷や使用痕と区別する方法も確立しなければならない。それらに関しては本石器群と比較しうる消費地遺跡の様相と共に今後検討していきたい。

分布と遺跡構造 Sb - 6～11は接合状況からSb - 6・7、Sb - 8～10、Sb - 11に分けられるが、そのうちSb - 6・7とSb - 8～10は類似した構造を持つ（図 - 44）。それらにはそれぞれ赤色土であるF - 2・F - 1が南西部に伴い、石器分布の内容では赤色土に隣接する北東部に彫器・舟底形石器類・形態の整った石刃が多く、Sb - 6では一部舟底形石器製作が、Sb - 8ではほとんどの舟底形石器製作が行われている。Sb - 6・7ではさらに北東部に一次剥離・舟底形石器製作を含むSb - 7が、Sb - 8～10では東側に一次剥離剥片が残るSb - 10があり、そこから選択された石器が赤色土の周辺に持ち込まれている。これらは剥片剥離技術に差が見られるが、配置・石器の内容の構造が非常に類似している。それぞれ彫器・彫器削片・舟底形石器類のまとまった出土状況から赤色土周辺で彫器・舟底形石器類を利用した集約的な作業が行われた可能性がある。また、白滝産以外の石器のほとんどは

石器製作における一次剥離の痕跡を残すSb - 7・10以外のブロックから出土している。

年代 Sb - 6の南西部に位置するCb - 1は $18,520 \pm 150$ yBP、 $18,860 \pm 140$ yBPの放射性炭素年代測定値が得られている。水和層年代測定は、Sb - 6出土石器に $16,742 \pm 1,605$ yBP (H85) $11,922 \pm 430$ yBP (H86) $27,288 \pm 1,133$ yBP (H87) $9,452 \pm 339$ yBP (H101) Sb - 7出土石器に $14,587 \pm 90$ yBP (H88) $12,384 \pm 277$ yBP (H89) $16,459 \pm 706$ yBP (H90) Sb - 8出土石器に $14,961 \pm 210$ yBP (W39) $23,632 \pm 428$ yBP (W40) $17,749 \pm 278$ yBP (H91) $12,040 \pm 825$ yBP (H104) Sb - 9出土石器に $12,961 \pm 258$ yBP (H92) $18,072 \pm 1,183$ yBP (H93) $24,711 \pm 1,257$ yBP (H94) $17,577 \pm 2,478$ yBP (H105) Sb - 10出土石器に $19,273 \pm 741$ yBP (H95) $25,141 \pm 1,074$ yBP (H96) $26,473 \pm 179$ yBP (H97) $21,590 \pm 1,272$ yBP (H103) Sb - 11出土石器に $16,654 \pm 2,651$ yBP (H98) $17,863 \pm 1,937$ yBP (H99) $21,461 \pm 478$ yBP (H100) の年代値が得られているが、全体では9,000~28,000yBPの範囲を含み、ばらつきが著しく、これらから年代を決定することはできない。類似する遺跡は上白滝2遺跡(鈴木ほか 2001)、落合遺跡(北沢1992、山原1998)、南町1遺跡(北沢・山原 1995)、モサナル遺跡(芹沢ほか 1982)があり、それらは旧石器時代終末期に位置付けられている(山原 1998、寺崎 1999)。(鈴木宏行)

(5) 石器ブロック12 (Sb - 12)

本ブロックはSb - 9の石刃鏃1点を含め、石刃鏃3点・削器4点・剥片6点が出土した非常に小規模な石器群である。1点の石刃鏃(図 152 1)を除いて全て白滝以外の黒曜石が利用され、原産地の特定されていないKS1遺物群を除くと全て置戸・所山産である。石刃鏃は幅1.1~1.2cm、厚さ0.3cm前後、削器は幅1.7~1.9cm、厚さ0.5~0.7cmでそれぞれに規格性が高いが、両者の間には違いがあり、別の規格の素材が選択されている。ツール率が高く、石器として搬入され、石器製作は行われていない。沢を挟んだ東側の上白滝6遺跡にも石刃鏃石器群が出土しているが、そこでは黒曜石2(なし肌)の黒曜石のみ石器製作が行われている。

水和層年代測定では、 $5,266 \pm 722$ yBP (W41) $6,846 \pm 349$ yBP (W42) の年代値が得られている。通常考えられている石刃鏃の年代である7,000~8,000yBP(縄文早期)と比較するとやや新しいが、誤差の範囲と考えられ、Sb - 6~11の石器群とは明らかに分別できる。(鈴木宏行)

3 自然科学的分析と石器群についての若干のコメント

各種の自然科学的分析と奥白滝1・上白滝5遺跡の石器群・石器ブロックについて若干の整理と特徴を指摘するが、詳細はそれぞれの節・項を参照願いたい。

(1) 古環境復元について

粒度・珪藻・花粉・植物珪酸体分析 奥白滝1遺跡の2地点、上白滝5遺跡の4地点の土壌をサンプリングして行った。奥白滝1遺跡では、粒度分析からほぼ全層位がシルトで、分級度が非常に悪く、それでいて尖度も非常に突出していることから、全層位が周辺の白滝層に由来する細粒の風成塵からなる風成土壌層とされている。さらに分級度が非常に悪い要因として背後の斜面からの碎屑物やテフラの降下堆積などが上げられている。調査時点の層位区分や昨年報告した土壌中の火山ガラスのEPMA分析結果などと整合する状況である。

珪藻・花粉・植物珪酸体分析では、試料の残存状況が悪く、植生変遷などを推定できるデータは得

られなかった。しかしながら、遺物包含層下の層下部は、他の層位より粘土化が進んでいること、陸生珪藻やクマザサ属の植物珪酸体が確認されたことなどから、いわゆる最終間氷期の温暖な環境に関連するものでは、と指摘されている。

上白滝5遺跡では他の遺跡では見られない灰白色粘土層とそこで確認された赤色土を中心に分析を行った。灰白色粘土層は珪藻化石の特徴から湖成堆積物である白滝層の再堆積層で、赤色土も灰白色粘土由来であることが確認された。したがって、赤色土は他から持ち込まれたものではなく、灰白色粘土層が酸化して赤色化したもので、火の影響による可能性が強い。通常の遺跡では火が焚かれた場所に残ったよく焼けた焼土は炭化物をほとんど含まないことが多いので、赤色土中に炭化木片がみられなくても問題はない。また、他の遺跡では炭化木片ブロックはみられるが、焼土が見られないことも、逆に上白滝5遺跡の灰白色粘土層が赤色化が進む状況であったと考えれば、矛盾はない。現場段階では、採取した灰白色粘土にガスバーナーをあてて焼成実験をしたところ、ローム層が焼けた橙色の焼土というよりは、赤色土に近い桃色の焼土となった。以上のことから、現時点では赤色土は焼土の可能性が強いと考えられる。

炭化木片の樹種同定 上白滝8・上白滝2・奥白滝1の三つの遺跡の炭化木片ブロックで採取された炭化木片のうち比較的大きなもの62点(上白滝8:40点、上白滝2:8点、奥白滝1:14点)を抽出し、分析をお願いしたが、43点(上白滝8:26点、上白滝2:8点、奥白滝1:9点)については同定ができ、残りの19点(上白滝8:14点、奥白滝1:5点)については試料が小さく同定できなかった。また、同定できた43点のうち、28点(?も含む)(上白滝8:16点、上白滝2:5点、奥白滝1:7点)については属まで確認できた。

結果は、43点のうち1点が広葉樹の可能性があるが、残りはすべて針葉樹で、属まで同定できたものは、カラマツ属(*Larix* sp. グイマツ類)が14点、トウヒ属(*Picea* sp. エゾマツ類)が9点、モミ属(*Abies* sp. トドマツ類)が4点、カラマツ属あるいはトウヒ属が1点で、カラマツ属とトウヒ属が大半を占める。炭化木片ブロックは焚き火の痕跡の可能性が考えられるが、人が関わらない自然現象の産物という可能性も全く捨てきれない。また、樹種同定を行ったものとは同一試料ではないが、同じ炭化木片ブロックから採取された炭化木片の放射性炭素年代測定(AMS法)では、 $27,610 \pm 130$ yBP(上白滝8遺跡Cb-13(中層):Beta-101791)~ $10,280 \pm 50$ yBP(上白滝8遺跡Cb-3(1):Beta-101789)という数値が得られている。焚き火の薪材または生えていた自然木いずれにしてもこの時期の遺跡周辺の植生を反映していることは確かである。

また、広葉樹(?)と針葉樹とのみ確認できたものの中には、鉱物質のものが付着して組織の詳細な観察ができなかったものがあることが報告されている。そのうち上白滝8遺跡のCb-13では、同種の試料4点について、蛍光X線分析装置を利用し、微量元素の測定を行った。比較試料としては根室市穂香竪穴群(擦文文化期)のH-10出土の炭化材2点も同様な分析を行った。その結果、いずれの試料ともAl、Si、Ca、Feなどが主要元素であるが、Feに関しては穂香の2点が10%台であるのに対し、上白滝8の4点は60~80%と極めて高い数値を示した。したがって、付着している鉱物質の正体は鉄分であると考えられる。炭化の過程での鉄分の付着というよりは、埋没中に土壤中の鉄分が水などの影響で付着した可能性が強い。

遺物の分布と移動 各遺跡での遺物の平面的な分布状況をみると、放射状・条線状になっていることは平成7年の調査開始時から判明し、それは土壤の凍結・融解作用などの影響である可能性が考えられた。そしてその点を具体的に検討するために平成9年度に奥白滝1遺跡において、地形面構成層からの抜け上がりないし再移動によって供給されたと考えられる礫の長軸方向を計測した。その結果、

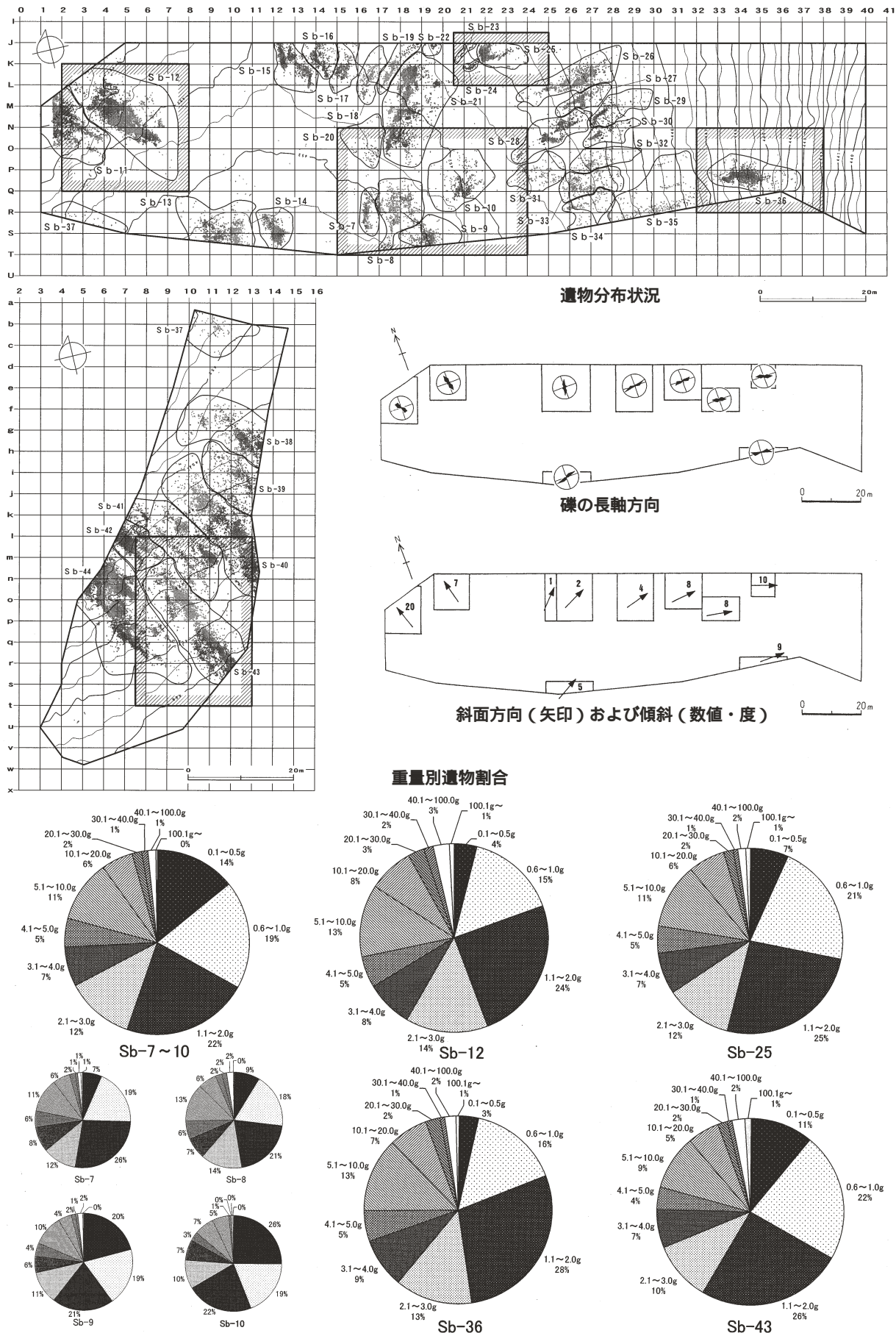


図 - 45 奥白滝1遺跡遺物分布図、碟の配列、斜面方向、重量別遺物割合

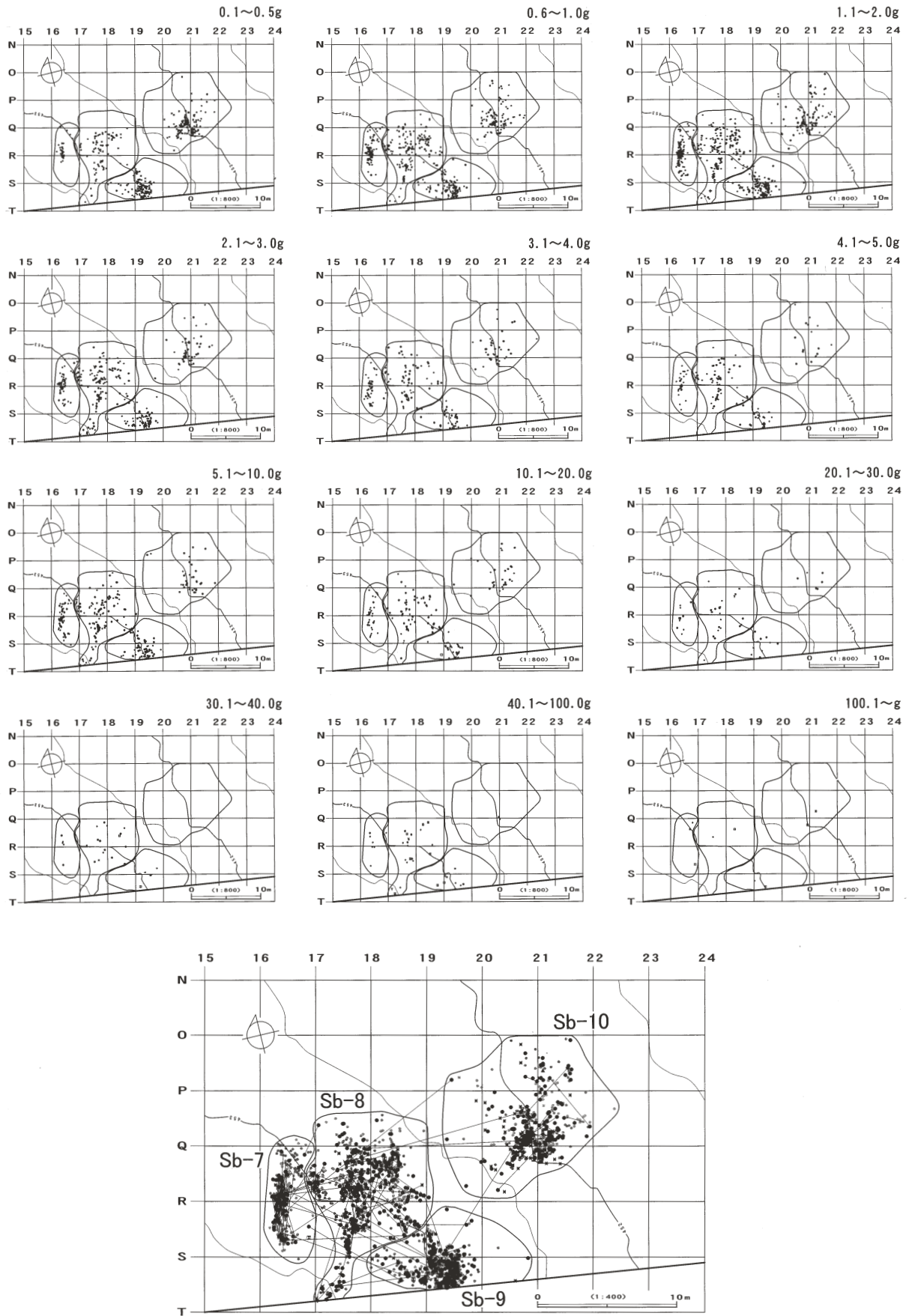
石器や礫の移動方向が最大傾斜方向と調和的であることから、その移動は重力に起因するマスマーブメントであると判断され、さらに、その移動が緩慢であることや、その時期が旧石器時代ないしその直後であるという時代的背景から、マスマーブメントは周氷河性のソリフラクションであると結論付けられている(平川ほか 2000)。ここでは改めて奥白滝1遺跡の遺物の分布状況と礫の長軸方向、斜面方向および傾斜を示した(図 - 45)が、調和的な状況が改めて確認できる。今回はさらに地形的に異なる馬の背状の中央部2地点(Sb - 7~10:図 - 46、Sb - 25:図 - 47)、西側の傾斜部2地点(Sb - 12:図 - 48、Sb - 43:図 - 49)、東側の傾斜部1地点(Sb - 36:図 - 50)の5地点、8か所の石器ブロックについて遺物の重量別分布を示し、先のソリフラクションの状況や石器ブロックの形成について若干検討する。分布図を示した石器ブロックは、Sb - 7~10が細石刃・石刃剥離を主に行ない、他のSb - 12・25・36・43は尖頭器の製作を中心に、石刃・縦長剥片剥離が行なわれているところである。図 - 45円グラフの重量別の点数割合をみると、いずれも0.6~1.0gと1.1~2.0gの石器が多く、0.1~3.0gの石器が半数以上を占め、全体的な比率の状況も似た傾向を示している。このことは、いずれの石器ブロックにおいても、剥片類が他の場所から選択的に廃棄されたり、また搬出されたものではなく、そこに残されたということ、つまり石器・素材製作を行ったままの状態、石片はその場に遺棄された状態であることを示している。また、Sb - 7~10、Sb - 25以外はそれぞれにおいて小ブロックがみられるが、重量別の石器が同じような分布を示している。これは遺物の移動が急激な流水などによるものではなく極めて緩慢な状況で起こっていることを示し、その原因が周氷河性のソリフラクションであることをさらに裏付けている。Sb - 25の状況(図 - 47)は、斜面の傾斜が緩くて、水分を多く含んだ粘土質部分で、さらに石器が多量に残された場所でみられる石器がピットに落ち込んだような状況で出土する場合である。おそらく粘土層の凍上・融解作用と多量の石器が関連して起こる現象と考えられ、こちらは石器類が移動して広がるのではなく、移動して集中する場合で、人為的なものとは考えられない。Sb - 7~10(図 - 46)は他の石器ブロックに比べ石器類の遺棄後の移動が少ない状況とみられ、器種分布の偏りなどもあり、ブロック内での作業の場や人の相違を反映している可能性がある。(長沼 孝)

(2) 黒曜石製石器の産地分析と水和層測定について

今回報告したのは、奥白滝1遺跡58点、上白滝5遺跡52点、北支湧別4遺跡3点、計113点についての産地推定分析結果と、奥白滝1遺跡14点、上白滝5遺跡40点、北支湧別4遺跡3点、計57点についての水和層測定による年代換算結果である。このうち産地推定分析では奥白滝1遺跡10点、上白滝5遺跡10点、計20点、水和層測定では奥白滝1遺跡4点、上白滝5遺跡6点、計10点は平成11年度において、遺跡群全体の中からパイロット的に抽出して行ったもので、残りのものは今年度に追加分析したものである。なお、北支湧別4遺跡の出土遺物については昨年度報告済であるが、縄文時代と考えられる石器のデータ蓄積のために今年度に他の追加試料とともに分析した。

産地推定分析 奥白滝1遺跡で産地推定分析したのは、9の石器群、24か所の石器ブロックの58点で、赤井川1点、十勝三股1点、KS1群1点、ケショマップ2点、置戸・所山8点、白滝・あじさいの滝9点、白滝・赤石山36点という判定結果である。

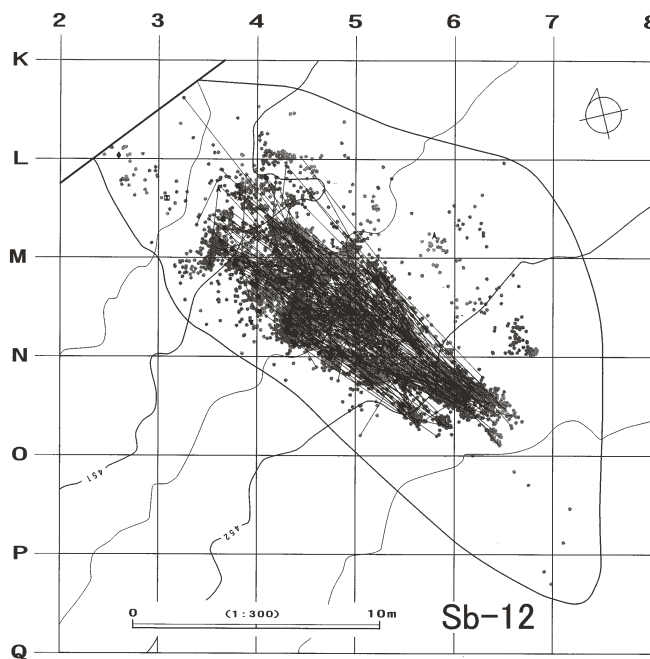
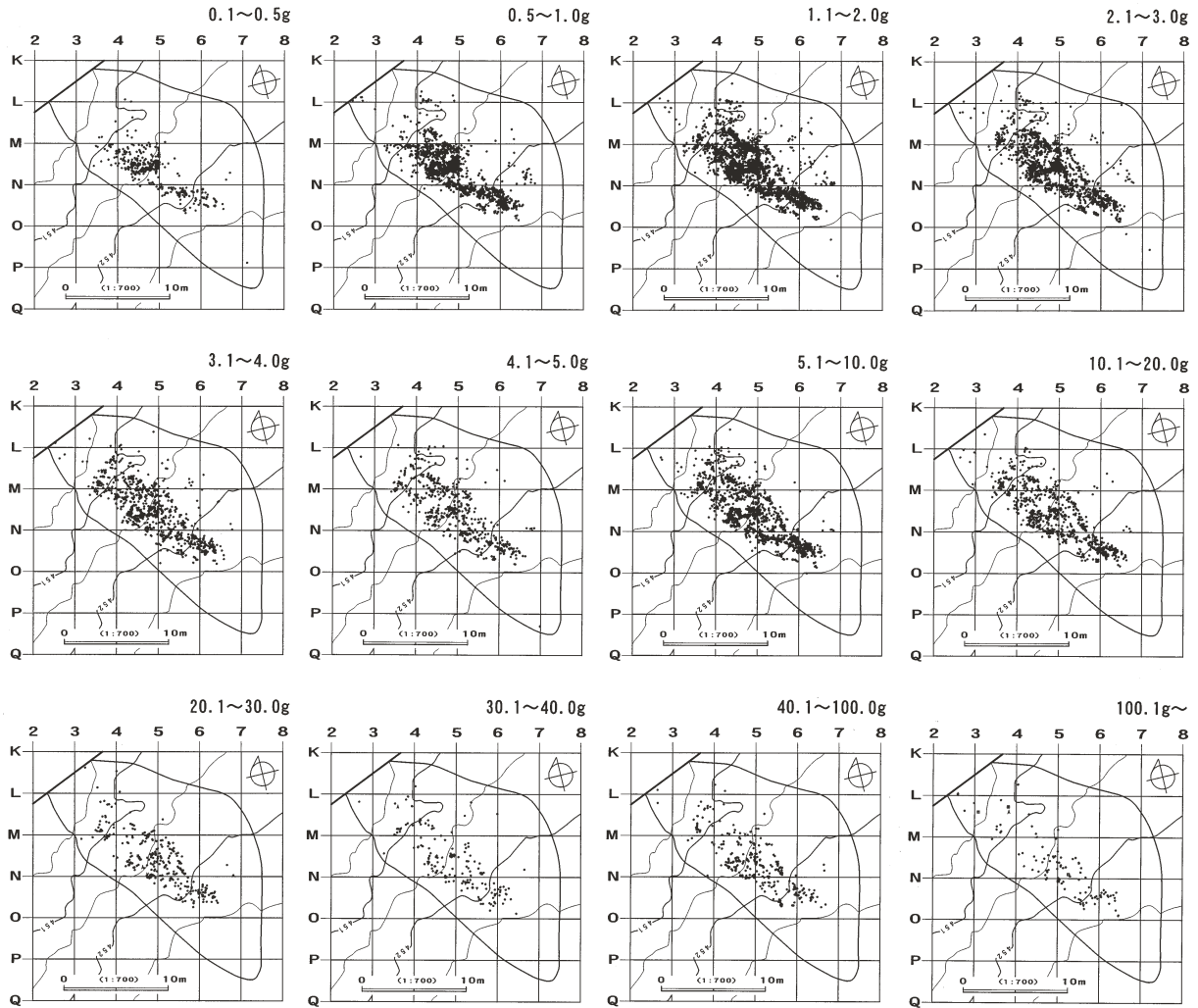
赤井川と判定された1点は、Sb - 25出土の尖頭器(X133)(図 - 258 - 1)で、縞状の流離構造がみられ、さらに小球顆が列を成している部分もあり、置戸・所山のものとは異なった印象を受ける。石器は左右非対称の尖頭器で、全体的に光沢は鈍い。形態を細かく見ると、上半部は比較的左右対称であるのに対して、下半部は左側辺がやや湾曲するが、右側辺は直線的である。さらに細かく観察す



遺物分布・折れ面接合

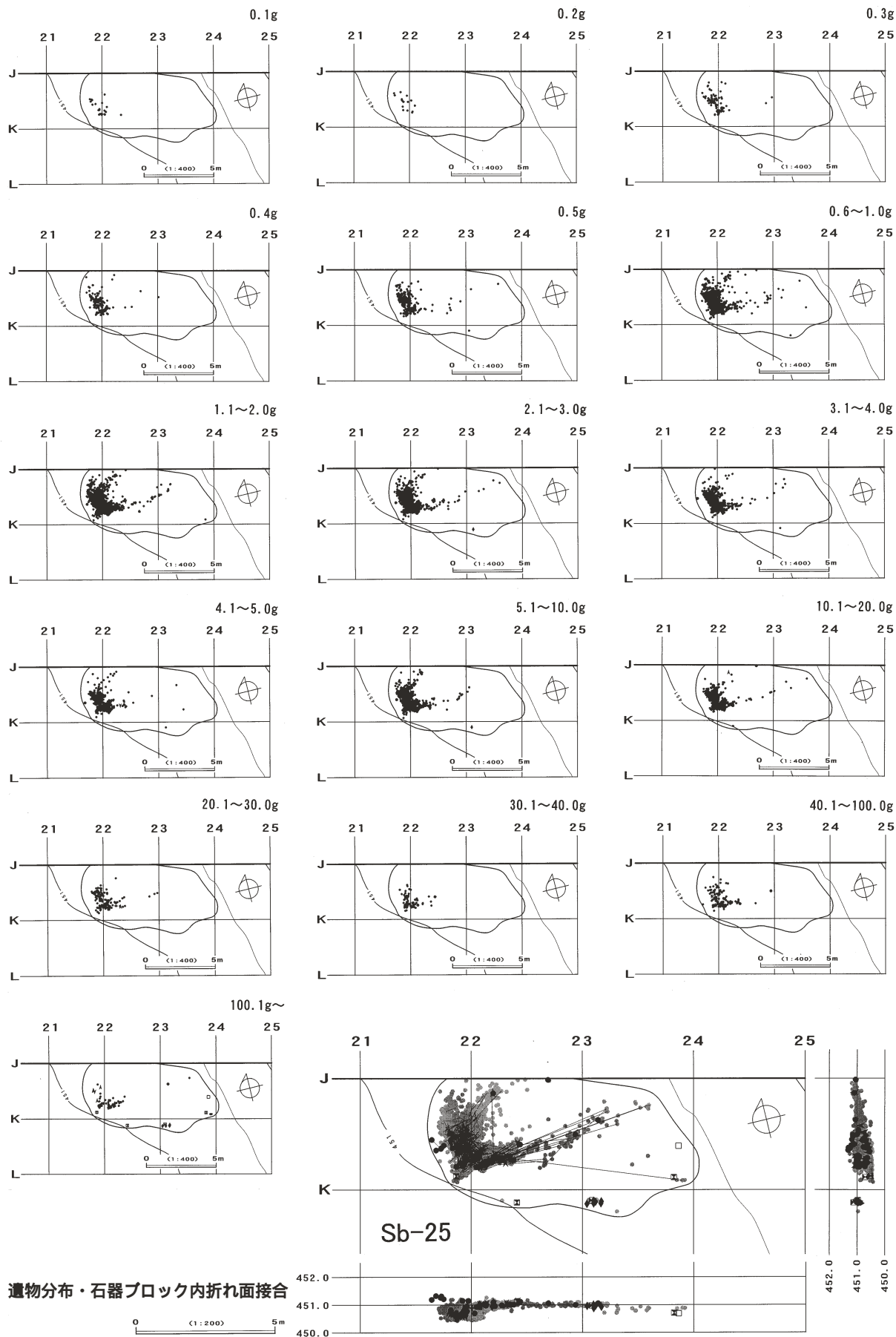
図 - 46 奥白滝1遺跡Sb-7~10重量別遺物分布図

3 自然科学的分析と石器群についての若干のコメント



遺物分布・石器ブロック
内折れ面接合

図 - 47 奥白滝1遺跡Sb-12重量別遺物分布図



遺物分布・石器ブロック内折れ面接合

図 - 48 奥白滝 1 遺跡 Sb - 25 重量別遺物分布図

3 自然科学的分析と石器群についての若干のコメント

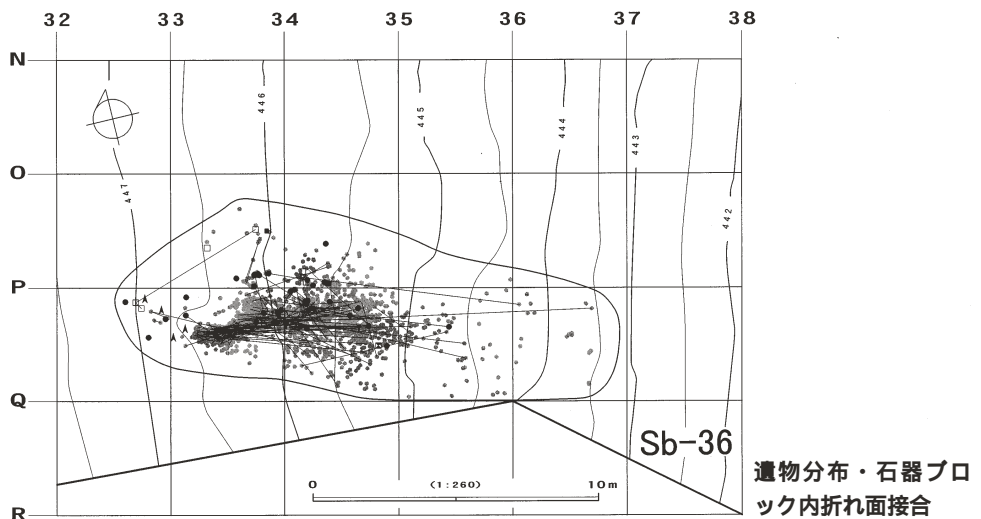
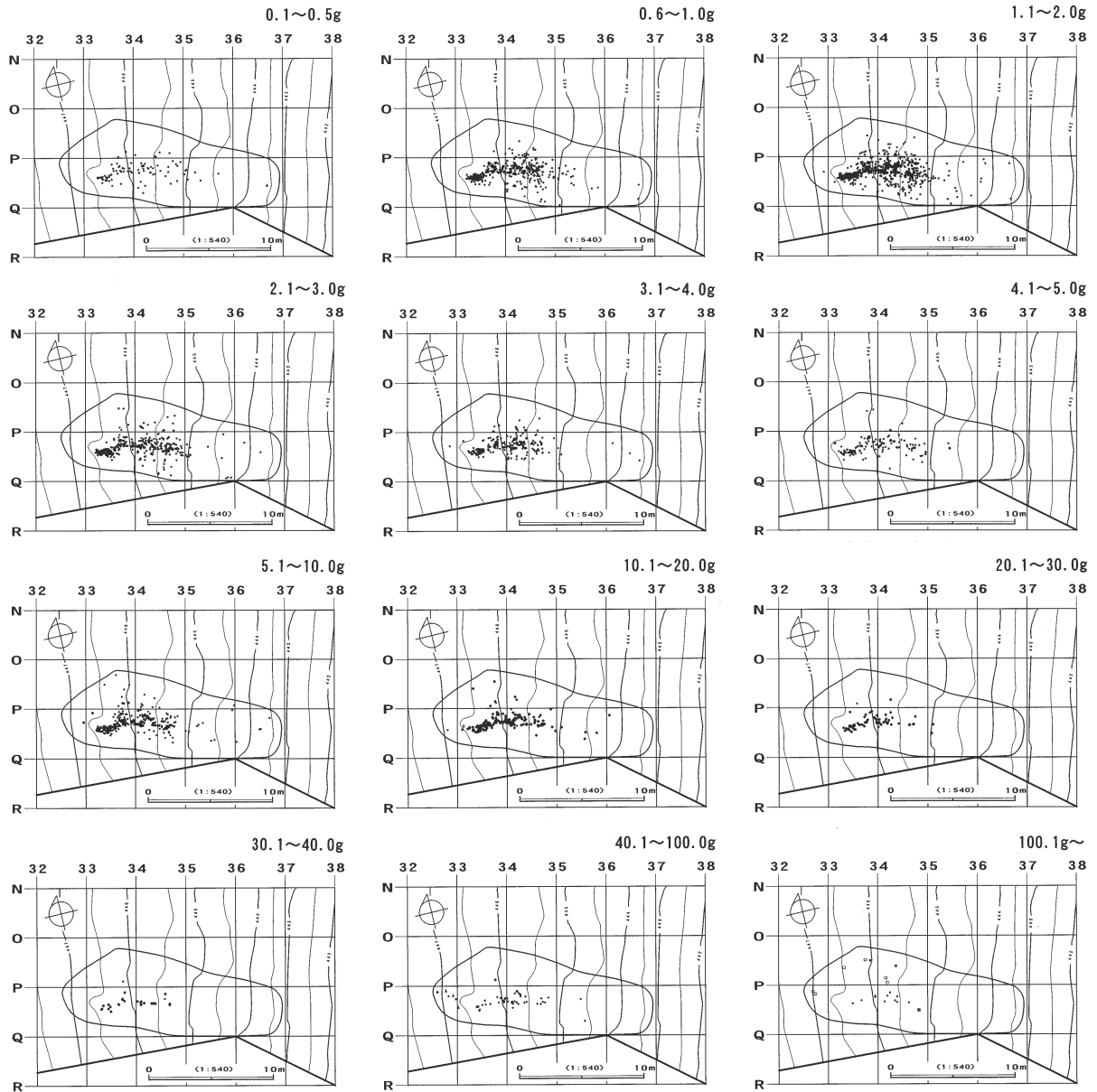


図 - 49 奥白滝1遺跡Sb-36重量別遺物分布図

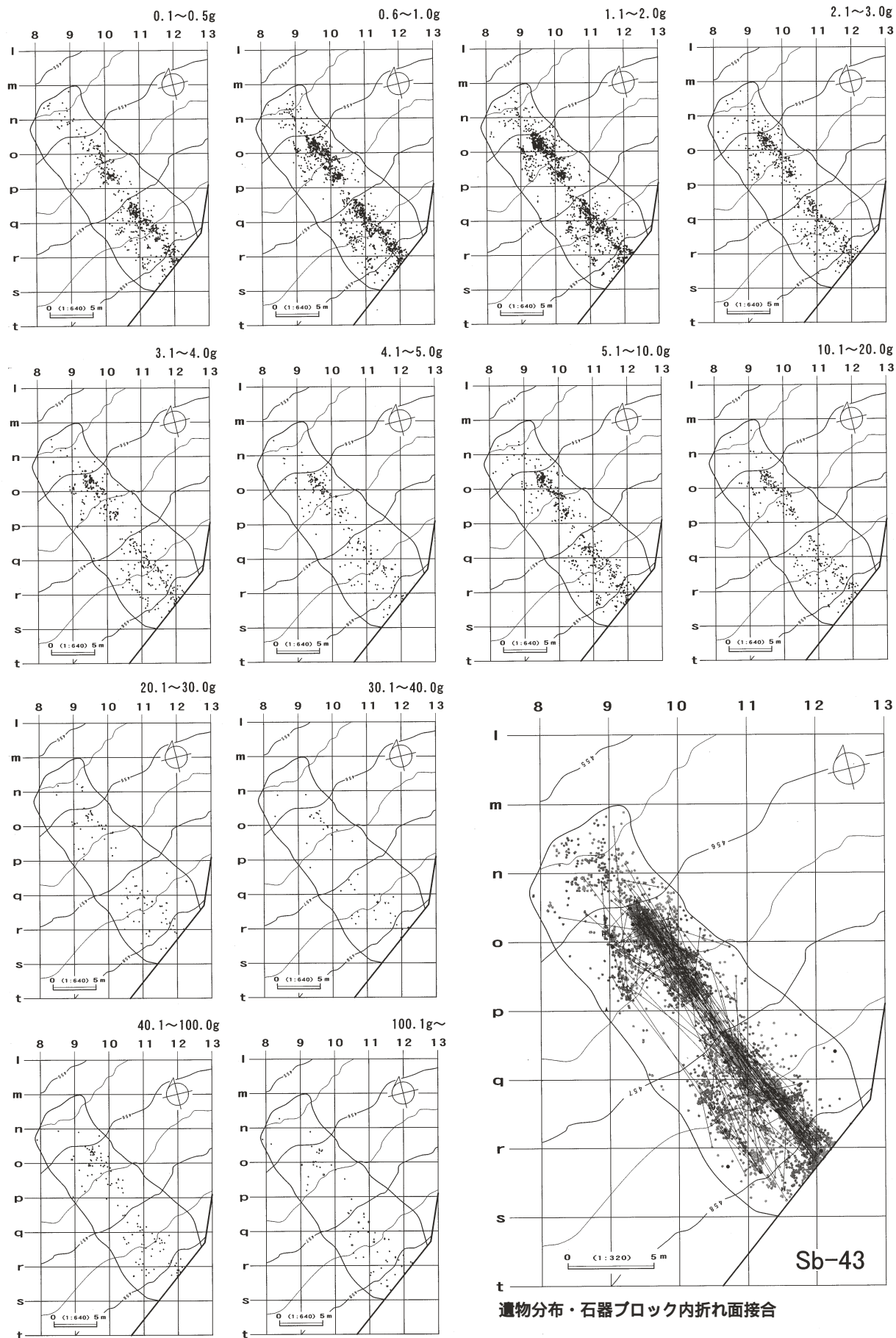


図 - 50 奥白滝1遺跡Sb-43重量別遺物分布図

ると、左縁辺は摩滅してやや丸くなり、表面の状態は左側の両面には部分的に摩滅し、縦方向の擦痕が観察できる部分がある。それに対し右側縁は正面側に他の部分に比べるとやや光沢のある剥離がわずかにみられ、先端部も新しい剥離の可能性があるが、左右に小さな槌状剥離がみられる。以上のことから、この尖頭器は上半部を基部、下半部を刃部としたナイフないしスクレイパー的機能の石器として使用され、右側縁の正面側がわずかに刃部再生の剥離が行われているものと考えられる。比較的長期にわたって使用された石器の可能性はある。

十勝三股と判定された1点は、Sb - 40出土の削器(H67)で、縞状の流離構造がみられるが、置戸・所山などに比べると縞模様が曲線的で異なった印象を受ける。透明感が強い黒曜石で、水和層もあまり発達せず、縄文時代の石器の可能性はある。KS 1群と判定された1点は、Sb - 21出土の尖頭器(X128)で、灰色の縞状の流離構造がみられ、置戸・所山の黒曜石に近い印象を受ける。石器は、原礫面が残り、加工も粗い尖頭器の未成品である。ケショマップと判定された2点は、「白滝 群」のSb - 6出土の石核と剥片の接合資料(X107)とSb - 40出土の削器(X137)で、X107は縞状の流離構造が顕著で、灰色で光沢が鈍い部分と透明感が強い部分の極端に異なる二つの部分で構成され、肉眼的にも他のものと区別が可能である。X137は灰色で光沢が鈍く、まだら模様がみられる。置戸・所山と判定された8点は、Sb - 13出土の搔器(X124)、Sb - 19・21出土の尖頭器(X126・X129・X130)、Sb - 26・34出土の有舌尖頭器(X3・X6)、Sb - 38出土の削器(H62)、Sb - 40出土の二次加工ある剥片(H64)である。いずれも灰色が混じる縞状の流離構造がみられるが、透明感が強いものもある。白滝・あじさいの滝とされたものは昨年分析結果同様透明感が強いものである。

石器群や石器ブロックでの状況を見ると、「白滝 群」のSb - 4~6では、ケショマップの母岩が1個体あるが、他はすべて赤石山である。Sb - 7~10の「紅葉山型」細石刃核を含む石器群では、分析した15点中、あじさいの滝が5点を占め、他は赤石山で、基本的に白滝産の黒曜石のみということになる。他の尖頭器を含む石器群では、主に尖頭器製作を行っているSb - 21で、置戸・所山、KS 1群の3個体の尖頭器がみられ、それらがいずれも未成品の状態であるのが興味深い。また、同じ白滝産以外の黒曜石製の石器でも原石段階からの尖頭器製作が行われているSb - 25出土の赤井川産の尖頭器は、使用の状況が顕著な石器として持ち込まれ、置戸・所山とは異なった搬入石器の状況がみられる。

上白滝5遺跡で分析を行ったのは七つの石器群、12か所の石器ブロックの52点で、KS 1群1点、ケショマップ3点、置戸・置戸山2点(HS 2群1点を含む)、置戸・所山5点、白滝・あじさいの滝2点、白滝・赤石山40点という判定結果である。KS 1群と判定された1点は、Sb - 12出土の石刃鏃(W41)で、透明感が強く、縞状の流離構造が顕著な黒曜石で、同じ石器ブロック出土の石刃鏃と酷似している。ケショマップと判定された3点のうち2点はSb - 9出土の搔器(H102)とSb - 11出土の尖頭器(X144)で、いずれも奥白滝1遺跡出土のケショマップと判定された石器と同様、灰色で光沢が鈍く、縞状の流離構造が顕著である。もう1点のSb - 6出土の舟底形石器(X138)は光沢がほとんどなく、一見黒曜石とは異なった石材の印象を受ける特徴的なもので、肉眼的にも明確に区別できる。置戸・置戸山と判定された2点は、いずれもSb - 12出土の削器(X21・W42)で、X21は透明感がなく、縞状の流離構造がみられるが、対照的にW42は極めて透明感が強く、流離構造もみられない。置戸・所山と判定された4点は、Sb - 6・9の搔器(H101・H105)、Sb - 12の石刃鏃(X23)と削器(X22)で、透明感が強く、もや状の縞が見られる。

石器群と石器ブロックの状況を見ると、東側のSb - 1~5では、Sb - 5であじさいの滝が1点あるが、他はすべて赤石山で、基本的に白滝産黒曜石だけである。西側のSb - 6~11では、Sb - 6で所山

の搔器とケショマップの舟底形石器、Sb - 9で所山とケショマップの搔器が、Sb - 11でケショマップの尖頭器がみられる。いずれも石器の状態を持ち込まれている。石刃鏃石器群のSb - 12では、石刃鏃3点のうち1点のみが赤石山で、1点がKS1群、1点が置戸・所山で、削器は2点が置戸・置戸山、1点が置戸・所山で、白滝産の黒曜石が少ない状況である。昨年度報告した上白滝6遺跡のSb - 1の石刃鏃も置戸・所山産の黒曜石で、上白滝5遺跡の状況と合わせて、置戸産の黒曜石製石器が多いというのが白滝遺跡群の中での石刃鏃石器群の大きな特徴的である。

今回の黒曜石製遺物の産地推定分析結果から特徴的なことをいくつか指摘できる。第一は赤井川産の黒曜石製石器が白滝で初めて確認できたことである。白滝産の黒曜石製の石器や素材が北海道各地で出土していることから考えると赤井川産のものが白滝で出土しても不思議ではない。また、同様なサイズの石器であれば、出土している大型の剥片で作ることは十分可能である。白滝の遺跡における搬入石器・素材の在り方だけでなく、後期旧石器時代における石器の意味を考えさせられる事例といえよう。つまり、実用性だけでは解決できない石器の保持や伝播という、石器や石器製作の持つ社会性(稲田 2001)を反映している可能性がある。第二は昨年度報告した上白滝2・上白滝6・北支湧別4遺跡同様、置戸・所山のものもある程度確認されたことである。そしてそのあり方として北支湧別4遺跡同様、出土点数の少ない有舌尖頭器にみられること、上白滝2遺跡Sb - 9の搬入されて調整が行われ、再び搬出された尖頭器同様、調整段階の尖頭器があること、上白滝6遺跡の石刃鏃同様、石刃鏃石器群では石刃鏃や削器の大部分を占めることなどである。第三は所山に隣接する置戸山のものも2点確認できたことである。2点とも上白滝5遺跡の石刃鏃石器群で、確実な旧石器時代の石器ではまだ確認されていない。第四は最近確認された留辺蘂町のケショマップのものが確認されたことである。肉眼的な特徴では灰色で玻璃光沢が鈍く、置戸・所山のものよりか縞状の流離構造が顕著である。ケショマップの原産地の状況はまだ不明なことが多く、隣接する丸瀬布町側でも類似した原石が採取でき、その広がりや原石の特徴の把握は今後の課題であるが、白滝と所山・置戸山の間接地帯に位置し、相互の関連性は今後検討していかなくてはならない。

水和層測定による年代換算 奥白滝1遺跡の黒曜石製遺物で水和層測定による年代換算を行ったのは、三つの石器群、8か所の石器ブロックの14点である。すべての石器群を比較できる状況で行っていないが、特徴的なことを整理したい。

Sb - 7~10の「紅葉山型」細石刃核を含む石器群では3点行い、 $13,706 \pm 811$ yBP (Sb - 9石刃核: W1)、 $18,315 \pm 1,335$ yBP (Sb - 8細石刃核: W2)、 $20,184 \pm 1,185$ yBP (Sb - 10搔器: W3) という数値が得られたが、同時期の石器・石器ブロックと考えられるので、年代幅が大きく、石器群の年代としては直接採用できない。

尖頭器を含む石器群では、縄文時代的な石器を中心に抽出しているので、全体的な傾向は把握できない。それらの中で、石鏃(Sb - 42: H69)では $3,328 \pm 11$ yBP、石鏃に近い小型の尖頭器では $14,886 \pm 781$ yBP (Sb - 35: W4)、 $16,213 \pm 1,233$ yBP (層: H68)、つまみ付きナイフでは $10,431 \pm 1,411$ yBP (層: H70) という数値が得られたが、石鏃以外は少し古すぎる状況である。つまみ付きナイフは形態的には縄文時代前期の綱文式に伴うものと考えられるが、パティナは著しい光沢がある状況ではない。Sb - 38~44は縄文時代の石器が混在した状況であったので、多くの測定を行っているが、明らかに旧石器と考えられる石器のデータが不十分なので、比較検討できない。石材・遺跡の環境の相違における水和層の発達状況の違いが大きく作用している可能性があり、それぞれ石器の年代としては採用できない状況である。

上白滝5遺跡の黒曜石製遺物で水和層測定による年代測定を行ったのは、七つの石器群、12の石器

ブロックすべてにおいて43点行った。石器ブロックや同一母岩において数値が比較的まとまっているものとバラツキがみられるものがある。Sb - 1は尖頭器の調整剥片のみの内容が不十分な石器ブロックであるが、3点が20,000年代の数値となっている。Sb - 2は肉眼的にも光沢があり、水和層の発達も少なく、同じ接合資料の剥片であるが、測定結果も8,000年前後の数値が得られ、縄文時代の石器群の可能性はある。Sb - 3は同じ接合資料の剥片であるが、近い数値が得られている。Sb - 4・6・8・9ではそれぞれのブロック内で10,000年以上、Sb - 5・7・10・11でも4,000～7,000年の数値の差がみられ、全体的にバラツキが大きい。Sb - 12は石刃鏃石器群で、約6,000～6,500年前の数値が得られ、石器群の年代に近い数値と言えるかもしれない。

以上、2遺跡57点の水和層測定による年代測定データを見ると、上白滝5遺跡Sb - 12の石刃鏃石器群やパティナの状況と測定値の整合性から、縄文時代の石器群の可能性が強い上白滝5遺跡Sb - 2などではある程度近似した数値が得られた。しかしながら、奥白滝1遺跡では、縄文時代のつまみ付きナイフでも9,000～10,000年前の数値が出ていることから、当然のことながら原石や埋没環境の相違で、縄文時代の石器でもやや古い数値が出ることがあることを認識しておく必要がある。すべての石器ブロックについて測定を行った上白滝5遺跡で同じ石器群、石器ブロックの状況を見ると、近似した数値が得られているものもあるが、全体的にはバラツキが大きく、単純に石器群の年代としては採用できない状況である。ただし、同一の接合資料では比較的近似した数値が出ているので、今後も測定値を増やし、基礎データの蓄積を図る必要がある。また、今回の測定値で、今から20,000年以上前の古い数値が出たものが、Sb - 1 (H72・H73・H74)、Sb - 3 (H82・H83)、Sb - 6 (H87)、Sb - 10 (H96・H97) など尖頭器の調整剥片である点が共通している。現時点では、この数値が石器の年代を示している可能性は低いと考えられるので、上白滝5遺跡の環境、または剥片の形状などが水和層の発達を促進する要因があったのか、同一条件の測定値を蓄積することによって、データを比較していく必要がある。(長沼 孝)

(3) 碧玉製石器の産地分析について

奥白滝1遺跡出土の二つの石器群、6か所の石器ブロック、13点について分析を行った。当初J1～J10の10点の石器を抽出して分析を依頼したが、それらはいずれもサイズが大きすぎてESR分析ができないとの指摘を受け、J11～J13を追加して分析を依頼した。しかし、結果的にESR分析ができたのはJ12の1点のみであった。

分析結果は、蛍光X線・ESR分析の両方からJ12については、興部産と判定された。また、蛍光X線分析だけしかできなかったが、碧玉1の濃緑色の石器7点(J1・J3・J4・J7・J10・J11・J13)についても興部産の可能性が強いと判定された。しかし、碧玉2の黄色の石器4点(J5・J6・J8・J9)と碧玉3の赤色の石器(J2)については、基礎データ不足で特定することができなかった。濃緑色部分と黄色部分があるJ4の縦長剥片では、濃緑色部分の分析で、興部産の可能性が強いと判定されていることから、碧玉2(黄色)や碧玉3(赤色)の石器も興部産の可能性が強いと考えられる。昨年報告した上白滝6遺跡や奥白滝1遺跡の平成12年度調査分、さらに上白滝8遺跡でも碧玉製石器があり、今後も分析データを蓄積したいと考えている。(長沼 孝)

(4) 奥白滝1・上白滝5遺跡の石器群・石器ブロックについて

今回報告した奥白滝1・上白滝5の二遺跡では、総数733,355点、1,030,373.2gの石器類が出土した。そのうち106,546点、734,754.1gは位置を記録した点取り遺物で、石器類の特徴や平面的なまとまりが

ら54か所の石器ブロック（奥白滝1：Sb - 1~44、上白滝5：Sb - 1~12）とし、さらに特徴的な石器や接合関係から19の石器群に分けることができた。

ここでは、石器群や石器ブロックの特徴的なことをいくつか指摘したい。

19の石器群は、さらに特徴とする石器から大きく「台形様石器」「不定形剥片石器」などと呼ばれているものを含む「白滝 群」、細石刃石器群、尖頭器石器群、石刃鏃石器群などの四つの石器群に分けることができる。

「白滝 群」 上白滝8遺跡の平成7・8年度の調査経験から「白滝 群」の石核・剥片類、そしてその出土状況の特徴が把握できていたので、平成9年度の奥白滝1遺跡の調査においては、現場段階から他の石器群と区別することができた。その結果、平面分布が重複する尖頭器石器群と区別する形で整理作業を進め、早期の石器ブロックとしての把握と接合作業の効率化ができた。「白滝 群」としたのは、奥白滝1遺跡のSb - 1~6で、接合関係からSb - 1~3とSb - 4~6の二つに分けられるが、同時期の可能性が強い。石器類はSb - 1~3で粗い刃部加工の搔器、Sb - 4~6で錐形石器があるだけで、定形的な石器は少なく、軽微な加工か、微細剥離がみられる二次加工ある剥片としたものだけである。それらの中にはSb - 4~6出土の小型剥片の腹面の打瘤部に平坦剥離を施した特徴的な石器が2点あるが、その他は加工が極めて軽微である。しかし、石核類は多彩で、剥片素材でその腹面からうろこ状の剥片を剥離する石核、剥片ないし分割礫を素材にして求心状に寸詰まりの剥片を剥離する石核、打面を広い面に固定して縦長気味の剥片を剥離する石核、交互剥離によって打面と作業面を入れ替える石核、打面転移を頻繁に行いサイコロ状の形態になる石核などがみられ、それらは単独または接合資料で共存している状況である。共通しているのは、いずれも打面・頭部調整などの調整技術がみられず、剥離された剥片には大きな打面が残存し、そこに打撃痕がみられる場合が多い。接合資料にみられる剥片剥離技術や組み合わせの詳細は 章2(3)・(4)、章1(1)・(2)を参照願いたい。出土レベル的には重複している尖頭器石器群より下位の傾向があることは確認できたが、層位的に分離できる状況ではなく、また、具体的な年代に関するデータは得られなかった。来年度以降報告予定の上白滝8遺跡では、現在のところの「白滝 群」の石器ブロックが15か所確認され、接合資料も多く、石器群の組成や剥片剥離技術の特徴や組み合わせが明確になると考えられる。

細石刃石器群 細石刃石器群は、奥白滝1遺跡のSb - 7~10で、円錐形の「紅葉山型」細石刃核を特徴とするものである。基本的に白滝産黒曜石の原石ないし調整された素材を遺跡に搬入し、石刃・縦長剥片の剥離を主に行い、その延長線上で細石刃剥離が行われている。石刃・細石刃剥離いずれも頻繁な打面再生・調整を行う特徴があり、さらに稜形成や端部調整など素材や剥離の状況に応じた石核調整も入念に行われている。また、外反剥離が生じた場合は反対側からの剥離、さらに石核形状を円錐形に近づけるための意識的な内反剥離などもみられる。接合資料にみられる剥片剥離技術の特徴の詳細は 章2(6)、章1(3)を参照願いたい。石器組成では、石刃が最も多いが、破損しているものや原礫面が残存しているもの、側面形が「し」の字状のものなどが多く残されている。したがって、逆に剥離が進行し、原礫面がなく破損せず、側面形が直線的な石刃が選択されて搬出された可能性がある。また、その他の定形的な石器では搔器が多く、素材となるやや幅広の縦長剥片の剥離、石器への二次加工、使用、そして遺棄という流れがみられる。また、搔器を含む接合資料から、搔器の素材剥離は意識的に行われ、10個体が同一の母岩から剥離されているものがある。石器ブロックは比較的平坦な部分にあり、斜面方向への移動が小さい状況で、石器類が遺棄された状態を比較的反映している。細石刃と細石刃核、搔器などが偏った分布を示していることから、作業の場の相違がみられる。また、特筆すべきは、沢を挟んだ服部台2遺跡との遺跡間接合が2個体で確認できたことである。詳

細は 章2を参照していただきたいが、接合しているものの最大の距離は直線で約340mである。1個体では、奥白滝1遺跡である程度石刃剥離が進行した後、連続的に剥離された石刃5点が服部台2遺跡で出土し、いずれでも石刃核はみられない。もう1個体では奥白滝1遺跡で連続的に剥離された石刃の1点が服部台2遺跡で出土し、こちらも石刃核はいずれの遺跡でもみられない。このことから、単純に考えると、前者は奥白滝1遺跡での石刃剥離 服部台2遺跡での石刃剥離 第3の遺跡への石刃核の搬出、後者は奥白滝1遺跡での石刃剥離 服部台2遺跡への素材石刃の搬出・第3の遺跡への石刃核の搬出という図式となる。いずれにしる服部台2遺跡での同じ石器群の整理作業で、その内容がもう少し明らかになると考えられる。

「紅葉山型」細石刃核は出土している遺跡が少なく、石器組成などその内容は不明なことが多い。紅葉山遺跡では、「多面体の刃部をもつ刻器」、尖頭器、舟底形石器などが同時に出土している（藤本1964）が、奥白滝1遺跡ではそれらはみられず、やや幅広の石刃・縦長剥片を素材に浅い刃部加工を施した搔器が特徴的にみられるだけである。昨年報告した上白滝2遺跡の「射的山型」や「札滑型」の細石刃石器群と同様に組成の偏りがみられる状況である。

石器群の年代については、決定できるデータは得られていないが、Sb - 8に重複して確認されたCb - 1から採取された炭化木片3点の放射性炭素年代測定では、 $15,570 \pm 130\text{yBP}$ (Beta - 112873) $15,570 \pm 190\text{yBP}$ (Beta - 112873) $15,270 \pm 150\text{yBP}$ (Beta - 112873) という近似した数値が得られている。状況からみて、Sb - 8とCb - 1は共伴する可能性が強いが、遺跡群全体での炭化木片ブロックと石器ブロックの重複すなわち共伴関係、とは単純にできない状況もあり、他のデータとも合わせて比較検討しなければならない。

尖頭器石器群 尖頭器を含む石器群は、奥白滝1遺跡のSb - 11・12、Sb - 13、Sb - 14、Sb - 15~21、Sb - 22~25、Sb - 26~30、Sb - 31~36、Sb - 37、Sb - 38~44と上白滝5遺跡のSb - 1、Sb - 2、Sb - 3、Sb - 4、Sb - 5、Sb - 6~11である。このうち上白滝5遺跡のSb - 2は肉眼的なパティナの観察や水和層測定結果などから縄文時代の石器群の可能性がある。

奥白滝1遺跡のSb - 11・12、Sb - 15~21、Sb - 22~25、Sb - 26~30、Sb - 31~36では、原石また粗い加工の素材を遺跡に持ち込み、尖頭器製作や石刃剥離を行っている。多くの接合資料から原石の選択や原石・素材の状況に応じた加工さらに失敗を読み取ることができる。石器ブロックに残されている尖頭器は形態・大きさいずれもさまざまで、そのほとんどが未成品である。したがって年代を決定できる特徴的なものはほとんどないが、Sb - 26~30で2点、Sb - 31~36で3点の有舌尖頭器が出土している。そして、Sb - 26とSb - 34出土の2点は置戸・所山産の黒曜石製と判明した。置戸・所山産黒曜石製の有舌尖頭器が搬入される状況は、昨年報告した北支湧別4遺跡のSb - 2・3の有舌尖頭器を含む石器群でもみられた。さらにSb - 26~30とSb - 31~36では碧玉製の石器がみられ、特にSb - 31~36では石刃・縦長剥片などの素材の状態で18点が出土し、同様な状況は昨年報告した上白滝6遺跡のSb - 2・3の有舌尖頭器を含む石器群でもみられた。以上のことから、白滝での有舌尖頭器を数本含む尖頭器石器群の中には、置戸・所山産黒曜石製の有舌尖頭器や興部産の可能性が強い碧玉製の石器・素材を搬入し、遺跡に遺棄していくパターンがあることが指摘できる。これが、時期的な特徴なのか、それとも地域的な特徴なのか、他の地域の有舌尖頭器を含む石器群の遺跡において同様なパターンまたは補完的なパターンがみられるかなどを比較検討していく必要がある。

石器群の年代については、決定できるデータは得られていない。一部炭化木片ブロックと平面分布が重複するものがあり、採取された炭化木片の放射性炭素年代測定は大きく15,000~16,000年前と18,000~19,000年前に数値が集中する傾向があるが、遺跡群内の他の遺跡同様、石器ブロックとの明

確な対比は困難な状況である。また、黒曜石製石器の水和層測定による年代換算では、各石器群・石器ブロック内においてもバラツキが大きく、年代的な決め手とはならない。

奥白滝 1 遺跡のSb - 38 ~ 44は、隣接して斜面方向に長い楕円形に分布する 7 か所の石器ブロックで、接合関係はそれぞれの石器ブロックの斜面方向で濃密であるが、ブロックを横断する方向の接合もみられ、分離できる状況ではなかったため、一つの石器群としてまとめた。内容は、形態・大きさがさまざまな尖頭器製作と石刃剥離が行われ、接合資料も各種あるが、石鏃、つまみ付きナイフ、錐形石器、削器、砥石など縄文時代と考えられる石器もみられる。つまみ付きナイフ、錐形石器などは縄文時代前期網文式の時期の良好な資料が出土している美幌町三橋遺跡の出土石器の中に形態や加工の状況が類似したものがある（荒生 1992）。また、尖頭器の中には細身であるが厚手で棒状に近く、白滝の他の遺跡、さらに他の地域の旧石器時代の遺跡でもほとんどみられない一群がある。これらについては縄文時代の可能性も含め検討していかなくてはならないと考えている。

上白滝 5 遺跡のSb - 5では、やや幅広の尖頭器製作と石刃剥離を行っている。尖頭器の素材は、接合資料から原石、粗い加工の両面調整石器、分割礫、剥片、剥片剥離が進んだ石核など多彩で、その状況に応じた加工が行われていることが看取できる。そして、搬出石器、失敗して遺棄された石器などが具体的に明らかにされている。Sb - 6 ~ 11では加工の細かい薄手の尖頭器、小型の舟底形石器、横刃に近い左斜刃の彫器、安山岩製の斧形石器などが共伴し、さらに接合資料から尖頭器製作のほか彫器や舟底形石器の製作状況の詳細が明らかになっている。特に彫器については素材の獲得から二次加工、使用、刃部再生、そして遺棄といわゆる石器のライフヒストリーが明確にされている。その状況が分かる接合資料は今までに類がない充実したもので、今後の示準的資料となるであろう。Sb - 6ではF - 2とCb - 1、Sb - 8ではF - 1が重複し、Cb - 1から採取された炭化木片 2 点の放射性炭素年代測定では、 $18,530 \pm 150\text{yBP}$ (Beta - 126158) $18,870 \pm 140\text{yBP}$ (Beta - 126159) という近似した数値が得られている。いずれも石器の集中区域に接して赤色土が確認され、赤色土中からも石器が出土し、その関連性が考えられる。遺跡群全体での炭化木片ブロックと石器ブロックの重複、すなわち共伴関係とは単純にいえない状況があることは再三触れている。しかし、ここでは先に述べたように焼土の可能性が強い赤色土と炭化木片ブロックもあり、さらに周辺出土の石器類とも関連性が強いことから、どのようなことが考えられるか若干検討してみたい。ただし、赤色土と炭化木片ブロックは共伴という前提である。赤色土などと石器類の時間的關係は三つのことが考えられる。第一は赤色土が残された後に石器類が残された場合、第二は赤色土などと石器類が同時に残された場合、第三は石器類が残された後に赤色土などが残された場合である。また、被熱石器の分布は、赤色土などの周辺ではほとんどみられないことから、第三の可能性は薄く、第一か第二の場合ということになる。他の遺跡では、炭化木片ブロックと被熱石器の共伴は少なく、同様に被熱石器が比較的まとまって出土していても炭化木片ブロックがない場合が多い。したがって第一と第二の場合いずれとも確定できないが、Cb - 1で採取された炭化木片の年代は石器類の上限年代を示すということはいえるかもしれない。

比較的大型の尖頭器を製作している接合資料をみて分かるように 1 点の尖頭器を作るためには、結構大きな原石が必要で、また、作る時に出る剥片もかなりの数になる。尖頭器の製作ではいかにバランスよく薄身にして断面形を凸レンズ状にするかが重要で、そのためには一気に薄くすることはできず、左右の幅を少しずつ減少させながら薄くしていく。したがって原石や素材に対して、長さは大きく減じることはないが幅と厚さ、特に厚さを大きく減じているのが分かる。接合資料を観察するとその巧みさと失敗の様子を具体的に読み取ることができる。

石刃鋸石器群 上白滝5遺跡のSb - 12で、石刃鋸3点、削器4点、剥片6点、合計13点(Sb - 9の1点を含む)の石器群である。石刃鋸・削器7点のうち6点が白滝以外の産地の黒曜石であるという特徴がある。現在のところ遺跡群での石刃鋸石器群は、この上白滝5遺跡のSb - 12と昨年報告した上白滝6遺跡のSb - 1、今年度調査のSb - 5(仮)の三つの石器ブロックのみであるが、上白滝5遺跡と上白滝6遺跡の間の深い沢を挟んだ両岸という位置関係になり、強い関連性がうかがえる。また、上白滝6遺跡のSb - 5(仮)では、石刃鋸のほか石鏃・尖頭器・両面調整石器・搔器・削器・つまみ付きナイフ・石刃・石核などが出土し、最も充実した石刃鋸石器群で、その整理作業の過程で上白滝5遺跡Sb - 12の石器も比較検討していきたい。

今年度の報告においても石器群や石器ブロックの具体的な年代については、参考になる可能性のあるデータはあるが、確定できるものは得られなかった。しかし、接合資料や産地分析データなどから、各石器群における石器製作の特徴と同時に搬入・搬出された素材や石器の状況が具体的に明らかになってきた。それらを積み重ねることによって、他地域との比較検討も精度を増し、編年的な作業への糸口もみえてくるものと考えられる。(長沼 孝)

引用文献

- 荒生健志 1992 『三橋遺跡』美幌町文化財調査報告 美幌町教育委員会
- 石川 朗・長沼 孝 1988 「 - 2 第 層の遺構と遺物」・「 - 4 旧石器について」『函館市 桔梗2遺跡』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第46集(財)北海道埋蔵文化財センター
- 稲田孝司 2001 『遊動する旧石器人』岩波書店
- イニザン 1995 「後期旧石器のアジアに起源をもつ押圧石刃剥離技術」『東京都埋蔵文化財センター 研究論集』東京都埋蔵文化財センター
- 遠藤岸朗 1929 「本邦産玻璃質火山岩の化学成分に就きて」『岩石礫物礫床学』第2巻 日本岩石礫物礫床学会
- 大沼克彦・久保田正寿 1992 「石器製作技術の復元的研究：細石刃剥離方法の同定研究」『ラーフィダーン』第 巻 国士館大学イラク古代文化研究所
- 河野義礼 1950 『本邦産玻璃質岩石の研究』地質調査所報告第134号 地質調査所
- 北沢 実 1992 『帯広・落合遺跡』帯広市埋蔵文化財調査報告第11冊 帯広市教育委員会
- 木村英明 1976 「石刃鋸文化について」『江上波夫教授古稀記念論集』考古・美術篇 江上波夫教授古稀記念事業会
- 神津俣祐 1930 「黒曜石の岩石学的研究により浮石の成因を論ず」『岩石礫物礫床学』第3巻 日本岩石礫物礫床学会
- 坂本尚史・長沼 孝・直江康雄・鈴木宏行 2000 『白滝遺跡群』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第140集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 佐藤宏之 1988 「台形様石器研究序論」『考古学雑誌』73巻3号 日本考古学会
- 札幌大学木村英明ゼミナール 1988 「白滝村幌加沢遺跡遠間地点における考古学的調査」『札幌大学教養ゼミナール論集』14
- 札幌大学木村英明ゼミナール 1989 「白滝村幌加沢遺跡遠間地点における考古学的調査」『札幌大学教養ゼミナール論集』15
- 白滝団体研究会 1963 『白滝遺跡の研究』
- 杉浦重信 1987 「第 章 第3節 北海道の先土器時代の石斧」『東麓郷1・2遺跡』富良野市文化財調査報告第3輯

- 富良野市教育委員会
- 杉原荘介・戸沢充則 1975 『北海道白滝服部台における細石器文化』明治大学文学部研究報告考古学5 明治大学
- 鈴木宏行・長沼 孝・直江康雄 2001 『白滝遺跡群』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第154集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 芹沢長介編 1982 『モサンル』東北大学文学部考古学研究室考古学資料集第4集 東北大学文学部考古学研究室
- 地学団体研究会 1966 「黒曜石」『新版地学辞典』 平凡社
- 千葉英一 1985 「日本の旧石器第3回 - 北海道(3)」『考古学ジャーナル』249 ニューサイエンス社
- 千葉英一・畑 宏明 1982 『服部台2遺跡・近藤台1遺跡』白滝村教育委員会
- 辻 秀子 1973 「北海道上士幌嶋木遺跡の調査報告」『石器時代』10号
- 津中 治 1938 「北見国白滝産黒曜石に就きて」『岩石砧物砧床学』第20巻 日本岩石砧物砧床学会
- 寺崎康史 1996 「北海道地方における大形尖頭器について」『北海道旧石器文化研究』第1号 北海道旧石器文化研究会
- 寺崎康史 1999 「細石刃石器群の変遷とその終末」『シンポジウム 海峡と北の考古学 文化の接点を探る 資料集・テーマ:旧石器から縄文へ』日本考古学協会1999年度釧路大会実行委員会
- 寺崎康史・山原敏朗 1999 「〔地域研究50年の成果と展望〕北海道地方」『旧石器考古学』58 旧石器文化談話会
- 戸沢充則 1967 「北海道置戸安住遺跡の調査とその石器群」『考古学集刊』第3巻第3号 東京考古学会
- 長沼 孝 2001 「 -4 成果と課題」『白滝遺跡群』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第154集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 長沼 孝編 1985 『今金町 美利河1遺跡』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第23集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 中村有吾・平川一臣 1998 「北海道・白滝遺跡周辺のテフラ層序と地形環境」『日本地理学会発表要旨集』54 日本地理学会
- 中村有吾・平川一臣・長沼 孝 1999 「白滝遺跡と周辺地域のテフラ」『地学雑誌』108-5 東京地学協会
- 林 謙作 1970 「福井洞穴における細石刃技術とその東北アジア・北アメリカにおける位置づけ」(上)(下)『考古学研究』第16巻4号、第17巻2号 考古学研究会
- 平川一臣・中村有吾・石川 守 2000 「 -3 北海道白滝遺跡と周辺地域のテフラ層序と地形環境」『白滝遺跡群』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第140集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 藤本 強 1964 「北海道常呂郡留辺蘂町紅葉山遺跡発掘調査報告」『考古学雑誌』第50巻第2号 日本考古学会
- 北大調査団 1960 「白滝遺跡出土の遺物」『北方文化研究報告』15 北海道大学
- (財)北海道埋蔵文化財センター 1996 「上白滝8遺跡」『調査年報』8
- (財)北海道埋蔵文化財センター 1997 「上白滝8・2遺跡」『調査年報』9
- (財)北海道埋蔵文化財センター 1998 「白滝遺跡群・奥白滝1・上白滝8・2・5・7遺跡」『調査年報』10
- (財)北海道埋蔵文化財センター 1999 「白滝遺跡群・服部台2・奥白滝1・上白滝5・6・7・8・北支湧別4遺跡」『調査年報』11
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2000 「白滝遺跡群・服部台2・奥白滝11遺跡」『調査年報』12
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2001 「白滝遺跡群・服部台2・奥白滝1・上白滝8・白滝第30地点・白滝8・18遺跡」『調査年報』13
- 松村愉文 1995 『白滝第4地点・第30地点遺跡』白滝村教育委員会
- 松谷純一 1987a 『白滝第4地点遺跡』白滝村教育委員会
- 松谷純一 1987b 『白滝村の遺跡』白滝村教育委員会

引用文献

- 宗像公司 1999 「白滝村赤石山採集の石器について」『北海道旧石器文化研究』第4号 北海道旧石器文化研究会
- 山田秀三 1977 「黒曜石のアイヌ地名を尋ねて」『北海道の文化』38 北海道文化財保護協会
- 山原敏朗 1992 「 - 4 旧石器時代の遺物」・「 - 3 共栄3遺跡における 層の石器群の位置付け」『清水町上清水2遺跡・共栄3遺跡(2)・東松沢2遺跡・芽室町 北明1遺跡』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第76集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 山原敏朗 1993 「北海道における台形様石器を伴う石器群について」『考古学論集』 潮見浩先生退官記念事業会
- 山原敏朗 1998 「北海道の旧石器時代終末期についての覚書」『北海道考古学』34 北海道考古学会
- 山原敏朗 1998 『帯広・落合遺跡2』帯広市埋蔵文化財調査報告第17冊 帯広市教育委員会
- 山原敏朗 2000 「浦幌町新吉野台細石器遺跡の石器資料について」『帯広百年記念館紀要』第18号 帯広百年記念館
- 山原敏朗・北沢 実 1995 『帯広・南町遺跡』帯広市埋蔵文化財調査報告第14冊 帯広市教育委員会
- 吉崎昌一 1959 「北海道白滝村Loc.30の石器群」『考古学手帖』6
- 吉崎昌一 1961 「白滝遺跡と北海道の無土器文化」『民族学研究』26-1 民族学研究会
- 吉崎昌一・横山英介 1974 『祝梅三角山地点』千歳市教育委員会
- 米村哲英 1975 「白滝遺跡」『日本の旧石器文化』2 雄山閣
- 米村哲英 1977 『白滝遺跡 - 幌加川遺跡・遠間地点』白滝村教育委員会
- Binford, L.R. 1979 「Organization and formation process: looking at curated technologies」『Journal of Anthropological Research』35 - 3

報告書抄録

ふりがな	しらたきいせきくんざん							
書名	白滝遺跡群							
副書名	一般国道450号白滝丸瀬布道路工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	第169集							
編著者名	長沼 孝・鈴木宏行・直江康雄							
編集機関	(財)北海道埋蔵文化財センター							
所在地	〒069-0832 江別市西野幌685番地1							
発行年月日	2002年3月28日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
おくしらたきいせき 奥白滝1遺跡	ほっかいどうもんべつくんしらたきむら 北海道紋別郡白滝村 あざかみしらたき 字上白滝183-5	01557	-20-50	43°52'18"	143°07'55"	19970506~ 19971025	5,340m ²	道路建設に伴 う事前調査
				19980506~ 19981024	2,067m ²			
かみしらたきいせき 上白滝5遺跡	ほっかいどうもんべつくんしらたきむら 北海道紋別郡白滝村 あざかみしらたき 字上白滝123-3	01557	-20-88	43°52'10"	143°08'48"	19970506~ 19971025	3,728m ²	
				19980506~ 19981024	4,132m ²			
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
奥白滝1遺跡	散布地	旧石器時代	炭化木片ブロック18か所 石器ブロック44か所	有舌尖頭器、尖頭器、両面調整石器、彫器、搔器、削器、錐形石器、舟底形石器、二次加工ある剥片、細石刃、細石刃核、石刃、縦長剥片、石刃核、石核、削片、斧形石器、石鏃、台石、敲石、砥石 (総点数647,321点) (総重量864,363.8g)		後期旧石器時代前半期の石器群(「白滝群」)「紅葉山型」細石刃核を含む石器群 尖頭器を含む石器群 有舌尖頭器を含む石器群		
上白滝5遺跡	散布地	旧石器時代	赤色土2か所 炭化木片ブロック1か所 石器ブロック12か所	尖頭器、彫器、彫器削片、搔器、削器、錐形石器、舟底形石器、舟底形石器削片、石刃、縦長剥片、石刃核、石核、削片、石刃鏃、斧形石器 (総点数86,034点) (総重量166,009.4g)		尖頭器を含む石器群 石刃を含む石器群 舟底形石器・尖頭器を含む石器群 石刃鏃を含む石器群		

表1 奥白滝1遺跡掲載石器一覧

挿	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-35	51	1	二次加工ある剥片	3	K16		290	36	22	10	6.9	黒曜石4	6			
-35	51	2	二次加工ある剥片	2	O11		7	46	32	9	13.8	黒曜石1				
-35	51	3	二次加工ある剥片	3	K16		377	42	23	7	6.1	黒曜石1				
-35	51	4	二次加工ある剥片	3	K16		403	44	30	10	9.5	黒曜石1		34		
-35	51	5	二次加工ある剥片	3	K16		381	27	28	7	4.2	黒曜石1				
-35	51	6	二次加工ある剥片	3	J16		10	(29)	(22)	5	(3.1)	黒曜石4	337	28		
-35	51	7	二次加工ある剥片	3	J16		57	(46)	28	14	(13.6)	黒曜石1				
-35	51	8	二次加工ある剥片	1	J11		2	47	51	20	42.8	黒曜石1	4	10		
-35	51	9	二次加工ある剥片	1	J9 J10 J10 J10 J10		9 6 13 17 38	(55)	43	13	(28.6)	黒曜石1		50007		
-35	51	10	二次加工ある剥片	2	O11		13	(33)	14	6	(2.5)	黒曜石1				
-35	51	11	二次加工ある剥片	3	K15		303	51	30	7	7.2	黒曜石1	338	30		
-35	51	12	二次加工ある剥片	3	J16		54	(35)	39	14	(19.5)	黒曜石1		32		
-35	51	13	搔器	2	N9		9	(37)	19	7	(5.5)	黒曜石1	335	16		
-35	51	14	搔器	2	O9		16	51	17	7	5.0	黒曜石1	335	16		
-35	51	15	搔器	2	N11 N11		1 5	71	27	14	17.4	黒曜石1		50010		
-35	51	16	搔器	3	K15		403	59	31	15	25.2	黒曜石1				
-35	51	17	搔器	3	K16 K16		415 422	42	28	12	9.6	黒曜石1	338	30		
-35	51	18	搔器	2	O11		10	(55)	(37)	9	(16.5)	黒曜石1				
-35	51	19	搔器	3	J16 K16		52 232	46	45	14	26.8	黒曜石1		50031		
-36	51	20	石核	3	K15		302	29	43	16	16.9	黒曜石1	338	30		
-36	51	21	石核	2	I9		1	38	49	15	21.3	黒曜石1				
-36	51	22	石核	3	K16		396	41	58	24	27.2	黒曜石1		21		
-36	51	23	石核	3	K16		364	44	55	20	40.1	黒曜石2	7	36		
-36	51	24	石核	1	K10		4	49	65	27	70.2	黒曜石3	2	8		
-36	51	25	石核	1	K10		23	41	32	13	18.4	黒曜石1				
-36	51	26	石核	3	K16		314	34	46	21	25.1	黒曜石4	337	28		
-36	52	27	石核	3	K16		411	129	142	94	1524.9	黒曜石4	337	28		
-36	52	28	石核	2	N10		2	38	79	57	117.3	黒曜石1		14		
-36	52	29	石核	1	K10		3	18	27	23	6.8	黒曜石1				
-37	52	30	石核	3	K16		308	54	77	34	152.1	黒曜石1	338	30		
-37	52	31	石核	2	N11		8	39	38	34	23.1	黒曜石1				
-37	52	32	石核	3	K16		450	43	21	19	14.2	黒曜石1				
-37	52	33	石核	3	K15		397	52	38	16	27.0	黒曜石4	6			
-37	52	34	石核	3	K16 K16		360 361	60	33	32	43.7	黒曜石1		35		
-37	52	35	石核	2	N10		5	50	30	31	34.9	黒曜石1				
-37	52	36	石核		O9		1	40	38	31	51.6	黒曜石1	335	16		
-37	52	37	石核	3	K16		330	31	32	24	26.2	黒曜石1				
-37	52	38	石核	2	O9		24	39	38	37	58.4	黒曜石1	336	17		
-37	52	39	石核	3	K16		451	44	29	25	33.2	黒曜石1				
-50	57	1	二次加工ある剥片	6	L29		28	23	(17)	5	(1.2)	黒曜石1				
-50	57	2	二次加工ある剥片	6	M28		201	33	19	6	2.2	黒曜石1				
-50	57	3	二次加工ある剥片	6	L30		11	18	20	4	1.2	黒曜石1				
-50	57	4	二次加工ある剥片	6	M27		835	26	22	5	1.8	黒曜石1	11	111		
-50	57	5	二次加工ある剥片	6	M27		812	27	25	4	2.5	黒曜石1		75		
-50	57	6	二次加工ある剥片	6	M27		826	29	22	7	2.9	黒曜石1	9	76		
-50	57	7	二次加工ある剥片	6	M27		796	40	30	9	7.6	黒曜石2	16	98		
-50	57	8	二次加工ある剥片	6	L29		131	40	35	10	9.3	黒曜石1				
-50	57	9	二次加工ある剥片	6	M28		270	38	46	10	9.5	黒曜石1	8	78		
-50	57	10	二次加工ある剥片	4	M22		15	45	55	11	19.2	黒曜石1	8			
-50	57	11	二次加工ある剥片	6	L29 L29		19 85	(43)	45	9	(12.3)	黒曜石1	8	78		

奥白滝1遺跡

挿	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
						N23	24									
						N23	25									
						N23	33									
						L25	15									
						M23	2									
						M23	6									
-55	60	68	石核	6	L30		40	82	112	67	803.1	黒曜石1	13	90		
-56	60	69	石核	4	M22		3	47	31	40	52.6	黒曜石1		45		
-56	60	70	石核	6	M28		213	46	41	23	35.7	黒曜石1	341	84		
-56	60	71	石核	4	M23		121	33	40	33	40.3	黒曜石1	339	52		
-56	60	72	石核	4	M23		33	30	32	20	17.7	黒曜石1		54		
-56	60	73	石核	6	M28		212	52	47	36	88.3	黒曜石1		80		
-56	60	74	石核	6	L30		109	48	51	45	95.7	黒曜石1		110		
-56	61	75	石核	6	L30		58	49	51	48	123.2	黒曜石1	341	84		
-57	61	76	石核	6	M28		77	77	88	91	636.4	黒曜石1	343	93		
-57	61	77	石核	6	L28		58	95	86	82	798.5	黒曜石1	342	89		
-58	61	78	石核		M30		1	100	123	94	127.2	黒曜石2	16	98		
-95	61	1	搔器		Q9		1	36	26	14	15.0	黒曜石1				
-95	61	2	錐形石器	外	J19		72	46	64	18	45.2	黒曜石1				
-95	61	3	石核	外	J19		43	27	59	35	55.7	黒曜石1				
-96	83	1	細石刃		N21		2	(25)	8	2	(0.5)	黒曜石1				
-96	83	2	細石刃		S19		34	21	5	1	0.1	黒曜石1				
-96	83	3	細石刃		P21		12	29	6	2	0.3	黒曜石1				
-96	83	4	細石刃		R18		6	28	6	2	0.4	黒曜石1				
-96	83	5	細石刃	10	P21		129	29	7	2	0.2	黒曜石1				
-96	83	6	細石刃	8	S17		21	24	9	2	0.5	黒曜石1				
-96	83	7	細石刃	8	R17		34	(31)	8	2	(0.4)	黒曜石1				
-96	83	8	細石刃		Q21		13	(30)	8	2	(0.4)	黒曜石1	37	1048		
-96	83	9	細石刃	9	R19		75	38	8	2	0.5	黒曜石1				
-96	83	10	細石刃		R20		3	(39)	8	2	(0.6)	黒曜石1	38	1051		
-96	83	11	細石刃		Q20		5	(37)	9	2	(0.7)	黒曜石1	37	1048		
-96	83	12	細石刃	10	P20		175	(40)	10	3	(1.0)	黒曜石1	39	1055		
-96	83	13	細石刃	8	R17		16	29	10	3	0.8	黒曜石1				
-96	83	14	細石刃	10	P20		93	(54)	11	3	(1.8)	黒曜石1		1120		
-96	83	15	細石刃		R18		13	(18)	5	2	(0.1)	黒曜石1				
-96	83	16	細石刃		P20		16	(13)	6	2	(0.1)	黒曜石1	28	1026		
-96	83	17	細石刃	10	P20		204	(17)	6	1	(0.1)	黒曜石1				
-96	83	18	細石刃		Q20		7	(16)	6	1	(0.1)	黒曜石1				
-96	83	19	細石刃		P21		8	(22)	5	1	(0.1)	黒曜石1				
-96	83	20	細石刃	9	S19		242	(14)	6	1	(0.1)	黒曜石1				
-96	83	21	細石刃		P21		2	(18)	6	1	(0.1)	黒曜石1				
-96	83	22	細石刃	10	Q21		64	(20)	6	1	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	23	細石刃	10	Q20		39	(21)	6	2	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	24	細石刃	8	Q18		208	(20)	7	3	(0.3)	黒曜石1				
-96	83	25	細石刃	9	S19		118	(22)	6	1	(0.1)	黒曜石1				
-96	83	26	細石刃	10	Q21		29	(20)	6	1	(0.1)	黒曜石1	28	1023		
-96	83	27	細石刃	9	S19		316	(22)	6	2	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	28	細石刃		Q21		22	(21)	7	2	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	29	細石刃		Q20		1	(24)	6	1	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	30	細石刃	9	S19		328	(17)	7	2	(0.1)	黒曜石1				
-96	83	31	細石刃		S19		51	(17)	7	1	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	32	細石刃	9	R19		68	(18)	8	2	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	33	細石刃		R18		3	(17)	7	2	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	34	細石刃		Q20		14	(21)	8	1	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	35	細石刃	10	Q21		46	(24)	7	2	(0.3)	黒曜石1				
-96	83	36	細石刃		R17		4	(22)	7	1	(0.1)	黒曜石1				
-96	83	37	細石刃		Q21		9	(24)	7	2	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	38	細石刃	10	P21		131	(25)	7	1	(0.2)	黒曜石1	38	1051		
-96	83	39	細石刃	10	P20		49	(23)	8	2	(0.4)	黒曜石1	28			
-96	83	40	細石刃	9	S18		65	(24)	9	4	(0.4)	黒曜石1				

掲載遺物一覧

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-96	83	41		細石刃	10	P20		112	(25)	8	2	(0.1)	黒曜石1		1184		
-96	83	42		細石刃		R19		3	(24)	7	2	(0.4)	黒曜石1	40	1061		
-96	83	43		細石刃		Q19		1	(24)	8	2	(0.4)	黒曜石1				
-96	83	44		細石刃	8	Q18		29	(26)	8	1	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	45		細石刃	10	P20		100	(28)	7	1	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	46		細石刃	10	Q20		19	(30)	8	2	(0.4)	黒曜石1				
-96	83	47		細石刃	10	Q21		54	(32)	8	2	(0.3)	黒曜石1				
-96	83	48		細石刃	10	Q21		27	(31)	8	2	(0.4)	黒曜石1				
-96	83	49		細石刃	10	Q20		34	(33)	9	2	(0.6)	黒曜石1	37	1048		
-96	83	50		細石刃		S19		18	(15)	8	2	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	51		細石刃		R18		42	(15)	8	2	(0.2)	黒曜石1	28			
-96	83	52		細石刃	10	Q21		42	(17)	8	2	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	53		細石刃	9	S19		219	(16)	7	1	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	54		細石刃		Q21		24	(16)	8	1	(0.1)	黒曜石1				
-96	83	55		細石刃	9	S18		38	(19)	8	2	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	56		細石刃		R18		5	(19)	8	2	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	57		細石刃	9	R19		78	(20)	9	2	(0.3)	黒曜石1				
-96	83	58		細石刃	9	S19		285	(20)	8	2	(1.0)	黒曜石1				
-96	83	59		細石刃	10	Q20		13	(22)	8	2	(0.3)	黒曜石1				
-96	83	60		細石刃		O20		1	(24)	7	1	(0.5)	黒曜石1				
-96	83	61		細石刃	8	Q17		46	(27)	7	2	(0.3)	黒曜石1	27	1019		
-96	83	62		細石刃		Q20		4	(26)	8	3	(0.6)	黒曜石1	37	1048		
-96	83	63		細石刃	8	Q17		328	(28)	8	2	(0.3)	黒曜石1				
-96	83	64		細石刃	10	P21		38	(30)	9	2	(0.4)	黒曜石1				
-96	83	65		細石刃	10	P20		27	(29)	8	4	(0.6)	黒曜石1				
-96	83	66		細石刃	10	Q20		40	(31)	8	2	(0.5)	黒曜石1				
-96	83	67		細石刃		Q20		3	(31)	8	2	(0.4)	黒曜石1		1174		
-96	83	68		細石刃	10	P20		60	(33)	9	2	(0.4)	黒曜石1				
-96	83	69		細石刃	10	P20		160	(31)	8	3	(0.6)	黒曜石1				
-96	83	70		細石刃	10	P20 Q20		65 29	(39)	9	2	(0.4)	黒曜石1	37	1048		
-96	83	71		細石刃	9	S19		217	(22)	9	2	(0.3)	黒曜石1				
-96	83	72		細石刃	9	S18		52	(22)	9	1	(0.3)	黒曜石1	27	1019		
-96	83	73		細石刃	9	S19		228	(22)	9	2	(0.5)	黒曜石1				
-96	83	74		細石刃	10	Q20		53	(26)	9	2	(0.5)	黒曜石1				
-96	83	75		細石刃		Q20		9	(27)	9	2	(0.5)	黒曜石1	37	1048		
-96	83	76		細石刃	9	S19		304	(28)	10	4	(0.8)	黒曜石1	37	1048		
-96	83	77		細石刃	10	P20		114	(30)	10	3	(0.7)	黒曜石1				
-96	83	78		細石刃	10	Q20		52	(36)	10	2	(0.7)	黒曜石1				
-96	83	79		細石刃	9	S19		359	(21)	10	2	(0.4)	黒曜石1				
-96	83	80		細石刃	8	R17		119	(27)	10	2	(0.2)	黒曜石1				
-96	83	81		細石刃	10	P20		94	(29)	10	3	(0.6)	黒曜石1				
-96	83	82		細石刃	10	Q21		32	(21)	(5)	2	(0.1)	黒曜石1				
-96	83	83		細石刃	8	Q17		249	(16)	5	1	(0.1)	黒曜石1				
-96	83	84		細石刃		Q21		6	(21)	5	2	(0.1)	黒曜石1				
-96	83	85		細石刃		S19		6	(11)	6	1	(0.2)	黒曜石1	28	1026		
-96	83	86		細石刃	8	Q18		101	(15)	6	1	(0.1)	黒曜石1	27	1019		
-96	83	87		細石刃		R18		2	(16)	6	1	(0.1)	黒曜石1				
-97	83	88		細石刃	10	Q20		27	(19)	6	2	(0.1)	黒曜石1				
-97	83	89		細石刃	10	Q21		35	(20)	6	1	(0.1)	黒曜石1				
-97	83	90		細石刃	10	Q20		57	(22)	6	2	(0.2)	黒曜石1	39	1055		
-97	83	91		細石刃		S19		12	(21)	6	3	(0.3)	黒曜石1				
-97	83	92		細石刃	10	P21		1	(24)	7	2	(0.3)	黒曜石1				
-97	83	93		細石刃		Q18		7	(26)	6	2	(0.2)	黒曜石1	27			
-97	83	94		細石刃		R19		4	(28)	7	3	(0.5)	黒曜石1				
-97	83	95		細石刃		R18		44	(15)	7	1	(0.1)	黒曜石1				
-97	83	96		細石刃	10	P20		3	(17)	9	2	(0.3)	黒曜石1	28	1026		
-97	83	97		細石刃	9	R19		20	(17)	7	2	(0.2)	黒曜石1				
-97	83	98		細石刃		S19		68	(18)	8	2	(0.2)	黒曜石1	31	1032		
-97	83	99		細石刃	9	R19		79	(17)	7	2	(0.2)	黒曜石1				

奥白滝1遺跡

挿	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考	
-97	83	100	細石刃		S19		10	(18)	7	2	(0.2)	黒曜石1					
-97	83	101	細石刃		O21		2	(17)	7	2	(0.2)	黒曜石1					
-97	83	102	細石刃	9	S19		86	(20)	7	2	(0.2)	黒曜石1					
-97	83	103	細石刃	10	P20		169	(19)	7	1	(0.1)	黒曜石1					
-97	83	104	細石刃	10	P20		143	(21)	8	2	(0.3)	黒曜石1					
-97	83	105	細石刃	10	Q20		30	(22)	6	1	(0.1)	黒曜石1					
-97	83	106	細石刃	10	P21		78	(21)	7	2	(0.2)	黒曜石1					
-97	83	107	細石刃	9	S19		237	(22)	7	2	(0.3)	黒曜石1					
-97	83	108	細石刃		Q21		12	(23)	7	2	(0.4)	黒曜石1					
-97	83	109	細石刃	10	Q20		20	(24)	7	2	(0.3)	黒曜石1					
-97	83	110	細石刃	10	P21		124	(22)	6	1	(0.6)	黒曜石1					
-97	83	111	細石刃	8	Q17		174	(30)	8	2	(0.4)	黒曜石1					
-97	83	112	細石刃		R17		3	(15)	8	1	(0.1)	黒曜石1					
-97	83	113	細石刃	8	Q17		24	(19)	8	2	(0.3)	黒曜石1					
-97	83	114	細石刃		O21		7	(19)	7	2	(0.3)	黒曜石1					
-97	83	115	細石刃		P17		1	(20)	8	1	(0.3)	黒曜石1					
-97	83	116	細石刃	10	Q20		24	(22)	8	1	(0.2)	黒曜石1					
-97	83	117	細石刃	9	S19		374	(23)	9	1	(0.3)	黒曜石1					
-97	83	118	細石刃	8	Q17		122	(21)	9	3	(0.6)	黒曜石1	31	1032			
-97	83	119	細石刃	9	R19		47	(25)	8	2	(0.3)	黒曜石1					
-97	83	120	細石刃	10	Q21		40	(30)	8	1	(0.3)	黒曜石1					
-97	83	121	細石刃		R18		79	(12)	8	2	(0.2)	黒曜石1					
-97	83	122	細石刃	9	S19		114	(20)	9	2	(0.4)	黒曜石1	42	1084			
-97	83	123	細石刃	9	R19		3	(26)	8	2	(0.3)	黒曜石1					
-97	83	124	細石刃	10	P20		209	(21)	9	4	(0.9)	黒曜石1	39	1055			
-97	83	125	細石刃	8	Q17		165	(23)	10	3	(0.6)	黒曜石1	349	1095			
-97	83	126	細石刃	9	S19		94	(12)	9	4	(0.4)	黒曜石1					
-97	83	127	細石刃	10	P20		1	(25)	10	3	(0.6)	黒曜石1	28	1026			
-97	83	128	細石刃	9	S18		66	(32)	11	2	(0.7)	黒曜石1					
-97	83	129	細石刃	10	P19		1	(48)	11	4	(1.8)	黒曜石1	28	1026			
-97	83	130	細石刃		O19		1	(21)	6	3	(0.5)	黒曜石1	28	1026			
-97	83	131	細石刃	8	R17		39	(26)	8	3	(0.4)	黒曜石1					
-97	83	132	細石刃	10	P20		128	(28)	7	2	(0.2)	黒曜石1					
-97	83	133	細石刃		R17		20	(19)	7	3	(0.3)	黒曜石1					
-97	83	134	細石刃	10	P20		132	(23)	8	2	(0.3)	黒曜石1					
-97	83	135	細石刃	9	S19		106	(23)	7	2	(0.3)	黒曜石1					
-97	83	136	細石刃	9	R19		88	(27)	7	2	(0.3)	黒曜石1					
-97	84	137	細石刃	8	Q18		144	(28)	7	4	(0.7)	黒曜石1					
-97	84	138	細石刃	9	S19		244	(28)	8	3	(0.6)	黒曜石1					
-97	84	139	細石刃	10	P20		48	(31)	8	2	(0.5)	黒曜石1					
-97	84	140	細石刃	9	S19		229	(25)	9	2	(0.5)	黒曜石1		1089			
-97	84	141	細石刃	9	S19		400	(29)	8	2	(0.4)	黒曜石1					
-97	84	142	細石刃	8	Q18		176	(32)	9	2	(0.5)	黒曜石1					
-97	84	143	細石刃		Q17		134	(34)	11	3	(0.6)	黒曜石1	22	1007			
					Q17		26										
					Q17		101										
-97	84	144	細石刃		Q18		3	(37)	9	3	(0.7)	黒曜石1					
-97	84	145	細石刃	8	R17		103	(37)	9	2	(0.6)	黒曜石1	22	1007			
					R17		130										
-97	84	146	細石刃	9	S19		289	(17)	10	4	(0.5)	黒曜石1		1089			
-97	84	147	細石刃	9	S19		7	(25)	10	3	(0.8)	黒曜石1					
-97	84	148	細石刃	9	S19		314	(18)	10	3	(0.5)	黒曜石1		1089			
-97	84	149	石刃	7	Q16		255		57	14	4	1.7	黒曜石1	345	1091		
					R16		171										
-97	84	150	石刃		R18		7	(58)	14	5	(2.6)	黒曜石1					
-97	84	151	石刃	10	P20		9	(70)	12	3	(1.2)	黒曜石1	35	1044			
					P21		5										
-97	84	152	石刃	8	Q16		77	(49)	13	4	(2.5)	黒曜石1	26	1015			
-97	84	153	石刃	9	S19		214	(50)	13	5	(2.6)	黒曜石1	27	1019			
-97	84	154	石刃	10	P21		75	(52)	12	4	(2.0)	黒曜石1	28	1026			

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
						P21		132									
-97	84	155		石刃	7	R16		90	52	13	7	3.3	黒曜石1				
-97	84	156		石刃	10	P21		4	60	13	4	2.9	黒曜石1	34	1039		
-97	84	157		石刃	8	P17		18	(44)	14	4	(2.2)	黒曜石1	22	1007		
-97	84	158		石刃	8	Q17		120	48	16	5	0.6	黒曜石1	27	1019		
-97	84	159		石刃	9	R19		89	(55)	15	6	(3.5)	黒曜石1	37	1048		
-97	84	160		石刃	10	P21		67	60	14	4	3.3	黒曜石1	39	1055		
-97	84	161		石刃	10	P20 P21		150 15	68	15	5	4.7	黒曜石1	28	1026		
-98	84	162		石刃	10	P21		30	64	17	7	5.0	黒曜石1	37	1048		
-98	84	163		石刃	8	R18 Q18 Q18		60 17 126	79	21	8	8.3	黒曜石1	22	1007		
-98	84	164		石刃	9	S18		44	44	15	4	2.4	黒曜石1	27	1018		
-98	84	165		石刃	9	S19		171	55	15	5	1.7	黒曜石1	28	1026		
-98	84	166		石刃	9	R19		6	(54)	16	6	(3.8)	黒曜石1	33	1034		
-98	84	167		石刃		O21 P20		12 1	57	16	5	4.3	黒曜石1	40	1061		
-98	84	168		石刃	10	Q21		6	63	16	6	5.4	黒曜石1	39	1055		
-98	84	169		石刃	10	Q20 Q20		71 21	62	17	4	2.9	黒曜石1	39	1055		
-98	84	170		石刃		Q20		18	63	16	7	6.3	黒曜石1	37	1048		
-98	84	171		石刃	10	P21 Q20		114 12	69	16	3	3.1	黒曜石1	28	1026		
-98	84	172		石刃	8	Q17 R17		188 32	(69)	16	7	(5.0)	黒曜石1	345	1091		
-98	84	173		石刃	9	R19 R19		33 39	(70)	(13)	4	(5.2)	黒曜石1	33	1034		
-98	84	174		石刃	10	Q20		50	43	17	5	2.5	黒曜石1	40	1061		
-98	84	175		石刃		R19		13	52	19	6	4.1	黒曜石1	42	1084		
-98	84	176		石刃	10	P21		42	59	16	6	4.0	黒曜石1	40			
-98	84	177		石刃	8 9	S17 S19		39 76	63	16	5	4.4	黒曜石1	43	1086		
-98	84	178		石刃	10	P20		51	(64)	17	4	(3.7)	黒曜石1	28	1026		
-98	84	179		石刃	10	P20		89	66	16	4	3.8	黒曜石1	28	1026		
-98	84	180		石刃	8	R17		280	66	16	5	5.0	黒曜石1	25	1013	産地分析X112	
-98	84	181		石刃	9	S19 S19		352 375	71	19	8	6.3	黒曜石1	347	1093		
-98	84	182		石刃	8	Q18 Q18 Q18 R18 R18		182 207 211 29 33	105	18	8	9.0	黒曜石1	349	1095		
-98	84	183		石刃	8	Q18		52	49	18	7	5.8	黒曜石1	30	1030		
-98	84	184		石刃	9	S19		59	74	20	6	5.6	黒曜石1	33	1034		
-98	84	185		石刃	10	P21 P21		92 29	75	17	6	6.9	黒曜石1	344	1090		
-98	84	186		石刃		R19		15	47	20	3	3.2	黒曜石1		1089		
-99	84	187		石刃		O20		5	53	18	6	5.2	黒曜石1	24	1011		
-99	85	188		石刃	8	Q17 Q17		29 121	60	19	6	5.9	黒曜石1	349	1095		
-99	85	189		石刃	8	R17 R17		167 219	68	18	9	10.3	黒曜石4	19	1003		
-99	85	190		石刃	10	P20		82	68	18	9	7.9	黒曜石1	39	1055		
-99	85	191		石刃	9	S19		266	71	19	6	6.5	黒曜石1	40	1061	産地分析X119	
-99	85	192		石刃	9	S19 S19		80 257	(72)	18	6	(8.1)	黒曜石1	42	1084		
-99	85	193		石刃	8	R17 Q18		174 58	74	25	8	10.0	黒曜石1	22	1007		
-99	85	194		石刃	8	Q17		176	45	21	6	3.9	黒曜石1		1089		

奥白滝1遺跡

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-99	85	195		石刃	10	P21		60	53	19	6	6.3	黒曜石1	34	1039		
-99	85	196		石刃	8	Q17		57	72	19	8	9.0	黒曜石1	347	1093		
						Q17		224									
						Q17		36									
-99	85	197		石刃		O20		12	86	22	8	12.0	黒曜石1	24	1011		
-99	85	198		石刃	8	R17		31	95	19	8	14.3	黒曜石1	25	1013		
						R17		9									
-99	85	199		石刃	10	P20		180	95	24	6	8.6	黒曜石1	38	1051		
					8	Q17		18									
						P21		27									
-99	85	200		縦長剥片	7	Q16		108	131	22	9	20.6	黒曜石1	345	1091		
						Q16		123									
						Q16		128									
-99	85	201		石刃		Q18		29	(52)	20	9	(8.5)	黒曜石1	348	1094		
-99	85	202		石刃		R19		14	(53)	20	3	(3.4)	黒曜石1	347	1093		
-99	85	203		石刃	8	Q18		155	64	21	8	10.5	黒曜石1	30	1030		
-99	85	204		石刃		Q16		11	(67)	20	5	(5.8)	黒曜石1	345	1091		
						R16		3									
-99	85	205		石刃	8	R17		9	(68)	20	7	(7.7)	黒曜石1		1088		
						R17		45									
-99	85	206		縦長剥片	8	S17		40	(68)	20	9	(10.8)	黒曜石1	31	1032		
-99	85	207		石刃	10	P21		29	75	22	5	5.5	黒曜石1	347	1093		
-100	85	208		石刃	7	R16		6	45	21	4	4.0	黒曜石1	345	1091		
-100	85	209		石刃	8	R17		238	73	21	9	8.7	黒曜石4	19	1003		
-100	85	210		石刃	10	P20		17	81	23	5	7.2	黒曜石1	36	1045		
						P20		39									
-100	85	211		石刃	8	R17		225	62	22	9	10.4	黒曜石1	41	1064		
-100	85	212		石刃	8	Q17		304	84	24	9	16.7	黒曜石1	22	1007	産地分析X111	
						R18		25									
-100	85	213		石刃	9	S19		298	87	22	7	10.4	黒曜石1	33	1034		
						Q17		9									
-100	85	214		石刃		O20		10	117	24	9	14.1	黒曜石1	24	1011		
						O21		16									
-100	85	215		石刃	9	S19		216	59	23	5	4.0	黒曜石1	33	1034		
						S19		77									
-100	85	216		石刃	7	Q16		11	67	22	6	6.9	黒曜石1	345	1091		
						Q17		13									
-100	86	217		石刃	8	Q17		68	71	24	7	7.4	黒曜石1	41	1066		
-100	86	218		縦長剥片		P19		1	(60)	23	10	(11.1)	黒曜石1	31	1032		
						Q18		70									
-100	86	219		石刃	8	Q17		257	(103)	24	9	(16.6)	黒曜石1	25	1013		
						R17		27									
-100	86	220		石刃	9	R19		49	68	26	9	15.8	黒曜石1	23	1008		
						R19		9									
-100	86	221		石刃	8	Q18		24	69	24	8	11.7	黒曜石1	42	1084		
						Q18		84									
-100	86	222		石刃	9	S19		5	(69)	27	5	(7.5)	黒曜石1				
-100	86	223		石刃	7	Q16		296	59	30	10	11.5	黒曜石1	345	1091		
						R16		236									
-100	86	224		石刃	10	P20		167	83	27	9	17.7	黒曜石1	346	1092		
					8	Q17		116									
						P20		38									
-100	86	225		石刃		O20		11	83	25	8	16.9	黒曜石1	24	1011		
						O21		15									
-100	86	226		石刃		O20		13	88	28	13	33.1	黒曜石1	24	1011		
						Q20		16									
-101	86	227		石刃		O20		18	(103)	34	11	(24.7)	黒曜石1	24	1011		
						O21		18									
-101	86	228		石刃	10	O20		6	106	28	7	15.6	黒曜石1	24	1011		
						O20		10									

掲載遺物一覧

挿	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
					P20		69									
-101	86	229	石刃	9	S19		10	109	30	10	29.6	黒曜石1		51026		
					S19		98									
-101	86	230	石刃	9	R19		37	73	29	8	10.3	黒曜石1	42	1084		
					S19		245									
-101	86	231	石刃	8	R18		10	(75)	29	10	(16.6)	黒曜石1				
-101	86	232	石刃	10	P21		61	83	28	7	15.8	黒曜石4	19	1003		
-101	86	233	石刃	10	O21		12	77	31	11	17.4	黒曜石1	24	1011		
-101	86	234	石刃	9	S19		332	75	32	13	20.4	黒曜石1	33	1034		
					S19		395									
-101	86	235	石刃	8	R17		15	84	34	10	22.5	黒曜石1	348	1094		
-101	87	236	石刃	8	Q17		55	(89)	(30)	7	(14.8)	黒曜石4	19	1003		
-101	87	237	石刃	10	O21		10	76	34	12	19.3	黒曜石1	24	1011		
					O21		19									
-101	87	238	石刃		R18		27	73	31	6	12.4	黒曜石1	42	1084		
					S20		7									
-101	87	239	石刃	10	P21		46	(92)	41	14	(34.9)	黒曜石1	33	1034		
					Q20		37									
					P21		34									
-102	87	240	石刃	9	S19		29	84	34	7	19.8	黒曜石4	19	1003		
-102	87	241	縦長剥片		Q17		23	95	44	15	53.1	黒曜石4	19	1003		
					Q18		28									
-102	87	242	石刃	7	R16		28	106	43	12	44.3	黒曜石1	42	1084		
				8	R17		271									
-102	87	243	石刃	8	Q17		317	(29)	11	6	(1.0)	黒曜石1				
-102	87	244	石刃	9	S19		234	(40)	10	6	(2.1)	黒曜石1	33	1034		
-102	87	245	石刃	8	Q18		194	(30)	12	3	(1.6)	黒曜石1	31	1032		
-102	87	246	石刃		P21		24	(43)	12	4	(1.7)	黒曜石1	35	1044		
-102	87	247	石刃	10	P20		116	(27)	14	2	(0.9)	黒曜石1	28	1026		
-102	87	248	石刃		P21		25	(34)	14	4	(2.0)	黒曜石1	40	1061		
-102	87	249	石刃	7	Q16		248	(92)	14	5	(2.4)	黒曜石1	345	1091		
					R16		176									
-102	87	250	石刃	8	S17		11	(46)	(14)	5	(2.3)	黒曜石1	31	1032		
-102	87	251	石刃	8	S17		34	(45)	15	4	(2.4)	黒曜石1	42	1084		
-102	87	252	石刃		O20		4	(29)	(16)	4	(1.5)	黒曜石1	28	1026		
-102	87	253	石刃	9	S19		373	(40)	(17)	6	(4.2)	黒曜石1	40	1061		
-102	87	254	石刃	8	R17		112	(45)	17	5	(3.9)	黒曜石1	347	1093		
-102	87	255	石刃	8	Q17		192	(36)	19	9	(5.3)	黒曜石1	347	1093		
-102	87	256	石刃	8	Q18		150	(44)	17	4	(2.2)	黒曜石1		1088		
-102	87	257	石刃	9	S19		227	(62)	18	5	(5.6)	黒曜石1	42	1084		
					S19		329									
-102	87	258	縦長剥片		Q17		14	(46)	(18)	6	(5.1)	黒曜石1	31	1032		
-102	87	259	石刃	8	Q19		1	(58)	18	5	(5.9)	黒曜石1	28	1026	産地分析X114	
-102	87	260	石刃	8	Q18		164	(48)	(20)	6	(7.7)	黒曜石1	349	1095		
-102	87	261	石刃	8	Q18		210	(28)	22	5	(2.8)	黒曜石1	41	1064		
-102	87	262	石刃	7	Q16		98	(49)	21	10	(11.1)	黒曜石1	345	1091		
-102	87	263	石刃	8	Q18		127	(63)	(22)	8	(8.4)	黒曜石1	27	1020		
-102	87	264	石刃	10	P21		68	(48)	21	7	(6.0)	黒曜石1	344	1090		
-102	87	265	石刃	9	S18		14	(55)	23	5	(5.8)	黒曜石1	42	1084		
					P21		28									
-102	87	266	石刃	8	R18		3	(54)	23	7	(6.4)	黒曜石1	27	1020		
-102	87	267	石刃	9	S19		51	(62)	24	8	(11.6)	黒曜石1		1162		
-102	87	268	石刃		O20		7	(44)	(25)	4	(3.5)	黒曜石1	24	1011		
-102	88	269	石刃	8	Q18		139	57	25	6	9.3	黒曜石1	30	1030		
-103	88	270	石刃	8	Q17		85	(56)	29	7	(12.6)	黒曜石1	41	1066		
					Q17		273									
-103	88	271	石刃	9	S19		79	(49)	30	8	(12.9)	黒曜石1				
-103	88	272	石刃	8	R18		49	(93)	39	10	(26.3)	黒曜石1	42	1084		
					O21		27									
-103	88	273	石刃	8	Q18		10	(93)	33	11	(22.4)	黒曜石1	25	1013		

奥白滝1遺跡

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
						R17		102									
-103	88	274		石刃	8	Q17		276	(53)	37	10	(16.3)	黒曜石1	33	1034		
-103	88	275		石刃		P33		5	(69)	42	15	(45.8)	黒曜石4	19	1003		
-103	88	276		石刃	8	Q18		107	(85)	(48)	15	(39.7)	黒曜石4	19	1003		
-103	88	277		石刃		Q18		9	(27)	11	3	(0.8)	黒曜石1	31	1032		
-103	88	278		石刃	9	S19		17	(30)	(11)	3	(0.9)	黒曜石1		1088		
-103	88	279		石刃	9	S19		39	(38)	11	3	(1.2)	黒曜石1	42	1084		
-103	88	280		石刃	8	R17		142	(44)	(12)	3	(1.3)	黒曜石1	42	1084		
						R17		98									
-103	88	281		石刃	9	S19		73	(75)	(16)	6	(7.2)	黒曜石1	42	1084		
						S20		1									
-103	88	282		石刃	8	R17		210	(43)	17	4	(2.3)	黒曜石1	25	1013		
-103	88	283		石刃	10	Q20		17	(22)	17	2	(0.8)	黒曜石1	28	1026		
-103	88	284		縦長剥片	9	R19		17	(51)	39	15	(25.1)	黒曜石4	19	1003		
-103	88	285		石刃		S19		27	(22)	10	4	(0.6)	黒曜石1	27	1018		
-103	88	286		石刃	9	S19		3	(56)	12	5	(2.9)	黒曜石1	43	1086		
						S19		345									
-103	88	287		石刃	10	O21		25	(57)	13	5	(2.7)	黒曜石1	38	1051		
						P21		21									
-103	88	288		石刃	8	Q18		141	(64)	13	5	(3.1)	黒曜石1	349	1095		
						R17		11									
-103	88	289		石刃	10	P21		24	(43)	14	5	(3.0)	黒曜石1	344	1090		
-103	88	290		石刃	8	R18		12	(68)	18	6	(5.3)	黒曜石1	31	1032		
-103	88	291		縦長剥片	10	Q20		9	32	14	4	1.4	黒曜石1	28	1026		
-103	88	292		石刃	8	R18		45	(31)	(13)	3	(1.2)	黒曜石1	25	1013		
-103	88	293		石刃		S19		22	(38)	(13)	4	(1.4)	黒曜石1	28	1026		
-103	88	294		石刃	8	Q17		235	(31)	14	3	(1.2)	黒曜石1	25	1013		
-103	88	295		石刃	9	S19		60	(57)	15	8	(4.6)	黒曜石1				
-104	88	296		石刃	8	Q17		75	(71)	15	7	(5.3)	黒曜石1	349	1095		
-104	88	297		石刃	10	P21		14	(46)	18	7	(6.9)	黒曜石1	39	1055		
-104	88	298		石刃	8	Q17		21	(57)	15	6	(4.2)	黒曜石1	25	1013		
-104	88	299		石刃	8	Q17		149	(58)	15	5	(3.9)	黒曜石1	25	1013		
-104	88	300		石刃	8	Q17		34	(68)	17	7	(6.4)	黒曜石1	25	1013		
						Q17		41									
-104	88	301		石刃	8	Q17		154	(82)	18	7	(8.3)	黒曜石1	349	1095		
						Q17		15									
-104	88	302		石刃	9	S19		236	(32)	18	3	(1.6)	黒曜石1	27	1018		
-104	88	303		石刃	8	Q17		22	(41)	19	7	(4.0)	黒曜石1	25	1013		
						Q17		36									
-104	88	304		石刃	8	Q17		237	(56)	19	6	(4.9)	黒曜石1	25	1013		
-104	88	305		石刃	10	Q20		4	(52)	17	8	(2.8)	黒曜石1	28	1026		
-104	89	306		石刃	9	S19		72	(81)	17	5	(8.1)	黒曜石1	37	1048		
						R19		12									
-104	89	307		石刃	9	S19		24	(54)	18	7	(7.4)	黒曜石1	33	1034		
-104	89	308		石刃	9	R18		39	(67)	20	8	(7.8)	黒曜石1				
-104	89	309		石刃		R18		19	(60)	18	5	(5.7)	黒曜石1	25	1013		
						R18		23									
-104	89	310		石刃	10	P20		215	(68)	(21)	6	(8.2)	黒曜石1	39	1055		
-104	89	311		石刃	外	L18		30	(63)	19	6	(6.1)	黒曜石1	25	1013		
-104	89	312		石刃	9	S19		338	(59)	23	6	(8.4)	黒曜石1	25	1013		
-104	89	313		石刃		Q17		123	(56)	22	4	(6.2)	黒曜石1	349	1095		
-104	89	314		石刃		O21		17	(77)	22	9	(11.0)	黒曜石1	24	1011		
-104	89	315		石刃	8	Q17		215	(57)	22	8	(8.7)	黒曜石1	25	1013		
						Q17		262									
-104	89	316		石刃	9	S19		40	(83)	25	13	(22.5)	黒曜石1	37	1048		
-104	89	317		縦長剥片	10	P21		116	60	14	6	3.7	黒曜石1	40	1061		
						P21		75									
-104	89	318		石刃	10	Q20		67	71	13	7	4.3	黒曜石1	37	1048		
						Q20		68									
-104	89	319		縦長剥片	8	Q17		172	98	15	18	11.2	黒曜石1	31	1032		

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
								81									
								Q18 Q18									
-105	89	320		石刃	8	R17		286	(48)	20	9	(6.3)	黒曜石1	30	1031		
-105	89	321		縦長剥片	10	P20 P21 P21		42 31 96	64	17	9	4.6	黒曜石1	40	1061		
-105	89	322		石刃	8	P17		17	(56)	20	11	(11.1)	黒曜石1	43	1086		
-105	89	323		石刃	10	P21		13	55	19	9	3.7	黒曜石1	39	1055		
-105	89	324		石刃	10	P21 Q20		12 56	76	21	16	16.8	黒曜石1	39	1055		
-105	89	325		石刃	8 9	R17 S19		20 21	79	21	12	11.3	黒曜石1	33	1034		
-105	89	326		石刃		Q18		13	88	21	10	14.2	黒曜石1	349	1095		
-105	89	327		石刃		Q17		8	(79)	26	11	(16.7)	黒曜石1	348	1094		
-105	89	328		石刃	8	Q17		265	(62)	27	15	(12.1)	黒曜石1	349	1095		
-105	89	329		石刃	10	P21		53	89	26	18	23.4	黒曜石1	344	1090		
-105	89	330		石刃	8	R17 R17 R18		137 263 24	(90)	30	18	(34.3)	黒曜石1	41	1064		
-105	89	331		石刃	10	P20		214	68	31	13	11.7	黒曜石1	34	1039		
-105	89	332		石刃	9	S19		208	76	32	16	32.2	黒曜石1	33	1034		
-105	89	333		石刃	10	P20 Q20		13 6	(52)	13	6	(2.7)	黒曜石1	40	1061		
-105	89	334		石刃	8	Q16 R18		189 4	(56)	18	6	(18.8)	黒曜石1		1089		
-105	90	335		石刃		P21		33	(68)	20	9	(9.3)	黒曜石1	38	1051		
-105	90	336		石刃	8	Q18		163	(64)	18	11	(9.6)	黒曜石1	31	1032	産地分析X115	
-105	90	337		石刃	8	Q17 Q17		32 47	(77)	21	10	(11.6)	黒曜石1	349	1095		
-105	90	338		石刃	9	S19		270	(52)	21	8	(5.8)	黒曜石1	28	1026		
-106	90	339		石刃	8	P17		21	(51)	21	13	(8.0)	黒曜石1	25	1013		
-106	90	340		石刃	7	R16		57	(61)	26	16	(12.9)	黒曜石1	34	1039		
-106	90	341		縦長剥片		Q17		24	57	29	13	9.8	黒曜石1	41	1064		
-106	90	342		石刃	7 8 7	Q16 Q17 R16 R16		268 94 116 167	(103)	27	14	(12.2)	黒曜石1	345	1091		
-106	90	343		石刃		Q18		57	(54)	31	17	(19.9)	黒曜石1	31	1032		
-106	90	344		石刃	7	R16		235	(78)	32	25	(30.5)	黒曜石1	34	1039		
-106	90	345		縦長剥片	10	P20 O20 O21 O21		110 41 20 34	116	37	19	60.0	黒曜石1	24	1011		
-106	90	346		縦長剥片	10	Q20 P21 P20		10 35 46	(94)	33	23	(38.9)	黒曜石1	36	1045		
-106	90	347		縦長剥片	8	Q17 Q17		209 254	141	22	15	37.2	黒曜石1	25	1013		
-106	90	348		縦長剥片	8	Q17 Q17 Q17		228 284 48	162	40	18	83.8	黒曜石1	25	1014		
-106	90	349		縦長剥片	7	Q16 R16 Q16 Q16		168 188 2 5	113	43	17	51.3	黒曜石1	41	1066		
-107	90	350		縦長剥片		O21 P21		21 41	(99)	20	14	(27.5)	黒曜石1	344	1090		
-107	90	351		縦長剥片	8	R17		221	(34)	10	5	(1.4)	黒曜石4	19	1003		
-107	90	352		石刃	8	Q17		204	(33)	13	5	(2.0)	黒曜石1	42	1084		
-107	90	353		石刃		Q17		49	(22)	15	7	(2.6)	黒曜石1	25	1013		

奥白滝1遺跡

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-107	90	354		石刃	8	Q17 R18 R18		59 57 61	(107)	24	10	(16.2)	黒曜石1	349	1095		
-107	91	355		彫器	8	R18		21	(34)	19	9	(4.7)	黒曜石1	348	1094		
-107	91	356		彫器		R17		39	(35)	(23)	10	(6.6)	黒曜石1	348	1094		
-107	91	357		彫器	8	Q18 Q18 R18		63 98 12	(37)	34	12	(15.2)	黒曜石1	348	1094		
-107	91	358		彫器	10	O21		24	55	23	10	10.9	黒曜石1	24	1011		
-107	91	359		彫器	9	S19		8	57	16	9	7.8	黒曜石1	23	1008		
-107	91	360		彫器		ボサ		7	93	52	16	77.5	黒曜石1	23	1008		
-107	91	361		彫器		Q18		30	48	21	10	8.2	黒曜石1	30	1031		
-107	91	362		彫器		P25		1	(50)	36	16	(20.4)	黒曜石1	344	1090		
-107	91	363		削片		S18		7	(31)	6	8	(1.6)	黒曜石1	23	1008		
-107	91	364		削片	8	S17 S17		9 24	81	13	13	8.1	黒曜石1	23	1008		
-108	91	365		搔器	10	P21 Q21		40 14	51	28	9	9.1	黒曜石1	34	1039		
-108	91	366		搔器	8	Q17		65	63	36	6	13.8	黒曜石1	23	1008		
-108	91	367		搔器	8	R18		67	68	34	11	17.6	黒曜石1	23	1008		
-108	91	368		搔器	8	R18		53	67	36	11	24.0	黒曜石1	23	1008		
-108	91	369		搔器		Q17		7	76	32	13	31.7	黒曜石1	41	1066		
-108	91	370		搔器	8	R17		235	75	42	9	24.5	黒曜石1	23	1008		
-108	91	371		搔器	8	Q17		253	78	36	12	37.4	黒曜石1	23	1008		
-108	91	372		搔器	8	Q17 Q17		115 6	(81)	27	11	(21.5)	黒曜石1	349	1095		
-108	91	373		搔器	8	Q18		125	75	34	10	25.3	黒曜石1	23	1008		
-108	91	374		搔器		S19		2	80	35	16	39.2	黒曜石1	41	1066		
-108	91	375		搔器		P17 P17		2 3	84	36	14	38.6	黒曜石1	41	1066		
-108	91	376		搔器	8	R17 Q18		21 25	73	34	8	19.5	黒曜石1	41	1067		
-109	92	377		搔器		Q21		15	52	25	7	8.6	黒曜石1	34	1039		
-109	92	378		搔器	10	Q20		28	62	27	7	8.9	黒曜石1	34	1039		
-109	92	379		搔器	10	Q21		66	65	20	7	9.7	黒曜石1	34	1039	水和層W3	
-109	92	380		搔器	8	Q17		162	68	18	7	8.1	黒曜石1	31	1032		
-109	92	381		搔器	8	Q18 R17		185 81	(61)	23	9	(10.4)	黒曜石1	41	1064		
-109	92	382		搔器		P20		2	(51)	20	8	(5.9)	黒曜石1	34	1039		
-109	92	383		搔器	8	R17		97	(45)	23	7	(7.0)	黒曜石1	22	1007		
-109	92	384		搔器	8	R17		213	(46)	35	9	(15.3)	黒曜石1	23	1008		
-109	92	385		搔器		R17		6	73	80	27	150.2	黒曜石1	27	1020		
-109	92	386		搔器		P21		13	86	44	22	70.2	黒曜石1	33	1034		
-109	92	387		搔器	7 9	Q16 S19		167 50	101	(60)	14	(34.7)	黒曜石1	23	1008		
-109	92	388		搔器	8	R17		124	(21)	(21)	(6)	(2.0)	黒曜石1	42	1084		
-109	92	389		搔器	8	Q17		14	(52)	(51)	9	(16.7)	黒曜石1	23	1008		
-109	92	390		搔器	8	Q17		210	(43)	(55)	11	(17.7)	黒曜石1	23	1008		
-110	92	391		錐形石器	10	P21		82	61	23	9	10.3	黒曜石1	35	1044		
-110	92	392		錐形石器		S19		4	(57)	21	10	(8.6)	黒曜石1	42	1084		
-110	92	393		二次加工ある剥片	8	Q17		81	(54)	23	10	(7.2)	黒曜石1		1089		
-110	92	394		二次加工ある剥片	8	Q18 Q17		47 133	(42)	13	6	(3.6)	黒曜石1	349	1095		
-110	92	395		二次加工ある剥片	8	Q17 S17 Q17		73 28 25	(73)	36	13	(27.5)	黒曜石1	23	1008		
-110	92	396		二次加工ある剥片	8	S17		20	88	39	19	53.8	黒曜石1	41	1064		
-110	92	397		二次加工ある剥片	8	Q17		145	111	38	15	57.5	黒曜石1	42	1084		
-110	92	398		二次加工ある剥片	8	Q17 Q19		51 4	131	48	22	108.7	黒曜石1	42	1084		

掲載遺物一覧

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-110	92	399	二次加工ある剥片	8	Q18			83	56	57	10	20.5	黒曜石4	19	1003		
-111	93	400	細石刃核	8	R17			255	25	19	17	6.7	黒曜石1		1099		
-111	93	401	細石刃核	8	Q17			17	33	19	19	11.2	黒曜石1			水和層W2	
-111	93	402	細石刃核	8	Q18			1	36	21	21	14.6	黒曜石1				
-111	93	403	細石刃核	9	S19			287	42	17	17	10.6	黒曜石1	37			
-111	93	404	細石刃核	10	P21			138	37	21	17	14.1	黒曜石1	28	1026		
-111	93	405	細石刃核	8	Q17			281	40	28	28	26.0	黒曜石1	27	1019		
-111	93	406	細石刃核		P21			1	50	26	28	38.7	黒曜石1	40	1061		
-111	93	407	細石刃核	9	S19			44	57	28	24	37.9	黒曜石1		1098		
-111	93	408	細石刃核		R19			1	56	29	22	42.9	黒曜石1		1097		
-111	93	409	細石刃核	8	Q17			279	29	14	13	5.7	黒曜石1				
-111	93	410	細石刃核	8	Q17			282	44	22	16	20.6	黒曜石1	31	1032		
-111	93	411	細石刃核	9	S18			37	45	28	24	28.7	黒曜石1	43	1086		
-111	93	412	細石刃核	8	Q18			3	44	31	21	23.4	黒曜石1	26	1016		
-111	93	413	細石刃核		R19			2	56	38	23	36.9	黒曜石1				
-111	93	414	細石刃核	9	R19			14	64	30	14	34.9	黒曜石1	42	1084		
-112	94	415	細石刃核		R17			1	58	37	39	73.6	黒曜石1	22	1007		
-112	94	416	細石刃核	9	S19			390	69	42	30	82.8	黒曜石1		1088		
-112	94	417	細石刃核	9	R19			70	77	40	21	62.0	黒曜石3	29	1028		
-112	94	418	細石刃核	9	S19			11	73	34	17	45.9	黒曜石1	347	1093		
-112	94	419	細石刃核	8	R17			245	42	27	33	31.7	黒曜石1	30	1030		
-112	94	420	石刃核	9	S19			43	60	27	26	48.2	黒曜石1	42		水和層W1	
-112	94	421	石刃核	9	S18			36	57	35	33	66.1	黒曜石1	42	1084		
-112	94	422	石刃核	8	Q17			280	50	34	27	42.1	黒曜石1		1089		
-112	94	423	石刃核	8	Q18			65	54	40	32	65.8	黒曜石1	349	1095		
-113	94	424	石刃核	8	R18			52	46	41	33	52.6	黒曜石1	30	1031		
-113	94	425	石刃核	9	S19			324	66	48	37	108.4	黒曜石1	33	1034		
-113	94	426	石刃核	10	P21			41	57	55	51	137.0	黒曜石1	34	1039		
-113	94	427	石刃核	8	R17			269	50	36	34	68.3	黒曜石1	41	1064		
-113	95	428	石刃核	9	S19			41	53	41	32	78.6	黒曜石1	30	1030		
-113	95	429	石刃核		S19			1	55	29	21	33.9	黒曜石1		1087		
-114	95	430	石核	8	Q18			35	76	56	30	132.3	黒曜石4	19	1003		
-114	95	431	石刃核	9	S19			42	50	29	21	32.4	黒曜石1	27	1018		
-114	95	432	石核		R17			2	68	46	35	109.1	黒曜石1	26	1015		
-114	95	433	石刃核	8	S17			25	92	44	23	86.6	黒曜石1	346	1092		
-114	95	434	石刃核	7	R16			70	99	34	28	100.1	黒曜石1	345	1091		
-114	95	435	石刃核	8	Q18			2	57	59	28	99.4	黒曜石1	27	1020		
-114	95	436	石核	8	Q18			111	46	48	21	37.3	黒曜石1	30	1031		
-114	95	437	石核		R18			56	64	64	35	120.9	黒曜石1	20	1004		
-186	134	1	尖頭器		L3			1	91	45	21	68.3	黒曜石4				
-186	134	2	尖頭器	12	L3			17	133	63	25	212.7	黒曜石1				
-186	134	3	両面調整石器	11	L2 M2			28 212	(110)	69	28	(199.6)	黒曜石1		53446		
-186	134	4	尖頭器	12	M4			4191	(48)	(54)	(18)	(36.2)	黒曜石1		2998		
-186	134	5	尖頭器	11	M1			660	(90)	(102)	(31)	(219.3)	黒曜石3	114	2855		
-187	134	6	両面調整石器	11	M1			1805	(133)	(80)	53	(487.8)	黒曜石1				
-187	134	7	両面調整石器	12	K2			7	221	179	132	4579.1	黒曜石1				
-188	135	8	彫器	11	L2			64	(163)	49	24	(188.1)	黒曜石1				
-188	135	9	搔器	11	L2			63	(36)	19	7	(4.0)	黒曜石1				
-188	135	10	搔器	11	L1			196	52	27	13	19.3	黒曜石1			産地分析X122	
-188	135	11	搔器	12	M4			3596	80	30	12	27.9	黒曜石1				
-188	135	12	搔器	12	M3			162	90	32	14	28.2	黒曜石1		2773		
-188	135	13	削器	12	N5			1641	112	40	10	35.9	黒曜石1	353	3001		
-188	135	14	削器	12	N5			1600	70	45	12	36.3	黒曜石1	353	3001		
-188	135	15	削器		M2			2	69	30	11	23.5	黒曜石3				
-188	135	16	削器	11	L1			257	(41)	(21)	10	(6.6)	黒曜石1				
-188	135	17	削器	11	L2			38	(28)	(26)	7	(4.4)	黒曜石1				
-189	135	18	削器	12	M4 N5			2768 204	170	79	24	250.3	黒曜石1	121	2939		
-189	135	19	削器	12	N5			781	120	36	20	81.9	黒曜石1		53451		

奥白滝1遺跡

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
						N5		1047									
-189	135	20		削器	11	M1		604	87	72	14	54.7	黒曜石1				
-189	136	21		錐形石器	11	M1		1578	(99)	35	12	(36.0)	頁岩				
-189	136	22		二次加工ある剥片		L1		2	(58)	(25)	8	(9.5)	頁岩				
-189	136	23		二次加工ある剥片		M1		2	(88)	36	10	(31.4)	頁岩				
-189	136	24		二次加工ある剥片	11	M2		649	(72)	29	8	(16.5)	頁岩				
-189	136	25		二次加工ある剥片	12	M4		293	(91)	34	11	(27.0)	黒曜石1				
-190	136	26		石刃	11	L1		6	103	26	8	17.5	黒曜石1		53449		
						M1		1722									
						M2		570									
-190	136	27		石刃		O3		1	(43)	10	3	(1.6)	黒曜石4				
-190	136	28		石刃		L4		2	(50)	15	4	(3.0)	黒曜石1				
-190	136	29		石刃	12	M4		2536	(66)	18	7	(6.5)	黒曜石1		53450		
						N5		256									
-190	136	30		石刃	11	M2		213	(82)	33	10	(25.6)	黒曜石1	105		産地分析X121	
-190	136	31		石刃	11	M2		62	(69)	41	10	(29.2)	黒曜石1				
-190	136	32		石刃	11	M1		1471	(105)	41	18	(74.7)	黒曜石1		53448		
						M2		33									
-190	136	33		石刃	11	M2		883	(31)	15	5	(2.8)	黒曜石1				
-190	136	34		石刃	11	M1		119	(57)	19	7	(6.7)	黒曜石1				
-190	136	35		石刃	11	M2		196	(85)	34	10	(30.6)	黒曜石1				
-190	136	36		石刃	12	M4		2107	(76)	34	12	(27.0)	黒曜石1				
-190	136	37		石刃	12	L3		89	(98)	43	26	(65.5)	黒曜石1		53447	産地分析X123	
						M4		1389									
-190	137	38		石刃核		L3		2	85	53	43	189.3	黒曜石1	119	2911		
-191	137	39		石刃核	11	M1		1241	95	68	38	213.3	黒曜石1				
-191	137	40		石刃核	12	L3		329	137	79	45	426.8	黒曜石1				
-191	137	41		石刃核	12	L3		330	93	77	81	509.0	黒曜石5	351	2900		
-191	137	42		石核	11	M1		1226	79	74	44	197.0	黒曜石1				
-204	143	1		尖頭器	13	S10		171	(63)	(43)	14	(30.3)	黒曜石4				
-204	143	2		尖頭器	13	S9		18	(67)	50	15	(40.6)	黒曜石1				
-204	143	3		尖頭器	13	S9		203	(62)	(49)	20	(45.2)	黒曜石1				
-204	143	4		尖頭器		S10		4	(83)	49	22	(82.1)	黒曜石1				
-204	143	5		尖頭器	13	R9		24	(61)	54	22	(67.3)	黒曜石1				
-204	143	6		彫器	13	R10		19	(37)	17	8	(4.3)	黒曜石1				
-204	143	7		搔器	13	S8		47	44	30	9	13.7	頁岩				
-204	143	8		搔器	13	Q7		1	52	29	8	17.4	頁岩				
-204	143	9		搔器	13	R8		157	70	33	8	16.5	黒曜石3				
-204	143	10		搔器	13	R10		303	61	33	10	19.3	黒曜石1				
-204	143	11		搔器	13	S9		123	69	32	8	18.0	黒曜石1			産地分析X124	
-204	143	12		搔器	13	R9		72	49	32	10	16.6	黒曜石1				
-204	143	13		搔器		R7		1	(42)	23	6	(6.3)	黒曜石1				
-205	143	14		削器	13	S8		48	133	43	15	84.8	黒曜石4		53474		
						S8		49									
-205	143	15		削器		Q9		2	(58)	22	6	(8.7)	黒曜石1				
-205	143	16		削器	13	S9		214	(53)	32	11	(20.7)	黒曜石1				
-205	143	17		削器	13	S9		100	(23)	16	7	(1.8)	黒曜石1				
-205	143	18		二次加工ある剥片	13	S9		11	44	18	6	3.2	黒曜石1				
-205	143	19		舟底形石器		R10		1	30	(60)	25	(39.3)	黒曜石1				
-205	143	1		尖頭器	14	R12		737	(84)	42	18	(53.3)	黒曜石4	183	3397		
-205	143	2		尖頭器	14	S12		1072	(71)	(69)	17	(79.1)	黒曜石4	185	3416		
-205	143	3		石核	14	S12		855	51	25	26	30.4	黒曜石1				
-205	143	4		台石	14	S11		42	200	145	43	1864.8	安山岩2				
-209	144	1		尖頭器	21	M18		462	145	31	9	49.5	黒曜石1		53461	産地分析X127	
						M18		463									
-209	144	2		尖頭器	21	K18		322	161	45	13	70.7	黒曜石1	86	2573		
						K18		582									
						K18		700									
						K18		1107									
						K18		9									

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
						K18		10									
						K18		11									
						K18		12									
-209	144	3		尖頭器	21	K18		65	122	31	9	32.9	黒曜石4		53462		
						K18		373									
						K18		385									
						L18		4									
-209	144	4		尖頭器	21	K18		74	121	31	9	27.1	黒曜石4		53465		
						K18		1401									
						L18		237									
						L18		279									
						K18		13									
-209	144	5		尖頭器	21	M19		20	(89)	(38)	11	(36.6)	黒曜石5				
-209	144	6		尖頭器		L10		2	(96)	43	12	(57.4)	黒曜石4		53471		
						L19		1									
-209	144	7		尖頭器	21	M18		105	(128)	51	13	(90.1)	黒曜石3		53467		
						M18		255									
						M18		331									
						N18		151									
						N18		155									
						N18		220									
						M18		2									
-210	144	8		尖頭器	21	K18		166	144	(49)	13	(81.1)	黒曜石3	137	3135		
						M18		395									
				剥片		M18		34									
-210	144	9		尖頭器	21	K18		167	139	62	15	124.5	黒曜石3	124	3060		
						M17		774									
-210	145	10		尖頭器	21	K18		1006	178	57	20	184.9	黒曜石1	87	2576		
						M17		721									
-210	145	11		尖頭器	21	K18		18	219	71	19	249.7	黒曜石4	133	3109		
						M17		802									
-211	145	12		尖頭器	21	K18		1200	273	74	22	484.0	黒曜石4		2512		
						K18		168									
						K18		1597									
-211	145	13		尖頭器	21	K18		1598	(88)	37	12	(35.9)	黒曜石1				産地分析X129
-211	146	14		尖頭器	21	K18		2	(129)	55	13	(95.7)	黒曜石1		53463		産地分析X131
						M17		342									
-211	146	15		尖頭器	21	K19		7	(163)	63	17	(159.5)	黒曜石1	86	53466		産地分析X130
						L18		106									
						L17		2									
-212	146	16		尖頭器	19	K17		3	(63)	(42)	(13)	(17.7)	黒曜石1	86			産地分析X126
-212	146	17		尖頭器	15	J12		1290	(84)	(53)	11	(38.4)	黒曜石1		2073		
-212	146	18		尖頭器		K18		3	(152)	(77)	22	(194.1)	黒曜石3		3187		
						K18		14									
-212	146	19		尖頭器	21	M18		464	(84)	45	14	(59.6)	黒曜石3	123	3049		
-212	146	20		尖頭器	21	K18		1305	(42)	(57)	(14)	(28.8)	黒曜石3		3187		
-212	146	21		尖頭器	15	J12		3	(40)	(40)	13	(15.3)	黒曜石1				
-212	146	22		尖頭器	21	M18		374	(61)	31	11	(23.0)	黒曜石1				
-212	146	23		尖頭器	15	K13		644	(78)	49	14	(46.1)	黒曜石1				
-213	147	24		尖頭器		K19		1	(125)	62	15	(119.2)	黒曜石4		2507		
						L10		1									
-213	147	25		尖頭器	21	K18		408	(148)	59	16	(143.2)	黒曜石1	320	53464		産地分析X128
						K18		1069									
						K18		2									
						K18		27									
-213	147	26		尖頭器	18	K16		19	(159)	68	18	(206.9)	黒曜石4		2510		
					21	N17		2000									
-213	147	27		尖頭器	21	K18		287	(44)	(46)	(14)	(20.5)	黒曜石1	320	53470		
						L18		3									
						M18		1									

奥白滝1遺跡

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-213	147	28		尖頭器	15	J12		1250	(53)	(56)	13	(33.3)	黒曜石5	48	2036		
-213	147	29		尖頭器	21	K18		580	(71)	(70)	18	(91.7)	黒曜石4		2504		
-214	147	30		尖頭器	21	L18 M18 M18		76 91 4	212	61	27	304.8	黒曜石1	83	2540		
-214	148	31		尖頭器	17 21	K15 K18 K18 K18 L18 L18 L18		177 171 500 875 100 447 562	(227)	56	22	(239.7)	黒曜石3		2528		
-214	148	32		尖頭器	21	M17 L18		464 2	188	88	31	439.4	黒曜石1	87	2576		
-215	148	33		尖頭器	21	K18		716	126	50	13	75.7	黒曜石4		3187		
-215	148	34		尖頭器	21	K18 K18 L18 K18 K18 K18 K18		197 505 500 98 124 125 138	(118)	46	14	(62.4)	黒曜石4		2509		
-215	148	35		尖頭器	15	K13 K13		99 348	137	56	19	129.4	黒曜石1		2429		
-215	148	36		尖頭器	21	K18 K18		1068 5	145	54	25	171.3	黒曜石4	359	2494		
-215	149	37		尖頭器	21	K18 K18		103 370	130	59	18	147.0	黒曜石4		2511		
-215	149	38		尖頭器	21	K18 K18		581 954	(162)	40	24	(132.7)	黒曜石4	359	2494		
-216	149	39		尖頭器	21	N18 O18		235 1	(123)	48	17	(85.3)	黒曜石4		3134		
-216	149	40		尖頭器	21	K18 K18 L18 L18		668 852 660 5	(116)	61	18	(116.0)	黒曜石4	137	3135		
-216	149	41		尖頭器	21	M17		803	(135)	79	31	(237.5)	黒曜石3	123	3049		
-216	149	42		尖頭器	21	M18		494	(79)	49	22	(84.8)	黒曜石3	123	3049		
-216	149	43		尖頭器	21	L18 K18 N18		99 8 9	(100)	(66)	(20)	(103.0)	黒曜石4		3134		
-217	150	44		両面調整石器	20	O16		20	65	49	24	56.0	黒曜石4	145	3188		
-217	150	45		両面調整石器	21	K18		1653	102	65	44	232.7	黒曜石1	82	2539		
-217	150	46		両面調整石器	15	K13 J12		434 14	130	97	45	550.6	黒曜石1	355	2106		
-217	150	47		両面調整石器	21	K18		1067	(125)	92	39	(379.6)	黒曜石1	360	2575		
-218	150	48		両面調整石器	15	K13		435	(80)	78	41	(213.1)	黒曜石1		2395		
-218	150	49		彫器	21	M19		1	103	38	8	37.8	頁岩				
-218	150	50		削片		L17		1	31	8	2	1.3	頁岩				
-218	150	51		削片	21	K18		1020	26	6	3	0.4	頁岩				
-218	150	52		削片		K18 L17		18 4	(26)	(7)	3	(0.5)	頁岩		53554		
-218	150	53		削片	21	L18		705	(28)	6	3	(0.6)	頁岩				
-218	150	54		削片	21	K18		1103	(29)	9	3	(0.4)	黒曜石1				
-218	150	55		搔器	15	K13		290	62	26	11	16.5	黒曜石1	354	2090		
-218	150	56		搔器	15	J13		221	65	34	11	22.9	黒曜石1	354	2090		
-218	150	57		搔器	15	J13		53	65	33	9	21.7	黒曜石1				
-218	150	58		搔器	21	L17 L17		33 34	126	39	14	61.3	黒曜石1		53469		
-219	151	59		搔器	21	K18		1314	128	52	16	85.8	黒曜石4	74	2513		

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
						L18		239									
						N18		10									
-219	151	60		搔器	21	O19		9	96	55	30	160.3	黒曜石1	87	2576		
-219	151	61		削器	15	J12		60	82	18	6	7.4	黒曜石1		53478		
						J12		562									
-219	151	62		削器	21	K18		1058	(41)	26	10	(9.1)	黒曜石4				
-219	151	63		削器	21	K19		66	151	42	22	117.6	黒曜石1	87	2576		
						K19		2									
-219	151	64		削器	21	M17		233	(159)	53	24	(191.8)	黒曜石1	87	2576		
						M17		347									
						M17		484									
-220	151	65		削器	15	K13		444	(84)	34	8	(15.4)	黒曜石1				
-220	151	66		削器	20	M16		1	(103)	(74)	12	(74.3)	黒曜石1	86	53473		
						N17		4									
						N17		5									
						N17		6									
						N17		7									
						N17		11									
-220	151	67		削器	21	K18		22	196	97	20	235.2	黒曜石1	320	53481		
						K18		119									
						K18		281									
						K18		356									
						K18		396									
						K18		399									
						K18		451									
						K18		482									
						K18		485									
						K18		498									
						K18		681									
						K18		695									
						K18		859									
						K18		863									
						K18		899									
						K18		900									
						K18		902									
						K18		906									
						K18		908									
						K18		986									
						K18		1011									
						K18		1422									
						L18		211									
						L18		442									
						L18		611									
						J18		6									
						L18		103									
-220	152	68		削器	15	J12		407	(128)	64	20	(154.6)	黒曜石1		53479		
						J12		582									
						K13		420									
-221	152	69		錐形石器	21	M17		422	114	27	15	43.9	黒曜石1	86			
-221	152	70		錐形石器	15	K13		62	59	46	17	32.4	黒曜石1				
-221	152	71		二次加工ある剥片	21	L18		235	165	76	18	186.3	黒曜石4		53459		
						L18		621									
-221	152	72		二次加工ある剥片	21	L18		96	(27)	(28)	(8)	(5.3)	黒曜石4		53457		
						K18		16									
-221	152	73		二次加工ある剥片	17	K15		400	(21)	(16)	11	(1.7)	めのう				
-221	152	74		舟底形石器		K17		1	33	151	34	132.2	黒曜石1	82	2539		
						K18		1									
-221	152	75		削片	18	L16		4	17	90	29	36.4	黒曜石5				
-221	152	76		削片	15	J12		1069	13	43	14	6.4	黒曜石1				
-221	152	77		縦長剥片		L17		3	(25)	9	3	(0.6)	頁岩				

奥白滝1遺跡

挿	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-222	152	78	石刃核	15	J12		286	94	61	25	145.4	黒曜石1	50	2087		
-222	152	79	石核	21	K18		112	127	59	36	238.8	黒曜石1	360	2575		
-222	153	80	石核	15	K13		27	77	62	54	213.6	黒曜石1	357	2430		
					K13		179									
					K13		181									
					K13		324									
					K13		478									
					K13		552									
					K13		589									
					K13		601									
					K12		4									
					K13		7									
					K13		16									
-222	153	81	石核	20	O16		39	44	64	24	59.6	黒曜石4	145	3188		
-222	153	82	石核	20	O16		33	52	75	31	86.8	黒曜石4	145	3188		
-222	153	83	石核	21	L18		140	93	83	49	382.4	黒曜石1		2552		
-223	153	84	石核		K18		6	116	123	55	476.8	黒曜石1	82	2539		
-223	153	85	斧形石器	21	K18		715	159	68	29	495.2	緑色泥岩		4260		
-223	-	86	斧形石器 剥片	21	K18 K18		715 97	- -	- -	- -	500.5	緑色泥岩		4260		
-223	153	87	剥片	21	K18		97	31	33	5	5.3	緑色泥岩		4260		
-223	153	88	剥片	21	K18		1313	59	55	16	51.4	緑色泥岩				
-258	171	1	尖頭器	25	J22		245	98	37	9	28.2	黒曜石4			産地分析X133	
-258	171	2	尖頭器	25	J21		3341	180	55	16	142.4	黒曜石1		2275		
					J21		4259								産地分析X132	
					J21		4429									
-258	171	3	尖頭器	25	J21		503	200	78	27	369.7	黒曜石1	367	2312		
					J21		1939									
-258	171	4	尖頭器	25	J21		5171	(89)	(69)	20	(86.6)	黒曜石1		2247		
-259	171	5	尖頭器	25	J21		3221	(34)	(36)	12	(12.3)	黒曜石1				
-259	171	6	尖頭器	25	J21		4260	(43)	(43)	12	(17.0)	黒曜石1				
-259	171	7	尖頭器	22	J19		68	(60)	(46)	7	(17.7)	黒曜石4		53468		
					J19		69									
-259	171	8	尖頭器	25	J21		3064	(63)	(63)	(18)	(62.3)	黒曜石1				
-259	172	9	尖頭器	25	J21		1019	150	68	27	248.8	黒曜石1	363	2274		
					J21		2230									
-259	172	10	両面調整石器	25	J22		595	156	93	39	561.4	黒曜石1		2276		
					J22		1008									
-260	172	11	両面調整石器	25	K23		4	182	138	68	2082.6	黒曜石4	361	2115		
					K23		5									
					K23		8									
			外		K23		14									
			外		K23		15									
-260	173	12	両面調整石器	25	K23		2	269	157	110	5169.3	黒曜石1	366	2310		
					K23		3									
					K23		9									
-261	172	13	彫器	22	J19		45	49	21	6	5.9	黒曜石1				
-261	172	14	彫器	25	J22		186	(60)	17	5	(5.4)	黒曜石1				
-261	172	15	搔器	22	J19		30	44	22	5	4.8	黒曜石1				
-261	172	16	搔器	22	J19		29	60	22	7	12.1	黒曜石4				
-261	172	17	搔器	24	K21		85	45	21	7	6.0	黒曜石1	362	2272		
-261	172	18	搔器	25	J22		1255	80	51	11	42.5	黒曜石1		2144		
-261	173	19	二次加工ある剥片	25	J22		40	88	158	21	186.6	黒曜石1	61	2314		
					J22		268									
					J22		755									
					J22		898									
-261	173	20	石刃	23	J21		97	(43)	14	3	(1.5)	黒曜石1				
-262	173	21	石刃核	24	K21		76	56	36	41	58.6	黒曜石1	374	2597		
-262	173	22	石刃核	22	J19		9	18	21	15	5.0	黒曜石4				
-262	173	23	石刃核	25	K22		2	58	58	39	107.2	黒曜石4				

掲載遺物一覧

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-262	173	24		石刃核	24	K21		34	62	54	34	101.5	黒曜石1	373	2596		
-262	173	25		石刃核	24	K21		77	57	68	41	121.6	黒曜石1	376	2599		
-262	174	26		石刃核	22	J19		28	44	46	31	50.7	黒曜石4		2105		
-262	174	27		石刃核	24	K21		75	68	35	35	80.8	黒曜石1	375	2598		
-263	174	28		石刃核	25	J21		5551	132	78	52	654.5	黒曜石1	64	2339		
-263	174	29		石刃核	25	J23		36	184	164	120	3701.1	黒曜石1	365	2309		
-263	174	30		台石	25	J23		37	210	146	67	2838.2	安山岩2				
-289	200	1		尖頭器	26	K27		130	(50)	19	7	(7.3)	黒曜石1				産地分析X3
-289	200	2		尖頭器	28	N25		189	(51)	19	7	(7.2)	黒曜石1				産地分析X4
-289	200	3		尖頭器	26	K26 L24		102 123	173	46	14	99.3	黒曜石1		53475		
-289	200	4		尖頭器	28	M25 M25 M25		237 276 402	(117)	35	10	(39.9)	黒曜石1	128	3094		
-289	200	5		尖頭器	27	L26 L26		150 676	121	54	14	98.1	黒曜石1	378	2688		
-289	200	6		尖頭器	26	L23 L23 L24 L24		3 7 133 144	156	62	18	153.0	黒曜石5	88	2605		
-289	200	7		尖頭器	26 28	K26 N25		219 122	153	53	25	171.0	黒曜石3		2604		
-290	200	8		尖頭器	26	K26 K26		100 318	(88)	(60)	(17)	(59.8)	黒曜石1	92	2648		
-290	200	9		尖頭器		L27		1	(80)	49	16	(77.0)	黒曜石3				
-290	200	10		尖頭器	28	M25		459	(74)	44	18	(52.0)	黒曜石1	128	3094		
-290	200	11		尖頭器	28	N24		3	(45)	56	15	(32.3)	黒曜石4				
-290	201	12		尖頭器	26	L26		1552	(61)	57	20	(63.5)	黒曜石1	380	2690		
-290	201	13		尖頭器	28	N24		8	(78)	57	19	(77.0)	黒曜石4		3174		
-290	201	14		尖頭器	28	M25		10	(95)	(78)	35	(203.2)	黒曜石1		3071		
-291	201	15		尖頭器	28	M25		261	(93)	(93)	31	(278.5)	黒曜石1	125	3072		
-291	201	16		両面調整石器	27	L25		150	226	113	53	1219.9	黒曜石1				
-292	202	17		両面調整石器	27	L26		805	126	72	40	387.1	黒曜石1	378	2688		
-292	202	18		両面調整石器	28	M25 M25 M25 M25 M25		78 181 207 208 277 394	238	86	46	794.6	黒曜石1	383	3070		
-293	203	19		両面調整石器	28	M25 M25		136 137	256	127	83	2656.5	黒曜石1	381	3068		
-294	202	20		彫器	29	L27		100	48	21	8	6.9	碧玉2				碧玉産地J2
-294	202	21		搔器	27	L27		34	(99)	51	11	(61.7)	黒曜石3				
-294	202	22		搔器	28	M25		251	52	(51)	14	(27.5)	黒曜石5		3096		
-294	202	23		削器		K26		2	72	32	7	16.4	黒曜石1				
-294	202	24		削器	26	K26		32	(103)	26	9	(22.2)	黒曜石4				
-294	202	25		錐形石器		N24		1	(24)	11	4	(1.4)	めのう				
-294	203	26		縦長剥片	27	L27		57	36	16	6	2.6	碧玉1				碧玉産地J1
-294	203	27		石刃	28	N24		17	(58)	(23)	(7)	(10.3)	黒曜石1		4249		
-294	203	28		石刃	28	M25 M25		291 380	(93)	20	8	(10.5)	黒曜石1		53472		
-294	203	29		石核	27	L27 L27		35 59	141	88	71	760.5	黒曜石1	379	2689		
-322	224	1		尖頭器	34	Q26		70	59	19	7	6.9	黒曜石1				産地分析X6
-322	224	2		尖頭器	33 34	P26 R26		2 1	58	23	8	9.0	黒曜石1		53558		産地分析X8
-322	224	3		尖頭器	35	Q28		1	117	27	11	29.7	黒曜石4				産地分析X7
-322	224	4		尖頭器	36	P33		888	(81)	22	9	(17.2)	黒曜石4				産地分析X5
-322	224	5		尖頭器		P34		5	(18)	(14)	(6)	(1.4)	黒曜石1				
-322	224	6		尖頭器		Q27		2	94	36	12	33.7	黒曜石1				

奥白滝1遺跡

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-322		224	7	尖頭器	36	P32		9	84	42	13	49.6	碧玉3				
-322		224	8	尖頭器	36	P32		8	89	42	13	45.6	頁岩				
-322		224	9	尖頭器	32	O28		8	83	37	14	49.7	黒曜石4				
-322		224	10	尖頭器	36	P33		367	104	51	16	83.8	黒曜石1				
-322		224	11	尖頭器	35	Q31		17	(79)	57	15	(80.5)	黒曜石4				
-323		224	12	尖頭器		P27		1	(81)	(74)	(33)	(111.0)	黒曜石4	150	3205		
-323		224	13	尖頭器		N27		1	(64)	93	(24)	(140.5)	黒曜石4	150	3205		
						P27		17									
-323		224	14	尖頭器		P34		3	(84)	(84)	(22)	(112.2)	黒曜石3	165	3309		
-323		225	15	尖頭器		P34		7	(96)	(82)	(30)	(139.9)	黒曜石3	165	3308		
-323		225	16	両面調整石器	36	P33		263	(71)	(96)	(36)	(165.1)	黒曜石4		3243		
-324		225	17	搔器	36	O33		34	153	50	22	144.6	黒曜石1				
-324		225	18	削器	35	Q31		1	(173)	74	16	(174.4)	黒曜石3				
-324		225	19	削器		N29		1	65	29	9	10.7	黒曜石1		4245		
-324		225	20	削器	35	Q31		18	64	30	11	19.7	黒曜石4				
-324		225	21	削器	35	P31		7	(32)	(22)	5	(2.8)	黒曜石1				
-324		225	22	錐形石器	35	Q31		33	70	22	8	7.5	黒曜石1				
-324		225	23	錐形石器	35	Q30		46	(35)	(29)	5	(3.2)	めのう				
-324		225	24	錐形石器	35	Q29		10	35	35	4	4.3	めのう				
-324		225	25	石刃	32	O27		41	98	25	13	18.6	黒曜石1		53482	産地分析X136	
						O28		1									
-324		225	26	石刃	32	O26		89	(106)	(42)	12	(50.0)	黒曜石1	167	4248		
-324		225	27	石刃	35	Q31		46	(135)	(50)	14	(77.4)	黒曜石1				
-325		226	28	石刃	36	O34		66	54	14	6	4.7	碧玉3			碧玉産地J8	
-325		226	29	石刃	34	Q27		21	48	19	4	3.3	碧玉1			碧玉産地J7	
-325		226	30	石刃	34	Q26		58	48	16	6	3.6	碧玉1		4251		
-325		226	31	石刃		Q28		1	63	21	8	10.7	碧玉1		4251		
-325		226	32	縦長剥片	35	Q30		42	(66)	17	6	(6.6)	碧玉1				
-325		226	33	縦長剥片	36	P32		5	57	22	9	10.1	碧玉3			碧玉産地J9	
-325		226	34	縦長剥片	36	P33		1143	67	24	7	8.8	碧玉1			碧玉産地J10	
-325		226	35	石刃	31	P23		2	86	28	10	22.1	碧玉1		4253	碧玉産地J3	
-325		226	36	縦長剥片	31	P24		69	95	32	12	24.3	碧玉1				
-325		226	37	縦長剥片	31	P24		28	95	40	13	37.7	碧玉1				
-325		226	38	縦長剥片	31	P24		4	(80)	35	13	(30.0)	碧玉1		4253		
-325		226	39	縦長剥片	31	P24		5	77	44	14	37.3	碧玉3			碧玉産地J4	
-325		226	40	縦長剥片	31	P23		11	80	33	14	22.8	碧玉1				
-325		226	41	石刃	36	O34		70	(23)	19	4	(1.7)	碧玉3				
-325		226	42	縦長剥片	36	P32		10	(48)	19	6	(5.5)	めのう				
-325		226	43	石刃	34	Q26		78	(52)	24	6	(5.3)	碧玉3			碧玉産地J6	
-325		226	44	縦長剥片	36	O34		48	(48)	17	4	(3.7)	碧玉3				
-326		226	45	縦長剥片	34	Q26		71	282	41	33	324.9	黒曜石1		53477		
						Q26		144									
-326		226	46	縦長剥片	34	Q27		8	(164)	(47)	19	(127.6)	黒曜石1	321			
-326		227	47	剥片	31	P24		70	95	50	16	61.5	碧玉1				
-326		227	48	剥片	31	P24		2	(69)	46	9	(28.0)	碧玉1				
-326		227	49	石刃核	31	P24		63	82	63	20	110.0	碧玉3			碧玉産地J5	
-327		227	50	石刃核	36	P34		1251	215	134	86	2617.3	黒曜石4	160	3244		
-327		227	51	石鏃	35	Q28		2	(58)	17	3	(3.4)	黒曜石1		53559		
						Q28		10								水和層W4	
-327		227	52	石鏃		P34		1	(36)	13	2	(0.9)	黒曜石1				
-328		228	53	台石	36	O33		42	510	170	28	3827.5	凝灰岩		53486		
						P32		7									
						P32		14									
-328		228	54	台石	36	O34		25	(167)	124	14	(434.5)	凝灰岩				
-328		228	55	台石	36	O33		33	(173)	126	24	(850.3)	凝灰岩				
-346		239	1	尖頭器	37	R2		6	(86)	(55)	13	(53.3)	黒曜石1		53553		
						b11		1									
-346		239	2	尖頭器	37	a10		1	(70)	(63)	17	(87.0)	黒曜石1				
-346		239	3	削器	37	b9		1	(16)	22	5	(2.4)	頁岩				
-346		239	4	石核	37	b10		5	73	87	53	340.5	黒曜石4		4256		

挿 図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-346	239	5	石核	37	b11		16	88	97	58	483.8	黒曜石4	387	3426		
-349	240	1	尖頭器	44	n6		1136	105	35	11	41.3	安山岩1				
-349	240	2	尖頭器	44	p7		618	67	26	11	16.1	黒曜石4				
-349	240	3	尖頭器	40	j10		121	77	24	12	16.0	黒曜石1		53498		
					j10		251									
					j11		5									
-349	240	4	尖頭器	38	g12		480	127	24	10	24.5	黒曜石4		53539		
					f11		5									
-349	240	5	尖頭器	40	k11		195	106	29	11	29.5	黒曜石1		53536		
					k11		298									
-349	240	6	尖頭器		g12		2	(117)	37	16	(75.7)	黒曜石1	206	53509		
					n8		72									
					p12		1									
-349	240	7	尖頭器	39	i12		212	(133)	37	15	(61.8)	黒曜石4		3516		
					j12		50									
					j12		51									
					j12		60									
-349	240	8	尖頭器	38	g12		84	143	36	15	72.4	黒曜石1		53540		
					h13		11									
				40	i10		120									
					h12		1									
-349	240	9	尖頭器	40	l11		144	(140)	33	15	(62.0)	黒曜石4		4259		
					m12		130									
					m13		292									
					m13		328									
			剥片	41	l10		246									
-349	240	10	尖頭器	44	q9		2	121	34	14	48.0	黒曜石1		53497		
					q9		16									
-350	240	11	尖頭器	40	j11		275	107	39	14	49.2	黒曜石4	198			
-350	240	12	尖頭器	40	m13		1	117	32	13	42.9	黒曜石5				
-350	240	13	尖頭器	40	m13		212	137	46	18	101.6	黒曜石3		3847		
					m12		4									
-350	241	14	尖頭器	41	m9		108	89	34	15	30.1	黒曜石4	248	3808		
					l9		3									
-350	241	15	尖頭器	40	k12		731	101	39	18	48.5	黒曜石1	206	3502		
					l12		565									
-350	241	16	尖頭器	40	j10		201	(107)	42	14	(48.3)	黒曜石1		3494		
					j10		345									
-350	241	17	尖頭器	39	i11		24	150	40	19	89.5	黒曜石1	216	3550		
				40	k11		14									
-350	241	18	尖頭器	39	h12		71	(52)	24	13	(14.5)	黒曜石4				
-350	241	19	尖頭器		k12		3	(99)	29	13	(37.9)	黒曜石5		53494		
					m8		4									
-351	241	20	尖頭器	40	k11		274	(75)	36	16	(41.5)	黒曜石5		3544		
-351	241	21	尖頭器	41	m9		106	(81)	34	16	(43.1)	黒曜石1				
-351	241	22	尖頭器	40	k11		65	94	23	15	27.0	黒曜石1				
-351	241	23	尖頭器	40	j10		264	122	33	22	78.0	黒曜石4		53541		
					j10		266									
					i11		3									
-351	241	24	尖頭器	39	i11		47	(39)	(26)	(18)	(14.1)	黒曜石5	389	3477		
-351	241	25	尖頭器	44	o6		335	(90)	32	18	(49.1)	黒曜石4	215	3547		
					o6		588									
					p7		961									
-351	241	26	尖頭器	40	k11		137	(81)	31	19	(41.3)	黒曜石1	390	3493		
					m13		70									
-351	241	27	尖頭器	40	k11		249	(70)	40	20	(71.3)	黒曜石1				
-351	241	28	尖頭器	44	o7		46	(76)	43	25	(69.3)	黒曜石3		4051		
-351	241	29	尖頭器	40	j11		23	(166)	38	26	(124.4)	黒曜石3		53511		
					k11		23									
					k11		73									

奥白滝1遺跡

挿	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考	
							k11 k11 k11 m12	186 296 307 54									
・352	242	30	尖頭器	44			p6 p7 q7	632 406 341	(162)	46	27	(160.1)	黒曜石1		53512		
・352	242	31	尖頭器	40			j10 j11 k12	265 90 1083	(150)	43	22	(104.4)	黒曜石3		53503		
・352	242	32	尖頭器	43			o10	582	(91)	39	22	(75.3)	黒曜石1	390	3493		
・352	242	33	尖頭器	40			l12	319	(80)	38	25	(80.0)	黒曜石1	390	3493		
・352	242	34	尖頭器	40			j11 i9	121 1	107	48	22	103.9	黒曜石1	206	3503		
・352	242	35	尖頭器	39			h11 i12	1 256	(140)	54	20	(139.1)	黒曜石4		3478		
・353	242	36	尖頭器	43			p10	492	(140)	67	28	(269.5)	黒曜石2	293	4184		
・353	242	37	尖頭器	41			i9 n10	132 111	155	59	23	193.2	黒曜石3		3810		
・353	243	38	尖頭器	40			k12 j11	563 2	(104)	59	16	(100.1)	黒曜石3		3497		
・353	243	39	尖頭器	44			o7 p7	45 1068	132	53	19	119.6	黒曜石3		4159		
・353	243	40	尖頭器				f10 g10	3 1	(121)	73	22	(173.2)	黒曜石1		3432		
・354	243	41	尖頭器	40			j10 j10 j10	106 127 154	(153)	(74)	23	(181.5)	黒曜石4	207	3510		
・354	243	42	尖頭器	44			n6	247	(63)	54	19	(72.8)	黒曜石5	274	4043		
・354	243	43	尖頭器	44			n5	231	(61)	(56)	16	(52.7)	黒曜石5	274	4044		
・354	243	44	尖頭器	44			n6 n7	167 78	(67)	(56)	(19)	(61.6)	黒曜石5	274	4043		
・354	243	45	尖頭器				l7	1	(53)	(48)	13	(33.3)	黒曜石1	244	3761		
・354	243	46	尖頭器	39			j12	52	(85)	79	24	(147.9)	黒曜石1	206	3503		
・354	244	47	尖頭器	41			k9	190	(83)	48	22	(65.5)	黒曜石1	249	3811		
・355	244	48	尖頭器	40			k11	255	(101)	58	17	(86.4)	黒曜石1	206			
・355	244	49	尖頭器	38			f11 g11 f10	107 36 2	(211)	68	24	(365.9)	黒曜石1		3438		
・355	244	50	尖頭器				n7	1	(143)	62	27	(195.5)	黒曜石5				
・355	244	51	尖頭器	38			g12	561	(139)	(83)	(35)	(305.4)	黒曜石1	193	3461		
・356	245	52	尖頭器	40			i10 i10 i10 i10 j10	90 111 112 113 126	174	63	19	177.5	黒曜石4		53535		
・356	245	53	尖頭器	38			g12 g12 f11	232 479 4	197	65	17	219.8	黒曜石4		3439		
・356	245	54	尖頭器	40			i10 k11	5 121	197	78	17	259.9	黒曜石5		3498		
・357	245	55	尖頭器	38			f12 外 d11	74 1	214	93	22	392.1	黒曜石1		53542		
・357	246	56	尖頭器	44			n5	383	(113)	52	17	(91.4)	黒曜石5				
・357	246	57	尖頭器	40			k11	367	(166)	(77)	(22)	(220.1)	黒曜石1	206	3502		
・357	246	58	尖頭器	40			j10 j11	1 120	(90)	(62)	(15)	(62.4)	黒曜石1		53537		
・358	246	59	尖頭器	38			e11 g12	14 234	(105)	(61)	(20)	(100.3)	黒曜石3		3439		
・358	246	60	尖頭器	44			o7	19	(100)	(59)	21	(102.7)	黒曜石3	401	4157		

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
						q7		407									
						o6		1									
-358		246	61	尖頭器	40	j11		63	(82)	(65)	(16)	(66.1)	黒曜石1	206	3507		
-358		246	62	尖頭器	38	f10		4	(190)	91	21	(327.2)	黒曜石4	194	3467		
						f10		23									
						f10		51									
						e10		1									
						f10		10									
						f11		2									
						f11		3									
-359		247	63	尖頭器	40	k11		15	(111)	(69)	18	(142.7)	黒曜石1	220	3509		
						k12		480									
-359		247	64	尖頭器	40	j11		66	(92)	(84)	17	(135.2)	黒曜石4		53543		
						j11		71									
-359		247	65	尖頭器	38	f12		72	(119)	(77)	16	(131.3)	黒曜石1		53538		
						g12		356									
-359		247	66	尖頭器	38	g12		48	(124)	86	16	(185.1)	黒曜石1	193	3456		
						g12		121									
						g12		175									
						g12		305									
						g12		367									
						g12		385									
						g12		583									
						e11		3									
-360		247	67	尖頭器	44	n7		161	(102)	(89)	(26)	(158.6)	黒曜石1				
-360		247	68	尖頭器		k11		15	(76)	(96)	(29)	(167.1)	黒曜石5	221	3517		
-360		248	69	尖頭器	44	n5		200	(129)	104	(30)	(321.2)	黒曜石1				
-361		248	70	尖頭器		e11		1	(87)	79	23	(151.5)	黒曜石4	188	3436		
-361		248	71	尖頭器	44	n5		300	(104)	(81)	18	(80.8)	黒曜石3	283	4104		
-361		248	72	尖頭器	39	i12		140	(100)	(74)	25	(148.8)	黒曜石4		3478		
-361		248	73	尖頭器	40	l11		260	(121)	79	26	(264.5)	黒曜石1	237	3686		
-362		248	74	尖頭器	40	i10		2	127	70	14	120.1	黒曜石4		53507		
						i10		55									
						i9		5									
-362		249	75	尖頭器	44	m5		90	162	80	32	377.1	黒曜石1	392	3746		
-362		248	76	両面調整石器	44	o6		501	77	56	28	118.0	黒曜石4	204	3499	水和層H71	
-362		249	77	両面調整石器	43	o9		140	142	81	36	415.3	黒曜石4		3907		
-363		249	78	両面調整石器	44	n7		625	(126)	67	27	(225.2)	黒曜石1				
-363		249	79	両面調整石器		f12		1	(150)	114	57	(1060.2)	黒曜石3				
-364		250	80	両面調整石器	43	q11		930	180	101	67	1214.6	黒曜石4		4169		
-364		250	81	両面調整石器		q10		6	128	100	53	543.2	黒曜石5	273	4039		
-364		250	82	両面調整石器	43	q11		790	142	149	44	1003.0	黒曜石1				
-365		251	83	彫器	40	i10		3	61	24	9	13.2	真岩				
-365		251	84	彫器	44	m5		417	(28)	(17)	9	(3.2)	黒曜石1				
-365		251	85	削片		n6		19	15	9	2	0.3	真岩				
-365		251	86	搔器	44	n7		562	50	21	8	8.8	黒曜石1				
-365		251	87	搔器	44	m6		576	42	24	7	8.0	黒曜石1				
-365		251	88	搔器	44	n7		523	69	28	6	14.5	黒曜石1				
-365		251	89	搔器	44	m5		68	76	30	7	15.9	黒曜石1		53517		
						n6		821									
-365		251	90	搔器	44	n7		540	36	25	7	5.5	黒曜石1				
-365		251	91	搔器	40	j10		226	52	36	11	20.4	真岩				
-365		251	92	搔器	44	p7		840	54	34	9	14.5	黒曜石4				
-365		251	93	搔器	41	n10		114	63	34	14	28.9	黒曜石4				
-365		251	94	搔器	44	n7		522	47	18	7	4.9	黒曜石1		3901		
-365		251	95	搔器	44	m5		247	46	23	8	6.3	黒曜石1				
-365		251	96	搔器	44	m6		831	59	29	7	9.1	黒曜石1				
-365		251	97	搔器	42	l7		1165	75	25	7	10.2	黒曜石1				
-365		251	98	搔器	44	n5		9	52	20	7	6.7	黒曜石1				
-365		251	99	搔器	44	m6		1137	50	20	7	5.6	黒曜石5				

奥白滝1遺跡

挿	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-365	251	100	搔器	44	n7		346	(53)	20	6	(5.5)	黒曜石1				
-365	251	101	搔器	44	n7		475	(43)	25	6	(6.0)	黒曜石1				
-365	251	102	搔器	42	l7		910	63	19	7	8.9	黒曜石1				
-365	251	103	搔器	40	l12		650	96	25	15	37.2	黒曜石1	328	3492	産地分析X137	
-366	251	104	搔器	41	m9		105	87	43	10	48.9	頁岩				
-366	251	105	搔器	38	g12		523	(96)	50	10	(51.3)	頁岩				
-366	251	106	搔器	43	o9		583	76	46	17	44.8	黒曜石1	269	4008		
-366	251	107	搔器	40	k12		1	95	43	16	61.1	黒曜石1		3495	水和層H63	
-366	251	108	削器	41	m10		116	58	19	9	9.4	黒曜石1				
-366	251	109	削器	38	f10		104	72	21	7	13.2	頁岩				
-366	252	110	削器	40	k11		368	85	24	10	20.5	黒曜石1			水和層H67	
-366	252	111	削器	41	m10		216	81	31	7	18.4	黒曜石1	269			
-366	252	112	削器	40	m13		306	(80)	43	14	(47.7)	黒曜石1				
-366	252	113	削器	38	f10		33	97	37	10	31.9	黒曜石1	202		水和層H62	
-366	252	114	削器	40	j10		227	(38)	(27)	7	(7.5)	頁岩				
-366	252	115	削器	44	q9		1	(62)	(31)	10	(17.3)	黒曜石1				
-366	252	116	削器	44	n6		1272	(47)	28	10	(13.4)	黒曜石1				
-367	252	117	削器	41	l9		112	(53)	16	8	(5.3)	黒曜石1		53549		
-367	252	118	削器	40	i10		29	54	20	4	4.3	黒曜石5				
-367	252	119	削器	44	n6		765	85	24	6	10.5	頁岩				
-367	252	120	削器	40	m13		47	71	44	8	22.4	黒曜石1			水和層H66	
-367	252	121	削器	41	l9		84	82	45	11	29.5	黒曜石1		53534		
-367	252	122	削器	40	l9		102									
-367	252	123	削器	40	m9		32									
-367	252	124	削器	40	l9		41									
-367	252	125	削器	40	i10		22	133	64	20	110.4	黒曜石1				
-367	252	126	削器	40	l12		453	(72)	50	7	(20.6)	黒曜石1				
-367	252	127	削器	40	k12		90	(94)	(51)	14	(53.7)	黒曜石1				
-367	252	128	削器	38	f10		1	(102)	74	22	(146.1)	黒曜石4	190	3445		
-367	253	129	削器	40	k12		2	(71)	(48)	9	(26.9)	黒曜石1				
-367	253	130	削器	40	k12		573	(55)	36	10	(15.1)	黒曜石4				
-367	253	131	削器	40	p10		13	(39)	51	13	(22.2)	黒曜石5	292	4183		
-368	253	132	錐形石器	40	m13		335	41	10	8	3.1	黒曜石4				
-368	253	133	錐形石器	41	l10		420	(33)	8	4	(1.3)	黒曜石3				
-368	253	134	舟底形石器		g12		1	25	(59)	22	(24.9)	黒曜石4	195	3469		
-368	253	135	舟底形石器	40	j11		64	35	97	31	79.1	黒曜石4				
-368	253	136	二次加工ある剥片	39	j11		3	109	37	12	49.1	黒曜石4	208	3513		
-368	253	137	二次加工ある剥片		j12		8									
-368	253	138	二次加工ある剥片		j12		135									
-368	253	139	二次加工ある剥片	40	m12		97	36	22	6	4.5	黒曜石1		4293		
-368	253	140	二次加工ある剥片	40	k11		386	37	30	6	4.3	黒曜石1		4292	水和層H64	
-368	253	141	二次加工ある剥片	40	n8		1	47	34	10	15.4	黒曜石1		4293		
-368	253	142	二次加工ある剥片	40	n13		79	60	43	11	22.4	黒曜石4		4327		
-368	253	143	二次加工ある剥片	40	m13		12	45	42	14	19.4	黒曜石1	307	4308		
-368	253	144	二次加工ある剥片	41	l9		167	(120)	94	22	(126.5)	黒曜石1	326			
-368	253	145	二次加工ある剥片	40	k11		165	29	44	10	11.1	黒曜石1		4300		
-368	253	146	二次加工ある剥片		k11		17									
-368	253	147	二次加工ある剥片	40	m13		367	21	43	7	4.4	黒曜石1	307	4308		
-368	253	148	二次加工ある剥片	40	j10		397	(40)	59	13	(28.8)	黒曜石1	307	4308	水和層H65	
-368	253	149	二次加工ある剥片	40	i10		1	(27)	(19)	5	(3.6)	凝灰岩				
-369	253	150	石刃	44	n7		493	98	18	7	9.0	黒曜石1		53544		
-369	253	151	石刃		n7		550									
-369	253	152	石刃	44	n7		563	96	36	10	25.4	黒曜石1				
-369	253	153	石刃	44	m6		66	(65)	31	9	(16.8)	黒曜石3				
-369	253	154	石刃	42	l7		1995	71	29	9	17.0	黒曜石1				
-369	254	155	石刃	42	l7		529	(67)	40	25	(38.6)	黒曜石1				
-369	254	156	縦長剥片		p11		4	40	13	4	1.9	黒曜石5	270	4018		
-369	254	157	縦長剥片	44	n7		424	(67)	(20)	12	(11.8)	頁岩				
-369	254	158	削片	43	q11		962	17	(79)	28	(30.4)	黒曜石1				

掲載遺物一覧

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-369		254	152	削片	43	n9		741	3	22	18	0.7	黒曜石5	270	4018		
-369		254	153	削片		o11		1	7	(30)	15	(2.4)	黒曜石1				
-369		254	154	削片	43	n9		25	14	(49)	15	(7.7)	黒曜石1				
-369		254	155	削片	43	r12		26	13	50	19	8.1	黒曜石5	270	4018		
-369		254	156	石核		p10		1	73	56	23	92.7	黒曜石5	270	4018		
-370		254	157	石刃核	44	m6		1	42	47	48	99.4	頁岩				
-370		254	158	石刃核	44	n6		80	75	43	46	154.3	黒曜石1	244	3760		
-370		254	159	石刃核	38	f12		34	81	50	51	175.9	黒曜石3	314	3434		
-370		254	160	石刃核	43	p10		493	64	75	44	227.6	黒曜石1	402	4168		
-370		254	161	石刃核	38	g12		170	94	71	55	316.7	黒曜石3	388	3433		
-371		255	162	石刃核	42	k6		1	197	105	216	2150.4	黒曜石1	234	3660		
-371		254	163	石刃核	44	o6		200	95	67	44	219.6	黒曜石1				
-372		255	164	石刃核	44	n5		551	107	65	83	535.9	黒曜石1	391	3659		
-372		255	165	石刃核		m8		1	76	52	32	144.5	黒曜石1	399	4040		
-372		255	166	石刃核		n9		1	98	61	36	219.2	黒曜石3	396	3914		
-372		255	167	石刃核	44	n6		1137	110	93	56	705.1	黒曜石1	392	3746		
-373		256	168	石刃核		n5		1	127	105	59	670.9	黒曜石5	395	3869		
-373		256	169	石刃核	44	o5		68	77	76	51	327.9	黒曜石1				
-373		256	170	石刃核	44	o5		181	88	81	60	406.9	黒曜石1	394	3868		
-373		256	171	石刃核	44	o5		69	97	92	66	569.9	黒曜石1				
-374		256	172	石刃核	44	n6		627	83	100	82	785.8	黒曜石3		3890		
-374		256	173	石核	43	q10		223	78	66	25	139.4	黒曜石1	402	4168		
-374		257	174	石核	40	l12		70	97	99	33	312.3	黒曜石3	204	3499		
-375		257	175	石核	44	n6		154	69	91	48	334.1	黒曜石2	393	3807		
-375		257	176	石核	44	m6		331	143	91	94	1307.7	黒曜石1	400	4041		
-375		257	177	石核	43	n9		1112	117	99	70	622.3	黒曜石1	398	4022		
-376		257	178	石核	40	j10		228	110	105	72	699.3	黒曜石1		4307		
-376		258	179	石核		n7		2	126	135	86	1470.8	黒曜石1	294	4198		
-376		258	179	石核		o8		23									
-377		258	180	石核	39	h11		49	47	56	20	50.5	黒曜石1		4301		
-377		258	181	石核	40	m12		137	57	51	26	64.6	黒曜石3				
-377		258	182	石核	40	k10		90	46	60	33	81.7	黒曜石1	307	4308		
-377		258	183	石核	40	l12		652	55	69	21	72.4	黒曜石1		4299		
-377		258	184	石核	39	h12		40	68	98	33	176.1	黒曜石1		53546		
-377		258	184	石核		h12		70									
-377		258	185	石核	40	l12		745	45	63	20	44.4	黒曜石1	306	4303		
-377		258	186	石核	38	f11		3	55	49	26	78.8	黒曜石3		4328		
-377		258	187	石核		m12		1	36	46	16	29.7	黒曜石1		4304		
-377		258	188	石核	41	n11		1	37	46	29	57.1	黒曜石4		4327		
-377		258	189	石核		i9		2	63	54	21	82.6	黒曜石1	305	4302		
-377		258	190	石核	40	j10		347	86	76	30	148.8	黒曜石1	303	4290		
-377		258	190	石核		l11		295									
-378		259	191	石核	40	k11		350	33	63	55	89.0	黒曜石1		4293		
-378		259	192	石核	40	j10		352	39	78	50	110.3	黒曜石4		4327		
-378		259	192	石核		k10		38									
-378		259	193	石核	40	i10		43	51	70	56	146.4	黒曜石1	308	4266		
-378		259	193	石核		j10		193									
-378		259	193	石核		l12		390									
-378		259	193	石核		l12		415									
-378		259	194	石核	43	n8		56	84	236	95	1490.7	黒曜石1	397	4020		
-378		259	194	石核		n9		170									
-378		259	194	石核		o9		105									
-378		259	194	石核		n8		94									
-379		259	195	斧形石器	44	n7		278	83	63	37	281.9	粘板岩				
-379		259	196	敲石	40	m11		1	48	38	37	80.8	頁岩				
-379		259	197	砥石	38	g13		383	257	185	30	2166.4	砂岩		53533		
-379		259	197	砥石		g13		384									
-379		259	197	砥石		h13		61									
-379		259	198	石鏃	42	l6		206	(32)	12	2	(1.2)	黒曜石1			水和層H69	
-379		259	199	尖頭器		l8		1	77	19	5	6.4	黒曜石1		53490	水和層H68	

奥白滝1遺跡

挿	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
						l8	2									
-379	259	200	つまみ付きナイフ		r10		1	92	39	9	30.0	黒曜石1			水和層H170	
-425	285	1	尖頭器		Q4		1	(65)	42	10	(26.1)	黒曜石1				
-425	285	2	両面調整石器		K32		1	145	65	31	264.3	黒曜石1				
-425	285	3	両面調整石器		K29		1	246	139	90	3453.6	黒曜石1		4247		
-426	285	4	彫器	外	P3		3	42	48	10	13.2	頁岩				
-426	285	5	搔器	外	L23		1	42	29	7	8.3	頁岩				
-426	285	6	搔器	外	N13		2	(44)	35	7	(12.4)	頁岩				
-426	285	7	削器	外	O9		2	(107)	27	11	(22.1)	黒曜石1	323			
					O9		3									
-426	285	8	削器	外	K21		1	(106)	60	18	(95.1)	黒曜石1		53480		
					K21		2									
					K21		3									
-426	286	9	削器	外	O12		1	(80)	(51)	(8)	(19.9)	黒曜石3				
-426	286	10	二次加工ある剥片	外	N12		1	(55)	(22)	6	(6.4)	黒曜石1		4245		
-426	286	11	石刃	外	P3		2	64	25	9	12.1	頁岩				
-426	286	12	舟底形石器	外	P2		1	(48)	(135)	(31)	(181.3)	黒曜石4				
-427	286	13	石刃核	外	N23		17	55	47	24	46.8	黒曜石1	57			
-427	286	14	石核	外	K23		12	36	51	57	86.1	黒曜石1				
-427	286	15	斧形石器	外	O8		1	261	74	37	1245.0	緑色泥岩				
-427	286	16	石鏃	外	N13		3	(20)	8	2	(0.4)	黒曜石1				

表2 奥白滝1遺跡掲載接合資料一覧

挿	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-44	53	40	接合資料	3				85.0	5	1	-	21
			剥片	3	K16		367	2.2		1		
-36	51	22	石核	3	K16		396	27.2		1		
			剥片	3	K16		455	13.7		1		
			剥片	3	K16		462	2.3		1		
			剥片	3	K16		476	39.6		1		
-44	53	42	接合資料	3				1,572.4	10	1-4	337	28
-35	51	6	二次加工ある剥片	3	J16		10	3.1		4		
			剥片	3	J16		48	3.6		1		
			剥片		J16		13	1.9		4		
			剥片		K16		35	0.5		4		
			剥片	3	K16		297	1.4		4		
-36	51	26	石核	3	K16		314	25.1		4		
			剥片	3	K16		350	8.1		4		
			剥片	3	K16		351	2.0		4		
			剥片	3	K16		368	1.8		4		
-36	52	27	石核	3	K16		411	1,524.9		4		
-46	54	44	接合資料	3				340.4	25	1	338	30
			剥片	3	J16		27	3.3		1		
			剥片	3	K15		398	2.4		1		
			剥片	3	J16		32	3.4		1		
			剥片	3	J16		36	24.2		1		
			剥片	3	J16		40	4.0		1		
			剥片	3	K16		394	9.3		1		
			剥片	3	J16		51	4.7		1		
			剥片	3	J16		58	5.0		1		
-36	51	20	石核	3	K15		302	16.9		1		
-35	51	11	二次加工ある剥片	3	K15		303	7.2		1		
			剥片	3	K15		399	1.9		1		
			剥片	3	K16		268	21.1		1		
-37	52	30	石核	3	K16		308	152.1		1		
-47	54	46	剥片	3	K16		320	17.0		1		
			剥片	3	K16		329	2.0		1		
			剥片	3	K16		383	8.5		1		
			剥片	3	K16		333	2.4		1		
-35	51	17	搔器	3	K16		415	5.9		1		

挿	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				3	K16		422	3.7		1		
			剥片	3	K16		431	9.1		1		
			剥片	3	K16		442	7.6		1		
			剥片	3	K16		446	4.2		1		
			剥片	3	K16		472	10.1		1		
			剥片	3	K16		478	4.9		1		
			剥片	3	K16		5	9.5		1		
-47	55	47	接合資料	2				227.9	25	1	335	16
-48	55	65	剥片		L10		6	4.0		1		
-48	55	60	剥片	2	M9		1	1.9		1		
-47	55	54	剥片		N7		2	2.4		1		
-47	55	51	剥片	2	N9		4	9.7		1		
-48	55	57	剥片	2	N9		7	3.8		1		
-35	51	13	搔器	2	N9		9	5.5		1		
-47	55	48	剥片	2	N9		10	3.2		1		
-48	55	64	剥片	2	N9		13	9.7		1		
-48	55	61	剥片	2	N9		14	3.9		1		
-47	55	53	剥片	2	N10		3	6.6		1		
-47	55	50	剥片	2	N10		9	23.5		1		
-47	55	52	剥片	2	O9		10	5.1		1		
			剥片	2	O9		26	5.2		1		
-48	55	58	剥片	2	O9		11	25.2		1		
-48	55	68	剥片	2	O9		15	4.4		1		
-35	51	14	搔器	2	O9		16	5.0		1		
-48	55	66	剥片	2	O9		17	1.9		1		
-48	55	67	剥片	2	O9		18	1.1		1		
-48	55	59	剥片	2	O9		21	1.9		1		
-48	55	62	剥片	2	O9		23	1.7		1		
-48	55	56	剥片	2	O9		28	10.0		1		
-37	52	36	石核		O9		1	51.6		1		
			剥片		O9		2	0.3		1		
-47	55	49	剥片	2	O10		23	31.7		1		
-48	55	63	剥片	2	O10		24	8.6		1		
-49	56	69	接合資料	2				192.9	18	1	336	17
			剥片		M8		7	10.8		1		
			剥片		N7		1	10.3		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	2	N9		1	6.0		1		
			剥片	2	N9		3	3.7		1		
			剥片	2	N9		17	2.8		1		
			剥片	2	N9		18	4.2		1		
			剥片	2	N9		19	9.2		1		
			剥片	2	O9		1	3.5		1		
			剥片	2	O9		9	5.7		1		
			剥片	2	O9		12	6.1		1		
			剥片	2	O9		20	12.9		1		
-37	52	38	石核	2	O9		24	58.4		1		
			剥片	2	O10		18	1.9		1		
			剥片	2	O10		22	2.6		1		
			剥片		O10		7	0.7		1		
			剥片		O10		8	0.5		1		
			剥片	2	P10		2	3.2		1		
			剥片	2	P10		7	50.4		1		
-	56	70	接合資料	3				105.0	12	1+4	-	23
			剥片	3	J16		9	9.2		4		
			剥片		K16		12	10.1		4		
			剥片	3	J16		56	9.2		4		
			剥片		J16		16	0.5		4		
			剥片		J16		18	0.3		4		
			剥片	3	K16		211	2.7		4		
			剥片	3	K16		270	0.8		4		
			石核	3	K16		298	55.3		4		
			剥片	3	K16		390	0.5		1		
			剥片	3	K16		460	15.1		4		
			剥片		K16		41	0.8		4		
			剥片		K16		42	0.5		4		
-67	62	79	接合資料	6				220.0	25	1	-	85
			剥片	6	K31		1	6.6		1		
			剥片	6	L28		47	9.8		1		
			剥片	6	L28		66	1.1		1		
			剥片	6	L28		69	2.1		1		
			剥片	6	L28		105	3.6		1		
			剥片	6	L28		159	0.3		1		
			剥片	6	L29		20	7.3		1		
			剥片	6	L29		53	6.3		1		
			剥片	6	L29		118	8.9		1		
-53	59	53	石核	6	L29		119	64.4		1		
			剥片	6	L29		132	1.6		1		
			剥片	6	L30		25	4.0		1		
			剥片	6	L30		60	3.7		1		
			剥片	6	L30		74	1.5		1		
			剥片	6	M28		1	2.2		1		
			剥片		L30		3	3.7		1		
-53	59	51	石核	6	L33		1	64.5		1		
			剥片	6	M27		776	1.0		1		
			剥片	6	M28		72	1.2		1		
			剥片	6	M28		81	4.1		1		
			剥片	6	M28		151	6.3		1		
			剥片	6	M28		103	7.9		1		
			剥片	6	M28		291	1.7		1		
			剥片	6	M28		292	2.3		1		
			剥片	6	M30		8	3.9		1		
-68	62	82	接合資料	4				124.6	20	1	-	48
			剥片		M22		1	4.4		1		
			剥片		M23		10	1.1		1		
			剥片	4	M23		19	2.0		1		
-53	59	54	石核	4	M23		43	3.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				4	M23		58	7.1		1		
				4	M23		59	5.7		1		
				4	M23		60	1.9		1		
				4	M23		61	14.1		1		
				4	M23		64	5.9		1		
				4	M23		170	18.6		1		
				4	M23		171	13.3		1		
-	62	219	剥片	4	M23		88	5.0		1		
			剥片	4	M23		105	12.3		1		
			剥片	4	M23		134	5.3		1		
			剥片	4	M23		141	2.6		1		
			剥片	4	M23		155	2.8		1		
			剥片	4	M23		260	7.1		1		
			剥片		M23		26	1.5		1		
			剥片	4	M23		212	5.1		1		
			剥片	4	M24		21	5.7		1		
-68	63	83	接合資料	5				243.2	21	1	-	105
-69	63	87	剥片	5	O25		1	3.6		1		
			剥片	5	P25		53	2.4		1		
-69	63	91	剥片	5	O26		29	14.3		1		
-69	63	84	剥片	5	O27		49	7.3		1		
-69	63	90	剥片	5	P25		16	3.3		1		
			剥片	5	P25		109	25.9		1		
-53	59	52	石核	5	P25		17	4.5		1		
			石核	5	P25		84	26.0		1		
			剥片	5	P25		86	5.4		1		
			剥片	5	P25		88	1.4		1		
			剥片	5	P25		106	1.2		1		
			剥片	5	P25		108	34.0		1		
			剥片	5	P25		110	15.5		1		
-69	63	94	剥片	5	P25		18	9.9		1		
-69	63	85	剥片	5	P25		68	5.4		1		
-69	63	89	剥片	5	P25		83	24.9		1		
-69	63	88	剥片	5	P25		87	2.2		1		
			剥片	5	P25		90	14.6		1		
-69	63	86	剥片	5	P25		91	2.3		1		
-55	60	65	石核	5	P25		124	34.1		1		
-69	63	92	剥片	5	P25		134	5.0		1		
-70	64	95	接合資料	6				231.4	27	1	9	76
-71	64	114	剥片	6	L28		17	2.3		1		
-70	64	102	剥片	6	L28		57	1.4		1		
			剥片	6	L28		152	2.6		1		
-70	64	105	剥片	6	L29		30	5.6		1		
-70	64	98	剥片	6	L29		45	26.8		1		
-50	57	17	二次加工ある剥片	6	L29		79	2.2		1		
-71	64	108	剥片	6	L29		94	8.9		1		
-51	58	34	石核	6	L29		104	10.1		1		
-51	58	32	石核	6	L30		24	16.2		1		
-71	64	111	剥片	6	L30		56	10.2		1		
-70	64	96	剥片	6	L30		104	3.5		1		
-70	64	97	剥片	6	L31		1	8.7		1		
-50	57	6	二次加工ある剥片	6	M27		826	2.9		1		
-71	64	110	剥片	6	M28		33	21.3		1		
-71	64	113	剥片	6	M28		105	7.9		1		
-71	64	106	剥片	6	M28		125	2.8		1		
			剥片	6	M28		128	2.3		1		
			剥片	6	M28		130	7.4		1		
			剥片	6	M28		239	5.4		1		
-70	64	101	剥片	6	M28		145	4.4		1		
-70	64	103	剥片	6	M28		194	21.2		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-71	64	109	剥片	6	M28		211	13.4		1		
-71	64	107	剥片	6	M28		237	11.8		1		
-70	64	100	剥片	6	M28		281	0.6		1		
-50	57	14	二次加工ある剥片	6	M30		2	16.6		1		
-71	64	112	剥片	6	M30		5	9.6		1		
-70	64	104	剥片		M30		3	5.3		1		
-72	65	115	接合資料	6				351.6	58	1	11	82
			剥片	6	L28		48	10.3		1		
			剥片	6	L29		136	2.2		1		
			剥片	6	L28		62	2.5		1		
-72	65	118	剥片	6	L28		75	2.6		1		
-73	65	121	剥片	6	L28		100	9.4		1		
-73	65	125	剥片	6	L28		128	16.7		1		
-73	65	123	剥片	6	L28		155	11.8		1		
			剥片	6	L30		12	5.4		1		
			剥片	6	L29		2	6.3		1		
			剥片	6	L29		4	0.9		1		
			剥片	6	L29		23	1.2		1		
			剥片	6	L29		25	5.4		1		
			剥片	6	L29		29	2.6		1		
			剥片	6	L29		106	5.6		1		
			剥片	6	L30		2	4.4		1		
			剥片	6	L30		4	1.0		1		
-73	65	126	剥片	6	L30		38	7.9		1		
			剥片	6	L30		42	3.5		1		
			剥片	6	L30		94	14.5		1		
			剥片	6	L30		97	1.1		1		
-72	65	119	剥片	6	L33		3	11.5		1		
			剥片	6	L33		4	2.2		1		
			剥片	6	M27		702	5.8		1		
			剥片	6	M27		765	2.4		1		
			剥片	6	M27		716	3.9		1		
			剥片	6	M28		185	20.7		1		
-73	65	122	剥片	6	M27		721	7.2		1		
			剥片	6	M27		739	1.6		1		
			剥片	6	M27		722	1.1		1		
			剥片	6	M27		732	4.9		1		
			剥片	6	M27		741	1.7		1		
			剥片	6	M27		744	3.2		1		
			剥片	6	M27		755	8.2		1		
			剥片	6	M27		779	2.4		1		
			剥片	6	M27		780	1.7		1		
			剥片	6	M28		104	1.7		1		
			剥片	6	M28		170	4.6		1		
-73	65	120	剥片	6	M27		785	1.8		1		
			剥片	6	M27		808	3.2		1		
-53	59	49	石核	6	M27		828	9.7		1		
			剥片	6	M28		279	3.7		1		
			剥片	6	M27		832	1.2		1		
-	65	220	剥片	6	M28		68	12.4		1		
			剥片	6	M28		78	1.2		1		
			剥片	6	M28		88	7.0		1		
			剥片	6	M28		158	1.0		1		
			剥片	6	M28		114	2.3		1		
			剥片	6	M28		116	3.5		1		
			剥片	6	M28		144	2.9		1		
			剥片	6	M28		147	2.6		1		
			剥片	6	M28		161	2.4		1		
-73	65	127	剥片	6	M28		182	2.8		1		
-73	65	128	剥片	6	M28		183	7.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	6	M28		195	2.5		1		
-53	59	55	石核	6	M28		271	26.9		1		
			剥片	6	M28		310	1.9		1		
			剥片		M30		7	3.8		1		
-54	59	60	石核	6	N31		1	51.6		1		
-74	66	129	接合資料	4				114.1	20	1	-	46
			剥片	4	M23		12	1.0		1		
-54	59	58	石核	4	M23		57	40.2		1		
			剥片	4	M23		70	4.3		1		
			剥片	4	M23		143	4.5		1		
			剥片	4	M23		252	1.5		1		
			剥片		M23		43	0.1		1		
			剥片	4	M23		149	3.1		1		
			剥片	4	N24		401	13.2		1		
			剥片	4	N24		525	7.1		1		
			剥片	4	M23		164	3.8		1		
			剥片	4	M23		165	2.2		1		
-51	57	28	錐形石器	4	M23		174	10.5		1		
			剥片	4	M23		237	2.4		1		
			剥片	4	M23		244	5.5		1		
			剥片		M23		4	0.8		1		
			剥片		M23		14	0.9		1		
			剥片		M23		36	1.9		1		
-	66	221	剥片	4	M24		8	6.1		1		
			剥片	4	N23		12	3.4		1		
			剥片	4	N23		13	1.6		1		
-74	66	130	接合資料	4				96.8	17	1	-	47
-	66	222	剥片	4	M22		4	26.8		1		
			剥片	4	M23		5	3.2		1		
			剥片	4	M23		13	3.8		1		
			剥片	4	M23		55	2.2		1		
			剥片	4	M23		90	3.6		1		
			剥片	4	M23		91	5.4		1		
			剥片	4	M23		96	1.3		1		
			剥片	4	M23		104	1.8		1		
			剥片	4	M23		137	1.4		1		
			剥片	4	M23		167	1.3		1		
			剥片	4	M23		190	4.9		1		
-54	59	57	石核	4	M23		234	14.3		1		
-51	57	29	錐形石器	4	M23		266	15.7		1		
			剥片		M23		29	1.5		1		
			剥片	4	M24		6	3.9		1		
			剥片	4	N23		7	3.3		1		
			剥片	4	N23		39	2.4		1		
-75	67	131	接合資料	6				238.0	10	1	-	88
-75	67	135	剥片	6	L28		113	20.1		1		
			剥片	6	M28		159	3.1		1		
-75	67	132	剥片	6	L30		70	8.9		1		
			剥片	6	L30		96	3.8		1		
			剥片	6	M28		256	13.2		1		
-50	57	15	二次加工ある剥片	6	L30		102	21.6		1		
-75	67	134	剥片	6	M28		73	10.1		1		
			剥片	6	M28		91	4.6		1		
-75	67	133	剥片	6	M28		149	9.3		1		
-54	59	61	石核	6	M28		208	143.3		1		
-76	68	136	接合資料	6				249.3	24	1	15	99
-76	68	143	剥片	6	L28		16	2.0		1		
-76	68	142	剥片	6	L28		67	4.0		1		
-77	69	146	剥片	6	L28		95	6.3		1		
-77	68	144	剥片	6	L28		127	7.3		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO		
-76	68	137	剥片	6	L28		129	10.7		1				
				6	L29		51	23.4		1				
				6	L29		86	24.6		1				
				6	L30		98	1.2		1				
-77	69	147	剥片	6	L29		107	4.7		1				
				6	L30		92	6.7		1				
-76	68	139	剥片	6	L29		127	6.0		1				
-76	68	138	剥片	6	L29		137	5.5		1				
-77	69	145	剥片	6	L30		23	13.7		1				
-76	68	141	剥片	6	L30		105	4.2		1				
				6	M28		261	5.2		1				
-77	69	152	剥片		L31		2	2.5		1				
-77	69	148	剥片	6	M27		775	9.1		1				
				6	M28		298	12.6		1				
-54	60	63	石核	6	M28		120	44.3		1				
-77	69	151	剥片	6	M28		152	13.8		1				
-77	69	150	剥片	6	M28		198	12.9		1				
-76	68	140	剥片	6	M28		203	2.9		1				
-51	57	25	錐形石器	6	M28		226	4.4		1				
-77	69	149	剥片	6	M28		266	21.3		1				
-78	70	153	接合資料	4				987.9	58	1	340	53		
-55	60	67	石核		L25		15	60.7		1				
				4	M23		14	3.0		1				
				4	M23		26	10.5		1				
				4	M23		27	3.2		1				
				4	M23		36	18.8		1				
				4	M23		37	1.7		1				
				4	M23		38	15.7		1				
				4	M23		39	23.8		1				
				4	M23		40	4.1		1				
				4	M23		44	17.8		1				
				4	M23		45	37.0		1				
				4	M23		46	23.8		1				
				4	M23		83	10.6		1				
				4	M23		85	1.9		1				
				4	M23		144	58.0		1				
				4	M23		183	5.8		1				
				4	M23		184	1.7		1				
				4	M23		233	53.3		1				
							M23		2	6.0		1		
							M23		6	3.1		1		
				4	M24		16	2.1		1				
				4	N23		10	8.7		1				
				4	N23		11	5.9		1				
				4	N23		16	6.2		1				
				4	N23		18	44.0		1				
				4	N23		19	24.6		1				
				4	N23		22	82.0		1				
				4	N23		23	90.6		1				
				4	N23		24	34.4		1				
				4	N23		25	77.7		1				
				4	N23		33	10.6		1				
							剥片	4	M22		13	24.3		1
				4	M23		191	6.9		1				
				4	M23		192	3.0		1				
				4	M23		221	9.3		1				
			剥片	4	M22		16	8.0		1				
				4	M23		215	11.9		1				
			剥片	4	M23		1	2.0		1				
			剥片	4	M23		6	4.1		1				

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	4	M23		42	8.2		1		
				4	M23		220	8.1		1		
			剥片	4	M23		72	4.3		1		
			剥片	4	M23		78	6.6		1		
			剥片	4	M23		84	1.6		1		
				4	M23		148	3.3		1		
			剥片	4	M23		89	3.9		1		
				4	M23		95	6.0		1		
			剥片	4	M23		92	1.0		1		
			剥片	4	M23		109	1.7		1		
					M23		1	27.9		1		
			剥片	4	M23		151	4.2		1		
				4	M23		152	9.1		1		
				4	M23		159	3.1		1		
			剥片	4	M23		254	0.9		1		
			剥片	4	M24		15	2.6		1		
			剥片	4	N23		21	14.6		1		
			剥片	4	N23		28	13.6		1		
-52	58	45	石核	4	N23		40	50.4		1		
-79	71	154	接合資料	6				971.7	17	1	13	90
			剥片	6	K31		3	4.1		1		
				6	L29		87	2.7		1		
			剥片	6	L28		102	1.4		1		
				6	L30		14	6.7		1		
			剥片	6	L28		108	6.6		1		
			剥片	6	L28		141	7.9		1		
			剥片	6	L29		34	0.9		1		
-51	58	38	石核	6	L29		91	2.2		1		
					B調		9	57.6		1		
			剥片	6	L29		123	39.0		1		
			剥片	6	L30		35	7.4		1		
			剥片	6	L30		36	3.1		1		
-55	60	68	石核	6	L30		40	803.1		1		
					M27		735	6.7		1		
-50	57	16	二次加工ある剥片		B調		7	0.3		1		
					B調		8	17.9		1		
					B調		10	4.1		1		
-81	72	156	接合資料	6				758.8	3	1	17	94
-51	57	26	錐形石器	6	L29		33	17.5		1		
-81	72	157	石核	6	M27		692	740.4		1		
					M27		746	0.9		1		
-82	73	158	接合資料	4				400.3	53	1	339	52
-83	73	163	剥片	4	L24		1	15.5		1		
			剥片	4	M22		7	1.6		1		
					M23		5	1.2		1		
-84	73	172	剥片		M22		2	3.0		1		
-84	73	171	剥片	4	M23		3	5.6		1		
					M23		7	3.6		1		
			剥片	4	M23		8	12.9		1		
-83	73	165	剥片	4	M23		9	6.2		1		
					M23		17	0.9		1		
					M23		31	18.2		1		
				4	M23		264	2.4		1		
-84	73	170	剥片	4	M23		20	3.0		1		
-83	73	161	剥片	4	M23		23	12.9		1		
				4	M23		56	7.6		1		
			剥片	4	M23		32	8.9		1		
				4	N23		8	1.3		1		
			剥片	4	M23		41	12.1		1		
				4	M24		7	3.1		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	4	M23		49	5.9		1		
				4	M23		54	2.6		1		
			剥片	4	M23		67	1.0		1		
				4	M23		172	3.7		1		
			剥片	4	M23		74	4.9		1		
				4	M23		268	13.3		1		
				4	M23		13	0.8		1		
				4	N23		41	13.6		1		
-50	57	24	二次加工ある剥片	4	M23		75	9.4		1		
			剥片	4	M23		81	1.5		1		
			剥片	4	M23		103	11.5		1		
-84	73	169	剥片	4	M23		108	6.5		1		
			剥片	4	M23		110	2.0		1		
-52	58	42	石核	4	M23		113	30.4		1		
				4	M23		224	12.7		1		
-56	60	71	石核	4	M23		121	40.3		1		
			剥片	4	M23		123	7.0		1		
			剥片	4	M23		128	1.7		1		
			剥片	4	M23		142	1.6		1		
			剥片	4	M23		154	12.2		1		
			剥片	4	M23		162	1.7		1		
-83	73	164	剥片	4	M23		178	8.8		1		
-83	73	162	剥片	4	M23		180	7.5		1		
			剥片	4	M23		194	3.4		1		
-84	73	168	剥片	4	M23		207	8.1		1		
			剥片	4	M23		208	2.8		1		
			剥片	4	M23		209	4.0		1		
			剥片	4	M23		213	9.5		1		
-84	73	167	剥片	4	M23		214	2.1		1		
			剥片	4	M23		219	22.7		1		
			剥片	4	M23		223	0.9		1		
			剥片	4	M23		225	6.0		1		
-50	57	20	二次加工ある剥片	4	M23		228	5.7		1		
			剥片	4	M24		1	9.6		1		
-	73	225	剥片	4	N23		36	4.9		1		
-84	72	173	接合資料	6				102.2	6	1	-	80
			剥片	6	L28		117	2.2		1		
				6	M27		838	3.0		1		
-56	60	73	石核	6	M28		212	88.3		1		
			剥片	6	M28		303	1.4		1		
				6	M28		305	1.9		1		
-	72	224	剥片	6	M29		4	5.4		1		
-85	74	174	接合資料	6				575.4	53	1	341	84
-87	75	196	剥片	6	L28		60	7.4		1		
				6	L28		165	19.3		1		
-85	74	175	剥片	6	L28		63	1.7		1		
				6	L30		52	6.5		1		
-86	74	187	剥片	6	L28		72	3.6		1		
				6	L29		109	1.8		1		
-86	74	181	剥片	6	L28		74	6.2		1		
-88	75	209	剥片	6	L28		77	20.0		1		
-86	74	188	剥片	6	L28		114	8.4		1		
-88	75	208	剥片	6	L28		142	1.5		1		
-86	74	182	剥片	6	L29		21	1.6		1		
-54	60	64	石核	6	L29		44	64.5		1		
-87	75	202	剥片	6	L29		57	6.2		1		
-86	74	186	剥片	6	L29		67	15.6		1		
-86	74	190	剥片	6	L29		78	2.9		1		
			剥片	6	L29		80	1.6		1		
-86	74	180	剥片	6	L29		83	1.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-50	57	21	二次加工ある剥片	6	L29		84	7.4		1		
-87	75	203	剥片	6	L29		124	21.6		1		
-86	74	185	剥片	6	L30		15	4.0		1		
			剥片	6	L30		27	9.1		1		
-87	75	204		6	M28		60	28.0		1		
-87	75	201	剥片	6	L30		28	5.0		1		
-88	75	210	剥片	6	L30		33	1.6		1		
-56	61	75	石核	6	L30		58	123.2		1		
-87	75	197	剥片	6	L30		77	14.5		1		
-88	75	212	剥片	6	M27		703	9.8		1		
				6	M28		177	2.2		1		
				6	M28		178	5.2		1		
			剥片	6	M28		84	4.8		1		
-88	75	211	剥片	6	M28		92	1.4		1		
			剥片	6	M28		113	0.7		1		
-86	74	192	剥片	6	M28		115	1.1		1		
				6	M28		193	1.6		1		
-86	74	184	剥片	6	M28		129	3.1		1		
-87	75	205	剥片	6	M28		133	2.3		1		
-87	75	194	剥片	6	M28		136	13.6		1		
-86	74	191	剥片	6	M28		142	2.5		1		
-86	74	189	剥片	6	M28		202	3.1		1		
				6	M28		253	1.6		1		
-56	60	70	石核	6	M28		213	35.7		1		
-86	74	179	剥片	6	M28		218	2.4		1		
-85	74	176	剥片	6	M28		232	18.0		1		
-87	75	199	剥片	6	M28		250	2.6		1		
-87	75	195	剥片	6	M28		262	17.7		1		
				6	M28		277	2.5		1		
-87	75	200	剥片	6	M28		273	6.2		1		
-88	75	213	剥片	6	M28		297	2.9		1		
-86	74	183	剥片	6	M28		300	1.4		1		
-55	60	66	石核	6	M30		3	30.1		1		
-87	75	206	剥片	6	M30		10	4.0		1		
-86	74	178	剥片		M30		6	2.6		1		
-87	75	198	剥片		B調		6	12.0		1		
-90	76	214	接合資料	6				836.1	82	2	16	98
-51	58	39	石核	6	L28		18	2.4		2		
				6	L28		65	20.4		2		
				6	L28		115	5.0		2		
				6	L28		116	5.3		2		
				6	L28		166	2.9		2		
				6	M28		225	10.2		2		
			剥片	6	L28		19	2.1		2		
			剥片	6	L28		51	1.5		2		
			剥片	6	L28		61	2.6		2		
				6	L28		149	7.0		2		
				6	L29		82	9.1		2		
				6	L29		114	28.6		2		
				6	M28		150	5.2		2		
					M28		6	1.0		2		
					B調		14	3.0		2		
			剥片	6	L28		93	1.0		2		
			剥片	6	L28		107	1.7		2		
			剥片	6	L28		109	2.1		2		
-53	59	50	石核	6	L28		121	6.3		2		
				6	L28		122	10.3		2		
				6	M28		106	8.2		2		
					B調		15	16.3		2		
			剥片	6	L28		151	11.9		2		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				6	L29		10	1.6		2		
				6	M27		840	1.5		2		
				6	M28		86	5.5		2		
				6	M28		200	3.5		2		
				6	M28		205	12.3		2		
			剥片	6	L28		156	5.3		2		
			剥片	6	L28		157	7.5		2		
				6	L28		160	8.8		2		
			剥片	6	L29		31	8.8		2		
-51	58	37	石核	6	L29		35	19.4		2		
-54	59	59	石核	6	L29		37	28.9		2		
			剥片	6	L29		40	2.9		2		
			剥片	6	L29		88	8.4		2		
				6	L30		21	2.6		2		
				6	M28		311	1.4		2		
			剥片	6	L29		89	3.0		2		
				6	M27		759	63.4		2		
			剥片	6	L29		102	2.8		2		
				6	M28		127	1.2		2		
			剥片	6	L29		125	6.4		2		
				6	M28		163	5.6		2		
			剥片	6	L30		5	31.3		2		
				6	L30		9	2.0		2		
					B調		13	5.8		2		
			剥片	6	L30		39	3.7		2		
			剥片	6	L30		44	2.1		2		
			剥片	6	L30		66	1.8		2		
				6	M27		762	0.6		2		
			剥片	6	L30		71	12.5		2		
-52	58	43	石核	6	L30		75	96.5		2		
			剥片	6	L30		88	2.9		2		
				6	M27		700	4.6		2		
			剥片	6	L30		101	0.9		2		
			剥片	6	L30		114	12.2		2		
				6	M28		98	11.3		2		
				6	M28		99	2.8		2		
			剥片	6	M27		707	3.1		2		
			剥片	6	M27		711	1.4		2		
			剥片	6	M27		724	5.0		2		
			剥片	6	M27		736	0.7		2		
			剥片	6	M27		771	1.0		2		
				6	M28		187	3.1		2		
				6	M28		285	11.9		2		
			剥片	6	M27		786	6.1		2		
-50	57	7	二次加工ある剥片	6	M27		796	7.6		2		
			剥片	6	M27		811	8.8		2		
				6	M28		294	6.5		2		
			剥片	6	M28		89	1.3		2		
			剥片	6	M28		93	5.0		2		
-52	58	40	石核	6	M28		110	4.3		2		
				6	M28		257	9.9		2		
			剥片	6	M28		153	0.7		2		
				6	M28		179	1.3		2		
			剥片	6	M28		172	2.7		2		
			剥片	6	M28		186	20.5		2		
			剥片	6	M28		296	0.9		2		
-51	58	36	石核	6	M29		7	36.2		2		
-58	61	78	石核		M30		1	127.2		2		
			剥片	6	M32		1	15.0		2		
-	69	223	接合資料	6				195.3	13	1	-	75

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	6	L28		163	5.5		1		
			剥片	6	L29		48	0.7		1		
			剥片	6	L29		139	1.7		1		
-52	58	44	石核	6	L30		22	120.6		1		
			剥片	6	L30		62	10.1		1		
			剥片	6	L30		76	11.0		1		
-51	58	33	石核	6	M27		693	16.0		1		
			剥片	6	M27		747	7.1		1		
			剥片	6	M27		793	5.9		1		
-50	57	5	二次加工ある剥片	6	M27		812	2.5		1		
			剥片	6	M28		244	3.4		1		
			剥片	6	M29		2	7.5		1		
			剥片	6	M29		10	3.3		1		
-	78	226	接合資料	6				182.5	19	1	8	78
			剥片	6	L28		15	4.8		1		
			剥片	6	L28		71	1.3		1		
			剥片	6	L28		161	6.8		1		
-50	57	11	二次加工ある剥片	6	L29		19	8.5		1		
				6	L29		85	1.4		1		
				6	M28		241	2.4		1		
			剥片	6	L29		97	5.2		1		
-50	57	12	二次加工ある剥片	6	L29		113	9.4		1		
			剥片	6	L30		3	1.6		1		
			剥片	6	L30		10	1.6		1		
			剥片	6	L30		68	1.9		1		
			剥片	6	L31		4	5.3		1		
			剥片	6	M27		795	2.5		1		
			剥片	6	M27		844	4.6		1		
			剥片	6	M27		845	1.0		1		
			剥片	6	M28		53	1.5		1		
			剥片	6	M28		209	6.0		1		
-50	57	9	二次加工ある剥片	6	M28		270	9.5		1		
-52	58	46	石核	6	M30		9	107.2		1		
-	78	227	接合資料	4-6				258.4	56	1	-	49
			石核	4	L24		134	4.2		1		
					M22		10	0.9		1		
				4	M23		34	9.8		1		
				4	M23		98	5.6		1		
				4	M23		129	2.2		1		
				4	M23		157	12.6		1		
				4	M23		158	13.4		1		
				4	M23		161	5.2		1		
				4	M23		211	5.9		1		
				4	M23		245	5.9		1		
				4	M23		262	1.3		1		
				4	M23		270	4.9		1		
				4	M24		10	2.7		1		
-50	57	13	二次加工ある剥片	6	L29		72	16.7		1		
			剥片	4	M22		5	3.2		1		
			剥片	4	M23		2	8.8		1		
			剥片	4	M23		28	1.2		1		
			剥片	4	M23		30	1.5		1		
				4	M23		73	7.3		1		
			剥片	4	M23		51	1.1		1		
				4	M23		114	0.7		1		
			剥片	4	M23		68	6.2		1		
				4	M23		202	1.9		1		
			剥片	4	M23		93	1.4		1		
			剥片	4	M23		102	5.8		1		
			剥片	4	M23		107	4.0		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	4	M23		118	19.6		1		
				4	M23		198	10.7		1		
			剥片	4	M23		127	1.1		1		
			剥片	4	M23		138	0.9		1		
			剥片	4	M23		147	1.0		1		
			剥片	4	M23		150	4.0		1		
			剥片	4	M23		173	3.2		1		
			剥片	4	M23		186	1.6		1		
			剥片	4	M23		189	17.8		1		
			剥片	4	M23		195	5.2		1		
			剥片	4	M23		196	3.7		1		
			剥片	4	M23		210	3.0		1		
			剥片	4	M23		217	2.5		1		
			剥片	4	M23		227	0.8		1		
			剥片	4	M23		235	8.6		1		
			剥片	4	M23		236	2.7		1		
			剥片	4	M23		239	5.6		1		
					M23		32	0.7		1		
					M23		37	3.0		1		
					M23		46	1.7		1		
				4	M24		9	1.8		1		
				4	M24		12	2.5		1		
				4	M24		17	3.3		1		
			剥片	4	M23		241	2.0		1		
			剥片	4	M23		259	1.0		1		
			剥片	4	M23		267	2.9		1		
			剥片	4	M23		272	7.0		1		
			剥片		M23		3	2.7		1		
			剥片	4	M24		22	2.0		1		
			剥片	4	N23		31	1.4		1		
-	79	228	接合資料	6				1,423.8	8	1	14	91
			剥片	6	K30		1	4.5		1		
			剥片	6	L28		70	14.5		1		
			剥片	6	L29		117	24.5		1		
			剥片	6	L30		8	3.6		1		
			剥片	6	L30		110	6.1		1		
			剥片	6	M27		705	5.2		1		
-53	59	56	石核	6	M28		121	1,356.5		1		
			剥片	6	M28		215	8.9		1		
-	80	229	接合資料	6				215.6	10	1	-	79
			剥片		L27		2	2.1		1		
			剥片	6	L28		97	1.5		1		
			剥片	6	L30		37	8.5		1		
			剥片		L32		1	12.4		1		
			剥片	6	M27		737	6.7		1		
				6	M27		761	2.0		1		
			剥片	6	M27		791	1.5		1		
-54	60	62	石核	6	M27		827	168.0		1		
			剥片	6	M28		96	7.7		1		
			剥片	6	M28		317	5.2		1		
-	80	230	接合資料	4				109.4	26	1	-	54
			剥片	4	M22		6	1.1		1		
			剥片	4	M22		9	1.5		1		
-50	57	19	二次加工ある剥片	4	M22		11	4.1		1		
			剥片		M22		8	2.6		1		
			剥片		M22		9	2.3		1		
				4	M23		265	1.2		1		
-56	60	72	石核	4	M23		33	17.7		1		
			剥片	4	M23		65	5.5		1		
			剥片	4	M23		122	3.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	4	M23		126	5.2		1		
			剥片	4	M23		136	2.9		1		
			剥片	4	M23		153	5.7		1		
			剥片	4	M23		199	2.2		1		
			剥片	4	M23		229	4.7		1		
					M23		18	0.8		1		
			剥片	4	M23		253	1.5		1		
			剥片	4	M23		263	10.5		1		
			剥片	4	M23		269	5.2		1		
			剥片		M23		19	0.4		1		
			剥片		M23		21	0.5		1		
			剥片		M23		40	0.7		1		
			剥片		M23		44	1.1		1		
			剥片	4	M24		11	4.0		1		
			剥片	4	M25		36	12.9		1		
			剥片	4	N23		30	3.3		1		
			剥片	4	N23		37	8.0		1		
-	80	231	接合資料	5				51.9	7	1	-	107
			剥片	5	P24		47	6.7		1		
			剥片	5	P25		5	7.3		1		
			剥片	5	P25		70	10.5		1		
			剥片	5	P25		104	5.9		1		
			剥片	5	P25		113	16.3		1		
			剥片	5	P25		122	2.3		1		
			剥片		P26		8	2.9		1		
-	81	232	接合資料	6				782.9	8	1	343	93
			剥片	6	L29		22	31.1		1		
			剥片	6	L29		81	32.7		1		
				6	L30		55	13.2		1		
			剥片	6	L30		26	4.1		1		
-57	61	76	石核	6	M28		77	636.4		1		
			剥片	6	M28		190	18.0		1		
			剥片	6	M28		216	44.9		1		
				6	M28		233	2.5		1		
-	82	233	接合資料	6				871.0	3	1	342	89
-57	61	77	石核	6	L28		58	798.5		1		
-51	58	35	石核	6	L30		112	36.8		1		
			剥片	6	M29		14	35.7		1		
-124	96	438	接合資料	8-9-10				58.4	25	1	28	1026
-97	83	130	細石刃		O19		1	0.5		1		
-102	87	252	石刃		O20		4	1.5		1		
-97	83	129	細石刃	10	P19		1	1.8		1		
-97	83	127	細石刃	10	P20		1	0.6		1		
-97	83	96	細石刃	10	P20		3	0.3		1		
-98	84	178	石刃	10	P20		51	3.7		1		
-98	84	179	石刃	10	P20		89	3.8		1		
-102	87	247	石刃	10	P20		116	0.9		1		
-97	84	161	石刃	10	P20		150	1.1		1		
				10	P21		15	3.6		1		
-96	83	16	細石刃		P20		16	0.1		1		
-97	84	154	石刃	10	P21		75	0.7		1		
				10	P21		132	1.3		1		
-98	84	171	石刃	10	P21		114	2.0		1		
				10	Q20		12	1.1		1		
-111	93	404	細石刃核	10	P21		138	14.1		1		
-102	87	259	石刃	8	Q19		1	5.9		1		
-104	88	305	石刃	10	Q20		4	2.8		1		
-103	88	291	縦長剥片	10	Q20		9	1.4		1		
-103	88	283	石刃	10	Q20		17	0.8		1		
			石刃		Q20		22	1.3		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-98	84	165	石刃	9	S19		171	1.7		1		
-105	90	338	石刃	9	S19		270	5.8		1		
-103	88	293	石刃		S19		22	1.4		1		
-96	83	85	細石刃		S19		6	0.2		1		
-125	97	439	接合資料	7-9-10				77.4	20	1	40	1061
			剥片	10	O21		26	0.7		1		
-98	84	167	石刃		O21		12	2.6		1		
					P20		1	1.7		1		
-105	89	333	石刃	10	P20		13	2.2		1		
					Q20		6	0.5		1		
-105	89	321	縦長剥片	10	P20		42	0.9		1		
					P21		31	1.4		1		
					P21		96	2.3		1		
			剥片	10	P21		79	0.5		1		
-104	89	317	縦長剥片	10	P21		116	1.5		1		
					P21		75	2.2		1		
-111	93	406	細石刃核		P21		1	38.7		1		
-102	87	248	石刃		P21		25	2.0		1		
			剥片	7	Q16		12	1.5		1		
-98	84	174	石刃	10	Q20		50	2.5		1		
-96	83	42	細石刃		R19		3	0.4		1		
-99	85	191	石刃	9	S19		266	6.5		1		
			剥片	9	S19		322	1.1		1		
					S19		361	4.0		1		
-102	87	253	石刃	9	S19		373	4.2		1		
-127	97	440	接合資料	8-9				119.4	19	1	43	1086
-105	89	322	石刃	8	P17		17	11.1		1		
			縦長剥片		R17		14	10.9		1		
			剥片	8	R18		11	5.2		1		
			剥片	9	R18		25	11.2		1		
			剥片		R18		60	10.4		1		
			縦長剥片	9	R19		30	9.8		1		
			縦長剥片	9	R19		32	6.1		1		
					R19		25	1.4		1		
-98	84	177	石刃	8	S17		39	2.7		1		
					S19		76	1.7		1		
			縦長剥片	9	S18		1	3.3		1		
-111	93	411	細石刃核	9	S18		37	28.7		1		
-103	88	286	石刃	9	S19		3	1.6		1		
					S19		345	1.3		1		
			剥片	9	S19		31	6.7		1		
			剥片	9	S19		162	3.8		1		
			剥片	9	S19		368	2.4		1		
			剥片		S19		90	0.8		1		
			剥片		S19		91	0.3		1		
-128	98	441	接合資料	8-9				86.0	12	1	-	1089
-105	89	334	石刃	8	Q16		189	2.6		1		
					R18		4	16.2		1		
-110	92	393	二次加工ある剥片	8	Q17		81	7.2		1		
-99	85	194	石刃	8	Q17		176	3.9		1		
-112	94	422	石刃核	8	Q17		280	42.1		1		
			剥片		R16		2	6.7		1		
			石刃	9	R19		67	0.6		1		
-98	84	186	石刃		R19		15	3.2		1		
-97	84	140	細石刃	9	S19		229	0.5		1		
-97	84	146	細石刃	9	S19		289	0.5		1		
-97	84	148	細石刃	9	S19		314	0.5		1		
-	98	538	石刃	9	S20		1	2.0		1		
-129	98	442	接合資料	8-9-10				83.2	13	1	347	1093
-99	85	207	石刃	10	P21		29	5.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-99	85	196	石刃	8	Q17		57	3.1		1		
					Q17		224	4.7		1		
					Q17		36	1.2		1		
-102	87	255	石刃	8	Q17		192	5.3		1		
-102	87	254	石刃	8	R17		112	3.9		1		
-99	85	202	石刃		R19		14	3.4		1		
			石刃		R19		18	2.0		1		
-112	94	418	細石刃核	9	S19		11	45.9		1		
			縦長剥片	9	S19		200	0.7		1		
			石刃	9	S19		307	1.2		1		
-98	84	181	石刃	9	S19		352	3.8		1		
					S19		375	2.5		1		
-130	99	443	接合資料	8				132.0	27	1	31	1032
-100	86	218	縦長剥片		P19		1	1.9		1		
					Q18		70	9.2		1		
-97	83	118	細石刃	8	Q17		122	0.6		1		
-109	92	380	播器	8	Q17		162	8.1		1		
-104	89	319	縦長剥片	8	Q17		172	10.8		1		
					Q18		81	2.0		1		
					Q18		37	0.4		1		
			剥片	8	Q17		207	6.1		1		
-111	93	410	細石刃核	8	Q17		282	20.6		1		
-102	87	258	縦長剥片		Q17		14	5.1		1		
			剥片	8	Q18		30	3.3		1		
			縦長剥片	8	Q18		128	2.0		1		
-105	90	336	石刃	8	Q18		163	9.6		1		
			剥片	8	Q18		190	0.7		1		
-102	87	245	石刃	8	Q18		194	1.6		1		
-103	88	277	石刃		Q18		9	0.8		1		
-106	90	343	石刃		Q18		57	19.9		1		
			剥片		Q18		72	2.8		1		
			剥片	8	R17		169	1.6		1		
			剥片	8	R17		184	2.5		1		
					R17		227	0.6		1		
					R17		229	2.6		1		
			縦長剥片		R17		44	0.6		1		
-103	88	290	石刃	8	R18		12	5.3		1		
-102	87	250	石刃	8	S17		11	2.3		1		
-99	85	206	縦長剥片	8	S17		40	10.8		1		
-97	83	98	細石刃		S19		68	0.2		1		
-132	100	445	接合資料	8-9-外				274.1	67	1	22	1007
-97	84	157	石刃	8	P17		18	2.2		1		
			剥片	外	P18		20	4.1		1		
-100	85	212	石刃	8	Q17		304	9.5		1		
					R18		25	7.2		1		
			剥片	8	Q17		311	4.9		1		
			剥片		Q17		57	1.1		1		
			剥片		Q17		106	0.5		1		
-97	84	143	細石刃		Q17		134	0.2		1		
					Q17		26	0.3		1		
					Q17		101	0.1		1		
			細石刃	8	Q18		55	0.9		1		
					R17		173	0.9		1		
			剥片	8	Q18		131	5.6		1		
			剥片	8	Q18		179	2.5		1		
-98	84	163	石刃		Q18		17	5.4		1		
					Q18		126	0.4		1		
					R18		60	2.5		1		
-99	85	193	石刃	8	Q18		58	6.7		1		
					R17		174	3.3		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片		Q18		119	0.1		1		
			剥片		Q19		11	5.1		1		
			剥片	8	R17		7	1.4		1		
			縦長剥片	8	R17		8	9.9		1		
			石刃	8	R17		12	28.4		1		
			剥片	8	R17		14	0.4		1		
			剥片	8	R17		24	0.7		1		
			剥片	8	R17		36	10.5		1		
			剥片	8	R17		37	2.9		1		
			剥片	8	R17		46	1.2		1		
			縦長剥片	8	R17		55	6.4		1		
			剥片	8	R17		59	5.1		1		
			石刃	8	R17		61	4.0		1		
			剥片	8	R17		84	1.7		1		
			剥片		R18		80	0.1		1		
			剥片	8	R17		90	3.0		1		
			剥片	8	R17		94	11.2		1		
-109	92	383	播器	8	R17		97	7.0		1		
-97	84	145	細石刃	8	R17		103	0.2		1		
			剥片	8	R17		130	0.4		1		
			剥片	8	R17		140	0.9		1		
			剥片	8	R17		143	0.5		1		
			剥片	8	R17		144	1.4		1		
			剥片	8	R17		146	1.1		1		
			剥片	8	R17		147	4.4		1		
			剥片	8	R17		176	2.9		1		
			剥片	8	R17		279	2.7		1		
			剥片		R18		39	5.6		1		
-112	94	415	細石刃核		R17		1	73.6		1		
			石刃		R17		10	1.0		1		
			剥片		R17		16	0.3		1		
			剥片		R17		46	0.2		1		
			剥片		R17		47	0.5		1		
			剥片		R17		48	0.5		1		
			剥片		R17		49	0.3		1		
			剥片		R17		51	0.6		1		
			剥片		R17		53	0.3		1		
			剥片		R17		54	0.4		1		
			剥片	8	S17		36	4.5		1		
			剥片		R17		109	0.2		1		
			剥片	8	R18		51	1.2		1		
			剥片	8	R18		56	0.6		1		
			石刃		R18		36	2.7		1		
			石刃		R18		41	0.2		1		
			細石刃	9	R19		53	0.1		1		
			剥片	8	S17		7	6.7		1		
			石刃	9	S18		68	2.5		1		
			剥片		排土		19	0.2		1		
-134	101	446	接合資料	8-9				106.0	11	1	-	1088
			縦長剥片	8	Q17		241	0.4		1		
			剥片	8	Q18		78	0.3		1		
			剥片	8	Q18		34	2.2		1		
-102	87	256	石刃	8	Q18		150	2.2		1		
-99	85	205	石刃	8	R17		9	2.3		1		
			剥片	8	R17		45	5.4		1		
			剥片	8	R17		58	0.9		1		
-	101	539	剥片	8	R17		93	7.5		1		
			剥片		R17		106	1.1		1		
-103	88	278	石刃	9	S19		17	0.9		1		
-112	94	416	細石刃核	9	S19		390	82.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-135	101	447	接合資料	8				37.3	4	1	26	1016
-111	93	412	細石刃核	8	Q18		3	23.4		1		
			縦長剥片	8	Q18		6	3.2		1		
			剥片	8	Q18		67	8.1		1		
			剥片	8	Q18		99	2.6		1		
-135	102	448	接合資料	7-8				267.7	6	1	26	1015
-	102	540	播器	7	Q16		75	105.0		1		
-97	84	152	石刃	8	Q16		77	2.5		1		
			剥片		Q16		3	13.5		1		
			剥片		S16		1	8.8		1		
-	102	541	縦長剥片	7	R16		213	28.8		1		
-114	95	432	石核		R17		2	109.1		1		
-136	102	450	接合資料	9				81.7	2	1-3	29	1028
-112	94	417	細石刃核	9	R19		70	62.0		3		
-	102	542	剥片	9	S19		153	19.7		1		
-137	103	451	接合資料	8-9				204.5	22	1	27	1019
			剥片	8	Q17		13	1.6		1		
-96	83	61	細石刃	8	Q17		46	0.3		1		
-97	84	158	石刃	8	Q17		120	0.6		1		
-111	93	405	細石刃核	8	Q17		281	26.0		1		
-96	83	86	細石刃	8	Q18		101	0.1		1		
			石刃		R19		19	1.9		1		
			剥片		R19		26	27.2		1		
			剥片	9	S18		43	1.4		1		
-96	83	72	細石刃	9	S18		52	0.3		1		
			剥片	9	S18		69	22.6		1		
			剥片	9	S19		69	3.4		1		
			剥片	9	S19		139	12.8		1		
			縦長剥片	9	S19		178	5.4		1		
			剥片	9	S19		196	4.1		1		
			剥片	9	S19		248	7.7		1		
			剥片	9	S19		207	12.2		1		
			剥片	9	S19		220	47.5		1		
			剥片	9	S19		209	20.2		1		
			剥片	9	S19		283	1.8		1		
			剥片	9	S19		371	3.0		1		
-97	84	153	石刃	9	S19		214	2.6		1		
			剥片	9	S19		261	1.8		1		
-138	104	453	接合資料	8				464.8	22	1	27	1020
			剥片	8	P18		21	9.3		1		
			剥片		P18		11	5.0		1		
			剥片	8	Q17		318	8.1		1		
			剥片	8	Q17		323	27.8		1		
			剥片	8	S19		83	25.8		1		
			剥片		Q17		87	11.7		1		
			剥片	8	R17		113	19.1		1		
			剥片		Q17		125	4.6		1		
			剥片	8	S17		38	53.1		1		
			剥片		Q17		129	2.1		1		
			剥片		Q17		131	1.2		1		
-114	95	435	石刃核	8	Q18		2	99.4		1		
			石刃	8	Q18		8	2.3		1		
			剥片	8	Q18		22	3.2		1		
			剥片	8	Q18		26	1.7		1		
			剥片	8	Q18		32	5.9		1		
			剥片	8	Q18		72	1.0		1		
-102	87	263	石刃	8	Q18		127	8.4		1		
			剥片	8	Q18		135	2.5		1		
-	104	543	縦長剥片	8	R17		247	16.0		1		
-109	92	385	播器		R17		6	150.2		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-102	87	266	石刃	8	R18		3	6.4		1		
-139	105	455	接合資料	9				86.9	8	1	27	1018
			剥片		R19		7	19.0		1		
			剥片		R19		24	13.1		1		
			縦長剥片	9	S18		25	0.1		1		
-98	84	164	石刃	9	S18		44	2.4		1		
-114	95	431	石刃核	9	S19		42	32.4		1		
-	105	544	剥片	9	S19		102	17.7		1		
-104	88	302	石刃	9	S19		236	1.6		1		
-103	88	285	石刃		S19		27	0.6		1		
-141	106	456	接合資料	7・8・9				390.5	22	1	30	1030
			縦長剥片	8	P18		4	5.6		1		
			剥片	8	P18		8	1.5		1		
			剥片	8	Q17		189	26.9		1		
			剥片	8	Q17		194	3.3		1		
			縦長剥片	8	Q18		40	1.7		1		
-98	84	183	石刃	8	Q18		52	5.8		1		
			剥片	8	Q18		98	8.3		1		
			剥片	8	Q18		105	31.9		1		
-102	88	269	石刃	8	Q18		139	9.3		1		
-99	85	203	石刃	8	Q18		155	10.5		1		
			剥片	8	Q18		200	19.4		1		
			縦長剥片		Q18		32	6.6		1		
					Q19		3	16.0		1		
			剥片	7	R16		32	2.9		1		
			剥片	8	R17		202	8.2		1		
-112	94	419	細石刃核	8	R17		245	31.7		1		
			剥片		R18		58	45.6		1		
			剥片	9	R19		25	30.4		1		
			剥片	8	S17		2	1.1		1		
			縦長剥片	8	S17		10	7.9		1		
-113	95	428	石刃核	9	S19		41	78.6		1		
			石刃	9	S19		175	7.3		1		
-142	107	460	接合資料	8				158.4	10	1	30	1031
			剥片	8	Q18		11	3.4		1		
			剥片	8	Q18		108	9.3		1		
-114	95	436	石核	8	Q18		111	37.3		1		
			縦長剥片	8	Q18		148	11.2		1		
			剥片	8	Q18		192	19.8		1		
-107	91	361	彫器		Q18		30	8.2		1		
			石刃		Q18		31	6.9		1		
			縦長剥片		Q18		111	3.4		1		
-105	89	320	石刃	8	R17		286	6.3		1		
-113	94	424	石刃核	8	R18		52	52.6		1		
-144	108	463	接合資料	10				181.8	37	1	39	1055
			石刃		O21		11	2.3		1		
			剥片		O21		38	1.6		1		
-144	108	467	剥片	10	P20		7	2.2		1		
			剥片	10	P20		15	1.8		1		
			剥片	10	P20		181	0.5		1		
			剥片	10	P20		52	0.9		1		
-144	108	464	剥片	10	P20		80	2.5		1		
			剥片	10	P20		137	1.6		1		
-99	85	190	石刃	10	P20		82	7.9		1		
-144	108	469	剥片	10	P20		120	3.1		1		
			石刃	10	P20		131	2.2		1		
			剥片	10	P20		147	8.2		1		
-144	108	470	剥片	10	P20		164	1.8		1		
			縦長剥片	10	P20		172	15.3		1		
					P21		42	28.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-96	83	12	細石刃	10	P20		175	1.0		1		
-97	83	124	細石刃	10	P20		209	0.9		1		
-104	89	310	石刃	10	P20		215	8.2		1		
-105	89	324	石刃	10	P21		12	12.4		1		
				10	Q20		56	4.4		1		
-105	89	323	石刃	10	P21		13	3.7		1		
-104	88	297	石刃	10	P21		14	6.9		1		
-97	84	160	石刃	10	P21		67	3.3		1		
			剥片	10	P21		73	1.5		1		
			石刃	10	P21		106	2.2		1		
			石刃	10	P21		117	10.6		1		
			石刃		P21		26	2.5		1		
-145	108	472	剥片		P21		71	1.9		1		
-145	108	473	剥片		P21		114	5.5		1		
-144	108	468	剥片		P21		115	4.0		1		
-144	108	466	剥片		P22		1	3.7		1		
			縦長剥片	10	Q19		3	15.7		1		
-97	83	90	細石刃	10	Q20		57	0.2		1		
-98	84	169	石刃	10	Q20		71	1.2		1		
					Q20		21	1.7		1		
-98	84	168	石刃	10	Q21		6	5.4		1		
-144	108	465	剥片		Q21		39	4.5		1		
-146	109	474	接合資料	8・10				71.1	23	1	38	1051
-103	88	287	石刃	10	O21		25	1.3		1		
					P21		21	1.4		1		
			剥片	10	P20		39	2.3		1		
				10	P20		78	12.7		1		
			縦長剥片	10	P20		40	5.0		1		
				10	P20		69	6.2		1		
				10	P21		113	2.7		1		
					Q21		20	6.2		1		
			細石刃	10	P20		47	0.7		1		
			縦長剥片	10	P20		81	0.3		1		
			縦長剥片	10	P20		97	3.2		1		
-99	85	199	石刃	10	P20		180	0.8		1		
					P21		27	3.0		1		
				8	Q17		18	4.8		1		
			石刃	10	P20		189	1.2		1		
			剥片		P20		48	0.6		1		
			剥片		P20		60	0.2		1		
			剥片	10	P21		16	6.0		1		
			剥片	10	P21		86	1.3		1		
-96	83	38	細石刃	10	P21		131	0.2		1		
-105	90	335	石刃		P21		33	9.3		1		
			剥片	10	Q20		62	1.1		1		
-96	83	10	細石刃		R20		3	0.6		1		
-147	109	475	接合資料	9・10				56.1	18	1	37	1048
-96	83	70	細石刃	10	P20		65	0.2		1		
				10	Q20		29	0.4		1		
			石刃	10	P20		70	1.5		1		
-98	84	162	石刃	10	P21		30	5.0		1		
-96	83	49	細石刃	10	Q20		34	0.6		1		
-104	89	318	石刃	10	Q20		67	0.6		1		
				10	Q20		68	3.7		1		
-96	83	62	細石刃		Q20		4	0.6		1		
-96	83	11	細石刃		Q20		5	0.7		1		
-98	84	170	石刃		Q20		18	6.3		1		
-96	83	75	細石刃		Q20		9	0.5		1		
-96	83	8	細石刃		Q21		13	0.4		1		
-97	84	159	石刃	9	R19		89	3.5		1		

奥白滝1遺跡

押図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-104	89	306	石刃		R19		12	4.5		1		
					9	S19	72	3.6		1		
-104	89	316	石刃		9	S19	40	22.5		1		
-96	83	76	細石刃		9	S19	304	0.8		1		
						S19	33	0.7		1		
-148	110	476	接合資料		8-9-10			1,008.1	78	4	19	1003
-101	86	232	石刃		10	P21	61	15.8		4		
-103	88	275	石刃			P33	5	45.8		4		
			縦長剥片		8	Q17	33	1.2		4		
-101	87	236	石刃		8	Q17	55	14.8		4		
-151	112	494	剥片		8	Q17	56	7.0		4		
-152	112	496	剥片		8	Q17	69	0.8		4		
-152	112	498	剥片		8	Q17	155	5.5		4		
						Q17	100	0.4		4		
-152	113	504	剥片		8	Q17	325	2.3		4		
						R17	259	4.8		4		
-152	112	502	剥片		8	Q17	327	4.8		4		
-102	87	241	縦長剥片		Q17		23	30.5		4		
						Q18	28	22.6		4		
-114	95	430	石核		8	Q18	35	132.3		4		
-152	112	503	縦長剥片		8	Q18	58	13.5		4		
						Q18	59	32.9		4		
						R17	92	0.4		4		
-110	92	399	二次加工ある剥片		8	Q18	83	20.5		4		
-103	88	276	石刃		8	Q18	107	39.7		4		
-149	111	477	縦長剥片		8	Q18	114	1.3		4		
						Q18	197	4.4		4		
-150	111	484	剥片		8	Q18	166	66.5		4		
-152	112	495	剥片		Q18		120	5.7		4		
						Q18	121	4.1		4		
						Q18	123	0.2		4		
-150	111	489	剥片		8	R17	19	2.8		4		
-150	111	488	縦長剥片		8	R17	64	4.8		4		
-149	111	482	剥片		8	R17	100	2.3		4		
						R17	201	7.5		4		
						R17	250	2.9		4		
						R17	251	21.9		4		
						R17	72	0.3		4		
-152	112	497	剥片		8	R17	107	38.8		4		
-150	111	483	剥片		8	R17	155	7.9		4		
-151	112	492	剥片		8	R17	163	1.2		4		
						R17	166	1.9		4		
						R17	69	0.6		4		
						R17	71	0.4		4		
-149	111	480	剥片		8	R17	164	4.9		4		
						R17	264	0.5		4		
-99	85	189	石刃		8	R17	167	7.5		4		
						R17	219	2.8		4		
			剥片		8	R17	181	0.8		4		
-149	111	481	剥片		8	R17	182	4.2		4		
						R17	222	0.4		4		
-152	112	501	剥片		8	R17	186	1.3		4		
						R17	242	2.0		4		
						R17	287	0.8		4		
-152	112	500	剥片		8	R17	189	1.0		4		
			剥片		8	R17	190	1.0		4		
-150	111	487	剥片		8	R17	193	5.2		4		
-151	111	491	剥片		8	R17	204	3.4		4		
-149	111	479	石刃		8	R17	220	5.9		4		
-107	90	351	縦長剥片		8	R17	221	1.4		4		

押図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-149	111	478	剥片		R17		232	0.6		4		
					8	R17	278	45.5		4		
-100	85	209	石刃		8	R17	238	8.7		4		
-152	112	499	剥片		8	R17	248	1.5		4		
-151	111	490	剥片		8	R17	268	2.3		4		
-150	111	486	剥片		8	R17	272	2.3		4		
-151	112	493	剥片		8	R17	283	22.3		4		
			剥片			R17	67	1.2		4		
			剥片			R17	68	0.8		4		
			剥片			R17	70	0.4		4		
			剥片			R17	75	0.5		4		
			剥片			R17	102	0.2		4		
-103	88	284	縦長剥片		9	R19	17	25.1		4		
-102	87	240	石刃		9	S19	29	19.8		4		
-153	113	513	石刃		服部台2	J8	4	5.2		4		
-153	113	508	縦長剥片		服部台2	J9	7	11.0		4		
-153	113	511	石刃		服部台2	K8	7	17.2		4		
-153	113	509	石刃		服部台2	K8	12	30.3		4		
-153	113	507	縦長剥片		服部台2	K8	13	9.4		4		
-153	113	505	石刃		服部台2	K9	5	16.6		4		
						服部台2	K9	12	5.6		4	
-153	113	506	剥片		服部台2	K9	7	55.3		4		
-153	113	512	石刃		服部台2	K9	9	13.6		4		
-153	113	510	縦長剥片		服部台2	L8	431	98.5		4		
-155	114	514	接合資料		7-8-9-外			980.0	56	1	23	1008
			剥片		7	Q16	6	7.6		1		
					7	Q16	160	3.7		1		
					7	R16	109	4.6		1		
			剥片		7	Q16	8	2.6		1		
					7	Q16	19	27.0		1		
			剥片		7	Q16	28	4.7		1		
			剥片		7	Q16	47	4.9		1		
			剥片		7	Q16	67	11.0		1		
					7	Q16	87	2.5		1		
			剥片		7	Q16	68	17.4		1		
			剥片		7	Q16	120	10.2		1		
-109	92	387	掻器		7	Q16	167	19.8		1		
					9	S19	50	14.9		1		
			縦長剥片		7	Q16	182	42.5		1		
			剥片		7	Q16	235	54.1		1		
					8	Q17	12	28.5		1		
			剥片		8	Q17	6	1.5		1		
-109	92	389	掻器		8	Q17	14	16.7		1		
					8	R17	158	2.9		1		
-108	91	366	掻器		8	Q17	65	13.8		1		
-110	92	395	二次加工ある剥片		8	Q17	73	16.3		1		
						Q17	25	8.5		1		
					8	S17	28	2.7		1		
-109	92	390	掻器		8	Q17	210	17.7		1		
			剥片		8	Q17	213	5.0		1		
			剥片		8	Q17	216	5.9		1		
-108	91	371	掻器		8	Q17	253	37.4		1		
			剥片		8	Q17	278	2.8		1		
					8	Q17	310	30.9		1		
			縦長剥片		7	Q17	22	36.1		1		
					7	R16	154	7.9		1		
					R16		5	44.7		1		
					R16		84	0.4		1		
-108	91	373	掻器		8	Q18	125	25.3		1		
			剥片		7	R16	100	4.3		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	7	R16		124	1.6		1		
			剥片	7	R16		129	5.7		1		
			剥片	7	R16		157	12.3		1		
			剥片	7	R16		174	2.6		1		
				7	R16		215	12.2		1		
					R16		18	5.2		1		
			剥片		R16		9	181.9		1		
					R16		77	1.1		1		
-109	92	384	搔器	8	R17		213	15.3		1		
-108	91	370	搔器	8	R17		235	24.5		1		
			剥片		R17		59	3.6		1		
-108	91	368	搔器	8	R18		53	24.0		1		
-108	91	367	搔器	8	R18		67	17.6		1		
-100	86	220	石刃	9	R19		49	8.1		1		
					R19		9	7.7		1		
			縦長剥片	外	S15		1	24.8		1		
-107	91	364	削片	8	S17		9	6.9		1		
				8	S17		24	1.2		1		
-107	91	363	削片		S18		7	1.6		1		
-107	91	359	彫器	9	S19		8	7.8		1		
-107	91	360	彫器		求夕		7	77.5		1		
-159	116	516	接合資料	7-8-9-10				594.1	45	1	33	1034
-101	87	239	石刃	10	P21		46	12.1		1		
					P21		34	19.7		1		
				10	Q20		37	3.1		1		
-109	92	386	搔器		P21		13	70.2		1		
			剥片	7	Q16		21	5.4		1		
			縦長剥片	7	Q16		41	5.8		1		
				7	R16		68	2.2		1		
				9	S18		6	3.0		1		
			剥片	7	Q16		290	2.3		1		
			剥片	7	Q16		309	39.5		1		
			剥片	7	Q16		329	1.0		1		
-103	88	274	石刃	8	Q17		276	16.3		1		
-100	85	213	石刃		Q17		9	7.3		1		
				9	S19		298	3.1		1		
			剥片	8	Q18		154	2.8		1		
			縦長剥片	7	R16		13	0.8		1		
				7	R16		16	2.4		1		
				9	R18		14	2.6		1		
			縦長剥片	7	R16		42	8.6		1		
				7	R16		212	6.1		1		
			剥片	7	R16		144	1.3		1		
				7	R16		200	3.6		1		
-105	89	325	石刃	8	R17		20	4.8		1		
				9	S19		21	6.5		1		
			縦長剥片	8	R18		9	4.2		1		
				9	R19		36	1.7		1		
			石刃		R18		34	1.4		1		
-160	116	517	剥片		R18		37	147.5		1		
-98	84	166	石刃	9	R19		6	3.8		1		
-98	84	173	石刃	9	R19		33	2.7		1		
				9	R19		39	2.5		1		
			縦長剥片	9	R19		51	3.1		1		
					R19		20	11.8		1		
				9	S19		201	1.7		1		
-104	89	307	石刃	9	S19		24	7.4		1		
			石刃	9	S19		25	2.4		1		
-98	84	184	石刃	9	S19		59	5.6		1		
-105	89	332	石刃	9	S19		208	32.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-100	85	215	石刃	9	S19		216	3.5		1		
					S19		77	0.5		1		
-102	87	244	石刃	9	S19		234	2.1		1		
-113	94	425	石刃核	9	S19		324	108.4		1		
-101	86	234	石刃	9	S19		332	19.7		1		
				9	S19		395	0.7		1		
			石刃		S19		124	0.7		1		
-161	117	518	接合資料	8				496.5	23	1	20	1004
			縦長剥片	8	Q17		184	3.0		1		
				8	R17		159	8.2		1		
				8	S17		14	6.7		1		
			縦長剥片	8	Q17		205	1.5		1		
					Q17		64	16.7		1		
					Q18		79	21.8		1		
					R18		68	1.7		1		
			縦長剥片	8	Q17		247	24.3		1		
					Q18		109	5.0		1		
				8	R18		18	35.0		1		
			縦長剥片		Q17		58	9.1		1		
			剥片		Q17		63	5.2		1		
			縦長剥片		Q17		122	110.3		1		
			縦長剥片	8	Q18		18	1.4		1		
				8	Q18		104	20.0		1		
					Q18		80	10.2		1		
					R19		35	1.9		1		
			剥片		Q18		78	25.3		1		
					Q18		99	1.1		1		
			剥片		Q18		82	2.0		1		
			剥片	8	R17		78	14.8		1		
			剥片	8	R17		110	50.4		1		
-114	95	437	石核		R18		56	120.9		1		
-162	118	519	接合資料	7-8-9-10-外				1,004.0	131	1	42	1084
			剥片	外	J18		13	16.5		1		
			剥片		N20		1	218.0		1		
			縦長剥片	外	O19		2	5.0		1		
				10	O19		4	5.9		1		
				8	Q17		309	4.7		1		
-103	88	272	石刃		O21		27	13.5		1		
				8	R18		49	12.8		1		
			剥片		P17		12	0.3		1		
-102	87	265	石刃		P21		28	4.0		1		
				9	S18		14	1.8		1		
			剥片	7	Q16		23	4.3		1		
				9	S19		255	11.2		1		
			剥片	7	Q16		56	3.3		1		
				7	Q16		199	1.4		1		
					R16		48	2.5		1		
			石刃	7	Q16		101	1.2		1		
				7	R16		210	2.5		1		
			剥片	7	Q16		129	1.0		1		
			剥片	7	Q16		171	1.7		1		
				7	R16		104	4.8		1		
				7	R16		133	0.7		1		
			剥片	7	Q16		242	16.0		1		
					R16		11	4.2		1		
			剥片	7	Q16		253	0.7		1		
			剥片	8	Q16		277	5.9		1		
			剥片	8	Q16		279	7.5		1		
			剥片	7	Q16		327	3.9		1		
-110	92	398	二次加工ある剥片	8	Q17		51	2.2		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
						Q19	4	106.5		1		
			剥片	8	Q17		83	1.4		1		
			剥片	8	Q17		84	8.4		1		
			剥片	8	Q17		92	1.6		1		
			剥片	8	Q17		130	8.6		1		
			剥片	8	Q18		66	6.9		1		
			剥片	7	R16		73	4.9		1		
-110	92	397	二次加工ある剥片	8	Q17		145	57.5		1		
-107	90	352	石刃	8	Q17		204	2.0		1		
			剥片	8	Q17		217	4.3		1		
			剥片	8	Q17		221	4.9		1		
			剥片	8	Q17		225	2.2		1		
			剥片		Q17		80	2.7		1		
-100	86	221	石刃	8	Q18		24	7.3		1		
			剥片	8	Q18		84	4.4		1		
			剥片	8	Q18		56	0.8		1		
			剥片		Q18		108	10.4		1		
			剥片		Q19		13	0.8		1		
			剥片	7	R16		14	3.5		1		
			剥片	7	R16		64	3.1		1		
			剥片	7	R16		26	10.9		1		
-102	87	242	石刃	7	R16		28	3.4		1		
			剥片	8	R17		271	40.9		1		
			剥片	7	R16		48	1.2		1		
			剥片	7	R16		117	6.0		1		
			石刃	7	R16		161	3.7		1		
			剥片	9	S18		33	4.6		1		
			剥片	7	R16		220	8.5		1		
			剥片	7	R16		221	1.3		1		
			剥片	7	R16		223	1.9		1		
			剥片		R16		19	3.7		1		
			剥片		R16		29	0.9		1		
			剥片		R16		40	1.8		1		
			剥片		R16		20	2.3		1		
			剥片		R16		26	1.8		1		
			剥片		R16		32	0.4		1		
			剥片		R16		33	2.8		1		
			剥片	8	R17		5	6.0		1		
			剥片	8	R17		98	1.6		1		
-109	92	388	播器	8	R17		124	2.0		1		
-103	88	280	石刃	8	R17		142	0.8		1		
			剥片		R17		98	0.5		1		
			剥片		R17		131	0.3		1		
-101	87	238	石刃		R18		27	3.0		1		
			石刃		S20		7	9.4		1		
			石刃		R18		32	1.5		1		
			石刃		R18		70	0.8		1		
			石刃	9	S19		264	0.9		1		
-111	93	414	細石刃核	9	R19		14	34.9		1		
			剥片	9	R19		21	4.9		1		
			剥片	9	R19		27	3.4		1		
-101	86	230	石刃	9	R19		37	5.7		1		
			剥片	9	S19		245	4.6		1		
			剥片	9	R19		58	1.0		1		
			剥片	9	R19		61	0.3		1		
			剥片	9	R19		63	18.5		1		
			剥片	9	R19		69	1.0		1		
			剥片	9	R19		80	1.1		1		
			石刃	9	R19		84	1.0		1		
-98	84	175	石刃		R19		13	4.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片		R19		23	6.4		1		
			剥片		R19		48	5.5		1		
			剥片		R21		2	0.5		1		
			剥片	8	S17		4	2.3		1		
			剥片	9	S18		5	3.0		1		
			石刃	8	S17		23	7.0		1		
			石刃	8	S19		93	0.8		1		
-102	87	251	石刃	8	S17		34	2.4		1		
			剥片	9	S18		11	0.3		1		
			石刃	9	S18		12	0.6		1		
			剥片	9	S18		15	8.6		1		
			石刃	9	S18		17	2.0		1		
			石刃	9	S18		18	1.5		1		
			剥片	9	S18		35	2.6		1		
-112	94	421	石刃核	9	S18		36	66.1		1		
			石刃	9	S18		51	6.5		1		
			剥片	9	S18		122	0.3		1		
			剥片	9	S18		73	2.0		1		
			石刃	9	S18		75	0.8		1		
			剥片	9	S19		27	5.3		1		
-103	88	279	石刃	9	S19		39	1.2		1		
			剥片	9	S19		53	3.9		1		
-103	88	281	石刃	9	S19		73	2.7		1		
			剥片		S20		1	4.5		1		
-99	85	192	石刃	9	S19		80	5.1		1		
			石刃	9	S19		257	3.0		1		
			石刃	9	S19		97	6.7		1		
			剥片	9	S19		111	1.5		1		
-97	83	122	細石刃	9	S19		114	0.4		1		
			剥片	9	S19		125	0.5		1		
			剥片	9	S19		159	0.4		1		
-102	87	257	石刃	9	S19		227	2.9		1		
			剥片	9	S19		329	2.7		1		
			剥片	9	S19		238	0.6		1		
			剥片	9	S19		249	1.3		1		
			剥片	9	S19		321	4.9		1		
			剥片	9	S19		327	11.9		1		
			剥片	9	S19		336	0.8		1		
			剥片	9	S19		382	1.3		1		
			剥片	9	S19		85	6.2		1		
			剥片	9	S19		370	4.7		1		
-110	92	392	錐形石器		S19		4	8.6		1		
			剥片		S19		114	0.6		1		
-168	120	521	接合資料	7・8・10				349.5	24	1	34	1039
			剥片	10	P20		8	1.4		1		
-105	89	331	石刃	10	P20		214	11.7		1		
-109	92	382	播器		P20		2	5.9		1		
-97	84	156	石刃	10	P21		4	2.9		1		
-108	91	365	播器	10	P21		40	6.7		1		
			剥片	10	Q21		14	2.4		1		
-113	94	426	石刃核	10	P21		41	137.0		1		
-99	85	195	石刃	10	P21		60	6.3		1		
			剥片	7	Q16		247	4.9		1		
			剥片	7	R16		87	19.9		1		
			縦長剥片	8	Q17		248	2.9		1		
			石刃	8	Q18		123	1.7		1		
-109	92	378	播器	10	Q20		28	8.9		1		
			剥片	10	Q20		41	6.1		1		
			縦長剥片	10	Q21		8	26.7		1		
-109	92	379	播器	10	Q21		66	9.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-109	92	377	播磨		Q21		15	8.6		1		
			縦長剥片	7	R16		39	1.5		1		
-106	90	340	石刃	7	R16		57	12.9		1		
			剥片	7	R16		135	8.0		1		
			剥片	7	R16		137	7.5		1		
-106	90	344	石刃	7	R16		235	30.5		1		
			剥片		R16		16	19.9		1		
			剥片		R16		17	5.5		1		
-170	121	522	接合資料	8				327.3	27	1	348	1094
			縦長剥片	8	Q17		63	18.6		1		
			縦長剥片	8	Q17		71	3.3		1		
			縦長剥片	8	Q17		70	4.5		1		
			剥片	8	Q17		82	23.1		1		
			剥片	8	Q17		143	36.6		1		
			剥片	8	Q17		198	92.5		1		
			縦長剥片	8	Q17		243	3.0		1		
			縦長剥片		R17		110	1.0		1		
			縦長剥片		R17		112	0.5		1		
			縦長剥片		R18		64	2.1		1		
			縦長剥片	8	Q17		295	0.8		1		
			縦長剥片	8	Q18		57	3.3		1		
			縦長剥片	8	R17		66	1.7		1		
			縦長剥片	8	Q17		330	18.3		1		
-105	89	327	石刃		Q17		8	16.7		1		
-107	91	357	彫器	8	Q18		63	1.4		1		
			彫器		Q18		98	1.9		1		
			彫器		R18		12	11.9		1		
			縦長剥片	8	Q18		70	0.5		1		
			剥片	8	Q18		175	3.6		1		
-99	85	201	石刃		Q18		29	8.5		1		
			剥片		Q18		68	4.8		1		
-101	86	235	石刃	8	R17		15	22.5		1		
			剥片	8	R17		92	3.5		1		
-107	91	356	彫器		R17		39	6.6		1		
-107	91	355	彫器	8	R18		21	4.7		1		
			剥片		R18		62	31.4		1		
-171	122	524	接合資料	10				491.9	64	1	24	1011
			石刃		N23		5	23.6		1		
			石刃		O20		43	6.4		1		
			石刃		O21		29	18.9		1		
			縦長剥片	10	O20		3	0.7		1		
-101	86	228	石刃	10	O20		6	4.3		1		
			石刃	10	O20		10	8.6		1		
			剥片		P20		69	2.7		1		
-99	84	187	石刃		O20		5	5.2		1		
-102	87	268	石刃		O20		7	3.5		1		
			石刃		O20		8	4.8		1		
			石刃		O20		9	5.6		1		
-100	85	214	石刃		O20		10	7.3		1		
			石刃		O21		16	6.8		1		
-100	86	225	石刃		O20		11	11.4		1		
			石刃		O21		15	5.5		1		
-99	85	197	石刃		O20		12	12.0		1		
-100	86	226	石刃		O20		13	14.0		1		
			剥片		Q20		16	19.1		1		
			剥片		O20		17	12.3		1		
			剥片		O20		35	0.4		1		
-101	86	227	石刃		O20		18	12.7		1		
			石刃		O21		18	12.0		1		
			剥片		O20		19	20.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片		O20		21	3.1		1		
			剥片	10	O21		5	19.9		1		
			剥片		O20		22	4.7		1		
			剥片		O20		25	3.5		1		
			剥片		O20		26	1.7		1		
			剥片		P20		67	2.8		1		
-106	90	345	縦長剥片		O20		41	4.1		1		
			縦長剥片	10	O21		20	51.5		1		
			縦長剥片		O21		34	1.9		1		
			縦長剥片		P20		110	2.5		1		
			縦長剥片		O20		42	12.8		1		
			剥片		O20		46	2.9		1		
			剥片		O20		50	1.1		1		
-101	87	237	石刃	10	O21		10	2.1		1		
			石刃		O21		19	17.2		1		
			剥片	10	O21		11	1.5		1		
			剥片		O21		30	5.1		1		
-101	86	233	石刃	10	O21		12	17.4		1		
-107	91	358	彫器	10	O21		24	10.9		1		
			剥片	10	O21		30	1.4		1		
			剥片	10	O21		32	1.9		1		
			剥片		O21		13	3.4		1		
			石刃		O21		14	3.8		1		
-104	89	314	石刃		O21		17	11.0		1		
			剥片		O21		25	14.4		1		
			剥片		O21		41	1.3		1		
			剥片		O21		26	5.2		1		
			剥片	10	P20		64	1.4		1		
			剥片		O21		32	3.2		1		
			剥片		O21		33	1.5		1		
			剥片		O21		35	2.3		1		
			剥片		O21		36	1.7		1		
			剥片		O21		39	1.3		1		
			剥片	10	P20		37	0.5		1		
			縦長剥片	10	P20		151	13.1		1		
			石刃	10	P20		162	27.3		1		
			石刃	10	P20		199	3.7		1		
			石刃	10	P20		211	1.1		1		
			石刃	10	P20		185	1.2		1		
			石刃	10	P20		210	5.1		1		
			石刃	10	Q20		14	1.6		1		
-173	124	525	接合資料	8				482.9	48	1	349	1005
			縦長剥片	8	P17		19	2.4		1		
			剥片		P17		7	0.5		1		
			剥片	8	R17		70	10.2		1		
-99	85	188	石刃	8	Q17		29	3.9		1		
			石刃	8	Q17		121	2.0		1		
			石刃	8	Q17		30	4.6		1		
-105	90	337	石刃	8	Q17		32	10.6		1		
			石刃		Q17		47	1.0		1		
-107	90	354	石刃	8	Q17		59	2.8		1		
			石刃	8	R18		57	2.5		1		
			石刃	8	R18		61	10.9		1		
-104	88	296	石刃	8	Q17		75	5.3		1		
			剥片	8	Q17		79	51.8		1		
			剥片	8	Q17		267	70.8		1		
			剥片	8	Q17		111	0.5		1		
-108	91	372	播磨	8	Q17		115	4.1		1		
			播磨		Q17		6	17.4		1		
-104	88	301	石刃	8	Q17		154	3.9		1		

奥白滝1遺跡

押図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
						Q17	15	4.4		1		
-97	83	125	細石刃	8	Q17		165	0.6		1		
			剥片	8	Q17		166	2.7		1		
			縦長剥片	8	Q17		175	5.2		1		
				8	Q17		336	55.8		1		
			石刃	8	Q17		200	2.9		1		
-105	89	328	石刃	8	Q17		265	12.1		1		
			石刃	8	Q17		291	2.5		1		
					Q18		61	1.9		1		
			石刃	8	Q17		307	2.3		1		
					Q17		37	0.9		1		
-104	89	313	石刃		Q17		123	6.2		1		
-110	92	394	二次加工ある剥片		Q17		133	0.8		1		
				8	Q18		47	2.8		1		
-112	94	423	石刃核	8	Q18		65	65.8		1		
-103	88	288	石刃	8	Q18		141	2.3		1		
					R17		11	0.8		1		
-102	87	260	石刃	8	Q18		164	7.7		1		
-98	84	182	石刃	8	Q18		182	1.5		1		
				8	Q18		207	1.8		1		
				8	Q18		211	1.6		1		
					R18		29	2.5		1		
					R18		33	1.6		1		
-105	89	326	石刃		Q18		13	14.2		1		
			石刃		Q18		26	3.0		1		
			石刃		Q18		73	2.3		1		
			石刃	8	R18		22	3.4		1		
			縦長剥片	8	R18		59	26.9		1		
				8	R18		63	37.1		1		
			石刃		S17		1	4.1		1		
-175	125	526	接合資料	7-8				208.3	31	1	345	1091
			縦長剥片	8	P17		22	3.2		1		
-100	85	216	石刃	7	Q16		11	1.5		1		
					Q17		13	5.4		1		
			石刃	7	Q16		58	1.3		1		
-102	87	262	石刃	7	Q16		98	11.1		1		
-99	85	200	縦長剥片	7	Q16		108	9.7		1		
				7	Q16		123	4.8		1		
				7	Q16		128	6.1		1		
-102	87	249	石刃	7	Q16		248	1.0		1		
				7	R16		176	1.4		1		
-97	84	149	石刃	7	Q16		255	0.6		1		
				7	R16		171	1.1		1		
-106	90	342	石刃	7	Q16		268	1.5		1		
				8	Q17		94	6.1		1		
				7	R16		116	3.1		1		
				7	R16		167	1.5		1		
-100	86	223	石刃	7	Q16		296	3.5		1		
				7	R16		236	8.0		1		
-99	85	204	石刃		Q16		11	0.2		1		
					R16		3	5.6		1		
-98	84	172	石刃	8	Q17		188	2.3		1		
				8	R17		32	2.7		1		
			剥片		Q17		42	0.5		1		
			石刃		Q18		59	3.2		1		
					Q18		71	5.5		1		
					Q18		84	2.0		1		
			剥片	7	R16		5	2.3		1		
-100	85	208	石刃	7	R16		6	4.0		1		
-114	95	434	石刃核	7	R16		70	100.1		1		

押図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	7	R16		82	8.7		1		
			剥片		R16		62	0.3		1		
-176	126	527	接合資料	8-9-10				142.8	9	1	346	1092
-100	86	224	石刃	10	P20		167	14.6		1		
					P20		38	0.8		1		
				8	Q17		116	2.3		1		
			剥片	8	Q17		138	4.5		1		
			縦長剥片	9	R19		5	6.1		1		
			剥片		R19		34	2.6		1		
-114	95	433	石刃核	8	S17		25	86.6		1		
			剥片	9	S19		218	2.6		1		
			縦長剥片	9	S19		297	22.7		1		
-177	126	528	接合資料	10				114.3	19	1	36	1045
			剥片	10	O21		34	2.4		1		
-100	85	210	石刃	10	P20		17	6.3		1		
					P20		39	0.9		1		
			石刃	10	P20		79	3.0		1		
				10	P21		95	13.4		1		
			縦長剥片	10	P20		91	4.1		1		
			縦長剥片	10	P20		158	3.3		1		
					P21		56	2.2		1		
			縦長剥片	10	P20		166	2.3		1		
			剥片	10	P20		168	23.2		1		
			剥片	10	P20		183	1.9		1		
-106	90	346	縦長剥片		P20		46	0.9		1		
					P21		35	34.9		1		
				10	Q20		10	3.1		1		
			剥片	10	P21		17	1.8		1		
			剥片		P21		54	4.3		1		
			剥片		P21		69	1.6		1		
			剥片	10	Q20		49	1.4		1		
			剥片	10	Q20		72	3.3		1		
-177	127	529	接合資料	10				23.7	7	1	35	1044
-97	84	151	石刃	10	P20		9	0.7		1		
					P21		5	0.5		1		
			縦長剥片	10	P20		84	8.2		1		
			剥片	10	P20		146	0.8		1		
-110	92	391	錐形石器	10	P21		82	10.3		1		
-102	87	246	石刃		P21		24	1.7		1		
			剥片	10	Q21		18	1.5		1		
-178	128	530	接合資料	8-9-外				173.6	30	1	25	1013
-104	89	311	石刃	外	L18		30	6.1		1		
-106	90	339	石刃	8	P17		21	8.0		1		
-104	88	298	石刃	8	Q17		21	4.2		1		
			石刃	8	Q17		22	1.8		1		
				8	Q17		36	2.2		1		
-104	88	300	石刃	8	Q17		34	2.3		1		
				8	Q17		41	4.1		1		
-104	88	299	石刃	8	Q17		149	3.9		1		
-106	90	347	縦長剥片	8	Q17		209	15.4		1		
				8	Q17		254	21.8		1		
-179	129	531	剥片	8	Q17		211	4.5		1		
-104	89	315	石刃	8	Q17		215	3.9		1		
				8	Q17		262	4.8		1		
-103	88	294	石刃	8	Q17		235	1.2		1		
-104	88	304	石刃	8	Q17		237	4.9		1		
-100	86	219	石刃	8	Q17		257	2.2		1		
				8	R17		27	14.4		1		
-107	90	353	石刃		Q17		49	2.6		1		
-103	88	273	石刃	8	Q18		10	18.2		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				8	R17		102	4.2		1		
-99	85	198	石刃	8	R17		31	10.1		1		
					R17		9	4.2		1		
-103	88	282	石刃	8	R17		210	2.3		1		
-98	84	180	石刃	8	R17		280	5.0		1		
-103	88	292	石刃	8	R18		45	1.2		1		
-104	89	309	石刃		R18		19	3.9		1		
					R18		23	1.8		1		
-104	89	312	石刃	9	S19		338	8.4		1		
-179	129	532	石刃	服部台2	K9		27	3.5		1		
				服部台2	K9		41	2.5		1		
-181	130	533	接合資料	7・8・9				304.4	29	1	41	1064
			石刃		P17		5	3.1		1		
			剥片	7	Q16		207	2.0		1		
			剥片	7	Q16		305	3.4		1		
			石刃	8	Q17		148	3.9		1		
			石刃	8	Q17		255	4.0		1		
			石刃	8	Q17		297	5.0		1		
			縦長剥片	8	Q17		305	31.0		1		
			剥片		Q17		10	24.3		1		
-106	90	341	縦長剥片		Q17		24	9.8		1		
			剥片	8	Q18		94	6.0		1		
			石刃	8	Q18		110	1.1		1		
-109	92	381	搔器	8	Q18		185	2.7		1		
				8	R17		81	7.7		1		
-102	87	261	石刃	8	Q18		210	2.8		1		
			石刃	8	Q18		213	3.5		1		
			石刃		Q18		74	1.9		1		
			剥片	7	R16		71	2.2		1		
			剥片		R16		57	0.5		1		
			剥片	8	R17		134	7.2		1		
-105	89	330	石刃	8	R17		137	3.5		1		
				8	R17		263	7.6		1		
					R18		24	23.2		1		
			剥片	8	R17		194	1.7		1		
-100	85	211	石刃	8	R17		225	10.4		1		
			石刃	8	R17		228	5.3		1		
-113	94	427	石刃核	8	R17		269	68.3		1		
-110	92	396	二次加工ある剥片	8	S17		20	53.8		1		
			石刃	9	S19		63	3.8		1		
			縦長剥片		S19		21	4.7		1		
-182	131	534	接合資料	7・8				235.6	18	1	41	1066
-108	91	375	搔器		P17		2	9.7		1		
					P17		3	28.9		1		
-106	90	349	縦長剥片	7	Q16		168	19.8		1		
					Q16		2	15.9		1		
					Q16		5	6.0		1		
				7	R16		188	9.6		1		
			縦長剥片	7	Q16		186	1.0		1		
-100	86	217	石刃	8	Q17		68	7.4		1		
-103	88	270	石刃	8	Q17		85	5.7		1		
				8	Q17		273	6.9		1		
-108	91	369	搔器		Q17		7	31.7		1		
			剥片	7	R16		22	10.7		1		
				7	R16		34	4.7		1		
				7	R16		147	24.7		1		
				7	R16		225	7.3		1		
			剥片	7	R16		108	3.2		1		
			剥片	7	R16		226	3.2		1		
-108	91	374	搔器		S19		2	39.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-183	132	535	接合資料	7・8				162.4	11	1	41	1067
			剥片	7	Q16		18	4.4		1		
				7	Q16		106	10.5		1		
				7	Q16		311	3.0		1		
			剥片	7	Q16		53	13.2		1		
			剥片	7	Q16		70	10.9		1		
			剥片	7	Q16		127	16.1		1		
-108	91	376	搔器		Q18		25	8.5		1		
				8	R17		21	11.0		1		
			剥片	7	R16		79	78.9		1		
				7	R16		177	4.3		1		
					R16		42	1.6		1		
-185	133	536	接合資料	10				138.6	18	1	344	1090
			縦長剥片	10	O21		18	0.5		1		
			剥片	10	O21		31	2.9		1		
			縦長剥片	10	O21		35	0.7		1		
-107	90	350	縦長剥片		O21		21	14.9		1		
					P21		41	12.6		1		
			剥片	10	P21		5	0.7		1		
-103	88	289	石刃	10	P21		24	3.0		1		
			縦長剥片	10	P21		27	23.1		1		
					P21		40	11.5		1		
-105	89	329	石刃	10	P21		53	23.4		1		
			剥片	10	P21		58	0.7		1		
-102	87	264	石刃	10	P21		68	6.0		1		
			剥片	10	P21		69	0.3		1		
-185	133	537	縦長剥片	10	P21		89	5.3		1		
-107	91	362	彫器		P25		1	20.4		1		
-98	84	185	石刃	10	P21		92	2.2		1		
					P21		29	4.7		1		
			縦長剥片	10	Q21		30	5.7		1		
-	123	545	接合資料	9				42.7	4	1	-	1087
			石刃	9	S19		315	0.7		1		
				9	S19		323	3.7		1		
			石刃	9	S19		399	4.4		1		
-113	95	429	石刃核		S19		1	33.9		1		
-	123	546	接合資料	8・9・外				329.6	24	1	350	1096
			縦長剥片	外	P23		1	15.8		1		
			剥片	8	Q17		193	0.8		1		
			石刃	8	Q17		315	5.1		1		
			剥片		Q17		75	8.0		1		
			剥片		Q17		143	0.1		1		
			石刃	8	Q18		195	19.3		1		
				8	R17		195	5.9		1		
			石核		Q18		15	95.7		1		
			縦長剥片	8	R17		28	32.0		1		
			剥片	8	R17		154	3.0		1		
				8	R17		226	13.8		1		
			剥片	8	R17		157	0.9		1		
					R17		101	0.4		1		
			剥片	8	R17		161	1.5		1		
			剥片	8	R17		188	7.6		1		
			剥片	8	R17		206	17.6		1		
			剥片	8	R17		239	10.3		1		
			剥片	8	R17		249	9.3		1		
			剥片	8	R17		267	3.5		1		
			剥片	8	R17		281	65.4		1		
			剥片	8	S17		16	5.1		1		
			石刃	9	S19		126	3.0		1		
				9	S19		308	3.3		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			石刃	9	S19		391	2.2		1		
-	127	547	接合資料	8-10				237.2	22	1	21	1006
			石刃	10	O21		8	7.7		1		
			石刃	10	O21		14	5.1		1		
				10	P20		11	3.8		1		
			剥片	10	P20		33	0.1		1		
			石刃	10	P20		62	2.8		1		
				10	Q21		15	4.4		1		
				10	Q21		25	1.9		1		
			縦長剥片	10	P20		90	43.7		1		
					P21		57	1.2		1		
					Q21		36	5.8		1		
					Q21		45	0.6		1		
			縦長剥片	10	P20		191	7.2		1		
			剥片		P20		33	0.3		1		
			縦長剥片		P21		36	1.6		1		
			剥片		P21		58	1.4		1		
				10	Q21		34	11.3		1		
			石刃核	10	Q20		51	100.5		1		
			縦長剥片	10	Q21		33	1.1		1		
				10	Q21		48	7.7		1		
			縦長剥片	10	Q21		44	23.5		1		
			剥片		Q21		38	4.0		1		
			剥片	8	R18		19	1.5		1		
-	129	548	接合資料	8				98.6	7	1	25	1014
			剥片	8	Q17		139	0.6		1		
-106	90	348	縦長剥片	8	Q17		228	56.9		1		
				8	Q17		284	23.8		1		
					Q17		48	3.1		1		
			剥片	8	Q17		236	9.1		1		
			剥片	8	Q17		285	4.3		1		
			剥片		Q17		55	0.8		1		
-	132	549	接合資料	8-9				231.5	23	1	32	1033
			石刃	8	P17		10	7.4		1		
			石刃		P18		7	19.5		1		
			石刃	8	Q16		276	3.9		1		
				8	Q16		282	2.1		1		
			縦長剥片	8	Q17		16	39.6		1		
			彫器	8	Q17		191	2.8		1		
			石刃	8	Q17		302	12.1		1		
				8	R18		54	24.9		1		
			剥片	8	Q18		153	1.0		1		
			石刃	8	Q18		191	0.9		1		
			石刃核		Q18		14	56.9		1		
			剥片	8	R17		101	9.9		1		
			石刃	8	R17		156	2.8		1		
			剥片	8	R17		168	1.7		1		
			剥片	8	R17		203	15.8		1		
			石刃	8	R17		230	6.7		1		
			剥片	8	R17		288	2.8		1		
			剥片		R17		123	0.2		1		
					R17		125	0.2		1		
			石刃	8	R18		31	10.2		1		
			石刃		R18		11	3.1		1		
			石刃		R18		18	5.2		1		
			石刃	9	S19		152	1.8		1		
-197	138	43	接合資料	12				1,530.5	56	1	121	2939
			剥片	12	L4		102	2.8		1		
				12	M4		1171	30.4		1		
				12	M4		4075	6.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	12	M4		80	7.6		1		
				12	N5		1566	56.0		1		
				12	N6		691	31.8		1		
			剥片	12	L4		343	4.6		1		
				12	M5		330	34.5		1		
				12	M5		390	7.2		1		
				12	N6		226	8.4		1		
				12	N6		228	9.5		1		
			剥片	12	L4		417	6.2		1		
				12	L4		522	13.4		1		
				12	M4		3292	16.6		1		
				12	M5		502	21.6		1		
				12	N5		845	32.4		1		
			剥片		L4		33	8.3		1		
				12	M5		335	25.3		1		
				12	M5		652	6.7		1		
				12	M5		799	10.3		1		
				12	N6		10	3.4		1		
			剥片		L4		43	6.5		1		
				12	M4		1418	10.8		1		
				12	M4		2395	2.2		1		
					ボヤ		15	18.6		1		
			剥片		L5		4	44.0		1		
			剥片		M3		53	4.1		1		
				12	M4		717	63.2		1		
				12	M5		284	10.9		1		
				12	M5		870	58.1		1		
			剥片		M3		56	3.4		1		
				12	M4		2656	4.0		1		
				12	M5		329	3.8		1		
				12	M5		528	25.2		1		
				12	N5		169	2.1		1		
				12	N6		244	17.4		1		
				12	N6		397	64.7		1		
				12	N6		763	15.8		1		
-189	135	18	削器	12	M4		2768	37.7		1		
				12	N5		204	212.6		1		
			剥片	12	M4		3660	15.5		1		
			剥片	12	M4		4371	138.0		1		
				12	N6		207	32.6		1		
			剥片	12	M5		60	11.3		1		
			剥片	12	M5		207	26.2		1		
			剥片	12	M5		217	30.7		1		
			剥片	12	M5		307	21.6		1		
				12	N6		45	4.5		1		
			剥片	12	M5		510	19.6		1		
			剥片	12	M5		921	1.1		1		
			剥片		M5		11	9.4		1		
			剥片	12	N5		1384	220.8		1		
			剥片	12	N6		125	12.1		1		
			剥片	12	N6		418	23.0		1		
				12	N6		419	8.4		1		
			剥片	12	N6		840	6.8		1		
-198	140	44	接合資料	12				875.3	56	1	119	2911
			剥片		K4		2	7.4		1		
				12	M3		157	35.6		1		
			剥片	12	L3		407	16.2		1		
				12	M3		306	14.5		1		
-190	137	38	石刃核									
					L3		2	189.3		1		
			剥片		L3		43	9.6		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				12	M4		1406	2.4		1		
				12	M4		2559	2.5		1		
			剥片		L4		18	10.7		1		
			剥片		L4		25	2.7		1		
			石刃	12	M3		32	19.3		1		
			剥片	12	M3		257	4.9		1		
				12	N5		90	14.4		1		
			剥片		M3		35	31.3		1		
			剥片		M3		38	8.5		1		
					N5		3	16.2		1		
			剥片	12	M4		2	19.9		1		
				12	M4		343	61.1		1		
			剥片	12	M4		132	9.7		1		
					M4		59	4.7		1		
			剥片	12	M4		286	2.2		1		
			剥片	12	M4		388	1.2		1		
				12	M4		392	2.1		1		
					M4		64	2.4		1		
			剥片	12	M4		399	2.8		1		
				12	M4		401	13.4		1		
				12	N4		110	2.9		1		
			剥片	12	M4		521	11.8		1		
			剥片	12	M4		831	10.4		1		
			剥片	12	M4		941	7.8		1		
			剥片	12	M4		956	7.3		1		
					M4		58	33.7		1		
			剥片	12	M4		957	16.7		1		
				12	M4		1536	5.2		1		
					M4		56	4.1		1		
					N5		802	1.4		1		
			剥片	12	M4		1025	36.6		1		
			石刃	12	M4		1078	6.1		1		
			石刃	12	M4		1488	11.4		1		
			剥片	12	M4		2710	11.5		1		
					M5		8	7.9		1		
				12	N5		217	12.5		1		
				12	N5		547	1.0		1		
				12	N5		1232	12.5		1		
			石刃	12	M4		2800	35.6		1		
			剥片	12	M4		3565	7.9		1		
			剥片		M4		49	8.1		1		
			剥片		M4		66	2.6		1		
			剥片	12	M5		32	22.0		1		
			剥片	12	M5		396	11.3		1		
			剥片	12	N5		530	7.0		1		
			剥片	12	N5		652	6.1		1		
			剥片	12	N5		921	7.5		1		
				12	N5		1234	1.4		1		
			剥片	12	N5		960	25.4		1		
			剥片	12	N5		1331	34.6		1		
-200	140	46	接合資料	12				936.1	41	1	353	3001
			剥片	12	L3		125	2.5		1		
				12	M4		231	1.0		1		
			剥片	12	L3		180	38.2		1		
				12	M3		327	4.9		1		
			剥片	12	L3		249	10.4		1		
				12	L3		253	12.4		1		
			剥片	12	L3		498	182.9		1		
			剥片		L3		18	34.4		1		
			剥片		L3		42	25.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-188	135	14	削器	12	N5		1600	36.3		1		
			剥片	12	L4		44	8.8		1		
			剥片	12	L4		320	39.7		1		
				12	M4		327	1.6		1		
			剥片	12	L4		585	3.3		1		
				12	N5		387	7.7		1		
			剥片	12	M3		8	18.3		1		
				12	M4		822	13.4		1		
				12	M4		843	6.0		1		
			縦長剥片	12	M3		293	12.7		1		
			剥片		M3		59	5.6		1		
				12	M4		2845	5.6		1		
				12	N5		516	22.8		1		
			剥片	12	M4		677	3.7		1		
			剥片	12	M4		2689	10.8		1		
			石刃	12	M4		2797	19.0		1		
			剥片	12	M4		2929	43.7		1		
			剥片	12	M4		3693	16.2		1		
			剥片		M4		12	7.5		1		
			剥片	12	M5		257	27.1		1		
			剥片	12	M5		448	51.3		1		
				12	N5		1224	24.5		1		
			剥片	12	M5		780	93.8		1		
			剥片	12	M5		967	8.0		1		
			剥片	12	N4		76	10.5		1		
				12	N4		108	10.6		1		
			剥片	12	N5		335	16.8		1		
			剥片	12	N5		819	21.6		1		
			石刃	12	N5		1483	6.7		1		
			剥片	12	N5		1611	3.4		1		
-188	135	13	削器	12	N5		1641	35.9		1		
			剥片	12	N6		762	31.5		1		
-201	141	47	接合資料	11-12				3,241.3	11	1-5	351	2900
			剥片		L1		44	20.0		1		
			石刃		L1		45	9.1		1		
-191	137	41	石刃核	12	L3		330	509.0		5		
			剥片	11	M1		117	15.6		1		
			石刃		M1		28	38.0		1		
			剥片	11	M2		339	97.2		5		
			剥片	12	M4		64	24.7		1		
				12	N5		43	14.7		1		
-	141	49	石核	12	N5		571	2,416.6		5		
			剥片	11	N2		258	82.0		1		
			剥片	12	N5		943	14.4		1		
-203	139	48	接合資料	12				1,469.9	54	3-4	111	2824
			剥片	12	L3		208	15.8		4		
				12	M4		2472	39.6		3		
			剥片	12	L3		503	4.2		4		
				12	L3		504	4.1		4		
			剥片		L4		16	8.4		3		
				12	M3		39	13.5		3		
				12	M5		1048	18.9		3		
				12	N5		964	134.9		4		
			剥片	12	M3		45	18.2		4		
				12	M4		1351	22.5		4		
			剥片		M3		23	9.5		3		
			剥片		M3		31	24.2		3		
			剥片		M3		34	19.3		4		
				12	N5		512	44.0		4		
			剥片	12	M4		204	20.9		4		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				12	M4		211	10.5		4		
				12	M4		2944	13.4		3		
			剥片	12	M4		224	10.9		4		
				12	N5		45	11.3		4		
			剥片	12	M4		402	12.7		4		
				12	M4		1434	5.6		4		
			剥片	12	M4		878	2.7		4		
			剥片	12	M4		1057	23.4		4		
				12	M5		682	28.2		3		
			剥片	12	M4		1897	11.6		3		
			剥片	12	M4		2038	2.5		4		
					M4		48	5.8		4		
			剥片	12	M4		2071	4.0		3		
			剥片	12	M4		2438	1.5		3		
				12	M4		2454	10.4		3		
			剥片	12	M4		2491	45.5		3		
			剥片	12	M4		2538	23.2		4		
			剥片	12	M4		2698	3.3		4		
				12	N5		1722	2.0		4		
			剥片	12	M4		2992	12.4		3		
			剥片	12	M4		3588	3.2		3		
				12	M4		3590	100.1		4		
			剥片	12	M4		3978	21.0		4		
			剥片	12	M4		4370	31.8		4		
					M4		52	8.8		4		
			剥片		M4		38	25.7		3		
				12	N5		244	11.7		4		
			剥片		M4		46	20.3		3		
			縦長剥片		M4		50	6.9		3		
					ボサ		9	24.6		3		
			剥片		M5		6	7.8		4		
			剥片	12	N4		82	40.4		4		
			剥片		N4		6	210.4		3		
			剥片	12	N5		513	31.6		4		
				12	N5		525	19.5		4		
			剥片	12	N5		963	30.4		4		
			剥片	12	N5		1511	85.0		4		
			剥片	12	N5		1590	89.2		4		
			剥片	12	N6		73	62.6		3		
-	142	50	接合資料	11・12				349.7	49	3・4	112	2843
			剥片		K3		3	2.0		4		
				12	N5		1007	10.7		3		
				12	N5		1335	13.6		4		
			剥片		L3		78	2.0		4		
				12	M4		3538	25.0		4		
				12	M4		3866	0.8		4		
				12	M5		193	3.4		4		
				12	N6		754	6.8		4		
				12	N6		774	1.8		4		
			剥片	12	L4		353	1.9		4		
				12	M5		542	3.0		4		
				12	N6		338	28.7		4		
				12	N6		531	4.2		4		
			剥片	12	L4		457	3.1		4		
				12	L5		23	1.8		4		
					M4		100	3.7		4		
			剥片	12	L4		660	5.1		4		
				12	M4		2194	1.7		4		
				12	N6		852	2.8		4		
			剥片	11	M2		798	13.6		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	12	M3		216	2.9		4		
				12	M4		2358	7.3		4		
					M4		95	0.7		4		
			剥片		M3		30	6.7		4		
			剥片		M3		61	5.7		4		
			剥片	12	M4		556	1.2		4		
			剥片	12	M4		1772	26.8		4		
			剥片	12	M4		2598	1.5		4		
			剥片	12	M4		2939	1.1		4		
			剥片	12	M4		4058	1.1		4		
			剥片	12	M4		4073	5.2		4		
			剥片	12	M4		4190	1.8		4		
			剥片	12	M4		4257	3.3		4		
				12	M5		319	7.8		3		
			剥片		M4		93	2.5		4		
			剥片		M4		99	4.8		4		
			剥片	12	M5		161	21.6		4		
			剥片	12	M5		753	1.7		4		
				12	N6		513	4.1		4		
				12	N6		654	3.7		4		
			剥片	12	M5		813	16.4		4		
			剥片	12	M5		1081	2.5		4		
			剥片	12	N5		297	31.9		4		
				12	N5		838	25.8		4		
				12	N5		1051	8.2		4		
			剥片	12	N5		580	2.4		3		
				12	N6		701	2.3		4		
				12	N6		1008	7.7		4		
			剥片	12	N6		339	5.3		4		
-	142	51	接合資料	12				75.3	2	1	-	2773
-188	135	12	播器	12	M3		162	28.2		1		
			縦長剥片	12	M4		10	47.1		1		
-	142	52	接合資料	12				3,086.7	25	1	352	2982
			剥片	12	L2		22	498.8		1		
			剥片		L3		7	18.2		1		
			剥片		L3		11	49.8		1		
					M3		6	39.0		1		
				12	M4		3129	107.7		1		
			剥片	12	L4		220	145.0		1		
				12	M4		626	291.3		1		
				12	N6		884	434.7		1		
			剥片		L4		8	8.0		1		
				12	N5		713	127.9		1		
			剥片	12	M4		1970	38.1		1		
			剥片	12	M4		2101	3.2		1		
					M4		15	286.0		1		
					M4		17	32.2		1		
					M4		18	9.8		1		
				12	M5		1050	1.3		1		
				12	N6		951	408.1		1		
			剥片	12	M4		3637	39.6		1		
			剥片	12	M4		3918	35.4		1		
			剥片	12	M4		4389	1.3		1		
			剥片	12	N5		1176	52.0		1		
			剥片	12	N5		1500	76.3		1		
			剥片	12	N6		516	226.6		1		
			剥片	12	N6		534	43.4		1		
			剥片	12	N6		975	113.0		1		
-233	154	89	接合資料	21				418.5	32	3・4	-	3187
			剥片	21	K18		73	3.1		3		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	21	K18		99	1.2		3		
			剥片	21	K18		270	2.5		3		
			剥片	21	K18		442	3.8		4		
				21	K18		836	1.2		4		
				21	K18		887	1.6		3		
				21	K18		1300	8.6		3		
					K18		119	9.4		3		
					K19		9	2.2		3		
-215	148	33	尖頭器	21	K18		716	75.7		4		
			剥片	21	K18		835	5.2		4		
				21	L18		300	2.7		4		
				21	L18		376	7.6		4		
			剥片	21	K18		896	8.6		3		
				21	L18		139	1.7		4		
			剥片	21	K18		897	3.1		3		
				21	K18		1161	4.3		4		
				21	K19		37	2.9		3		
-212	146	20	尖頭器	21	K18		1305	28.8		3		
			剥片	21	K18		1393	1.0		3		
-212	146	18	尖頭器		K18		3	183.7		3		
					K18		14	10.4		3		
			剥片		K18		149	3.9		4		
			剥片	21	L17		14	2.6		4		
					N18		16	7.8		3		
					N18		17	6.8		3		
					N18		18	6.6		3		
			剥片	21	L18		453	5.6		4		
			剥片	21	M18		125	1.3		3		
			剥片		N17		17	8.2		3		
			剥片		N17		19	2.9		3		
			剥片		N18		19	3.5		3		
-234	154	90	接合資料	21				310.6	47	3-4	137	3135
			剥片	21	K18		95	2.1		4		
-210	144	8	尖頭器	21	K18		166	40.6		3		
			尖頭器	21	M18		395	36.0		3		
			剥片		M18		34	4.5		3		
			剥片	21	K18		663	1.3		3		
-216	149	40	尖頭器	21	K18		668	5.1		4		
				21	K18		852	24.6		4		
				21	L18		660	51.7		4		
					L18		5	34.6		4		
			剥片	21	K18		1295	1.3		4		
			剥片		K18		170	1.7		4		
			剥片		L17		50	0.5		4		
			剥片	21	L18		455	1.0		4		
			剥片	21	L18		632	3.1		4		
			剥片	21	L18		698	0.9		4		
			剥片		L18		86	1.3		4		
			剥片	21	M17		149	4.3		4		
				21	M17		427	1.6		4		
			剥片	21	M17		298	9.0		4		
				21	M17		308	2.0		4		
			剥片	21	M17		300	2.3		4		
			剥片	21	M17		304	3.8		4		
			剥片	21	M17		470	6.7		3		
			剥片	21	M17		471	2.7		4		
			剥片	21	M17		472	2.8		4		
			剥片	21	M17		546	3.7		4		
				21	M17		684	3.9		4		
			剥片	21	M17		773	3.3		3		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片		M17		48	1.1		4		
					M17		61	0.9		4		
			剥片		M17		49	0.6		4		
			剥片		M17		53	0.4		4		
			剥片	21	N17		219	3.8		4		
				21	N17		1985	2.5		3		
					N17		26	5.2		4		
			剥片	21	N17		268	1.6		4		
			剥片	21	N17		278	6.8		4		
			剥片	21	N17		537	2.8		3		
			剥片	21	N17		917	1.1		4		
			剥片	21	N17		1969	1.1		3		
				21	N17		2274	1.7		3		
					N17		27	1.1		4		
					N17		28	0.7		4		
			剥片	21	N18		26	0.4		4		
			剥片		N18		23	1.7		4		
			剥片		N18		24	10.0		4		
			剥片		O18		3	10.7		4		
-235	155	91	接合資料	18-21				262.1	16	3-4	-	2510
-213	147	26	尖頭器	18	K16		19	127.2		4		
				21	N17		2000	79.7		4		
			剥片	21	K18		259	4.0		3		
			剥片	21	K18		536	1.7		4		
			剥片	21	K18		545	6.0		4		
			剥片	21	K18		1061	1.5		4		
				21	K18		1619	1.7		4		
				21	K18		1625	9.1		4		
					K18		137	1.3		4		
			剥片	21	K18		1125	2.2		4		
			剥片	21	K18		1389	4.9		4		
			剥片		K18		107	1.5		3		
			剥片	21	L17		40	3.9		4		
				21	L17		44	1.4		4		
			剥片	21	L17		73	5.1		4		
			剥片	21	L20		8	10.9		4		
-236	155	92	接合資料	21				399.4	31	3-4	-	3134
-216	149	43	尖頭器		K18		8	46.0		4		
				21	L18		99	47.7		4		
					N18		9	9.3		4		
			剥片		L18		45	3.8		3		
				21	O18		5	4.6		4		
			剥片		L18		46	1.1		4		
					N18		4	80.5		3		
					N18		8	3.2		4		
			剥片		M18		13	11.6		4		
				21	N18		14	5.3		4		
			剥片		N17		13	4.8		4		
				21	O18		12	1.7		4		
				21	O18		31	6.0		4		
				21	O18		33	2.0		4		
			剥片	21	N18		10	10.4		4		
			剥片	21	N18		211	11.5		4		
-216	149	39	尖頭器	21	N18		235	39.1		4		
					O18		1	46.2		4		
			剥片	21	N18		236	2.2		4		
				21	O18		30	17.4		4		
			剥片		N18		11	7.0		4		
			剥片	21	O18		11	3.1		4		
				21	O18		32	2.3		4		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	21	O18		17	5.9		4		
			剥片	21	O18		20	3.5		4		
			剥片	21	O18		25	4.5		4		
			剥片	21	O18		34	1.2		4		
			剥片	21	O18		35	5.0		4		
			剥片	21	O18		36	2.7		4		
			剥片	21	O18		38	2.5		4		
			剥片		O18		2	7.3		4		
-237	155	93	接合資料	21				153.4	39	4	-	2509
			剥片	21	K18		98	6.1		4		
			剥片	21	K18		660	4.1		4		
-215	148	34	尖頭器	21	K18		197	5.7		4		
				21	K18		505	22.5		4		
					K18		98	3.6		4		
					K18		124	2.0		4		
					K18		125	2.2		4		
					K18		138	1.5		4		
				21	L18		500	26.9		4		
			剥片	21	K18		226	2.9		4		
					K18		132	1.2		4		
					K18		133	0.8		4		
			剥片	21	K18		437	2.1		4		
			剥片	21	K18		445	3.7		4		
			剥片	21	K18		446	7.9		4		
				21	K18		679	1.4		4		
			剥片	21	K18		630	2.3		4		
					K18		131	4.5		4		
				21	L18		654	5.4		4		
				21	L18		674	2.3		4		
				21	L18		712	1.5		4		
			剥片	21	K18		657	5.6		4		
				21	K18		658	2.1		4		
			剥片	21	K18		661	1.3		4		
			剥片	21	K18		665	4.8		4		
			剥片	21	K18		832	8.8		4		
			剥片	21	K18		840	2.6		4		
			剥片	21	K18		856	0.9		4		
			剥片	21	K18		892	0.9		4		
			剥片	21	K18		1310	0.7		4		
			剥片	21	K18		1395	0.9		4		
			剥片		K18		129	3.3		4		
					K18		130	0.9		4		
			剥片		K18		134	0.3		4		
			剥片		K18		135	0.4		4		
					L17		36	5.8		4		
			剥片		K18		139	0.5		4		
			剥片	21	K19		81	1.9		4		
			剥片	21	L18		677	1.1		4		
-237	156	94	接合資料	15				191.8	24	1	-	2429
			剥片		K12		18	5.4		1		
					K12		19	1.8		1		
			剥片		K12		25	2.3		1		
				15	K13		594	1.5		1		
			剥片		K12		26	2.8		1		
			剥片	15	K13		4	1.8		1		
					K13		25	2.2		1		
			剥片	15	K13		30	1.2		1		
-215	148	35	尖頭器	15	K13		99	72.5		1		
				15	K13		348	56.9		1		
-	156	108	剥片	15	K13		106	4.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	15	K13		187	1.6		1		
			剥片	15	K13		223	1.8		1		
				15	K13		596	2.2		1		
			剥片	15	K13		273	3.5		1		
			剥片	15	K13		309	1.8		1		
				15	K13		391	5.2		1		
			剥片	15	K13		473	2.3		1		
			剥片	15	K13		487	1.4		1		
			剥片	15	K13		496	3.3		1		
			剥片	15	K13		534	1.2		1		
			剥片	15	K13		560	0.7		1		
			剥片		K13		18	2.7		1		
			剥片		K13		24	11.4		1		
-238	156	95	接合資料	21				1,117.5	132	3-4	359	2494
			剥片	21	J18		7	2.2		4		
				21	K18		312	5.1		4		
				21	K18		822	5.1		4		
			剥片		J19		1	3.9		4		
			剥片		K17		39	0.9		3		
				21	K18		603	1.7		4		
				21	K18		745	9.6		4		
				21	K18		1616	1.0		4		
				21	K18		1628	8.1		4		
					L17		33	1.4		3		
			剥片		K17		43	2.5		3		
				21	L17		57	3.4		4		
			剥片	21	K18		14	16.1		4		
			剥片	21	K18		32	8.4		4		
			剥片	21	K18		59	3.8		4		
				21	K18		1405	3.4		4		
				21	L18		260	5.3		4		
			剥片	21	K18		156	5.0		4		
			剥片	21	K18		174	5.4		4		
			剥片	21	K18		207	3.3		4		
				21	K18		1109	2.2		4		
			剥片	21	K18		256	1.4		4		
				21	K18		741	2.9		4		
			剥片	21	K18		314	2.0		4		
				21	K18		614	1.7		4		
			剥片	21	K18		321	5.5		4		
				21	K18		767	3.4		4		
			剥片	21	K18		411	9.4		4		
				21	K18		1336	62.2		4		
			剥片	21	K18		420	10.4		4		
					K18		51	9.2		4		
			剥片	21	K18		480	35.4		4		
					K18		145	0.7		4		
			剥片	21	K18		534	4.1		4		
				21	K18		641	1.5		4		
			剥片	21	K18		546	0.8		4		
			剥片	21	K18		559	8.1		4		
					L17		15	2.6		3		
			剥片	21	K18		569	1.3		4		
-215	149	38	尖頭器	21	K18		581	66.1		4		
				21	K18		954	66.6		4		
			剥片	21	K18		588	3.7		4		
			剥片	21	K18		624	11.5		4		
			剥片	21	K18		636	1.4		4		
				21	K18		1276	2.8		4		
			剥片	21	K18		640	16.0		4		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	21	K18		714	29.5		4		
			剥片	21	K18		746	1.2		4		
			剥片	21	K18		803	1.1		4		
				21	K18		1374	14.6		4		
			剥片	21	K18		807	9.6		4		
				21	K18		1359	1.3		4		
			剥片	21	K18		819	3.5		4		
			剥片	21	K18		845	4.2		4		
				21	K18		1075	1.8		4		
					K18		55	2.2		3		
				21	L18		647	6.4		4		
			剥片	21	K18		846	2.1		4		
				21	K18		1087	8.5		4		
				21	M18		212	12.2		4		
			剥片	21	K18		915	11.8		4		
			剥片	21	K18		916	2.0		4		
			剥片	21	K18		922	1.7		4		
				21	K18		1062	1.7		4		
			剥片	21	K18		949	23.9		4		
			剥片	21	K18		1044	3.0		4		
215	148	36	尖頭器	21	K18		1068	86.4		4		
					K18		5	84.9		4		
			剥片	21	K18		1119	1.2		4		
			剥片	21	K18		1121	5.7		4		
			剥片	21	K18		1179	4.3		4		
			剥片	21	K18		1194	25.5		4		
				21	K18		1356	1.3		4		
			剥片	21	K18		1243	5.1		4		
				21	K18		1637	4.3		4		
			剥片	21	K18		1259	0.7		4		
			剥片	21	K18		1273	20.7		4		
			剥片	21	K18		1349	3.0		4		
				21	K18		1440	9.0		4		
				21	K18		1517	7.7		4		
			剥片	21	K18		1361	13.5		4		
			剥片	21	K18		1469	1.0		4		
			剥片	21	K18		1470	6.1		4		
			剥片	21	K18		1505	36.2		4		
			剥片	21	K18		1507	1.7		4		
					K18		72	1.0		3		
				21	L18		14	0.9		4		
				21	L18		263	32.4		4		
					L18		19	3.2		3		
					M17		22	4.0		3		
			剥片	21	K18		1519	2.4		4		
			剥片	21	K18		1570	0.7		4		
			剥片	21	K18		1662	0.5		4		
			剥片		K18		53	2.9		3		
			剥片		K18		54	0.9		3		
			剥片		K18		56	2.6		3		
					K18		57	3.7		3		
					K18		58	0.5		3		
				21	K19		82	3.3		3		
					L17		12	42.6		3		
					L17		13	3.3		3		
					L17		14	2.2		3		
					L17		34	0.3		3		
			剥片		K18		59	0.5		3		
					L19		2	1.2		3		
					L19		3	1.4		3		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
							L19	4	3.6			3
							L19	5	1.7			3
			剥片				K18	64	6.7			3
			剥片				K18	66	1.4			3
				21			L18	147	1.1			4
				21			L18	630	1.2			4
				21			L18	679	3.1			4
			剥片				K18	69	3.2			3
			剥片	21			L17	29	5.2			4
							L17	10	0.5			3
			剥片	21			L17	35	24.5			4
			剥片	21			L17	59	4.8			4
			剥片	21			L17	70	6.7			4
			剥片	21			L17	83	3.2			4
			剥片	21			L18	7	2.8			4
				21			L18	166	2.6			4
			剥片	21			L18	26	1.6			4
			剥片	21			L18	380	11.1			4
			剥片	21			L18	578	1.0			4
			剥片				M17	6	5.6			3
			剥片				M17	7	3.4			3
							M18	6	13.2			3
			剥片	21			M18	90	0.6			4
							M18	11	3.6			3
			剥片	21			M18	427	4.5			4
			剥片	21			M18	428	1.0			3
239	157	96	接合資料	21				921.3	60	3-4	123	3049
			剥片				K17	52	6.0			3
			剥片	21			K18	4	1.9			3
	157	109	二次加工ある剥片	21			K18	255	5.7			3
				21			K18	778	53.9			3
							K18	104	12.3			3
			剥片	21			K18	982	3.4			4
				21			K18	984	1.2			4
				21			L18	313	8.2			4
			剥片	21			K18	1014	19.4			4
			剥片				K18	105	4.0			3
			剥片				K18	106	4.9			3
			剥片				K19	7	6.6			3
							K19	8	4.0			3
							M17	27	1.5			3
			剥片	21			L17	78	2.8			3
							M17	25	5.0			3
			剥片	21			L18	122	1.6			4
			剥片	21			L18	128	29.7			4
			剥片	21			L18	488	1.3			4
			剥片				L18	47	9.7			3
			剥片				L18	48	44.2			3
			剥片				L18	49	4.9			3
			剥片				L18	50	15.8			3
							N17	15	12.9			3
			剥片				L18	51	29.8			3
			剥片				L18	52	4.6			3
			剥片				L19	12	3.0			3
			剥片	21			M17	81	2.4			3
			剥片	21			M17	91	1.5			3
							M18	18	8.7			3
			剥片	21			M17	536	6.2			4
			剥片	21			M17	710	2.1			3
							M18	14	24.4			3

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
					M18		15	3.2		3		
-216	149	41	尖頭器	21	M17		803	237.5		3		
			剥片		M17		23	9.9		3		
				21	M18		77	2.5		3		
				21	N17		96	2.8		4		
				21	N17		1054	1.4		4		
				21	N17		1773	1.6		4		
			剥片		M17		24	9.6		3		
			剥片		M17		26	5.9		3		
				21	M18		89	7.0		3		
					N17		16	1.4		3		
			剥片		M17		29	1.4		3		
			剥片	21	M18		102	42.9		3		
				21	M18		119	2.4		3		
				21	M18		287	20.4		4		
			剥片	21	M18		387	3.4		4		
			剥片	21	M18		455	12.2		3		
					M19		3	6.8		3		
-212	146	19	尖頭器	21	M18		464	59.6		3		
-216	149	42	尖頭器	21	M18		494	84.8		3		
			剥片		M18		16	17.8		3		
			剥片		M18		17	6.1		3		
			剥片	21	N17		2059	16.4		3		
			剥片		N17		21	1.8		3		
					O17		1	14.1		3		
			剥片		N18		13	3.6		3		
					N18		14	1.2		3		
-241	161	97	接合資料	21				1,285.5	115	1	83	2540
			剥片	21	K18		165	31.1		1		
				21	M17		345	10.9		1		
			剥片	21	K18		1083	6.3		1		
			剥片		K18		26	4.4		1		
			剥片		K19		11	4.3		1		
					L20		1	13.2		1		
					L20		2	3.7		1		
					L20		3	2.8		1		
			剥片		L17		11	2.2		1		
				21	L18		52	3.7		1		
					L18		32	6.7		1		
			剥片		L17		38	2.3		1		
			剥片	21	L18		21	1.2		1		
				21	L18		270	8.8		1		
				21	L18		640	24.5		1		
					L18		10	16.9		1		
					L18		37	5.1		1		
			剥片	21	L18		22	2.5		1		
				21	L18		164	2.4		1		
				21	L18		234	21.0		1		
			剥片	21	L18		36	6.2		1		
			剥片	21	L18		37	7.5		1		
			剥片	21	L18		45	3.8		1		
				21	L18		701	126.9		1		
				21	M17		63	61.9		1		
			剥片	21	L18		56	8.0		1		
					L18		27	11.0		1		
					L18		28	3.7		1		
			剥片	21	L18		60	5.3		1		
				21	L18		637	4.1		1		
			剥片	21	L18		61	6.6		1		
				21	M18		101	8.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	21	L18		70	4.7		1		
				21	M17		242	5.9		1		
			剥片	21	L18		71	0.6		1		
				21	L18		330	0.9		1		
-214	147	30	尖頭器	21	L18		76	159.6		1		
				21	M18		91	135.6		1		
					M18		4	9.6		1		
			剥片	21	L18		86	0.7		1		
			剥片	21	L18		90	8.9		1		
			剥片	21	L18		92	1.5		1		
					L18		31	3.6		1		
			剥片	21	L18		98	39.8		1		
			剥片	21	L18		136	2.9		1		
			剥片	21	L18		158	2.1		1		
			剥片	21	L18		162	18.8		1		
					M17		20	1.9		1		
					N17		10	8.7		1		
			剥片	21	L18		176	17.2		1		
					L18		34	4.8		1		
					L18		35	2.6		1		
			剥片	21	L18		203	19.4		1		
			剥片	21	L18		236	4.3		1		
			剥片	21	L18		285	13.9		1		
			剥片	21	L18		328	4.9		1		
			剥片	21	L18		356	6.5		1		
			剥片	21	L18		387	5.1		1		
			剥片	21	L18		403	7.2		1		
					L19		11	4.5		1		
			剥片	21	L18		543	1.0		1		
					L18		58	0.9		1		
					L18		59	2.2		1		
					L18		63	1.7		1		
					L18		64	3.5		1		
			剥片	21	L18		641	2.4		1		
			剥片	21	L18		642	1.8		1		
					L18		70	1.0		1		
					L19		6	1.4		1		
				21	M18		348	0.9		1		
			剥片	21	L18		645	2.9		1		
			剥片	21	L18		678	1.5		1		
					L18		69	5.7		1		
					M19		2	2.6		1		
			剥片	21	L18		687	11.3		1		
			剥片		L18		9	4.2		1		
			剥片		L18		29	2.8		1		
					L18		38	1.9		1		
			剥片		L18		30	6.1		1		
			剥片		L18		33	4.3		1		
			剥片		L18		36	1.7		1		
			剥片		L18		39	5.2		1		
				21	M17		226	2.5		1		
				21	M17		278	14.7		1		
				21	N17		2	22.7		1		
					N18		6	2.5		1		
			剥片		L18		56	10.2		1		
			剥片		L18		60	2.1		1		
			剥片		L18		61	16.5		1		
				21	M17		346	1.2		1		
			剥片		L18		73	2.3		1		
			剥片		L18		74	0.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				21	M17		439	6.3		1		
					M18		23	0.3		1		
			剥片	21	L20		2	7.2		1		
				21	L20		7	3.7		1		
			剥片		L20		4	8.4		1		
				21	M19		4	2.7		1		
			剥片	21	M17		52	11.6		1		
			剥片	21	M17		70	2.8		1		
				21	M17		497	2.1		1		
					M17		21	6.1		1		
					M18		12	2.9		1		
					N18		7	2.1		1		
			剥片		M17		19	1.5		1		
					N17		9	21.8		1		
			剥片		M17		33	5.9		1		
			剥片	21	M18		15	1.6		1		
			剥片	21	M18		249	6.3		1		
					M18		10	1.1		1		
			剥片	21	M19		19	13.4		1		
			剥片	21	M19		30	4.5		1		
			剥片		M19		4	3.4		1		
			剥片		ボサ		12	94.9		1		
					ボサ		13	8.2		1		
243	158	112	接合資料	18+21				6,886.1	305	1+3	87	2576
			剥片	18	K16		105	6.4		1		
					L18		20	22.3		1		
					L18		23	7.5		1		
			剥片		K16		52	5.2		1		
				21	K18		50	3.5		1		
				21	K18		200	5.3		1		
				21	K18		977	16.8		1		
				21	K18		985	25.7		1		
					K18		174	2.6		1		
				21	L18		462	3.0		1		
				21	L18		573	4.2		1		
			剥片		K17		66	6.0		1		
					K17		67	2.9		1		
				21	M17		477	2.3		1		
			縦長剥片	21	K18		7	12.9		1		
				21	K18		13	1.1		1		
				21	K18		487	26.4		1		
				21	K18		1100	1.6		1		
					K18		63	5.4		1		
				21	L18		511	4.1		1		
				21	L18		681	0.9		1		
			剥片	21	K18		29	6.1		1		
				21	K18		204	2.1		1		
				21	K18		525	1.4		3		
				21	K18		878	2.7		1		
				21	K18		999	30.0		1		
				21	L18		454	3.4		1		
			剥片	21	K18		42	6.4		1		
				21	M18		438	12.3		1		
			剥片	21	K18		49	9.5		1		
					K18		191	6.0		1		
			剥片	21	K18		56	50.5		1		
					K18		62	2.0		1		
			剥片	21	K18		101	17.0		1		
				21	K18		1596	8.4		1		
				21	L18		556	4.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	21	K18		102	18.2		1		
					K18		172	15.0		1		
				21	M17		211	5.1		1		
			剥片	21	K18		184	7.2		1		
			剥片	21	K18		185	16.5		1		
			縦長剥片	21	K18		203	3.4		1		
				21	K18		275	23.0		1		
				21	K18		276	7.5		1		
				21	K18		277	3.7		1		
				21	K18		278	10.1		1		
				21	K18		366	3.6		1		
				21	K18		404	2.3		1		
				21	K18		493	13.0		1		
				21	K18		540	3.4		1		
				21	K18		682	8.4		1		
				21	K18		860	2.5		1		
					K18		39	29.1		1		
					K18		40	22.0		1		
				21	L18		322	96.6		1		
					L18		17	8.4		1		
			剥片	21	K18		337	2.5		1		
				21	K18		1516	93.2		1		
				21	L18		274	2.1		1		
				21	L18		497	33.9		1		
			剥片	21	K18		379	2.2		1		
				21	L18		271	3.9		1		
				21	L18		595	5.7		1		
				21	L18		663	5.0		1		
				21	L18		709	5.6		1		
					M17		9	302.8		1		
					M17		10	4.2		1		
				21	M18		430	2.1		1		
			剥片	21	K18		398	3.8		1		
				21	K18		876	7.1		1		
				21	K18		975	9.8		1		
				21	K18		1308	34.7		1		
				21	L18		463	3.0		1		
				21	L18		492	17.8		1		
			剥片	21	K18		479	6.1		1		
			縦長剥片	21	K18		489	4.2		1		
				21	K18		1403	10.8		1		
				21	K18		1538	3.4		1		
					K18		44	14.9		1		
					K18		45	18.8		1		
					K18		46	11.8		1		
				21	L18		150	11.4		1		
				21	L18		326	25.3		1		
				21	L18		574	3.4		1		
				21	L18		575	16.7		1		
				21	L18		589	7.2		1		
				21	L18		600	55.1		1		
			剥片	21	K18		538	67.9		1		
					K18		35	71.1		1		
					K18		43	4.7		1		
					K19		3	164.7		1		
			縦長剥片	21	K18		686	12.1		1		
				21	K18		880	8.7		1		
				21	K18		1053	2.8		1		
				21	K18		1165	5.1		1		
				21	L18		456	7.6		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
					L18		14	16.1		1		
					L18		24	4.2		1		
					L18		26	2.5		1		
			剥片	21	K18		704	17.0		1		
				21	M17		336	2.5		1		
			剥片	21	K18		707	4.1		1		
				21	K19		25	3.3		1		
			剥片	21	K18		785	6.8		1		
				21	K18		1561	6.0		1		
					K18		41	23.5		1		
					K18		42	13.0		1		
					L18		18	12.9		1		
				21	M17		217	15.9		1		
				21	M17		799	1.9		1		
			剥片	21	K18		791	6.7		1		
				21	K18		1566	5.5		1		
				21	L18		342	4.6		1		
				21	L18		419	6.8		1		
				21	L18		499	11.4		1		
				21	L18		580	12.0		1		
					L18		114	4.9		1		
			剥片	21	K18		841	8.7		1		
					L19		19	8.7		1		
			剥片	21	K18		865	4.9		1		
				21	K18		866	10.8		1		
				21	M17		352	7.1		1		
			石刃	21	K18		874	16.4		1		
				21	L18		555	14.5		1		
			剥片	21	K18		981	15.6		1		
			剥片	21	K18		995	20.9		1		
				21	L18		609	5.9		1		
				21	N17		1912	231.5		1		
			縦長剥片	21	K18		997	9.2		1		
					K18		34	66.5		1		
				21	L18		668	10.1		1		
					M17		4	46.1		1		
					M18		7	36.2		1		
					M19		7	9.3		1		
-210	145	10	尖頭器	21	K18		1006	65.6		1		
				21	M17		721	119.3		1		
			剥片	21	K18		1015	8.2		1		
			剥片	21	K18		1078	2.9		1		
				21	K19		24	3.4		1		
			石刃	21	K18		1110	21.9		1		
				21	K18		1494	4.1		1		
			剥片	21	K18		1117	124.9		1		
				21	K18		1219	184.4		1		
				21	L18		406	34.1		1		
			剥片	21	K18		1162	2.2		1		
				21	L18		82	8.1		1		
				21	L18		221	2.1		1		
				21	L18		360	2.4		1		
				21	L18		384	66.3		1		
				21	L18		412	6.1		1		
			剥片	21	K18		1458	86.1		1		
				21	L18		267	18.8		1		
					ボサ		23	16.5		1		
			剥片	21	K18		1649	9.6		1		
				21	L18		148	4.7		1		
			剥片		K18		38	57.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
					K18		68	5.0		1		
					L18		657	8.9		1		
			剥片		K18		47	40.7		1		
					K18		48	19.1		1		
					K18		215	3.4		1		
			剥片		K18		61	4.6		1		
				21	L18		427	5.4		1		
					L18		21	8.8		1		
			剥片		K18		175	11.4		1		
				21	M17		482	3.2		1		
				21	M17		727	5.6		1		
					M17		17	5.8		1		
			剥片		K18		177	17.7		1		
					K19		20	6.6		1		
			剥片		K18		193	15.1		1		
			剥片		K18		201	6.9		1		
			剥片		K18		205	11.2		1		
			石刃		K18		208	1.4		1		
				21	M17		794	11.8		1		
				21	N17		950	125.2		1		
				21	N17		1248	145.7		1		
			剥片		K18		209	2.6		1		
			剥片		K18		214	2.7		1		
-219	151	63	削器	21	K19		66	53.4		1		
					K19		2	64.2		1		
			剥片		K19		4	29.3		1		
			剥片		K19		16	20.1		1		
			剥片		K19		28	3.0		1		
					L20		7	6.1		1		
					L20		8	13.2		1		
					L20		9	4.9		1		
			縦長剥片	21	L17		16	8.1		1		
			剥片	21	L18		46	4.1		1		
			剥片	21	L18		47	2.1		1		
			石刃	21	L18		74	13.8		1		
				21	M17		695	12.3		1		
			剥片	21	L18		91	7.8		1		
				21	L18		282	36.3		1		
				21	L18		608	44.1		1		
				21	L18		622	2.5		1		
			剥片	21	L18		199	2.0		1		
			剥片	21	L18		201	11.5		1		
				21	L18		617	2.6		1		
			剥片	21	L18		206	1.4		1		
			剥片	21	L18		352	85.8		1		
				21	M17		49	10.3		1		
					M17		15	19.1		1		
			剥片	21	L18		355	28.4		1		
				21	L18		598	19.2		1		
				21	L18		509	1.7		1		
				21	L18		664	3.7		1		
				21	M18		504	31.0		1		
			剥片	21	L18		405	80.0		1		
			剥片	21	L18		439	2.5		1		
				21	M17		330	1.8		1		
			剥片	21	L18		441	8.3		1		
				21	M17		198	5.7		1		
			剥片	21	L18		443	11.3		1		
				21	L18		469	3.7		1		
			剥片	21	L18		530	26.0		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				21	L18		591	3.0		1		
					L18		25	7.9		1		
			剥片	21	L18		558	3.2		1		
					L19		28	10.6		1		
					M17		3	312.5		1		
			剥片	21	L18		568	9.9		1		
			剥片	21	L18		596	24.8		1		
			石刃	21	L18		614	5.7		1		
					L18		99	14.1		1		
					N17		3	4.0		1		
			剥片	21	L18		638	12.7		1		
-214	148	32	尖頭器		L18		2	309.5		1		
					21	M17	464	129.9		1		
			剥片		L18		16	10.5		1		
					N18		1	14.0		1		
			剥片		L18		22	136.9		1		
					M17		51	14.9		1		
					M18		8	10.0		1		
			剥片		L18		88	8.3		1		
				21	M18		344	7.6		1		
			剥片		L18		101	9.1		1		
			剥片		L19		14	13.1		1		
					M18		30	104.5		1		
			剥片	21	M17		31	4.2		1		
			剥片	21	M17		48	5.1		1		
					M18		31	4.3		1		
			剥片	21	M17		67	2.8		1		
			剥片	21	M17		75	6.6		1		
				21	M17		219	9.2		1		
				21	M17		303	20.0		1		
			剥片	21	M17		197	2.6		1		
				21	M18		449	3.2		1		
			石刃	21	M17		200	17.5		1		
				21	M17		478	5.6		1		
				21	M18		479	6.9		1		
			剥片	21	M17		218	6.1		1		
					M18		39	9.6		1		
			剥片	21	M17		231	16.8		1		
-219	151	64	削器	21	M17		233	89.8		1		
				21	M17		347	23.7		1		
				21	M17		484	78.3		1		
			剥片	21	M17		240	10.1		1		
			剥片	21	M17		292	19.0		1		
			剥片	21	M17		310	5.5		1		
			剥片	21	M17		311	13.9		1		
			剥片	21	M17		314	3.4		1		
			石刃	21	M17		317	2.7		1		
					M17		11	7.2		1		
			剥片	21	M17		328	3.2		1		
			剥片	21	M17		443	2.8		1		
					M17		8	8.8		1		
			剥片	21	M17		444	2.6		1		
			剥片	21	M17		446	4.0		1		
			剥片	21	M17		458	16.1		1		
			剥片	21	M17		460	11.6		1		
			剥片	21	M17		531	10.1		1		
					N18		5	1.1		1		
			剥片	21	M17		559	3.5		1		
			剥片	21	M17		577	15.1		1		
			剥片	21	M17		744	7.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片		M17		12	17.1		1		
			剥片		M17		56	9.6		1		
				21	M18		173	14.9		1		
			剥片	21	M18		340	69.5		1		
			剥片	21	M18		347	4.4		1		
				21	M18		422	12.5		1		
			剥片	21	M18		418	35.2		1		
				21	M18		465	17.7		1		
			剥片	21	M18		471	21.9		1		
			剥片	21	M18		473	40.0		1		
			剥片	21	M18		474	40.2		1		
			剥片	21	M18		477	48.0		1		
			剥片		M18		42	10.6		1		
			剥片	21	N17		354	25.5		1		
			剥片	21	N17		432	6.3		1		
			剥片	21	N17		448	29.9		1		
			剥片	21	N17		470	18.4		1		
			剥片	21	N17		677	3.6		1		
			剥片	21	N17		824	1.5		1		
			剥片		N17		2	137.4		1		
			剥片	21	N18		15	14.1		1		
			剥片	21	N18		118	4.8		1		
			剥片	21	N18		223	19.9		1		
			剥片		N18		2	18.1		1		
			剥片		N18		3	4.6		1		
			剥片	21	O18		8	3.7		1		
			剥片	21	O18		9	47.6		1		
			剥片	21	O18		37	8.6		1		
-219	151	60	搔器	21	O19		9	160.3		1		
-246	162	100	接合資料	19-21			2,281.3	230	5	79	2526	
			剥片		K16		50	17.1		5		
				21	K18		555	21.0		5		
				21	K18		556	4.1		5		
				21	K18		958	1.1		5		
			剥片		K16		51	1.6		5		
					K17		53	2.9		5		
				21	K18		1192	2.6		5		
			剥片	19	K17		1	12.7		5		
					K17		37	14.8		5		
				21	K18		154	14.4		5		
				21	K18		413	104.8		5		
				21	K18		463	3.0		5		
				21	K18		749	42.7		5		
				21	K18		1140	23.8		5		
				21	K18		1142	19.4		5		
				21	K18		1449	17.4		5		
					K18		136	1.2		5		
			剥片	21	K17		11	22.3		5		
				21	K18		460	10.3		5		
				21	K18		499	7.6		5		
				21	K18		1201	3.0		5		
				21	K18		1573	4.1		5		
					K18		31	34.4		5		
					K18		97	4.9		5		
					K18		108	2.5		5		
					K18		111	2.4		5		
					K18		112	1.7		5		
					K18		113	2.7		5		
			剥片	21	K17		106	5.2		5		
				21	K18		290	5.4		5		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				21	K18		566	17.6		5		
			剥片		K17		36	5.8		5		
				21	K18		306	10.0		5		
				21	K18		417	28.8		5		
				21	K18		423	2.4		5		
				21	K18		1322	2.3		5		
			剥片		K17		38	58.8		5		
					K17		50	12.9		5		
				21	K18		308	46.9		5		
				21	K18		1035	4.5		5		
				21	K18		1133	12.2		5		
			剥片		K17		45	130.3		5		
			剥片		K17		46	12.2		5		
					K17		47	10.9		5		
				21	K18		40	3.3		5		
				21	K18		549	11.4		5		
				21	K18		1086	3.8		5		
				21	K18		1250	2.5		5		
				21	K18		1455	6.9		5		
				21	K18		1463	10.8		5		
			剥片		K17		48	1.7		5		
					K17		51	0.9		5		
					K18		103	6.3		5		
				21	K18		107	7.9		5		
				21	K18		108	3.2		5		
				21	K18		249	3.0		5		
				21	K18		627	3.4		5		
				21	K18		759	1.0		5		
				21	K18		941	3.9		5		
				21	K18		1051	2.9		5		
				21	K18		1122	4.3		5		
				21	K18		1654	18.7		5		
					K18		114	0.5		5		
			剥片		K17		49	4.4		5		
				21	K18		35	1.5		5		
				21	K18		554	2.8		5		
				21	K18		757	15.1		5		
				21	K18		1316	0.5		5		
					K18		120	1.1		5		
			剥片		K17		54	8.3		5		
				21	K18		648	18.0		5		
				21	K18		919	1.9		5		
			剥片		K17		55	2.0		5		
				21	K18		430	2.4		5		
			剥片		K17		56	0.9		5		
			剥片	21	K18		38	11.1		5		
				21	K18		246	14.4		5		
				21	K18		1342	12.0		5		
			剥片	21	K18		45	7.4		5		
			剥片	21	K18		88	2.4		5		
				21	L17		87	3.0		5		
					L17		22	0.6		5		
			剥片	21	K18		100	27.4		5		
				21	K18		105	2.4		5		
				21	K18		438	1.5		5		
				21	K18		439	8.6		5		
				21	K18		440	7.4		5		
			剥片	21	K18		109	4.0		5		
				21	K18		253	1.7		5		
				21	K18		342	4.7		5		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				21	K18		1208	3.6		5		
				21	K18		1221	0.7		5		
				21	K18		1261	3.6		5		
					L17		23	31.5		5		
					L17		25	0.6		5		
			剥片	21	K18		136	4.9		5		
			剥片	21	K18		137	6.9		5		
			剥片	21	K18		145	3.4		5		
				21	K18		163	11.6		5		
				21	K18		602	2.4		5		
				21	K18		1225	3.6		5		
				21	K18		1464	1.0		5		
			剥片	21	K18		159	2.7		5		
				21	K18		1618	75.6		5		
			剥片	21	K18		235	3.6		5		
				21	K18		733	8.7		5		
				21	K18		771	5.9		5		
					K18		30	11.0		5		
			剥片	21	K18		236	6.3		5		
					K18		224	4.7		5		
			剥片	21	K18		241	4.5		5		
				21	K18		1229	2.9		5		
				21	L18		188	2.5		5		
			剥片	21	K18		297	3.1		5		
				21	K18		570	9.6		5		
				21	L18		700	5.1		5		
			剥片	21	K18		319	3.8		5		
				21	K18		1041	1.5		5		
				21	K18		1127	3.4		5		
				21	L17		43	3.1		5		
			剥片	21	K18		338	10.2		5		
				21	K18		544	18.2		5		
				21	K18		937	23.9		5		
				21	K18		1154	93.9		5		
				21	K18		1607	3.4		5		
				21	K18		1610	79.9		5		
			剥片	21	K18		403	7.0		5		
			剥片	21	K18		422	2.9		5		
				21	K18		1460	2.0		5		
				21	K18		1545	3.2		5		
			剥片	21	K18		427	8.4		5		
				21	K18		1174	0.9		5		
			剥片	21	K18		433	3.9		5		
				21	K18		747	2.7		5		
				21	K18		1134	4.4		5		
			剥片	21	K18		526	7.8		5		
				21	K18		755	6.1		5		
				21	K18		1056	9.0		5		
				21	K18		1302	3.5		5		
				21	K18		1442	4.8		5		
				21	K18		1584	6.0		5		
					K18		102	2.5		5		
					K18		115	3.3		5		
					K18		118	3.4		5		
			剥片	21	K18		537	2.1		5		
				21	K18		811	2.5		5		
				21	K18		1089	1.7		5		
				21	K18		1639	3.6		5		
			剥片	21	K18		548	5.5		5		
				21	K18		1145	11.6		5		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				21	K18		1329	1.8		5		
				21	K18		1523	2.0		5		
					K18		32	27.7		5		
			剥片	21	K18		553	6.0		5		
				21	K18		560	7.9		5		
				21	K18		1136	3.1		5		
				21	K18		1364	22.4		5		
			剥片	21	K18		572	25.5		5		
					K18		28	11.0		5		
					K18		29	7.6		5		
					K18		101	2.1		5		
					N17		14	9.1		5		
			剥片	21	K18		586	0.8		5		
			剥片	21	K18		592	1.2		5		
			剥片	21	K18		594	3.7		5		
			剥片	21	K18		612	5.0		5		
					K18		110	3.0		5		
				21	L17		66	6.7		5		
			剥片	21	K18		643	18.9		5		
				21	K18		917	98.0		5		
				21	K18		1059	1.3		5		
				21	K18		1274	16.0		5		
					L17		6	12.9		5		
			剥片	21	K18		644	11.3		5		
			剥片	21	K18		646	18.7		5		
				21	K18		1363	3.6		5		
				21	K18		1461	17.4		5		
				21	K18		1476	1.2		5		
					K18		116	2.0		5		
			剥片	21	K18		723	7.6		5		
				21	K18		1448	23.6		5		
			剥片	21	K18		728	7.2		5		
				21	K18		1045	7.7		5		
				21	K18		1520	2.9		5		
					L17		31	3.9		5		
			剥片	21	K18		736	14.8		5		
			剥片	21	K18		737	8.2		5		
				21	K18		774	8.4		5		
			剥片	21	K18		758	18.9		5		
				21	K18		1325	7.1		5		
			剥片	21	K18		888	64.5		5		
			剥片	21	K18		939	11.8		5		
			剥片	21	K18		942	3.7		5		
			剥片	21	K18		1143	2.5		5		
			剥片	21	K18		1147	10.2		5		
				21	K18		1247	5.0		5		
				21	K18		1319	3.2		5		
			剥片	21	K18		1155	19.3		5		
			剥片	21	K18		1242	1.7		5		
			剥片	21	K18		1252	3.5		5		
					L18		53	0.9		5		
			剥片	21	K18		1326	7.1		5		
				21	K18		1327	7.0		5		
					L17		7	16.1		5		
			剥片	21	K18		1432	3.9		5		
			剥片	21	K18		1443	1.5		5		
				21	K18		1541	9.6		5		
					L17		28	0.5		5		
				21	L18		109	4.4		5		
			剥片	21	K18		1555	1.1		5		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				21	K18		1575	26.7		5		
				21	L18		116	1.4		5		
				21	L18		378	12.6		5		
			剥片	21	K18		1627	11.6		5		
					L17		8	29.3		5		
			剥片		K18		33	16.7		5		
			剥片	21	K18		117	4.7		5		
					L17		86	2.3		5		
					L17		24	3.2		5		
					L17		30	2.0		5		
			剥片	21	L17		20	1.2		5		
				21	L17		21	3.8		5		
			剥片	21	L17		38	2.3		5		
			剥片		L17		26	4.9		5		
					L17		27	2.2		5		
					L17		29	2.5		5		
					L17		32	0.5		5		
			剥片	21	L18		110	13.9		5		
			剥片	21	L18		181	1.5		5		
				21	L18		374	1.6		5		
-248	163	102	接合資料	18				395.2	21	1	358	2458
			剥片	18	J16		20	3.4		1		
				18	L16		126	27.0		1		
			剥片	18	K16		64	3.6		1		
				18	K16		96	5.7		1		
			剥片	18	K16		143	17.2		1		
			剥片	18	K16		199	21.7		1		
			剥片	18	K16		201	2.3		1		
			剥片	18	K16		214	23.2		1		
			剥片	18	K16		235	11.2		1		
			剥片	18	K16		247	15.0		1		
			剥片	18	K16		258	6.6		1		
			剥片		K16		2	113.1		1		
			剥片		K16		11	11.4		1		
			剥片		K16		33	9.3		1		
			剥片	18	L16		39	2.0		1		
			剥片	18	L16		51	6.3		1		
			剥片	18	L16		55	1.6		1		
				18	L16		85	8.8		1		
			剥片	18	L16		76	6.4		1		
			剥片	18	L16		82	17.7		1		
			剥片	18	L16		125	81.7		1		
-248	165	103	接合資料	21				829.7	33	1	360	2575
			縦長剥片	21	K18		1	5.8		1		
-222	152	79	石核	21	K18		112	238.8		1		
			縦長剥片	21	K18		248	7.8		1		
			石刃	21	K18		390	5.3		1		
			縦長剥片	21	K18		515	25.3		1		
			縦長剥片	21	K18		611	3.2		1		
				21	K18		1376	1.3		1		
			剥片	21	K18		650	9.4		1		
				21	K18		923	1.4		1		
			石刃	21	K18		692	5.4		1		
				21	K18		834	8.3		1		
			剥片	21	K18		777	1.2		1		
			縦長剥片	21	K18		867	5.8		1		
				21	K18		1098	3.7		1		
				21	K18		1350	8.4		1		
					K18		80	25.3		1		
					K18		81	1.9		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
					K18		82	3.7		1		
-217	150	47	両面調整石器	21	K18		1067	379.6		1		
			剥片	21	K18		1220	4.5		1		
			剥片	21	K18		1526	2.4		1		
			縦長剥片	21	K18		1257	1.7		1		
			剥片	21	K18		1371	11.7		1		
			石刃	21	K18		1483	22.4		1		
			縦長剥片	21	K18		1553	18.7		1		
			縦長剥片		K18		79	1.4		1		
			縦長剥片		K19		5	0.8		1		
			縦長剥片		K18		148	0.4		1		
			剥片		K19		13	5.1		1		
			剥片		L17		40	6.6		1		
			剥片		L17		41	2.5		1		
			剥片	21	L18		377	3.4		1		
			石刃	21	L18		308	6.5		1		
-249	165	104	接合資料	15				1,085.2	50	1	354	2090
			剥片	15	J12		125	6.9		1		
			剥片	15	J12		205	14.3		1		
			剥片	15	J13		55	5.2		1		
			剥片	15	K13		508	13.2		1		
			剥片	15	K13		509	1.5		1		
			石刃	15	J12		284	22.1		1		
			石刃	15	J12		532	24.6		1		
			剥片	15	J12		299	9.7		1		
			剥片	15	J12		425	11.7		1		
			剥片	15	K13		1	1.5		1		
			剥片	15	K13		95	5.6		1		
			剥片	15	K13		386	4.4		1		
			剥片	15	K13		439	54.8		1		
			剥片	15	K13		448	15.3		1		
			縦長剥片	15	J12		442	1.3		1		
			縦長剥片	15	J12		596	4.2		1		
			剥片	15	J12		545	4.7		1		
			縦長剥片	15	J12		710	13.0		1		
			縦長剥片		J12		1	10.5		1		
			石刃	15	J12		824	8.9		1		
			剥片	15	J12		880	3.7		1		
			剥片	15	K13		586	3.9		1		
			剥片	15	J12		1037	14.0		1		
			剥片	15	J12		1490	16.4		1		
			剥片	15	J12		1058	68.2		1		
			剥片		J12		31	11.1		1		
			剥片		J12		32	1.6		1		
			剥片	15	J12		1095	83.1		1		
			剥片		K12		30	9.4		1		
			石刃	15	J12		1325	17.7		1		
			縦長剥片	15	J12		1478	2.2		1		
			剥片	15	J12		1505	4.8		1		
-218	150	56	播器	15	J13		221	22.9		1		
			剥片	15	K12		14	17.6		1		
			剥片	15	K12		85	13.1		1		
			剥片	15	K12		104	1.2		1		
			剥片	15	K12		173	2.8		1		
			剥片	15	K12		199	18.2		1		
			剥片	15	K12		229	4.2		1		
			剥片	15	K12		86	11.5		1		
			石刃	15	K12		92	12.1		1		
			石刃		K12		20	8.4		1		
			剥片		K12		21	2.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			縦長剥片	15	K13		10	9.3		1		
			剥片	15	K13		83	7.8		1		
-218	150	55	播器	15	K13		290	16.5		1		
			剥片	15	K13		440	62.8		1		
			剥片	15	K13		515	10.1		1		
			剥片		ボヤ		18	240.7		1		
			剥片		ボヤ		19	154.0		1		
-251	166	105	接合資料	21				2,821.2	109	1	82	2539
-221	152	74	舟底形石器		K17		1	106.6		1		
			舟底形石器		K18		1	25.6		1		
			剥片		K17		5	18.6		1		
			剥片		K17		6	16.0		1		
			剥片	21	K18		26	11.4		1		
			剥片	21	K18		1409	3.2		1		
			剥片		K17		8	7.6		1		
			縦長剥片	21	K17		44	1.9		1		
			縦長剥片		K18		1214	58.7		1		
			縦長剥片		K18		85	5.2		1		
-252	167	106	二次加工ある剥片	21	K18		10	65.0		1		
			二次加工ある剥片		K18		86	10.4		1		
			二次加工ある剥片		L18		43	1.0		1		
			二次加工ある剥片	21	L18		318	38.6		1		
			剥片	21	K18		25	74.2		1		
			剥片	21	K18		1385	0.9		1		
			剥片	21	K18		1582	1.7		1		
			剥片		K18		75	23.9		1		
			剥片		K18		76	2.7		1		
			剥片		L17		21	0.3		1		
			剥片	21	K18		84	1.6		1		
			剥片	21	K18		117	3.5		1		
			剥片	21	K18		140	5.3		1		
			剥片	21	K18		155	26.8		1		
			剥片	21	K18		806	11.9		1		
			剥片		K18		90	26.1		1		
			剥片		K18		96	1.9		1		
			剥片	21	K18		170	5.1		1		
			剥片	21	K18		502	11.3		1		
			剥片	21	K18		858	2.1		1		
			剥片	21	K18		969	2.2		1		
			剥片	21	K18		993	13.7		1		
			剥片	21	K18		181	6.9		1		
			剥片	21	K18		350	6.9		1		
			剥片	21	K18		211	1.5		1		
			剥片	21	K18		573	3.3		1		
			剥片	21	L17		67	1.6		1		
			剥片	21	K18		247	4.2		1		
			剥片		K18		77	1.5		1		
			剥片	21	K18		295	2.3		1		
			剥片	21	K18		1017	5.9		1		
			剥片	21	K18		296	11.4		1		
			剥片	21	K18		1333	6.9		1		
			剥片	21	K18		310	1.1		1		
			剥片	21	K18		517	2.4		1		
			剥片	21	K18		1226	5.6		1		
			剥片		L18		44	1.5		1		
			剥片	21	K18		328	1.0		1		
			剥片	21	K18		393	13.2		1		
			剥片	21	K18		407	9.4		1		
			剥片	21	K18		1253	5.4		1		
			縦長剥片	21	K18		441	44.1		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				21	K18		1152	32.2		1		
				21	K18		1185	1.9		1		
				21	K18		1248	6.2		1		
				21	K18		1630	89.0		1		
			剥片	21	K18		509	6.3		1		
			剥片	21	K18		511	1.2		1		
			剥片	21	K18		584	4.2		1		
			剥片	21	K18		600	23.0		1		
			剥片	21	K18		625	1.9		1		
			剥片	21	K18		689	3.1		1		
			剥片	21	K18		694	4.0		1		
			剥片	21	K18		709	4.5		1		
			剥片	21	K18		750	10.7		1		
			剥片	21	K18		769	2.0		1		
				21	K18		833	3.9		1		
				21	K18		890	222.3		1		
				21	K18		1217	30.5		1		
			剥片	21	K18		808	8.2		1		
				21	K18		1206	2.5		1		
			剥片	21	K18		903	1.0		1		
			剥片	21	K18		1018	0.9		1		
			剥片	21	K18		1024	10.8		1		
			剥片	21	K18		1254	0.9		1		
			剥片	21	K18		1255	3.4		1		
				21	K18		1338	7.8		1		
			剥片	21	K18		1428	41.8		1		
			剥片	21	K18		1429	29.4		1		
			剥片	21	K18		1438	2.2		1		
			剥片	21	K18		1441	70.8		1		
					K18		21	118.4		1		
			剥片	21	K18		1454	112.9		1		
			剥片	21	K18		1504	37.4		1		
			剥片	21	K18		1574	1.0		1		
			縦長剥片	21	K18		1620	269.1		1		
			剥片	21	K18		1624	1.8		1		
-217	150	45	両面調整石器	21	K18		1653	232.7		1		
-223	153	84	石核		K18		6	476.8		1		
			剥片		K18		22	12.9		1		
					K18		23	5.2		1		
					K18		78	18.7		1		
			剥片		K18		24	1.5		1		
			剥片		K18		25	0.6		1		
			剥片		K18		88	14.9		1		
					K18		89	15.4		1		
			剥片		K18		92	16.6		1		
					L17		16	2.0		1		
					L17		17	8.3		1		
			剥片		K18		94	25.3		1		
			剥片		K18		95	4.0		1		
			剥片		K19		6	2.3		1		
			剥片	21	L17		9	33.4		1		
				21	L17		24	1.6		1		
			剥片	21	L17		37	2.0		1		
					L18		7	10.0		1		
			剥片		L17		5	17.5		1		
			剥片		L18		8	24.7		1		
			剥片	21	M18		339	6.5		1		
-253	167	107	接合資料	20-21				1,530.8	67	4	145	3188
			剥片	20	M16		6	1.4		4		
				20	N17		144	2.4		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				20	O16		13	22.8		4		
				20	O16		14	4.4		4		
			剥片	20	M16		7	21.3		4		
				20	O16		17	2.7		4		
				20	O16		29	4.8		4		
			剥片	21	M17		3	1.1		4		
				21	M17		26	43.1		4		
				20	O16		15	10.5		4		
			剥片		M17		2	10.2		4		
				20	N17		146	56.6		4		
				20	O16		34	68.6		4		
			剥片	20	N16		1	7.4		4		
			剥片	20	N16		5	2.4		4		
				20	O16		7	147.8		4		
				20	O16		12	12.5		4		
				20	O16		22	107.6		4		
				20	O16		40	167.7		4		
			剥片	20	N16		6	2.2		4		
			剥片	20	N16		7	2.8		4		
				20	N16		9	14.6		4		
			剥片	20	N16		10	1.5		4		
			剥片	20	N16		11	0.8		4		
					N16		3	6.2		4		
				20	O16		3	5.0		4		
				20	O16		46	6.4		4		
			剥片	20	N16		13	2.0		4		
			剥片	20	N16		16	4.4		4		
					O16		2	1.4		4		
			剥片	20	N16		17	4.2		4		
			剥片	20	N16		19	2.8		4		
			剥片	20	N16		20	3.2		4		
			剥片	20	N16		21	5.5		4		
			剥片	20	N16		22	1.1		4		
			剥片	20	N16		23	26.1		4		
			剥片	20	N16		24	5.6		4		
			剥片		N16		1	7.4		4		
			剥片		N16		2	1.5		4		
			剥片	20	N17		145	2.2		4		
			剥片		N17		1	5.3		4		
				20	O16		28	75.9		4		
			剥片	20	O16		1	2.4		4		
				20	O16		26	15.1		4		
			剥片	20	O16		4	9.3		4		
			剥片	20	O16		9	10.2		4		
			剥片	20	O16		10	28.2		4		
			剥片	20	O16		16	2.4		4		
				20	O16		30	12.1		4		
					O16		3	6.0		4		
			剥片	20	O16		18	5.9		4		
				20	O16		21	90.3		4		
				20	O16		27	1.8		4		
			剥片	20	O16		19	56.6		4		
-217	150	44	両面調整石器	20	O16		20	56.0		4		
			剥片	20	O16		23	3.8		4		
			剥片	20	O16		24	0.7		4		
			剥片	20	O16		25	11.0		4		
			剥片	20	O16		31	10.7		4		
-222	153	82	石核	20	O16		33	86.8		4		
			剥片	20	O16		36	6.8		4		
-222	153	81	石核	20	O16		39	59.6		4		

奥白滝 1 遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	20	O16		41	7.1		4		
			剥片	20	O16		42	4.0		4		
			剥片	20	O16		43	26.3		4		
			剥片		O16		1	5.7		4		
			剥片	21	O18		2	128.6		4		
-255	157	110	接合資料	21				424.3	83	3・4	124	3060
			剥片	21	K18		128	1.4		3		
			剥片	21	K18		205	1.1		3		
-210	144	9	尖頭器	21	K18		167	79.4		3		
			剥片	21	M17		774	45.1		3		
			剥片	21	K18		285	3.2		4		
			剥片	21	K18		286	3.5		4		
			剥片	21	K18		383	4.4		4		
			剥片	21	K18		1291	3.1		4		
			剥片	21	K18		1567	1.8		3		
			剥片		K18		150	0.7		4		
			剥片	21	L18		79	14.7		4		
			剥片	21	K18		416	3.3		3		
			剥片		K18		151	0.8		4		
			剥片		L18		75	2.8		4		
			剥片	21	K18		783	1.2		4		
			剥片	21	M17		297	2.1		3		
			剥片	21	K18		848	1.8		4		
-	157	111	尖頭器	21	K18		963	24.7		4		
			剥片	21	L17		49	40.1		4		
			剥片	21	M17		248	14.0		4		
			剥片	21	K18		1007	2.0		4		
			剥片		L18		80	1.6		4		
			剥片		K18		146	4.9		4		
			剥片		K18		147	2.0		4		
			剥片		K19		10	7.2		3		
			剥片		M17		38	4.1		4		
			剥片		L17		42	0.7		4		
			剥片		N17		22	0.8		4		
			剥片	21	L18		85	0.8		4		
			剥片	21	M17		565	5.4		3		
			剥片	21	M17		579	4.7		4		
			剥片	21	L18		155	4.7		4		
			剥片	21	L18		169	14.8		4		
			剥片	21	M17		269	1.8		3		
			剥片	21	M17		335	4.0		4		
			剥片		L18		91	5.7		4		
			剥片	21	M17		41	2.1		4		
			剥片	21	M17		50	2.0		4		
			剥片	21	M17		568	1.7		3		
			剥片	21	M17		324	3.6		4		
			剥片	21	M18		448	1.8		3		
			剥片	21	M17		326	2.5		4		
			剥片	21	M17		332	1.5		4		
			剥片	21	M17		337	0.8		4		
			剥片	21	M17		338	4.2		4		
			剥片	21	M17		340	1.3		3		
			剥片	21	M17		722	2.5		3		
			剥片	21	M17		348	4.8		4		
			剥片		M17		41	0.6		4		
			剥片	21	M17		353	1.6		4		
			剥片	21	M17		462	1.7		3		
			剥片	21	M17		596	0.7		3		
			剥片	21	M17		488	2.3		3		
			剥片	21	M17		783	6.1		3		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
						M17	40	0.9		4		
			剥片	21	M17		572	5.0		3		
			剥片	21	M17		576	2.7		3		
			剥片	21	M17		588	4.5		3		
			剥片		M17		35	2.0		3		
			剥片		M17		43	0.9		4		
			剥片		M17		44	1.6		4		
			剥片		M17		45	2.4		4		
			剥片		M17		52	3.8		4		
			剥片	21	M18		280	5.7		4		
			剥片	21	M18		444	2.4		3		
			剥片	21	M18		470	1.2		3		
			剥片	21	M18		478	1.6		3		
			剥片		M18		26	1.8		4		
			剥片		M18		28	0.4		4		
			剥片		M18		35	4.3		4		
			剥片		M18		36	2.1		4		
			剥片		N16		4	3.2		4		
			剥片	21	N17		1826	1.3		3		
			剥片	21	N17		86	5.6		4		
			剥片		N18		22	1.2		4		
			剥片	21	N17		103	2.7		4		
			剥片	21	N17		117	0.9		4		
			剥片	21	N17		260	1.3		4		
			剥片	21	N17		1246	2.3		4		
			剥片	21	N17		1591	1.7		3		
			剥片	21	N17		1903	1.6		3		
			剥片	21	N17		1251	1.2		4		
			剥片	21	N17		1556	1.8		4		
-256	163	113	接合資料	15-17				585.6	73	4	68	2433
			剥片		J14		1	4.5		4		
			剥片	17	J15		38	2.2		4		
			剥片	17	K15		211	5.0		4		
			剥片	17	J15		43	45.5		4		
			剥片	17	J15		65	3.1		4		
			剥片		J15		3	34.9		4		
			剥片		K16		53	2.6		4		
			剥片		J15		4	6.4		4		
			剥片		J15		5	1.2		4		
			剥片	17	K15		17	1.8		4		
			剥片	17	J17		7	5.0		4		
			剥片	17	K15		381	8.4		4		
			剥片	15	K13		58	96.6		4		
			剥片	15	K13		297	4.1		4		
			剥片	17	K15		340	2.2		4		
			剥片		K14		11	2.0		4		
			剥片	17	K15		81	5.0		4		
			剥片	17	K15		3	3.7		4		
			剥片	17	K15		46	4.3		4		
			剥片	17	K15		59	4.0		4		
			剥片	17	K15		10	4.3		4		
			剥片	17	K15		298	1.9		4		
			剥片	17	K15		30	13.3		4		
			剥片	17	K15		52	1.5		4		
			剥片	17	K15		55	2.5		4		
			剥片		K15		6	2.1		4		
			剥片	17	K15		57	6.0		4		
			剥片	17	K15		60	1.3		4		
			剥片	17	K15		63	0.6		4		
			剥片	17	K15		118	1.6		4		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	17	K15		78	5.1		4		
				17	K15		382	1.1		4		
			剥片	17	K15		94	2.3		4		
			剥片	17	K15		100	12.0		4		
			剥片	17	K15		109	16.0		4		
			剥片	17	K15		115	3.6		4		
				17	K15		369	38.9		4		
			剥片	17	K15		119	17.8		4		
			剥片	17	K15		128	15.1		4		
					K15		4	2.7		4		
			剥片	17	K15		163	6.3		4		
				17	K15		339	6.5		4		
			剥片	17	K15		166	3.7		4		
			剥片	17	K15		167	1.1		4		
				17	K15		352	11.3		4		
			剥片	17	K15		179	1.6		4		
				17	K15		236	3.6		4		
			剥片	17	K15		180	2.7		4		
			剥片	17	K15		192	2.8		4		
				17	K15		193	7.4		4		
			剥片	17	K15		197	4.0		4		
					K15		2	3.8		4		
			剥片	17	K15		216	2.7		4		
			剥片	17	K15		260	0.7		4		
			剥片	17	K15		266	8.6		4		
			剥片	17	K15		268	1.9		4		
			剥片	17	K15		287	2.2		4		
			剥片	17	K15		296	19.6		4		
				17	L14		9	3.5		4		
			剥片	17	K15		300	8.0		4		
			剥片	17	K15		342	2.0		4		
			剥片	17	K15		351	37.8		4		
					K15		21	5.1		4		
			剥片	17	K15		362	0.8		4		
			剥片	17	K15		375	2.1		4		
			剥片	17	K15		376	2.0		4		
			剥片	17	K15		379	1.5		4		
			剥片		K15		3	1.4		4		
			剥片		K15		5	2.4		4		
			剥片		K15		7	10.4		4		
			剥片		K15		8	5.3		4		
			剥片	17	L14		11	2.2		4		
			剥片	17	L14		14	18.4		4		
-257	164	115	接合資料	18				524.1	40	1-3	71	2469
			剥片		J16		8	2.5		1		
			剥片	18	K16		37	1.1		1		
				18	K16		101	1.1		1		
			剥片	18	K16		39	4.6		1		
				18	K16		257	23.8		1		
					K16		27	1.6		1		
			剥片	18	K16		62	13.1		3		
			剥片	18	K16		66	2.4		1		
			剥片	18	K16		71	4.9		1		
				18	K16		113	8.9		1		
					K16		29	1.0		1		
			剥片	18	K16		80	5.1		1		
			剥片	18	K16		82	14.8		1		
				18	K16		151	2.6		1		
			剥片	18	K16		109	0.9		1		
			剥片	18	K16		122	1.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	18	K16		144	59.4		1		
			剥片	18	K16		169	0.9		1		
			剥片	18	K16		185	84.8		1		
			剥片	18	K16		202	0.5		1		
					K16		6	12.3		1		
			剥片	18	K16		223	0.9		1		
			剥片	18	K16		224	16.5		1		
			剥片	18	K16		241	6.5		1		
				18	L16		10	2.8		1		
					L16		2	0.5		1		
			剥片	18	K16		294	67.1		1		
			剥片		K16		13	8.3		1		
			剥片		K16		18	1.7		1		
			剥片		K16		20	1.1		1		
			剥片		K16		22	18.1		1		
			剥片		K16		23	19.8		1		
			剥片		K16		31	1.9		1		
			剥片		L15		1	18.0		1		
			剥片	18	L16		34	11.9		1		
			剥片	18	L16		66	82.4		1		
			剥片	18	L16		70	2.7		1		
			剥片	18	L16		78	12.5		1		
			剥片	18	L16		83	2.4		1		
			剥片	18	L16		102	1.5		1		
-256	168	118	接合資料	15				194.8	8	1	50	2087
			剥片	15	J12		226	7.7		1		
-222	152	78	石刃核	15	J12		286	145.4		1		
			剥片	15	J12		571	11.4		1		
			剥片	15	J12		723	4.6		1		
			剥片	15	J12		733	11.5		1		
			剥片	15	J12		933	8.5		1		
			剥片		J12		25	3.7		1		
			剥片		K12		22	2.0		1		
-257	168	119	接合資料	15				2,008.3	11	1	356	2397
			剥片		J12		17	10.6		1		
				15	K13		340	665.7		1		
				15	K13		409	346.9		1		
			剥片	15	K13		29	104.5		1		
				15	K13		502	183.4		1		
			剥片	15	K13		94	7.8		1		
				15	K13		240	23.5		1		
				15	L13		20	25.0		1		
			剥片	15	K13		363	39.7		1		
				15	K13		377	13.5		1		
			剥片	15	K13		570	587.7		1		
-	163	114	接合資料	21				277.5	11	4	133	3109
-210	145	11	尖頭器	21	K18		18	159.2		4		
				21	M17		802	90.5		4		
			剥片	21	M17		95	2.8		4		
			剥片	21	M18		360	2.5		4		
			剥片	21	N17		208	2.6		4		
			剥片	21	N17		1002	6.9		4		
			剥片	21	N17		1377	2.8		4		
			剥片	21	N17		1797	0.5		4		
			剥片	21	N17		2076	3.2		4		
			剥片		N17		18	3.7		4		
			剥片		N18		21	2.8		4		
-	169	120	接合資料	21				603.7	39	3-4	-	2512
			剥片		J18		8	15.5		4		
				21	K18		1380	1.4		4		

奥白滝1遺跡

押図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片		K17		41	2.1		3		
				21	K18		921	1.4		4		
				21	K18		1280	1.1		4		
			剥片		K17		64	1.7		4		
			剥片		K17		65	2.3		4		
				21	K18		151	1.2		4		
				21	K18		950	5.8		4		
-211	145	12	尖頭器	21	K18		168	287.5		4		
				21	K18		1200	69.5		4		
				21	K18		1597	127.0		4		
			剥片	21	K18		307	3.3		4		
				21	K18		562	4.9		4		
				21	K18		629	2.9		4		
			剥片	21	K18		347	1.1		4		
				21	K18		664	3.1		3		
			剥片	21	K18		429	4.5		4		
				21	K18		1270	1.5		4		
			剥片	21	K18		567	0.7		4		
				21	K18		637	1.1		3		
				21	K18		725	2.2		4		
				21	K18		726	1.7		4		
				21	K18		727	1.4		4		
			剥片	21	K18		621	1.7		4		
			剥片	21	K18		638	2.3		3		
				21	K18		1345	3.1		4		
			剥片	21	K18		825	7.0		4		
			剥片	21	K18		927	1.6		4		
				21	K18		1522	2.1		4		
				21	K18		1580	4.7		4		
			剥片	21	K18		948	1.6		4		
			剥片	21	K18		1137	4.3		4		
			剥片	21	K18		1178	8.3		4		
			剥片	21	K18		1222	3.7		4		
			剥片	21	K18		1268	2.1		4		
				21	K18		1373	8.6		4		
			剥片	21	K18		1547	6.3		3		
			剥片	21	K18		1650	1.4		4		
-	169	121	接合資料	21				224.7	32	4	-	2511
			剥片		J18		5	1.7		4		
-215	149	37	尖頭器	21	K18		103	96.7		4		
				21	K18		370	50.3		4		
			剥片	21	K18		134	4.4		4		
				21	K18		266	5.2		4		
				21	K18		1298	2.2		4		
			剥片	21	K18		225	2.2		4		
			剥片	21	K18		352	3.3		4		
				21	K18		371	7.4		4		
				21	L18		653	0.6		4		
			剥片	21	K18		448	1.2		4		
			剥片	21	K18		471	2.7		4		
					K18		126	0.9		4		
			剥片	21	K18		514	6.9		4		
				21	K18		1283	0.9		4		
				21	L18		676	3.3		4		
			剥片	21	K18		634	2.1		4		
			剥片	21	K18		667	0.3		4		
					K18		144	0.2		4		
			剥片	21	K18		669	7.4		4		
			剥片	21	K18		851	1.5		4		
				21	K18		898	5.5		4		

押図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	21	K18		894	6.9		4		
			剥片	21	K18		967	1.5		4		
			剥片	21	K18		1104	1.1		4		
			剥片		K18		127	1.0		4		
			剥片		K18		128	0.8		4		
			剥片		K18		212	0.5		4		
					K18		213	2.6		4		
			剥片	21	L18		651	1.2		4		
			剥片	21	L18		656	1.7		4		
			剥片		L18		65	0.5		4		
-	170	122	接合資料	15				724.6	5	1	355	2106
			剥片	15	J12		108	2.6		1		
				15	J12		110	116.0		1		
-217	150	46	両面調整石器		J12		14	141.7		1		
				15	K13		434	408.9		1		
			剥片		K12		5	55.4		1		
-	170	123	接合資料	15				270.2	17	1	357	2430
			縦長剥片	15	J13		187	11.9		1		
-222	153	80	石核	15	K12		4	8.1		1		
				15	K13		27	38.3		1		
				15	K13		179	9.3		1		
				15	K13		181	26.3		1		
				15	K13		324	1.9		1		
				15	K13		478	67.3		1		
				15	K13		552	11.2		1		
				15	K13		589	8.1		1		
				15	K13		601	2.2		1		
					K13		7	35.1		1		
					K13		16	5.8		1		
			剥片		K12		17	4.2		1		
			縦長剥片	15	K13		343	22.1		1		
			剥片	15	K13		476	2.2		1		
			剥片	15	K13		550	6.4		1		
			石刃	15	K13		645	9.8		1		
-	170	124	接合資料	21				104.5	9	4	74	2513
			剥片	21	K18		283	5.7		4		
			剥片	21	K18		453	1.5		4		
					K18		99	3.3		4		
			剥片	21	K18		850	1.6		4		
-219	151	59	搔器	21	K18		1314	34.1		4		
				21	L18		239	34.2		4		
					N18		10	17.5		4		
			剥片	21	K18		1558	3.8		4		
					K18		100	2.8		4		
-267	175	31	接合資料	25				1,681.4	77	1	367	2312
			剥片	25	J21		114	6.1		1		
				25	J21		375	15.2		1		
				25	J21		3847	1.4		1		
				25	J21		3849	3.7		1		
				25	J22		1057	78.2		1		
				25	J22		1430	25.0		1		
			剥片	25	J21		150	45.0		1		
			剥片	25	J21		153	5.5		1		
				25	J22		1259	57.5		1		
			剥片	25	J21		154	4.3		1		
			剥片	25	J21		175	9.0		1		
				25	J21		571	3.7		1		
			剥片	25	J21		241	5.0		1		
			剥片	25	J21		248	2.3		1		
				25	J21		360	26.2		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				25	J22		1103	4.5		1		
			剥片	25	J21		286	30.2		1		
			剥片	25	J21		291	11.2		1		
			剥片	25	J21		292	11.6		1		
				25	J21		736	4.7		1		
			剥片	25	J21		303	2.1		1		
			剥片	25	J21		347	62.2		1		
			剥片	25	J21		437	9.2		1		
				25	J21		2746	3.5		1		
-258	171	3	尖頭器	25	J21		503	162.6		1		
				25	J21		1939	207.1		1		
			剥片	25	J21		565	6.6		1		
			剥片	25	J21		646	10.1		1		
			剥片	25	J21		728	18.3		1		
			剥片	25	J21		758	5.2		1		
				25	J21		1925	18.9		1		
				25	J21		4241	3.0		1		
				25	J21		5115	0.9		1		
				25	J22		1578	1.1		1		
			剥片	25	J21		791	54.8		1		
			剥片	25	J21		793	6.5		1		
			剥片	25	J21		929	4.4		1		
				25	J21		958	8.3		1		
			剥片	25	J21		941	1.5		1		
				25	J21		943	27.5		1		
				25	J21		2475	3.3		1		
				25	J21		2604	6.2		1		
			剥片	25	J21		1027	4.4		1		
			剥片	25	J21		1281	2.8		1		
			剥片	25	J21		1584	3.7		1		
				25	J21		4449	12.3		1		
				25	J22		354	4.3		1		
			剥片	25	J21		1665	16.0		1		
			剥片	25	J21		1788	12.7		1		
			剥片	25	J21		1832	6.1		1		
			剥片	25	J21		1882	31.8		1		
			剥片	25	J21		1899	42.8		1		
			剥片	25	J21		2210	8.4		1		
				25	J22		1703	3.6		1		
			剥片	25	J21		2238	16.7		1		
				25	J22		1432	3.4		1		
				25	J22		1493	40.5		1		
				25	J22		1646	5.6		1		
			剥片	25	J21		2658	13.2		1		
			剥片	25	J21		2696	0.8		1		
			剥片	25	J21		2846	25.2		1		
			剥片	25	J21		3689	12.2		1		
				25	J22		1267	6.0		1		
			剥片	25	J21		3840	107.5		1		
			剥片	25	J21		4672	17.4		1		
			尖頭器	25	J21		4785	169.0		1		
			剥片	25	J21		5164	5.8		1		
			剥片	25	J21		5168	7.2		1		
			剥片	25	J22		155	5.1		1		
			剥片	25	J22		328	68.4		1		
			剥片	25	J22		726	4.2		1		
				25	J22		2145	2.4		1		
			剥片	25	J22		1034	9.4		1		
			剥片	25	J22		1436	31.1		1		
			剥片	25	J22		1520	2.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	25	J22		1727	3.6		1		
			剥片	25	J22		2543	1.9		1		
-269	176	32	接合資料	25				3,307.0	193	1	61	2314
			剥片	25	J22		2	2.7		1		
				25	J22		117	2.0		1		
			剥片	25	J22		15	2.1		1		
				25	J22		46	1.2		1		
				25	J22		406	2.7		1		
				25	J22		985	46.0		1		
				25	J22		1085	8.1		1		
			剥片	25	J22		20	6.2		1		
			剥片	25	J22		24	6.1		1		
				25	J22		80	5.5		1		
			剥片	25	J22		25	1.0		1		
			剥片	25	J22		35	2.5		1		
-261	173	19	二次加工ある剥片	25	J22		40	1.7		1		
				25	J22		268	11.0		1		
				25	J22		755	10.6		1		
				25	J22		898	163.3		1		
			剥片	25	J22		42	8.0		1		
				25	J22		57	4.2		1		
				25	J22		428	1.6		1		
			剥片	25	J22		43	26.7		1		
				25	J22		309	8.4		1		
				25	J22		874	28.1		1		
			剥片	25	J22		64	1.2		1		
			剥片	25	J22		68	11.9		1		
				25	J22		264	2.7		1		
			剥片	25	J22		72	6.3		1		
			剥片	25	J22		95	12.5		1		
				25	J22		250	3.3		1		
				25	J22		426	7.3		1		
			剥片	25	J22		98	3.7		1		
			剥片	25	J22		108	0.9		1		
				25	J22		389	9.1		1		
			剥片	25	J22		127	2.3		1		
			剥片	25	J22		128	15.8		1		
				25	J22		129	2.4		1		
			剥片	25	J22		141	10.0		1		
			剥片	25	J22		146	48.7		1		
				25	J22		900	1.0		1		
				25	J22		1069	3.7		1		
			剥片	25	J22		181	59.4		1		
			剥片	25	J22		206	2.9		1		
				25	J22		1117	5.8		1		
			剥片	25	J22		207	2.8		1		
				25	J22		492	52.7		1		
				25	J22		576	19.3		1		
			剥片	25	J22		218	4.8		1		
			剥片	25	J22		220	1.8		1		
				25	J22		501	145.9		1		
				25	J22		754	76.0		1		
			剥片	25	J22		221	5.8		1		
				25	J22		398	2.1		1		
				25	J22		481	230.7		1		
				25	J23		10	11.1		1		
			剥片	25	J22		222	12.4		1		
			剥片	25	J22		237	5.0		1		
				25	J22		602	7.8		1		
				25	J23		2	17.0		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	25	J22		243	73.1		1		
				25	J22		1091	10.4		1		
			剥片	25	J22		244	22.3		1		
				25	J22		247	3.1		1		
			剥片	25	J22		614	3.9		1		
				25	J22		251	4.7		1		
			剥片	25	J22		884	14.3		1		
				25	J22		260	3.1		1		
			剥片	25	J22		568	2.2		1		
				25	J22		665	8.2		1		
			剥片	25	J22		261	7.0		1		
			剥片	25	J22		262	5.8		1		
			剥片	25	J22		265	1.3		1		
			剥片	25	J22		267	1.6		1		
			剥片	25	J22		269	56.8		1		
				25	J22		629	1.0		1		
			剥片	25	J22		270	18.2		1		
			剥片	25	J22		272	6.2		1		
				25	J22		299	21.4		1		
			剥片	25	J22		277	2.4		1		
			剥片	25	J22		283	1.4		1		
			剥片	25	J22		285	9.9		1		
				25	J22		537	8.7		1		
			剥片	25	J22		289	1.9		1		
				25	J22		892	2.5		1		
				25	J22		1048	8.3		1		
				25	J22		296	36.5		1		
			剥片	25	J22		604	3.0		1		
				25	J22		869	14.9		1		
			剥片	25	J22		303	29.4		1		
				25	J22		867	3.0		1		
			剥片	25	J22		308	3.1		1		
				25	J22		574	5.2		1		
				25	J22		762	5.5		1		
				25	J22		6	1.8		1		
			剥片	25	J22		310	3.8		1		
			剥片	25	J22		314	3.2		1		
			剥片	25	J22		315	3.0		1		
				25	J22		1130	3.1		1		
			剥片	25	J22		318	1.6		1		
			剥片	25	J22		365	2.0		1		
			剥片	25	J22		374	3.7		1		
				25	J23		9	1.3		1		
				25	J23		28	3.6		1		
				25	J23		29	11.8		1		
			剥片	25	J22		375	5.1		1		
				25	J22		896	2.1		1		
			剥片	25	J22		378	1.2		1		
				25	J22		402	5.9		1		
				25	J22		412	4.5		1		
				25	J22		904	5.8		1		
			剥片	25	J22		385	1.6		1		
				25	J22		423	5.0		1		
			剥片	25	J22		413	20.1		1		
				25	J22		562	15.0		1		
			剥片	25	J22		417	1.0		1		
			剥片	25	J22		421	4.2		1		
			剥片	25	J22		427	1.6		1		
				25	J22		777	3.0		1		
				25	J22		1196	6.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	25	J22		430	2.5		1		
				25	J22		519	117.8		1		
				25	J22		579	21.6		1		
				25	J22		641	1.9		1		
			剥片	25	J22		431	6.7		1		
				25	J22		588	5.7		1		
				25	J22		670	10.8		1		
			剥片	25	J22		437	3.7		1		
				25	J22		482	164.4		1		
			剥片	25	J22		484	3.5		1		
				25	J22		547	5.8		1		
				25	J22		1007	1.9		1		
			剥片	25	J22		498	6.7		1		
				25	J22		551	1.8		1		
			剥片	25	J22		502	79.5		1		
				25	J22		518	12.7		1		
			剥片	25	J22		520	6.7		1		
			剥片	25	J22		522	1.4		1		
				25	J22		535	12.3		1		
			剥片	25	J22		538	81.9		1		
				25	J22		984	15.1		1		
			剥片	25	J22		539	5.1		1		
				25	J22		586	28.6		1		
			剥片	25	J22		1164	81.6		1		
				25	J22		1242	92.4		1		
				25	J22		2	3.0		1		
			剥片	25	J22		606	2.2		1		
				25	J22		608	3.0		1		
			剥片	25	J22		609	2.2		1		
			剥片	25	J22		611	62.1		1		
				25	J22		1012	2.2		1		
			剥片	25	J22		615	23.4		1		
				25	J22		616	3.2		1		
			剥片	25	J22		633	6.2		1		
			剥片	25	J22		656	7.2		1		
			剥片	25	J22		667	5.1		1		
				25	J22		759	1.5		1		
				25	J22		763	107.6		1		
				25	J22		987	5.0		1		
			剥片	25	J22		672	6.2		1		
				25	J22		674	5.0		1		
			剥片	25	J22		694	3.7		1		
			剥片	25	J22		752	16.1		1		
			剥片	25	J22		753	11.5		1		
			剥片	25	J22		758	3.0		1		
				25	J22		875	1.5		1		
			剥片	25	J22		761	4.5		1		
				25	J22		765	6.2		1		
			剥片	25	J22		769	3.2		1		
				25	J22		1227	7.2		1		
			剥片	25	J22		857	2.4		1		
				25	J22		1073	1.9		1		
			剥片	25	J22		873	2.5		1		
				25	J22		1044	18.3		1		
			剥片	25	J22		876	3.6		1		
			剥片	25	J22		883	3.6		1		
			剥片	25	J22		890	3.6		1		
				25	J22		1014	11.5		1		
				25	J22		1016	16.5		1		
			剥片	25	J22		893	2.1		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				25	J22		982	3.6		1		
			剥片	25	J22		894	12.6		1		
			剥片	25	J22		981	4.9		1		
			剥片	25	J22		998	4.1		1		
			剥片	25	J22		1088	2.9		1		
			剥片	25	J22		1114	7.7		1		
			剥片	25	J22		1115	7.0		1		
			剥片	25	J22		1116	3.7		1		
			剥片	25	J22		1162	14.3		1		
				25	J22		1168	2.1		1		
			剥片	25	J22		1200	407.7		1		
			剥片	25	J22		1238	3.0		1		
			剥片	25	J23		7	4.8		1		
			剥片	25	J23		12	2.8		1		
			剥片	25	J23		17	1.8		1		
			剥片	25	J23		26	6.5		1		
-272	182	33	接合資料	25				1,373.8	135	2	56	2124
			剥片	25	J21		300	1.0		2		
				25	J21		1186	2.1		2		
				25	J21		1970	39.1		2		
				25	J22		1912	4.5		2		
			剥片	25	J21		615	14.6		2		
			剥片	25	J21		1093	12.8		2		
				25	J21		1094	2.9		2		
				25	J21		2580	0.9		2		
			剥片	25	J21		1095	2.7		2		
				25	J21		1453	3.5		2		
				25	J22		1763	5.7		2		
			剥片	25	J21		1447	13.1		2		
				25	J21		1985	2.3		2		
			剥片	25	J21		1980	45.7		2		
				25	J22		3235	25.9		2		
			剥片	25	J21		2037	7.7		2		
				25	J21		3025	3.4		2		
			剥片	25	J21		2052	14.8		2		
				25	J21		5615	1.2		2		
			剥片	25	J21		2053	2.7		2		
			剥片	25	J21		2090	19.4		2		
			剥片	25	J21		2332	4.2		2		
				25	J22		2734	3.2		2		
					J22		9	0.6		2		
			剥片	25	J21		2416	7.4		2		
				25	J21		2828	5.6		2		
				25	J22		3119	14.9		2		
			剥片	25	J21		2448	1.0		2		
				25	J21		2845	13.6		2		
				25	J22		1213	0.8		2		
				25	J22		1353	6.2		2		
			剥片	25	J21		2523	1.5		2		
				25	J21		2554	0.8		2		
				25	J21		3333	1.9		2		
				25	J21		3423	2.5		2		
				25	J21		3961	3.8		2		
			剥片	25	J21		2570	6.1		2		
			剥片	25	J21		2576	4.6		2		
				25	J21		5390	9.2		2		
			剥片	25	J21		2585	5.8		2		
				25	J21		5378	10.9		2		
				25	J22		2773	6.8		2		
				25	J22		2918	6.5		2		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	25	J21		2859	1.8		2		
				25	J21		2994	10.9		2		
				25	J21		3043	10.9		2		
				25	J21		5508	6.1		2		
			剥片	25	J21		2905	2.6		2		
				25	J21		4017	0.9		2		
			剥片	25	J21		2937	5.9		2		
				25	J22		1820	66.8		2		
			剥片	25	J21		2938	0.9		2		
				25	J22		2700	7.6		2		
			剥片	25	J21		2939	3.7		2		
				25	J21		5616	1.2		2		
			剥片	25	J21		3006	1.5		2		
				25	J21		3440	1.5		2		
				25	J21		5053	1.0		2		
					J22		8	1.3		2		
			剥片	25	J21		3033	2.7		2		
			剥片	25	J21		3049	23.5		2		
			剥片	25	J21		3090	7.4		2		
			剥片	25	J21		3129	5.0		2		
			剥片	25	J21		3132	65.7		2		
			剥片	25	J21		3803	33.9		2		
			剥片	25	J21		3854	1.4		2		
				25	J21		4888	1.3		2		
			剥片	25	J21		3938	14.5		2		
			剥片	25	J21		3945	2.8		2		
				25	J21		4029	2.7		2		
				25	J21		4389	1.7		2		
				25	J21		5372	8.8		2		
					J22		7	2.0		2		
			剥片	25	J21		3947	4.4		2		
			剥片	25	J21		3972	18.7		2		
			剥片	25	J21		3999	1.4		2		
			剥片	25	J21		4040	8.2		2		
				25	J22		1373	7.6		2		
			剥片	25	J21		4070	7.1		2		
			剥片	25	J21		4351	5.2		2		
			剥片	25	J21		4372	4.7		2		
				25	J21		4494	2.0		2		
			剥片	25	J21		4375	7.5		2		
				25	J21		4388	1.5		2		
				25	J21		4802	1.5		2		
			剥片	25	J21		4413	14.3		2		
			剥片	25	J21		4610	8.5		2		
			剥片	25	J21		4613	4.8		2		
			剥片	25	J21		4642	1.3		2		
			剥片	25	J21		4699	3.6		2		
			剥片	25	J21		4750	2.7		2		
			剥片	25	J21		4881	1.0		2		
				25	J21		5002	4.4		2		
			剥片	25	J21		4920	2.7		2		
				25	J21		5094	2.9		2		
			剥片	25	J21		4942	7.2		2		
			剥片	25	J21		4966	5.3		2		
			剥片	25	J21		4999	1.8		2		
			剥片	25	J21		5202	7.4		2		
			剥片	25	J21		5213	101.8		2		
				25	J22		3040	18.1		2		
			剥片	25	J21		5216	6.2		2		
			剥片	25	J21		5361	2.4		2		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				25	J21		5512	12.2		2		
			剥片	25	J21		5505	6.4		2		
			剥片	25	J21		5608	2.2		2		
			剥片		J21		3	1.7		2		
			剥片	25	J22		1124	5.4		2		
			剥片	25	J22		1312	4.4		2		
			剥片	25	J22		2948	29.6		2		
			剥片	25	J22		1321	6.7		2		
			剥片	25	J22		1325	15.4		2		
			剥片		J22		10	1.0		2		
			剥片	25	J22		1354	1.9		2		
			剥片	25	J22		1560	8.8		2		
			剥片	25	J22		1365	10.1		2		
			剥片	25	J22		1608	5.3		2		
			剥片	25	J22		1559	15.0		2		
			剥片	25	J22		1730	84.1		2		
			剥片	25	J22		1753	12.1		2		
			剥片	25	J22		1770	1.8		2		
			剥片	25	J22		1785	2.0		2		
			剥片	25	J22		1835	13.0		2		
			剥片	25	J22		1838	1.1		2		
			剥片	25	J22		1839	19.8		2		
			剥片	25	J22		2738	6.1		2		
			剥片	25	J22		1882	13.8		2		
			剥片	25	J22		1890	83.4		2		
			剥片	25	J22		2536	1.8		2		
			剥片	25	J22		2880	3.8		2		
			剥片	25	J22		3148	4.2		2		
			剥片	25	J22		3186	1.4		2		
			剥片	25	J22		3232	78.5		2		
			剥片	25	J22		3243	7.0		2		
			剥片	25	J22		3246	5.7		2		
-274	185	34	接合資料	25				3,461.7	57	1	371	2364
			剥片	25	J22		22	8.4		1		
			剥片	25	J22		560	1.5		1		
			剥片	25	J22		27	27.9		1		
			剥片	25	J22		59	167.9		1		
			剥片	25	J22		150	23.0		1		
			剥片	25	J22		81	3.4		1		
			剥片	25	J22		131	8.4		1		
			剥片	25	J22		119	73.1		1		
			剥片	25	J22		500	254.6		1		
			剥片	25	J22		889	16.6		1		
			剥片	25	J22		124	1.4		1		
			剥片	25	J22		414	5.3		1		
			剥片	25	J22		125	10.5		1		
			剥片	25	J22		995	8.1		1		
			剥片	25	J22		142	4.6		1		
			剥片	25	J22		228	7.2		1		
			剥片	25	J22		170	3.4		1		
			剥片	25	J22		210	14.4		1		
			剥片	25	J22		174	40.4		1		
			剥片	25	J22		281	10.2		1		
			剥片	25	J22		185	9.5		1		
			剥片	25	J22		233	2.3		1		
			剥片	25	J23		34	454.7		1		
			剥片	25	J22		278	28.4		1		
			剥片	25	J22		282	22.9		1		
			剥片	25	J22		300	20.2		1		
			剥片	25	J22		302	1.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	25	J22		372	22.8		1		
			剥片	25	J22		373	5.4		1		
			剥片	25	J22		377	10.5		1		
			剥片	25	J22		380	2.2		1		
			剥片	25	J22		392	7.1		1		
			剥片	25	J22		395	3.5		1		
			剥片	25	J22		400	1.9		1		
			剥片	25	J22		401	7.2		1		
			剥片	25	J22		409	6.4		1		
			剥片	25	J22		411	12.5		1		
			剥片	25	J22		532	28.9		1		
			剥片	25	J22		652	64.9		1		
			剥片	25	J22		418	11.7		1		
			剥片	25	J22		1005	18.7		1		
			剥片	25	J22		491	91.4		1		
			剥片	25	J22		976	6.8		1		
			剥片	25	J22		506	4.8		1		
			剥片	25	J22		569	15.3		1		
			剥片	25	J22		573	12.6		1		
			剥片	25	J22		589	26.3		1		
			剥片	25	J22		610	350.7		1		
			剥片	25	J22		601	63.9		1		
			剥片	25	J22		613	31.1		1		
			剥片	25	J22		675	52.0		1		
			剥片	25	J22		778	12.1		1		
			剥片	25	J22		882	3.3		1		
			剥片	25	J22		1127	52.2		1		
			剥片	25	J22		1197	27.4		1		
			剥片	25	J22		1230	220.4		1		
			両面調整石器				4	1,058.3		1		
-276	186	35	接合資料	25				446.3	37	1	364	2308
			剥片	25	J21		171	6.1		1		
			剥片	25	J22		1019	7.6		1		
			剥片	25	J21		325	1.0		1		
			剥片	25	J21		939	2.5		1		
			剥片	25	J21		1096	2.2		1		
			剥片	25	J21		1463	15.1		1		
			剥片	25	J21		1501	2.2		1		
			剥片	25	J21		1940	149.9		1		
			剥片	25	J21		1968	5.5		1		
			剥片	25	J21		2009	13.1		1		
			剥片	25	J21		3603	1.8		1		
			剥片	25	J21		2848	11.2		1		
			剥片	25	J22		954	3.5		1		
			剥片	25	J21		2910	9.2		1		
			剥片	25	J21		3276	5.0		1		
			剥片	25	J21		3392	38.3		1		
			剥片	25	J21		4061	8.9		1		
			剥片	25	J21		4133	5.2		1		
			剥片	25	J21		4144	8.3		1		
			剥片	25	J21		4223	7.4		1		
			剥片	25	J21		4625	14.3		1		
			剥片	25	J21		4633	11.7		1		
			剥片	25	J21		4792	3.8		1		
			剥片	25	J21		4934	8.6		1		
			剥片	25	J21		4954	13.6		1		
			剥片	25	J21		5031	5.9		1		
			剥片	25	J21		5036	7.0		1		
			剥片	25	J21		5256	4.6		1		
			剥片	25	J21		5349	6.7		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	25	J21		5357	16.2		1		
			剥片	25	J22		677	3.3		1		
			剥片	25	J22		1212	9.3		1		
			剥片	25	J22		1331	10.4		1		
			剥片	25	J22		1516	8.2		1		
			剥片	25	J22		1553	6.0		1		
			剥片	25	J22		1574	8.0		1		
			剥片	25	J22		2879	4.7		1		
-277	187	36	接合資料	25				956.5	96	1	62	2320
			剥片	25	J21		548	3.6		1		
			剥片	25	J22		1583	2.8		1		
			剥片	25	J21		616	18.8		1		
			剥片	25	J21		643	4.3		1		
			剥片	25	J21		890	7.1		1		
			剥片	25	J21		5345	5.4		1		
			剥片	25	J21		931	2.8		1		
			剥片	25	J21		1051	25.4		1		
			剥片	25	J21		1055	6.6		1		
			剥片	25	J21		1170	9.2		1		
			剥片	25	J21		1296	1.8		1		
			剥片	25	J21		1297	3.1		1		
			剥片	25	J21		1517	1.5		1		
			剥片	25	J21		1551	11.2		1		
			剥片	25	J21		1787	33.8		1		
			剥片	25	J21		1546	51.8		1		
			剥片	25	J21		1555	0.8		1		
			剥片	25	J21		1681	27.0		1		
			剥片	25	J21		1688	2.2		1		
			剥片	25	J21		1725	0.9		1		
			剥片	25	J22		1147	2.1		1		
			剥片	25	J22		3142	4.7		1		
			剥片	25	J21		1761	14.6		1		
			剥片	25	J21		1789	19.2		1		
			剥片	25	J21		1953	22.9		1		
			剥片	25	J21		2550	7.2		1		
			剥片	25	J21		3405	0.8		1		
			剥片	25	J21		5479	2.4		1		
			剥片	25	J21		2571	5.8		1		
			剥片	25	J22		3085	1.5		1		
			剥片	25	J21		2747	2.2		1		
			剥片	25	J21		2843	2.7		1		
			剥片	25	J21		2861	3.0		1		
			剥片	25	J21		4100	0.9		1		
			剥片	25	J21		5257	4.9		1		
			剥片	25	J21		2904	3.0		1		
			剥片	25	J22		1226	19.0		1		
			剥片	25	J21		2981	4.9		1		
			剥片	25	J22		1175	3.8		1		
			剥片	25	J21		2984	5.8		1		
			剥片	25	J21		3023	1.9		1		
			剥片	25	J21		3178	9.1		1		
			剥片	25	J21		4368	1.6		1		
			剥片	25	J21		3227	3.6		1		
			剥片	25	J21		3679	22.4		1		
			剥片	25	J21		5137	1.8		1		
			剥片	25	J21		3345	9.8		1		
			剥片	25	J21		3351	16.9		1		
			剥片	25	J21		3975	17.7		1		
			剥片	25	J21		3363	95.1		1		
			剥片	25	J21		3371	43.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	25	J21		3393	6.2		1		
			剥片	25	J21		3645	7.3		1		
			剥片	25	J21		4124	9.3		1		
			剥片	25	J21		3745	8.7		1		
			剥片	25	J22		4228	2.9		1		
			剥片	25	J22		1143	2.6		1		
			剥片	25	J21		3808	13.7		1		
			剥片	25	J21		3896	4.2		1		
			剥片	25	J21		4064	37.8		1		
			剥片	25	J21		4094	1.2		1		
			剥片	25	J21		4185	1.4		1		
			剥片	25	J21		4067	3.8		1		
			剥片	25	J21		4621	2.0		1		
			剥片	25	J21		4141	6.1		1		
			剥片	25	J21		4243	5.1		1		
			剥片	25	J21		4312	6.8		1		
			剥片	25	J21		4535	3.4		1		
			剥片	25	J21		4628	3.0		1		
			剥片	25	J21		4631	7.8		1		
			剥片	25	J21		4687	31.9		1		
			剥片	25	J22		1821	9.2		1		
			剥片	25	J22		2858	2.1		1		
			剥片	25	J21		4692	14.5		1		
			剥片	25	J21		4914	1.8		1		
			剥片	25	J22		2161	5.0		1		
			剥片	25	J21		4931	3.2		1		
			剥片	25	J22		2159	1.0		1		
			剥片	25	J21		4980	73.9		1		
			剥片	25	J21		5114	2.9		1		
			剥片	25	J21		5288	4.9		1		
			剥片	25	J21		5167	10.9		1		
			剥片	25	J21		5340	12.1		1		
			剥片	25	J21		5492	1.6		1		
			剥片	25	J21		5493	1.9		1		
			剥片	25	J22		454	2.3		1		
			剥片	25	J22		812	7.2		1		
			剥片	25	J22		967	2.4		1		
			剥片	25	J22		1732	3.5		1		
			剥片	25	J22		1970	1.8		1		
			剥片	25	J22		1980	0.9		1		
			剥片	25	J22		2360	7.4		1		
			剥片	25	J22		2739	7.7		1		
			剥片	25	J22		2813	2.0		1		
			剥片	25	J22		2976	20.1		1		
			剥片	25	J22		3249	15.7		1		
-278	188	37	接合資料	25				790.0	68	1	369	2321
			剥片	25	J21		112	7.3		1		
			剥片	25	J21		113	29.8		1		
			剥片	25	J21		161	3.3		1		
			剥片	25	J21		287	34.0		1		
			剥片	25	J21		369	7.3		1		
			剥片	25	J21		782	1.7		1		
			剥片	25	J21		2038	5.6		1		
			剥片	25	J21		4807	9.8		1		
			剥片	25	J21		1572	1.2		1		
			剥片	25	J21		1897	5.1		1		
			剥片	25	J21		1913	1.1		1		
			剥片	25	J21		4656	2.0		1		
			剥片	25	J21		1917	22.1		1		
			剥片	25	J22		2237	1.2		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	25	J21		2840	19.3		1		
			剥片	25	J21		2847	2.4		1		
			剥片	25	J21		2858	48.2		1		
			剥片	25	J21		2887	9.2		1		
				25	J22		1920	7.6		1		
			剥片	25	J21		2977	4.7		1		
				25	J22		2678	1.0		1		
			剥片	25	J21		3011	7.8		1		
			剥片	25	J21		3020	9.2		1		
				25	J21		5050	1.2		1		
			剥片	25	J21		3350	4.3		1		
			剥片	25	J21		3361	5.3		1		
				25	J21		4096	3.7		1		
			剥片	25	J21		3372	44.8		1		
			剥片	25	J21		3576	7.7		1		
				25	J21		3596	44.8		1		
			剥片	25	J21		3746	1.8		1		
			剥片	25	J21		4057	32.6		1		
			剥片	25	J21		4592	5.7		1		
			剥片	25	J21		4722	7.5		1		
				25	J21		4963	7.3		1		
			剥片	25	J21		4730	3.3		1		
			剥片	25	J21		4742	1.9		1		
				25	J21		5057	4.5		1		
			剥片	25	J21		4743	15.9		1		
				25	J22		1969	8.1		1		
				25	J22		1984	3.3		1		
			剥片	25	J21		4744	11.6		1		
			剥片	25	J21		4936	17.6		1		
			剥片	25	J21		4971	3.7		1		
			剥片	25	J21		5235	0.6		1		
				25	J21		5338	3.6		1		
			剥片	25	J21		5440	2.5		1		
			剥片	25	J21		5618	3.8		1		
			剥片	25	J22		676	4.7		1		
				25	J22		1595	1.8		1		
			剥片	25	J22		859	24.1		1		
				25	J22		2286	5.2		1		
			剥片	25	J22		947	17.8		1		
			剥片	25	J22		969	4.3		1		
				25	J22		1402	0.7		1		
			剥片	25	J22		1187	10.0		1		
			剥片	25	J22		1224	10.0		1		
			剥片	25	J22		1257	9.3		1		
				25	J22		2969	7.3		1		
			剥片	25	J22		1326	4.0		1		
			剥片	25	J22		1552	129.5		1		
			剥片	25	J22		1982	29.8		1		
				25	J22		2092	4.6		1		
			剥片	25	J22		2000	19.3		1		
				25	J22		2624	6.7		1		
			剥片	25	J22		2344	4.7		1		
			剥片	25	J22		2787	3.2		1		
			剥片	25	J22		3035	5.0		1		
-279	189	38	接合資料	23-25			688.9	83	1	372	2365	
			剥片	23	J21		100	2.3		1		
				23	J21		253	2.0		1		
			剥片	25	J21		350	0.8		1		
				25	J21		3219	4.2		1		
				25	J22		1623	12.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				25	J22		2648	1.4		1		
			剥片	25	J21		1032	27.8		1		
				25	J21		3437	8.7		1		
				25	J22		1625	3.8		1		
				25	J22		1767	0.8		1		
			剥片	25	J21		1048	4.5		1		
			剥片	25	J21		1098	78.1		1		
			剥片	25	J21		1976	1.7		1		
				25	J21		1986	7.3		1		
			剥片	25	J21		1982	2.4		1		
				25	J22		2654	17.4		1		
			剥片	25	J21		2767	10.7		1		
				25	J22		1998	5.8		1		
			剥片	25	J21		2777	1.2		1		
				25	J21		3079	14.5		1		
			剥片	25	J21		3030	0.6		1		
				25	J21		4502	13.9		1		
			剥片	25	J21		3081	3.9		1		
			剥片	25	J21		3086	19.5		1		
			剥片	25	J21		3115	2.5		1		
				25	J21		3122	5.6		1		
			剥片	25	J21		3441	10.6		1		
			剥片	25	J21		3454	6.5		1		
				25	J21		5176	3.8		1		
			剥片	25	J21		3483	9.9		1		
				25	J21		3549	1.8		1		
				25	J21		3835	6.1		1		
				25	J22		2075	2.3		1		
			剥片	25	J21		3515	9.4		1		
			剥片	25	J21		3883	2.9		1		
			剥片	25	J22		839	17.4		1		
			剥片	25	J22		906	4.4		1		
			剥片	25	J22		1003	2.6		1		
			剥片	25	J22		1339	25.5		1		
			剥片	25	J22		1375	9.6		1		
			剥片	25	J22		1401	2.8		1		
			剥片	25	J22		1406	0.8		1		
					J22		12	0.9		1		
			剥片	25	J22		1409	5.1		1		
				25	J22		2122	14.8		1		
			剥片	25	J22		1624	16.1		1		
			剥片	25	J22		1698	28.3		1		
				25	J22		2211	5.8		1		
			剥片	25	J22		1791	16.6		1		
			剥片	25	J22		1873	52.0		1		
			剥片	25	J22		1908	2.3		1		
			剥片	25	J22		1929	16.0		1		
			剥片	25	J22		2183	7.3		1		
					J22		18	0.6		1		
			剥片	25	J22		2215	1.4		1		
			剥片	25	J22		2258	1.1		1		
			剥片	25	J22		2259	2.1		1		
			剥片	25	J22		2277	9.2		1		
				25	J22		3066	13.9		1		
				25	J22		3090	0.9		1		
					J22		13	6.3		1		
			剥片	25	J22		2280	15.5		1		
			剥片	25	J22		2321	10.0		1		
				25	J22		2822	8.4		1		
			剥片	25	J22		2365	3.9		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	25	J22		2381	8.6		1		
					J22		17	0.3		1		
			剥片	25	J22		2383	11.9		1		
			剥片	25	J22		2422	4.2		1		
			剥片	25	J22		2546	1.4		1		
			剥片	25	J22		2548	5.4		1		
			剥片	25	J22		2559	1.7		1		
			剥片	25	J22		2634	3.4		1		
					J22		2645	16.3		1		
					J22		3068	2.0		1		
					J22		11	0.5		1		
			剥片	25	J22		2933	6.5		1		
			剥片	25	J22		2978	4.3		1		
			剥片	25	J22		3005	0.8		1		
			剥片	25	J22		3078	5.0		1		
					J23		1	4.5		1		
			剥片	25	J22		3083	2.8		1		
			剥片		J22		16	0.5		1		
-280	190	39	接合資料	25				788.8	58	1+2	370	2363
			剥片	25	J21		478	1.9		1		
			剥片	25	J21		626	2.7		1		
					J21		652	13.8		1		
			剥片	25	J21		871	9.5		1		
			剥片	25	J21		878	4.0		1		
			剥片	25	J21		942	7.0		1		
			剥片	25	J21		1097	5.7		1		
					J21		1378	18.5		1		
			剥片	25	J21		1175	10.5		1		
			剥片	25	J21		1245	3.3		1		
			剥片	25	J21		1451	3.9		1		
			剥片	25	J21		1576	13.7		1		
					J21		2572	31.0		1		
					J21		2931	38.6		1		
					J21		1739	4.6		1		
			剥片	25	J21		2798	1.1		1		
					J22		1155	13.7		1		
					J22		1567	3.5		1		
					J21		1941	13.8		1		
			剥片	25	J21		2040	27.6		1		
					J21		2063	6.2		1		
					J21		4493	10.1		1		
					J22		2414	5.0		1		
					J22		2658	26.9		1		
			剥片	25	J22		2736	10.3		1		
			剥片	25	J21		2192	1.7		1		
			剥片	25	J21		2918	132.5		1		
			剥片	25	J21		2971	2.8		1		
					J21		5043	7.1		1		
			剥片	25	J21		3180	4.1		1		
			剥片	25	J21		3226	4.1		1		
					J21		4682	10.1		1		
			剥片	25	J21		3580	1.6		1		
			剥片	25	J21		3944	9.6		1		
			剥片	25	J21		4101	3.9		1		
			剥片	25	J21		4174	14.0		1		
			剥片	25	J21		4981	39.0		2		
					J21		5231	31.5		1		
			剥片	25	J21		5096	2.4		1		
			剥片	25	J21		5191	21.9		1		
					J22		1825	3.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				25	J22		1986	9.7		1		
			剥片	25	J21		5229	24.0		1		
			剥片	25	J21		5550	1.3		1		
			剥片	25	J21		5558	2.2		1		
			剥片	25	J22		1035	4.7		1		
			剥片	25	J22		1081	12.2		1		
			剥片	25	J22		1261	2.0		1		
			剥片	25	J22		1263	12.4		1		
			剥片	25	J22		1348	2.6		1		
			剥片	25	J22		1721	12.3		1		
			剥片	25	J22		1744	12.0		1		
			剥片	25	J22		1780	4.9		1		
			剥片	25	J22		1802	0.6		1		
			剥片	25	J22		1874	55.0		1		
			剥片	25	J22		2090	1.8		1		
			剥片	25	J22		2156	37.0		1		
			剥片	25	J22		2304	17.6		1		
-281	196	40	接合資料	25+外				4,638.6	18	1	365	2309
			剥片	25	J22		12	25.0		1		
			石刃	25	J22		18	36.7		1		
					J22		231	2.5		1		
					J22		275	15.0		1		
					J22		420	7.5		1		
					J23		18	106.3		1		
			石刃	25	J22		32	46.3		1		
			剥片	25	J22		66	23.5		1		
			縦長剥片	25	J22		232	43.2		1		
					外	J25		1	119.3		1	
			石刃	25	J22		238	84.3		1		
					J22		504	30.8		1		
					J22		531	43.7		1		
					J22		539	72.9		1		
			剥片	25	J22		280	198.8		1		
			剥片	25	J22		307	10.8		1		
			剥片	25	J22		757	70.9		1		
-263	174	29	石刃核	25	J23		36	3,701.1		1		
-282	197	41	接合資料	25				1,914.7	58	1	64	2339
			剥片	25	J21		613	12.6		1		
			剥片	25	J21		892	21.1		1		
			剥片	25	J21		1450	22.8		1		
			石刃	25	J21		1656	39.2		1		
					J21		1950	20.3		1		
			剥片	25	J21		1657	26.2		1		
			剥片	25	J21		1659	65.3		1		
			石刃	25	J21		1929	4.7		1		
					J21		2027	13.6		1		
					J21		2639	8.8		1		
				25	J21		4948	106.8		1		
			剥片	25	J21		1942	100.5		1		
			剥片	25	J21		1943	6.9		1		
			剥片	25	J21		1956	57.8		1		
					J21		3367	10.6		1		
			剥片	25	J21		2541	40.8		1		
			剥片	25	J21		2575	0.9		1		
					J21		4046	2.9		1		
			剥片	25	J21		2624	11.8		1		
				25	J21		4599	2.2		1		
			剥片	25	J21		2668	4.5		1		
			剥片	25	J21		2755	14.4		1		
					J21		3675	83.3		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	25	J21		2947	59.7		1		
				25	J21		4600	10.9		1		
			石刃	25	J21		2951	5.2		1		
			剥片	25	J21		2955	3.6		1		
				25	J21		2956	8.3		1		
			剥片	25	J21		2958	11.5		1		
				25	J21		4598	21.8		1		
			剥片	25	J21		3344	4.3		1		
			剥片	25	J21		3352	77.5		1		
			剥片	25	J21		3417	4.7		1		
			剥片	25	J21		3477	4.6		1		
			剥片	25	J21		3647	2.5		1		
				25	J22		2347	14.1		1		
			剥片	25	J21		3649	1.0		1		
				25	J21		3650	1.5		1		
			剥片	25	J21		3766	8.7		1		
				25	J21		4255	12.8		1		
			剥片	25	J21		3916	1.9		1		
			剥片	25	J21		4058	34.6		1		
				25	J21		4645	64.5		1		
			剥片	25	J21		4075	7.3		1		
				25	J21		4602	5.1		1		
			剥片	25	J21		4127	4.3		1		
			剥片	25	J21		4145	77.8		1		
			縦長剥片	25	J21		4708	4.5		1		
			縦長剥片	25	J21		4922	35.3		1		
			剥片	25	J21		5038	8.0		1		
			剥片	25	J21		5054	1.0		1		
-263	174	28	石刃核	25	J21		5551	654.5		1		
			剥片	25	J22		1293	4.0		1		
			剥片	25	J22		1456	15.5		1		
			剥片	25	J22		2772	4.9		1		
			剥片	25	J22		2939	15.0		1		
			剥片	25	J22		3043	8.1		1		
			剥片	25	J22		3245	37.7		1		
-284	198	43	接合資料	24-25				544.0	26	1	373	2596
			剥片	24	J21		1	7.8		1		
			剥片	25	J21		13	23.4		1		
			縦長剥片	25	J21		14	25.9		1		
			縦長剥片	24	J21		68	9.9		1		
				24	K21		104	16.4		1		
			剥片	24	J21		609	3.6		1		
				24	K21		67	5.0		1		
			剥片	24	J21		2	5.9		1		
			剥片	24	K21		10	6.8		1		
			石刃	24	K21		11	19.4		1		
			剥片	24	K21		14	7.2		1		
			石刃	24	K21		19	10.8		1		
			石刃	24	K21		25	15.3		1		
			剥片	24	K21		27	4.2		1		
			石刃	24	K21		30	12.9		1		
-262	173	24	石刃核	24	K21		34	101.5		1		
			剥片	24	K21		38	13.4		1		
			剥片	24	K21		41	80.6		1		
			縦長剥片	24	K21		42	41.5		1		
			剥片	24	K21		47	3.0		1		
			剥片	24	K21		71	11.6		1		
			石刃	24	K21		93	7.7		1		
			剥片	24	K21		99	81.5		1		
			石刃	24	K21		105	6.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			石刃	24	K21		110	9.8		1		
			縦長剥片	24	K21		113	12.0		1		
-284	198	44	接合資料	24-25				1,155.7	36	1	376	2599
			剥片	24	J21		2	8.1		1		
				24	K21		7	30.1		1		
				24	K21		84	79.9		1		
			剥片	24	J21		5	8.0		1		
			石刃	25	J21		9	5.0		1		
				25	J21		10	3.0		1		
			石刃	25	J21		11	1.5		1		
				25	J21		21	3.6		1		
			剥片	24	J21		17	1.6		1		
			石刃	24	J21		70	5.8		1		
				24	K21		16	1.3		1		
			縦長剥片		J21		1	7.7		1		
			剥片	24	K21		17	2.2		1		
			縦長剥片	24	K21		20	10.6		1		
			縦長剥片	24	K21		23	1.7		1		
				24	K21		28	1.6		1		
			剥片	24	K21		40	113.3		1		
			剥片	24	K21		48	6.0		1		
				24	K21		49	6.3		1		
			縦長剥片	24	K21		64	5.5		1		
			縦長剥片	24	K21		66	5.5		1		
			剥片	24	K21		73	21.1		1		
				24	K21		88	5.1		1		
			剥片	24	K21		74	211.5		1		
-262	173	25	石刃核	24	K21		77	121.6		1		
			石刃	24	K21		79	14.0		1		
			剥片	24	K21		80	2.0		1		
			剥片	24	K21		89	284.9		1		
			縦長剥片	24	K21		94	3.6		1		
			縦長剥片	24	K21		98	4.7		1		
			剥片	24	K21		101	135.0		1		
			剥片	24	K21		106	25.9		1		
			縦長剥片	24	K21		108	1.7		1		
			縦長剥片	24	K21		114	5.2		1		
			剥片	24	K21		118	7.0		1		
			剥片	24	K21		124	4.1		1		
-285	198	45	接合資料	24				785.7	18	1	375	2598
			縦長剥片	24	J21		19	4.0		1		
			剥片	24	J21		69	6.6		1		
			剥片	24	J21		612	124.5		1		
			剥片	24	K21		9	25.6		1		
			縦長剥片	24	K21		12	5.4		1		
			剥片	24	K21		15	0.3		1		
			剥片	24	K21		18	1.8		1		
				24	K21		54	2.5		1		
			剥片	24	K21		29	31.0		1		
			縦長剥片	24	K21		45	66.2		1		
			剥片	24	K21		50	8.9		1		
			縦長剥片	24	K21		51	69.0		1		
-262	174	27	石刃核	24	K21		75	80.8		1		
			縦長剥片	24	K21		86	12.4		1		
			剥片	24	K21		90	162.1		1		
			剥片	24	K21		96	112.3		1		
			縦長剥片	24	K21		116	69.7		1		
			石刃	24	K21		123	2.6		1		
-286	199	46	接合資料	24-25				362.9	13	1	362	2272
			剥片	25	J21		8	78.6		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			縦長剥片	25	J21		12	9.8		1		
			剥片	24	K21		31	23.8		1		
			剥片	24	K21		32	53.8		1		
			剥片	24	K21		33	20.7		1		
			剥片	24	K21		37	9.2		1		
			剥片	24	K21		39	17.1		1		
			縦長剥片	24	K21		72	29.4		1		
-261	172	17	播磨	24	K21		85	6.0		1		
			縦長剥片	24	K21		87	90.1		1		
			縦長剥片	24	K21		95	21.0		1		
			剥片	24	K21		111	2.5		1		
			剥片		K21		2	0.9		1		
-286	199	47	接合資料	24+25				444.7	16	1	374	2597
			縦長剥片	24	J21		6	6.3		1		
				24	K21		97	2.5		1		
			石刃	24	J21		18	19.8		1		
			縦長剥片	25	J21		24	15.7		1		
				24	K21		78	83.7		1		
				24	K21		122	13.3		1		
			石刃	24	J21		67	11.1		1		
			縦長剥片	24	K21		8	61.9		1		
			剥片	24	K21		36	8.1		1		
			剥片	24	K21		55	83.5		1		
			石刃	24	K21		56	33.5		1		
			石刃	24	K21		58	9.3		1		
			縦長剥片	24	K21		60	1.9		1		
-262	173	21	石刃核	24	K21		76	58.6		1		
			石刃	24	K21		92	9.9		1		
			剥片	24	K21		102	25.6		1		
-287	199	48	接合資料	22				61.7	3	4	-	2105
			剥片	22	J19		13	4.3		4		
			剥片	22	J19		25	6.7		4		
-262	174	26	石刃核	22	J19		28	50.7		4		
-288	186	49	接合資料	25				1,136.8	50	1	-	2311
			剥片	25	J21		1457	20.7		1		
			剥片	25	J21		2535	18.5		1		
				25	J22		1761	2.4		1		
			剥片	25	J21		2578	7.7		1		
				25	J21		3966	15.8		1		
				25	J21		4612	8.5		1		
				25	J22		1423	17.7		1		
			剥片	25	J21		2895	46.0		1		
			剥片	25	J21		3044	9.1		1		
			剥片	25	J21		3380	67.2		1		
				25	J21		5437	8.1		1		
			剥片	25	J21		3771	39.8		1		
			剥片	25	J21		3895	7.8		1		
				25	J21		5546	14.7		1		
				25	J22		1778	17.4		1		
			剥片	25	J21		4024	7.6		1		
			剥片	25	J21		4038	11.0		1		
			剥片	25	J21		4095	54.3		1		
			剥片	25	J21		4320	8.4		1		
			剥片	25	J21		4421	19.4		1		
			剥片	25	J21		4426	19.2		1		
				25	J21		4661	25.4		1		
				25	J22		1613	14.6		1		
			剥片	25	J21		4500	8.3		1		
			剥片	25	J21		4520	5.3		1		
			剥片	25	J21		4563	2.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	25	J21		4583	39.6		1		
				25	J22		2309	1.8		1		
				25	J22		3109	69.6		1		
			剥片	25	J21		4614	4.9		1		
				25	J21		5180	2.9		1		
				25	J22		1867	23.8		1		
			剥片	25	J21		4617	4.1		1		
				25	J21		5494	9.8		1		
				25	J22		1737	11.7		1		
			剥片	25	J21		4739	66.6		1		
			剥片	25	J21		5032	8.8		1		
				25	J22		1235	35.6		1		
			剥片	25	J21		5369	22.2		1		
			剥片	25	J21		5568	16.9		1		
				25	J22		1294	8.2		1		
			剥片	25	J22		1068	48.4		1		
			剥片	25	J22		1217	32.0		1		
				25	J22		1524	6.6		1		
			剥片	25	J22		1301	39.5		1		
			剥片	25	J22		1557	44.9		1		
			剥片	25	J22		1614	17.1		1		
			剥片	25	J22		1756	3.8		1		
			剥片	25	J22		1939	9.5		1		
			剥片	25	J22		3180	131.6		1		
-288	191	50	接合資料	25				559.0	21	1	363	2274
			剥片	25	J21		320	21.8		1		
			剥片	25	J21		330	47.7		1		
			剥片	25	J21		429	4.1		1		
				25	J21		446	5.0		1		
			剥片	25	J21		487	3.3		1		
			剥片	25	J21		504	21.6		1		
			剥片	25	J21		881	10.6		1		
				25	J21		2631	4.1		1		
				25	J21		2698	2.6		1		
-259	172	9	尖頭器	25	J21		1019	75.3		1		
				25	J21		2230	173.5		1		
			剥片	25	J21		1999	8.4		1		
			剥片	25	J21		3147	9.9		1		
			剥片	25	J21		3216	13.0		1		
				25	J21		4275	12.8		1		
			剥片	25	J21		3703	12.0		1		
			剥片	25	J22		337	9.7		1		
			剥片	25	J22		357	24.3		1		
			剥片	25	J22		1268	93.3		1		
			剥片	25	J22		1957	3.7		1		
				25	J22		1958	2.3		1		
-288	191	51	接合資料	23-25				823.9	22	1	-	2276
			剥片	23	J21		27	1.4		1		
				25	J22		209	2.9		1		
				25	J22		217	9.3		1		
				25	J22		483	12.8		1		
				25	J22		621	4.4		1		
			剥片	25	J22		179	37.4		1		
			剥片	25	J22		266	3.4		1		
			剥片	25	J22		429	4.7		1		
			剥片	25	J22		432	2.8		1		
				25	J22		530	5.2		1		
				25	J22		747	2.3		1		
			剥片	25	J22		507	5.2		1		
			剥片	25	J22		525	11.7		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	25	J22		550	35.6		1		
-259	172	10	両面調整石器	25	J22		595	332.1		1		
				25	J22		1008	229.3		1		
				25	J22		895	5.6		1		
			剥片	25	J22		991	14.3		1		
			剥片	25	J22		1172	82.5		1		
			剥片	25	J23		39	14.0		1		
			剥片	25	J23		40	2.1		1		
			剥片	25	J22		977	4.9		1		
-	192	52	接合資料	25				270.6	18	1	-	2247
			剥片	25	J21		451	8.8		1		
			剥片	25	J21		1089	22.0		1		
			剥片	25	J21		1238	2.5		1		
			剥片	25	J21		2763	6.4		1		
			剥片	25	J21		452	0.8		1		
			剥片	25	J21		480	7.1		1		
			剥片	25	J21		674	6.4		1		
			剥片	25	J21		683	2.6		1		
			剥片	25	J21		888	11.5		1		
			剥片	25	J21		1258	4.3		1		
			剥片	25	J21		1557	15.7		1		
			剥片	25	J21		2623	5.9		1		
			剥片	25	J21		1815	1.5		1		
			剥片	25	J21		2173	16.9		1		
			剥片	25	J21		2282	6.0		1		
			剥片	25	J21		2853	5.3		1		
-258	171	4	尖頭器	25	J21		5171	86.6		1		
			剥片	25	J22		329	60.3		1		
-	192	53	接合資料	25				213.2	38	3・4	55	2113
			剥片	25	J21		155	3.2		3		
			剥片	25	J21		160	2.5		3		
			剥片	25	J21		666	3.1		3		
			剥片	25	J21		679	22.5		3		
			剥片	25	J21		1130	2.2		3		
			剥片	25	J21		1144	18.7		4		
			剥片	25	J21		1166	3.8		4		
			剥片	25	J21		1247	3.0		4		
			剥片	25	J21		1529	2.0		4		
			剥片	25	J22		1490	2.9		3		
			剥片	25	J21		1672	6.4		4		
			剥片	25	J21		1693	7.2		4		
			剥片	25	J21		2852	7.1		4		
			剥片	25	J21		1721	1.8		4		
			剥片	25	J21		2023	7.3		3		
			剥片	25	J21		2426	5.7		3		
			剥片	25	J21		2681	7.2		4		
			剥片	25	J21		2748	2.3		4		
			剥片	25	J21		3727	4.1		3		
			剥片	25	J21		2867	13.2		3		
			剥片	25	J21		2945	6.7		3		
			剥片	25	J21		3124	7.1		3		
			剥片	25	J21		3501	1.9		4		
			剥片	25	J21		3548	7.8		4		
			剥片	25	J21		3552	3.2		4		
			剥片	25	J21		3692	16.2		4		
			剥片	25	J21		3859	1.6		4		
			剥片	25	J21		3770	1.4		3		
			剥片	25	J21		3772	5.4		3		
			剥片	25	J21		5153	0.9		4		
			剥片	25	J21		4291	15.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	25	J21		4652	2.4		4		
			剥片	25	J21		4684	2.2		4		
			剥片	25	J21		4783	1.8		4		
			剥片	25	J21		4956	4.2		3		
			剥片	25	J21		5354	1.3		3		
			剥片	25	J22		1264	1.9		3		
			剥片	25	J22		2420	5.7		4		
-	192	54	接合資料	25				236.9	49	3・4・5	55	2114
			剥片	25	J21		542	4.1		3		
			剥片	25	J21		1234	14.1		4		
			剥片	25	J21		930	3.2		4		
			剥片	25	J22		1782	1.1		4		
			剥片	25	J21		1100	15.5		4		
			剥片	25	J21		1270	2.4		4		
			剥片	25	J21		1461	4.6		4		
			剥片	25	J21		1541	9.8		4		
			剥片	25	J21		1690	0.8		4		
			剥片	25	J21		1713	5.3		4		
			剥片	25	J21		1728	2.4		4		
			剥片	25	J21		2064	3.2		4		
			剥片	25	J21		4268	3.5		4		
			剥片	25	J21		2066	1.9		4		
			剥片	25	J21		2322	4.8		3		
			剥片	25	J21		2783	0.8		4		
			剥片	25	J21		2370	4.0		4		
			剥片	25	J21		2417	1.2		4		
			剥片	25	J21		2548	6.8		3		
			剥片	25	J21		2560	4.4		4		
			剥片	25	J21		2682	3.6		4		
			剥片	25	J21		4428	1.5		4		
			剥片	25	J21		2890	2.8		4		
			剥片	25	J21		3037	0.7		4		
			剥片	25	J21		3018	1.1		3		
			剥片	25	J21		4150	1.4		4		
			剥片	25	J21		3243	3.9		4		
			剥片	25	J21		4247	1.0		4		
			剥片	25	J21		3370	5.3		4		
			剥片	25	J21		4167	1.5		5		
			剥片	25	J21		3514	7.2		4		
			剥片	25	J21		3579	9.1		4		
			剥片	25	J21		3606	3.0		4		
			剥片	25	J21		3681	17.8		4		
			剥片	25	J21		3735	1.5		3		
			剥片	25	J21		3833	5.3		4		
			剥片	25	J21		3850	4.4		4		
			剥片	25	J21		4395	1.0		4		
			剥片	25	J21		5145	7.8		4		
			剥片	25	J21		5325	6.0		4		
			剥片	25	J21		5446	7.2		3		
			剥片	25	J21		5448	13.1		3		
			剥片	25	J21		5552	1.0		3		
			剥片	25	J21		5631	4.6		3		
			剥片	25	J22		324	13.8		4		
			剥片	25	J22		858	13.1		3		
			剥片	25	J22		1742	1.6		4		
			剥片	25	J22		1651	1.5		3		
			剥片	25	J22		1745	1.2		4		
-	193	55	接合資料	25				286.2	34	1	60	2277
			剥片	25	J21		886	9.5		1		
			剥片	25	J21		1120	6.4		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				25	J22		3217	5.3		1		
				25	J22		3224	2.4		1		
			剥片	25	J21		1204	2.3		1		
			剥片	25	J21		2045	4.1		1		
			剥片	25	J21		3100	5.0		1		
			剥片	25	J21		3862	3.0		1		
			剥片	25	J21		3864	4.9		1		
			剥片	25	J21		3950	23.4		1		
				25	J22		2361	5.2		1		
				25	J22		3084	5.1		1		
			剥片	25	J21		5248	3.8		1		
			剥片	25	J21		5487	8.4		1		
				25	J22		3070	0.9		1		
			剥片	25	J21		5489	10.6		1		
				25	J22		3145	0.8		1		
			剥片	25	J21		5544	12.1		1		
			剥片	25	J22		451	4.0		1		
			剥片	25	J22		489	5.9		1		
			剥片	25	J22		1017	6.8		1		
			剥片	25	J22		1050	16.9		1		
			剥片	25	J22		1140	4.0		1		
			剥片	25	J22		1384	3.9		1		
				25	J22		1527	2.1		1		
			剥片	25	J22		1471	13.5		1		
			剥片	25	J22		1600	2.4		1		
				25	J22		1995	46.3		1		
				25	J22		1996	1.4		1		
			剥片	25	J22		1790	4.8		1		
			剥片	25	J22		2132	6.4		1		
			剥片	25	J22		2171	42.7		1		
			剥片	25	J22		2185	4.1		1		
			剥片	25	J22		3079	7.8		1		
-	193	56	接合資料	25 外				2,532.0	11	3-4	361	2115
			剥片	25	J22		149	330.4		3		
				25	J22		376	65.2		4		
			剥片	25	J22		230	26.8		3		
				25	J22		486	7.7		3		
				25	J22		671	7.6		3		
				25	J22		691	11.7		3		
-260	172	11	両面調整石器	25	K23		4	530.3		4		
				25	K23		5	385.6		4		
				25	K23		8	2.3		4		
			外	25	K23		14	30.8		4		
			外	25	K23		15	1,133.6		4		
-	194	57	接合資料	25				5,767.3	6	1	366	2310
			剥片	25	J22		370	25.8		1		
				25	J22		479	328.2		1		
				25	J23		4	244.0		1		
-260	173	12	両面調整石器	25	K23		2	2,397.0		1		
				25	K23		3	2,763.8		1		
				25	K23		9	8.5		1		
-	195	58	接合資料	25				8,032.6	44	1	368	2313
			剥片	25	J21		516	1.3		1		
			剥片	25	J21		1125	6.4		1		
				25	J22		90	3.6		1		
				25	J22		219	6.6		1		
				25	J22		271	192.2		1		
				25	J22		288	6.2		1		
				25	J22		304	6.8		1		
				25	J22		366	2.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				25	J22		407	2.9		1		
				25	J22		408	5.2		1		
				25	J22		435	3.0		1		
				25	J22		441	2.2		1		
				25	J22		447	3.7		1		
				25	J22		485	103.9		1		
				25	J22		499	51.3		1		
				25	J22		503	153.4		1		
				25	J22		511	6.1		1		
				25	J22		523	3.2		1		
				25	J22		646	6.0		1		
				25	J22		663	14.1		1		
				25	J22		766	3.1		1		
				25	J22		770	25.7		1		
				25	J22		861	101.5		1		
				25	J22		992	13.2		1		
				25	J22		993	84.9		1		
				25	J22		1118	12.1		1		
					J22		3	1.4		1		
					J22		4	2.0		1		
			剥片	25	J22		11	0.7		1		
				25	J22		387	24.0		1		
				25	J22		505	5.3		1		
				25	J22		607	266.4		1		
					J22		5	1.4		1		
			剥片	25	J22		239	36.1		1		
				25	J22		292	61.6		1		
				25	J22		397	3.2		1		
				25	J22		446	3.3		1		
				25	J22		786	5.6		1		
			剥片	25	J22		274	62.8		1		
			剥片	25	J22		480	292.8		1		
			剥片	25	J22		578	14.7		1		
			剥片	25	J23		35	1,011.5		1		
			剥片	25	J23		38	4.2		1		
			石核	25	K23		1	5,414.7		1		
-301	204	30	接合資料	28				105.7	10	1	128	3094
			剥片	28	M25		159	1.5		1		
-289	200	4	尖頭器	28	M25		237	15.7		1		
				28	M25		276	16.6		1		
				28	M25		402	7.6		1		
			剥片	28	M25		249	3.4		1		
				28	M25		441	1.5		1		
			剥片	28	M25		285	5.7		1		
			剥片	28	M25		349	0.7		1		
			剥片	28	M25		389	1.0		1		
-290	200	10	尖頭器	28	M25		459	52.0		1		
-301	205	31	接合資料	26-28				282.9	19	5	88	2605
			剥片	26	K27		206	0.5		5		
-289	200	6	尖頭器	26	L23		3	57.8		5		
				26	L23		7	17.6		5		
				26	L24		133	2.4		5		
				26	L24		144	75.2		5		
			剥片	26	L24		17	7.8		5		
				28	M25		379	7.5		5		
				28	M26		112	41.6		5		
			剥片	26	L24		29	4.0		5		
			剥片	26	L24		57	0.6		5		
			剥片	26	L24		72	3.1		5		
			剥片	26	L25		22	2.1		5		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO		
-	205	46	剥片	26	L25		39	17.1		5				
					L25		6	3.6		5				
			剥片	26	L25		156	1.5		5				
					L25		10	3.7		5				
			剥片			L25		11	1.1		5			
						M25		461	1.1		5			
剥片			排土		5	34.6		5						
-302	206	32	接合資料	27				1,428.4	47	1	378	2688		
			剥片	27	L26	4	3.4		1					
			剥片	27	L26	9	2.0		1					
					L26	232	3.0		1					
			剥片	27	L26	87	6.9		1					
					L26	89	31.0		1					
			剥片	27	L26	352	5.2		1					
					L26	93	10.6		1					
			剥片	27	L26	1584	1.9		1					
					L26	1736	3.0		1					
			-289	200	5	尖頭器	L26		150	39.4		1		
							L26		676	58.7		1		
剥片	27	L26				308	1.7		1					
		L26				361	8.2		1					
		L26				578	19.0		1					
		L26				900	6.3		1					
剥片	27	L26				1274	6.8		1					
		L26				365	30.1		1					
剥片	27	L26				367	28.0		1					
		L26				446	1.8		1					
剥片	27	L26				455	12.8		1					
		L26				466	16.5		1					
剥片	27	L26	468	37.2		1								
		L26	517	1.9		1								
剥片	27	L26	1444	4.7		1								
		L26	579	5.6		1								
剥片	27	L26	656	8.0		1								
		L26	1231	10.7		1								
剥片	27	L26	657	38.5		1								
		L26	680	41.3		1								
剥片	27	L26	884	6.3		1								
		L26	805	387.1		1								
-292	202	17	両面調整石器	27	L26	805	387.1		1					
			剥片	27	L26	840	33.0		1					
			剥片	27	L26	897	8.3		1					
					L26	905	2.0		1					
			剥片	27	L26	911	6.0		1					
					L26	1164	3.9		1					
			剥片	27	L26	1173	136.3		1					
					L26	1191	3.8		1					
			剥片	27	L26	1178	6.8		1					
					L26	1301	102.9		1					
			剥片	27	L26	1186	186.0		1					
					L26	1195	63.6		1					
剥片	27	L26	1304	7.4		1								
		L26	1449	7.8		1								
剥片	27	L26	1525	16.5		1								
		L26	1699	2.8		1								
剥片	27	L26	1747	3.7		1								
-304	205	33	接合資料	26-27				1,148.4	68	1	380	2690		
			剥片	27	L26	2	6.2		1					
					L26	206	7.6		1					
			剥片	27	L25	81	4.3		1					
					L25	83	56.2		1					

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	27	L25		147	38.0		1		
					L25		188	14.2		1		
					L26		872	6.2		1		
			剥片	27	L26		1192	1.9		1		
					L26		54	9.7		1		
					L26		55	16.7		1		
			剥片	27	L26		62	8.6		1		
					L26		109	8.0		1		
			剥片	27	L26		186	6.0		1		
					L26		189	6.5		1		
			剥片	27	L26		665	3.2		1		
					L26		228	7.6		1		
			剥片	27	L26		241	3.3		1		
					L26		242	9.1		1		
			剥片	27	L26		250	11.0		1		
					L26		442	2.7		1		
					L26		549	17.1		1		
					L26		634	1.3		1		
			剥片	27	L26		303	5.4		1		
					L26		346	5.2		1		
			剥片	27	L26		353	4.1		1		
					L26		357	3.1		1		
					L26		926	61.9		1		
			剥片	27	L26		398	8.2		1		
					L26		462	63.1		1		
			剥片	27	L26		469	92.2		1		
					L26		485	7.6		1		
			剥片	27	L26		489	123.3		1		
					L26		493	3.2		1		
			剥片	27	L26		505	5.2		1		
					L26		708	7.1		1		
			剥片	27	L26		783	13.6		1		
					L26		1333	14.9		1		
			剥片	27	L26		824	2.4		1		
					L26		1215	5.0		1		
			剥片	27	L26		825	8.4		1		
					L26		826	25.2		1		
			剥片	27	L26		1207	47.4		1		
					L26		860	141.6		1		
			剥片	27	L26		982	21.9		1		
					L26		1023	4.6		1		
			剥片	27	L26		1163	2.5		1		
					L26		1179	3.0		1		
			剥片	27	L26		1171	19.2		1		
					L26		1218	3.5		1		
			剥片	27	L26		1223	9.5		1		
					L26		1291	28.0		1		
			剥片	27	L26		1305	4.6		1		
					L26		1292	2.4		1		
			剥片	27	L26		1361	5.3		1		
					L26		1396	5.1		1		
			剥片	27	L26		1485	3.7		1		
					L26		1492	5.4		1		
-290	201	12	尖頭器	26	L26		1552	63.5		1		
			剥片	27	L26		1588	11.3		1		
					L26		1591	4.6		1		
			剥片	27	L26		1592	2.2		1		
					L26		1601	4.4		1		
剥片	27	L26		1616	20.3		1					
剥片	27	L26		1662	6.6		1					

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	27	L26		1724	5.6		1		
			剥片	27	L26		1748	5.0		1		
			剥片	27	L26		1763	6.9		1		
			剥片		L27		6	5.8		1		
-305	207	34	接合資料	28				1,406.5	33	1	383	3070
			剥片	28	M25		75	8.1		1		
			剥片	28	M25		111	3.4		1		
			剥片	28	M25		135	1.7		1		
			剥片	28	M25		234	6.9		1		
			剥片	28	M25		241	10.5		1		
-292	202	18	両面調整石器	28	M25		78	9.6		1		
			剥片	28	M25		181	5.1		1		
			剥片	28	M25		207	54.5		1		
			剥片	28	M25		208	390.3		1		
			剥片	28	M25		277	127.3		1		
			剥片	28	M25		394	207.8		1		
			剥片	28	M25		95	41.9		1		
			剥片	28	M25		188	93.1		1		
			剥片	28	M25		97	12.0		1		
			剥片	28	M25		226	4.3		1		
			剥片	28	M25		107	8.9		1		
			剥片	28	M25		132	3.8		1		
			剥片	28	M25		240	1.8		1		
			剥片	28	M25		156	27.4		1		
			剥片	28	M25		339	11.3		1		
			剥片	28	M25		160	86.2		1		
			剥片	28	M25		169	11.5		1		
			剥片	28	M25		194	19.7		1		
			剥片	28	M25		195	32.6		1		
			剥片	28	M25		198	90.6		1		
			剥片	28	M25		227	20.7		1		
			剥片	28	M25		206	3.1		1		
			剥片	28	M25		215	20.8		1		
			剥片	28	M25		219	47.1		1		
			剥片	28	M25		256	19.5		1		
			剥片	28	M25		342	12.0		1		
			剥片	28	M25		345	11.3		1		
			剥片	28	M25		366	1.7		1		
-306	209	35	接合資料	29-30				1,393.5	106	1-5	385	3186
			剥片		L26		7	25.7		1		
			剥片	29	M27		9	0.9		1		
			剥片	30	N27		99	3.7		1		
			剥片	30	N27		244	20.6		1		
			剥片	30	N27		260	13.2		1		
			剥片	29	M28		12	4.3		1		
			剥片	30	N27		163	25.4		1		
			剥片		N28		2	71.6		1		
			剥片		M28		4	11.6		5		
			剥片	30	N27		6	10.5		1		
			剥片	30	N27		7	2.4		1		
			剥片	30	N27		12	7.4		5		
			剥片	30	N27		82	18.6		1		
			剥片	30	N27		22	2.7		5		
			剥片	30	N27		23	3.3		5		
			剥片	30	N27		250	34.6		1		
			剥片	30	N27		28	2.0		5		
			剥片	30	N27		61	3.3		1		
			剥片	30	N27		65	3.8		1		
			剥片	30	N27		63	17.2		1		
			剥片	30	N27		123	70.4		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	30	N27		64	4.5		1		
			剥片	30	N27		96	5.9		1		
			剥片	30	N27		341	4.5		1		
			剥片	30	N27		75	8.9		1		
			剥片	30	N27		88	4.2		1		
			剥片	30	N27		92	0.9		5		
			剥片	30	N27		93	2.7		5		
			剥片	30	N27		95	9.8		1		
			剥片	30	N27		120	3.5		5		
			剥片	30	N27		168	16.2		1		
			剥片	30	N27		270	30.6		1		
			剥片	30	N27		489	9.1		5		
			剥片	30	N27		98	2.3		1		
			剥片	30	N27		448	3.1		5		
			剥片	30	N27		493	1.4		5		
			剥片	30	N27		105	1.4		1		
			剥片	30	N27		458	10.1		5		
			剥片	30	N27		106	4.5		1		
			剥片	30	N27		121	1.9		1		
			剥片	30	N27		240	7.2		5		
			剥片	30	N27		272	3.4		1		
			剥片	30	N27		127	66.6		1		
			剥片	30	N27		688	2.5		1		
			剥片	30	N28		1	23.3		1		
			剥片	30	N27		142	4.6		1		
			剥片	30	N27		673	5.8		5		
			剥片	30	N27		167	2.3		5		
			剥片	30	N27		173	1.5		1		
			剥片	30	N27		208	2.6		1		
			剥片	30	N27		174	34.8		1		
			剥片	30	N27		303	5.9		1		
			剥片	30	N27		356	3.2		1		
			剥片	30	N27		175	10.7		1		
			剥片	30	N27		182	4.8		1		
			剥片	30	N27		221	10.9		1		
			剥片	30	N27		242	16.9		1		
			剥片	30	N27		243	4.2		1		
			剥片	30	N27		452	81.9		5		
			剥片	30	N27		246	24.3		5		
			剥片	30	N27		249	5.6		1		
			剥片	30	N27		255	3.1		5		
			剥片	30	N27		259	6.6		1		
			剥片	30	N27		261	33.8		1		
			剥片	30	N27		263	20.3		1		
			剥片	30	N27		273	11.5		5		
			剥片	30	N27		631	3.5		1		
			剥片	30	N27		286	3.9		1		
			剥片	30	N27		306	3.3		1		
			剥片	30	N27		373	2.0		1		
			剥片	30	N27		336	17.7		1		
			剥片	30	N27		340	7.2		1		
			剥片	30	N27		353	52.3		1		
			剥片	30	N27		362	25.8		1		
			剥片	30	N27		364	2.1		1		
			剥片	30	N27		443	1.2		1		
			剥片	30	N27		366	92.5		5		
			剥片	30	N27		418	1.5		5		
			剥片	30	N27		370	16.3		1		
			剥片	30	N27		434	16.9		5		
			剥片	30	N27		454	5.0		5		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	30	N27		455	30.1		5		
			剥片	30	N27		487	2.5		1		
				30	N27		558	17.0		1		
				30	N27		707	2.6		5		
			剥片	30	N27		555	3.3		5		
			剥片	30	N27		583	20.8		1		
				30	N27		657	8.4		5		
			剥片	30	N27		592	2.6		1		
			剥片	30	N27		626	29.6		5		
			剥片	30	N27		629	43.8		1		
			剥片	30	N27		651	3.0		1		
				30	N27		680	6.3		1		
					N27		4	7.6		5		
					N27		5	2.9		5		
					N27		6	1.9		5		
					N27		7	0.5		5		
			剥片	30	N27		669	1.7		1		
			剥片	30	N27		675	18.9		5		
			剥片	30	N27		676	1.1		1		
				30	N27		701	7.5		1		
			剥片	30	N27		700	9.0		1		
					N28		3	10.4		1		
			剥片	30	N28		2	9.7		1		
			剥片	30	N28		3	6.4		5		
			剥片		O29		1	17.7		1		
-308	210	36	接合資料	29				1,683.3	91	4	129	3097
			剥片	29	L27		64	2.9		4		
			剥片		L28		1	56.5		4		
			剥片	29	M27		14	96.6		4		
			剥片	29	M27		15	21.5		4		
			剥片	29	M27		16	41.6		4		
				29	M27		74	7.2		4		
				29	M27		510	3.6		4		
			剥片	29	M27		22	10.6		4		
				29	M27		24	8.3		4		
				29	M27		47	43.9		4		
				29	M27		255	4.1		4		
				29	M27		314	13.7		4		
				29	M27		345	5.7		4		
			剥片	29	M27		26	130.3		4		
				29	M27		99	3.0		4		
				29	M27		265	6.5		4		
				29	M27		490	2.6		4		
				29	M27		563	41.4		4		
			剥片	29	M27		34	60.2		4		
			剥片	29	M27		37	31.3		4		
				29	M27		231	27.5		4		
			剥片	29	M27		40	3.0		4		
			剥片	29	M27		58	3.0		4		
			剥片	29	M27		83	4.4		4		
			剥片	29	M27		86	12.2		4		
				29	M27		143	5.0		4		
				29	M27		507	2.1		4		
				29	M27		535	12.8		4		
				29	M27		632	0.8		4		
			剥片	29	M27		90	5.9		4		
			剥片	29	M27		117	15.1		4		
				29	M27		439	2.0		4		
				29	M27		459	3.9		4		
				29	M27		662	55.5		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	29	M27		125	4.1		4		
			剥片	29	M27		138	10.3		4		
			剥片	29	M27		145	25.1		4		
			剥片	29	M27		204	2.4		4		
				29	M27		501	2.4		4		
			剥片	29	M27		212	4.6		4		
			剥片	29	M27		232	105.4		4		
			剥片	29	M27		238	10.1		4		
				29	M27		506	27.2		4		
				29	M27		542	3.2		4		
			剥片	29	M27		241	1.8		4		
				29	M27		526	28.8		4		
				29	M27		619	7.1		4		
				29	M27		651	6.3		4		
				29	M28		39	1.3		4		
			剥片	29	M27		252	28.7		4		
				29	M27		529	8.3		4		
			剥片	29	M27		261	5.8		4		
				29	M27		438	1.9		4		
			剥片	29	M27		263	11.1		4		
				29	M27		318	2.7		4		
			剥片	29	M27		277	20.3		4		
			剥片	29	M27		283	16.5		4		
			剥片	29	M27		288	21.7		4		
			剥片	29	M27		291	0.9		4		
			剥片	29	M27		312	18.1		4		
			剥片	29	M27		323	4.0		4		
				29	M27		520	2.9		4		
			剥片	29	M27		342	25.5		4		
			剥片	29	M27		344	45.3		4		
				29	M27		457	39.1		4		
				29	M27		644	3.9		4		
			剥片	29	M27		355	0.6		4		
			剥片	29	M27		359	3.1		4		
				29	M27		450	9.8		4		
			剥片	29	M27		393	1.3		4		
			剥片	29	M27		445	16.9		4		
			剥片	29	M27		460	3.1		4		
			剥片	29	M27		464	3.4		4		
				29	M28		27	3.8		4		
			剥片	29	M27		475	58.4		4		
			剥片	29	M27		503	7.5		4		
				29	M27		533	5.5		4		
			剥片	29	M27		523	8.2		4		
				29	M27		559	1.8		4		
				29	M27		561	160.8		4		
				29	M27		598	24.1		4		
			剥片	29	M27		524	35.8		4		
			剥片	29	M27		553	6.9		4		
			剥片	29	M27		557	32.1		4		
			剥片	29	M27		594	4.7		4		
			剥片	29	M27		595	13.9		4		
			剥片	29	M27		597	23.6		4		
			剥片	29	M27		600	1.4		4		
			剥片	29	M27		630	6.7		4		
			剥片	29	M28		5	6.8		4		
			剥片	29	M28		49	1.6		4		
-310	212	37	接合資料	27				1,778.5	99	1	97	2709
			剥片	27	L25		191	76.9		1		
			剥片	27	L26		29	9.1		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	27	L26		41	9.0		1		
			剥片	27	L26		98	3.8		1		
			剥片	27	L26		1001	52.0		1		
			剥片	27	L26		1583	2.6		1		
			剥片	27	L26		46	15.3		1		
			剥片	27	L26		111	3.5		1		
			剥片	27	L26		1393	14.3		1		
			剥片	27	L26		1550	11.0		1		
			剥片	27	L26		113	1.9		1		
			剥片	27	L26		148	2.4		1		
			剥片	27	L26		240	7.5		1		
			剥片	27	L26		133	30.9		1		
			剥片	27	L26		1044	29.0		1		
			剥片	27	L26		158	2.2		1		
			剥片	27	L26		161	25.5		1		
			剥片	27	L26		184	43.5		1		
			剥片	27	L26		215	167.0		1		
			剥片	27	L26		258	40.4		1		
			剥片	27	L26		275	2.1		1		
			剥片	27	L26		586	1.1		1		
			剥片	27	L26		1057	18.2		1		
			剥片	27	L26		310	195.2		1		
			剥片	27	L26		1415	8.0		1		
			剥片	27	L26		313	1.6		1		
			剥片	27	L26		694	21.2		1		
			剥片	27	L26		315	4.2		1		
			剥片	27	L26		1096	5.3		1		
			剥片	27	L26		325	1.1		1		
			剥片	27	L26		400	7.8		1		
			剥片	27	L26		779	2.4		1		
			剥片	27	L26		1099	17.8		1		
			剥片	27	L26		334	4.3		1		
			剥片	27	L26		741	2.7		1		
			剥片	27	L26		372	7.7		1		
			剥片	27	L26		550	7.3		1		
			剥片	27	L26		378	5.5		1		
			剥片	27	L26		533	8.5		1		
			剥片	27	L26		381	7.6		1		
			剥片	27	L26		425	3.6		1		
			剥片	27	L26		396	3.3		1		
			剥片	27	L26		521	4.4		1		
			剥片	27	L26		1624	11.0		1		
			剥片	27	L26		409	3.3		1		
			剥片	27	L26		1346	1.7		1		
			剥片	27	L26		426	10.8		1		
			剥片	27	L26		461	3.0		1		
			剥片	27	L26		500	7.0		1		
			剥片	27	L26		526	4.1		1		
			剥片	27	L26		768	2.5		1		
			剥片	27	L26		565	22.1		1		
			剥片	27	L26		569	19.7		1		
			剥片	27	L26		570	246.6		1		
			剥片	27	L26		1082	8.0		1		
			剥片	27	L26		1363	1.4		1		
			剥片	27	L26		1761	1.4		1		
			剥片	27	L26		571	16.9		1		
			剥片	27	L26		585	4.2		1		
			剥片	27	L26		1427	7.6		1		
			剥片	27	L26		601	57.7		1		
			剥片	27	L26		603	59.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	27	L26		722	2.6		1		
			剥片	27	L26		739	2.1		1		
			剥片	27	L26		1416	30.5		1		
			剥片	27	L26		754	7.4		1		
			剥片	27	L26		1121	4.5		1		
			剥片	27	L26		1625	1.7		1		
			剥片	27	L26		760	1.9		1		
			剥片	27	L26		801	10.8		1		
			剥片	27	L26		873	2.5		1		
			剥片	27	L26		930	75.2		1		
			剥片	27	L26		1433	5.6		1		
			剥片	27	L26		1711	13.7		1		
			剥片	27	L26		992	3.2		1		
			剥片	27	L26		1695	2.0		1		
			剥片	27	L26		1043	12.5		1		
			剥片	27	L26		1111	3.6		1		
			剥片	27	L26		1050	7.7		1		
			剥片	27	L26		1051	1.5		1		
			剥片	27	L26		1062	12.0		1		
			剥片	27	L26		1284	30.8		1		
			剥片	27	L26		1698	8.3		1		
			剥片	27	L26		1406	3.4		1		
			剥片	27	L26		1410	5.1		1		
			剥片	27	L26		1420	21.8		1		
			剥片	27	L26		1421	38.6		1		
			剥片	27	L26		1436	3.0		1		
			剥片	27	L26		1477	2.5		1		
			剥片	27	L26		1471	12.7		1		
			剥片	27	L26		1472	12.2		1		
			剥片	27	L26		1502	3.8		1		
			剥片	27	L26		1659	3.6		1		
			剥片	27	L26		1522	1.1		1		
			剥片	27	L26		1731	5.0		1		
			剥片	27	L26		1580	18.2		1		
			剥片	27	L26		1645	6.9		1		
			剥片	27	L26		1680	11.9		1		
			剥片	27	L26		1722	11.8		1		
		311	213	38	接合資料	28		463.0	31	1	143	3176
			剥片	28	M25		32	37.6		1		
			剥片	28	M25		149	3.4		1		
			剥片	28	M25		11	17.4		1		
			剥片	28	M26		41	14.1		1		
			剥片	28	N24		2	5.1		1		
			剥片	28	M26		92	11.7		1		
			剥片	28	M26		20	65.1		1		
			剥片	28	N24		435	11.9		1		
			剥片	28	N24		4	3.4		1		
			剥片	28	N24		28	22.7		1		
			剥片	28	N24		29	25.7		1		
			剥片	28	N24		249	2.5		1		
			剥片	28	N25		159	1.0		1		
			剥片	28	N24		33	47.3		1		
			剥片	28	N25		209	6.7		1		
			剥片	28	N24		41	10.1		1		
			剥片	28	N24		56	26.5		1		
			剥片	28	N24		64	17.4		1		
			剥片	28	N24		90	4.8		1		
			剥片	28	N24		98	5.4		1		
			剥片	28	N24		108	6.8		1		
			剥片	28	N24		139	31.9		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	28	N24		195	20.6		1		
			剥片	28	N24		242	3.5		1		
			剥片	28	N24		293	14.7		1		
			剥片	28	N24		431	13.2		1		
			剥片	28	N24		478	13.2		1		
			剥片	28	N24		558	12.7		1		
			剥片	28	N24		594	1.9		1		
				28	N24		597	3.4		1		
			剥片	28	N25		50	1.3		1		
-313	214	39	接合資料	26-外				302.7	64	1	377	2672
			剥片	26	K25		143	1.5		1		
			剥片	26	K26		5	7.4		1		
			剥片	26	K26		36	1.7		1		
			剥片	26	K26		37	2.9		1		
				26	K26		147	1.3		1		
			剥片	26	K26		43	0.7		1		
			剥片	26	K26		56	2.9		1		
				26	K26		141	0.9		1		
				26	K26		153	1.1		1		
			剥片	26	K26		60	8.2		1		
			剥片	26	K26		61	14.1		1		
			剥片	26	K26		83	3.6		1		
			剥片	26	K26		116	1.4		1		
			剥片	26	K26		124	0.8		1		
			剥片	26	K26		149	2.1		1		
			剥片	26	K26		151	2.1		1		
			剥片	26	K26		163	0.8		1		
				26	K26		292	0.7		1		
			剥片	26	K26		164	6.5		1		
			剥片	26	K26		166	2.9		1		
			剥片	26	K26		174	4.8		1		
			剥片	26	K26		175	4.6		1		
			剥片	26	K26		181	3.8		1		
			剥片	26	K26		210	14.3		1		
				26	K26		546	1.3		1		
			剥片	26	K26		228	1.0		1		
			剥片	26	K26		233	19.0		1		
			剥片	26	K26		240	39.8		1		
			剥片	26	K26		244	2.6		1		
			剥片	26	K26		254	0.9		1		
			剥片	26	K26		276	0.9		1		
			剥片	26	K26		296	3.2		1		
			剥片	26	K26		299	1.4		1		
				26	K27		39	5.7		1		
			剥片	26	K26		304	1.4		1		
			剥片	26	K26		306	3.4		1		
			剥片	26	K26		330	12.1		1		
			剥片	26	K26		341	4.5		1		
				26	K27		16	5.0		1		
				26	K27		127	19.6		1		
			剥片	26	K26		353	2.6		1		
			剥片	26	K26		374	7.0		1		
			剥片	26	K26		398	8.9		1		
			剥片	26	K26		405	1.6		1		
			剥片	26	K26		434	1.6		1		
				外	K28		3	1.8		1		
			剥片	26	K26		450	1.8		1		
			剥片	26	K26		484	9.4		1		
			剥片	26	K26		487	4.9		1		
			剥片	26	K26		598	0.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				26	K27		188	1.5		1		
			剥片	26	K26		600	1.6		1		
			剥片		K26		8	4.5		1		
			剥片	26	K27		3	1.1		1		
			剥片	26	K27		30	1.0		1		
				26	K27		61	1.5		1		
			剥片	26	K27		76	13.8		1		
			剥片	26	K27		111	2.6		1		
			剥片	26	K27		140	0.6		1		
			剥片	26	K27		143	2.7		1		
			剥片	26	K27		157	1.9		1		
			剥片	26	L25		4	3.3		1		
			剥片	26	L26		806	12.1		1		
			剥片	26	L26		1152	1.3		1		
-314	215	40	接合資料	27				1,327.1	59	1	96	2691
			剥片	27	L26		76	3.0		1		
				27	L26		576	9.8		1		
			剥片	27	L26		120	4.7		1		
				27	L26		1042	19.4		1		
			剥片	27	L26		129	5.7		1		
				27	L26		609	97.4		1		
			剥片	27	L26		130	136.5		1		
				27	L26		131	24.2		1		
			剥片	27	L26		142	9.9		1		
				27	L26		580	13.0		1		
				27	L26		1058	2.4		1		
			剥片	27	L26		185	5.9		1		
				27	L26		199	14.3		1		
				27	L26		1510	2.7		1		
			剥片	27	L26		207	2.8		1		
			剥片	27	L26		226	85.4		1		
				27	L26		1478	32.3		1		
				27	L26		1578	5.5		1		
			剥片	27	L26		270	3.3		1		
				27	L26		1029	39.3		1		
			剥片	27	L26		290	4.9		1		
			剥片	27	L26		376	17.5		1		
			剥片	27	L26		386	18.1		1		
				27	L26		614	9.4		1		
				27	L26		1328	24.8		1		
				27	L26		1403	2.6		1		
			剥片	27	L26		407	10.5		1		
			剥片	27	L26		415	11.5		1		
			剥片	27	L26		513	5.1		1		
				27	L26		599	39.3		1		
			剥片	27	L26		557	29.9		1		
				27	L26		800	50.0		1		
			剥片	27	L26		561	38.9		1		
				27	L26		562	30.3		1		
			剥片	27	L26		563	32.0		1		
			剥片	27	L26		611	30.8		1		
			剥片	27	L26		639	4.8		1		
			剥片	27	L26		672	29.7		1		
				27	L26		1000	63.1		1		
			剥片	27	L26		771	63.7		1		
			剥片	27	L26		782	14.4		1		
				27	L26		1378	15.4		1		
			剥片	27	L26		796	4.6		1		
			剥片	27	L26		828	24.3		1		
			剥片	27	L26		1015	3.8		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				27	L26		1464	6.7		1		
			剥片	27	L26		1022	27.3		1		
			剥片	27	L26		1070	4.4		1		
			剥片	27	L26		1083	15.4		1		
				27	L26		1093	32.8		1		
				27	L26		1355	7.7		1		
			剥片	27	L26		1201	6.6		1		
			剥片	27	L26		1254	28.8		1		
				27	L26		1528	3.0		1		
			剥片	27	L26		1518	3.4		1		
			剥片	27	L26		1520	6.0		1		
			剥片	27	L26		1672	71.5		1		
			剥片	27	L26		1719	1.7		1		
			剥片	27	L26		1762	14.9		1		
-315	216	41	接合資料	27				723.1	41	1	95	2686
			剥片	27	L26		39	7.1		1		
				27	L26		64	32.4		1		
			剥片	27	L26		49	37.4		1		
			剥片	27	L26		81	22.5		1		
				27	L26		798	5.8		1		
			剥片	27	L26		168	10.6		1		
				27	L26		695	71.2		1		
			剥片	27	L26		269	29.7		1		
				27	L26		349	58.9		1		
			剥片	27	L26		278	37.0		1		
				27	L26		1236	1.8		1		
				27	L26		1282	3.1		1		
				27	L26		1358	3.5		1		
				27	L26		1487	31.3		1		
				27	L26		1703	2.7		1		
			剥片	27	L26		280	12.7		1		
				27	L26		347	12.0		1		
			剥片	27	L26		285	41.0		1		
				27	L26		433	8.8		1		
			剥片	27	L26		301	17.8		1		
				27	L26		356	5.6		1		
			剥片	27	L26		450	1.7		1		
				27	L26		939	5.2		1		
				27	L26		1048	12.2		1		
				27	L26		1667	11.7		1		
				27	L26		1690	8.3		1		
				27	L26		5	30.4		1		
			剥片	27	L26		658	26.8		1		
				27	L26		1319	2.4		1		
			剥片	27	L26		686	8.1		1		
			剥片	27	L26		802	4.2		1		
				27	L26		995	7.7		1		
			剥片	27	L26		883	12.9		1		
			剥片	27	L26		909	6.9		1		
				27	L26		949	23.2		1		
			剥片	27	L26		923	27.4		1		
			剥片	27	L26		1072	8.4		1		
			剥片	27	L26		1119	10.2		1		
				27	L26		1172	45.1		1		
			剥片	27	L26		1197	4.9		1		
			剥片		L27		5	12.5		1		
-315	216	42	接合資料	27				435.9	30	1	95	2687
			剥片	27	L26		7	5.9		1		
			剥片	27	L26		66	14.3		1		
				27	L26		483	11.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				27	L26		1316	17.4		1		
			剥片	27	L26		254	6.8		1		
			剥片	27	L26		286	4.0		1		
				27	L26		833	9.8		1		
				27	L26		885	37.2		1		
				27	L26		1094	2.6		1		
				27	L26		1786	7.2		1		
			剥片	27	L26		448	2.0		1		
				27	L26		928	36.7		1		
			剥片	27	L26		504	31.2		1		
				27	L26		1547	19.9		1		
			剥片	27	L26		661	15.9		1		
				27	L26		971	5.5		1		
			剥片	27	L26		787	4.0		1		
				27	L26		803	5.8		1		
			剥片	27	L26		875	8.2		1		
			剥片	27	L26		892	2.2		1		
			剥片	27	L26		914	3.9		1		
				27	L26		1696	2.4		1		
			剥片	27	L26		979	10.4		1		
			剥片	27	L26		998	49.9		1		
			剥片	27	L26		1116	29.7		1		
				27	L26		1428	28.7		1		
			剥片	27	L26		1216	21.7		1		
			剥片	27	L26		1417	13.0		1		
			剥片	27	L26		1567	14.6		1		
			剥片	27	L26		1650	13.2		1		
-316	223	43	接合資料	27-28-外				1,412.6	24	1	379	2689
			剥片	外	K21		5	26.2		1		
			剥片	27	L26		216	3.2		1		
			剥片	27	L26		379	3.5		1		
				27	L26		980	36.0		1		
			剥片	27	L26		509	15.2		1		
				27	L26		1457	19.3		1		
			剥片	27	L26		555	5.2		1		
			剥片	27	L26		575	1.4		1		
			剥片	27	L26		619	6.6		1		
				27	L26		797	5.6		1		
				27	L26		1124	27.4		1		
			剥片	27	L26		729	10.0		1		
				27	L26		747	9.3		1		
			剥片	27	L26		1347	18.1		1		
				27	L26		1783	7.7		1		
			剥片	27	L26		1404	18.8		1		
			剥片	27	L26		1511	4.3		1		
				27	L26		1758	1.8		1		
			縦長剥片	27	L26		1565	93.3		1		
				27	L26		1570	239.2		1		
-294	203	29	石核	27	L27		35	755.5		1		
				27	L27		59	5.0		1		
			剥片	28	M26		98	5.3		1		
			剥片	28	M26		111	94.7		1		
-318	208	47	接合資料	28				3,146.7	26	1-3-5	381	3068
			剥片	28	M25		56	13.5		1		
			剥片	28	M25		80	6.2		1		
			剥片	28	M25		90	3.8		1		
			剥片	28	M25		98	31.0		1		
				28	M25		99	10.9		1		
				28	M25		165	6.0		5		
				28	M25		201	4.9		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	28	M25		108	11.1		1		
				28	M25		176	3.8		5		
				28	M25		200	2.6		1		
				28	M25		204	10.7		1		
				28	M25		205	3.1		1		
				28	M25		370	14.5		3		
				28	M25		413	1.5		1		
293	203	19	両面調整石器	28	M25		136	2,365.7		1		
				28	M25		137	290.8		1		
			剥片	28	M25		138	36.0		1		
			剥片	28	M25		157	10.0		1		
				28	M25		218	4.2		1		
				28	M25		283	173.9		1		
			剥片	28	M25		167	9.9		5		
			剥片	28	M25		202	48.6		1		
			剥片	28	M25		235	62.8		1		
			剥片	28	M25		274	10.4		1		
			剥片	28	M25		338	5.4		1		
			剥片	28	M25		340	5.4		1		
321	217	50	接合資料	28-29-30			901.6		119	3-4	131	3102
			剥片	29	L27		62	1.9		4		
				28	M25		297	1.1		4		
				28	M25		310	7.7		4		
				28	M25		489	26.3		4		
			剥片	29	L27		86	1.5		4		
			剥片	29	L27		90	1.1		4		
				29	M27		480	3.2		4		
			剥片	29	L27		101	0.5		4		
				29	M27		146	0.9		4		
				29	M27		311	0.7		4		
				29	M27		497	0.7		4		
				29	M27		525	4.5		4		
			剥片	29	L28		3	3.8		4		
			剥片	28	M26		96	0.8		4		
			剥片	29	M27		13	1.2		4		
				29	M27		102	18.5		4		
			剥片	29	M27		21	1.4		4		
				29	M27		120	1.0		4		
			剥片	29	M27		27	11.6		4		
				29	M27		608	2.0		4		
				29	M28		4	6.7		4		
			剥片	29	M27		39	1.9		4		
				29	M27		343	31.3		4		
				29	M27		364	7.2		4		
				29	M27		509	3.6		4		
			剥片	29	M27		49	5.7		4		
			剥片	29	M27		50	2.3		4		
				29	M27		161	5.3		4		
				29	M27		484	83.1		4		
			剥片	29	M27		54	1.3		4		
				29	M27		367	20.0		4		
			剥片	29	M27		71	2.1		4		
				29	M27		82	6.3		4		
				29	M27		216	28.8		4		
				29	M27		281	2.8		4		
			剥片	29	M27		72	36.2		4		
				29	M27		307	1.1		4		
				29	M27		494	7.1		4		
			剥片	29	M27		76	3.7		4		
				29	M27		87	2.6		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				29	M27		206	2.1		4		
				29	M27		262	4.2		4		
				29	M27		409	2.1		4		
			剥片	29	M27		77	10.7		4		
				29	M27		124	1.1		4		
				29	M27		163	1.7		4		
				29	M27		489	1.7		4		
			剥片	29	M27		92	1.9		4		
			剥片	29	M27		96	0.8		4		
				29	M27		209	1.9		4		
			29	M27		403	2.9		4			
			剥片	29	M27		103	4.7		4		
				29	M27		384	8.0		4		
			剥片	29	M27		107	2.0		4		
				29	M27		225	3.5		4		
			29	M27		260	5.0		4			
			剥片	29	M27		126	107.1		4		
			剥片	29	M27		135	22.2		4		
			剥片	29	M27		141	2.5		4		
			29	M27		531	1.8		4			
			剥片	29	M27		144	11.0		4		
			剥片	29	M27		149	5.0		4		
				29	M27		310	1.3		4		
			剥片	29	M27		153	9.0		4		
				29	M27		264	5.6		4		
			剥片	29	M27		159	3.0		4		
				29	M27		469	4.2		4		
			剥片	29	M27		170	3.2		4		
			剥片	29	M27		172	1.4		4		
				29	M27		205	2.2		4		
			剥片	29	M27		176	3.0		4		
			剥片	29	M27		178	3.3		4		
			剥片	29	M27		189	1.3		4		
			剥片	29	M27		197	1.6		4		
				29	M27		198	1.5		4		
			剥片	29	M27		220	2.0		4		
				29	M27		236	5.2		4		
			剥片	29	M27		657	12.5		4		
				29	M27		248	2.6		4		
			剥片	29	M27		381	1.3		4		
				29	M27		521	5.7		4		
				29	M27		251	1.6		4		
			剥片	29	M27		606	38.3		4		
				29	M27		286	71.0		4		
			剥片	29	M27		306	9.4		4		
				29	M27		330	6.7		4		
				29	M27		396	6.2		4		
			剥片	29	M27		289	1.2		4		
				29	M27		648	1.5		4		
			剥片	29	M27		299	1.5		4		
				29	M27		302	13.1		4		
			剥片	29	M27		319	3.7		4		
			剥片	29	M27		328	1.9		4		
			剥片	29	M27		349	6.4		4		
			剥片	29	M27		361	4.5		4		
				29	M27		362	8.0		4		
			剥片	29	M27		366	18.4		4		
				29	M27		368	4.9		4		
			剥片	29	M27		638	0.7		3		
				29	M27		373	1.1		4		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				30	M28		41	1.0		4		
			剥片	29	M27		385	11.2		4		
				29	M27		508	1.7		4		
			剥片	30	M27		414	0.9		4		
			剥片	29	M27		417	2.0		4		
			剥片	29	M27		418	1.2		4		
			剥片	29	M27		419	1.3		4		
			剥片	29	M27		430	6.3		4		
			剥片	29	M27		443	3.6		4		
			剥片	29	M27		493	8.1		4		
			剥片	29	M27		530	13.3		4		
				29	M27		691	6.2		4		
			剥片	29	M27		547	0.6		4		
			剥片	29	M27		566	4.1		4		
			剥片	29	M27		572	2.5		4		
			剥片	29	M27		609	3.2		4		
			剥片	29	M27		649	5.1		4		
			剥片	28	M27		713	3.3		4		
			剥片	29	M29		5	2.6		4		
-320	218	51	接合資料	27282930				2,293.1	80	1-5	384	3185
			剥片	27	L26		164	241.8		1		
			剥片	28	M25		62	83.5		1		
				30	N27		420	3.3		1		
			剥片	30	M27		1	5.7		1		
			剥片	29	M27		194	5.0		1		
				30	N27		4	36.2		1		
			剥片	30	N27		2	21.3		1		
			剥片	30	N27		3	10.9		1		
			剥片	30	N27		5	95.0		1		
			剥片	30	N27		21	1.6		1		
			剥片	30	N27		29	7.8		1		
				30	N27		504	8.1		5		
			剥片	30	N27		30	2.2		1		
				30	N27		637	12.8		1		
			剥片	30	N27		37	5.5		1		
			剥片	30	N27		38	6.1		1		
				30	N27		565	3.8		1		
			剥片	30	N27		43	26.0		1		
			剥片	30	N27		46	13.0		1		
				30	N27		57	33.6		1		
				30	N27		531	1.4		1		
			剥片	30	N27		53	58.1		1		
			剥片	30	N27		60	67.0		1		
				30	N27		702	85.2		1		
			剥片	30	N27		72	48.1		1		
			剥片	30	N27		78	9.6		1		
			剥片	30	N27		83	14.1		1		
			剥片	30	N27		91	7.4		1		
			剥片	30	N27		102	7.7		1		
				30	N27		103	46.5		1		
			剥片	30	N27		109	1.5		1		
				30	N27		233	15.5		1		
			剥片	30	N27		115	16.5		1		
			剥片	30	N27		131	7.3		1		
				30	N27		437	12.9		5		
			剥片	30	N27		144	4.6		1		
				30	N27		499	19.5		1		
			剥片	30	N27		150	6.4		1		
			剥片	30	N27		166	7.1		1		
				30	N28		17	92.6		5		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	30	N27		194	32.0		1		
			剥片	30	N27		200	3.8		1		
			剥片	30	N27		203	19.5		1		
			剥片	30	N27		210	18.9		1		
				30	N27		212	3.7		1		
				30	N27		406	2.0		1		
			剥片	30	N27		223	10.8		1		
			剥片	30	N27		226	22.8		1		
				30	N27		335	1.1		1		
			剥片	30	N27		248	1.9		1		
				30	N27		354	24.8		1		
			剥片	30	N27		257	4.2		1		
				30	N27		308	73.6		1		
				30	N27		451	58.3		1		
			剥片	30	N27		280	8.4		1		
			剥片	30	N27		310	7.7		1		
				30	N27		313	0.9		1		
			剥片	30	N27		368	11.7		1		
			剥片	30	N27		369	18.8		1		
				30	N27		585	3.8		1		
			剥片	30	N27		392	6.5		1		
			剥片	30	N27		400	43.2		1		
			剥片	30	N27		403	9.2		1		
				30	N27		672	7.3		1		
			剥片	30	N27		413	3.6		5		
			剥片	30	N27		422	2.7		5		
				30	N27		423	1.8		1		
			剥片	30	N27		438	3.4		1		
			剥片	30	N27		450	15.8		1		
				30	N27		490	4.1		1		
			剥片	30	N27		500	66.5		1		
			剥片	30	N27		559	149.8		1		
			剥片	30	N27		601	64.2		5		
			剥片	30	N27		622	4.7		1		
			剥片	30	N27		646	6.0		1		
			剥片	30	N27		650	28.9		1		
			剥片	30	N27		694	339.8		1		
			剥片	30	N27		709	23.8		1		
			剥片		N27		3	19.0		1		
			剥片		N28		1	11.9		1		
-321	219	52	接合資料	29				415.9	86	1	132	3107
			剥片	29	L28		7	11.4		1		
				29	M27		400	12.8		1		
			剥片	29	L28		8	3.7		1		
			剥片	29	L28		24	7.7		1		
				29	M27		324	3.0		1		
			剥片	29	L28		31	1.8		1		
				29	M27		591	2.6		1		
				29	M27		612	2.5		1		
				29	M27		614	4.2		1		
			剥片	29	L28		38	0.9		1		
				29	M27		80	3.6		1		
				29	M27		177	2.1		1		
			剥片	29	M27		7	2.8		1		
				29	M27		654	3.9		1		
			剥片	29	M27		23	15.4		1		
			剥片	29	M27		25	2.0		1		
				29	M27		44	1.0		1		
			剥片	29	M27		36	6.4		1		
			剥片	29	M27		41	6.9		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	29	M27		57	2.9		1		
			剥片	29	M27		294	2.3		1		
			剥片	29	M27		562	0.9		1		
			剥片	29	M27		68	5.4		1		
			剥片	29	M27		70	1.4		1		
			剥片	29	M27		210	2.4		1		
			剥片	29	M27		73	12.6		1		
			剥片	29	M27		379	8.2		1		
			剥片	29	M27		79	13.5		1		
			剥片	29	M27		112	3.4		1		
			剥片	29	M27		115	4.4		1		
			剥片	29	M27		537	2.7		1		
			剥片	29	M27		98	4.5		1		
			剥片	29	M27		390	13.3		1		
			剥片	29	M27		114	14.7		1		
			剥片	29	M27		116	1.7		1		
			剥片	29	M27		129	15.3		1		
			剥片	29	M27		130	1.0		1		
			剥片	29	M27		134	1.1		1		
			剥片	29	M27		447	1.1		1		
			剥片	29	M27		486	24.1		1		
			剥片	29	M27		538	1.7		1		
			剥片	29	M27		643	0.8		1		
			剥片	29	M27		137	9.9		1		
			剥片	29	M27		171	18.7		1		
			剥片	29	M27		604	1.5		1		
			剥片	29	M27		154	6.4		1		
			剥片	29	M27		174	1.2		1		
			剥片	29	M27		683	1.1		1		
			剥片	29	M27		184	11.8		1		
			剥片	29	M27		227	2.8		1		
			剥片	29	M27		256	4.4		1		
			剥片	29	M27		258	1.5		1		
			剥片	29	M27		296	2.4		1		
			剥片	29	M27		380	2.1		1		
			剥片	29	M27		511	7.5		1		
			剥片	29	M27		297	0.6		1		
			剥片	29	M27		372	0.6		1		
			剥片	29	M27		434	2.0		1		
			剥片	29	M27		498	2.3		1		
			剥片	29	M27		515	2.1		1		
			剥片	29	M27		618	2.1		1		
			剥片	29	M27		655	1.4		1		
			剥片	29	M28		50	1.7		1		
			剥片	29	M27		300	4.2		1		
			剥片	29	M27		304	2.3		1		
			剥片	29	M27		399	1.3		1		
			剥片	29	M27		329	2.7		1		
			剥片	29	M27		646	2.2		1		
			剥片	29	M27		341	1.1		1		
			剥片		M27		3	12.1		1		
			剥片	29	M27		354	12.7		1		
			剥片	29	M27		581	2.4		1		
			剥片	29	M27		387	4.9		1		
			剥片	29	M27		405	1.1		1		
			剥片	29	M27		552	2.2		1		
			剥片	29	M27		410	4.9		1		
			剥片	29	M27		463	23.2		1		
			剥片	29	M27		466	1.0		1		
			剥片	29	M27		482	3.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	29	M27		541	0.8		1		
			剥片	29	M27		558	1.0		1		
			剥片	29	M27		613	1.4		1		
			剥片	29	M27		584	0.9		1		
			剥片	29	M27		621	5.0		1		
			剥片	29	M27		689	0.6		1		
			剥片	29	M27		690	6.7		1		
-319	220	54	接合資料	27-29-30				2,877.1	131	1-5	315	3184
			剥片	27	L26		443	157.7		5		
			剥片	29	M27		63	2.8		5		
			剥片	29	M27		605	3.2		5		
			剥片	30	N27		315	4.5		1		
			剥片	30	N27		412	9.3		5		
			剥片	29	M28		7	3.6		1		
			剥片	30	M28		16	12.2		5		
			剥片	30	M28		36	4.2		5		
			剥片	30	N27		316	2.1		1		
			剥片	30	N27		524	4.0		5		
			剥片	30	N27		548	11.9		1		
			剥片		M28		5	4.2		1		
			剥片	30	N27		671	2.9		5		
			剥片	30	N26		4	6.1		1		
			剥片	30	N26		8	16.9		5		
			剥片	30	N27		77	8.9		1		
			剥片	30	N27		471	14.9		5		
			剥片	30	N26		11	4.0		5		
			剥片	30	N26		16	4.7		5		
			剥片	30	N27		574	2.6		5		
			剥片	30	N26		20	5.6		5		
			剥片	30	N27		184	3.3		1		
			剥片	30	N27		327	3.8		5		
			剥片	30	N28		7	3.3		5		
			剥片	30	N26		22	11.0		5		
			剥片	30	N27		415	7.9		5		
			剥片	30	N26		23	12.5		5		
			剥片	30	N27		8	44.3		1		
			剥片	30	N27		291	0.9		1		
			剥片	30	N27		14	16.1		5		
			剥片	30	N27		197	11.7		5		
			剥片	30	N27		15	127.5		5		
			剥片	30	N27		16	26.6		5		
			剥片	30	N27		148	2.7		5		
			剥片	30	N27		19	42.1		5		
			剥片	30	N27		24	5.8		5		
			剥片	30	N27		34	3.9		5		
			剥片	30	N27		39	10.1		5		
			剥片	30	N27		314	126.7		5		
			剥片	30	N27		49	2.1		1		
			剥片		N27		8	10.8		1		
			剥片	30	N27		50	21.1		1		
			剥片	30	N27		305	4.8		1		
			剥片	30	N27		388	21.9		1		
			剥片	30	N27		51	11.3		5		
			剥片	30	N27		52	4.9		5		
			剥片	30	N27		67	2.8		1		
			剥片	30	N27		132	27.1		1		
			剥片	30	N27		227	12.8		5		
			剥片	30	N27		367	20.4		5		
			剥片	30	N27		54	34.6		5		
			剥片	30	N27		207	44.8		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				30	N27		380	1.4		5		
			剥片	30	N27		56	258.5		5		
				30	N27		656	3.2		5		
			剥片	30	N27		58	14.1		5		
				30	N27		549	1.6		5		
			剥片	30	N27		66	5.6		1		
				30	N27		274	17.8		1		
			剥片	30	N27		73	21.7		5		
			剥片	30	N27		74	18.7		1		
			剥片	30	N27		79	1.5		5		
				30	N27		81	345.9		5		
			剥片	30	N27		111	5.8		1		
				30	N27		219	5.6		5		
				30	N27		435	6.8		1		
			剥片	30	N27		129	55.5		5		
				30	N27		229	1.7		5		
			剥片	30	N27		134	69.4		5		
				30	N27		371	18.6		5		
			剥片	30	N27		135	7.2		5		
				30	N27		326	8.7		5		
				30	N27		582	0.5		5		
			剥片	30	N27		136	5.3		5		
				30	N27		429	40.1		5		
			剥片	30	N27		137	126.0		5		
			剥片	30	N27		143	3.2		5		
			剥片	30	N27		152	11.0		5		
			剥片	30	N27		154	11.4		5		
			剥片	30	N27		157	1.5		1		
			剥片	30	N27		179	2.1		1		
			剥片	30	N27		187	29.1		5		
				30	N27		231	1.1		5		
				30	N27		424	11.5		5		
				30	N27		494	1.7		5		
			剥片	30	N27		188	0.9		5		
				30	N27		193	5.9		5		
			剥片	30	N27		191	3.3		1		
			剥片	30	N27		192	13.9		5		
			剥片	30	N27		195	1.5		1		
			剥片	30	N27		204	75.6		5		
			剥片	30	N27		209	43.4		5		
			剥片	30	N27		239	6.0		5		
			剥片	30	N27		265	8.1		5		
				30	N27		578	11.2		5		
				30	N28		15	11.3		5		
			剥片	30	N27		290	15.7		5		
			剥片	30	N27		298	3.1		5		
			剥片	30	N27		307	9.2		1		
			剥片	30	N27		317	6.4		5		
				30	N27		396	2.2		1		
				30	N27		401	0.8		1		
				30	N27		693	24.5		5		
			剥片	30	N27		323	2.8		5		
				30	N27		324	3.8		5		
			剥片	30	N27		330	8.0		5		
				30	N27		527	25.7		5		
				30	N27		529	1.7		5		
				30	N27		613	3.3		5		
			剥片	30	N27		331	3.5		1		
			剥片	30	N27		379	32.8		5		
			剥片	30	N27		391	3.3		5		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				30	N27		397	4.8		5		
			剥片	30	N27		407	45.2		5		
			剥片	30	N27		411	21.0		5		
				30	N27		441	2.8		5		
			剥片	30	N27		421	8.8		5		
			剥片	30	N27		430	37.6		5		
			剥片	30	N27		440	46.2		5		
				30	N28		6	2.1		5		
			剥片	30	N27		459	20.7		5		
			剥片	30	N27		468	4.2		5		
			剥片	30	N27		470	117.3		5		
			剥片	30	N27		522	6.6		1		
			剥片	30	N27		554	33.1		5		
			剥片	30	N27		569	5.1		5		
			剥片	30	N27		587	6.4		1		
			剥片	30	N27		608	3.3		5		
			剥片	30	N27		630	99.3		5		
			剥片	30	N27		660	1.4		5		
			剥片	30	N28		18	3.6		5		
-318	221	55	接合資料	28-29				470.3	30	1	125	3072
-291	201	15	尖頭器	28	M25		261	278.5		1		
			剥片	29	M27		17	2.3		1		
			剥片	29	M27		75	1.2		1		
				29	M27		108	14.0		1		
				29	M27		487	1.2		1		
			剥片	29	M27		81	2.1		1		
			剥片	29	M27		109	2.0		1		
				29	M27		305	1.2		1		
				29	M27		308	1.0		1		
				29	M27		474	12.6		1		
				29	M27		555	3.1		1		
			剥片	29	M27		127	4.7		1		
					M27		1	1.0		1		
			剥片	29	M27		192	0.7		1		
				29	M27		348	2.9		1		
			剥片	29	M27		233	20.3		1		
			剥片	29	M27		245	1.0		1		
			剥片	29	M27		268	24.2		1		
			剥片	29	M27		271	12.1		1		
				29	M27		313	1.9		1		
				29	M27		433	1.2		1		
			剥片	29	M27		285	22.7		1		
			剥片	29	M27		333	8.2		1		
			剥片	29	M27		350	9.8		1		
			剥片	29	M27		374	3.8		1		
			剥片	29	M27		395	7.5		1		
				29	M27		570	18.3		1		
			剥片	29	M27		415	4.5		1		
				29	M27		712	2.5		1		
			剥片	29	M27		468	3.8		1		
-	204	44	接合資料	28				312.1	33	1	128	3095
			剥片	28	M25		54	7.2		1		
			剥片	28	M25		161	6.2		1		
				28	M25		222	27.7		1		
				28	M25		255	11.3		1		
				28	M25		282	11.5		1		
				28	M25		347	6.8		1		
				28	M25		373	17.2		1		
				28	M25		407	11.2		1		
			剥片	28	M25		179	2.5		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	28	M25		191	1.5		1		
				28	M25		343	20.8		1		
			剥片	28	M25		196	3.1		1		
				28	M25		197	5.7		1		
			剥片	28	M25		212	18.3		1		
				28	M25		430	12.7		1		
			剥片	28	M25		220	3.6		1		
				28	M25		395	1.6		1		
			剥片	28	M25		225	6.3		1		
			剥片	28	M25		245	3.8		1		
			剥片	28	M25		273	4.9		1		
			剥片	28	M25		289	5.1		1		
				28	M25		295	21.2		1		
				28	M25		384	2.2		1		
			剥片	28	M25		293	32.3		1		
				28	M25		417	38.5		1		
			剥片	28	M25		361	1.6		1		
				28	M25		362	2.1		1		
			剥片	28	M25		364	3.3		1		
			剥片	28	M25		365	2.9		1		
			剥片	28	M25		399	1.2		1		
			剥片	28	M25		446	8.1		1		
			剥片	28	M25		451	5.7		1		
			剥片		M26		19	4.0		1		
-	204	45	接合資料	28				422.8	39	1	128	3093
			剥片	28	M25		52	0.9		1		
				28	M25		216	20.5		1		
				28	M25		346	1.8		1		
				28	M25		367	3.6		1		
			剥片	28	M25		158	2.8		1		
				28	M25		272	1.6		1		
				28	M25		275	10.3		1		
				28	M25		300	15.9		1		
			剥片	28	M25		166	32.8		1		
				28	M25		460	12.4		1		
			剥片	28	M25		173	1.1		1		
				28	M25		193	25.8		1		
				28	M25		431	3.7		1		
			剥片	28	M25		203	1.3		1		
				28	M25		290	58.8		1		
			剥片	28	M25		210	2.0		1		
				28	M25		358	15.2		1		
			剥片	28	M25		213	1.7		1		
			剥片	28	M25		214	31.8		1		
				28	M25		412	0.9		1		
				28	M25		442	1.2		1		
			剥片	28	M25		229	3.4		1		
				28	M25		371	35.1		1		
			剥片	28	M25		243	2.7		1		
				28	M25		268	7.0		1		
				28	M25		426	3.4		1		
			剥片	28	M25		247	2.7		1		
				28	M25		428	9.8		1		
				28	M25		452	1.9		1		
			剥片	28	M25		250	6.8		1		
				28	M25		353	1.8		1		
			縦長剥片	28	M25		278	68.8		1		
				28	M25		401	5.4		1		
				28	M25		421	5.1		1		
				28	M25		425	11.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	28	M25		351	1.6		1		
			剥片	28	M25		368	3.3		1		
			剥片	28	M25		416	4.4		1		
			剥片	28	M25		420	2.5		1		
-	211	48	接合資料	27				179.5	22	1	98	2710
			剥片	27	L26		28	9.2		1		
			剥片	27	L26		32	13.4		1		
				27	L26		213	15.2		1		
				27	L26		718	7.1		1		
			剥片	27	L26		44	8.7		1		
				27	L26		697	2.9		1		
				27	L26		1439	11.2		1		
			剥片	27	L26		171	1.0		1		
				27	L26		1509	9.4		1		
			剥片	27	L26		217	17.0		1		
				27	L26		246	8.0		1		
				27	L26		560	1.8		1		
				27	L26		957	4.2		1		
				27	L26		1249	3.3		1		
				27	L26		1527	0.7		1		
			剥片	27	L26		245	3.4		1		
			剥片	27	L26		329	8.7		1		
				27	L26		795	9.7		1		
			剥片	27	L26		616	15.0		1		
			剥片	27	L26		1006	1.7		1		
			剥片	27	L26		1541	22.8		1		
			剥片	27	L26		1686	5.1		1		
-	211	49	接合資料	27				176.7	17	1	98	2711
			剥片	27	L25		71	1.4		1		
			剥片	27	L26		233	12.7		1		
			剥片	27	L26		277	37.8		1		
					L26		6	4.6		1		
			剥片	27	L26		279	2.3		1		
				27	L26		282	4.2		1		
				27	L26		1081	5.8		1		
			剥片	27	L26		519	13.9		1		
			剥片	27	L26		762	13.5		1		
			剥片	27	L26		1016	11.8		1		
				27	L26		1446	9.9		1		
			剥片	27	L26		1038	17.8		1		
			剥片	27	L26		1105	4.3		1		
				27	L26		1371	10.7		1		
			剥片	27	L26		1514	3.9		1		
			剥片	27	L26		1564	4.7		1		
			剥片	27	L26		1713	17.4		1		
-	219	53	接合資料	29				306.4	34	1	132	3108
			剥片	29	M27		29	2.9		1		
				29	M27		332	4.8		1		
				29	M27		424	0.8		1		
				29	M27		583	1.5		1		
			剥片	29	M27		52	8.7		1		
			剥片	29	M27		85	25.3		1		
			剥片	29	M27		101	0.5		1		
			剥片	29	M27		110	44.0		1		
			剥片	29	M27		119	3.5		1		
				29	M27		353	2.1		1		
				29	M27		532	9.0		1		
			剥片	29	M27		147	6.0		1		
				29	M27		167	21.1		1		
				29	M27		411	3.5		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				29	M27		568	0.9		1		
			剥片	29	M27		162	12.0		1		
			剥片	29	M27		164	45.3		1		
			剥片	29	M27		166	18.0		1		
				29	M27		634	1.0		1		
			剥片	29	M27		191	6.5		1		
				29	M27		201	5.9		1		
			剥片	29	M27		222	1.5		1		
			剥片	29	M27		449	8.3		1		
			剥片	29	M27		455	22.4		1		
			剥片	29	M27		456	1.9		1		
				29	M27		548	2.9		1		
			剥片	29	M27		476	2.8		1		
				29	M27		569	23.4		1		
			剥片	29	M27		496	2.5		1		
			剥片	29	M27		514	1.1		1		
			剥片	29	M27		560	8.0		1		
			剥片	29	M27		599	4.9		1		
			剥片	29	M27		611	2.9		1		
			剥片	29	M27		685	0.5		1		
-	222	56	接合資料	28-29				1,508.3	35	1	144	3182
			剥片		K26		11	104.0		1		
			剥片		L27		8	153.4		1		
			剥片	28	M25		187	4.2		1		
			剥片	28	M25		313	12.3		1		
				28	N24		42	66.9		1		
				28	N24		387	57.7		1		
				28	N24		484	5.0		1		
			剥片	28	M25		491	22.3		1		
			剥片		M25		6	40.8		1		
				28	N24		137	19.7		1		
			剥片		M25		7	55.1		1		
			剥片	28	M26		9	3.6		1		
				28	M26		36	13.5		1		
			剥片	28	M26		64	66.6		1		
				28	M26		69	88.9		1		
			剥片		M26		16	35.3		1		
				28	N24		16	47.3		1		
				28	N24		69	42.7		1		
				28	N24		606	38.8		1		
			剥片		M26		17	9.5		1		
				28	N25		8	14.5		1		
			剥片	29	M27		388	127.9		1		
				28	N24		6	19.1		1		
			剥片	28	N24		9	35.3		1		
			剥片	28	N24		172	225.1		1		
			剥片	28	N24		232	17.3		1		
				28	N24		262	42.4		1		
			剥片	28	N24		300	2.4		1		
			剥片	28	N24		353	26.6		1		
				28	N25		238	57.4		1		
			剥片	28	N24		362	25.3		1		
			剥片	28	N25		66	13.8		1		
				28	N25		67	4.1		1		
			剥片	28	N25		79	2.0		1		
			剥片	28	N25		126	7.5		1		
-	222	57	接合資料	29				250.2	25	4	130	3101
			剥片	29	M27		46	37.8		4		
			剥片	29	M27		88	0.9		4		
			剥片	29	M27		139	15.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				29	M27		369	2.4		4		
				29	M27		522	2.5		4		
			剥片	29	M27		202	5.8		4		
			剥片	29	M27		240	4.9		4		
			剥片	29	M27		274	7.4		4		
			剥片	29	M27		279	1.9		4		
				29	M27		375	11.1		4		
				29	M27		491	1.4		4		
			剥片	29	M27		284	11.4		4		
			剥片	29	M27		298	1.8		4		
			剥片	29	M27		325	1.6		4		
			剥片	29	M27		423	1.5		4		
			剥片	29	M27		435	3.8		4		
			剥片	29	M27		448	2.0		4		
			剥片	29	M27		479	5.9		4		
			剥片	29	M27		536	41.9		4		
			剥片	29	M27		543	15.6		4		
			剥片	29	M27		571	11.1		4		
			剥片	29	M27		580	7.0		4		
			剥片	29	M27		607	19.2		4		
			剥片	29	M27		616	30.9		4		
			剥片	29	M27		650	4.6		4		
-	222	58	接合資料	28				232.7	14	1-5	-	3096
			剥片	28	M25		46	12.7		1		
			剥片	28	M25		47	28.0		1		
-294	202	22	搔器	28	M25		251	27.5		5		
			剥片	28	M25		322	2.9		1		
				28	M25		465	5.5		1		
			剥片	28	M25		391	2.5		1		
			剥片	29	M27		567	12.7		1		
			剥片	28	N25		21	8.2		1		
			剥片	28	N25		62	7.6		1		
			剥片	28	N25		94	20.7		1		
			剥片	28	N25		99	14.4		1		
			剥片	28	N25		100	75.6		1		
			剥片	28	N25		217	6.8		1		
			剥片	28	N25		233	7.6		1		
-	223	59	接合資料	28				1,146.2	7	1	382	3069
-	223	61	石核	28	M25		48	275.1		1		
			剥片	28	M25		120	11.0		1		
			剥片	28	M25		238	7.8		1		
			剥片	28	N24		168	10.7		1		
				28	N24		450	12.1		1		
			石核	28	N25		37	525.8		1		
			石核	28	N25		234	303.7		1		
-338	229	56	接合資料	32-33				976.2	20	4	150	3205
-323	224	13	尖頭器		N27		1	130.6		4		
		13			P27		17	9.9		4		
-323	224	12			P27		1	111.0		4		
					P27		2	37.5		4		
			剥片		N27		10	29.9		4		
					32	O27	15	31.6		4		
			剥片		O26		11	113.8		4		
			剥片		33	P26	10	5.9		4		
					P27		18	6.0		4		
			剥片		33	P26	39	52.5		4		
			剥片		33	P26	178	6.5		4		
					P27		26	82.6		4		
			剥片		33	P26	238	60.4		4		
			剥片		33	P27	28	10.8		4		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	33	P27		65	6.0		4		
			剥片	33	P27		66	118.4		4		
			剥片		P27		12	8.6		4		
			剥片		P27		13	56.3		4		
			剥片		P34		115	45.5		4		
			剥片		Q26		4	52.4		4		
-339	236	57	接合資料	36				4,979.0	82	3・4	160	3244
			縦長剥片	36	O33		10	6.4		4		
				36	O34		51	3.9		4		
			石刃	36	O33		11	15.4		4		
				36	O33		14	47.2		4		
					O33		1	32.6		4		
				36	P34		671	4.4		4		
					P34		12	15.2		4		
					P36		1	266.1		4		
			剥片	36	O33		18	1.2		4		
			石刃	36	O33		21	21.6		4		
					O34		1	99.5		4		
			石刃	36	O33		23	3.8		4		
					O34		2	4.2		4		
				36	P33		157	20.0		4		
				36	P34		265	7.2		4		
					P34		16	25.4		4		
			縦長剥片	36	O33		30	6.7		4		
					O34		3	9.2		4		
				36	P33		81	4.0		4		
			剥片	36	O33		38	3.0		4		
			剥片		O33		2	68.4		4		
			剥片		O33		6	14.1		4		
				36	O34		60	2.5		4		
				36	P36		15	10.5		4		
			剥片		O33		7	28.3		4		
					O33		8	5.6		4		
			剥片	36	P33		46	20.3		4		
				36	P33		498	18.4		4		
			縦長剥片	36	P33		156	52.8		4		
			剥片	36	P33		195	23.8		4		
			剥片	36	P33		214	6.7		4		
				36	P33		660	4.7		4		
			剥片	36	P33		292	10.9		4		
			剥片	36	P33		302	5.4		4		
					P34		19	7.1		4		
			剥片	36	P33		513	7.9		4		
			縦長剥片	36	P33		624	5.3		4		
			剥片	36	P33		650	2.4		4		
			石刃	36	P34		42	34.2		4		
					P35		4	8.9		4		
			剥片	36	P34		177	39.7		4		
				36	P34		382	8.2		4		
					P34		9	66.3		4		
			剥片	36	P34		190	7.0		4		
					P34		20	4.6		4		
			石刃	36	P34		269	18.4		4		
				36	P34		276	44.0		4		
				36	P34		1024	15.1		4		
					P34		14	0.9		4		
			剥片	36	P34		328	43.1		4		
			剥片	36	P34		332	44.9		4		
			剥片	36	P34		670	11.3		4		
				36	P34		683	10.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				36	P34		1085	5.7		4		
					P34		17	4.3		4		
			縦長剥片	36	P34		705	9.0		3		
			縦長剥片	36	P34		820	3.9		4		
			剥片	36	P34		829	6.1		4		
				36	P35		23	5.7		4		
			石刃	36	P34		867	1.1		4		
				36	P35		5	4.1		4		
			剥片	36	P34		947	0.9		4		
-327	227	50	石刃核	36	P34		1251	2,617.3		4		
			石刃	36	P34		1253	1.3		4		
					P34		8	281.1		4		
					P34		10	49.0		4		
					P34		18	2.1		4		
			剥片		P34		2	19.2		4		
					P34		15	10.6		4		
					P36		3	175.2		4		
			剥片		P34		11	62.2		4		
				36	P36		10	3.3		4		
			石刃		P34		13	96.4		4		
			石刃		P34		21	1.9		4		
			剥片		P35		1	22.8		4		
			剥片		P35		3	2.5		4		
					P36		2	279.1		4		
					Q36		1	38.2		4		
					Q36		2	1.5		4		
					Q36		3	1.8		4		
					Q36		4	1.0		4		
			石刃		P39		1	22.3		4		
-344	230	58	接合資料	36				1,508.8	157	3・4	164	3303
			剥片	36	O34		43	0.5		4		
			剥片	36	P32		6	40.2		4		
				36	P32		13	40.9		4		
				36	P33		57	4.5		4		
			剥片	36	P33		12	3.8		4		
				36	P33		547	16.1		4		
				36	P34		224	3.0		4		
			剥片	36	P33		17	2.5		4		
				36	P33		782	1.6		4		
				36	P33		1247	3.1		4		
			剥片	36	P33		18	20.6		4		
				36	P33		755	5.3		4		
				36	P33		908	3.5		4		
				36	P33		1049	15.5		4		
			剥片	36	P33		19	9.4		4		
				36	P33		1058	2.6		4		
				36	P33		1083	2.4		4		
			剥片	36	P33		52	4.7		4		
				36	P33		53	9.3		4		
				36	P33		142	127.2		4		
				36	P33		345	1.4		4		
			剥片	36	P33		61	22.9		4		
			剥片	36	P33		101	0.8		4		
			剥片	36	P33		102	1.2		4		
			剥片	36	P33		131	1.3		4		
			剥片	36	P33		139	12.8		4		
				36	P33		720	3.1		4		
				36	P33		761	3.3		4		
			剥片	36	P33		141	13.8		4		
			剥片	36	P33		148	4.0		4		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				36	P33		684	2.2		3		
				36	P33		702	5.2		4		
				36	P33		1090	5.7		4		
			剥片	36	P33		151	12.4		4		
				36	P33		937	1.1		4		
				36	P35		43	25.2		4		
			剥片	36	P33		210	2.3		4		
			剥片	36	P33		219	1.1		3		
				36	P33		713	2.3		4		
				36	P33		901	7.8		4		
			剥片	36	P33		222	10.5		4		
				36	P33		910	7.6		4		
			剥片	36	P33		228	220.7		4		
				36	P33		1078	3.8		4		
			剥片	36	P33		321	6.2		4		
				36	P33		1248	1.8		4		
			剥片	36	P33		322	32.6		4		
				36	P33		323	1.3		4		
			剥片	36	P33		333	4.4		4		
				36	P33		572	9.3		4		
			剥片	36	P33		334	2.6		4		
			剥片	36	P33		336	7.8		4		
				36	P34		987	1.6		4		
			剥片	36	P33		337	10.2		4		
				36	P33		776	3.3		4		
				36	P33		934	1.3		4		
				36	P33		1252	1.8		4		
			剥片	36	P33		342	7.2		4		
				36	P33		1061	1.2		4		
				36	P33		1068	3.1		4		
			剥片	36	P33		348	8.2		4		
			剥片	36	P33		409	2.6		4		
			剥片	36	P33		413	6.4		4		
				36	P33		546	2.0		4		
				36	P33		587	2.3		4		
				36	P33		980	2.1		4		
			剥片	36	P33		416	0.5		4		
				36	P33		763	5.1		4		
			剥片	36	P33		421	4.2		4		
			剥片	36	P33		447	14.2		4		
				36	P34		107	2.0		4		
			剥片	36	P33		463	7.2		4		
				36	P33		927	1.9		4		
			剥片	36	P33		464	23.2		4		
				36	P33		1053	5.0		4		
			剥片	36	P33		542	1.0		4		
				36	P33		1044	2.7		4		
			剥片	36	P33		548	1.5		4		
			剥片	36	P33		549	1.6		4		
			剥片	36	P33		565	2.7		4		
				36	P33		951	16.7		4		
				36	P33		1242	11.9		4		
				36	P34		228	92.8		4		
			剥片	36	P33		570	41.1		4		
				36	P33		924	9.4		4		
			剥片	36	P33		573	1.8		4		
				36	P33		729	4.6		4		
			剥片	36	P33		576	2.2		4		
			剥片	36	P33		578	0.8		4		
			剥片	36	P33		582	18.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	36	P33		606	14.6		4		
			剥片	36	P33		705	7.1		4		
				36	P33		1273	2.6		4		
				36	P34		529	5.5		4		
			剥片	36	P33		710	27.5		4		
				36	P33		978	1.9		4		
			剥片	36	P33		725	1.1		4		
				36	P33		912	3.8		4		
			剥片	36	P33		740	25.2		4		
				36	P33		905	10.0		4		
			剥片	36	P33		742	0.9		4		
			剥片	36	P33		743	11.3		4		
			剥片	36	P33		744	0.9		4		
				36	P33		1274	0.7		4		
			剥片	36	P33		748	3.3		4		
				36	P33		1086	0.9		4		
				36	P33		1160	2.0		4		
			剥片	36	P33		750	3.4		4		
			剥片	36	P33		765	12.7		4		
			剥片	36	P33		767	1.8		4		
			剥片	36	P33		768	9.1		4		
			剥片	36	P33		865	0.9		4		
				36	P33		949	24.1		4		
			剥片	36	P33		872	3.0		4		
				36	P33		918	6.8		4		
			剥片	36	P33		889	5.0		4		
			剥片	36	P33		891	24.4		4		
				36	P33		1047	1.1		4		
			剥片	36	P33		898	39.0		4		
			剥片	36	P33		899	9.9		4		
				36	P33		1064	3.5		4		
			剥片	36	P33		902	2.9		4		
				36	P33		1043	1.8		4		
			剥片	36	P33		916	9.7		4		
			剥片	36	P33		921	6.8		4		
				36	P33		943	4.0		4		
			剥片	36	P33		932	1.7		4		
			剥片	36	P33		933	0.8		4		
				36	P33		985	1.4		4		
				36	P33		988	0.9		4		
			剥片	36	P33		944	0.8		4		
			剥片	36	P33		946	4.0		4		
			剥片	36	P33		963	4.2		4		
			剥片	36	P33		971	1.4		4		
			剥片	36	P33		1038	2.0		4		
			剥片	36	P33		1055	9.3		4		
			剥片	36	P33		1056	0.9		4		
			剥片	36	P33		1062	1.3		4		
				36	P34		1260	1.7		4		
			剥片	36	P33		1069	0.9		4		
			剥片	36	P33		1080	2.0		4		
			剥片	36	P33		1084	3.2		4		
			剥片	36	P33		1087	2.3		4		
			剥片	36	P33		1122	7.4		4		
			剥片	36	P33		1124	1.7		4		
			剥片	36	P33		1163	1.4		4		
					P33		4	34.5		4		
					排土		10	2.8		4		
			剥片	36	P33		1205	0.6		4		
			剥片	36	P33		1206	1.9		4		

奥白滝 1 遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	36	P33		1215	26.3		4		
			剥片	36	P33		1241	2.6		4		
			剥片	36	P33		1267	6.4		4		
			剥片	36	P33		1269	2.4		4		
			剥片	36	P34		212	1.1		4		
			剥片	36	P34		734	4.9		4		
			剥片	36	P34		1266	5.3		4		
-343	232	61	接合資料	36				3,112.5	109	1	386	3330
			石刃	36	O33		15	38.9		1		
			剥片		O33		10	42.1		1		
			石刃		O33		11	36.9		1		
			縦長剥片	36	O34		16	112.4		1		
			剥片	36	P33		126	19.9		1		
			剥片	36	P33		138	7.5		1		
			剥片	36	P33		149	37.0		1		
			剥片	36	P33		155	99.4		1		
			剥片	36	P33		350	11.4		1		
			剥片	36	P33		790	14.7		1		
			剥片	36	P34		172	42.1		1		
			剥片	36	P34		524	1.9		1		
			剥片		P34		23	12.6		1		
			剥片		P34		24	15.0		1		
			剥片	36	P33		175	25.0		1		
			剥片	36	P34		501	5.1		1		
			剥片		P34		25	15.8		1		
			剥片	36	P33		226	25.5		1		
			剥片	36	P33		457	37.8		1		
			剥片	36	P33		1111	1.7		1		
			剥片	36	P33		1176	2.1		1		
			剥片	36	P33		1221	3.6		1		
			剥片	36	P33		227	17.9		1		
			剥片	36	P33		351	25.3		1		
			剥片	36	P33		675	5.3		1		
			剥片		P36		4	15.2		1		
			剥片	36	P33		243	9.8		1		
			剥片	36	P33		274	7.7		1		
			剥片	36	P33		503	3.8		1		
			剥片	36	P33		310	3.2		1		
			剥片	36	P33		314	32.0		1		
			剥片	36	P33		315	18.1		1		
			剥片	36	P33		317	24.0		1		
			剥片	36	P33		316	2.7		1		
			剥片	36	P33		427	16.8		1		
			剥片	36	P33		679	10.8		1		
			剥片	36	P33		352	15.7		1		
			剥片	36	P33		354	5.1		1		
			剥片	36	P33		373	3.1		1		
			剥片	36	P33		410	9.6		1		
			剥片	36	P34		549	51.9		1		
			剥片	36	P33		412	77.0		1		
			剥片	36	P33		777	1.9		1		
			剥片	36	P33		428	8.1		1		
			剥片	36	P33		486	26.5		1		
			剥片	36	P33		568	7.0		1		
			剥片	36	P33		658	3.3		1		
			剥片	36	P33		670	23.6		1		
			剥片	36	P33		868	5.6		1		
			剥片	36	P33		996	1.4		1		
			剥片	36	P33		1026	4.2		1		
			剥片		P33		2	0.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
					P33		3	0.6		1		
					P34		868	1.5		1		
			剥片	36	P33		671	72.7		1		
			剥片	36	P33		673	6.1		1		
			剥片	36	P33		674	15.7		1		
			剥片	36	P33		683	9.0		1		
			剥片	36	P33		1271	6.6		1		
			剥片	36	P33		801	16.1		1		
			剥片	36	P33		847	2.3		1		
			剥片	36	P34		309	33.1		1		
			剥片	36	P34		400	491.8		1		
			剥片	36	P33		867	52.2		1		
			剥片	36	P33		870	13.2		1		
			剥片	36	P33		1001	6.4		1		
			剥片	36	P33		1033	0.7		1		
			剥片	36	P33		1117	1.9		1		
			剥片	36	P33		1118	0.9		1		
			剥片	36	P33		1144	1.7		1		
			剥片	36	P33		1172	5.4		1		
			剥片	36	P33		1174	10.0		1		
			剥片	36	P33		1175	2.5		1		
			剥片	36	P33		1177	2.5		1		
			剥片	36	P33		1179	18.6		1		
			剥片	36	P33		1180	23.7		1		
			剥片	36	P34		1113	1.5		1		
			剥片	36	P33		1182	4.2		1		
			剥片	36	P33		1183	4.9		1		
			剥片	36	P33		1187	9.3		1		
			剥片	36	P33		1225	4.4		1		
			剥片	36	P33		1191	4.5		1		
			剥片	36	P33		1218	34.9		1		
			剥片	36	P33		1219	32.2		1		
			剥片	36	P33		1222	8.4		1		
			剥片	36	P33		1261	7.9		1		
			剥片	36	P34		123	160.2		1		
			剥片	36	P34		534	50.9		1		
			剥片	36	P34		200	256.4		1		
			剥片	36	P34		499	33.6		1		
			剥片	36	P34		1147	6.2		1		
			剥片		P34		26	18.5		1		
			剥片	36	P34		502	46.8		1		
			剥片	36	P34		528	5.3		1		
			剥片	36	P34		627	21.2		1		
			剥片	36	P34		990	16.8		1		
			剥片	36	P34		992	2.4		1		
			剥片	36	P34		626	92.6		1		
			剥片	36	P34		730	2.0		1		
			剥片	36	P34		840	203.7		1		
			剥片	36	P34		905	2.0		1		
			縦長剥片	36	P34		919	4.2		1		
			剥片	36	P34		986	8.6		1		
			剥片	36	P34		1060	47.5		1		
			剥片		P34		22	117.6		1		
			剥片		P34		31	30.8		1		
			剥片	36	P35		26	15.5		1		
			剥片		P35		5	4.6		1		
			剥片		P36		5	11.9		1		
-342	234	62	接合資料	36				1,218.3	44	1-3-4	165	3309
			剥片		O35		1	12.1		3		
			剥片	36	P33		212	6.2		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	36	P33		306	8.9		3		
			剥片	36	P33		485	8.9		3		
			剥片	36	P33		520	14.0		3		
			剥片	36	P34		25	15.5		3		
			剥片	36	P34		33	27.1		3		
			剥片	36	P34		147	7.8		3		
			剥片	36	P34		46	26.7		3		
			剥片	36	P34		279	16.0		3		
			剥片	36	P34		1012	6.6		4		
			剥片	36	P34		345	25.2		3		
			剥片	36	P34		351	3.4		3		
			剥片	36	P34		889	6.8		4		
			剥片	36	P34		354	7.9		3		
			剥片	36	P34		472	18.7		3		
			剥片	36	P35		11	6.8		3		
			剥片	36	P34		704	6.2		4		
			剥片	36	P34		891	145.6		4		
			剥片	36	P34		898	8.5		4		
			剥片	36	P34		896	1.7		3		
			剥片	36	P34		51	34.4		3		
			剥片	36	P34		65	1.5		3		
			剥片	36	P34		1054	1.4		3		
			剥片	36	P34		1097	17.1		4		
			剥片	36	P34		1140	2.0		3		
323	224	14	尖頭器		P34		3	112.2		3		
			剥片		P34		47	13.7		3		
			剥片		P34		48	25.6		3		
			剥片		P34		49	22.8		3		
			剥片		P34		50	38.7		3		
			剥片		P34		52	81.3		3		
			剥片		P34		53	60.1		3		
			剥片		P34		58	26.9		3		
			剥片		P34		59	10.7		3		
			剥片		P34		60	5.2		3		
			剥片		P34		61	113.5		3		
			剥片		P34		67	12.4		3		
			剥片		P34		68	9.6		3		
			剥片		P34		88	59.5		3		
			剥片		P34		89	20.4		3		
			剥片		P35		12	48.9		3		
			剥片		P35		13	19.0		3		
			剥片		P36		8	100.8		3		
345	237	64	接合資料	32				1,502.1	78	1+3	147	3191
			剥片	32	O26		28	10.0		1		
			剥片	32	O26		42	6.5		1		
			剥片	32	O26		51	22.2		1		
			剥片	32	O26		47	5.9		1		
			剥片	32	O26		48	19.5		1		
			剥片	32	O26		54	5.8		1		
			剥片	32	O27		89	7.7		1		
			縦長剥片	32	O26		49	26.9		1		
			縦長剥片	32	O26		67	22.6		1		
			縦長剥片	32	O27		84	69.2		1		
			縦長剥片	32	O26		50	4.9		1		
			縦長剥片	32	O26		52	6.1		1		
			剥片	32	O26		56	238.7		1		
			剥片	32	O27		9	242.5		1		
			剥片	32	O26		57	21.7		1		
			縦長剥片	32	O26		58	6.6		1		
			縦長剥片	32	O27		60	2.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			石刃	32	O26		60	8.6		1		
			石刃	32	O26		70	2.6		1		
			石刃	32	O26		71	9.6		1		
			石刃	32	O26		132	4.5		1		
			剥片	32	O26		62	1.9		1		
			剥片	32	O26		136	14.2		1		
			剥片	32	O27		88	53.0		1		
			縦長剥片	32	O26		63	11.6		1		
			縦長剥片	32	O26		69	15.5		1		
			縦長剥片	32	O26		118	3.2		1		
			縦長剥片	32	O27		20	10.4		1		
			剥片	32	O26		64	54.0		1		
			剥片	32	O26		66	5.1		1		
			縦長剥片	32	O26		72	2.4		1		
			縦長剥片	32	O26		83	2.9		1		
			縦長剥片	32	O27		90	3.0		1		
			石刃	32	O26		76	16.8		1		
			石刃	32	O26		84	5.8		1		
			石刃	32	O26		93	93.2		1		
			石刃	32	O26		108	5.2		1		
			縦長剥片	32	O26		87	10.5		1		
			剥片	32	O26		88	3.0		1		
			剥片	32	O26		92	9.1		1		
			縦長剥片	32	O26		94	47.9		1		
			縦長剥片	32	O26		114	2.0		1		
			縦長剥片	32	O26		126	20.4		1		
			剥片	32	O26		99	12.4		1		
			剥片	32	O26		100	6.7		1		
			剥片	32	O26		102	4.1		1		
			剥片	32	O26		104	45.1		1		
			剥片	32	O27		52	14.3		1		
			剥片	32	O26		113	15.2		1		
			石刃	32	O26		115	1.9		1		
			石刃	32	O27		105	1.3		1		
			剥片	32	O26		117	42.0		1		
			縦長剥片	32	O26		119	5.2		1		
			縦長剥片	32	O26		122	7.2		1		
			剥片	32	O26		131	19.4		1		
			剥片	32	O27		3	2.6		1		
			剥片	32	O27		18	2.9		1		
			剥片	32	O27		101	7.7		1		
			剥片	32	O27		13	4.4		1		
			剥片	32	O27		21	1.1		1		
			縦長剥片	32	O27		39	1.6		1		
			石刃	32	O27		50	6.0		1		
			石刃	32	O27		53	18.7		1		
			剥片	32	O27		69	23.1		1		
			剥片	32	O27		71	70.2		1		
			縦長剥片	32	O27		72	3.8		1		
			石刃	32	O27		75	1.7		1		
			剥片	32	O27		87	0.9		1		
			石刃	32	O27		92	17.4		1		
			縦長剥片	32	O27		94	1.7		3		
			剥片	32	O27		95	1.3		1		
			石刃	32	O27		97	9.4		1		
			石刃	32	O27		12	14.0		1		
			剥片	32	O27		104	3.5		1		
			剥片	32	O27		10	27.8		1		
			剥片	32	O27		11	4.3		1		
			石刃	32	O28		3	25.1		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				32	Q28		5	32.6		1		
-345	238	65	接合資料	33-34				1,697.3	97	1	166	3331
			剥片	34	P27		24	18.0		1		
				33	P27		92	1.1		1		
				34	Q26		114	0.6		1		
			石刃	33	P27		82	7.8		1		
				34	Q26		116	36.2		1		
				34	Q26		131	21.2		1		
			石刃	33	P27		83	1.2		1		
			剥片	33	P27		91	5.6		1		
				34	Q25		1	1.3		1		
				34	Q26		63	0.8		1		
			剥片	34	Q25		19	4.3		1		
			剥片	34	Q25		20	0.8		1		
				34	Q26		81	3.7		1		
				34	Q26		89	19.0		1		
			縦長剥片	34	Q25		21	293.0		1		
				34	Q25		34	6.3		1		
				34	Q26		188	7.1		1		
				34	Q26		191	19.4		1		
			石刃	34	Q25		22	1.1		1		
				34	Q26		202	8.7		1		
				34	Q26		203	1.7		1		
			縦長剥片	34	Q25		31	6.1		1		
			縦長剥片	34	Q25		32	29.9		1		
				34	Q25		36	55.0		1		
			縦長剥片	34	Q25		35	4.2		1		
				34	Q26		11	2.1		1		
				34	Q26		25	0.6		1		
				34	Q26		179	5.9		1		
			石刃	34	Q25		37	162.4		1		
				34	Q26		15	18.1		1		
				34	Q26		173	80.3		1		
			縦長剥片	34	Q26		42	43.8		1		
				34	Q26		194	80.9		1		
			剥片	34	Q26		51	0.4		1		
				34	Q26		113	5.6		1		
				34	Q26		126	2.3		1		
				34	Q26		205	11.6		1		
			剥片	34	Q26		54	7.3		1		
			縦長剥片	34	Q26		62	4.0		1		
				34	Q26		234	22.6		1		
			縦長剥片	34	Q26		67	0.7		1		
				34	Q26		111	6.7		1		
				34	Q26		130	19.4		1		
			縦長剥片	34	Q26		68	1.6		1		
				34	Q26		124	23.1		1		
				34	Q26		125	12.1		1		
				34	Q26		140	9.1		1		
				34	Q26		143	11.8		1		
				34	Q26		160	1.3		1		
			縦長剥片	34	Q26		72	41.5		1		
				34	Q26		118	13.9		1		
				34	Q26		135	43.5		1		
				34	Q26		236	125.4		1		
			縦長剥片	34	Q26		74	3.2		1		
			縦長剥片	34	Q26		80	0.4		1		
			縦長剥片	34	Q26		82	8.9		1		
				34	Q26		93	11.4		1		
				34	Q26		103	2.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				34	Q26		161	7.1		1		
			剥片	34	Q26		83	2.4		1		
			剥片	34	Q26		84	2.9		1		
				34	Q26		178	2.6		1		
				34	Q26		184	1.4		1		
			石刃	34	Q26		86	30.8		1		
				34	Q26		88	37.8		1		
			剥片	34	Q26		87	1.4		1		
			縦長剥片	34	Q26		90	0.6		1		
			縦長剥片	34	Q26		97	1.5		1		
				34	Q26		147	1.3		1		
			石刃	34	Q26		98	0.7		1		
				34	Q26		155	2.9		1		
				33	Q27		43	2.7		1		
			石刃	34	Q26		99	60.5		1		
			剥片	34	Q26		100	3.5		1		
			剥片	34	Q26		105	28.6		1		
				34	Q26		157	4.0		1		
				34	Q26		215	2.3		1		
			縦長剥片	34	Q26		115	1.5		1		
			縦長剥片	34	Q26		123	5.2		1		
				34	Q26		150	15.2		1		
				34	Q26		228	13.5		1		
			縦長剥片	34	Q26		136	16.7		1		
			石刃	34	Q26		151	1.1		1		
				34	Q26		208	1.4		1		
			剥片	34	Q26		154	5.2		1		
			剥片	34	Q26		162	1.6		1		
			剥片	34	Q26		169	4.5		1		
			剥片	34	Q26		177	1.4		1		
				34	Q26		230	45.0		1		
			石刃	34	Q26		193	5.5		1		
				34	Q26		204	3.8		1		
			石刃	34	Q26		211	12.6		1		
			剥片	34	Q26		213	2.2		1		
			剥片	34	Q26		214	1.7		1		
				34	Q26		225	1.7		1		
			剥片	34	Q26		226	0.7		1		
			剥片	34	Q26		231	23.0		1		
-	231	59	接合資料	36				117.0	23	4	159	3241
			剥片	36	P33		58	4.2		4		
			剥片	36	P33		359	1.5		4		
				36	P33		781	4.3		4		
				36	P33		973	1.7		4		
			剥片	36	P33		451	3.9		4		
				36	P33		533	1.3		4		
			剥片	36	P33		585	1.1		4		
			剥片	36	P33		681	2.5		4		
				36	P33		709	17.9		4		
				36	P33		878	1.6		4		
				36	P33		954	5.4		4		
			剥片	36	P33		689	1.8		4		
				36	P34		1269	2.4		4		
			剥片	36	P33		711	5.5		4		
				36	P35		14	1.8		4		
			剥片	36	P33		728	2.0		4		
				36	P33		747	35.5		4		
			剥片	36	P33		764	7.5		4		
			剥片	36	P33		1057	0.9		4		
			剥片	36	P33		1202	6.5		4		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	36	P34		955	2.5		4		
			剥片	36	P35		33	1.7		4		
			剥片	36	P36		17	3.5		4		
-	231	60	接合資料	36				168.1	20	4	159	3242
			剥片	36	P33		20	6.1		4		
			剥片	36	P33		566	0.8		4		
			剥片	36	P33		63	10.5		4		
			剥片	36	P33		404	58.9		4		
			剥片	36	P33		541	8.7		4		
			剥片	36	P33		551	2.3		4		
			剥片	36	P33		579	3.6		4		
			剥片	36	P33		605	14.5		4		
			剥片	36	P33		665	2.7		4		
			剥片	36	P33		719	0.9		4		
			剥片	36	P33		948	6.0		4		
			剥片	36	P33		791	7.4		4		
			剥片	36	P33		795	3.0		4		
			剥片	36	P33		931	13.6		4		
			剥片	36	P33		976	2.5		4		
			剥片	36	P33		1039	8.1		4		
			剥片	36	P33		1070	1.1		4		
			剥片	36	P33		1075	4.9		4		
			剥片	36	P33		1266	9.2		4		
			剥片	36	P34		290	3.3		4		
-	235	63	接合資料	36				565.6	30	3-4	163	3261
			剥片	36	O33		39	2.7		4		
			剥片	36	P33		45	10.4		4		
			剥片	36	P33		863	10.9		4		
			剥片	36	P34		275	4.8		4		
			剥片	36	P34		672	19.0		4		
			剥片	36	P34		36	11.0		4		
			剥片	36	P35		7	24.6		4		
			剥片	36	P33		71	9.2		4		
			剥片	36	P33		499	20.5		4		
			剥片	36	P33		519	18.2		4		
			剥片	36	P33		825	6.1		4		
			剥片	36	P35		18	25.9		3		
			剥片	36	P33		851	16.2		4		
			剥片	36	P34		72	1.1		4		
			剥片	36	P34		109	0.6		3		
			剥片	36	P34		73	17.5		4		
			剥片	36	P34		145	11.5		4		
			剥片	36	P34		551	77.9		4		
			剥片	36	P34		562	9.8		4		
			剥片	36	P34		113	9.0		4		
			剥片	36	P34		651	63.4		4		
			剥片	36	P34		706	3.7		4		
			剥片	36	P36		6	48.6		4		
			二次加工ある剥片	36	P34		798	9.3		4		
			剥片		P34		41	30.7		4		
			剥片		P34		42	5.2		4		
			剥片		P34		43	2.8		4		
			剥片		P35		9	29.4		4		
			剥片		P35		28	15.2		4		
			剥片		P36		10	50.4		4		
-348	239	6	接合資料	37				560.6	6	3-4	387	3426
			剥片	37	R2		2	6.4		4		
			剥片	37	b11		2	16.8		3		
			剥片	37	b11		36	3.6		3		
			剥片	37	a11		2	17.7		3		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	37	a11		11	32.3		3		
-346	239	5	石核	37	b11		16	483.8		4		
-401	260	201	接合資料	43				487.8	19	2	293	4184
			剥片		m8		36	1.4		2		
			剥片		q11		580	7.6		2		
			剥片	43	n8		79	4.6		2		
			剥片	43	n8		87	1.9		2		
			剥片	43	n9		916	2.8		2		
			剥片		n9		81	1.8		2		
			剥片		o7		2	73.3		2		
			剥片		n9		77	4.6		2		
			剥片		n9		78	7.6		2		
			剥片	43	o9		27	10.0		2		
			剥片	43	o9		53	10.0		2		
			剥片	43	r11		230	2.8		2		
			剥片	43	o9		432	4.9		2		
			剥片	43	p10		191	5.9		2		
			剥片	43	q11		621	36.0		2		
-353	242	36	尖頭器	43	p10		492	269.5		2		
			剥片	43	q11		5	5.9		2		
			剥片	43	q11		62	17.8		2		
			剥片	43	q11		700	19.4		2		
-402	260	202	接合資料	388*40*41				373.0	37	5	389	3477
			剥片	38	g11		35	0.8		5		
			剥片	39	h10		7	6.4		5		
			剥片		h10		4	20.1		5		
			剥片		h10		5	2.2		5		
			剥片	39	h11		13	1.7		5		
			剥片	39	h11		65	11.0		5		
			剥片	39	h11		70	1.2		5		
			剥片	39	i11		28	7.9		5		
			剥片	39	h11		76	3.8		5		
			剥片	39	h11		78	33.2		5		
			剥片		h11		1	1.2		5		
			剥片	39	h12		8	0.9		5		
			剥片	39	h12		65	3.8		5		
			剥片	39	h12		126	36.4		5		
			剥片	39	h12		133	1.8		5		
			剥片		h12		3	0.9		5		
			剥片		h12		4	2.2		5		
			剥片	39	i11		11	3.7		5		
			剥片	39	i12		105	0.9		5		
			剥片	39	i12		239	61.5		5		
-351	241	24	尖頭器	39	i11		47	14.1		5		
			剥片	39	i11		65	5.0		5		
			剥片		i11		4	5.4		5		
			剥片		i11		5	7.7		5		
			剥片	39	i12		14	0.6		5		
			剥片	39	i12		31	12.6		5		
			剥片	39	i12		33	9.7		5		
			剥片	39	i12		96	7.4		5		
			剥片	39	j11		132	7.9		5		
			剥片	39	i12		98	3.5		5		
			剥片	39	i12		196	1.7		5		
			剥片	39	i12		230	1.8		5		
			剥片		i12		1	16.4		5		
			剥片		j11		18	0.8		5		
			剥片	40	j12		3	3.4		5		
			剥片	39	j13		1	72.5		5		
			剥片	41	m9		22	0.9		5		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-403	261	203	接合資料	43				1,176.8	63	3・4	263	3931
			剥片		m8		35	13.2		4		
			剥片		m9		5	5.6		4		
			剥片		n8		2	6.8		4		
			剥片	43	n9		637	19.0		4		
			剥片		m9		20	35.2		4		
			剥片	43	n8		7	37.8		4		
			剥片		n8		65	34.6		3		
			剥片	43	o9		422	7.8		4		
			剥片		n8		66	9.9		3		
			剥片		n8		69	83.4		3		
			剥片	43	o9		434	4.4		4		
			剥片		n8		79	4.7		4		
			剥片	43	q11		154	19.6		4		
			剥片		n8		85	9.1		4		
			剥片		n8		114	16.6		4		
			剥片		n8		89	15.2		4		
			剥片	43	n9		106	2.0		4		
			剥片	43	p10		336	1.1		4		
			剥片	43	p10		337	7.5		4		
			剥片	43	p10		664	1.2		4		
			剥片	43	n9		385	6.6		4		
			剥片	43	n9		644	3.0		4		
			剥片	43	n9		834	52.7		4		
			剥片	43	n9		993	10.9		4		
			剥片	43	p11		9	4.2		4		
			剥片	43	n9		1052	2.4		4		
			剥片	43	q11		883	2.5		4		
			剥片	43	n9		1147	2.3		4		
			剥片	43	o9		318	3.1		4		
			剥片	43	n9		1199	4.4		4		
			剥片		n9		62	16.2		3		
			剥片		o8		25	2.0		4		
			剥片	43	p10		408	4.7		4		
			剥片	43	o9		40	3.8		4		
			剥片	43	o9		100	98.2		4		
			剥片	43	o9		139	2.3		4		
			剥片	43	o9		157	1.5		4		
			剥片	43	o9		580	122.8		4		
			剥片		o9		29	54.5		3		
			剥片		o9		30	7.3		3		
			剥片	43	o10		42	2.1		3		
			剥片	43	o10		195	9.1		4		
			剥片	43	p10		90	15.5		4		
			剥片	43	o10		265	1.6		3		
			剥片	43	o10		534	2.7		4		
			剥片		o10		13	9.2		3		
			剥片		p8		11	41.3		3		
			剥片	43	q11		924	6.1		4		
			剥片		p9		8	9.8		3		
			剥片	43	p10		165	6.3		4		
			剥片	43	p10		424	1.6		4		
			剥片	43	q11		333	21.7		4		
			剥片		p10		7	11.8		4		
			剥片	43	q11		6	5.4		4		
			剥片	43	q11		242	15.7		4		
			剥片	43	q11		411	29.1		4		
			剥片	43	q11		552	14.7		4		
			剥片	43	q11		611	3.0		4		
			剥片	43	q11		739	26.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	43	q11		777	70.9		4		
			剥片	43	q11		792	114.0		4		
			剥片	43	r11		133	15.5		4		
			剥片	43	r12		35	2.7		3		
-405	262	204	接合資料	43				2,199.8	102	4	265	3940
			剥片		m8		20	5.5		4		
			剥片		m8		21	5.5		4		
			剥片		m8		25	7.8		4		
			剥片		m8		34	2.5		4		
			剥片		n8		13	23.6		4		
			剥片		n8		14	12.1		4		
			剥片		n8		43	16.2		4		
			剥片		n8		44	2.5		4		
			剥片	43	q10		288	5.8		4		
			剥片		n8		51	17.0		4		
			剥片	43	n9		1060	4.2		4		
			剥片	43	o10		607	3.7		4		
			剥片	43	n9		181	10.7		4		
			剥片		n9		40	2.4		4		
			剥片		o8		13	1.3		4		
			剥片	43	o10		497	2.4		4		
			剥片	43	q11		904	1.3		4		
			剥片	43	n9		434	22.2		4		
			剥片	43	n9		1165	2.9		4		
			剥片	43	n9		443	14.2		4		
			剥片	43	n9		502	1.5		4		
			剥片	43	n9		508	45.0		4		
			剥片	43	n9		518	5.4		4		
			剥片	43	n9		685	24.3		4		
			剥片	43	n9		737	1.2		4		
			剥片		n10		3	6.6		4		
			剥片	43	o10		41	1.4		4		
			剥片	43	p10		100	1,211.8		4		
			剥片	43	n9		1026	1.4		4		
			剥片	43	n9		1132	27.1		4		
			剥片		o9		10	1.3		4		
			剥片		n9		41	6.6		4		
			剥片		n9		45	72.9		4		
			剥片		n9		47	2.0		4		
			剥片	43	p11		174	26.3		4		
			剥片		n10		4	10.8		4		
			剥片		o8		10	15.9		4		
			剥片	43	o9		134	2.8		4		
			剥片	43	o9		629	1.7		4		
			剥片		o8		12	40.6		4		
			剥片		o10		2	3.4		4		
			剥片	43	o9		110	28.4		4		
			剥片	43	o9		113	1.7		4		
			剥片	43	q10		158	3.9		4		
			剥片	43	q10		357	4.0		4		
			剥片	43	o9		114	2.9		4		
			剥片	43	o9		402	1.8		4		
			剥片	43	o9		115	11.4		4		
			剥片	43	o9		490	12.0		4		
			剥片	43	o9		125	1.9		4		
			剥片	43	o9		397	2.1		4		
			剥片		o9		8	5.9		4		
			剥片		o9		9	3.2		4		
			剥片		p9		3	2.1		4		
			剥片	43	o9		205	4.4		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				43	o9		280	1.8		4		
			剥片	43	o9		266	1.0		4		
				43	o9		398	4.2		4		
			剥片	43	o9		293	42.7		4		
			剥片	43	o9		392	24.3		4		
			剥片	43	o9		491	11.6		4		
			剥片		o9		11	9.8		4		
			剥片		o9		12	6.1		4		
			剥片		o9		13	7.0		4		
			剥片	43	o10		279	5.5		4		
					o10		1	13.0		4		
			剥片		o11		3	13.4		4		
				43	q11		135	54.9		4		
				43	q12		55	1.1		4		
				43	q12		70	7.8		4		
			剥片		p8		4	2.2		4		
			剥片		p8		5	10.4		4		
			剥片		p9		4	4.4		4		
				43	q10		183	7.2		4		
			剥片		p9		5	5.9		4		
			剥片	43	p10		176	1.0		4		
			剥片	43	p10		206	1.9		4		
				43	q10		272	2.1		4		
			剥片	43	p10		285	2.5		4		
			剥片	43	p10		432	13.5		4		
			剥片	43	p10		496	9.1		4		
			剥片	43	p10		524	1.3		4		
			剥片	43	p10		652	4.6		4		
			剥片		p10		8	2.3		4		
			剥片		q9		4	3.4		4		
			剥片	43	q10		9	6.3		4		
			剥片	43	q10		86	10.7		4		
			剥片	43	q10		127	0.7		4		
			剥片	43	q10		128	0.5		4		
			剥片	43	q10		208	18.2		4		
			剥片	43	q10		212	8.8		4		
				43	q10		360	3.5		4		
			剥片	43	q10		263	6.1		4		
			剥片	43	q10		292	13.9		4		
			剥片	43	q10		323	1.9		4		
			剥片	43	q10		347	1.4		4		
			剥片		q10		3	1.8		4		
			剥片	43	q11		41	21.2		4		
			剥片	43	q11		286	31.4		4		
			剥片	43	q11		673	11.6		4		
				43	q11		868	13.6		4		
			剥片	43	r11		40	12.7		4		
-406	263	205	接合資料	43				1,065.5	54	3*4	262	3925
			剥片		h9		2	26.4		4		
					m9		8	7.0		3		
			剥片		m8		9	5.7		3		
					o9		26	24.5		3		
			剥片		n8		54	1.1		3		
				43	o10		55	16.8		4		
			剥片		n8		62	14.0		3		
				43	o10		508	2.6		3		
			剥片	43	n9		4	2.4		4		
			剥片	43	n9		75	7.7		4		
			剥片	43	n9		108	3.8		4		
					o8		14	37.7		3		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				43	o9		461	51.3		4		
					o9		15	5.3		3		
					o10		12	1.3		3		
			剥片	43	n9		112	1.0		4		
					o9		17	2.7		3		
			剥片	43	n9		127	9.9		4		
				43	n9		954	2.9		4		
			剥片	43	n9		564	6.6		4		
			剥片	43	n9		780	285.6		4		
			剥片	43	n9		1076	2.6		4		
			剥片	43	n9		1151	1.2		4		
					n9		6	25.3		3		
					n9		7	3.9		3		
				43	o9		455	0.9		4		
					o10		6	13.2		3		
			剥片	43	n9		1161	11.2		4		
			剥片		n9		12	28.9		3		
			剥片		n9		52	11.3		3		
					n9		53	2.0		3		
			剥片		n9		55	8.2		3		
			剥片		n9		56	16.3		3		
					o9		23	5.5		3		
			剥片		n9		59	5.5		3		
			剥片		n9		60	3.8		3		
			剥片		o6		4	251.4		3		
			剥片	43	o9		67	5.8		4		
			剥片	43	o9		169	2.0		3		
				43	o9		601	8.7		3		
				43	o10		105	28.2		3		
			剥片		o9		21	1.1		3		
					o10		7	7.3		3		
			剥片		o9		22	1.1		3		
			剥片		o9		24	14.4		3		
			剥片		o9		31	2.3		3		
			剥片	43	o10		6	11.3		4		
			剥片	43	o10		8	3.8		4		
			剥片	43	o10		51	1.6		4		
			剥片		p8		6	8.2		3		
			剥片	43	p10		106	4.7		4		
			剥片		p10		6	6.8		3		
			剥片	43	p11		161	8.2		3		
			剥片	43	r12		46	42.5		3		
-408	264	206	接合資料	42				2,065.6	25	1	235	3678
			剥片	42	l6		66	45.2		1		
			剥片	42	l6		97	20.6		1		
				42	l7		1155	43.6		1		
			剥片	42	l6		318	2.2		1		
				42	l7		547	9.0		1		
				42	l7		638	313.7		1		
				42	l7		1705	6.1		1		
			剥片	42	l7		417	3.9		1		
				42	m7		22	19.8		1		
				42	m7		38	5.6		1		
			剥片	42	l7		525	14.6		1		
				42	l7		562	8.4		1		
				42	l7		846	11.3		1		
				42	l7		1120	19.5		1		
				42	m7		102	14.1		1		
			剥片	42	l7		575	12.1		1		
			剥片	42	l7		593	53.0		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	42	l7		906	2.8		1		
			剥片	42	l7		973	31.9		1		
			剥片	42	l7		985	140.9		1		
			剥片	42	l7		1072	153.6		1		
			剥片	42	l7		1273	180.8		1		
			剥片	42	l7		1128	10.5		1		
			剥片	42	m7		21	902.5		1		
			剥片	42	m7		104	39.9		1		
-409	265	207	接合資料	38				463.0	66	3・4	194	3462
			剥片		e9		1	0.7		4		
			剥片	38	f11		111	2.7		3		
			剥片	38	e10		2	2.3		4		
			剥片		e10		2	16.9		4		
			剥片		e10		3	5.3		4		
			剥片	38	g12		498	1.9		4		
			剥片	38	g12		500	10.4		4		
			剥片	38	g12		505	6.8		4		
			剥片	38	g12		572	8.3		4		
			剥片		e10		4	2.4		4		
			剥片		f10		8	1.0		4		
			剥片		g10		2	2.5		4		
			剥片	38	g12		309	9.8		4		
			剥片	38	g12		482	4.2		4		
			剥片	38	g12		596	5.0		4		
			剥片		e10		7	1.7		4		
			剥片		f10		5	20.5		4		
			剥片		e10		14	2.7		4		
			剥片		h12		5	2.1		4		
			剥片		h12		6	0.9		4		
			剥片	38	e11		10	54.7		4		
			剥片		e11		15	3.4		4		
			剥片		e11		4	2.8		4		
			剥片		f12		4	2.4		4		
			剥片	38	g12		545	6.4		4		
			剥片	38	g12		612	2.1		4		
			剥片		f11		12	2.5		4		
			剥片	38	g12		294	7.5		4		
			剥片	38	f12		27	1.8		4		
			剥片	38	g12		240	4.3		4		
			剥片	38	g12		342	13.0		4		
			剥片		g12		8	3.5		3		
			剥片	38	h13		50	1.0		4		
			剥片		g11		1	4.6		3		
			剥片	38	g12		600	14.4		4		
			剥片		g12		9	1.6		3		
			剥片	38	g12		162	29.8		4		
			剥片	38	g12		202	6.2		4		
			剥片	38	g12		221	3.2		3		
			剥片	38	g12		455	2.9		3		
			剥片	38	g12		228	1.6		4		
			剥片	38	g12		283	2.5		4		
			剥片	38	g12		515	24.6		4		
			剥片		g12		5	2.9		4		
			剥片	38	g12		239	26.4		4		
			剥片	38	g12		312	41.3		4		
			剥片	38	g12		266	4.3		4		
			剥片	38	h13		24	11.3		4		
			剥片	38	h13		25	5.3		4		
			剥片	38	g12		281	0.6		4		
			剥片	38	g12		327	1.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	38	g12		288	0.7		4		
			剥片	38	g12		564	1.8		4		
			剥片	38	g12		406	1.2		4		
			剥片	38	g12		557	1.6		4		
			剥片	38	g12		438	21.3		4		
			剥片	38	g12		443	2.6		4		
			剥片	38	g12		503	10.3		3		
			剥片	38	g12		448	2.1		4		
			剥片	38	g12		554	2.6		4		
			剥片	38	g12		544	4.5		4		
			剥片	38	g12		563	2.5		4		
			剥片	38	g12		565	4.7		4		
			剥片	38	g12		586	2.5		4		
			剥片	38	g12		595	2.5		4		
			剥片		g12		10	3.4		3		
-410	273	208	接合資料	44				1,082.2	2	1	392	3746
-362	249	75	尖頭器	44	m5		90	377.1		1		
-372	255	167	石刃核	44	n6		1137	705.1		1		
-411	273	209	接合資料	40・44				591.3	5	3・4	204	3499
			剥片		i9		6	122.7		3		
			剥片	40	k11		267	33.9		3		
			剥片	40	k11		369	4.4		3		
-374	257	174	石核	40	l12		70	312.3		3		
-362	248	76	両面調整石器	44	o6		501	118.0		4		
-412	274	210	接合資料	43				542.8	34	1・2	399	4040
-372	255	165	石刃核		m8		1	144.5		1		
			剥片		m8		40	1.4		1		
			剥片	43	n9		224	23.7		1		
			剥片	43	n8		15	3.2		1		
			剥片	43	n8		64	1.4		1		
			剥片	43	n8		96	4.6		1		
			剥片		n8		88	11.3		1		
			石刃	43	n9		177	29.9		1		
			剥片	43	n9		377	2.6		1		
			剥片	43	n9		380	5.5		1		
			縦長剥片	43	n9		483	21.6		1		
			縦長剥片	43	n9		583	1.3		1		
			縦長剥片	43	n9		950	1.6		1		
			縦長剥片	43	n9		600	10.0		1		
			剥片	43	n9		702	2.3		1		
			剥片	43	n9		879	1.8		1		
			剥片	43	n9		952	13.8		1		
			縦長剥片	43	n9		989	9.7		1		
			縦長剥片		o9		58	4.1		1		
			石刃	43	n9		1067	31.9		1		
			剥片	43	n9		1166	0.6		1		
			剥片	43	o9		498	1.7		1		
			剥片	43	o9		637	14.0		1		
			縦長剥片	43	o9		656	1.9		1		
			縦長剥片	43	o9		657	16.8		1		
			縦長剥片		o9		42	26.1		1		
			剥片		p9		19	64.4		1		
			縦長剥片		p11		9	7.0		2		
			剥片	43	q10		354	17.3		1		
			剥片	43	q10		222	8.5		1		
			剥片	43	q10		300	16.2		1		
			剥片	43	q10		302	9.7		1		
			剥片	43	q11		329	3.3		1		
			剥片	43	r11		111	29.1		1		
-413	274	211	接合資料	43				632.3	22	1	402	4168

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	43	n9		384	1.9		1		
			剥片	43	o8		7	19.5		1		
			剥片		o8		37	2.0		1		
			剥片	43	o9		265	2.9		1		
			剥片	43	o9		404	2.9		1		
			剥片	43	o9		495	2.8		1		
			剥片		o9		68	1.8		1		
			剥片		o9		79	5.8		1		
			剥片		p8		17	64.2		1		
-370	254	160	石刃核	43	p10		493	227.6		1		
			剥片	43	p10		569	0.9		1		
-374	256	173	石核	43	q10		223	139.4		1		
			剥片	43	q10		328	0.8		1		
			剥片	43	r11		240	8.9		1		
			剥片	43	q10		356	2.7		1		
			剥片		q10		9	64.8		1		
			剥片		q10		10	46.7		1		
			剥片	43	r11		11	3.5		1		
			剥片	43	r11		213	1.6		1		
			剥片	43	r11		323	10.0		1		
			剥片	43	r11		259	16.6		1		
			剥片	43	r11		304	5.0		1		
-414	275	214	接合資料	40				273.2	22	1	308	4266
			石刃	40	i10		25	5.6		1		
-378	259	193	石核	40	i10		43	80.6		1		
				40	j10		193	4.9		1		
				40	l12		390	6.5		1		
				40	l12		415	54.4		1		
			剥片		i10		28	0.8		1		
			剥片	40	j9		21	2.1		1		
			剥片	40	j9		31	11.5		1		
			剥片		j9		9	3.1		1		
			剥片		j9		10	5.4		1		
			剥片	40	j10		231	1.1		1		
			剥片	40	j10		238	2.6		1		
			剥片	40	j10		283	2.0		1		
			剥片	40	j10		289	0.4		1		
			縦長剥片	40	j10		298	26.5		1		
			剥片	40	j10		430	30.8		1		
			剥片	40	k11		7	9.8		1		
			剥片	40	k11		243	5.3		1		
			剥片	40	k11		287	2.2		1		
				k11		25	4.3			1		
			縦長剥片	40	k12		141	11.9		1		
			石刃	40	k12		900	1.4		1		
-415	275	215	接合資料	40+41+44				760.5	55	2	393	3807
			剥片	40	i10		60	68.0		2		
			剥片	41	l8		11	3.8		2		
				41	n10		51	1.5		2		
			剥片		l9		19	5.6		2		
				41	m9		70	2.2		2		
				41	m9		123	11.2		2		
				41	n10		34	2.4		2		
			剥片	43	m8		55	1.9		2		
				41	n10		70	7.2		2		
				41	n10		100	0.8		2		
			剥片		m8		5	31.5		2		
			剥片		m8		12	24.0		2		
				41	m9		101	5.4		2		
				41	n9		274	2.0		2		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				41	n10		16	1.8		2		
			剥片	41	m9		65	6.4		2		
			剥片	41	m9		67	0.8		2		
				n9		2	7.5			2		
				41	n10		67	14.6		2		
			剥片	41	m9		68	1.3		2		
				41	n10		89	1.4		2		
			剥片	41	m9		71	16.7		2		
				41	m9		74	17.6		2		
				41	n9		272	6.9		2		
				41	n10		73	2.0		2		
			剥片	41	m9		95	2.6		2		
				41	n10		47	1.7		2		
				41	n10		115	3.3		2		
			剥片	41	m9		99	5.4		2		
				41	n10		97	24.9		2		
			剥片		m9		9	4.6		2		
				41	n10		10	1.5		2		
				41	n10		15	2.7		2		
				41	n10		21	3.0		2		
				41	n10		99	0.6		2		
			剥片		m9		10	1.7		2		
				41	n10		68	2.5		2		
			剥片	41	m10		107	2.4		2		
				41	n10		9	1.4		2		
				41	n10		40	6.6		2		
				41	n10		69	2.4		2		
-375	257	175	石核	44	n6		154	334.1		2		
			剥片	43	n9		271	15.1		2		
			剥片	43	n9		478	2.5		2		
			剥片	41	n10		19	10.2		2		
				41	n10		23	20.3		2		
			剥片	41	n10		22	5.9		2		
				41	n10		92	6.9		2		
			剥片	41	n10		49	1.5		2		
			剥片	41	n10		62	16.6		2		
			剥片	41	n10		63	7.3		2		
			剥片	41	n10		65	1.6		2		
			剥片	41	n10		66	23.7		2		
			剥片	41	n10		75	1.6		2		
			剥片	41	n10		77	1.4		2		
-416	276	216	接合資料	40+41				527.4	41	4	-	4327
			剥片	40	i9		14	9.7		4		
			剥片	40	i9		16	2.9		4		
			剥片	40	i9		18	12.5		4		
			剥片	40	i10		75	8.7		4		
			剥片	40	i10		95	7.8		4		
				40	i10		115	3.9		4		
				40	j10		401	1.6		4		
			剥片		i10		17	59.1		4		
			剥片	40	j10		129	5.1		4		
			剥片	40	j10		149	2.4		4		
			剥片	40	j10		248	5.5		4		
				40	k11		100	3.8		4		
			剥片	40	j10		320	2.9		4		
-378	259	192	石核	40	j10		352	3.2		4		
				40	k10		38	107.1		4		
			剥片	40	j10		355	6.3		4		
				40	m12		155	26.2		4		
			剥片	40	j10		370	24.9		4		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	40	j11		25	2.6		4		
			剥片		j11		28	1.7		4		
			剥片	40	k11		45	17.8		4		
				40	m13		105	15.9		4		
				40	m13		216	16.6		4		
			剥片	40	k12		371	3.9		4		
			剥片	40	l12		251	7.5		4		
			剥片	40	l12		513	16.4		4		
			剥片		m9		17	1.3		4		
			剥片	40	m12		41	2.6		4		
				40	m13		146	2.1		4		
			剥片	40	m12		108	4.5		4		
			剥片	40	m12		189	9.7		4		
			剥片	40	m12		239	3.7		4		
				40	n12		12	3.8		4		
				40	n13		93	1.7		4		
			剥片	40	m12		295	9.2		4		
			剥片	40	m13		204	5.2		4		
-377	258	188	石核	41	n11		1	57.1		4		
			剥片	40	n12		45	19.2		4		
			剥片	40	n13		16	7.7		4		
			剥片	40	n13		45	1.2		4		
-368	253	137	二次加工ある剥片	40	n13		79	22.4		4		
-418	276	217	接合資料	40				240.7	13	1	307	4308
			剥片	40	i8		2	1.5		1		
			剥片	40	i10		68	5.3		1		
-368	253	142	二次加工ある剥片	40	j10		397	28.8		1		
			剥片	40	j11		17	4.0		1		
					n11		2	11.5		1		
				40	n13		35	21.0		1		
-377	258	182	石核	40	k10		90	81.7		1		
			剥片	40	m12		263	49.2		1		
			剥片	40	m12		355	8.0		1		
-368	253	141	二次加工ある剥片	40	m13		367	4.4		1		
-368	253	138	二次加工ある剥片		m13		12	19.4		1		
			剥片	40	n12		32	1.4		1		
			剥片		n12		3	4.5		1		
-419	277	218	接合資料	43				2,102.1	22	1	397	4020
			剥片		m8		43	236.9		1		
			剥片		m9		33	17.9		1		
					n8		162	13.8		1		
-378	259	194	石核	43	n8		56	85.8		1		
					n8		94	83.7		1		
				43	n9		170	3.5		1		
				43	o9		105	1,317.7		1		
			剥片		n8		121	18.4		1		
			剥片		n8		132	15.6		1		
				43	o10		155	16.5		1		
			剥片	43	n9		122	61.9		1		
			剥片		n9		107	17.9		1		
			剥片	43	o9		11	5.0		1		
				43	o9		13	17.1		1		
			剥片	43	o9		559	38.1		1		
			剥片	43	o10		68	12.1		1		
			剥片	43	o10		98	4.7		1		
			剥片	43	o10		285	14.7		1		
			剥片	43	o10		344	5.0		1		
			剥片	43	o10		359	6.0		1		
			剥片	43	o10		610	72.5		1		
			剥片	43	q11		182	37.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-421	277	219	接合資料	43				128.4	9	5	270	4018
			剥片	43	n8		95	8.0		5		
			剥片	43	n9		570	6.3		5		
-369	254	152	削片	43	n9		741	0.7		5		
			剥片	43	n9		1065	1.4		5		
			剥片	43	o9		579	5.3		5		
			剥片	43	o10		333	4.0		5		
-369	254	156	石核		p10		1	92.7		5		
-369	254	149	縦長剥片		p11		4	1.9		5		
-369	254	155	削片	43	r12		26	8.1		5		
-422	264	220	接合資料	44				574.6	74	3-4-5	401	4157
			剥片	44	n6		126	1.0		4		
			剥片	44	n6		373	56.3		4		
			剥片	44	o6		493	8.6		4		
				44	p7		857	3.7		3		
			剥片	44	o6		1034	34.1		4		
			剥片	44	o6		1423	35.0		4		
-358	246	60	尖頭器		o6		1	44.5		3		
				44	o7		19	18.9		3		
				44	q7		407	39.3		3		
			剥片	44	p7		881	12.8		3		
			剥片	44	p8		46	0.9		3		
				44	p9		34	3.1		4		
			剥片	44	p8		48	6.6		3		
			剥片	44	p8		65	19.0		5		
				44	p9		5	12.4		4		
				44	p9		100	0.5		4		
			剥片	44	p8		67	6.7		3		
				44	p8		95	1.8		3		
				44	p9		93	2.5		4		
			剥片	44	p8		70	11.5		3		
				44	p8		142	2.4		3		
			剥片	44	p8		71	6.6		3		
				44	p8		98	2.0		3		
					p9		16	0.4		3		
			剥片	44	p8		104	2.9		3		
			剥片	44	p8		105	7.9		3		
				44	p9		13	0.5		4		
			剥片	44	p8		135	3.5		3		
			剥片	44	p8		138	2.6		3		
			剥片	44	p8		140	13.2		3		
			剥片	44	p8		141	0.4		3		
				44	p9		65	2.2		3		
			剥片		p8		12	1.1		3		
				44	p9		80	8.0		3		
			剥片	44	p9		7	9.1		4		
			剥片	44	p9		10	2.8		3		
				44	p9		11	4.1		4		
				44	p9		68	1.4		4		
			剥片	44	p9		12	1.5		3		
				44	p9		39	6.0		4		
			剥片	44	p9		27	2.3		4		
				44	p9		72	1.1		4		
			剥片	44	p9		31	9.3		3		
			剥片	44	p9		36	0.5		4		
				44	p9		40	0.4		4		
			剥片	44	p9		38	12.4		3		
			剥片	44	p9		41	11.3		4		
				44	p9		43	0.8		3		
					q8		3	10.9		3		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	44	p9		46	1.6		3		
			剥片	44	p9		47	8.7		3		
				44	p9		94	2.9		4		
				44	p9		98	1.1		4		
			剥片	44	p9		52	1.9		3		
				44	p9		53	5.3		3		
					p9		11	11.7		3		
			剥片	44	p9		54	0.7		3		
			剥片	44	p9		56	4.9		4		
			剥片	44	p9		60	6.6		3		
				44	p9		66	1.2		3		
			剥片	44	p9		61	8.9		4		
				44	p9		84	5.8		4		
			剥片	44	p9		62	0.9		4		
			剥片	44	p9		64	2.4		3		
			剥片	44	p9		70	1.3		3		
			剥片	44	p9		74	1.7		3		
			剥片	44	p9		75	6.8		4		
			剥片	44	p9		82	16.3		4		
			剥片	44	p9		92	2.2		4		
			剥片	44	p9		97	2.6		4		
			剥片		p9		7	12.2		4		
			剥片		p9		10	0.4		3		
			剥片		p9		12	1.5		3		
			剥片		q8		2	18.2		3		
-422	265	221	接合資料	44				492.5	59	4	241	3717
			剥片	44	m6		43	8.5		4		
				44	m6		491	0.9		4		
				44	m6		536	6.2		4		
			剥片	44	m6		74	3.1		4		
				44	m6		563	14.2		4		
			剥片	44	m6		115	5.3		4		
				44	m6		177	2.2		4		
			剥片	44	m6		170	1.1		4		
			剥片	44	m6		173	31.6		4		
			剥片	44	m6		174	16.2		4		
			剥片	44	m6		208	13.2		4		
				44	m6		438	13.7		4		
			剥片	44	m6		259	8.6		4		
				44	m6		471	9.3		4		
			剥片	44	m6		287	4.9		4		
				44	n6		605	4.5		4		
			剥片	44	m6		345	8.8		4		
				44	n6		479	3.7		4		
			剥片	44	m6		396	1.5		4		
				44	n6		652	14.0		4		
				44	n6		727	3.2		4		
				44	n6		926	7.0		4		
				44	n6		930	18.9		4		
			剥片	44	m6		418	1.3		4		
			剥片	44	m6		448	1.6		4		
			剥片	44	m6		504	4.0		4		
				44	n6		1242	4.0		4		
			剥片	44	m6		567	1.0		4		
				44	n6		485	1.4		4		
				44	n6		730	1.0		4		
			剥片	44	m6		608	58.7		4		
				44	m6		898	9.8		4		
			剥片	44	m6		744	5.7		4		
			剥片	44	m6		913	5.6		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	44	n6		567	3.9		4		
			剥片	44	n6		597	11.1		4		
			剥片	44	n6		603	10.5		4		
			剥片	44	n6		676	1.0		4		
			剥片	44	n6		703	6.3		4		
			剥片	44	n6		706	2.1		4		
			剥片	44	n6		794	0.9		4		
				44	n7		502	3.2		4		
			剥片	44	n6		795	2.4		4		
			剥片	44	n6		816	2.6		4		
			剥片	44	n6		872	3.4		4		
				44	n7		119	2.0		4		
			剥片	44	n6		900	1.0		4		
			剥片	44	n6		953	14.0		4		
			剥片	44	n6		956	4.8		4		
			剥片	44	n6		964	9.0		4		
			剥片	44	n6		1035	4.6		4		
			剥片	44	n7		122	1.7		4		
				44	n7		244	2.2		4		
			剥片	44	n7		277	85.2		4		
			剥片	44	n7		287	3.8		4		
			剥片	44	n7		342	14.5		4		
			剥片	44	n7		428	0.7		4		
			剥片	44	n7		573	2.5		4		
			剥片	44	n7		681	4.4		4		
-423	272	241	接合資料	40				73.0	3	1	-	3494
-350	241	16	尖頭器	40	j10		201	23.7		1		
				40	j10		345	24.6		1		
			剥片	40	j10		331	24.7		1		
-423	278	242	接合資料	38				559.1	22	3-4	314	3434
			剥片		e10		5	4.0		4		
			縦長剥片		e11		7	55.7		4		
				38	g12		141	16.1		4		
			剥片		e11		8	16.7		4		
			縦長剥片		e11		9	5.5		4		
				38	f11		6	1.8		3		
					f12		2	17.3		4		
					f12		3	35.4		4		
			縦長剥片		e11		10	1.2		4		
				38	f11		59	9.0		3		
					f11		7	13.2		4		
			縦長剥片		f10		4	9.3		4		
					f11		8	11.9		4		
					f11		9	61.0		4		
			剥片	38	f11		71	5.3		3		
-370	254	159	石刃核	38	f12		34	175.9		3		
			縦長剥片		g10		3	13.0		4		
			縦長剥片	38	g12		269	1.8		4		
			剥片	38	g12		378	2.8		4		
			縦長剥片	38	g12		419	29.5		4		
			縦長剥片	38	g12		518	6.1		4		
			剥片		g12		3	66.6		4		
-424	278	243	接合資料	38				408.6	6	3	388	3433
			石刃		f10		17	4.3		3		
				38	f11		67	14.0		3		
				38	g11		18	3.1		3		
				39	h12		135	49.9		3		
			石刃		f11		26	20.6		3		
-370	254	161	石刃核	38	g12		170	316.7		3		
-423	279	244	接合資料	44				395.6	11	1	244	3700

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	44	m6		229	61.2		1		
			剥片	44	n5		454	19.4		1		
			剥片	44	n5		1099	3.3		1		
-370	254	158	石刃核	44	n6		80	154.3		1		
			剥片	44	n6		758	8.9		1		
				44	n6		1160	6.6		1		
			剥片	44	o6		432	104.4		1		
				44	o6		1252	5.6		1		
				44	p7		379	9.6		1		
				44	q7		166	2.2		1		
			剥片	44	q7		165	20.1		1		
-424	280	247	接合資料	43				2,955.7	20	1	294	4198
			剥片		h10		1	142.2		1		
-376	258	179	石核		n7		2	1,454.5		1		
					o8		23	16.3		1		
			剥片		o8		5	104.7		1		
				43	p10		14	106.4		1		
			剥片		p8		1	123.2		1		
					p8		2	13.3		1		
			剥片		p11		1	166.3		1		
					p11		6	2.6		1		
			剥片		q9		1	95.4		1		
					q9		2	13.1		1		
			剥片	43	q10		7	21.7		1		
					r11		4	20.1		1		
			剥片	43	q10		213	81.4		1		
			剥片	43	q11		442	2.2		1		
			剥片	43	r11		57	5.5		1		
			剥片	43	r11		105	328.3		1		
			剥片	43	r11		224	30.9		1		
			剥片		ボサ		29	127.5		1		
			剥片		ボサ		31	100.1		1		
-	266	222	接合資料	40				282.0	4	1	206	3502
			剥片	40	j10		139	13.4		1		
-357	246	57	尖頭器	40	k11		367	220.1		1		
-350	241	15	尖頭器	40	k12		731	20.8		1		
				40	l12		565	27.7		1		
-	266	223	接合資料	39-40				259.9	9	4	207	3510
			剥片	39	h12		64	2.5		4		
				39	i12		247	12.4		4		
-	266	224	尖頭器	39	h12		150	54.3		4		
			剥片	40	j10		61	4.6		4		
				40	m13		327	4.1		4		
-354	243	41	尖頭器	40	j10		106	18.0		4		
				40	j10		127	82.2		4		
				40	j10		154	81.3		4		
			剥片	40	j10		272	0.5		4		
-	266	225	接合資料	39-40				315.7	11	1	206	3503
-352	242	34	尖頭器		i9		1	40.4		1		
				40	j11		121	63.5		1		
			剥片		j11		21	7.7		1		
-354	243	46	尖頭器	39	j12		52	147.9		1		
			剥片	39	j12		131	6.9		1		
			剥片	40	k11		140	2.7		1		
			剥片	40	k11		153	2.9		1		
			剥片	40	l12		527	1.6		1		
			尖頭器		m12		2	16.8		1		
			剥片	40	m13		299	10.5		1		
			剥片	40	m13		376	14.8		1		
-	267	226	接合資料	38				341.4	12	3-4	-	3439

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-358	246	59	尖頭器	38	e11		14	45.2		3		
				38	g12		234	55.1		3		
			剥片		e11		27	1.7		4		
				38	g13		363	0.7		4		
-356	245	53	尖頭器		f11		4	21.4		4		
				38	g12		232	94.1		4		
				38	g12		479	104.3		4		
			剥片		f11		27	2.5		3		
				38	g13		211	3.1		4		
			剥片		f12		15	6.0		4		
			剥片	38	g12		397	1.0		4		
			剥片		k11		40	6.3		4		
-	267	227	接合資料	39				321.7	10	4	-	3478
-352	242	35	尖頭器	39	h11		1	66.2		4		
				39	i12		256	72.9		4		
			剥片	39	h11		44	1.8		4		
			剥片	39	h12		66	1.0		4		
			剥片	39	h12		89	1.4		4		
			剥片	39	h12		121	2.4		4		
			剥片	39	i12		61	2.4		4		
-361	248	72	尖頭器	39	i12		140	148.8		4		
			剥片	39	i12		183	0.9		4		
			剥片	39	i12		241	23.9		4		
-	268	228	接合資料	41				215.0	8	1-3	-	3810
-353	242	37	尖頭器	41	l9		132	94.7		3		
				41	n10		111	98.5		3		
			剥片		l10		11	3.0		1		
			剥片	41	m9		45	2.8		1		
			剥片	41	m9		64	0.5		1		
			剥片	41	m10		210	2.5		1		
			剥片	41	m10		236	11.3		1		
			剥片	41	m10		264	1.7		1		
-	268	229	接合資料	40-43				240.8	10	1	390	3493
			剥片	40	j11		188	7.5		1		
			剥片	40	j11		285	4.5		1		
				40	j12		48	7.4		1		
			剥片	40	k11		59	3.5		1		
-351	241	26	尖頭器	40	k11		137	13.2		1		
				40	m13		70	28.1		1		
			剥片		k11		32	9.8		1		
			尖頭器		k12		45	7.5		1		
-352	242	33	尖頭器	40	l12		319	84.0		1		
-352	242	32	尖頭器	43	o10		582	75.3		1		
-	268	230	接合資料	44				143.0	6	5	274	4043
			剥片	44	n5		288	2.3		5		
-354	243	44	尖頭器	44	n6		167	6.7		5		
				44	n7		78	54.9		5		
-354	243	42	尖頭器	44	n6		247	72.8		5		
			剥片	44	o6		84	3.5		5		
			剥片	44	o6		690	2.8		5		
-	269	231	接合資料	38				516.5	20	1	193	3461
			剥片	38	g12		104	11.0		1		
				38	g13		156	2.2		1		
			剥片	38	g12		147	0.9		1		
				38	g13		391	23.4		1		
			剥片	38	g12		189	2.5		1		
			剥片	38	g12		250	19.8		1		
			剥片	38	g12		251	6.7		1		
				38	g13		358	5.1		1		
			剥片	38	g12		254	32.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	38	g12		257	4.3		1		
			剥片	38	g12		282	2.4		1		
			剥片	38	g12		293	6.8		1		
			剥片	38	g12		314	4.8		1		
			剥片	38	g12		370	4.4		1		
-355	244	51	尖頭器	38	g12		561	305.4		1		
			剥片	38	g13		231	6.5		1		
			剥片	38	g13		294	7.8		1		
			剥片	38	g13		392	16.2		1		
			剥片	38	g13		396	10.4		1		
			剥片	38	h13		39	43.7		1		
-	269	232	接合資料	43				1,245.2	3	4	-	4169
			剥片		p9		15	22.0		4		
			剥片	43	q10		135	8.6		4		
-364	250	80	両面調整石器	43	q11		930	1,214.6		4		
-	270	233	接合資料	43				1,493.9	51	5	273	4039
			剥片		n9		32	18.8		5		
			剥片		n8		141	13.5		5		
			剥片	43	n8		99	2.8		5		
			剥片		n8		152	3.6		5		
			剥片		o8		35	2.3		5		
			剥片	43	o9		590	273.8		5		
			剥片		o9		52	13.6		5		
			剥片		o9		67	3.3		5		
			剥片		n8		117	22.0		5		
			剥片		n8		126	3.8		5		
			剥片	43	o10		79	9.5		5		
			剥片		n8		127	7.8		5		
			剥片	43	n9		931	16.5		5		
			剥片		n8		140	7.5		5		
			剥片	43	n9		219	28.0		5		
			剥片	43	n9		277	10.5		5		
			剥片	43	n9		333	9.9		5		
			剥片	43	n9		808	8.7		5		
			剥片	43	n9		809	3.2		5		
			剥片	43	n9		1162	3.5		5		
			剥片	43	n9		885	1.4		5		
			剥片	43	n9		1183	18.9		5		
			剥片	43	o9		119	5.1		5		
			剥片	43	n9		895	8.0		5		
			剥片	43	q11		1058	1.6		5		
			剥片	43	n9		923	0.9		5		
			剥片	43	n9		942	1.5		5		
			剥片	43	n9		1005	1.3		5		
			剥片		o8		34	4.4		5		
			剥片	43	o10		248	3.1		5		
			剥片		n9		91	16.8		5		
			剥片		n9		108	10.8		5		
			剥片		o8		28	14.3		5		
			剥片		o8		33	9.9		5		
			剥片	43	o10		133	1.6		5		
			剥片	43	o9		164	21.7		5		
			剥片	43	o9		299	26.9		5		
			剥片	43	o9		348	2.8		5		
			剥片	43	o10		499	2.8		5		
			剥片	43	o10		583	118.1		5		
			剥片	43	p10		239	1.8		5		
			剥片	43	q11		539	14.4		5		
			剥片	43	q10		36	131.5		5		
			剥片	43	q10		324	0.9		5		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-364	250	81	両面調整石器		q10		6	543.2		5		
			剥片		q10		7	3.1		5		
			剥片	43	q11		456	6.6		5		
			剥片	43	q11		1027	4.3		5		
			剥片	43	q11		664	33.0		5		
			剥片	43	q11		811	5.7		5		
			剥片	43	q11		984	14.9		5		
-	270	234	接合資料	43				2,507.8	4	5	403	4234
			剥片	43	o9		258	30.0		5		
			剥片	43	q11		202	585.7		5		
			剥片		ボサ		32	1,316.4		5		
-	270	235	石核	43	q10		206	575.7		5		
-	271	236	接合資料	42				320.0	50	1	233	3650
			剥片	42	k6		16	3.3		1		
			剥片	42	k6		17	9.5		1		
			剥片	42	k6		17	9.5		1		
			剥片	42	k7		1024	4.5		1		
			剥片	42	k6		22	5.3		1		
			剥片	42	k7		173	1.4		1		
			剥片	42	k6		23	13.1		1		
			剥片	42	k6		40	3.0		1		
			剥片	42	k7		351	9.6		1		
			剥片	42	k6		63	6.9		1		
			剥片	42	k7		45	6.2		1		
			剥片	42	k7		150	6.1		1		
			剥片	42	k7		57	1.1		1		
			剥片	42	k8		182	13.0		1		
			剥片	42	k7		101	14.5		1		
			剥片	42	k8		134	2.1		1		
			剥片	42	k7		146	5.9		1		
			剥片	42	k7		380	2.2		1		
			剥片	42	k7		151	2.8		1		
			剥片	42	k7		292	1.2		1		
			剥片	42	k7		734	2.9		1		
			剥片	42	k7		1467	3.0		1		
			剥片	42	k8		177	1.4		1		
			剥片	42	k7		188	2.2		1		
			剥片	42	k7		331	6.4		1		
			剥片	42	k7		368	2.1		1		
			剥片	42	k7		314	21.2		1		
			剥片	42	k7		736	6.9		1		
			剥片	42	k7		326	1.9		1		
			剥片	42	k8		180	3.9		1		
			剥片	42	k8		181	13.3		1		
			剥片	42	k7		353	3.1		1		
			剥片	42	k6		382	1.6		1		
			剥片	42	k6		112	1.5		1		
			剥片	42	k7		371	4.9		1		
			剥片	42	k7		69	1.8		1		
			剥片	42	k7		126	14.4		1		
			剥片	42	k7		186	6.4		1		
			剥片	42	k7		242	9.9		1		
			剥片	42	k7		237	10.9		1		
			剥片	42	k8		151	6.6		1		
			剥片	42	k7		244	1.6		1		
			剥片	42	k7		328	0.9		1		
			剥片	42	k7		366	0.4		1		
			剥片	42	k7		370	17.4		1		
			剥片	42	k7		469	29.1		1		
			剥片	42	k7		535	14.9		1		
			剥片	42	k7		541	3.7		1		

奥白滝1遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	42	l7		669	3.6		1		
			剥片	42	l8		168	6.5		1		
			剥片	42	l8		175	3.9		1		
-	271	237	接合資料	42				125.7	24	1	233	3651
			剥片	42	k6		61	1.8		1		
			剥片	42	l6		76	11.4		1		
			剥片	42	l7		381	3.3		1		
			剥片	42	l7		1727	9.2		1		
			剥片	42	k6		64	0.7		1		
			剥片		k6		2	6.3		1		
			剥片	42	l8		196	1.5		1		
			剥片	42	k7		107	2.1		1		
			剥片	42	k7		334	0.5		1		
			剥片	42	l8		203	3.9		1		
			剥片	42	l7		177	1.2		1		
			剥片	42	l7		395	11.4		1		
			剥片	42	l7		190	2.1		1		
			剥片	42	l7		550	3.5		1		
			剥片	42	l7		209	1.7		1		
			剥片	42	l7		466	4.4		1		
			剥片	42	l7		635	0.5		1		
			剥片	42	l7		245	2.9		1		
			剥片	42	l7		367	10.8		1		
			剥片	42	l7		377	5.8		1		
			剥片	42	l7		379	18.5		1		
			剥片	42	l7		539	11.2		1		
			剥片	42	l8		194	9.1		1		
			剥片	42	l8		199	1.9		1		
-	271	238	接合資料	43				974.3	74	4	264	3936
			剥片		n8		16	5.3		4		
			剥片		n9		37	2.1		4		
			剥片		n8		12	10.0		4		
			剥片		n8		18	16.1		4		
			剥片	43	n9		572	29.8		4		
			剥片		n9		22	3.7		4		
			剥片		o8		8	7.7		4		
			剥片		n8		15	13.3		4		
			剥片	43	n9		414	5.2		4		
			剥片	43	n9		415	4.2		4		
			剥片		n8		16	16.2		4		
			剥片		n8		17	11.5		4		
			剥片		n9		23	1.8		4		
			剥片		n9		26	3.4		4		
			剥片	43	o9		503	80.6		4		
			剥片	43	o10		412	1.3		4		
			剥片		n8		19	4.4		4		
			剥片	43	n9		960	4.9		4		
			剥片		o8		3	4.8		4		
			剥片		n8		20	10.3		4		
			剥片	43	p10		292	6.8		4		
			剥片		n8		21	5.8		4		
			剥片		o8		4	11.3		4		
			剥片		n8		23	1.4		4		
			剥片		n9		25	6.5		4		
			剥片		n9		27	4.4		4		
			剥片		n8		24	108.3		4		
			剥片		n8		25	5.0		4		
			剥片		n8		26	16.5		4		
			剥片		n8		32	8.2		4		
			剥片		n8		37	2.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片		n8		39	3.1		4		
			剥片	43	o9		185	5.7		4		
			剥片	43	n9		126	6.7		4		
			剥片	43	n9		200	18.0		4		
			剥片	43	n9		227	14.6		4		
			剥片	43	n9		282	3.4		4		
			剥片	43	n9		322	5.9		4		
			剥片	43	n9		748	1.4		4		
			剥片	43	n9		330	5.0		4		
			剥片	43	n9		338	3.7		4		
			剥片	43	o10		46	5.2		4		
			剥片	43	n9		349	7.9		4		
			剥片	43	n9		393	2.6		4		
			剥片	43	n9		475	17.5		4		
			剥片	43	n9		848	4.4		4		
			剥片	43	n9		501	4.5		4		
			剥片	43	n9		514	2.7		4		
			剥片	43	n9		629	28.7		4		
			剥片	43	n9		1072	2.2		4		
			剥片	43	o10		66	5.1		4		
			剥片	43	p10		237	54.8		4		
			剥片		n9		19	74.6		4		
			剥片		n9		20	31.0		4		
			剥片		n9		21	52.0		4		
			剥片		n9		24	7.5		4		
			剥片		n9		35	4.1		4		
			剥片		n9		36	2.6		4		
			剥片	43	o9		311	1.7		4		
			剥片	43	o9		323	38.8		4		
			剥片	43	o9		391	8.4		4		
			剥片	43	o9		541	15.8		4		
			剥片		o9		6	1.3		4		
			剥片	43	o10		146	4.0		4		
			剥片	43	o10		621	7.8		4		
			剥片	43	p10		657	2.4		4		
			剥片	43	p11		46	5.9		4		
			剥片	43	q12		84	31.7		4		
			剥片	43	q11		127	15.2		4		
			剥片	43	q11		282	2.1		4		
			剥片	43	q11		386	26.6		4		
			剥片	43	q11		699	3.7		4		
			剥片	43	q11		793	6.8		4		
			剥片	43	q11		1037	13.6		4		
-	272	239	接合資料	43				927.9	37	1	295	4204
			剥片		n8		96	64.0		1		
			剥片	43	n9		610	112.5		1		
			剥片	43	n9		736	28.4		1		
			剥片		n8		107	5.6		1		
			剥片		o11		10	7.4		1		
			剥片		n8		109	2.6		1		
			剥片	43	o10		184	20.2		1		
			剥片		q11		21	2.0		1		
			剥片		n8		157	6.6		1		
			剥片		o9		74	7.6		1		
			剥片		p8		16	4.0		1		
			剥片	43	n9		23	4.2		1		
			剥片	43	o10		180	5.0		1		
			剥片	43	n9		617	3.5		1		
			剥片	43	n9		749	20.5		1		
			剥片	43	n9		1013	2.1		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	43	n9		1136	9.0		1		
				43	q11		987	2.0		1		
			剥片		n9		90	55.1		1		
			剥片		n9		92	66.3		1		
			剥片		n9		96	4.7		1		
				43	o10		50	3.9		1		
				43	p10		306	3.8		1		
			剥片		n9		98	3.9		1		
			剥片		n9		99	3.7		1		
				43	o10		2	3.7		1		
			剥片	43	o9		617	3.5		1		
			剥片	43	o9		630	39.5		1		
			剥片		o10		19	7.2		1		
			剥片	43	p10		124	48.8		1		
			剥片	43	p10		532	10.8		1		
			剥片	43	p11		195	4.6		1		
			剥片	43	q10		61	66.1		1		
			剥片	43	q10		107	83.5		1		
			剥片	43	q11		713	18.3		1		
			剥片	43	q12		30	13.6		1		
			剥片	43	r11		310	179.7		1		
-	272	240	接合資料	43				377.9	14	5	292	4183
			剥片		m8		42	175.7		5		
			剥片		n8		153	2.6		5		
					o8		36	2.5		5		
			剥片		n8		155	36.2		5		
				43	n9		881	4.4		5		
			剥片	43	n9		195	8.2		5		
				43	o9		51	7.3		5		
			剥片		o9		75	103.6		5		
			剥片		o9		76	2.6		5		
			剥片	43	o10		537	2.8		5		
-367	253	128	削器		p10		13	22.2		5		
			剥片	43	p11		169	2.9		5		
			剥片	43	q11		464	2.1		5		
					q11		17	4.8		5		
-	279	245	接合資料	44				242.8	12	1	244	3761
-354	243	45	尖頭器		l7		1	33.3		1		
-	279	246	尖頭器	44	m6		61	19.9		1		
				44	m6		64	19.2		1		
				44	m6		72	69.1		1		
				44	m6		727	2.4		1		
			剥片	44	m6		103	4.3		1		
-	279	246	尖頭器	44	m6		202	67.2		1		
				44	m6		256	8.6		1		
			剥片	44	m6		429	5.6		1		
-	279	246	尖頭器	44	m6		572	2.0		1		
			剥片	44	m6		63	1.4		1		
				44	m6		575	9.8		1		
-	281	248	接合資料	42-44				664.3	3	1	391	3659
			剥片	42	l7		202	121.3		1		
			剥片	42	l7		1944	7.1		1		
-372	255	164	石刃核	44	n5		551	535.9		1		
-	281	249	接合資料	44				867.2	2	1+5	395	3869
-373	256	168	石刃核		n5		1	670.9		5		
			剥片	44	o5		695	196.3		1		
-	282	250	接合資料	43				477.3	18	3+4	396	3914
			剥片	43	m9		104	12.6		4		
				43	o9		108	3.2		3		
				43	q10		342	17.4		3		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片		n8		59	25.7		3		
-372	255	166	石刃核		n9		1	219.2		3		
			剥片	43	o9		128	6.0		3		
			剥片	43	o9		257	1.5		4		
			剥片	43	o9		279	15.4		4		
			剥片	43	o9		406	5.6		3		
			剥片	43	o9		654	2.8		4		
			剥片		o9		20	2.3		3		
			剥片		o9		25	37.7		3		
			剥片		o10		4	24.8		3		
			剥片		o10		5	16.6		3		
			剥片		o11		5	22.8		3		
			剥片	43	q10		75	29.9		4		
			剥片	43	q10		97	31.0		4		
			剥片		q11		10	2.8		3		
-	282	251	接合資料	41-43-44				1,532.5	38	1	400	4041
			剥片	44	m6		7	7.6		1		
			剥片	44	m6		31	3.5		1		
			剥片	44	m6		152	3.7		1		
-375	257	176	石核	44	m6		331	1,307.7		1		
			剥片	44	m6		362	5.9		1		
			剥片	41	m9		66	1.2		1		
			剥片	41	m9		69	5.8		1		
				43	m9		126	2.2		1		
				41	n10		14	1.8		1		
				41	n10		90	5.4		1		
			剥片	41	m9		97	4.4		1		
			剥片	41	m9		119	0.6		1		
			剥片	41	m9		124	4.8		1		
					n9		11	7.1		1		
			剥片	41	m10		213	9.4		1		
			剥片	41	m10		255	2.2		1		
				41	n10		46	13.4		1		
				41	n10		50	7.6		1		
			剥片	43	n9		2	4.9		1		
				41	n10		48	5.7		1		
				41	n10		76	5.2		1		
			剥片	41	n10		17	1.5		1		
			剥片	41	n10		18	13.0		1		
			剥片	41	n10		20	4.3		1		
				41	n10		91	2.3		1		
			剥片	41	n10		24	10.9		1		
				41	n10		39	1.0		1		
				41	n10		52	1.5		1		
				41	n10		61	5.0		1		
				41	n10		74	10.7		1		
			剥片	41	n10		43	1.2		1		
			剥片	41	n10		45	8.1		1		
			剥片	41	n10		64	49.7		1		
			剥片	41	n10		72	0.8		1		
			剥片	41	n10		78	9.2		1		
			剥片	41	n10		93	1.2		1		
			剥片	41	n10		96	0.8		1		
			剥片	41	n10		116	1.2		1		
-	283	252	接合資料	44				579.5	8	1	394	3868
			剥片		n5		16	13.9		1		
-373	256	170	石刃核	44	o5		181	406.9		1		
			剥片	44	o5		251	11.7		1		
				44	o5		469	13.8		1		
			剥片	44	o5		346	32.2		1		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				44	o5		608	24.8		1		
			剥片	44	o5		615	63.4		1		
			剥片	44	o6		807	12.8		1		
-	283	253	接合資料	43				2,999.9	4	1+5	398	4022
-375	257	177	石核	43	n9		1112	622.3		1		
			剥片	43	o9		489	1,771.7		5		
			剥片	43	p10		179	5.4		1		
			剥片		q11		27	600.5		1		
-	284	254	接合資料	40				1,448.7	19	2	205	3501
-	284	255	石核	40	i9		13	592.0		2		
			剥片	40	i10		103	19.2		2		
			剥片	40	j10		304	1.2		2		
			剥片	40	j10		416	3.0		2		
			剥片	40	j10		34	1.3		2		
			剥片	40	j10		216	17.3		2		
			剥片	40	j10		365	31.3		2		
			剥片		j10		6	1.1		2		
			剥片		j11		10	96.5		2		
			剥片		j11		11	12.1		2		
			石核	40	i12		520	4.6		2		
			ボサ				28	571.4		2		
			剥片	40	m12		227	67.3		2		
			剥片	40	m12		262	7.4		2		
			剥片	40	m13		551	4.8		2		
			剥片	40	m12		296	3.9		2		
			剥片	40	m12		297	2.9		2		
			剥片	40	m13		214	7.9		2		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	40	m13		492	3.5		2		
-	284	256	接合資料	43				225.9	21	1	269	4008
			縦長剥片	43	m9		28	2.1		1		
			剥片	43	o10		585	2.5		1		
			剥片	43	n8		90	5.2		1		
			剥片	43	n9		5	2.7		1		
			剥片	43	n9		16	52.5		1		
			剥片	43	n9		290	1.9		1		
			剥片	43	n9		294	1.2		1		
			剥片	43	n9		316	3.0		1		
			剥片	43	n9		858	10.7		1		
			剥片	43	o10		538	1.7		1		
			剥片	43	n9		1017	2.6		1		
			縦長剥片	43	o8		26	25.7		1		
			剥片	43	p10		397	7.0		1		
-366	251	106	播器	43	o9		583	44.8		1		
			石刃		o9		45	3.6		1		
			石刃		o9		49	2.7		1		
			石刃	43	p10		743	3.4		1		
			石刃	43	r11		15	5.1		1		
			石刃	43	r11		86	12.3		1		
			石刃		r11		7	15.3		1		
			縦長剥片	43	r12		55	19.9		1		
-	284	257	接合資料	44				44.8	3	1	-	3901
			縦長剥片	44	m6		987	12.2		1		
			縦長剥片	44	n7		254	27.7		1		
-365	251	94	播器	44	n7		522	4.9		1		

表3 上白滝5遺跡掲載石器一覧

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-16	307	1	尖頭器	2	P11		1	139	33	16	59.1	黒曜石1	3	1		
					P11		25									
-20	308	1	尖頭器	5	J23		1	90	31	12	28.6	黒曜石1	61	44		水と層W37
					J23		270									
-20	308	2	尖頭器	5	L23		63	98	40	15	47.4	黒曜石4	86	249		
					M23		243									
-20	308	3	尖頭器	5	L24		1	116	47	16	76.4	黒曜石1				水と層W38
-20	308	4	尖頭器	5	L22		1	142	63	19	165.5	黒曜石4	64	186		
					L22		574									
-20	308	5	尖頭器	5	J21		502	93	57	16	81.5	黒曜石1	26	45		
					K22		524									
-20	308	6	尖頭器	5	L22		175	117	64	25	184.2	黒曜石1		50304		
					L22		658									
					L22		1343									
-21	308	7	尖頭器	5	L22		1013	143	69	28	261.0	黒曜石5	94	276		
					L22		1305									
-21	309	8	尖頭器		B調		3	144	85	39	426.8	黒曜石1	46	90		
-21	309	9	尖頭器	5	L23		164	(61)	(37)	(14)	(24.5)	黒曜石4	87	260		
-21	309	10	尖頭器	5	L23		467	(27)	(21)	(10)	(4.6)	黒曜石1				
-21	309	11	尖頭器	5	J21		170	(56)	(55)	(24)	(51.2)	黒曜石1	33	128		
-22	309	12	尖頭器	5	J23		162	(165)	(69)	(27)	(303.9)	黒曜石1	59	84		
					J23		322									
					K24		223									
					J23		2									
-22	309	13	尖頭器	5	J23		2	(113)	(58)	(26)	(121.6)	黒曜石1	60	72		
					J23		514									
					J24		11									
					J24		105									
					K23		148									
					K23		183									

挿	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考	
							K23 24										
-22	309	14	尖頭器	5	L23		99	(93)	(73)	(27)	(171.0)	黒曜石1	62	69			
-22	309	15	尖頭器	5	K22		110	(96)	(75)	(31)	(168.9)	黒曜石4	63	178			
-22	310	16	搔器	5	J21		643	(96)	(47)	(14)	(58.8)	黒曜石1	45	89			
-23	310	17	石刃	5	K23 M22		609 163	109	27	7	14.9	黒曜石1	29	62			
-23	310	18	石刃	5	L24 M24 M24		6 267 442	83	40	10	(26.1)	黒曜石1	60	72			
-23	310	19	石刃	5	K24 L24		80 54	113	38	12	(50.9)	黒曜石1	60	72			
-23	310	20	石刃	5	K22 K23 K23		629 299 373	102	40	22	68.5	黒曜石1	60	72			
-23	310	21	石刃	5	J22		1047	119	41	20	67.6	黒曜石1	29	62			
-23	310	22	石刃	5	J21 L22 L22		137 963 1204	176	45	16	(107.6)	黒曜石1	28	74			
-23	310	23	石刃	5	J21 J21 J21 L21 L21		51 191 341 6 14	159	46	18	(83.4)	黒曜石1	28	74			
-24	310	24	石刃	5	K22 L22 J22		231 1430 2	192	54	23	(165.8)	黒曜石1	29	62			
-24	311	25	石刃	5	K22 L22 J21 L22		174 134 2 1	185	79	24	162.0	黒曜石1	28	74			
-24	311	26	石刃	5	K23		804	(74)	(27)	(9)	(12.9)	黒曜石1	60	72			
-24	311	27	石刃	5	L24		15	(85)	(43)	(12)	(41.7)	黒曜石1	60	72			
-25	311	28	石刃	5	J24 K24 L24 L24 L24		26 289 141 668 11	190	63	18	(134.1)	黒曜石1	56	77			
-25	311	29	石刃	5	K23 K23 L24 L24		262 850 306 375	(141)	(48)	(13)	(49.7)	黒曜石1	56	77			
-25	311	30	石刃	5	J21 L22		55 1149	(157)	(49)	(19)	(136.5)	黒曜石1	28	74			
-25	311	31	石刃	5	K24 L24		28 6	157	50	34	225.4	黒曜石1	56	77			
-26	312	32	石刃核		ボヤ		1	137	138	92	1692.1	黒曜石1	29	62			
-26	312	33	石刃核	5	M23		601	91	95	49	367.3	黒曜石1	60	72			
-27	312	34	石刃核	5	L23		482	163	112	72	1296.7	黒曜石1	56	77			
-27	312	35	石刃核	5	K23 J23		74 1	94	43	25	102.9	黒曜石1	29	62			
-28	313	36	石刃核	5	K22		1	180	132	95	2382.8	黒曜石1	28	74			
-29	313	37	石核	5	M23		125	95	107	34	385.4	黒曜石1	54	81			
-29	314	38	石核	5	M23		719	138	81	57	453.3	黒曜石4	81	233			
-29	313	39	石刃核	5	K24 K24		129 6	118	81	53	481.5	黒曜石1	61	44			
-30	314	40	石核	5	L24		571	232	143	100	2736.1	黒曜石1	53	80			
-30	314	41	剥片	5	J20		5	60	40	5	16.4	片岩					
-78	344	1	尖頭器	8 8	O42 O42		55 56	163	24	8	28.2	黒曜石4		50309			

上白滝5遺跡

挿	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
				11	R44		1									
-78	344	2	尖頭器	9	N43		1	(191)	(34)	8	(59.4)	黒曜石4		50308		
					N42		1									
-78	344	3	尖頭器	8	O42		78	(96)	(32)	(8)	(25.6)	黒曜石4				
-78	344	4	尖頭器	11	Q45		1	(72)	(38)	(8)	(18.7)	黒曜石4				
-78	344	5	尖頭器	6	K42		10	(29)	(13)	(4)	(1.4)	黒曜石5				
-78	344	6	尖頭器	11	Q44		83	(41)	(29)	(7)	(7.1)	黒曜石1				
-78	344	7	尖頭器	10	N44		35	(77)	(44)	(9)	(24.3)	黒曜石4				
-78	344	8	尖頭器	9	M44		2	(91)	(50)	(7)	(32.1)	黒曜石4		50307		
					M44		41									
-78	344	9	尖頭器	11	R43		73	(36)	(33)	(7)	(10.6)	黒曜石1			産地分析X144	
-78	344	10	尖頭器	9	M44		1	(83)	(45)	(9)	(32.0)	黒曜石4		50306		
				10	N45		595									
-78	344	11	尖頭器	11	R44		102	(84)	41	(7)	(32.2)	黒曜石4				
-79	344	12	尖頭器	8	N43		56	(51)	(52)	(7)	(27.4)	黒曜石4				
-79	344	13	尖頭器	7	K44		1	(102)	(68)	(16)	(105.9)	黒曜石4		50305		
					K45		425									
-79	345	14	尖頭器		S41		1	(18)	(14)	(4)	(0.8)	黒曜石4				
-79	345	15	尖頭器	11	R43		66	(42)	(25)	(5)	(3.1)	黒曜石4				
-79	345	16	尖頭器	10	O44		799	(37)	(28)	(6)	(5.6)	黒曜石4				
-79	345	17	尖頭器	11	Q44		44	(83)	32	(7)	(23.1)	黒曜石4				
-79	345	18	尖頭器	11	R43		387	(76)	(33)	(10)	(32.6)	黒曜石4				
-79	345	19	尖頭器	10	N45		364	(36)	(47)	(8)	(7.6)	黒曜石4				
					N45		533									
-79	345	20	尖頭器	10	O45		51	(58)	(57)	(20)	(51.6)	黒曜石4	162	552		
-79	345	21	尖頭器	6	L42		33	134	43	17	87.8	黒曜石4				
-80	345	22	尖頭器	11	Q45		6	(197)	(111)	(39)	(696.9)	黒曜石4	188	649		
-80	346	23	彫器	8	N42		510	24	12	6	2.1	黒曜石1	139	441		
-80	346	24	彫器	8	N42		418	29	14	6	2.6	黒曜石1	139			
-80	346	25	彫器	9	M45		47	37	14	7	3.7	黒曜石1	199			
-80	346	26	彫器	7	K45		62	36	17	4	3.1	黒曜石1	139	441		
-80	346	27	彫器	8	N42		270	45	17	8	6.4	黒曜石4	204			
-80	346	28	彫器	8	N43		147	44	19	7	5.8	黒曜石1	139	441		
-80	346	29	彫器	8	O42		11	46	17	7	6.0	黒曜石1				
-80	346	30	彫器	7	J45		181	47	18	5	5.7	黒曜石4				
-80	346	31	彫器	9	N43		4	51	16	6	5.3	黒曜石1	198	730		
-80	346	32	彫器	11	R43		331	52	19	8	7.1	黒曜石4	205			
-80	346	33	彫器	10	O45		29	54	22	10	9.7	黒曜石1	200			
-80	346	34	彫器	8	N42		552	56	19	9	7.5	黒曜石1	140	447		
-80	346	35	彫器	11	R43		71	63	23	12	14.5	黒曜石4				
-81	346	36	彫器	6	J44		24	61	21	7	10.3	黒曜石4				
-81	346	37	彫器	11	R44		236	68	24	10	16.5	黒曜石1				
-81	346	38	彫器	6	M42		53	102	26	10	23.7	黒曜石1	106	308		
-81	346	39	彫器	9	M45		57	55	15	6	3.9	黒曜石1	140	447		
-81	346	40	彫器	9	M43		16	44	21	5	4.5	黒曜石4				
-81	346	41	彫器	8	N42		370	64	51	12	29.6	黒曜石1	139	441		
-81	346	42	彫器	9	M44		142	27	14	8	3.7	黒曜石4				
-81	346	43	彫器		M45		2	32	14	7	3.8	黒曜石1				
-81	346	44	彫器	11	R41		161	33	18	3	2.1	黒曜石4				
-81	346	45	彫器	9	N44		5	33	12	8	3.5	黒曜石1				
-81	346	46	彫器	8	O43		2	33	14	6	3.5	黒曜石1	141	453		
-81	346	47	彫器	8	N42		191	31	14	8	3.4	黒曜石1	140	447		
-81	346	48	彫器	9	M46		85	34	14	5	2.7	黒曜石4	163			
-81	346	49	彫器	8	N42		92	35	17	4	3.3	黒曜石4	160	543		
-81	346	50	彫器	10	O44		67	34	15	7	3.5	黒曜石4	163	553		
-81	346	51	彫器	8	N42		10	37	13	7	3.4	黒曜石1	139	441		
-81	346	52	彫器	9	M45		2	37	15	8	4.9	黒曜石4	149			
-81	346	53	彫器	8	O43		1	38	17	7	4.2	黒曜石1	139	441		
-81	346	54	彫器	8	N42		553	37	17	9	4.4	黒曜石4	202	733		
-81	346	55	彫器	6	L42		57	37	16	8	4.8	黒曜石1				

掲載遺物一覧

挿 図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-81	346	56	彫器	8	N42		192	36	17	7	5.0	黒曜石4	160	543		
-81	346	57	彫器	8	N42		368	37	17	9	5.5	黒曜石1				
-81	346	58	彫器	8	N42		416	39	16	8	5.4	黒曜石4	160			
-81	346	59	彫器	8	N42		512	38	17	10	6.4	黒曜石4	201	732		
-81	346	60	彫器	8	N42		608	41	18	11	6.9	黒曜石1	139	441		
-81	346	61	彫器	6	L42		258	40	18	7	5.8	黒曜石4	203			
-81	346	62	彫器	7	K46		210	42	17	8	6.2	黒曜石1	119	337		
-81	346	63	彫器	8	N42		607	42	17	10	7.5	黒曜石1	140	447		
-81	346	64	彫器	11	R42		239	45	18	6	5.0	黒曜石1				
-81	346	65	彫器	11	Q43		85	45	16	9	5.6	黒曜石1				
-82	346	66	彫器	8	O42		54	44	19	5	5.7	黒曜石1	139	441	水和層W40	
-82	346	67	彫器	8	N42		511	44	17	10	6.3	黒曜石1	139	442		
-82	346	68	彫器	11	R43		214	45	18	13	9.2	黒曜石1				
-82	346	69	彫器	6	L43		99	48	18	10	8.8	黒曜石1	117	327		
-82	346	70	彫器	8	N42		606	49	20	9	7.7	黒曜石1	139	441		
-82	347	71	彫器	11	Q45		47	55	17	11	10.1	黒曜石1				
-82	347	72	彫器	6	K43 J44		140 1	53	14	7	4.9	黒曜石4	132	415		
-82	347	73	彫器	11	R41		137	57	18	5	5.8	黒曜石1				
-82	347	74	彫器	8	N42		273	74	44	22	48.7	黒曜石4	149	713		
-82	347	75	彫器	11	Q43		2	84	28	15	27.9	黒曜石1				
-82	347	76	彫器	6	L43		67	52	22	9	10.8	黒曜石4	127			
-82	347	77	彫器	9	N43		3	(18)	(16)	(7)	(2.1)	黒曜石1	139	441		
-82	347	78	彫器	11	Q44		65	74	29	11	16.3	黒曜石1				
-82	347	79	彫器	6	L42		148	25	18	3	1.6	珪質頁岩				
-82	347	80	彫器	6	L42		1	31	15	4	1.7	珪質頁岩				
-82	347	81	彫器	6	M42		105	31	17	6	3.4	珪質頁岩				
-82	347	82	彫器	6	L42		149	31	18	5	2.6	珪質頁岩				
-82	347	83	彫器	11	R42		304	33	19	5	3.5	珪質頁岩				
-82	347	84	彫器	8	N42		600	35	14	9	3.0	珪質頁岩				
-82	347	85	彫器	8	O42		64	36	16	9	4.7	珪質頁岩				
-82	347	86	彫器	6	L42		94	46	15	9	5.8	珪質頁岩				
-82	347	87	彫器	8	O42		66	46	20	8	5.4	珪質頁岩				
-82	347	88	彫器	6	K43		95	45	9	4	1.6	珪質頁岩				
-82	347	89	彫器	6	M42		106	31	14	3	1.3	めのう				
-82	347	90	彫器削片		N42		224	9	8	2	0.1	黒曜石1	139	441		
-82	347	91	彫器削片		N42		10	(12)	(7)	(2)	(0.2)	黒曜石1	140	724		
-82	347	92	彫器削片		N42		37	14	7	1	0.1	黒曜石4	201	732		
-82	347	93	彫器削片		N42		111	17	7	2	0.2	黒曜石1	139	441		
-82	347	94	彫器削片		N42 O42		79 15	20	7	3	0.2	黒曜石1	139	441		
-82	347	95	彫器削片		O42		17	(17)	(7)	2	(0.3)	黒曜石1	140	724		
-82	347	96	彫器削片		O42 O42		1 20	22	8	2	0.3	黒曜石1	139	441		
-82	347	97	彫器削片		O42		5	17	6	2	0.1	黒曜石1	139	441		
-82	347	98	彫器削片		N43		4	15	12	3	0.2	黒曜石1	140	447		
-82	347	99	彫器削片		N42		208	(14)	1	2	(0.3)	黒曜石1	140	447		
-82	347	100	彫器削片		N42		201	14	8	2	0.1	黒曜石1	198	730		
-82	347	101	彫器削片		N42		109	(14)	9	2	(0.2)	黒曜石1	140	447		
-82	347	102	彫器削片		N42		122	(13)	(8)	2	(0.1)	黒曜石1	140	724		
-82	347	103	彫器削片		N42		149	(17)	(8)	(2)	(0.1)	黒曜石1	140	725		
-82	347	104	彫器削片		N42		94	(16)	(8)	(2)	(0.2)	黒曜石1	140	725		
-82	347	105	彫器削片		N42		103	(13)	(9)	(3)	(0.3)	黒曜石4	201	732		
-82	347	106	彫器削片		N42 N42		152 263	(14)	(6)	(1)	(0.2)	黒曜石4	149	736		
-82	347	107	彫器削片		N42		91	9	7	2	0.1	黒曜石1	139	441		
-82	347	108	彫器削片		N42		154	(13)	(8)	(2)	(0.2)	黒曜石1	140	447		
-82	347	109	彫器削片		N42		107	(10)	(4)	(2)	(0.1)	黒曜石1	139	716		
-82	347	110	彫器削片		N42		148	(12)	(4)	(2)	(0.1)	黒曜石4	149	736		
-83	347	111	彫器削片		L42		6	14	5	2	0.1	黒曜石1	119	337		

上白滝5遺跡

挿	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-83	347	112	彫器削片		N42		210	16	6	2	(0.2)	黒曜石1	139	441		
					N42		225									
-83	347	113	彫器削片		N42		18	15	7	2	0.2	黒曜石1	140	447		
-83	347	114	彫器削片		N42		54	(19)	7	2	(0.3)	黒曜石1	140	447		
-83	347	115	彫器削片	8	N42		366	17	6	3	0.3	黒曜石1	139	441		
-83	347	116	彫器削片		N42		102	17	7	2	0.3	黒曜石1	139	441		
-83	347	117	彫器削片		N42		128	(17)	8	2	(0.2)	黒曜石4	149	737		
					N42		250									
-83	347	118	彫器削片		N42		64	(19)	9	2	(0.3)	黒曜石4	149	737		
-83	347	119	彫器削片		N42		207	(20)	8	1	(0.2)	黒曜石4	149	736		
-83	347	120	彫器削片		N42		80	(22)	8	2	(0.4)	黒曜石4	149	737		
					N42		288									
-83	347	121	彫器削片		N42		73	(19)	(7)	(1)	(0.3)	黒曜石4	149	736		
					N42		299									
-83	347	122	彫器削片		N42		49	16	4	2	0.1	黒曜石1	140	447		
-83	347	123	彫器削片		N42		27	9	5	2	0.1	黒曜石1	140	447		
-83	347	124	彫器削片		N42		62	14	6	1	0.1	黒曜石1	140	447		
-83	347	125	彫器削片		N42		219	(22)	(6)	(2)	(0.2)	黒曜石4	149	736		
					N42		290									
-83	347	126	彫器削片		N42		229	(7)	(6)	(1)	(0.1)	黒曜石1	139	441		
-83	347	127	彫器削片		N42		202	(9)	(7)	(2)	(0.1)	黒曜石1	140	447		
-83	347	128	彫器削片		N42		75	(11)	(6)	(1)	(0.1)	黒曜石1	140	447		
-83	347	129	彫器削片		N42		100	(12)	(7)	(2)	(0.1)	黒曜石1	140	447		
-83	347	130	彫器削片		N42		157	(12)	(4)	(1)	(0.1)	黒曜石1	139	441		
-83	347	131	彫器削片		N42		28	(15)	7	2	(0.2)	黒曜石4	149	737		
					N42		311									
-83	347	132	彫器削片		N42		69	(14)	(7)	(2)	(0.1)	黒曜石1	139	441		
-83	347	133	彫器削片		N42		218	(10)	(7)	(1)	(0.2)	黒曜石4	149	737		
					N42		282									
-83	347	134	彫器削片		N42		146	(14)	(7)	3	(0.1)	黒曜石4	149	735		
-83	347	135	彫器削片		N42		57	(13)	7	1	(0.2)	黒曜石1	139	441		
-83	347	136	彫器削片		N42		306	(10)	(8)	(2)	(0.2)	黒曜石4	149	735		
-83	347	137	彫器削片		N42		215	(12)	(9)	(2)	(0.2)	黒曜石4	149	735		
-83	347	138	彫器削片		O42		30	(11)	(7)	(2)	(0.2)	黒曜石4	149	735		
-83	347	139	彫器削片		N42		147	(18)	7	2	(0.3)	黒曜石1	139	716		
-83	347	140	彫器削片		N42		304	(6)	(4)	(1)	(0.1)	黒曜石4	149	735		
-83	347	141	彫器削片		N42		230	(6)	(5)	(1)	(0.1)	黒曜石1	139	441		
-83	347	142	彫器削片		N42		81	(11)	(6)	(1)	(0.1)	黒曜石4	149	736		
-83	347	143	彫器削片		N42		137	(14)	7	3	(0.2)	黒曜石4	149	735		
					O42		9									
-83	347	144	彫器削片		N42		16	(17)	4	2	(0.1)	黒曜石1	140	447		
-83	347	145	彫器削片		N42		15	(16)	4	1	(0.1)	黒曜石4	202	733		
-83	347	146	彫器削片		N42		43	(14)	(5)	2	(0.1)	黒曜石4	149	735		
-83	347	147	彫器削片		N42		302	(4)	(5)	(1)	(0.1)	黒曜石4	149	735		
-83	347	148	彫器削片		N42		220	(10)	(6)	(2)	(0.1)	黒曜石4	149	735		
-83	347	149	彫器削片		N42		31	(13)	(6)	(1)	(0.2)	黒曜石4	201	732		
-83	347	150	彫器削片		N42		125	(15)	(6)	(2)	(0.1)	黒曜石4	202	733		
-83	347	151	彫器削片		N42		40	(16)	(6)	(2)	(0.1)	黒曜石1	139	716		
-83	347	152	彫器削片		N42		65	16	9	3	0.3	黒曜石1	140	447		
-83	347	153	彫器削片		N42		197	(13)	(8)	(1)	(0.2)	黒曜石1	139	441		
-83	347	154	彫器削片	8	N42		537	(16)	(4)	(1)	(0.1)	黒曜石1	140	447		
-83	347	155	彫器削片		N42		17	(13)	(6)	2	(0.2)	黒曜石1	140	725		
-83	347	156	彫器削片		N42		63	(10)	(5)	(2)	(0.1)	黒曜石1	139	716		
-83	347	157	彫器削片		N42		205	(11)	(8)	(2)	(0.1)	黒曜石1	139	441		
-83	347	158	彫器削片		N42		39	13	4	2	0.1	めのう				
-83	347	159	彫器削片		N42		115	12	3	2	0.1	珪質頁岩				
-83	347	160	彫器削片	6	L42		402	14	5	1	0.1	珪質頁岩				
-83	348	161	搔器	11	R43		389	40	20	8	5.8	黒曜石4				
-83	348	162	搔器	9	N43		58	41	20	9	6.2	黒曜石4	160	543		
-83	348	163	搔器	11	R43		213	41	20	8	6.2	黒曜石1				

掲載遺物一覧

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-83		348	164	搔器	9	M45		46	47	20	11	8.8	黒曜石1				
-83		348	165	搔器	8	O42		23	52	20	11	12.1	黒曜石4				
-83		348	166	搔器	6	M42		56	52	21	9	11.6	黒曜石4				
-83		348	167	搔器	11	R43		212	53	22	12	13.8	黒曜石4				
-83		348	168	搔器	9	N44		14	60	26	9	13.2	黒曜石1			水和層H102	
-83		348	169	搔器	9	L45 M44		20 2	53	19	7	6.1	黒曜石4		50310		
-83		348	170	搔器		M46 N44		3 1	64	24	9	14.3	黒曜石4	165	564		
-83		348	171	搔器	8	N43		57	64	27	11	17.4	黒曜石4				
-83		348	172	搔器	8	O42		1	73	28	12	19.7	黒曜石4	165	564		
-83		348	173	搔器		M46 M46		2 8	92	25	10	20.5	黒曜石1	141	453		
-84		348	174	搔器	9	M44 M45		43 50	100	31	14	35.3	黒曜石4	165	50254		
-84		348	175	搔器	9	N43		114	(32)	(16)	8	(3.3)	黒曜石4				
-84		348	176	搔器	11	R42		305	(36)	20	12	(10.2)	黒曜石1				
-84		348	177	搔器	11	Q41		21	42	21	7	8.0	黒曜石1				
-84		348	178	搔器	11	S40		1	(53)	21	10	(13.1)	黒曜石1				
-84		348	179	搔器	6	L42		221	35	18	6	3.6	黒曜石4	110	317		
-84		348	180	搔器	10	O44		773	42	21	7	5.6	黒曜石4				
-84		348	181	搔器	11	R42		65	52	20	5	6.7	黒曜石1				
-84		348	182	搔器	6	M43		37	60	17	6	6.3	黒曜石1			水和層H101	
-84		348	183	搔器	8	O42		25	70	37	12	30.0	黒曜石4				
-84		348	184	搔器		Q42		1	(38)	22	7	(5.7)	黒曜石4				
-84		348	185	搔器	7	L45		19	(41)	15	6	(4.1)	黒曜石4				
-84		348	186	搔器	6	L43		166	30	20	4	2.9	黒曜石4				
-84		348	187	搔器	6	K43		93	(42)	28	5	(5.7)	黒曜石4				
-84		348	188	搔器	10	N47		1	(61)	31	8	(15.5)	黒曜石1			水和層H103	
-84		348	189	搔器	6	K43		139	85	71	17	81.5	黒曜石4	136	434		
-84		348	190	搔器	11	R41		190	67	24	17	22.7	珪質頁岩				
-85		349	191	搔器		R42		1	123	76	29	269.1	黒曜石1	176	605		
-85		349	192	錐形石器	8	O42		24	29	13	3	0.7	緑色泥岩				
-85		349	193	錐形石器	8	N42		82	(29)	(17)	(10)	(3.2)	黒曜石1				
-85		349	194	削器	6	L43		98	65	47	14	38.3	黒曜石4	137	439		
-85		349	195	削器		M47		1	(58)	(28)	8	(14.4)	黒曜石4				
-85		349	196	削器	9	N45		79	91	19	11	26.1	黒曜石4				
-85		349	197	削器	6	M42		91	(71)	33	14	(35.3)	黒曜石1				
-85		349	198	削器	6	M42		40	58	22	12	13.4	黒曜石4	133	419		
-85		349	199	削器	11	Q43		1	64	20	11	12.0	めのう				
-85		349	200	削器		N46		1	83	32	12	26.9	黒曜石4				
-85		349	201	削器	11	R42 R42		245 276	107	24	12	36.5	黒曜石1		50302		
-85		349	202	二次加工ある剥片		N44		4	23	42	14	7.7	黒曜石1	139	441		
-85		349	203	二次加工ある剥片	8	O42		62	17	29	10	3.3	黒曜石1	139	441		
-86		349	204	舟底形石器	6	K43		152	9	21	5	0.7	黒曜石4				
-86		349	205	舟底形石器	8	N42		193	7	26	5	0.9	黒曜石4				
-86		349	206	舟底形石器	6	M42		54	9	29	6	1.5	黒曜石4				
-86		349	207	舟底形石器	8	N42		536	9	36	5	1.5	黒曜石4				
-86		349	208	舟底形石器	8	O42		3	10	37	6	2.0	黒曜石1			水和層W39	
-86		349	209	舟底形石器	8	N43		60	9	33	4	1.3	黒曜石4				
-86		349	210	舟底形石器	11	Q45		106	11	33	6	2.1	黒曜石4				
-86		349	211	舟底形石器	8	N42		486	9	34	4	1.5	黒曜石4				
-86		349	212	舟底形石器	6	L43		126	8	40	5	1.8	黒曜石4				
-86		349	213	舟底形石器	8	N42		610	11	43	5	2.4	黒曜石4				
-86		349	214	舟底形石器	6	M42		52	10	44	7	3.0	黒曜石4				
-86		349	215	舟底形石器	8	N42		554	11	46	5	2.0	黒曜石4				
-86		349	216	舟底形石器	8	N42		556	9	46	5	1.9	黒曜石4				
-86		350	217	舟底形石器	6	M42		57	10	52	5	2.5	黒曜石4				
-86		350	218	舟底形石器	11	R42		275	12	57	7	4.3	黒曜石4		50321		

上白滝5遺跡

挿	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
					R42		2									
-86	350	219	舟底形石器	8	N42		555	12	(35)	(7)	(2.9)	黒曜石1	140	447		
-86	350	220	舟底形石器	6	L42		95	11	(26)	4	1.3	黒曜石4				
-86	350	221	舟底形石器	6	K43		138	19	53	8	7.9	黒曜石1			産地分析X138	
-86	350	222	舟底形石器	6	M42 N42		107 609	12	54	16	10.9	黒曜石1	117	50323		
-86	350	223	舟底形石器	6	M42 M43		113 21	13	60	18	13.6	黒曜石1	117	327		
-86	350	224	舟底形石器	11	Q43		3	20	58	20	18.2	黒曜石4				
-86	350	225	舟底形石器	8	N42		592	21	54	17	17.8	黒曜石4				
-87	350	226	舟底形石器	6	L42		222	14	62	20	17.3	黒曜石4				
-87	350	227	舟底形石器	11	R42		134	18	70	25	26.9	黒曜石1				
-87	350	228	舟底形石器	11	Q44		1	21	69	23	23.5	黒曜石1				
-87	350	229	舟底形石器	7	K46 L45		212 119	25	70	21	26.3	黒曜石1	120	339		
-87	350	230	舟底形石器	7	K45 K45		49 123	16	74	16	17.8	黒曜石1	117	327		
-87	350	231	舟底形石器	8 9	N42 N43		471 2	21	75	24	38.1	黒曜石4	156	521		
-87	350	232	舟底形石器	7	K45 L46		2 1	21	75	25	29.2	黒曜石1	122	344		
-88	350	233	舟底形石器	11	R43		157	19	75	22	23.6	黒曜石1				
-88	350	234	舟底形石器	9	M45		43	21	78	21	27.2	黒曜石4	160	543		
-88	350	235	舟底形石器	11	R42		269	19	82	16	19.4	黒曜石3				
-88	350	236	舟底形石器	6	M42 N42		34 602	25	84	16	27.5	黒曜石1		50313		
-88	350	237	舟底形石器	11	R42		135	28	87	22	37.2	黒曜石1	178	609		
-88	350	238	舟底形石器	6	L42		35	28	88	19	25.4	黒曜石1	122	344		
-88	350	239	舟底形石器	11	R43		386	21	88	25	42.4	黒曜石1	178	609		
-89	351	240	舟底形石器	11	Q40 R42		2 268	19	97	25	37.9	黒曜石1	168	583		
-89	351	241	舟底形石器	7	J45 K46		61 157	27	96	32	58.0	黒曜石4	131	409		
-89	351	242	舟底形石器	7	J47 J47		1 1	16	99	27	42.1	黒曜石4	126	391		
-89	351	243	舟底形石器	11	R43		19	45	103	47	168.1	黒曜石4	187	646		
-90	351	244	舟底形石器	11	R42		1	42	106	57	246.0	黒曜石1	168	583		
-90	351	245	舟底形石器	6	L42 L42		416 8	(9)	(24)	(9)	(2.4)	黒曜石4		50320		
-90	351	246	舟底形石器	11	R43		330	(22)	(51)	(20)	(19.0)	黒曜石1	179	610		
-90	351	247	舟底形石器	9	M45		44	(18)	(51)	(22)	(20.6)	黒曜石4	158	532		
-90	351	248	剥片	6	M42		55	(20)	(56)	(20)	(20.1)	黒曜石1	105	305		
-90	351	249	舟底形石器	11	R43		329	(25)	(85)	(19)	(38.9)	黒曜石1	176			
-90	351	250	舟底形石器削片		N42		305	10	3	1	0.1	黒曜石4	209	748		
-90	351	251	舟底形石器削片		N42		244	10	2	1	0.1	黒曜石4	209	748		
-90	351	252	舟底形石器削片		N42		221	11	4	1	0.1	黒曜石1	209	748		
-90	351	253	縦長剥片	6	M42		20	62	29	13	18.0	黒曜石1	121	340		
-90	351	254	縦長剥片		M47 M44		6 18	68	28	5	6.8	黒曜石1	139	441		
-90	351	255	石刃	8	N42		589	94	33	12	27.3	黒曜石4	160	543		
-91	351	256	石刃核	7	L45		32	48	29	20	30.3	黒曜石1	122	344		
-91	351	257	石刃核	7	K45		245	55	47	33	81.5	黒曜石1	117	327		
-91	352	258	石刃核	7	K46		29	49	25	28	40.2	黒曜石4	132	413		
-91	352	259	石刃核	7	J46		378	55	43	33	80.0	黒曜石1	118	335		
-91	352	260	石刃核	6	L42		34	60	56	50	167.5	黒曜石1	119	338		
-91	352	261	石刃核	11	R43		75	60	78	56	264.4	黒曜石1	172	595		
-92	352	262	石刃核	11	R43		388	58	60	40	127.2	黒曜石4	187	645		
-92	352	263	石刃核	11	R43		76	73	46	39	113.6	黒曜石1	170	592		
-92	352	264	石刃核	7	K45		1	48	65	63	149.9	黒曜石1	121	340		
-92	352	265	石核	7	K45		44	42	29	25	24.5	黒曜石1	122	344		

挿	図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
-92		352	266	石核	7	J45		34	45	28	31	19.4	黒曜石4	129	399		
-92		352	267	石核		K45		2	43	27	36	34.0	黒曜石4	129	398		
-92		352	268	石核	7	J45		2	50	36	23	37.2	黒曜石4	129	397		
-92		352	269	石核		M45		1	58	43	19	43.2	黒曜石4	148	473		
-93		353	270	石核	11	Q45		9	45	35	60	65.9	黒曜石4				
-93		353	271	石核	8	N42		1	52	33	40	49.9	黒曜石4	156	521		
-93		353	272	石核	11	R43		74	79	46	33	89.5	黒曜石4	194	661		
-93		353	273	石核	6	K43		50	68	49	40	129.3	黒曜石4	113	318		
-93		353	274	石核	10	O44		55	71	58	35	105.0	黒曜石4	166	568		
-94		353	275	石核	8	N42		415	67	82	48	155.0	黒曜石4	157	528		
-94		353	276	石核		M46		1	55	70	50	223.0	黒曜石1	143	455		
-94		353	277	石核	9	M43		10	41	53	20	40.0	黒曜石4	164	557		
-94		353	278	石核	9	L44		36	67	53	36	117.7	黒曜石4				
-94		353	279	石核	6	L43		27	54	52	18	48.1	黒曜石4	110	317		
-95		354	280	石核		K45		1	81	69	34	181.8	黒曜石4	147	470		
-95		354	281	石核	8	O42		63	69	63	52	179.3	黒曜石1	139	441		
-95		354	282	石核	7	J45		1	71	68	44	190.7	黒曜石1	120	339		
-96		354	283	石核	6	M42		103	74	73	59	225.1	黒曜石4	133	419		
-96		354	284	斧形石器	9	M45		1	178	43	38	327.7	安山岩1				
-96		354	285	斧形石器	8	O42		26	157	50	22	170.6	安山岩1				
-152			1	石刃鏃	9	M45		45	45	12	3	1.8	黒曜石4				産地分析X26
-152			2	石刃鏃	12	J50		1	(31)	(12)	(3)	(1.1)	黒曜石1				水和層W41
-152			3	石刃鏃	12	J50		3	(19)	(11)	(2)	(0.6)	黒曜石1				産地分析X23
-152			4	削器	12	J50		2	(70)	18	5	(6.5)	黒曜石1				産地分析X22
-152			5	削器	12	K50		1	(42)	(19)	(5)	(4.5)	黒曜石1				水和層W42
-152			6	削器	12	J49		2	(36)	(17)	(7)	(3.8)	黒曜石1		51831		産地分析X21
-153			1	石核		J11		1	102	82	36	249.4	黒曜石1				
-153			2	石核		O16		1	150	82	63	676.9	黒曜石5				

表4 上白滝5遺跡掲載接合資料一覧

挿	図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-17		307	2	接合資料	2				337.3	84	1	3	1
-16		307	1	尖頭器	2	P11		1	35.8		1		
					2	P11		25	23.3		1		
				剥片	2	P11		2	0.7		1		
					2	P11		74	3.9		1		
				剥片	2	P11		3	3.2		1		
					2	P11		4	2.3		1		
					2	P11		54	1.6		1		
					P11		7	0.5			1		
				剥片	2	P11		7	2.0		1		
					2	P11		8	2.2		1		
				剥片	2	P11		9	1.0		1		
					2	P11		53	11.5		1		
				剥片	2	P11		11	3.8		1		
					2	P11		12	2.9		1		
					2	P11		67	1.2		1		
					2	P11		88	1.5		1		
				剥片	2	P11		13	1.4		1		
					2	P11		68	3.1		1		
				剥片	2	P11		14	1.7		1		
					P11		13	0.1			1		
					2	P11		18	0.7		1		
				剥片	2	P11		20	0.6		1		
					2	P11		22	0.8		1		
				剥片	2	P11		23	3.4		1		
					2	P11		38	0.5		1		
					P11		1	0.1			1		
				剥片	2	P11		29	5.7		1		

挿	図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				剥片	2	P11		30	0.4		1		
					2	P11		31	7.3		1		
					2	P11		70	1.7		1		
				剥片	2	P11		34	4.3		1		
					2	P11		35	47.0		1		
				剥片	2	P11		36	1.5		1		
					2	P11		37	2.3		1		
				剥片	2	P11		39	5.6		1		
					2	P11		42	0.4		1		
					2	P11		72	6.5		1		
				剥片	2	P11		43	4.4		1		
					2	P11		46	2.1		1		
					2	P11		48	2.4		1		
					P11		11	0.3			1		
				剥片	2	P11		44	2.6		1		
					2	P11		45	5.0		1		
				剥片	2	P11		52	4.3		1		
					2	P11		55	6.8		1		
				剥片	2	P11		56	5.0		1		
					2	P11		102	0.1		1		
					P11		10	0.5			1		
				剥片	2	P11		58	0.9		1		
					2	P11		111	5.0		1		
					P11		12	0.1			1		
				剥片	2	P11		59	1.6		1		
					2	P11		60	0.9		1		
				剥片	2	P11		61	2.4		1		
					2	P11		62	0.8		1		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	2	P11		63	5.7		1		
			剥片	2	P11		64	11.6		1		
					P11		8	0.1		1		
			剥片	2	P11		69	0.6		1		
				2	P11		73	9.5		1		
			剥片	2	P11		76	1.4		1		
			剥片	2	P11		77	0.5		1		
			剥片	2	P11		78	4.8		1		
			剥片	2	P11		80	16.7		1		
			剥片	2	P11		85	1.8		1		
			剥片	2	P11		86	5.1		1		
			剥片	2	P11		87	4.4		1		
			剥片	2	P11		89	9.3		1		
			剥片	2	P11		90	2.2		1		
			剥片	2	P11		91	3.4		1		
			剥片	2	P11		93	4.6		1		
					P11		17	0.3		1		
					P11		18	0.5		1		
			剥片	2	P11		94	10.2		1		
				2	P11		100	1.2		1		
					P11		14	0.1		1		
			剥片	2	P11		99	2.9		1		
					P11		16	0.4		1		
			剥片	2	P11		106	0.3		1		
					P11		6	0.5		1		
			剥片		P11		2	0.1		1		
			剥片		P11		4	0.3		1		
			剥片		P11		5	0.7		1		
			剥片		P11		15	0.4		1		
-19	307	1	接合資料	3				943.0	61	1	4	70
-19	307	2	石刃	3	J17		1	21.5		1		
				3	J17		2	105.5		1		
				3	J17		30	15.0		1		
				3	J17		59	43.5		1		
			剥片	3	J17		5	5.0		1		
				3	J17		42	0.9		1		
				3	J17		46	19.3		1		
			剥片	3	J17		9	16.5		1		
				3	J17		43	12.4		1		
				3	J17		53	14.3		1		
				3	J17		89	8.1		1		
			剥片	3	J17		11	44.6		1		
				3	J17		19	1.5		1		
				3	J17		26	21.8		1		
				3	J17		36	2.9		1		
				3	J17		39	8.6		1		
				3	J17		40	1.6		1		
				3	J17		44	2.6		1		
				3	J17		50	4.2		1		
				3	J17		65	1.3		1		
					J17		7	0.6		1		
			石刃	3	J17		12	3.3		1		
				3	J17		64	9.0		1		
				3	J17		71	27.9		1		
				3	J17		75	46.2		1		
				3	J17		76	3.0		1		
				3	J17		77	40.9		1		
				3	J17		87	16.7		1		
					J17		1	6.7		1		
			剥片	3	J17		13	6.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				3	J17		47	1.3		1		
				3	J17		55	6.0		1		
				3	J17		60	6.4		1		
				3	J17		62	16.3		1		
					J17		5	0.4		1		
					J17		8	0.5		1		
			剥片	3	J17		16	2.5		1		
				3	J17		54	11.1		1		
				3	J17		57	27.2		1		
			剥片	3	J17		17	3.3		1		
			剥片	3	J17		18	0.3		1		
				3	J17		25	2.5		1		
				3	J17		70	1.7		1		
				3	J17		81	14.8		1		
				3	J17		86	1.0		1		
			剥片	3	J17		20	1.1		1		
				3	J17		38	10.0		1		
					J17		2	0.2		1		
					J17		3	0.5		1		
					J17		4	0.8		1		
			剥片	3	J17		33	5.5		1		
			剥片	3	J17		37	53.2		1		
			剥片	3	J17		49	0.2		1		
			剥片	3	J17		58	70.6		1		
			剥片	3	J17		63	1.6		1		
			剥片	3	J17		73	45.7		1		
			剥片	3	J17		74	3.3		1		
				3	J17		80	1.6		1		
				3	J17		91	130.8		1		
				3	J17		93	5.2		1		
			剥片	3	J17		92	5.2		1		
-35	315	42	接合資料	5				1146.6	187	1-3	27	40
			剥片	5	J21		52	7.8		1		
				5	L22		1215	18.4		1		
			剥片	5	J21		60	7.3		1		
				5	K22		15	23.8		1		
				5	L22		58	2.4		1		
				5	M22		72	10.7		1		
			剥片	5	J21		111	42.5		1		
				5	K21		232	3.8		1		
				5	L22		767	1.0		1		
			剥片	5	J21		154	1.1		1		
				5	K21		76	16.2		1		
				5	L22		870	5.2		1		
			剥片	5	J21		297	3.8		1		
				5	K21		164	9.8		1		
			剥片	5	J21		305	9.4		1		
				5	J21		470	9.9		1		
				5	L22		741	0.7		1		
			剥片	5	J21		514	5.0		1		
			剥片	5	J21		515	7.9		1		
				5	K21		208	1.4		1		
				5	K22		128	1.6		1		
				5	K22		169	2.2		1		
			剥片	5	J22		40	7.4		1		
			剥片	5	J22		109	1.1		1		
				5	J22		269	26.8		1		
				5	J23		754	17.3		1		
				5	M22		341	6.7		1		
			剥片	5	J22		607	5.8		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	L22		61	3.7		1		
				5	L22		445	1.7		1		
				5	L22		814	0.9		1		
				5	M22		279	2.2		1		
			剥片	5	J23		266	15.2		1		
					J22		7	4.7		1		
					J23		17	6.6		1		
			剥片	5	J23		750	3.0		1		
				5	M22		360	5.7		1		
			剥片	5	K21		6	2.3		1		
				5	M22		134	1.3		1		
			剥片	5	K21		21	5.3		1		
			剥片	5	K21		54	1.8		1		
				5	K21		93	1.2		1		
			剥片	5	K21		145	1.8		1		
			剥片	5	K21		188	2.3		1		
				5	L22		1112	1.0		1		
			剥片	5	K21		306	9.9		1		
				5	K22		50	1.1		1		
				5	L22		1039	2.0		1		
				5	M22		381	9.4		1		
			剥片	5	K22		122	1.9		1		
			剥片	5	K22		201	8.1		1		
				5	M22		312	3.4		1		
			剥片	5	K22		212	5.8		1		
				5	L22		1366	2.0		1		
			剥片	5	K22		453	1.1		1		
					K22		20	5.4		1		
			剥片	5	K22		807	11.6		1		
				5	L22		1258	3.5		1		
			剥片	5	K23		1092	2.9		1		
				5	M22		419	6.3		1		
			剥片	5	L21		81	2.6		1		
			剥片	5	L22		32	3.1		1		
				5	L22		369	16.0		1		
			剥片	5	L22		54	17.2		1		
			剥片	5	L22		82	0.9		1		
				5	M22		2	2.3		1		
				5	M22		78	1.5		1		
			剥片	5	L22		129	1.2		1		
			剥片	5	L22		145	3.4		1		
			剥片	5	L22		163	1.8		1		
				5	L22		437	5.4		1		
				5	L22		791	3.7		1		
			剥片	5	L22		204	4.5		1		
				5	L22		1026	3.7		1		
				5	L22		1181	36.2		1		
				5	M22		57	16.6		1		
			剥片	5	L22		205	0.7		1		
				5	L22		340	0.9		1		
				5	L22		917	2.0		1		
			剥片	5	L22		210	3.2		1		
				5	L22		620	0.6		1		
				5	L22		808	1.8		1		
				5	L22		1260	2.0		1		
				5	M22		278	2.9		1		
				5	M22		353	2.5		1		
				5	M22		391	3.1		1		
				5	M22		435	3.9		1		
			剥片	5	L22		213	1.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	M22		395	0.9		1		
				5	M22		397	3.9		1		
			剥片	5	L22		257	2.1		1		
			剥片	5	L22		270	2.0		1		
				5	L22		619	11.5		1		
				5	M22		119	3.4		1		
			剥片	5	L22		328	1.5		1		
				5	L22		773	1.6		1		
				5	M22		408	18.2		1		
			剥片	5	L22		352	1.9		1		
			剥片	5	L22		504	0.4		1		
				5	L22		1265	6.9		1		
			剥片	5	L22		513	2.5		1		
			剥片	5	L22		514	4.6		1		
				5	L22		785	0.4		1		
				5	L22		1471	0.9		1		
				5	M22		271	1.3		1		
			剥片	5	L22		535	3.2		1		
				5	L22		789	0.6		1		
				5	L22		1028	2.3		1		
			剥片	5	L22		554	0.6		1		
			剥片	5	L22		732	3.3		1		
				5	M22		333	4.0		1		
			剥片	5	L22		739	1.9		1		
				5	L22		1335	8.6		1		
				5	M22		301	16.7		1		
				5	M22		339	1.1		1		
					L22		3	1.1		1		
			剥片	5	L22		742	5.3		1		
				5	L22		954	0.8		1		
			剥片	5	L22		745	0.7		1		
				5	M22		345	3.7		1		
			剥片	5	L22		746	2.1		1		
				5	L22		1109	6.5		1		
			剥片	5	L22		747	1.0		1		
			剥片	5	L22		787	12.4		1		
			剥片	5	L22		797	2.4		1		
			剥片	5	L22		811	2.7		1		
			剥片	5	L22		813	4.9		1		
				5	L22		1189	0.5		1		
				5	L22		1385	1.7		1		
			剥片	5	L22		837	26.2		1		
				5	M22		198	12.5		1		
			剥片	5	L22		909	1.1		1		
				5	L22		999	5.7		1		
			剥片	5	L22		967	1.8		1		
				5	L22		1048	1.6		1		
				5	L22		1050	8.3		1		
				5	L22		1128	1.8		1		
				5	L22		1129	2.2		1		
			剥片	5	L22		1023	0.7		1		
			剥片	5	L22		1035	4.7		1		
			剥片	5	L22		1036	0.7		1		
			剥片	5	L22		1059	12.3		1		
				5	L22		1183	1.7		1		
				5	M22		425	3.2		1		
			剥片	5	L22		1073	2.2		1		
				5	M22		124	19.8		1		
			剥片	5	L22		1086	0.8		1		
			剥片	5	L22		1115	6.8		1		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	L22		1119	6.0		1		
				5	M22		305	3.9		1		
			剥片	5	L22		1179	3.5		1		
			剥片	5	L22		1256	21.4		1		
				5	M22		145	1.4		1		
				5	M22		303	3.6		1		
				5	M22		318	1.5		1		
				5	M22		385	1.4		1		
					J23		19	64.0		1		
			剥片	5	L22		1384	1.5		1		
				5	M22		320	4.9		1		
			剥片	5	L22		1435	16.6		1		
			剥片	5	L22		1457	0.5		1		
				5	K22		223	3.9		1		
			剥片	5	L23		287	4.5		3		
			剥片	5	L23		360	4.5		3		
			剥片	5	L23		577	1.4		3		
				5	L23		633	3.7		3		
			剥片	5	L23		585	8.7		3		
				5	L23		638	20.7		3		
			縦長剥片	5	M22		55	8.1		1		
			剥片	5	M22		56	2.7		1		
				5	M22		67	29.6		1		
			剥片	5	M22		142	3.4		1		
				5	M22		160	1.5		1		
			剥片	5	M22		187	1.1		1		
			剥片	5	M22		235	9.5		1		
			剥片	5	M22		255	1.7		1		
			剥片	5	M22		266	1.4		1		
			剥片	5	M22		310	32.0		1		
			剥片	5	M22		336	1.3		1		
			剥片	5	M22		361	1.6		1		
			剥片	5	M22		378	45.3		1		
			剥片	5	M22		387	1.7		1		
			剥片	5	M22		392	6.2		1		
				5	M22		430	11.8		1		
			剥片	5	M22		409	2.8		1		
			剥片	5	M22		427	2.4		1		
			剥片	5	M22		437	1.2		1		
-37	316	43	接合資料	5				219.9	49	1	23	29
			剥片	5	J21		604	3.6		1		
			剥片	5	J21		606	8.5		1		
				5	J22		156	1.2		1		
				5	J22		1053	9.8		1		
				5	K22		762	1.6		1		
			剥片	5	J21		613	15.5		1		
			剥片	5	J21		621	8.4		1		
				5	J21		651	14.0		1		
				5	K21		81	3.7		1		
			剥片	5	J21		654	7.6		1		
			剥片	5	J21		661	0.7		1		
				5	J22		223	0.6		1		
				5	L22		974	2.7		1		
			剥片	5	J22		749	2.5		1		
				5	J23		205	1.4		1		
				5	L22		484	2.7		1		
			剥片	5	J22		1161	5.2		1		
			剥片	5	J22		1189	5.4		1		
			剥片	5	J23		541	7.5		1		
				5	K22		478	3.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
						J23	21	2.7		1		
						K22	11	8.0		1		
			剥片	5	K21		79	1.9		1		
				5	K22		417	1.0		1		
			剥片	5	K21		82	4.4		1		
				5	K21		216	1.1		1		
			剥片	5	K22		171	4.5		1		
				5	K22		401	1.3		1		
			剥片	5	K22		576	1.1		1		
			剥片	5	K22		623	7.1		1		
			剥片	5	K23		401	6.4		1		
				5	L22		460	1.1		1		
			剥片	5	L22		136	4.6		1		
			剥片	5	L22		240	0.5		1		
				5	L22		1475	2.5		1		
					J22		14	0.7		1		
			剥片	5	L22		249	3.0		1		
			剥片	5	L22		429	6.8		1		
			剥片	5	L22		433	2.3		1		
			剥片	5	L22		728	0.6		1		
			剥片	5	L22		818	12.5		1		
				5	M22		121	4.2		1		
			剥片	5	L22		1018	2.2		1		
			剥片	5	L22		1074	0.8		1		
			剥片	5	L22		1321	1.0		1		
			剥片	5	L22		1419	12.7		1		
			剥片	5	M22		36	3.2		1		
			剥片	5	M22		122	9.5		1		
			剥片	5	M22		261	6.3		1		
-37	316	44	接合資料	5				189.9	26	1	23	30
			剥片	5	J21		465	8.4		1		
			剥片	5	J21		683	1.4		1		
				5	J22		118	14.0		1		
				5	J22		583	4.4		1		
			剥片	5	J22		247	3.0		1		
				5	K22		657	1.4		1		
			剥片	5	J22		1048	24.6		1		
				5	J22		1190	1.3		1		
				5	K22		159	2.0		1		
			剥片	5	J22		1152	14.3		1		
			剥片	5	K21		184	2.8		1		
				5	K22		354	3.5		1		
			剥片	5	K22		61	43.5		1		
				5	L22		467	9.2		1		
			剥片	5	K22		455	6.1		1		
			剥片	5	K22		541	5.0		1		
			剥片	5	K22		550	0.8		1		
			剥片	5	K22		694	0.9		1		
				5	L22		290	5.5		1		
			剥片	5	K22		761	7.1		1		
				5	L22		16	7.7		1		
			剥片	5	L22		400	0.7		1		
			剥片	5	L22		1009	7.8		1		
			剥片	5	L22		1311	4.9		1		
			剥片	5	L22		1483	3.6		1		
			剥片		J23		23	6.0		1		
-38	316	45	接合資料	5				1030.9	90	4-5	103	297
			剥片	5	J22		26	31.1		5		
				5	J23		675	1.1		5		
			剥片	5	J22		52	1.7		5		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	J22		69	8.1		5		
				5	J22		705	1.2		5		
				5	J23		229	6.2		5		
				5	J23		749	5.5		5		
			剥片	5	J22		71	12.4		5		
			剥片	5	J22		123	7.0		5		
			剥片	5	J22		164	9.5		5		
				5	J22		215	1.9		5		
				5	J22		359	1.2		5		
				5	K22		53	5.8		5		
			剥片	5	J22		190	3.2		5		
			剥片	5	J22		197	15.2		5		
				5	J23		734	2.9		5		
			剥片	5	J22		207	3.0		5		
				5	J22		650	7.9		5		
				5	J23		258	13.0		5		
				5	J23		484	4.5		5		
			剥片	5	J22		211	7.9		5		
				5	J22		268	8.6		5		
				5	J23		755	72.5		5		
			剥片	5	J22		217	10.3		5		
			剥片	5	J22		281	1.8		5		
				5	J22		645	17.6		5		
				5	K22		723	30.9		5		
			剥片	5	J22		286	3.9		5		
				5	J23		262	2.4		5		
				5	J23		449	5.2		5		
				5	J23		686	3.5		5		
			剥片	5	J22		337	4.3		5		
				5	J22		476	1.0		5		
				5	J23		337	1.3		5		
				5	K22		286	7.2		4		
				5	K22		493	17.0		5		
			剥片	5	J22		349	5.9		5		
				5	K23		27	3.4		5		
				5	L23		575	2.7		5		
			剥片	5	J22		369	8.3		5		
			剥片	5	J22		425	6.4		5		
			剥片	5	J22		449	2.2		5		
				5	J24		22	1.3		5		
				5	K22		92	15.2		5		
				5	K22		503	16.5		5		
				5	K23		80	18.6		5		
				5	L23		277	4.9		5		
			剥片	5	J22		474	2.3		5		
				5	J22		750	3.6		5		
				5	J22		1088	14.4		5		
			剥片	5	J22		535	1.7		5		
				5	J23		466	13.2		5		
					J23		20	3.2		5		
			剥片	5	J22		544	2.5		5		
			剥片	5	J22		604	2.3		5		
			剥片	5	J22		631	12.1		5		
				5	J22		706	2.8		5		
			剥片	5	J22		633	4.2		5		
				5	J22		707	1.6		5		
			剥片	5	J22		755	14.6		5		
				5	K22		733	0.9		5		
			剥片	5	J22		882	11.8		5		
			剥片	5	J22		901	5.1		5		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	J23		263	1.8		5		
			剥片	5	J22		1079	4.9		5		
				5	J23		226	23.2		5		
				5	J23		345	18.3		5		
			剥片	5	J23		48	42.6		5		
				5	K23		1111	1.6		5		
			剥片	5	J23		207	10.9		5		
			剥片	5	J23		264	14.6		5		
			剥片	5	J23		347	3.8		5		
			剥片	5	J23		467	11.8		5		
			剥片	5	J23		492	2.8		5		
				5	J23		617	6.0		5		
			剥片	5	J23		555	6.8		5		
			剥片	5	J23		597	1.9		5		
				5	K23		660	84.1		5		
			剥片	5	J23		609	2.8		5		
			剥片	5	J23		614	2.9		5		
			剥片	5	J23		673	65.3		5		
			剥片	5	K22		74	5.1		5		
				5	K23		311	43.1		5		
					J23		5	100.5		5		
			剥片	5	K22		81	19.6		5		
				5	K23		320	14.8		5		
				5	K23		1151	13.6		5		
					K23		16	2.9		5		
			剥片	5	K22		497	3.2		5		
			剥片	5	K22		578	2.5		4		
-39	315	46	接合資料	5				406.9	26	1	55	82
			剥片	5	J22		751	41.3		1		
				5	J23		367	1.0		1		
				5	K23		593	2.3		1		
			剥片	5	J23		51	26.8		1		
				5	J23		352	41.2		1		
			剥片	5	J23		107	9.6		1		
			剥片	5	J23		113	7.0		1		
			剥片	5	J23		114	18.6		1		
				5	K23		153	36.7		1		
			剥片	5	J23		186	35.3		1		
			剥片	5	J23		203	5.1		1		
				5	K23		982	24.0		1		
			剥片	5	J23		418	3.6		1		
				5	K23		397	9.9		1		
			剥片	5	J23		455	2.8		1		
			縦長剥片	5	J23		510	15.4		1		
			剥片	5	J23		607	30.6		1		
			剥片	5	J23		757	5.0		1		
			剥片	5	K23		101	7.8		1		
			剥片	5	K23		363	4.2		1		
			剥片	5	K23		735	1.5		1		
			二次加工ある剥片	5	K23		1000	10.4		1		
					J22		3	9.4		1		
			剥片	5	L22		120	9.5		1		
			縦長剥片		J23		7	20.3		1		
					J23		8	27.6		1		
-40	317	47	接合資料	5				500.5	33	4	92	271
			剥片	5	J24		113	43.1		4		
			剥片	5	J24		133	36.7		4		
			剥片	5	J24		204	6.8		4		
			剥片	5	J25		2	30.3		4		
			剥片	5	J25		8	34.5		4		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	J25		12	39.0		4		
			剥片	5	J25		21	3.7		4		
			剥片	5	J25		222	0.5		4		
			縦長剥片	5	J25		32	29.3		4		
			剥片	5	J25		34	62.4		4		
			剥片	5	J25		38	6.7		4		
			剥片	5	J25		43	3.7		4		
			剥片	5	J25		45	9.1		4		
			剥片	5	J25		1	7.2		4		
			剥片	5	J25		62	3.0		4		
			剥片	5	J25		2	8.1		4		
			剥片	5	J25		71	15.7		4		
			剥片	5	J25		153	13.3		4		
			剥片	5	J25		181	6.1		4		
			剥片	5	J25		231	2.1		4		
			剥片	5	K23		898	1.9		4		
			剥片	5	K25		26	3.6		4		
			剥片	5	K25		33	16.7		4		
			剥片	5	K25		36	3.4		4		
			剥片	5	K25		66	13.2		4		
			剥片	5	K25		39	31.4		4		
			剥片	5	L25		1	32.7		4		
			剥片	5	L25		10	9.5		4		
			剥片	5	L25		17	4.5		4		
			剥片	5	L25		27	4.1		4		
			剥片		J25		3	4.1		4		
			剥片		J25		4	8.5		4		
			剥片		K25		2	5.6		4		
-41	317	48	接合資料	5				493.5	54	3・4	64	186
			剥片	5	J21		83	2.9		4		
			剥片	5	J21		96	9.1		4		
			剥片	5	J21		143	14.9		4		
			剥片	5	J21		230	3.5		4		
			剥片		K22		5	3.6		4		
			剥片	5	J21		443	1.8		4		
			剥片	5	J21		477	1.8		4		
			剥片	5	J21		524	4.8		4		
			剥片	5	J22		965	3.5		4		
			剥片		B調		10	5.6		4		
			剥片	5	J22		128	1.7		4		
			剥片	5	J22		254	4.1		4		
			剥片	5	J22		294	4.3		4		
			剥片	5	J22		360	83.5		4		
			剥片	5	J22		487	0.8		4		
			剥片	5	J22		598	1.1		4		
			剥片	5	K22		750	5.8		4		
			剥片	5	J22		577	3.0		4		
			剥片	5	J22		801	1.9		4		
			剥片	5	K21		179	4.7		4		
			剥片	5	K22		195	3.3		4		
			剥片	5	K22		203	5.2		4		
			剥片	5	K22		613	3.3		4		
			剥片	5	K22		207	1.0		4		
			剥片	5	K22		365	0.7		4		
			剥片	5	K22		572	1.5		4		
			剥片	5	K22		573	6.2		4		
			剥片	5	K22		763	4.9		4		
			剥片	5	L22		1459	1.0		4		
-20	308	4	尖頭器	5	L22		1	90.8		4		
			剥片	5	L22		574	74.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	L22		192	5.6		4		
			剥片	5	L22		390	15.7		4		
			剥片	5	L22		555	2.9		4		
			剥片	5	L22		583	1.9		4		
			剥片	5	L22		660	11.8		4		
			剥片	5	L22		887	0.9		4		
			剥片		K22		12	0.7		4		
			剥片	5	L22		890	3.5		4		
			剥片	5	L22		1172	2.9		4		
			剥片	5	L22		1249	1.3		4		
			剥片	5	L22		1346	2.5		4		
			剥片	5	L22		1304	2.2		4		
			剥片	5	L22		1347	14.0		4		
			剥片	5	L22		1351	3.9		4		
			剥片		B調		7	26.3		4		
			剥片		B調		11	13.8		4		
			剥片		B調		12	3.5		4		
			剥片		B調		18	4.5		4		
			剥片		B調		19	2.6		4		
			剥片		B調		27	7.6		3		
			剥片		B調		28	3.1		3		
			剥片		L22		6	0.4		4		
			剥片		不明		不明	6.9		4		
-42	318	49	接合資料	5				465.5	63	4	77	209
			剥片	5	J21		409	10.1		4		
			剥片	5	L22		65	1.1		4		
			剥片	5	L22		104	5.5		4		
			剥片	5	J21		474	3.2		4		
			剥片	5	J22		209	19.0		4		
			剥片	5	K21		20	0.8		4		
			剥片	5	K21		266	1.6		4		
			剥片		J21		5	0.5		4		
			剥片		K22		13	1.3		4		
			剥片	5	J22		62	12.3		4		
			剥片	5	K21		143	5.2		4		
			剥片	5	M22		300	16.4		4		
			剥片	5	K21		195	8.7		4		
			剥片	5	K22		30	16.2		4		
			剥片	5	K22		522	3.7		4		
			剥片	5	K23		939	7.5		4		
			剥片	5	L23		362	2.1		4		
			剥片	5	L22		57	3.5		4		
			剥片	5	L22		75	5.8		4		
			剥片	5	L22		212	6.1		4		
			剥片	5	L22		816	24.0		4		
			剥片	5	L22		374	2.4		4		
			剥片	5	L22		380	1.3		4		
			剥片	5	L22		403	23.0		4		
			剥片	5	M22		404	6.9		4		
			剥片	5	L22		618	1.0		4		
			剥片	5	L22		656	19.9		4		
			剥片	5	L22		1286	2.1		4		
			剥片	5	L22		662	10.3		4		
			剥片	5	L22		1019	2.7		4		
			剥片	5	L22		764	6.6		4		
			剥片	5	M22		69	2.0		4		
			剥片	5	L22		784	5.5		4		
			剥片	5	L22		853	11.4		4		
			剥片	5	L22		906	2.0		4		
			剥片	5	L22		952	5.6		4		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	M22		298	7.4		4		
			剥片	5	L22		996	0.8		4		
				5	M22		240	6.3		4		
			剥片	5	L22		1043	19.4		4		
				5	M22		354	1.5		4		
			剥片	5	L22		1102	7.6		4		
				5	L22		1236	6.1		4		
			剥片	5	L22		1123	10.1		4		
			剥片	5	L22		1144	1.8		4		
				5	L22		1195	5.4		4		
				5	M22		337	6.3		4		
			剥片	5	L22		1176	11.0		4		
			剥片	5	L22		1330	1.8		4		
			剥片	5	L22		1363	12.7		4		
			剥片	5	M22		77	16.3		4		
			剥片	5	M22		178	15.1		4		
			剥片	5	M22		190	11.2		4		
			剥片	5	M22		191	4.0		4		
			剥片	5	M22		248	1.8		4		
				5	M22		347	2.6		4		
			剥片	5	M22		317	11.7		4		
			剥片	5	M22		329	11.8		4		
			剥片	5	M22		431	1.7		4		
			剥片		B調		6	20.3		4		
			剥片		B調		9	4.3		4		
			剥片		B調		20	1.2		4		
			剥片		L22		8	8.0		4		
-43	318	50	接合資料	5				462.9	51	4	77	208
			剥片	5	J22		270	51.4		4		
				5	K22		387	4.2		4		
				5	L23		497	10.3		4		
			剥片	5	J23		19	6.0		4		
			剥片	5	J23		307	2.7		4		
			剥片	5	J24		42	1.8		4		
			剥片	5	K21		236	7.6		4		
			剥片	5	K22		46	1.3		4		
			剥片	5	K22		275	1.4		4		
				5	K22		319	7.1		4		
			剥片	5	K23		528	5.5		4		
			剥片	5	K23		549	1.7		4		
			剥片	5	K23		1180	3.0		4		
				5	K24		216	13.4		4		
					K23		20	1.5		4		
			剥片	5	L21		51	35.3		4		
				5	L22		4	3.5		4		
				5	L22		607	2.3		4		
			剥片	5	L22		357	6.2		4		
			剥片	5	L22		444	30.4		4		
				5	L22		948	3.4		4		
			剥片	5	L22		769	35.0		4		
					L22		13	0.7		4		
			剥片	5	L22		771	1.5		4		
			剥片	5	L22		772	1.5		4		
				5	M22		249	1.5		4		
				5	M22		265	1.4		4		
			剥片	5	L22		798	2.6		4		
			剥片	5	L22		1117	23.8		4		
				5	M22		283	22.2		4		
			剥片	5	L22		1120	20.0		4		
				5	M22		338	1.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	L22		1184	25.4		4		
			剥片	5	L23		651	8.2		4		
			剥片	5	M22		51	20.4		4		
			剥片	5	M22		61	8.0		4		
				5	M22		277	1.2		4		
				5	M22		388	1.8		4		
			剥片	5	M22		64	30.9		4		
			剥片	5	M22		75	7.4		4		
			剥片	5	M22		175	2.3		4		
			剥片	5	M22		199	4.0		4		
				5	M22		241	4.1		4		
			剥片	5	M22		236	7.3		4		
				5	M22		307	2.3		4		
			剥片	5	M22		245	3.3		4		
			剥片	5	M22		270	3.6		4		
				5	M22		383	3.2		4		
			剥片	5	M22		321	7.2		4		
			剥片	5	M22		325	7.9		4		
			剥片	5	M22		327	2.4		4		
-44	318	51	接合資料	5				381.8	38	1-5	59	83
			剥片	5	J23		353	25.0		1		
				5	K23		321	3.8		1		
			剥片	5	K23		754	7.9		5		
				5	K23		837	2.2		1		
			剥片	5	K23		796	1.3		1		
				5	K23		807	9.2		1		
			剥片	5	K24		616	21.4		1		
				5	L23		561	6.4		1		
			剥片	5	L23		77	6.2		1		
				5	M24		366	4.7		1		
			剥片	5	L23		525	19.4		1		
				5	L24		646	1.2		1		
			剥片	5	L24		33	3.4		1		
				5	L24		44	4.1		1		
				5	M24		383	4.7		1		
			剥片	5	L24		47	22.8		1		
			剥片	5	L24		82	3.3		1		
				5	M24		98	2.4		1		
				5	M24		297	8.9		1		
			剥片	5	L24		85	41.9		1		
				5	M24		205	1.5		1		
			剥片	5	L24		129	1.5		1		
				5	L24		234	5.1		1		
					M24		6	1.5		1		
			剥片	5	L24		148	3.7		1		
					L24		12	11.5		1		
			剥片	5	L24		381	23.3		1		
				5	M24		182	7.4		1		
			縦長剥片	5	L24		382	16.1		1		
			剥片	5	M24		45	7.4		1		
			剥片	5	M24		170	2.8		1		
			縦長剥片	5	M24		184	30.6		1		
			縦長剥片	5	M24		202	3.2		1		
				5	M24		204	3.5		1		
			剥片	5	M24		261	3.8		1		
			縦長剥片	5	M24		413	23.0		1		
			剥片	5	M24		429	25.9		1		
			縦長剥片		L23		23	9.8		1		
-44	319	52	接合資料	5				385.9	19	1	59	84
			剥片	5	J23		24	1.7		1		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-22	309	12	尖頭器	5	J23		162	35.6		1		
				5	K24		223	75.1		1		
					J23		2	7.8		1		
				5	J23		322	185.4		1		
			剥片	5	K23		1	2.3		1		
			剥片	5	K23		967	2.1		1		
			剥片	5	K24		97	4.1		1		
			剥片	5	K23		1083	15.5		1		
			剥片	5	K24		26	4.7		1		
			剥片	5	K24		557	8.7		1		
			剥片	5	K24		184	3.3		1		
			剥片		K23		28	2.0		1		
			剥片	5	K24		221	14.7		1		
			剥片	5	L24		214	1.9		1		
			剥片	5	K24		294	2.3		1		
			剥片	5	L24		117	11.9		1		
			剥片	5	L24		482	5.8		1		
			剥片	5	M23		193	1.0		1		
-45	319	53	接合資料	5				1773.3	95	3・4	81	233
			剥片	5	J22		159	4.1		4		
			剥片	5	J23		273	3.4		4		
			剥片	5	J22		376	0.8		4		
			剥片	5	J23		218	4.4		4		
			剥片	5	K23		677	1.7		4		
			剥片	5	L22		264	2.4		4		
			剥片	5	J22		432	1.9		4		
			剥片	5	J23		272	1.4		4		
			剥片	5	J24		143	1.8		3		
			剥片	5	K23		1153	1.8		4		
			剥片	5	J22		563	1.6		4		
			剥片	5	K22		322	19.2		4		
			剥片	5	L23		223	2.3		4		
			剥片	5	L23		270	16.8		4		
			剥片		J23		4	18.3		4		
			剥片		K23		18	0.4		4		
			剥片		K24		3	28.4		4		
			剥片	5	J22		697	2.7		4		
			剥片	5	J23		603	5.5		4		
			剥片	5	K23		679	3.9		4		
			剥片		J24		1	0.8		4		
			剥片		K23		10	0.5		4		
			剥片		K23		19	0.8		4		
			剥片	5	J22		729	1.6		4		
			剥片	5	J22		817	1.7		4		
			剥片	5	K22		320	4.3		4		
			剥片	5	J22		883	1.2		4		
			剥片	5	J22		1136	53.2		4		
			剥片	5	J23		32	5.5		4		
			剥片	5	J23		102	3.8		4		
			剥片	5	J23		154	17.1		4		
			剥片	5	J23		394	12.1		4		
			剥片	5	J23		523	1.5		4		
			剥片	5	J23		654	2.3		4		
			剥片	5	K23		137	46.0		4		
			剥片	5	K23		544	1.9		4		
			剥片	5	K23		663	1.4		4		
			剥片	5	K23		1144	6.8		4		
			剥片	5	L23		305	3.8		4		
			剥片	5	L23		372	3.3		4		
			剥片	5	L23		480	4.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	L23		628	2.0		4		
				5	L26		2	1.5		4		
			剥片	5	J23		137	1.1		4		
			剥片	5	K22		512	2.0		4		
			剥片	5	K23		919	43.3		4		
			剥片	5	L23		432	23.4		4		
			剥片	5	L23		491	22.0		4		
			剥片	5	L23		587	6.7		4		
			剥片	5	J23		155	7.6		4		
			剥片	5	J23		157	4.6		4		
			剥片	5	K23		526	7.3		4		
			剥片	5	K23		787	4.7		4		
			剥片	5	J23		230	13.5		4		
			剥片	5	J23		311	2.9		4		
			剥片	5	K22		598	5.4		4		
			剥片	5	K22		831	2.2		4		
			剥片	5	K23		274	39.4		4		
			剥片	5	K23		656	7.1		4		
			剥片	5	K23		664	4.5		4		
			剥片	5	L23		253	12.5		4		
			剥片	5	L23		341	5.3		4		
			剥片	5	L23		373	4.1		4		
			剥片	5	L23		516	9.1		4		
			剥片	5	J23		391	16.6		4		
			剥片	5	L23		272	13.7		4		
			剥片	5	J23		580	0.7		4		
			剥片	5	J23		608	6.7		4		
			剥片	5	J23		688	7.2		4		
			剥片	5	J23		706	0.9		4		
			剥片	5	J23		741	1.6		4		
			剥片	5	K22		272	28.6		4		
			剥片	5	K23		865	1.7		4		
			剥片	5	L23		639	23.6		4		
			剥片	5	M23		368	17.5		4		
			剥片	5	K22		641	8.1		4		
			剥片	5	K23		41	10.6		4		
			剥片	5	K23		947	9.0		4		
			剥片	5	K23		419	3.7		4		
			剥片	5	K23		746	1.8		4		
			剥片	5	K23		880	3.0		4		
			剥片	5	L23		291	1.1		4		
			剥片		K22		2	3.6		4		
			剥片	5	K23		983	21.1		4		
			剥片	5	K23		1152	1.0		4		
			剥片	5	L23		191	8.1		4		
			剥片	5	L23		591	10.3		4		
			剥片	5	M23		497	142.5		4		
			剥片	5	M23		550	437.5		4		
-29	314	38	石核	5	M23		719	453.3		4		
			剥片		J23		11	7.1		4		
			剥片		J23		12	1.0		4		
			剥片		J24		2	0.8		4		
			剥片		K23		9	1.0		4		
			剥片		L22		2	1.0		4		
-47	320	54	接合資料	5				3785.3	193	1・5	62	69
			剥片	5	J21		53	94.3		1		
			剥片	5	J22		49	152.2		1		
			剥片	5	K21		252	33.8		1		
			剥片	5	L21		19	3.5		1		
			剥片		L22		12	15.9		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	J21		148	10.3		1		
			剥片	5	J21		153	19.2		1		
			剥片	5	J21		289	21.5		1		
			剥片	5	J21		340	33.5		1		
			剥片	5	J21		357	16.4		1		
			剥片	5	J21		388	1.9		1		
			剥片	5	K22		440	48.5		1		
			剥片	5	J21		394	1.3		1		
			剥片	5	J21		4	9.0		1		
			剥片	5	J21		455	6.3		1		
			剥片	5	M22		231	7.2		1		
			剥片	5	J23		139	16.1		5		
			剥片	5	K23		1090	3.8		1		
			剥片	5	J23		18	7.0		1		
			剥片	5	K21		11	42.8		1		
			剥片	5	K21		34	5.8		1		
			剥片	5	K21		36	3.6		1		
			剥片	5	K21		124	9.9		1		
			剥片	5	K21		44	42.6		1		
			剥片	5	L22		42	9.2		1		
			剥片	5	K21		64	23.6		1		
			剥片	5	K21		148	6.0		1		
			剥片	5	J22		6	66.1		1		
			剥片	5	K21		97	78.9		1		
			剥片	5	K21		106	71.3		1		
			剥片	5	L22		696	10.7		1		
			剥片	5	K21		128	27.0		1		
			剥片	5	K21		158	41.9		1		
			剥片	5	K21		203	3.0		1		
			剥片	5	L22		964	2.3		1		
			剥片	5	M24		498	8.1		1		
			剥片	5	K22		18	10.0		1		
			剥片	5	K21		173	14.4		1		
			剥片	5	K21		243	3.7		1		
			剥片	5	K21		297	2.8		1		
			剥片	5	L22		50	30.1		1		
			剥片	5	M22		117	39.7		1		
			剥片	5	M22		293	3.4		1		
			剥片	5	K21		315	15.9		1		
			剥片	5	K21		319	21.9		1		
			剥片	5	K21		320	50.2		1		
			剥片	5	L22		26	11.3		1		
			剥片	5	K22		150	36.0		1		
			剥片	5	L22		94	72.0		1		
			剥片	5	L22		167	3.2		1		
			剥片	5	K22		152	17.8		1		
			剥片	5	K22		184	1.7		1		
			剥片	5	K22		346	1.0		1		
			剥片	5	K22		369	469.8		1		
			剥片	5	L22		97	26.4		1		
			剥片	5	L22		627	37.2		1		
			剥片	5	K22		674	90.7		1		
			剥片	5	K22		867	3.0		1		
			剥片	5	K23		110	61.6		1		
			剥片	5	K23		114	1.5		1		
			剥片	5	M24		357	3.3		1		
			剥片	5	K23		336	6.1		1		
			剥片	5	K23		721	24.6		1		
			剥片	5	M23		709	7.6		1		
			剥片	5	K24		261	3.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	M23		226	2.7		1		
			剥片	5	L21		35	8.3		1		
			剥片	5	L21		43	36.0		1		
			剥片	5	L21		68	45.4		1		
			剥片	5	L22		11	95.2		1		
			剥片	5	L22		33	8.0		1		
			剥片	5	L22		34	34.7		1		
			剥片	5	L22		37	46.8		1		
			剥片	5	L22		283	52.1		1		
			剥片	5	L22		38	2.9		1		
			剥片	5	L22		550	173.6		1		
			剥片	5	M23		404	3.2		1		
			剥片	5	L22		41	4.7		1		
			剥片	5	L22		141	3.0		1		
			剥片	5	L22		184	7.3		1		
			剥片	5	L22		224	8.3		1		
			剥片	5	L22		261	6.3		1		
			剥片	5	L22		645	2.7		1		
			剥片	5	L22		717	16.2		1		
			剥片	5	L22		842	22.8		1		
			剥片	5	L22		1192	9.7		1		
	22	309	14	尖頭器	5	L23	99	171.0		1		
			剥片	5	L23		159	8.2		1		
			剥片	5	L23		163	4.0		1		
			剥片	5	L23		387	3.6		1		
			剥片	5	L24		630	6.3		1		
			剥片	5	M23		279	4.0		1		
			剥片	5	M23		282	6.1		1		
			剥片	5	M23		357	5.3		1		
			剥片	5	M24		451	4.7		1		
			剥片	5	L23		309	8.3		1		
			剥片	5	L23		524	21.9		1		
			剥片	5	M23		63	1.9		1		
			剥片	5	L23		562	23.0		1		
			剥片	5	M23		374	8.3		1		
			剥片	5	L23		564	8.1		1		
			剥片	5	M24		355	32.8		1		
			剥片	5	L24		17	11.5		1		
			剥片	5	L24		49	2.4		1		
			剥片	5	M23		491	9.3		1		
			剥片	5	L24		104	11.3		1		
			剥片	5	M23		381	2.5		1		
			剥片	5	L24		112	30.3		1		
			剥片	5	M23		510	1.5		1		
			剥片	5	L24		218	12.6		1		
			剥片	5	L24		246	3.7		1		
			剥片	5	L24		289	6.7		1		
			剥片	5	L24		663	7.2		1		
			剥片	5	M22		116	23.3		1		
			剥片	5	M22		159	76.3		1		
			剥片	5	M22		227	7.4		1		
			剥片	5	M22		369	103.1		1		
			剥片	5	M23		2	12.6		1		
			剥片	5	M24		3	3.9		1		
			剥片	5	M24		4	2.1		1		
			剥片	5	M23		49	8.7		1		
			剥片	5	M23		50	1.9		1		
			剥片	5	M23		339	4.7		1		
			剥片	5	M24		305	3.1		1		
			剥片	5	M23		58	3.6		1		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	M23		160	1.0		1		
				5	M23		161	6.9		1		
			剥片	5	M23		170	2.3		1		
			剥片	5	M23		235	1.6		1		
				5	M23		531	2.6		1		
					M23		13	9.7		1		
			剥片	5	M23		238	1.9		1		
					M23		32	1.6		1		
			剥片	5	M23		241	7.7		1		
			剥片	5	M23		264	7.7		1		
			剥片	5	M23		277	2.3		1		
			剥片	5	M23		280	10.2		1		
			剥片	5	M23		289	4.6		1		
			剥片	5	M23		329	4.8		1		
			剥片	5	M23		331	6.5		1		
				5	M24		50	9.5		1		
			剥片	5	M23		341	11.8		1		
			剥片	5	M23		342	4.9		1		
			剥片	5	M23		354	13.5		1		
			剥片	5	M23		355	9.1		1		
			剥片	5	M23		375	1.9		1		
				5	M24		291	3.5		1		
			剥片	5	M23		379	2.7		1		
			剥片	5	M23		386	2.4		1		
			剥片	5	M23		397	4.6		1		
			剥片	5	M23		400	3.6		1		
			剥片	5	M23		402	43.0		1		
			剥片	5	M23		408	6.5		1		
				5	M23		630	11.7		1		
			剥片	5	M23		466	1.5		1		
				5	M23		634	4.8		1		
			剥片	5	M23		490	3.3		1		
			剥片	5	M23		493	2.1		1		
				5	M23		674	6.1		1		
			剥片	5	M23		495	5.0		1		
				5	M23		502	1.8		1		
				5	M23		503	2.1		1		
					M23		15	2.4		1		
			剥片	5	M23		506	3.5		1		
			剥片	5	M23		518	7.4		1		
			剥片	5	M23		521	5.3		1		
				5	M24		500	2.9		1		
			剥片	5	M23		539	7.3		1		
			剥片	5	M23		626	8.1		1		
			剥片	5	M23		627	6.9		1		
			剥片	5	M23		632	3.1		1		
			剥片	5	M23		636	2.2		1		
				5	M24		352	2.3		1		
			剥片	5	M23		676	5.2		1		
			剥片	5	M23		735	51.2		1		
			剥片	5	M23		739	8.7		1		
			剥片	5	M23		741	11.3		1		
			剥片	5	M23		743	10.1		1		
			剥片	5	M23		751	20.6		1		
				5	M24		401	8.9		1		
			剥片	5	M23		762	17.5		1		
			剥片	5	M24		149	4.4		1		
			剥片	5	M24		351	5.4		1		
			剥片	5	M24		370	3.2		1		
			剥片	5	M24		453	3.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	M24		485	16.1		1		
			剥片	5	N24		50	12.7		1		
					N24		1	1.2		1		
			剥片		L23		16	9.0		1		
			剥片		L23		17	2.8		1		
			剥片		L24		9	31.7		1		
			剥片		M22		4	0.9		1		
			剥片		M23		26	0.8		1		
-53	323	62	接合資料	5				878.2	36	1-5	47	91
			剥片	5	J22		685	9.7		1		
			剥片	5	J23		527	96.6		1		
				5	L24		223	22.9		1		
			剥片	5	J23		645	57.7		1		
				5	K23		888	4.6		1		
				5	K23		1040	28.6		1		
			剥片	5	L23		95	8.0		1		
			剥片	5	L23		156	40.5		1		
			剥片	5	L23		528	7.4		1		
				5	L23		533	12.5		1		
				5	L24		18	2.7		1		
				5	L24		19	9.4		1		
			剥片	5	L24		23	9.9		1		
			剥片	5	L24		31	11.8		1		
				5	L24		450	66.5		1		
				5	L24		487	6.5		1		
			剥片	5	L24		43	9.5		1		
			剥片	5	L24		57	14.7		1		
			剥片	5	L24		115	5.1		1		
			剥片	5	L24		127	92.6		1		
				5	L24		435	5.2		1		
			剥片	5	L24		253	48.6		1		
			剥片	5	L24		344	7.3		1		
				5	L24		483	11.2		1		
			剥片	5	L24		558	22.1		1		
			剥片	5	L24		603	4.6		1		
				5	L24		651	94.8		1		
			剥片	5	L24		628	6.5		1		
			剥片	5	L24		673	47.0		1		
			剥片	5	M24		140	19.4		1		
					L23		18	35.1		1		
			剥片	5	M24		233	7.5		5		
			剥片	5	M24		386	15.3		1		
				5	M24		523	9.5		1		
			剥片	5	M24		409	14.1		1		
			剥片		L24		10	12.8		1		
-54	324	63	接合資料	5				4548.8	25	1	53	80
			剥片	5	J23		401	4.6		1		
			剥片	5	J23		579	36.5		1		
			剥片	5	J23		593	27.5		1		
				5	K23		32	2.9		1		
				5	K23		756	46.2		1		
			剥片	5	J23		702	92.8		1		
				5	K23		76	5.0		1		
				5	K23		147	136.5		1		
				5	K23		188	7.3		1		
				5	K23		340	22.8		1		
				5	K23		902	6.6		1		
			剥片	5	K23		30	454.1		1		
				5	K23		345	11.8		1		
				5	L24		241	4.1		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	L24		573	26.8		1		
				5	L24		574	10.3		1		
					J23		3	37.0		1		
			剥片	5	K23		196	40.5		1		
				5	M24		377	374.7		1		
			剥片	5	K23		385	95.4		1		
			剥片	5	L23		213	12.6		1		
				5	L24		109	242.0		1		
			剥片	5	L24		154	44.7		1		
-30	314	40	石核	5	L24		571	2736.1		1		
			剥片	5	L24		622	70.0		1		
-55	323	64	接合資料	5				481.0	4	1	46	90
			剥片	5	K22		757	7.4		1		
				5	L22		1242	45.3		1		
			剥片	5	L22		1391	1.5		1		
-21	309	8	尖頭器		B調		3	426.8		1		
-56	325	65	接合資料	5				6330.7	288	1	29	62
			剥片	5	J21		3	4.5		1		
				5	L22		966	5.5		1		
			剥片	5	J21		4	8.8		1		
			剥片	5	J21		6	10.6		1		
				5	J21		254	9.2		1		
			削器	5	J21		144	105.7		1		
				5	K21		271	7.8		1		
			剥片	5	J21		152	55.5		1		
				5	L22		1203	5.7		1		
			剥片	5	J21		200	30.5		1		
				5	M22		410	14.4		1		
			剥片	5	J21		241	2.2		1		
				5	L22		304	7.5		1		
				5	M22		105	3.0		1		
				5	M22		375	1.3		1		
			剥片	5	J21		256	4.6		1		
				5	K21		131	2.5		1		
				5	L22		29	4.6		1		
				5	L22		810	2.5		1		
				5	L22		1418	3.3		1		
			剥片	5	J21		292	2.9		1		
			剥片	5	J21		296	16.4		1		
				5	L22		40	14.7		1		
				5	M22		98	41.0		1		
			剥片	5	J21		323	26.8		1		
			剥片	5	J21		410	22.3		1		
				5	L22		164	4.5		1		
				5	L22		625	13.5		1		
				5	L22		827	61.2		1		
				5	M22		230	5.7		1		
				5	M22		382	62.1		1		
				5	M22		429	31.1		1		
			剥片	5	J21		585	17.1		1		
				5	M22		406	19.7		1		
			剥片	5	J21		597	15.6		1		
				5	K21		24	5.9		1		
				5	K22		770	14.6		1		
				5	L22		644	2.4		1		
			剥片	5	J21		622	24.0		1		
				5	M22		288	2.2		1		
			剥片	5	J21		649	11.9		1		
				5	K21		62	2.5		1		
				5	K21		326	7.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	M22		108	4.1		1		
			剥片	5	J22		1	1.1		1		
			剥片	5	J22		100	51.0		1		
				5	J22		150	5.5		1		
				5	J22		562	5.1		1		
			剥片	5	J22		219	52.4		1		
			剥片	5	J22		279	24.5		1		
				5	J22		625	5.9		1		
				5	J22		686	2.5		1		
				5	J23		126	2.7		1		
				5	J23		222	41.7		1		
			石刃	5	J22		374	3.5		1		
				5	J22		814	2.1		1		
				5	K23		517	3.9		1		
				5	M22		433	4.0		1		
			剥片	5	J22		378	18.5		1		
				5	K21		29	1.9		1		
				5	K22		419	18.0		1		
				5	L22		1263	23.8		1		
				5	L22		1269	7.7		1		
				5	M22		422	5.1		1		
			剥片	5	J22		439	1.3		1		
			石刃	5	J22		502	16.6		1		
				5	J22		549	73.3		1		
				5	L22		1069	7.1		1		
				5	M22		229	8.1		1		
					K22		6	8.1		1		
			石刃	5	J22		507	5.0		1		
			二次加工ある剥片	5	J22		903	13.8		1		
				5	J23		118	8.3		1		
				5	J23		227	1.4		1		
				5	K21		272	1.7		1		
-23	310	21	石刃	5	J22		1047	67.6		1		
			剥片	5	J22		1054	25.7		1		
				5	L22		225	8.5		1		
			剥片	5	J23		35	3.8		1		
			縦長剥片	5	J23		83	18.9		1		
				5	K23		223	13.0		1		
			剥片	5	J23		131	11.4		1		
				5	K23		709	18.6		1		
			石刃	5	J23		158	17.1		1		
			石刃	5	J23		169	1.2		1		
				5	K23		610	2.1		1		
				5	K23		892	0.9		1		
			縦長剥片	5	J23		190	1.7		1		
			縦長剥片	5	J23		191	14.3		1		
				5	K23		146	23.4		1		
				5	K23		394	2.3		1		
			剥片	5	J23		224	13.1		1		
				5	J24		15	11.8		1		
			剥片	5	J23		295	4.6		1		
			剥片	5	J23		386	7.4		1		
			剥片	5	J23		392	1.5		1		
			石刃	5	J23		444	3.3		1		
					J23		15	7.3		1		
			剥片	5	J23		511	9.9		1		
			縦長剥片	5	J23		520	10.3		1		
			剥片	5	J23		522	5.1		1		
			剥片	5	J23		651	36.3		1		
				5	L23		642	9.2		1		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			縦長剥片	5	J23		662	2.5		1		
				5	J23		708	10.6		1		
			剥片	5	K21		13	2.9		1		
			剥片	5	K21		30	28.5		1		
				5	L22		241	11.2		1		
				5	L22		244	4.2		1		
				5	M22		264	17.7		1		
			剥片	5	K21		43	4.7		1		
			剥片	5	K21		74	109.2		1		
				5	K21		137	17.8		1		
			剥片	5	K21		78	14.7		1		
				5	L22		1042	14.0		1		
			石刃	5	K21		91	3.3		1		
			剥片	5	K21		111	9.9		1		
				5	L22		442	9.9		1		
				5	L22		546	4.0		1		
			剥片	5	K21		127	7.1		1		
				5	L22		388	37.4		1		
			剥片	5	K21		132	16.9		1		
			剥片	5	K21		135	64.2		1		
			剥片	5	K21		163	5.0		1		
			縦長剥片	5	K21		167	25.9		1		
			剥片	5	K21		180	5.9		1		
			剥片	5	K21		197	32.7		1		
				5	K21		298	117.3		1		
			剥片	5	K21		206	13.3		1		
			剥片	5	K21		209	10.5		1		
			剥片	5	K21		213	116.6		1		
				5	L22		464	1.7		1		
			剥片	5	K21		235	5.9		1		
				5	K21		305	5.8		1		
				5	L22		52	1.6		1		
			剥片	5	K21		268	2.9		1		
			剥片	5	K21		300	25.2		1		
			剥片	5	K22		4	36.0		1		
			剥片	5	K22		5	38.1		1		
				5	K22		24	21.4		1		
				5	L22		1308	28.3		1		
			剥片	5	K22		8	4.1		1		
			剥片	5	K22		27	7.8		1		
			剥片	5	K22		31	2.7		1		
			剥片	5	K22		43	8.2		1		
			剥片	5	K22		58	1.9		1		
			剥片	5	K22		62	45.9		1		
				5	L22		9	11.8		1		
				5	L22		111	13.1		1		
			石刃	5	K22		64	12.6		1		
			剥片	5	K22		86	10.6		1		
			二次加工ある剥片	5	K22		139	80.3		1		
			剥片	5	K22		185	45.0		1		
				5	L22		545	13.0		1		
			剥片	5	K22		222	50.9		1		
				5	L22		268	3.0		1		
-24	310	24	石刃	5	K22		231	99.3		1		
				5	L22		1430	35.6		1		
					J22		2	30.9		1		
			剥片	5	K22		331	5.2		1		
				5	L22		970	14.7		1		
			剥片	5	K22		352	6.3		1		
				5	M22		420	6.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	K22		403	8.1		1		
			剥片	5	K22		430	18.2		1		
				5	L22		961	22.2		1		
			剥片	5	K22		441	22.0		1		
				5	K22		755	7.9		1		
				5	L22		22	4.0		1		
				5	L22		93	9.1		1		
				5	L22		113	3.6		1		
				5	L22		364	3.6		1		
			剥片	5	K22		480	16.3		1		
			剥片	5	K22		606	2.4		1		
				5	L22		228	6.3		1		
			剥片	5	K22		612	2.6		1		
				5	M22		112	6.1		1		
			剥片	5	K22		675	6.3		1		
			剥片	5	K22		736	61.8		1		
				5	L22		680	78.1		1		
				5	L22		1010	15.0		1		
				5	M22		46	5.4		1		
			剥片	5	K22		760	2.3		1		
					L22		16	3.5		1		
			剥片	5	K22		781	64.6		1		
					J22		4	25.2		1		
			剥片	5	K22		863	26.9		1		
				5	L22		1081	13.0		1		
			剥片	5	K23		36	3.4		1		
			剥片	5	K23		58	10.0		1		
-27	312	35	石刃核	5	K23		74	49.0		1		
					J23		1	53.9		1		
-23	310	17	石刃	5	K23		609	11.4		1		
				5	M22		163	3.5		1		
			縦長剥片	5	K23		685	4.9		1		
				5	K23		1140	10.7		1		
			剥片	5	K23		945	4.9		1		
			剥片	5	K23		998	8.8		1		
			石刃	5	K23		970	4.1		1		
					J23		13	12.9		1		
					J23		14	7.5		1		
			剥片	5	K23		1088	2.7		1		
			剥片	5	L21		13	3.0		1		
			剥片	5	L21		44	11.1		1		
				5	M22		52	1.1		1		
				5	M22		389	66.9		1		
			剥片	5	L21		59	16.4		1		
			剥片	5	L22		6	34.1		1		
			剥片	5	L22		8	3.9		1		
			石刃	5	L22		47	10.0		1		
				5	M22		53	57.5		1		
			剥片	5	L22		146	1.4		1		
				5	L22		1053	0.6		1		
			剥片	5	L22		330	4.8		1		
			剥片	5	L22		356	56.2		1		
				5	M22		81	6.5		1		
			剥片	5	L22		392	9.2		1		
			剥片	5	L22		452	3.2		1		
			剥片	5	L22		456	6.9		1		
			削器	5	L22		459	4.3		1		
				5	L22		823	5.1		1		
			剥片	5	L22		498	13.4		1		
			剥片	5	L22		708	1.6		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	L22		790	1.6		1		
			剥片	5	M22		83	1.3		1		
			縦長剥片	5	L22		793	9.7		1		
			剥片	5	L22		1046	2.0		1		
			剥片	5	M22		35	39.6		1		
			剥片	5	M22		169	6.5		1		
			剥片	5	M22		220	2.8		1		
			剥片	5	M22		304	4.7		1		
			剥片	5	M22		311	22.5		1		
			剥片	5	L22		836	7.3		1		
			剥片	5	L22		871	8.9		1		
			剥片	5	L22		874	7.1		1		
			剥片	5	L22		876	0.9		1		
			剥片	5	L22		1374	6.2		1		
			剥片	5	L22		988	6.2		1		
			剥片	5	L22		989	2.6		1		
			剥片	5	M22		144	2.0		1		
			剥片	5	M22		212	2.2		1		
			剥片	5	L22		1047	3.8		1		
			剥片	5	L22		1217	1.9		1		
			剥片	5	M22		107	5.4		1		
			剥片	5	L22		1052	3.4		1		
			剥片	5	L22		1071	1.9		1		
			剥片	5	L22		1085	1.1		1		
			剥片	5	M22		32	6.4		1		
			剥片		L21		2	27.7		1		
			二次加工ある剥片	5	L22		1118	6.9		1		
			剥片	5	L22		1125	4.0		1		
			剥片	5	L22		1131	14.1		1		
			剥片	5	L22		1135	1.0		1		
			剥片	5	L22		1137	35.3		1		
			剥片	5	M22		120	111.3		1		
			剥片	5	L22		1138	34.5		1		
			剥片	5	M22		150	19.0		1		
			剥片	5	M22		207	28.4		1		
			剥片	5	L22		1207	6.9		1		
			剥片	5	L22		1268	17.0		1		
			剥片	5	L22		1315	3.6		1		
			剥片	5	L22		1431	18.6		1		
			剥片	5	M22		19	9.3		1		
			剥片		L22		4	2.9		1		
			石刃	5	L23		470	19.3		1		
			剥片	5	L23		477	88.5		1		
			剥片	5	M22		5	4.4		1		
			剥片	5	M22		6	4.5		1		
			剥片	5	M22		7	0.6		1		
			剥片	5	M22		14	2.4		1		
			剥片	5	M22		86	17.1		1		
			剥片	5	M22		27	11.3		1		
			剥片	5	M22		30	11.2		1		
			剥片	5	M22		84	65.1		1		
			剥片	5	M22		95	3.4		1		
			剥片	5	M22		101	12.4		1		
			剥片	5	M22		123	3.4		1		
			剥片	5	M22		138	2.1		1		
			剥片	5	M22		151	24.1		1		
			剥片	5	M22		153	2.8		1		
			剥片	5	M22		216	3.7		1		
			剥片	5	M22		219	2.3		1		
			剥片	5	M22		276	3.6		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	M22		365	5.1		1		
			剥片	5	M22		376	2.6		1		
			剥片	5	M22		393	6.5		1		
			剥片	5	M22		411	15.3		1		
	-26	312	32					1	1692.1			
	-62	330	70						4190.4	61	1	28 74
			剥片	5	J21		10	60.2		1		
			剥片	5	J21		456	27.0		1		
			剥片	5	J21		476	64.0		1		
			剥片	5	K21		50	6.4		1		
			縦長剥片	5	J21		46	91.0		1		
			剥片	5	J21		584	4.2		1		
			剥片	5	K21		85	7.5		1		
			剥片	5	J21		50	31.3		1		
			剥片	5	K21		31	2.9		1		
			剥片	5	K21		46	3.4		1		
	-23	310	23									
			石刃	5	J21		51	44.0		1		
			石刃	5	J21		191	5.0		1		
			石刃	5	J21		341	24.1		1		
			石刃	5	L21		6	3.2		1		
			石刃	5	L21		14	7.1		1		
	-25	311	30									
			石刃	5	J21		55	119.4		1		
			石刃	5	L22		1149	17.1		1		
	-23	310	22									
			石刃	5	J21		137	19.3		1		
			石刃	5	L22		963	38.6		1		
			石刃	5	L22		1204	49.7		1		
			剥片	5	J21		158	4.9		1		
			剥片	5	J21		190	9.3		1		
			剥片	5	J21		342	5.2		1		
			剥片	5	J22		66	30.3		1		
			剥片	5	K21		33	6.0		1		
			剥片	5	K22		37	44.7		1		
			剥片	5	L22		833	22.5		1		
			剥片	5	J21		390	10.5		1		
	-24	311	25									
			石刃	5	K22		174	55.1		1		
			石刃	5	L22		134	8.7		1		
			石刃		J21		2	94.2		1		
			石刃		L22		1	4.0		1		
			剥片	5	J22		301	11.3		1		
			剥片	5	K21		2	14.8		1		
			剥片	5	K21		119	4.2		1		
			剥片	5	K21		5	52.7		1		
			剥片	5	K21		155	21.7		1		
			剥片	5	K21		32	15.1		1		
			剥片	5	K21		245	16.2		1		
			剥片	5	L21		54	12.3		1		
			剥片	5	K21		51	22.6		1		
			剥片	5	K21		172	45.8		1		
			剥片	5	K21		53	36.8		1		
			剥片	5	K21		120	20.6		1		
			剥片	5	L21		55	9.1		1		
			剥片	5	L22		1276	6.1		1		
			剥片	5	K21		56	12.3		1		
			剥片	5	K21		67	109.6		1		
			剥片	5	K21		92	7.7		1		
			剥片	5	K21		86	106.4		1		
	-28	313	36									
			石刃核	5	K22		1	2382.8		1		
			剥片	5	K22		257	4.1		1		
			剥片	5	K21		321	44.1		1		
			剥片	5	K22		232	5.1		1		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	L22		36	4.9		1		
					J21		1	219.5		1		
			剥片	5	K22		483	4.1		1		
				5	L22		408	6.3		1		
			剥片	5	L22		786	12.4		1		
				5	L22		913	38.5		1		
			剥片	5	L22		863	22.5		1		
-65	332	72	接合資料	5				3273.4	58	1	56	77
			剥片	5	J23		80	6.5		1		
			剥片	5	J23		176	16.8		1		
				5	L23		69	6.6		1		
			剥片	5	J23		399	5.5		1		
				5	K23		226	43.4		1		
				5	K24		41	11.1		1		
				5	L24		34	44.2		1		
				5	L24		546	38.0		1		
-25	311	28	石刃	5	J24		26	15.6		1		
				5	K24		289	35.3		1		
				5	L24		141	60.2		1		
				5	L24		668	11.3		1		
					L24		11	11.7		1		
			剥片	5	K23		28	28.0		1		
				5	K23		1084	73.7		1		
				5	L23		141	14.4		1		
				5	L23		205	18.2		1		
				5	M23		483	11.3		1		
				5	M23		746	4.5		1		
			剥片	5	K23		111	7.9		1		
				5	M24		376	20.1		1		
-25	311	29	石刃	5	K23		262	23.2		1		
				5	K23		850	11.8		1		
				5	L24		306	12.7		1		
				5	L24		375	2.0		1		
			剥片	5	K23		396	182.7		1		
			剥片	5	K23		559	14.3		1		
			剥片	5	K23		720	30.1		1		
-25	311	31	石刃	5	K24		28	195.2		1		
					L24		6	30.2		1		
			剥片	5	K24		447	33.9		1		
			剥片	5	L23		78	12.4		1		
				5	L23		209	7.5		1		
					L24		2	90.1		1		
			剥片	5	L23		126	41.8		1		
			剥片	5	L23		386	8.6		1		
				5	L24		55	40.6		1		
-27	312	34	石刃核	5	L23		482	1296.7		1		
			剥片	5	L23		532	25.8		1		
			剥片	5	L24		53	7.4		1		
				5	L24		242	7.0		1		
				5	L24		438	4.2		1		
				5	L24		681	8.7		1		
			剥片	5	L24		67	4.1		1		
			剥片	5	L24		120	11.9		1		
			剥片	5	L24		132	2.2		1		
			剥片	5	L24		157	42.1		1		
			剥片	5	L24		159	20.0		1		
			剥片	5	L24		167	35.3		1		
			剥片	5	L24		239	34.3		1		
			剥片	5	L24		501	3.2		1		
			剥片	5	L24		562	99.6		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片		K23		1	136.4		1		
			剥片		K23		2	133.0		1		
			剥片		K23		5	57.8		1		
					K23		6	21.0		1		
			剥片		L24		3	31.0		1		
			剥片		L24		8	70.3		1		
-67	333	73	接合資料	5				1654.0	51	1	57	73
			石刃	5	J23		4	12.3		1		
				5	K23		1161	19.1		1		
					J23		35	18.6		1		
			石刃	5	J23		14	39.7		1		
				5	K24		36	42.2		1		
			剥片	5	J23		166	6.8		1		
			石刃	5	J23		581	27.1		1		
				5	K23		1169	14.4		1		
			剥片	5	K23		15	3.9		1		
			剥片	5	K23		17	3.1		1		
				5	K23		1024	94.6		1		
			剥片	5	K23		212	6.5		1		
			剥片	5	K23		350	79.8		1		
				5	K23		541	12.2		1		
			剥片	5	K23		368	27.9		1		
			剥片	5	K23		379	56.4		1		
				5	K23		1167	56.1		1		
				5	K24		196	8.8		1		
			剥片	5	K23		383	32.2		1		
			縦長剥片	5	K23		572	14.9		1		
				5	K23		606	8.6		1		
				5	K24		93	35.3		1		
				5	M24		483	50.8		1		
			剥片	5	K23		903	21.2		1		
			剥片	5	K23		916	17.8		1		
			剥片	5	K23		1134	21.0		1		
				5	L23		652	26.5		1		
			剥片	5	K24		17	6.4		1		
			剥片	5	K24		45	33.4		1		
			剥片	5	K24		101	47.1		1		
				5	K24		269	7.8		1		
			剥片	5	K24		108	136.2		1		
			剥片	5	K24		109	54.7		1		
			剥片	5	K24		118	6.4		1		
			剥片	5	K24		210	5.7		1		
				5	L24		201	77.1		1		
			剥片	5	K24		212	35.9		1		
			剥片	5	K24		213	105.0		1		
			剥片	5	K24		243	15.4		1		
				5	K24		283	16.4		1		
				5	L24		441	27.4		1		
			剥片	5	K24		409	12.8		1		
			剥片	5	K24		450	7.8		1		
			石刃	5	K24		558	7.0		1		
			剥片	5	L24		5	6.1		1		
			剥片	5	L24		392	20.1		1		
			剥片	5	L24		539	95.4		1		
			剥片	5	M24		448	16.7		1		
			剥片	5	M24		484	135.5		1		
			剥片	5	M24		540	12.9		1		
			剥片		K23		15	7.0		1		
-68	334	74	接合資料	5				2443.7	83	1	60	72
			剥片	5	J22		517	3.5		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	J22		811	20.1		1		
				5	J23		201	13.8		1		
				5	K23		35	16.4		1		
-22	309	13	尖頭器	5	J23		2	41.7		1		
				5	J23		514	3.3		1		
				5	J24		11	13.4		1		
				5	J24		105	5.8		1		
				5	K23		148	38.0		1		
				5	K23		183	6.4		1		
				5	K23		505	11.1		1		
					K23		24	1.9		1		
			剥片	5	J23		20	2.5		1		
				5	J23		575	35.3		1		
				5	K23		372	16.6		1		
			剥片	5	J23		46	9.1		1		
			剥片	5	J23		56	8.1		1		
			剥片	5	J23		74	7.0		1		
				5	J23		439	1.9		1		
			剥片	5	J23		84	53.4		1		
				5	K22		847	39.5		1		
			剥片	5	J23		149	11.7		1		
			石刃	5	J23		252	1.8		1		
				5	J23		674	2.9		1		
			縦長剥片	5	J23		283	30.7		1		
				5	K23		600	10.0		1		
			剥片	5	J23		293	35.7		1		
			剥片	5	J23		403	5.9		1		
				5	K23		915	9.6		1		
				5	K23		1051	2.3		1		
			剥片	5	J23		436	6.0		1		
-23	310	20	石刃	5	K22		629	32.4		1		
				5	K23		299	2.3		1		
				5	K23		373	33.8		1		
			剥片	5	K23		13	7.8		1		
				5	K23		328	5.4		1		
				5	K23		859	5.2		1		
				5	K23		1010	1.3		1		
				5	K24		58	10.9		1		
				5	K24		102	1.3		1		
				5	M24		539	12.2		1		
				5	M24		543	3.6		1		
			剥片	5	K23		213	97.6		1		
			剥片	5	K23		215	5.2		1		
				5	K24		50	7.3		1		
			剥片	5	K23		332	4.3		1		
				5	L23		154	17.7		1		
			剥片	5	K23		444	626.0		1		
				5	K24		301	39.4		1		
-24	311	26	石刃	5	K23		804	12.9		1		
			剥片	5	K23		854	4.8		1		
				5	K23		952	3.5		1		
			剥片	5	K23		930	2.1		1		
				5	K24		282	4.1		1		
				5	L24		639	3.9		1		
			剥片	5	K24		38	3.9		1		
				5	K24		266	7.9		1		
-23	310	19	石刃	5	K24		80	24.3		1		
				5	L24		54	26.6		1		
			剥片	5	K24		189	7.9		1		
				5	K24		297	6.4		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	L24		643	12.2		1		
			剥片	5	K24		441	59.3		1		
				5	L24		581	2.1		1		
			剥片	5	L23		111	6.5		1		
			剥片	5	L23		130	6.3		1		
-23	310	18	石刃	5	L24		6	17.2		1		
				5	M24		267	7.7		1		
				5	M24		442	1.2		1		
-24	311	27	石刃	5	L24		15	41.7		1		
			剥片	5	L24		84	27.1		1		
			剥片	5	L24		133	51.1		1		
			剥片	5	L24		217	1.9		1		
				5	L24		227	43.4		1		
			剥片	5	L24		299	3.9		1		
-26	312	33	石刃核	5	M23		601	367.3		1		
			剥片	5	M24		97	45.2		1		
			剥片	5	M24		102	13.8		1		
			剥片	5	M24		237	21.9		1		
			剥片		J23		31	34.8		1		
			剥片		L23		5	29.4		1		
					L24		1	113.9		1		
			剥片		L24		5	48.4		1		
-70	336	77	接合資料	5				987.9	26	1	61	44
-20	308	1	尖頭器	5	J23		1	12.1		1		
				5	J23		270	16.5		1		
			剥片	5	J23		52	107.4		1		
			剥片	5	J23		77	54.0		1		
					J23		16	31.5		1		
					K23		25	29.9		1		
			剥片	5	J23		274	27.4		1		
				5	K23		179	9.5		1		
				5	L23		120	11.3		1		
			剥片	5	J23		300	22.0		1		
				5	J23		632	16.9		1		
				5	M23		695	3.7		1		
			石刃	5	K23		176	4.7		1		
			剥片	5	K23		863	27.6		1		
			剥片	5	K23		1039	11.5		1		
			剥片	5	K23		1049	3.2		1		
-29	313	39	石刃核	5	K24		129	479.5		1		
					K24		6	2.0		1		
			剥片	5	K24		292	10.2		1		
			剥片	5	L24		220	10.0		1		
			剥片	5	L24		226	40.7		1		
			剥片	5	L24		387	16.8		1		
				5	M24		308	8.4		1		
			剥片	5	M23		484	24.1		1		
			剥片	5	M24		482	2.2		1		
			縦長剥片		J22		5	14.8		1		
-72	337	79	接合資料	5				1043.2	99	1	34	118
			石刃	5	J22		547	8.0		1		
				5	K22		509	8.8		1		
				5	K22		523	12.2		1		
				5	K23		143	4.6		1		
				5	K23		164	2.7		1		
				5	K23		462	4.2		1		
				5	K23		619	18.6		1		
				5	L23		258	4.9		1		
					J23		32	4.4		1		
			石刃	5	J22		612	5.5		1		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	J23		60	4.7		1		
				5	J23		104	4.6		1		
			縦長剥片	5	J23		130	17.2		1		
				5	K23		23	1.7		1		
				5	K23		765	2.5		1		
				5	K23		773	14.3		1		
				5	K23		917	7.7		1		
			剥片	5	J24		18	1.9		1		
			剥片	5	J24		27	29.1		1		
				5	K24		339	3.6		1		
				5	L24		669	2.4		1		
			剥片	5	J24		41	17.1		1		
				5	J24		276	4.3		1		
			剥片	5	J24		62	8.1		1		
			剥片	5	J24		82	7.0		1		
			剥片	5	J24		110	0.3		1		
			剥片	5	J24		121	4.5		1		
					K24		8	9.4		1		
			剥片	5	J24		123	5.8		1		
				5	J24		240	7.4		1		
				5	K24		482	2.1		1		
			石刃	5	J24		146	7.7		1		
				5	J24		262	4.1		1		
			剥片	5	J24		147	21.9		1		
			剥片	5	J24		165	6.0		1		
			剥片	5	J24		168	2.8		1		
			剥片	5	J24		174	10.5		1		
			剥片	5	J24		178	19.2		1		
				5	J24		228	0.9		1		
				5	K24		428	10.5		1		
			剥片	5	J24		185	16.6		1		
			剥片	5	J24		200	2.1		1		
				5	J24		254	0.7		1		
			剥片	5	J24		285	12.9		1		
			石刃	5	K23		127	22.1		1		
				5	K23		227	4.7		1		
					K23		26	8.2		1		
			石刃	5	K23		228	14.2		1		
				5	L23		112	11.0		1		
				5	L24		124	5.2		1		
				5	L24		655	15.9		1		
				5	M24		330	2.9		1		
					K24		5	6.8		1		
			剥片	5	K23		435	17.5		1		
			剥片	5	K23		485	6.3		1		
			石刃	5	K23		530	51.0		1		
				5	L24		219	4.1		1		
				5	L24		374	27.2		1		
			石刃	5	K23		555	8.8		1		
				5	K23		1029	9.2		1		
				5	L23		224	5.7		1		
			剥片	5	K23		558	1.2		1		
			石刃	5	K23		871	1.8		1		
				5	K23		873	1.6		1		
			剥片	5	K24		62	33.9		1		
				5	K24		392	7.5		1		
			石刃	5	K24		94	7.1		1		
				5	L24		35	5.8		1		
				5	L24		243	39.0		1		
			剥片	5	K24		122	2.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	K24		156	3.3		1		
				5	K24		224	20.5		1		
				5	K24		309	22.1		1		
				5	L24		276	2.3		1		
				5	L24		326	6.5		1		
				5	L24		527	11.6		1		
			剥片	5	K24		137	2.9		1		
			剥片	5	K24		141	1.8		1		
				5	K24		143	2.3		1		
				5	K24		412	3.4		1		
			剥片	5	K24		159	12.2		1		
			剥片	5	K24		229	3.9		1		
				5	K24		520	2.0		1		
			剥片	5	K24		247	8.7		1		
			剥片	5	K24		331	14.3		1		
			剥片	5	K24		338	3.1		1		
			剥片	5	K24		356	14.5		1		
			剥片	5	K24		375	4.5		1		
			剥片	5	K24		524	5.2		1		
			剥片	5	K24		568	21.0		1		
			剥片	5	K24		575	1.7		1		
			石刃	5	L24		42	3.8		1		
				5	L24		107	5.1		1		
			削器	5	L24		436	12.9		1		
				5	L24		627	53.3		1		
			石刃	5	M23		517	3.7		1		
					J23		25	5.5		1		
			剥片	5	M24		79	15.8		1		
			石刃	5	J23		30	109.0		1		
-74	337	80	接合資料	5				106.3	10	1	45	89
-22	310	16	撞器	5	J21		643	58.8		1		
			石刃	5	K22		474	3.4		1		
			石刃	5	J22		884	2.4		1		
				5	J23		753	1.0		1		
				5	K23		499	1.7		1		
					K23		21	0.7		1		
			縦長剥片	5	J22		893	10.3		1		
				5	L23		196	1.8		1		
				5	L23		307	3.0		1		
				5	L23		452	23.2		1		
-74	333	81	接合資料	5				536.2	20	1	54	81
			剥片	5	J22		673	13.6		1		
				5	J22		727	8.4		1		
				5	J22		1005	2.3		1		
				5	J23		428	10.4		1		
				5	K22		87	5.1		1		
				5	K22		288	7.5		1		
				5	K22		304	1.9		1		
				5	K22		656	10.7		1		
				5	K22		727	15.9		1		
				5	K23		131	2.5		1		
				5	L23		503	16.1		1		
					J23		9	2.6		1		
			剥片	5	J22		699	10.2		1		
				5	J23		469	5.5		1		
				5	J23		681	1.6		1		
				5	K23		252	11.6		1		
				5	K23		697	5.3		1		
-29	313	37	石核	5	M23		125	385.4		1		
			剥片	5	M23		681	18.5		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片		M23		30	1.1		1		
.75	338	85	接合資料	5				1320.7	229	1・4・5	104	300
			剥片	5	J22		25	2.9		5		
			剥片	5	K24		121	26.4		5		
			剥片	5	K24		260	8.8		5		
			剥片	5	K24		544	9.0		5		
			剥片	5	J23		407	7.4		1		
			剥片	5	J24		29	1.8		5		
			剥片	5	K24		418	0.8		5		
			剥片	5	L24		411	3.0		5		
			剥片	5	L24		512	1.6		5		
			剥片	5	J23		495	3.3		5		
			剥片	5	L24		266	1.0		5		
			剥片	5	J23		627	12.8		5		
			剥片	5	J24		76	2.5		5		
			剥片	5	J24		277	1.7		5		
			剥片	5	J24		279	5.4		5		
			剥片	5	L24		460	0.8		5		
			剥片	5	L24		528	5.3		5		
			剥片	5	J24		2	5.3		5		
			剥片	5	J24		115	2.9		5		
			剥片	5	K24		341	1.5		5		
			剥片	5	J24		5	15.8		5		
			剥片	5	L24		261	0.9		5		
			縦長剥片	5	J24		14	3.6		1		
			縦長剥片	5	J24		138	15.8		1		
			縦長剥片	5	J24		232	8.5		1		
			剥片	5	J24		16	7.7		5		
			剥片	5	J24		257	16.0		5		
			剥片	5	M24		82	7.3		5		
			剥片	5	J24		17	14.0		5		
			剥片	5	J24		65	6.7		5		
			剥片	5	J24		92	10.4		5		
			剥片	5	J24		160	2.4		5		
			剥片	5	J24		288	3.5		5		
			剥片	5	K24		233	9.3		5		
			剥片	5	K24		427	1.1		5		
			剥片	5	K24		573	1.2		5		
			剥片	5	K24		4	1.7		5		
			剥片	5	J24		19	23.0		5		
			剥片	5	J24		187	8.4		5		
			剥片	5	K24		465	3.0		5		
			剥片	5	K24		541	2.3		5		
			剥片	5	K24		578	1.9		5		
			剥片	5	L24		509	4.0		5		
			剥片	5	J24		31	4.3		5		
			剥片	5	J24		51	5.0		5		
			剥片	5	J24		32	4.9		5		
			剥片	5	K24		522	1.2		5		
			剥片	5	K24		584	2.0		5		
			剥片	5	J24		36	6.8		4		
			剥片	5	J24		140	30.6		5		
			剥片	5	J24		49	9.3		5		
			剥片	5	J24		189	2.9		5		
			剥片	5	J24		271	1.5		5		
			剥片	5	J24		292	2.1		5		
			剥片	5	K24		158	5.7		5		
			剥片	5	L24		682	2.1		5		
			剥片	5	J24		52	4.0		5		
			剥片	5	K24		604	4.5		5		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	L24		410	8.5		5		
			剥片	5	J24		66	5.6		5		
			剥片	5	K24		231	1.8		1		
			剥片	5	J24		77	7.2		5		
			剥片	5	J24		84	8.8		5		
			剥片	5	J24		88	8.0		5		
			剥片	5	J24		103	7.3		5		
			剥片	5	J24		157	1.1		5		
			剥片	5	K24		317	9.0		5		
			剥片	5	K24		415	4.4		5		
			剥片	5	J24		94	1.3		5		
			剥片	5	J24		96	2.6		5		
			剥片	5	J24		184	4.3		5		
			剥片	5	K24		123	5.0		5		
			剥片	5	J24		100	6.1		5		
			剥片	5	J24		102	1.6		5		
			剥片	5	K24		135	4.6		5		
			剥片	5	J24		104	1.3		5		
			剥片	5	K24		249	15.4		5		
			剥片	5	J24		124	3.6		5		
			剥片	5	J24		126	4.8		5		
			剥片	5	J24		153	17.5		5		
			剥片	5	K24		299	13.0		5		
			剥片	5	J24		161	3.2		5		
			剥片	5	K24		576	4.2		5		
			剥片	5	J24		162	41.9		5		
			剥片	5	J24		164	1.1		5		
			剥片	5	K24		499	7.6		5		
			剥片	5	J24		170	10.4		5		
			剥片	5	K24		430	1.1		5		
			剥片	5	J24		172	0.4		5		
			剥片	5	K24		547	2.3		5		
			剥片	5	J24		177	4.6		5		
			剥片	5	K24		32	1.5		5		
			剥片	5	K24		548	3.0		5		
			剥片	5	J24		181	1.8		5		
			剥片	5	J24		193	2.0		5		
			剥片	5	K24		376	9.3		5		
			二次加工ある剥片	5	J24		223	9.1		5		
			剥片	5	J24		293	2.6		5		
			剥片	5	J24		224	2.4		5		
			剥片	5	J24		225	3.4		5		
			剥片	5	J24		226	11.5		1		
			剥片	5	K24		169	33.9		5		
			剥片	5	K25		1	35.4		5		
			剥片	5	J24		230	2.7		5		
			剥片	5	L24		405	6.7		5		
			剥片	5	J24		243	3.5		5		
			剥片	5	K24		505	1.7		5		
			剥片	5	K24		506	1.7		5		
			剥片	5	J24		252	1.4		5		
			剥片	5	J24		259	9.2		5		
			剥片	5	K24		481	1.0		5		
			剥片	5	J24		261	2.4		5		
			剥片	5	J24		267	7.4		5		
			剥片	5	J24		270	1.7		5		
			剥片	5	K23		781	4.4		5		
			剥片	5	K24		166	39.2		5		
			剥片	5	K24		599	15.8		5		
			剥片	5	K24		12	9.4		5		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	K24		385	1.7		5		
			剥片	5	K24		21	1.7		5		
			剥片	5	K24		55	6.5		5		
			剥片	5	K24		72	2.8		5		
			剥片	5	K24		73	16.1		5		
			剥片	5	K24		458	1.4		5		
			剥片	5	K24		78	2.4		5		
			剥片	5	K24		381	11.5		5		
			剥片	5	K24		79	2.1		5		
			剥片	5	K24		497	1.6		5		
			剥片	5	K24		82	6.4		5		
			剥片	5	K24		98	2.3		5		
			剥片	5	K24		525	4.0		5		
			剥片	5	M24		68	3.8		5		
			剥片	5	K24		107	0.6		5		
			剥片	5	K24		124	2.4		5		
			剥片	5	K24		314	1.5		5		
			剥片	5	L24		520	8.8		5		
			剥片	5	K24		132	31.7		5		
			剥片	5	K24		452	5.6		5		
			剥片	5	K24		138	1.1		5		
			剥片	5	L25		30	1.3		5		
			剥片	5	M24		92	6.2		5		
			剥片	5	M24		93	3.4		5		
			剥片	5	K24		140	3.0		5		
			剥片	5	K24		152	0.9		5		
			剥片	5	K24		252	1.5		5		
			剥片	5	K24		603	1.0		5		
			剥片	5	L24		204	6.3		5		
			剥片	5	L24		423	0.8		5		
			剥片	5	K24		154	0.8		5		
			剥片	5	K24		617	9.3		5		
			剥片	5	L24		461	0.6		5		
			剥片	5	K24		162	7.0		5		
			剥片	5	K24		167	24.6		5		
			剥片	5	L24		589	2.3		5		
			剥片	5	K24		232	15.8		5		
			剥片	5	L24		400	14.1		5		
			剥片	5	K24		248	8.8		5		
			剥片	5	K24		255	8.5	1			
			剥片	5	K24		256	1.6		5		
			剥片	5	K24		593	2.9		5		
			剥片	5	K24		265	7.7		5		
			剥片	5	K24		600	4.1		5		
			剥片	5	L24		174	2.4	1			
			剥片	5	L24		431	2.9		5		
			剥片	5	K24		304	0.9		5		
			剥片	5	L24		248	21.4		5		
			剥片	5	K24		311	1.4		5		
			剥片	5	K24		312	1.2		5		
			剥片	5	K24		318	2.5		5		
			剥片	5	K24		324	1.0		5		
			剥片	5	K24		321	1.6		5		
			剥片	5	K24		326	2.2		5		
			剥片	5	K24		329	3.7		5		
			剥片	5	K24		333	1.8		5		
			剥片	5	K24		334	6.1		5		
			剥片	5	K24		422	0.8		5		
			剥片	5	K24		529	1.5		5		
			剥片	5	K24		335	2.6		5		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	M24		225	2.1		5		
			剥片	5	K24		345	0.7		4		
			剥片	5	K24		354	20.1		5		
			剥片	5	M24		75	3.1		5		
			剥片	5	M24		7	2.8		5		
			剥片	5	K24		366	4.3		5		
			剥片	5	K24		528	1.7		5		
			剥片	5	K24		369	5.1		5		
			剥片	5	L24		414	7.1		5		
			剥片	5	K24		370	1.7		5		
			剥片	5	K24		391	2.5		5		
			剥片	5	K24		408	2.3		5		
			剥片	5	K24		417	1.7		5		
			剥片	5	K24		431	1.6		5		
			剥片	5	K24		432	5.9		5		
			剥片	5	K24		455	1.0		5		
			剥片	5	M24		2	1.6		5		
			剥片	5	K24		459	3.8		5		
			剥片	5	K24		470	2.0		5		
			剥片	5	K24		476	2.3		5		
			剥片	5	L24		467	0.5		5		
			剥片	5	L24		531	7.5		5		
			剥片	5	K24		490	8.3		5		
			剥片	5	L24		255	0.9		5		
			剥片	5	K24		498	2.4		5		
			剥片	5	K24		500	2.6		5		
			剥片	5	K24		503	3.1		5		
			剥片	5	K24		534	2.3		5		
			剥片	5	L24		515	2.0		5		
			剥片	5	K24		538	1.7		5		
			剥片	5	K24		588	0.7		5		
			剥片	5	K24		591	2.6		5		
			剥片	5	L24		263	4.2		5		
			剥片	5	L24		328	8.0		5		
			剥片	5	L24		333	3.7		5		
			剥片	5	L24		403	2.1		5		
			剥片	5	L24		412	1.6		5		
			剥片	5	L24		433	5.4		5		
			剥片	5	L24		463	7.8		5		
			剥片	5	L24		473	1.2		5		
			剥片	5	L24		506	2.2		5		
			剥片	5	L24		551	2.0		5		
			剥片	5	M24		56	4.8		5		
			剥片	5	M24		213	3.7		5		
			剥片	5	M24		60	4.0		5		
			剥片	5	M24		67	1.5		5		
			剥片	5	M24		73	3.4		5		
			剥片	5	M24		211	29.4		5		
			剥片	5	M24		214	14.8		5		
			剥片	5	M24		217	2.2		5		
			剥片	5	M24		219	4.9		5		
-75	340	87	接合資料	5				989.9	141	1:3:4:5	63	178
			剥片	5	J21		466	0.2		3		
			剥片	5	J21		652	0.5		4		
			剥片	5	J22		51	28.2		4		
			剥片	5	J22		168	8.3		4		
			剥片	5	J22		984	1.3		4		
			剥片	5	K22		36	4.3		4		
			剥片	5	K22		235	37.0		4		
			剥片	5	L22		424	1.4		4		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	L22		726	37.2		4		
				5	L22		1413	1.2		4		
					K22		1	4.8		4		
			剥片	5	J22		171	5.3		4		
			剥片	5	J22		280	2.3		4		
			剥片	5	J22		352	3.1		5		
				5	K22		177	1.4		4		
				5	K22		196	5.3		4		
				5	K22		210	46.0		4		
				5	K22		819	7.4		4		
					L22		15	1.0		4		
			剥片	5	J22		408	51.6		4		
				5	J22		1122	2.1		4		
			剥片	5	J22		1139	9.1		4		
			剥片	5	K21		105	11.1		4		
			剥片	5	K21		187	2.2		4		
			剥片	5	K21		190	1.2		5		
				5	L22		855	3.3		4		
			剥片	5	K21		194	45.9		4		
				5	L22		688	4.7		4		
			剥片	5	K21		254	8.9		4		
			剥片	5	K21		258	0.8		3		
			剥片	5	K22		25	23.8		4		
				5	M22		137	3.6		1		
			剥片	5	K22		26	5.2		4		
				5	L22		733	0.6		4		
			剥片	5	K22		38	1.4		4		
				5	K22		684	2.0		4		
			剥片	5	K22		39	3.5		4		
			剥片	5	K22		57	4.3		4		
-22	309	15	尖頭器	5	K22		110	168.9		4		
			剥片	5	K22		131	1.3		4		
			剥片	5	K22		144	0.5		4		
				5	K22		145	1.4		4		
				5	K22		359	3.1		4		
				5	L22		1438	1.1		4		
					M22		3	0.8		4		
			剥片	5	K22		149	3.0		4		
				5	L22		220	38.0		4		
				5	L22		979	3.0		4		
				5	L22		980	16.5		4		
				5	M22		260	3.2		4		
			剥片	5	K22		157	1.2		4		
			剥片	5	K22		175	3.1		4		
			剥片	5	K22		192	2.9		4		
			剥片	5	K22		264	5.6		4		
			剥片	5	K22		297	1.6		4		
				5	L22		841	1.4		4		
			剥片	5	K22		341	2.8		4		
			剥片	5	K22		358	6.5		4		
				5	L22		990	4.3		4		
			剥片	5	K22		373	2.5		4		
				5	L22		1227	1.4		4		
			剥片	5	K22		397	2.9		4		
			剥片	5	K22		399	3.4		4		
			剥片	5	K22		409	2.2		4		
			剥片	5	K22		420	1.4		4		
				5	L22		289	3.4		4		
			剥片	5	K22		542	5.1		4		
			剥片	5	K22		544	0.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	K22		570	4.8		4		
				5	M22		44	18.5		4		
			剥片	5	K22		681	9.9		4		
			剥片	5	K22		691	2.3		4		
			剥片	5	K22		788	1.5		4		
			剥片	5	K22		808	0.9		4		
			剥片	5	K22		869	1.0		4		
			剥片	5	L21		28	3.3		4		
			剥片	5	L22		44	4.1		4		
			剥片	5	L22		70	17.2		4		
			剥片	5	L22		170	3.8		4		
			剥片	5	L22		172	2.7		4		
			剥片	5	L22		229	8.2		4		
					L22		5	0.7		4		
			剥片	5	L22		342	0.7		3		
			剥片	5	L22		358	7.1		4		
			剥片	5	L22		453	0.8		4		
			剥片	5	L22		463	2.4		4		
				5	L22		922	3.0		4		
			剥片	5	L22		508	4.1		4		
			剥片	5	L22		552	1.0		3		
			剥片	5	L22		615	1.4		4		
				5	L22		1126	1.1		4		
			剥片	5	L22		624	1.3		4		
				5	L22		1282	3.2		4		
			剥片	5	L22		699	3.8		4		
			剥片	5	L22		700	1.5		3		
				5	L22		1208	3.2		4		
			剥片	5	L22		707	16.6		4		
				5	L22		1275	1.6		4		
			剥片	5	L22		730	6.4		4		
			剥片	5	L22		731	2.2		3		
			剥片	5	L22		824	0.8		4		
				5	M22		130	2.1		4		
			剥片	5	L22		829	2.4		4		
			剥片	5	L22		846	59.3		4		
				5	L22		1157	1.7		4		
			剥片	5	L22		856	2.7		4		
			剥片	5	L22		920	1.5		4		
			剥片	5	L22		972	3.8		4		
			剥片	5	L22		1006	1.6		4		
			剥片	5	L22		1054	4.2		4		
				5	L22		1277	2.3		4		
			剥片	5	L22		1061	10.2		5		
					K22		9	1.3		4		
			剥片	5	L22		1070	2.7		4		
				5	L22		1210	6.0		4		
			剥片	5	L22		1127	1.9		4		
			剥片	5	L22		1145	3.3		4		
			剥片	5	L22		1146	0.6		4		
				5	L22		1281	1.7		4		
			剥片	5	L22		1150	1.6		4		
			剥片	5	L22		1160	2.6		1		
			剥片	5	L22		1199	1.3		4		
			剥片	5	L22		1206	9.6		4		
			剥片	5	L22		1211	8.0		4		
			剥片	5	L22		1251	1.6		4		
			剥片	5	L22		1254	4.1		4		
			剥片	5	L22		1280	1.7		4		
			剥片	5	L22		1383	2.6		4		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	L22		1420	1.3		4		
			剥片	5	L22		1436	3.4		4		
			剥片	5	L22		1437	3.4		4		
			剥片	5	K22		16	0.8		4		
			剥片	5	L22		1441	0.8		4		
			剥片	5	M22		16	2.9		4		
			剥片	5	M22		127	1.2		4		
			剥片	5	M22		132	6.6		4		
			剥片	5	M22		135	3.9		4		
			剥片	5	M22		259	1.1		4		
			剥片	5	M22		263	4.8		4		
			剥片		L22		14	1.1		4		
			剥片		M22		6	0.2		4		
-76	341	89	接合資料	5				1589.6	177	1・4	86	249
			剥片	5	J21		8	28.1		4		
			剥片	5	N23		16	4.3		4		
			剥片	5	J22		102	29.4		4		
			剥片	5	L22		197	25.3		4		
			剥片	5	K22		68	20.8		4		
			剥片	5	K23		4	17.9		4		
			剥片	5	L24		102	2.0		4		
			剥片	5	M23		157	8.8		4		
			剥片	5	K23		51	7.1		4		
			剥片	5	K23		52	0.9		4		
			剥片	5	K23		78	5.1		4		
			剥片	5	L23		43	2.9		4		
			剥片	5	N23		52	4.1		4		
			剥片	5	N23		1	0.1		4		
			剥片	5	K23		83	2.0		4		
			剥片	5	K23		84	4.6		4		
			剥片	5	N23		11	3.0		4		
			剥片	5	K23		288	8.3		4		
			剥片	5	K23		547	2.8		4		
			剥片	5	L23		10	8.9		4		
			剥片	5	K24		7	8.9		4		
			剥片	5	L23		39	7.7		4		
			剥片	5	L23		413	8.7		4		
			二次加工ある剥片	5	L24		7	91.6		4		
			剥片	5	M23		257	32.3		4		
			剥片	5	K24		84	3.4		1		
			剥片	5	K23		3	18.0		4		
			剥片	5	K24		89	5.5		4		
			剥片	5	K24		96	1.3		4		
			剥片	5	L23		76	10.8		4		
			剥片	5	N23		23	1.4		4		
			剥片	5	K24		227	26.5		4		
			剥片	5	L23		3	3.7		4		
			石刃	5	L23		6	8.4		4		
			剥片	5	K23		30	18.1		4		
			剥片	5	L23		8	2.8		4		
			剥片	5	M24		2	2.6		4		
			剥片	5	L23		11	10.5		4		
			剥片	5	L23		12	12.1		4		
			剥片	5	L23		353	16.9		4		
			剥片	5	L24		176	12.4		4		
			剥片	5	M23		450	2.2		4		
			剥片	5	L23		22	6.1		4		
			剥片	5	L23		29	6.3		4		
			剥片	5	L23		30	12.3		4		
			剥片	5	L23		38	3.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	L23		46	4.4		4		
			剥片		L23		7	6.9		4		
			剥片	5	L23		54	25.5		4		
			剥片	5	L23		395	2.8		4		
			剥片	5	L23		56	7.4		4		
			剥片	5	L23		115	34.3		4		
			剥片	5	L23		61	4.8		4		
-20	308	2	尖頭器	5	L23		63	16.8		4		
			剥片	5	M23		243	30.6		4		
			剥片	5	L23		70	2.2		4		
			剥片	5	L23		71	11.2		4		
			剥片	5	L23		416	1.4		4		
			剥片	5	L23		72	8.6		4		
			剥片	5	L23		117	3.4		4		
			剥片	5	L23		119	5.6		4		
			剥片	5	L23		227	3.1		4		
			剥片	5	L23		142	68.6		4		
			剥片	5	L23		146	5.6		4		
			剥片	5	L23		396	11.4		4		
			剥片	5	N23		7	4.2		4		
			剥片	5	L23		149	12.7		4		
			剥片	5	L23		193	2.1		4		
			剥片	5	M23		20	0.9		4		
			剥片	5	L23		217	29.3		4		
			剥片	5	L23		222	18.8		4		
			剥片	5	M23		260	1.7		4		
			剥片	5	L23		226	4.7		4		
			剥片	5	L23		232	7.7		4		
			剥片	5	L23		236	5.3		4		
			剥片	5	L23		237	11.7		4		
			剥片	5	L23		245	3.0		4		
			剥片	5	L23		286	1.9		4		
			剥片	5	L23		289	3.3		4		
			剥片	5	M23		25	2.5		4		
			剥片	5	M23		436	26.6		4		
			剥片	5	L23		21	16.5		4		
			剥片	5	L23		348	0.9		4		
			剥片	5	L23		349	7.5		4		
			剥片	5	L23		380	1.8		4		
			剥片	5	M23		252	25.5		4		
			剥片	5	L23		406	2.7		4		
			剥片	5	L23		412	3.2		4		
			剥片	5	N23		45	16.3		4		
			剥片	5	L23		428	1.4		4		
			剥片	5	L23		456	15.0		4		
			剥片		L23		8	0.5		4		
			剥片	5	L23		481	2.0		4		
			剥片	5	L23		553	1.9		4		
			剥片	5	M23		142	49.7		4		
			剥片	5	M23		256	2.3		4		
			剥片	5	L23		560	8.8		4		
			剥片	5	L24		659	3.6		4		
			剥片	5	L24		676	1.9		4		
			剥片	5	L23		620	0.8		4		
			剥片	5	N23		15	2.1		4		
			剥片	5	L24		22	8.6		4		
			剥片	5	M23		136	1.5		4		
			剥片		M23		6	7.1		4		
			剥片		M23		12	2.5		4		
			剥片		M23		23	0.5		4		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
					M23		24	0.7		4		
			剥片	5	L24		40	4.0		4		
			剥片	5	L24		121	1.6		4		
				5	M23		68	37.0		4		
			剥片	5	L24		340	2.6		4		
				5	M23		33	1.0		4		
			剥片	5	L24		533	16.4		4		
				5	L24		610	13.5		4		
				5	N24		37	4.1		4		
			剥片	5	L24		652	16.4		4		
				5	M23		1	1.8		4		
				5	M23		70	3.5		4		
			剥片	5	L24		684	12.4		4		
			剥片	5	M23		12	2.7		4		
			剥片	5	M23		18	7.1		4		
			剥片	5	M23		24	1.7		4		
			剥片	5	M23		32	1.8		4		
			剥片	5	M23		36	9.9		4		
				5	M23		230	1.2		4		
			剥片	5	M23		41	12.2		4		
			剥片	5	M23		43	2.4		4		
			剥片	5	M23		56	2.3		4		
				5	N23		34	3.1		4		
				5	N23		35	3.1		4		
			剥片	5	M23		67	2.6		4		
			剥片	5	M23		74	13.6		4		
				5	M23		134	7.8		4		
			剥片	5	M23		83	5.7		4		
			剥片	5	M23		124	2.1		4		
			剥片	5	M23		145	2.2		4		
			剥片	5	M23		166	2.2		4		
			剥片	5	M23		174	2.5		4		
			剥片	5	M23		219	2.1		4		
			剥片	5	M23		240	2.0		4		
				5	N24		40	30.2		4		
					L24		13	1.7		4		
			剥片	5	M23		254	0.5		4		
			剥片	5	M23		255	2.2		4		
			剥片	5	M23		259	1.8		4		
			剥片	5	M23		326	24.5		4		
			剥片	5	M23		411	10.1		4		
			剥片	5	M23		441	8.5		4		
					M23		19	1.2		4		
			剥片	5	M23		443	1.9		4		
			剥片	5	M23		580	6.5		4		
			剥片	5	M23		643	2.3		4		
			剥片	5	M23		724	7.6		4		
			剥片	5	M24		46	1.8		4		
				5	M24		47	1.2		4		
				5	N23		14	6.2		4		
			剥片	5	M24		109	11.7		4		
			剥片	5	M24		196	1.9		4		
			剥片	5	N23		6	0.7		4		
			剥片	5	N23		20	2.5		4		
			剥片	5	N23		21	2.6		4		
			削器	5	N23		28	3.9		4		
			剥片	5	N23		56	8.5		4		
			剥片	5	N23		57	7.8		4		
			剥片	5	N24		23	4.6		4		
			剥片	5	N24		48	33.4		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	N24		94	1.0		4		
			剥片		排土		9	3.5		4		
			剥片		K22		4	9.9		4		
			剥片		K23		8	13.2		4		
			剥片		K23		11	44.8		4		
			剥片		K23		12	5.2		4		
			剥片		K23		14	9.4		4		
			剥片		K24		7	6.5		4		
			剥片		I22		7	2.9		4		
			剥片		I23		22	3.8		4		
			剥片		I23		24	2.0		4		
-77	342	90	接合資料	5				1305.3	87	1・5	102	290
			剥片	5	J21		14	15.0		5		
			剥片	5	J21		20	16.0		1		
				5	J21		216	1.2		1		
				5	K22		668	4.0		5		
			剥片	5	J21		22	8.4		5		
			剥片	5	J21		34	3.1		1		
			剥片	5	J21		48	4.4		1		
			剥片	5	J21		76	40.9		1		
			剥片	5	J21		211	45.7		5		
				5	K22		367	3.2		5		
			剥片	5	J21		281	29.7		5		
			剥片	5	J22		56	4.9		5		
			剥片	5	J22		152	25.0		1		
			剥片	5	J22		158	30.4		1		
				5	J23		54	19.4		5		
				5	K22		166	14.4		1		
			剥片	5	J22		198	10.3		5		
			剥片	5	J22		213	1.6		5		
			剥片	5	J22		364	13.4		1		
			剥片	5	J22		386	12.9		1		
			剥片	5	J22		442	5.5		1		
				5	K21		273	7.1		1		
				5	K22		687	11.8		5		
				5	K22		805	1.7		5		
				5	I22		372	16.6		1		
					I22		18	11.8		1		
			剥片	5	J22		479	22.3		1		
			剥片	5	J22		537	9.4		5		
				5	J22		806	10.0		1		
				5	J23		88	22.8		5		
				5	K23		34	8.3		5		
			剥片	5	J22		561	15.9		1		
			剥片	5	J22		989	1.6		1		
			剥片	5	J23		93	88.7		5		
				5	K22		95	36.9		5		
			剥片	5	J23		164	27.5		1		
			剥片	5	J23		296	11.8		1		
				5	K23		384	60.7		1		
				5	I23		645	8.7		1		
					K23		4	53.8		1		
			剥片	5	J23		364	14.0		1		
				5	K23		1053	4.9		1		
			剥片	5	J23		461	4.3		5		
			剥片	5	J23		583	24.2		1		
			剥片	5	J23		601	10.3		5		
				5	J23		638	5.6		5		
				5	K23		92	13.0		5		
				5	K23		295	2.9		5		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				5	L23		327	7.3		1		
			剥片	5	J23		631	17.9		1		
					J23		34	47.7		1		
			剥片	5	J23		641	2.7		1		
				5	K23		79	5.6		1		
				5	K23		429	6.6		1		
				5	K23		841	10.2		1		
			剥片	5	J23		666	11.1		5		
				5	K23		893	13.3		5		
			剥片	5	J23		744	5.5		5		
			剥片	5	K22		146	28.6		5		
				5	K22		526	6.1		1		
			剥片	5	K22		545	3.5		5		
			剥片	5	K22		596	4.9		5		
			剥片	5	K22		855	17.6		5		
					K22		3	12.9		5		
			剥片	5	K23		53	5.4		5		
				5	K23		200	2.1		5		
				5	K23		793	14.3		1		
				5	L24		494	52.9		5		
			剥片	5	K23		185	5.4		1		
				5	K23		953	6.9		1		
				5	K23		1043	3.4		1		
			剥片	5	K23		198	3.2		5		
			剥片	5	K23		653	13.2		1		
			剥片	5	K23		708	5.3		1		
			剥片	5	K23		799	28.2		1		
			剥片	5	K23		905	3.9		5		
			剥片	5	K23		911	2.9		1		
				5	K23		927	2.8		5		
			石刃	5	K23		957	13.9		1		
					J23		10	28.7		1		
			剥片	5	K23		1069	12.5		1		
				5	K23		1146	11.4		1		
			剥片	5	K23		1135	12.6		1		
				5	K23		1189	2.9		1		
			剥片	5	L23		73	11.1		1		
			剥片	5	L23		458	15.3		1		
			剥片	5	L23		463	29.5		1		
-77	340	88	接合資料	5				132.1	38	4	87	260
			剥片	5	K22		80	3.8		4		
-21	309	9	尖頭器	5	L23		164	24.5		4		
			剥片	5	L23		306	8.5		4		
			剥片	5	L23		351	1.6		4		
			剥片	5	L23		393	3.4		4		
			剥片	5	L23		624	3.3		4		
				5	M23		51	1.3		4		
				5	M23		191	12.7		4		
			剥片	5	L23		625	1.1		4		
			剥片	5	M23		19	1.8		4		
			剥片	5	M23		29	9.3		4		
				5	N24		44	1.2		4		
			剥片	5	M23		31	2.0		4		
				5	M23		301	5.8		4		
			剥片	5	M23		40	1.8		4		
			剥片	5	M23		61	1.0		4		
			剥片	5	M23		85	2.8		4		
			剥片	5	M23		113	3.1		4		
			剥片	5	M23		130	4.8		4		
					M23		14	1.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
						M23	22	0.4		4		
			剥片	5	M23		155	2.6		4		
			剥片	5	M23		162	2.0		4		
			剥片	5	M23		214	3.5		4		
			剥片	5	M23		328	0.9		4		
			剥片	5	M23		407	5.0		4		
			剥片	5	M23		486	1.9		4		
			剥片	5	M23		692	0.8		4		
				5	M23		693	1.5		4		
				5	N24		47	2.2		4		
			剥片	5	N23		17	3.0		4		
				5	N23		19	2.1		4		
			剥片	5	N23		36	6.2		4		
			剥片	5	N24		14	0.7		4		
			剥片		K24		2	2.1		4		
			剥片		L23		4	1.6		4		
			剥片		M23		18	0.1		4		
			剥片		M23		20	0.6		4		
-77	343	92	接合資料	5				114.6	34	4	73	140
			剥片	5	J21		1	24.9		4		
			剥片	5	J22		85	0.7		4		
				5	J22		572	1.4		4		
			剥片	5	J22		113	1.1		4		
			剥片	5	J22		115	1.6		4		
				5	K22		660	3.7		4		
				5	K22		759	3.8		4		
			剥片	5	J22		521	11.3		4		
				5	K22		391	2.5		4		
				5	L23		345	3.2		4		
				5	L23		471	13.9		4		
			剥片	5	J23		238	1.6		4		
				5	K23		1148	1.3		4		
			剥片	5	J23		281	1.5		4		
				5	K23		607	1.6		4		
			剥片	5	J23		291	2.8		4		
				5	J23		323	3.5		4		
			剥片	5	J23		366	0.6		4		
			剥片	5	K22		245	1.3		4		
			剥片	5	K22		315	1.5		4		
			剥片	5	K22		667	0.8		4		
			剥片	5	K23		432	0.7		4		
			剥片	5	K23		476	4.6		4		
			剥片	5	K23		642	1.4		4		
			剥片	5	K23		839	1.8		4		
				5	K23		847	0.9		4		
				5	K23		933	3.1		4		
			剥片	5	K23		942	0.9		4		
			剥片	5	L22		415	1.5		4		
			石刃	5	L22		1212	5.5		4		
			剥片	5	L23		27	1.5		4		
			剥片	5	L23		188	1.4		4		
			剥片	5	L23		430	1.3		4		
			剥片		J22		13	5.4		4		
-77	343	93	接合資料	5				115.3	20	4	76	207
			剥片	5	K23		113	3.6		4		
				5	M23		13	44.1		4		
			剥片	5	K23		327	4.6		4		
			剥片	5	L23		50	8.3		4		
				5	L23		246	6.5		4		
				5	M23		151	2.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	5	L23		403	9.2		4		
			剥片	5	M23		16	1.8		4		
			剥片	5	M23		116	4.1		4		
			剥片	5	M23		143	4.8		4		
			剥片	5	M23		213	1.5		1		
			剥片	5	M23		300	0.7		4		
			剥片	5	M23		302	2.7		4		
			剥片	5	M23		306	2.6		4		
			剥片	5	M23		315	1.7		4		
			剥片	5	M23		467	1.6		4		
			剥片	5	M23		549	1.8		4		
			剥片		M23		25	1.5		4		
			剥片	5	M23		588	3.6		4		
			剥片	5	M23		629	8.5		4		
-111	355	286	接合資料	8-10				399.6	68	4	151	481
			剥片	10	M45		4	13.1		4		
				8	O42		34	0.6		4		
				8	O42		35	2.0		4		
			剥片	8	N43		16	1.1		4		
			剥片	10	N44		66	1.3		4		
				10	O44		551	3.4		4		
				10	O44		706	5.1		4		
			剥片	10	N44		74	2.1		4		
				10	O44		545	8.4		4		
				10	O45		99	4.9		4		
			剥片	10	N44		77	5.7		4		
				10	O44		849	3.0		4		
				10	O45		44	1.6		4		
			剥片	10	N45		20	5.5		4		
			剥片	10	N45		88	25.5		4		
				10	N45		325	10.9		4		
				10	N45		1043	0.9		4		
			剥片	10	N45		141	1.2		4		
			剥片	10	N45		145	1.6		4		
			剥片	10	N45		190	1.7		4		
				10	O45		26	3.5		4		
			剥片	10	N45		224	4.7		4		
				10	O44		783	7.3		4		
			剥片	10	N45		295	5.9		4		
			剥片	10	N45		323	1.9		4		
			剥片	10	N45		324	3.0		4		
			剥片	10	N45		338	1.9		4		
			剥片	10	N45		359	2.4		4		
				10	N45		614	0.7		4		
			二次加工ある剥片	10	N45		380	14.1		4		
			剥片	10	N45		492	1.0		4		
			剥片	10	N45		571	4.1		4		
			剥片	10	N45		605	1.6		4		
				10	N45		804	5.6		4		
			剥片	10	N45		730	0.8		4		
				10	N45		885	4.0		4		
			剥片	10	N45		735	1.2		4		
			剥片	10	N45		775	0.8		4		
			剥片	10	N45		870	9.6		4		
				10	N45		1018	5.6		4		
				10	N45		1032	1.3		4		
				10	N46		228	23.7		4		
			剥片	10	N45		974	3.2		4		
			剥片	10	N46		26	4.0		4		
			剥片	10	N46		30	9.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				10	N46		248	17.4		4		
			剥片	10	N46		98	0.9		4		
			剥片	10	N46		164	6.7		4		
			剥片	10	N46		187	3.2		4		
			剥片	10	N47		48	12.1		4		
			剥片	8	O42		47	3.1		4		
			剥片	8	O43		6	56.5		4		
				10	O44		680	2.6		4		
			剥片	10	O44		248	2.0		4		
			剥片	10	O44		251	2.4		4		
				10	O44		349	8.7		4		
			剥片	10	O44		347	1.5		4		
			剥片	10	O44		615	19.7		4		
				10	O45		192	15.7		4		
			剥片	10	O44		881	1.8		4		
			剥片	10	O45		61	0.8		4		
			剥片	10	O45		91	9.6		4		
			剥片	10	O45		170	2.4		4		
			剥片	10	O45		188	1.2		4		
			剥片		M47		4	3.9		4		
			剥片		N45		16	3.1		4		
			剥片		N45		19	1.3		4		
			剥片		O44		18	2.4		4		
-112	355	287	接合資料	8-9-10				294.8	65	4	151	482
			剥片	9	L45		4	2.5		4		
				9	L45		5	5.5		4		
			剥片	10	M47		33	5.7		4		
			剥片	8	N43		119	13.0		4		
				10	N45		257	10.5		4		
			剥片	10	N44		79	8.4		4		
				10	N45		310	12.4		4		
				10	N45		478	2.6		4		
				10	N45		877	3.1		4		
				10	O44		524	1.9		4		
			剥片	10	N45		10	5.6		4		
			剥片	10	N45		100	0.9		4		
				10	N45		509	11.2		4		
				10	N46		161	2.8		4		
				10	O45		20	0.7		4		
			剥片	10	N45		121	2.0		4		
			剥片	10	N45		133	5.7		4		
			剥片	10	N45		234	3.0		4		
				10	N45		897	1.1		4		
			剥片	10	N45		285	7.5		4		
				10	N45		636	0.9		4		
				10	N45		1035	2.2		4		
			剥片	10	N45		293	1.7		4		
				10	N45		410	0.9		4		
				10	N45		655	5.9		4		
					O44		12	2.3		4		
			剥片	10	N45		476	1.8		4		
				10	O44		528	2.5		4		
				10	O45		168	2.4		4		
			剥片	10	N45		594	7.9		4		
			剥片	10	N45		606	6.8		4		
			剥片	10	N45		699	1.4		4		
				10	O44		972	5.7		4		
			剥片	10	N45		1067	1.5		4		
			剥片	10	N46		132	2.6		4		
			剥片	10	N46		145	2.2		4		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	10	N46		173	5.4		4		
			剥片	10	N46		195	3.2		4		
				10	O44		910	5.2		4		
				10	O45		151	4.3		4		
			剥片	10	N46			258		4		
			剥片	10	O44		134	4.8		4		
			剥片	10	O44		238	8.6		4		
			剥片	10	O44		241	7.0		4		
					O44		11	29.7		4		
			剥片	10	O44		270	3.4		4		
			剥片	10	O44		286	0.7		4		
			剥片	10	O44		352	1.1		4		
			剥片	10	O44		467	2.4		4		
			剥片	10	O44		509	2.6		4		
			剥片	10	O44		550	5.6		4		
			剥片	10	O44		688	5.1		4		
			剥片	10	O44		693	1.7		4		
					O45		138	3.0		4		
			剥片	10	O44		730	12.9		4		
					O44		780	4.2		4		
			剥片	10	O44		838	3.0		4		
			剥片	10	O44		872	1.4		4		
					O45		142	3.5		4		
			剥片	10	O44		949	1.2		4		
					O44		963	6.4		4		
			剥片	10	O45		71	1.2		4		
			剥片	10	O45		88	7.1		4		
			剥片	10	O45		123	1.5		4		
			剥片	10	O45		193	1.7		4		
-113	356	288	接合資料	8-10				508.7	59	1	150	474
			剥片	10	M46		12	14.9		1		
					N47		29	12.1		1		
					O43		35	7.2		1		
			剥片	10	M48		4	0.7		1		
			剥片	8	N43		15	5.6		1		
			剥片	8	N43		62	3.5		1		
			剥片	8	N43		64	1.8		1		
			剥片	10	N44		10	26.5		1		
			剥片	10	N44		23	2.5		1		
					N45		411	8.8		1		
					N45		631	0.7		1		
			剥片	10	N44		25	2.1		1		
			剥片	10	N45		32	3.0		1		
					N46		107	16.3		1		
					M46		20	5.4		1		
					N46		21	0.6		1		
			剥片	10	N45		33	16.9		1		
			剥片	10	N45		70	18.8		1		
					N45		180	0.8		1		
			剥片	10	N45		101	6.0		1		
			剥片	10	N45		168	2.2		1		
			剥片	10	N45		183	5.0		1		
					N46		109	11.4		1		
					M46		11	10.1		1		
					M46		12	1.8		1		
			剥片	10	N45		254	23.3		1		
					N45		17	1.0		1		
			剥片	10	N45		276	0.8		1		
					N46		16	6.7		1		
			剥片	10	N45		282	1.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	10	N45		400	18.9		1		
			剥片	10	N45		465	15.1		1		
					N46		94	2.3		1		
					O43		34	0.6		1		
			剥片	10	N45		500	8.4		1		
					N46		76	9.6		1		
			剥片	10	N45		570	3.6		1		
			剥片	10	N45		698	4.7		1		
			剥片	10	N45		1045	7.5		1		
			剥片	10	N45		1049	8.8		1		
			剥片	10	N46		2	13.7		1		
			剥片	10	N46		6	39.8		1		
			剥片	10	N46		81	1.0		1		
			剥片	10	N46		171	2.2		1		
					O43		30	10.2		1		
			剥片	10	N46		206	15.3		1		
			剥片	10	N47		20	15.2		1		
					N47		25	1.2		1		
					N47		33	14.8		1		
			剥片	10	N47		40	34.2		1		
					O43		37	2.0		1		
					O44		136	4.8		1		
			剥片	10	N47		42	13.9		1		
			剥片	10	N47		56	5.9		1		
			剥片	8	O43		12	27.7		1		
			剥片	8	O43		27	1.2		1		
			剥片		L47		1	3.1		1		
			剥片		N46		17	3.2		1		
			剥片		N47		1	2.2		1		
-113	356	289	接合資料	8-10				92.9	21	1	150	475
			剥片	8	N43		61	0.7		1		
					N43		116	1.1		1		
			剥片	10	N44		26	2.7		1		
			剥片	10	N44		52	1.2		1		
					N45		27	7.0		1		
					N45		76	0.7		1		
			剥片	10	N45		6	0.4		1		
					N46		79	13.0		1		
			剥片	10	N45		162	1.8		1		
			剥片	10	N45		309	7.4		1		
					O43		26	0.9		1		
			剥片	10	N45		334	17.4		1		
			剥片	10	N45		398	1.1		1		
					N47		2	8.8		1		
			剥片	10	N45		765	0.8		1		
			剥片	10	N45		829	1.6		1		
			剥片	10	N45		957	1.8		1		
			剥片	10	N46		106	3.6		1		
			剥片	10	N46		114	1.7		1		
			剥片		M47		5	6.3		1		
			剥片		N45		18	12.9		1		
-114	357	290	接合資料	6-7				311.3	54	3-4	116	322
			剥片	6	J44		21	10.5		4		
			剥片	6	J44		30	13.7		4		
					L42		50	0.8		4		
			剥片	6	J44		52	9.3		4		
					K43		52	10.8		4		
					L42		73	0.4		4		
			剥片	7	K44		58	2.1		4		
					J44		4	3.7		4		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	6	K42		2	1.4		4		
			剥片	6	K43		9	8.6		4		
				6	L42		230	5.1		4		
				6	L43		94	3.8		3		
			剥片	6	K43		10	0.5		4		
			剥片	6	K43		14	6.0		4		
			剥片	6	K43		19	0.8		4		
				6	L43		104	2.0		4		
					L43		11	0.9		4		
			剥片	6	K43		23	10.3		4		
			剥片	6	K43		35	3.0		4		
				6	K44		66	6.5		4		
				6	L43		153	6.0		4		
			剥片	6	K43		55	4.9		4		
				6	L43		128	1.9		3		
			剥片	6	K43		71	3.7		4		
				6	K43		84	2.0		4		
			剥片	6	K43		104	3.4		4		
				6	K43		112	0.8		4		
			剥片	6	K43		108	1.4		4		
				6	L42		5	1.0		4		
				6	L43		25	1.6		4		
			剥片	6	K43		164	9.6		4		
				6	L43		129	1.7		3		
				6	L43		131	1.4		3		
			剥片	6	K44		24	3.8		4		
				6	L42		377	11.2		4		
			剥片	6	K44		38	4.9		4		
				6	K44		64	4.2		4		
				6	L43		23	2.4		3		
			剥片	6	K44		67	14.7		4		
			剥片	6	L42		2	48.5		4		
			剥片	6	L42		10	8.7		4		
			剥片	6	L42		14	3.5		4		
			剥片	6	L42		138	0.8		4		
			剥片	6	L42		388	1.9		4		
			剥片	6	L43		33	4.0		4		
			剥片	6	L43		35	2.8		3		
			剥片	6	L43		36	1.6		3		
			剥片	6	L43		55	6.7		4		
			剥片	6	L43		70	3.5		4		
			剥片	6	M42		3	1.1		4		
				6	M42		5	18.8		4		
				6	M42		29	4.7		4		
			剥片		J44		3	6.1		4		
			剥片		L43		7	17.8		4		
-115	357	291	接合資料	6				189.3	39	3・4	116	323
			剥片	6	J44		12	2.1		4		
			剥片	6	J44		67	7.6		4		
				6	K43		51	1.4		4		
			剥片	6	K43		6	3.9		4		
			剥片	6	K43		13	9.7		4		
			剥片	6	K43		15	3.0		4		
				6	K43		74	7.0		4		
				6	K43		76	17.5		4		
			剥片	6	K43		22	3.4		4		
				6	K43		77	6.6		4		
				6	L42		124	2.3		4		
				6	L43		53	11.5		3		
			剥片	6	K43		63	2.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	6	K43		69	0.8		4		
			剥片	6	K43		80	10.2		4		
				6	K44		83	3.2		4		
			剥片	6	K43		130	4.7		4		
			剥片	6	K44		35	5.8		4		
			剥片	6	K44		74	2.0		3		
			剥片	6	L42		19	1.9		4		
				6	L42		390	0.5		4		
			剥片	6	L42		71	17.7		4		
				6	L43		10	6.0		3		
			剥片	6	L42		126	4.8		4		
			剥片	6	L42		201	1.3		4		
				6	L42		247	3.7		4		
				6	L43		54	6.6		4		
			剥片	6	L42		288	3.5		4		
			剥片	6	L42		298	2.9		4		
			剥片	6	L42		318	3.2		4		
			剥片	6	L43		31	1.1		4		
					L43		10	1.2		4		
			剥片	6	L43		34	1.0		4		
			剥片	6	L43		68	4.6		4		
			剥片	6	L43		103	3.3		4		
			剥片	6	L43		140	0.6		3		
			剥片	6	L43		163	0.7		3		
			剥片		K43		1	13.3		4		
			剥片		L43		8	6.0		4		
-116	358	292	接合資料	9-10				138.3	29	4	154	506
			剥片	9	M43		23	30.8		4		
				10	O45		86	8.9		4		
			剥片	9	M44		22	2.5		4		
			剥片	9	M45		105	0.6		4		
			剥片	10	M46		80	15.1		4		
				10	O45		162	3.1		4		
			剥片	10	N45		206	4.4		4		
			剥片	10	N45		353	4.2		4		
			剥片	10	N45		477	3.3		4		
			剥片	10	N45		561	3.2		4		
				10	O44		233	3.4		4		
				10	O44		712	1.4		4		
			剥片	10	N45		725	8.9		4		
			剥片	10	N46		67	1.2		4		
			剥片	10	N46		135	1.3		4		
			剥片	10	N46		152	2.1		4		
			剥片	10	N47		41	4.9		4		
				10	O44		335	0.8		4		
			剥片	10	O44		460	1.0		4		
			剥片	10	O44		549	6.6		4		
			剥片	10	O44		853	2.0		4		
			剥片	10	O44		871	1.8		4		
			剥片	10	O44		909	3.5		4		
			剥片	10	O44		927	2.2		4		
			剥片	10	O45		124	3.0		4		
			剥片	10	O45		125	4.1		4		
			剥片	10	O45		134	1.3		4		
			剥片	10	O45		174	2.8		4		
			剥片		N45		13	9.9		4		
-116	357	293	接合資料	6・9-10				49.4	17	4	154	507
			剥片	6	M42		12	2.1		4		
					K44		9	6.2		4		
			剥片	9	M45		100	1.5		4		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	10	N45		363	1.4		4		
				10	O44		924	2.3		4		
			剥片	10	O44		159	7.4		4		
			剥片	10	O44		361	1.2		4		
			剥片	10	O44		484	0.8		4		
			剥片	10	O44		538	4.1		4		
			剥片	10	O44		546	1.0		4		
				10	O45		107	2.7		4		
			剥片	10	O44		705	1.7		4		
			剥片	10	O44		836	0.7		4		
			剥片	10	O45		100	3.6		4		
			剥片	10	O45		139	1.0		4		
			剥片		M46		19	8.7		4		
			剥片		N44		7	3.0		4		
-117	358	294	接合資料	6-7				1362.8	44	4	137	439
			剥片	6	J43		10	71.0		4		
				6	J44		59	91.4		4		
			剥片	7	J46		43	5.8		4		
				7	J47		50	39.8		4		
			剥片	7	J46		58	16.3		4		
			剥片	7	J46		277	12.7		4		
			剥片	7	J47		4	7.7		4		
				7	J47		282	45.0		4		
			剥片	7	J47		7	28.0		4		
			剥片	7	J47		54	46.6		4		
			剥片	7	J47		93	3.0		4		
				7	J47		153	1.7		4		
				7	J48		43	1.3		4		
				7	K46		81	3.1		4		
			剥片	7	J47		119	16.4		4		
			剥片	7	J47		134	11.8		4		
				7	K46		244	3.4		4		
			剥片	7	J47		150	8.8		4		
			剥片	7	J47		191	4.2		4		
			剥片	7	J47		212	33.6		4		
				7	K46		343	27.6		4		
			剥片	7	J47		304	8.8		4		
			剥片	7	J47		338	2.2		4		
			剥片	7	J47		377	11.0		4		
			剥片	7	J47		405	50.0		4		
			剥片	7	J47		423	13.8		4		
			剥片	7	J47		472	38.2		4		
			剥片	7	J47		609	2.0		4		
			剥片	7	J47		614	1.9		4		
			剥片	7	J48		19	35.0		4		
			剥片	7	J48		33	16.9		4		
			剥片	7	J48		47	17.8		4		
			剥片	7	J48		60	8.5		4		
				7	K46		310	2.0		4		
			剥片	6	K43		47	116.6		4		
			剥片	6	K44		69	89.5		4		
			剥片	7	K46		74	11.4		4		
			剥片	7	K46		93	5.6		4		
			剥片	7	K46		312	14.8		4		
			剥片	7	K46		332	9.0		4		
-85	349	194	削器	6	L43		98	38.3		4		
			剥片	6	M42		27	33.7		4		
			剥片	6	M42		89	33.6		4		
					B調		4	323.0		4		
-119	359	295	接合資料	11				664.1	26	1	167	573

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	11	Q41		16	2.0		1		
				11	Q41		17	7.0		1		
				11	R42		30	31.4		1		
			剥片	11	Q41		18	17.6		1		
			剥片	11	Q42		3	8.0		1		
			剥片	11	Q43		6	4.0		1		
				11	R44		129	4.0		1		
			剥片	11	Q43		11	46.4		1		
			剥片	11	Q43		72	5.5		1		
				11	R44		20	3.3		1		
				11	R45		2	170.5		1		
			剥片	11	Q45		29	4.2		1		
			剥片	11	R41		19	3.9		1		
			剥片	11	R41		72	61.7		1		
				11	R43		62	20.8		1		
			剥片	11	R41		74	7.2		1		
			剥片	11	R41		76	5.3		1		
			剥片	11	R41		160	107.1		1		
			剥片	11	R42		28	28.9		1		
					R42		9	34.8		1		
			縦長剥片	11	R42		69	12.3		1		
			剥片	11	R42		196	7.9		1		
				11	R42		358	6.5		1		
				11	R43		170	11.6		1		
			剥片	11	R43		139	12.6		1		
			剥片		R42		10	39.6		1		
-119	359	296	接合資料	11				206.5	20	1	167	574
			剥片	11	Q44		22	17.3		1		
			剥片	11	Q44		35	0.6		1		
			剥片	11	Q44		46	9.8		1		
				11	R41		168	11.2		1		
			剥片	11	R41		226	9.5		1		
			剥片	11	R42		14	3.1		1		
			剥片	11	R42		184	12.6		1		
			剥片	11	R42		203	7.1		1		
			剥片	11	R42		221	12.0		1		
				11	R43		408	1.7		1		
			剥片	11	R42		254	35.3		1		
			剥片	11	R43		22	15.9		1		
			剥片	11	R43		235	8.0		1		
				11	R44		91	7.2		1		
			剥片	11	R44		42	23.0		1		
				11	R44		148	4.9		1		
			剥片		S40		2	13.7		1		
					S40		3	4.8		1		
					S40		4	5.4		1		
					S40		5	3.4		1		
-120	359	297	接合資料	8-9-10				747.6	81	4	158	532
			剥片	9	M43		11	7.1		4		
			剥片	9	M44		45	2.4		4		
			剥片	9	M44		157	4.1		4		
			剥片	9	M44		166	2.8		4		
-90	351	247	舟底形石器	9	M45		44	20.6		4		
			剥片	9	M45		65	4.4		4		
			剥片	8	N42		20	1.2		4		
			剥片	8	N42		50	3.8		4		
			剥片	8	N42		54	1.7		4		
			剥片	8	N42		109	2.5		4		
			剥片	8	N42		132	0.8		4		
			剥片	8	N42		139	3.6		4		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	8	N42		175	6.0		4		
				8	N42		392	2.0		4		
			剥片	8	N42		232	5.7		4		
			剥片	8	N42		236	2.0		4		
			剥片	8	N42		244	3.1		4		
			剥片	8	N42		281	1.1		4		
			剥片	8	N42		284	2.5		4		
			剥片	8	N42		286	3.0		4		
			剥片	8	N42		292	0.6		4		
			剥片	8	N42		364	1.1		4		
			剥片	8	N42		413	2.4		4		
			剥片	8	N42		434	0.4		4		
			剥片	8	N42		541	1.2		4		
			剥片	8	N43		32	3.5		4		
			剥片	8	N43		33	9.2		4		
			剥片	8	N43		37	2.7		4		
			剥片	8	N43		53	2.1		4		
			剥片	9	N43		67	1.2		4		
			剥片	8	N43		79	1.5		4		
			剥片	8	N43		102	2.1		4		
			剥片	8	N43		106	3.3		4		
			剥片	8	N43		108	1.9		4		
			剥片	8	N43		146	1.8		4		
			剥片	10	N44		55	9.4		4		
				10	N45		386	9.2		4		
				10	N45		389	9.4		4		
				10	N45		910	14.4		4		
				10	N45		911	24.7		4		
				10	N47		32	9.5		4		
			石刃	9	N44		60	19.6		4		
			剥片	10	N45		31	1.6		4		
			剥片	10	N45		167	1.4		4		
				10	N45		399	44.7		4		
				10	N45		949	1.3		4		
				10	O44		453	56.1		4		
			剥片	10	N45		169	7.2		4		
			剥片	10	N45		241	18.3		4		
				10	O44		736	4.3		4		
			縦長剥片	10	N45		544	10.3		4		
				10	N45		1024	31.3		4		
				10	O44		266	26.5		4		
			剥片	10	N45		638	1.2		4		
				10	O44		834	0.8		4		
			剥片	10	N45		771	2.3		4		
			剥片	10	N45		832	7.9		4		
			縦長剥片	10	N45		878	12.2		4		
				10	O44		690	2.5		4		
			剥片	10	N45		901	5.3		4		
			剥片	10	N46		5	47.2		4		
			縦長剥片	10	N46		72	19.3		4		
			剥片	10	N46		75	8.3		4		
			剥片	10	N46		100	17.4		4		
			剥片	10	N46		121	9.1		4		
			縦長剥片	10	N46		170	2.4		4		
				10	N46		213	8.0		4		
			剥片	10	O44		17	1.2		4		
			剥片	10	O44		256	23.7		4		
				10	O44		383	27.6		4		
				10	O45		203	6.1		4		
			石刃	10	O44		454	3.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				10	O44		522	25.1		4		
			剥片	10	O44		562	11.3		4		
				10	O44		575	3.1		4		
			剥片	10	O44		614	10.3		4		
				10	O44		774	14.7		4		
			剥片	10	O44		813	6.0		4		
			縦長剥片	10	O45		30	18.8		4		
			剥片	10	O45		45	13.3		4		
			縦長剥片	10	O45		201	24.6		4		
-122	361	298	接合資料	8・9・10				443.5	166	1	140	447
			剥片	9	M43		17	0.6		1		
			剥片	9	M43		30	7.7		1		
			剥片	9	M43		31	0.9		1		
			剥片	9	M44		5	1.2		1		
			剥片	9	M44		55	1.8		1		
					N42		195	0.2		1		
			剥片	9	M44		79	2.4		1		
				9	M44		88	1.2		1		
			剥片	9	M44		115	2.9		1		
-81	346	39	彫器	9	M45		57	3.9		1		
			剥片	9	M45		80	1.3		1		
			剥片	9	M45		81	3.2		1		
					N43		10	0.8		1		
			剥片	10	M46		44	0.4		1		
				10	N45		23	1.1		1		
					N46		22	0.1		1		
			剥片	8	N42		22	1.5		1		
			剥片	8	N42		24	1.1		1		
			剥片	8	N42		32	0.4		1		
			剥片	8	N42		33	0.5		1		
			剥片	8	N42		36	4.9		1		
			剥片	8	N42		77	0.8		1		
			剥片	8	N42		94	1.6		1		
			剥片	8	N42		95	0.4		1		
			剥片	8	N42		98	3.6		1		
			剥片	8	N42		102	2.6		1		
			剥片	8	N42		103	1.3		1		
			剥片	8	N42		105	0.7		1		
			石刃	8	N42		107	6.2		1		
				10	O44		811	1.1		1		
			剥片	8	N42		119	0.4		1		
			剥片	8	N42		123	0.8		1		
			剥片	8	N42		125	0.9		1		
			剥片	8	N42		126	1.2		1		
			剥片	8	N42		128	0.8		1		
-81	346	47	彫器	8	N42		191	3.4		1		
			剥片	8	N42		194	0.5		1		
			剥片	8	N42		197	0.5		1		
			剥片	8	N42		198	2.2		1		
			剥片	8	N42		199	0.6		1		
			剥片	8	N42		201	0.7		1		
			剥片	8	N42		202	0.7		1		
			剥片	8	N42		205	0.8		1		
			剥片	8	N42		206	0.9		1		
			剥片	8	N42		207	1.2		1		
			剥片	8	N42		210	8.0		1		
			剥片	8	N42		215	0.5		1		
			剥片	8	N42		252	1.7		1		
			剥片	8	N42		326	1.2		1		
			剥片	8	N42		329	0.7		1		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	8	N42		332	1.1		1		
			剥片	8	N42		335	0.4		1		
			剥片	8	N42		338	1.8		1		
			剥片	8	N42		339	0.9		1		
			剥片	8	N42		369	0.5		1		
-83	347	154	彫器削片	8	N42		537	0.1		1		
-80	346	34	彫器	8	N42		552	7.5		1		
-86	350	219	舟底形石器	8	N42		555	2.9		1		
			剥片	8	N42		601	1.1		1		
-81	346	63	彫器	8	N42		607	7.5		1		
			剥片	8	N43		21	71.1		1		
				10	O44		139	2.5		1		
				10	O45		184	11.1		1		
			剥片	8	N43		22	1.5		1		
			剥片	8	N43		24	0.6		1		
			剥片	8	N43		26	1.0		1		
			剥片	8	N43		35	1.5		1		
				8	N43		97	12.2		1		
			剥片	8	N43		36	1.2		1		
			剥片	9	N43		39	1.2		1		
			剥片	9	N43		69	0.6		1		
			剥片	9	N43		71	0.7		1		
			剥片	8	N43		99	3.1		1		
			剥片	8	N43		100	2.2		1		
			剥片	10	N44		36	6.6		1		
			石刃	10	N44		43	2.6		1		
					M48		2	1.1		1		
					N45		23	0.8		1		
			剥片	10	N44		59	1.5		1		
			剥片	10	N44		70	1.9		1		
				10	N44		71	1.4		1		
					N48		6	0.3		1		
			剥片	10	N45		41	2.5		1		
			剥片	10	N45		51	0.5		1		
			剥片	10	N45		457	1.6		1		
			剥片	10	N45		475	2.8		1		
			剥片	10	N45		512	12.2		1		
			縦長剥片	10	N45		592	8.0		1		
				10	N46		101	1.5		1		
			剥片	10	N45		626	2.1		1		
			剥片	10	N45		675	8.9		1		
			剥片	10	N45		907	1.2		1		
			剥片	10	N45		927	2.1		1		
				10	N46		194	6.7		1		
					N45		14	4.7		1		
					N46		24	0.3		1		
			剥片	10	N45		936	2.4		1		
			剥片	10	N45		946	4.8		1		
			剥片	10	N45		1080	0.7		1		
			石刃	10	N46		78	27.4		1		
			剥片	10	N46		211	2.5		1		
			剥片	10	N46		223	3.1		1		
			剥片	8	O42		21	6.7		1		
			剥片	10	O44		46	2.2		1		
			剥片	10	O44		337	2.3		1		
			剥片	10	O44		376	27.7		1		
			剥片	10	O44		700	1.0		1		
			剥片	10	O44		887	3.6		1		
			剥片	10	O45		43	6.7		1		
			剥片	10	O45		106	2.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	10	O45		131	1.2		1		
					O44		17	1.8		1		
			剥片	10	O45		182	18.4		1		
			剥片		M45		8	4.5		1		
			剥片		N42		167	0.9		1		
					N43		5	0.6		1		
			剥片		N43		9	0.6		1		
					N42		186	0.3		1		
			剥片		M44		20	0.4		1		
-83	347	144	彫器削片		N42		16	0.1		1		
-83	347	113	彫器削片		N42		18	0.2		1		
-83	347	123	彫器削片		N42		27	0.1		1		
-83	347	122	彫器削片		N42		49	0.1		1		
-83	347	114	彫器削片		N42		54	0.3		1		
-83	347	124	彫器削片		N42		62	0.1		1		
-83	347	152	彫器削片		N42		65	0.3		1		
-83	347	128	彫器削片		N42		75	0.1		1		
-83	347	129	彫器削片		N42		100	0.1		1		
-82	347	101	彫器削片		N42		109	0.2		1		
-82	347	108	彫器削片		N42		154	0.2		1		
			剥片		N42		160	0.4		1		
			剥片		N42		161	0.8		1		
			剥片		N42		163	0.2		1		
			剥片		N42		164	0.4		1		
			剥片		N42		165	0.5		1		
			剥片		N42		166	0.7		1		
			剥片		N42		175	0.5		1		
			剥片		N42		176	0.1		1		
			剥片		N42		177	0.1		1		
			剥片		N42		179	0.3		1		
			剥片		N42		180	0.3		1		
			剥片		N42		181	0.3		1		
			剥片		N42		185	0.3		1		
			剥片		N42		189	0.3		1		
			剥片		N42		190	0.4		1		
			剥片		N42		191	0.4		1		
			剥片		N42		192	0.6		1		
			剥片		N42		193	0.2		1		
			剥片		N42		194	0.3		1		
			剥片		N42		196	0.3		1		
			剥片		N42		198	0.1		1		
			剥片		N42		199	0.1		1		
			剥片		N42		200	0.3		1		
-83	347	127	彫器削片		N42		202	0.1		1		
-82	347	99	彫器削片		N42		208	0.3		1		
			剥片		N42		266	0.1		1		
					N42		267	0.1		1		
			剥片		N42		268	0.1		1		
-82	347	98	彫器削片		N43		4	0.2		1		
			剥片		N45		15	15.3		1		
			剥片		N45		20	0.7		1		
			剥片		N45		21	0.2		1		
			剥片		N46		20	0.7		1		
			剥片		O42		29	1.4		1		
			剥片		O44		14	0.9		1		
			剥片		O44		15	1.4		1		
-125	360	302	接合資料	7+8-9-10				509.6	121	1	139	441
-80	346	26	彫器	7	K45		62	3.1		1		
			剥片	9	L45		122	4.6		1		
				9	M45		64	19.6		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	9	M43		28	0.6		1		
			剥片	9	M44		8	2.0		1		
			剥片	9	M44		11	2.5		1		
			剥片	9	M44		21	1.2		1		
			剥片	9	M44		106	2.0		1		
			剥片	9	M44		107	3.7		1		
			石刃	9	M45		49	7.0		1		
			剥片	9	M45		52	1.7		1		
-81	346	51	彫器	8	N42		10	3.4		1		
-83	347	115	彫器削片	8	N42		366	0.3		1		
-81	346	41	彫器	8	N42		370	29.6		1		
			剥片	8	N42		450	0.5		1		
			剥片	8	N42		465	4.6		1		
			剥片	8	N42		480	2.7		1		
-80	346	23	彫器	8	N42		510	2.1		1		
			石刃	8	N42		594	22.9		1		
-82	346	70	彫器	8	N42		606	7.7		1		
-81	346	60	彫器	8	N42		608	6.9		1		
-82	347	77	彫器	9	N43		3	2.1		1		
			剥片	10	O44		888	1.9		1		
			剥片	8	N43		10	1.8		1		
			剥片	8	N43		76	5.4		1		
			剥片	10	O44		387	6.0		1		
			剥片	10	O45		189	2.5		1		
			剥片	8	N43		136	1.1		1		
			剥片	8	N43		137	1.9		1		
			剥片		M45		7	0.7		1		
			剥片		N42		162	0.9		1		
			剥片		N44		5	0.7		1		
			剥片	8	N43		138	3.3		1		
-80	346	28	彫器	8	N43		147	5.8		1		
			剥片	9	N44		4	2.8		1		
			剥片	9	N44		28	2.6		1		
			剥片		M46		10	2.9		1		
			剥片	9	N44		30	2.4		1		
			剥片	9	N44		33	2.9		1		
			剥片	10	N44		93	1.4		1		
			石刃	10	N45		625	3.4		1		
			石刃	10	N45		820	1.5		1		
			剥片	10	N45		630	1.6		1		
			剥片	10	N45		736	2.6		1		
			剥片	10	N45		651	0.5		1		
			剥片	10	N45		692	3.4		1		
			剥片	10	N45		727	1.3		1		
			縦長剥片	10	N45		899	4.0		1		
			縦長剥片	10	O45		217	4.3		1		
			剥片	10	N45		935	0.6		1		
			剥片	10	N45		977	2.4		1		
			剥片	10	N45		987	0.7		1		
			剥片	10	O44		658	0.7		1		
			剥片		N43		8	0.4		1		
			縦長剥片	10	N46		68	1.6		1		
			縦長剥片	10	O44		254	2.2		1		
			剥片	10	N46		182	1.6		1		
			剥片	10	N46		191	4.2		1		
			剥片	8	O42		8	9.6		1		
			剥片	8	O42		48	18.4		1		
-82	346	66	彫器	8	O42		54	5.7		1		
			剥片	8	O42		58	7.4		1		
			剥片		O44		19	0.6		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	8	O42		60	7.3		1		
-85	349	203	二次加工ある剥片	8	O42		62	3.3		1		
-95	354	281	石核	8	O42		63	179.3		1		
-81	346	53	彫器	8	O43		1	4.2		1		
			剥片	10	O44		3	0.7		1		
			剥片	10	O44		44	1.4		1		
			剥片	10	O44		137	2.4		1		
			縦長剥片	10	O44		246	6.6		1		
			縦長剥片	10	O45		57	0.5		1		
			剥片	10	O44		249	2.7		1		
			剥片	10	O44		385	1.7		1		
			縦長剥片	10	O44		469	4.7		1		
			剥片	10	O44		495	3.2		1		
			剥片	10	O44		746	3.8		1		
			剥片	10	O44		919	0.9		1		
			剥片		M44		17	0.4		1		
			剥片	10	O44		977	1.6		1		
			剥片	10	O45		221	0.5		1		
			剥片		M43		3	0.3		1		
-90	351	254	縦長剥片		M44		18	0.5		1		
			縦長剥片		M47		6	6.3		1		
			剥片		M44		19	0.2		1		
			剥片		M46		14	5.3		1		
			剥片		M46		16	1.0		1		
			剥片		M47		7	1.2		1		
-83	347	135	彫器削片		N42		57	0.2		1		
-83	347	132	彫器削片		N42		69	0.1		1		
-82	347	94	彫器削片		N42		79	0.1		1		
			彫器削片		O42		15	0.1		1		
-82	347	107	彫器削片		N42		91	0.1		1		
-83	347	116	彫器削片		N42		102	0.3		1		
-82	347	93	彫器削片		N42		111	0.2		1		
-83	347	130	彫器削片		N42		157	0.1		1		
			剥片		N42		168	0.2		1		
			剥片		N42		169	0.1		1		
			剥片		N42		170	0.4		1		
			剥片		N42		171	0.2		1		
			剥片		N42		172	0.1		1		
			剥片		N42		173	0.2		1		
			剥片		N42		174	0.2		1		
			剥片		N42		178	0.1		1		
			剥片		N42		182	0.2		1		
-83	347	153	彫器削片		N42		197	0.2		1		
-83	347	157	彫器削片		N42		205	0.1		1		
-83	347	112	彫器削片		N42		210	0.1		1		
			彫器削片		N42		225	0.1		1		
-82	347	90	彫器削片		N42		224	0.1		1		
-83	347	126	彫器削片		N42		229	0.1		1		
-83	347	141	彫器削片		N42		230	0.1		1		
			剥片		N42		257	0.1		1		
			剥片		N43		6	0.4		1		
			剥片		N43		7	0.4		1		
-85	349	202	二次加工ある剥片		N44		4	7.7		1		
-82	347	96	彫器削片		O42		1	0.2		1		
			彫器削片		O42		20	0.1		1		
-82	347	97	彫器削片		O42		5	0.1		1		
			剥片		O42		27	0.1		1		
			剥片		O42		28	0.3		1		
-128	361	314	接合資料	6-7				310.9	29	1	119	338
			剥片	7	J46		48	5.7		1		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO	
				7	J46		363	4.4		1			
			縦長剥片	7	J46		135	1.8		1			
				7	J47		193	1.3		1			
				7	J47		277	6.8		1			
					K46		9	1.6		1			
			縦長剥片	7	J46		309	9.1		1			
				7	J47		147	0.9		1			
				7	K46		162	6.1		1			
			剥片	7	J46		313	0.9		1			
			剥片	7	J47		40	4.7		1			
					7	J47		207	25.2		1		
			剥片	7	J47		129	13.4		1			
			剥片	7	J47		230	3.4		1			
			剥片	7	J47		385	4.4		1			
					7	J47		653	3.2		1		
					7	J48		17	3.7		1		
			剥片	7	J47		651	4.4		1			
			剥片	7	J47		663	0.9		1			
			剥片	7	K46		27	13.9		1			
			剥片	7	K46		68	0.6		1			
			剥片	7	K46		79	4.0		1			
			剥片	7	K46		276	1.1		1			
			剥片	7	K46		303	3.0		1			
-91	352	260	石刃核	6	L42		34	167.5		1			
			石刃	6	M42		101	8.3		1			
			剥片		J47		10	1.9		1			
			剥片		J47		19	4.3		1			
			剥片		K45		17	4.4		1			
-129	362	316	接合資料	7				297.8	44	1	118	335	
			剥片	7	J46		15	1.4		1			
			剥片	7	J47		57	2.8		1			
			剥片	7	J46		55	6.8		1			
			剥片	7	J46		269	2.7		1			
			剥片	7	J46		327	1.8		1			
					7	J47		6	7.8		1		
-91	352	259	石刃核	7	J46		378	80.0		1			
			剥片	7	J46		389	1.9		1			
			剥片	7	J47		26	0.7		1			
			剥片	7	J47		41	9.0		1			
					7	J47		102	3.2		1		
			剥片	7	J47		80	1.8		1			
			剥片	7	J47		95	1.5		1			
					7	J47		403	2.5		1		
			剥片	7	J47		162	3.7		1			
					7	J47		285	2.6		1		
			剥片	7	J47		168	2.6		1			
					7	J47		269	2.8		1		
					7	J47		555	4.2		1		
			剥片	7	J47		225	1.2		1			
			剥片	7	J47		292	5.4		1			
			剥片	7	J47		312	5.2		1			
					7	J47		383	42.0		1		
			剥片	7	J47		424	1.5		1			
					7	K46		286	1.9		1		
			剥片	7	J47		429	2.7		1			
						M46		9	3.4		1		
			剥片	7	J47		449	0.4		1			
			剥片	7	J47		487	1.4		1			
			剥片	7	J47		540	12.1		1			
			剥片	7	J47		631	35.1		1			

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO	
			剥片	7	J47		673	1.8		1			
			剥片	7	J48		51	1.2		1			
			剥片	7	K46		53	2.0		1			
			剥片	7	K46		128	1.3		1			
			剥片	7	K46		163	4.7		1			
			剥片	7	K46		171	0.8		1			
			剥片	7	K46		172	3.5		1			
			剥片	7	K46		254	1.1		1			
			石刃	7	K46		274	3.7		1			
			剥片	7	K46		287	19.0		1			
			剥片		J47		11	1.7		1			
			剥片		J47		18	3.0		1			
			剥片		K46		10	1.9		1			
-129	363	318	接合資料	11				276.3	15	1	170	592	
			縦長剥片	11	Q44		99	21.3		1			
					11	R42		359	15.5		1		
			縦長剥片	11	R41		100	11.0		1			
			剥片	11	R41		125	2.1		1			
					11	R42		68	8.2		1		
			縦長剥片	11	R41		183	3.1		1			
					11	R41		191	1.0		1		
			石刃	11	R41		189	1.9		1			
			縦長剥片	11	R42		80	24.2		1			
					11	R43		171	18.1		1		
			縦長剥片	11	R42		139	17.4		1			
-92	352	263	石刃核	11	R43		76	113.6		1			
			剥片	11	R43		99	25.7		1			
					11	R44		77	3.8		1		
			剥片	11	R43		133	9.4		1			
-130	363	319	接合資料	6-7-9				750.6	73	1	120	339	
-95	354	282	石核	7	J45		1	190.7		1			
			剥片	7	J45		46	5.9		1			
						J45		8	1.7		1		
			剥片	7	J45		58	40.9		1			
					7	K45		366	9.2		1		
			剥片	7	J45		166	9.5		1			
					7	K44		252	19.6		1		
			剥片	7	J46		122	4.7		1			
			剥片	7	J46		172	16.3		1			
					7	K45		11	14.6		1		
			剥片	7	J46		200	1.9		1			
					7	J46		364	14.4		1		
			剥片	7	K44		10	1.0		1			
					7	K44		215	13.9		1		
			剥片	7	K44		16	14.4		1			
			剥片	7	K44		17	3.0		1			
					7	K45		282	7.4		1		
			剥片	7	K44		48	1.0		1			
			剥片	7	K44		56	20.5		1			
						K44		8	0.7		1		
			剥片	7	K44		87	6.2		1			
					7	L44		192	10.3		1		
			剥片	7	K44		95	2.4		1			
			剥片	7	K44		125	0.9		1			
					7	K44		174	2.0		1		
			剥片	7	K44		129	7.5		1			
			剥片	7	K44		145	2.3		1			
					7	K44		245	3.8		1		
					7	L44		112	1.9		1		
			剥片	6	M42		11	25.3		1			

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	7	K44		168	11.0		1		
			剥片	7	K44		193	2.1		1		
				7	L44		6	16.5		1		
				7	L45		68	1.6		1		
			剥片	7	K44		271	1.5		1		
			剥片	7	K45		131	9.9		1		
			剥片	7	K45		166	1.2		1		
			剥片	7	K45		186	8.6		1		
			剥片	7	K45		217	5.6		1		
				7	K45		297	1.7		1		
				7	K45		353	1.4		1		
					K45		15	0.6		1		
			剥片	7	K45		288	5.8		1		
			剥片	7	K45		333	23.6		1		
			剥片	7	K45		392	1.9		1		
			剥片	7	K45		394	2.7		1		
			剥片	7	K45		409	3.9		1		
			剥片	7	K45		440	6.9		1		
				7	K46		17	25.3		1		
					K46		18	0.8		1		
					L45		7	22.5		1		
			剥片	7	K46		170	1.3		1		
-87	350	229	舟底形石器	7	K46		212	18.4		1		
				7	L45		119	7.9		1		
			剥片	7	L44		1	6.2		1		
			剥片	7	L44		4	1.8		1		
			剥片	7	L44		41	6.3		1		
			剥片	7	L44		82	4.1		1		
			剥片	7	L44		175	5.4		1		
			剥片	7	L44		240	14.1		1		
			剥片	7	L44		246	9.9		1		
			剥片	9	L45		45	13.2		1		
			剥片	9	L45		62	7.6		1		
			剥片	7	L45		74	2.1		1		
			剥片	7	L45		85	5.2		1		
			剥片	7	L45		156	1.5		1		
			剥片	7	L46		9	1.5		1		
			剥片	7	L46		30	3.1		1		
			剥片		J45		10	6.0		1		
			剥片		K45		7	6.1		1		
			剥片		K45		18	0.1		1		
			剥片		K46		14	10.7		1		
			剥片		L45		8	9.1		1		
-132	364	320	接合資料	6・7			943.5	147	1	117	327	
			縦長剥片	6	J44		33	8.7		1		
			剥片	7	J45		29	0.6		1		
				7	J47		491	0.6		1		
			剥片	7	J45		76	2.5		1		
				7	L44		117	1.0		1		
			剥片	7	J45		157	2.8		1		
					L44		4	5.8		1		
			剥片	7	J46		36	118.2		1		
				7	L45		18	1.9		1		
				7	L45		86	2.4		1		
			剥片	7	J46		169	0.7		1		
			剥片	7	J46		194	1.9		1		
			剥片	6	K43		131	12.5		1		
			剥片	6	K44		33	4.9		1		
			剥片	7	K44		88	1.8		1		
			剥片	7	K44		94	1.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	7	K44		108	18.1		1		
				7	L44		141	4.0		1		
					L44		5	0.7		1		
			剥片	7	K44		127	19.9		1		
			剥片	7	K44		130	3.1		1		
				7	K45		268	0.4		1		
			剥片	7	K44		147	0.7		1		
			剥片	7	K44		150	3.7		1		
			剥片	7	K44		155	0.9		1		
			縦長剥片	7	K44		165	6.8		1		
				7	K44		231	1.3		1		
					K45		6	11.8		1		
			剥片	7	K44		192	1.5		1		
			剥片	7	K44		198	1.8		1		
			剥片	7	K44		199	0.8		1		
			剥片	7	K44		205	2.5		1		
			剥片	7	K44		208	1.6		1		
			剥片	7	K44		218	1.7		1		
			剥片	7	K44		246	1.3		1		
					J45		6	1.6		1		
			剥片	7	K44		262	0.9		1		
			剥片	7	K44		270	1.0		1		
			剥片	7	K44		274	0.9		1		
			剥片	7	K45		15	0.7		1		
			剥片	7	K45		16	9.4		1		
			剥片	7	K45		41	1.9		1		
			剥片	7	K45		45	11.3		1		
			剥片	7	K45		47	1.9		1		
-87	350	230	舟底形石器	7	K45		49	7.0		1		
				7	K45		123	10.8		1		
			剥片	7	K45		50	5.0		1		
			二次加工ある剥片	7	K45		52	13.4		1		
				7	L45		70	15.9		1		
					K44		4	0.6		1		
			剥片	7	K45		53	4.6		1		
			剥片	7	K45		64	4.9		1		
			剥片	7	K45		65	11.4		1		
					K45		12	0.6		1		
			剥片	7	K45		73	2.7		1		
			剥片	7	K45		97	0.5		1		
			剥片	7	K45		127	3.3		1		
			剥片	7	K45		141	1.2		1		
			剥片	7	K45		205	6.8		1		
				7	L45		80	12.2		1		
			剥片	7	K45		211	2.7		1		
			剥片	7	K45		212	5.4		1		
			剥片	7	K45		215	16.1		1		
			剥片	7	K45		219	1.6		1		
			剥片	7	K45		231	6.6		1		
			剥片	7	K45		234	1.2		1		
-91	351	257	石刃核	7	K45		245	81.5		1		
			剥片	7	K45		250	1.9		1		
			剥片	7	K45		262	2.0		1		
			剥片	7	K45		265	0.9		1		
			剥片	7	K45		269	0.7		1		
			剥片	7	K45		290	1.1		1		
			剥片	7	K45		308	1.3		1		
			剥片	7	K45		350	2.4		1		
			剥片	7	K45		356	0.7		1		
			剥片	7	K45		361	2.7		1		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	7	K45		403	15.3		1		
				7	L44		243	3.5		1		
			剥片	7	K45		411	56.3		1		
			剥片	7	K45		412	7.0		1		
			剥片	7	K45		415	1.7		1		
			剥片	7	K45		416	1.2		1		
			剥片	7	K45		417	6.1		1		
			剥片	7	K45		439	0.8		1		
			剥片	7	K46		43	2.7		1		
				7	K46		199	3.9		1		
			剥片	7	K46		63	1.4		1		
			剥片	7	K46		66	2.0		1		
			剥片	7	K46		184	13.3		1		
			削器	6	M42		61	9.7		1		
			剥片	7	K46		195	2.4		1		
			剥片	7	K46		204	4.4		1		
			剥片	7	K46		216	3.3		1		
					K46		21	1.3		1		
			剥片	7	K46		272	1.4		1		
			剥片	6	L43		1	7.3		1		
-82	346	69	彫器	6	L43		99	8.8		1		
			剥片	7	L44		2	3.2		1		
			剥片	7	L44		9	1.0		1		
			縦長剥片	7	L44		23	17.2		1		
				7	L44		109	19.8		1		
				6	M42		45	19.2		1		
			剥片	7	L44		49	0.6		1		
			剥片	7	L44		52	0.3		1		
			剥片	7	L44		60	7.0		1		
			剥片	7	L44		68	0.6		1		
			剥片	7	L44		78	21.7		1		
				7	L44		118	24.0		1		
			剥片	7	L44		90	1.0		1		
			剥片	7	L44		95	16.5		1		
			剥片	7	L44		108	18.2		1		
			剥片	7	L44		114	0.7		1		
			剥片	7	L44		146	2.9		1		
			剥片	7	L44		147	1.8		1		
			剥片	7	L44		162	2.1		1		
			剥片	7	L44		163	0.4		1		
			剥片	7	L44		168	2.9		1		
			剥片	7	L44		181	13.0		1		
			剥片	7	L44		186	4.5		1		
			剥片	7	L44		207	0.5		1		
			剥片	7	L44		222	0.7		1		
			剥片	7	L44		237	1.2		1		
			剥片	7	L44		239	4.7		1		
			剥片	7	L44		245	1.7		1		
			剥片	7	L44		247	2.8		1		
				7	L46		65	1.2		1		
			剥片	7	L44		248	0.4		1		
			剥片	7	L44		252	2.5		1		
			剥片	7	L45		16	1.1		1		
			剥片	7	L45		71	16.2		1		
			剥片	7	L45		72	11.4		1		
			剥片	7	L45		165	3.6		1		
			縦長剥片	6	M42		72	6.5		1		
				6	M42		108	5.7		1		
			剥片	6	M42		98	1.0		1		
-86	350	223	舟底形石器	6	M42		113	4.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				6	M43		21	9.6		1		
			剥片		J45		12	1.3		1		
			剥片		J45		13	1.6		1		
			剥片		J47		16	0.6		1		
			剥片		K44		2	0.5		1		
			縦長剥片		K45		8	15.1		1		
			剥片		K45		9	0.3		1		
			剥片		K45		11	0.4		1		
			剥片		K46		13	2.1		1		
			剥片		K46		16	1.4		1		
			剥片		L45		9	3.8		1		
-135	364	322	接合資料	G-7-9				702.1	59	1	121	340
			剥片	7	J45		21	8.6		1		
				7	K45		138	20.9		1		
			剥片	7	J45		77	5.5		1		
				7	K46		36	5.8		1		
			縦長剥片	7	L46		28	2.6		1		
				7	L46		45	13.4		1		
			剥片	7	J46		281	1.2		1		
				7	K45		357	3.6		1		
				7	K46		34	10.0		1		
			剥片	7	J46		388	4.0		1		
			剥片	7	J47		247	21.0		1		
				7	L45		67	6.5		1		
			剥片	7	K44		97	3.5		1		
				7	K45		189	0.7		1		
			剥片	7	K44		110	12.9		1		
			剥片	7	K44		177	7.8		1		
			剥片	7	K44		225	18.7		1		
-92	352	264	石刃核	7	K45		1	149.9		1		
			剥片	7	K45		14	2.1		1		
			剥片	7	K45		86	4.8		1		
			剥片	7	K45		107	87.3		1		
				7	K45		267	1.6		1		
			剥片	7	K45		120	2.4		1		
			剥片	7	K45		139	25.2		1		
			剥片	7	K45		184	1.3		1		
			剥片	7	K45		221	21.5		1		
			剥片	7	K45		223	2.8		1		
			剥片	7	K45		233	20.1		1		
				7	K45		422	5.6		1		
			石刃	7	K45		263	1.4		1		
				7	L45		110	3.5		1		
				7	L46		2	1.0		1		
			剥片	7	K45		292	2.6		1		
				7	L46		12	7.6		1		
			縦長剥片	7	K45		302	2.6		1		
					K45		10	0.3		1		
					K46		7	60.7		1		
			剥片	7	K45		321	1.8		1		
			剥片	7	K46		4	17.4		1		
			剥片	7	K46		57	4.4		1		
			剥片	7	K46		181	2.1		1		
			剥片	7	K46		220	8.1		1		
			剥片	7	L44		35	4.1		1		
			剥片	7	L44		122	10.4		1		
			剥片	9	L45		27	1.9		1		
			剥片	9	L45		36	1.3		1		
			剥片	7	L45		73	2.4		1		
			剥片	7	L45		84	1.7		1		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			縦長剥片	7	L46		7	1.5		1		
			剥片	7	L46		78	11.8		1		
			石刃	6	M42		17	3.5		1		
			剥片	6	M42		18	16.0		1		
			剥片	6	M42		19	2.1		1		
			縦長剥片	6	M42		20	18.0		1		
			石刃	6	M42		21	3.1		1		
			剥片		J45		7	8.0		1		
			剥片		K45		16	2.1		1		
			剥片		K46		12	8.4		1		
			剥片		N46		15	21.0		1		
-136	365	324	接合資料	6・7				606.5	18	4	113	318
			剥片	7	J44		3	49.5		4		
			剥片	7	J44		41	59.0		4		
-93	353	273	石核	6	K43		50	129.3		4		
			剥片	6	K43		103	12.1		4		
			剥片	6	K44		80	16.1		4		
			剥片	6	K43		105	47.8		4		
			剥片	6	L43		96	9.5		4		
			剥片	6	L43		115	9.7		4		
			剥片	6	K43		148	1.8		4		
			剥片	6	K43		149	2.7		4		
			縦長剥片	6	K44		30	56.1		4		
			剥片	6	K44		68	81.8		4		
			剥片	6	K44		190	10.6		4		
			剥片	6	K44		191	2.3		4		
			縦長剥片	6	K44		82	21.6		4		
			剥片	6	L43		164	21.6		4		
			剥片	6	L43		172	41.6		4		
-137	366	325	接合資料	6・7・9				751.4	29	3・4	133	419
			剥片	7	J46		285	6.7		4		
			剥片	7	J47		364	3.6		4		
			剥片	7	K46		182	74.4		4		
			剥片	6	K43		16	14.7		4		
			剥片	6	K44		28	13.6		4		
			剥片	7	K44		106	5.9		4		
			剥片	7	K44		107	10.8		4		
			剥片	7	L45		143	4.9		4		
			剥片	7	K44		124	6.3		4		
			剥片	7	K44		226	0.8		4		
			剥片	7	L45		14	0.9		4		
			剥片	7	K44		241	3.0		4		
			剥片	7	K45		59	15.7		4		
			剥片	7	K46		277	1.1		3		
			剥片	6	L42		246	2.8		4		
			剥片	6	L43		93	11.9		3		
			剥片	9	L45		44	3.1		4		
			剥片	7	L45		113	89.2		4		
			剥片	7	L46		44	24.1		4		
			剥片	6	M42		6	6.2		4		
-85	349	198	削器	6	M42		40	13.4		4		
			剥片	6	M42		44	10.7		4		
			剥片	6	M42		62	6.5		4		
			縦長剥片	6	M42		67	3.5		4		
			剥片	6	M42		94	50.3		4		
-96	354	283	石核	6	M42		103	225.1		4		
			剥片		排土		7	13.9		3		
			剥片		J45		2	42.1		4		
			剥片		K46		2	86.2		3		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-138	367	326	接合資料	6・7・9・10・11				418.6	24	4	147	470
			剥片	6	K43		132	3.8		4		
			剥片	9	M45		25	6.6		4		
			剥片	6	K44		78	7.3		4		
			剥片	7	K44		91	5.7		4		
			剥片	7	L44		121	8.8		4		
			剥片	7	K44		117	2.9		4		
			剥片	7	K44		136	2.7		4		
			剥片	9	M44		20	5.3		4		
			剥片	7	K45		17	22.8		4		
			剥片	7	K45		20	2.8		4		
			剥片	9	L45		11	15.4		4		
			剥片	9	M44		25	2.9		4		
			剥片	9	M44		78	3.5		4		
			剥片	9	M44		37	6.6		4		
			剥片	9	M44		86	9.7		4		
			剥片	9	M44		93	7.1		4		
			剥片	9	M45		29	9.5		4		
			剥片	9	M45		58	26.7		4		
			剥片	10	N45		653	9.1		4		
			剥片	10	N45		712	1.8		4		
			剥片	11	R43		246	54.1		4		
-95	354	280	石核		K45		1	181.8		4		
			剥片		L42		7	18.6		4		
			剥片		M44		14	3.1		4		
-138	366	327	接合資料	11				948.0	79	1	168	583
-89	351	240	舟底形石器	11	Q40		2	14.4		1		
			剥片	11	R42		268	23.5		1		
			剥片	11	Q41		1	33.9		1		
			剥片	11	Q41		4	5.3		1		
			剥片	11	Q41		6	12.9		1		
			剥片	11	Q41		9	3.1		1		
			剥片	11	Q41		14	7.0		1		
			剥片	11	R40		21	16.2		1		
			剥片	11	R40		22	3.0		1		
			石刃	11	Q42		11	8.0		1		
			剥片	11	Q42		12	1.3		1		
			剥片	11	Q42		14	17.4		1		
			剥片	11	Q42		24	1.3		1		
			剥片	11	R41		81	2.6		1		
			剥片	11	R44		110	3.5		1		
			縦長剥片	11	Q42		32	4.3		1		
			剥片	11	Q44		5	2.9		1		
			剥片	11	Q43		89	6.8		1		
			剥片	11	R43		282	2.3		1		
			剥片	11	Q44		11	1.8		1		
			剥片	11	S41		2	4.7		1		
			剥片	11	Q44		43	9.3		1		
			剥片	11	R41		186	4.4		1		
			剥片	11	Q45		23	2.9		1		
			剥片	11	R40		5	6.2		1		
			剥片	11	R40		7	6.3		1		
			剥片	11	R40		12	1.4		1		
			剥片	11	R40		15	4.3		1		
			剥片	11	R43		126	10.8		1		
			剥片	11	R40		19	1.4		1		
			剥片	11	R41		22	2.9		1		
			剥片	11	R40		20	128.2		1		
			剥片	11	R41		93	12.4		1		
			剥片	11	R40		23	16.2		1		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				11	R40		26	6.9		1		
				11	R41		195	0.6		1		
			剥片	11	R40		24	8.9		1		
			剥片	11	R40		27	13.7		1		
			剥片	11	R40		28	6.1		1		
			剥片	11	R40		30	10.3		1		
			剥片	11	R40		32	0.7		1		
			剥片	11	R41		2	5.7		1		
			剥片	11	R41		25	5.4		1		
			剥片	11	R41		43	0.9		1		
			剥片	11	R41		51	4.2		1		
			石刃	11	R41		52	11.0		1		
			縦長剥片	11	R41		54	4.2		1		
				11	R41		140	2.7		1		
			剥片	11	R41		55	25.0		1		
			剥片	11	R41		56	2.1		1		
			剥片	11	R41		62	1.1		1		
			剥片	11	R41		69	27.7		1		
			剥片	11	R41		78	7.6		1		
			剥片	11	R41		80	6.6		1		
			縦長剥片	11	R41		98	18.9		1		
					S41		2	16.9		1		
			剥片	11	R41		117	3.6		1		
			剥片	11	R41		135	2.3		1		
			石刃	11	R41		167	7.6		1		
			剥片	11	R41		170	2.1		1		
			剥片	11	R41		233	17.2		1		
-90	351	244	舟底形石器	11	R42		1	246.0		1		
			剥片	11	R42		16	4.7		1		
			剥片	11	R42		106	8.5		1		
			剥片	11	R42		180	3.6		1		
			剥片	11	R42		225	2.5		1		
			剥片	11	R42		343	0.8		1		
			剥片	11	R43		103	5.7		1		
			剥片	11	R43		277	6.6		1		
			剥片	11	R43		322	2.4		1		
			剥片	11	R44		18	6.3		1		
			剥片	11	R44		71	1.0		1		
			剥片	11	R44		94	2.6		1		
			剥片	11	R44		167	8.8		1		
			剥片	11	R44		177	4.0		1		
			石刃	11	S39		1	10.8		1		
			剥片		Q42		2	17.2		1		
			剥片		R41		3	6.4		1		
			剥片		S39		1	7.2		1		
-140	367	328	接合資料	6-8-9-10				778.5	49	4	160	543
			剥片	6	K44		71	5.4		4		
			剥片	9	M44		17	4.2		4		
-88	350	234	舟底形石器	9	M45		43	27.2		4		
-81	346	49	彫器	8	N42		92	3.3		4		
-81	346	56	彫器	8	N42		192	5.0		4		
			石刃	8	N42		589	27.3		4		
-83	348	162	搔器	9	N43		58	6.2		4		
			剥片	10	N44		7	4.0		4		
				10	N47		50	41.2		4		
			剥片	10	N44		24	15.6		4		
			剥片	10	N45		12	5.6		4		
			剥片	10	N45		14	27.0		4		
			剥片	10	N45		84	30.5		4		
			剥片	10	N45		114	9.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	10	N45		153	42.7		4		
			剥片	10	N45		174	7.9		4		
			剥片	10	N45		301	27.1		4		
			剥片	10	N45		307	2.0		4		
			剥片	10	N45		423	36.1		4		
			剥片	10	N45		463	43.4		4		
			剥片	10	N45		558	3.4		4		
			剥片	10	N45		618	5.3		4		
			剥片	10	N45		659	40.8		4		
			剥片	10	N45		681	6.7		4		
			剥片	10	N45		777	1.3		4		
			剥片	10	N45		880	7.5		4		
			剥片	10	N45		909	18.1		4		
			剥片	10	N45		993	15.7		4		
			剥片	10	N45		1012	19.5		4		
			剥片	10	N45		1041	9.9		4		
			剥片	10	N45		1082	6.5		4		
			剥片	10	N46		16	26.8		4		
			剥片	10	N46		44	3.1		4		
			剥片	10	N46		128	16.9		4		
			剥片	10	N46		160	4.0		4		
			剥片	10	N46		217	9.3		4		
			剥片	10	N47		18	22.4		4		
			剥片	10	N47		24	53.7		4		
			剥片	10	N47		36	53.2		4		
			縦長剥片	8	O42		5	15.7		4		
				8	O42		6	23.6		4		
			剥片	8	O42		20	3.3		4		
			剥片	10	O44		133	10.4		4		
			剥片	10	O44		327	3.7		4		
			剥片	10	O44		530	5.6		4		
			剥片	10	O44		913	3.6		4		
			縦長剥片		M46		6	10.9		4		
			剥片		M46		7	2.9		4		
			剥片		N45		5	3.9		4		
-142	368	329	接合資料	8-9-10				944.7	61	4	157	528
			剥片	9	M45		5	1.9		4		
			剥片	8	N42		19	10.1		4		
			剥片	8	N42		88	61.8		4		
			剥片	8	N42		113	12.2		4		
			剥片	8	N42		114	4.2		4		
			剥片	8	N42		115	0.8		4		
				8	N42		229	77.8		4		
				8	N42		546	0.7		4		
			剥片	8	N42		131	7.0		4		
			剥片	8	N42		171	1.9		4		
			剥片	8	N42		296	1.7		4		
			剥片	8	N42		313	6.1		4		
			剥片	8	N42		355	4.9		4		
-94	353	275	石核	8	N42		415	155.0		4		
			剥片	8	N42		435	2.2		4		
			剥片	8	N42		456	0.9		4		
			剥片	8	N42		457	4.1		4		
			剥片	8	N42		524	1.2		4		
			剥片	8	N42		582	1.2		4		
			剥片	8	N43		48	3.6		4		
			剥片	8	N43		111	2.7		4		
			剥片	8	N43		144	0.9		4		
			剥片	10	N45		164	36.5		4		
			剥片	10	N45		199	0.9		4		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	10	N46		85	71.1		4		
			剥片	10	N45		204	5.8		4		
			剥片	10	O44		565	1.2		4		
			剥片	10	N46		10	1.5		4		
			剥片	10	N45		260	9.3		4		
			剥片	10	N45		390	125.2		4		
			剥片	10	N45		396	4.4		4		
			剥片	10	N47		4	105.5		4		
			剥片	10	N45		524	8.3		4		
			剥片	10	N45		530	4.3		4		
			剥片	10	N45		582	2.9		4		
			剥片	10	N46		48	9.2		4		
			剥片	10	O45		219	1.5		4		
			剥片	10	N46		9	74.0		4		
			剥片	10	N46		77	18.4		4		
			剥片	10	N46		105	3.6		4		
			剥片	10	N46		108	0.8		4		
			剥片	10	N46		202	3.6		4		
			剥片	10	N46		243	2.7		4		
			縦長剥片	10	N47		46	9.9		4		
			剥片	10	N47		49	40.8		4		
			剥片	10	O44		68	3.5		4		
			剥片	10	O44		111	2.9		4		
			剥片	10	O44		311	4.1		4		
			剥片	10	O44		399	2.5		4		
			剥片	10	O44		423	2.1		4		
			剥片	10	O44		580	2.1		4		
			剥片	10	O44		621	1.5		4		
			剥片	10	O44		624	2.0		4		
			剥片	10	O44		672	1.8		4		
			剥片	10	O44		694	2.2		4		
			剥片	10	O44		856	2.9		4		
			剥片	10	O44		867	0.8		4		
			剥片	10	O44		874	2.1		4		
			剥片	10	O44		875	4.9		4		
			剥片	10	O44		886	4.1		4		
			剥片	10	N45		12	0.9		4		
-143	368	330	接合資料	8・10				33.4	6	1	141	453
			石刃	10	N45		181	4.9		1		
			石刃	8	O42		27	4.3		1		
-81	346	46	彫器	8	O43		2	3.5		1		
			剥片		M44		21	0.2		1		
-83	348	173	搔器		M46		2	17.4		1		
			搔器		M46		8	3.1		1		
-143	368	331	接合資料	6				182.9	2	1	106	308
-81	346	38	彫器	6	M42		53	23.7		1		
			二次加工ある剥片	6	M42		80	159.2		1		
-143	369	332	接合資料	6				31.6	10	1	105	305
-90	351	248	剥片	6	M42		55	20.1		1		
			剥片	6	M42		70	1.9		1		
			剥片	6	M42		95	2.5		1		
			剥片	6	M42		96	2.6		1		
			剥片	6	M42		115	1.9		1		
			剥片		M42		16	1.3		1		
			剥片		M42		23	0.5		1		
			剥片		M42		24	0.4		1		
			剥片		M42		25	0.1		1		
			剥片		M42		26	0.3		1		
-144	369	333	接合資料	9				5.4	2	1	198	730
-80	346	31	彫器	9	N43		4	5.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-82	347	100	彫器削片		N42		201	0.1		1		
-144	369	334	接合資料	7				6.3	2	1	119	337
-81	346	62	彫器	7	K46		210	6.2		1		
-83	347	111	彫器削片		L42		6	0.1		1		
-144	369	335	接合資料	8				7.0	4	4	201	732
-81	346	59	彫器	8	N42		512	6.4		4		
-83	347	149	彫器削片		N42		31	0.2		4		
-82	347	92	彫器削片		N42		37	0.1		4		
-82	347	105	彫器削片		N42		103	0.3		4		
-144	369	336	接合資料	8				4.6	3	4	202	733
-81	346	54	彫器	8	N42		553	4.4		4		
-83	347	145	彫器削片		N42		15	0.1		4		
-83	347	150	彫器削片		N42		125	0.1		4		
-144	369	337	接合資料					0.6	3	1	140	724
-82	347	91	彫器削片		N42		10	0.2		1		
-82	347	102	彫器削片		N42		122	0.1		1		
-82	347	95	彫器削片		O42		17	0.3		1		
-144	369	338	接合資料					0.5	3	1	140	725
-83	347	155	彫器削片		N42		17	0.2		1		
-82	347	104	彫器削片		N42		94	0.2		1		
-82	347	103	彫器削片		N42		149	0.1		1		
-144	369	339	接合資料					1.3	10	4	149	735
-83	347	146	彫器削片		N42		43	0.1		4		
-83	347	143	彫器削片		N42		137	0.1		4		
			彫器削片		O42		9	0.1		4		
-83	347	134	彫器削片		N42		146	0.1		4		
-83	347	137	彫器削片		N42		215	0.2		4		
-83	347	148	彫器削片		N42		220	0.1		4		
-83	347	147	彫器削片		N42		302	0.1		4		
-83	347	140	彫器削片		N42		304	0.1		4		
-83	347	136	彫器削片		N42		306	0.2		4		
-83	347	138	彫器削片		O42		30	0.2		4		
-144	369	340	接合資料					1.1	9	4	149	736
-83	347	121	彫器削片		N42		73	0.2		4		
			彫器削片		N42		299	0.1		4		
-83	347	142	彫器削片		N42		81	0.1		4		
-82	347	110	彫器削片		N42		148	0.1		4		
-82	347	106	彫器削片		N42		152	0.1		4		
			彫器削片		N42		263	0.1		4		
-83	347	119	彫器削片		N42		207	0.2		4		
-83	347	125	彫器削片		N42		219	0.1		4		
			彫器削片		N42		290	0.1		4		
-144	369	341	接合資料					1.3	9	4	149	737
-83	347	131	彫器削片		N42		28	0.1		4		
			彫器削片		N42		311	0.1		4		
-83	347	118	彫器削片		N42		64	0.3		4		
-83	347	120	彫器削片		N42		80	0.2		4		
			彫器削片		N42		288	0.2		4		
-83	347	117	彫器削片		N42		128	0.1		4		
			彫器削片		N42		250	0.1		4		
-83	347	133	彫器削片		N42		218	0.1		4		
			彫器削片		N42		282	0.1		4		
-144	369	342	接合資料					0.6	4	1	139	716
-83	347	151	彫器削片		N42		40	0.1		1		
-83	347	156	彫器削片		N42		63	0.1		1		
-82	347	109	彫器削片		N42		107	0.1		1		
-83	347	139	彫器削片		N42		147	0.3		1		
-144	369	343	接合資料					0.3	3	4	209	748
-90	351	252	舟底形石器削片		N42		221	0.1		4		
-90	351	251	舟底形石器削片		N42		244	0.1		4		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
-90	351	250	舟底形石器剥片		N42		305	0.1		4		
-145	370	344	接合資料	9-10				1696.0	222	F3+F5	152	489
			剥片	9	M43		4	7.3		4		
			剥片	9	M43		34	1.5		3		
			剥片	10	N45		432	4.6		4		
			剥片	10	N46		15	1.0		4		
			剥片	9	M45		10	4.2		4		
			剥片	10	N45		297	6.0		4		
			剥片	10	N45		1034	1.0		4		
			剥片	10	M46		10	1.4		3		
			剥片	10	N46		4	12.3		4		
			剥片	10	M46		39	0.8		3		
			剥片	10	M46		40	1.3		3		
			剥片	10	N46		10	123.9		4		
			剥片	9	M46		64	2.7		3		
			剥片	10	N45		502	4.4		4		
			剥片	10	N45		798	8.3		4		
			剥片	10	M46		74	1.1		3		
			剥片	10	M46		75	2.8		3		
			剥片	10	N45		490	9.5		4		
			剥片	10	M47		16	1.6		3		
			剥片	10	N45		22	3.5		4		
			剥片	10	N45		590	2.2		4		
			剥片	10	M47		21	6.9		3		
			剥片	9	N44		2	12.7		4		
			排土				2	10.9		4		
			剥片	10	N44		37	55.6		4		
			剥片	10	N44		38	14.2		4		
			剥片	10	N44		41	0.7		4		
			剥片	10	N45		598	10.2		4		
			剥片	10	N46		63	1.0		4		
			剥片	10	N44		53	1.2		4		
			剥片	10	N45		722	8.8		4		
			剥片	10	N44		73	4.6		4		
			剥片	10	N44		76	1.5		4		
			剥片	10	N45		151	4.0		5		
			剥片	10	N45		287	1.1		4		
			剥片	10	N45		979	0.7		4		
			剥片	10	N45		991	11.7		4		
			剥片	10	N44		91	4.8		4		
			剥片	10	N45		16	9.2		4		
			剥片	10	N45		24	22.4		4		
			剥片	10	N45		25	5.0		4		
			剥片	10	N45		40	9.8		4		
			剥片	10	N45		42	2.0		4		
			剥片	10	N45		481	11.0		4		
			剥片	10	N45		43	9.3		4		
			剥片	10	N45		54	6.5		4		
			剥片	10	N45		125	4.7		4		
			剥片	10	N45		59	4.5		4		
			剥片	10	N45		127	2.4		4		
			剥片	10	N45		128	4.1		4		
			剥片	10	N45		72	10.3		4		
			剥片	10	N45		701	9.0		4		
			剥片	10	N46		232	4.6		4		
			剥片	10	N45		22	0.5		4		
			剥片	10	N45		87	2.1		4		
			剥片	10	N45		97	1.4		1		
			剥片	10	N45		690	3.9		4		
			剥片	10	N45		116	8.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	10	N45		122	0.4		4		
			剥片	10	N45		667	12.3		4		
			剥片	10	O44		348	3.5		4		
			剥片	10	O45		2	1.6		3		
			排土				1	0.2		4		
			剥片	10	N45		3	0.4		4		
			剥片	10	N45		143	2.5		4		
			剥片	10	N45		171	38.3		5		
			剥片	10	N45		186	6.9		4		
			剥片	10	N45		187	6.9		4		
			剥片	10	N46		172	38.8		4		
			剥片	10	O44		707	1.9		3		
			剥片	10	N45		192	1.2		4		
			剥片	10	N47		6	7.6		4		
			剥片	10	N46		4	0.5		4		
			剥片	10	N45		202	1.7		4		
			剥片	10	N45		683	3.1		4		
			剥片	10	N45		986	1.8		4		
			剥片	10	N45		213	6.5		4		
			剥片	10	N45		950	1.0		4		
			剥片	10	N45		230	7.0		4		
			剥片	10	O44		782	2.8		3		
			剥片	10	N45		235	3.3		4		
			剥片	10	N45		550	2.6		4		
			剥片	10	N45		265	6.3		4		
			剥片	10	N45		854	1.2		4		
			剥片	10	N45		7	2.1		4		
			剥片	10	N45		277	8.9		4		
			剥片	10	N45		298	19.8		4		
			剥片	10	N45		650	8.9		4		
			剥片	10	O44		701	1.1		4		
			剥片	10	O45		49	0.9		4		
			剥片	10	N45		299	33.7		4		
			剥片	10	N45		718	2.5		4		
			剥片	10	N45		327	0.8		4		
			剥片	10	N45		962	2.3		4		
			剥片	10	N45		339	1.9		4		
			剥片	10	N46		61	3.1		4		
			剥片	10	N45		358	4.3		4		
			剥片	10	N48		3	1.4		4		
			剥片	10	N45		384	7.2		4		
			剥片	10	N45		406	11.0		4		
			剥片	10	N45		766	2.1		4		
			剥片	10	N45		414	2.1		4		
			剥片	10	N45		584	4.3		4		
			剥片	10	N45		417	4.7		4		
			剥片	10	N45		418	10.1		4		
			剥片	10	N45		424	11.7		4		
			剥片	10	N45		425	13.1		4		
			剥片	10	N45		430	3.0		4		
			剥片	10	N45		678	52.0		4		
			剥片	10	N45		439	6.1		1		
			剥片	10	N45		445	8.0		4		
			剥片	10	N45		454	12.5		1		
			剥片	10	N45		469	7.1		4		
			剥片	10	N45		713	3.8		4		
			剥片	10	N45		470	5.9		4		
			剥片	10	N45		485	12.5		4		
			剥片	10	O44		5	1.5		4		
			剥片	10	N45		487	5.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	10	N45		510	1.2		4		
				10	N45		945	1.1		4		
				10	N46		28	11.0		4		
					N45		25	0.5		4		
					O46		1	3.0		4		
			剥片	10	N45		515	7.1		4		
			剥片	10	N45		523	30.7		4		
			剥片	10	N45		525	1.2		4		
				10	N45		583	3.9		4		
				10	N45		904	8.1		4		
				10	N46		90	5.5		4		
			剥片	10	N45		543	4.3		4		
			剥片	10	N45		585	3.4		4		
			剥片	10	N45		591	11.3		4		
				10	N45		937	1.7		4		
				10	N45		980	1.2		4		
			剥片	10	N45		596	12.8		4		
			剥片	10	N45		599	21.1		4		
				10	N46		159	8.6		5		
			剥片	10	N45		604	6.7		4		
			剥片	10	N45		609	1.9		4		
			剥片	10	N45		620	13.7		4		
			剥片	10	N45		648	3.6		4		
				10	N45		763	2.4		4		
				10	N45		975	7.1		4		
			剥片	10	N45		658	2.7		4		
				10	N45		951	1.3		4		
			剥片	10	N45		660	14.9		4		
					O45		3	0.5		4		
			剥片	10	N45		661	10.7		4		
			剥片	10	N45		674	26.0		4		
			剥片	10	N45		676	3.5		4		
					N45		1	3.7		4		
			剥片	10	N45		687	3.1		4		
			剥片	10	N45		705	2.3		4		
				10	N45		913	23.8		4		
			剥片	10	N45		710	24.7		4		
			剥片	10	N45		720	10.7		4		
				10	N47		28	16.2		4		
				10	N47		34	2.2		4		
			剥片	10	N45		760	3.6		4		
			剥片	10	N45		768	16.5		4		
			剥片	10	N45		782	7.0		4		
				10	O44		345	10.4		4		
			剥片	10	N45		849	1.6		4		
			剥片	10	N45		859	7.9		4		
			剥片	10	N45		869	65.7		4		
			剥片	10	N45		881	2.0		4		
				10	N46		189	1.4		4		
			剥片	10	N45		891	4.2		4		
			剥片	10	N45		914	1.9		4		
			剥片	10	N45		942	23.2		4		
			剥片	10	N45		948	1.5		4		
				10	O45		108	3.0		4		
			剥片	10	N45		960	9.6		4		
			剥片	10	N45		983	7.6		4		
			剥片	10	N45		984	16.3		4		
			剥片	10	N45		998	2.9		4		
			剥片	10	N45		1026	17.6		4		
			剥片	10	N45		1027	1.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	10	N45		1058	2.3		4		
			剥片	10	N45		1060	9.8		4		
			剥片	10	N46		24	5.3		4		
				10	N47		27	25.5		4		
			剥片	10	N46		35	0.9		4		
				10	N46		36	7.1		4		
			剥片	10	N46		39	11.9		4		
				10	N46		95	6.1		4		
			剥片	10	N46		41	4.0		4		
				10	O44		810	4.9		3		
					O45		1	8.0		4		
			剥片	10	N46		64	1.6		4		
			剥片	10	N46		70	1.8		4		
				10	N46		92	8.1		4		
			剥片	10	N46		89	6.4		4		
			剥片	10	N46		104	8.6		4		
			剥片	10	N46		186	4.0		4		
			剥片	10	N46		225	8.6		4		
				10	O44		937	3.3		4		
			剥片	10	N46		231	10.5		4		
			剥片	10	N46		241	3.7		4		
			剥片	10	N47		12	3.9		4		
				10	N47		17	1.1		4		
				10	N47		44	10.6		4		
			剥片	10	N47		14	11.3		4		
			剥片	10	N47		37	14.0		4		
				10	N47		53	2.0		4		
			剥片	10	N47		39	1.8		4		
			剥片	10	N47		54	5.1		4		
			剥片	10	O44		262	2.8		4		
			剥片	10	O44		354	3.2		4		
			剥片	10	O44		364	2.7		4		
			剥片	10	O44		534	5.3		4		
			剥片	10	O44		695	1.0		4		
			剥片	10	O44		718	5.8		4		
			剥片	10	O44		785	5.1		4		
			剥片	10	O44		808	5.1		4		
			剥片	10	O45		127	1.0		3		
			剥片	10	O45		195	1.4		3		
			剥片	10	O45		208	1.5		4		
			剥片		N45		4	1.0		4		
			剥片		N46		2	4.1		4		
			剥片		N46		3	15.1		4		
			剥片		N46		6	3.7		4		
-145	374	346	接合資料	6-8-9-10				1411.4	147	4	163	553
			剥片	6	K43		68	14.4		4		
				6	K43		124	13.2		4		
			剥片	9	L45		8	22.5		4		
				9	L45		9	17.9		4		
			剥片	9	M44		49	1.8		4		
				10	N45		78	1.1		4		
			剥片	9	M44		98	10.5		4		
			剥片	9	M44		169	8.7		4		
				10	M46		5	7.0		4		
			剥片	9	M45		98	2.4		4		
				10	M46		6	18.0		4		
					L45		1	57.6		4		
			剥片	10	M46		3	1.9		4		
					N45		2	3.7		4		
			剥片	10	M46		83	3.3		4		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	10	M47		38	2.3		4		
			剥片	10	N45		134	7.8		4		
			剥片	10	O45		218	3.0		4		
			剥片	10	N44		62	3.1		4		
			剥片	10	N45		446	1.4		4		
			剥片	10	N45		644	2.2		4		
			剥片	10	N46		240	0.6		4		
			剥片	10	N44		63	5.2		4		
			剥片	10	N44		88	1.5		4		
			剥片	10	N45		46	2.7		4		
			剥片		N48		2	10.7		4		
			剥片	10	N45		96	2.0		4		
			剥片	10	N45		117	11.2		4		
			剥片	10	N45		173	2.5		4		
			剥片	10	N45		1009	1.6		4		
			剥片	10	N45		131	6.6		4		
			剥片	10	O45		41	2.1		4		
			剥片	10	N45		136	8.9		4		
			剥片	10	N45		468	26.6		4		
			剥片	10	N45		172	46.7		4		
			剥片	10	N45		176	12.3		4		
			剥片	10	N45		1029	2.2		4		
			剥片	10	N45		209	30.3		4		
			剥片	10	N45		346	1.6		4		
			剥片	10	N45		216	0.7		4		
			剥片	10	N45		227	25.2		4		
			剥片	10	N45		516	2.6		4		
			剥片	10	N45		262	1.6		4		
			剥片	10	N45		416	6.9		4		
			剥片	10	N45		267	1.8		4		
			剥片	10	N45		421	5.0		4		
			剥片	10	N45		286	11.1		4		
			剥片	10	N45		703	26.6		4		
			剥片	10	N45		300	4.8		4		
			剥片	10	N45		306	31.7		4		
			剥片	10	N45		619	3.1		4		
			剥片	10	N45		391	22.9		4		
			剥片	10	N45		482	21.0		4		
			剥片	10	N45		420	4.3		4		
			剥片	10	N45		444	8.4		4		
			剥片	10	N45		449	14.0		4		
			剥片	10	N45		453	9.8		4		
			剥片	10	N45		456	13.3		4		
			剥片	10	N45		499	4.8		4		
			剥片	10	N45		460	2.5		4		
			剥片	10	N45		461	54.7		4		
			剥片	10	N45		466	2.0		4		
			剥片	10	N45		495	2.4		4		
			剥片	10	N45		772	18.9		4		
			剥片	10	N45		504	7.6		4		
			剥片	10	O44		388	4.6		4		
			剥片	10	O44		513	2.8		4		
			剥片	10	N45		506	46.4		4		
			剥片	10	N45		542	1.7		4		
			剥片	10	N45		997	1.1		4		
			剥片	10	N45		548	1.3		4		
			剥片	10	N45		552	12.1		4		
			剥片	10	N45		565	2.6		4		
			剥片		M46		4	3.0		4		
			剥片	10	N45		616	2.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	10	N45		623	4.0		4		
			剥片	10	N45		803	2.6		4		
			剥片	10	N45		815	5.7		4		
			剥片	10	N45		999	4.8		4		
			剥片	10	O44		258	1.2		4		
			剥片	10	O44		480	3.3		4		
			剥片	10	O44		925	8.7		4		
			剥片	10	N45		646	4.7		4		
			剥片	10	N45		666	34.7		4		
			剥片	10	N45		672	5.0		4		
			剥片	10	N45		738	1.8		4		
			剥片	10	N45		740	1.5		4		
			剥片	10	O44		141	1.0		4		
			剥片	10	N45		769	22.9		4		
			剥片	10	N45		774	13.8		4		
			剥片	10	N45		776	3.4		4		
			剥片	10	N45		791	5.4		4		
			剥片	10	N46		53	16.7		4		
			剥片	10	N45		814	5.9		4		
			剥片	10	N45		830	6.5		4		
			剥片	10	N45		874	14.0		4		
			剥片	10	N46		136	4.0		4		
			剥片	10	N45		887	10.4		4		
			剥片	10	N45		902	78.5		4		
			剥片	10	N45		918	8.0		4		
			剥片	10	N45		932	1.9		4		
			剥片	10	N46		158	9.0		4		
			剥片	10	N45		940	2.4		4		
			剥片	10	N45		961	15.9		4		
			剥片	10	N45		1040	15.2		4		
			剥片	10	O45		158	2.7		4		
			剥片	10	N45		1044	11.4		4		
			剥片	10	N45		1073	11.2		4		
			剥片	10	N45		1086	1.7		4		
			剥片	10	N46		21	8.2		4		
			剥片	10	N46		45	14.1		4		
			剥片	10	N46		50	2.4		4		
			剥片	10	N46		82	17.9		4		
			剥片	10	N46		96	4.3		4		
			剥片	10	N46		117	4.2		4		
			剥片	10	N46		174	12.6		4		
			剥片	10	N46		181	3.6		4		
			剥片	10	N46		221	16.6		4		
			剥片	10	N46		249	2.3		4		
			剥片		排土		8	2.2		4		
			剥片	10	N46		255	2.8		4		
			剥片	10	N47		8	1.7		4		
			剥片	10	N47		9	12.2		4		
			剥片	10	N47		45	8.1		4		
			剥片	8	O42		29	3.5		4		
			剥片	8	O42		30	1.5		4		
			剥片	8	O43		4	1.7		4		
			剥片	10	O44		41	8.3		4		
			剥片	10	O44		47	4.6		4		
-81	346	50	彫器	10	O44		67	3.5		4		
			剥片	10	O44		163	22.2		4		
			剥片	10	O44		273	7.2		4		
			剥片	10	O44		356	12.0		4		
			剥片	10	O44		483	1.4		4		
			剥片	10	O44		533	6.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	10	O44		809	2.6		4		
			剥片	10	O44		914	2.9		4		
				10	O45		52	1.5		4		
				10	O45		97	1.7		4		
			剥片	10	O45		7	5.7		4		
			剥片	10	O45		77	4.5		4		
			剥片	10	O45		89	53.1		4		
			剥片	10	O45		101	13.1		4		
			剥片		排土		5	4.4		4		
			剥片		N46		5	12.3		4		
			剥片		N46		7	7.8		4		
			剥片		O45		4	12.0		4		
146	372	345	接合資料	6・7				3045.2	165	4	136	434
			剥片	7	J46		1	4.9		4		
				7	J46		51	6.1		4		
				7	J46		218	2.0		4		
				7	J46		297	3.4		4		
				7	J47		194	0.8		4		
				7	J47		243	2.6		4		
			剥片	7	J46		2	3.2		4		
				7	J46		4	8.4		4		
			剥片	7	J46		9	4.8		4		
				7	J47		141	4.2		4		
			剥片	7	J46		101	10.3		4		
			剥片	7	J46		140	1.6		4		
			剥片	7	J46		195	1.6		4		
			剥片	7	J46		206	0.5		4		
				7	J47		585	13.1		4		
				7	K46		247	4.4		4		
			剥片	7	J46		215	30.3		4		
				7	J46		262	3.9		4		
			剥片	7	J46		220	26.7		4		
				7	J47		97	4.0		4		
				7	J47		619	19.9		4		
			剥片	7	J46		233	7.3		4		
					J47		4	45.1		4		
			剥片	7	J46		258	19.6		4		
				7	J47		422	4.8		4		
				7	J47		674	1.6		4		
			剥片	7	J46		274	1.0		4		
			剥片	7	J46		299	3.0		4		
				7	J47		473	52.7		4		
				7	J47		527	10.6		4		
			剥片	7	J46		308	1.7		4		
			剥片	7	J46		324	2.7		4		
				7	J47		29	36.9		4		
			剥片	7	J46		336	3.0		4		
				7	J47		379	2.5		4		
			剥片	7	J46		381	11.0		4		
				7	J47		260	1.1		4		
				7	J47		267	8.5		4		
				7	J47		533	9.6		4		
				7	J47		618	2.8		4		
				7	J47		621	11.1		4		
			剥片	7	J46		387	1.1		4		
				7	J47		128	9.8		4		
				7	J47		157	9.3		4		
			剥片	7	J47		11	10.2		4		
				7	J47		586	0.5		4		
				7	K46		7	7.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	7	J47		30	49.6		4		
			剥片	7	J47		36	37.7		4		
			剥片	7	J47		43	56.5		4		
				7	K46		231	1.9		4		
			剥片	7	J47		61	6.3		4		
				7	J47		389	16.9		4		
			剥片	7	J47		64	5.2		4		
				7	J47		302	7.5		4		
			剥片	7	J47		70	6.6		4		
				7	J47		656	7.3		4		
			剥片	7	J47		74	20.1		4		
				7	J47		175	4.7		4		
			剥片	7	J47		81	13.9		4		
				7	J47		236	34.0		4		
				7	K46		104	7.6		4		
				7	L45		117	50.5		4		
			剥片	7	J47		104	1.3		4		
				7	J47		346	14.9		4		
					J47		20	2.4		4		
			剥片	7	J47		111	5.7		4		
				7	J47		272	7.2		4		
			剥片	7	J47		169	7.5		4		
				7	J47		519	13.6		4		
			剥片	7	J47		177	7.3		4		
				7	K45		255	2.1		4		
				6	L42		412	45.9		4		
				6	L42		413	3.9		4		
			剥片	7	J47		233	10.2		4		
				6	L43		187	83.7		4		
			剥片	7	J47		237	10.1		4		
				7	K46		313	4.0		4		
					K46		20	4.8		4		
			剥片	7	J47		250	2.6		4		
				7	J47		417	60.6		4		
				7	J47		616	3.4		4		
			剥片	7	J47		286	1.4		4		
				7	J47		646	11.7		4		
					J47		17	44.0		4		
			剥片	7	J47		291	24.8		4		
			剥片	7	J47		294	7.5		4		
			剥片	7	J47		313	11.3		4		
				7	J47		478	4.9		4		
			剥片	7	J47		332	26.9		4		
			剥片	7	J47		362	1.3		4		
			剥片	7	J47		374	3.1		4		
				7	J47		382	31.7		4		
				7	J47		482	2.5		4		
				7	J47		581	2.3		4		
			剥片	7	J47		394	1.9		4		
			剥片	7	J47		479	10.4		4		
				7	J47		526	5.5		4		
			剥片	7	J47		543	6.7		4		
				7	J47		546	2.1		4		
			剥片	7	J47		572	3.7		4		
			剥片	7	J47		591	17.9		4		
				7	K46		223	1.0		4		
					J47		5	6.9		4		
			剥片	7	J47		640	8.8		4		
					J47		9	3.0		4		
			剥片	7	J47		649	14.7		4		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	7	J47		668	4.0		4		
				7	J48		11	61.2		4		
				7	K46		80	6.0		4		
			剥片	7	J48		7	27.1		4		
			剥片	7	J48		14	21.6		4		
			剥片	7	J48		15	11.5		4		
			剥片	7	J48		37	3.1		4		
				6	M42		76	12.8		4		
				6	M42		97	3.0		4		
				6	M42		117	25.1		4		
			剥片	7	J48		38	3.7		4		
			剥片	7	J48		56	43.6		4		
-84	348	189	播器	6	K43		139	81.5		4		
			剥片	6	K43		170	12.4		4		
			剥片	7	K45		174	2.5		4		
				7	K46		146	0.9		4		
			剥片	7	K45		385	76.9		4		
			剥片	7	K46		5	28.4		4		
			剥片	7	K46		28	4.5		4		
					K46		3	9.8		4		
			剥片	7	K46		60	8.4		4		
			剥片	7	K46		76	70.5		4		
				7	K46		158	17.8		4		
			剥片	7	K46		124	6.0		4		
			剥片	7	K46		132	20.0		4		
			剥片	7	K46		187	80.0		4		
				7	K46		273	1.7		4		
			剥片	7	K46		253	7.8		4		
			剥片	7	K46		259	3.1		4		
			剥片	7	K46		266	11.0		4		
			剥片	7	K46		279	1.8		4		
			剥片	6	L42		98	0.9		4		
			剥片	6	L42		153	1.3		4		
			剥片	6	L42		154	9.9		4		
			剥片	6	L42		177	0.7		4		
			剥片	6	L42		256	2.9		4		
			剥片	6	L42		271	3.1		4		
			剥片	6	L42		328	11.7		4		
			剥片	6	L42		341	8.3		4		
			剥片	6	L43		24	14.9		4		
			剥片	6	L43		124	4.9		4		
				6	L43		175	89.2		4		
				6	L43		176	3.4		4		
			剥片	6	L43		171	18.8		4		
			剥片	6	M42		14	0.6		4		
			石核	6	M42		16	424.4		4		
			剥片	6	M42		28	54.8		4		
			剥片	6	M42		79	5.9		4		
				6	M42		85	3.0		4		
				6	M42		86	81.0		4		
			剥片	6	M42		92	130.7		4		
			剥片		ボヤ		3	148.1		4		
			剥片		J47		2	9.8		4		
			剥片		J47		3	19.7		4		
			剥片		J47		6	5.8		4		
			剥片		J47		7	4.5		4		
			剥片		J47		8	11.1		4		
			剥片		K46		4	3.3		4		
-146	376	349	接合資料	9・10				337.1	29	4	153	494
			剥片	10	M46		45	2.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				9	M46		47	3.7		4		
				10	N45		537	19.7		4		
			剥片	10	M46		73	6.9		4		
				10	N45		148	13.1		4		
				10	O45		210	1.5		4		
			剥片	10	N45		102	14.7		4		
			剥片	10	N45		352	8.6		4		
			剥片	10	N45		378	13.3		4		
				10	O45		121	7.6		4		
			剥片	10	N45		711	25.0		4		
				10	N45		1008	5.7		4		
			剥片	10	N45		868	14.5		4		
			剥片	10	O44		81	9.8		4		
				10	O44		171	24.3		4		
				10	O44		832	7.5		4		
			剥片	10	O44		149	4.0		4		
				10	O44		864	16.1		4		
				10	O45		4	3.3		4		
			剥片	10	O44		175	10.3		4		
			剥片	10	O44		231	12.8		4		
			剥片	10	O44		304	5.0		4		
			剥片	10	O44		312	6.8		4		
			剥片	10	O44		636	5.7		4		
			剥片	10	O45		6	25.6		4		
			剥片	10	O45		166	33.1		4		
			剥片	10	O45		183	5.6		4		
			剥片	10	P44		2	12.1		4		
			剥片		N46		8	18.0		4		
-147	375	347	接合資料	9・10				423.5	41	4	153	493
			剥片	9	L45		42	11.5		4		
			剥片	9	M43		2	18.4		4		
				10	O44		122	44.8		4		
				10	O44		728	24.8		4		
			剥片	10	N45		9	15.2		4		
				10	N45		146	8.7		4		
				10	N45		930	2.3		4		
			剥片	10	N45		56	12.2		4		
			剥片	10	N45		57	5.7		4		
				10	N45		211	23.6		4		
				10	N45		243	9.9		4		
				10	N45		529	1.6		4		
				10	O44		261	3.0		4		
			剥片	10	N45		93	10.8		4		
				10	O44		847	2.5		4		
				10	O45		112	1.5		4		
			剥片	10	N45		105	7.5		4		
				10	O44		138	7.4		4		
			剥片	10	N45		129	2.1		4		
				10	N46		142	5.8		4		
			剥片	10	N45		147	10.5		4		
				10	O44		651	4.0		4		
			剥片	10	N45		283	4.3		4		
			剥片	10	N45		546	8.2		4		
			剥片	10	O44		9	2.5		4		
				10	O44		442	14.7		4		
			剥片	10	O44		87	4.0		4		
			剥片	10	O44		98	20.0		4		
				10	O44		305	2.0		4		
			剥片	10	O44		205	2.0		4		
				10	O44		559	9.4		4		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	10	O44		216	15.8		4		
			剥片	10	O44		291	6.2		4		
			剥片	10	O44		294	2.5		4		
			縦長剥片	10	O44		447	16.5		4		
			剥片	10	O44		457	10.0		4		
			剥片	10	O44		490	4.9		4		
			剥片	10	O44		498	18.1		4		
			剥片	10	O44		542	13.3		4		
			剥片	10	O44		582	3.4		4		
			剥片	10	O44		635	31.9		4		
-147	375	348	接合資料	10				405.2	43	4	153	495
			剥片	10	N45		7	7.3		4		
				10	N46		247	22.3		4		
					N45		8	3.7		4		
			剥片	10	N45		18	1.5		4		
				10	N46		42	8.0		4		
				10	O44		60	3.2		4		
			剥片	10	N45		61	17.3		4		
				10	O44		438	3.6		4		
			剥片	10	N45		335	24.8		4		
				10	O44		877	2.4		4		
			剥片	10	N45		348	31.3		4		
			剥片	10	N45		351	0.9		4		
					ボサ		2	30.9		4		
			剥片	10	N45		753	47.8		4		
				10	N46		183	6.0		4		
				10	O44		506	6.2		4		
				10	O44		772	5.1		4		
				10	O45		12	3.2		4		
			剥片	10	N45		938	2.8		4		
					N45		10	5.4		4		
			剥片	10	N45		1085	2.6		4		
				10	O44		250	2.0		4		
			剥片	10	O43		21	13.9		4		
				10	O44		681	8.1		4		
				10	O44		704	3.3		4		
			剥片	10	O44		30	10.6		4		
			剥片	10	O44		57	12.8		4		
				10	O44		59	3.7		4		
			剥片	10	O44		97	4.4		4		
				10	O44		622	9.2		4		
			剥片	10	O44		119	7.5		4		
			剥片	10	O44		155	15.8		4		
				10	O44		276	7.2		4		
				10	O45		85	1.6		4		
			剥片	10	O44		209	7.4		4		
			剥片	10	O44		228	12.0		4		
				10	O44		240	1.8		4		
			剥片	10	O44		413	13.1		4		
			剥片	10	O44		428	6.6		4		
			剥片	10	O44		527	2.7		4		
			剥片	10	O44		756	15.4		4		
			剥片	10	O44		895	7.5		4		
			剥片		N45		9	2.3		4		
-147	376	350	接合資料	8-9-10				618.3	66	4	156	521
			剥片	9	M44		112	5.5		4		
-93	353	271	石核	8	N42		1	49.9		4		
			剥片	8	N42		182	3.1		4		
			剥片	8	N42		230	3.3		4		
			剥片	8	N42		245	3.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	8	N42		283	0.8		4		
			剥片	8	N42		353	0.8		4		
-87	350	231	舟底形石器	8	N42		471	22.0		4		
				9	N43		2	16.1		4		
			剥片	8	N42		490	1.7		4		
			剥片	8	N42		584	2.1		4		
			縦長剥片	9	N43		70	6.2		4		
			剥片	8	N43		131	13.9		4		
			剥片	10	N44		22	9.7		4		
			剥片	10	N45		11	4.2		4		
			剥片	10	N45		107	8.0		4		
			剥片	10	N45		165	28.3		4		
				10	N45		274	2.4		4		
			剥片	10	N45		198	12.7		4		
			剥片	10	N45		215	4.8		4		
			剥片	10	N45		388	11.8		4		
				10	N45		1037	1.5		4		
			剥片	10	N45		426	5.9		4		
				10	N45		833	3.1		4		
				10	O44		456	2.6		4		
			縦長剥片	10	N45		433	2.4		4		
				10	N45		593	11.7		4		
			剥片	10	N45		462	10.9		4		
				10	N45		846	19.6		4		
			剥片	10	N46		7	22.5		4		
				10	N46		86	1.5		4		
			剥片	10	N45		665	2.8		4		
			剥片	10	N45		688	3.3		4		
				10	N45		1010	25.5		4		
				10	O44		191	1.4		4		
				10	O44		676	22.5		4		
			剥片	10	N45		706	8.0		4		
				10	N46		9	6.5		4		
			石刃	10	N45		806	3.3		4		
				10	O44		274	0.9		4		
					N45		6	0.5		4		
			剥片	10	N45		866	18.9		4		
				10	O44		300	14.0		4		
				10	O44		560	26.8		4		
			剥片	10	N45		963	4.2		4		
			石刃	10	N45		978	1.4		4		
				10	N45		1046	3.6		4		
				10	N46		112	1.6		4		
			剥片	10	N45		1077	1.3		4		
				10	N45		1078	2.0		4		
			剥片	10	N46		47	20.1		4		
			剥片	10	N46		91	8.9		4		
			剥片	10	N46		113	24.5		4		
			剥片	10	N46		131	37.0		4		
			剥片	10	N46		197	8.6		4		
			剥片	10	O43		23	16.7		4		
					O43		6	1.0		4		
					O43		7	0.5		4		
			剥片	10	O44		77	35.9		4		
			石刃	10	O44		608	3.5		4		
			剥片	10	O44		631	2.4		4		
			剥片	10	O44		904	3.7		4		
			剥片	10	O45		939	5.8		4		
			剥片	10	O45		113	1.5		4		
			石刃	10	O45		129	7.2		4		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
					O44		3	0.4		4		
-148	377	351	接合資料	6・8・9・10			1552.4	116	4	166	568	
			剥片	6	M43		1	4.4		4		
			二次加工ある剥片	9	M43		9	16.6		4		
				8	N42		62	27.2		4		
			剥片	9	M44		68	12.3		4		
			剥片	9	M45		22	3.2		4		
			剥片	9	M45		59	2.1		4		
			剥片	10	M46		84	4.8		4		
			剥片	8	N42		5	8.8		4		
			剥片	8	N42		6	15.1		4		
			剥片	8	N42		9	5.2		4		
			剥片	8	N42		11	0.7		4		
			剥片	8	N42		15	3.5		4		
			剥片	8	N42		58	0.6		4		
			剥片	8	N42		67	3.2		4		
			剥片	8	N42		104	1.9		4		
			剥片	8	N42		112	6.8		4		
			剥片	8	N42		120	1.9		4		
			剥片	8	N42		124	1.4		4		
			剥片	8	N42		129	1.5		4		
			剥片	8	N42		130	3.0		4		
			剥片	8	N42		134	0.8		4		
			剥片	8	N42		143	0.6		4		
			剥片	8	N42		146	1.3		4		
			剥片	8	N42		158	1.3		4		
			剥片	8	N42		166	9.9		4		
			剥片	8	N42		169	7.2		4		
			剥片	8	N42		189	4.8		4		
			剥片	8	N42		219	1.8		4		
			剥片	8	N42		223	1.6		4		
			剥片	8	N42		246	1.0		4		
			剥片	8	N42		248	5.0		4		
			剥片	8	N42		269	2.4		4		
			剥片	8	N42		277	1.7		4		
			剥片	8	N42		282	3.4		4		
			剥片	8	N42		300	3.2		4		
			剥片	8	N42		316	7.7		4		
			剥片	8	N42		323	1.6		4		
			剥片	8	N42		343	2.0		4		
			剥片	8	N42		363	1.0		4		
			剥片	8	N42		404	1.7		4		
			剥片	8	N42		407	1.5		4		
			剥片	8	N42		414	1.9		4		
			剥片	8	N42		444	2.8		4		
			剥片	8	N42		447	4.8		4		
			剥片	8	N42		466	2.1		4		
			剥片	8	N42		483	0.6		4		
			剥片	8	N42		563	1.3		4		
			剥片	9	N43		9	3.3		4		
			剥片	8	N43		29	0.9		4		
			剥片	8	N43		54	21.9		4		
			剥片	8	N43		78	5.0		4		
			剥片	8	N43		87	4.3		4		
			剥片	8	N43		88	2.4		4		
			剥片	8	N43		89	2.6		4		
			剥片	8	N43		90	1.0		4		
			剥片	9	N43		112	1.3		4		
			剥片	8	N43		126	2.9		4		
			剥片	8	N43		133	3.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	8	N43		140	2.9		4		
			剥片	8	N43		149	3.8		4		
			剥片	10	N44		11	4.1		4		
				10	N44		49	129.3		4		
				10	N45		161	1.6		4		
					N46		12	4.7		4		
			剥片	10	N44		51	4.4		4		
					N46		14	23.2		4		
			剥片	10	N44		72	3.3		4		
				8	N45		780	1.6		4		
				8	N45		1014	1.4		4		
			剥片	10	N45		205	11.7		4		
			剥片	10	N45		207	49.4		4		
				10	N46		40	16.2		4		
				10	N46		73	1.5		4		
				10	N46		74	67.5		4		
				10	O44		851	7.2		4		
			剥片	10	N45		228	1.8		4		
			剥片	10	N45		249	40.3		4		
				10	N45		256	2.4		4		
				10	N45		1065	5.1		4		
				10	N46		3	45.5		4		
			剥片	10	N45		289	5.3		4		
			剥片	10	N45		294	44.1		4		
				10	N45		556	4.4		4		
			剥片	10	N45		329	5.4		4		
			剥片	10	N45		341	31.8		4		
			剥片	10	N45		376	4.2		4		
			剥片	10	N45		381	26.6		4		
			剥片	10	N45		397	2.1		4		
			剥片	10	N45		402	18.2		4		
				10	N45		742	2.2		4		
			剥片	10	N45		615	4.7		4		
				10	O44		307	10.9		4		
			剥片	10	N45		721	4.0		4		
			剥片	10	N45		903	19.2		4		
			剥片	10	N46		8	28.3		4		
			剥片	10	N46		14	2.0		4		
			剥片	10	N46		19	3.6		4		
					N46		13	26.0		4		
			剥片	10	N46		32	46.0		4		
				10	N46		97	129.3		4		
			剥片	10	N46		83	2.8		4		
			剥片	10	N46		99	2.0		4		
			石刃	10	N46		215	3.1		4		
			剥片	8	N47		51	24.1		4		
-93	353	274	石核	10	O44		55	105.0		4		
			剥片	10	O44		185	18.9		4		
			剥片	10	O44		331	14.3		4		
			剥片	10	O44		346	3.8		4		
					O45		2	39.1		4		
			縦長剥片	10	O44		357	57.8		4		
			剥片	10	O44		444	3.7		4		
			剥片	10	O44		521	2.1		4		
			剥片	10	O44		678	1.6		4		
			剥片	10	O44		885	152.2		4		
			剥片		N42		159	8.5		4		
			剥片		N46		11	18.3		4		
-148	379	354	接合資料	8・9・10			818.8	131	4	155	511	
			剥片	9	L44		75	13.4		4		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				8	N43		95	41.8		4		
			剥片	9	L45		1	42.8		4		
			二次加工ある剥片	9	L45		40	70.2		4		
			剥片	9	M44		87	43.5		4		
			剥片	9	M44		113	5.4		4		
			剥片	9	M44		156	3.0		4		
			剥片	9	M45		18	5.5		4		
				10	O45		5	17.7		4		
			剥片	9	M45		26	2.1		4		
				9	M45		33	1.6		4		
			剥片	9	M45		31	5.4		4		
				9	M45		85	3.5		4		
			剥片	9	M45		34	34.9		4		
				9	M45		66	9.1		4		
			剥片	9	M45		102	0.6		4		
			剥片	9	M45		107	1.5		4		
			剥片	10	M46		36	29.5		4		
			剥片	8	N42		27	10.5		4		
			剥片	8	N42		34	13.7		4		
			剥片	8	N42		48	2.1		4		
			剥片	8	N42		52	4.9		4		
			剥片	8	N42		69	1.5		4		
			剥片	8	N42		71	6.3		4		
			剥片	8	N42		110	2.1		4		
			剥片	8	N42		127	0.6		4		
			剥片	8	N42		133	1.3		4		
			剥片	8	N42		156	18.7		4		
			剥片	8	N42		162	1.5		4		
			石刃	8	N42		173	5.8		4		
			剥片	8	N42		181	5.2		4		
			剥片	8	N42		183	10.7		4		
			剥片	8	N42		190	2.8		4		
			石刃	8	N42		195	0.9		4		
			剥片	8	N42		200	2.5		4		
			剥片	8	N42		224	0.8		4		
			剥片	8	N42		226	4.6		4		
			剥片	8	N42		238	5.6		4		
			剥片	8	N42		239	2.1		4		
			剥片	8	N42		250	2.3		4		
			剥片	8	N42		305	10.1		4		
			剥片	8	N42		307	1.5		4		
			剥片	8	N42		342	8.6		4		
			剥片	8	N42		399	3.8		4		
				8	N43		104	7.5		4		
			剥片	8	N42		445	0.7		4		
			剥片	8	N42		462	0.3		4		
			剥片	8	N42		468	0.6		4		
			剥片	8	N42		473	3.7		4		
			剥片	8	N42		485	2.0		4		
			剥片	8	N42		496	0.4		4		
			剥片	8	N42		509	1.6		4		
			剥片	8	N42		540	0.6		4		
			剥片	8	N42		579	2.0		4		
			剥片	8	N43		12	3.2		4		
			剥片	8	N43		23	0.7		4		
			剥片	8	N43		31	7.3		4		
			剥片	8	N43		34	20.6		4		
			剥片	9	N43		42	6.6		4		
			剥片	8	N43		44	2.8		4		
			剥片	8	N43		80	3.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	8	N43		105	7.7		4		
			剥片	8	N43		109	5.7		4		
			剥片	8	N43		134	5.1		4		
			剥片	8	N43		142	1.0		4		
			剥片	10	N45		113	1.6		4		
			剥片	10	N45		130	2.3		4		
			剥片	10	N45		371	0.5		4		
			剥片	10	N45		607	1.9		4		
			剥片	10	N45		679	1.9		4		
			剥片	10	N45		715	1.6		4		
			剥片	10	N45		717	17.0		4		
			剥片	10	N45		783	0.8		4		
			石刃	10	N45		898	37.5		4		
			剥片	10	N45		924	4.1		4		
			剥片	10	N45		1070	5.4		4		
			剥片	10	N46		62	0.8		4		
			剥片	10	N46		157	2.3		4		
			剥片	10	O44		24	1.0		4		
			剥片	10	O44		50	3.7		4		
			剥片	10	O44		70	1.4		4		
				10	O44		778	1.3		4		
			剥片	10	O44		92	1.0		4		
			剥片	10	O44		100	1.8		4		
			剥片	10	O44		102	1.1		4		
			剥片	10	O44		105	2.5		4		
			剥片	10	O44		110	32.9		4		
			剥片	10	O44		124	1.7		4		
			剥片	10	O44		253	3.9		4		
			剥片	10	O44		332	3.7		4		
				10	O44		938	2.0		4		
			剥片	10	O44		333	1.1		4		
			剥片	10	O44		343	4.7		4		
			剥片	10	O44		384	1.4		4		
			剥片	10	O44		395	0.9		4		
			剥片	10	O44		430	1.1		4		
			剥片	10	O44		432	3.3		4		
			剥片	10	O44		441	15.4		4		
			剥片	10	O44		500	3.4		4		
			剥片	10	O44		502	2.4		4		
			剥片	10	O44		541	2.9		4		
			剥片	10	O44		579	15.5		4		
			剥片	10	O44		592	1.4		4		
			剥片	10	O44		593	3.9		4		
			剥片	10	O44		599	5.0		4		
			剥片	10	O44		641	2.7		4		
			剥片	10	O44		646	6.8		4		
			剥片	10	O44		655	2.4		4		
			剥片	10	O44		683	7.1		4		
			剥片	10	O44		726	3.4		4		
			剥片	10	O44		750	2.4		4		
			剥片	10	O44		757	4.1		4		
			剥片	10	O44		781	2.2		4		
			剥片	10	O44		791	0.9		4		
			剥片	10	O44		797	2.8		4		
			剥片	10	O44		828	1.3		4		
			剥片	10	O44		840	1.4		4		
			剥片	10	O44		903	1.0		4		
			剥片	10	O44		968	1.4		4		
			剥片	10	O44		971	3.2		4		
			剥片	10	O45		116	3.0		4		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	10	O45		143	5.2		4		
			剥片	10	O45		173	4.1		4		
			剥片	10	O45		187	2.5		4		
			剥片		L45		2	4.5		4		
			剥片		L50		1	7.4		4		
			剥片		M46		5	3.0		4		
			剥片		O44		1	1.2		4		
			剥片		O44		4	0.6		4		
			剥片		O44		6	0.3		4		
			剥片		O44		7	0.6		4		
-149	378	352	接合資料	7-9-10				913.9	92	4	145	457
			剥片	9	L44		20	4.3		4		
			剥片	9	L45		21	4.4		4		
			剥片	9	L45		34	0.7		4		
			剥片	9	L45		37	36.8		4		
			剥片	9	L45		41	1.0		4		
			剥片	9	L45		53	3.7		4		
			剥片	9	M44		92	6.8		4		
			剥片	9	M44		133	8.1		4		
			剥片	9	M44		7	0.6		4		
			剥片	9	L45		55	4.7		4		
			剥片	9	L45		61	4.0		4		
			剥片	7	L45		82	10.5		4		
			剥片	9	L45		106	3.4		4		
			剥片	9	L45		123	57.2		4		
			剥片	9	M43		20	14.6		4		
			剥片	9	L45		134	4.1		4		
			剥片	9	L45		160	63.0		4		
			剥片	9	M43		6	13.7		4		
			舟底形石器	9	M43		8	20.8		4		
			剥片	9	M44		42	31.9		4		
			剥片	9	M43		14	2.3		4		
			剥片	9	M44		13	2.5		4		
			剥片	9	M44		14	2.0		4		
			剥片	9	M44		15	1.9		4		
			剥片	9	M44		23	5.2		4		
			剥片	9	M44		47	6.1		4		
			剥片	9	M44		24	22.5		4		
			剥片	9	M44		26	4.1		4		
			剥片	9	M44		27	5.2		4		
			剥片	9	M44		30	110.2		4		
			剥片	9	M44		118	1.1		4		
			剥片	9	M44		31	12.5		4		
			剥片	9	M44		32	2.0		4		
			剥片	9	M44		35	5.1		4		
			剥片	9	M44		36	2.2		4		
			剥片	9	M44		38	3.3		4		
			剥片	9	M44		51	1.5		4		
			剥片	9	M44		56	6.3		4		
			剥片	9	M44		66	3.6		4		
			剥片		L45		5	2.3		4		
			剥片		M44		13	0.1		4		
			剥片	9	M44		69	1.4		4		
			剥片	9	M44		74	1.2		4		
			剥片	9	M44		75	0.7		4		
			剥片	9	M44		76	13.5		4		
			剥片	9	M44		80	7.8		4		
			剥片	9	M44		82	4.7		4		
			剥片	9	M44		84	1.8		4		
			剥片	9	M44		85	0.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	9	M44		90	1.2		4		
			剥片	9	M44		91	10.9		4		
			剥片	9	M44		94	5.9		4		
			剥片	9	M44		99	29.2		4		
			剥片	9	M44		109	3.9		4		
			剥片	9	M44		114	2.5		4		
			剥片	9	M44		125	0.5		4		
			剥片	9	M44		128	1.6		4		
			剥片	9	M44		129	34.8		4		
			剥片	9	M44		162	1.6		4		
			剥片		M44		6	0.6		4		
			剥片		M44		8	0.4		4		
			剥片		M44		9	0.2		4		
			剥片	9	M44		130	1.3		4		
			剥片	9	M44		132	9.7		4		
			剥片	9	M44		140	0.6		4		
			剥片	9	M44		143	4.5		4		
			剥片	9	M44		147	15.0		4		
			剥片	9	M44		152	1.7		4		
			剥片	9	M44		160	2.8		4		
			剥片	9	M44		170	1.5		4		
			剥片	10	M45		3	2.4		4		
			剥片	9	M45		14	1.1		4		
			剥片	9	M45		19	1.1		4		
			剥片	9	M45		24	1.8		4		
			剥片	9	M45		27	0.7		4		
			剥片	9	M45		32	1.4		4		
			剥片	9	M45		60	2.8		4		
			剥片	9	M45		67	1.2		4		
			剥片	9	M45		68	3.4		4		
			剥片	9	M45		69	2.2		4		
			剥片	9	M45		70	31.8		4		
			剥片		M44		5	33.6		4		
			剥片	9	M45		72	4.3		4		
			剥片	9	M45		77	5.5		4		
			剥片	9	M45		86	85.5		4		
			剥片	9	M45		87	2.4		4		
			剥片	9	M45		90	2.3		4		
			剥片	10	N45		34	13.8		4		
			剥片		K44		1	24.3		4		
			剥片		L45		4	2.4		4		
			剥片		L45		6	29.1		4		
			剥片		M44		12	2.3		4		
-149	378	353	接合資料	6-7				658.2	41	4	130	406
			剥片	7	J45		67	14.5		4		
			剥片		L44		3	6.5		4		
			剥片	7	J46		129	1.3		4		
			剥片	7	K44		18	1.7		4		
			剥片	7	K45		228	2.3		4		
			剥片	7	K44		50	9.4		4		
			剥片	7	L44		142	0.9		4		
			剥片	7	L44		238	4.3		4		
			剥片	7	K44		162	4.1		4		
			剥片	7	K44		244	1.2		4		
			剥片	7	K44		251	6.4		4		
			剥片		J46		3	6.4		4		
			剥片	7	K44		265	5.4		4		
			剥片	7	K45		18	3.2		4		
			剥片	7	K45		113	31.1		4		
			剥片	7	K45		92	2.5		4		

掲載遺物一覧

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	7	K45		178	0.7		4		
			剥片	7	K45		207	9.4		4		
			剥片	7	K45		226	1.7		4		
			剥片	7	K45		291	15.4		4		
				7	K45		414	11.4		4		
					K45		13	1.1		4		
			剥片	7	K45		343	1.6		4		
			剥片	7	K45		364	1.0		4		
				7	L44		102	10.4		4		
			剥片	7	K45		369	3.6		4		
				7	K45		418	7.1		4		
			剥片	7	K46		167	24.1		4		
			剥片	7	L44		27	1.9		4		
			剥片	7	L44		131	3.8		4		
				7	L45		146	3.9		4		
			剥片	7	L44		167	4.5		4		
			剥片	7	L44		188	28.4		4		
				7	L45		78	2.2		4		
			剥片	7	L45		103	1.1		4		
			剥片	6	M42		111	8.1		4		
				6	M42		112	2.2		4		
			剥片	6	M42		114	348.7		4		
			剥片		J45		1	5.1		4		
			剥片		K45		3	31.9		4		
			剥片		L44		2	27.7		4		
149	379	355	接合資料	6-7-9				465.9	86	1	197	345
			剥片	6	J44		14	0.8		1		
			剥片	7	J45		27	1.0		1		
			剥片	7	J45		48	1.9		1		
			剥片	7	J45		55	1.0		1		
					K44		7	2.5		1		
			剥片	7	J45		57	10.1		1		
			剥片	7	J45		62	33.6		1		
				7	J45		118	16.3		1		
					K45		5	67.1		1		
			剥片	7	J45		65	32.4		1		
			剥片	7	J45		123	5.1		1		
			剥片	7	J45		125	3.2		1		
			剥片	7	J46		16	4.7		1		
			剥片	7	J46		34	9.9		1		
			剥片	7	J46		119	1.4		1		
			剥片	7	J46		201	0.9		1		
			剥片	7	J46		366	1.6		1		
			剥片	7	K44		12	1.3		1		
			剥片	7	K44		19	3.2		1		
				7	K45		13	1.0		1		
			剥片	7	K44		49	5.0		1		
			剥片	7	K44		54	1.7		1		
			剥片	7	K44		144	2.0		1		
			剥片	7	K44		151	2.1		1		
			剥片	7	K44		152	4.8		1		
				7	K45		438	5.2		1		
				7	L45		99	1.5		1		
			剥片	7	K44		163	12.2		1		
			剥片	7	K44		194	1.1		1		
			剥片	7	K44		196	1.0		1		
			剥片	7	K44		207	1.1		1		
			剥片	7	K44		217	1.7		1		
			剥片	7	K44		223	2.0		1		
			剥片	7	K44		233	0.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	7	K45		40	1.3		1		
			剥片	7	K45		71	3.0		1		
				7	L44		174	4.1		1		
			剥片	7	K45		119	5.2		1		
			剥片	7	K45		135	6.1		1		
			剥片	7	K45		136	3.0		1		
			剥片	7	K45		179	0.9		1		
			剥片	7	K45		222	6.2		1		
			剥片	7	K45		261	1.9		1		
			剥片	7	K45		301	8.0		1		
			剥片	7	K45		338	2.1		1		
			剥片	7	K45		358	17.3		1		
			剥片	7	K45		359	1.7		1		
			剥片	7	K45		402	1.4		1		
			剥片	7	K45		441	6.5		1		
			剥片	7	K46		3	2.6		1		
			剥片	7	K46		38	0.7		1		
			剥片	7	K46		138	1.4		1		
			剥片	7	K46		191	0.5		1		
			剥片	7	K46		222	3.0		1		
			剥片	7	L44		46	1.3		1		
			剥片	7	L44		113	0.5		1		
				9	M43		12	1.1		1		
			剥片	7	L44		115	0.8		1		
			剥片	7	L44		177	11.5		1		
				7	L44		210	1.8		1		
			剥片	7	L44		185	1.1		1		
			剥片	7	L44		195	1.1		1		
			剥片	7	L44		208	1.1		1		
			剥片	7	L44		215	11.6		1		
			剥片	9	L45		6	1.4		1		
			剥片	7	L45		75	1.0		1		
			剥片	7	L45		104	0.7		1		
			剥片	7	L45		150	6.1		1		
			剥片	7	L45		153	35.6		1		
			剥片	7	L46		10	2.9		1		
			剥片	7	L46		16	0.5		1		
			剥片	7	L46		39	0.9		1		
			剥片	7	L46		75	1.0		1		
			剥片	7	L46		79	2.3		1		
			剥片	6	M42		31	15.1		1		
				6	M42		47	11.8		1		
			剥片	6	M42		68	4.6		1		
			剥片	6	M42		77	16.0		1		
			剥片		J45		17	7.4		1		
			剥片		J46		7	0.7		1		
			剥片		K44		6	0.8		1		
			剥片		K45		19	0.6		1		
			剥片		K45		20	0.6		1		
			剥片		K45		23	0.5		1		
			剥片		K46		15	2.5		1		
			剥片		L46		1	2.8		1		
150	380	356	接合資料	6-7-9				958.7	184	1	122	344
			剥片	6	J44		48	0.3		1		
				7	K45		106	2.7		1		
			剥片	7	J45		19	4.8		1		
			剥片	7	J45		60	26.7		1		
			剥片	7	J45		63	22.2		1		
			剥片	7	J45		126	23.4		1		
			剥片	7	J45		164	2.2		1		

上白滝5遺跡

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
				7	K44		159	1.1		1		
				7	K45		220	2.8		1		
			剥片	7	J46		33	4.8		1		
			剥片	7	J46		45	1.7		1		
			剥片	7	J46		130	10.4		1		
				7	L44		209	3.7		1		
				7	L45		92	4.8		1		
				7	L45		93	6.4		1		
			剥片	7	J46		278	10.5		1		
			剥片	7	J46		279	0.9		1		
			剥片	7	J46		343	2.3		1		
			剥片	7	J46		365	0.9		1		
			剥片	7	J46		400	0.9		1		
			剥片	7	J46		418	4.1		1		
			剥片	6	K43		87	1.6		1		
				7	K45		93	3.2		1		
				7	K45		177	2.9		1		
				7	L44		190	0.8		1		
			縦長剥片	7	K44		13	1.5		1		
				7	K45		24	3.6		1		
			剥片	7	K44		45	1.4		1		
			剥片	7	K44		51	4.9		1		
			剥片	7	K44		90	9.1		1		
			剥片	7	K44		93	21.3		1		
				7	K44		220	1.1		1		
			剥片	7	K44		98	6.7		1		
				7	L44		124	1.4		1		
			剥片	7	K44		102	4.1		1		
				7	K45		25	4.6		1		
			剥片	7	K44		114	2.4		1		
			剥片	7	K44		134	13.3		1		
				7	K44		135	14.0		1		
				7	K45		300	20.8		1		
				7	L45		31	8.0		1		
			剥片	7	K44		148	0.5		1		
			剥片	7	K44		156	1.6		1		
			剥片	7	K44		160	10.6		1		
			剥片	7	K44		161	3.3		1		
				7	L46		13	1.4		1		
			剥片	7	K44		164	5.9		1		
				7	K45		281	11.4		1		
			剥片	7	K44		166	7.6		1		
			剥片	7	K44		167	1.4		1		
			剥片	7	K44		169	20.4		1		
			剥片	7	K44		172	2.4		1		
			剥片	7	K44		178	3.3		1		
			剥片	7	K44		195	0.3		1		
			剥片	7	K44		204	2.0		1		
			剥片	7	K44		219	1.8		1		
			剥片	7	K44		221	1.7		1		
			剥片	7	K44		230	1.2		1		
				7	K44		253	1.7		1		
			剥片	7	K44		240	2.6		1		
			剥片	7	K44		255	1.7		1		
			剥片	7	K44		260	2.0		1		
			剥片	7	K44		272	1.7		1		
			剥片	7	K44		280	2.0		1		
-87	350	232	舟底形石器	7	K45		2	21.0		1		
				7	L46		1	8.2		1		
			剥片	7	K45		3	1.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	7	K45		6	1.4		1		
				7	L44		8	4.0		1		
				7	L44		76	7.1		1		
			剥片	7	K45		29	2.2		1		
				7	K46		71	9.0		1		
-92	352	265	石核	7	K45		44	24.5		1		
			剥片	7	K45		75	1.1		1		
			剥片	7	K45		125	5.5		1		
				7	L44		103	38.3		1		
				7	L44		231	4.6		1		
			剥片	7	K45		129	1.6		1		
			剥片	7	K45		132	14.9		1		
			剥片	7	K45		134	1.5		1		
			剥片	7	K45		137	3.9		1		
			剥片	7	K45		169	2.0		1		
			剥片	7	K45		187	4.2		1		
			剥片	7	K45		198	0.7		1		
			剥片	7	K45		213	4.1		1		
			剥片	7	K45		214	1.3		1		
			剥片	7	K45		246	6.9		1		
			剥片	7	K45		264	0.7		1		
			剥片	7	K45		283	3.9		1		
			剥片	7	K45		284	1.1		1		
			剥片	7	K45		294	22.3		1		
				7	L44		3	4.6		1		
			剥片	7	K45		295	1.0		1		
			剥片	7	K45		318	2.4		1		
			剥片	7	K45		345	0.7		1		
			縦長剥片	7	K45		348	7.1		1		
				7	L44		212	5.1		1		
			剥片	7	K45		349	16.3		1		
			剥片	7	K45		351	1.2		1		
			剥片	7	K45		355	6.1		1		
				7	L44		58	2.2		1		
			剥片	7	K45		360	1.5		1		
			剥片	7	K45		389	1.7		1		
			剥片	7	K45		395	0.6		1		
			剥片	7	K45		396	1.2		1		
			剥片	7	K45		397	0.7		1		
				7	L44		138	4.1		1		
			剥片	7	K45		404	20.6		1		
			剥片	7	K45		406	3.8		1		
			剥片	7	K45		408	0.6		1		
			剥片	7	K45		436	5.7		1		
			剥片	7	K46		12	2.5		1		
			剥片	7	K46		16	1.4		1		
			剥片	7	K46		20	3.9		1		
			剥片	7	K46		21	2.2		1		
			剥片	7	K46		22	0.5		1		
			剥片	7	K46		159	0.5		1		
			剥片	7	K46		185	0.9		1		
			剥片	7	K46		188	3.9		1		
			剥片	7	K46		202	1.1		1		
			剥片	7	K46		207	3.9		1		
			剥片	7	K46		211	1.5		1		
			剥片	7	K46		218	1.6		1		
-88	350	238	舟底形石器	6	L42		35	25.4		1		
			剥片	6	L42		54	4.5		1		
			剥片	7	L44		28	1.6		1		
			剥片	7	L44		45	0.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片	7	L44		61	6.7		1		
				7	L44		169	2.2		1		
			剥片	7	L44		62	1.6		1		
			剥片	7	L44		66	0.7		1		
			剥片	9	L44		74	0.3		1		
			剥片	7	L44		77	16.1		1		
			剥片	7	L44		88	3.3		1		
				7	L45		167	3.4		1		
			剥片	7	L44		98	2.1		1		
			剥片	7	L44		101	0.9		1		
			剥片	7	L44		110	3.6		1		
			剥片	7	L44		123	0.3		1		
			剥片	7	L44		129	1.3		1		
			剥片	7	L44		179	0.8		1		
			剥片	7	L44		180	1.6		1		
			剥片	7	L44		202	5.9		1		
				7	L45		154	6.8		1		
			剥片	7	L44		204	0.9		1		
			剥片	7	L44		205	1.9		1		
			剥片	7	L44		217	1.0		1		
			剥片	7	L44		228	4.5		1		
			剥片	7	L44		230	3.3		1		
			剥片	7	L44		232	0.7		1		
			剥片	7	L44		249	3.6		1		
			剥片	7	L45		30	1.6		1		
-91	351	256	石刃核	7	L45		32	30.3		1		
			剥片	9	L45		60	0.9		1		
			剥片	9	L45		65	1.7		1		
			剥片	9	L45		66	1.2		1		
			石刃	7	L45		69	19.0		1		
			剥片	7	L45		100	3.8		1		
					K46		6	6.3		1		
			剥片	7	L45		112	12.0		1		
			剥片	7	L45		116	1.0		1		
			剥片	7	L45		120	8.5		1		
			剥片	7	L45		121	9.1		1		
			剥片	7	L45		157	9.4		1		
			剥片	7	L45		163	6.7		1		
			剥片	7	L45		164	4.8		1		
			剥片	7	L46		4	5.0		1		
			剥片	7	L46		17	0.5		1		
			剥片	7	L46		19	1.8		1		
			剥片	7	L46		43	1.2		1		
			剥片	7	L46		63	1.5		1		
			剥片	7	L46		69	1.1		1		
			剥片	7	L46		70	1.3		1		
			剥片	7	L46		73	1.9		1		
			剥片	7	L46		77	1.4		1		
			剥片		J45		9	2.2		1		
			剥片		K44		5	0.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	S b	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩NO	接合NO
			剥片		K45		14	0.3		1		
			剥片		K45		21	0.7		1		
			剥片		K45		22	0.6		1		
			剥片		K46		5	4.3		1		
					K46		8	9.1		1		
			剥片		K46		11	16.5		1		
			剥片		K46		24	25.9		1		
-150	381	358	接合資料	11				367.4	10	4	187	645
			剥片	11	Q44		52	6.2		4		
			石刃	11	Q44		93	8.8		4		
			石刃	11	Q45		110	34.6		4		
			剥片	11	R42		140	14.0		4		
			剥片	11	R43		18	2.5		4		
			石刃	11	R43		116	24.5		4		
			剥片	11	R43		225	6.5		4		
-92	352	262	石刃核	11	R43		388	127.2		4		
			剥片	11	R43		399	8.0		4		
			剥片	11	R44		165	135.1		4		
-151	381	359	接合資料	11				139.4	4	4	194	661
			剥片	11	Q45		86	13.5		4		
-93	353	272	石核	11	R43		74	89.5		4		
			剥片	11	R43		111	23.1		4		
			剥片		Q43		2	13.3		4		
-151	381	360	接合資料	8-9				116.3	9	4	148	473
			剥片	9	L45		136	7.4		4		
			剥片	9	M44		50	15.0		4		
			剥片	9	M44		62	15.0		4		
			剥片	9	M44		123	7.3		4		
			剥片	9	M44		144	9.7		4		
				8	N42		278	7.4		4		
			剥片	9	M44		148	7.5		4		
			剥片	8	N42		91	3.8		4		
-92	352	269	石核		M45		1	43.2		4		
-151	382	361	接合資料	6-7				129.1	15	4	129	397
			剥片	7	J44		18	6.4		4		
			剥片	6	J44		63	0.5		4		
			剥片	6	J44		71	2.1		4		
			剥片	6	J44		72	5.3		4		
				7	J45		140	6.7		4		
-92	352	268	石核	7	J45		2	37.2		4		
			剥片	7	J45		7	23.2		4		
			剥片	7	J45		85	5.3		4		
			剥片	7	J45		89	2.6		4		
			剥片	7	J46		152	6.8		4		
			剥片	7	K44		140	14.9		4		
			剥片	7	K45		144	1.4		4		
				7	K45		154	3.3		4		
			剥片	7	K45		155	8.3		4		
			縦長剥片	6	L43		158	5.1		4		

(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第169集

白 滝 遺 跡 群 III

第1分冊 (本文編)

白滝村 奥白滝1遺跡

上白滝5遺跡

一般国道450号白滝丸瀬布道路工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書

平成14年3月28日

編集・発行 財団法人 北海道埋蔵文化財センター

〒069-0832 江別市西野幌685番地1

☎011(386)3231 FAX011(386)3238

印刷 富士プリント株式会社
